整理番号	個人/法人等	職業	年齢	性別	ご意見の概要	御意見及びその理由
30001	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力発電に関して反対です。稼働中の原発は即時停止し、火力と水力を主な発電手段として使い、燃料の価格の見直し、検証、そして省エネルギー政策を平行してすすめて少き現状に対処することが望ましいと考えます。	この度の原子力発電の問題に関して一番問題だったのは、環境の問題や、経済の問題ではなく、「起こった問題に対して誰も責任を取ることが出来なかった」という点にあると思います。そして第二には、「ここまで意見の別れてしまう問題を今まで議論して来なかった」ということではないでしょうか。 反対派と推進派がそれぞれ持ち出して来るデータは様々で、それぞれをくらべることは非常に困難です。その上、意見を持つ人間ひとりひとりに対して、その意見を持つ理由の中に自らの利害や、信条、生活習慣など、様々な要素が絡み合っていて、客観的に判断することはとても困難です。それなら何が一番問題をクリアにしてくれるかと言えば、やはり「誰も責任を取れなかった」ということで、責任の取れなくなってしまうようなプロジェクトを国家ぐるみですすめてきた、というところになるのではないでしょうか。 私は反対派ですが、放射能が本当に人体に有害なのかどうかは知りません。それは地球が自転しているのを自分の目で確かめたことがないのと同じように、自分自身で調べて解明したわけではないからです。少量の放射線はむしろ体にいい影響を及ぼすとの意見もあります。しかし、科学者でもなければそれを証明することは難しいでしょう。 ただ、今現在福島第一原発付近に人が住めなくなっているのはたしかで、たとえ推進派の人間であっても、放射能が本当は体にいいと言っても、もうあと何百年も何万年もそこに人が住むことはおそらく出来ないでしょう。原発に賛成するのなら人体に無害だという証拠を実際に住んでみて証明されてはいかがでしょうか。おそらく誰もそこまでのことはしないはずです。 今回の事故ではからずも明らかになってしまった日本社会の隠蔽体質と、政府およびマスコミの情報操作は問題でした。少なくとも海外にいる限り、日本において情報操作が行われているのは誰の目にも明らかでした。 このような無責任なシステムの上に成り立つ経済や豊かさなど、しょせん虚構のものでしかなかった。誰も責任を取れないのであれば、残念ながらそれは嘘になるのでしょう。私たち日本人は、今までの富が虚構であったことを受け入れ、そして本当の意味で豊かになるべきなのではないでしょうか。 そのために知恵を出し合うべきです。議論する手段や方法や場所を、あらゆるレベルで作るべきです。そしてそのためには今まで以上に教育の役割が大きくなって来るのではないでしょうか。 原子力は確かに魅力的なエネルギーです。これからも研究されてゆくべきでしょうし、どれだけ悲しい歴史を持っていても、その力は我々を翻弄し続けるでしょう。大きな力を前に正気を保つのは、どんな人間にも難しいことです。しかし今、原発の事故を前に我々がその問題に直面したのは、ひょっとしたらになによりも大きな幸運だったのかもしれません。 「責任を取れないことはやらない」。そしてなによりも、「話し合って決めること」の本質を今見直すべきです。 日本政府の賢明な判断を期待します。
30002	個人	自営業	60代	男性	原発ゼロシナリオを選びます。	原発ゼロシナリオを選びます。 理由は、原発事故がおきたら、放射能によって、人間死に絶えるんだよ！
30003	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオを支持します	東北では、地元に帰れない人々が多くいて、その問題が片付かないのに再稼動するとはとんでもない事です。 現在の政府・電力関係者では安全な原発稼動はできない。 原発に頼らなくても、エネルギー需要には充分対応できる。 原発の地元には、風力・太陽光発電などのクリーンエネルギー産業を振興すれば、雇用なども守られる。廃炉作業の雇用も存在する。 原発政策を止めて、日本の企業がクリーンエネルギー・自然エネルギー・省エネで世界をリードできるような政策に転換すること。
30004	個人	パート・アルバイト	60代	男性	ゼロシナリオを支持します。	原子力発電所からでる高レベル放射性廃棄物は、常に、永久に放射能汚染、被ばくの危険が付きまとい、入類が保管管理することは、不可能と考えます。子供たち、そして未来の人たちに、そんな危険なものは、残すべきでは無いと思います。今も、高レベル放射性廃棄物は、出され続けています。即刻原発を停止する方向で、エネルギー政策を策定、実行すべきです。
30005	個人	その他	50代	女性	地震列島の日本は原子力発電を選択すべきではなかった。 「ゼロ」以外の設定は「つじつま合わせ」を生むだけ。 「原発ゼロ」を選択してはじめてみんなが本気になる軸ができる。	地震列島の日本は原子力発電を選択すべきではなかった。3.11は終わらない。これからさらに増すかもしれない負の遺産を背負った。他の原発も同じ絶望をはらんでいるのに「原発ゼロ」を選択しないなんて考えられない。一刻も早く希望を持てる国でありたい。 新たに原発をつくる「20～25%」はもってのほか。中間的「15%」は「つじつま合わせ」を生むだけ。「原発ゼロ」のシナリオが現状では不充分だとしても「ゼロ」を選択しない限り本気になれる軸はない。あらゆる知見を結集し、「原発ゼロ」を実現すべき。
30006	個人	無職	60代	男性	原発で発電する電力も「最終的には全て熱」になってしまい、都市部の温暖化防止には全く寄与しないので、早急に再生可能(自然)エネルギーに移行するべきだ。	電気自動車や燃料電池自動車は車自体から炭酸ガスを発生しないとされているが、そのエネルギー源には電気が使われる。 その電気を化石燃料を使用して発電すれば当然炭酸ガスを発生してしまう。 原発は炭酸ガスを発生しないので温暖化対策になるとされているが、電気全てを原発で賄ったとしても、本来地球上に無かった熱(エネルギー)源であり、不自然な事に変りはない。 炭酸ガスを発生しないからと言って原発で発電した電気を無秩序に都市部で消費した場合、現在問題になっている都市部の温暖化防止に対して何も対策にならず、今以上に状況が悪化する。 エネルギー生成の第一段階から消費の最終段階まで「全てを含めた」環境(システム)設計が必要。 対策として地産地消としての太陽光発電や風力発電 等の自然エネルギーと蓄電、それと省エネが最も理に適っており、早急に移行するべきである。 一例としては、太陽光(何も利用しなければ全て温暖化の熱源)で発電した電気で冷房(エネルギー:消費して熱は発生する)すればその地域での熱エネルギーの総量は変らず、温暖化の防止に寄与する。 一時しか役に立たないエコカー減税等早急に止め、再生可能(自然)エネルギー開発補助金にお金を有効に使うべきである。
30007	個人	無職	70代	男性	原子力発電は必要である、代替エネルギーでは賄えないし、石油に依存すれば中近東からの輸入に頼る場合もし、シーレンが封鎖でもされたら日本は孤立状態となる。中国の脅威が言われている中なおさらである。	今回の福島県の東電の事故は放射能汚染を誇大にマスコミにより宣伝され、専門家の調査の真実を発表して食品等の人への影響の真実を公表していただきたい。チェルノブイリの影響の1,000～10,000分の1だということを公表していただきたい。
30008	個人	会社員・公務員	40代	男性	残存する原発50基のうち別紙の36基は即時廃炉すべき。よって15%シナリオは実現不能、消費電力を大幅に削減することで原発依存度を早期に0%にする。	以下の原発は即時廃炉すべきである。 地震被害を受けた福島1、2、女川、柏崎刈羽 首都圏に近い東海第2 東海地震の震源域にある浜岡 活断層が見つかった志賀、敦賀、美浜、大飯、島根、伊方 節電といいながら都会では、いまだ湯水のように電力を使用している。20年ほど前まではスーパー、デパートは週一回定休日を設け、24時間営業のコンビニなども無かった。電気機器の省エネ化が進んでいることを考えれば、法規制を強化したり、環境税を導入することで、業務部門の消費電力は1980年代頃のレベルまで十分に減らせるのではないか。 消費電力を減らすことで、火力をそれほど増やさなくても原発の依存度を減らすことが可能になる。 電力会社は電力不足は電気料金の値上がりを理由に原発を再稼働させているが、動かない電発が金食い虫であるから、危険であっても原発を動かさざるを得ないだけである。 電力会社が原発を保有したままでは、廃炉は会社をつぶすことになるから、危険と判っていても、電力会社に廃炉は実現できない。 政府が、電力会社から原発を引き取った上で(勿論、電力会社には廃炉費用を負担させる)、廃炉を進める仕組みを電力会社と政府が考えるべきではないか。
30009	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを支持する！	現状、原子力発電を制御できているとは言い難い。技術的には福島の災害が示す通り、定常運転時の管理はできているが、異常事態にはまったく知識・技術・設備が足りていない。今後も一朝一夕で改善されるはずもなく、それでいて一度放射能が漏れれば、被害と損失のレベルは予測できない膨大なものとなるのは想像に難くない。また、現状の原子力発電関係者の、天下りや独占による保身馴れ合い体質は、技術的なもの以上に改善の見込みがないと感じられる。 そこで、今後の日本の方向性をどうするかであるが、世界的に見て、エネルギーはクリーン・再生エネルギー（自然エネルギー）にシフトしているのは明らかであり、日本もその流れに積極的に進むべきと考える。 そもそも資本主義社会において、新分野での地位確立は取りかかりが早く、大きな投資をしたものほど有利である。日本国内でも一般企業においては関係業種の大企業から中小企業まで、とっくに研究開発を始めている。しかし他の国によっては国家レベルで研究開発を推進しているところもある。日本が優位に立つには、ただちに政府が一大プロジェクトとして思い切った予算取りをし、出し惜しみせず、まずは大判振る舞いにばらまいて企業支援をすべきである。それによって技術レベルアップはもとより、普及が進み、一般家庭への負担も最小限に収まると思われる。 技術レベルを上げる事は同時に、クリーン・再生エネルギー（自然エネルギー）分野のメイドイン日本を海外に示す事にもなり、特に新興国への大きな市場が開かれる。 国内的には、従来の箱物公共事業費をクリーン・再生エネルギー（自然エネルギー）型の設備（発電装置や消費装置）建築費に充てることで、雇用を促進し、景気回復。また東日本の復興地においては、復興と、世界にアピールする新エネルギーモデル都市創造の一挙両得を狙える。 自然エネルギーの推進は、同時に火力発電などによるCO2排出も抑制でき、地球環境分野でも日本の存在をより示すことが可能となる。 最後に、やはり生活の負担よりも安全が第一である。また国民の不安を煽らなどといった理由を元にして、情報操作や、ジリ貧政策を行うのが国民としては最も負担が大きいのである。ぜひ前向きな政策のご検討をお願いしたい。 以上
30010	個人	会社員・公務員	30代	男性	エネルギー環境に関する選択肢に対する意見 2030年に原発ゼロではなく、即刻原発ゼロを主張	そんなに原発を稼働させたかったら、国会議事堂の隣に建ててみろ。 安全なら可能ですよね？？駄目ってことは安全じゃないんでしょ。。。 それを人口が少ない所に建ててもいいなんて、法律からして間違ってるんじゃないの？ 地元の人間は原発マネーを期待してるみたいだけど、麻薬漬けにしちゃってるのと同じだよ。本当に儲かってる奴なんてほんのひと握り。 地震大国の日本に原発って、ある意味北朝鮮の核兵器より危険だって世界の人は気付かないのかね。 核武装してるのと一緒だから、ある意味日本を守ってるって事ですかね(笑) 政治家はあんまり国民を舐めるんじゃないよ。いつまでも言いなりになると思ったら大間違いだ！！
30011	個人	パート・アルバイト	60代	女性	原発ゼロシナリオ（即時）日本中の原発をすぐに停止して廃炉にする。	地震国日本において、原発はあまりにも危険すぎる。いったん、３１１のような大きな地震に見舞われたら、そのあとの被害が大きすぎて取り返しがつかない。いったん暴走したらコントロールできない原発や、放射能を消す技術がないのに原発を動かすのは、理論的にもおかしいと思う。また、原発の中には活断層の上に作られているものもある。安全なエネルギー技術が普及するまでは不便で、我慢しなければならない生活になったとしても、原発はすぐに止めるべきだ。
30012	個人	家事専業	30代	女性	私はゼロシナリオを支持します。	地震の多い日本で二度と福島の二の舞を出さないでほしい。負の遺産をこれ以上増やさない。子供たちが一番の被害者。
30013	個人	パート・アルバイト	40代	女性	(1)ゼロシナリオでお願いします。	原発の再稼働はしないでください。子供たちに健康な未来を残す為に、原発はゼロにしてください。 ・もっと省エネルギーの取り組みを進めてください。 ・もっと自然エネルギーを推進してください。 ・既に破綻している核燃料サイクル温存が2と3のシナリオです。再処理の廃止を決めてください。 原発に依存した大量消費社会を脱却した社会を望んでおります。
30014	個人	会社員・公務員	40代	男性	20～25%シナリオがベターと思います。	現実的なチョイスであり、急にゼロとしても逆にコスト高で省資源に逆行しそう。上記シナリオに並行して、革新的なエネルギー開発を促進させ、実用化を早める施策を実行し、前倒しで、革新的エネルギーに切り替えれば良いと思います。
30015	個人	会社員・公務員	40代	女性	すみやかに原子力発電を止め、太陽光、風力、地熱等の再生可能エネルギーへの転換を求めます。また、発送電の分離も行い、発電方法等で購入する電力が選べるようになる事も求めます。	原発が安全だという根拠がどこにもない。 また、原発を稼動せずとも当面の電力の供給には困らないことが、明らかになっている。 ウランの採掘から、放射性廃棄物の処分に至るまで、大勢の人の被曝なしには原発が成り立たない中で、その方達の犠牲の上に発電された電気を使いたくない。 これまで事故が起こった際、電力会社や政府から、正確な情報が伝えられてこなかった経過を考えると、今後も私たちの命を最優先に考えて手だてを尽くしてもらえるとは到底思えない。 原発から出る放射性廃棄物、現在福島で除染された土等、処分の先行きも見えていない。 日本は自然のエネルギーに恵まれた国なので、早急に再生可能エネルギーの研究、実用化を支援して行くべきと考える。そこから、新たな雇用を生み出すことで、日本経済の回復をはかって行くように政策転換をしてほしい。 スウェーデンのように、発送電を分離して、どんな方法で発電された電力を購入するのか、個人が選べるようになってほしい。
30016	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は即時撤廃 依存率ゼロにしてください。	あれだけの事故が起こっているのです。そして、誰も責任を取っていないのです。 「安全です。大丈夫です。」と言われても信じられますか？信じられないですよ。 そんなもん再稼動するって野田は気が狂ったのか？「私の責任で再稼動」？？？もうすぐ内閣解散やんか。あんた責任取れへんで。 野田内閣は消え去って、原発再稼動の事実だけが残る。無責任ずぎるぞ。
30017	個人	会社員・公務員	20代	女性	可能な限り早急に原発を停止する『ゼロシナリオ』の選択を望む。	今回の震災で生産者がうけた風評被害および人々の心的被害は大きすぎる。また混乱により招かれた過剰な節電対策による経済被害を繰り返してはならない。今、原発ゼロに向かって計画的に行動しなければ再び災害にあったとき、被害を繰り返すことになる。このようなことがあれば海外からの日本の評価はさらに落ち、今回以上の経済的ダメージは大きくなる。 一部の原発を残すとした場合、どこの都道府県にその負担を負わせるかという問題が出てくる。一部の国で行われているようなエネルギー源の選択を個人に行わせる場合でも、使う人間とそのリスクを負う人間とを一致させることができない。このような矛盾を続けるのは妥当ではない。 再生可能エネルギーの開発に注力することで、技術力の向上、技術の海外輸出などが見込める。長期的に見れば、原発ゼロを目指すことで起きる行動が経済の発展に寄与すると考えることもできるのではないか？ 以上の点から、短期的には経済的負担を追ってでも原発ゼロを目指す価値は十分にある。

30018	個人	無職	60代	男性	・原発の使用済み燃料の危険性が、経済効率をはるかに超えて害をもたら すものである事。 ・使用済み燃料を、地震の多発国で10万年を超えて安全に管理すること は不可能。 ・直ちに原発ゼロに。	放射性廃棄物の無毒化、あるいは完全な管理方法が確立できるまで、 人間は原発を道具として使ってはならない。 原発を動かすことで発生する放射性廃棄物は、 「10万年後でも人が近づくことが出来ない放射線を出し続ける」 と、言われている。 今の便利さ 今の経済性 今の国の富のメリット 今を生きている人間のメリット を理由に人間が最後まで責任を持って管理出来ないものを、 発生させ続けることは、絶対に許されることではない。 この様なことはたとえ神様であっても決して許されることではない。 まして今を生きる人間が、人類が滅びてしまっているであろう10万年後 の地球に対して責任を取れないことを して良い訳が無い。 今を生きる人間として心より深く、深く、お願いします。 これ以上罪を重ねたくありません。 直ちに原発の運転を全て止めてください。
30019	個人	自営業	60代	男性	「原発ゼロシナリオ」を選びます	「原発ゼロシナリオ」を選びます。 ・放射線がどれほど恐ろしいかご存知でしょうか。 ・放射性物質は、たとえ微量であっても体内に入ると細胞の関近で放射線を出 し続け染色体を傷付け破壊し癌や奇形の発症の原因となるのです。 ・自分がまた家族や子孫、友人が癌や奇形になることを誰が望む でしょうか。 ・原子力発電は、その燃料となるウランを採掘する段階から作業員 や地域の住 民が被曝し、稼動に至っては作業員や地域住民が被曝するばかりか温排水に よる環境の破壊、さらに交付金によって自治体制が歪められ、住民はシガラ ミで自由な発言が出来ません。環境の破壊に止まらず地域の融和にも亀裂が 生じています。 ・また大手のテレビ、新聞は原発マネーに抱きかかえられて原発に不利な報道 は極めて控えめです。報道の公正をも原発は歪めているのです。 ・さらに原発から出る膨大な量の使用済み核燃料、プルトニュウムは核燃料サ イクルも破綻し処分は未解決のまま、次世代に背負いきれない重い負の遺産 として手渡そうとしています。 ・これ程の無責任、無責任の上乗せがあるでしょうか。 ・原発はたとえ事故が無くてもこれだけ深刻な危険があるのです。我々はこの 掛け替えのない地球生命体の存続の為に原発と核兵器との決別を選択しなけ ればなりません。 ・我々は昨年の3月、福島第一原発の事故を経験しました。 ・この未曾有の大事故・人災から我々日本人は、いったい何を教訓として学ん だのでしょうか。 ・「あの様な巨大地震、巨大津波はもう決して原発を襲う事はない」といった い誰が断言できますか。 ・為政者の皆さんが目先の利益、狭隘な利害にとらわれ続けるなら歴史の審判 は決して容赦は致しません。 ・いま世界では、かつて250年前にイギリスで起きた産業革命に匹敵する「自然エネルギー革命」が起きているのです。 ・ドイツでは既に「100%再生可能エネルギー地域」が点から面へと全国へ 広がりつつあります。 ・日本でも直ちに全てを再生可能エネルギーで賄う事は出来ません。しかしこ の事を原発存続の理由としてはなりません。 ・当面の不足は火力、水力などで補い、早急に自然エネルギー普及のために政 策を拡充すべきです。 ・小規模、分散型の太陽光エネルギー、小型風車、木質バイオマス、バイオガ スなどの地域資源を活用すれば地域産業の育成、振興が起きます。地域が豊 かになれば国全体も豊かになります。 ・大切なのは、原発が地上の全ての生命にとって著しく危険である。特に巨 大地震が再びいつどこに襲うか予測のつかない地震と火山の列島・日本にお いては、なおさらである事を直視して、目先の利益にとらわれることなく廃 炉に伴う経済的な負担を国民の総意で覚悟して、原発と決別する意志を今こ そ明確にすべきである。
30020	個人	パート・アルバイト	30代	女性	(1)ゼロシナリオ	科学的合理性、経済的合理性、どの角度から考えても 原発を続ける理由がわかりません。 政府は原発を推進する本当の理由をはっきりと述べるべきです。 そうでなければ、何時まで経っても話は平行線。 議論も十分にしないまま、原発を動かし続けることで、今尚、被害に苦しむ福島の方々を侮辱しています。 二度も踏みにじるようなことをしないでください。 不誠実な態度を取り続けることを、恥ずかしいと思ってください。
30021	個人	無職	40代	男性	エネルギー環境に関する選択肢に対する意見について 「ゼロシナリオ」を主張します。	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「ゼロシナリオ」を主張します。 今後、我が国のエネルギー政策について、ひいては我が国が進むべき 生活体系について国民的な議論を行うことが必要だと思われます。 脱原子力発電は、その議論の前提であり根幹とすべき事項であると 考えます。 従って、全ての原子力発電を稼動しない、廃炉とするゼロシナリオを 支持いたします。
30022	個人	会社員・公務員	40代	女性	1～3案のいずれも反対です。原子力エネルギーに代わるものが開発されない限り、原発依存度を震災前以下にすることに反対します。	中国や米国をはじめ海外の国々では原発を建設し、推進しようとしているのに、なぜ日本だけが脱原発とヒステリックになっているのか理解に苦しむ。日本の原子力技術を認め、ほしがっている国もある。現状では自然エネルギーが原子力エネルギーの代わりにはなりえないと思う。電気代の高騰による経済的なダメージは大きすぎる。日本に企業はいられなくなる。働く場所がなくなる。日本での経済活動はできなくなる。石油をバカ高く輸入しているが、中東情勢が不安定な状況で、もし、石油が輸入できなくなるような状況になりでもしたらどうするつもりなのか？経済的にもエネルギー安全保障の観点から代替エネルギーがない状況で原発依存度を下げるのは日本の国益を損なうと思います。
30023	個人	無職	40代	女性	ゼロシナリオ支持、全原発をこのまま再稼働せず廃炉を求めます。	放射能汚染のリスクを御地と下請け・孫請けの下層労働者に押しつけなければ成り立たない原子力は、差別を構造化する非民主的な技術であり、採用すべきではありません。
30024	個人	その他	40代	男性	3つの選択肢では原発0%以外ありえない。加えて、可能な限り早期に原発ゼロにし、省エネ30%以上を達成するような意欲的なシナリオを描くべき。	1．原発0%を選択すべき理由 1．1地震の活動期に入った日本では原発の安全確保は不可能に近い 東電の原発17基は、すべて地震で損傷した。とくに、柏崎は地震でひどく損傷した。地震の規模はM6.8であり、日本では珍しくもないものだ。このくらいの地震はいつどこで起きても不思議ではない。『今回の福島原発事故は、二千年に一度の地震と津波があったから起きた。こんな事故は滅多に起こらない。』という楽観論に立つのであれば、それこそ、安全神話第二幕の始まりといわざるをえない。大飯原発再稼働によって、もうすでに始まったのだなと思う。さらに、活断層の上に原発の重要施設があることも、かなり以前から指摘されている。にもかかわらず、大飯、志賀の調査がこれからというありさまである。大飯に関しては5月以前より専門家が活断層の危険を指摘していたのに、再稼働を強行したのである。このような安全性確保で再稼働をすることは許されない。都合のよいデータで、都合のよい学者が、都合のよい想定をしてきた。その結果が東電原発事故なのです。地震の想定も、津波の想定も、活断層の想定もすぎた。危険を指摘されていたにもかかわらず、対策は後回しにして、電力会社の経営を優先してきた。安全コストを惜しんで、40兆とも80兆ともいわれる損害規模の事故を起こしたのです。減多にない巨大地震がなければ、津波がなければ、事故が起きなかったと考えるのであれば今後も過ちを繰り返します。今までこのような事故に至らなかったのが不思議なくらいです。起きるべくして起きた事故です。このようなやり方を続ける限り、また事故は起きると覚悟すべきです。にもかかわらず、何もなかったかのように、電力会社の経営のために再稼働してしまったことに怒りを覚えます。 1．2放射性廃棄物の最終処分がいまだに出来ないこと。 地震処分は処分地さえ決まれば、技術的にも可能で積立金もあると聞いた。しかし、何万年も地殻変動の影響を全く受けない土地などあるのか、それを証明など出来ないだろう。たぶん大丈夫という予想のもとに、万が一のことは考えないというのはだめである。失敗は許されない。技術的に可能という意味が分からないのである。積立金についても、少なくとも三百年分はあるのだろうけれど、数千年、数万年分はないだろう。そもそも数百年以上の先を計画するなどばかげている。 1．3福島の被害規模だけを問題にするのではなく、最悪の事態を想定して事故時の損害に日本が耐えうるのかを考えるべき。 今回の福島原発事故の放射能による死者はいないという人がいる。そうだとしても、福島ではバリケードを築いて立ち入り禁止にするほどの地域が出来た。このことだけでもとんでもない被害だ。今回の事故から学ぶべきことは、福島の事故が原発事故として起こりうる最悪の事故ではないということだ。国家が破綻してもおかしくない、最悪の事故が否定できないことを考えるべきだ。事故が起きないようにするのは当然だが、起きてしまったらどう対処するのかを考えていなかったことが、国と電力会社の一番の問題点なのだ。国家が破綻するようなことになったら、どうするつもりなのか考えてください。 2．原発を稼働するときの最低限の条件 事故が起きた場合の最悪の想定をして、どれほどの範囲でどれほどの汚染となり、何ミリシーベルトまで被爆を覚悟するのか、という基準をきめておくべきだ。今回は事故直後に、政府が勝手に食品の基準、作業員の被爆限度などを変えてしまった。緊急時ということだろうけれども、今後もこのような場当たり的な対応をされては困る。日本国中どこに住んでいても原発事故の避難区域にならうるのだ。現在、福島での対応を見る限り、日本では子供でも妊婦でも年20ミリシーベルトまでなら避難させないし、国としては避難を支援することもない。今後も、20ミリシーベルトまでは避難しないということで覚悟できるのか国民にきちんと問うべきだ。本来であれば、住民の意思を尊重して、避難を選択するのであれば経済的にも支援をするなどの補償があってしかるべきだ。 3．省エネ、温暖化対策などについて（省エネ目標を30～50%に） エネルギーをどうするか、ということは暮らし方全般を見直すことだと考えます。省エネについていえば、3割くらいは減らせるのではないでしょうか。無駄なエネルギー消費やCO2排出は減らせると思います。都市部においては自家用車は必要のないものです。ただでさえ過密な都市空間で、公共交通機関も充分であり、買い物などの利便性もよいのに、車など必要のないものです。ナンバー規制などして自家用車を減らせばCO2削減にもなります。そこまでしなくても、市街地でのアイドリング禁止を徹底することで、無駄な廃熱を減らすことが出来ます。エアコンの使い過ぎや廃熱も押さえられるのです。電力ピークをなくせ（省ラッシュの渋滞なども、休みの取り方を変えるなどして、緩和させることを考えるべきです。原子力でCO2削減などという怪しげで根拠不明確なことをいう前に、出来ることがあるはずです。カーシェアリングや公共交通機関の利用を増やすなど、ずいぶん前から言われていることですら、ろくにやっていない。にもかかわらず、原発を減らせばCO2は増えますなどというのは、政府及び官僚の怠慢ではないかと思います。電力エネルギーは日本の総エネルギー消費量の3分の1以下でしょう。原子力が電力の高々3割をまかなってきたといっても、全体の1割くらいのものでしょう。電力以外も含めて、2030年までに1割の総消費エネルギー削減が達成できなくて温暖化対策も何も出来はしないと思います。
30025	個人	会社員・公務員	40代	男性	即刻、原発はすべて停止すべき！	国土の狭い日本国内で原発は危険性が高い。 また、地震の危険性は世界中のどの国より高い。 今回の事故は不幸であるが、日本人はこれまでも 逆境をバネにして立ち上がってきた。 今回も原発に頼らない国を築くチャンスと考える。 廃炉のノウハウの蓄積や新しいエネルギーの開発によって、 世界の中で日本が優位に立つ契機である。 過去の遺物に拘泥した結果、滅んでいった国や文明は、 数知れないではないか。
30026	個人	家事専業	50代	女性	原発ゼロシナリオ、それも可及的速やかに行うことを望む。	原発ゼロシナリオを可及的速やかに実施して欲しい。福島の事故および過去の原発事故を見ても分かるように、原発を人間が完全にコントロール化に置くことは難しい。たとえ今回の福島の事故を最大限に反省して対策をとることができたとしても、自然災害およびそこから派生する人的災害に完全に対応することは無理だと思う。事故発生のリスクは頻度として大きくはないかもしれないが、一度起きたときの被害の甚大さ、収束への道のりの困難さを考えると、他のエネルギーにおける事故とは比較にならない。日本列島という脆い基盤の上で、さらに原発村に例えられる利権重視の安全ボケをしている関係者および責任を取れない政府にこれ以上危険を冒す権利を与えるわけにはいかない。これは未来のこどもたちへ大きな負の遺産を残すことを避けるという意味でも重要である。税金を使うならば新しいエネルギー施策へ使って欲しい。また、エネルギーは限りあるものであるので、現在のような消費社会自体を見直す必要がある。物を作り壊しの繰り返しの消費型社会で潤沢なエネルギーを期待する時代は終わった。政府は100年先のことを考え、新しいライフスタイル、新しい産業構造を提案すべきである。そして、ただちの原発ゼロシナリオに向けて動くべきである。
30027	個人	無職	60代	男性	再起動原発の即時停止、東電、保安院などに原発事故の責任を取らせる. 全原発は廃炉. 地震国・日本に安全な原発はありえない. 自然・再生エネルギーに国は注力すべき. 原発の輸出はやめる. 低線量被曝を無視しない.	（1）再起動させた原発は即時停止すべきです. 原発の再稼働は福島原発の事故を調査し, その原因を探り当ててから, 再起動の是非を決定すべきです. 国会事故調の報告書が出ましたが, 国政調査権を使用して調べる作業は未だ行われておらず, 今後の国会に委ねられているはずです. （2）福島原発事故を引き起こした東電, 保安院, 原子力安全委員会, いずれもなんの責任をとっていません. おそらく「予想外の津波の巨大さ」に帰して免責されるという考えでしょう. 安全神話を押しつけて警告を圧殺し対策を怠ってきた彼らに刑事罰, 行政罰がなされるべきです. （3）原発は即時に廃止すべきです. 核燃料サイクルも最終処分方法も確立されておらず, このままでは人類の長い未来に向けて極めて危険な負の遺産をさらに積みますことになります. （4）日本はよくに地震国であり, 地震学者のいうように今後数十年越くといわれる活発化時期に入っているようです. 原発はこれら地震に耐えられるとは考えられません. これには二つ理由があり, 一つは人為的理由で信頼性ある耐震調査がなされていないこと. これは志賀や大飯で活断層調査がずさんになされていたことに現れていて, 現在, 安全と言われているすべてが信用できません. 二つ目に, 国会事故調が可能性を指摘したように津波ではなく地震によって原子炉や格納容器に致命的な障害が出ていた可能性があります. この探求は現地調査もなされずに放置されています. 現行の耐震基準が問題となるからだと思われるが, これを敢えて政府・保安院などは押し隠そうとしているように見える. （5）自然エネルギー, 再生エネルギーに最大限, 国として注力すべきであって, 持てる資産を集中させるべきである. 開発の成果をとくに中国に提供して, 中国が稼働, 計画中の原発の廃止を働きかけることが必要である. 中国で福島のような原発事故が生じた時, 偏西風にのって日本にもたらす放射能被害はすさまじいと予想すべき. 黄砂を想起せよ. （6）原発の輸出はやめること. 中国やベトナム, 韓国などの原発事故で日本を囲む海の汚染がどのような被害をもたらすか想像すべきである. 原発輸出で企業は儲けるだろうが, 事故時に国民と国内産業が受ける被害は甚大である. （7）某電力会社社員が福島原発事故で死者は出ていないという無知としかいいようのない発言をしたようである. 直ちに原発災害によってもたらされた生活苦から死者が出ていることが反論された. さらに, 放射能で直ちに死者が出るという原子爆弾によるような被害はないが, 低線量被曝がまったく無視されている. これは広島, 長崎の被曝でも日本は研究を行わず, ひたすら原爆, プルトニウム爆発の効果の観点から進められてきたにすぎない. 薄く広く, そして部分的に濃く, 原爆数百発分の放射性物質が散出されたはずである. 海洋に流れ出た分もある（これはいずれ国際的に問題になるだろう）が, 日本国内に堆積している放射性物質による人的被害が今後数年から十数年掛けて顕在化してくるだろうと思う.
30028	個人	無職	60代	男性	ゼロシナリオを進めるべきである。 関電大飯原発3・4号機も直ちに止め、全原発の廃炉を進める。第2のフクシマの覚悟なしに、他は選択できない。もしそうなったら、この国は破滅するほかない。	1995年のもんじゅナトリウム火災によって、核燃料サイクルはすでに破たんしている。それを糊塗して、プルサーマルなどという邪道に走り、六ヶ所再処理工場建設にムダ金を浪費した。 オシャカになったもんじゅも、いまだに延命させようとしている。 起こると警告されていたナトリウム火災がもんじゅで起こり、原発震災が東電福島原発で起こってしまった。にもかかわらず、今なお原発延命・新設のシナリオを提起する神経が理解できない。 もはや持っていき場のなくなっている使用済み核燃料、10万年を超えて安全に保存しなければならない負の遺産をこれ以上増やしてどうするつもりか。冷静に考えたら、原発による総発電量と、この先必要な廃炉以降のエネルギー総量とを比べタラ、収支はマイナスになる。 以上、目先のちゃぼけな利益のために、未来を閉ざす愚かな行為は許されない。
30029	個人	無職	70代	男性	原子力発電は今後とも進めるべきである、現在の世論はヒステリックである。 原子力の必要性を説く者は悪者扱いにされ口を封じられている。	原子力発電は進めるべきだと思います。 1.資源のない日本で将来のエネルギー確保のため必要不可欠である。 2.環境保全（二酸化炭素の排出量抑制）のため必要 3.原子力発電に関する多方面にわたる技術開発、その保全が必要 4.不幸にして津波のため大事故がおきたがこれの原因を究明しより安全性を高 める対策を立て世界の原子力発電の安全にに貢献すべきである

30030	個人	会社員・公務員	50代	男性	これからの日本の電力供給について	昨年の東日本大震災で、福島第1原子力発電所があの様な悲惨な事故を起こしました。 原発は安全だ安全だ、と再三にわたって教育や社会全般で言い続けられて来たのに、はかなくもこんな重大な事故を引き起こされて国民は皆参ってます。 既に被曝し健康障害が潜在化して来ており、未だ収束がされていない状況において、なぜか断層もあると言われている大飯原発が再稼働されてしまいました。 また同じ様な震災が襲いかかったら、もう「想定外」では済まされないのに、原子力安全保安院は政治家が決めたことだと、うそぶきながら認めてしまいました。 こんな無茶苦茶なことがあるのでしょうか？ もう3回も被曝した日本国民の電気エネルギーは、もう自然災害の前にはなすすべもない危険極まりない原発ではなく最高水準の熱効率を誇る火力発電所へのシフト（新設・更新）ではないでしょうか？ 熱発電も火山国日本で、なぜ今まで行わなかったのでしょうか？ 波力発電も同様です。 日本はヨーロッパと比較すると20年は遅れています。 国立公園法など関連法規の、早急な変更をお願いします。 天候で大きく発電量が変動する太陽光発電も、あんな2009年のドイツの様な高額な金額で買い取っても、すぐに破綻します。 ちなみにドイツは既に現在買い取り価格が半減しております。 また国内の電力は周波数問題があります。 周波数変換の可能な変電所(容量)を早急に増大出来る様に、国で今後の目標基準を作って下さい。 同一周波数の他電力との系統連携も国で後押しが必要です。 特に海底ケーブルや長距離の超高圧送電線の確保が必要です。 この場合もちゃんと自然災害を考慮し、違う地域を通過する複数の幹線で計画することが重要です。 以上、ちゃんと納税している一国民としての意見です。 よろしくお願い致します。
30031	個人	無職	60代	男性	直ちに原発ゼロを望んでいます。	海外在住の日本国民です。直ちに原発ゼロを望んでいます。
30032	個人	自営業	30代	男性	「ゼロシナリオ」を支持します。原発の問題点を身をもって知る地震大国日本が、国際社会に対して進んで脱原発を訴え実行する。唯一で当たり前のシナリオだと思ってます。	福島第一原発事故の原因究明が進まない現在の状況や、震災後の活断層の変化に対する調査の不備など、原発再稼働に対する安全性が担保されていない。また、メタンハイドレートなどの新たなエネルギーへ移行できる可能性に対して、不可能性も含めた説明がなされていない。過去を検証し、未来へ繋げる、その当たり前のことをしようとするならば、自然と「ゼロシナリオ」が議論の出発点になるべき。
30033	個人	自営業	40代	男性	2030年原発依存度はゼロシナリオ。原子力を取り巻く産業構造は日本のこれからの成長を阻むものに他なりません。	日本の景気後退や各種発電技術の進歩に関わらず、なぜ日本の原子力発電所は右肩上がりで増え続けたのか。一つの大きな要因には総括原価方式により、かけたコストだけ電力会社の利益も増えるという構造が上げられると思います。電力自由化、発送電分離、総括原価方式の廃止、このような過程を経て行けば原子力発電は2030年よりもはるか前に全廃できるはずです。なぜならば原発は経営的に「割にあわない」からです。 放射性廃棄物の最終処理はどのようにして、どれだけの費用がかかりますか？中間貯蔵施設を作り維持するコストはどれだけかかりますか？核燃サイクルに後どれだけの時間と費用をかけるつもりですか？福島の避難している方々を早々に帰し、保証や賠償は打ち切り、後は知らん顔ですか？ 原子力発電を取り巻く産業構造は戦後日本の古き悪しき負の遺産です。早くこの構造から脱却し、地域が活性化し人々がささやかな幸せの中で笑顔で暮らせる日本になるよう、道筋作りにどうぞご尽力下さい。よろしくお願いいたします。
30034	個人	自営業	50代	男性	いずれは原発に変わるエネルギーがよいですがいまは。いまは原発30%維持が望ましい選択です。	何年目にしての大地震と津波だったのでしょうか、地球はマントルの上のプレートに乗ってる以上絶対と言うものはありえません、広島、長崎も67年しか経っていないのにみんな住んでいます。 原発0で国力が衰退して寂ぶのは中国人や近辺諸国です。日本が世界のだめ国力を増強し影響力を示さないと中国のような一党独裁、奴隷にも等しいチベット、ウイグルなどの二の轍に日本がならないよう繁栄、発展していきましょう。

30035	個人	会社員・公務員	30代	男性	・2030年を待たずとも原発依存率をゼロ ・太陽熱エネルギーを活用 ・蓄電技術の向上 ・化石燃料の節約	「2030年を待たずとも原発依存率をゼロ」 水力発電は水を、火力発電は酸素、熱、可燃物のいずれかを止めれば発電しない。 原子力発電は制御棒を出し入れすることにより初めて制御できるが、 制御棒がなくなるとメルトダウンにつながる。 放射線に弱い人類では、本質安全でない原子力を制御しきれない。 「太陽熱エネルギー・廃熱を活用」 太陽エネルギーは太陽光発電によって利用されつつある。 しかし、太陽熱エネルギーはあまり利用されていない。 日本の周囲には広大な海がある。 集光し発生させた熱と海洋との温度差で発電する技術の開発を進めるべき。 100度程度の排熱は利用価値がなく大気に捨てられている。 わずかな温度差でも発電できる技術を開発すべき。 大気のない宇宙空間では、日向と日陰で同程度以上の温度差がある。 このわずかな温度差でも発電できる技術があれば、将来の宇宙開発にもつながる。 「蓄電技術の向上」 電化製品には、定常的に電力を必要とする物と、瞬間的に電力を必要とする物がある。 前者は、従来通り、省エネ性能を上げていけばよいが、 後者の例えば、電子レンジ、ドライヤー、エアコンの起動時などは、 製品の性能を決めている要因なので省エネ対策を行いにくい。 各家庭毎に十分な蓄電機能があれば、瞬間的に電力を必要とする物があっても、 電力会社と契約する電力を下げることができ、 また、電力会社が準備する供給電力を少なくすることも可能になる。 「化石燃料の節約」 ニュートンが発見した運動方程式によると、 物体が等速で移動しているとき力は要らないが、 加速するときは力が要る。減速するときは力が発生する。 近年、減速するときに発生する力をエネルギーに変えて回生する技術が発達してきている。 しかし、加速するときの力は、回生エネルギーを活用しているが、 基本的には化石燃料や電力に頼っている。 化石燃料と電力の節約ため、電車、自動車等の正加速度を制限することを検討すべき。 以上。
30036	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発再稼働に絶対反対です。原発新設には尚更反対です。現在建設されている原発も今後30年とは言わずに、可能な限り早く閉鎖するべきだと思います。	これまでに原発に投資してきた資金と時間を考慮した上でも、国民の将来、豊かな自然、健康な生活という基本的人権と社会の資産を守るというのは国民として、また政府としての義務だと思います。今、日本政府が下そうとしている決断は日本国民だけではなく世界市民の人権と平和を脅かす行為で絶対に許されるべきではありません。 脱原発は決して不可能な事ではないし、現に多くの北欧の国々では脱原発は実践されてきています。原発に代わる安全な発電の技術はすでに開発されているわけであり、政府がどのような理由を並べても私は脱原発が不可能とは絶対に思いません。くだらない理由を作り上げて国民また世界市民を欺こうとする日本政府は本当に日本の恥です！ 戦後急速な経済成長を成し、日本は世界に名の通じる国になりました。それは長年海外で生活している私にとって日本国民としての誇りです。日本人の勤勉さ、質と技術の高さはどこの国にいっても一目置かれています。そんな日本がどうして原発に縋らざる得ないのかということは私をはじめ世界の多くの人には理解に苦しむことではないかと思います。 現在急速な経済成長を遂げている中国では、すでにグリーンエネルギーに注目を注いでいます。経済的な面から見ても原発に投資をするということは全くの筋違いだと思います。原発の存続は経済的、社会的、環境的、国際関係的に見てもまったくといって日本国家が将来的に利益を得るという可能性はありません。 ただでさえ少子化が問題となっている日本で、どうして政府は現在以上に出産そして育児が困難と予測される環境を作ろうとしているのかが全く理解できません。 原発問題は電力配給のみに関する問題ではありません。日本政府にはもっと責任を持って日本国民だけにではなく世界の人々に胸を張って納得のいく見解を述べてもらいたいと思います。
30037	個人	自営業	30代	男性	原発ゼロを望みます。 2030年には原発がなくなって欲しい。 再稼働せずにこのまま原発がなくなって欲しい。	子供たちのために安心できる未来がいいから。 安心して海産物や農作物を食べたい。 自然派エネルギーをすすめたいから。
30038	個人	自営業	40代	男性	ゼロ稼働がベスト。 選択肢は、なぜ2030年などという何年も先の3つしかないのか、もっと早期の選択肢を提示すべきだと思う。そして意見がまとまるまで、危ない原発は止めて絶対動かさないのが大前提。	なぜ、地震の活動期に入ったと言われる日本で、無理に原発を動かそうとするのかわかりません。 再び地震がきても原発は大丈夫だなどという、保証はどこにもないはずなのにです。 そして原発で出た核廃棄物の処理の問題はどうするのか、安全な処理の方法も見つかっていない段階で、どんどん核廃棄物を増やすような再稼働をなぜするのか、その理由がわからない。 今の生活を維持するためには、即刻ゼロというのは、難しいというのもわかるが、それならそれで、危震システムもしっかりしていない原発から、優先してなぜ動かすのか、理解ができない。女川原発は震源に近かったにもかかわらず、大きな事故は防げたと聞きました。壊れた原発と無事だった原発があるのなら、その差異はなんなのか、どうしたら事故が防げたのか、そういったことも検証し、どうしても動かさなければいけないのなら、安全なものから動かせばよいと思う。 そして、ゼロ稼働にするとこれだけのリスクと、国民生活の不便があると、もっとキチンと提示すべきだし、ゼロにすると夜間のコンビニも深夜放送もない昭和の時代に戻ります、というのなら、それはそれで、しかたがないこと。そのための道筋を提示するのが、官僚と政治家の仕事だと思います。 選挙のことばかり考えた政局争いばかりで、むだな時間を使わないで、本当に日本の将来を考えた政治を、お願いですからやってください。
30039	個人	自営業	60代	男性	2030年に0%ではなく、ただちに0%にすべき。 国として、強い意志で脱原発を進めるべ(エネルギー・環境を転換する方針を示せば、国民は節電・電気料金の値上げは受け入れる。	たった一度の原発事故(人災)のために日本国土が放射能で汚染され、多くの人々が被爆し故郷を追われた。その責任を誰も取ろうとしない国・電力会社。 絶対安全ではなく、少しでもリスクがあり、事故が発生すると人間が制御できない原発は即刻止めるべき。また、使用済み核燃料の処理の見通しもないまま運転は続けるべきでない。
30040	個人	無職	70代	男性	原子力発電は必要（50%）	自国にはエネルギー源になる資源がほとんど無く、石油等の化石燃料ではｺｽﾄが高くつく(中東の不安まだｼﾞｰﾚｰﾝの不安)、また太陽光発電、風力発電発電等は効率が悪すぎる、(膨大な土地が必要) そして、これ以上光熱費が高くなると工場が海外へ行ってしまいます、出来れば増殖炉(ﾓﾝｼﾞｭ)を早く完成させて欲しいのです。 太平洋戦争もエネルギー問題により始まった様なものです。 今後日本の経済を発展させて行くにつけても、ゆとりがり安定度の高いエネルギー源が必要です。
30041	個人	家事専業	70代	女性	原発稼動即0%に、それ以外には考えられない！ 経済がうんぬんよりもまずは人間の生存権の問題でしょう！！ 政治家は何を考えているのか。	原始力エネルギーを使うことは地球規模で生物(人間も含め)に負の影響を 及ぼすということに政治家や東電、企業人たちは鈍感なのだろうか？ 自分達の子孫に負の遺産を残すことをしてはならないと思う。 あれだけの福島原発事故惨状をおこしておいて、まだその事故の原因究明 もなされていないままなのにな!原発再稼動など狂気の沙汰としか思えない。まずは被災者救済に政府は全力を挙げるべきではないか。 原発再稼動絶対反対！！即0%に。 そのためなら節電に大いに協力、賛成します。 街の中節電できるところは沢山あると思う。 例えば:自販機の数多すぎる、家電製品のトイレの便座、明るすぎる照明、 新幹線スピードを出すための電力量は多大だというがならば少し速 度を落としてもよいのではないか、などなど。工夫をすれば いくらでも節電できるところがあると思う。 子供たちを守るため真剣に考えていかなくてはならないと思う。 政治家たち政党うんぬんしている場合じゃないと思う。超党派で日本 のことを考えてほしい。
30042	個人	法人等	40代	女性	ゼロシナリオを支持します。大飯原発の稼動をいますぐ止めることと、そしてすべての原発を廃炉としていくこと、また他国への原発輸出をとめることを強く求めます。	何をおいても優先すべきは「いのち」です。世界唯一の被爆国として、そして東京電力福島第一原発事故による悲劇を経験したいま、原発を稼動させなければならない理由がどこにあるでしょうか。 ゼロシナリオを前提にした国づくりを市民を巻き込みながら進めるべきです。原発がなくても成り立つ経済、とくに地方にとって経済的な基盤となるべきは、食料とエネルギーの生産です。つまり農業とエネルギー産業をコアとした地域づくりを推進し、都市から地方へ人口と経済をシフトさせていく。犠牲を強いながらの経済は、本当のところ誰も幸せにしません。
30043	個人	会社員・公務員	60代	男性	私は、ゼロシナリオを支持し、今すぐ原発ゼロにすることを求めます。	1、原発からの放射性廃棄物の処理技術がまだ確立されていないのに、原発を止めなければ、半減するのに2万年以上もかかるような最悪の核のごみは増え続けるばかりです。人類や子供たちの未来に負荷をかけ続ける様な最凶のごみの増大をまず止めないのは、大人として実に恥ずべき無責任なことです。 2、早急に発送電分離を行い、太陽光・風力ほかの自然エネルギー発電業者に、学校や役所、その他のあらゆる公共空間の利用権利を安価に提供すれば、夏季や冬季の極一時期にひっ迫するという電力不足の可能性などまるで心配しなくてよくなるはず。 3、日本が、原発の廃炉技術や自然エネルギー利用技術の先端を走ることを国をあげて目指し果敢に実行していけば、技術力・生産力・経済力も飛躍的に伸びるはずだし、世界や人類に貢献する国として世界から尊敬を集められるはず。 4、ドイツがすぐにやったことがどうしてできない！！あれだけひどい事故を起こして地球を汚し迷惑をかけている当事国の政府が、15～25シナリオさえ案として提示する厚顔ぶりが、恥ずかしくてならない。 5、原発事故の恐ろしさは、自然による生命の回復力そのものが、根本的に損なわれる点にあります。今度深刻な原発事故が起きたら、もうこの日本では健康に生きるのは無理になるし、安全に復興そのものを取り組める場所ではなくなってしまいます。原発推進派は、2万年はおろか、この2000年のうちにこの日本に必ず起こる想像を絶するような大自然災害に対して（それは明日にも起こるかもしれないのに）、今も急速に老朽化しつつある原発や増大し続ける放射性廃棄物から、どのように安全を保障できると明言できるのか。まずすぐに原発を止め廃炉を目指す以上の案があるというなら、明確に示して見ろ、と言いたい。
30044	個人	無職	50代	男性	国民の生命への脅威を回避するためゼロシナリオを支持。理由は、(1)原発事故発生時に放射性物質による環境汚染を阻止する技術がない、(2)放射線で傷ついたDNAを修復することは医学的に不可能、の2点。	人間のあらゆる活動の基本は生存にあります。人間が生きていなければ、政治・経済・社会は成り立ちません。日本国憲法も国民の生存権（憲法第13条）と、健康で文化的な生活を営む権利（第25条）を保障しています。 すなわち、国民の生命・健康に対する脅威を排除したり未然に回避することは、国家が最優先で取り組むべき課題といえます。 我が国の中長期的なエネルギー環境政策を決める際にも、国民の生命・健康を脅かす可能性のある施策は絶対に避けなければなりません。事故を起こした福島第一原発は現在も脅威となっていますし、国内の他の50基の原発も脅威の可能性をはらんでいます。したがって、原子力発電を容認するエネルギー環境政策の選択肢は、国民の生存権を保証する日本国憲法に違反しており、いかなる案も採用することができないことは自明です。 もちろん、この立場は、「絶対に事故を起こさない原発」もしくは「万一、事故が起きても絶対に環境中に放射性物質が拡散しない原発」が実現すれば、再考の余地はあります。しかし、技術に「絶対」はあり得ません。それどころか、現在の原子力技術の水準は放射能の脅威を無力化するには程遠いレベルにあります。 非常用電源が作動せず、原子炉が十分に冷却出来なくなったら何が起きるかは福島第1の事故が示す通りです。類似の状況で安全かつ速やかに冷温停止する技術はまだありません。 一方、放射線に被曝した人に関しては、傷ついたDNAを修復して正常な状態に戻す医学的方法はありません。また、放射線が有害なのは人間に限りません。生態系を構成するすべての生き物のDNAが傷つくのです。しかし、放射線が生態系に及ぼす影響については、ほとんど何も分かっていません。 その他、使用済み核燃料の安全な廃棄や廃炉の方法、核テロ対策、放射性物質で汚染された環境の回復など、難問が山積しています。しかし、何にも増して優先すべきは、これ以上、国民の生命へのリスクを高めないようにすることです。 そのためには、(1)大飯原発の稼働をただちに停止する、(2)国内のすべての原子炉を出来る限り早く廃炉にする、の2点が必要です。 政府が憲法を遵守し、賢明に勇気をもって判断することを望みます。 以上
30045	個人	パート・アルバイ	30代	男性	0%、即刻全ての原発を廃止するべき。	人が制御できないものを動かしてはならない。
30046	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオを選択。原発事故を完全に防ぐことが不可能である以上、事故が起きた際に日本のみならず世界を放射線汚染の危機にさらす可能性を無視すべきでない。原発維持のメリットに見合わない代償となる。	ゼロシナリオを選択。 原発事故を完全に防ぐことが不可能である以上、事故が起きた際に日本のみならず世界を放射線汚染の危機にさらす可能性を無視すべきでない。原発維持という私たちの未来にも国際社会にも無責任な選択はすべきでない。原発維持のメリットに見合わない代償となる。これは日本国民が「福島」から学んだことではないのか。 ゼロシナリオを選択した際の産業・国民生活に与える影響は大きくても乗り越えていくべき。それが「大胆なエネルギー構造改革に取り組」むことにつながると考える。「現実的」「落としどころ」を考えている時間はない。

30047	個人	家事専業	50代	女性	1．ゼロシナリオを選択します。 この3つの選択肢の中からどうしても選ぶというならば ゼロシナリオしかないので選択します、それ以外には 考えられません。	再稼働も反対です。原発は稼働しなくても電気は足りています。 原発を廃炉にするためなら協力は惜しみません。 節電だって、増税だって甘んじて受ける覚悟はできています。 ゼロシナリオでは「2030年までに」と書かれていますが、 地震の活動期に入り、確実な安全対策も取られていないまま 原子力発電所を稼働することはあまりにも危険な賭けだと思います。 絶対の安全は原子力発電に関しては全くあり得ません。 現在、原発を稼働せずとも、 火力発電所などフル稼働をすれば電気は足りると思われます。 実際原発稼働率ゼロでも今の日本は電源不自由していないと思われます。 CO2に関しての危惧の言葉が書かれていますが、 原子力発電所の方が二酸化炭素よりも 海水の温度をあげ、地球の温暖化に大きく関わっていると思います。 政府が原子力につぎ込む予算を再生可能エネルギーに回せば 火力に頼る期間も短くてすむでしょう。 わたしは。原子力発電の事故と火力から出るCO2を比べること自体に無理があると思います。 原子力発電所はひとたび事故を起こせば、元に戻すことはできず国土を失うのです。 人の命も未来も失われます。 日本という国家にとってこれほどの大きな損失を覚悟してまで 原子力で電気を発電する必要性は全く無いと思います。 国家が成り立つのは国民が元気で生きているからこそです。 国民の健康なしに国家は成り立たないと思います！ 私は即時ゼロを訴えます。 原発を稼働しないと電力会社が倒産するのならば、 国家戦略として原子力を進めてきた国の責任として、 原子力発電所を全部国が引き取り、 廃炉に向けての政策を早急に取っていくべきだと思います。 そうすれば電力会社もまっとうな電気を 国民のために送ることができるようになるのではないでしょうか？ ついでに、原子力規制委員会田中俊一氏の委員長には絶対に反対です。 反省の言葉は述べてもその後の彼の行動に反省の姿は見られないからです。 原発事故の責任者として刑務所に入ってもいい人物だと思っています。 とても私の命を預けれられる人物ではないことが8月1日の所信の国会で確認されました。 核のために原子力発電を日本が持つことにも反対です。 核は人類を滅ぼすための兵器以外なにもありません。 自国を守るために核兵器を持つくらいならば、 世界を守るために戦う日本を支持したいです。 大昔の自民党の政権構想にはもう、飽き飽きしていました。 だから民主党に期待したのに、 期待をこれ以上裏切って欲しくないです。 脱原発。全て廃炉を宣言してこそ、 今こそ日本が発展できるチャンスと思っています。 みなに選ばれた政府の、政治家の力を最後に信じさせて下さい。 お願いいたします。
30048	個人	無職	30代	男性	核燃料は貯蔵性に優れており、シーレーン封鎖時のような非常時に対応する基幹電源として、不安定な再生可能エネルギーの揺らぎを吸収するため3-4割程度必要である。	核燃料は僅か数百トン程度で日本の電気エネルギーシェアの凡そ4割を占めるほど、スペース効率のよいエネルギー源である。 LNGなどの化石燃料由来エネルギー源はその大部分を中東地域に依存しているため、その経路の安全性、かつ安定的な供給が求められるが、 イラン問題・スプラトリー諸島問題・ボトルネック海峡の存在がリスクとして明らかに存在する。 二度のオイルショックを経験し、またあの悲惨な太平洋戦争を引き起こしたのもエネルギーの入手問題であるといえる。 これらの教訓から得たものは可能な限りエネルギーの入手先は分散されるべきである、ということである。 また、3案に示されるレベルの再生可能エネルギー(地熱・風力・太陽光)は現在の技術・および理論的限界から困難が予想され、仮に実施すると天候によって大きく揺らぐため、起動停止速度に優れた火力による調整が必要であるが、火力発電はCO2の主な発生源であるため、これらを増やせば増やすほど、国際公約であるCO2排出削減に反することになる。 火力によるCO2削減を達成するには火力発電を再生可能エネルギーの発生する供給力揺らぎに対応できる程度にとどめる必要がある。 現実には火力が主力電源であるので、これらの発電所をさらに高効率なコンパウンド発電に移行させるように促すといった政策も必要であるだろう。 同様のことは原子力発電にも言え、少なくともBWR Mark-1炉はさらに安全度を高めた炉に更新されるべきである。 提示された1-3案はいずれも再生可能エネルギーの「可能性」を過大に設定しており、コストを過小に評価している。 原子力は現50基体制を維持ないし微増し、安全でないものは建て替え、今後も日本の基幹電源として利用するべきである。

30049	個人	その他	20代	男性	原発については当たり前に大反対です。 国民の健康、平和、未来を壊すからです。	いうどんな災害（人間にとっての）がおこるかわかりません。 人間の能力はそこまでたかくない。創造者を超えるはずがない。 現に福島の事故をふまえて考えれば誰でもわかることです。 野田総理のいうように国民の生活を守るためとかいっても 国民の命を守るのが先だと思います。 電気なんである程度あれば便利だけどなくても僕は生きていけます。 停電大好き。たまらない。 暗くなったら寝ればいい。明るくなったらおはよーさん。 もはやみんなそれくらいの覚悟はもってるでしょ。 われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたつて自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する 一日本国民として お願いだから主権を持っている国民の意見を無視せずにその意志を 尊重する勇気をもてる政府であってほしい と心から願う。
30050	個人	会社員・公務員	50代	男性	人類を滅亡させかねない、危険過ぎる原発は直ちに廃止するしか、 未来への選択肢はありえません。 地球の資源と再生可能なエネルギーの範囲で、 できるだけエネルギーを使わない社会への転換が必要です。	スリーマイル、チェルノブイリ、フクシマなどの原発事故で、 原発がいかに危険であり、一度事故が起これば、放射能の問題は半永久的であり、 人類では解決できません。 現実的な問題でも、高レベル・低レベル放射性廃棄物の問題も解決できていないし、 今後も解決の見通しはありません。 人類が解決できない問題を、先送りにしたまま、原発の稼働は直ちに止めるしか、 選択肢はありえません。 未来の子どもたちにツケを残さず、 いま私たち大人が、本当に責任をもって未来の子どもたちの幸せを願うならば。
30051	個人	会社員・公務員	30代	女性	2030年までの、出来るだけ早い時期に原発0%を目指す。	原発を0%にする。 これだけは絶対に譲れません。 経済を停滞させずに0%を目指す。 まずは目標に掲げて知恵を出し合うべきだと思います。 例えば 国内の火力発電所は老朽化しており2030年にはそのまま惰性でも新型に入れ替わって行くとのことですが、燃料効率の悪い古い火力発電所を高効率コンバインド サイクル発電方式火力などに、早期に建て替えるべきだと思います。今計画し10年後の2023年には前倒して火力を充実させてください。 基幹電力は、当面火力に頼らざるおえないので、計画を前倒しして、国内雇用創出、燃料費削減してください。 また、要望ですが 原発20-25%を選択する意見は大変参考になります。 そこにクリアすべき問題があるからです。 原発を0%にするにあたって、どういう懸念があるか直視し、知恵を出し合うことこそが、今一番必要だと思います。 意見聴取会で出た発言者の問題提起をまとめを分り易くHPに掲載するなどして、議論に発展させてください。 よろしくお願いします。
30052	個人	無職	60代	男性	(1)の原発ゼロ案を支持します。 ▼現在の状況では第二の福島事故は避けられない ▼エネルギーの総使用量を抑制していく時代に入っている▼電力は原発以外の手段で安価に得ることが可能な時代になった。	福島の事故は、政官財＋学＋メディアの日本の支配機構総動員で作り上げた安全神話の崩壊だった。神話、すなわち根拠のないもの、嘘である。原発は嘘に嘘を重ねて初めて維持できるシステムであることが今回の事故からも明確になった。原発はシステムとして論理的にも倫理的にも破綻している。だが、既設のものに対して改造や設備の付加などで対処することはできない。 福島から得られた知見を生かすことなく、政府は大飯の政治的な再稼働に踏み切り、他原発もなし崩しの稼働を画策していると言われる。不安があるシステムは安全の確認ができるまで止め、再稼働させない、という安全の第一義さえ平然と破られている。この安全原則無視が認められるなら、原発に限らず日本から「安全」は消えていく。原発なら当然、第二の福島がありうる。第二の福島は福島を超えた甚大なる災害に到ると思わざるを得ない。 経済成長至上の時代の見直しも迫られている。日本の電力需要が今後右上がりになるかは疑問。政策的にも使用エネルギーの総量抑制を図って行く時代が来ているのだろう。 幸いに、シェールガス等の新エネルギーの実用化が始まり、既に原発よりコストが安いハウ電が可能になっている。 原発は速やかにゼロにするときである。(1)案を支持します。
30053	個人	その他	50代	女性	原発ゼロに。多額の税金と電気料金を注ぎ込まなければ維持できない原発は、処理することのできない放射性核廃棄物を生み続けます。経済の前にまず、国民の命を重視すべきです。	。
30054	個人	会社員・公務員	40代	男性	日本は、「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。原発立地市町村には、当面の間、新しい地域経済復興の施策を実施することを求めます。	これ以上私たちの子孫に負の遺産を残すべきではないと思います。原発はその処理のことも考えると決してコストが安くつく訳ではありません。国の借金のことも考えると国がもたないのではないでしょうか。このままずるずると原発での発電を続けていくと将来の日本人が危機的な状況に追い込まれる可能性がどんどん高まっていくと思います。日本の叡智、世界の叡智を別の発電に向けていく英断をすべき時だと思います。
30055	個人	会社員・公務員	30代	男性	「シナリオ0」を支持。 ただし、依存度ゼロへの移行の時期は検討の余地あり。 理由1 事故発生確率をゼロにできない 理由2 事故発生時の大きなデメリットを超えるメリットが存在しない	「シナリオ0」を支持する。 ただし、依存度ゼロへの移行のタイムスパンは検討の余地あり。 理由1 事故発生確率をゼロにできない 理由2 事故発生時のデメリットを超えるメリットが存在しない 理由1について 想定外の災害(隕石や人工衛星の残骸の衝突リスクも皆無ではない)、機器トラブルはどれだけ万全を尽くしても必ずついて回る。また、（国会事故調査委員会が福島事故を位置づけた）人災や、テロリスト等の破壊の標的になることなどを完全に防ぐことはできない。 実績としても、小さいトラブルは多発、チェルノブイリ、スリーマイル、福島…といった大規模な事故もそれなりの頻度で発生してきており、割と実現化しやすいリスクを孕んだ施設であることが判明している。 理由2について メリットについては、資料に説明されていたとおり。長期的なコストメリットは失われている。 デメリットは、 「国際原子力事象評価尺度でLV7クラス（世界で過去2回発生）の原発事故による放射能汚染で、長期に渡り居住、食料生産に適さない地が生まれる。住民の不安を払拭しきれない地域まで含めるとかなり広範な地域が影響を受ける」 健康との関係が確実である高レベル放射線や、ヨウ素の甲状腺取り込みはもちろん、関係があることは確実でないとされる低レベル放射線がもたらす不安。 低レベル放射線の健康への影響については色々な研究発表があるが、少なくとも現在は、国民のほとんどが安心できる情報が存在しないし(少なくとも周知されていない)、近未来にそのような状況になるとも考えにくい。 そして、国民が原発との共存で安心できない状況は幸せでないと思う。 愛する土地に住むこと、安心できる飲食を手に入れることは人間の根源的欲求であり、そこは国が一番最初に国民に確保を約束すべきものであると考える。 それが脅かされるならば、経済性云々のメリットはほとんど意味をなさない。人々が経済的に裕福になったら、まず最初に求めたいものがそれらであろうから。 福島の事故による土地・飲食物汚染の不安から、好きな土地、仕事、友人のいる土地を離れて暮らすことを選んだ人が周囲でもたくさんいた。 しかし、それができるだけの選択肢を持っている人は少数で、多くの人は不安を持ちながらもこれまでの生活を継続することを余儀なくされている。 「選挙や政治運営に多大な お金がかかるから民主主義をやめる」という選択肢がないのと同じ構造で、国民の安全・安心の根本を脅かす(生存権に抵触しうる)原子力発電を持つということは、本当は取ることのできない選択肢だったのではないだろうか、とも考えられる。 ■ 方針決定について 国民には色々な価値観があるだろうから、それぞれのシナリオにおけるメリット・デメリットをもう少し具体的なイメージとして分かる形で提示し、国民の直接投票によるシナリオの選択を行うべきものであると考える。 事故後、マスコミを通じて公的機関から提供されてきた原子力発電の事故に関する情報に、多くの国民が不信感を抱いたのは周知の事実である。 提供情報の取捨選択やタイミングが、国民の安全よりも保身、電力・原子力利権の保護が優先されていると感じることが多々あったためである。 このような状況では、シナリオ0以外の政府の決定に対して、国民の理解は得られるとは考えがたい。 とはいえ、感情的に反原発を唱えることが全体の利でもない。 従って、中立・多面的な立場からの情報提供の上、国民が直接投票できる形が好ましい。 それによって、各シナリオが国民に課す責任を納得の上、遂行できるようになるだろう。 そして、今後の発電シナリオの決定は、直接投票するだけの価値がある重要な決定事項と考える。
30056	個人	会社員・公務員	40代	男性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「「2030年に原発0」」	3択方式を提示するまでもないことである。結論は決まっている。4回も爆発をおこしておいて大量の放射能をばらまき、完全復旧もできないくせに、このような議論をするのは、税金の無駄である。納税者を馬鹿にしている。明日から原発0で問題ない。原子力発電はあまりにリスクが大きすぎる。国民の大多数の意見を無視するどういうことになるか、誰のために仕事をしているのかよく考えて欲しい。
30057	個人	会社員・公務員	30代	男性	0%（即時）。原発を動かす場合、安全対策として、東日本大震災以上の地震と福島以上の事故を想定しなければならないが、原発災害は絶対に起こってはならないものであり、事故を前提とした安全対策は成り立たない。	絶対に起こらないとされてきた巨大地震が起こり、絶対に起こらないとされてきたメルトダウンが起きた。そうである以上、東日本大震災以上の地震と津波、福島原発事故以上の深刻な原発災害を想定して安全対策・避難計画がたてられねばならないが、そもそも原発事故は絶対に起こってはならないものである。従って、「事故を想定した安全対策」は矛盾である。「絶対安全」を目指すのであれば、原発をなくすしかないと私は考える。 また、政府・電力会社をはじめとする、いわゆる「原子力村」の原発運営はまったく信用できない。事故直後から原子炉の損傷を認識していながら、「炉心の一部損傷」という言葉を使ってメルトダウンを否定し続けた。SPEEDIによる放射能拡散予測やアメリカから提供された放射線実測データを隠ぺいし、大勢の人々を被ばくさせた責任は重大である。さらに、政府が主張する「20ミリシーベルト安全論」は、大人よりも子どもの方が放射線の影響を受けやすいという事情や、内部被ばくの危険性を考慮しないものであり、累積線量が52ミリシーベルトの原発作業員が労災認定されたケースがあることを踏まえると、政府の基準は極めて甘いと思わざるを天ない。「100ミリシーベルト以下の被ばくの影響ははっきりとはわからない」というのであれば、低線量被ばくでも健康に影響を及ぼす可能性があるとみなして対策を打つべきだが、政府にその姿勢が見られないことには怒りを感じる。 今後、東北を中心として、甲状腺がんをはじめとする健康被害が増加しなければそれにこしたことはない。しかし、チェルノブイリ事故において、当局発表だけで数百万人の健康被害が認められたという事実を考えれば、この先日本でも健康被害が増加する可能性は高い。すでに自殺や避難先での衰弱死が起こっている上に、この先もっとも影響が出るのは子どもである。このことが明らかであるにもかかわらず、原発の維持・推進を前提とした政治を続けるのであれば、この国から「正義」という言葉は、建前としてすら消えていってしまうことになると私は危惧する。 原発以外の発電施設と節電で電力をまかなうことが可能であることは多くの識者が指摘しているところである。原発立地自治体に、原発に代わる産業を誘致するなどの配慮と工夫を行えば、原発をやめることは十分に可能であり、そうしなければ、自分も含めこの国に住む人々から、未来は奪われる。 以上の理由により、私は全原発を即時廃止すべきであると考える。
30058	個人	自営業	50代	女性	震災をきっかけに原子力発電に対して批判の声が上がっていますが、安価で安定した電力を供給することは、国民の生活や生命を守るためにも、大切なことだと実感しています。原発を安易に止めないでください。	昨日（8月7日）、義父が熱中症で緊急搬送されました。エアコンの切れた暑い部屋で寝ていたことが原因でした。エアコンのスイッチは、本人がタイマーのボタンを押してしまって、夜中に切れてしまったようです。朝、様子がおかしいことに家族が気づき、命は助かりました。今、入院しています。 エアコンもありましたし、まさか部屋にいて熱中症になるとは思っていませんでした。数時間、温度が高い部屋にいただけで、命にかかわるような事態に陥るとは、どれほどエアコンがありがたい機械なのか、どれほど電気がありがたいものなのか、あらためて思ったものです。高齢者や乳幼児など、本当に気を付けなければなりません。 今年の7月、熱中症とみられる症状で病院に運ばれた人は2万1000人を超え、7月としては、統計のあるこの5年間で最も多くなったと報道されています。今年に入って熱中症とみられる症状で亡くなった人は、少なくとも89人に上っているそうです。 人工呼吸器など、電気がなければ生きられない人もいることでしょう。安易に原発を止めるのではなく、より安全性を高めるための研究や次世代エネルギーを開発するための研究に、政府は予算を使ってほしいと思います。そして、これからも安価で安定した電力を各所に供給してくださるよう、お願い申し上げます。
30059	個人	自営業	50代	男性	2030年段階の全電源に占める原発の比率について、 (1)0%を選択します。 ただし、30年後ではなく、今すぐに！	事故が起きたとき、日々の当たり前の、生活ができなくる。 生き物や食べ物や水など全てのものが放射能に汚染される。 ガンになりたくない、大切なひとが苦しんでいくはいやだ。 電気より安心して食べれたり、できるほうがいい。
30060	個人	会社員・公務員	30代	女性	核、原発のない、民主主義的環境づくりへ期待	生命と環境は何十億年もの間、電気、経済がなかった時代でも、互いに尊重し、進化を続けてきたのに、わずか100年にも満たない期間の悪行で破滅への道を辿っています。 廃棄物処理問題、ウラン採掘の労働状況、チェルノブイリ事故での被爆地の現状、日本に原発を導入した経緯、等々、あらゆる観点から見て、核、原発は即刻終わらせるべき技術であります。 民主主義という「仮面」を被った政党が作り上げたムラを即刻廃村にし、資本主義というイデオロギーへの問題提議を掲げ、環境、人権についての教育を見直す政治を強く希望します。
30061	個人	パート・アルバイト	50代	女性	安全の確保を前提として、原子力発電比率20～25%を支持します。 原子力発電の運営は国が主体的に実施すべきだと思います。	再生可能エネルギーの拡大は必要と思いますが、電気料金の上昇は日本経済への影響が大きく、産業の空洞化により雇用が脅かされます。 温室効果ガスの削減は待ったなしの状況となっており、原子力発電を現状レベルから大幅に削減すべきでは無いと思います。 再生可能エネルギーの導入コストの大部分は最終的に電気を購入する私たちが負担するのだと思いますが、太陽光発電等を設置できる裕福な家庭や会社を、設置できない経済的弱者が支えるのは公平ではないと思います。 もう少し公平に負担させるためには、家庭や企業の自家発電の自家消費分についても再エネのサーチャージを負担させるべきではないでしょうか。 原子力発電の国策民営については、方向転換すべきです。 原子力災害が発生した場合、私企業では対応に限界があるので、国が関与した会社に集約し、廃棄物の処理や福島第一原子力の対応を含めて一体的に運営すべきだと思います。 その方が国民の安心感も得られやすいと思います。

30062	個人	会社員・公務員	50代	女性	2030年より前に原発ゼロに。とにかく少しでも早く原発ゼロを決め、コストや環境への影響などを考慮しつつ、複数の代替エネルギー開発に力を入れる必要がある。	福島第一原発事故によって、原発がクリーンエネルギーではないこと、一旦原発事故が起きれば国家や民族にとって大変な事態となることが明らかになった。国内の多くの場所で大規模地震が起きる確率が非常に高くなっていることも明らかになっており、原子力発電は、将来の日本のエネルギーの選択肢からは外すべきである。原発の廃炉、使用済み燃料等の処理には大いなる困難が伴い、多くの時間を要することから、少しでも早く原発ゼロを目指すという政策を決定し、実行に移すべきである。活断層の存在が指摘されている原発や40年以上経過している原発は廃炉とすることを早期に決定し、当面はコージェネレーション技術なども活用しつつ、現在は十分に使用されていない火力・水力発電を中心にして、太陽熱・風力・地熱などの代替エネルギー開発にも大いに力を入れていくべきである。 同時にエネルギーの使い方やライフスタイルの見直しも必要だろう。原発事故によってエネルギー不足が叫ばれている現在でも、財政難で増税が必要とされている国の施設でも、無駄な電気が使われている。夏は28度、冬は20度とされている空調温度も、実際には守られておらず、夏はそれより数度低く、冬は数度高くなっている。職場は、夏＝寒い、冬＝暑いというのが実感で、夏は冬服を着て、冬は半袖を着て対処している。夏、入店するのがためらわれるほどの冷気を発している店も少なくない。 少子高齢化の進展によって、必要となるエネルギー量は、減ってくる。技術革新によって省エネ化を進めることも可能である。こうしたことと代替エネルギーのさらなる開発、ライフスタイルの見直しなど、さまざまな知恵を絞っていくことによって、原子力発電の分の穴を埋めることは不可能ではないと思われる。
30063	個人	学生	20代	男性	原発は0%とすべきです。 なお、時期について政府は意図的に2030年を持ち出していますが、その間に事故が起こらない保証はないので、直ちに0%とすべきです。	事故の起こらないプラントはありません。 多重防護のバックアップ機器や対策を含め、100%の信頼性を誰も保証できません。 政府は副大臣を現地に派遣すれば信頼性が増すとでも考えているのでしょうか。 事故が起きた時の被害の大きさを考えると、いくら事故確率が小さくても原発は稼働させてはいけないと思います。
30064	個人	自営業	50代	女性	提示された3つの選択肢から選ぶとすれば、ゼロシナリオを選ぶしかありません。原発ゼロへ向けてエネルギー政策を打ちたてるべきです。	経済はもちろん重要ですが、その経済を動かす人の命のほうが大切です。 命のリスクを背負ってまで、原発に依存する意味を見出すことができません。 まだ収束とはほど遠い福島の状況を見ていると、二度とこのような状況を生み出してはいけないのだと強く思います。 また使用済み核燃料の処理方法もしっかりと確立されていないのですから、いたずらに使用済み核燃料を増やすことは避けるべきです。 日本のみならず、地球規模の環境破壊を引き起こしてしまう可能性があります。 そして、人々の命を危険にさらすことになってしまいます。 是非ともゼロシナリオという勇気ある決断を下していただき、あらゆる英知と技術を集結させて、早期の原発ゼロを目指していただきたいと思います。
30065	個人	その他	50代	男性	日本の将来はゼロシナリオにしかないです。即刻ゼロを求めます。	福島を中心とした広大な国土と太平洋への汚染を引き起こした原子力発電を即刻やめることは、日本人および世界の人々への健康被害と使用済み燃料保管や廃炉コストなどを考えれば自明の結論です。これまでの大量消費経済・経済成長政策を転換して省エネルギーを進めることが急務です。当面の火力発電のコスト増はやむを得ないことですが、各方面でのさらなる省エネ努力を進めるべきです。まだまだムダは山ほどあります。 日本が世界のためにリードできる分野として脱原発と消費エネルギーの削減、そして自然資源保護を進めていただきたい。再生可能エネルギー開発は自然資源に悪影響のないかぎりにおいて進めていただきたい。 長期的には、経済システムの変革に取り組んでいただきたい。つまり、無計画な資源開発・経済成長なしに社会が成り立たないようなシステムをやめ、国民の所得格差の小さい、将来に不安のない社会（全国民への教育・雇用・健康・老後を保証する）を作り上げてほしい。

30066	個人	会社員・公務員	40代	男性	地震国の日本に原発適地は存在しない。原発は原子カムラがリスクとコストを過小評価し隠蔽し、利潤を吸い上げるシステムによって支えられてきた。原発全廃を前提とし再生可能エネルギーへの転換を図るべきだ。	[原発の危険性]地震国の日本は世界で最も原発に適さない。福島第一原発のメルトダウンで明らかになったのは、それにも拘わらず電力会社・国・学者のなれ合いにより極めて杜撰で恣意的な安全審査と規制が行われてきたことであり、その体質は今も変わっていない。活断層の問題が典型的だ。活断層の上に原発を造らないのが前提ならば、原発直下の断層が活断層でないと証明されない限り原発の建設も運転も許さないのが当然である。ところが、事業者まかせの調査と国のおざなり審査で原発建設を許可してきた結果、多数の原発の直下や近傍に活断層が存在する可能性が指摘されている。大飯原発に至っては、活断層の疑いを抱えたまま再稼働し運転させている。活断層であればそれがいつ動いても不思議はなく、その上で原発を運転することは運を天に任せて危険に目をつぶる愚行である。原発の再稼働を議論する前に、全ての原発について事業者ではなく第三者の専門家による徹底的で客観的な断層調査を行い、活断層の疑いが残る原発はその時点で廃路にするべきだ。原発の再稼働について、ストレステストの1次評価は原発が耐性限界を計算したもので安全性の証明ではない。限界を超えた地震や津波が発生する可能性は科学的に否定できず、ストレステストで考慮していない地滑りなどの事態も起こり得るから、炉心溶融を起こすリスクはゼロではない。このような事実を前に、原子力安全・保安院も原子力安全委員会も再稼働の是非を「政治判断」に丸投げしてしまった。1次評価だけで「安全」と主張するのは、「大地震は起きないと信じて我慢しろ」と言うに等しい。さらに、東電は実質国有化された後も、テレビ会議映像の報道を制限するなど、事故原因究明を妨げる隠蔽体質を変えていない。なにより、原発事故の被害者に対する当然の賠償責任を果たさない企業が原発を稼働する資格を持ち得ない。 [コストと電力料金の議論]私自身は、原発を廃止し自然エネルギーに転換するならば電力料金単価が現在の倍でも構わない。第一、近年中に自宅に太陽光発電を導入するつもりだから、購入電力量は現在より大幅に減り、電力料金は問題にならない。太陽光パネルの値下がりにより太陽光発電のコストは既に25円/kWh程度まで低下しており、家庭向け電力料金と肩を並べている。今後10～20年で更なるコスト低下は確実であり、量子ドット太陽電池などの開発で大幅な発電効率向上も期待できるから、大口需要家の電気料金に対しても価格競争力が生まれると予想される。すなわち、企業等も自家用太陽光発電の導入によって購入電力量削減＝電力料金削減が可能となる。特に、太陽光発電した電力をほぼ全て自家消費するような事業所では太陽光発電の投資回収率が高いため、コスト低下によって太陽光発電が急速に普及すると期待できる。このような太陽光発電との競争は電力料金の低下圧力として働く。また、シェールオイル、シェールガスの開発により燃料価格が下がると期待されるから、原発廃止によって火力発電の割合が増しても発電コストが上がるとは考えにくい。したがって、「原発を無くすと電力料金が上がり企業が海外に流出する」という主張は当たらない。なお、『エネルギー・環境に関する選択肢』のシナリオ別発電コストは以下の理由で原発の発電コストを大幅に過小評価している疑いが強く、「国民的議論」の根拠とするのは問題である。 (1)核燃サイクル費用:原子力委員会が核燃サイクル費用を算出しているが、使用済核燃料の直接処分、高レベル廃棄物処分の費用がいずれも0.5円/kWh以下にしか見積もられていない。これらは現在まで場所も方法も決まっていない事業であり、費用を見積もること自体に無理がある。自然に考えれば、この試算より高額になる可能性が高い。 (2)追加安全対策費用:免震重要棟建設、ベントフィルター設置など重要な安全対策の費用を含めていない。 (3)福島第一原発事故の損害額:事故リスク対応経費の基礎として福島第一原発事故の損害額を5.8兆円と算出しているが、損害賠償費用は現在までに確定した分しか算入していない。除染費用も平成24年度までに予算化された分だけで、膨大になると考えられる山林の除染費用を含めていない。また、除染廃棄物の中間貯蔵施設建設費も含めていない。 (4)「モデルプラント」の事故損害額:福島第一原発事故の損害額を福島県以外に立地するモデルプラントに当てはめて補正する際に、原発周辺の人口、産業集積度などの違いを考慮していない。周辺人口が多い原発では損害額も大きくなるはずである。 (5)事故リスク対応経費:コスト等検証委員会はモデルプラントの損害額と事故発生頻度から「損害期待値」を算出しようとしたが、事故発生頻度の値で委員の意見が分かれるなどしたため損害期待値を算出できなかった。それに代わる便法として、「相互扶助での事業者負担費用」として0.5円/kWhを算出した。しかしこれは、単にモデルプラントの事故損害費用(6兆円弱)を(2010年の原発の発電量×40年)で割った値に過ぎない。すなわち、2010年並みの原発が存続すると仮定し、原発事業者全体で40年かけてようやく原発1機分の事故対応経費を積み立てるという話である。当然これでは2機以上が事故を起こした場合に対応できないし、原発による発電量が減る場合は1機の事故損害額にも足りなくなり、事故リスク対応として無意味となる。 (6)原発のコストの扱い:コスト等検証委員会自体も、(3)の理由から、原発の発電コスト「8.9円/kWh」はあくまで下限値であると強調しているが、『エネルギー・環境に関する選択肢』のシナリオ別発電コストはこの値をそのまま引用して計算しているのではないか。上述の理由から、この値は下限値としても過小であり、それをもって原発の発電コストとして提示することは国民の議論を誤らせるものである。 原発維持は、地元住民と消費者にリスクとコストを負わせて原子カムラの利益を守ろうとの方策だ。
30067	個人	家事専業	30代	女性	原発依存度0%にするべきだと思います。 地熱など代替エネルギー対策ぜひお願いします！！	福島のようなことを繰り返さないで欲しいです。 首都圏も福島と同じ位汚染されています。 地震大国の日本で原発は必要ないと思います。 子供達に明るい未来を残して欲しいです。
30068	個人	無職	60代	女性	「原発ゼロシナリオ」に賛成。地震国日本に原発は適さない。福島事故がそれを証明した。国は原発ゼロの時期を明示し直ちに自然エネルギー政策に転換、地域分散型のエネルギー供給に向け電力システム改革を実施せよ。	日本は世界的にも有数な地震大国である。日本は太古の昔から国土いたるところで大地震にみまわれ津波などの自然災害の脅威に晒されてきた。地震は日本固有の自然的条件であり、未来永劫われわれはこの脅威から逃れることはできません。原発プラントがどんなに強靭かつ精密に作られようが、所詮は人間が作り出した「物」にすぎず、人知を超えた自然の威力には到底かないません。福島の事故がそれを証明してくれました。 日本国は2030年といわず、原発ゼロの時期を明示して一刻も早く原発依存から脱却し自然エネルギーへの転換を図るべきです。と同時に、電力自由化や発送電分離など、新たな電力システムの構築が急務です。こうした施策により、新たな分野に市場がうまれ、雇用や新産業が創出されてゆく、まさに未来の日本経済の原動力となると思います。 日本は地熱、海流、風、バイオなどの自然エネルギーを作り出すのに必要な資源は豊富であり、またそれらを開発・発展させる技術者能力も極めて高い。一旦事故が起これば取り返しがつかない事態をまねく原発なぞは持たずとも、長年つちかった日本人の知恵と高度な技術力をもってすれば安全で省エネに富んだエネルギー供給システムが必ず生み出せると思います。その結果、日本はエネルギー分野においても世界屈指の新エネルギー先進国になるのです。 安全で豊な持続可能な社会の実現に原発の存在は適しません。国は一刻も早く原発依存から脱却し、「原発ゼロ」の新たな視点からエネルギー政策を押し進めてください。
30069	個人	自営業	40代	女性	原子力発電について	まず，私はゼロシナリオを支持いたします。 安全が確保できない原子力発電はすべて即刻廃炉にすべきです。 そして自然エネルギーなど原子力発電に変わるものへ 国が大きく梶をきっていかねばなりません。 廃炉作業や新エネルギーの開発に雇用をシフトしていただきたい。 守るべきは電力会社や大企業ではなく国民の生命ではないでしょうか！！
30070	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発廃止を望む。	原発は廃止し他のエネルギー開発に投資することを望む。原発関係者の生活補償、開発設置費の捻出等々難問が多いことはわかる。しかし人は考える力もある。節電の努力や他の協力もする。過ちは繰り返すな。
30071	個人	その他	60代	男性	ゼロシナリオを支持する。 原発は即時、全て廃止すべきである。	原発は下記理由により、即時、全て廃止すべきである。 1.原発は危険である。 2.運転に伴い増大する使用済み核燃料、及び廃炉に伴い生じる膨大な量の放射性廃棄物の処理の技術的な見通しが全くない。 3.上記2の技術的な見通しがないので、将来発生するコストは誰も把握できるはずはないが、運転を継続すれば、それとともに莫大なコストが増え続けることは明らかである。 4.原発がなくても電力は足りることは7月中旬までの電力需給状況が示した。 5.原発に依存し電力を大量に消費する経済及び社会生活は不要。電力需要を現在より25%減らした経済／社会生活で十分である。 6.代替エネルギーの促進により、産業の振興を図ることができる。 7.隠蔽、捏造、ごまかし、誘導、やらせ、など原発を推進する原子カムラの社会的不正義は許すことができない。このような組織は、原子炉と共に、全て解体すべきである。
30072	個人	学生	10代以下	男性	原発割合(1)0%に賛成します	事故が起こった時、怖いからです。
30073	個人	無職	60代	男性	・2030年の原発目標は0%です。 ・ただし、5年毎に自然エネルギの発電の技術レベルを評価して、 もし低い場合は、原発目標0%を見直す事も可能とすべきです。	・現在の3案は2030年の結果しか表現していないので、技術的に 未知の部分が多く、産業界はすぐには怖くて乗れません。 ・一方、今後、石油、天然ガスをメインに位置づけると貿易収支が 大赤字になり、日本経済が潰れてしまう。 ・その為に必要なことは、原発から自然エネルギへの変更です。 以下のステップで変更の可能性を5年毎に評価し、採算性のある　無理のない変更方法を実現すべきです。 ＜変更のステップ＞ 1)原子力発電所の防災性能を至急向上させ、大地震再発に備える。 （防潮堤を高くする。オフサイトセンタのない所は新設する。） 2)自然エネルギの大規模発電が本当に原子力に代われるのか確認。 3)原発の廃炉技術を確立する。(プルサーマルは金食い虫で廃止) 4)ベトナム、トルコは日本の原子力技術を信頼して、入札の 第1指名を受けていたはずです。この際2)が成り立たない時は 指名権を辞退すべきです。 ・1)から3)の技術が確立できれば、福島原発事故の発生国 として、晴れて世界に電力事業の売り込みが可能と思います。
30074	個人	会社員・公務員	30代	男性	未来のために、子どものために、日本のために、地球のために「原発ゼロシナリオ」を要望します。	原発稼働数ゼロ、現状で存在する原発を全基廃炉にすることを強く望みます。その理由としては、何よりも危険であるからです。今回の福島原発の事故にしても想定外であるから「事故」になるのであって、事故の原因が「想定外だったから」ということはウラン・プルトニウムを使用する原発では許されないことだと思うからです。 人類が電気を手に入れたのは人類の歴史から見ればほんの一瞬で、「幸せ」であることは電気があることなのかどうかを疑う必要があると思います。長い歴史の中で電気はなかったわけですが、電気のおかげで生活が快適になったのは事実です。しかし、そこには原発を使用するリスクを負ってまで得られるものはないはずです。 人間には電気より、整った自然環境が必要であるのは事実で電気が無くても生きていけますが、自然が無くては生きてはいけません。 その自然を壊そうとしている原発の稼働は「生活を快適にするための電気」であることに矛盾しています。 何よりも福島で事故が起き福島の人達は普段の生活を奪われ、家族を失い家族がバラバラになっています。何の罪もない人たちです。そして、子ども達の未来も奪われかけています。 率直に言ってこれは議論するまでもなく未来のために全基廃炉にしなければならないのは明らかで、利害関係が絡んでいるから事を難しくしている原因だと思います。 私は「電気をゼロにしろ」とかいう極論を言いたいのではなく、『常識的に』全基廃炉がベターな選択だと思います。電気は自然エネルギーにすれば得られるし、そこに雇用もうまれ全て丸く収まるのではないでしょうか。
30075	個人	家事専業	30代	女性	即刻、原発ゼロを主張します。	地震大国の日本において「絶対安全」な原発はあり得ない。 再び福島のような事故が起これば日本は再起不能になる。 国民は数年の計画停電を受け入れ、政府は再生可能エネルギー比率を増やすスケジュールをしっかり示すべき。
30076	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年原発(1)0%	人・地球環境の安全を第一に考えるべきだと思う。 ドイツ等のように自然エネルギーに切り替えていけばよいと思う。 政府として、経済成長（便利な社会）はもう不要なので地球環境改善に真剣に取り組んでもらいたい。
30077	個人	その他	30代	男性	全原発を即時に廃炉してもらいたい。大飯原発の再稼働を撤回してもらいたい。	手続きについて。そもそも、今回のパブリックコメントを募集するにあたって、なぜ三つの選択肢だけが提示されているのか、理由がよくわからない。国民的議論をすることが目的なのであれば、もっと多様な国民を意見を聞く方法を考える必要があるのではないだろうか。福島の事故を受けて、多くの国民は原発が持つ危険をうんざりするほど知らされているのにも関わらず、今回の選択肢に「全原発を即時に廃炉する」という選択肢がなぜ入らないのか理解ができない。これではパブリックコメントも意見聴取会もガス抜きに過ぎないと言われても仕方がないのではないか。 また、このパブリックコメントで集まった意見を誰がどのように集計し、それを受けてどのように政策決定過程に反映させていくのか、一切の説明がないことも大きな問題である。野田首相は昨年の原発事故の「収束宣言」の際にも、大飯を再稼働する際にも記者会見を開いているが、質問者の数も質疑応答の時間も限られており、記者会見の意味がない。多くの国民が抱くであろう疑問に対してできる限りオープンに議論をしていく姿勢がなければ、決して理解は得られないし、国民の怒りは増すばかりである。 内容について。福島の事故を受けて私たちは、原発が一旦過酷事故に陥ればどれほどの深刻な被害を及ぼすのかを目のあたりにすることになった。これからも、原発を少しでも稼働し続けるならば、いつまた大地震が来て、もう一度過酷事故を起こし、国が滅びるような事態にならないとも限らない。地震でなくても他の何らかの理由で大きな事故になる可能性もある。そのような事態を避けるためには、絶対に即全原発を廃炉しなければならない。 また、原発は事故を起こさなくても被曝をしながら労働する労働者の存在なくして動かすことのできないものである。よって、どのような被曝を強いられて働く労働者に対する差別をなくすためにもこの国は原発をやめなければならない。 さらに、原発を維持していく理由として「原発がなければ電気が足りない」とか「電気料金が上がる」とか「国民を守るため」とかいうことが挙げられているが、それらは推進側に都合の良い嘘であることが既に明らかにされている。現に今国内の原発では大飯原発二基しか動いていないことになるが、電気は十分足りているし、関電自身が電気は余っていることを認めているではないか。電気料金についても、最終処分費用や事故時の賠償費用をコストに含めるならば、原発のコストは決して正当化できるものではない。しかも、関電の例に見る通り、原発を動かしていないと電気会社の収益が圧迫されてしまう料金設定、電力会社の地域独占の従来のシステムこそ見直す必要があるのではないか。それにも関わらず、これまでのシステムを変えないことを前提に議論しているのは、原発推進をしたいからだと批判されても仕方がないのではないか。 とにかく、全原発を即時廃炉すること、それが私の意見である。そして、それが、福島の過酷事故を経験した日本の取るべき最も常識的で、現実的な政策である。
30078	個人	無職	70代	男性	2030年原発0%	原子力はこの世からなくすべきだ。 人類の危機につながるものだから。
30079	個人	家事専業	40代	女性	ゼロシナリオを支持します。	ゼロにならなければ意味がありません。日本中至る所に いつ大地震がきてもおかしくないのです。 そのことを分かっていて 建設してしまったことを後悔しても遅すぎます。 稼動せずどのようにして地震に対応するか被害を最小にするべく努力していただきたい。 福島は繰り返してなりません。福島の人々を忘れてもなりません。 本当のことを国民に話してください。手遅れになります。
30080	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は一刻も早く0%にすべき。子孫に放射性廃棄物をこれ以上残すべきではない。電力量は原発がなくても足りている。人口減でこれからも電力需要は減り続ける。	原発は一刻も早く0%にすべき。子孫に放射性廃棄物をこれ以上残すべきではない。電力量は原発がなくても足りている。人口減でこれからも電力需要は減り続ける。原発を一刻も早くすべて停止、廃棄し、政府は、現在ある放射性廃棄物を少しでも安全性の高い保管ができるよう全力をあげて行うべき。そのための増税であれば、私はおおいに容認できる。
30081	個人	会社員・公務員	50代	女性	ゼロシナリオに賛成します。	再生可能エネルギーと省エネの技術の開発に総力を挙げ、遅くとも1930年までに原発は全部廃炉にするべきです。これは世界的な目標であるべきことですが、特に地震国である日本が真っ先に取り組むことで、地球環境に貢献する先進国である姿を国際世界に指し示すべきであります。また、燃料棒などの放射性廃棄物を公害なく処理できるようになるための科学技術の研究促進にも益々力を注がなければなりません。
30082	個人	その他	60代	男性	原発即廃絶するべき、ミサイル1発で原発は爆発自衛隊が出動する前壊滅し国防上廃絶しか無い、50基原発止め電気足りてる今こそ廃絶再生エネルギー開発に転換、外貨を国防食料エネルギーの安全保障で安心生活。	とりあえず35%の再生エネルギーだが、NZでは75%実現、日本もいずれ100%めざせばよい、此れにより国防上、輸入資源に頼らないエネルギー資源の確保、環境保全によいco2を出さないエネルギー、国際紛争に影響されない、エネルギーの確保、巨大地震にも放射能汚染を起こさない安全な国民の財産と、生命、汚染されない食料等の確保可能うだ。この再生可能エネルギーは第二次産業鵜革命である、此れに100%なる様に目指せば気候温暖化防止にもよい、原発廃絶した後今度の瓦礫を除染分えつし木材部分を釜で熱しガス化しガス燃焼ボイラーを原発廃絶した後に敷設し原発の火力に改造し排ガスは温室でリサイクルし上記で電気を起こし不足するピーク時の為発電し送電再生エネルギー十分に成迄原発廃絶、沢山有る、が礫の木質系の除染した廃材利用し此れも廃炉と同じに有効利用する事で、が礫を減らす。6カ所村は除染し休止、文殊高速炉は廃止核融合基礎研究所とする。核燃料、廃棄物は地盤のよい岩盤地帯の地下に保管する。全原発の使用済み未使用核燃料は地震に強い岩盤の地下に保管する。海外には原発転換事業と合わせて再生エネルギー転換の事業を推進し世界から放射能汚染の基を無くしていく事、日本の原子力事業者は法律の規制をつくり原発を減らして再生エネルギー化していく事業に転換する援助を国が企業にする。
30083	個人	自営業	70代	男性	2030年段階の全電源に占める原発の比率について、 (1)0% でおねがいします。	原発に関してあらゆる事態を想定した100%の安全は、不可能ではないでしょうか。 そして、原発はもしもの場合の被害があまりに大きすぎると思います。 特に、これからの子供たちへ与える影響が大きいです。子供たちの安全安心を犠牲にしてまで、経済発展、便利快適な生活など望みません。 2030年ではなく、今すぐにでも原発稼動をゼロにしてください。

30084	個人	会社員・公務員	60代	男性	2030年原発ゼロ案に賛成です。 1．核燃料再処理構想は既に破綻しており、そのことを前提にしているのはゼロ案だけです。 2.原発ゼロに向けた出口戦略に取組むべきだと考えます。	2030年原発ゼロ案に賛成です。 理由は以下の二つです。 1.核燃料再処理構想は既に破綻しており、そのことを前提にしているのはゼロ案だけです。 現状でも処理の見通しがたたない使用済み核燃が全国に貯蔵され、危険な状態にあるにもかかわらず、さらに危険な廃棄物を増すようなことを進めることは国の将来設計上あってはならないものと考えます。 2.史上最悪の原発事故を経験している我が国は、ここで舵を切り直し、原発ゼロに向けた出口戦略に総力で取組むべきだと考えます。 再生可能エネルギーへのシフト、原発以外の既存発電機関の効率化、電力消費側の改善（電力使用機器の効率化、電力消費意識の改善策）等々、様々な立場での向上策（供給側・需要側）についても論議を進めてください。 日本人はこれらに対応するための知恵、知識、能力を持っています。 また日本国はこれらに対応するための経済力、国家力も持っていると信じます。 総力を挙げてこれら難局に取り組むことは、新たな経済波及効果も生まれ、日本再生の大きな原動力にもなると思います。
30085	個人	会社員・公務員	40代	女性	1ゼロシナリオ希望。原発がいかにクリーンでなかったことを学びました。また政府は国民を守らないことも身をもって学びました。未来ある子どもを守る為原発がない世の中になるよう協力していきたいと思っています。	原発のメリットをいままで聞かされていましたが、原発がいかにクリーンでなかったことを学びました。また、政府は国民を守らないことも身をもって学びました。自分自身、また未来ある子どもを守る為にも原発がない世の中になるように協力していきたいと思っています。
30086	個人	無職	50代	男性	原子力発電所はゼロにすべき で有る。	東北震災後の住民生活と土地除染現状を見ていると何時震災前の生活に戻れるのか先が見えてこないし、電力会社の震災に対する対応の甘さも事故後国民に判って来た。又原子力発電には大量の水が必要で日本地理から判断してどうしても海にめぐんした場所にしか作れない、海にめぐんしていれば当然津波に対しての対応が必要に成る地震の事もプラスとして考え工場を作らなければ成らない、日本の技術からして全ての事に対してクリアー出来るが、経済的に多大な費用が掛かる、企業として費用対効果を考えればどうしても限度が有るし仮に作れば電気料金に必ずはね返って来る、日本の技術力からして代替エネルギーを作り出す事が出来るはずである。政治家が有った場合に政治生命をかけて対応すると言っていたが、政治生命では放射能は無くならない 国民に負担をかける事に成る、政治家は国民の代表で有る事を忘れてはいけない。最後に言いたい事は放射能による被害は原子爆弾でも原子力発電所でも同じで有る事を肝にめじ原子力による発電は無くするべきで有る。
30087	個人	自営業	40代	男性	ゼロシナリオ支持。原子力発電は止めてほしい。	ゼロシナリオを支持します。 原子力発電は止めてほしい。 自然は人智を超えるといい、事故の不安は消えません。 核廃棄物の環境汚染は次世代に負の遺産を残すことになると危惧しています。
30088	個人	パート・アルバイト	30代	女性	私は20～25シナリオですら実現できるのかどうか疑問です。 が、原発を減らせるものなら減らして欲しい。実行して欲しい最低限ラインです。	戦後、50年以上かけて作ってきた原発ですからゼロにするにはもっと多くの時間を必要とするでしょう。2030年までにゼロにするのはたとえ国家戦略上で決まったとしても日本が資本主義である限り実現はしないと思います。 だから2030年は無理でも、100年かけてでもいいから原発はゼロにして欲しい。私たちの時代を謳歌するために未来をリスクに晒すことはできません。 原発事故は起きるのです。人間にとって安心して暮らせる土地以上に必要なものがあるでしょうか？
30089	個人	家事専業	40代	女性	原発を全廃し、より環境に優しい、リスクの少ないエネルギーに移行するべきである。	滞在するドイツは原発全廃を決めた。原発はリスクが大きすぎる。今度また事故があれば、もっと大きな被害が広範囲に、そして長期間に渡って国民を苦しめることになる。日本の知能と技術力があれば代替エネルギーの開発、移行は可能なはず。次の世代の為にも原発に頼らず、よりリスクの少ないエネルギーに転換すべき。原発がなければ経済活動が滞るという意見があるが、ドイツにできて日本にできないわけがない。経済活動を活発に保ちつつ、原発に頼らずとも エネルギーを得る方策を考える べきだ。はたして、日本は本気で原発以外のエネルギーの可能性を考えたことがあるのだろうか。今までの政府は、まず原発ありき、で、その必要性を訴える為に、他のエネルギーの可能性などは考えてこなかったのではないだろうか。今こそ、真面目に考えるときだろう。
30090	個人	無職	70代	男性	使用済燃料棒の効果的廃棄処理技術またはリサイクル技術が確立できるとは到底考えることはできない。	半減期が長すぎる
30091	個人	家事専業	50代	女性	すぐに原発ゼロシナリオを支持します。 福島事故という深刻な事故を起こしたのですから、原発は動かさずにすべて廃炉にすべきです。そして核燃料サイクル政策は放棄すべきです。	原発はたとえ事故がなくても、処理の困難な放射性廃棄物を残すこと。いままでに発生した放射性廃棄物だけでも今後長い間管理する必要があること。また原発の労働者は被曝を強いられること。これらの理由から二度と原発を稼働しないことを求めます。 そのうえで、今ある大量の使用済核燃料はどうするのか。高レベル廃棄物のガラス固化体はどうするのか。特に心配なのは、六ヶ所村や東海村の再処理工場の中で、再処理をおわって廃液で保存されている高レベル廃棄物で、これはどうしたらいいのか。 これらの課題が解決しないまま、ずるずると原発の稼働を認めることはとうてい認められません。 いまの政府のやっていることは、失われた原発への信頼を取り戻すことではなく、ますます不信をあおるようなことばかりしています。 だからこそ毎週金曜日に官邸前にたくさんの人が集まっているのです。全国の他の地域でも多くの人が集まって脱原発を訴えています。 この夏、関西の電力需給の逼迫を心配して再稼働を決めたとのことでしたが、現実は、大飯原発なくても まったく困りません。関西電力は「でんき予報」の数字を多くみせようと火力発電所や揚水発電所を休止したりさえしているのです。7月31日（金）発表された供給力は2997万kWでしたが、揚水発電をまだ61万kWほど停止していました。実際の供給力は3048万kWあり、原発237万kWがなくても、2811万kWの供給力を確保できました。そして実際は2635万kWの電力需要があり、大飯原発がなくても94%の電力需給状況でした。脱原発の夏は可能だったことは明らかです。電気が足りないと脅してとにかく原発を動かしてしまえばなんとかなると原子力の存続を目指す人たちが考えたのでしょう。市民は怒っているのです。 このバブるこつメにも多くの原発ゼロを求める意見が寄せられていると思います。原発ゼロだと電気が足りないとか、経済が停滞するとか脅して、国民の声を無視することにないよう強く求めます。
30092	個人	その他	40代	男性	「3つの選択肢」はナンセンスです。「いつまでに0にするか」議論すべきでしょう!原子力はテクニカルも御聖末、そして日本人にはそれをマネジメントするポテンシャルはありません。速やかに後始末に入べきです。	まず初めに「核燃サイクル」は即中止して下さい!ワンスルーでの処理方法の研究に全力を注ぐべきです。多数の政府委員会を観てきましたが、いつ稼動するのかも解かりません。国・学者はもう諦めるべきでしょう。一体いつまで夢を見ておられるのか?「後民り出来ない」は通用しません。この様な不毛な技術・事業に力を注入する理由は何なのか?未だ国や事業者から納得出来る説明がありません。原発施設を使用済み核燃料保管の為に使うのもやめて下さい。 世間を騒がせた「大飯再稼動」の問題はそもそも関電の「供給責任」の話でした。それがいつの間にやら「再稼動 是か否か」にすり替えられました。そして、再稼動は需給の為ではなく電力会社の収支改善の為だと言う事も露呈しました。柏崎刈羽、泊も同様でしょう。ならば、何故再稼動が必要なのですか?電力会社の歪んだ経営構造を是正する事がやるべき事でしょう。彼等自身が原発潰けになっています。 国や野田総理の言う「経済」とは一体何を指すのですか?一部製造業や経団連加盟企業ではないですか?農林水産業は経済の一部を担ってはいないのですか?彼等の意見は聞きましたか?意見聴取会を観ていても、高齢の方に「経済」の事を唱える方が多いですね。電力を使う事だけが経済なのでしょうか?これを機に産業革命を起こしたらいいのです。 私は「危険だからやめろ」とは言いません。言うまでもなく原子力は人間には制御不能、そもそも「安全対策」など有り得ません。危険なのは当たり前だからです。解かっていないのは国や電力会社でしょう。私はそれよりもこの誤った国策の合理性・整合性・倫理性を問いたいのです。福一の大変不幸な事故をきっかけに「安価・クリーン・安全」はふっ飛びました。と言うよりメッキが剥された、我々は騙されていただけなのです。この様な不合理な事業を続けていく理由がありません。日本人にはそれにブレーキをかける・コントロールする能力がありません。福一事故後の収束作業、避難対策、大飯再稼動の顛末を見れば明らかです。 結論です。日本人にはそもそも原子力など扱う資格も資質もありません。私は10年後には0にすべきと考えます。そして、東電・関電は法的処理すべき、国有化など有り得ません。電力は完全自由化します。自由化すれば原子力など淘汰されます。国は君けたい事でしょうが時間の問題です。いい加減「国策の失敗」を認め次世代の為に0からやり直しましょう!
30093	個人	会社員・公務員	60代	男性	0%を選択します。それも2030年などと悠長なことを言わず、可能であれば即時、それが無理なら可及的速やかに数年程度で脱原発を実現したい。	1．原発の危険性は計り知れず、現在の技術レベルでは人間と共存できない。 2．放射性廃棄物の安全で恒久的な処理方法が無く、現世代が利便を共有する一方で将来世代にリスクとコストを押しつけることになり、世代間公正に著しく反する。つまり倫理的でない。 3．廃棄物の処理等のコストを考えれば、原発の発電コストは決して安くない。まして事故が起きれば無限大の経済的損失が生じる。 4．世界はすでに再生可能エネルギーへのシフトを柱とする低炭素革命に突入している。そうしたなかで過去の技術である原発に固執することは、日本経済のガラパゴス化を招くだけだ。 5．世界で唯一の被爆国として、核兵器廃絶の先頭に立つべき日本が、核兵器の双生児とも呼ぶべき原発を推進することは、核廃絶の主張の真剣さを疑わさせ、国際的な不信を招く。
30094	個人	会社員・公務員	30代	男性	2030年に原発依存度0（ゼロ）を国の政策として決めて欲しい	原子力発電は経済的に見合わないから。 原発を維持するための費用だけでなく、今回の福島のような事故が起きた時の賠償、放射能まみれの土地の現状回復費用などをすべて計算すれば、太陽光発電42円を上回る。政府は電源の三案（原発0、15%、25%）の場合の電気代をシュミレートしているが、福島原発旧の万一の時のコストや1000年以上にわたって必要になる廃棄物処理コストを低く見過ぎており、本質的には原発25%がもっとも電気代が高くなるはず。 福島の原子炉も今回は運がよかっただけだ。格納容器や圧力容器で水素爆発が起こり、放射線が膨大になって現場を放棄せざるを得なかったら、使用済み核燃料も次々と溶融崩壊して、首都圏三千万人が避難を余儀なくされるところだった。原子力発電の費用にはこうした「1000年に1度」のコストも盛り込むべき。 一方、太陽光発電は現在は1KWHあたり42円でも、量産効果と技術革新でコストはどんどん下がる。さらに、人が太陽光パネルの隣で寝ていても危なくないので、「1000年に1度」の災害があっても、発電能力が失われるだけで、人が住めなくなるような危害は加えない。原発のような万一の災害時のコストはゼロだ。 GE社長が「正当化するのは大変難しい」などと発言したように、日本以外の企業は訴訟費用などを踏まえると経済合理的に続けられないと判断していることからも原発の新設が無理なのは明らか。エネルギー政策の緩和措置として、経団連企業の東芝や日立、日本製鋼所などの原発事業の縮小、事業債却を支援するための補助金を出して電気料金が高くなったとしても国民の理解は得られるだろう。 同時に、クーラーをはじめ、エネルギーを極力使わない生活を国民に求める。国民も納得づくで協力するだろう。
30095	個人	会社員・公務員	40代	女性	日本は、地震の多い国です。この国で原発を使い続けることは大変危険なことです。是非「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大の方向に移行してください。お願いいたします。	日本は、地震の多い国です。わたしの住む地域もいつ地震が来るかわからず、不安に感じています。この国で原発を使い続けることは大変危険なことです。是非「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大の方向に移行してください。お願いいたします。
30096	個人	家事専業	30代	女性	原発即時ゼロを希望します	3.11まで原発について積極的に考えたこともなく、 このように意見を述べることもせず、のほほんと暮らしてきました。 しかし、3.11の地震で原発が恐ろしい状態になって以降、 毎日考えない日はありません。 私は愛知に住んでいるのでは地震と津波で被災したわけではありません。それでも切実に考えています。 日々の買い物、外で頂くお菓子、出先での外食など食べるものを中心に 毎日気をつかっています。それに伴う友人との関係もかわってきてしまいました。 夫の社食では扱った東北応援をしており、ずっと東北産の野菜を使用している為 昼食は手が出せず、炭水化物ばかりになっています。 孫の顔をもっと見たいだろう自分の両親は関東に住んでいる為、 線量が高い場所へ小さい子どもを連れていくことを躊躇い、足が遠のくようになってしまいました。 なにより、我が子を育てるにあたり、これから生まれる子どもに対しても、 自分たちがこんな状況にしてしまった、この先どうやって育てていけばいいんだと考えます。 食べさせるものが少なくなり、遊ばせる場所がどんどん減り、これは異常な事態です。 被ばくが原因で病気を発症してしまったら、申し訳なくて悔しくてどうしても避けたいと思います。 日本全国みんな被曝してるからしょうがない、と思う親はいないと思います。 関東に住む家族は、年齢的なものもあり、テレビ新聞ラジオでの操作された情報しか 入手できていないため、こちらとは意識のズレがあり、 また実際問題関東に住んでいる以上、被ばくを防ぐ生活を送ることは、 高齢者には大変過ぎて、現実的にはとてもやってもらえません。 テレビや新聞の情報だけではそこまで意識を高めることもできず、娘が やいやい言っても限界があります。いくら高齢者は放射性物質の取り込みが少ないと言っても 被曝が原因で病気になる可能性はあるし、なってしまったらかわいそうで申し訳なくて 手をこまねいて見ているわけにはいかないのです。 どうかどうか、人の為になるようなことをして下さい。 今も福島やその近郊の人たちの毎日の生活がどれほど苦しいか、本気で 目をむけて考えてください。見殺しにするなんて人間のすることではありません。 このままでは日本の一部の組織、人達のせいで、国民、国だけでなく 世界中が立ちいかなくなってしまいます。 国が貧しくなっても、国民が納得して選んだ道ならば、みな耐えて頑張ると思います。 健康（たとえ健康でなくても）大事な人たちがまわりに生きていてくれれば がんばれると思います。これを読んでもお金に取りつかれてしまった人たちには 響かないのかもしれませんが、その人達が食べているものも汚染されています。 命を縮めています。分別のある選択をして欲しいです。即刻原発ゼロを、何卒お願いします。
30097	個人	会社員・公務員	40代	男性	今は原発が必要！	国内の電力を安定し供給し続けることが、国民の生活、経済、国際的な日本への評価などを向上させるものにつながると思います。 いま、原発をなくせばどうなるか。 1.電力の多くを火力に頼らなければならなくなる。そのため、電気料金も高騰。生活、企業の運営に打撃。 2.節電、計画停電など、不自由な生活が続く。これはある意味戦時中のようである。国民が集団にステリー的に生み出すネガティブな雰囲気が国を衰退させる。 3.中国が海洋覇権を進める中、電力を輸入資源に頼っていた場合、それを安定的に日本への輸入し続けることができるかどうか不透明。また、その日本にとってのライフラインを中国のさじ加減に握られることもあり又、独立国家として、かなりリスクの高い選択になる。 以上のような理由により、次世代の未来エネルギーが確立するまでは、原発は必要である。 子供の未来は繁栄の中に！
30098	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロのシナリオ以外ありえない。	中途半端に何パーセントというのは推進を前提にしているだけ。 世界的に残された持続可能なエネルギー政策は、脱原発であり、減原発などではない。直接爆撃されずとも、原発を持つことは国家防衛上も丸裸状態であることが世界的にもわかった。 早急に原子力ムラを解体、電力不足プロパガンダ廃止、発電と送電を分離、送電網国有化、自然エネルギー政策ミックスの策定、本当の電力需給を明らかにすること。独占電力会社によるメディア統制も廃止、結託原価方式による売価設定の廃止、新規参入の促進奨励など、国民が自由にエネルギーを選んで買うことができりようにすること。 国民投票をお願いします。

30099	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力行政はすでに破綻しています。 私は「ゼロシナリオ」を支持します。	原子力発電所という施設は、制御不能な状態がほんの数日続いただけで、取り返しがつかない事故につながります。 日本に原子力発電所がある限り、私たちは原子力発電所の管理を怠ることができません。 自然災害、テロ、クーデター、外国から軍事攻撃、戦争など、現在の政府や国家体制が根底から覆されるような事態を想定した時、軽々しく原発の安全を保証することなどできるはずがありません。 原子力発電は安全じゃない。 コストも安くないし、クリーンでもない。 核燃料サイクルは絵に描いた餅。 最終処分場も決まらない。 原子力行政はすでに破綻しています。 私は「ゼロシナリオ」を支持します。
30100	個人	自営業	30代	男性	当然、私は0シナリオ「ゼロシナリオ」を選ぶ！ それ以外は絶対に選べない！	つかぬことをお聴きするが、あなた方は原発が人を被爆死させながら 発電することをご存知かｗ？それとも、その基本中の基本も知らぬ無知 無学の集団かｗいや、十分しっていながら40年以上も国民を騙し、貪 続け、財界の憐のために多数の国民を死に追いやってきた殺人集団の 一部であろう。周知の上の行いは無知よりも悪い！ たとえば、集中治療室内の患者は危機を脱して命が助かる方も数多く いらっしゃるが、ウラン鉱や原発作業員等の方々はその電力を産むため に2度と助からない体になる。だれかが死ななければだれも助けられ ない。それが原発だ。さあこの大矛盾、どうするつもりかな？ああ！ 原発が発電ではなく犯罪であるという事実は、すでに明らか！全ての 原発を停止し廃炉にせよという国民の声は国民の願いではなく、もはや あなた方に対する命令だと心得られよ！ もう一つ重要な質問がある。上記のことより前に、あなた方は国民の声を 聞くがあるのかｗこの公募は「国民の声を聞いたごっこ」ではある まいなあ！？どんな問題がどうかということより、まず日本国憲法の 条文に従順な態度で国民隅々の声を聞くことがあなた方の本分である。 それが護れない者は今日中の辞職が必須である。 最後に、8日の首相と反原発デモ参加者との対面、絶対に首相の 見苦しい弁解と意見の押し付けの場にしないよう厳重に注意しておく！
30101	個人	その他	40代	女性	0パーセントを選択します。 明日にでも原発を止め、そのエネルギーを使わずに 生活をしていきたい。 不便があろうとも、原発事故によってもたらされる国民 負担を考えれば、十分にやっていかれるはずです。	日本の有識者、並びに科学者の方たちが原発を使わない近未来構造を「真剣に」考えるようになれば、原発ゼロシナリオは実現すると思っています。 国民に対し、原発がたくなった時の負担を解くよりも、負担はあるけれど危険はない生活をとき、啓蒙していってほしいと思います。 国だけに努力を、とは言っていません。 ともに歩める日本であるために、できることをしていきたい、それだけです。 ゼロパーセント、よろしく お願いします。
30102	個人	家事専業	30代	女性	ゼロシナリオをのぞみます	「エネルギー・環境に関する選択肢」を読み、高度経済成長後に生まれ、安穏と暮らしてきた私たちにとってゼロシナリオがいかに厳しいものであるかがわかりました。 しかし、やはり一番大切に思うのは、私たちにとっても将来世代にとっても、日本が安全な国であること、安心して暮らせる国であること。それをまもるためには我慢や経済的負担はやむを得ないと覚悟できます。 セロシナリオにより、温室効果ガス削減には貢献しにくくなりますが、今回の原発の事故により世界を不安にさせたことを思えば、 このまま地震大国で原発を使い続けるよりは理解できる選択だとおもいます。 コストの問題、エネルギーの安定供給など難しい課題があるのはわかりますが、別の原発で同様のことがおこったとき、国民の生活への負担、国の財政への負担、他国からの国と国民への信用の失墜・・・。なにもかもが失われてしまいそうです。 これ以上、将来世代へ負担と不安を残さないためにゼロシナリオを強く求めます。
30103	個人	会社員・公務員	40代	男性	今年から国内全ての原発を0%にしてそれを継続し、 2030年以後も原発0%とすべきだ。	2030年までに原発をなくす、という設定はおかしい。今年から原発を0%にしてそれを継続し、2030年以後も原発0%とすべきである。それまでの製ぎで必要ならガスコンバインド火力発電を増強。2030年の電源はバ小規模発電に関する規制を緩和し、原発以外から地域が市場で決めるべきだ。原発の事故が起きれば、人間の手で制御することはほとんど不可能だということが、福島第一の例で分かった。このことが分かっているのに、今すぐ原発を0%にしないのは、危険すぎる。
30104	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年と言わず、原子力発電所は即刻すべて廃止。	原子力発電所は即時全廃と言いたい。2011年内にこの方針を固め、火力発電所の点検や新設など必要な対策を行っていればすでに実現しているはず。政府も電力会社も、原子力発電所を再稼働することしか考えていなかったがために、何も進展しないまま1年が経過してしまった。怠慢だ。 自然界にない人工放射性核種は原子炉内で増殖し、事故を起こせばチェルノブイリや福島第一原子力発電所などのように長期にわたって地球の生命を脅かし続ける。いつどこで次の災害が起きても放射性物質が地球環境へ拡散しないよう、一つ一つ危険を軽減していこう。この危険をゼロにするには、残念ながら途方もない時間が必要だ。しかし、爆発して地球規模の汚染をする原子炉を、（言い方は悪いが）限定的な範囲に漏れるだけの放射性廃棄物にすることなら、この瞬間から着々と進めていくことができる。 放射性物質による汚染は地球上のあらゆる生命を排除する。そこには人間が経済活動をする余地はなく、地球温暖化よりも重大な問題だ。
30105	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを支持します。	福島の現状を見て、他のシナリオを考えること自体信じられない。 国は国民のいのちと経済発展のどちらが大事と考えるのか。 根本原因はエネルギー使用の過多である。 エネルギー使用抑制の政策を強く望みます。
30106	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発は無いに越したことはありませんが、化石燃料に 頼ることもできないなか、原発のあり方は総合的に判 断が必要と考えます。	原発は無いに越したことはありませんが、化石燃料に頼ることもできないなか、原発のあり方は総合的に判断が必要と考えます。過激な今すぐ原爆原発ゼロという意見が大勢を占めるのかしっかり見極めて ほしい。再生可能エネルギーも一部の団体や企業の利権が絡んでいて不適切な点がみられる。また、エネルギー生産装置の製造にもエネルギーを大量に使用している点も検討不足では。
30107	個人	家事専業	30代	女性	原発は即刻廃止	自分の大事な子どもの未来のために。 子どもに負の財産を、少しでも少なくするために。 自然と共存し、命を大事にするために。 原発に長所が見いだせません。 日本の明るい未来のために、原発はいりません。 どうぞよろしくお願いいたします。
30108	個人	会社員・公務員	30代	男性	即座に原発0を主張 自然共生型エネルギー開発が日本の永続的発展を 築く	日本滅亡の可能性を孕む原子力は即刻廃絶が必須である。太陽光、地熱等による自然共生型エネルギー開発に日本全国民の智慧を結集すべし。エネルギーを地産地消、地域分散型にすれば、地域活性化にも貢献できる。
30109	個人	学生	20代	男性	原発稼働を直ちに停止させ、全原発を廃炉にしなさい	国民の健康が第一。そのうえに全てが成り立つ。大規模な汚染をもたらす原発は利用すべきではない。
30110	個人	自営業	40代	男性	原発は2030年を待たずにゼロにすべき	放射能、使用済み燃料、実現性のない核燃料サイクル等、現在の原発は 国家犯罪と言っていい。 どれくらい犯罪的かはアメリカのエネルギー予算と比較してみるといい。 さっさと他のエネルギーに転換すべき。 ウランの枯渇は目の前に見えています。 体力のあるうちに他のエネルギーに転換すべきです
30111	個人	家事専業	40代	女性	2030年原発(1)0%に賛成です	福島の悲劇を思うと原発はなくすべきだと思います。 福島では放射線に苦しんでいる方々が数多くいらっしゃいます。 政府の力で助けてあげてください。
30112	個人	会社員・公務員	50代	男性	再生エネルギー大量導入や省エネ大幅促進のための 確固たる政策がないことから、どのシナリオも実現可 能性が疑問であり再考必要。国益の観点から原子力 を維持する必要があり、少なくても20－25シナリオと すべき。	どのシナリオもそれを実現するための政策が重要である。にもかかわらず、政策に関して十分な議論もなく、また、詳細な提示もない。 たとえば、再生可能エネルギー(以下RE)の大量導入についても、固定価格買取(以下FIT)の制度しか示されていない。REの導入に関して、世界でも量が増加すれば、FITに伴う負担から、見直しや廃止の動きとなっている。したがって、FITはRE導入のための初期の起爆剤としては有効だが、REを大量に導入するために、FITが有効でないことは世界の前例が証明している。 このことは省エネに関しても同様である。大幅な省エネを行うのであれば、その政策が重要にもかかわらず、例示されているのは、強制的な省エネ機器への改修義務や劣後する機器の販売禁止など。特に産業界では徹底した省エネを既に行っており、世界のトップランナーである。このような政策だけで今後大幅な省エネが実現できるとは思えない。 したがって、大幅な省エネの実現やRE大量導入のための確固たる政策が示されない限り、現状のどのシナリオも非現実的である。 一方で、原子力に関しては、例え日本が原子力をやめても、世界では原子力の開発は大幅に進む。その際、以下の二通りの方法で原子力が作られる。 一つ目は、地震や津波等で伴った安全性に不安のある技術で作られた原子力となる。 二つ目は、福島の事故を経験しその知見を有し、徹底的に安全性を高めた日本の原子力技術を世界で展開する。 後者の方が世界の原子力の安全性向上に寄与できるばかりでなく、日本のビジネスにとっても重要である。 福島の事故は大変不幸であり、二度と起こしてはいけない。しかし、そこで得た貴重な知見をこのまま何も活用することなく終わるより、貴重な知見を活かし、世界の原子力を日本の技術で、より安全なものとすべきである。 特に中国、韓国はこれから原子力の大量導入を迎えるが、両国で事故があれば、その影響は直接日本に及ぶ。日本への影響をなくためにも日本政府は積極的に日本の技術を活用した原子力を世界で展開すべきである。 したがって、日本から原子力技術を排除すべきでない。日本にその技術を維持し、保有し続けるためには、当然日本の原子力発電所や原子燃料サイクルを今後とも維持活用する必要がある。 省エネの推進やREの導入は日本として必要であるが、それは脱原子力のために行うのではなく、脱化石燃料のために行うべきである。 脱化石燃料は、地球温暖化、エネルギー安全保障、国富の流出防止の観点から日本として最優先に進めるべきものである。 しかし、当面化石燃料に頼らざるを得ない状況は続く。その際必要なことは、必要な化石燃料を安く、安定的に調達することである。安く調達するためには、こちらが希望するエネルギー種の代替を常に持つことが調達交渉のカギになる。現在のシナリオの中には、過度にLNGにシフトしているものがある。原子力が停止している中で、過度にLNGにシフトすることは、LNG調達の際、代替を持たないことを交渉相手に教えているようなものである。このような状況であれば、売り手市場となり、安価な調達は不可能である。 一方、LNGに比べて石炭は、比較的政情安定な国から輸入でき、埋蔵量も豊富であることから、安定的に安く調達できる。日本としての利益を考えれば、現時点では石炭に頼る政策を行うべきである。日本の石炭火力発電所は世界に誇るべき熱効率であり、日本の石炭火力の輸出は日本のビジネスの観点でも有効である。石炭に対して、温暖化政策上厳しい規制となっているが、現時点で考えるべきは、温暖化政策はまず日本がエネルギーを安価で安定的に確保できてからである。 したがって、日本政府としてまず行うべきことは、原子力の安全性を福島の事故を教訓に徹底的に向上させること、その際必要であれば、既存の原子力のリプレースや新規開発を行うことも重要である。これにより世界一の原子力安全技術を日本に保有させることが最優先事項である。 また、国民負担や企業の海外流出の観点を十分考慮した上で、適度なスピードでRE導入や省エネの推進を行い、脱化石燃料を行うことが日本にとって重要である。 また、当面必要となる化石燃料は、石炭を中心に行うべきであり、税制優遇等の政策を行うべきである。 以上のことから、具体的政策がなく、どのシナリオも実現可能性の観点で疑問である。国益を考えれば、まず、原子力技術を日本に維持すべきであり、そのためには原子力発電所を今後とも活用すべきである。したがって少なくても20－25シナリオとすべきである。
30113	個人	家事専業	40代	女性	「原発ゼロシナリオ」を強く希望します。	「原発ゼロシナリオ」を強く希望します。 福島の方たち、その周辺地域の方たちの苦しみは続いています。 その苦しみを約1年半経った今も癒せていないのならば 原発は必要ありません！
30114	個人	会社員・公務員	50代	男性	シナリオゼロ(0)絶対！	原発はいりません。将来の日本、将来の子どもたちに、不安と危険を残すのが今を生きる我々のすることです。8月6日、9日、3月11日経験する日本が、原発に依存することは、ストップすべきです。
30115	個人	家事専業	40代	女性	2030年の原発比率は0%です。命より大切なものは ありません。原発を制御できないのに、稼働する必要 はない。原発がなくても、生きていけます。電気も足り ているのに、危険な原発を動かす必要はない。	東電の嘘にほうんざりです。事実を公表して下さい。福島原発の爆発で、既に多くの子ども達が被曝して、病気症状が出ています。チェルノブイリの事例のように、これから、日本の子ども達が、癌や甲状腺異常、白血病や、奇形などを発症したら、誰が責任を持つのでしょうか。もっと、福島の子ども達の健康管理に意識を向けて、調査を公表して下さい。原発は、絶対に必要ありません。ドイツのように、脱原発宣言をして下さい。福島の事故から、政府は、何も学んでいないように思います。福島に帰れない方々の悲しみ苦しみに、寄り添って下さい。これ以上、原発は必要ありません。
30116	個人	無職	40代	男性	即刻すべての原発を廃炉に	福島の事故を見る限り、これほど人を不幸にする原発は即刻廃炉にすべきです。原発を0にすれば日本経済が悪化するとか、電気代が上がるとかいろいろ言われていますが、悪化するのは電力会社であり日本経済ではありません。そもそも日本の電気代が高いのも原発のせいで、「原発をやめると高くなる」という言い訳は悪質な脅しでしかありません。一部の原発推進派の既得権益を守るためだけに多くの国民が犠牲になるのはまったく理不尽です。
30117	個人	パート・アルバイト	30代	男性	段階的に原発への依存度は0にすべきである。	1.福島原発事故が明らかにした巨大なリスク （被曝する恐れのある東北3県に居住できない・居住したくないという国民の声。実際問題、東北3県の地価は下がり続けている。また、関東圏も本当は被曝しているのは？と怯える国民も数多くいる。） 2.リスク対処の余りの未熟さ加減 （東京電力・政府共に、事故直後より場当たり的対応に終始。情報の小出し・隠蔽は国民を愚弄している。東京電力の事故責任の所在を明確にすべきである。） 3.核廃棄物処理の先送り問題 （我々の次世代や、後進国にツケを押し付ける行為は文明人として理解できない。野蛮な行為であると言わざるを得ない。） 以上3点を元に、私の意見は、「段階的に原発への依存度は0にすべき」。
30118	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロを希望します	色々な情報が飛び交う中、一個人の私が知りえる情報は僅かなものかもしれませんが、「原発ゼロ」を日本国民としてのゴールにし、人生をシフトチェンジしたいからです。これに伴う生活の変化に戸惑う事があっても、それは人生最大の経験と自覚し乗り越える所存です。 本当の幸せを、多くの人の幸せを、魂の成長を実感したいからです。
30119	個人	会社員・公務員	50代	女性	2030年段階の原発は、必ずゼロにしなければならな い。 2030年を待たず、今後10～15年の間にゼロにするの が望ましい。	福島第一原発の事故により、原子力発電がいかに危険なものであるかが周知となった。事故はまだ収束しておらず、現在も被爆しながら収束のために働いておられる方、故郷を奪われて流浪しておられる方が多数存在する。 地震・津波の際の原発の安全性は確認されておらず、しかも日本の地殻変動が活発化していることは日々体感される。 このような中にあって、日本社会は、出来るだけ速やかに原発を廃止するのが、人道的にも、国家セキュリティのとからも必須である。経済的にも、事故処理や核廃棄物の処理費用をかんがみれば、原発は経済的ではないことは、すでに明らかであり、国家目標を原発を廃止し再生可能エネルギーをはじめとする他のエネルギーに転換すると決定し、そのための施策を多方面に講じることにより、政策転換を新たな経済発展の契機とするように努めるべきである。
30120	個人	無職	60代	男性	現時点の科学の到達度ではO%にせざるを得ない。 プルトニュームの増殖炉を制御出来る実験に成功す るまでは、市場における可動は禁止するすべきです。	政府の吏員なら理由は理解できるはず

30121	個人	パート・アルバイト	50代	男性	原発ゼロシナリオ(即時)	例えばパーセントの健康被害であったとしても、100人居れば、一人は影響が出る。 一人の国民が危険に晒されるリスクをあえて選ぶと言うのは、どういう政策なのか。 経済の為に、それも子供かもしれない国民を、死ぬまで苦しめる事になる可能性がある、 それを強いる国家に、国民の苦しみの上に成り立つ国家に、何の希望を持てと言うのでしょうか。 福一の事故処理費用も膨大な上、使用済み燃料の処理も、 世代をはるかに超える負担が続くのは明白で、 コストが低い、と言う根拠はもう通用しません。 電力不足も、国のデータが否定していると言うことは 既に国民にも広まりつつある。 米軍管理の下、強行策を進める事の意味はどこにあるか、 どれほどの見返りを受けて、犠牲を強いろうとしているのか、 それよりも、膨大な治療費用を払わされ、苦痛の中で生きていかねばならない事に、 黙って世論は見過ごせなくなっている事に気付きませんか？ 利権、米国追従以外に 国民にメリットの無い原発は 即刻ゼロにしてください。
30122	個人	家事専業	40代	女性	原発は即刻廃止	使用済み核燃料(放射性物質)の無毒化はできない
30123	個人	その他	40代	女性	ゼロシナリオにするべきです。	いますぐにゼロ稼働しろとは言いません。理念としてゼロを目指すことを決める。それから現実的に漸次的に原発依存を減らしていくプログラムを決める。 今度原発事故が起きたら、誰も責任をとれません。そして立ち直れないほどのダメージがある。日本は国としてもうダメでしょう。海外からの信頼もなし。経済成長もなし、国民自身の政府に対する信頼もゼロ。そんな国にしたくない。そんな国になったら建て直すのに金銭と労力の果てしないコストがかかります。長期的なリスクを避けるべきです。
30124	個人	自営業	30代	男性	原発ゼロシナリオ…脱原発を求めます。	3.11以降の今、脱原発にエネルギー政策を転換していかなければ同じ悲劇を繰り返すことになります。原発は人間が作ったものです。人間が作ったもので壊れないものはないでしょう。安全なわけありません。ただちに原発ゼロを掲げて行動に移すべきです。 また消費税増税もそうですが、民意なき政策がまかりとおることは絶対にあってはなりません。政治家は命を賭して常に責任ある言動を！
30125	個人	家事専業	20代	女性	脱原発を。原発ゼロの日本を希望します。	福島第一原発事故の終息もまだで、多くの福島の方々が苦しんでおられます。 福島以外でも汚染された土地も山も海も、これから先ずっと私たちだけでなく子孫代々まで続き苦しめられます。 原発事故で故郷を奪われ、仕事も失い、家族とも離れ離れになった福島の方々はどんな思いでいるか、政治家や官僚の方々は考えたことがありますか。 日本の国民の多くは原発はいらないと考えています。 原発以外に発電できるのなら、そちらに変えてください。 取り返しのつかない事故が起こるような危険なモノ(原発)はいりません。
30126	個人	自営業	20代	男性	原発依存 即刻 0%。 一刻も早く原発稼働をやめて、今後の核燃料の保管についての国民的議論の場作りをお願いします。 同時に国際的な脱原発へ向けて積極的なアプローチをお願いします。	理由は、命の安全第一。 日本列島は、プレートの境界線上にあり大地震の危険は避けられない場所にあります。これ以上の原発稼働は、日本の国民だけでなく、この生命豊かな日本列島上の命、太平洋の島々、海中の命へのリスクが高すぎます。 一刻も早く、国民が安心してくらせる環境をつくりましょう。 この日本列島の大地を活かした生活にシフトしていきましょう。 そして、さらなる命の安全を考え、国際的な脱原発にむけて日本から努力して行きましょう。 また、原発廃炉後の安全問題である、全国の原発にある核燃料の保管について、国民的議論の場づくりをおねがいします。 浜岡や柏崎など大地震の危険地帯にある核燃料の保存について、日本のどこかに保管施設をつくるのか。 または、日本列島はやはりどこも地震が避けられないので、地球上の安定陸塊上にある、既に開発されて、今後使われないウラン鉱山などに保管を依頼するのか。 お金で施設の受け入れ地区の住民を引き裂く従来の手法ではなく、 住民が未来への選択を共有して、同じ方向に進めるような手法で、市民団体を政府で手を組み役割分担をして、議論の運営をお願いします。
30127	個人	無職	60代	男性	選択肢3(20~25%)を支持します	この度の事故により難儀な生活を余儀なくされている方々には本当に気の毒に思います。 しかし、原子力・エネルギー政策は国家の最重要事項です。一時の雰囲気や流れに惑わされることなく、もっと時間をかけて冷静に日本全体の生活への影響を見極めるべく勉強してから決めるべきと考えます。 どうしても今決めざるを得ないのであれば選択肢3を支持します。
30128	個人	会社員・公務員	50代	男性	どの案にも反対です	原発に替わる代替案が示されていないからです。 節電の掛け声だけで、熱中症で毎日100人近くどくなっている現状は異常だと思いませんか？昨年と今年のトータルでの熱中症死亡者の多さに目を向けない一方で、原発事故で直接、何人が亡くなっていますか？ 今こそ、原発を稼動させ、安定電力供給を計ったうえで、熱中症死亡者を一人でも減らし、原発をより安全に運転する技術開発を含めて検討すべきです。
30129	個人	家事専業	30代	女性	即時・原発ゼロシナリオを求めます！！！	経済の発展より、人間の命の方が大切です。 一番大切な命があってこその日本です。 放射能の恐れを感じずに、安心して暮せる生活を保障すること、これこそが政府の使命です。 このまま原発を推進するのであれば、日本で安心して暮せません。 大切な子どもに日本で暮せとは絶対言えません。 日本で安心して暮せるように、即時原発ゼロをお願いします。
30130	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロシナリオ	福島の事故を経験して改めて原発の恐ろしさを知った。 これからまた大きな地震があると予測されているなかで原発を再稼働することには断固反対だ。 今妊娠しているので生まれてくる子どものためにも原発は0にしてほしい。
30131	個人	自営業	40代	女性	原発ゼロシナリオを選びます。	私は、「原発ゼロシナリオ」を選びます。 地震国の日本に100%安全ではない原発は必要ありません。 自然エネルギーで自活出来るよう、研究開発に日本の知恵や力を注いでください。日本ならきっと出来ると思います。
30132	個人	無職	60代	男性	「原発ゼロ」シナリオを支持します。「原発ゼロ」以外を選択するには、起こり得る原発事故1件あたり、どのくらいの人数を犠牲にして経済優先とのバランスを図るか、議論が必須です。	東電福島第一原発事故は依然として収束しておらず、被害は拡大傾向にあります。低線量被ばくを受けた被災者も含めて、今後の健康障害に対する補償なども全体像が明らかになっていません。 従い、現状では、「原発ゼロ」シナリオを選択せざるをえません。ただ、経済優先もポイントの一つと考えますので、巨大地震多発の日本で原発を稼働するには巨大事故は避けられないことは科学的合理性があるとの前提にて、その場合の犠牲者数とのバランスを考えた経済運営、原発稼働も選択肢になり得るかもしれません。 ちなみに今回の事故から推定して、犠牲者、避難者は100万人以上、補償は数百兆円以上に及ぶかと思いますが、それらを広く国民議論に持ち込み、シナリオ策定が切に望まれます。
30133	個人	自営業	50代	男性	エネルギーを、豊富に安価で安定的に供給し、さらには、環境にたいしても負荷の少ないものを選択することが、この国が生き延びるために、最も必要なことであり、現時点においては、原子力がベストだと思われる。	日本が、化石燃料を大量に購入することで、原油価格を押し上げ、世界中の国々の犠牲をかけることは、国益を損なうとおもわれる。今の日本に求められているのは、世界全体を見通したうえでの、エネルギー政策であり、世界全体の繁栄と平和に貢献する強い意志であるはずだ。
30134	個人	その他	50代	女性	Solar Enerugy System へ向けて	オランダ在住で多くの自然エネルギーをみました。Solar Energy System or Wind Energy System. ドイツでもさまざまな問題を解決しながらSolar Energy Systemを進歩させていっているようです。エネルギー問題は今日明日すぐに180度変えようとすることはできません。多分アメリカもヨーロッパも同じでしょう。お金も時間もかかります。それは産みの苦しみでもあります。でも未来に向けて自然のエネルギーを活用できて生物に優しいものを創り出そうと考え実行していくのは私たち人間の役目ではないでしょうか。使うエネルギー量を減らして一時的に不便と感じてもいずれそれが普通になるのかもしれません。意識することが求められるのだと思います。
30135	個人	会社員・公務員	70代	男性	原発問題で、電気が足りる足りないの議論が先行しているが、おかしいと思う。原発の人知を超えた異質の危険に注目する。	「安全」に「運転」でも、放射性廃棄者の処理方法が確立していない。まして事故が起これば取り返しはつかない。原発ゼロを宣言し、可能な方法(再生可能な他の電力)に努力を傾注すべきだ。ドイツを見習うべきだ。
30136	個人	自営業	30代	女性	原発ゼロシナリオを選びます。	原発ゼロシナリオを選びます。 この事故の被害を知って、真摯に受け止めて変えていかなければならないと感じたから。もし、ゼロに向かって動けないなら、事故から何も学んでいないということだと思います。
30137	個人	家事専業	50代	女性	有効な代替エネルギーがない現状では、原発は推進すべき。 ・経済活動の面 ・国防の面 双方から考慮して、原発を廃止するのは日本と言う国の存亡に関わる大事。	「原発は推進すべきである」以下その理由： ・原発はクリーンエネルギーである。資源のないほぼゼロから多大なエネルギーを供給できる。現状では代替となるエネルギー源がない。 ・いざとなったら核開発できる。また、そのことを意思表示することにより、他国からの侵略に対する抑止力になる。特にもんじゅは止めてはならない。周辺国は核を保持している。有事になったら、核を保有している国が強いのは自明の理である。 ・経済活動の低迷は、日本と言う国が地球の中で果たすべき役割を放棄することにつながる。アメリカが弱体化し、中国が台頭して来た現状、ここで日本が引いては全体主義国家の躍進を助長する。 ・たとえ日本が原発を止めたとしても、中国などは今後どんどん増やす予定なので、あちらで事故が起きた場合日本は当然放射能に汚染される。原発に反対するなら、中国でもやらねば意味がない。 ・マスコミ報道は偏向し過ぎている。原発のマイナス面ばかりを異常なくらい拡大し報道しているが、実際に現地調査した学者や有識者の意見では、福島の住民に健康被害はなく、むしろ果物がおいしくなる、花が大きくなるなどの良い事例が報告されている。しかしこうしたメリットに関しては全く報道されない。 ・原発反対者は当然エアコンも使わず、ろうそくで暮らす覚悟があってのことだと理解するが、果たしてそうなのか大いに疑問である。情緒的に原発イコール危険と言う発想だが、頭が悪い。 ・たかが電気と言った者がいるが、電気が止まったらすぐに命を落とす方は少なくない。 ・3．11の事故以来、放射能で死んだ人はいない。しかし、節電に波及する熱中症で死んだ人は大勢いる。むしろ節電が人を殺していると言う事実がある。 ・原発廃止や米軍基地反対運動の首謀者は中国であると言う事実をもっと知らしめるべき。何故中国がそれを推進したいのかを考えるべき。 ・マスコミは、恐怖心をあおって売り上げを伸ばそうと言う発想から脱すべき。結局は自分たちの首をも締めることになるのだが、気付いていないのが愚か。 ・民主党の「コンクリートから人へ」以来、日本は急速に衰退している。インフラ整備なくして発展はない。コンクリートは命を護る。高福祉社会では自殺が多いと言う事実を知るべきである。 ・火力発電は石油依存であり、マラッカ海峡のシーレーンが封鎖されたら日本はその時点でアウト。中国がここを狙っていることをマスコミは報道しない。
30138	個人	無職	60代	男性	原発はゼロに。自然エネルギーの利用・開発を最優先せよ。	処理・処分のしようのない、またその遺筋さえ全く見えない放射能。原発の再稼働は人類だけでなく地球上の全ての生物に対する冒涜です。唯一の被爆国日本は、世界に率先して原発ゼロを掲げることが使命です。今の政府の方向は許せません。また、それを今まで推進してきた自民党を始めとする政党や電力会社・関わってきた企業・学者などの責任も明確にするべきです。今すぐ、原発ゼロに方向転換するべきです。そして、太陽光や風力・地熱などをを利用することに叡智を尽くし、人類だけでなく全ての生物にとって安全な日本を地球を作ることに全力を尽くすべきです。
30139	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	20～25ｼﾅﾘｵを要望する。理由は、いずも当社のような素材産業には極めて厳しい選択肢であるが、中でも他2つのｼﾅﾘｵは、系統対策を含めたｺｽﾄ及び供給安定の両面で不安が大きいためである。	素材産業をはじめ製造業を取り巻く市場環境は、震災以前より大きく変貌しつつある。新興国を含めた競合関係の激化、資源高、円高、税制などのイコールフィッティングの不備に加えて、震災後の電力供給・コストの不透明感が加わりグローバル競争上のハンディが拡大しつつある。 　産業界の競争力を考える時、原料から最終消費財に至るサプライチェーンで考える必要がある。政策的にも最終消費財のみに着目せず、素材産業や、高度な技術力を有する中小企業を含めたサプライチェーンとしての産業の競争力に焦点を当てて、事業環境を整えていかないと国内産業の空洞化の流れに拍車がかかり、雇用の喪失、日本経済の衰退は避けられないと思う。 　最終製品メーカーに対して素材を供給する素材産業は、その裾野の広さ、層の厚さ、新規素材の開発力、製造技術等を背景に依然高い世界シェアを維持できる潜在能力を有している。 　日本の産業の活力を維持し、発展させていくためには、このような強みを活かし、更に強化していく取組が必要である。そのためには企業のみならず、国の政策としても「ものづくり」の重要性を認識し、原料・エネルギーから最終消費財までのサプライチェーンとしてのグローバル競争力の強化を目指した成長戦略が望まれる。 今回のエネルギー・環境の選択肢は、まさに戦略の核となるものであり、日本の「ものづくり」を維持・発展させるものでなければならない。 　今回の3つのシナリオは、いずれも比率を約1%程度を前提としており、国が掲げる成長戦略の目標としている2%成長と齟齬をきたしている。今後策定されるエネルギーミックスを固定したものとはせず、環境の変化に応じて柔軟に対応できる戦略とすることを強く希望する。そのためには、環境の変化に応じて3年毎の見直しを行い、成長率のアップ、再生可能エネルギーや省エネの未達の際、その補完が可能なように安全かつ効率的な火力・原子力の技術と能力(火力は、老朽化対策としてのスクラップ・アンド・ビルドを含む)を確保すべきである。 　再生可能エネルギーを拡大することは我が国のエネルギーセキュリティと、並びに関連産業の育成のためにも必要であることは理解できる。一方、将来技術革新及び量産効果等で再生可能エネルギーのコストは低減していくものと予想されるが、さりとて系統対策を含めバックアップのコスト負担は大きく、特に中小企業にとってその負担は死活問題となりかねない。日本経済を支える中小企業が衰退しないようにバランスの取れた政策を要望する。 　また、エネルギー・地球温暖化対策は、地球規模な問題であり、その抜本的解決には、科学と技術のイノベーションが必須である。我が国の素材産業はそれを実現するに十分な潜在能力を有しており、その研究・開発に対する国家予算の思い切った投入を強く希望する。 　最後に原子力産業の人材確保の視点から意見を述べたい。原子力産業は裾野が広い産業分野で、その技術は建設、運転のみならず廃炉、廃棄物の処理に至るまで広範かつ高度なものが要求される。さらに技術面では我が国のメーカーが世界の原子力産業の中核を担っており、今後新興国における原子力発電の建設などにおいてその責任は重い。従って、原子力に関する人材を将来に亘って確保するという観点からも一定割合の原子力発電の割合を維持することは重要である。
30140	個人	会社員・公務員	50代	男性	今回の原子力比率の議論は，福島事故に端を発した感情論的議論となっており，日本の国力，幸せを思った議論となっていない。よって，今回の議論自体の中断をおすすめする。	エネルギー政策は重要な国家戦略であり，その決定に当たっては，(1)国力をもたらすものでなければならない，(2)国民に幸福をもたらすものでなければならない，を基本とする。今回の原子力比率の議論は，福島事故に端を発した感情論的議論となっており，日本の国力，幸せを思った議論となっていない。よって，今回の議論自体の中断をおすすめする。
30141	個人	法人等	60代	女性	原発ゼロシナリオに賛成します	私は福島県出身で、母や兄弟、親戚が放射線量の高い中通り、原発立地地域の浜通りに暮らしています。 原発事故により、彼らの生活は一変しました。原発立地自治体に暮らしていた姪は、子どもを抱えて生活拠点を点々とし、今は将来への不安から鬱になってしまいました。 放射能から逃れた人、福島で生活し続ける人・・・どれぞれ精神的に追い詰められています。これが、豊かな生活でしょうか？安心して生きる国なのでしょうか？ 首都圏は原発なくてもこの夏は乗り切りました。 人命より尊いものはないはずです。 人命なくして経済発展はありません。 次世代に責任ある国として残していくためにも、絶対原発はセロにしなければなりません。深い決断を期待しています。
30142	個人	無職	30代	男性	原発の早期全撤廃	1．原発の存在自体が非核三原則に違反していると考えている。 2．放射性物質の安全管理が出来る地盤がないと考えている。 3．何かあったときに電力関係各所および政府の情報伝達・対応に不安を感じる。
30143	個人	パート・アルバイト	30代	女性	ゼロシナリオを選択肢します。徐々にクリーンエネルギーに移行するべきだと思います。	原発事故が起きて、沢山の方が仕事を失い、家を失っています。 汚染された土地は元に戻るのにはいったい何年かかるのでしょうか？ 事故が起きた時に失うものが大きすぎます。 私は、事故後の終息のためにかかる資金を負担するくらいなら、クリーンエネルギーに移行するための資金を負担する方が何倍もマシだと思っています。 事故対策もままならないような危険な発電施設はいらないです。
30144	個人	自営業	40代	男性	原発ゼロシナリオを選択します。	原発を維持するお金を再生可能エネルギーの開発に使ってほしい。
30145	個人	家事専業	40代	女性	海外に依存している日本の資源状況を鑑みると、原子力エネルギーは不可欠であり、日本繁栄の生命線です。	脱原発は繁栄・発展の観点から見れば日本の自殺行為であり、日本没落をもたらし、多くの日本国民を苦しめ不幸にする道になると考えます。 　今回の事故において直接的な死者が出ていないのは日本の原発の高い技術力によるものであり、原発を維持しつつ、この教訓生かしてさらに安全性を高める努力をすることが大事だと思います。

30146	個人	その他	30代	女性	ゼロシナリオを支持します。	放射性廃棄物の処理方法が確立されておらず、何万年も管理が必要な廃棄物を残すような発電の仕方は、子孫に対して責任ある選択と思えません。 地震の多い国に原発を作ることの危険性もあります。安全対策をするとは聞いていますが、原発にいくら安全対策を施しても地震を止めることはできません。また、国に対しても電力会社に対しても、安心して原発を持つことを任せられないという思いがあります。東日本大震災以前にも事故やデータ改竄などがありましたし、原発使用年限の決定の経緯を見ていても、なし崩し的に古い原発を動かすようなことがあると思わずにいられません。東日本大震災の時の福島第一原発の事故への対応を見ていても、責任を持って国民が守られるという安心感はなく、この国に原発を置くことはとても不安です。 また、コスト面では原発が安いということになっているようですが、今回のような事故があった場合、長期にわたる事故原発の処理や周辺住民、農漁業など産業への補償、というところを含めると、決して安くはないと思います。事故がなくとも放射性廃棄物の長期管理にかかるコストも、将来出てくると思います。 もうひとつは、原子力発電というのは、「誰かが必ず被曝する」発電方法だからです。ウラン採掘から建設、発電、廃炉作業のなかで、作業に携わる方が被曝します。被曝量の制限は決まってはいますが、それでも体調を崩される方も多いです。そうして多くの人の健康のリスクと引き換えに発電して産業を盛り上げるというのは、果たして本当の意味での「先進国」なのでしょうか？それがよい社会なのでしょうか？　また福島第一の作業であったように、長く働くために、あるいはその人を長く使うために、被曝量をごまかすことがあるのも実情です。 そういったことを考えると、できる限り早い段階で原発使用をやめることが一番賢い選択と思わざるを得ません。電気料金や生活、産業への影響はたしかに懸念されますが、国と電力会社と国民とが力を合わせて全力で頑張るべき時期に来ていると私は考えています。資源を利用するエネルギーは必ず資源が付きる時が来ます。であればどのみち、再生可能エネルギーの開発や利用促進は必須になるでしょうし、そのことでの新しい産業もできます。今こうして国民的に取り上げられていることが、再生可能エネルギーを発展させるのにとてもよい起爆剤になると思います。
30147	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	「ゼロシナリオ」を基本として考えることを求めます。将来にわたって、日本国民はもとより世界全体の安全を守るため原子力発電に頼らないエネルギー政策への転換を求めます。	(1)原発ゼロを求める論拠は、一旦事故が発生した場合のリスクが非常に大きい上に、原子力発電の安全性が十分に担保されないこと。使用済核燃料の適切且つ有効な処理方法がいまだ確立されておらず、非常に長期に渡る将来へのつけを残すこととなること。また国土が狭く、地震が頻発する日本では更にリスクを増大させていることです。 (2)「エネルギー・環境に関する選択肢」では、原子力の安全確保、エネルギー安全保障の強化、地球温暖化問題解決への貢献、コストの抑制、空洞化防止の4つの視点が並列で提起されていますが、前提は、原発および廃棄物に関する安全性の確保であるべきです。 　また、事故が起きたときの経済影響は、今回の福島原発の事故が示すように甚大なものになります。そのことも踏まえて、原発に頼らないエネルギー政策への転換という方向性は明確にすべきものと考えます。 (3)私たちは、可能な限り早期に、原発に頼らないエネルギー政策を実現する立場から、三つのシナリオの中では「ゼロシナリオ」を基本に考えることを求めます。2030年時点での長所短所を示し、三つのシナリオの賛否を問うことも必要なことですが、原発ゼロへの方向性をはっきりさせた上で、更に論議を積み重ねることで、より具体的な「ゼロ」に向けたシナリオが作られ国民的合意が進むものと確信しています。 (4)また、2012年6月に開催した、コープとうきょう第21回通常総代会では、多くの総代から原発に頼らないエネルギー政策を賛同する声が多く寄せられました。あわせて、コープとうきょう130万人組合員を対象に毎月発行している、組合員情報誌『duo』の6月号で将来のエネルギー政策について特集した記事に対して寄せられた声は、「生協として原発に頼らないエネルギー政策を国に強く要請してほしい」といった声が大多数を占めました。 (5)そうしたことから、コープとうきょうは、「ゼロシナリオ」を基本として考え、将来にわたって、日本国民はもとより世界全体の安全を守るため原子力発電に頼らないエネルギー政策への転換を求めます。あわせて、エネルギー政策の検討を進めるにあたっては、省エネによる、電力量全体の削減を重要な柱にすえること。地球温暖化問題、エネルギー安全保障などの評価をするにあたっては、電力以外の運輸部門の燃料などについても総合的な検討をおこなうことを求めます。
30148	個人	その他	60代	女性	原発ゼロシナリオを要望します	被爆国の責任として第3の被爆を出さないよう、原発を廃止する方針をうちだしてください。
30149	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発0シナリオを選択します。	原発0シナリオを選びます。 日々育ちゆく子どもたちを見ていると、健やかな成長を願わずにはいられません。怪我や病気など、親子で努力して乗り越えられることは私たちは敢然と向き合うことが出来ますが、私たちの知らない部分、大気や空気といった、私たちの力ではどうにもならない自然環境を侵されてしまったら、それは、我が子や孫の世代ばかりではなく、「ヒト」という種の淘汰の始まりとしか思えません。 経済もお金も、それを回す人がいてこそ価値の出るものであり、人の居なくなった地上で札束の上に胡坐をかいて、何の喜びがあるのでしょうか。目先の経済ではなく、この危機を起死回生のチャンスとして、新しい価値観の世界のリーダーとして日本を再構築してほしいです。 そこには、生命を脅かす原子力は存在しえません。 未来の日本を選ぶために、私は原発0シナリオを選択します。
30150	個人	会社員・公務員	30代	男性	脱原発(ゼロシナリオ)を指示する。そして今後ゼロにするのではなく、直ちにゼロにするべきである。大飯原発の再稼働も停止させ他の原発は絶対に再稼働させてはならない。	原発がないと電力不足になる、原発従事者の仕事がなくなるなどとよく言われるが、仮にそれが真実だとしても、万が一原発事故が起きたときに国民が被る不利益の方が圧倒的に大きい。 電力不足は、節電、火力発電の増強、再生可能エネルギーの強化により補えるはずである。多少エネルギー資源のコストは高く付くかも知れないが、揚水発電等を含め総合的に判断すれば、原発依存よりもコストはかからないはずである。 電力従事者の仕事がなくなるというのも、原発を廃炉にするには30年はかかるとされており、それまでにも多くの作業員が必要である。そのため、原発従事者がすぐに仕事を失うわけではない。 そもそも、原子力産業という特定の産業だけ、そのように守られるのは全く持っておかしな話である。 日本は世界有数の地震大国である。この狭い地震大国の上に、50機以上の原発があるなど正気の沙汰ではない。また活断層の上に原発が建っている可能性が高いという現実から見ても、その安全への配慮は限りなくずさんだといえる。 今回の福島第一原発事故の経緯を見ても、また事故後の原発の対応を見ても、万が一事故が起こったときに適切な対応がとられるとは到底考えにくい。 しかし、忘れてはならないのは、原発は万が一でも事故が起こってはならないものである。今の人類では、核の脅威は制御しきれない。制御するすべがない。 ひとたび事故が起これば、地域住民の生活・健康はもとより、全国民の生活・健康を脅かすものである。食の安全は失われ、自然の生態系は崩れ、常に被爆し続けなければならなくなる。放射能の影響は、病気との因果関係と直接結びつけることは難しいが、放射線によるDNAの破壊など考えても、健康に無害といえる根拠はどこにもない。 仮に西日本で福島レベルの事故が起こったとすると、日本の経済、文化、産業は壊滅的な被害を受けるだろう。食の安全は崩壊し、優秀な人材は海外へ流出し、外国からの観光客も激減し、放射能の影響により少子化はますます加速するだろう。 核燃料の再処理も、これまでの経緯を見れば、撤退するのが当たり前としか思えない状態である。今の科学では核燃料の再処理は無理だし、科学の進歩を待つべきものでもない。 これらのことを考え、原発を動かすメリットはゼロである。脱原発、直ちに全原発廃炉を求める。
30151	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロは不可能。原発の早期再稼働に注力する一方、老朽化した原発のリプレースを進めるべき。	中東情勢が不安定ななか、原油、ガス価格は高騰しており、原発の停止に伴う代替電力供給コストは上昇を続けている。また、イラン問題の進展次第ではあるものの、仮にホルムズ海峡が閉塞されれば、一時的とはいえ、輸入が途絶し、日本のエネルギー事情は一気に悪化する。太陽光発電などの新エネルギーも不安定かつ高コストであり、これらにベース電源としての役割を求めるのは無理がある。したがって現状において取り得る手段は以下の2つ。ひとつは日本の経済規模を極端に縮小させ、エネルギー自体の消費を激減させること。足元の電力料金値上げは、結果として日本の競争力を削ぎ落とし、雇用を減らし、家計を圧迫し、エネルギー消費を減らすだろう。もう一つは原発の再稼働によってエネルギー供給コストを抑制し、積極的にリプレースを進めていくことだ。エネルギー安全保障の面からも望ましいだけではなく、原発を停止したからといって核分裂反応が止まるわけでもないことを考えれば、エネルギーの有効利用にもなろう。どちらが望ましいかは自明である。上記のとおり、極端な脱原発の議論は感情論以上のものではない。長期的に見て、原発を減らすのは仕方ないとしても、依然として基幹エネルギーのひとつとして位置付けるべきであり、老朽化した原発を積極的にリプレースし、より安全で高効率の原発を増やすべきである。
30152	個人	家事専業	60代	女性	原発0を選択します。	自分たちで処分できないようなゴミを未来に残すことは出来ません。 放射能の影響を恐れながら暮らすような生活を、これ以上作り出してはならないと思います。 原発の放射能で苦しむ福島のことを思えば、再稼働などもってのほかです。 原発の廃炉に向けて、技術を結集し、美しい地球を目指すのが、日本の取るべき道と考えます。
30153	個人	家事専業	30代	女性	古い原発は建て直すか、廃炉にした方がいい。また、日本は小さな国なので、何か起こったら、どこにも逃げる場所がなくなる。自然エネルギーへの移行メリット、デメリットを正しいデータで発表して欲しい。	原発維持をしたいなら、古い原発を今後どうするか、国民に示してほしい。 自然エネルギーに移行するなら、具体的に、どのくらい余分にお金がかかるか、もしくは、かからないのかを示してほしい。 原発絶対反対派が作った、データと、原発推進派が作ったデータをどちらも、発表して、その違いを、ちゃんと検証して、本当のデータを作って、発表して欲しい。 本当に正しいデータをみないことには、正しい判断が出来ないと思う。
30154	個人	無職	70代	男性	ｴﾈﾙｷﾞｰの確保やCO_2の問題もあり、原発は必要です。今は、福島の原発事故が国民の頭から離れられないため、反原発の考えが多いですが、将来を見通すと、資源に乏しい我国において原発は、必要だと思います。	今は、国民は原発事故が大きな問題となっています。これからも原発事故の終息に時間がかかりますが、息の長い問題として、時間をかけてこの問題を考えたら良いと考えます。今、原発の保有率を決める必要性はないと思います。
30155	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発をゼロのエネルギー政策をお願いします	原発に変わるエネルギー、自然エネルギーを取り入れてください。大飯原発再稼働にあたり、火力発電所をストップしたことなど、原発がなくてもエネルギーは作れる事の証明だと思います。原発でエネルギーを作る事は、たとえ事故が起こらないとしてもそこで作業する方の被曝を防ぐことはできません。まして昨年のような事故が起これば、日本だけの問題ではなく、世界の問題になり、地球全体を汚染することは既に経験したことです。また使用済みの燃料を最終的に処分する方法も未だ解決されていません。原発が稼働したたかが40年余りで、この先何百年と管理しなければならない物を作り出しています。とにかく、このまま原発を続けても負債が残るだけです。専門家の方々は既にお解りと思いますので、地球環境、人類にとって一番を優先に考えていただき、利益や利権などに左右されることなく決めてください。
30156	個人	自営業	40代	男性	原発ゼロシナリオを求めます。 発送電分離し、電力自由化を求めます。	・核燃料再処理が困難な状況で、放射性廃棄物がどんどんたまっています。原発を続ける限り、放射性廃棄物の処理施設が問題となってきます。未来の世代に放射性廃棄物を残さないように、今すぐ脱原発を進めるべきです。将来的には自然エネルギーへの転換が必要ですが、しばらくはLNGなどで補っていく必要があるでしょう。また原発は一度事故が起こると重大な被害を及ぼします。福島の地域住民の中には一生我が家に戻れない人が出てくると思われます。今後新たな原発を作ることは地域住民が納得しないでしょう。予測不可能な事故は必ず起こります。原発は火力発電など他の発電に比べて、一度事故を起こすと事故処理が困難です。 ・現在の電力会社による独占体制では、高い電気料金を強いられることとなります。発送電分離し、電力自由化を進めることによって、電気料金の値下げされる可能性があり、日本の製造業のコストが下がり、経済の発展に寄与する可能性があります。
30157	個人	パート・アルバイト	50代	女性	福島第一原発事故から、原発の危険性が明らかになりました。これからの時代は再生可能エネルギーへ転換を図ることが第一だと考えます。当然原発ゼロシナリオしかありません。	日本は、広島長崎に原爆を落とされ、第五福竜丸の水爆事故、そして昨年の福島第一原発事故と世界の中でこんなに核の被害にあった国はありません。そして、残念なことにそれは多くの部分で国民には知らされていないことがあります。今でも、福島第一からは微量かもしれませんが放射能がもれています。国は終息したと言いたいのでしょうか、多くの国民はまだ終わっていないと分かっています。政府のまずいことは隠してしまおうという姿勢が、国民にたくさんの不信感を生みました。 　福島では、被爆の心配はないと言ってまわっている大学の先生もいると聞きます。チェルノブイルの事故の後、26年経った今でも健康被害に苦しんでいる人が何万人といる現状を見ても、一度原発事故が起きれば、何十年何百年の単位で人間・環境に影響を及ぼすことが分かります。現に福島では動物に奇形が生まれているということです。子どもたちの身体にも異変が起きているとのこと。とても心配です。なぜ避難していた人たちを戻したのでしょう。本当に、影響はないと信じてやったことなのでしょうか。被害者を増やすだけのように思えてなりません。 そして人間が制御できないものは、存在させるべきではないと思います。 何十年か経ってもまともに動けないもんじゅやうまく動けない六ヶ所再処理工場。どんどんたまっていく使用済み核燃料。これらの対策はどうしていくのでしょう。原発を稼働していけば使用済み核燃料はどんどん増えていくばかりです。こんな危険なものまで子孫に押しつけていくのでしょうか。そんなことは絶対してはいけないことです。あまりにも無責任です。 　経済的なこと以外、人の命や安全・安心な生活など一番大切にしなければいけないことから考えると原発はいりません！大飯原発も止めてください、今すぐに。 　自然エネルギー・再生可能エネルギーへ切り替えていくいい機会です。それで雇用も生まれます。たとえ故障しても人の手で修理もできます。作業する人も健康で安心して仕事できます。原発で働き、体を壊してひどい時は死んでしまう、そのような人をひとりも出さないようにしてください。 　多くの国民は、節電をしていこう！怖い原発はいらない！と決めています。原発シナリオは、ゼロ以外には考えられません。そして全ての原発の即廃炉を望みます。もう一度原発事故が起きてしまえば、日本はおしまいです！
30158	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	エネルギー資源に恵まれない我が国は，エネルギー源の多様性確保が必要である。提示された選択肢からあえて選ぶとすれば，原子力発電比率を一定程度維持するとしている選択肢「20～25シナリオ」を支持します。	エネルギー政策は，国民生活や経済・産業の根幹を支える国家の存立基盤であり，国民の安全・安心で豊かな生活の営みに欠かすことができません。エネルギー資源に恵まれない我が国にとっては，資源エネルギーを巡る国際情勢等を踏まえ，経済合理性や地球環境保全を最大限考慮しつつ，エネルギー源の多様性を確保しておくことが大切です。 そのため，エネルギー・環境戦略の検討にあたっては「エネルギーの安全保障・安定供給の確保」「持続可能な経済成長」「地球環境保全」を基本理念に据えたうえで，東京電力福島第一原子力発電所事故を踏まえ，これまで以上に「安全確保」に万全を期すことを前提に，引き続き原子力発電を活用していく道を採るべきと考えます。 よって，提示された選択肢からあえて選ぶとすれば，今後も原子力発電比率を一定程度維持するとしている選択肢「20～25シナリオ」を支持します。
30159	個人	会社員・公務員	40代	男性	提示された三つの選択肢ではなく、即刻原子力発電所の全廃を求めます。	・使用済み核燃料の処理に行き詰まっている。 ・放射能による健康被害の影響が不明確。 ・原子力発電所の地震対策が不十分。 ・立地対策や廃炉等の費用を加えると、原子力発電の発電コストが一番高くなる。 以上の理由から、原子力発電所の即刻全廃を求めます。
30160	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発はすぐ廃止	責任の取れない施策は、愚の骨頂。責任の取り方を明示できない意見は、子供でも言える。
30161	個人	家事専業	60代	女性	日本の将来の原発依存は0%が望ましいです。	地震国火山国の日本に原発を作ったことがそもそもの間違いだと思います。もっと風力、地熱、太陽熱などの自然エネルギーで発電することの研究に国をあげて取り組んでいただきたしです。
30162	個人	法人等	50代	男性	0パーセントを選択。 廃棄方法が確立していない核廃棄物をこれ以上増加させてはならない。再生可能エネルギーへ国をあげて方針転換するべきである。	フィンランドの核廃棄施設で、10万年保管するということがシリアスにおこなわれている。4000年ほどの歴史しかない世界で、数千年前のこともよく分からないのに、10万年後まで見通すことは不可能である。日本ではまだ最終処分の方法さえ決まっていない。未来への負の遺産を核廃棄物という形で残すのは、未来の子孫に対する犯罪にも等しい。
30163	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロ	15%は増設も含まれるので、福島原発の事故でこんなことになってしまった以上、また誰も責任を取らない取れないという中で増設を念頭にというのはあまり筋の通った話ではないように思うのです。 電気は足りてますし、経済がどうこうなるというのなら私は原発のない貧乏な国を望みます。すでに日本は豊かな国ではなく、原発があろうがなかろうが経済は下降していくのですから。
30164	個人	会社員・公務員	40代	男性	脱原発！「0%にすべき」です。	東日本大震災後、福島原発の放射線漏れについて世界中を震撼させました。世界各国の世論からしても「脱原発」以外考えられません。震災復興を心から願う世界中の人々のためにも、日本から世界に向け、地球を守る、未来を担う子供たちを守る、安心して住み続けられる国にして下さい。
30165	個人	会社員・公務員	50代	男性	エネルギー・環境の選択肢	福島原発事故以来、原子力アレルギーが蔓延しているが、原子力無くして電力の安定供給はあり得ない。 大飯原発の再稼働が、その証拠である。 環境より経済や快適な生活を優先させる文化の中で、安全を確保するには、技術の進歩しかない。 最悪の事故が発生しても、年間1ミリシーベルトを死守する技術なくして、原子力を利用してはならない。 電力の安定供給と原子力の安全性確保の両立を目指すことが唯一の選択肢であろう。

30166	個人	会社員・公務員	40代	女性	『ゼロシナリオ』を望みます。 原発事故を起こした国として、広島・長崎原爆被爆国として、この中でこれ以外の選択はあり得ません。	原発事故を起こして、多くの人命や自然を苦しめました。今も苦しめています。 日本だけでなく、地球全体のために原発廃止を切に願います。 ・同じお金を使うなら、自然エネルギーや省エネ推進のために使ってください。 未来につけを増やすのは即刻やめてください。 ・同じ労力をかけるなら、将来の国民も含め、みなが幸せになれるようにかけて ください。 今の日本は、狂ってます。 この国に住んでいることを、とても情けなく思います。 政府は、この国をどんな国にしたいと考えているのですか？ そんなこと、考えたことないんじゃないですか？ 自分さえ良ければ、今さえ良ければいい そんな、情けない価値観が蔓延しているこの国を 変えてください。 原発廃止は、その変革を起こす、大きな力になると信じています。 私も、自分にできることは続けていきます。
30167	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	2011年3月11日に生じた福島第一原発事故によって、原子力発電の危険性が明らかになりました。示された選択肢のうちでは、 (1)原発依存度0%「ゼロシナオリ」を選ぶべきと考えます。	福島第一原発の事故によって、いまだに多くの避難が強いられ、かつ放射線物質の放出が続いています。メルトダウンを引き起こした炉、大量に残された使用済核燃料などの今後の処理の見通しも立っていないのが現実と言わざるをえません。原発事故はいったん起きると私たちの生活環境を根こそぎ破壊してしまいます。このような発電方法が国策として進められてきたこと自体に疑問を呈します。危険な原発再稼働を行うことなく、一刻も早く全原発の停止、廃炉を求めます。同時に、再生可能で持続可能なエネルギー開発と原発立地市町村における地域経済復興の施策の実施を求めます。
30168	個人	会社員・公務員	30代	男性	安全対策を根本から見直し対策を講じたうえである事を条件に賛成です。 少なくとも、日本の環境で原子力に換わるエネルギーが安定して供給出来るまでは原子力に頼らざるを得ません。	原子力発電は事故が起こると大変なことになります。 しかし、だからと言って日本は原子力発電を廃止することは非常に難しいことと思います。 なぜなら、日本の総発電電力量の30%近くは原子力発電によるものだと言われています。もし、原子力発電をすべて廃止してしまえば、その無くなった30パーセント分の電力も火力発電で補わなければいけません。資源がなく石油、天然ガス等の燃料をほぼすべて輸入に頼っている日本には難しいと思います。 また、脱原発を進めると外国から足元を見られて、さらに化石燃料の価格は上昇すると思います。多様なエネルギー資源を持つことは必要です。 よって、原子力発電がよいか悪いか関係なく原子力発電を廃止するのは無理と言っていいと思います。
30169	個人	自営業	60代	男性	ゼロシナリオですぐにでも原発をなくすこと。	ゼロシナリオ(原子力に頼らない社会)で行くべきです。 今の電力会社や政府など関係者の力では制御しきれない原子力は 今回の事故を二度と起こさないために1%でも事故の可能性がある限り 使用しては(運転)いけないと思う。 そのために電力不足が生じても、節電や他の発電技術でカバーし、 また我慢して、対応するのも仕方のないことだと思う。 次に事故で放射能が放出されでもしたら、日本は破滅です。 今運転している原発も至急停止するべきです
30170	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオを希望します。	日本は世界で唯一つの被爆国です。そしてまた被爆しました。 想定外で済まされることではないはずです。 今後同じことが起きるのは、もうこりごりです。
30171	個人	無職	60代	男性	原子力発電を0にしてください。	現在原子力発電は人間の力ではコントロールできない場合がある。また核廃棄物の処理など現在の技術ではどうにもならないものを、今後も作り続けるのは反対。
30172	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	2011年3月11日に生じた福島第一原発事故によって、原子力発電の危険性が明らかになりました。示された選択肢のうちでは、 (1)原発依存度0%「ゼロシナオリ」を選ぶべきと考えます。	福島第一原発の事故によって、いまだに多くの避難が強いられ、かつ放射線物質の放出が続いています。メルトダウンを引き起こした炉、大量に残された使用済核燃料などの今後の処理の見通しも立っていないのが現実と言わざるをえません。原発事故はいったん起きると私たちの生活環境を根こそぎ破壊してしまいます。このような発電方法が国策として進められてきたこと自体に疑問を呈します。危険な原発再稼働を行うことなく、一刻も早く全原発の停止、廃炉を求めます。同時に、再生可能で持続可能なエネルギー開発と原発立地市町村における地域経済復興の施策の実施を求めます。
30173	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発は一刻も早く全て廃炉にすべき。原発0%。 火力発電も減らして欲しいです。 風力発電は、設置場所に規制が必要だと思います。 できるだけ自然エネルギーを利用した発電に転換していくことを求めます。	原発が危険なことが明らかになった今、原発ゼロ以外の選択はあり得ません。そもそも、ウラン濃縮の際に大量の電力を消費しているし、死の灰は処理方法が無く、埋め立てているだけ。まったくエコでもクリーンでもない発電手段だと思います。 「原発がないと電力がまかなえない」という宣伝がされていますが、信じられない。本当に電力が不足しているのなら、国も電力会社も(スポンサーの)TV番組の放送を止めるくらいの態度を見せて欲しい。 学生だった頃、地質学の教授が「日本は一万年安全な場所に原発を建てていると言っているが、日本には一万年安全な土地などどこにもない」とおっしゃっていもちとにた。 福島の事故後に、危険な日本の土地の原発を稼働していることは、生命への冒涜だと思います。 一刻も早く、原発を全て廃炉にし、自然エネルギーを利用した発電に転換していくことを求めます。
30174	個人	会社員・公務員	70代	男性	2030年の原発依存度は、出来るだけ0%に。	原発は、事故が起こると甚大な被害を出す事が、今回の福島原発や、チェルノブイリの事故から、明白である。仮令、事故に至らなくても、常に有害な放射能を持つ物質を管理・処理しなくてはならない。 再生可能な自然エネルギーによる電力の確保は、難しいが、不可能では無い。その努力が、実るまで、天然ガス等の比較的温室効果ガスの排出が少ないエネルギーで、電力を確保しつつ、現在の原発の廃炉を進めたい。又、節電等の工夫により、原発に依存しない電力体制が可能です。
30175	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	2030年の原発依存0%「ゼロシナリオ」を推進すること	原発を続けることは、将来の子どもたちにどうすることも出来ない危険な放射能を残すことです。使用済み核燃料をどうするかの技術も処分場所も不確定な中で、原発を動かしていくことは出来ません。 地震国日本では、近い将来相当大規模な地震が想定されています。その中で、原発の安全性を保つことは不可能でしょう。「ゼロシナリオ」の他に私たちの安全を確保する道はありません。 放射能は、いったん外に出ると私たちの生活環境を奪ってしまいます。故郷を失った福島県民のことを考えれば、原発をなくすことが重要であり「ゼロシナリオ」しか選択肢はありません。 「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。そのことが、新しい日本の経済成長にも寄与するはずです。 「ゼロシナリオ」を決定し、原発立地市町村には新しい地域経済復興の施策を実施することを求めます。 原発を維持するということは、プルトニウムを含む放射性廃棄物がたまり続けるということであり、有事の際に原発が攻撃されると原爆攻撃やダーティーボム攻撃を受けるのと同等以上の被害が発生する危険がある。また、周辺諸国に対し核兵器保有の懸念を抱かせ余計な緊張状態を生む危険があり、安全保障上でも問題をはらむと考えます。このため、「ゼロシナリオ」を決定し早急に実現する政策の実施を求めます。
30176	個人	無職	60代	男性	一度原発事故が起これば、放出された放射性物質が農業生態系に取り込まれ、農業生産ができなくなる。特に草地を基盤とする北海道酪農は壊滅し、北海道経済にも大きな打撃となるので、原発はなくすべき。	私は、草地を基盤とする畜産技術の開発に携わってきた。また、現在、農業の持つ自然循環機能の維持増進を図るために制定された有機JAS規格の検査員をしている。 北海道は道東地域を中心に、草地を基盤とした酪農が広く行われている。これは土地資源を有効に活用し、河川や湖沼を汚染する物質を排出しない土ー草ー家畜を巡る物質循環機能を活かした農業形態である。化学肥料や農薬を使用しないで牛乳を生産している有機酪農はこの典型である。 しかしながら、大気中に放出された放射性物質は野外で栽培されている牧草に付着する。特にセシウムは牧草の栽培にとって不可欠なカリウムと科学的性質が同じで、牧草に取り込まれやすい。一度牧草に放射性物質が取り込まれると、牧草から家畜へ、そして家畜糞尿として排出されたものが再び土に還元され牧草に取り込まれる。農業の持つ自然循環機能を活かした農業形態ではこれが仇となり、放射性物質を系外に排出できない。 国土の狭い日本では、土地資源の有効活用とともに、輸入飼料の給与に起因する家畜糞尿による環境汚染を防ぐため、土ー草ー家畜を巡る物質循環機能を活かした畜産が必要とされるが、原発事故はこれに対し、壊滅的な打撃を与える。現に、北海道に次ぐ酪農地帯である栃木県北部では、福島原発事故による牧草の放射性物質による汚染で多大の損害を被っている。 こうした事故が北海道で起これば、酪農ばかりでなく、肉牛や軽種馬にまで影響が及び、北海道経済全体の沈滞にもつながる。原発から出る放射性物質の放射能を制御する技術がない現在、原発はなくすべきである。
30177	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電は今後の日本の発展と国民の生命、健康、文化的な生活の維持のために必要不可欠である。 小規模で高コストの自然エネルギー発電(太陽熱、地熱、風力等)では今の電力需要はカバーできない。	電力供給は国民生活を守るために必ず保障されなければならない。これが保障されていないインドや中国内陸部の状況を私は見てきた。現代の生活スタイルや産業構造上、一旦電力供給がストップしたならすべての活動がストップする。 また東日本大震災当時私は仙台に在住していたが、電力・ガス・水道等のインフラのありがたさは身にしみて理解している。 今は電力会社の努力により、災害時を除いて国内ではほとんど停電は発生していない。原子力発電反対派の人々は、この日本の電力供給の充実を当たり前のことで、原子力発電がなくなってもそれが継続されるのは当然と考えていないか。 自然エネルギー発電(太陽熱、地熱、風力等)では今の原子力発電量をカバーできない。永遠に石油、天然ガス、石炭の化石燃料に頼っていくわけにいかないし、それでは電力会社がすべて倒産してしまう。 また地球温暖化も一層加速してしまう。 福島原発事故は不幸な出来事であったが、一時のヒステリックな動きで日本国を将来展望の開けない国にしてはならない。 世界的にみても2050年には世界人口は90億人に達するといわれている。この人口爆発の時代に、化石燃料だけでは経済活動を支えきれないのは自明の理である。 原子力はこれからの日本にとっても必要なエネルギー源である。
30178	個人	無職	60代	男性	東京電力(株)福島第1原子力発電所の事故は、原発の危険性をあらためて人類に知らせてくれた。これを教訓として、日本国内の原発を全面的に廃止するとともに、外国への輸出を禁止する。	東京電力(株)福島第1原発事故は、原子力ムラに群がる企業、政治屋、学者、マスコミなどが作り上げてきた「安全神話」を根底からひっくり返して、原発の危険性を白日に曝した。 その事故によって、16万人以上の人々が住みなれた故郷を離れざるを得なくなった。その中で、どのくらいの方々が病気になったり、精神を病んだり、自らの命を絶ったのか、その実態は把握されていない。 事故原因とその実態についても、国や国会の事故調査委員会によっても、必ずしも正確には明らかにはなっていない。しかし、「人災」と判定されており、決して「想定外」の自然災害によるものではない。 これ以上、国民に災厄を齎さないために日本国内の原発を全面的に廃止するとともに、外国への輸出を禁止するよう法的措置を講ずるべきである。
30179	個人	パート・アルバイト	40代	女性	日本に原発は必要です。 「三つの選択肢」自体に反対します。	そもそもエネルギー政策は、国家の未来の繁栄を見据えて行われるもので、現在の脱原発論は、一時的な情緒に流され過ぎていると思います。 原発ゼロによる国富の流出、国家の没落を招くことのないよう、日本の未来のために責任ある判断を下されるよう心より希望します。
30180	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	(1)提示された選択肢であれば「20～25シナリオ」を選択し，安全確保を前提に原子力発電を維持・活用して，最適な電源構成を構築するべきである。 (2)核燃料サイクル政策は「全量再処理」を堅持するべきである。	意見(1)：提示された選択肢であれば「20～25シナリオ」を選択し，今後も引き続き安全・安心の確保を前提に，原子力発電を維持・活用していくことで，最適な電源構成を構築するべきである。 （意見の理由） エネルギーミックスの検討にあたっては，エネルギー資源に乏しくエネルギー自給率が4％程度と極めて低いわが国固有の事情に立脚したうえで「安全・安心の確保」を前提に「エネルギー安全保障を含む安定供給」「コスト・経済性」「地球環境保全」のいわゆる3Eの同時達成を基本理念として堅持すべきである。 3Eの同時達成のためには，燃料が世界に散在し，燃料調達コストが比較的安価であり，かつ，発電時にCO_2を排出しない原子力発電が欠かせない構成要素であると考える。福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ，原子力発電所の安全対策に万全を期した上で，今後も引き続き，原子力発電を必要なエネルギー源と位置付け，一定規模の原子力発電比率を維持するべきと考える。 原子力・化石燃料・再生可能エネルギー等の各エネルギー源が有する特長を適切に捉え，考えられるリスクを最小限にするべく最適な電源構成を構築していくべきであり，そのための多様な選択肢を保持しておくことが肝要であると考える。 現在は，一律的に原子力発電所を廃炉にするべきという科学的根拠に乏しい意見が散見されるが，エネルギー・環境政策は「国家百年の計」であることを認識し，冷静な論議を展開していただくようお願いする。 また，再生可能エネルギーはわが国将来にとって必要な電源であり，今後積極的に推進していかなければならないと考えるが，一方で現在の技術レベルでは原子力発電に代わる電源になりうるほどのポテンシャルを有していないことも周知の事実である。再生可能エネルギーの現状を冷静に分析・評価し，費用対効果や国民経済への影響などの観点を大切にして，再生可能エネルギーの社会への普及・拡大につながる政策の検討をお願いする。 意見(2)：核燃料サイクル政策は「全量再処理」とする現在の考えを堅持するべきである。 （意見の理由） 元来 核燃料サイクル政策は，使用済核燃料に含まれるプルトニウムをMOX燃料として再利用しエネルギー自給率の向上をはかることや，使用済燃料を再処理することにより高レベル放射性廃棄物の減容につなげること等を目的に，全量再処理を国策として位置付けて進められてきたものである。エネルギーミックスのあり方が論議される現下にあっても，使用済核燃料は存在しており，核燃料サイクル政策の所期の目的は意義を失っていないものと考える。 こうした中，核燃料サイクル政策から再処理路線を放棄することは，これまで先人が積み重ねた技術・知見の放棄につながり，わが国将来の不利益につながるものと考える。 今後も引き続き，安全確保を最優先に「全量再処理」の考え方を堅持し，引き続き研究開発等に尽力するべきと考える。
30181	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	選択肢の中では20－25シナリオを選ぶが、いずれのシナリオにおいても電力コストの大幅上昇により、国際競争力の低下が懸念される。温暖化対策は、日本だけが突出せず、国際的に公平性のあるものとすべき。	3つのシナリオいずれも、国民生活及び産業の基礎となり雇用にも密接に関係する化学産業と、それが支える日本の産業全体に大きな負の影響を及ぼす懸念がある。また、日本が率先して温暖化対策に取り組むことも難しくする。重要な前提が分かりにくく、不確実性の評価もない。ミスリーディングである。あえて選ぶとすれば、エネルギーに多様性がある20－25シナリオである。 1.生産、雇用への影響について 化学産業の電力消費量は、2010年実績で約310億kWhである。安価で安定性のある電力供給は、その競争力に極めて重要な条件となる。しかるに、再生可能エネルギーの導入拡大による電力コストの上昇は、20－25シナリオにおいてすらも5.5円/kWhのコストアップとなり、年間1,700億円のコスト増となる。安価で安定的に再生可能エネルギーが得られるのであればエネルギー安全保障の観点でも意味を持ちうるが、設定された購入価格は世界的に際立って高く、ドイツをはじめ、すでに価格設定の見直しが行われている世界の潮流と逆行している。持続可能性には大きな疑問がある。 日本の化学産業は、これまでの省エネ努力の積み重ねで、世界最高水準のエネルギー効率を達成している。他の先進国と比較しても、省エネ投資額は極めて高い水準に到達している。経済の先行きの不透明な中で過度な省エネ目標を設定しても、生産の海外シフトを助長するだけである。投資は、国内ではなく海外へ向かい、国内産業の存立を危うくする。現状においても、化学産業の海外生産比率は、2000年の12%から、2010年の17%へと増加していることに留意すべきである。なかでも、社会・産業活動に欠かせない基礎資材であるソーダと塩素を提供しているクロルアルカリ関連産業は、電解に使用する電力が主原料となるだけに、いずれのシナリオでも、想定される電力コストの増加は大きな打撃となる。国内での製造活動の維持がますます困難となり、関連産業への波及も大きく、雇用の削減は、地域経済を直撃することとなろう。 2.地球温暖化問題解決への貢献について 温暖化対策は地球規模で取り組むべき課題である。主要排出国全部が加わり、公平性のある対策を行うことが実効性に欠かせない。しかし、現状では、日本の対策は世界で突出し、すでに国内で大きな負担を伴っている。世界全体でみれば、既に日本の排出量のシェアが小さいことから、日本一国でドラスチックな削減を行っても、世界全体での削減量は極めて限られる。もともとの目標設定に無理があり、しかも、原発の大幅増を前提としていた。削減目標そのものを、現実的な水準となるよう大きく見直すべき状況にある。日本がもっとも大きな貢献を行えるのは、日本の優れた省エネ技術、再生可能エネルギー技術を世界に普及させることである。自らの省エネ努力も大切ではあるが、日本の温暖化ガス排出量のシェアは上述のようにかなり限られたものとなっているので、日本が技術開発をリードし、それを世界に普及して行くモデルを国家戦略として目指すべきであろう。化学産業は、断熱材、軽量構造材料など建造物、輸送機器の省エネ化に資する製品、LED、太陽光発電等の再生可能エネルギー、あるいは高効率蓄電池機器等の製造のための部材や製品供給により世界のグリーン・イノベーションをリードし、地球温暖化対策、環境課題克服等により世界の持続的発展に貢献してきた。しかるに、過大なコスト負担は、投資と技術開発の足かせとなり世界をリードすることを難しくする。化学産業の地球温暖化問題に対するより一層の貢献が困難となり、省エネルギーや再生可能エネルギーの導入拡大にも影響を及ぼすことになる。 3.省エネルギー、再生可能エネルギー導入の実現可能性について 2030年の最終エネルギー消費は、原油換算で3.0億kL ～ 3.1億kLと、2010年の3.9億kLと比較して約2割の削減となっている。この省エネルギーを達成するため、化学産業は、2020年までは既存の最先端技術の適用拡大によるエネルギー消費削減に努めるが、2020年以降は、革新的省エネ技術の開発導入が必要となる。この革新的省エネ技術の開発導入を促進するためには、明確な将来見通しが欠かせない。しかしながら、現下の厳しい経済情勢や国際的競争環境においては不透明な要素が多い。このため、積極的な投資を行いづらい状況にある。 国家全体のエネルギーシナリオとしては、家庭、業務、運輸も含めて、各部門で経済効率と実現性の高い対策をとるべきであり、その実現可能性を十分に検証した上で省エネルギー目標を設定すべきである。温暖化ガスの排出が増えている民生と業務部門での対応が重要であり、この観点で、先進諸国のみならず周辺諸国と比べても見劣りする建築物の断熱基準を強化すべきと考える。 再生可能エネルギーの比率を、例えば、現状10%から30%とするためには、太陽光パネルを強度的に設置可能な一戸建1,110万戸の9割にあたる1,000万戸に導入する必要がる。また、風力発電においても、国内最大級のウインドファームを、現状の30カ所から、さらに420カ所建設する必要がある。再生可能エネルギーにおいても、省エネルギーと同様に、その技術的・経済的・社会的実現可能性には大いに疑問があり、理想・願望的な可能性の提示にとどまっている。従って、今回提示された3つのシナリオのいずれにおいても、電力供給に不具合を生じた場合に備えて、代替電源としての火力や原子力を準備しておく必要がある。火力や原子力発電所の建設には10年、20年の長い年月と高い技術力を要するため、リスク対策として、効率的で安全性の高い火力や原子力発電に十分な技術と能力を確保しておくことが必要である。日本は、自国で産出するエネルギーのシェアが他の国々と比べて極めて低いことから、エネルギー安全保障、及び、エネルギー調達におけるバーゲニングパワーをどう確保するかという観点でも十分な考慮が必要と考える。

30182	個人	法人等	40代	男性	2030年までに原発ゼロではなく、即刻ゼロを目指すべき。パブリックコメントの設問そのものがおかしい。生活を守るために原発が必要だという理論はおかしい。必要なのは電力で再生可能エネルギーへ転換すべきだ。	このパブリックコメントが「2030年までに」とあるようにゼロを目指しても2030年までは無くならないことを前提にしてあること自体がおかしい。政府は今回の事故をもっと重く受け止め、国策と企業の利益を優先させるのではなく、被害者への賠償と、再生可能エネルギーをベース電源に据えるべく努力すべきである。そのためには豊かなくらしが社会的弱者の犠牲の上に成り立つようなシステムを見直す必要があり、そこにおいて国と電力会社の責任を明確にすべきである。
30183	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は再稼働せず、廃炉に向けて冷やし、追加防災工事をし、核廃棄物の安全貯蔵について研究を始める。もっとリスクとコストの低い火力発電を当面主力とし、ソフトエナジーあるいは再生燃料での発電方法に転換すべき	原発は燃料の採掘や廃棄の過程で環境汚染と石油エネルギーを使う。また核廃棄物の最終処分の展望が全くない状態でこれ以上核廃棄物が増えていくことは、世界経済の混乱と環境破壊を引き起こすであろう。 　原子力発電所は再稼働せず、廃炉に向けて核燃料を冷やし、追加の防災工事を核汚染の危険を減らし、核廃棄物の安全貯蔵について研究を始める。核よりももっとリスクとコストの低い火力発電を当面主力とし、ソフトエナジーあるいは再資源化燃料などでの発電方法に転換することを急ぐべき。特に大掛かりな発電プラントだけでなく、既存の廃熱エネルギーや小型自然力発電所などをもっと取り入れるべき。 またライフスタイルの改革も必要。低負荷の交通手段への転向。職住近接、コンパクトな市街地作り、節電して基本の需要を満たすのではなく、需要そのものを小さくすることも必要。
30184	個人	無職	50代	男性	大飯原発の再稼動には反対。将来的には新基増設はせずに古くなったものから廃炉にしてゆく。	大飯の再稼動に反対。1福島の事故の検証がまだなされていない。2敷地内の断層が活断層かどうかの調査をすべき。新基増設はせず古くなった原子炉から廃炉にして原発ゼロを目指す。1原子炉はそもそも事故が無かったとしても作業者の被曝は避けられないから。2またもし事故が起こった時他のどんな発電方法の発電所より桁違いの危険性がある。3放射性廃棄物の処理方法が確立されていない。
30185	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電の比率を可能なかぎり増やしていくべき。	理由 シーレーン有事の際の安全保障の問題解消と覇権国家への原子力兵器からの牽制 更には世界有数の技術力の維持による経済的な効果と世界の電力の安定供給の貢献のため。
30186	個人	会社員・公務員	50代	男性	いずれの選択肢も原子力開発の後退であり，それは日本の原子力開発の終焉をもたらすことから，即刻，原子力発電事業の再編（電力会社から原子力部門を切り離し)を，国の責任を持って行うべき。	いずれの選択肢も原子力開発事業の後退を意味している。また，比率を決めるということは，国の管理下に置くということで民間活力の失わせるものである。このような環境下において，事業者である電力は原子力発電について，事業としての魅了を感じることはないと思われ，使命感の低下が生じると考える。また，学生をはじめ将来を担う優秀な社員・学生を集めることが難しいと考える。 その結果，安全性向上を期待する能力(力量)が減少すると考える。 よって，いずれの選択肢となっても，国が管理する原子力事業とし，国が主体となった事業展開を行うべきと考える。
30187	個人	家事専業	50代	女性	原発大賛成	○原発ゼロになった場合、家庭の電気代は最大2.1倍に跳ね上がる ○GDPは最大45兆円も減少 ○太陽光発電や風力発電への性急なシフトは我々の経済的負荷が過大になるばかりでなく、その不安定性をカバーするために結果的に化石燃料への依存度を高め、我が国のエネルギー安全保障を著しく損ねる恐れがある
30188	個人	家事専業	30代	女性	「原発0シナリオ」を支持します （即刻原発0を望みます）	・再稼働はしないでください。 ・子供たちに安全で健康な未来を残す為に、原発はゼロにしてください。 ・もっと省エネルギーの取り組みを進めてください。 ・もっと自然エネルギーを推進してください。 ・既に破綻している核燃料サイクル温存が2と3のシナリオです。再処理の廃止を決めてください。 ・地域分散型のエネルギー供給を進めるよう、電力システムを改革してください。 ・これ以上、核のごみを増やさないでください。 ・人が暮らせなくなるリスクを負ってまで、原発を稼動させないでください。 ・自然、人を汚染させるリスクを伴った原発で作られた電気を、お金を払ってまで利用したくはないです。 ・一部の人間の利益のために、原発を稼動させないでください。 ・瓦礫を拡散しないで下さい。
30189	個人	無職	70代	男性	国際協力のもと、核燃料サイクルを含めた原子力発電技術の向上、安全性向上にむけ普段の努力が必要である。鋭意自然エネルギーの開発を進め、その導入実績にあわせ原子力発電量を決めればよい。	原発事故をうけて、国内で原発ゼロを望む風潮が強くなることは理解できますが、世界のエネルギー情勢は原発事故後もなんら変わっていません。世界全体が 原発ゼロで、自然エネルギーを頼りに将来のエネルギー計画を達成できるとはおもえません。発展途上国から見ると、金持ち先進国のわがままととられるのではないでしょうか。全地球規模でのエネルギー将来展望が必要です。このため国内でも、原子力技術革新努力をペースダウンしてはいけません。
30190	個人	無職	70代	男性	2030年に0%ではなく、直ちに0%にすべき。更に大きな事故が起きれば自国だけでなく地球環境が壊され回復は不可能である。遺伝子への影響も解明されていない。	チェルノブイリ事故のあと長年議論されて、福島の事故で決断したドイツを見習うべき。人間は贅沢になり資源やエネルギーを消費し過ぎている。
30191	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	ゼロシナリオを選択する。 できるだけ早く原発ゼロ政策を確立し、省エネと再生可能エネルギーを最大限導入するために総力を上げるべき。温室効果ガス2020年25%削減を実現させる政策へ転換をすべき。	1）福島第一原発事故は、原発に係る技術が未完成であり、過酷事故時に放射性物質の放出・拡散を防ぐためのコントロールができないことを示しました。地震国・日本では将来に渡って、そのリスクを解消できる見込みはありません。 また、原発から必然的に発生する放射性廃棄物を無害化する技術はなく、超長期に及ぶ遮蔽・管理を将来世代に委ねて放射能の低減を待つしかない無責任な対応しかできません。既に存在している放射性廃棄物の処理方法も決まらないまま40年以上にわたって原発の運転を続けてきたのが実態です。 使用済み核燃料の全量再処理を前提とする核燃料サイクル政策は、2兆円超の予算をつぎ込み、18回もの計画修正を繰り返しても技術的・経済的に確立する目処すら立っていません。 以上から、原発を維持する政策をとることはできません。原発と核燃料サイクルからの撤退を決断すべきです。 2）原発に変わるエネルギー源として、省エネと再生可能エネルギーをできるだけ早期に最大限導入すべきです。そのためにも原発比率ゼロを前提として政策を総動員することが必要です。 加えて、将来世代への責任として、地球温暖化防止のために2020年に温室効果ガスを90年対比で25%削減するとの国際公約の実現をめざすべきです。 地球環境と大気汚染を考える全国市民会議（CASA）が今年7月に発表した「CASA2020モデル（Ver.4）」の試算結果では、「省エネ対策などによるエネルギー需要量の削減と、エネルギーシフト（脱原発・脱化石燃料、再生可能エネルギーの普及）により、2020年にCO2排出量を1990年比で25%削減可能である。また、この温暖化対策の実施によるマクロ経済への悪影響もほとんどなく、むしろ経済波及効果が期待される」ことが示されています。 （2020年CO2削減量は、2030年原発全廃ケース31.0%、2020年全廃ケース24.9%、原発再稼働なしケース24.4%。2009年に527兆円の実質GDPは、2020年BaU ケース638兆円、再稼働なしケース635兆円。） 3）私たちは2011年3月11日を契機に人類の歴史に刻まれる困難を経験しました。今も続くこの困難に学べば、命と環境を脅かす危険を持つ原発事故のリスクを受け入れながら生きることは、もはや選択できません。 「ゼロシナリオ」を基本に、真に革新的で新しいエネルギー・環境政策を確立し、世界の人々と将来世代に示すことが私たちの責任です。
30192	個人	自営業	50代	男性	地球温暖化の問題を棚上げしてまで、原子力の有無を議題にする事はおかしい 今まで培ったきた原子力研究は人類にとって必要かつ重要な研究である。	地球規模での考え方をする時代に入ったと思う。原子力の事故は今後は防げるものとして更に研究を重ね人類にとって必要不可欠なエネルギーとしての位置付けが必要である。ヒステリックに事故の反動で原発反対を唱える人たちが居るが、現状の地球温暖化は、ここ数年の気象異常を見ればわかる事だ。さらに化石燃料特に天然ガスが大量に埋蔵してある事も含めそれを使う事により地球規模での破壊をどの様にくい止めるかは現在生きる人類の使命である。その意味では原子力の事故防止は最重要であり緊急を要する課題でもある。この二つの考え方に自然エネルギーの開発もさらに強化すべきでもある。太陽光発電は、太陽と言う莫大な量の原子力と同じ理論からの恩恵でもあるが並行した研究とその効果は大きいものがあるとも思う。原子力の今回の事故は未来に向けた教訓として生かせばいいとも思う更に防災の観点からも研究を進めるべきであり、脱化石燃料計画から原子力研究を外す事だけは考えてはならないと思う
30193	個人	無職	40代	男性	3つの選択肢から選ぶのであれば、原発の比率0%です。	日本の原子力開発に携わる人たちは、過酷事故は100万年に1回ほどの確率しかないと主張していましたが、スリーマイル島の事故・チェルノブイリでの事故、そして福島での事故と、半世紀ほどの間に3回も炉心が溶けるという大事故を引き起こしています。今後、自然災害だけでなく、ヒューマンエラーでも過酷事故が起きる可能性はあるのであって、どんなに対策をしても完全に発生の確率を0%に出来るものではない。 また、福島での事故が発生する以前から、貞観地震に関する研究報告がなされ、大きな津波があったこともある程度解明されていたにも関わらず、その対策を先延ばしにし、経営における利益を最優先してきた業界の体質は、これだけの大事故を経験した今現在においても変化がみられない。 東京電力のテレビ会議の録画画像の公開方法などをみても、事故原因の解明に対する積極性は全くみられず、誠意のかけらも感じられない。 また、もし仮に過酷事故の発生を完全に止めることができたとしても、最終的な核廃棄物の処理について、地層処分の具体的な立地の検討も出来ないような発電方法を続けてゆくことは現実的ではない。 地層処分についても、半減期が数万年という物質がどんどんと溜まってゆくのだから、人類の歴史よりもはるかに長い期間、安全に保管できる保証などどこにもない。 このようなことを考えると、福島での事故を糧として、この機会に日本のエネルギー政策の大転換を図らなければ、これから先の日本に、そして地球上に生まれてくる人類の未来が明るいものになるとは思えない。 現状、直ちに原発を0%にすることは危険を伴うかもしれないので、夏と冬の電力需要の多い時期だけ稼働させることとし、運転開始から40年を過ぎた原発は順次廃炉にしてゆくことを強く要望します。 今、地球上に住んでいる人類は、安全で住みよい環境を次世代、未来の人類に残す義務があります。今日明日のことだけ、自分の利害だけを考えてエネルギー政策を決めることは許されません。 熟慮を願います。
30194	個人	会社員・公務員	50代	男性	資源のない日本において、産業の安定的な発展のためには原子力発電はなくてはならない手段です 。最低でも20～25%は必要	再生可能エネルギーや火力発電にシフトするとして、国民が高い電気代を継続的に負担できるのか。また、産業の生産性において、海外とのコスト競争にも太刀打ちできずひいては雇用にも影響があると思われる。このためにも原子力発電比率は高ければ高いほど良いと考えるが、安全対策に万全を期すことが前提である。
30195	個人	会社員・公務員	60代	男性	エネルギー政策は一国の存亡にかかわる重大事ゆえ、もっと、時間をかけて慎重な政策決定が望まれる。 現時点では、とりあえず、選択肢3を選び、国策選択の幅を残しつつ、冷静に決めることを希望する。	エネルギー政策は、食糧政策、防衛政策もそうであるが、一国の存亡にかかわる重大事である。このような重大問題を、性急に、しかも、専門知識のない一般国民の議論に委ねるかのごとき政府の姿勢には、大いに、疑問がある。 この1年余りの期間のTV、新聞等メディアの論調を見ていると、再生エネルギーへの過剰な期待、原子力エネルギーへの感情的な嫌悪感、電力の安定供給確保のための知識不足等、専門家不信や大衆迎合的な論調が溢れている。 このような社会的環境の下で、性急な国策決定はなすべきではない。
30196	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発ゼロの日本に戻していただきたい。特に私の故郷である青森の再処理は絶対に中止してください	福島の事故で、原子力を人間が制御するのは無理だとはっきりしました。 原発がないと電力不足といいますが、節電や自然エネルギーの使用で補えるはず。関東は原発なしで、この夏も乗り切れる模様です。私も去年は扇風機で乗り切り、今年はサンスクリーンを導入することで、扇風機さえ使用ゼロです。 特に訴えたいのは、原発再稼動を急ぎ、もし再度の事故が発生したら日本は世界の信用を失い、地球環境を汚してしまうだろうということ。そうなったら取り返しがつきません。 目先の利益ではなく、将来の国民に負の遺産を残さぬよう、ひとりの日本人として賢明な道を選択していきたいです。
30197	個人	学生	20代	女性	(1)0%	段階的な停止ではなく即刻止めるべき。 政府は(1)0%ではなく(2)15%を支持しておりその理由が「産業や暮らしへの影響を配慮」するためらしいが、0%だと一体どのような影響が出てしまうのかもっと具体的で明確に伝えてほしい。 暮らしに対して原発事故以上の大きな影響は今後起こらないと思うしこんなことで慎重になるくらいなら原発など建設すべきではないし再稼動も必要ない。
30198	個人	会社員・公務員	50代	女性	0%シナリオを進めてください。	福島原発の後処理も進まず、方向性も見えない現状の中で、大勢の人々が、今もこれからも苦しみ続けなければなりません。 今年の原水爆禁止世界大会では、世界中の人々が、核と人類は共存できないことを語りました。今、唯一の被爆国である日本は、福島の原発事故の教訓を今後につなげていくことが重要であり、被爆国としての役割だと思います。 国政は国民のためにあるべき、国民の暮らしがより豊かにおくれるよう進めるための義務があるのではないでしょうか？　首相官邸を取り囲む、「原発反対」「自然エネルギー」への転換をという国民の7割を超える声に真摯に耳を傾けてほしいと思います。 私には、子どもがいます。孫も生れます。日本に生きる国民の一人として、子どもや孫たちが安心して暮らせる日本を残してやりたい　そんな思いでコメントを描いています。 原発依存、固執していては何も変わりません。0%シナリオへ踏み出すことで、様々な知恵が生まれ、国民的な協同も生まれると思っています。 被爆国日本が今、すべきことは原発0%に向けて大きく方向を変えることだと思います。 ぜひ、よろしくお願いします。
30199	個人	会社員・公務員	70代	女性	原発をゼロに。原発絶対に反対！	人類を守る為に原発に頼らず、まずは節電を実行・定着させ、他の発電に切り替えるべきでだと思ったので。
30200	個人	会社員・公務員	50代	男性	25%以上の原子力比率であるべき。エネルギー自給率の低い日本が、経済成長していくためには、原子力によるエネルギーの創出が必須である。	再生エネルギーはエネルギー密度が低く、ベース電源には難しく、国民及び国内企業のコスト負担が大きい。火力発電所は、燃料であるLNG、石油、石炭のほとんどは海外からの輸入で、年間何兆円もの国富の流出を続け、しかもCO2排出問題がある。これら問題の解決策が具体的に示されていない以上、「脱原子力」を唱えることはできない。また、公聴会では、電力会社員の出席が認められていないが、エネルギー産業に携わってきた人たちを締め出しての意見募集には、違和感を感じる。エネルギー政策の問題は、単に反対や賛成だけでなく、様々な問題が関わってくるもので、情緒的な雰囲気のもと、一般素人の意見だけで、これらが形成されることに不安を感じる。また、元総理大臣が、自ら所属する政党が、内閣を形成しているにも関わらず、デモに加わるシーンには、今の政治家の程度の悪さを感じ、そこでは慎重な議論を否定しているように思える。
30201	個人	会社員・公務員	40代	男性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張《即原発ゼロへ。弱者の保護を優先》	ほぼすべての原発直下に活断層がある上、日本のほとんどの地震学者が「巨大地震のサイクルに入った」との見解を共有しており、一刻も早い原発ゼロへと動くべきです。仮に計画停電が必要になるとしても、病人、被介護者、子供、老人らの健康と生命を守れるレベルでの実施は不可能なことではないはずです。
30202	個人	家事専業	70代	女性	原発の稼働は0%にすること	原発の稼働は、生命の尊厳、日本国憲法が国民に保障している基本的人権の保障を踏みにじります。原発から出つづけている危険な物質を最終的に処理することすらできず、いったん福島のような事故が起きれば、住民が、住んでいる土地から放逐され、生活の破綻、人生の壊滅的被害、生命の危機に永久に脅かされ、広範な地域の人々、地球に放射能の被害をもたらす危険の認識すらない、福島の事故さ責任を取らず、自己の検証さえできず、経営を守るためにのみ再稼働をする、（電力不足を口実にして）、国民は真剣に道徳的に節電に励み、77歳の私ですら体を鍛え、家内にある4か所のエアコンを1か所も稼働せず、熱中症にもかかわらず、節電に励んでいます。倫理委員会の提唱で、ドイツでは、3・11の3ヵ月後に、原発ゼロの方針を決定したドイツを見習い、地球を汚染した日本は、倫理的立場をかなぐり捨て、まだ、事故の県所や、今後の道筋さえ立てない恥ずべき現状をだかいするために、まずやるべきことは、原発稼働ゼロの方針を立てることです。無責任が次々に明らかになる東京電力と、日本政府は責任をとって、まず原子力発電ゼロ%の方針を世界に発表して辞任してください。日本国憲法は国民主権を保証しています。国民の7割以上が、原発の稼働0%の意見です。東力会社と日本政府は、日本国憲法の三大原則を守ってくだい。99条には、天皇以下すべての公務員は日本国憲法を守る義務を課しています。私は定年まで公務員の職にあった者として、切望します。
30203	個人	学生	10代以下	女性	基本的に「3つの選択肢」自体に反対し、原発再稼働に賛成します。	現時点で脱原発を実行することは、国の経済的観点からも国防を考える上でもマイナスになると思います。 ただ今の時点でも節電という名目上、政府は各企業に対し協力を求めていますが、これは確実に国の生産力を削っているはずです。また身近に核兵器を持ち日本に落そうとする国も存在している中、抑止力として核を持つことも考えるべきであるのに、原発を無くす方向を審議していることは、的外れなのではないかなと思います。 そもそも、節電に協力して少なくない人が熱中症で倒れ、中には亡くなった方さえいますが、福島原発の事故で亡くなった方は一人もいません。広島・長崎の原爆は悲惨なものであるし、原子力が危険なものあるという認識は私にもありますが、過剰に恐がりすぎている面もかなりあると思います。身近に迫る確実な危機よりも、遠くにある不確実な悲惨を感情的に見て、煽っているように取れます。 将来的に、隣国の危機が除かれ、原発に代わる有効なエネルギーが開発されてからならばともかく、いまこの段階で未来を見据えて脱原発を始めよう、などという政策は、現実を直視していないものであると、私は思います。
30204	個人	会社員・公務員	40代	男性	3選択枝の中では、消去法で20～25シナリオを支持する。	エネルギー問題は、国家百年の計として検討すべきであり、現在の状況だけでなく将来に渡ってできるだけ安価でかつ安定的にエネルギー供給がなされる方法を模索する必要がある。国民的議論が必要なのは言うまでもないが、福島の原子力事故からまだ1年半もたたない状況下では、冷静な国民的議論など到底できるわけもなく、今回の戦略決定の進め方はあまりにも拙速と言わざるを得ない。それでも、あえてこの中から1つを選択するとすれば、基本的に現状維持の20～25シナリオとせざるを得ないが、あくまでも消去法であり、これに積極的に賛成するものではない。今回の検討は、原子力事故をめぐる様々の動きがある程度落ち着いてから仕切り直しすべきというのが、本当の意見である。今は、震災で失われた電源を一日も早く回復することを最優先とすべきで、その一環として、既存の原子力発電所の安全の確保と、安全が確認された原発の早期稼働を進めるべきと考える。
30205	個人	自営業	30代	女性	再稼働させずに、廃炉へ向けて経済の仕組みを転換し、これまでの原発ありきのエネルギー政策の見直しを求めます。 地方の産業（農業漁業林業などの活性化）に力を注いでいただき原発のない地域経済の確立を。	一部の人、企業の利権のために多くの被ばく者をだす原発を続けていくことに、明るい未来は見えません。 温排水を出し続けているのに、クリーンなエネルギーとはいえません。 もんじゅにせよ六ヶ所の再処理工場にせよ、多額の資金を掛け建設したにもかかわらず、いまだに費用対効果の効果の部分が見えてきません。 そのお金を地域の産業や暮らしに生かしていたら、地方が衰退、持久力の低下、過疎化・・・など　さまざまな問題がここまで悪化しなかったのではないでしょうか。 いまからでも遅くはないはずです、エネルギーの転換、経済政策の抜本的見直し　政治の力があるのであれば、政治家の皆様にお願いいたします。

30206	個人	会社員・公務員	40代	男性	事故原因究明や事故後の対応に納得いかない。終息宣言を行なったが、福島の状況は厳しいものがある。原発再稼動なんて考えられない。電力不足は節電等で対応すれば良い。緊急に原発を0%にする事が必要	福島や周辺地域への放射性物質は今なお放出され続けている。政府による事故原因報告や東電の報告など報道で聞いたり見たりするが信用できない。今回のエネルギー・環境に関する選択肢についても、再稼動しなければ日本がだめになるかの様なある意味脅しの様に感じします。国民が団結して節電を行なえば乗り切る事ができると思う。又、並行して原発に変わるエネルギーの研究も行なう事が大事。地震列島の日本で二度と福島の事故を起こしてはならない。国民の生命と財産を守るのが政府の努め、東電や大企業等を優先した政治はもう時代遅れ、人を守る人を育てる政治に切り替えて欲しい。環境に配慮したエネルギー開発で世界のイニシアティブを日本に取って欲しい。日本ならできると思う。政府は即時原発を0%に大事故が起きる前に、後悔する前に行なって欲しい。
30207	個人	自営業	40代	男性	新エネルギーの研究開発は重要だと思います。しかし脱原発ありきで物事を進め火力発電の比重を増やすのは反対です。	景気が悪く売り上げが最低な今、これ以上毎月の支出増やす方向での政策には賛同できません。 また、火力発電の比重が高くなれば高くなるほど外国への依存度が高くなり危険です。(中国にシーレーンを押さえられたらアウト！、中東情勢により不安定な石油の取引の状況など)
30208	個人	無職	70代	男性	すべての原発を即時停止し、廃炉に向けてことを進めてもらいたい。	核兵器と原発は完璧に連動した技術であり、ともにその莫大なエネルギーを利用するだけで、放射能をばらまき、利用によって溜まり続ける放射性廃棄物を無毒化する技術を持たない。このままいけば地球上の全生命は悪かなとHにふって滅ぼされるほかはない。 　そんなことが許されるはずはない。いまならまだ間に合うかも知れない。何はともあれ全原発の即時停止を決めよ。そこから英知を集めて工夫を凝らせ。税金はすべての人びとに安全・安心・幸福をもたらすためにこそ使え。
30209	個人	自営業	60代	男性	シナリオゼロを選択すべきと考えます。脱原発のうえ、再生可能エネルギーへの転換を図ることが最善と思います。	昨年の311原発事故を経験した今、基本的にフェールセーフの考え方が採用されるべきです。事故の発生確率の多寡などでその存廃を判断するのでなく、不測の事態でも国民の安全が保障されるようなエネルギーに転換すべきです。日本の科学技術力をもってすれば、新エネルギー生産技術は必ず近い将来実現できると確信しています。(以上)
30210	個人	自営業	60代	男性	選択肢は3つのシナリオから選ぶことになっていますので、私は原発ゼロシナリオを選択します。3つの選択肢では停止にする時期が明記されていませんが、温暖化対策をして、直ちに原発を停止することを切望します。	日本は世界でもっとも地震の多い国です。原発施設にあると言われる活断層の再調査も、電力会社主導行われるのでは、安全性が確保されません。 今回の、フクシマの事故の対応を見ても、日本で原発事故が起きた際の事故処理をする技術があるとは思えません。政府はフクシマ原発事故の終息宣言をしましたが、未だに除染は進まず、多くの福島県民が不安と危険を抱えているのは事実です。 大規模災害時の政府の対応や情報公開についても、フクシマ原発事故以降、問題が解決されたとは思えません。 エネルギーは日本の経済を活性化し景気を浮揚させるためには重要です。産業界には自前の電力確保を促し、病院など公共性の高い施設に優先的に電力を供給し、国民には節電を促して、クリーンな電力へ速やかに移行することが重要だと考えます。 日本国内の原発は全て、速やかに廃炉とし、既存の原子炉立地自治体には、除染の技術や廃炉の技術を確立するための研究所や工場を設置し雇用の場を作る方法もあると思います。 また、それら技術は世界の原発施設へ供与する方法も考えられると思います。 既存の原発立地県が今まで受けてきた補助金の代わりに、クリーンな電力を作る施設を新たに作り、雇用の場を確保することも重要だと考えます。 日本独自のクリーンな電力を生み出すためには、産業界、大学の研究機関、ベンチャー企業なども加えたオールジャパンで取り組み、政府のバックアップで世界に輸出する技術を創出することが重要だと考えます。 そのためには、電力の完全なる発送電分離が欠かせません。 原発を速やかにゼロにすることを希望しますが、国際的な温暖化対策も考慮に入れた対応を望みます。
30211	個人	無職	60代	男性	原発ゼロシナリオを選びます	福島原発事故の処理さえ全く出来ていないのに、なお原発に頼ろうとすることは考えられない。ましてや、原発から作られた廃棄物の処理方法も定まらないのに、なぜ原発なのか理解できない。再稼働も辞めて、すべての原発はただちに廃炉へと持っていくべきです。
30212	個人	その他	70代	男性	三択で決めるのは時機尚早。今決めるなら取敢えず25%を選ぶ。40年前Westinghouse社の安全研究の徹底振りを見たが今こそ見習うべき。安全保障と、電気自動車を視野に入れれば50%が理想と考える。	原子力は高々40年の経験しかない。その間自然災害やテロに対する危機管理について日本がアメリカに学ばなかったことが今回の反省である。今世界が目指しているのは持続可能な社会であり、エネルギー偏在による社会不安や紛争をこの世からなくして恒久の平和と民族の真の独立を目指している。そのために日本が今回の失敗を教訓として、原子力の基礎を築き直しその成果を世界に提供して理想の世界秩序の確立に貢献すべきである。 　たとえば日本が50%電力を原子力でまかなうことが出来たら、世界で紛争があってもその備蓄と併せて、非常時の電力節約を全国民で取り組めば、少なくとも3年以上油の輸入なしに国民生活を最小限維持できる。これは究極のエネルギーの安全保障であり、国家の独立の基でもある。そのような超長期の国のあり方についての議論が先にあるべきで、それを世界にの示す義務を日本は負っているしその潜在的な技術力はまだ持っており悪識を今確立すればまだ間に合う。
30213	個人	その他	40代	男性	原発依存度(1)ゼロシナリオを支持します。	トイレの内マンションを作り続けることはおかしいです。子どもに付けを回すことになります。また、2030年では遅いと思います。次に原発が地震でやられれば、日本には住めなくなるでしょう。
30214	個人	その他	60代	男性	30年後ではなく　ただちに不安全な原発を止め　国土を守らないといけない　日本民族の土地を守り　福島を二度と繰り返してはいけない。	土地を守るのは　民族の義務です。　福島を新規エネルギーにより復興を！
30215	個人	家事専業	70代	女性	人類が、地震と放射能を完全にコントロールできないことがはっきり分かっていたのに、原発を稼動させのは、余りにも無謀な取り返しの付かない大きな過ちです。即刻原子力以外のエネルギーで工夫してゆくべきです。	福島はもちろんのこと、世界各国の核施設の汚染は、 未来のわったて人類に、醜悪な環境を作り出しています。これをもとに戻す方法は、いまのところ全く開発されていません。犠牲になった尊い命やそれをとりまく大自然のことを少しでも考えたら、今どのように私達が、生きてゆくべきかはっきりすると思います。即ち、初めから与えられていた人間の命とそれをとりまくすべてすばらしい大自然に感謝して、いつまでも大切守ってゆくべきなのに、それらを徹底的に根底から破壊してゆく原子力技術からは即刻撤退するべきです。
30216	個人	自営業	40代	男性	原発ゼロシナリオを支持します。	原発は、リスクも高い上に、廃棄物処理を考えた場合、破格に高額な発電方法であり、日本には望ましくない、実験用の炉を残して、商業炉はすべて廃炉にすべき。もんじゅ継続はあり得ない。 一日も早く原子力研究に金を費やすのをやめ、代替エネルギーの研究開発に力を注いだ方が将来の日本の科学技術の発展に繋がる。 それでも、つなぎのために、どうしても幾つかの原発を再稼働と言うなら、福島事故当時の責任者（社長／会長）に刑事罰を受けさせ、東電にしっかりと責任を取らせた上、事故時のデータの全面開示はもちろんのこと、活断層や電力需要などに関するすべてのデータを公開し、十分に国民の理解を得てからにしなければならない。
30217	個人	無職	70代	女性	原発はゼロシナリオで臨むべきです。まず原発ゼロの基本に立ってエネルギー問題は考えるべきです。	世界で唯一の被爆国日本が放射能のおそろしさを一番知っているはずです。その日本で福島原発事故を起こしてしまいました。いまや「広島」「長崎」「福島」は、世界中に知られる固有名詞になってしまいました。原発が最終処理できない現実を国民は知った今、一基たりとも稼働させてはならない。
30218	個人	パート・アルバイト	20代	女性	原発ゼロを希望します。	福島の事故でも分るように 安全な原発などなく、問題がおきれば想定外で 済ませると言う事が分りました。 事故がなくとも原発による環境破壊や 人体に対する影響の事を考えると コストが高いや低いと言う事を置いておいても （実際には原子力で発電すると言う事はロスが多いとしても） 原発は危険なので必要ないと思います。 自然エネルギーの研究や、 企業などに節電をよびかけるため （よびかけるだけじゃなく、具体的な提案） 原発に関わって仕事を得てる人達の新しい雇用について考えるために 今、原発のために使ってる莫大な予算を使えば 日本は自然エネルギーにシフトしていけると思うので 是非、そこにお金を使ってほしいです。 福島の事故によって人が死んでます 自殺してます、動物が死んでます。 未来の子供がどう産まれるか分らない。 これって命を電気どっちが大事？ って事ではないかな？と思います 原発ゼロに向けて進んでください。
30219	個人	その他	70代	男性	政府原案以外にも選択肢を作るべき！	政府が提示した議論のためのエネルギー選択案は、何故3案なのか！エネルギーの無資源国に近い日本は、原子力なしでは世界の中で成立してはいけない。原子力エネルギーは最低でも40%以上を充てるべきだ。
30220	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発0シナリオを望む。次世代、次々世代と未来にツケをまわすのはもう嫌。自分の子供や孫のために脱原発すべき。 また、東電が保有している記録をすべて公開することは、福島事故検証のため、今後のために必須	狭い日本、地震国日本で現在の原発数はあまりにも多い。 原発事故が起こったら、その土地は何十年~百年単位で棄てなくてはならないことを認めるべき。 東京電力の不誠実な態度にはほらわたが煮えくりかえる思い。これほどの人に被害を与え苦しめていることを自覚し、真摯に対応すべきなのに、いまだに自己保身に走っている。現在の東京電力に原発を運転する資格はない。事故の責任云々とは別に、持っている記録をすべて提出し、検討すべき。 私は医師だが、医師も思わぬ医療事故を起こし、患者に非常な苦しみを与えてしまうことがある。そんなとき、どうして事故が起こったのか、どうすれば防げたのかを検討し、今後に生かすことが必至である。今回の原発事故でも当然そうするべきだ。それができていないので、原発再稼働など論外。 生活レベルを見直してでも脱原発すべきだ。 これ以上私の子供・まだ見ぬ孫や子孫たちに害をなすのはやめてください。
30221	法人・団体等	会社員・公務員	法人等	法人等	原発ゼオシナリオ	○3・11の福島原発事故で明らかな原発の危険性から私たちの命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。 ○原発を続けることは、将来の子どもたちにどうすることも出来ない危険な放射能を残すことです。使用済み核燃料をどうするかの技術も処分場所も不確定な中で、原発を動かしていくことは出来ません。 ○放射能は、いったん外に出ると私たちの生活環境を奪ってしまいます。故郷を失った福島県民のことを考えれば、原発をなくすことが重要であり「ゼロシナリオ」しか選択肢はありません。 ○「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。そのことが、新しい日本の経済成長にも寄与するはずです。 ○「ゼロシナリオ」を決定し、原発立地市町村には新しい地域経済復興の施策を実施することを求めます。
30222	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原子力発電は絶対に反対です！ いい加減に利権を優先した政治はやめてください！	福島の原子力発電所事故後、放射能をまき散らしています、その放射能の半減期は誰もが知っています。 原発被害を受けている日本がなぜ原子力発電所をつくる！？ 日本国土（又は他国）での燃料処理施設もない上、火山国です。 原子力発電所は今すぐ！やめましょう！ 誰がどう考えても原子力発電所を停止するのが、当たり前のことでしょ！
30223	個人	自営業	70代	男性	(3)20～25を提案する。「原発依存度を可能な限り減らす」というプレゼンは原発が危険だから減らすと受取られ、最初から脱原発へ誘導しており、不適切と考える。	その理由は、福島原発事故は人類初の津波による事故で、今後の事故対策に反映すれば、充分再発を防止出来る。今後の原発や放射線の危険性・リスクは国家的見地では他の自然災害等のリスクと比較して許容できるものであり、多くの国民が誤った理解をしている。放射線についても、国立がんセンターの資料に有るとおり、100mSv/y以下なら統計的に優位な健康被害が出ていないが、幼児や子供への影響が大きいと宣伝されており、風評被害の元になっている。再生可能エネルギーや省エネも今後推進すべきだが、温暖化対策も必要であり、エネルギー選択肢を狭めることは設問で選択すべきでは無い。原発の安全対策コストや廃炉・使用済み核燃処分費用を含め、ベストミックスでエネルギーコストの最小化を測るべきである。原発"0"化の場合でも、廃炉・使用済み核燃処分費用という大きな負の遺産がのこり、その手当ては原発の稼働中にせざるを得ない。
30224	個人	会社員・公務員	20代	女性	地震国日本では、近い将来相当大規模な地震が想定されています。その中で、原発の安全性を保つことは不可能でしょう。「ゼロシナリオ」の他に、私たちの安全を確保する道はありません。	昨年の東日本大震災における福島原発の事故は、未曾有の大災害となり、一年以上経った今も、福島に住む人々の生活を圧迫しています。福島に住む知人は、「なかなか除染も進まず、孫を呼ぶことの出来ない家になってしまったことが悲しい」と嘆いていました。地震国日本では、近い将来に大規模な地震が想定されています。原発は、人間が作ったものである以上、自然災害から逃れることは出来ません。私の住む東海地方でも、近い将来に東海地震・東南海地震が想定されており、とても原発の再稼動を認めるわけにはいきません。「ゼロシナリオ」の他に、私たちの安全な生活が保障される道はないと思います。私たちの安全な生活のため、そして、未来を担う子供たちに安全な日本を残すために、「ゼロシナリオ」が選択されることを希求してやみません。
30225	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	ゼロシナリオを支持します。 即時、原発ゼロへ	経済面からも原発はやめるべき。 廃炉費用、使用済核燃料の処理費、事故時の保障費用を考えると 他の発電方法に比べて、全くのコスト高 また、再生可能エネルギーへの転換を進めれば、 新たな事業創造を生むチャンスである。
30226	個人	その他	50代	女性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見　即「原発依存0」に！東電福島原発事故の被害・国民の不安や負担は未だ払ばされていない。事故原因解明も不十分な中での原発の再開・継続は為り得ない！	東電福島原発の大事故は、今現在も多くの人たちに不安と負担を与え続け、解決の見通しも見えず事故原因の解明も不十分！地震国の日本で各地の原発を稼働し続け、「事故」後に「想定外」と繰り返されては、怒りのやり場もない！まず、国民の安全・安心が最優先されるべき！エネルギー問題も「現状維持あるいはそれ以上をめざす」という考え方こそ見直すべき！今の日本に真の幸福はあるのか？経済発展が真の幸福をもたらしただろうか？否！！！原発事故を警鐘とすべきだ！！！即「原発0」を実行すべし！！
30227	個人	無職	70代	男性	2030年の原発割合を「ゼロ」にする。再稼働については夏・冬の電力需要を見極め改めて議論する。「被爆・被曝」国として「ゼロ」を「新たな日本の国づくり」の中核に据え、革新的・創造的な政策を推進する。	1　結論 　2030年の原発割合を「ゼロ」にする。 （1）新規・増設をしない（建設中を含む）。 （2）福島第一・第二原発すべてを直ちに廃炉にする。 （3）40年経過したら直ちに例外なく廃炉にする。 （4）その他の原発再稼働については、2012年夏・冬の電力需要を見極　　めて から議論する。その場合でも「30キロ圏内の住民」の承認を前　　提とする。 （5）新たに発足する「原子力規制委員会」は「廃炉に向けた危機管理」を　　主たる任務とする。 2　理由 （1）原状回復の見通しの立たない被災地の実態、その深刻さの認識がすべ　　ての出発点。2度と繰り返してはならない。 　避難者16万人、進まぬ除染、将来不安な内部被曝 （2）いまだ「収束」出来ない福島第一原発、不十分な事故検証、最終処分　　方法が決められない使用済核燃料など「安全神話」は完全に崩壊してい　　る。 （3）世界で唯一の「被爆国」、自らで「被曝国」となった我が国は、核と　　の共存はできないと、「原発ゼロ」を世界に宣言すべきである。 （4）「25～26シナリオ」は論外である。「15シナリオ」は、新規・増設　　を前提にしている。2030年後以降の計画も不明で極めて曖昧であ　　る。 （5）「原発ゼロ」を「あらたな国づくり」の中心に据える。その上で、エ　　ネルギー政策はもとより、経済活動、消費生活、文化、教育などの再構　　築を図る。、
30228	個人	家事専業	50代	女性	原発廃止	人がコントロールできないものを使って発電するのは、どう考えてもおかしい！原発を再稼動するなんて、恐怖でしかありません！！

30229	個人	家事専業	60代	女性	被爆2世です。 亡き父は広島で被爆しました。幸いいのちは免れました。 あれだけの犠牲は何だったのでしょうか。被爆地日本は2度と繰り返さない方向へと歩む義務があると思います。原発0を願います。	私は転勤族でした。まるで戦跡巡りをするように沖縄、鹿児島、長崎、広島と移り住みました。いうまでもなくその観光地巡りは決して華やかなものではありませんが、ここまで人間は魔物に慣れるのか。。。その実態を一人でも多くの方に知って頂きたく、案内したものです。 原発を自然エネルギーに変える方向へ。原発0の方向へ日本の政治の舵取りがなされますように祈ります。
30230	個人	自営業	60代	男性	ゼロシナリオを前倒しで実現すべきである。停止中の原発は再稼働すべきでなく、稼働中の原発は即時に停止すべきである。	ゼロシナリオを前倒しで実現すべきである。停止中の原発は再稼働すべきでなく、稼働中の原発は即時に停止すべきである。 理由は、福島原発事故の実地検証による原因究明がなされていないこと、日本全土において地震、津波、竜巻等の自然災害が人知を越える規模で発生し得ること。すなわち、原発は安全でなく大惨事の火種でしかない。 太陽、風、地熱、潮流など自然エネルギーによる発電の増進、使用済み核燃料の処理方法の確立、これらに人と金をつぎ込むべきである。
30231	個人	家事専業	50代	女性	原発0のシナリオを選択します。	安全な電気の供給は、原発でない。 原発再稼動は、許せない。
30232	個人	自営業	40代	女性	ゼロシナリオを支持します。	再稼働に絶対反対！ 福島原発事故で原子力が危険だと言う事がよくわかりました。 放射能汚染問題も拡燃料処理問題もよい解決策を国が出さないまま 再稼働なんてありえない。 経済優先？今さえ良ければばいいのか？金か？ いのち、母なる地球が大切だと思う。 未来の地球や子供達のためにも 再稼働してはならない！
30233	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発は維持するか、増やすことが、本当に政府が国民を護ることになると思う。	原発はクリーンエネルギーです。民主党さん、真実を求めていますか？マスコミは偏向報道してます。国民から強制的に受信料を集めているNHKの報道もひどく偏向しています。その環境の中で、国民に意見を求めても正しい判断はできないと思います。原発反対運動をしてる人を知ってますが、60年代安保闘争に、「女性にもてて、スカットするから」という理由で注目されたいためにやって、今は、原発反対運動で、「青春をもう一度」というのりの方々がたくさんいるそうです。そういう方々ばかりとは言いませんが、反対を訴えている方々が、日本国のおかれている環境、世界における立場、世界に対しての責任、日本国の未来に対しての責任をどのように考えておられるか疑問です。原子力をなくしていくという事は技術がなくなるということです。日本の近くに一党独裁政権国家が存在していて核の保有量を増やし続けているというのに、技術がなくなってしまったらどう日本国を護るのでしょうか？科学も化学も善用、悪用ができます。日本国の使命は、たくさんの高い技術を世界中の幸福のためにさらに磨き、その技術で、悪用する国家の技術を無能にしていくことだと思うのです。そして、政治家さん、企業の発展を邪魔しないでください。必要のない規制を作りすぎです。企業に節電対策ばかり考えさせないで、安心して、業務に専念できる環境を作ってください。そして、一家の家計を預かる者として、だんだん貧乏になってますよ。なんでも平均値をとるんじゃないですよ。世の中は基本給減ってます。ボーナス減ってます。控除なくなりました。社会保険増えてます。食料品値上がりしてます。原発なくして電気あがります。経済循環しません。会社倒産します。増税します。このままでは、日本国の未来を創造していく国の政治家として失格ですね。政権交代した意味のある気概ある決断をお願いします。
30234	個人	会社員・公務員	40代	男性	私は原発ゼロを選択します	放射性廃棄物の安全な処理のめどが立たない中で、原子力発電を続けることは、放射性廃棄物をさらに大量に発生させることになります。 放射能や核をコントロールできないことは福島原発事故で明らかになっています。「電力のために悲惨な事故を繰り返さない」は経済効果より重要かつ現実的なことだと考えます。
30235	個人	その他	50代	男性	「原発ゼロシナリオ」を選択します	その理由 (1)核物質を人類は制御できない、一旦事故が起きれば取り返しがつかない。 (2)事故が発生した場合の被害は日本全体だけでなく地球規模に及ぶ恐れがある、そして原発が1基だから安全ということにはならない。 (3)政府、電力会社、原発・核燃サイクルを推進してきた学者等はこの事故に対して真摯に国民に謝罪していない、また多くの事実を隠している。 福島の原発事故は人類が核分裂を制御できない事を、実証したと言える。 日本列島は地球規模で見ても地震が多発する位置に存在している。そのような所に原発を立地するということは無謀であると言える。 今回の事故は政府や電力会社が規定した安全基準を遙かに超える地震で引き起こされたものである。政府や電力会社は津波だけが事故の原因と宣伝しているが、地震による各種配管の破断等も指摘されている。自然を甘く見てはいけない。 原発は揺れるあるいは引き裂れる地面の上に立てられるという事を思い知るべきだ。
30236	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電への依存度は0%にすべき。将来に先送りせず、大飯原発を今すぐ停止させ、すべての原発を廃炉にして、脱原発の日本をめざすべきと考える。	原子力発電によって生じる使用済み核燃料の処理方法は未だ確立しておらず、原発が稼働しつづければ核のゴミが増え続けることになります。どんなに原子力発電のシステムを改善しても、この点が解決されない限り、「安全な原発」などあり得ないということです。私たちの電力確保のために、地球を破壊し子々孫々の生命と健康にまで悪影響を与え続ける核のゴミを残すことは許されません。 また、火山列島であり地震大国である日本に原子力発電所を設置することがいかに危険なことであるかは、昨年の福島第一原発の事故で誰の目にも明らかになりました。今後、南海、東南海地震など大地震の発生も予測されており、ひとたび大地震が起きれば、福島の愚を繰り返すことは明白です。福島の人々は今も故郷から遠くはなれて、これからずっと苦しみ続けるのです。このようなことを二度と繰り返してはならないと思います。繰り返す可能性を断ち切るためには、日本が原発に依存しない脱原発に足を踏み出すしかありません。 地震は明日にでも起こるかもしれません。大飯原発をすぐに停止させ、すべての原発を廃炉にして、脱原発の日本をめざすべきです。
30237	個人	パート・アルバイト	30代	男性	原子力発電は必要だとおもう	日本の産業は、いままで、原子力発電で安く供給された電気をもとに発展してきたとおもいます 今後、原発をやめて、火力発電にたよるとなると、原油価格の高騰した場合 発電コストが増え、電気料金を値上げせざるを得なくなります 高い電気代を払って、製品を製造しなくてはならない日本企業は 今後、海外の安い製品に太刀打ちできなくなるとおもいます 日本の景気を回復させるためにも、 安くて、安定した電力供給は必要で、 そのために、原子力発電はこれからも必要と考えます 現在の原発も、津波の対策をしっかりとれば、安全性は高いとおもいます
30238	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオを支持します。	(1)3.11東日本大震災で経験したように、原発は天災等の事故があった場合、人間の力では制御できないものであり、甚大な被害を長期にわたってもたらす大変危険なものであるから。 (2)原発に頼らなくても、太陽エネルギーなどの自然エネルギーによる発電を増やせば、電力は賄えるのではないかと思うから。
30239	個人	家事専業	60代	女性	原発ゼロシナリオ（即時）	今すぐ全ての原発を廃炉にすべきです。 電気のために命をかけるなんて、ナンセンス！ そもそもこの3つの選択肢もふざけている。 ゼロシナリオ以外は、また新たに原発をつくり続けることを意味している。 いつまで国民をだまし、危険にさらし続けるのか？ 今すぐ、脱原発！ 原発を推進する政治家はみな、家族と共に福島に移住して下さい。 国民に危険をおしつける前に、まず自分が先頭きって下さい。
30240	個人	パート・アルバイト	60代	女性	パブコメの第1案に賛成します。 原発に反対します。	私たちは国土に根付いて生きています。その国土を汚染してまで、追求する利益があるはずがない。私たちはどこに暮らすのですか？国を預かる政府だって、国土がなければ生存できません。 エネルギー問題は解決できます。私たちは江戸時代から見事にエコを実現してきたではないですか。私は今、エアコンなく健康に暮らしています。冬も夏も自然のままで生活しています。すべての人に見習え！とは言いませんが、人には自然の状態で生きる力があると実感しています。原発に頼るくらいなら、自然のままに生きたい！母なる国土を汚すことなく、謙虚に平和に生きてゆきたい！これが今の望みです。 今すぐ原発を廃止してください。2030年まで待てません。その前に国土、海、空気、水の汚染により病人や死者が出ます。今、安全なものさえないのです。核廃棄物は原発ができた当初から千葉沖の海に放出されていて、日本近海の魚も汚染されている。地下水脈も汚染されている。すると当然、水も作物も危ない。何を食べて生きて行けというのですか！国民の命も健康も政府は無関心なのですか。こんな国で子供を産み、人口を増やせというのですか？長生きもできず、癌や白血病に苦しみつつ、それでも生きている間は税金を払わせるために、人口を増やせというのですか。まっぴらです。私は身近な人々にそんなことを奨める気はありません。 本当は第1案にも不服です。これには正確な原発廃止の指標が書かれていない。今すぐ辞めてほしい。日本国民と日本の国土を大切に守ってほしい、これが最大の望みです。
30241	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電は必要です。今、原発を止め他の エネルギーに依存すことは日本にとって間違った選択です。	原発を止め他のエネルギーに依存する事はデメリットが大きすぎます。電気代が上がりかつ供給が不安定になる事の国内の製造業への影響は大きすぎます。景気が悪くなり失業率も増大します。石油に依存しすぎる事の、日本へのリスクは計り知れません。日本人の生命と安全を危険にさらす政策を国は取るべきではありません。
30242	個人	無職	70代	男性	原発賛成	福島原発の放射能による、身体的被害の報は未だ聞き及んでいない。　想像被害により古里を追われ、物心共に飛んだ被害を　こおむった福島の方々には、同情にたえない。 「原」が付けば何でも反対する衆愚の意見は、決して日本人の民意ではない。
30243	個人	法人等	60代	男性	原発ゼロシナリオを選択します。原発ゼロとする時期については、即時とするべきです。	(1)事故リスクが大きすぎます。原発の事故は、事故が起こったら取り返しがつかず、だれも責任を取れない類の事故である。二度と起こしてはならない。 (2)核のゴミを次世代に残してはならない。何十年、何百年、それ以上影響を及ぼす放射性廃棄物をこれ以上つくり続けることは、許されない。 (3)これを機会に、政府は、日本の技術力で新エネルギー（地力発電、太陽光発電、風力発電、バイオガス発電、その他環境に優しい発電）に転換し、世界をリードする日本の産業に育てるべき。世界に貢献し、世界に誇れる日本を造る絶好の機会だと考えます。
30244	個人	自営業	60代	男性	ゼロシナリオを指示します。ただし、原発の停止を前倒しし，この夏の電力使用ピークが終わったら大飯原発を暫時停止し，冬までの間に，電力会社に限らない地域間の電力を融通する仕組みを作ること。	地震国であることをもう一度考え直し，情報を公開し国民の安全を守れる，次世代と近隣諸国に危害を及ぼさない電力政策を作ることです。
30245	個人	自営業	60代	男性	選択肢の提示が姑息である。 2030年時点という根拠が不明であり、姑息である。 エネルギーと発電とを意図的に混同させている。 原発の選択から意図的に再処理及び廃棄物処分を除外している。	・選択肢の提示が姑息である。 現行の54基（50）体制による原発比率26%を維持する選択肢と、0にする選択肢の間に15%という落とし所を設定した意図は姑息である。0には直ちに0にするという選択から2030年までに0にするという選択までを含む。つまり直ちに0にするという選択肢を最初から排除している。又、原発の稼働率を70～80%と仮定しているが、今後とも稼働率は低いままであり、これは基数の維持を意味している。 ・2030年時点という根拠が不明であり、姑息である。 18年も先に目標を置くことは、現状を固定化するもので姑息である。これは長計策定会議における核燃料サイクルと直接処分の並存案を受けた現状追認であり、再処理とFBRの温存である。2030年ではなく、今現在の選択を国民は求めている。2030年は撤回すべきである。 ・エネルギーと発電とを意図的に混同させている。 エネルギーは多様であり、いろんな形で利用している。一方原発からは電気を得るだけである。その電気の使途に多く熱に変換されている。これではいくら発電しても消費電力量は増加する一方である。国家がエネルギーを浪費し、国民が電気を浪費する現状では先が見えない。国はいまだに地球温暖化やGHGを原発維持の理由にあげているが、とっくに地球は寒冷化に向かっている。 ・原発の選択から意図的に再処理及び廃棄物処分を除外している。 当戦略会議は原発の選択肢からウラン濃縮、再処理、最終処分、FBRを除外したが、原発の稼働・廃止措置とこれらの問題は一体である。にも拘わらず外したということは、現状の追認と問題の先送りに他ならない。再処理・FBRは今般の「原子力基本法」の改正にあるように、核拡散の方向に一致する。 特に使用済み燃料の管理については電気事業者は自らの責任を果たさず、国による管理を求めている。
30246	個人	会社員・公務員	50代	男性	福島原発の設備の破損状況やその原因の解明が先。放射性物質の人体への影響など、事故の全体的なリスクは長期的な研究によって初めて明らかになるものであり、それまで原発は稼動すべきではない。	今回福島の事故で驚いたのは、福島原発の1号機から4号機までの各原子炉の緊急時の冷却方法まで統一性がなく、水素を逃がす経路など緊急時の対策や可能性に対する検証が非常に不十分であったことが伺えます。 今後全電源喪失事故という可能性はかなり低いものの、思わぬ天災や事故により火災や爆発、放射線量の上昇などで連鎖的に、危機に陥る可能性は否定できません。 もともと、機械そのものは人間が設計製作、操作するもので人為的なミスが入り込む余地が多く、原発の様な大きなプラントではその危険性は相乗的なものとなるでしょう。 私たちが行うべきは、原発のあらゆる事故の可能性や、危険性を検証し、放射線が人体に影響を与える程度、そのリスクの大きさを十分に検証し、廃棄物の処理方法など、技術的な問題を十分に検証し、明らかにしたうえで、それでも原子力発電を行うかを、原子力の専門家以外の多くの立場の人の中で議論すべきです。 まずは、今回の事故の原子炉の破損状況、原因などを十分に検証することが先決で、それまでは原子炉は停止し、上記の検証をしたのち、原発を稼動するかどうかの議論を始めるべきと思います。
30247	個人	その他	50代	女性	3つの選択肢となっているが、2030年を待たずにできるだけ早い時期に原発をなくせるよう産業も含めて節電と再生可能エネルギーの確保に努めるべき	廃棄物の処理に目処がたっていないこと、事故がおきたときの対応を含めた安全性が確立できていないことから、原発は失くしていかなくてはならないが、エネルギー自給率の低い日本では、今すぐにゼロは難しいかもしれない。石油や液化天然ガスもすべて輸入で、値段が上がったり輸入がなくなれば、それこそ生命に関わることになる。ので原発が何%であったとしても、再生可能エネルギーをだきるだけ増やす必要がある。特に、小水力、地熱、海洋については早急に研究をすすめる必要がある。 それに、目標を30年にゼロとすると、それまでに何とかなれば、ということで国民の覚悟が先送りされる。 どんなエネルギーを選んだとしても、今以上に電気料金が下がるシナリオはないのだから、それなら何にお金をかけて何を実現するのか、しっかりと掲げるべきでそれは、2030より前でなくてはならないと思う。 そういしないと、いつまでもゼロは実現できない心配がある。
30248	個人	会社員・公務員	40代	女性	0%！！ 福島原発の事故があって、また、再稼働するなんて考えられません 今までは、電力を使いたいだけ使って来ました。 考え直す時だと思っています	福島原発事故後、と言っても、まだ、事故は終わっていません。 そんな中で、再稼働をするなんて信じられないです。 原発のおかげで、経済・生活が豊かになったことは、事実ですが、電気を使いたいだけ使ってきた気がします。 やはり、考え直す時が来たと思います。 また、原発に携わって生計を立てている人たちへの、何らかの支援が必要だと考えます。
30249	個人	無職	70代	男性	原発ゼロのシナリオを望みます	原発は人間が完全に制御できないばかりか、核廃棄物の最終処理の方法も見つけ出せない、見つけ出したとしても何十万年単位の処理が必要になり、およそ人類社会とは共存できないものと考えます。

30250	個人	自営業	60代	男性	原発ゼロを望みます。子孫に重い課題を残したくないから。	現在ある原発の解体・廃炉を今すぐにでも進めてほしい。核兵器につながる、そして放射線の恐怖からの解放のため。
30251	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発廃止を希望します	心のある方がご覧になってくださると祈ります。 1、この地震列島で、原発は非常に危険であること 2、再処理施設がないのに、核廃棄物がたまっていること 3、一部の人の利益のためだけに、原発が稼動していること 4、放射能には人間は勝てないこと 祖父母は広島で原爆で亡くなりました。 命は電気や金より、大切です。 このことを日本人は忘れてしまった。 目を覚ましてください。
30252	個人	会社員・公務員	40代	女性	0%のみ。原発から卒業	再稼動反対です。 未来の子供達を守りたい。
30253	個人	無職	60代	男性	原子力・エネルギー政策は国家の最重要事項だから、ポピュリズムで一時の感情で決めるべきものではない。いま、期限付きで決めるのなら選択肢3しかない	原子力を停めて以来、急激に国際収支が赤字に転落した。 こんなことを何年も続けていけば、消費税を引き上げてまで改善しようとしている財政赤字は、ますます、増え続けることなる。 化石燃料調達のために国富を海外に垂れ流し、国力をそぎ、若者の職場を奪うことになる「脱原子力依存」に足を踏み入れることなく、原子力の再稼働を急ぐ必要がある。 本来ならば、原子力は35%以上を維持すべきである。

30254	個人	会社員・公務員	60代	男性	2030年では原発比率は20－25%シナリオがベター 2050年だと15%シナリオを選択	・省エネ2割削減は20年間で2%→1%/年であり、今回の省エネ法で鉄鋼、化学、セメント、製紙、石油精製等がBM目標を取り入れたのも、省エネ法で目標とされている1%/年の省エネが限界に近づいたからであり、革新的な製造法等が出てこない限り、非常に困難。 製紙業界では近年エネルギー原単位低減が相当進んだが、それは燃料転換によるところが大であり、いわゆる省エネではない。省エネだけでは限界があり、もっと別の創エネも必要であり、そのためにはコジェネの推進とも絡むが、規制緩和（一般廃棄物の有効利用、国立公園法緩和、電力発送電分離と完全自由化、送電接続の緩和等）が絶対必要である。 家庭用燃料電池による省エネは電気と熱利用がうまくバランスが取れないため、試算ほどエネルギー使用量が落ちないのではないか。 （熱需要が電気需要ほど無いため、設計効率が出せないのでは・・効率が悪い） ・再生可能エネルギーの比率約30%は、ハードルが高すぎる。 水力がそんなに増加しないとすれば、太陽光（利用率12%程度）、風力（利用率20%程度）、バイオマス、地熱等で約20%増加させる必要があるが、太陽光、風力は火力等の安定した調整電源もしくはバッテリーが必要であるが、確保できるのか。もう少し時間が掛かるのではないか。（一般火力、原発の利用率70-80%程度） 再生可能エネルギーの増加を目指すのであれば、その中で、1基あたりの容量がある程度期待でき、安定的で制御が可能な地熱発電をもっと活用するべく制度設計をするべきである。 新規エネルギーとして、潮流発電の研究等にも積極的な投資をしていかないと30%は無理ではないか。 いづれにしても、再生可能エネルギーの増加等による電力価格の高騰、省エネの推進による投資等企業としては相当コストを掛けることになり、業界再編、事業所の統廃合、海外への展開等が進み、国内雇用への影響も出てざるを得ないと思える。 ・原発比率については、老朽化設備の停止、地震及び津波の被害が生ずる恐れが　高い原発停止等を見込んだ上で、既存のその他原発は必要な対策をとって安全　性を確認の上、早急に立ち上げるべき。 （エネルギー費用の高騰、エネルギーミックス、エネルギー安全保障等を考 慮。） ただし、高レベル放射性廃棄物の最終処分（処分方法、処分場所等）につい て、国は早急に結論を出すこと。これが出ないと原発の中長期運転は不可能で はないか。 ・三つの選択肢で、コジェネ　約15%、省エネ（節電）約2割　となっている が相当困難（無理）ではないか。 原発の課題 今回の福島第一原発事故の原因は、事故時のバックアップ体制に不備があったことで、その責任は、電力会社の傲慢な姿勢により安全対策について真摯な対応をしなかったこと、原子力安全保安院、原子力安全委員会等が、それを黙認(容認)したことが最大の原因と考えるが、いまだに電力会社にその反省が見られない。そのような電力会社に、このまま原発の運転を任せてよいのかという心配があり、それが国民が原発運転に対して否定的な要因の一つになっていると思われる。 これらを払拭するためには、「電力が足らないから原発を運転する」ではなく、福島事故の反省から、地震、津波、保安電源のバックアップ体制等万全の体制を整えたから、運転しても大丈夫ということが国民に明確にわかるよう説明が必要である。 それから、現在計画中の原発を建設し老朽原発を更新してより安全な原発にしていく、高レベル放射性廃棄物の最終処分（処分方法、処分場所等）をきちんと決めて、国民の了解を得ることが必要である。 もし、高レベル放射性廃棄物の最終処分が出来ないのであれば、2070年頃までに原発の停止、代替エネルギーの確保のロードマップを作る必要があるのではないか。 多少過激な発言になるが、政府はまず日本国民の生命、財産、生活を守ることが優先であり、そのためには電力価格は安定的で出来るだけ安価に供給することを考えるべきである。 そのためには将来の日本はどうあるべきか(2050又は2070年　技術―輸出立国等)具体的な案を描いた後でCO2削減をどうするべきかを考えてほしい。
30255	個人	会社員・公務員	50代	男性	昨年の震災以前以上の原子力発電依存度を確保する様にお願いします。他方で、代替エネルギーの開発を積極的に推進すべきとは思いますが、その目途が無い中で原子力発電の依存度を下げることは反対です。	第一に、日本は貿易立国だということです。私たち世代は、過去に石油危機を経験しました。他国や投機筋の思惑に影響されずに、安価なエナルギーを安定的に供給を受けることは、とても大切な産業基盤と思います。昨年は、計画停電のための対策を実行しました。こんな後ろ向きな仕事はさせないで頂きたい。時間とコストで世界の企業と戦わねばなりません。日本の今の生活は何もしないでどこからか与えられるものではありません。 第二に、日本が今後とも独立した国家として運営されるために必要だということです。昨今の中国の南シナ海、東シナ海における活動は目に余るものがあります。中国は自らの軍事、産業のパワーを、自らの力で他国を従わせるために使おうとしていると感じます。日本が石油に頼らない電力エネルギーを確保することは必要です。また、日本が原子力の最先端技術を持っていることは、多分、軍事技術的な側面で、牽制が働くのではないかと推測します。 長期的な視野を持って、腹を据えて直近の問題を解決して下さることを、切に切にお願いいたします。
30256	個人	会社員・公務員	40代	男性	3つのシナリオのうち、原発比率は15%若しくは20~25%が妥当だと考えます	3つのシナリオとも原子力の依存への脱却を目指すという意味では共通しており、違いはその時間軸であると考えている。そもそもエネルギー戦略とは長期的な構造改革であり、急激な変化はそれなりの歪を生じることとなる。特にCO2問題並びに負担コストの問題であるが、今回の前提のようにCO2に関しては原発減少分を再生可能エネルギーで埋め合わせていくということならば、負担コストの問題が一番大きな課題である。原子力の恩恵を一番受けているのは電力会社でもなく立地自治体でもなく消費者である。それを忘れ、原子力は廃止すべきだが値上げは許さないというのは、まさに利権を守りたいという考えに他ならない。 結局のところ、コスト負担という問題に対し企業、個人がどこまで許容できるのかという点につきる。これはいろいろ立場によって違う。例えば産業だけでみても、アルミ業界などの電力多消費産業と太陽光パネルメーカーでは利害が全く異なる。もちろん負担が増えないというのが最も望ましい。しかしながら福島の悲劇を見た時に今のままでよいと考える人は少数であろう。負担は増えるのは致し方ないにしても、今の原発は信頼性を高めることを継続しつつ寿命を迎えた時点で廃炉にし、その間に代替電源の高効率化、安価化を進め負担をなるべく最小限にするのが、多くの人達に納得感があるコンセンサスではないか では原子力の寿命とはどうやって決めるのか？稼働40年で廃炉と一律に決めるような乱暴な方法をとるべきではない。寿命評価に基づき更新すべきところは更新すると考えた時に維持コストよりも代替電源の方が有利であるならば廃炉にすべきである。もちろん寿命評価は火力に比べ安全サイドであるべきである。 以上のことから、一律に数字は決めれないが、今回のシナリオでは15%若しくは20～25%が妥当と考える。 なお、今回のシナリオの試算にあたり火力燃料でLNG比率のアップとなっているが、オイルショックの教訓は単一燃料に頼ることでの価格不安定性、並びにエネルギーセキュリティの脆弱化であり、石炭も一定程度の割合を維持していくべきであると考える
30257	個人	家事専業	50代	女性	「ゼロシナリオ」を選択します。出来る限り早く原子力発電をやめ、全ての原発を廃炉とすべき。再生可能の自然エネルギーへの転換を政府は死に物狂いで行うべき。	1.使用済核燃料を最終的にどう処分するのか、その方法自体がわからないものを使用すべきではない。 2.原子力発電施設が建設されている海沿いの複雑な地形は、全て大規模な地殻変動の産物であり、全ての原発施設が大地震や津波の被害を免れられない場所に建設されている。これらの大災害やテロに遭遇した時、人間は原発を到底制御できない。 3.福島原事故での直接的被爆や、食物摂取等を通した内部被爆により、子どものガン等の発症率が増大することは避けられないだろう。2030年までには放射能による健康被害の実態が明らかになる一方、日本中の原発が常に同じリスクを背負っている現実がある以上、日本は安心して子どもの産めない国、子どもを産まない国となる。 経済界の目先の利益に押したてられて原発を使い続ければ、日本は亡国の一途をたどるしかなくなる。
30258	個人	無職	60代	男性	核反応によるエネルギー利用は地球における命の営みの次元ではない。命の営みによってそれを制御することは不可能。	命の営みは原子・分子の世界の複合した化学反応で成立している。核反応には命の営みそれ自身で対応できない。遺伝子が放射線で損傷を受けた場合、命の営みの一部がその損傷を修復下とレても、核反応に直接介入できる手立てを、命の営みは持っていない。40億年近くを掛けた進化により、生命は凡そあらゆる事態に対応できるようになってきたが、核反応レベルの異常事態は想定されていない。つまり、核爆発（事故）は地球上の全ての命を破壊する可能性がある。速やかに原発から撤退すべきである。
30259	個人	自営業	50代	男性	2030年に原発0ではなく、「即刻、原発0」を主張 《政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべき》	このパブコメ募集の前提が「2030年までは原発が維持される」というもの。前提自体が国民を騙すトリックだ。再び事故が起これば、日本は再起不能になる。政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示すべき。
30260	個人	会社員・公務員	40代	女性	2030年に原発0ではなく、「即刻、原発0」を主張 《政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべき》	このパブコメ募集の前提が「2030年までは原発が維持される」というもの。前提自体が国民を騙すトリックだ。再び事故が起これば、日本は再起不能になる。政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示すべき。
30261	個人	パート・アルバイト	20代	女性	2030年に原発0ではなく、「即刻、原発0」を主張 《政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべき》	このパブコメ募集の前提が「2030年までは原発が維持される」というもの。前提自体が国民を騙すトリックだ。再び事故が起これば、日本は再起不能になる。政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示すべき。
30262	個人	家事専業	40代	女性	原発ゼロシナリオ 2030年までといわず、できるだけ早いスピードで原発ゼロを目指す。	原発を停止し、再生可能エルネルギーの開発を進めることで国民は活力を見出す。 世界に日本の力を見せることもできる。 「原発ゼロで発展する社会」今こそ、日本の底力を見せる時ではないですか。 再生可能エネルギーの開発とともに、原発ゼロでも未来は明るい、という新しい価値観を日本が作って、それを世界に発信しませんか。
30263	個人	パート・アルバイト	20代	男性	2030年に原発0ではなく、「即刻、原発0」を主張 《政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべき》	このパブコメ募集の前提が「2030年までは原発が維持される」というもの。前提自体が国民を騙すトリックだ。再び事故が起これば、日本は再起不能になる。政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示すべき。
30264	個人	パート・アルバイト	10代以下	女性	2030年に原発0ではなく、「即刻、原発0」を主張 《政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべき》	このパブコメ募集の前提が「2030年までは原発が維持される」というもの。前提自体が国民を騙すトリックだ。再び事故が起これば、日本は再起不能になる。政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示すべき。
30265	個人	その他	80代以上	女性	2030年に原発0ではなく、「即刻、原発0」を主張 《政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべき》	このパブコメ募集の前提が「2030年までは原発が維持される」というもの。前提自体が国民を騙すトリックだ。再び事故が起これば、日本は再起不能になる。政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示すべき。
30266	個人	無職	70代	男性	原子力発電は廃止すべきと考えます	廃止すべきと考える理由 (1)地震・津波等の自然災害のレベルが過去のデータからの判断の範疇では測りかねないレベルに上昇している。 (2)施設がテロ行為、戦争による攻撃に部防備に近い状態にある。 (3)廃棄物処理が完結しないまま、ただストックしている状態。将来にツケをまわす技術である。 (4)現在計画されているリサイクル技術は更に危険を伴う方法と考えること。 (5)存続させなければ、技術の伝承が途絶え、日本の将来に禍根を残すとの意見に対しては、福島原発に廃炉に伴うこれから行わなければならない、世界的にも未知の方法を考案し、実施することで存在価値が出てくると考える。
30267	個人	家事専業	60代	女性	先行きの見通しのない原発エネルギーにしがみつくのは愚かです。原発をゼロにして、再生可能エネルギーに転換する今がその時です。電力が足りなければ、私たちの暮らしを見つめなおすいい機会だと思います。	使用済み核燃料の処理について、政府が委託した日本学術会議は、「不可能」と答申を出しました。たかだか40年の原子力発電で、何万年後まで処理できない負の遺産を生み出す原発は、時代遅れの愚かなエネルギーだと思います。 人々がその愚かさに気づいた今が、原発をゼロにする時です。今しかありません。それとも、またこれから40年間原発に依存して、福島のような事故が起こらないとも限らないのに、いったい誰が責任を取れますか？ 私たちの暮らす若狭地方は、何万年か前に地殻が変動してリアス式の美しい海岸ができました。何万年か後には、地球はどのように変動するのか？そのとき私たちの残した愚かな遺産は、どうなっているのか？誰も想像できません。 もうその場限りの欲でエネルギー問題を考えないでください。再生可能エネルギーの開発は時間がかかります。今すぐにでも始めなければなりません。電力が足りなければ、私たちの暮らしを見つめなおすいい機会です。 私は、子育て支援のボーターをしていますが、大飯原発10キロ圏内に住むこの子たちを、福島の子どもたちと同じような目に遭わすわけにいかないと常に思っています。フクシマの惨事を経験した私たちは、もう知らなかったでは済まされません。原発再稼動を許せば、もうそれは犯罪です。 この子達の親は、原発に作業している人もいます。いま、福島に出張して被曝に備えながら作業している人もいます。これ以上被曝労働者も生み出して欲しくありません。 一刻も早く原発は廃炉にして、原発に依存して暮らしている地元の経済の建て直しに政府は力を注ぐべきです。国策で原発を若狭の私たちに押し付け、それ無しには生業が成り立たなくしてきたのだから。
30268	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	福島事故の教訓から「ゼロシナリオ」を政府方針として掲げることを求めます。	311福島原発事故で明らかになったように、原発が存在し続けるかぎり、日本国民すべての命が危険にさらされています。この状況から脱却するには「ゼロシナリオ」しかありません。これからも原発に依存するということは、今後更なる事故の危険性を持ち続けるだけではなく、いまだ処分できない「トイレなきマンション」と呼ばれる所以でもある放射性廃棄物を今後も生み出し続けることでもあり、そのツケは、電力の大消費地とはほど遠い地に、豊かな自然を破壊して作られる地層処分場へ押し付けられることは明白です。今ですら、今後十万～数百万年にわたって管理しなければならい高レベル放射性廃棄物を大量に抱え、また科学的にも安全に保管できる保障などどこにも無いなかで、更なる放射性廃棄物を生み出すことは、常軌を逸した行動といわざるを得ません。 放射能汚染は、長期に渡り、そこに暮らす人々の生活を滅茶苦茶に破壊してしまいます。「人」と「カネ」、どちらが重いのか？こんな簡単な問いにさえ、この国は答えを出せなくなってしまったのだとしたら、これほど不幸なことはありません。 今こそ、二度とこの悲惨な事故を繰り返さないことを近い、「ゼロシナリオ」を政府方針として掲げ、原発以外の既存の様々な発電方式を見直し、新たなエネルギー（再生可能エネルギー等）の開発に力を注ぎ、世界に誇る日本の技術を世界に発信しることで、真のグローバル国家として、世界に貢献できると考えます。 原発に依存する地域や企業がこの国を動かしていくのではなく、新たなエネルギー開発によって、このような地域や企業が元気を取り戻していく政策を確立されることを強く求めます。
30269	個人	無職	50代	女性	原発ゼロを指示します	現状では原発による廃棄物の安全な処理方法が確立されていません。 海外では地中深くに埋める試みもされていますが、これも安全性が担保されているわけではなく暫定的に考え得る範囲での最善策でしかありません。 国民の健康・安全を考えれば原発はありえないと思います。 明るい未来のためにも原発からの脱却は不可欠と考えます。 日本は原発をゼロにし、再生可能性エネルギーの活用において世界の最先端を行くべきです。
30270	個人	自営業	70代	男性	原発は即廃止0%を目標とすべきです。原発は危険きわまりない。その上金がかかりすぎます。安い・安全という神話は崩壊しました。福島の再生・核廃棄物処理にどれだけの時間と労力・金がかかるか分からない。	核廃棄物の処理は今だ方法が見つからない。10万年も地中に埋めるのは安全とは言えない。費用も計り知れないではないか。これ以上勘かしてもらいたくない。子々孫々に負担を増やすばかりだ。 いずれにしても、早く原発を廃炉に取りかかること。 経済界は何を考えているのか。自分たちのことだけを考えて原発再稼働を進めるのはやめてほしい。勘かせば勘かすほど核廃棄物は増え子孫に負担を増やす。いつまた大地震が来て、事故を起こすか分からない。 自然エネルギーに政策転換してほしい。風力、太陽光、地熱、潮流、バイオ燃料等に転化すれば、化石燃料の使用を制限できる。今夏猛暑にもかかわらず、原発は勘かなくても電気は足りている。当面化石燃料、水力などで頑張ってほしい。結局その方が安くつくのではないか。原発は非常に高い買い物で税金食いであることが分かった。
30271	個人	自営業	40代	男性	ゼロシナリオを支持。健康・命を危険にさらしてまで、経済性・利便性の向上を求める生活者はいない。原発を止めれば電力不足、というのは、事業者の甘えにすぎない。原発は、暮らしに利用できる技術ではない。	ゼロシナリオを支持します。健康・命を危険にさらしてまで、経済性・利便性の向上を求める生活者はいません。今回の事故は、健康・命より、経済性・利便性を重視した結果という見方が出来ると思います。 では、なぜこうした事態がもたらされたのか。 通常、商品やサービスを提供する事業者は、これを享受する生活者の要望に応える形で、商品・サービスの安全性や品質の向上、低価格化に努めます。生活者から、ノーといわれれば、事業者は、立ちゆきません。その意味で、事業者の立場は、常に生活者の下位に位置するものといえるでしょう。 しかし、電力事業者は、こと原子力分野に関して、これまで生活者の上位にあるものとして、事業を推進し、電気を提供してきたように見えます。 原子力の推進が国策であること、したがって、国家権力を背景にした潤沢な資金力、行政の後押し、学問の権威の協力を受けて、生活者の側からの安全性や低価格化の要望に、真摯に向き合ってはこなかった。安全性への懸念が示されても、その指摘を非科学的であると切り捨てて省みず、コスト面削減の努力もおそらく怠ってきたのではないでしょうか。今回、これほどの大事故が起きても、国家の経済のために原子力の継続・推進はやむなし、という意見が見え隠れします。 しかし、新しい政策は、事業者の立場からではなく、生活者の立場から、経済性・利便性よりも命・健康を重視する立場から、決めなければ、また、同じ過ちを繰り返すことになると思います。 原発を止めれば電力不足になる、というのは、生活者の側から見れば、事業者の甘えにすぎません。現状で不可能であれば、それを可能にする努力をするのが、事業者として当たり前の姿勢というものです。 生活と経済とは、本来、対立するものではなく、生活は経済に支えられてこそ成り立ちます。しかし、原発は、ここに対立をもたらす技術です。暮らしに利用できる技術ではない、と私は思います。

30272	個人	無職	50代	女性	(1)ゼロシナリオを支持　人間が制御できない原発はそもそも無謀な選択だったと、我々は悟るべき。被爆者の救済、放射性廃棄物の処理、廃炉に向けて全力を尽くして欲しい。自国政府を信じられない不幸に終止符を。	(1)ゼロシナリオを支持します。 福島の事故の徹底的な原因究明も未だ行われないままの大飯での再開。もうあんな事故は二度と起こらないとでも考えているかのような、経済優先の政府の、原発への楽観的な対応に強い不信感があります。ぜひ今、歴史に残る賢明な決断を。自国の政府が信じられないという不幸に終止符を打って欲しいと切に望みます。 原発はそもそも無謀な選択だったと、もうそろそろ我々は悟るべきです。そして今後は、放射線被曝した方々の救済、蓄積された放射性廃棄物の処理、そして全国の原発の廃炉に向けて全力を尽くすべきです。 そうでなければ我々世代は、敗戦から立ち上がった親世代にも、もうすでに大きな負の遺産を負わせることになった子・孫世代にも、ますます顔向けができないのです。
30273	個人	その他	40代	女性	「2030年の数値を設定する3つの選択肢は不適切」 真っ先にすべきことは「蓄電システムの整備・確立」 「計画停電で水道も止まってしまうマンションは病院などと同じように計画停電から除外すべき」	1.「2030年の数値を設定する3つの選択肢は不適切。(先に目標の数値を設定して数字のつじつま合わせをしていく政策は、間違っている。)「3つのシナリオは白紙撤回すべき」。そんなことよりもっと早急にすべきことがあります。やるべきこと、できることをちゃんとやってから、その状況をふまえて将来のことを考えてください。 2. 今回のパブリックコメントは、プロセス自体に不備があります。エネルギー・環境会議は「会議」という名前ですが、担当大臣から説明・報告がなされてただ承認されるという場になっていて、議論が十分に行われたとは思えません。1回の会議の時間が10分～45分なんて短すぎます。これは一般的には「会議」ではなくて「報告会」です。こんな会議で、国の重要な政策がどんどん決められていってしまうことに危機感を覚えます。会議時間の見直し(大幅な増量)、会議への外部メンバーの参加(同数以上の増員が必要。問題点に気づき、質問・意見の言える人を選ぶ)等、今回のパブリックコメントを受けての今後の会議について、改善を要求します。ちゃんと「議論」をして今後の方針を決めてください。 3. まず真っ先にすべきことは、「蓄電システムの整備・確立」、「電力会社に一定量(計画停電をしないですむ量)の蓄電を義務付ける」こと。計画停電などという悪しき慣習を作ってはいけない。早急に対策に取り組むべき。蓄電システムが出来るまでの間、やむを得ず計画停電の計画をする場合、「計画停電の問題点について再検討すべき」。 4. 計画停電の問題点の中でいちばん深刻なのは、下記の点です。(実際の計画停電の経験からの提言) 「計画停電で水道も止まってしまうマンションは病院などと同じように計画停電から除外すべき」 「水の汲み上げのポンプを電気で動かしているマンションでは、水道もすべて止まる」のです。命の水が止まってしまうんです。会議に出席なさっている大臣の方々は、計画停電対象外の「東京」にいらっしゃったからご存じないのだと思いますが、これは重大な問題点です。 エネルギー・環境会議の第10回会議(平成24年6月22日)での経済産業大臣の発言の中に、「セーフティネットとしての計画停電について」という表現がありましたが、これは不適切ではないかと思います。誰にとっての「セーフティネット」なのでしょうか？電力会社にとっては計画停電は「セーフティネット」かもしれませんが、一部の国民にとっては「セーフティネット」どころか「命を脅かす危険なもの」になってしまうのです。大停電よりも恐ろしいことが起こり得るのです。真夏の猛暑の日に水を止められてしまったら．．．情報をきちんと把握できていない老人世帯などでは、「突然」命の水が止められてしまうという事態が発生してしまうのです。(いくら計画停電という名前にしても国民からしたらまったく「計画的」ではないものなのです。この点も大臣の方々はわかっていらっしゃらないのではないかと思います。)熱中症の危険、いざという時に水がなくて最悪の事態が起こったら．．．考えただけでもぞっとします。周知徹底すれば大丈夫．．．なんて言われるかもしれませんが、それは間違っています。震災後の計画停電の時、実際に母の友人夫婦(70代)は何日も経ってから(何回か計画停電が行われてから)初めて家にいた時に計画停電になったらしく、「昨日急に停電になったけど何だったのかしら．．．？」とびっくりしていたそうです。計画停電のことまったく知らなかったそうです。「情報弱者」はかなり存在すると思います。(加えて複雑なスケジュールや実施されるかどうかの確認など、老人世帯が計画停電の内容・状況を把握するのは不可能だと思います。) 以上のような理由から「計画停電で水道も止まってしまうマンションは病院などと同じように計画停電から除外すべき」だと思います。 他にも問題点はたくさんあると思います。再検討してください。実際に震災後の計画停電を体験した人、この夏(実際は行われないかもしれないけど)計画停電の計画の対象地域になった人からの聞き取り調査を徹底的に行ってください。もちろん早く計画停電の計画をしなくてすむようなシステムを整備してください。最優先で取り組んでください。お願いします。 5.「このパブリックコメントを最初にお読みになる方」へお願いがあります。 この意見を、「3つのシナリオ以外のその他の意見」に「1票」というような、アンケートの集計のような形で済まさないでください。エネルギー・環境会議に出席される各大臣のもとへ、この内容がちゃんと届くような形で伝えてください。お願いします。お願いします。お願いします。
30274	個人	会社員・公務員	30代	女性	地球のため・人間のため・将来のために、原子力発電所はゼロにしてください。電気使用量を減らしても不便になっても、健康で安心して生活できれば構いません。早く決断して欲しいです。	子育てをしていて、子供のために選択をすることが親の使命だと感じています。誰かの儲けのためではなく、今の便利さを重視するのではなく、一番多くの国民が望む選択をしてください。お金を勘定に入れるのはもうやめてください。
30275	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発は全て廃炉すべし	この夏、停電はおきていない。過去最高の暑さと言われているにも関わらず、電力も十分に賄われている。「原発がないと電力が不足する」のは嘘でしたね。 では、「原子力発電は安全でクリーンなエネルギー」というのは真実なのでしょうか？震災に起因する「人災」によりこの理論も破綻しています。国会事故調査委員会の報告資料の本格的な検討はいつになったら行われるのですか？ あなた方官僚や、政治家たちが、国民に対し真摯に説明を行なっているとは思えません。どんなに見栄えの良い説明をされても官僚・為政者を到底信用出来ない悲しい現状に早く気づいて下さい。 使用済みの核廃棄物は今後どうするのですか？原料となるウランの採掘・生成のためにどれだけの二酸化炭素を排出していますか？ 私ですら、家長として自分だけでなく子や孫の世代についても考えています。「国家百年の計」国の舵取りをすべき人たちが「明日の我が身」を考えて右往左往する様子はもう見飽きました。 電力価格の上昇により日本の経済は衰退する。本当に電力価格を上昇させる必要があるのでしょうか？一般企業並みの経営努力を「東京電力様」は行ってこられたのでしょうか？これからは変わるのでしょうか？他の電力会社についても、今のところ変わった様子は見受けられません。 いったいどれだけの税金を原子力発電につぎ込んできたのですか？その挙句に16万人の故郷を奪い、国民を危険に晒し続けるのですか？これ以上国民を騙しつづけるのですか？そもそもこのパブリックコメントに本当に意味があるのですか？ お願いですから国民に、世界に信頼される政治を行なって下さい。逆境でこそ輝く日本の力を見せてください。その為なら、多くの国民が惜しまず力を尽くすことと思います。
30276	個人	会社員・公務員	40代	女性	政府には原発ゼロシナリオを選択して欲しい。	福島第一原発の事故は日本を終了させる可能性のあるものでした。 終了にならなかったのは、自分の命を犠牲にしてでも日本を救うべく動いてくださった方々のおかげです。 また、今も福島第一原発で作業してくださっている方々がいますが、他に仕事があれば、裕福であれば、本当は原発でなど働きたくない方が多いでしょう。 貧しい人の犠牲の上になりたつのが原発です。 また、核のゴミのこともあります。 すぐに無毒化されるものであるならば、良いです。 しかし、現実は違います。 それに、日本は地震国なのですから、原発は危険すぎます。 原発をゼロにしてください。
30277	個人	その他	40代	女性	原子力発電所は絶対に必要です。世界の諸外国の状況を見れば、その必要性は容易に分かることです。反対派の意見ばかり取り上げられる報道に恐ろしいものを感じます。	原子力発電所は絶対に必要です。世界の諸外国の状況を見ればその必要性は容易に分かることです。反対派の人たちのヒステリー状態を見るととても恐しく感じます。マスメディアも中立な報道とも思えず何かしらの意図を感じます。エネルギー資源の安定的な確保こそが、経済的な安定に直結していることを、全く理解していないと思います。日本の技術力や文化は世界的に見ても、とても貴重な資源であると思います。平和な日本という国は世界のモデルとなるべきです。原発反対は、日本の力を弱めることにしかなりません。今までと同じ生活水準を求め、利便性を求めるのであるならば、反対派の方の根本的な考えを改めるべきです。世界の半数は食糧問題や、劣悪な生活環境で生きているのです。日本は、世界の為にやるべきことが沢山あるはずです。文明否定のような昔帰りをしてはいけません。安全な原子力発電の開発を進めてもらいたいと思います。
30278	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	脱原発への政策転換を求めます。	再生可能エネルギーを活用し、「ゼロシナリオ」を基本に制度の設計を進めてください。事故が起こった場合、責任が取れないことが明らかになった以上、原発依存は考えられません。
30279	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発依存度は0を目指すべきだと思います。原発に依存するのであれば、再処理、安全性の問題と同じスピードで進まなくては。	唯一の戦争被爆国として、原発の平和利用は推進したいところですが、今回のような事故が起こり、この先何年にもわたって人が住めない国土を生んでしまう事実を前に、それでも推進しましょうとはとても考えられません。処理の問題、安全性の確保はできているものかと思っていましたが、今回それができていなかったことがわかってしまいました。国民の安全と健康は国家の基本だと思います。経済効率を優先するあまりの悲惨な事故はもうみたくありません。
30280	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	脱原発への政策転換	脱原発への政策転換を求めます。再生可能エネルギーを活用し、「(1)ゼロシナリオ」を基本に制度の設計を進めてください。事故が起こった場合、責任が取れないことが明らかになった以上、原発依存は考えられません。
30281	個人	家事専業	30代	女性	脱原発について！！	何故、原発を再起動しようとしてるのかが分かりません。私は今すぐ原発を廃炉にするべきだと思います。福島原発事故が起きて、原発の恐ろしさが身にしみて分かってるはずなのに、まだ原発を止めようとしない政府。どれだけの命を落としてるか、まだまだ復旧どころか悪化している状況の中、まだお金の事ばかり考えている政府にうんざりです。原発は止めても電気は賄えることも分かってます。 これ以上、私達国民をばかにしないでください。日本の国を滅ぼさないでください。未来の事をしっかり考えてください。子供達に未来を与えてください！！
30282	個人	その他	40代	男性	私はゼロシナリオに賛成します。電力の使用については 「必要以上を求めない生活」を選択するのが良いと考え ます。核エネルギーについては「負の遺産」を次世代に これ以上押しつけるのは罪だと考えます。	科学の進歩も便利で快適な生活も私は否定しません。 しかし、身の丈を超えた生活は必ずどこかに歪みを生んでしまうと思います。 現在の技術力で無理なく作り出せる電力を大切に使うように、国全体の思想として普及させてほしいです。 核エネルギーについては、どんなに「安全」を唱えても地球の活動(地震や気象)を完全に掌握することなど不可能なのですから、常に「危険」と隣り合わせであるという認識が必要だと思います。 そしてそれ以前に「核廃棄物」の完全な処理ができない以上、原子力発電所を動かすということは、未来の人類への大規模殺人を国を挙げて行い続けているに等しいと考えます。 エネルギー政策は決して単純ではなく、複雑な問題であることも十分理解できます。しかし、全てを満足させられるような中途半端な答えは求めないでほしい。 国民が意欲を持てる理想を掲げ、目標に向かってまず一歩を踏み出し、歩きながら知恵を出し合い、問題を解決していくような政策を期待します。
30283	個人	無職	60代	男性	原発は即刻やめ、原発の依存率を0%にするべきです	福島原発の事故では福島を始め多くの日本人が放射能の影響を受けています。また、未だに原発事故の処理の方策も立てられていません。もう一度大きな地震が東北地方を襲うなら、福島原発は再度被害を受け、東日本全体に甚大な人的な被害をもたらすでしょう。まさに日本人全体の生命が危険に晒されています。福島原発事故の教訓は現在の科学の力では、核の暴走を止められないし、人間の生命とは相容れない原発の存在そのものでした。 日本人はその教訓を活かすすべを手にしなければなりません。代替エネルギー皆無なら原発を使うことは致し方のないことですが、日本には代替エネルギーを使う技術も能力もあります。原発コストは安いと一般的に信じられて来ましたが、実はそうでは ないことが分かって来ました。今回のような事故が一度起これば国家予算を全部使っても贖えないのです。原発は即刻廃止し、30年までに0%依存を求めることが国民の意思であす。
30284	個人	無職	60代	男性	0%「ゼロシナリオ」 使用済み核燃料の処理が不可能 原発事故処理体制の不備 福島原発事故の事実	1，使用済み核燃料の処理が不可能 使用済み核燃料は、数十万年かかって無毒化される放射線レベルです。 日本は地震列島で、火山の噴火、地震、地殻変動は当たり前に起こります。 このような国土での地下埋設は無理です。 2，原発事故処理体制の不備 電力会社が新技術を発展させるとき、自前の事故処理労働者を持っていない、養成していないことが問題です。 処理を下請け会社に任せること、 その結果、下請け労働者に偽装請負下請けが常態化すること、 また、その結果、貧困者や暴力団に頼らざるを得なくなっているのに、 改善する気がない電力会社、 それを矛盾と考えない電力会社に 危険な原子力発電は任されません。 3、福島原発事故の事実 いま、福島県では、放射線が高く、人が入れない、人が住めない土地が広大になっています。又、国が山や野の大半は除染は不可能と言っています。これをさらに増やすことはしてならないことです。
30285	個人	無職	20代	男性	原発いらないです。	原発の新しいのいらないし、いま動いてるのすぐ止める。 原発の後始末、廃炉、核廃棄物、しっかり考えて、次の世代のためにできることをやる。自分で責任を持つ気持ちが大事だと思います。原発を作ったのは自分でもあるわけです。自分でしっかり考えて、行動していきたいと思います。
30286	個人	無職	60代	女性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます。日本が世界のカナリアであるという現状は悲しいです。自然エネルギーを推進しましょう。天災は仕方がないにしても、その後の人災である「原発」による放射性物質の汚染に苦しめられるのは、納得できません。」
30287	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発は必要です。将来的に原発に替わる代替エネルギーができるまで、原発の安全性を技術で高めればいいと思います。	日本の原子力技術は世界最高の技術です。海外が日本の技術で原発建設を進めていることからもわかります。今回の事故を教訓にして撤退するのではなく、より安全な原発を作り、世界の原発の安全に寄与すべきです。
30288	個人	自営業	60代	女性	原発は徐々に0に持って行くべきと考えます。 本当はただちに廃炉にしたいところですが。	原発依存を0にする理由 ただちに0としたいのですが、しばらくは廃炉、新たな雇用、新たなエネルギー開発に時間がかかるので0を目標に今から動くべきだと考えます。 大体、政府や電力会社は一番重要かつ根本的な核廃棄物の処理をどうするかという問題に目をつむっています。核廃棄物は10万年もたたないと安全にならない。最も危険なプルサーマル計画は白紙にすべきです。 "黒い雨""水俣病"などなど政府の被害者に対する態度は許せないものがあります。今回の福島事故の対応も最後まできちんとするのかどうかも疑問です。 各自治体で新エネルギーの開発が始まっています。ここにこそ政府は補助金を出すべきでしょう。 最後に申し上げたい。 政府や東電関係者は福島原発付近で1年くらい家族と共にお暮らし下さい。 痛みを理解するために。！
30289	個人	無職	50代	男性	「ゼロ　シナリオ」を進めるべき。景気、雇用、二酸化炭素低減等の問題を考慮してこれ以外を選択する方が多いと思います。これらの対応も最大限の努力をお願いしたい。又、各人の協力も必要です。	広島、福島を経験した日本人だから、「ゼロ　シナリオ」が必要と考えます。人類の技術で防ぎきれない、原発は廃止すべきと考えます。又、悲惨さを充分に経験した日本人が「ゼロ」以外を提案すれば、他の国の方は原発の管理体制が甘くなったり、原発拡大方向に進めると思います。これ以上悲惨な目にあう人を増やしたくないと強く思います。
30290	個人	無職	60代	男性	亡き父や母が戦争で大変な辛酸をなめた。戦後戦争を起こした人々は責任を殆どとっていない。同じように原発の被害も、「責任はあいまいに」にが許されているのでは。このような社会で原発は絶対NO！	私が青年の頃、私が尊敬していた物理学の専門家(今は故人)が「原発なんて作ろうとしている輩は、何も解っていない」と淋しく語っていた。 その後、経済成長至上主義の中で、自民党を中心とする国、電力会社、学者(御用学者)大量投資した金融機関、教育に「安全」の嘘を流した人々、マスコミ、原発マネーで甘い汁をすった人、保安員のようなでたらめな規制機関、などなどが、原発を推進してきた。彼らの「嘘の連鎖」によって多くの国民は騙されたのだろうか。福島の事故後、前述の人々は、その責任を取るような言動をしたのだろうか。「嵐が去るのを待って再び原子力村を！」「庶民なんて直ぐに騙せる」と考えているのだろうか。 国会の事故調は「人災」「過去に改めるべき機会が幾度もあった」と記している。かって、少数野党の議員が(確か理工学部出身)幾度か質問していたが、原子力村の勢力は、それを無視し嘲笑までしていた。繰り返してはならない！「日本の中に蔓延する、権力の無責任体質を！」 青森の核燃料再処理工場、福井のもんじゅ、にどれだけの血税を使いましたか？どれだけ、成果をあげましたか？、どれだけ、電気代に転嫁しましたか？。 「何事もリスクはゼロに」と考えるほど子どもではありません。しかし、原発のリスクは、国を破壊に追い込みかねない大きさです。もし、いま福島原発に竜巻や突風がくればどうなります。地震大国の我が国で今回と同じような危険は絶対無視できない。 使用済み燃料の処理方法は。私は近畿ですから、琵琶湖の水が汚染されたら。今回福島の事故と同じように、それ以上に危険をかかえる原発を、責任を放棄する人達にゆだねるわけには行かない。自然再生E―に今こそシフトすべきである 字数がないので、科学的面での意見記せない。残念。 ありがとうございました

30291	個人	無職	60代	男性	原発の燃料としてのウランには限界があり、被ばくを伴う色々な人の犠牲の上に成り立つものです。原発を動かし続ける限り作られる核廃棄物を処理できない未完成の技術から撤退して、希望の持てる技術開発へ方向転換。	いかに小さな燃料で大きなカが出せるかと良く原子力の話がありますが、 比較の仕方に問題があり、ウラン鉱石から精製したウラン燃料と、掘り出した石炭とを比較するような意図的な操作で原発が有利であるように装っています。 ウランはその採掘、精錬、原発での使用で多くの被爆作業を余儀なくされ、多くの人の犠牲の上に成り立っています。また原発で使用したあとに出る多くの核廃棄物の処理が出来ない欠陥技術です。原発稼働から50年近くたって、原子物理学の権威と言われる人々は一体何を研究して来たのでしょうか、50年以上の時間をかけても完成しない技術をこれからも使い続けるのでしょうか、その間危険な放射性廃棄物を作り続け、すでに未来の人々へ多くの迷惑をかけています。「私が責任をとります」と言った人がいますが、とても責任が取れるものではありませんと。ここで脱原発、原発からの撤退を政府にして宣言すれば 廃炉の作業は簡単ではありませんので、これから先50年以上の仕事があります。未来のない原発にしがみ付いている一部の利権集団の為に多くの国民を不安に陥れる原発反対です。
30292	個人	会社員・公務員	40代	男性	国力維持、温暖化対策両立には一定程度原発依存が現実的。「2Sシナリオ」に賛成。 産業発展なしでは再生エネ拡大の原資を稼げない。 エネルギー、温暖化は技術革新等に左右される。1回／3年の見直し必要。	・エネルギー問題、地球温暖化問題ともに、国民生活への影響は許容範囲内に抑制すべき。また、シナリオ想定にあたっては、前提条件を実現可能レベルにとどめるべき（現行エネルギー基本計画の再エネ比20%を大幅に超える過剰な導入を前提にしない、等）。 ・日本は産業立国であり、国際競争を勝ち抜く上で、競争条件が不利になることは国民生活に許容範囲外の負担を強いることにならかねない。再生エネルギー導入を推進するにしても、財政破綻に瀕している日本においては、産業発展にその原資を頼らざるを得ず、その為にも、産業の発展に不利に働くような政策（電力料金の大幅な上昇等）を推進すべきではない。 ・エネルギー問題、地球温暖化対策の両立には、現時点では一定程度、原子力発電に依存する政策が現実的と思料する。提示シナリオの中では「20～25」が最もふさわしいと考える。 ・エネルギー問題や地球温暖化問題は、技術革新や、新事実の判明等によって前提条件が目まぐるしく変化する（対応コストも変化）。少なくとも3年に一度は政策効果の確認・検証を通じたアップデートが必要。むしろそれを前提としたChangeableな政策が望ましい。その中で、結果的に原発依存率が逓減していくことについては合理的な判断と考える。 ・一方、特に民生分野におけるエネルギーの甚だしい無駄使いは各方面から指摘され続けて久しい（小売店舗の過度な照明・冷暖房、ネオン、自動販売機、稼働率の低いエスカレーター等）。国民の多くは昨年に続き今年も節電対応を行っている。これを機に、電気のみならずエネルギーそのものの無駄遣いを徹底して抑制する取組みを行うべき。「節電から節エネへ」で無駄遣いを排斥する仕組み造りを検討頂きたい（地球温暖化対策としても有効）。
30293	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発0%をめざしたい。 福島の事故処理が終わっていないこの段階で、全国にある原発を次々再稼働するのはおかしい。自然エネルギーに移行すべきである。	福島の事故は収束していない、福島の再生と、避難されている人々の生活再建に政府は全力をあげるべきである。 また、福島の現状と、これからまだ続くであろう放射能の環境への全国的な被害、食物などを通じての国民生活への影響を見れば、原発がいかに危険なものかは明らかである。 経済成長優先から、国民の健康と安全を第一に考える政策に転換したほうがよい。 そのために、エネルギーは、より安全な自然エネルギーへと移行すべきである。
30294	個人	パート・アルバイト	20代	男性	原発は賛成です。原発がなくなると景気がもっと悪くなり、仕事がなくなる。	これ以上原発停止が続けば仕事がなくなるから。
30295	個人	その他	50代	男性	原発への依存はゼロにすべきです。また、再稼働した大飯原発も直ちに停止すべきです。	原発事故はいったん起これば、その影響は時間的にも空間的にも他の事故比較にならない広がりを持つことは福島原発事故の教えるところです。また、人類は放射性物質の無害化技術をもと合わせていません。廃棄物もただただ数万年、数十万年も保管し続けるほかにありません。このような負の遺産を将来の人類と地球環境に残すことは許されないことです。 また、日本は地震列島であり、未知の活断層も無数に存在することを考えれば、原発立地可能な所はどこにも存在しません。大飯原発の断層も活断層である可能性が強く、「エネルギーの安定確保」などを理由にした再稼働は無責任の誹りを免れません。ただちに運転停止すべきです。 しょうえ社会へのたゆまぬ努力と、再生可能エネルギーの開発で新たな分野の産業をつくり、経済活性化と雇用の創設にこそこれからの日本の進むべき道があります。「決断と実行」というのならまさにこの決断と実行こそが求められています。
30296	個人	家事専業	40代	女性	原発2030年までに(1)ゼロを選択	私にとって、生きている中で一番大切なものは「子供たち」です。日本が戦争中に原爆を落とされその時に、親がとった行動は、自分が犠牲になっても子供たちを守ろうとしたことです。皆、危機的な状態になったときにしか、一番大切なものがわかりません。それはこの前の東北大震災でたくさんの犠牲者を出して、わかったはずです。私は自然災害から人類はいつかは立ち直れる、と感じます。人が作った「不自然」なものには地球には治癒する力がありません。 地球上に生きていくとて、地球と共存するのは、周りの自然の中で生きている動物や植物、もしくは共存している部族の人たちが、昔からあるものが、古いのでなく、それが本当は新しい生き方とみせてくれています。もう、身を滅ぼすものは嫌です。生きてなお、原発に怯える人生は嫌です。 自分の家族を思い出して下さい。今原発に苦しんでいる人達を 自分の家族に置き換えてください。国の代表となる人たちは 何をするために、代表になったのでしょうか？何を志してやっているのでしょうか？ 政府の皆さん、人間として一番大切なものはなんですか？
30297	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発はすべて再稼働すべき。これ以上景気を悪くするな。	原発をなくすと、多くの電力を使用する私たち製造業はやっていけません。電力供給の不安定化、使用制限、電力価格の高騰によって、産業が海外に移転し、国内産業の空洞化が起こり景気悪化や失業者の増大は避けられません。
30298	個人	その他	70代	女性	平和利用という名のもとに原発を使うことは止めて下さい。稼働中の原発を止め、休んでいる原発の再稼働はしないで下さい。その代りの電力は火力、水力など他の発電を総動員して賄って下さい。	現在のところ核物質使用後の廃棄物処理技術を人類が持っているという話は聞きません。いわゆる「トイレ無きマンション」を後代の人たちに残すことはできません。被災された東北の人たちの苦しみを繰り返すことはできません。専門家の中でも、原発以外の電力だけで暮らすことはできると言われています。1980年代の電力使用量なら、原発がなくても賄えると聞きました。常日頃から感じていたことですが、ビル内では5月頃から冷房が入ります。窓を開けて5月の風を入れれば冷房は要りません。私は冬の寒さより、夏の冷房で風邪をひきました。自然の恵みに対して人類はなんと愚かなことをしているのでしょう。環境や自然を大切にしてその恩恵を受ければ、不要な電力の使用を控えることができます。四季の移り変わりに柔軟に対応できる体力をつけることができます。まだまだ書きたい理由が沢山ありますが、とりあえず原発をなくして下さい。原発がある限り情報の隠ぺいや捻じ曲げが垣間見られます。隠さなければならないようなものは、公共に持つべきではありません。
30299	個人	その他	70代	男性	原発は廃止すべき。	日本の経済動に大量のエネルギーが必要なのは確かで、原発はエネルギー創出の上で大きな貢献をしてきた。 しかし原発は3.11事故に見るように地震や大津波に安全性の面で脆い。今後も起こり得る巨大地震に対して対策はないに等しい。次の大地震がたとえば福井県で起こり、琵琶湖が汚染された場合、関西地方、ひいては日本全体は大混乱に陥る。経済活動も破壊される。これは人災である。 原発廃止によるエネルギー不足も深刻な問題だが、放射能汚染に比べるとはるかに小さいし回復可能だ。また日本社会には、たとえエネルギー不足による一時的混乱はあっても、乗り切れる能力がある。 原発廃止を前提とした日本のプログラムができれば、それは世界の手本となろう。
30300	個人	自営業	70代	男性	2030年原発割合＝0%、現在停止中のものの再稼働反対。7月に再稼働した大飯原発3,4号機は、夏季電力需要ピーク時を過ぎれば再停止のこと。	2030年原発割合＝0%の理由は、原発が核分裂に基づく技術であることである。 原子核反応には放射性原子の自然崩壊と核分裂がある。 自然崩壊は地球誕生以来何十億年もその内部で止むことなく継続されてき、その崩壊熱が地中のマグマや地熱や温泉を生み、現在の地球の穏和な環境の実現に貢献してきた。 自然崩壊は、その管理や制御には細心の注意を要するが、化学技術や放射線医学上の利用価値も大きく、人類が今後も付き合っていく必要のある技術である。 一方核分裂は元々地球上には存在せず、1940年代初頭エンリコフェルミによって初めて実験的に確認された現象である。 その単位重量当たりのエネルギー密度は石油の100万倍以上に達し、化学技術的に安全に制御する術がない。Cs137等の核分裂生成物は、1940年代以前には地球上に存在しなかったことを再認識すべきである。 この制御不能で、地球上に存在しない物質を生み出す核分裂に依存するのが原発と核兵器である。 核分裂及びそれに基づく原発と核兵器は、温和な地球環境と相容れず、人類が手を染めてはならない技術である。
30301	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発の是非、政府の国民への意見聴取会は2030年までに原発比率15%に 国民を誘導するデキレースで茶番。	＜国民への意見聴取がデキレースで茶番である理由＞ 1)国民の代表である国会が委任した国会事故調の意見聴取を国会で即刻 行わないのは国民への背信行為。何故、その前に国民への意見聴取を 急ぐのか？ 2)事故の原因を津波に誘導し、東電と政府がタッグを組んで真実を 隠蔽し、20mSv/y以下は安全とし晩発性被害をひたすら過小評価し、 大飯原発を再稼動した事は国民への背信行為。 3)政府とNHKは国民に十分な真実と情報を与えずして国会事故調の意見 聴取さえ、故意に遅らせて国民の声を聴くなど国民を愚弄する 何ものでもない。 その他、国民への意見聴取の実施法、政府のやらせ、8月の拙速な結論、 11都市のみで開催、即刻原発は止めの選択なし、発言準備の出来ない 進捗方法・・・などなど国民の声を聴く会そのものが茶番の宝庫！ 税金の無駄使いそのもの！即刻中止！ どうするかって？当たり前の事をすればよい。以下は一例。 ＜国民の意見を聴く、常識手法＞ 1)国民の代表である国会事故調（全員）の意見聴取を1ヶ月間、国会で 行い、テーマごとに質疑応答、内容の一切をTV公開する。 2)原子力の専門家、推進派、反対派を10人づつ、選抜しテーマを絞って 討論する。1ヶ月間のTV放送の内容の一切を国民の前に明らかにする。 政府が推進派の10人を選抜し、国会事故調が反対派10人を選抜。 3)上記討論会に続いて同じく、1ヶ月間、原子力専門家以外のあらゆる 層の日本を代表する知識人で討論を行い、内容の一切をTVで公開する。 選抜方法と人員数は1）と同じとする。 4)少なくとも上記の1）-3）のTV討論の内容を国民が租借し、自ら思案し、 自ら決断できる国民投票を実施する。 これだけの事故を起こしたのだから国民投票までは少なくとも 半年はかかるだろう。 事故の原因さえ、分らぬまま、大飯原発を再稼動した民主党は次期選挙 でかってない歴史的敗北を喫する事は火を見るより明らかな事。
30302	個人	その他	30代	女性	原発ゼロシナリオを選択します	私達の生活に、電力は必要です。 ですが、原発に頼らなくとも発電は出来ると思います。 私の地元にも、風力発電や太陽光発電など取組はされてます。 地震大国の日本において、また同じ災害が起こらないとは言い切れないと思います。 この小さな日本の限られた資源を、原発のせいで壊さないで下さい。 益々国土を小さくしないで下さい。
30303	個人	家事専業	40代	女性	0シナリオと官邸前デモを強く支持します。	先日、保養ツアーで福島の各地から親子を招いた時に出会った方と出会いました。葛尾村の方で現在三春町の仮設住宅に住んでおられた方でした。その方の心配通り、葛尾村も飯舘村のように三区域に分けられてしまいました。 とりわけ福島の放射線量の高い地域に住む人たちは、避難できればしたい、でもさまざまな事情があってそこから離れられず、住み続けることを選択した人たちです。 こうした惨状を見るにつけ、安全なところに住んでいる私にできることは、原発を0にすることを通して、現在も犠牲になっている方々をこれ以上傷つけないことだと思いました。 故郷を失っていくと出会ったり、保障問題などの条件によって人が分断されたり、健康被害を出したり実証できないと言われますが…）、これが原発を選んだ結果です。 政府がじゃなくて、私たちもまたその責任を負わなくてはならないと考えています。 もし、今、原発をなくさなければ、次の世代の人たちに大きな負の遺産を負わせることになる、それだけは絶対に大人としてしてはならないと思います。 少々の不便は仕方ないと思っています。 それよりも命が大事です。 経済成長で、これ以上犠牲を出したくありません。 どうか、ご検討ください。よろしくお願いいたします。
30304	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	『ゼロシナリオ』に賛成します。 しかし、自然エネルギーを中心としたエネルギー政策への転換を早急にすすめ、2030年を待たずにできるだけ早く原発をゼロにするよう、要望します。	1．世界でも類を見ない過酷事故となった、東京電力福島第一原子力発電所事故から一年5か月が経過しました。福島では今も16万人が避難生活を余儀なくされ、10年たっても帰れない地域もあるなど、ひとたび原発事故が起きれば、取り返しのつかない甚大な被害となることがはっきりしました。また、岩手県でも、県南の3市町が重点汚染地域に指定され、子育て中の若い世代を中心に放射能汚染への不安が続いているほか、風評被害を含めて農林水産業・観光業などが大きな打撃を受け、東日本大震災からの被害・影響に追い討ちをかけています。これだけの放射能被害を引き起こし、さらにこれからも数十年、子どもたちの時代にまでその被害を及ぼし続ける原発の事故は、もう二度と引き起こすべきではありえない。 2．今回の事故によって、原発の問題点や危険性も明らかになったと思います。いまだに事故は収束せず、その原因も明らかになっていない、また原発を動かす限り出続ける使用済み核燃料の処理技術確立していないなど、技術的な問題点も多々あります。 また、世界でもこれだけ大地震が起きると予想されている危険地帯に原発が多く建っているのは日本だけです。東日本大震災による大きな地殻変動で、日本の地震・津波の危険性は高まったとも言われており、福島のような事故が起きる可能性は十分にあります。 こうした多くの問題点と危険性を抱え、さらに放射性廃棄物の処理を未来に先送りする原発は、1日も早く撤退を決め、できるだけすみやかに廃炉にすべきです。 特に、30年を超え設備が老朽化している原発、敷地内に活断層を抱えている原発をはじめ地震危険地帯にある原発の運転中止、再稼動中止、廃炉を求めます。 3．今回の事故を契機に、原子力による発電から撤退し、再生可能な自然エネルギーの急速な普及・拡大を図る新たなエネルギー政策に至急転換すべきです。 日本は豊かな自然に恵まれ、自然エネルギーの宝庫です。CO2を削減し地球温暖化を抑止する視点から、また現在わずか4%しかない日本のエネルギー自給率をあげる視点から、再生可能な自然エネルギーを中心としたエネルギー政策に転換すべきです。その推進のために、送電と発電の分離と、これまで原発推進に活用してきた多額の財源を、自然エネルギーの技術開発や普及に使い、新たな雇用にもつながるように、期限を定めて、急ぎ取り組みをすすめるべきと考えます。
30305	個人	その他	60代	女性	原発依存度　0%	1　日本の未来をになう子どもたちに誇りをもって安全で安心できる社会をつなぐこと。 2　最後まで始末と責任がもてない原発は、福島の事故をきっかけに廃止するべきこと。 3　事実を即時に公表せず情報操作をし、「風評被害」と国民に罪の意識を植え付け、不信感を増大させ、国民の思考力の低下を増産していること。 4　税金を払い国を支えている普通の国民が犠牲になっていること。 5　地震国・日本の地下エネルギーが活発に活動していることが顕著な今、再稼動は危険であること。 6　戦争で唯一の被爆国の日本は、その苦しみを経験し世界に訴えてきた。その国が自国で、原発事故・水爆を起こすのは、終わりにする学習をすること。 7　原発の資金を新しいエネルギー開発にむけること。
30306	個人	無職	50代	男性	そもそもがエネルギー問題に関しては完全に受け身の状態で自分の考えや意見を発信することもなくアンケートぐらいは参加すべきと考えた次第です。	民主党政権になって特にチーム仙石の動きが許せません。細野豪志、枝野幸男 、古川元久、斉藤勁、の発言が嘘さく信用ができません。彼等の思い通りにはさせてはいけません。官僚主導で利権が見え隠れするのが見え見えでそのくせやることが稚拙。もう一度民意を問うてから今後のエネルギー政策も含めて若い人たちのために考え直すべきです。
30307	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発は存続させるべき。	原発は存続させるべきです。 火力・水力、風力や太陽熱などと違って 圧倒的に低コストで安定した供給ができるのだから。 あれほどの大きな震災にあっても、原発事故で直接の死者が出ていないのに、 新聞やテレビで「原発＝危険」とばかり報道されることにとても違和感を感じます。 震災で得た教訓を生かして、原発の安全性を高めていけばよい。 もちろん、新エネルギー開発への投資も積極的にすすめながら、です。 原発反対派の「一見、美しみえる主張」を現実化してしまったら、 日本の経済産業、国力は衰退していくだけです。

30308	個人	会社員・公務員	50代	女性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を強く主張します。	再び原発事故が起これば、日本は再起不能になります。即刻原発をゼロにし、放射能の危険から開放してください。安心して住める日本になれば活力が戻り、豊かになります。政府は自然エネルギー比率を増やすべきです。
30309	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	意見概要 原発依存度15%シナリオです(エネルギー政策のミッションは0)。 原子力発電は、いい、悪いでいうところの悪です(意見理由は以下による)。	意見 ただ30年でなくすことは現実的でありません。憲法改正からはじめ、原子力発電所は資料館として静置。まず原子力発電にかかわる人員の再就職は政府が保証。再就職分野はゴミ処理や第一次産業、防衛、宇宙産業などに平行して進めてはいかがでしょう。 理由(科学):原子力エネルギーは人工エネルギーです。上限はありません。 理由(法政的):科学的真理は憲法に反映していく。原子力の平和的利用というスローガンは時代的気分として決別する。 理由(学問的): エネルギー政策は、原子核物理や道徳(知足、幸福)にかかわるにもかかわらず、エネルギー政策に関わるメンバーに学問分野、宗教分野の参画が少ない。 理由1(教育的):日本人も、人類は太陽エネルギーの範囲でしか生活できないという叡智を学ぶ機会がほとんどない。 理由2(教育的). エネルギーを考えることは、物理学のヒエラルキーで、最も高みにあり、その位置から考えるほうが楽で速い。 理由(理由):上限のない人工エネルギーを産み続けることを日本国が許すことは、日本人のモラルと身体の破壊にもつながる。 雇用先の理由:原子力発電にかかわる人々の営業が、何のためによくないか、宇宙から地球をそれぞれにその目で見る仕事に携わってみても良いと思われる。 以上です。
30310	個人	自営業	40代	男性	0%	原発依存0%
30311	個人	自営業	40代	男性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべき	あと18年の間に先の311のような事が、再び事故が起これば、日本は再起不能になる。政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示すべき。国の基本は国民でありその生命を守るのが基本。
30312	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます 未来ある子供たちのために、原発ゼロを切望します 同じ子供を持つ母親として、福島の方々の苦しみ・悲しみを見ていると心が苦しくなります。 家族離れ離れになったり、職を失いながら非難した方、福島で放射能におびえながら暮らし続けてる方… どちらも原発さえなければ、「普通に」暮らしていたはずです 家族みんなで暮らしたい、放射能に怯えることなく、思いっきり外で遊ばせて上げたい…という普通の生活を送れなくしている原発には断固反対します。 (1)原発は危険すぎます 　現在も保有しているプルトニウム、これ以上増やすんですか？どう処理しますか？ 　今後も自然災害などが起こる可能性は少なくありません。 　福島と同じ過ち、同じ悲しみ・苦しみをこれ以上広げるわけにはいかないと思います。 (2)自然エネルギーの追求を積極的にしてください 　風力・太陽・その他含めて、もっともっと広げていくことができるはずです。 　原発ではなく、自然エネルギーの安定供給のために力を注いでください。
30313	個人	自営業	30代	男性	三つのシナリオの中では「ゼロシナリオ」を支持します。 自然エネルギーなどの可能性がまだまだあること。 原発が技術的に安全運用するレベルにないこと。 日本が地震大国であること。	・自然エネルギーや天然ガスなどの可能性がまだまだあること。 原子力に使ってきた莫大な費用や技術力を、他の再生可能なエネルギーに向けることが出来れば、さまざまな技術革新の可能性があるはずです。 この問題には多くの利権や経済的な理由がからんでいるように思います。 何か大問題が起こるまで指針を曲げない、利権や経済を優先する舵取りに国民はウンザリしています。 今、ここで政治の力が、本質的な意味で人の命を大切にする方向に向けられれば、国民の信頼を取り戻すチャンスになると思うのです。 国民の誰もが笑顔で暮らせるために「政治」はあるのだと信じています。 誰かがつらい思いをして成り立つ仕組みはやはり続きません。もちろん分かっているでしょうし、その答えがあっても、実践できないシガラミもあるのでしょう。でも本質を見て欲しいと思います。 そこだけは曲げてはいけないと思います。 ・原子力発電が技術的な面で安全に運用するレベルにないこと。 もともと、核廃棄物の安全な処分方法が無いなかで、ここまでの運用を実行してきたことに問題があると思います。この問題をクリアできない限り、手を出すべき技術でない。放射能の危険性を国民の大多数が認知した今、この事実は脱原発の最も大きな理由です。 ・日本が地震の頻発する地理的条件を持った国であること。 地震への対策があっても、それを運用するのは人間です。絶対に間違いの許されない危険な施設を作るにはリスクが大き過ぎる。 過去の数々の事故を考えれば、福島第一原発の事故は起こるべくして起こったと言わざる終えないと思います。 ・解決策のひとつとして 参考までに技術革新を待たなくても、今ある技術で運用できる再生可能なエネルギー例として「R水素」というものを上げておきます。
30314	個人	会社員・公務員	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」を選択します。	提示された3つの選択肢の中では「原発ゼロシナリオ」が唯一の脱原発の道に続くものだからです。ただし、シナリオに描かれている「できるだけ早期に」ではなく「即時に」原発をゼロにすることを強く求めます。 なぜなら、東京電力福島原発事故が何ら収束していないことは、明らかです。それに加え、いつまた巨大地震・津波が発生するかもわからない日本列島に原発はぜったいに存在するべきではありません。福島県をはじめとしてこれだけたくさんの「国民」が生活の基盤を失われ、地域の関係性を絶たれ、健康被害の恐怖の中で生活することを強いられ続けている状況を無視することはいい加減にやめてもらいたいと思うからです。 原発がないと電気が足りない、電気が足りないと経済が落ち込む、というようなロジックはもうウンザリです。一部の企業の目先の利益だけを優先して、大勢の人びとが平和に安心して生きる権利をないがしろにし、責任をすべて未来の世代に押しつける原発政策は、ここで終わりにしてほしいと思うからです。 早期に再生可能エネルギーへの転換の舵を切ることで、原発ゼロは確実に実現できると信じていますし、わたしたちの政府が賢明な選択をしてくれることを切に願っています。
30315	個人	家事専業	60代	女性	兵器輸出国への道を、阻む。	今のわが国は、抜き差しならない袋小路にいると思います。 先の見えない未来に国民の多くは閉塞感に捕われ、明るい希望は望むべくも無い有様です。 この状況を打開する為の方策は、一に雇用の安定化にかかっています。 衣食足りて礼節を知るは、理の当然であり、個人の不安は社会の不安定化に直結しています。 ここに原発事故があったのですから、不安どころか無力感から来る、怒りや不満は一層の絶望感に拍車をかける。 雇用と一口に言っても、魔法のような解決手段がある訳ではない。 環境と、兵器がキーワードになる筈、多分政府はこの二者のうち、兵器に手を伸ばしつつあると懸念しています。 米国が兵器の分野において、一方の雄であり、中国の軍事拡大路線に不安を感じる国民が多い今、より現実的な選択として、俎上に上っているのではないか？ しかし、兵器の製造は、営々と築き上げてきた、平和国家としての日本像を著しく損なうものであり、何よりも、戦争、紛争あってこその需要です。 ここに手を染めれば、平和な社会は、企業存続の阻害要因にしかなりません。 私達は、目先の利害に囚われず、国家百年の大計を立てねばなりません。 経団連の重鎮も、政治家各位も、自分が生きていない世の中の為に、理想を求めることが地位に相応しい在りかたではないでしょうか？ この国の高い地位にいる方々が、国全体、国民一人ひとりに思いを馳せる想像力を持った人たちであって欲しい。 原発は必要悪と言い募る人たちに聞きたい。 私が子供の頃、原発は無かった。 工業立国のために止むを得ないというなら、私個人は必要最小限度の電力で我慢します。 医療や生産活動に優先的に電力をまわしてもらって構わない。 けれど、追い詰められれば、底力を発揮することが出来るのが、わが国の国民性です。 環境は、これから、ますます重要な、社会の要請となるでしょう。 少しも早く、この分野で一頭地を抜くことこそが、誇るに足る日本を築く基礎のなると信じます。 太陽光ばかりが喧伝されますが、問題も多くありそうで、国が今一歩踏み出せない遠因になっているのでしょう。 一発逆転は求めません。 叡智を集めれば、一つ一つは、小さくても、次世代にしっかりと繋げてゆける技術を我が物になしうるはず。 小国といえども誇り高く生きてゆきたい。
30316	個人	その他	40代	男性	2030年の原発依存度は、ゼロ以外に考えられません。選択肢に15%や20～25%シナリオがあること自体、狂気の沙汰です。また、原発の廃絶に20年もかけることにも異議があります。原発は直ちに廃炉にしろ。	原発が一基もなくても、電気は作ることができるからです。何故、たかが電気のために、人々の生命や財産を恐ろしい危険に曝す必要があるのでしょうか。原発は、たとえ事故が起きなくても、日々、被曝労働を必要とし、処理する技術がない放射性廃棄物を生産し続けます。「核の平和利用」などというのは、政治家や原子力産業や御用学者の欺瞞です。軍事利用の核と原発の根は、一緒であることを、国民は知ってしまいました。もう決して騙されません。核を持ちたいという野望を持つタカ派の政治家、利権をとことんまで追求したい原子力産業・ゼネコン・金融機関・マスコミ・御用学者にとっては、原発はまさに魔法箱のように素晴らしいものでしょう。決して手放したくないでしょう。だから、政府が考えたこの選択肢にも、15%や20～25%シナリオがあるのでしょう。でも、もうこれ以上、国民を愚弄するのは止めて頂きたい。国民は馬鹿ではありません。権力者たちのの魂胆は、白日の下にすべてばれてしまったのですから。少しはドイツ政府を見習いなさい。失敗から学習しない国に未来はありません。最後に一言。福島原発事故の責任を誰一人取らない政府は、信用ゼロです。
30317	個人	自営業	40代	男性	「原発0%」の「1:ゼロシナリオ」案にするべきです。	これからもそれなりの力のある国として、日本という国を維持していくことを考えると、安全保障上のいろいろな問題をきちんとクリアしていかなければならないのと思っています。 エネルギーの原料を海外から輸入し続けなければならない状況は、エネルギー安全保障上何とかしていかなければなりませんし、食料の自給や国民が健やかに暮らしていける環境の問題を含めて、国土保全の問題も安全保障上何とかしていかなければなりません。 また、お金が国内で循環するような経済の形を改めて構築していかないと、これからも膨大な支出が必要となってくる国庫の問題に大きな影響が出ることになるでしょう。 これらを総合して考えると、原発をゼロにし、再生可能エネルギーの技術を向上させ、産業として興隆させ、国内で経済を循環させること。それが、国土を保全しつつエネルギー輸入・貨幣流出を抑え、国土を健全に保全していく、そのすべてが成り立つただ一つの道だと思います。
30318	個人	法人等	60代	男性	国民の不安を除くため、できるだけ早く原発ゼロを目指す(1)ゼロシナリオを選択すべきです。	福島第一原発事故は、史上空前の事故です。ひとたび事故が起きれば、国民や住民にとどまらず経済に与える影響ははかりしれません。原発事故は起きないという保証はどこにもなく、誰も保証できません。万が一、万万が一でも起きれば取り返しがつきません。 また、放射線物質を処理する方法は未だなく、地中不覚に埋めるしかその方法はなく、後生へと不安を先送りするだけの無責任なものです。 経済への影響卯も深刻です。原発が経済公的効果をもたらすと言いますが、いったん起きれば経済的損失は計り知れないことは、今回の事故で立証済みです。自然エネルギーへの転換を進めれば、新たな産業を興すことや、エネルギーの地産地消を促進し地域経済にも貢献することになります。エネルギーの無駄遣いを防ぐために、効率的な方法や機器の開発も促進されるでしょう。携帯電話のバッテリーの保ちが飛躍的に向上したと同じ事です。 できるだけ早く原発ゼロを目指す、ゼロシナリオしか選択肢はありません。 以上
30319	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発の持つ長期的かつ致命的なリスクを考えればゼロ以外選択肢はないが移行期間は必要。従って与えられた選択肢を前提とすれば「15シナリオ」を選ぶが、最終的には「可及的速やかに」原発ゼロを目指すことが条件。	東日本大震災、そして原発事故が起こったその時、日本のリーダーたる内閣総理大臣の職にあった菅直人氏は言う。国家の存亡すらかかる「最悪のシナリオは危機一髪、紙一重で回避されたもので、今でも同じような事故が絶対に起きないとはだれも言えない」。そして「私たち日本人が経験した福島原発事故が、国家存亡の危機であったという共通認識を持ち、そこから再スタートすべき」。(2012/8/8菅直人オフィシャルブログ) この発言の通り、経済状況や国際競争の面から脱原発依存を夢物語のように揶揄する専門家や評論家がいるが、むしろ逆、今回の事故を踏まえてなお原発に依存しようとする発想こそ夢物語であり、非現実的と考える。即とは言わない。原発ゼロの実現自体には時間を要するとしても、脱原発を揺るがぬ前提とした速やかな議論の開始、そして具体的な工程の検討と提示を求めます。
30320	個人	自営業	40代	女性	ゼロシナリオ(脱原発)を支持します。	地震大国日本で、原子力発電者を安全に動かすのは不可能。原発は、不完全な技術に基づいている。日本は、世界唯一の原爆被爆国でありながら、数十年後には原発で自爆。世界の笑い者である。既に他の国は、福島の事故を受けて脱原発していたりするのに、当の日本が原発を推進してどうするのか。現在ある核廃棄物の処理方法を研究するのがやっとであって、これ以上核廃棄物を増やしてる場合ではない。もう既に原発で食える時代ではない。このまま原発を稼動し続けるのであれば、次の地震が来た時、もう日本はないかもしれない。昨日今日の損得ではなく、地球に生きている一生物として、地球を破壊しない方向に日本が進むことを、強く強く願う。
30321	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発は、「0」以外に道はなく。これ以上、未来に「放射能による健康被害の恐怖を与えない」、「核のゴミを託さない」そんな決意が必要です。	原発は、「0」以外に道はなく。これ以上、未来に「放射能による健康被害の恐怖を与えない」、「核のゴミを託さない」そんな決意が必要です。そこからすべてが始まる。「ただちに健康被害はない」などと問題の先送りはやめましょう。 福島原発事故以来、住み慣れた故郷を奪われ、生活の基盤を奪われ、日常的な大切な繋がりが薄れた中で生活を余儀なくされている多くの市民の思いを政府や東電はどれほど汲み取っているのか、分からない。いまだに原子炉の状況すら掴めず、事故の原因すら明らかになっていな状況で「冷温停止」を発表し原発を再稼働に踏み切る政府、原発を再稼働した途端に火力発電を止める電力会社、理由は「コスト高」、はじめから原発再稼働ありきで進む、政府と電力会社の姿勢に疑問を感じる。疑問だらけの政府が用意した3つの選択肢も、「0」以外は今後も原発を動かし、今の原発を永遠に使い続ける事は出来ないので、将来には原発を立てる事を意味している。政府は、自らの都合の部分しか見ていない。今も大変な福島原発の状況や国内の原発が全て停止した状況でも国民が協力して電力不足に対応した事実を見ていない。今日の状況で急性被曝でなくなる人はいないでしょう。しかし放射能の危険は、今すぐに来るのではなく「じわりじわり」と体をむしばみ健康被害が起こり、生活や精神的苦痛による一生の被害が出てくる。そのことは、広島、長崎が教えてくれている。原発「0」以外に、これ以上の被曝を防ぐ方法が無いのは明白です。 核のゴミ問題も処理技術がないまま、気の遠くなる歳月を未来に託さなければなりません。原発を稼働すればするだけ出てくる核のゴミ、一刻も早く原発を停止してゴミの量を増やさない事も重要です。 原発は「0」で、他の分野でエネルギーを作り出す政策に転換し、そこにお金と力を注ぐべきです。太陽光や風力等再生可能なものに転嫁する事が今求められている。火山国日本で地熱発電もすぐに建設着手が可能でしょう。地熱発電の中心技術であるタービン・発電機の世界シェアは、東芝・富士電機・三菱重工業の3社で、約7～8割を占めているとの事です。日本には、技術力はあるのですから「原発ありき」の政策を転換すること必要です。
30322	個人	自営業	50代	男性	原子力依存度を迅速にゼロにし、再生可能エネルギーなどにシフトしていく政策を実行してほしい。	使用済み核燃料の廃棄方法、原子力発電所の廃炉手法など、あまりにもリスクが高く、事故時の補償など、それらを全て含めてコストとして見た場合、他のエネルギーよりも高くなってしまい、経済的にも成り立たないと考えている。 　また、脱原発で、既存産業がなくなり働く場や事業が衰退すると言われるが、原子力関連の産業従事者や、周辺産業にとって、既存の業務としてはなくなるが、原発廃炉、使用済み核燃料の処理などの新たに必須となる膨大な作業が発生するため、失職や、倒産といった影響は少ないとも考える。 　何よりも事故収束を天に任せるような原発の安全には大いに疑問を持たざるをえないので、すぐにでも原子力エネルギー依存をゼロにすべきです。
30323	個人	無職	60代	男性	中間貯蔵施設や最終処分施設の問題と、廃炉を進めていく上での作業員の健康管理と人員確保の問題。この2つは将来にわたって大変不透明である。この問題を政府と電力会社はさけている。	使用済み核燃料の最終処理の問題を真剣に考えて対策を取りつつある国が世界でどれだけあるのか。 日本においては、最終処理はおろか中間貯蔵施設でさえ暗礁に乗り上げている。この背景には、 NIMBY(Not In My Back Yard)症候群、つまり人間の生活にとって必要なものであっても、迷惑な施設は自分の近くには持ってきてほしくない、という人間共通のエゴだ。 　中間貯蔵施設に集めた廃棄物も30年後には県外に移すというが、それは沖縄の基地の県外移設問題で、それが根拠のないことであることを国民はしっかり学習した。 　廃炉作業は今後40年以上続くと言うが、今から線量計に鉛を使うとか、作業員の確保に暴力団がからむとか、失業者がねらいうちされるとか、ヤミの部分が露呈した。事故で被曝した福島県人がさらに廃炉作業で被曝を続けるのは＜差別＞以外の何ものでもない。 このような大きな問題をあいまいにしながら、「再稼働」はありえないし、「3つの選択肢」を議論することもありえない。あたかも福島の事故が収束し、新たな次の課題に向かっていく段階であるかのように国民を誘導しているとしか思えない。

30324	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原発に関してはゼロシナリオを支持する。しかし，3つの選択肢はいずれも地球温暖化対策の観点からは極めて不十分であり，温室効果ガスを2020年25%(90年比)削減するシナリオを堅持すべきである。	工業化前(1850年頃)頃から平均気温の上昇幅を2℃未満に抑えなければ、地球規模の回復不可能な環境破壊により人類の健全な生存が脅かされる可能性がある。このような事態を回避するためには、二酸化炭素(CO2)を排出する化石燃料消費を大幅に減らさねばならない。また、福島第一原発事故は，原子力発電が安全ではなく、原発に頼らないエネルギー政策が必要なことを明らかにした。原子力発電に依存することなく、CO2を大幅に削減するエネルギー政策が必要である。 こうした観点からは原子力発電の割合については「ゼロシナリオ」しかなく、2030年までにゼロにするのではなく、できるだけ早く原発ゼロを目指すシナリオが必要である。提示されている3つの選択肢のうち，「15シナリオ」は浜岡3～5号機を含めた原発の再稼働や新設が，「20～25シナリオ」は原発増設や新設がなければなりたたないシナリオである。こうしたシナリオはそもそも現実性が無いだけでなく、原発からの脱却を切望する多くの国民の声にも反するものである。 温室効果ガスの削減量については、ゼロシナリオが2030年23%(90年比)、15シナリオと20－25シナリオは25%とされている。しかし、2020年ではゼロシナリオでは0～7%、15シナリオが9%、20－25シナリオが10～11%とされている。この3つの選択肢では、国際公約となっている2020年25%削減目標はまったく捨て去られてしまっている。 3つの選択肢の温室効果ガスの削減が不十分な理由は，(1)省エネを十分に見込んでいないこと，(2)粗鋼生産量や貨物輸送量を増やす従来型の経済成長に固執していること，(3)少ない再生可能エネルギーの導入見込み，(4)石炭を中心とする化石燃料依存，などにある。典型的なのは，3つの選択肢とも2030年までに2010年実績から発電電力量は10%しか減らず，最終エネルギー消費は19%乃至20%しか減らないとしている。 地球温暖化は大量生産、大量消費、大量廃棄の社会経済システムが生み出した環境問題であり、地球温暖化を防止するためには、こうした社会経済システムを抜本的に変革し、今世紀に脱化石社会を創るしかい。そのためにはエネルギー源を再生可能エネルギーに全面的に換えて行くしかない。こんかいの選択肢には、こうした将来に向けてのビジョンに欠け、当面の弥縫策でしかない。 地球温暖化問題は人類の生存がかかった問題であり，福島原発事故を理由に，国際公約である2020年25%削減目標を取り下げるべきではない。脱原発と地球温暖化防止のどちらかを優先するのではなく，脱原発と地球温暖化防止を両立させる選択肢が必要であり，こうした選択肢を再検討すべきである。
30325	個人	自営業	20代	女性	原発については、ゼロシナリオを支持します。	福島原発事故により、原子力の健康へのリスク、事故が起きた時の対策の不充分さ、核廃棄物の処理問題について知りました。 この世に原発は必要ない、原発は一刻も早く全て停止させるべきです。 これからの未来に原発はゼロ。 先進国を見れば、当然、わかるはずです。 日本が自然エネルギーにおいて、はるかに後進国であるということ。 私たち20代の、これから子供を産むであろう女性たちは、日々、放射能汚染されていない、遺伝子組み換えでない、安心安全な食べ物を探すことだけを必死に考えています。 自分だけでなく、未来に産まれるであろう子供の健康を、考えれば当然のことです。 また、エネルギーについては火力をもっと減らし、地熱、風力などに切り替えなければ、CO2の増加により、ますます地球温暖化が進んでしまいます。 もっと大幅な省エネは可能です。 街を歩けば、無駄な電気がいくらでも目につきます。 この小さな日本国が、地球全土の人々、動物、自然に対してどれほど申し訳ないことをしているのか、もう一度考え直してほしい。 政治家やマスコミや一部の人達でうやむやにするのはやめてください。 日本国民のために、もっと情報の公開を、意見の呼びかけを、国民に対してすべきです。
30326	個人	パート・アルバイト	30代	男性	原子力発電のリスクと国民負担を正確に知るための情報公開を希望。 エネルギー選択を国民1人1人ができる仕組みをつくって欲しい。 将来のエネルギーは火力、水力、地熱を主軸にすべき。	日本は40年以上にわたり原発に依存しているので、脱原発をするのには時間と労力がかかると思います。私は脱原発を支持しますが、それを政治闘争にするのには反対です。 国民が原子力発電のリスクを正確に知り、将来のエネルギー選択を知識に基づき行なえるような仕組みをつくって頂きたい。政府による情報公開と国民投票制度を要望します。 情報公開についてはウランの採掘から放射性廃棄物の処理に至るまでの全過程で原発にどれほどのコストとリスクがあるのか正確な情報を出して欲しいです。 国民投票については、エネルギー選択を政治家、官僚、財界に委ねるのには反対です。彼らは自らの保身を第1に考えて判断する可能性が大きいからです。国民がエネルギー選択を個々の問題として引き受けて判断することが必須だと思います。 現在出されているシナリオについては、2030年頃に原発をゼロにするシナリオを支持します。将来のエネルギー源として地熱発電を推進すべきだと考えます。
30327	個人	その他	40代	男性	ゼロシナリオを支持します。 原子力発電所の新設・増設は言うまでもなく、再稼働にも絶対反対です。いのちを脅かし、未来を踏みにじるエネルギーから、いのちを育み、未来へつなげるエネルギーへ！！	2011年3月11日に起こった、東京電力 福島第一原子力発電所の事故をもって「安全神話」は完全に崩壊しました。福島をはじめ、原発や核廃棄物処理施設が建てられた、あるいは今も建てられようとしている地域の人びととのつながりは分断され、特に3.11以降、すべての国民が原発とエネルギー政策によって分断されてしまっています。 日本がほんとうに未来を見据えて歩んでいくのであれば、今こそ、原発という分断の根源から解放されなくてはなりません。 本来、夏は暑いもの、夜は暗いもの。便利さ、快適さを求めるあまり、夜の闇さえも人口の光で昼間の明るさに変えてしまうわたしたちは、莫大なエネルギー消費の奴隷となってしまっています。省エネルギー・自然エネルギーも、それを最優先したエネルギー・システムに本気で取り組むなら、つまり、これまで国策として原子力を推し進めてきたことに代わって、エネルギー自由化の実現など、自然エネルギー政策を推進するなら、もっと充実させることができます。 生活、生きかたを見直し、過剰なエネルギー依存を断ち切らなければ、貧困や格差といった社会問題についても解決の入り口にすら立てません。 原発は、事故が起きなくても、処理できない放射性廃棄物を生み、労働者を被曝の危険に曝し続けます。そして事故を起こしてしまえば、大地や海を半永久的に汚染し、生活を踏みにじり、特に子どもたち、新しく生まれてくるいのちの未来への希望を破壊します。いまだ効果的な処理方法のない放射性廃棄物も未来に押しつけています。 わたしたちが取り組まねばならない問題・課題は原発だけではないでしょう。しかし、今、原発から解放されなければ、他の問題・課題に向き合うことすらできません。 たとえ万が一有益なものであったとしても、人のいのちを脅かし、生活を踏みにじり、人のつながりを破壊し、子どもたちの希望に満ちた未来を奪うエネルギーなど、わたしたちはいらないのです。 今、かつてないほどに多くの国民が、さまざまな立場の人びとが、さまざまな世代が各地で一斉に上げている声に耳を傾け、心を向け、30年と言わず、原発の“即時”全停止と“即時”全廃炉を目指すことこそ、原発ゼロ！こそ、未来へとつながる確かな道です。
30328	個人	会社員・公務員	50代	男性	(3)20～25 シナリオを選択。 原発からグリーンの考え方は、理解できるが、今回示されたシナリオ、特に再生可能エネルギーの比率が、現実的でないし、実現可能性に乏しい。	日本の経済が、未だにデフレ下にある中で、再生可能エネルギーの過剰な導入を進めることは、結果的に富裕層と貧困層の格差を拡大することになる。 戸建に居住している者は、税金が原資の補助金を利用し、太陽光発電などの導入がなされ、発電した電気をFIT制度にて買い取ってもらい、裕福になれるが、それ以外に居住している者は、それらの税負担を強いられることになる。 加えて、原発停止に伴い火力発電の燃料費増加分も電気代として追加負担しなければならない。 今回の選択肢が、単なる努力目標であるならば、時々の技術革新の状況により、見直すことも可能であると思われるが、エネルギー基本計画の見直しの根拠となるのであれば、各シナリオにおける経済への影響、暮らし方などしっかりとした情報提供が必要だったのではないか。 政策決定に際しては、感情論的な判断ではなく、論理的かつ、実現可能な立案に基づく判断が不可欠であると考える。 一般的に、特殊な分野の政策変更に際しては、その業界に与える影響を如何に抑えるかも重要であり、関係者の意見を聞くことは、必須である。 今回の政策立案にあたり、事業者のみならず、働く者の意見すら聞く機会を与えなかったと聞き及んでおります。今後は、このようなことが、起こらないことを希望します。
30329	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力の選択肢を維持する観点から「20～25シナリオ」を支持する。 一方、省エネ・再エネの導入想定は過大であり、20～25シナリオをベースに実現可能なレベルに見直していくべきである。	1)基本的考え方 エネルギー環境政策の選択は、国の経済、国内でのものづくり、ひいては国民生活や雇用に大きな影響を及ぼす。国民が東日本大震災からの生活の立て直しを図ろうとし、国の経済を支える国内製造業が再び成長に向けて歩き出そうとしているときに、それを阻害するような政策であってはならない。 資源に乏しい我が国は、資源・原料を輸入しそれを加工・付加価値を付けて輸出して外貨を稼ぎ、それによって食糧やエネルギーを輸入するという「加工貿易立国」として発展を遂げ、国民生活が成り立ってきた。「ものづくり産業」を国内で持続するためには、低廉且つ安定的なエネルギーや電力の供給は不可欠であり、近年直面してきた円高などの多重苦にエネルギー制約が加われば、日本の経済、国民生活を支える「ものづくり産業」は崩壊する。 地球温暖化対策の重要性を否定するものではないが、日本がこれから歩まなければならない東日本大震災からの復興への道のりにおいて、国民生活や経済を犠牲にしてまで温暖化対策に重点を置くべきなのか、国際的な公平性をどう保つのか、冷静に考える必要がある。 2)原子力について エネルギー資源の殆どを輸入に頼らざるを得ない我が国にとって、原子力は重要な選択肢の一つであり、これを放棄することは、我が国のエネルギー安全保障や化石燃料の国際交渉ポジションを大きく毀損することになる。 福島事故の原因を徹底的に検証し、その対策を反映させることで、世界で最も安全な原子力発電技術の確立を図っていくべきと考える。 掛る観点から、20～25シナリオを支持する。 3)省エネ・再エネについて 今回示されたいずれのシナリオにおいても、極めて大きな省エネ・再エネが織り込まれており、その実現のために広範かつ厳しい規制や、過大な経済負担が想定されている。これは少子高齢化や震災復興などで厳しさを増す国民生活や国内の経済活動に、耐えがたい犠牲を強いるものであり、到底受け入れることはできない。また、省エネや再エネが計画通り進まず、経済が想定以上に成長した場合は、エネルギー供給不足をきたす可能性も懸念される。 省エネ・再エネが重要であることは論をまたないが、実現性を無視し、経済性を大きく犠牲にする施策は取るべきではなく、シナリオを見直すべきである。 3)地球温暖化対策について 今回示されたいずれのシナリオにおいても過大な省エネや再エネ導入を前提としなければならなかった根本の原因は地球温暖化対策にある。いずれのシナリオも2030年のGHGが23～25%削減されることとなっているが、そのために、限界削減費用を600～700＄/t-CO2も掛けるという、過大な省エネ・再エネ導入が前提とせざるを得なかったと理解される。 今、我が国が取り組むべきは、国民生活や経済・雇用を犠牲にし、国際的にも公平性を欠くレベルの温暖化対策なのだろうか？ 地球温暖化問題に対して我が国の最大の貢献は、優れた省エネルギー技術やエネルギー効率に優れた製品の国際的な普及による地球規模でのCO2削減であり、過大な国内対策による我が国製造業の疲弊や海外移転は、本来の地球温暖化対策に逆行すると私は考える。 掛る観点から、「▲25%」という過大なCO2制約を取り外すことによって、より国民生活を重視した現実的な省エネや再エネの比率に見直すことが必要である。 4)不断の見直しについて 国際的なエネルギー情勢、経済状況、技術革新など、エネルギー環境政策に影響を与える周辺状況は変わりうる。これらの変化を読み取りながら、不断に見直しが行われることを望む。 以上
30330	個人	家事専業	50代	女性	日本の原発による発電を0%に	私は「原発ゼロシナリオ」を選びます。 昨年来電力会社の発表することに注目してきましたが、あちこちに嘘や隠ぺいがあるようで、とても信用することができません。 原発で電気を作り出すことに伴う危険だけでなく、廃棄物の処理まで今のような状態では、地球に対する負荷をどれだけ掛けているのかとぞっとします。 原発に頼らなくても今の日本の技術力があればもっと自然からエネルギーを作り出すことができるはずです。そういう研究を進めている人たちのことも報道されています。実用化に向けて拍車がかかるように国などで後押しをすれば、早い時期に実現できるのではないでしょうか。 もうこれ以上東京電力から電気を買いたくありません。 消費者に選ぶ権利を持たせてください。多少高くても私は自然エネルギーを基にした会社を選びたいと思います。
30331	個人	無職	80代以上	男性	原発ゼロシナリオを支持。 原発の新設をせず、耐用年限に達し次第、順次廃炉していけば、 向う18年の間には原発ゼロ。 一方、再生可能エネルギーに拠る発電技術の開発と施設の設置に総力を挙げる。	根本は「人類は核と共存できない」の真理に目覚めること。 絶対安全の虚構は崩壊した。安全神話の押し付けが、技術者と政・官・業の驕りでしかなかったことが明白になった。彼らの無責任な「想定外」の言訳は二度と受忍不可能。 ドイツの機敏で思い切った政策変更の叡智を他山の石にせよ。福島の事故をみて急遽変更したものだ。目先の利益に汲々として、これ以上恥を曝さぬこと。
30332	個人	会社員・公務員	40代	女性	ゼロシナリオを選択する。使用済み核燃料を安全に処理できないのだから、原発をやめるべき。石炭ガス化複合発電を実用化し、世界一クリーンな石炭火力発電技術を海外に積極的に輸出すれば、地球温暖化対策にもなる。	人類および地球上の全生物の未来を考えれば、放射性廃棄物をこれ以上増やしてはならない。 わが国には、大気汚染物質やCO2の排出を抑えた世界一クリーンな石炭火力発電技術がある。 石炭は安価で埋蔵量も豊富なのだから、石炭火力発電を増やせば電気料金の上昇も抑えられる。 CO2の排出量については、石炭火力発電技術を輸出することによって国際貢献すれば良い。
30333	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発ゼロシナリオを選択します。未来を生きる我が子のためにも、危険が予測されるものは排除すべきです。	東日本大震災における原発事故は、背筋が凍る思いでした。現在私の住む場所は、福井県の原発にほど近く、万が一の事故が発生した場合、すぐにも放射能は風に乗って届くという結果が示されています。エネルギーは、私たちが快適に生活するためになくてはならないものですが、快適さ・利便性を求める余り、安全面に目をつぶることは、未来のこどもたちに対して許されないことと考えます。今、現在の便利さを置いて、未来へ目を向けたとき、原発ゼロシナリオしか考えられません。それに代わる、例えば太陽光のより優れた蓄電池の早期開発などをめざし、クリーンエネルギーでわたしたちの生活を快適で安全なものへと移行していく必要があります。
30334	個人	会社員・公務員	60代	男性	ゼロシナリオを選択する。 原発は不要。即刻全ての原発を停止廃棄せよ。 基本的人権を侵す企業・公務員は人道に対する罪を適用し刑事罰の対象とする法律を制定せよ。	核エネルギーは、常時冷却または分散ができないときには、制御できないことは自明。半減期が数万年におよぶ核廃棄物管理は手法すら未確立であり、現状の核物質を更に増加させることには、反対である。ゼロシナリオ自体が甘い対策であり、直ちに全ての原発を停止、廃棄すべき。既存の原子力発電所の危険性が無いのであれば、東京都心の東京電力本店の場所に建設すべきであり、それができないのは絶対的に危険であることの証明である。また、原子力については、過去の基本的な考え方、即ち　自主、民主、公開　を厳守すべき。どんな小さなことや会議やその準備も含めて　私企業内部の動きも含めて　記録義務と公開義務を法律として制定せよ。罰則付きとせよ。 電力供給において、過剰品質をやめて、周波数と電圧の範囲を広げろ。火力と自然エネルギーで十分電力供給できることがこの間の節電対策で示された。原発立地地域への補助金や交付金をやめ、地域振興と脱原発エネルギーへの補助とせよ。電力会社の内部留保を原発廃棄原資に充当できる法律を作れ。 憲法の規定にかかわらず、基本的人権を侵す企業や公務員、全ての団体に、記録義務と公開義務を課す法律を作り、罰則も付加して、将来に禍根を残すな。福島第一の事故は、人道に対する罪である。 なお、選択肢に直ちに廃棄　原発ゼロが無いのは、政府の意図的な怠慢であり国民を馬鹿にしている。人間としての素質を疑う。 選択肢が　この3つであれば、ゼロシナリオを選択する以外に選択できるものが無い。なんと不幸なことであろう。本来は国民投票すべきである。
30335	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電は必要不可欠である。	今後日本が経済発展していくためには、電力は必要不可欠。需要が増加するのは必然的である。そう考えれば資源の乏しい日本は、原子力発電に頼らざるを得ない。
30336	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発ゼロを目標にしつつ、さらに二酸化炭素排出減にも配慮した、新たな提案を支持します。	今回提示されたみっつのパターン以外にも、電力源の見直しにより環境に配慮した形の発電が可能であると、多くのNPO団体や研究者の調査結果が出ています。それに頼らずとも、そもそも国民一人ひとりの電気消費の見直しによって、電力使用量が抑えられることは昨年実施した節電活動で結果が見えています。政府は金銭的負担ばかりを国民に示しますが、我々ができることはそれだけでしょうか。お金を出せば震災以前と同様の電力消費をする生活ができる、そういう暮らしを望んでいると、政府は考えているのでしょうか。答えはノーです。 現代社会は電気がなければ回って行かないことは現実として認識しています。便利という表現以上に必要、必須という部分(医療であったり生産であったり)があるのも理解しています。ですが、付加価値としての娯楽品の生産において、野放しに電力消費量の多い製品を安易に創造しすぎてはいないでしょうか。 身近なところでは大型TV。ブラウン管時代よりずっと電力消費が大きいです。スマートフォンはこれまでの携帯電話の何倍も電力を必要とします。それらの便利さと電力消費のデメリットは、天秤にかけられないものなのでしょうか？ 前にすすまなければ、拡大しなければお終いという考えの経済の営みを続けるしかないのであれば、使い捨て社会のありかたをもっと真剣に考え、製造業への厳しい姿勢も必要だと考えます。 それから、発電エネルギーとして太陽熱、風、天然ガス等自然エネルギーを活用するのは必要だと思いますが、やみくもに大規模な発電装置を設置し、そのメンテナンスや環境への影響を二の次にしてしまうのは本末転倒だと思います。 風力発電は一見良さそうですが、大型の風車による重低音健康被害や動物(飛行動物)への影響、破損時の被害回復予算、そういった部分から目をそらした開発は止めていただきたい。個人宅で使用できるような小さいサイズの風車であれば、メンテナンスも簡易で、発電場所と使用箇所の距離によるロスがなく、屋根の上につける太陽光発電同様補助金を設けることで個人での設置も容易になって効率が良いのではないか。 火力発電も現状の設備で出る熱ロスを効果的にエネルギーに変換するしくみを開発することが必須だと思います。 それと海洋利用がまだまだ少ないです。波の力を利用した発電は、曇りではだめな太陽光、無風では作れない風力利用と違い、絶えることなく利用できる波というエネルギーを源にできます。フィルターの問題が大きいですが、海に囲まれた日本ならではの広大なエネルギー源ですから、考慮の余地は大いにあるはずです。 被爆国として原子力による人知を超えた被害を二度と受けたくない、世界にも与えたくない。そういう願いは戦後も今も同じはず。 原子力による発電はもう過去の知恵なのです。 新たなエネルギー源とその無駄の無い活用法を採用すべき時が、今だと思います。
30337	個人	会社員・公務員	30代	女性	もっとも広範な国民に支持されると考えられる「ゼロシナリオ」を選択すべきです。	大飯原発の「再稼働」に反対している人はもちろん，「再稼働やむなし」と考えている人も多く，各種調査を見る限り「脱原発」という点では一致していると考えられます。知恵を出しあい、試行錯誤を重ねていく余地は十分にあります。 「ゼロシナリオ」を強く支持します。
30338	個人	会社員・公務員	40代	男性	今後40年程度は原発必要。割合として25－30%を原発依存するシナリオを支持します。	再生可能エネルギーのような安定性にかけるエネルギー源では、国民生活の安定性を保証出来ない。電力価格の上昇を招き、日本の産業競争力が損なわれ、結果的には国民が不利益を被る。

30339	個人	その他	70代	男性	再生エネルギーを25～35%レベルまで伸ばすのは達成困難であり、化石燃料の輸入で補わざるを得ず、エネルギーの安定供給が損なわれます。原子力の割合は少なくとも25以上を目指すべきです。	1．現在の総エネルギー需要を2割カットする省エネを行うとして100兆円規模の施策を提示していますが、財政の厳しい日本経済において、これだけの規模の再生支出が許されるとは到底考えられません。CO2-25%減の形を作るために構築したロジックとしか思えません。 2．再生エネルギーを25～30%まで伸ばすため、ゼロシナリオに至っては1200万戸の住宅に太陽光設置、東京都の面積の2．2倍に610万所のウインドファーム設置という非現実的な目標を掲げています。またこれを達成するための電気料金アップ等の国民負担増、産業の競争力低下、国外移転による空洞化などの悪影響が十分評価されていません。再生エネルギーをこのような規模で拡大することの困難さ、問題点が多くの国民に認識されていないと思います。 3．再生エネルギーの伸びが実現できない場合、化石燃料の輸入増に頼るしかありません。中国を初めとする途上国が成長を続ける今後、国際的な資源獲得はますます困難になり、燃料費増にとどまらず、安定供給が失われる懸念があります。 4．原子力規制の新しい体制のもと、安全性を強化した原子力発電所の運営、増強により、25%以上のの規模の原子力を維持してゆくことを期待します。 5．なお一般の国民が選択肢の内容評価が十分できるよう、8月末とかにこだわらず、時間をかけて進めてゆくことが望ましいと考えます。
30340	個人	無職	50代	女性	「原発ゼロシナリオ」 原子力発電を即刻やめて欲しい	福島の原発事故で出た放射性物質での被害を考えると、即刻やめることが一番です。 放射性廃棄物の処理問題も解決しないまま、10万年もの間放射線を出し続けるような有害な物質を作り続ける原発を続けることは、子供たちに負の遺産を残すことになります。大人として、もうこれ以上、負の遺産を増やしたくありません。 核燃料サイクルは、やめ、使用済み核燃料は直接処分とする 原発をやめても廃棄物処理、廃炉などの作業があるので、雇用はあるはずです。 再生可能エネルギーへの転換でも、雇用は生まれるはずです。 火力発電ももっと効率のよいものにする。 コジェネレーションシステムの取り組みを進める。 発電の地産地消も大事なこと、小さな発電も近くで使えば送電ロスも少ない。 更なる、省エネルギーの取り組みも進める。 原発ゼロでも、必要な電力を充分生み出せ、経済活動にも支障が出ない日本をつくることは可能だと思います。日本国民の能力を信じています。
30341	個人	無職	70代	男性	政府は、原発の再稼働を前提に議論を進めているのではないか。何故、選択肢の中に「直ちに原発を廃止する」を含めないのか。原発を止めても、無駄を省き、生活を簡素化すれば、十分やっていけるではないか。	1．エネルギー政策の意見聴取会では、「2030年までに原発をゼロにする」を選択した人が70%を占めたが、その多くは「直ちに原発をゼロにすべき」と考えているのではないか。全国各地で反原発のデモが行われているが、その参加者の多くも「直ちに原発をゼロにすべき」と考えているにちがいない。 　それなのに、何故、国は選択肢の中に「直ちに原発を廃止する」を含めないのか。「直ちに原発を廃止する」と「当面は稼働を認めるが2030年までには廃止する」（政府の0%案）とでは大きな違いがある。 2．国が示した選択肢をみると、政府は原発の再稼働を前提に議論を進めているとしか思えない。現に、原子力規制委員会にしても、これはあくまで原発再稼働を前提にした組織ではないか。もし、「直ちに原発をゼロにする」のであれば、必要な組織は規制委員会ではなく、「原発事業整理事業団」のような組織でなければならないはずだ。 　今からでも遅くない。「直ちに原発をゼロのする」という選択肢についても、国民の意見を聞くべきである。直ちに原発を止めても、生活様式を改め、簡素化すれば、十分にやっていけるのだから。 3．原発を直ちに廃止すべき理由は、大きく分けて二つある。 　その一つは、原発が安全の保障されない危険なシステムだからである。 　過去の事故データを丁寧に改良に改良を重ねてきた最新の航空機でも、事故は起きる。同様に、いくら改良を重ねたところで、原発の事故をゼロにはできない。 その上、原発事故ではその影響が測り知れない。しかも、日本は世界有数の地震大国なのだ。 　二つ目の理由は、原発が「人の道」に反するシステムだからである。 　それは次の3点から明らかだ。（1）電力の主たる受益者は都会人であるのに、礼束と引き換えに危険な原発を地方に押しつけている。（2）稼働を続ければ続けるほど、多量の放射性廃棄物を後の世代に残すことになる。（3）放射線被曝の危険が高い現場作業を、電力会社やメーカーの社員はやらず、下請けにやらせている。 　福島第一原発の事故の後、ドイツは素早く脱原発を宣言したが、その結論を導いたのは政治家でもなく財界人でもなく、倫理委員会であった。これを見ても明らかなように、「原発に依存するか、しないか」を判断するのは、倫理の問題なのだ。ところが、日本では原発の是非が「人の道（倫理）」の視点から論じられていない。ここに、日本における原発論争の精神的貧しさがある。 4．政官財の指導者は「原発なしでは経済も国民の生活も成り立たない」とか「原発なしでは、温暖化を防止できない」というが、この主張には、原発事故で国民に多大な迷惑をかけたことへの反省のあとが見られない。 　彼らは相も変わらず、経済成長至上主義にしがみついている。今までの無駄と浪費にまみれた社会システムをそのまま維持し拡大しようとしている。 　しかし、福島第一原発の事故が与えた教訓は、「我々は経済の仕組みと生活様式を根本から改めなければならない」ということだったのではないか。 　浪費に満ちた経済と社会の仕組みを改め、簡素な生活様式を確立するならば、自然エネルギーの開発を待たなくても原発は直ちに廃止出来るし、温暖化も緩和できるのだ。温暖化も原発がなかったから深刻化したのではない。温暖化の元凶は、浪費と無駄に満ちた経済活動そのものである。そこにメスを入れずに原発に頼ろうというのは筋違いだ。 5．それにしても、日本の指導者達は、この国のあるべき姿をどう考えているのだろうか。その哲学が全く見えてこない。 　本当に、彼らが言うように「原発なしでは経済も国民の生活も成り立たない」のか。抽象論ではなく、個々の事例について具体的に検証すべきだ。 　いま主要都市に大型水族館が設けられているが、名古屋港水族館一つをとっても、その消費電力は、一般家庭5千世帯分の消費電力に匹敵すると言われている。このような都会人の娯楽施設を運用するために、危険な原発を地方に押しつけてよいのか。野球やサッカーのための冷暖房付きドーム球場も同じことだ。 　東京スカイツリーの展望台に人を運び上げるエレベーター一もその電力を消費している。このような娯楽施設を動かすために、危険な原発を地方に押しつけてよいのか。 　多くの都市に見られる「動く歩道」やほとんどのビルに設置されている「自動扉」。このような浪費と贅沢は随所に見られるではないか。 　これらを放置しておいて、「原発なしでは経済も生活も成り立たない」と言われても、全く心に届いてこない。 6．政府は、原発稼働の是非について、結論を急ぐべきではない。これまでの意見聴取会だけでは不十分だ。つぎのようなことも考慮に入れて、さらに国民的議論を深めるべきだ。 　（1）選択肢に「直ちに原発をゼロにする」を含める。 　（2）ドイツのように倫理委員会を設けて公開で討論させる。 　その上で、最終的には、政治判断ではなく（政治判断は政権交代で反古にされる）、国民投票にかけて結論を得るべきである。 　その結果、原発稼働に前向きな地域があれば、そこが都市であっても、そこに放射性廃棄物の処分地を引き受けてもらえばよい。
30342	個人	無職	70代	男性	原発は直ちに廃止	国土を失ってまで電気はいりません　福島の惨状を直視してください　　今年の夏も原発なしで余裕があるじゃありませんか計画停電なんて電力会社の脅しです今あるの原発は早急に廃炉にしてください　70%以上の国民の意思を尊重すべきです　民主党政権に対し激しい怒りと失望を禁じえません　民主党に1票を投じたことを今とても後悔そして恥じています
30343	個人	会社員・公務員	60代	男性	2030年の原発依存度を　0%にして下さい。	(1)いまだに放射性廃棄物の無害化が定まっていないこと。 　この現状で原発を継続することは「次世代」に課題を残し続け結果として、 　地球を滅ぼす道を進んでいることになる。 (2)国策によって進められた第2次大戦。　日本の場合、天皇を始め、政府・政治家は国民の 　重大な結果に対して国民に対して「詫びる」「悪かった」ことを認めていない。 　例：第2次大戦「昭和20年8月15日服の日」を終戦と称し「敗戦」と表現していない。 　この現は戦争を指揮した指導者の責任追及を避けようとする、また国民全体の責任でもある、 　という隠された魂胆形が見える。そして、67年後の現在でも公共放送すら「終戦」と表現して 　放送している。大多数の国民はこの表現に聞き慣れされ、戦争指導関係者や責任追及されたくない　人々はほそ笑んでいるように想像する。他の国ではすぐに「敗戦」と国民に表現したドイツ国が 　あったと聞く。 (3)日本は戦争と同じように国策として進んできた原子力、原子力発電所は大事故になった。 　今回の原発事故において政府は「一般国民」「次世代」の為の政治決断を毅然と実施してほしい、 　とせつに願う。
30344	個人	その他	50代	女性	日本は脱原発への道を進むべきだ。	様々な意見があるのはわかっているが、日本は脱原発への道を歩むべきだ。 なぜなら、人間の生命以外に大事なものがあろうはずがないからだ。この地震大国に原発を立地できる場所ではない。命の危険が伴うエネルギーは要らない。 また、すべての処理に気の遠くなるような時間を要するようなことを未来に残すべきではない。 そのためには、一刻も早く、代替エネルギーとなるものを促進するべく政治が動かなければならない。 また、国民も、経済ばかりを優先し、いまある物質的に豊かな状態を温存させようと思うのではなく、未来を思い、それなりの覚悟が必要だ。 私も昨年、微力ながらも未来のために自分のできることは何かと、太陽光パネルを屋根いっぱいに設置した。 痛みを伴うこと覚悟で命を第一に考え前に進むべきだ。 (削除)
30345	個人	自営業	50代	男性	原発は必要！	早急な原発廃止論が多数という報道がなさるているが左翼による扇動である。政治家は多くの国民の声なき声をかんじとるべし。原発廃止に賛成の方が多いのは質問の仕方に問題あり。現時点で全てクリーンエネルギー にした場合のコストの比較材料を示すべき。原発廃止して全てをクリーンエネルギーで賄うと電気代はこれだけ高くなります、と示してあげれば答えも変わるはず。 そもそも福島原発事故は地震で起きたのではなく津波によるもの。冷却のための水が必要で海岸線に作られているから今後はダム湖の上に作ったらどうか 日本の原発技術は世界一。輸出で外貨を稼げるし国防の上でも中国の脅威に対し核兵器を作れる態勢を崩してはならない。 今回の原発事故でなくなった方は一人もいないが全国の原発を停止し節電を呼び掛けたために熱中症でなくなった方は多数!! 原発廃止すれば犬企業は安い電気代を求めて益々海外に工場を移す。失業者は増え失業手当と生活保護手当が増大し財政破綻へと向かう。将来性の無い日本から金持ちは海外移住。 政治家は大衆に迎合するのではなく国民のために必要なことを信念をもってやり抜くべし。
30346	個人	無職	70代	女性	できるだけ早く、電力を原発に頼らない国にしてください。原子爆弾の唯一の経験国として、優秀な科学の力と国民全員の節約の意気で実現しましょう。	この地球を原発で汚してはなりません。
30347	個人	無職	80代以上	男性	2030年における原子力発電の比率　20～25%を支持します。	再生可能エネルギーの開発には膨大な費用が必要であり、安定性の高い原子力エネルギーの比率を高めることが最も実態に即していると思う。 　風力　太陽光いずれにしても供給面で不安定であり、これを補う安定エネルギーが必要である。 　もちろん原子力発電の安全性を高める努力は継続的に必要であり、特に過酷事故対策の強化は必須である。
30348	個人	無職	60代	男性	U字管海揚水発電による原発からの置換 無料・無限で制御しやすい海水利用。揚水発電に効率的な傾斜と高度の崖がある無人島か僻地で、海に面した急峻な地形を利用。貯水池は持たず，揚水管と落水管をU字結合。	揚水始動時は、外部電力を使用するが発電開始後は自家電力利用。 発電量は10万kw／1個所×全国500個所。 建設費10億円／1個所として5，000億円。 5年位で建設可能では？
30349	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオでエネルギー政策を進めていくべきだと考えます。	関東以北に関わらず、日本全体が放射線量を気にしながら暮らす生活は、異常な状態であると考えます。原発の低コストは命と引き換えにできません。 また、再度原発事故が起きても、いくら「責任をとる」と言葉にしても、実際には誰も責任はとれません。国土や自然や故郷が失われ、犠牲者が増えるだけです。 発電コストは東京電力だけの問題ではありません。よって、低コストだから原発使用を選ぶことは、現時点で既に国民を袖にする行為だと東京電力と政府には考えて頂きたいです。 国民全体がエネルギー政策の転換に付随して、これまでよりも高コストを負うことになったとしても、これ以上国土と自然と故郷を失うリスクを負うことに比べれば、その負担ははるかに小さいと考えます。 また原発推進国との安全保障で日本のエネルギー政策を考えるべきではないと考えます。 世界唯一の被爆国である日本にとっては、ゼロシナリオにすることのほうが、より世界に対する大きな責任があると思います。
30350	個人	無職	70代	男性	原発ゼロシナリオを望む。	1．原発の再稼働は絶対にしないで下さい。我々日本人はすでに核分裂反応を大気中で起こって しまった過酷な経験を3回もしています。特に、2011.3.11の核分裂反応の環境汚染は日本人によるものです。事故です。50年間続いたこの原子力エネルギーの利用を、即刻止めるべきと考えます。 2.メインの原子炉から細部の緊急時の廃棄バルブ等から構成された設備は必ず事故を起こします。 原発の安全神話に我々日本人は騙され続けてきたことになります。勿論、私一個人も責任を痛感 しています。二つ目の太陽に4回目の放射線に曝されることを、今直ちに稼働原発をも視野に入れ 中止して、安全確保を遵守してほしいものです。我々日本人に安心や安堵感を与えて欲しいです。 3.もっと、省エネルギーの取組みを進めて下さい。 4.自然再生ネルギーの一層の普及を迅速に推進して下さい。 5.既に、破綻している核燃料サイクルの温存がシナリオの「2」と「3」になりますので、再処理の 廃止を決めて下さい。孫の代、曾孫の代の人達、にも安心や安堵感を与える責任があります。、 以上
30351	個人	家事専業	40代	女性	原発は必要です。震災以前に戻して欲しい。	今年の関西は大飯原発が再稼働しなければ大変な事になっていました。やはり安定した電力需給は必要です。原発に代わるエネルギーも特にないです。原発に反対する人達は、反対ばかりで今後のエネルギー政策について何も考えていないと思います。原発に代わる安全で安価で安定した電力需給のできるエネルギーがあるのなら教えて欲しいです。
30352	個人	無職	70代	男性	原発比率を2030年までに0%、あるいは15%程度まで下げるシナリオに反対し、20～25%程度まで下げるシナリオ、または必要性に応じて現状維持あるいは拡大するシナリオを採用すべきである。	福島原発事故のために多くの国民が過酷な負担を強いられているから、エネルギーの原発依存度を低減するとの理念決定しているが、国民に過酷な負担を強いているのは政府の失政によるところが大きいと考える。危なくないのに必要以上に厳しい食品安全基準を制定したために風評被害が発生し、東北地方の農業、漁業従事者を困窮させている。危なくないのに避難させ、それが長期にわたっているため、自殺者や健康障害者数が急増し、多くが職・自宅・故郷を失っている。これらの補償のために東電に多額の公的資金を投入したが、それでも不足し、東電は電気料金値上げを余儀なされている。これらは全て国民の負担になる。 　また、政府が「脱原子力」政策を公表しているため、世論がその方向に流れ、原発反対運動が激化している。その原因は政府を含め国民の多くが、原発の安全性、経済性と環境に優しいことを正確に理解していないことにある。火力や水力発電では、落盤事故等のため多くの人命が犠牲になった。太陽光や風力では能力的に当面代替エネルギーにはならない。原発はCO2をほとんど排出しないため、環境に優しい。政府や国民の多くは、それらを事実を基に正確に比較した上で、将来のエネルギーの選択をしなければならない。
30353	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオを支持。既存の原発は安全性が担保がなく、核廃棄物の処理方法が確立されておらず、環境負荷が大きいばかりか、経済的な負担も大きすぎる。大飯原発は即時停止すべし。他の原発再稼働も不可。	0．意見表明に先立ち、触れておかねばならないことがある。このパブリックコメントの実施前に、事故原因も解明されず、安全性の確認も中途半端なまま、野田佳彦の責任で原発の再稼働をしたことは、犯罪といえる行為である。 1．原発・化石燃料に代わる自然エネルギーの開発にこそ巨費を投ずべし。 2．既存の原子力関連施設は、解体する。そのための技術も未確立であり、核廃棄物処理に関する技術開発と安全確保のためにも巨費を投じる必要がある。 3．現在原発立地自治体は、所謂原発マネーによる「薬物中毒」状態である。これらの地域には、「原発解体ビジネス」を起こし、当面の雇用と経済を支えると同時に地域再生のための支援を行う。 4．日本の経済発展を後追いしてきた中国を始め、途上国では、かつての日本と同様の公害などの問題が発生している。当面安価なエネルギーとして導入した原発がそれらの地域でも大きな事故を引き起こし、中国で問題となっている水銀中毒などとは異なる世界的な核の汚染を引き起こす事になる。（日本もその罪を先頭を切って背負ってしまった）これらの地域へ安全で安価な自然エネルギーを提供できる技術、既存の原発を安全に解体する技術を広めていくこの経済的な効果は計り知れないメリットがある。 5．日本には、過去幾度となくきびしい自然災害の苦しみと被害を乗り越えて来た歴史がある。今の東北の方々はもちろん日本中の方々がそのような気概と、絆で結ばれている。原発は、そうした絆を破壊するものであり、人類の生存と相容れないものである。
30354	個人	無職	40代	男性	(1)ゼロシナリオ	(1)ゼロシナリオが良いと考えます。 唯一の被爆国である日本は平和利用のためでも核をもつべきではないと考えます。

30355	個人	その他	50代	女性	パブリックコメント 原発について 本音は即刻止めていただきたいのですが・	1番 気持ちの上では、直ちに止めて欲しいのですが、あえて選択するなら1番です。原発は、自然の宝庫になぜか建設されています。海や魚や自然をこれ以上汚さないでと思います。電気が少々なくても生きていけますが、食料がなければたちまち生きていけなくなります。今私たち国民が求めているのは、いびつな経済発展よりも何よりも安全な食料と自然の確保だと思います。原発問題以外でも、食を減ぼし国を弱体化させていく政策に、不信感と違和感を覚えています。お金では買えない自然の恵みのありがたさをもう一度よく考えて頂きたいと思います。土にお金を蒔いても何も育たないけれど、種を蒔いたら作物が収穫できます。自然に勝る価値はないと、子どものような発言だとお笑いでしょうけれど、基本があってこその経済です。目指す目的がどうも間違っているように思え残念です。とにかく今は原点に戻って欲しいと祈るような気持ちです。最後に良心と勇気のある本物の政治家が出ることを期待しています。そして自然エネルギーの促進を期待しております。
30356	個人	その他	60代	男性	原子力発電量の0%早期実現 数万年も放射能処理がかかる原子力発電は停止。 原子力の安全平和利用から研究は是認。	チェルノブイリ、スリーマイルド等の事故の教訓が日本では生かされててない。地震断層の上にある多数の原子力発電所の立地は福島の事故で明らか、今すぐ停止の方向へ行かなければ、日本はなくなってします。 日本の国土が地溝運動で埋没するのなら、しかたがないが、日本人の無能で住めなくなるなら、将来に禍根を残す。いや、将来そのものがなくなる。 ドイツでは原子力推進の政府が、福島の事故で、原子力発電を即見直したのは当然のこと。 当面の利益で原発を稼働することは、事故が起こらなくても、将来の廃棄処理に数兆円もかかる現実から、そのリスクを大きくせず、より安全なエネルギーの開発に邁進すべき。 節電により、電気の使用量が減ることは、日本人は贅沢をしすぎです。テレビも24時間放映不要。余った時間で昔のような近所の井戸端会議が復活する。 学校、家庭、事業所もオール時間冷暖房は不要。24時間営業や「24時間社会」の思想を見直すべきです。我慢するのではなく、一昔前の人間にとってこころの籠もった社会が実現する。 私は、また私たちはそのように運動を行います。
30357	個人	無職	60代	女性	「ゼロシナリオ」 福島原発の事故により、原発がいかに危険なものか明らかになりました。 見えない放射能は、県民の日常生活の楽しみや希望を奪い、苦しめています。安全な生活の為には、0%しかありません。	見えない放射能は、私たち県民の生活環境を奪っています。 子ども達は屋外で活動することが出来ないため、学校の校庭から、子どもの元気な声や、姿が消えました。暑いのにプールで泳ぐことも出来ないでいます。 野山の除染は不可能です。農作業など、自然との関わりで生活する人々に多くの苦しみを与えています。山菜採り、キノコ狩り、さらに家庭菜園での楽しみを奪い、常に放射線量を恐れる生活を余儀なくされています。 さらに、この放射線量が、子どもや若い人達の健康にどのように影響するのか、恐れ心配する生活を送っています。 人々の安全な生活のためには、「ゼロシナリオ」しかありません。
30358	個人	家事専業	40代	女性	原発ゼロシナリオを望みます。 原発を再稼動することのないよう求めます。	原子力は一旦事故が起こったらとりかえしのつかない被害を及ぼし、制御が不可能です。また、事故がない場合でも、稼動に伴い、必ず被爆をうける作業員が必要としますし、稼動の結果大量に発生する廃棄物の処理についても、危険があまりにも大きく、目処はたちません。既に原発稼動政策は破綻しています。すぐにこの誤った政策を廃棄し、原発を再稼動することがないように、求めます。 今夏の猛暑時にも原発を稼動することなく、電気は十分足りていました。十分な根拠も示さず電機が足りないといって国民を脅すことは即刻やめてほしいと思います。 原発によらない電気を使いたいと考え、節電に取り組むようになり、福島原発事故前の60%ほどの電気で生活することができています。原子力発電がなくとも、生活を維持することは可能です。企業活動においても、節電に取り組み、自家発電など地域ごとの発電網を整備する社会を望みます。 今尚原子力発電を続けようとする東京電力からの電気を購入することを一刻も早くやめたいと考えています。独占をすぐにやめさせてください。
30359	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発反対。	原発事故のせいで夢見る未来を奪われた。 子供を産んで暗い未来に申し訳ない気持ちでいっぱい。 こんな恐ろしい事故が起こっているというのにまだ続けてるなんて信じられない。 限りある命の人間の考えることは思えない。 私達の子供の夢を返して！ 原発即停止。
30360	個人	無職	80代以上	女性	すべての原発をやめてください	人間が始末できないことはやめるべきです
30361	個人	会社員・公務員	40代	男性	即時、原発を廃止せよ。	即時、原発を全廃せよ。 放射性廃棄物の最終処理ができないのに、これ以上放射性廃棄物を増やして、後代に負担を増やすことは止めなくてならない。今、現世代が解決できない負の遺産をこれ以上作るな。 原発事故がまた起きたら破局です。放射能汚染の元凶、「汚い国、日本」を作る可能性を作るな。福島以上の事故が起きないと断言することはできない。
30362	個人	無職	70代	男性	原発ゼロ意見支持	命の尊重が第一。危険性のあるものは排除。フクシマ事故で十分にその点については理解できたはず。
30363	個人	その他	50代	男性	新規原発の建設禁止および既存原発廃炉へ。代替エネルギー開発支援。原油・LNG等の公正な価格での海外調達と、権益確保を。	「原発が安価でクリーンなエネルギー」という「嘘」は、信じたい人にしか通用しないものだと明らかになってしまいました。 「嘘」に基づいた理由で、次世代の人たちへ永遠とも言える程の負担と責任を強いる事はできません。 未来へ残すべきは「宝物」であり、「ゴミ」ではありません。
30364	個人	自営業	40代	男性	福島の原発事故は途方に暮れる程の事態です。日本が真っ先に脱原発宣言しなく てはいけなかった。原子力発電を止めて下さい。	これ以上の重大な環境汚染や人体汚染を止めてほしいからです。今までの国のエネルギー制作は、この地震の多い日本には向いていない、そして典型的なエネルギー制作の大失敗だ。それからもっとも高くつく電気だ。ウランを採掘する時からラドンガスを出し続け被曝し、原子力発電施設での被曝労働者の事も人道的な扱いではないです。そして使用済み核燃料に対する後始末はまだ各国で答えが出ていない。核が安定していたから今までは物の形が健全だった。これだけの理由で十分ではないですか？子ども達に対する愛がない制作は支持出来ない。
30365	個人	無職	60代	男性	ゼロシナリオを支持します	原発はすべて廃炉にする。使用済み燃料などの安全処理技術をたかめる。 自然エネルギー開発にしっかりシフトする。 福島の教訓をどう生かすのか世界が日本を見ていることを忘れないで欲しい。
30366	個人	無職	70代	男性	(1)原発は即時停止、廃炉研究で世界の先端技術開発を先導すべき (2)再生可能エネルギーの促進推進（補助金投入） (3)使用済み核燃料の安全な廃棄技術の難問の解決、研究開発	(1)孫たちに安心して暮らせる環境を残すためには、いま原発を止めても40年以上の時間がかかるのです。経済優先の政策では安全神話にだまされ続けてきた私たちの責任は果たせません。昔のように節電生活を今から徹底して教えて不便でも国民が安心して暮らせる社会に戻したいのです。廃炉技術を世界に先駆けて開発し世界に貢献していく日本にしてください。 電力会社のCM「オール電化」は、昔の「タバコは健康のバロメーター」よりも遥かに罪深く悪質なCMです。 (2)原発の「発電コストは安い」という嘘もはっきりしました。廃炉や事故対応、使用済み核燃料の費用がコストに反映できない事情が判りました。前例がないためとはいえ、乱暴なコスト意識は電力会社、官僚、政治家の利権が優先され国民の命を犠牲にしてきたことも見え透いてきました。 再生可能エネルギーの実用化に一刻も早く舵を切ることです。発電と送電を切り離し発電企業を各地域に分散して発電コストを低減させることができれるはずです。電力会社は抵抗するでしょうが、その為にも政権のリーダーシップが求められますが。 (3)使用済み核燃料の安全廃棄は難問です。廃棄物を安全に処理する技術開発にも全原発が止まれば再利用の必要もなくなります。それでも長い時間が必要な難問です。孫たちの孫の時代に悪しい思いをさせないために一刻も早く脱原発社会の実現を祈っています。
30367	個人	自営業	40代	女性	3つ選択肢のうちでは「原発ゼロシナリオ」を支持します。更にCO2排出量対策も視野に入れた第4のシナリオ提案があればもっと良いと思います。	原発に関しては、安全性、廃棄物処理の問題、廃棄物処理費用を考えれば「ゼロシナリオ」以外にはありえません。しかし現状の「ゼロシナリオ」では化石燃料への依存度が高く、温室効果ガスの排出量対策も十分ではありません。抜本的な改革による再生可能エネルギーへの転換を強く希望し、そのためにこそ国税を投入すべきと考えます。また節電の余地はまだ十分にあり、国民には協力する覚悟もできています。 地震大国で原発を運用するリスクは、もはや日本国内だけに留まらず、それでもなお原発を推進せざるを得ないと考える現在の内閣は、日本経済の成長にのみ比重を置きすぎているのではないかと感じます。経済成長は国民の生活向上と国益のためには欠かせないことです。しかし、それもまずは国土と国民の安全が確保された上でのこと。戦後の経済成長期に多感な時期を過ごした現在の政治家の方々には、当時の価値観を脱する覚悟がないように見受けられます。政策決定者の周囲にも、同じような価値観の人々しかいないのではないでしょうか。そうした人々の意見のみを民意と信ずるのであれば、結果として独裁国家の国営となんら変わりはありません。 再生可能エネルギーへの転換を目指すのであれば、そのために税金が使われることも理解しますし、また更なる節電に協力する覚悟も十分にあります。企業に対する節電目標の引き上げも急務です。それによって企業の国際競争力がさらに落ちるのであれば、そのようにダウンサイジングした国家を目指していくしか道はないと考えます。今が大きな転換期です。
30368	個人	会社員・公務員	40代	男性	「ゼロシナリオ」を求めます。また全原発の即時廃炉を求めます。	そもそも、この設定自体が嘘飯物です。 2013年にどうするのか？それが一番の問題ではないでしょうか？ 現在稼働を判断した直前に出された「電力需給に関する報告」 内容を拝見すれば、まさに「電力は足りる」と書かれています。 それを特殊なケースを示して「電力が足りない」と結論付け、 その後、「国民の生活がたちゆかない」と巧妙に「電力不足」という 言葉を使わずに再稼動を決定したのはまさに詭弁としか言いようがありません。 多分、「国民の生活がたちゆかない」理由を問えば、 電力料金の高騰のことを言っているのかと思いますが、 いくら掛かるとも知れない廃棄物処理費用を参入するだけで 簡単に電力料金は高騰します。 それを算入しないのは一種の粉飾決算です。 しかしながら一方で政府は、消費税の値上げを進めています。 消費税の5%値上げと電力料金の20%値上げ、 どちらが社会的に影響が大きいいのでしょうか？ 消費税は国内で使われ、燃料費は海外に払われるのだ、という 意見もありますが、消費税も間接的に現在の巨額の国債の償還に 使われるだけですので、大差はありません。 一番、差がつくのはその負担者です。 電力料金は大口ユーザーが優遇されているとは言え、 すべての企業、国民に課せられます。 しかしながら消費税は、その名の通り、消費するものにかせられます。 つまり、消費者（＝国民）にかせられる税なのです。 それらを考えあわせれば、今回のシナリオは全て企業収益確保のための 施策であると言っても過言ではありません。 そのために、巨大事故を起こして、北方領土に匹敵する国土を汚染した そのシステムを稼働させ続けるなど、「売国奴」と言われても 仕方ない所行です。 「売国奴」という言葉を使うのは大変心苦しいことですが、 この場で使わなければ、他に使いようがありません。 もしも国の施策として2013年以降、いや、明日以降も原発の稼働を許すならば、 それは日本国のモラルの崩壊を推し進めること以外の何者でもありません。 いじめだろうが、振り込め詐欺だろうか、原発の稼働に比べれば可愛いものです。 もちろん、モラルの崩壊した国は沢山ありますし。 そのような国では原発の稼働も国土の汚染もお咎め無しでしょう。 そして経済の急速な発展を実現しているのかも知れません。 しかし私は日本がその様な国になることを良しとはできません。 全原発の即座停止と廃炉、核物質のより安全な場所への保管をお願いいたします。
30369	個人	自営業	40代	男性	原発ゼロシナリオを望みます。	原子力の利用は事故時の危険性や放射性廃棄物の管理の問題により人類の生存そのものをおびやかす可能性があり、この度の大事故で、技術が革新されてきた今日でもその危険性はますます増大していることが明らかにされました。 安価で安全で環境にやさしいというのはすべて正反対であったことが、大事故を起こしてようやく思い知らされることになりました。 エネルギー問題は人間の活動のためにもちろん重要ではあるが、本質的に併せ持つ巨大かつ子々孫々にいたる危険性を考えると、現レベルの原子力はその選択肢として最初から想定されるべきではないと考えます。経済性以前の問題であるし、原子力が低コストであるともう信じられない。 放射性廃棄物を何万年も貯蔵管理するという何人も検証することの出来ない行為にいたっては科学的な発想であるとは到底思えない。現代人の次世代に対する責任放棄と考えられる。 ただちに営業をやめ安全に廃炉の工程を準備するべきと考えます。
30370	個人	会社員・公務員	40代	男性	安全性の確立できない原発はエネルギー政策として使えるものではありません。 再稼動は絶対にすべきではありませんし、将来的に原発は0%にすべきです。	原子力は、当初夢のエネルギー源とされていましたが、その実、制御が難しく、解決できない問題が多すぎます。最も大きな問題は安全性が確立できないこと。今回の福島原発の事故で、事故に対しての脆さが露呈しました。そもそも未熟な技術しかない原子力が制御できないのは当たり前です。環境にやさしく、地球温暖化の予防になると謳っていますが、放射性廃棄物を含む放射能とCO2とどちらが環境に対する負荷が大きいかは明白です。特に日本は火山国であり、国中に絶対安全な土地など存在しません。そのような中で、エネルギー政策に原発を据えるのはあまりにも無責任だと思います。国民の安全を無視して誰のためのエネルギー政策なのですか？ 原発は即刻無くすべきです。

30371	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	0シナリオしかあり得ません。東電福島第一原発事故を反省し、地球環境と未来世代への責任から、脱原発・再生可能エネルギー社会を実現すべきです。0%実現時期を明確にすべきで、今の国民的議論では不十分です。	1．原子力発電は行うべきではなく、また不要です。速やかに停止すべきです。 ・東京電力福島第一原子力発電所事故により放出された放射性物質は、大気や水、野山を汚染し、農林水産業に大きなダメージを与え、生産者を苦しめるのみならず、食の安心・安全を願う消費者に食品汚染による内部被曝の不安を与える結果になりました。 先日、出された国会の事故調査委員会の報告を見れば、原発がいかに危険であり、また、その安全性の確立が全くなされていないことが明白となっています。 特に、日本のように自然災害の多い国においては、原発の存在自体が危険と言わざるを得ません。 ・原子力発電についてはリスク軽視や情報操作・隠蔽による「安全神話」により支えられた技術ですが、放射性廃棄物の処理についても確立されておらず、事故による負担のリスクや廃棄物処理などを未来世代へ押し付ける、このような技術を受け入れることはできません。 ・現在、再稼動した大飯原発についても、必要性と安全性の検証がまったく不十分であることから、速やかに停止すべきです。 2．再生可能エネルギーを普及し、原発電力に依存しない社会への転換へ一刻も早く取り組むべきです。 ・これまでのように、エネルギーを利用するだけの社会から、自らが自発的にエネルギーに関わる社会へ、ライフスタイルを変えていくことが必要です。それによりさらなる省エネ推進も期待できます。 ・再生可能エネルギーは、地域分散型・自立型の特徴があり、地域産業・経済の創出も期待できます。また、エネルギー源確保という安全保障面からも日本に適していると考えます。 ・消費者も選択できるよう、電力自由化などの制度改革を行うべきです。 ・原子力発電の維持は、再生可能エネルギーの技術開発・導入促進において、阻害要因になりかねません。政策資源を総動員し、グリーン成長戦略を行い、原子力発電からは速やかに撤退すべきです。 3.節電と省エネ、効率化と最適化によってエネルギー消費をいっそう減らすための、仕組みづくりや制度体系を構築すべきです。 ・エネルギー基本計画の需要見通しを見直し、政策的なエネルギー消費の削減にむけた計画を構築すべきです。 ・節電、省エネをより促進しやすい料金体系やスマートメーターやホームエネルギーマネジメントシステムなどエネルギー消費の「見える化」を進めるべきです。 ・再生可能エネルギーの普及や節電、省エネなどによるエネルギー消費の削減が促進できるよう、国民にわかりやすく、丁寧な情報発信をすべきです。 ・国民の省エネの可能性拡大への挑戦を大切にすべきです。東京電力の原子力発電所事故を受け2011年度予想以上の実績を示しました。2012年度は、更に一人ひとりが暮らしのあり方を考え、可能性を広げ、挑戦できる大切な年でした。それを、大飯原発再稼動の決断が台無しにしてしまいました。 4.国民的議論や進め方が不十分です。 ・2010年の実績値を元にすることで、「15シナリオ」も原発依存低減できるように見せていますが、浜岡や福島第二原発の再稼動や80%と異常に高い稼働率、稼動期間の延長が前提となり、建替えや新設もありえるとしています。今日現在の原発稼働状況から見れば、「15シナリオ」も依存を低減しているとは言えませんん。まして、原発の建替えや新設を前提としている「20-25」シナリオは論外です。 ・「15シナリオ」「20～25シナリオ」は、本文P15の表3「クリーンエネルギーの政策イメージ」では同一で、また核燃料サイクル政策でも双方「再処理がありえる」となっているように、実態は同じ「原子力発電維持シナリオ」で、そこから2つ選択肢が出て選べるようになっています。他方「0シナリオ」については、脱原発の時期やエネルギーシフト手法について、多様な選択肢があるべきですが、1つしかありません。また「経済的負担が重くなってでも」「厳しい規制」などの家庭・企業への負担を煽る表現が見られ、極端な選択肢として提示されている意図を感じます。 ・未来世代への責任を認識し、福島第一原発事故の教訓を踏まえて、将来像を選択する必要がありますが、2030年時点までとすることで、判断先送りによる現状容認の余地を残しています。また、原発リスクについては記載がない一方で、短期的な経済負担や規制強化は強調され、判断が誘導されかねない偏った記載となっています。 ・日本のエネルギーのあり方を決める重要な決定にも関わらず、今回の国民的議論の進め方は非常に不十分です。意見募集は非常に短期間であり、8月には結論を出すというスケジュールです。周知も課題があり、これでは国民全体が意見交換し、議論を行うことはできません。 ・意見聴取会や討論型世論調査を行っても、それが十分に国民の声を聞く場となっているか不明です。そもそも、3つのシナリオについての発言や意見交換機会は、選択肢を反映しなければ、恵平等でしかない、不公平な進め方です。
30372	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを支持します。	福島第一原発の事故により、原発の危険性をあらためて実感することになりました。一国民としてこれまでに積極的に原発推進に反対してこなかったことに責任を感じます。原発事故により大切な人、故郷、働く場所を失うことがないよう、原発ゼロを前提に、国のエネルギー政策を見直すべきです。
30373	個人	自営業	70代	男性	自然エネルギーに恵まれ、天災の多い日本で、制御できない 危険な放射能を生産する原発は早期に廃止すべきです。 ドイツ、イタリア、スイスの脱原発宣言は、生命、学問、文明 を守る決意です。	洞爺湖サミットでイギリスの元首相ブレア氏が福田首相に手交した 環境報告書の翻訳者です。 宇宙地球と地球の生命は、微妙なバランスの上に成り立っており、 特に産業革命以来は環境汚染が進み、原発の放射能汚染は子孫に 及ぶ放射能汚染を生み出します。 45年前から医療関係の翻訳もやっていますが、生命の仕組みは 宇宙地球と同様にまだ解明されていない面が沢山あります。 放射能が遺伝子を損傷し、癌などの健康被害を生じることは 医学界では常識であると思います。 宇宙地球の神秘と地球の生命の奇跡を冒涜する原発事故は 繰り返すべきではなく、 日本には有り余る自然エネルギーがあり、それを利用する技術も あるのですから、危険な、誰も責任を取れない原発は早期に廃止 することが文明国家の責務だろうと思います。 野田政権、古川戦略大臣の英知を、国内外に示してください。 すでに、放射能を含む環境汚染は、最近の天候不順にも現れて います。 環境と生命の神秘的なバランスを守ることが、国民と世界の生命 に影響力を持つ政治家の最大の使命です。 勇気ある決断を求めます。 日本の形式的年功人事制度により、転職が難しく、縦割り行政 の弊害により、原子力関係者の転職に多少の困難があると予想 されますが、こうした遅れた人事制度を改革すべきであり、 原発から自然エネルギー、代替エネルギーへの転換では、 政府の経済的助成策と、日本特有の人事制度を克服するための 転職の支援が必要です。 エネルギー政策でも、日本は世界の目標となれる技術と国民の 高いレベルがあることを忘れないでください。 (削除)拝（神戸在住、74歳）
30374	個人	会社員・公務員	50代	男性	「ゼロシナリオ」を選択します。	人類の存続、日本国の長期にわたる繁栄のためには、「ゼロシナリオ」しかあり得ません。他はすべて亡国の選択です。目先の利益や他国の動静に影響されることなく、唯一の被爆国らしい決断をすべきです。
30375	個人	自営業	60代	女性	1．速やかに脱原発への作業に入ること。2．発電・送電分離の法整備を急ぐ。3．東電は倒産させる。4．原子力安全委員会の班目委員長は職務不遂行により解任する。5．野田総理は、再稼動の責任をとって辞任する。	意見1．の理由 　A．原子力発電所が、今後すべての自然災害にも損傷を受けないという保証は全くないこと。また、人的ミスも絶対ないとはありえない。現に、3．11の事故後システムの損傷に加え、判断ミスによる誤操作もあった。緊急時の人間の行動は想定マニュアルでは制御できないこともわかった。 B．今から、脱原発作業に入っても40年以上かかると云われているから(実際には、誰にもわからない)、悠長な対応は許されない。 (労働環境の改善をして)原発に関わる雇用も継続し、失業問題は回避できる。 C．放射性廃棄物は、その処分方法もない。再生してプルトニュウムにし、更に原発の原料とすることは、反対。その他の廃棄物の保管方法も絶対安全はない。 D．子孫の安全のためには、原発施設が再稼働するなどは、許されない。 E．現状では、原発労働者（大方が下請）が放射能を浴びつつの命を削る作業によって発電されている。 意見2．の理由 　意見1．と同じ理由により、安全な自然回帰のエネルギーを子孫に残したい。 再生自然エネルギー他原子力に関らない発電の促進を、競争原理が働く民間活用を主体とすることを、国策として行うこと。 今なら団塊の世代の知恵と非正規雇用に泣いている若者等、マンパワーはある。 意見3．の理由 　今日現在でも、3．11後の会議や事故対応の映像は、加工されたものしか開示されてない。この傲慢さは、総括方式という夢のような価格設定で得た金の力で、マフィアのように権力や学者を手玉にとっていることが背景にある。世論も国民も恐れない。新社長は、会社の清算の為に力を注ぎ、新エネルギーによる意見2．の民間会社を設立し、真摯に経済活動をすべき。 意見4．の理由 　原子力安全委員会と保安院は、東電にとりこまれていることが明白になり、国民のための安全を司る機関ではなかった。また、この度の事故対応でも、菅総理・海江田経産大臣への提言も不適切であった。今も被災者はコミュニティを設され、家族分離等避難生活の苦難は続いていることに鑑み、責任をとるべきである。新たな機関としての原子力規制委員会には、従来の両機関に関わりのない人選をすべきである。 意見5．の理由 　福島の事故終息宣言と、大飯原発再稼働は、大きな間違いか確信犯としての悪政策である。 国民の生命と財産と自然を担保に供していることには気付いているはずである。経済活動に支障があるのと、原発事故による放射能被害と、どちらがあってはならないことかの判断が、一国の総理大臣として間違っている。
30376	個人	パート・アルバイト	20代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。 なぜなら、子供達が安心に暮らせる日本を残すため、 原発が残って行く国では出産しようと思えないため、	政府が提示しているゼロシナリオを支持しますが、私の意見としては、即時原発ゼロ、再稼働即時撤回、を求めます。 自然エネルギーの発展に力を注いで下さい。核廃棄物の安全な処理、それにある安全な廃炉に原子力の技術を使ってください。
30377	個人	パート・アルバイト	40代	女性	「原発ゼロシナリオ」を望みます。	人の手で処理しきれないものを使うという事は、とても不安です。 生活のスタイルを変えないといけない時が来ている気がします。
30378	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発はいらない	鮮田市と隣の大洗町の境には原子力研究所、その先に行くと東海村原発。そんな環境で育ちました。平成の大合併で市町村が統合されていく中でも東海村や大洗町は原子力のおかげでお金があるから合併しないと。けど、近くの地元にはリスクしかなかった。それは東海原発で臨界事故が起こった時により強く実感しました。ずさんな体制に辟易ですね。福島なんてちょっと遠い所の事故だけでももう山々の自然の山菜とか苟とか食べられなくなりました。このかさい日本において事故になった際の影響範囲が強い原子力発電を維持していくのはあまりにリスキーだと思います。なので私は反対したいと思います
30379	個人	自営業	40代	男性	原発ゼロシナリオを選びます。	途方もなく深刻な被害を受けた福島の原発事故。チェルノブイリ事故よりもはるかに被害が大きいのにまだ原発に頼り稼働に執着する心が無神経だ。ウラン鉱山を採掘する時点でラドンガスを出し続けが発生する。その後も環境汚染が指摘されている。原子力発電施設での被曝労働者の事も人道的な扱いではないです。そして使用済み核燃料の後始末はまだ各国で答えが出ていない。核が安定していたから今までは物の形が健全だった。これだけの理由で十分ではないですか？子ども達の未来と健康を真剣に考えれば当然の事ではないでしょうか。
30380	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオ、または即時全機廃炉を求める。	今回シビアアクシデントが発生した事実から、従来の安全基準による事故発生のリスクは否定できない。 またもし再度事故が発生すれば、その損害は甚大であり、国土面積の狭い日本に適したエネルギー源とは思えない。
30381	個人	無職	70代	男性	私は選択肢3（20～25%）を支持します。	選択肢1＆2は極めて近視眼的で危険な社会実験に過ぎないことは再生エネルギー先進国のドイツとスペインで証明済みであり、エネルギーの持続と地球温暖化防止にはあらゆるエネルギー源の活用が必然であるため。
30382	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを選択します。 これ以外の選択肢はありません。	国家に対して過度な期待は持たず、身の丈にあった生活をしてきたつもりだったが、このように被害を受けた今、意思を表明する必要があると考えた。 放射性物質の恐ろしさを正確に理解することは誰もが難しい。 原発にどっぷりつかっている日本を脱却するのも困難だ。 けれども難しいからと言って放置したり先延ばししたりすることはもうできない。 命に、子供たちの未来に大きく関わることだからだ。
30383	個人	会社員・公務員	50代	男性	0%にすることを求めたいと思います。危険な原子力発電をやめ、安全で安心なエネルギー政策に転換すべきです。	昨年の東日本大震災をきっかけとする原発事故の経過については、現在の技術では安全に原子力発電をコントロールできないことを如実に物語っています。未来への負の遺産を残すことなく、安全な自然エネルギーを基本とした政策に変えることは日本の技術力で可能なはずです。現在の原子力エネルギー活用の危険性を直視し、未来に自然豊かな環境を届けるためにも現状では原子力発電は全てなくすべきと考えます。
30384	個人	家事専業	60代	女性	原子力発電はなくすべきである。 それに変わる再生可能な自然エネルギーを早急に開発し発展させるべきである。	人間の生命を脅かし、廃棄処理の方法もみつかっていない放射線物質を この地球上に人工的に作ってはいけない。 ましてや地震列島のこの日本では原子力発電はあまりにもリスクが大きく 人間の生命、生活、国土、海、子供たちの未来もつぶしてしまうものになる。
30385	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発は「ゼロ」以外の選択肢はありません。	私たちは福島第1原発の事故で身を持って原発が持つ恐ろしさを知ることとなりました。大震災は私たちの想像をはるかに超える脅威を見せ付けたものであり、原発だけが完全に守られるという保障はどこにもないことを証明したものであります。その経験を持ってしても原発が必要であるとは到底思えません。これは日本だけの問題ではありません。福島は事故後に大量の汚染水を海へと垂れ流し、全世界に放射能をばめてしまいました。日本は責任を持って全原発を廃炉にすべきです。そしてこの経験を世界に普及させるべきです。代替エネルギーや原発にかかわる仕事をされている方の保障問題など、多様な問題があることは重々承知の上での意見です。それでも「命」（これは人間だけではなく地球上のあらゆる生命体のものです）を投げ打ってでも守るべきものではないことは確かです。
30386	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	脱原発が世論の流れであり、今後の原発に対する安全神話は当面見送られる状況下であります。そのために、脱原発政策の推進と新エネルギー利用による活用が求められています。	現状、原発推進推進策が採られており、国民及び世論の反発があり、脱原発推進策を急務とし、早急なエネルギーに対する安心・安全神話を構築していかなくてはなりません。経済政策との関連から燃料等の経費削減策として、リサイクル燃料による廃棄物利用発電の提案をさせて頂きます。これまで、国内の発電は火力発電に頼ってきましたが、原発導入移行、燃料の価格動向や安定供給の問題等から見送られてきましたが、国内及び世界経済と共に並行する環境問題、資源の循環型社会を推進していくべき視点から、石油資源と同等である廃プラスチックや食用油等によるリサイクル重油での安価で安定供給が可能なエネルギー利用の対策が求められています。国内循環型産業の育成と共に、政治動乱の解決と今後の中長期エネルギー政策の方針転換を希望しています。
30387	個人	家事専業	60代	女性	・「原発ゼロシナリオ」・・・唯一の脱原発シナリオ	国民一人ひとりが省エネルギーの方法を知り、実践していくべき。原子力発電はリスクが高すぎる。二度と3.11と同じ様な悲劇を繰り返さないために、絶対原子力発電を反対します。
30388	個人	その他	40代	男性	「ゼロシナリオ」を強く支持します。	・福島での原発事故はなにも終わっていません。それどころか、なにも始まっていないではないですか。それを放置したままの再稼働。野田政権の無責任さには、呆れ果てました。 ・グズグズと原発の稼働を続ければ、その分だけ、多量の放射性廃棄物が出ます。それをどうしますか？　どこへ持って行くのですか？ ・外圧と一部の人間の利権によって国民の命の問題に関わる重要なことを無理矢理推し進める時代は終わりです。ちゃんと目を開けて、観てください。
30389	個人	パート・アルバイト	50代	女性	ただちに、原発依存0に切り替える方向に向かうべき。	私は被爆2世です。日本において、被爆者のことも顧みず、原発を推進してきた歴史を、被爆により亡くなった方たちに顔向けできません。戦後、日本は、武器をもたないことを選択しましたが、原発も事故により、原発は世界最強の武器になることが、わかりました。原発を破壊すれば、その国をほろぼすことができるのです。他国から、破壊されなくとも、自然により、破壊されます。地震国日本において、本末原発を設置すべきでなかったのだと思い知りました。 どこかの国で、自然災害により放射能事故が起きれば、風に乗り、地球どこにいても、汚染されていきます。地球上、すべての国において、原発は撤廃すべきです。 24時間便利な生活を謳歌してきましたが、電気を使う便利な生活は、原発に頼るしかないなら、生活を昭和の時代のような、不便でも使う電気を少なくする生活に戻るべきだと思います。24時間営業のコンビニ、自販機、ネオン、経済優先の社会から、自然、エコ優先の社会に方向転換してください。

30390	個人	無職	60代	男性	20－25%案を支持します。我が国の現実から、エネルギーの安定供給にはエネルギー選択肢の多様化が最も大事で、当面は原子力エネルギー無しでは実現性が無いのではないか。	我が国の現実とは、電気エネルギーを他国から買えない地勢的な理由、資源が無い事（何時までも安定的に輸入できるとは限らない）等。また、地球温暖化対策（化石燃料増大）国民の生活・経済への電気料金の高騰（化石燃料増大分及び自然エネルギー負担分）も考慮すべき。但し原子力発電はこれを期にハード、ソフト共に安全性において世界最高水準になるように全力を挙げなければならない事は勿論である。　　以上
30391	個人	自営業	30代	女性	1）原発ゼロシナリオにすべきです。 福島第1原発事故の原因や根本的な防止対策などーつも解明されていない中で、原発再稼働なんてとんでもない話です。放射能汚染の対策はどうするのですか？	戦争での唯一の被爆国でありながら、原子力発電所の事故も起こしてしまった国です。それだけでも恥ずかしいのに、再稼動なんてとんでもないです。 世界の笑いものです。 今の政権は、命を軽視し、民意を全く無視している最低な政権だと思います。 命を大事にすれば進むべき道は脱原発しかないと思います。 原発に代わるべき電力は太陽光発電、風力は無論のこと、地熱、波力、潮力など目下開発が進んでいる先進技術に、国がそのための法律を決め、もっと潤沢な資金を早急に投入すれば良いのです。周囲を海に囲まれている日本ならでは、の波力、潮力を活用すべきです
30392	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力エネルギーの推進に反対します。	3．11から1年5カ月が経過していますが、未だに福島第一原発の事故原因さえ分からない状況です。政府は何を持って原発が安全だとして再稼働したのか私には理由が分かりません。広島・長崎・ビキニ・福島、国民を四度の被爆者にしたことの責任は大変大きいと思います。また、故郷に帰れない地元の方々や放射能の健康被害の恐怖に晒されている方々を国としてどうしていくのか、方針が全く見えてきません。この中で電力不足の大合唱で国民を脅すようにとにかく原発を再稼働してしまった事に憤りを感じます。原発0の未来を真剣に考えて下さい。技術立国の日本であれば可能ならばすです。
30393	個人	会社員・公務員	30代	男性	今後のエネルギー政策の方向として、原発依存0%ゼロシナリオの脱原発の決定を強く望みます。	3月11日に発生した東日本大震災による、福島原発事故により、未だに故郷に帰れない人々がいます。原発神話とよばれ、原発は絶対安全で、何が起ころうが事故は起きないというものは崩れ去りました。地震が数多く起こる日本において、近い将来、相当大規模な地震も想定されています。そのような情勢の中、私達の安心・安全を確保するために、原発が稼動していて、大丈夫なのでしょうか。再び、同様の事故が起こらないよう、ゼロシナリオを決定し、自然エネルギーの拡大に努力するべきです。
30394	個人	会社員・公務員	40代	男性	中長期的に一定程度の原発を維持し、エネルギー選択の多様性を確保できる「20~25シナリオ」が、日本経済と国民生活の維持・発展には必要	福島第一原子力発電所事故の徹底的な原因究明の結果を基に、安全性確保への不断の取り組みを前提とし、原子力をエネルギー源の一つとして維持することが、日本経済と国民生活の維持・発展には必要と考える。中長期的に一定程度の原発を維持し、エネルギー選択の多様性を確保する姿勢が鮮明である「20~25シナリオ」のみが3つの選択肢としては評価できる。地球温暖化問題、省エネ技術革新、国際情勢、経済影響等の観点から「20~25シナリオ」をベースにその実現性を検証しつつ、将来の不確定要素に対しては柔軟な見直しが可能な、制度設計である事も必要と考る。
30395	個人	会社員・公務員	30代	女性	(1)ゼロシナリオ希望です	原発依存度ゼロシナリオを希望いたします。それしかありません。 原発は一度事故がおきれば、取り返しのつかないほどに広大な土地や海洋に汚染が広がります。永い年月がかかります。 廃炉にもすぐにできない、廃炉方法が明確でないものを続けて使用してはいけないと思います。経済成長のためにどれだけの犠牲を自然と生物がはらうのか。 命を最優先に考えてほしいです。もう、自分たちさえ良ければという考えはやめてほしいです。 ゼロシナリオといっても2030年までになど悠長なことは言ってられません。 即刻原発の使用停止、廃炉方法の検討、再生可能エネルギーの開発に力をそそぐべきと考えます。 本当に国民の意見を聞いて決めてください。 よろしくお願いします。
30396	個人	会社員・公務員	40代	女性	現時点で原発事故は収束しておらず、海洋汚染が遠く北米西海岸まで拡大している。国際問題に発展するリスクは最小限に止めるべきと考える。よって、2030年までに原子力依存度ゼロの選択肢が相応である。	下記の理由で原発の即時撤廃を希望します。 事故のリスク：県境・国境は関係なく被害が広がる。不可逆的で、誰も責任が取れない。 関係者の被曝：ウラン採掘・燃料加工・発電・事故処理等で多くの人が被曝する。また、その危険性を知らされない人もいる。このような非人道的なことは許されるべきではない。 使用済燃料：最終処分ができないため貯蔵の限界がきている、その上何万年も管理が必要 核燃料サイクル：計画延期の度に実施時期が延期されているため実現不可能。もんじゅの予算年200億は他エネルギー開発に 環境への影響：六ヶ所村が稼動すれば、放射性物質が処理されないまま、環境へ大量に放出される 「真の文明は、山を荒らさず、川を荒らさず、村を破らず、人を殺さざるべし」田中正造氏の言葉は今後の日本の重要課題だと思います。 未来に責任を先送りにせず、今できる最良の決断をお願いします。 化石燃料・自然エネルギー等にシフトするためなら、電気料値上がりは容認できます。 日本海側のメタンハイドレートは取り出しやすく、大量にあるとのことなので、原子力以外の方法を最大限開発・利用してほしい。
30397	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発全廃求む	怠慢なのか油断なのか癒着なのかコントロールできていない
30398	個人	家事専業	60代	女性	原発は将来ゼロを目指すべきだと思います。	世界の中で先進国としてのスティタスを保つためにも核の技術を持つべきという考えもありますが、これまでの事故でも証明されているように、原子力のリスクは余りにも大きすぎます。しかも、リスクを100％制御することは、今の科学では不可能でしょう。いざ問題が発生した時の出費も膨大なものです。核廃棄物の問題も深刻です。このままでいくと、地球全体が放射能で汚染されることにもなりかねません。子どもや孫たちの将来が本当に本当に心配です。 今すぐというわけにはいかないでしょうが、将来はゼロを目指して、そのためのシナリオをしっかりと組み立てていくべきだと思います。日本の技術力をもってすれば、再生可能なエネルギーの技術で世界の先端をいくこともできると思います。唯一の被爆国として、日本は核廃絶運動のリーダーになるべきです。
30399	個人	その他	50代	男性	原発は即時停止。 瓦礫広域処理も即時停止。 東電幹部達の私財没収し、被災者及び被害への補填とする。 福島被災者の引越し。	瓦礫利権はすでにネット上でも流れ、また原発なくとも火力等のエネルギーで足りている。なお、瓦礫広域処理はすでにその地域で高濃度汚染が報告されているのは、周知の通りである。二次汚染三次汚染をさせるべきではない。さらに補償どころか、国家が潰れる。狂った首相には側近や官僚からも疑問の声が多数聞こえてくる。 核は封印である。
30400	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオ支持。全原発を再稼働せずに廃炉を求めます。事故により原子力が人の手に負えないと証明されました。ゼロシナリオが生むビジネスチャンスを拡げ、地下資源に頼らないエネルギー社会の創出を。	ゼロシナリオを支持します。全原発を再稼働せずに廃炉することを求めます。 福島第一原発の事故で、私たちが学んだことは、一度想定を超える事態に陥ったときに、原子力は人間の手にはまったく負えない存在であることです。私は学生時代に工学を学んでいましたが、工学的に「絶対安全」を実現することは不可能です。さらに経済的な制約がかかり、安全性は現実的にはどこかで妥協をせざるを得ません。構造体も部品は日々劣化し、いずれは寿命がやってきます。あらゆる事態をあらかじめ想定することも、人工物を細部にわたって完全に把握し、コントロールすることもできません。 「絶対安全な原発」が幻想であることは、「絶対安全な飛行機」が無いのと同じく、工学的立場からも自明なことです。事故が起きる確率をゼロにすることはできません。その事故が起きれば、地球規模で汚染や生態系の破壊、健康被害が発生するのが原発です。それだけでなく、多くの人の生活そのものが奪われます。福島の方たちの声に耳を傾けてください。「あたり前の日常がある日突然奪われ、そして今も未来が全く見えない」とおっしゃいます。 ましてや日本列島は多くのプレート境界に位置する、世界でも希有の変動帯の上に浮かんでいます。現在の科学が想定しうる限界を超える災害が見舞う可能性はゼロではないばかりか、世界的に見ても、そのリスクが高い地域です。また、放射性廃棄物の処理方法が未だ存在しません。もし方法が確立したとしても、今後数万年間に地球に起こることを現時点で予測することは不可能で、いざ事故が起きたら未来世代に大きな負担を強いることになります。 アポロ宇宙船は飛行機を改良して作ったものではありません。月に行くという政治決断があったから、それを目標にあらゆる努力を重ねて人類は月に行きました。原発をゼロにし、地下資源に頼らないエネルギー社会を作り上げることを大きな目標に掲げて、その実現に邁進するプロセスの中に、新しい技術や経済の萌芽があると思います。ゼロシナリオは技術の発展と、大きなビジネスチャンスを創り出します。それを加速し、技術においても経済においても世界に貢献する道が日本には開けていると考えます。 廃炉にも、事故処理にも多くの年月と人工がかかるでしょう。大変な努力がなければ成し遂げることはできません。その仕事に従事する方たちが誇りをもって仕事ができるように。廃炉が新しい未来を作るための仕事になるように。「事故があったからこそ、多くの犠牲があったからこそ、日本は新しい道を歩み始めることができのだ」と、未来の子どもたちに言える国であって欲しいと切に願います。
30401	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発再稼働反対 原発に頼らないエネルギー活用を	フクシマのあと、脱原発に踏み切った国を見ると、核兵器を持っていないところです。ドイツやイタリアがそうです。 なぜ、当の日本がそうしないのか、それは、本当は、日本国家が核兵器をもつ野心があるからだと思います。ロシアやインドは、もちろん核兵器を持っている。核兵器を持っている国、あるいはこれから作りたい国は、原発をやめないと思います。ウランを使う原子炉からは、プルトニウムが作られますから原子力の目的は原子爆弾を作ること以外にはないと思います。平和利用などあり得ないと思います。 　原発は経済合理的に考えても成り立たない。今ある核廃棄物を片付けるだけで、どれだけのお金がかかるのか。経済的に見ても非合理的なことをやらず、天然ガスの開発やその他のエネルギー活用へ有効に使ってほしい。 本当に原発なしでは、生活ができないのかは、試しもしないで判断できないでしょう。昨年、原発なしで乗り切った国民の力を信用してほしい。日本人には団結力と忍耐が備わっています。本当の意味で平和な日本に戻してほしいと思います。 核兵器廃絶を謳いながら一方的に原発を再稼働するのは、どう考えても筋が通っていません。
30402	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力発電所の安全確保や放射性廃棄物を処理することの困難さ、原子力発電所を維持することの反倫理性から、ゼロシナリオを支持する。	(1)3.11は従来より指摘されてきた地震大国日本が原子力発電所を維持することのリスクを顕然化させた。日本社会は原子力発電所の安全性を誇ってきたが、福島第一原子力発電所において、レベルのシビアアクシデントを発生させた。事故当時、「想定外」という言葉が何度も繰り返されたが、「想定外」という事象が存在しうる以上、「絶対」はあり得ない。すなわち、3.11を経て、日本はもはや原子力発電所の絶対安全を謳えなくなった。 　そもそも、想定されうるリスクにすべて対処することは甚大なコストを要することから、絶対安全を確保することは事実上不可能であり、原子力発電所設置事業者が行うことは、想定されうるリスクを統計的に処理し、その範囲内で対策をとることになると推測される。 　しかし、原子力発電所事故による影響は極めて大きく、一旦、シビアアクシデントが発生すると、10万人～1000万人単位の避難者が発生せざるを得ない。このような甚大な影響を及ぼしてしまう原子力発電所に「想定外」の存在は許容されない。にもかからず、絶対安全は謳えない。このようなシステムは持続可能的とは言えない。 (2)原子力発電所は一旦稼働すると、豊かな電力と引き換えに放射性廃棄物を生産し続ける。電力は一旦消費すればそれまでであるが、放射性廃棄物は長いものでは数十万年の隔離が必要となる。放射性廃棄物の処理問題は今後、国民的議論が必要な課題であると考えるが、ともあれ、放射性廃棄物の生成量は少ないに越したことはないと考える。 (3)原子力発電所は常に地方に追いやられ、原子力発電所によってもたらされる不和や被害も地方が一手に引き受けさせられることはフクシマにより明白となった。 　原子力発電所を地方に設置する発想はまさに新植民地主義的な行いであったが、3.11以降、日々の生活の中で原子力発電所によってもたらされるあらゆる被害を立地地域の住人が一手に担わされていることを日本人は見せつけられてきた。にもかかわらず、この状況を容認することは、日本は都市の地方差別を許容できる社会であることを全世界に周知することと同義である。 　また原子力発電所はそこで働く現場労働者に被ばくすることを常に要求するシステムである。我々の社会は常に匿名の誰かの犠牲の上に成り立っているが、3.11以降、顔の見える存在となった原発労働者の犠牲を享受することは、非倫理的な行いであると言わざるを得ない。 　さらに原子力発電所が長期にわたる管理を必要とする放射性廃棄物を生産し続ける以上、われわれは原子力発電所を利用することで将来世代に負担を押し付け続けていることになる。かように原子力発電所を維持することは倫理に反する。 (4)以上3点からわかるとおり、原子力発電所はあらゆる面で他者の犠牲を要求する、存在そのものが暴力化した装置である。そのため、ゼロシナリオ以外の選択肢は民主主義国家に居住する市民として選択しえない。
30403	個人	その他	60代	男性	ゼロシナリオを支持し、今すぐ原発をゼロにする。	原発は、使用済み燃料の処理方法も含めて未完成の技術であり、特に自然災害が多い日本では利用することは許されません。また、福島原発事故の対応も、今利用できる技術も、幅広く活用する体制すらできていません。さらに、オフサイトセンター や住民の避難方法も具体的にたてられていないなかで、再稼働も許されることではありません。社会的な活動に必要なエネルギーは、再生可能な自然エネルギーを中心とすることを決断し、その具体化に踏み出すことが重要であると考えます。
30404	個人	会社員・公務員	50代	女性	福井県、大飯原発再稼働反対。福井大地震を知らないのですか？	福島原発が地震によって被害を受け、その周辺に住む人たちは、住む場所を奪われ放射能に脅える生活を余儀なくされました。 にもかかわらず、また、福井の大飯原発を再稼働させるなんて、福島のにのまえを踏むような行為です。 何十年か前に福井大地震があったのを知らないのですか？ 福井の人たちももっと目覚めて反対運動を起こしてもよいのでは・・・。 幸福の賀が問われていると感じます。 持続可能なエネルギーの開発に力を注ぎましょう！ 日本のため、世界のため、地球のため！ 子どもたちのため！
30405	個人	パート・アルバイト	60代	男性	原発はいますぐに廃炉作業にはいる。地熱エネルギーを開拓する。	原発は制御できないことを実証してしまった。地熱エネルギーはすでにアイスランドで実証ずみ。日本製のタービンも快調。冬の新潟の豪雪融解にも、温泉街の復興にも、そして地域の雇用にも、貢献する。理想的にアイスランドはやっているではないか。なぜ、それをハズした案を出すのか、作為を感じる。
30406	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロ　です 詳しいことはわかりませんが、どんな　ド素人でも 原発のゴミ（正しい名称がわからないので、簡単に表現します。発電によりどうしてもできてしまうモノ）の処分方法がないのに、それを産み出しつづけること　はおかしい、まずい！と思います。 トイレが詰まっているのに、使い続けている…ウンコならそのうちコヤシになるけど核物質がコヤシ（安全）になるのを待つとなると　何年？　まあ私もあなたもいないのは確かです。 埋めればいいでしょ　って　今までは国が言ってましたが、どこも手を上げないし　密かに福島に埋めちゃえ計画があるかもしれません。毒を食らわば皿まで　と 日本はちっちゃい国土しかないし、地面は揺れるし　で埋めるところなんか無いのが現実。 再処理も　かなりの税金を湯水のようにかけたのに　うまくいかず どんどん増える　核のゴミ　どうします？ あとは、大金をつんで　どこかの国に引き取ってもらう、ドドーンと宇宙に飛ばす　または　日本海溝に落とす というわけで、原発を進めることは反対です 近い将来（まだ私もあなたも生きていると き）に　日本が核のゴミを放置しているとか、バラまいていると非難されたくはありません 原発を進めるというなら、処理方法を示してください それにしても こんなに不完全で厄介なもの　に「夢のエネルギー」だと飛びついた　国家の責任者は誰？不信感は増すばかりです

30407	個人	その他	40代	女性	ゼロシナリオを支持し、今すぐ原発ゼロにする。 即座に無くして欲しいです。	子供の将来を考えると、空気の汚染水の汚染 不安でたまりません それでなくとも　海外では禁止されている食品添加物や 危険な食材が多い中 子供の口にするものを選び学び 一生懸命育てています。 少子化と騒がれる中 これ以上子供の作れない環境になるのは 日本を終わらせてしまうのではないでしょうか？ 水も空気もつながっています 地球規模で考えないと 人類がほかに住める惑星は現段階で発見されていないと思います みんなが病気になり人口が減れば 経済もどんどん落ち込みます 目先の利益のために 未来をなくさないでください 政治家の方の家族も子供も全て消費者です 次にいつ　来るかわからない地震天災で 放射能がばら撒かれれば 子供の食べるものは無くなります 想定外とか責任とって辞任とかしても 解決できません 今　この瞬間にも 被爆し　避難し　苦しむ方が大勢いるのに 収束もしていないのに なぜ？　稼動しているのか 理解に苦しみます 一部の方の利益のために 国民は踏み台ですか？ みんなが死ねば 税金も入らなくなるわけで 結果的に国が終わり 世界中に毒をばら撒く国にされてしまいます 今すぐ　原発をやめて みんなが　平和に安全に暮らせる国にしてください 宜しくお願いいたします。
30408	個人	会社員・公務員	50代	男性	製造業が重要な役割を担う日本の産業において、20から25%の原発依存率が最低限のラインと考える。 国家の将来、子供たちの将来を考えた上で、世界の立ち位置を考え、ベストな選択をお願いしたい。	(1)今後の日本の国民生活と産業の死活を制するエネルギー政策の決定は慎重にまず、原発事故と災害の総括をお願いしたい。 (2)今回のシナリオは、私が所属する化学産業の成長にとってはマイナスであるい。国の成長戦略との整合性があるのかと感じる。 (3)日本が製造業をベースに生き残るのであれば、ますます技術開発、製品開発などを進めなくてはならない。その場合、電力コストは重要な経営指標のファクターとなり、国民の生活に対する影響にもつながる。したがって、変動要因が大きい今回のエネルギーミックスは努力目標とし、少なくとも3年毎に見直す制度にして頂きたい。 (4)エネルギー・地球温暖化等の地球規模の課題解決には、ますます科学と技術によるイノベーションが必要となると思われる。中長期的に、エネルギーの安定供給と技術開発・革新技術の創生をバランスさせた技術政策・行政が重要と考える。 (5)研究・開発に対しては、国家予算の思い切った傾斜配分が必要と考える。日本の得意な技術開発の分野で革新技術を研究し、エネルギー政策への積極的な取り入れ実施していただきたい。
30409	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発ゼロのシナリオを支持します。	2011年の原発事故をとってみても国民の安全が守られていないからです。現在関東圏は稼働している原発がゼロ、関西は2基稼働させながらも供給可能電力に対して使用電力が大幅に下回っている現状(まして火力を止めている)ことから見ても、危険性が高く経済的にもマイナスが多い原発は日本には不要と思います。原発はゼロにして、コストの安い再生可能エネルギーをどんどん広げつつ、電力会社の送電線独占をやめ、発電している企業も送電線を使用できるようにすれば電力は足りる、また温暖化防止できると思います。 私は原発ゼロのシナリオを支持します。
30410	個人	無職	60代	男性	原発は日本の技術力で管理可. 電力会社を排除し、自然災害にも対応可能. 原発は、15%程度を継続稼動し、安い深夜電力を維持するのが選択肢。再生可能エネルギーに頼らず、化石燃料を有効活用する道を選ぶ。	最大の願いは、安い深夜電力を残したいに尽きます。日本人の能力を信じ、世界に魅たる管理能力を培いたい。 化石燃料の使用が増えることになり、費用増加が見込まれますが、そこでも日本の能力を高め、使用量の削減、購入費の低減をはかりたい。自動車・弱電業界など世界の競争の場で頑張っている、戦っているみんなの力で、難局を乗り越えたいと考えます。公民一体となった協力体制が重要です。
30411	個人	法人等	50代	男性	できるだけ速やかに、全ての原子力発電所を廃止して下さい。	原子力発電に一定の合理性があることは否定しませんが、福島の事故を見る限り、このような狭い国土で原子力発電を行うことは無謀であると思います。 特に日本海や瀬戸内海に面した地域の原子力発電所で同様の事態が生じた際は（「想定外」に事態は津波に限らないと思います）、人口密集地帯の大部分が住めなくなる可能性もあり、国の存亡にかかわる問題に直結します。 だれも責任を取れない事態（政府だって無理でしょう）が起きる可能性がある技術は、とりあえずすっぱりと捨ててしまうしかないのではないかと考えます。
30412	個人	学生	10代以下	男性	ゼロシナリオを支持し、今すぐ原発ゼロにする。	原発を作れるなら、今すぐ自然を作ってください。 生き物だって　限られた時間しか　生きられないから 生まれてすぐ　殺すのは　酷いです。 自然破壊をしないでください。 生き物たちが、かわいそうです。 再稼動していて　また地震がきたら また原発が爆発し、生き物が住めなくなるのも 知らないのですか？ 僕は、病気になりたくないし死にたくもないです。 宜しくお願いします。 どうか　原発をなくしてください。
30413	個人	無職	60代	女性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 ゼロシナリオを支持し、今すぐ原発ゼロにする	使用済み燃料の廃棄技術が確立していないし、事故がおこると百年単位で自然や社会に影響を与え続ける原発は今すぐゼロにするべきです. 水力, 地熱, 風力, 太陽光等の自然エネルギーを活用する技術開発に注力すべきです.
30414	個人	会社員・公務員	20代	女性	ゼロシナリオ 政府 経済 電気代	原発事故が起き目に見えないNukeが何億年も存在する。この事実をたたきつけられたら他の選択肢はありません。 政府？ 政府は自分たちの住んでいる東京が幸せならなんでもいいんだと思う。福島の人はかわいそうだねで終わってしまう。だから東京には原発が無いでしょう。 いっそのこと日本から原発を無くしませんか？ 経済？ 日本経済が破綻するのと、国土全体が住居不可になるのどっちがいいですか？仮に経済が破たんしても何とかなりますが、国土がダメになってはもともとも無いと思ってます。 電気代？ 原発ゼロになって電気代が上がってもしかたないです。それは安心料だから。 お願いします。ゼロにして下さい。今すぐとは言わないからこの10年ぐらいで。 ともみ
30415	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発はいりません	火事が起こったから火を消して終わりというように、不測の事態になったときに速やかに核分裂を止める最悪の事態を防ぐ技術が確立されていないからです。 その後諸々の問題が解決するのに何万年もかかるようなよく解らないものに頼るなんて考えられない。 かつて戦争で原爆を経験したのに、今一般市民が故郷や財産を失うリスクを背負ってまで原子力に頼らなければいけない理由がわかりません。
30416	個人	会社員・公務員	50代	女性	ゼロシナリオ: 原発がなくても電力は足りている。今までの効率一辺倒の経済至上主義を今こそ見直す時期だ。原子爆弾を落とされた国として、絶対に原発を保有してはいけない。地震国であることも肝に銘じてほしい。	原子力と人間は共存できません。福島の事故で明らかです。原発がなくても電気はたりています。政府も統計をだしているじゃないですか。火力が高い、CO2が発生すると言いますが、核燃料のごみを処理する場所もなければ、それに膨大な（10万年も先、誰が責任をもてるのか、電力もかかる）お金もかかることもまったく国民に知らせていず、原発が安いなどとはまったくのでたらめです。未来を生きる子どもたちへ、私たち大人は、原発のない安心な安全な何より生命を大切にするエネルギー政策への転換を今こそ考えるべきです。自然エネルギーへのシフトは新たな雇用も創出します。風光明美な日本の自然を生かし、日本の優れた技術を使えば、世界に誇れる素晴らしい新エネルギー政策が可能です。放射能なんてまっぴらです。それでなくても大地震が近々来ると言われているのに。2度と福島のような事故を起こさないためにも、原発0しか選択はありません。勝手に核兵器に転用できるような、原子力法案改悪も廃棄にしてください。 パブコメですが、本当に国民の意見を聞く気があるのですか？パブコメがいつ行われたのかも知らず、いつの間にか開催されていて、抽選で電力会社の社員がたくさん当選していたなんて。どれほど国民を患弄しているのでしょうか？まったく信頼できない政府ですね。私たち一般の市民は知りませんよ。もし本当に国民の声を聞く気があれば、全戸配布して、意見を聴衆してください。期限も短すぎます。国勢調査なみの調査が必要です。 また福島の件では、政府（自民党時代から原発を推進してきた人全部）、及び東電の原発にかかわった人などの責任をあいまいにしないでください。役員報酬はすべて賠償のために返還でしょ。電気代あげてる場合じゃないですよ。御用学者も責任は重大です。保安院、原子力安全員、税金返せ、やめろと言うしかないです。一部の人の利権のためだけに、国民の命を粗末にすることこそ政治家が歯止めをかけなくてはいけないのではないですか。その方たちを一掃してから新しいエネルギー政策を議論してください。 防衛庁以外は東電の電力をつかっていないと聞いています。矛盾していませんか？ とにかく、自分が政治家の時だけうまく切り抜ければいいという考えは捨てて、日本の未来を考えてください。
30417	個人	その他	60代	女性	原爆投下から67年の夏！考え深いものがあることを考えるべきです。福島事故の原因、事故後の対応、終息が出来ていないのに、新たな原発建設や再稼働前提の提案は全く納得行きません。	0%にすべきです。福島事故の原因、事故後の対応、終息が出来ていないのに、新たな原発建設や再稼働前提の提案は全く納得行きません。当面の電力の不足は節電によって乗り切ること。政府はその事に必死になるべきです。もっと国民の事を真剣に考えて下さい。原爆投下から67年の夏！考え深いものがあることを考えるべきです。
30418	個人	会社員・公務員	40代	男性	直ちに原発ゼロでお願いします。 あと原子力規制委員会の委員は全員反対です。 ECRRの知見を有する人選をお願いします。	私には4歳と0歳の子どもがいます。 昨年末には73歳の父親が前立腺がん、 今年の3月には38歳の妻が乳がんと宣告されました。 特に妻は投乳によってガンの進行が促され、深刻な状態です。 これらのガンは原発事故が原因とは思いませんが、 放射能の影響というのは、特に時間の経過とともにうやむやにされてしまいます。 政府は原子力推進国の資金で運用されているICRPの基準に従い、問題は無いというような言い方をしますが、欧州ではECRRの知見も参考にされています。すでに起きてしまった放射能被害者である福島県民には、単純に「ICRPの知見によれば」と送ぼるのではなく、ECRRなどの知見も考慮し、被ばく者の健康管理をお願いします。 それらを踏まえると、これからのエネルギーを原発に頼ることには絶対に反対します。夏のクーラーも我慢できるし、冬の暖房器具だって薪ストーブやペレットストーブを普及させればエネルギーは足りるでしょう。 以下にECRRの知見を活用せよという参議院附則を添付しておきます。 第180回国会　附帯決議一覧 環境委員会 原子力規制委員会設置法案に対する附帯決議（平成24年6月20日）(PDF) http://www.sangiin.go.jp/japanese/gianjoho/ketsugi/180/f073_062001.pdf 「十四、放射線の健康影響に関する国際基準については、ICRP（国際放射線防護委員会）に加え、ECRR（欧州放射線リスク委員会）の基準についても十分検証し、これを施策に活かすこと。 また、これらの知見を活かして、住民参加のリスクコミュニケーション等の取組を検討すること。」
30419	個人	無職	70代	男性	原発ゼロに早く進むべきです。経済、日常生活が沈滞しても人間の命に関わることは最優先に考えなければなりません。この場合の大いなる痛みは覚悟して忍しかありません。	原発はそのものの効率、便利性ばかりを考えるべきではなく、原発に関する問題点をクリヤーしてから考え、手をつけるべきもの、人間の命に関わることを後回しにしてはなりません。
30420	個人	会社員・公務員	30代	女性	東京電力だけではなく、自分たちで 電力の会社を選べるようにしたい。	今は 東京電力から買うということ以外の選択において 平等ではないシステムがある。太陽光発電の機械を高くしたり、電気を安く買いとったり、、電気も、一般企業と同じように ビジネスとして競争できるようにしてほしい。それによって、天下りや癒着もなくなると思う。

30421	個人	法人等	30代	女性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます 未来の日本を担うのは今の子ども達です。 その子どもたち達にリスクを背をわせずに、今決断をすべきだと思います。
30422	個人	自営業	60代	男性	私は、「原発ゼロシナリオ」を選択する。 しかし、直ちに「稼働している原発を止め、全ての原発を廃炉する」というシナリオを設定すべきである、と考えます。	私は、エネルギー・環境に関する選択肢自体に問題があると思う。 即ち、2030年という線引きでなく、直ちに「稼働している原発を止め、全ての原発を廃炉する」というシナリオが無いから。 しかし、それでは、この意見が反映されないということであるなら、 私は「原発ゼロシナリオ」を選択する。 その理由は 1、核エネルギーは人間の手で生み出したが、人間の手ではコントロールができない。そもそも人間の手に負えないエナルギーという現状認識が大切だ。核のゴミも増大するばかりで、その処理の技術も未確定、場所も未定な中では直ちに原発の稼働はやめ、廃炉をすべき。 2、島第一原発事故が示したように、一度放射性物質が漏れたら、人間に害を及ぼすとともに、殆ど回収も無害化もできず、その被害は10万年にも及ぶ。 3、その結果、生命を奪い、健康を損ね、安全な生活と仕事を奪い、家族を分断している。放射性物質は自然を根底から破壊する一番の元凶。 4、そもそも、放射性物質を漏らした企業（東電）が犯罪として罰せられない法律に瑕疵がある。有毒物質を垂れ流した企業は法で罰せられるのに。法的にも未熟な中では原発は直ちに廃炉にすべき。 5、原発ゼロで日本のエネルギーはなんとか補えることができた。火力発電に頼らないために、クリーンなエネルギーの開発の為、国と民間企業は一体となり取り組むべきである。
30423	個人	無職	70代	男性	原発ゼロシナリオを望みます	二度と原発事故を起こさず、安心できる未来のために、原発は再稼働なしに停止して欲しい。一方、一層省エネを進め、安全な分散エネルギーシステムを実用化されたい。 未来の日本国民のために、核廃棄物を今以上に残したくない。また住めない地域が生じることなく、農業や漁業の安全な活動ができることを望みます。 地震のたびに原発被害を心配したくない。勿論、再処理工場や高速増殖炉は止めて欲しい。
30424	個人	家事専業	50代	女性	原発や原爆の時代は終わりにしましょう。	原発を稼働させると、核のゴミが出ます。 そのゴミを安全に処理できる場所がありません。 また、地震国に原発があるという事は、非常識ですよね。 風力、火力、水力、波力、地熱 これらを駆使して、電気をつくりましょう。 電力は、東京電力と関西電力、九州電力だけに任せる体制をやめ、 送電線も含めて、もっと自由化にいたしましょう。 ウラン資源も枯渇しますし、モンジュの実情を見ると、再利用は不可能です。 私は、原爆被害者の二世です。 明日8/9は、長崎の原爆の日。 親はピカドンの日に長崎におりました。 悲惨な光景の中で仕事をして、死ぬまで、色々な体調不良に苦しみました。 電気は便利です。 しかし、原爆や原発などで使用される核は、生物を破壊します。 原爆も原発も、世界中からなくなる日が来ることを祈りつつ。 核エネルギー。これは人間の手に負えるものではありません。 まず、核を戦争で使わないこと。 核を電力発電に使わないこと。 勇気をもって、その方向に進んでいきましょう。 まず、日本から。
30425	個人	学生	20代	女性	「原発ゼロ」シナリオを支持します。	原発は事故が起こらなければ安全、なのではありません。燃料のウランを採掘する土地も汚染し、使用済みとなった後も何万年と管理を必要とする廃棄物として残ります。これでは「持続可能なエネルギー」ではありません。日本の脱原発から、世界に向けてアピールをしなくてはならないと考えます。
30426	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	今回のシナリオでは、何れも大幅な電力料金値上げが必須となっており、国内企業にとって更なる足枷となる。シナリオを選択するにはあまりにも不明確な情報、不確定な要素が多いため、定期的な見直しを望む。	今回提出された三つのシナリオでは、何れも大幅な電力料金値上げが必須となっている。現状、大重苦とも言われる状況の中、必死に国内雇用を守ろうとしている企業にとって更なる足枷となるのは間違いない。国民が本当に望んでいるのは、「ゼロシナリオ」に掲げられているような原発全廃なのか、それを判断するには提供されている情報があまりに乏しく、情報が少ない故の不安に突き動かされているのではないだろうか。政府は今後速やかに原子力規制庁を立ち上げ、政治判断ではなく専門家の判断を基に原子力行政を行うべきである。よって、今回のシナリオ選択にはあまりにも不明確な情報、不確定な要素が多いため、選択されたシナリオを固定的に運用するのは望ましくなく、定期的な見直しを行いながら方向性を模索していくべきである。
30427	個人	無職	70代	男性	原発事故は取り返しのつかない被害をもたらす。地震国日本は、原発でなく地熱など自然エネルギーを活用すべき、使用済み核燃料の処理が出来ず、原発の致命的欠陥である。早急に原発をゼロにするべきだ。	(1)再び事故が起きれば、大飯でも浜岡でもその他のどこでも、日本かこちら行かなくなるほどの被害が予想される。 (2)特に、地震国日本では、適した地熱発電などを進め、最も不適な原発を止めるべきだ。 (3)使用済み核燃料の安全な処理が出来ない、遠い将来まで負の遺産を残すべきでない。 (4)経済的な理由で原発の危険に目をつぶることは、愚かなことである。自然エネルギーの開発が新たな経済的効果を生むことは明らかだ。 　従って、原発は早急にゼロにするべきだ。
30428	個人	家事専業	30代	女性	ゼロシナリオ希望	ゼロシナリオを希望します。 二酸化炭素が温暖化の原因かどうかわかりません。 原因だったとしても、放射能だらけの世界になるより、温暖化の方がマシだと思います。 ヒロシマ、ナガサキを経て、フクシマ 今すぐ、全ての原発を廃炉にすることを、希望します。 電気がなくても、温暖化しても、 暖かい気候にあった作物が取れます。 電気がなくて、経済が悪化しても、安全な食べ物があれば、健康でいられます。
30429	個人	その他	50代	男性	福島の原発事故処理ができていないのに、どうして安全と言えるのかまったくわかりません。子供でもわかる「常識」がなぜ適用しないのか不思議でなりません。「ゼロシナリオ」に決まってます！！	原発のために、異常と言える地元への交付金や原発の費用を、もっと自然エネルギーの開発に使ってください。原発から生み出される、核廃棄物は持って行くところがないでしょう。将来に危険物を残すことは、絶対やってはならないのです。 また、いつも、いろいろ想定して安全対策を講じていると言われますが、それで起こったのが福島の原発です。地震や津波や原発だけでなく、隕石やテロや他国の攻撃など危険因子はたくさんあります。そのたびに「想定外」という言葉で逃げるのはやめてください。 事故は起こるものの立場で考えて、万一事故が起こったとき最小限の被害にとどめることが必要で、原発は全く逆の効果しかありません。 何度も同じような調査をして、原発推進の理由探しをするのでなく、もういい加減に、多くの国民が反対している原発をただちに廃止する決断をしてください。 心から、お願い致します。
30430	個人	家事専業	60代	女性	即時原発は稼働停止！　国民一人一人の節電努力により危機は乗り越えられる。	「エネルギー・環境に関する選択肢」は、少なくとも6ヶ月～1年間の国民的議論が必要である。 第一、短期間のうちにネット募集を主体としており、FAXの人は原稿をネットでしか入手できないという方法は、非常に不条理。 　この様な「未来の子どもたちに影響する問題」は、新聞・テレビ・ラジオ等、あらゆるメディアを活用して、広く国民に知らせるべき。 　また意見聴取会なども小さな会場でやるのではなく、各自治体の市民ホールの大ホールでやり、広く市民に知らせていかない限り、国民の原発への不信や不満は募るばかりである。
30431	個人	会社員・公務員	30代	男性	時代毎のベストミックスが重要。 全力で安全性向上しつつ原発利用。 感情に流されず、専門家の知見を集約公開し利点と欠点を整理、短期と中長期を分けて方向性を出す。	原子力、火力、自然エネで経済への悪影響を抑えつつ、時代に合わせたベストミックスで移行してゆくべき。 現状では既存原発の安全性を向上させて使うしかない。 事故は起こるものと想定し、最悪の事態でも安全に壊れる体制を確立、ここまでやったので動かしますと国民へ説明する。 福島第一の防波堤でさえ暫定なのは理解出来ない。 消費者負担を増やしかねない発送電分離は慎重に。現状では懐疑的。 短期では石炭、ガス、原子力をベースに屋上太陽光等を適度に推進する。資源調達先の多重化も必須。 FIT42円は異常で、安価な外国製パネルでメガソーラー推進されても国力を削ぐだけ。 中期は火力の高効率化、メタンハイドレート等の国産エネ推進、蓄電池技術開発促進。 科学的に最も安全な最終処分地を選定し、安全な新型原発への更新。 長期的には限りある化石燃料からの脱却を目指し、核融合、宇宙太陽光、超伝導直流送電等を引続き研究。 それぞれの段階で技術開発、多数派工作による標準化、NPO等と協力し広報に努める。 今迄は、一般人がエネルギーを考える必要が無い程、ある意味上手く隠せていた。 これを機に、様々な分野の専門家によるエネルギー会議を継続的に開催し、内容を公開すべき。 情報の少なさが無用の混乱を招いている。 政治家も官僚もそれ以外の人々も似たような教育を受けた日本人で、それ程の違いは無い。 将来的により安全、安価で高効率な革新的発電技術が出てくれば、原子力に拘る必要は無くなるかも知れない。 だが現状では、化石燃料が有限とするなら核融合位しか将来的代替案が無く、廃炉作業も必須な事から、原発技術は継承せねばならない。 東日本大震災の影響で、運動論的な脱原発が幅をきかせている様に見える。 政治家の発言もそういった空気に影響され、脱原発が国民合意であるかの如くマスコミも伝える。 だが、国家百年の計たるエネルギー問題が、時代の感情に流されるべきではない。 戦争の殆どはエネルギー問題だった事を銘肝、エネルギー強国を目指し、日本の長期安定を目指すべき。
30432	個人	会社員・公務員	20代	女性	ゼロシナリオを希望します。	原子力発電所の事故の危険にさらされながら暮らすくらいなら、今より電気が自由に使えなくなるのを我慢するほうがずっといいです。 私たち大人が死ぬまでの間くらいはなんともないのだとしても、これから生まれてくる子どもが病気になったり障害を持って産まれてきたらどうしよう、苦しむような事になったらどうしようと思うと、子どもを産むことすらためらいます。 できるだけ早く、福島原発事故が終息し、原発がゼロになり二度とあのような事故が起こらない世界になることを希望します。
30433	個人	会社員・公務員	40代	男性	「20～25シナリオ」をベースに、「ものづくり産業」、「国民生活を守る」観点から、省エネ・再エネの前提を見直し、現実的なものとする必要がると考える。	日本の「ものづくり産業」は、技術と人材を通じて我が国の「雇用」と「国民生活」を支えてきと考えます。「ものづくり産業」を国内で持続するためには、低廉且つ安定的なエネルギーや電力の供給が不可欠です。ただでさえ、「ものづくり産業」は円高などの多重苦に直面しており、エネルギー問題に綻びが生じれば、それが止めを刺すものとなるという現実を直視すべきと考えます。
30434	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロにしてください。	原発はいりません。 動かすだけで、今後の処分が明確に決まっていない使用済み核燃料を作り出すような発電方法がなぜ必要なのですか？ 他の発電方法で対応できる技術を、日本なら生み出すことができると思っています。 日本政府は、核を必要としているように思います。 憲法第九条とともに、非核三原則は、原爆投下された日本になくてはならないことだと思います。 これだけの大惨事を招いた福島第一原子力発電所の事故を目の当たりにしても、なお原発を続ける、という考えが出てくることが不思議です。 人が死んでないからいいんですか？ 直接の原因で亡くなった人はいなくても、原発事故が原因で亡くなった人は大勢います。 東京のクーラーが効いた国会の中で、クールビズそっちのけでスーツを着込み、汗もかかない議員さんたち、意識が足りなすぎます。 電気が足りれば、原発いらないんでしょう？ 足りないのは、関西だから、東京（関東）はガマンしなくていいんですか？ 原発を動かさないと電気が足りないんじゃなくて、どうしたら原発ゼロでも電気が足りるのかということを、考えるべきだと思います。 原発はゼロにしてください。 そこからエネルギーについて考えていけるのではないでしょうか。

30435	個人	その他	50代	女性	10年前には考えられなかったほど、世界各地で再生エネルギー、とくにソーラーの開発・普及は進んでいます。将来のない原発をあきらめ、18年後には原発ゼロにできると信じて進みたいと思います。	エネルギーは持続可能なものでなければならず、原発が夢のエネルギーだったのも、燃料サイクルができるという仮定のもとだったはずです。ただし、地震や津波などの被害は人間の知恵で完全に防ぐことはできず、また人間ならではの判断ミスや不注意も100%排除することはできません。いざ事故が起きたときには、プルサーマルは手に負えないものになることが今回の事故でも明らかになりました。 燃料サイクルが無意味となれば、原発はただアフリカやオーストラリアの環境を汚染しながらウランを輸入しつづけなければならないエネルギーでしかありません。政府のあらゆる補助金や廃棄物の全処理費、海洋の汚染を含めた事故の全損害、地震・津波対策、稼動できないあいだの無駄な費用、送電ロスなど、あらゆる費用を見直せば、安いエネルギーどころか、最も高額なエネルギーとなるはずです。将来性がまったくないものを、当面、電気料金的には安く発電できるという理由だけで、この先何十年も運用するというのは、賢明な選択とは思えません。 アメリカ空軍には、少なくとも数年前の時点で世界最大のソーラーの発電所があるそうです。カリフォルニアを中心にソーラーに移行しつつある自治体も増えているようだし、ドイツはもちろん、イスラエルなどでも相当に普及しているようです。サンテックパワーなど、世界のトップにある中国の企業は21世紀から起業したところばかり。オーストラリアの同じ大学の研究所が輩出した技術者たちが創立した会社ばかりだと読みました。わずか10年でこれだけ変わるのですから、今後18年間に日本の技術力と資金力を結集すれば、不可能も可能になるのではないでしょうか。
30436	個人	会社員・公務員	50代	男性	消極的に原発比率20～25に賛成。日本にとって原発は必要だが将来的に削減もまた必要	今回の福島の事故により原発の問題点がより鮮明になり日本の技術力をもってすればより安全な原発立地が可能。資源のない日本が進むべき方向は日本の技術力を生かし原子力をコントロールするということが現状必須と考えます。想定外の天災に会いながらこの程度で済んでいること自体素晴らしい。また、完全に検証できたわけではないが問題点もかなりはっきりした(電源がなくならないようにすることと水がかかっても問題ないようにすれば良い)ように思います。何兆円も使い海外から化石燃料を購入し日本の景気には何の貢献もなくCO2をどんどん排出する現状はナンセンス。また、太陽光も風力も安定的ではないのでメインにはなりえないが将来的に技術が発達し蓄電技術や系統強化(50HZと60HZの融通も含め)出来ればある程度有効であるとは思いますがエネルギー安全保障上の観点からもまた地球環境保全の意味からも減らすべきものは先ずは火力・石炭ではないでしょうか。そこから原発の削減に着手していくべきと考えます。資源を海外に頼ることは情勢の変化によりすぐ外交交渉上の負のカードとなりそれでなくともいつまでたっても戦争犯罪国として扱われている日本にとってはマイナスでしかありえない。せっかく培ってきた原子力の技術力をここで捨て去るのはいかがなものかと思います。反対する方々にはただ単に感情だけでヒステリックに喚き散らすのではなくこの国の将来をしっかり見据えて現実的な対案を用意し冷静に議論がされることを望みます。
30437	個人	家事専業	50代	女性	原発0シナリオを選びます。	原発0シナリオを選びます。 廃棄物処理に関しても全く安心できない物は利用すべきではない。 今までに科学の向上にともないたくさんの負の遺産をつくり続けているにの・・ また原発に賛成する人は原発や廃棄物処理場のそばに住むべきだと思う。 自分自身で放射能の人体実験をすべきだと思う。 それもせずに安全の意見を言うべきではない。
30438	個人	会社員・公務員	50代	男性	各案共通の電力量想定自体過小であり、安定した経済成長を支える電力供給体制の検討を求めます。我が国産業界の国際競争力維持、原子力技術の競争力向上のため相応(25%超)の原発比率を維持すべきです	1．電力量見通しについて 第一次オイルショック以降、我が国は官民挙げてエネルギーの使用の合理化に取り組み、対GDPエネルギー消費原単位は32%減少（S50年→H20年）した。 （出展：資源エネルギー庁　エネルギー白書） 一方、各電気事業者、及び自家発電を含めた国内の総発電量（=電力消費量）はほぼGDPに比例して増大してきており、対GDP発電量原単位は逆に5%増大（S50年→H20年）している。 （出展：資源エネルギー庁　エネルギー白書、電気事業者連合会　電気事業便覧） これは全体として省エネルギー対策は進みつつも、ライフスタイルの変化（家電の普及）、ならびに産業構造の変化（第三次産業比率の増大）によって、家庭部門・業務部門でのエネルギー消費が大幅に増大していることに加えて、その利便性により最終エネルギー消費において電力への転換が進んでいることによる。 又、平成20年に全面改定された、「京都議定書目標達成計画」においても、今後のエネルギー起源炭酸ガス削減対策として推進すべき項目として例示されている、ヒートポンプ給湯の普及、電気自動車の普及、物流の鉄道輸送へのモーダルシフト推進等いずれも電力への転換を促進する対策である。 以上の状況を勘案すれば、今回各ケースの前提となっている2030年の想定電力量（対2010年比約10%削減）は過小見積もりと評価せざるを得ず、安定した経済成長を支える電力供給体制の構築に責任を持って取り組むべきである。 2．電源構成について 再生可能エネルギーの普及拡大については、エネルギー対策及び我が国産業技術の成長分野として積極的に取り組むべき課題ではあるが、15～25%(水力発電10%除く)もの電力量を再生可能エネルギーに負託することは、再生可能エネルギー比率の増大そのものによるコスト増負担に加え、20%もの再生エネルギー電源による電力系統への影響は甚大であり、その変動吸収のための火力発電設備の増設、バックアップのための火力発電燃料の増大により、政府試算以上の経済負担を需要家に転嫁することとなる可能性もあり、非現実的と言わざるを得ない。一定割合(25%以上)の原子力発電比率を維持することにより、我が国産業界の国際競争力維持を図るべきである。 又、今後とも世界の大規模電源立地の主流は原子力発電であり、世界の民生用原子力産業の大勢は我が国重エメーカーとの連携下にあることから、建設・維持・廃炉等一貫した我が国重エメーカーの技術競争力維持の為にも相応以上の原子力発電比率の維持は必要と考える。 今回の事故の原因の徹底究明により、地震・津波に堪えうる原子力発電所は実現可能であり、我が国原子力産業技術の一層の競争力向上に繋がると確信する。
30439	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発0（ゼロ）を選択します	最終処分場もなく原発のゴミを出し続けるのは狂気の沙汰です 直ちにすべての原発を停止させるべきです
30440	個人	自営業	40代	女性	原発0シナリオ。火山国日本です、地熱発電にするべきです	福島原発で、亡くされた人々が沢山、苦しんでる人々が沢山、それでも、またまた原発・・同じことの繰り返し、繰り返し。安全なら東電電力会社、官僚、政治、の家族が、現場で働いたら、どうでしょううか、病気しても、お金が沢山ありますから良いのでは、ないでしょうか。
30441	個人	自営業	40代	男性	2030年のエネルギー・環境に関する選択肢(1)ゼロシナリオを強く希求します。	理由は、以下の2点。 1、大規模な原発事故は、憲法第25条の「国民の生存権」を侵害します。 2、大規模な原発事故は、憲法第25条の「国に課せられた公衆衛生の向上及び増進に努める義務」の達成を困難にします。 以上の理由は、福島県の現状を鑑みると明白であり、明らかに憲法違反の状態である。 よって、従来のエネルギー政策を転換し、原発依存度ゼロを望みます。
30442	個人	無職	60代	男性	原発即時廃止	(1)人間がコントロールできないものはエネルギーとして使用してはならない。 (2)使用済み燃料の処分が大問題。現に有るものをいかに安全に処理するか？解決策は全く無い。こんなものをさらに生み出す発電方法は非人道的エネルギーである (3)コントローラーとしての東電、保安院、原子力委員会すべて金儲け財界の手下であり、金のためなら人命などいささかも考慮しない、未必の故意の殺人犯である。テレビ会議の映像隠蔽、原子力委員人事の犯罪性とても信用できない (3)エネルギー不足の補充は以下の方策で十分。（信用できる機関で以下の項目試算してみて） ⅰ現有火力発電所の再稼動 ⅱ地域小規模水力発電の普及 ⅲⅲⅰに拘わらず、地域に合った地熱、太陽光、風力、潮力などの発電法活用 ⅳテレビ放映のチャネル削減と放送時間の短縮および民間BSの当面凍結 ⅴ企業発電電力の国による買い入れと電力会社通じての送電の義務化 ⅵ電気自動車の製造禁止と使用禁止 ⅶ都市圏に於ける自販機の設置数削減（50%）、地方は現行のままを認める ⅷ警察官僚の天下り先パチンコ店については、特に28℃設定を厳守させる ないしは正午から午後6時まで営業を禁止する 喫煙者のタバコの煙を魔女狩りのごとく非難攻撃する善人たちがなぜ、放射性物質に対し、鷹揚なのだろうか？　政府が音頭取れば怖くは無いが、政府に反する正義を言えば唇寒しという事か。田中正造が泣いている。
30443	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年段階の全電源に占める原発の比率について、 (1)0%とする。	危険、放射線はコントロールできない、放射線の中では生きることができない。
30444	個人	その他	50代	女性	原子力の使用を即停止させて、不必要に気候変動を引き起こさない4番目の筋書き」を示して欲しい。	3つすべての筋書きは私たちの子孫に対して長期間の核や気候災害の脅威を運命づけるものです。2030年に完全非核化するオプションでさえ、私たちの原子炉再稼働の中止要請を無視し、気候変動に対して高いコストを払うことになります。他の2つの選択肢であっても今後数十年に渡って原子力に依存し続けるものです。 以上挙げた理由により、あなたがたに原子力の使用を停止させて不必要に気候変動を引き起こさない賢明で大胆な「4番目の筋書き」を示して欲しいのです。 具体的な「4番目」の筋書きとして以下を挙げてみます： -直ちに原子炉再稼働をやめさせる -積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる -再生可能エネルギーの生産を加速させる -発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する -石炭と天然ガスへの依存の前に、エネルギー効率を優先付ける
30445	個人	パート・アルバイト	60代	女性	原発の恐ろしさを知り、これはどうしても人間社会に必要なものだとは思えません。自然エネルギーからの電力発電を中心に据えられるよう、徐々に原発依存を減らしていってください。浜岡は絶対に再稼働しないこと。	原子力発電はコストが割安ではないことがわかりました。人間は間違いを犯すものですから、それが起こったときに取り返しができないような方法は使うべきでないと思いますので。
30446	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発0シナリオを支持します。	理由1、事故となれば、こんな恐ろしいものはない。今度の震災で多くの被害が出、これからも出続ける。故郷を追われた人たちの悲しみはいかばかりか。目には見えず臭いもしない放射能の影響に怯えつつ暮さなければならないのは、非常に苦痛です。これだけの経験をして国の政策が変わらないなんて考えられません。原発を早くこの世から無くしたい。 理由2、事故にならず、普通に稼働しているとしても、処理方法を持たない原子力のごみが溜まり続けてしまう。子孫に負の遺産を残してはならない。 理由3、原子力発電所で働く原発労働者の健康が心配です。 理由4、原子力に頼らないエネルギー供給の工夫をすべきです。普通に暮らしたいだけ。安心な空気、水、土、食べ物がほしい。工夫の余地はたくさんあるはずです。 理由5、事故となれば、対応に莫大なお金が必要です。また事故にならないように対策をとれば、莫大なお金が必要です。原発は割高です。
30447	個人	その他	70代	男性	原発ゼロ社会を目指すべき。これだけの事故を起こして、安全性が確認できないまま、再稼働とは信じられない。日本の科学・技術・産業の総力を結集して自然エネルギーを活用した発電法の開発に取組むべき。	今、日本国民は国家に対する不信、将来に向けての不安感で満たされている。理由は勿論3.11。3.11事故が人災である(国会事故調報告による)とされても、それに関わった全ての人間達が何もなかったかの様な顔をして、テレビに堂々と出て、その上、危険が一杯の原発の再稼働の必要性を訴えている。 国民のために再稼働とは何とも欺瞞に満ちたものである。一体，この国家は真剣に国民の幸せな生活を求めているのであろうか。 今回の事故は、どうしても、国家の繁栄という大義のもと数百万の国民が犠牲になった第二次大戦とだぶる。いやそれ以上に類似点が多すぎる。情報の隠蔽（東電のテレビ会議の記録の全てを国民が見る必要はないが、メディアや専門家には全記録の公開が必須）、反対意見は抹殺し、第三者の意見に耳を貸すどころか、同じ意見を持つ参官学と政治家のみで重要な案件を押し進める傲慢さ、安心感（戦争の場合は優越感）を誘導するためのメディアの管理等など枚挙にいとまがない。 近年の日本は、もともと「あいまいな」国で、あいまいな政治家が、あいまいな国民を操ってきたのだから、当然の成り行きともいえるが、今回はこの「あいまいさ」は許されない。何故ならば、放射能拡散の影響は地球規模で起るからである。 最終的には原発ゼロ社会を目指すべきと考えるが、即にとは行かないだろう。再稼働、新規稼働を絶対に行わないことを前提として、自然エネルギーの開発に取組むことを最優先させる。日本の科学・技術・産業の叡智を結集すれば、この技術開発は可能であると考える。さらに、本技術を海外にも普及させることにより、地球上の原発縮小への一助になることができれば、どれほど素晴らしいことか。失墜した日本の信用を取り戻し、そして日本の産業・経済も活性化させることができる。
30448	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを希望します。 今後のエネルギー政策＝どこに投資をするかということですが、原子力開発ではなく、クリーンエネルギー開発や、化石燃料による発電コスト削減開発に投資するべきだと考えます。	国策として原子力エネルギーが推進されてきまたが、核燃料の再処理のシステムも確立されていない状況。現在の原子力に対する社会的な位置づけの中で、このまま研究開発が進んでいくのは難しいと思える。 ならば、クリーンエネルギー、化石燃料による発電コスト削減に投資をしていくほうが、現実的ではないだろうか。新しい利権構造が懸念されるが、日本再生に向けて、真の資本主義国家としてこの新しい国策を政治主導でぜひ頑張っていただいたい。
30449	個人	パート・アルバイト	40代	女性	3つのシナリオとありますが、日本国内で次に事故を起こしたら国民の命はないものと考え、原子力発電に関しまして【即時撤廃】を希望いたします。これ以上の犠牲者は必要ありません。	推察で誠に恐縮ですが、もしこれが僅かな可能性でも 戦争に結びつく事があるなら 決して、現代を生きる人類の選ぶべきことではないと 断言できるからです。 日本は核を2度落とされています。 この国に原子力が導入されてから、どれだけの命が奪われたのでしょうか。 支配する、される関係から世界でどれだけの人が苦しんでいるでしょうか。 どうか国として、世界へ平和を発信する立場を遵守 してください。強く希望させて頂きます。 命を繋いでゆきましょう！よろしくお願い申し上げます。 平和を強く望む沖縄よりお送りさせて頂きます。
30450	個人	自営業	50代	女性	3つのシナリオのうちの「ゼロシナリオ」でも不足と考えます。 2030年までに原子力エネルギー比率をゼロ%とする、というシナリオですが、即刻ゼロにするべきであり今すぐその方向へと政策転換してください。	生活の利便性、エネルギーの確保といったことと、「安全性」ならびに子々孫々にいたるまで解消できない放射性廃棄物の問題を、おなじ天秤にかけること自体が間違っています。 安全は全てに優先することです。 今すぐ非核の道を進めば、自ずとアイデアもわくし具体的施策も生まれます。 ことあるごとにCO2排出量を比較対象として持ち出しますが、 逆に言えば、原子力のメリットは「CO2排出量が他エネルギーより少ない」ということしかない、ということではないですか。 しかも「発電時の」という非常に狭い条件下での評価です。 そもそもCO2の排出量と地球温温暖化の関連性とて明確になったわけではありません。しかも温暖化しているかどうかさえ怪しいものです。 温暖化よりも、先進諸国によるゴミ（放射性廃棄物も含む）、膨大なエネルギー消費量、それによる自然破壊の方がよっぽど問題です。 また、石油はいつも「やがて枯渇する」という言葉で脅されますし、ウランも結局は同じです。 今すぐ、危険かつ環境を汚し続ける原子力エネルギーから脱却し、再生可能な自然エネルギーにシフトすべきです。 福島の事故によって世界中に放射能を撒き散らした日本の、これがとるべき責任の形だと思います。
30451	個人	会社員・公務員	50代	男性	福島の原発事故はその危険性が証明された。原発の再稼動は中止し、すみやかに原発を廃止するゼロシナリオを選択するべきである。同時にエネルギーの省力化を推し進め、CO2の削減も進めるべきである。	福島始め、これまでの原発事故は人類が原子力、放射線をコントロールできないことを証明した。科学技術をいくら高めても、大規模な津波や地震災害には絶えられないことが分かった。原発がいくら強固に作られたとしても、放射線はわずかな破損があれば空中に、河川に、海に、地下水に長期的に流失される。微量の放射線でも人体に影響を与えることも分かってきた。これらは「想定外」が常である自然災害に対する事故には人類の原発管理技術に限界があることを示している。しかも放射性廃棄物の処分・安全な管理方法も未確立である。　重要なことは原発事故には放射線という異質な危険が伴い、他の機器とは比較にはならない性格を持っていることだ。 原発を速やか廃炉を決断し、環境対策としての自然エネルギーの爆発的な開発とその財政支出の確保に重点を変えていく国策こそが人類の将来をベターな方向に進めることができる。一時的な国民負担はそのプロセスを説明すれば国民の支持を得られると確信する。もちろん国民負担の軽減に努め電力会社、原発メーカー、そして大口利用大企業の応分の負担を求めることは当然である。

30452	個人	家事専業	50代	女性	「エネルギー・環境に関する選択肢」に関する意見 2030年に原発0ではなく【即刻原発0】を目指すべき	これだけの地震国、日本に原発を設置していることがそもそも間違い。 私たちは今まで国と産業界により作り上げられてきた「原発安全神話」に騙され続けていた。 2011．3．11の地震後の原発事故は明らかな人災であり二度と福島の人たちが経験していることを繰り返してはならない。 何よりも1度事故が起きてしまったら人の手には負えない原発は「即刻0」にし、人の命と環境を守ることを第一義に考えていただきたい。
30453	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオ。再稼動させず、即時ゼロを望みます。	福島第一原発の事故はまだ収束しておらず、避難するべき場所に住む人を避難させられていない現状、最終処分場の問題、除染にかかる費用と年月、どう考えても原発のコストが安いとは考えられないし、これ以上問題を先送りにするべきではないと考えます。 それ以前に、命の問題を経済の問題だけで決定して欲しくないです。 国民との対話もなく、強行的に再稼動される現実も目の当たりにしました。 原発でなくとも電気は作れます。 原発以外の方法をみんなで知恵を出し合って、この国で暮らしていく事を望みます。 ガイガーカウンターを持ち歩いて暮らさなければならなくなった現実を重く受け止めるべきだと思い ます。
30454	個人	会社員・公務員	60代	男性	再生可能なエネルギーへの転換を国を挙げて推進し、原発エネルギーからの撤退を世界に呼びかけていく必要があります。	原発エネルギーは、核廃棄物処理方法が確立していない現在、極めて長期に及ぶ悪影響が避けられません。早急に撤収への道筋を明確にすべきです。 ネルギー不足への危機感から原発温存の必要性が経済界を中心に指摘されていますが、再生可能なエネルギー社会へのソフトランディングの進め方こそきちんと議論し、次世代に禍根を残さないようにすることこそ、今を生きる私達の責任です。 原発エネルギーコストは、他の再生エネルギーに比べてが安く経済効果が高いと指摘されていますが、原発廃炉費用や核廃棄物の適正処理、そして事故や災害発生時のリスクを考慮すると公開されているコストでは、到底処理できるはずが無いというのが事実なのではないでしょうか。 原発は一たび事故が発生すると、住む土地・国土が失われることを理解すべきです。日本は第二次世界大戦で敗北し、北方領土は国土を失った状態が続いています。原発事故はちょうど敗戦にも匹敵する重大事と受け止める必要があるにも関わらず、責任者が責任をとるどころか、原発収束宣言をしてあげくの果ては、原発再稼動まで進めてしまう。一体この国はどうなるのだろうと、心のそこから憂いをぬぐうことができません。
30455	個人	無職	60代	男性	原発ゼロシナリオを選びます。大地震は待ってくれません。ただちに原発ゼロを実現しましょう。 原子力の安全確保は不可能です。エネルギー使用が少なくても、幸福が実感できる社会を実現しましょう。	原発ゼロシナリオを選びます。 さらに、2030年まで待たないで、ただちに原発ゼロにすべきでしょう。 原子力の安全確保は不可能であることを認識すべき。安全技術と安全規制で事故リスクを制御することはできません。今日明日にでも大地震が起きれば福島原発事故と同じことが発生します。誰がどうやって原発事故を収束しますか？原子力エネルギーを推進してきた人たちが命をかけても不可能でしょう。放射性物質を完全に除去する方法が確立するまでは、原子力の利用はありえないことです。 政府の「エネルギー・環境会議」の取りまとめた「エネルギー・環境 に関する選択肢 」は、エネルギーファーストの視点から書かれているように思われます。 日本は、いのちの尊さを基本に、エネルギー使用が少なくても、経済発展しなくても、幸福が実感できる社会を実現して、他の国の模範となる国を目指そうではありませんか。かつての日本がそうであったように。 その他考慮すべきこと： 1．人口減少に伴うエネルギー消費の自然減。 2．CO2排出量と地球温暖化の因果関係が必ずしも世界的に合意されていないこと。 3．原子炉の冷却による排水で海水温が上昇すること。 4．核廃棄物の処分方法。
30456	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発は再稼働せず、ゼロ%に。再生可能エネルギーへの転換を速やかに図るべき。	福島第一原発の事故を経験した私達が進むべき道は、ゼロシナリオしかありません。放射性物質は、現在の科学技術ではこれをコントロールすることができません。これから何千年も核のゴミを管理することは不可能です。原子力発電を使わなければ、電力がまかなえないかのような宣伝は、まやかしです。また、二酸化炭素を発生しないクリーンなエネルギーのように宣伝されていますが、絶えず冷却を必要とするこのシステムのために発電が必要（ポンプを動かさないといけません）であり、温められた水が海に排出されるとそれこそ地球温暖化につながります。原発は、海・暖め装置なのです。それから、原子炉の制御は小回りがききません。細かな調節などできないため、夜間に揚水発電などムダなことをしなければならないのです。どう考えても、私たちの暮らしの将来にプラスにならない原子力発電は、早急にやめるべきです。
30457	個人	その他	20代	男性	原発ゼロのシナリオを支持する。その他のシナリオは支持しない。	原子力技術は、本質的に大きな欠陥を持った技術である。火だって危険ではないか、という暴論があるが、われわれが火を手にしたとき、すでに水がある。火が暴走した場合それを可能な限り制御することは原理的に可能であった。しかし、原子力の「火」は、化学反応のレベルではなく、原子核以下の出来事にかかわり、本質的な制御不能性を持っている。廃棄物の「処理」も、原理的には「持つ」以外のなんの方策も無い。たしかに科学技術はさまざまのことを可能にしたが、永久機関は決して見つからなかったし、錬金術も不可能であった。「将来の発展」に待つよいことよくないことがある。 大飯原発を1日稼動させればヒロシマ原爆3つ分の死の灰が作られ、矛盾は蓄積していくばかりである。これでは、「自分で片付けられないものを出すな」と子どもを叱ることすらできないではないか。一万年続いた国家すら持たない我々が、数万年の保管が必要な技術に依存することは倫理のレベルで許されないことであると考える。 確かに、原発の絶対は困難な道ではあるかもしれない。しかし、そこには希望がある。なぜなら、矛盾を軽減していく道だからである。
30458	個人	その他	60代	女性	兎に角、原発は要らない	日本人は、戦後苦労をして、頑張って高度成長に乗り豊かになりすぎました。足るを知らない人が増えてしまい経済成長の発展だけを追い求め過ぎました。 まずは、、次のエネルギーを考える前に電気を使わない方向を考えるべきではないでしょうか？ それから、本当に石油エネルギーが無くなった時に。。文新たに考えても十分なことだと思います。 原点に帰って、まずは、節電をする！！戦争を知らない世代に又おろかな繰り返しをしようとしているとしか思えない
30459	個人	会社員・公務員	30代	女性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「ゼロシナリオ」を指示します。 「2030年に原発0」では遅い、「即刻、原発0」とするべきです。	「原発事故が起こらない」前提で物事を進めないでください、 再び事故が起これば日本は再起不能です。 ただでさえ官僚の皆さんのお蔭れにより、日本は良くない方向へ傾いているというのに。 直ちに自然エネルギー比率を増やす計画を私達国民にシッカリと示して下さい。 それまでの計画停電は受け入れます。 当然、病人・要介護者・老人・子供などを優先的に守る事が前提です。 国民がどれだけ政府に落胆し、絶望しているか、わかっていますか？ 人として正しいことを正しい方法で進めて下さい。
30460	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを支持します。	原発においては事故を起こした際に、取り返しがつかないレベルの甚大な被害が発生すること、事故を防ぐ対策に信頼がおけないことからゼロシナリオを採択すべきと思います。
30461	個人	自営業	70代	男性	即時に原発は廃止すべきである。	現在すでに、大量の高度危険の放射性廃棄物が、国内に蓄積されていて、この処理法は全く、先が見えない。それでも、さらに原子炉を稼働していれば、原発による放射能物質はたまる一方である。この、使用済み燃料の放射能の無害化するには、10万年余という、想像できない長い期間、地球上に存在続け、ことに、自然災害、地盤変動の激しい日本では、いつ、災害をもたらすか、知れない。安全を追求すると言って、原発再稼働することは、危険を拡大再生産していることになる。現に蓄積された使用済み燃料は、すでに、将来の子孫に負担を押しつけているのである。 若い世代に年金負担を掛けないといった、金銭ずくの問題より、決定的に、次世代以降、数万年もの人類に障害をもたらし、地球を住めない状況にしてしまう可能性が大きい問題を避けることはできない。即刻、廃炉して、今の環境を救う手だてを、国民の課題として提起すべきである。これ以上の放射性物質を増やしてはならない。
30462	個人	パート・アルバイト	60代	男性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 《2030年まで地震や津波は待ってくれない。今すぐ全原発の廃炉を》	2030年の原発への依存度を問うなどナンセンスなこと。 地震などの自然災害が2030年まで起こらないと誰が保証できるのでしょうか？ まして、稼働中の大飯原発、志賀原発の下には活断層があると言われています。地震国日本に原発は相応しくありません。
30463	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発ゼロシナリオを望みます。核燃料サイクル政策からも撤退し、自然エネルギーによる地域分散型の電力システム社会を望みます	再稼働せずにこのまま原発がなくなってほしい もっと省エネや自然エネルギー導入を積極的にすすめたい 二度と原発事故を起こさないためには原発をなくすべき 自然エネルギーによる分散型の電力システムの方が安心で地域経済の活性にも貢献する 子どもや孫、その先の世代に、核廃棄物をこれ以上残したくない 地震が起きるたびに原発を心配する暮らしは極めて不健康 六ヶ所再処理工場や高速増殖炉もんじゅを止め、核燃料サイクル政策から撤退すべき
30464	個人	自営業	50代	男性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対しての意見です。 ゼロシナリオを指示します。原発は即刻中止すべきでしょう。 さらに、原発に頼らない技術の開発により経済も潤うはずです。	日本に大きな地震が多いということを考えてやはり原発は危険です。 また原発が必要という意見は信用できません。 原発ゼロになれば、代わりのエネルギーの開発に本気になれる。 日本が本気になれば必ず成功すると確信しています。
30465	個人	会社員・公務員	40代	男性	今回のエネルギー・環境に関する3つの選択肢は、いずれも問題は多いが、強いて選択すれば、「20－25」シナリオが妥当である。	エネルギー政策は、国民生活を支える重要な基幹政策であることから、どの政党が政権与党となっても、受け継がれなければならない。 今回、東京電力福島第一発電所の事故により、エネルギー政策を見直しする必要性は理解するが、被災地の復旧・復興が道半ばにあって、感情論に流されやすい時期に、このような国民から意見を求めることに強い疑念を感じている。 まずは、被災地の復旧・復興と、二度とこのような事故を起こさない、起こさせないとの国民への強いメッセージを発し、安心感を与えたうえで、国民生活、産業生活を支えるエネルギー政策を決めるべきである。 そのうえで、今回示された3つのシナリオについては、再生可能エネルギー導入量の実現性が極めて低いと考えられるとともに、仮に実現するためには、国民負担の大幅な増加が見込まれ、最終的に苦しむのは国民である。 したがって、3つのシナリオの内、比較的国民負担の少ない「20－25シナリオ」以外は、到底考えられるものではない。 政府には、国民生活、経済活動に及ぼす影響を分かりやすく国民に伝えるとともに、理想論で国民を扇動するのではなく、現実的政策の実現に向けてリーダーシップを発揮してもらいたい。
30466	個人	パート・アルバイ	30代	女性	原発ゼロシナリオを選びます。	福島第一原発の爆発事故により、原発の絶対安全は証明されていません。原発ゼロの為になら、節電でも…どんな努力でもします。
30467	個人	無職	70代	男性	原発0%。人命あっての エネルギーだと思います。 廃棄処分方法が確立出来ていない原発。 福島原発事故の再発を阻止。 日本は地震国でどこでも地震は起こりうり、又、自然の恐ろしさは測れない。	原発0%。 原発事故の教訓を生かす。ここ50年東海大地震が来る来ると言いながら神戸淡路、東北などに大地震が起きている。日本列島は火山列島であり日本国は地震国です。何処で地震が起きても不思議ではありません。もともと原子力発電には適していない国なんです。 自然の脅威は測り知れません。今度は20m以上の波が発生するやもしれません。 福島の事故で原爆と変わらない自然に対する被ばく被害が出ています。 原爆投下を非人道的と避難するなら、原発事故も人為であり、原発そのものも避難されるべきと考えます。代替えエネルギーはドイツ国のように自然エネルギーを国策として政府が前に出て全面的に推進すべきだと思います。
30468	個人	無職	60代	男性	原発ゼロシナリオを支持します	放射性廃棄物を無害化する技術が無く、たかが電気のために数万年に及ぶ子孫に対して危険を押し付けることは倫理的に許されることではない
30469	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電の削減と同時に、安定して安価な電力の供給をお願いする。	福島の原子力発電所の事故は超越した自然災害とともに発生したものではあるが、やはり原子力発電の安全性に関しては不安要素は100%なくなる事は無いと思われる。よって、原子力発電は可能な限り少なくする必要がある。 但し、人々の生活を考えた場合に直ぐに原子力発電を無くすような考えはありえないとも思われる。それは、原子力発電を無くして、今までのように安定していて且つ安価な電力の供給が行えるとは考えられないからである。 私は日本で人々が生活していくには仕事、食べ物、安全は欠かせないと思っ るが、いずれも電力は関係してくる。 仕事に関しては殆どの職場では電気を使用する。特に製造業はその比率が大きいと思う。電気料金が大幅に上がると製造原価の増大、売値の上昇、消費の冷え込みが起こり社員の給料削減、採用者の削減が行われる。あまりに苦しい場合は人件費の安い海外移転もあり又る。 また、電気の安定供給に関して、ゼロシナリオ化した場合に、私たちが働いている日本の職場に安定して電力が供給できるという保障はあるのだろうか。 安定した電気は製造業では必須である。不安定な供給では製造原価が上がる一方であり、製造できなくなる事も考えられる。 安定して安価な電力が無ければ日本での製造業のメリットは無く、むしろ海外進出をするしかなくなり、日本の企業は空洞化どころか消滅さえ考えられる。 よって、電力に関しては長く考えてシナリオを作って欲しい。安全・安定・安価な方法を最終目標としていきなりゼロシナリオではなく段階を踏んで最終的にゼロシナリオでいけるような事を考えてはどうだろうか。たとえば15年後の目標を原子力15%削減において様子を見ること。さらにその後の経過観察3年、次に8年後に25%削減を行い、経過観察実施。最終的に30年後にゼロを目指す。 というような考え方であれば納得できる。 話を極端に持っていき、国民へ意見をうかがうのは如何かと思う。 まずは安定して安価な電力の供給の検討をお願いする。
30470	個人	自営業	50代	女性	原発ゼロ	これから　続いていく生命を育かす放射能をこれ以上出したくない
30471	個人	会社員・公務員	50代	男性	2030年の原子力依存度が、「ゼロシナリオ」に賛成です。	私は、2030年の原子力依存度が、「ゼロシナリオ」に賛成する。 理由は、以下の通り。 1．日本は、地震国であり、全国に活断層が多く、津波の被害も 3.11の地震で証明されている。 2．どんなに安全な原子力発電所を作ろうとも、人間が作るものには、必ず「完全」ということはありえない。いくつかの前提条件のもとでは、「安全」を「保障」できるが、自然の力には、人間の作った前提条件は通用しない。 たとえ、様々なリスクを想定して対策をとったとしても、「想定外」がひとたび発生すると、手がつけられない事態になり、何十年も国全体に後遺症が残る。 3．原子力関連の技術開発には、これまで多額の研究開発費を投資してきており、技術力としては、かなり高いレベルにあるが、この分野で培った技術を再生可能エネルギー開発や、バイオテクノロジー開発の分野に引き継いで、発展させるほうが、メリットが大きいと考える。 原子力以外の技術力が高まれば、今までとは違った視点で、原子力や素粒子力を安全に活用するノウハウが獲得できると考える。 従来の原子力の活用方法は、核分裂エネルギーを制御棒で抑制するという粗っぽい方式であり、放射能拡散を水や粉で封じるといった20世紀前半の技術がベースになっている。 バイオや素粒子、光エネルギー等の技術が進歩すれば、放射能のリスクのない、安全で小型の発電システムが可能になるに違いないと考えている。 4．「フクシマ」の教訓をもとに、日本から世界に向けて「地球環境保全」をアピールしていき、地震国ならではの視点から、真に災害に強く、地球環境に悪影響を与えない人類繁栄の道を切り開いていくことが、重要である。 5．原子力発電所の運営維持費は、フクシマの事故により、従来よりも多くの大きな災害に被災しても安全であるための対策や、周囲への定期的な防災訓練活動費、場合によっては核シェルターのような設備まで用意しなければならなくなり、採算が合わない状況になることが明白である。

30472	個人	自営業	50代	女性	ゼロシナリオを選択。直ちに実現に向けて進むべき。 使用済核燃料処理問題、大地震がいつ起こるか分からない状況、メンテナンス時の被爆問題など、解決できない問題を抱えている原発は直ちにやめるべき。	ゼロシナリオを選択する。 第1に、使用済み核燃料をはじめとする放射性廃棄物の始末ができない。 すでに日本は核のゴミを保有している。その始末もできないのに、さらに大量の、危険で生命を脅かす負の資産を我々はずっと末代まで残そうというのか。 第2に、地震国である日本の海岸線をこれ以上たくさんの原子力発電所で取り囲むことをやめなければ、日本と地球は滅びてしまう。 愛知県でも、「東海・東南海地震後は必ず起きるし、明日起きてもおかしくない」と言われ、大地震への備えをするように努めている。そんななか、原発は大丈夫とどうして言えるのか、理解に苦しむ。 第3に、今回の原発事故は、原発のメンテナンスにかかわる労働者の日常的な被曝が避けられないということを教えてくれた。 そんなものは、私はいらない。 第4に、エネルギーを理由に、一部の者が利益を隠匿し、国民を侮辱し続ける「原子力村」を失くさなければならない。 一般国民はいつまでも愚弄されたままではいない。 優秀で勤勉な日本人は、代替エネルギーの開発はもちろん、暮らしの質を変えることさえ大胆にやってのけるだろう。その道を示せる政府を私たちは望むのであって、経済界の既存の古い発想に追随するだけの政府はいらない。原子力村と一緒になって、国民を愚弄する政府はいらない。今、原発を有する地域に対しても、原発に変わる地域振興策を提案していってほしい。国民の叡智を集め、ゼロシナリオへの道を進みたい。
30473	個人	会社員・公務員	50代	男性	私は，ゼロシナリオを支持します。	核分裂反応の熱により発電を行う原子力発電所は，原子炉，発電機のほかに熱交換器，冷却塔，水・蒸気配管，バルブ等が多用されたひとつのプラント設備と認識しています。 私は建築系の技術職ですが，建物，構造物，機械設備というものは，地震その他の災害に対しては，どんな手だてを講じても最終的には壊れてしまうものです。また，どんなに優れた材料を使って精度の高い水・蒸気のプラント設備を構築したとしても，未来永劫に渡って漏洩の起こらない機械装置，水配管，蒸気配管は，現在の技術ではあり得ません。更に言えば，保守管理，運転操作に伴う人為的なミス も人間が自らゼロにすることは出来ません。 つまり，一旦環境に放射性物質が漏れ出せば一般国民に対して広域的，長期的，壊滅的な影響を及ぼす核物質を燃料とする原子力発電は，現段階では他の発電方式と比べて大き過ぎるリスクを孕んでいると言わざるを得ません。それは今般の大震災時の福島第一原発の事故及びその後の経過を見れば明らかなことです。 私たち日本人は，今まで原子力発電及び日本の電力政策についてあまりにも無知すぎました。その無知のお陰で，見かけ上ローコストかつ温暖化対策上有利な原子力発電所の建設を容認し，その対価として安い電力料金の恩恵を享受してきました。 その私たちが今，先の震災と原発事故という災厄を経験し，大きな犠牲と代償を払って原発の危険性と事故の波及力，影響力を自ら実地に検証しつつあるのです。斯様な事態に突入してしまった以上，この地震大国日本に於いて今後も原子力発電に依存した電力政策の継続はあり得ないと私は考えます。 多数の原子力発電所の廃止，廃炉や使用済み核燃料の処分及び再生可能エネルギー発電の促進という大きな政策の転換に当たっては，電力コストのアップや不便な生活への逆戻りなど，一般国民も少なからず影響を被ることでしょう。 しかしながら，あの事故を身をもって経験した日本人であれば，自国の未来のために心して我慢すべきところは我慢し，むしろ出来る限りの協力をすべきと考えます。 現代に生きる私たちとしては，子々孫々の時代に向けてこれ以上リスクを積み重ねて行くことだけは，絶対に避けなければなりません。 以上が私の意見です。
30474	個人	会社員・公務員	30代	男性	正直、原発以外のエネルギーならどれでも良い。原発は少なくするのではなく、完全に廃止するべき。	自然の絶対法則が通じないエネルギーなど使うべきでない。
30475	個人	無職	60代	男性	原子力発電の安全性を高め、日本の経済成長に見合う、原発依存率を達成する。	再生可能エネルギー等では、経済成長に見合うコストでのエネルギー供給ができない。
30476	個人	家事専業	40代	女性	原発ゼロシナリオ（即時） 大飯原発も即刻止めて、すべての原発を即廃炉へ！！	今後、原発を動かせば動かすほど、核廃棄物は増える一方。 そのゴミの行き場も処理の方法もないのに、 再稼動を続けてゴミを増やしていはずがない。 そもそもこんな地震大国日本で、原発を稼動させるなどもってのほか。 これ以上、事故が起きたら日本は本当にダメになる。 経済云々の前に人の命。人の命あってこそ経済が成り立つ。 経済は決して原発によって成り立ってなんかいない。 目を覚ましなさい。
30477	個人	無職	60代	男性	原発依存度２０－２５を支持します。	原発依存度２０－２５を支持します。本来であれば原発依存度を３０－５０程度まで上げてゆくべきと考えるものですが、不幸なことに1000年に一度の災害とは言え、原発事故が起きてしまったわけなので、このような主張は現時点では差し控えざるを得ないと考えます。 理由は下記のとおりです。 1. 原発は二の40年間大きな事故もなく、経済合理性、エネルギー安全保障の面から日本経済を支えてきました。この原発をいきなり停止し、電力コストの上昇を招けば、ただでさえ円高で苦しんでいる日本経済の国際競争力の低下を加速することになり、ついては日本企業の海外移転、それによりもたらされる失業、貧困の増大を招くことになりえません。 2. 原発即時停止によりすぐに使える代替エネルギーは化石燃料しかなく、発電コストの増大は免れませんし、エネルギー安全保障面でも問題があります。原発はNO．電気料金値上げもNOでは日本の電力事業は成り立ちません。 3. このような中、風力、太陽熱、地熱といった再生可能エネルギー待望論が活発になっていますが、期待感だけが先行し、経済合理性、安定性、安全性、供給力を含め原発を代替しうるものなのかは実証されていません。このようなものに期待して原発ゼロを主張することは博打と同じで、少なくとも国家戦略としては成り立ちません。 また固定価格買い取り制度は電気料金の一方的な値上げと同じであり、企業、国民の負担が莫大度に応じて増大し、経済合理性面からも永続には自ず限界があると考えます。 4. 以上により、まずは今回の原発事故の原因を分析し、原発の安全性を高める技術開発を促進し、10年程度をかけて原子力、化石燃料、再生可能エネルギーの中で最も適正なバランスを選択してゆくことが大切だと考えます。 5. 今回の東日本大震災での死亡者数、行方不明者数は2万人に達しており、最近では首都圏直下型地震、東海地震の話が報道されていますが、対象地域の海岸線すべてに高さ40メートルの防波堤を作るべきという話はあまり聞きません。原発しかりで、あくまでコストとリワードとのバランスが大切だと考えます。 以上
30478	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電所の再稼働が画策されているが　福島の事故でも証明されている通り　きちんと運転できていないことは確かである　全ての原発の廃止と　再稼働について反対する	最低の処置すらできないで　えらくいいかげんなストレステストを言い訳に　再稼働をするというのは　国民の意見軽視も甚だしい　事故調の結果を見ても　何一つ対応できていないという事がよく分かる　何かできていたことがあったというならば　言ってもらいたい　通信簿で言うならば　オールーどころか　オールゼロではないか　そんな状況で　ストレステストに合格したからと言って誤魔化して再稼働することは　絶対許せない こんな状況の中　建設中の原発の工事を再開するとか　いつまでもどうにもならない　もんじゅを維持し続けるなど　いったい国民の税金を何だと思っているのか　さらにその穴埋めに消費税を上げるなど　もってのほかである　今までこの間違った政策を推進し続けてきた連中を　総括して徹底的に原因を追究するべきであろう　ただちに　原発の稼働は取りやめ　全ての原発を即刻廃炉にするべきである
30479	個人	その他	30代	女性	もちろん原子力ゼロの社会をなるべく早急に実現。これ以外の選択はない。	原子力産業にまつわるとても多くの嘘や隠し事が福島を機にどんどんあかるみに出て来ており総括原価方式や原発で電気をつくるしくみなど 日本国民の間に金持ちと層でない人、被爆する人、金を だして安全な食事を買う人など様々な格差を生み出す社会をこれ以上つくるべきではない。 とにかく、核廃棄物の問題やウラン が石油以上に枯渇が早いなど 原子力はもうこれ以上地球において人類は手を出してはいけないし、 手に負えないという事がもうわかっているのに、 それずっと頼って行く姿勢は自らを破壊へ追いつめていく以外の何者でもない。 そんな原子力からは金輪際手を引いて行くのが賢者の選択だと思っている。 地震国としても早くその決断をするべきだし、4号機のプールだってどうなるかわからない所で大飯を再稼働させてのは国民の民意を明らかに無視した いじめである。 日本国民は賢者であると信じているし、 原子力ゼロの社会はすぐそこまできている。 どうか原子力ゼロの社会を決断して下さい。 こころからその社会が来る事を想像しています。
30480	個人	自営業	30代	女性	ゼロシナリオを支持します	危険な原発から順次廃炉にして原発ゼロの目標に向かってエネルギーシフト。 エネルギーの変換は、暮らし方の変換になる。行き詰まっている社会の様々な問題が同時に変換されることになる。 一方で、原発の後片付けは最重要項目であり。膨大な年月とお金を使い、労働と研究と議論をおこなう。 福島の事故は今なお大変に悲惨ですが、国民が人任せにしていたツケがまわってきものです。 この危機の中で、活発化したり生まれつつある活動があります。 近代経済発展をとげた日本人の能力とその活動は符号すると思えます。 日本は新たな成長することが出来ると信じます。 国民性を発揮して、主体的に学び、開発し、労働し、地域が調和して、次世代に豊かな暮らしのできる国になりましょう。 ２０３０年の予想を書きます。 人口は、2010年の86%になります。 →日本は省エネ技術もすばらしいですし人口減少と相まって消費電力は減るでしょう。 65歳以上の人が増えて全体の31%になります。 →高齢者が増えると自家用車が減り公共交通の利用が増え省エネになります。 気温は0．2℃上昇して夏場の寝苦しい夜が増えます。 →住居の見直しが省エネを後押しする。 貧困率が上がります。特に若者の失業率が増え貧し え。貧しい家庭に度まれると貧しさから抜けにくい社会構造になっていきます。 →中所得、低所得向けの省エネ家電に買い替えを助けるファンドが興る。 すでに自殺者の多いことから暮らしにくさが表面化してますが、現状の経済社会で暮らしにくい人が増えます。 →その結果、 お金によらない生活や、生物本来の自然に調和した生活、もしかしたらお金で何でも手にいれられてしまうことに疑問をもち自分の能力を高めるために、 人が都市から田舎へ流動します。 →どれていた田舎と都市の交流が活発化し産物以外にも教育などの新しい交流がうまれ多層的に交流が深まります。 →住民から地域の自立や自治が重視されて、住民が動くボトムアップで自立や自治がされる割合が増えます。 福祉、食料、娯楽、情報、エネルギー等、暮らしを地域でまかなおうとする市民、地元企業、地元行政の活動が活発になります。 どうか国は国民が暮らしやすい社会になるように例えば次のような活動に協力してください。 ・地域住民らが地域の自立、自治のツールとして行う自然エネルギーの活用。 岡山県北の中山間地域で活動している井筒耕平さんの論文「地域での自然エネルギー普及に向けた推進組織についての研究」があります。 http://www.slideshare.net/koheiizutsu/2012dissertation エネルギー政策を考えるときに次のことを観点に入れてください。 ・雇用、教育、若者に機会が豊富か、経済競争力 経済競争力に関して、 原発の新規建設には，リスク管理の厳重さが求められます。フィンランドで来年新設される原発はリスク対策を厳重にした結果1兆5千億円かかったそうです。日本の原発の建設費は約6千億円です。浜岡原発2004年製の最新鋭の原発がパイプに施したキャップの外れが原因で最悪廃炉になる故障をしています。原発にコストカットは認められません。 ゼロシナリオでは，火力発電のための燃料購入費が経済負担となりますが，原発新設も大きな負担になります。 長期的に経済競争力をみたら地域で自然エネルギーを進めることに力を注いでいただきたいです。 自然エネルギー市場は成長が見込める上に技術的に日本は優位です。 そして国は予算や規制など枠組みを司りますが、お金がかかるボトムダウンだけに目を向けるのでなく、お金のかからない地域や市民からのボトムアップの力を協力したり利用することに目を向けられないでしょうか？国民がみずからの力で豊かになることを後押ししてください。
30481	個人	無職	60代	女性	選択肢のシナリオがどうしてあのような提示のものになるのか。 その中から選ばなくてはいけないのなら「ゼロシナリオ」しかない。 廃棄物の処理問題が全く解決されていない原発は、即、脱原発です。	福島原発事故から1年4ヶ月。あれだけの事故を起こしても誰も責任を取っていない。事故により生活を奪われた人々の先の見えない今後。 責任が取れない、決断・指示が出来ないものを稼働させてはいけない。 政府が発表している発電量によれば、原発を止めても停電しない。 他のエネルギーを開発・活用し、我々も生活を見直す事が必要。 大量の高レベル放射性廃棄物を生み出し、その処理方法も確立していない原発。 政界経済界では「原発輸出」「原発特需」に燃えているようだが、自国の事故処理が出来ないものを売る神経が理解できない。 世界中で大量に廃棄物を保存していれば、近い将来世界は滅びるであろう。
30482	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電は必要。原子力発電を止めては火力発電や水力に頼るしかない。 電気料金が跳ね上がり会社が倒産して失業率が増え、自殺者が増える。反原発運動は人殺し運動だ。	原子力発電は必要。原子力発電を止めては火力発電や水力に頼るしかない。 電気料金が跳ね上がり会社が倒産して失業率が増え、自殺者が増える。反原発運動は人殺し運動だ。無用な節電を国民に強いて、お年寄りが70人以上死んでいる。政府と反原発運動家とマスコミの煽動により合法的な殺人が堂々とまかり通っている。震災で死者が出ていない原発を、科学的根拠無いまま危険を煽り、死人が何人出ても気にもしない反原発運動は人間に対する殺人運動だ。 また、安全保障の上で抑止力になる。中国や北朝鮮が日本を狙っている。特に、中国は必ず、尖閣と沖縄を取りに来る。日本に核兵器に転用出来る技術があるのは抑止力となるから大事。何より日本は原発を海外に売っているじゃないか？外国は日本の原発の技術レベルが世界最高だと言うことを知っている。 もっとエネルギー効率のいい発電技術が出来るまでは原発は必要だと言う。 ホルミシス効果により、低放射能は体にいいことが知られている。直接放射能を浴びていない地域は体に影響はない。いたずらに危険をあおるのは止めて、避難生活を止めさせて本の生活に戻れるよう安全宣言を出して欲しい。 一国も早く原発をフル稼動して、景気回復を図り、失業者、自殺者を減らすべきだ。LNGなどで3兆円コストが増えている。税収が足りないと言いながら天然ガスを買っている。ふざけた話だ。国民をダマすのは止めてくれ。
30483	個人	無職	70代	女性	現在日本にある全ての原子力発電所を出来るだけ早く廃炉とするように、政官財学が協力して行動し、実現してほしい。	今回の2011．3．11の福島での原発事故で、私は日本にはたくさんの原子力発電所があって、それらが危ない現状であることを知ることとなりました。 すでに耐用年数を超え危険が予想されながらも、地元の雇用を守りたい自治体の要望で運転を続けている原発がいくつも存在すること、活断層など地震の危険がある場所にも原発が存在すること、発電することにより必然的に出て来る放射性廃棄物の処理方法は未だに模索中で世界的に課題となったままであることなどの、原発の危険な情報は国民には故意に知らせない組織的な活動が長くなされてきたことなどを知りました。 電気が国民の生活と産業の基礎であることは十分理解しています。 しかし、福島の原発事故が歴史の大きなターニングポイントなのだと知らされます。原発から一日も早く安全な電気を供給することに政官財学が協力して欲しいと思います。（政局で混乱している場合ではありませんよ！！！） 私は原子力発電を続けることに反対です。私たち、今生きている日本人だけでなく、将来の世代がこの日本、この地球で生きていくためには、苦しくても止めなければならないのです。ゼロにしていかなくてはなりません。 それが、原子力発電に関わってきた人たちだけでなく、その電気の恩恵を受けていた私ども国民の責任だと思っております。

30484	個人	無職	50代	男性	地球人類は、約12,000年前の、ムー・アトランティス文明の消滅と云う過去の経験を鑑みず、又、原子力で滅びようとしている。人類は、まだ原子力を完全に制御し、使い切ることは不可能である。	太陽光を集光凝縮という技術があります。集光凝縮点に於いて 100万℃の超高温場を使い、蒸気発生・物質消滅・新化、工学・新物質の合成等様々に応用可能です。化石燃料を使った全てか停止させる事が出来ます。 今日まで、何回となく国会議員に提案をしたが、尽く、潰されてきた経緯がありますし、世界中のエネルギー発明者たちは、何百人も命さえ取られています。 今回の提案も、命がけで書いております。我が国の本当の独立がない現状に於いて、軍産複合体を元、原子力利権・石油利権・三極委員会の支配下の経団連・国会議員のロ利利権、等より、 当個人の生命を完全に保護出来る個人の安全保障が出来るので有れば コンタクトして頂ければ、特許等を主張せず、この技術を完全公開し、国家に身を呈する覚悟で有ります。
30485	個人	その他	50代	男性	原子力発電所の廃絶を望みます。 原子力の力、災害、年余にわたる被害を、人間は制御し得ないと思います。	原子力発電所の廃絶を望みます。 原子力の力、災害、年余にわたる被害を、人間は制御し得ないと思います。 原子力にかかわる方がが、本当の科学者であること、利益を超えて安全を考えられること、 今回の被害者に対しての想像力をもって対処すること(もし、自分の家族だった？)などを 期待します。 3.11. 以後の日本が変わっていないことを、大変残念に思います。 原子力政策しかり、政治しかり、経済界の人々の考え方など。
30486	個人	パート・アルバイト	30代	女性	ゼロシナリオを支持します	関西は「電力が不足する」ということで1基のみ再稼働をしました。 今のところ、電力が不足しているということはありません。 省エネルギー化が進み、皆の節電意識によっては電気は節約できるということだと思います。 今年度末に向けて続々とメガソーラーの設置も進んでいますが、太陽光発電の普及もあって、この先「どうしても原発が必要」ということはないと思います。 むしろ維持費や処理費、放射性物質のリスクを考えると、こんなに非効率的な発電方法はないと思います。 原発はいりません。 今あるものも古いものから順番に廃炉にするべきです。 新しい原発もいりません。 私はそれよりも省エネルギー意識を高めて、ちょっとの我慢が出たとしても、放射能測定値を気にせず買い物をして、安全な食べ物をおいしく食べられる方を選びたいです。 子供たちが将来、不健康な生活を強いられることのないよう、大人は努力するべきです。 経済も大事でしょうが、国民が病気になって医療費の増大を招き、生産性を低下させる方が、長い目で見るとロスは大きいのではないでしょうか？ 一時しのぎを続けると、この先日本は破たんすると思います。 決定権を握っている人たちは、もっと長い目で見て欲しいと思います。
30487	個人	会社員・公務員	60代	男性	ただちに全ての原発を廃炉する作業を開始する。代替エネルギー確保・開発を図る。	（理由） (1)福島原発事故に対する東電、政府の対応を見て、原発は事故が起きたらコント　ロールできないものであることがわかったから。 (2)事故に対する東電、政府の対応が余りにも無責任で、住民等の生命、安全をニ　の次にしたものであることがわかったから。 (3)原発がなくても節電に努めるならば、電気は足りることが判明したから。 (4)代替エネルギーの開発のほうが、新たな技術開発、雇用確保等を生み出すと思　われるから、等。
30488	個人	会社員・公務員	50代	男性	20～25シナリオを選択。日本の産業力は6重苦と震災の影響で、先進諸国の中で弱体化。新興国の追い上げにもあっている。これ以上企業へ負担を強いた場合、海外への投資が加速し日本の経済力に影響を及ぼす。	日本が直面する諸問題に対して、現状分析と今後の見通しは以下を考えている。 ・デフレ：過去10年間続いているデフレは、圧倒的な需要不足を背景としている。これは一番お金が必要な購買層である20～40際代の人口が減少していることによる需要減と、50歳以上の世代が将来に不安があり、貯蓄ン消費に起因している。今後、出生率の改善が大幅に見込める可能性がすくなく、当分デフレは続く。 ・円高：デフレが続く中、他国と比べて貨幣価値の変わらない円は人気が高く、円高も修正されない。政府による介入は為替市場規模に比べて焼け石に水。日本がデフォルトでもしない限り円高は修正しない。 ・政府支出により景気対策：国の借金が1,000兆円をこえて、国民の個人資産総計を越えそうななか、これ以上赤字国債発行による支出を増やすのは得策ではない。また、政府支出を景気対策にあてても数10兆円規模と現在のGDP500兆円に比べて、あったら良い程度の効果しか期待できない。ケインズの時代は財政支出に対する経済規模がまだ小さかったうえ、景気が上向けば財政黒字になり過去の赤字をオフセットできる可能性があったが、いまは考えにくい。また消費税による増税も10兆円規模と大きな改善は見込みにくい。 ・電気代の値上げ：産業のベースとなっている電気代をあげることは、そのままコスト増。新興国では政府補助をだしてまで安い電気代を供給しているのに比べれば、国際比較で産業力が低下する。 ・再生可能エネルギー：太陽光発電の発電効率ひとつをとってもまだ低く、コストと効用を比較しても商業的に未熟な技術。2030年までの18年間で革新的な開発が進むことをベースにするのは危険な選択。 以上のように、日本の経済を支える状況は大幅な改善が期待できない中、電力の供給、コストに負荷をかけることは、更なる経済縮小を招き、雇用の減少、個人所得の減少につながり、日本国民の将来の生活に多大な影響を及ぼす。 原発の安全性については、暴走防止、密閉強化というリスクマネージメントの問題であって、原子力というもっとも効率のよいエネルギーを発電に使うことを否定するものであってはならない。そもそも地熱とは、地球全体の核分裂から生じたエネルギーであり、自然界においては特別なものではないはず。かなり危険で毒性のあるものであっても、リスク管理を厳重にしてマネージしている化学産業のプラントの例もある。但し、今の東京電力の体質にリスク管理を任せることは、人材、能力、気概、組織の仕組みから言っても絶対に反対である。 結論から言って、原発の廃炉、再生可能エネルギーへの変換を急激にやると日本経済への影響度合いが大きい。30年～50年のスパンで物事を考えるべき問題と思う。
30489	個人	会社員・公務員	50代	男性	(1)ゼロシナリオ	現在の電力会社と政府には危険性のある原発を運営する能力はないと判断する
30490	個人	パート・アルバイト	40代	男性	原発0シナリオを求めます	代替エネルギーの開発に国家として最大限の努力が必要と考えます。 今すぐに代わるものがありませんので、2030年までに0シナリオを掲げるのは 我が国の目標として当然のことと考えます。 なぜなら事故を起こし、国家予算を投入しながらも刑事責任を問うことも出来ない1企業が 国民の生活、日本の経済から切っても切り離せない電気というエネルギーを独占しており、 そこに民意が投影されない、という歪な体制に国民が最大限の縮小を望むことでしか 原発に頼らない国家、もっと理想を言えば出来得る限りの再生可能エネルギーだけで まかなえる国家、に1歩でも近づくことは難しいと思うからです。 今から出来る、出来ないの判断をすることより、 最大限の目標に向かってやってみるという意思が必要と考えます。 それに関しての国民負担は当然必要だとも考えます。
30491	個人	無職	60代	男性	原発は、ゼロにすべきです。国を挙げて、自然エネルギーを推進すべきです。	国民みんなで、自然エネルギーの導入をすすめましょう。政府がリーダーシップを取りましょう。政府は、原発ゼロの姿勢をすぐ表明してください。太陽光発電の技術は、めざましいものがあります。私も、太陽光発電をはじめることにしました。約4kwで、175万円（工事費や附属機器込み）の予算です。補助金が約14万円は、決して十分ではないですが、5年ほど前に比べると設置総費用はかなり安くなっています。パネル1枚あたりの出力もあがっています。1kwあたり、42円の買い取りなので、今から楽しみです。普及すれば、パネル生産企業はもちろん、屋根工事会社、電気関係業者など、多くの雇用と収益が見込まれます。かなり大きな景気刺激策になると思います。石油危機の時、日本は省エネ技術を磨き、それが、今日の自動車産業などにも大きく貢献しています。「原発ゼロ」は、日本の経済発展にとっても、絶好のチャンスです。補助金の引き上げや、消費者に負担をかけない買い取り価格の引き上げを、どんどんすすめましょう。東芝や三菱、GEだけが、収入を得るような原発依存は、やめましょう。たくさんの国民が、日本各地に、小型発電所（屋根や小さな水路での水力発電、風力発電etc）をつくれば、電力への関心が高まり、節電が進むでしょう。原発ゼロで未来が切り開かれます。
30492	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを選択します。	原発事故等が発生したときのリスクはあまりにも大きすぎます。そもそも原発に「絶対安全」などあり得ません。原子力発電所に関しては、いかなる対策を講じたとしても自然災害に抗うことは不可能です。誰もが考えればわかることだと思います。ゼロシナリオしかないでしょう。
30493	個人	自営業	40代	男性	原子力発電所について	福島県での原発の状況で、再稼働する事はおかしいと思います。 みんなの未来の為に安全なエネルギーを使用するべきです。
30494	個人	会社員・公務員	40代	男性	脱原発をすすめよう 原発0の国をめざして	原発による今回の事故は、想定外のものでした。原発自身の技術的な進歩や、現段階での安全性については 一定の理解をしてきたつもりです。しかし、今回の津波被害の現状はいかがでしょうか。自然の脅威をまざまざと見せつけられ、被災者たちの顧いもむなしく1年経った今でも、居住区の整理すらつかない状況です。自然の脅威を前にすれば、わたしたち人間の力など微力なものです。人間が人間の力で制御できないものを国へ持ち込むべきではありません。 将来への負の財産を残すべきではありません。 電力供給の問題であれば、経済規制をもってでも（家庭における家電の総使用量規制や、24時間稼働の商業施設への規制など）国民ひとりひとりが身をけずってでも、非核をつらぬく姿勢が求められています。経済優先の利権政治のつけは今問われているのです。東北の痛みを分かちあい、将来にむけた1歩を踏み出すためにも、ぜひとも英知を集め、新しい日本のエネルギー政策を打ち出してください。最終処分場すら確定しないようなシステムが未来の日本に何をもたらすのか・・見えないはずがありません。豊かな海と、豊かな風土、規律正しい日本の文化と暮らしを守ることが最も大きな課題なのです。
30495	個人	無職	70代	男性	選択肢（1）、（2）、（3）に反対し、事故の教訓を生かした代替案を示します。	（主文）：選択肢（1）、（2）、（3）に反対し、事故の教訓を生かした代替案を示します。 （反対の理由） A：（1）、（2）、（3）はいずれも、いわば、10円で買える電気を、原油やガスの値段等国際情勢からみると、あらかじめ10．××円～20円という高値で買わなければならないことになる義務を強要した選択肢の提示であり、経済の加減乗除が無視されているので、受け入れ難いものです。経済の実力を踏まえた柔軟で冷静な設定を望みます。 B：おおかたの国民生活を、「水は天からもらい水」というような、天気エネルギーに依存させるという選択は、近代文明生活には馴染まないと考えます。レントゲン検査・CTスキャン等、放射線の量を推し量りながら利益を得ている現状を知りながら、「にっくき放射能として、放射線の存在そのものを許せないという感情に寄った政策変更要求」が一部に伝えられますけれども、自然や科学を無視した片手落ちの寝見であり、現在でもなお戦争や飢餓が生じているという人間の歴史に鑑みた落ち着いた大人の対処が求められます。欲しがりませんという過度な我慢と、塗炭の苦しみはディメンウムルということであります。 C：エネルギー価格の上昇は、ほぼ全ての生産物の価格上昇を招き、我慢生活を強いる結果となり、生活低下はあっても生活向上に繋がらないと考えます。 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝ （代替案）、 A：2010年の1．1兆KWHについては、原発26％、化石63％、再生可能10％、という比率は維持する。1．1兆KWHを超える発電電力量について、提示された選択肢を含めた柔軟な電源構成比率を試されたい。超える部分は各社が充分に回収できる投資として負担できる社会の絵姿（電柱・電線・広告・電板等が見苦しく、外国にみられる瀟洒な街並みには残念ながら劣っていると認めざるを得ない現在の街のありようの改善や、積極的に老々介護の社会保障に予算を配分する等）を示されたい。 B：原子力発電所の運転継続については、組織改正も含めた事故解明とその教訓を生かした具体的反映があることを必須条件とする。 C：既設の原子力発電所については一定（40年）期間内のリプレース（基本的にインターバルは設けない）によって、設計・製作・検査・運転のサイクルを回す。 これにより安全確保策の不断の向上を図り、炭酸ガス抑制・国際的価格競争力の維持・生活の安心電源等・として原子力発電をベース電源として位置付ける。近来の原子力発電の稼働率が低いことは、安全対策の未実施・技術力の低下・技術の伝承・研究開発等が的確になされていないことを意味しているかも知れないという懸念がある。 稼働率が低いことは電力価格低減効果が小さいことにも繋がっていると考えられるので40年リプレースを提言するものである。 これは、炭酸ガス低減の姿勢を安定して継続することにもなり、これからの快適生活環境づくりをベースとして担うに足る選択であると考える。 D：総発電電力量の26％を占める原子力発電所の稼働率向上は、安定した供給に繋がり、かつ、ある程度エネルギー需要増加の吸収に寄与できると考える。 E：ベース電源とした原子力発電所の安定高稼働によって、3・11事故の賠償・後処理費用・放射性廃棄物処理費・安全対策費・研究開発費等を安定して捻出する。 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝ （代替案提示の理由）：3・11事故は、安全対策の不備と未熟な事故対応によって、惨事となったと考えられるので、事故経験の教訓を生かし、少なくとも50の有余基（約25兆円以上）の原子力発電所の運転を通して賠償や事故処理問題等に当たることができると考えます。パブコメ募集は3・11事故を契機としていますが、3・11については、事故解明とその後の問題解決策を講じることが本質であり、放射線に対する恐れや嫌悪感に基づいた電源構成比率の見直しは正当な理由として認め難いものです。広島・長崎に現在居住ができていることは注目すべきであります。 A：チェルノブイリ事故以降、外国では進められていた安全対策が、日本では行われていなかった（2012年8月4日：日本原子力学会SNWシンポジウム・どうする日本のエネルギー）ということです。 従って3・11事故については、想定外の津波であったとしても、その後の対応については、安全対策の不備と、適切な技術的能力の発揮がなされなかったこと（複数の事故調査報告書）による惨事として捉える事が至当と考えられます。 B：3・11事故の被害は大きかったにもかかわらず、伝えられる当事者の対応は、事故解明に積極的に取り組むよりは、想定外の災害を強調し、かつ現在の組織防衛という点を優先した姿勢が主流のように伺われ、これは、現在の主当事者では3・11事故解明を生かした今後の原子力発電所の安全運転は難しいことを、自ら示すものではあるまいか、と推量されます。 以上
30496	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオに賛成	原発は要りません。 日本には、原発を管理出来る能力は有りません。直ちに、全ての原発を廃炉に向けて舵を取るべきです。
30497	個人	パート・アルバイト	40代	女性	エネルギー・環境に関する選択肢、これは原発依存度、即日0%を支持します。 2030年度までに脱原発というのは、それまでは現状維持、もしくは少しずつ減らすという意味でしかありません。	福島第一原発事故以来私達が知ったことは、人類は原子力をコントロールできないこと、国は国民を守るためにあるものではなかったということでした。大飯原発の再稼働も、実はエネルギー問題ではなく、単に関西電力の経営上の問題であったことも分かりました。そして、政府が、たくみにそれらをすり替えようとしていたことも分かってます。アメリカでは、原子力には見切りをつけ、シェールガスの利用にシフトしつつあると聞いています。利権のためにやみくもに原発にすがりついているのは日本の政府と一部の企業だけだと言えます。国民として恥ずかしく思います。純粋にエネルギー問題を考えるならば、原子力は破綻しています。あの事故の収束ですら何も先が見えていないのです。
30498	個人	その他	50代	男性	ゼロシナリオです。安全神話はもはや通用しない。福島第一原発の事故原因、事故後の対応などの究明もされていないのに全国の休止している原発を再稼動させようとしている政府や電力会社に憤りを感じる。	現在の技術力では、もはや原子力は人間の手に負えるような代物ではないことが、明らかになりました。政府がどんなに「安全」を強調しても国民は納得しません。政府や電力会社は盛んに原発が稼働しなかったら電力不足が生じる」と宣伝していますが、国民と真摯に向き合い話を聞けば国民の多くは節電に協力し、電力不足の問題は解決できるものだと思います。 　いま、多くの国民が放射能の恐怖におびえて生活をしています。地震列島にこれだけ多くの原発を抱えていることも地質学者は危険性を指摘しています。 今こそ政府の決断で原発から脱却し石炭の見直しや風力、太陽光、地熱などを利用した新しい電力の開発に力を入れるべきです。
30499	個人	その他	50代	女性	福島第一原発の事故により、多大な被害が発生した。核廃棄物の処分場を準備できない中で、発電は継続できない。将来世代に負の遺産をこれ以上遺すことは許されず、ゼロシナリオを選択すべきだと考える。	福島第一原発の事故については、未だその原因すら明らかになったとは言えず、発生した被害に対する対策も進んでいない。多くの人々が苦しんでいる中で、大飯原発の再稼働を強行したことを残念に思う。発生した被害の回復は将来にわたっても不可能であることが明白な中で、電力のためになぜこれだけの無理をするのか、理解ができない。 　核廃棄物の処分場については、地震の多い日本国内で引き受けるところが出てくるとは思えない。福島の中間処分場は恐らく最終処分場となるであろうと多くの人が考えているにもかかわらず、誰もそのことを言ってきないことが異常である。原発を推進する人々は、誤魔化さずこの点を明確にしてから、先のことを主張すべきではないか。再稼働云々よりも、最終処分場の問題を解決しなければならない。福島に住む人間としては受け入れ難いが、やはり最終処分場は福島とすべきであろう。私自身は、これ以上核廃棄物を増やすべきではないと考えるので、原発に頼ることを、終わりにしてほしいと思っている。 　福島および周辺の被害は、将来世代にまで及ぶ。さらに、最終処分場が決まらない中で、原発を稼働し続けることも、将来世代への負担となる。今生きている人間の責任として、ゼロシナリオ以外あり得ないと考える。
30500	個人	会社員・公務員	40代	男性	選択肢はゼロシナリオしかありません。	東日本大震災後に発生した原発事故を考えれば、火を見るより明らかだと思います。ひとたびあのような地震が起これはひとたまりもないことがわかったのではないでしょうか。理屈ではなく、原発の安全を保つことは不可能です。
30501	個人	自営業	50代	男性	2030年に0パーセントを目指す。しかし、出来る限り速やかに、全ての原発を即時停止。	福島第1原発事故のその後を見るに、今だに収束せず、世界各国から、日本産の輸入を禁止され、 放射性物質の拡散、汚染は、広がり続け、国民の健康を脅かしている。 地震大国日本において、原発を稼動させることは、非常に危険であり、 一旦、事故を起こせば、国土の荒廃を招き、人々を不安に陥れる。 正に、亡国である。 2030年に0パーセントを目指すのは、当然であるが、全原発を即時停止しなければならない。

30502	個人	自営業	40代	女性	2030年の原発比率ゼロを希望します。どんなに原発の安全性を高めても、想定外の人為的ミス、自然災害は起こり得ます。	原発だけでなく、使用済み核燃料処理場など、放射性物質を管理するすべての施設において、安全性を100%確保することは不可能です。 事故が起きた場合の損失のほうが、原発によって得られる経済的利益よりはるかに大きいと思われます。 放射性物質による被ばくという、直接的な原因だけでなく、避難や、農業、漁業、商業活動への支障の影響で、国民が健康を奪われていけば、国は医療費という別の支出を増やすことになってしまいます。 化石燃料以外の発電手段を開発し普及させることに力を入れることで、現在の試算より、CO2排出量も経済的負担も少なくできるはずです。 新たなエネルギー源や発電装置を開発する需要によって、雇用が生まれ景気が回復することも考えられます。 新たな発電手段の普及が進めば、発電コストは現在の試算より下がります。 何らかの形で集中的に大量の電気を発電する発電所を作るという方法しか考えられていないようですが、各家庭、企業、工場、施設が個々に、安全な手段（太陽電池ほか）で発電する方法を取り入れるよう、国の働きかけを強化すべきだと思います。
30503	個人	無職	60代	男性	原発0%を選びます。国民のいのちと健康を守るために、原発はすべて即時に廃炉とすべきです。	原発0%を選びます。いのちと健康を守り、安全で安心な生活を保障するために、原発はすべて即時に廃炉処理すべきです。当然、再稼働に反対です。核廃棄物生産は大きな環境問題です。 エネルギー使用を減らし、また、自然エネルギーのより効率的な装置や、太陽エネルギーを使う革新的方法を開発すべきです。放射性物質の出ない、水の同位体を使う常温核融合の研究も応援すべきです。 二酸化炭素排出削減は、莫大な税金を投じたにもかかわらず、効果は無かったのだから、税金支出はやめるべきです。2008年と2009年の二酸化炭素排出量低下は企業などの活動の減少によるならば、目標として、経済成長ではなく国民の幸福向上をめざすべきです。原発を廃止することは、二酸化炭素排出削減よりも優先します。 福島原発事故は、多大な放射能汚染を国内外にもたらし、国土一部消失に等しい結果となりました。倫理的な観点からも、原発0%以外の選択肢は日本としてあり得ないと思います。
30504	個人	会社員・公務員	40代	女性	ゼロシナリオに賛成	原発は要りません。 子供の将来の為、日本の子供の未来の為、原発は無くして下さい。 これ以上、日本の国土を汚染させない為にも。 瓦礫の拡散も反対です。
30505	個人	無職	70代	男性	三つに分けたシナリオでは一貫した筋が見えない。 (1)ゼロ目標は40年後のフィナーレ、(2)(3)は中間目標とすればハッキリしたエネルギー政策になる。 「原発を運転しないことのリスク」を無視するな！	「小さい太陽」、使い切った燃料でも40年は強制冷却し、2万年後にやっと無害になる。各原発は稼動中なら、内部、外部、非常用と3電源でこの冷却が保証される。しかし、いまほとんどの原発は手じかの内部電源がない。外部電源は主として火力、石油や天然ガスの輸入に頼るため、海岸に立地されている。津波災害対策も原発に比べると弱い。3電源喪失は福島ばかりでなく、その後、短日時なら女川原発でも3電源喪失の事態があった。だから、このリスクを想定外には置けない。 原発での発電機は一番強力で安定した原子炉の冷却器だ。各原発最低一基運転でこのリスクは避けられる。一基でよければ現場は一番安全な原子炉を最後に残すだろう。保守償却費ミニマムで廃炉が図れる。耐用年数が30年いや40年などの無用な規定はいらない。 もちろん、運転のほうのリスクは語りつくされているぐらい沢山ある。リスクは分散して分かち合わねばならない。大飯原発のように理解が得られたとばかりのフル稼働は日本のリスクの偏在となる。 そうはいっても、分散にも限りがある。特に我々多くの都会人はこのリスクを公平に分担できない。「原発は絶対安全です」。ならば原発電力は地産地消の理想をめざし、都会に近く建設したはずで、それなら私もリスクの一端を負えた。これらの反省から、過疎地の環境保全のためには「一票の格差」もフェアなハンデイとして必要ではなかろうか。 安全とエネルギーの取引という利益対立の後の選択では双方に不満が残りましょう。双方とも現状現実のリスクに目を向け一原発一基運転で理解と歩み寄りを生み当面のスタートにしませんか。
30506	個人	自営業	50代	男性	原発推進についての意見投稿	原発を減らすことによるﾏｲﾅｽの影響も考えるべきです。 夏の電力不足が起こったら、熱中症で倒れる人が増えます。（命を大事にというなら）熱中症で何十人かの人が死んでいます、原発で死んだ人は一人もいません。 原発停止が続けば全国で電気代が上がります。私たち国民は家計を切り詰めるしかありません（脱原発は本当に困ります）再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰはﾄﾞｲﾂで電気料金の大幅な上昇を招き失敗しています。 そしてまた、中東ではいつ戦争が始まってもおかしくありません。そうなるとｼｰﾚｰﾝが危なくなります。そうしたｴﾈﾙｷﾞｰ安全保障も考え、原発を維持すべきです。国防上でも、日本が原子力技術を有していることは、安全保障上、抑止力になると考えます。 海外が日本の原子力技術を活用して、原発建設を進めています、今回の事故を教訓にして、撤退するのでなく、より安全な原発を作り、世界の安全に寄与するべきです。
30507	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発は0%にすべきです。福島の原発事故後の対応を見ても、人類がいまだ制御し切れていないことがはっきりしました。また、廃炉に何十年もかかります。これ以上負の遺産を残すべきでないと思います。	現在、54基の原発があり、それらを動かす分の核燃料があります。 青森県六ヶ所に中間貯蔵施設がありますが、最終処分地が決まっていません。さらに、ガラス固定の技術もトラブルが続いています。 1つの原発を廃炉にするのに数十年かかるといわれます。同時に何基か行なうとしても、54基の原発を廃炉にするのに百年単位の時間が必要です。また、資金も膨大にかかると思います。 原発は、クリーンではなく被ばくや汚染が伴い、コストが安くはなく廃炉に莫大な資金を要する、子・子孫末代まで負の遺産として残るものです。 今すぐ原発0にすべきです。
30508	個人	学生	10代以下	男性	ゼロシナリオに賛成	僕の田舎は、放射能で汚染されたホットスポットです。今までは、夏休みや冬休みの度に遊びに行っていましたが、今は行けなくなりました。節電を頑張りますから、原発はもう止めて下さい。お願いします。
30509	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発ゼロを最大の目標にし、それに向かうように順次、再生可能な自然エネルギーを取り入れ、自然エネルギーの比率が上がるごとに石油エネルギー等の比率も下げていく。	原発ゼロにはしたいけれど、現実的にすぐにゼロには出来ないと思います。また原発をゼロにするために石油エネルギーに依存しては温暖化が進む懸念もあります。 最大の目標を原発ゼロにし、そのための再生可能エネルギーの推進をしつつ、石油エネルギーの依存率も下げるように計画を立ててもらえたらと思います。 人間が地球で生きていく以上、原発ゼロにし、石油エネルギーを減らす努力はしなくてはなりません。柔軟に対応しつつ、再生可能エネルギーへの設備投資をしてほしいです。

30510	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	私たちは、「みどりの地球をみどりのままで」を提唱し、「いのち・自然・くらし」を大切にしてきました。ですから脱原発をすみやかに達成する「ゼロシナリオ」を選択すべきと強く考えます。	(1)原子力の危険は人間が制御できるものではありません。 原子炉の中の放射性物質の危険性は、人間の技術が生み出した他の危険とは桁違いに大きいので、その技術体系は失敗の許されないものとなります。失敗の許されない技術は試行錯誤の過程を経ることが難しいため、内包する危険を回避することができません。全ての安全設計は、経験の積み重ねによるものでなく、人間の想像力の範囲を超えることが困難なのです。そのため、全ての事故は想定外になってしまいます。原子力は放射能を環境から隔離する技術があれば良いのですが、大変困難なことだと思います。それは、取り扱っている放射性物質の量があまりにも多いことと、その放射性物質の毒性の持続時間があまりにも長いからです。原子力からはもう撤退するしか道はないと考えます。 (2)原発＝放射能事故の影響はあまりに大きく、取り返しがつきません。 かつて、私たちはヒロシマ、ナガサキの原爆を経験しました。そして、アメリカのスリーマイル島原発事故。ソ連のチェルノブイリ原発事故は今でもたくさんの困難を抱えながら多くの人が苦しみ、家を追われています。 今回の原発事故で、大量の放射性物質が放出されて多くの人が被曝しました。そしてフクシマの広大な地域が「放射線管理区域」に入ってしまいました。放射線管理区域は「放射線による障害を防止するために設けられる区域」で、「外部放射線に係る線量については、実行線量が3ヶ月あたり1．3ミリシーベルト」を超える見込みの区域を指定しています。その区域に入るときには、放射線探知器を携行し、厳重な被曝管理を行うことが定められ、特に妊娠している女性は厳しく制限されています。(3ヶ月で1．3ミリシーベルトは1時間あたりに換算するとO．6マイクロシーベルト) 多くの一般市民が、子どもたちが、妊産婦が、何の防御もないまま、日々放射線に晒されています。このような状況は許されるべきではありません。放射線による健康被害は、原爆、チェルノブイリ原発事故のその後の状況で私たちはもう知っているではありませんか。 また、福島県をはじめ広範囲の土壌や海洋が汚染されています。これから私たちは日々、内部被曝の恐怖と戦いながら生きていかなければなりません。もうこれ以上日本の国土や海を危険に晒すことはやめてください。 (3)放射性廃棄物の処理問題が解決されていません。 一時の経済的恩恵のために作られた核燃料のゴミが最低でも10万年～100万年という気の遠くなるような長い時間管理しなければならないことが問題です。わずか5千年前の古代エジプト文明の文字を解明するのにどれくらいの時間が必要でしょう。未来の子孫たちがこのゴミの危険性を間違いなく察知できるでしょうか。これから先何万年という単位の時間、私たちの子孫が放射能のリスクに晒されることになります。 (4)もっと省エネルギーの取り組みをすすめてください。 国民一人ひとりは、省エネルギーの意識が高まっています。国が積極的にリーダーシップをとって省エネルギーの取り組みを進めることで更にエネルギー消費を抑えることができると考えます。今、みんながひとつのことに向き合うことによって、自然の循環系の中に私たち自身をもう一度回帰させていくことを目指していくべきと思います。 (5)地域分散型のエネルギー供給をすすめるよう、電力システムを改革してください。 電力市場自由化を目指してほしいと思います。日本の各地域にはさまざまな可能性があります。電源には小水力発電だけでなく、家畜の糞尿を利用したガス発電、雑木林を利用する木質ガス発電、太陽光や風力、またはゴミ処理場や下水処理場の熱利用発電など。 このようなさまざまな地域の特性を生かしたエネルギーを実用化するために必要なことは、新たな技術の開発ではなく、電力の独占市場からの開放という社会的規制の問題にあると思います。電力が自由化されれば、小規模な地域発電所が各地に誕生していくことでしょう。電力事業の根本の改革を早急に望みます。
30511	個人	自営業	40代	女性	原子力発電所は即刻ゼロ。 他の選択肢はありません。	「安全性」が確認されたから、「地元／地域」の「一定」の理解が得られたから再稼働するのしないの、という記事ばかりですが。そもそも「安全に（国民に知られてしまうレベルの事故のない状態で）」稼働していた原発が、人間が処理できない有害な放射性廃棄物を作り続けていた、ということだけで、原発は使えない、と判断すべきです。 原発のありかたや、放射能汚染に関して、私は自分の今までの無知・無関心を恥じると同時に、国や電力会社に騙されたという想いを拭いとることはできません。 福一の事故後の情報公開方法や被災者への対応などを見ていると、「責任」とは何か、と考えさせられます。国の責任は。電力会社の責任は。社長が責任をとるために辞職するなどということは、故郷を失った人々にとっては何の助けにもなりません。ましてや、電気代を上げて費用をまかなおうとする対策には呆れます。 放射能で汚染された所には住めない。農作物も作れない。放射能で汚染されたものを食べると内部被曝のために体がいつか触まれていく。関東全体が既に汚染されていることは周知です。「この程度の放射能レベルでは、すぐには健康に影響がない」という説明はウソではなくても正しい情報は故意に隠してあります。 「しかし数年後に、いろいろな健康被害が出てくることは確実だ」とは、はっきり知らない。 戦中や戦後の歴史を学んだり、親からの話を聞いて、戦後の日本を築いた先人の犠牲と努力に対して、私は尊敬の念を持っています。日本を日本人を守る為に、そして日本の復興のために、皆が努力をしました。日本の文化、技術の高さ、日本人のマナーのよさ等、海外にいて日本についての賞賛を聞くことばかりです。 よく現在の情報公開のありかたを「大本営」等の言葉を用いて表現している人がいますが、現状は戦時中より悪いと思います。太平洋戦争は、敵国がありました。現在は、日本人が、情報コントロールをすることで、あるいは口先だけで補償をうたうだけで、同国民を騙し、無視し、原発稼働を継続させようとしています。 私は悲しい。 原発は日本だけでなく、世界からなくならなければならない。
30512	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発0（ゼロ）シナリオを支持する。	物事にはリスクが付きものだが、 この地震国の日本で原発を稼働させるリスクはあまりに大きい。 現在、原発を稼働させようとするのは私には経済的理由でしかないようにみえる。 政府や電力会社の対応には全く真摯さが感じられない。 この大きなリスクを抱えても原発を存続させなければならない理由が伝わってこない。 感じられるのは嘘や誤魔化しや欺瞞ばかりである。 今すぐ原発を消し去ることは出来ないが、 できるだけ早期に－第2のフクシマの惨事が起こらないことを祈りつつ－ 原発はゼロにしていくべきだ。
30513	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロ・シナリオを希望します。－刻も早い原発ゼロ実現に向けた施策を希望します。	原子力発電に反対します。 －ウラン採掘労働者の劣悪な労働環境をこれ以上助長することに反対します。 －天変地異が続き、「想定外」の何かが起こらないとは言えない今，事故時に悲惨な結果を招く原子力発電に反対します。 －核のゴミの良い処理方法が無い中，これ以上核のゴミを出し続けることに反対します。 電力が不足するようであれば，省電力を進める施策を実施すれば良いのです。街は無駄な電力消費で溢れています。そもそも本当に電力は不足するのでしょうか。関西電力の不可解な行動から疑問を感じています。 原子力発電に代わる，クリーンな新たな発電メカニズムの開発に取り組みましょう。地球の将来，人類の将来に向けて，大変有益だと思います。この方面で一歩先んじることにより，日本の経済的な再浮上も図れると考えます。 原子力発電を一刻も早く止め，新たな発電メカニズムの開発に本腰を入れて取り組みましょう。
30514	個人	無職	70代	男性	原子力発電は直ちに完全廃絶すべきと考える。	広島、長崎と原爆で被災し、米国の核実験で第五福竜丸の乗組員が被災し、そして、この度、東京電力の自爆事故で多くの国民が被災したからには、日本に原子力発電が存在する意義は全くない。 更に、人間は必ずミスを犯す動物であるから、どんなに原子力技術が進んでも人間が関与する限りは事故は必ず起こる。
30515	個人	自営業	60代	女性	すべての原子力発電所の稼働を止め、自然エネルギー利用への道を至急進めてほしい。	絶対安全と言われていた原発で取り返しのつかない事故が起こった以上、もはや同じ道を取ることはできないはずです。仮に、原発が事故なく稼働し続けたとしても、原発そのものの存在が日々私たちの生活を脅かし続けます。また、原発のエネルギー源であるウランもいずれ枯渇するものと聞いていますし、何より核のゴミの問題に有効な解決策が発見されていません。他の国に先駆けて政府が脱原発への道を取るなら、私たちは自国を誇れるだろうと信じます。
30516	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオが妥当。 核を使うこと自体現在の技術では追いつかない。使用することは可能だが、その後の処理、また事故等が起きた場合の対応ができていない。	17万人ともいう数が国会、首相官邸等を囲んだ事実をご存知だと思います。その声は原発そのものへの反対であり、原発反対の一点で集まった人々です。東京だけでなく、全国各地で同様の集会やパレードが行われ、今後も計画されています。多くの国民がそのような声をあげていることを鑑みない行政は人々の支持を受けないことになるでしょう。 また、福島の事故の収束はまだまだ先になるでしょう。否、収束するということはあるのでしょうか。放射に汚染された地域、福島原発1号機が存在した場所はもとに戻らないことは残念ながら必至でしょう。そのような人が安住することができなくなる可能性を持ったものが必要なのでしょうか。必要ないでしょう。現在も電力がひっ迫している事実もない。原発が必要なのか理解できません。核からの撤退を強く求めます。
30517	個人	自営業	50代	女性	原発依存度を早急に0パーセントにし、安全な発電方法の開発に取り組んでください。	福島、チェルノブイリで苦しんでいる方々のその苦しみを次世代に与えたくありません。しかも日本は核被爆国です。たくさんの尊い命が奪われました。安全な自然エネルギー発電の開発を急いでください。イギリスでは海の波を利用した発電がなされていると知りました。日本は海に囲まれた国ですので、この方法は有効かと思われます。どうか早急に原発0にしてください。
30518	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力依存度は、2030年には（本当はすぐにすべき）だと思うが）ゼロ%にすべきと考える。そこを目指して進むことが、日本国の繁栄と、世界平和に繋がって行く。	原子力依存度は、2030年には（本当はすぐにすべきだと思うが）ゼロ%にすべきと考える。現時点（既に大飯原発は再稼動させてしまったが）でも、原子力に依存せずに日本国は動いており、少々コスト等で厳しくても、このまま行くべきである。日本国のエネルギーは、火力・水力と、再生可能エネルギーにて賄って行くべきである。世界の中で、原爆の犠牲になり、かつまた原発の犠牲になった国は他には無く、日本が世界に先んじて、原子力の依存からの脱却を目指すべきである。そもそも、まだ原子力を使おうと考えた場合は、あの危険極まりない場所（活断層の上とか）に立地していて、コンテンジープランも怪しい原子力発電所を使うということになるのだろうか、普通に考えて、それが物凄く危険なことであることは明白であり、あの福島の惨状を見て、何故そんなことにゴーサインが出せるのか、考えが分からない。次にあのような事故が起これば、日本国のみならず、世界的にも多大な影響を与えてしまうと考える。野田総理は、自分が責任を取る旨の発言をしていたが、何があったら、どのような形で責任をとるのか、そこを明確化して欲しい。とにかく、日本国は、一刻も早く、世界をリードする再生可能エネルギー大国を目指し、技術と資金を注入して、全力で進むべきである。ひいてはそれが、日本国の繁栄と世界の平和に繋がることになると考えるからである。
30519	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	「ゼロシナリオ」の選択を強く希望します。 今回のパブリックコメントでは2030年に照準を合わせていますが、 一刻も早く「原発ゼロ」を決め、すべての原発を廃炉に向けるべきだと考えます。	1．いまだに確固たる原因究明がなされず（発表されていないだけかも知れませんが）、 終息を迎えていない「福島第一原発」の事故が起きているにもかかわらず、 原発の安全性に疑問を抱きながら、また危険性と隣り合わせて生活しながら生み出す「原子力発電」は、 「いのち」と「経済性」を天秤にかけるようなものです。 今生きている私たちだけでなく、これから生まれてくる未来の子供のためにも、 すべての動植物、すべての地球環境のためにも、即刻、原発は無くすべきだと思います。 2．使用済みの核燃料をどのように処分するかが問われるなか、 放射能のゴミを出し続ける「原発」にこれ以上よるのは、本末転倒だと思います。 処分の方法がなく、数十年の冷却後、数万年ともいわれる長い間、 完全密閉状態で保管しなければならないといった管理は、 自分たちの日々暮らす地球上を地雷で埋め尽くすようなものです。 このように核のゴミを出し続ける「原発」は即刻無くすべきだと思います。 3．安全でクリーンな「自然エネルギー」という選択があるなか、 常に危険が伴う原発をあえて使うことに意味技ないと思います。 原発関係者の雇用にしても、経済性にしても、自然エネルギーの安定性にしても、 すべてそれぞれに解決策が掲げられているなか、 常に一つ一つの重箱の隅をつつくように論点をすり替えるだけでは国民は納得しません。 「原発」や「化石燃料に委ねられた発電」以外でも十分な電力の安定供給が得られるよう、 国を挙げて取り組む時期であると考えます。 技術や実績が積み上げられてきた代替エネルギーの可能性が十分高まっている以上、 「原発」に頼る意味は皆無です。即刻、無くすべきだと思います。 以上
30520	個人	会社員・公務員	50代	男性	今の局面を考えても、この先のことを考えても、原子力に頼らない社会になってほしい。3択の中では、ゼロシナリオしかありません。	これまで原子力は安全だと多くの人が信じていました。信じていたと言うよりは信じ込まされていたように思います。私もその一人です。この度の福島原発災害によって、根本から考え直さなければいけないと言う思いで一杯です。一旦事故が起きると、人間の力、科学の力では、到底対処は不可能であることがはっきりしました。使用済み核燃料の処理方法も確立していません。何より、地震国日本において、原子力発電所があることを脅威に思います。一刻も早く原子力に頼らない社会を構築すべきです。命が大事です。だから、考えれば、考えるほどゼロシナリオです。
30521	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発は再稼働しない。0%にする「ゼロシナリオ」を断固訴えます。	事故原因究明と事故発生時の対応策がないためです。止めようがないものを動かし続けることは、地球の破滅につながりかねません。今、マスコミに取りざたされている福島の原発事故後の東京電力の対応に憤慨しています。事故の重大性の認識がないまま原発を動かしている、とした映りません。このような体質ではさらに悲惨なことが起こりそうで恐怖すら感じてしまいます。ですから、絶対に反対します。原発に頼らない電力供給の道を選択してください。よろしくお願い致します。
30522	個人	自営業	60代	男性	原子力発電20～25%を選びます。	現在の原子力技術はまだまだ初歩的な水準と思います。50年後100年後には もっとも確かな発電装置になると思います。試行錯誤でリスクはありますが資源の少ない日本が先駆者として歩むべき道と思います。 その意味で福島の経験は技術立国として貴重なスキルとなっています。 昨今の反原発デモを見ていると50年前の60年安保を思い出します。歴史は国会を取り巻いたデモ隊よりも岸首相の決断が正しかったことを証明しました。 あの時の反対勢力と今回の人々がダブります。成田空港反対を叫びひ農村に押しかけた人達も時が移り何の反省も無く成田空港から海外に出て行きます。 お金持ちの所頂「進歩的文化人」である作家、音楽家、俳優などが先導していますが、彼らの生活におけるエネルギーの消費量は我々庶民のそれとは、家の豪華さ、通常通りレストランの贅沢さ、車の使用度、とりわけ飛行機移動の際の大幅に空間を取る上級クラスの使用など、先ず襟より始めろ可自身の生活態度を改めるべきです。 最後にこのようなパブリックコメントは声の大きな人、時流に流されやすい人、つまり衆愚の意見の溜まり場になるので即刻止めるべきです。
30523	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発を0%にする「ゼロシナリオ」しか考えれません。太陽光発電、風力発電、地熱発電等自然エネルギーによる発電へ政策転換してください。また、火力発電もCO2発生を抑えるため天然ガス使用へ移行してください。	原発は、「トイレのないマンション」と例えられるように半永久的に処分できない放射性廃棄物を生み続けています。その中には半減期が2万4千年というプロニウム239が含まれており、地中に埋めるというが、安全なレベルに減衰するまで容器の耐久性があるとは考えられません。また、ひとたび事故が起きるとチェルノブイリや福島のように取り返しのつかない事態になってしまいます。地震大国である日本には原発は、あってはならないものだと思います。福井県の大飯原発の地下には活断層の存在が指摘されており、福井が第2の福島にならないように原発再稼働を直ちに停止してください。
30524	個人	無職	30代	女性	原発、全停止！	もうこれ以上、地球上の自然を壊すやり方は、やめましょう！ 未来の子供達が住みやすい環境に、私達、大人が築きあげたいです。 各家庭や企業でも、微量でも電気を作る仕組みを構築する。 お店の夜の営業を短くする。 やれる、できるところを国民全体で意識を高め取り組む方向を構築すればできます。大元の電気は、自然エネルギーに対応をする。地熱、川、風、太陽 自然界に住まわせて頂いているのは、我々、人間です。自然と共有するすみ方、住まわせて頂いている住み方にしてゆきたいです！

30525	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオ以外の選択はあり得ません。	ゼロシナリオを決定し、速やかに自然エネルギーへの転換を図るべきです。 『原爆許すまじ』 1） ふるさとの街焼かれ 身よりの骨埋めし焦土(やけつち)に 今は白い花咲く ああ許すまじ原爆を 三度(みたび)許すまじ原爆を われらの街に 2） ふるさとの海荒れて 黒き雨喜びの日はなく 今は舟に人もなし ああ許すまじ原爆を 三度許すまじ原爆を われらの海に 3） ふるさとの空重く 黒き雲今日も大地おおい 今は空に陽もささず ああ許すまじ原爆を 三度許すまじ原爆を われらの空に 4） はらからの絶え間なき 労働に築きあぐ富と幸 今はすべてついえ去らん ああ許すまじ原爆を 三度許すまじ原爆を 世界の上に この歌をふと思い出しました。原発も同じです。
30526	個人	会社員・公務員	60代	男性	少なくとも20～25% (2030年時点では数値的には上記より高めの2010年までのレベル維持の方が望ましい)	「国民の生活を守る」ためには、我国経済が他国に負けずに健全な状態になければならない。健全な経済活動の維持にはエネルギー確保は不可欠であり、エネルギー政策こそ「国民の生活を守る」ための基礎であると確信している。 　来世紀以降の人類生存に必要なエネルギー源に原子力が入るか否かは現時点では定かではないが(FBR実現如何によるであろうから)、軽水炉を始めとした現在の核分裂型原子力発電は本質的には過渡的なエネルギー源であると考える。 　但し少なくとも100年間を視野に入れたエネルギー政策を考えてのことであり、今回パブコメ対象となっている至近の2030年時点は、エネルギー政策対象期間としては直近に過ぎ、少なくとも50年後までのグランドデザインを検討し、その中で2030年の姿を示すのが本来であると思う。 　この中で、原子力は福島第一により安全設計思想にまで遡った見直しを要するとは言え、高度に確立した発電技術であることは論を待たず、福島第一で起こった事実を分析・評価することにより、世界に冠たる原子炉技術とすることは十分可能と考えている。 　今回提示されたシナリオには2030年時点で現在の原子力比率を(ゼロも含め)大幅に低減させる案があるが、再生可能エネルギーに多くを期待するのでは、経済あるいは社会全体に色々な歪をもたらし、将来世代に大きな負の遺産を残すことになりはしないかと危惧する。具体策を伴わない「希望的」数値の一人歩きが起こりつつある状況を危惧している。 　原子力に限らず、工学に絶対安全はない。しかしながら工学は人知の結集であり、その時点での最善の技術をもって絶対安全を希求するものでもある。我国のような資源は人しかない資源小国は、技術立国以外に道はないのではないか。選択肢のベース も(多分)ろくに読みもせず、目先の感情だけでデモが行われている現状に、大きな危惧を覚え、コメント送致した次第。
30527	個人	パート・アルバイト	40代	女性	「1ゼロシナリオ」	今すぐにゼロがあるならそれを選びたいです。 子どもたちが生まれた時私は何があっても守る。 と思いました。 が、今は守れる自信がありません。 でも、あきらめたくないので 今すぐゼロを選びたいです。
30528	個人	無職	50代	女性	原発0%シナリオを支持します。 再生可能エネルギーの開発および原発事故処理のために、現場をよくご存じの方達が、立場を超えて直接会って議論できる場をぜひ作ってください。	原料の精製から廃棄物まで、多くの放射性物質を排出し、その処理について、数十年の歳月と莫大な費用をかけて研究されてきても、未だ実現しないという点においてだけでも、今後原子力発電を存続させるべきではないと考えています。 国家戦略の資料も拝見し、再生可能エネルギーの割合を増やすと、電気料金の値上げ幅が大きくなるとありましたが、 技術確立および普及が未達の商品が高価格なのは、当然であり、 また再生可能エネルギーがそのエネルギー源を自然に依存する以上、一つの方法に依存すると供給が不安定になることもまた、当然のことです。 その上で、7世代先を考えた時、何が可能な方法か、考えてゆきたいと思います。 再生可能エネルギーの開発であれ、原発事故処理の問題であれ、 現場をよくご存じの方達は、本当に真剣にそれぞれの問題についてお考えになり、憂慮されていると思います。 その方達が、立場を超えて一堂に会し、議論をできる場を作っていただくことが第一歩ではないでしょうか？ それができるのは、国家のお立場ではないでしょうか？ http://uesugitakashi.com/?p=1203 例えば上記のVTRでお話されている方達が、直接会ってお話できたらと考えずにいられません。 日本の国のために、本当に心を砕いてくださっているお役所の方達もたくさんいらっしゃることも理解しているつもりです。 一人一人のご努力が報われること、祈っております。
30529	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発はいりません。原発を無くしてください。	どんなに安全対策をしても、予測を超える出来事があれば大きな事故になることは、先の震災で思い知ったはずです。 電気のために子々孫々に禍根を残す可能性がある原子力発電所は存在して欲しくありません。代替エネルギー政策を充実させて、再生可能エネルギーによる発電を目指してください。
30530	個人	会社員・公務員	40代	男性	自然の恵みのなかで安心できる生活をしたいので、原子力発電のないエネルギー政策を望みます。	子供たちが安心して暮らせる未来を作るべきだと思います。 自然の恵みのなかで安心して生活をさせたいと考えます。 大人たちの理屈でなく子供たちのために、原子力発電のない エネルギー政策を実行して頂きたいと思います。 「トイレのない便所」でなく、トイレができてから原子力発電 は初めて検討されるべきで、お金や既得権益のために原子力を 利用されるのは、どう考えても誤りであることを早く認知して 頂きたく思います。
30531	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発に頼らない社会を望みます。3択の中では、ゼロシナリオしかありません。	震災は、過去を奪い、原発は未来を奪います。子供や孫たちが安心して住み続けられる社会を作ることを国が先頭にたって、進めていただきたい。
30532	個人	その他	30代	男性	2030年までの日本のエネルギーのあり方について、「原発ゼロ」が妥当と考える。	2030年までの日本のエネルギーのあり方について、「原発ゼロ」が妥当と考える理由として以下を挙げる。 － 20011/3/11の福島第一原発の事故の検証が不徹底である。福島と同レベルの事故が起きたときにどのように対処するか、現在の態勢では明らかでない。よって今後の方針として、到底「推進」には向かえない。 － 検証が不十分であっても、事故は天災だけではなく人災にも因ることは確かである。いまだ被害のレベルは計り知れず、このような場合、「道義的」に考えて、手段としての原子力は放棄されるべきである。 － 原発の運転を停止したところで、放射能性廃棄物処理の問題が残り、仮に処理方法が確立されたとしても長期間のケアが必要となる。増え続けるプルトニウムや廃棄物の問題に、いまや集中すべきである。
30533	個人	自営業	50代	女性	原発0%シナリオを支持します 2030年までに、ではなく、今ある原発を再稼動することなく、速やかに原発から撤退することを希望します。	原子力に対する幻想を捨てなければいけない、ということを、切に訴えたいと思います。核分裂により自然界には存在しない物質を生み出し、長い年月の間生命を脅かす放射線を放出し続ける原子力は、人間には制御できないものだという、単純明快なことを認めるべきです。 原子力の平和利用という名のもとに推進されてきた原発ですが、その目的の根底には、核兵器製造の潜在能力を持つことにあるということも、私たち人間が持つべき倫理観の欠如した考えそのものだと思います。 事故はいつでも起きるものであって、原発の場合はひとたび事故をおこしたら、それがもたらす被害は、何世代にもわたって続くということを、もっと深刻に受けとめるべきです。 原発をとめると電力が不足するとか、生産活動に支障が生じるとか、国際競争力が失われるとか、国内産業の空洞化が生じるとかが、強調されていますが、多少の負の要素は避けられないのかも知れませんが、しかし多くの専門家が検証しておられるように、その影響は、原発を0%にしても、25%にしても、やり方次第で、大した差にはならないと思います。 地球の未来、人類の将来のためにも、今こそ日本が決断して新しいエネルギーの選択をし、社会のあり方を考え直すときだと思います。
30534	個人	会社員・公務員	30代	男性	もしものこと(災害、人間のミス)が起こった時のリスクが大きすぎるので、不安の種(原発)はなくすべきだと考える。	今、国に求められることは便利なものを作るより、 国民の不安をなくすことではないかと思います。 個人的な意見としては原発が必要/不必要より、 災害、人間のミスを想定すると、不安の種(原発)はなくすべきだと考える。 もしものことが起こった時のリスクが大きすぎることは、 今回の問題で皆が実感しているし、理解した。 原発に関して、また今回の地震の政府の対応に、 国民は納得できず、不安を持っているからデモが起こる。 すべてのことに対して、賛成/反対以前に、納得させてほしい。 納得できる理由があり、それを正直に伝えてくれさえすれば、 貧乏でも不便でも、国民は自分たちの選んだ政治家を信頼し、言うことを聞くだろう。 個人的なことではなく、多くの人々が安心して暮らせる世の中や、 未来の国、地球のことを真摯に願う、熱が深く、 人間らしい政治が求められているのだと思います。 国民の活力によって、国の表情は変わります。 くれぐれも国民が主役、ということを忘れないでいただきたいです。

30535	個人	会社員・公務員	50代	男性	いずれのシナリオにおいても発電コストの上昇、今後の産業の成長や国際競争力を毀損し、国民生活に大きな影響を及ぼすことが予想されるが、選択肢の中では20－25シナリオを選ぶ。	提示された3つのシナリオのいずれも、CO2排出削減は1990年比▲23〜▲25%との厳しすぎる数値を掲げ、国民全体に2010年比で10%以上の節電を要求している。そのため、実現可能性、また、経済的な負担の大きさを、社会的な障壁も余り踏まえずに、恣意的に再生エネルギー導入量を大きく設定している。また、いずれの選択肢においても、「名目3%、実質2%」の成長を目指した政府の成長戦略とは矛盾している。そのため、3つのシナリオのどれもが2030年の国民生活、産業の国際競争力、雇用環境などへの影響が大きく受入れ難いものであるが、消去法的な選択の結果、20－25シナリオを選択する。 ◆3つのシナリオに共通する問題点 (1)エネルギー需要予測の前提となる経済成長率の想定が、実質で2020年代は0．8%とするなど、政府の成長戦略との整合性がとれていない。また、エネルギー・環境会議の選択肢の資料表2の経済成長率は誤解を与える記述方法であり、現在よりもGDPが減少することを説明していない。 (2)省エネについては、現行のエネルギー基本計画の野心的な省エネ政策より、最終エネルギーで1割、電力需要で2割上回る水準が想定されている。我が国では過去10年間で電力需要の伸びと実質GDPの伸びとは連動して推移してきたが、各シナリオともGDPが伸びても電力需要は低下するという過去のトレンドを全く異なる仮定をおいた上でのシナリオは蓋然性が低いと考える。 (3)再生可能エネルギーは、現行計画や再生可能エネルギー固定価格買取制度の想定値を大幅に上回る導入量が想定されているが、実現可能性を裏づけするための政策、電源の不安定性に対するリスク対策は明示されていない。また、再生可能エネルギーの導入拡大に伴うバックアップ電源の規模やコストは明示されておらず、国民に対して再生可能エネルギーは原子力発電や火力発電に代替するような誤解を与えるような表現になっている。 (4)エネルギー政策とは、国民生活や産業、雇用を守る国家の重要な礎であるべきである。しかし、いずれのシナリオも、政府が公表した経済影響モデルでは幅はあるものの、電力料金は2030年で26〜130%の上昇することが示されている。また、産業の粗生産率は0．4〜7．8%の減少、実質GDPで0．4〜7．8%の減少となっている。さらに、一部の経済影響モデルでは、2030年に国内のエネルギー多消費産業の生産額が世界シェアで2割程度低下、すなわち産業の海外移転の可能性を示し、結果的に雇用への影響として現在の失業率4．4%(297万人)から1．6〜2．8ポイント増加することが示されている。 ◆20－25シナリオの問題点 選択したシナリオは、エネルギー需給状況を踏まえて、原子力をエネルギー源の一つとしてエネルギーの多様性を維持した姿勢は評価できるが、上述のように省エネや再エネの導入見通しの実現可能性、電力料金の上昇、産業の国際競争力、雇用など国民生活への問題を解決するための政策が示されていない点は問題である。 ◆エネルギー選択肢について 以上を踏まえれば、3つのシナリオはいずれも実現可能性や経済に及ぼす影響など問題が多い。とりわけ「ゼロシナリオ」、「15シナリオ」を選択肢としてとることは、産業・貿易立国とする我が国の20年後の国家像を維持すことが困難と思われ、これから我が国の将来を背負っていく若者たちに明るい将来像を描くことを妨げている。また、「20－25シナリオ」においても、福島第一原子力発電所事故による国民の原子力発電に対する不信感を払拭するために政府の説明責任は十分果たされているとは言いがたい。 そこで「20－25シナリオ」で示された原子力を含む多様なエネルギー源の維持するためには、以下の点を十分に考慮し、今後3〜5年を目途に、エネルギー分野の技術革新、省エネ・再エネ技術の導入状況と国民負担の関係、国際情勢、原子力に対する国民の信頼回復等の動向を検証し、エネルギー・環境政策を抜本的に見直して、より現実的なものに再構築する必要があると考える。 (1)3つのシナリオいずれも、2020年における温室効果ガス排出量の見通しは、原子力発電所の順次再稼働を前提としていることを政府は国民に説明し、原子力発電に対する国民の信頼回復に全力を傾ける政策を明示する。 (2)成長戦略との整合性を図るとともに、省エネ、再エネの導入見通しを、費用対効果を含めて現実的な政策案を検討する。 (3)再生可能エネルギーの主体である太陽光発電、風力発電の技術革新に官民で全力をあげて取組むとともに、技術革新の阻害要因となりかねない現行の固定価格買取制度を見直し、さらに太陽光発電、風力発電への省エネ投資が国内産業の成長に繋がる政策を打ち出す。
30536	個人	自営業	50代	男性	(1)ゼロシナリオの選択	2030年までに原子力発電を無くす事を支持します。日本だけではなく世界中の人々にとって脅威となった原子力は未来を作っていくエネルギーではありません。 核兵器同様に地球を滅ぼすエネルギーです。悲しくも福島で実証されたように、様々な人間生活を破壊しています。まず日本がゼロシナリオというこの変革を行う事が大事で、それによって日本の技術力も大きく発展しCO2削減という地球レベルで貢献できるものとなると同時に、変革に伴う新エネルギー産業の創出・発展による経済効果の増大も期待できるものだと思います。早急な変化を求めるためには私たち国民の協力も不可欠です。それぞれが目的意識を持って生活を変えていかなければいけない事です。国が言ってきた「痛みを伴う改革」とはそういう事ではないでしょうか？つまらない政治抗争している場合ではありません。国は国民のために良い指針を作り、それをアナウンスし、協力を求めてください。国民は未来のためになすべき事、我慢できる事を行動に移す事に努力できます。産業を進めるための予算編成をちゃんとして、復興財源もしっかりと形あるものができるよう運用してください。最後に再生可能エネルギーの比率をもう少しあげるような、技術的な開発もして欲しいと思います。小さな歯車で大きな歯車を回す事ができるように。
30537	個人	無職	60代	男性	選択肢からならば「原発ゼロ」を選ぶ。 しかし、2030年時の比率でなく出来るだけ早く「全原発廃止」を宣言し、国民的英知を結集して原発に依存しないシナリオを作るべきです。	「原発ゼロ」を選択。今回の原発事故で、核技術は人類が操作出来ないとはっきりわかった。メルトダウンした原発は人間の手で制御不能で今なお放射性物質を拡散している。事故処理も何十年もかかるという。膨大な時間と費用がかかり、危険と不安を増大したまま暮らし続けなければならなくなった。 　原発が稼働している限り出るのが放射性破棄物である。放射性破棄物は原発再稼働でまた溜まりはじめた。これまでに溜まった放射性破棄物も処理できないで保管しているだけ、量も膨大になり施設も脆弱なことは福島原発4号炉プールの事故で明らかである。再処理しても高レベルの破棄物が残り、これをどうするのか。ガラス容器に詰めたり地底に埋めたりしても放射線は出続け、天変地異いつなんどき高濃度の放射性物質が飛び出すかわからない。その他、原発関連の廃材も放射能にまみれて溜まっていく。原発がある限り現在はむろん、何十何、何百年、何万年先の人類に負担を押しつけ続けることになる。少しでも早く原発を止めて(2030年では遅い)人類が安心・安全な生活を続けられるようエネルギー政策の転換をしなければならない。 　原発を止めた場合の「電力」については、供給(発電)と需要(消費)の双方からの抜本的な検討が必要と考える。供給は、地球温暖化対策の強化とあわせて再生可能エネルギーの開発・稼働を大目標に掲げ、原発費用を大きくシフトして国民の英知を結集して達成していく。需要は「消費電力の削減」を目標にして経済に大きなダメージを与えないようにして「世界一明るい」と言われる無駄な電力使用を無くす取組。ちなみに欧米並みの明るさ、自動販売機の削減など生活に大きな支障が無いものや、電力削減技術の推進などで生産部門の電力消費を削減する企業努力など、結構見直ししたら削減出来るはず。このようなことはこ「原発を止める」と宣言してこそ国民的な推進力が生まれると考える。
30538	個人	学生	30代	女性	原子力は素晴らしい技術ですが、日本のような地震国には向いておらず、ゼロ依存を目指すべき。クリーンエネルギーの開発、原子炉の廃炉方法等、日本が率先して研究し、海外へ輸入できる技術が産出されると思います。	「天災は忘れた頃にやってくる」というのは何故だか本当で、出来る限り早く原発依存度をゼロにして頂きたい。核燃料は一箇所に集めたら良いのか、散らしたら良いかは分かりませんが、早くそういった次元の議論に移りたいです。 co2の問題ですが、世帯や事業規模に応じて産出できる量(電気料金から割り出す)を割り振り、それを超えた場合は超過金をもらう。徹底した節電により、co2排出を削減。 経済の空洞化は、エネルギー政策だけの問題でもない。電気使って、物つくって売るという発想では、世界との競争に勝てるとも思いません。日本の人口が減っていく反面、世界の人口は増えていきます。何を売るのかが問題です。 よろしくお願いします。
30539	個人	家事専業	50代	女性	原発ゼロで即時廃炉に	福島第一の事故の原因も、これからの廃炉の目途も、避難者の救済も片付いてないまま、地震の活動期に入ったと言われる今、活断層の上にある原発を再稼働するなど危険きわまりないです。 次また大きな地震が来て同じような事故が起こったら日本はもう取り返しのつかないことになります。 代替のエネルギーはガスコンバインをベースに洋上風車や小水力発電、地熱発電などを日本の技術力で開発してゆくことで輸出ビジネスの可能性も高まると思います。 何より今溜まり続けた核燃料廃棄物の処理が確立されていないので、これ以上子孫に負の遺産を押し付けることは許されません。 原子力発電所がたかだか40年ほどしか電気を生み出さないのに、そのゴミの管理に電気の恩恵を受けない子孫が延々保管に手間とお金をかけなければならないなんて本当にナンセンスです。 原子力ってどれだけ高くつくことでしょう。 総括原価方式で高い無駄な原発やら六ヶ所再処理工場などの建設費が電気代に上乗せされて、今の高い電気代になっています。 東電は解体し株主はこんな会社を支えてきた責任を取るべきと考えます。 福島の動きたくても動けない方たちを移住しても暮らしていけるような支援をし、福島原発で働いている人たちの放射能被曝を最小限にする努力をし、発送電分離をし、各地の原発の放射性物質の安全な管理体制を作り、政府をあげて脱原発に取り組んでください。
30540	個人	会社員・公務員	50代	男性	限りなく「0%」支持である。現実的に原発ゼロは難しいと感じている。しかし、目標をゼロに設定しなければ、いつまでも原発はなくせない。	想定外とか偶然が重なって発生した福島第一原発事故かも知れないが、一度事故が発生すれば周辺住民の生活は一変してしまい、場合によっては死ぬまで故郷に帰れない人もでるだろう。原発の安全性をどこまでやれば大丈夫というのは誰もわからないのだから、また、核燃料リサイクルに目処が立っていないこと、使用済み核燃料の廃棄(埋没)は後世に負の資産を残すことから、原発ゼロを目指すのが当然であろう。 原発を急にはなくせないので、 ・今後原発の再稼動には十分な安全を確認した上で行い、40年超えたら廃炉にする。 ・新たな原発はつくらない。 ・使用済み核燃料は、フランスかイギリスに依頼して再処理もしくは廃棄してもらう。 ・30年までの間に自然エネルギーを中心とした代替発電を開発・商業化してく。 ・国民は電気を大切にして、節約に心がける。また、電気製品も節電・省エネを意識したものをつくっていく。 などを推進しながら、徐々に原発ゼロに近づけていくことを皆で合意して生きていこう。
30541	個人	自営業	40代	男性	「ゼロシナリオ(脱原発)」を支持します。 原発再稼動に反対します。 できるだけ早い時期の原発全廃を望みます。	原子力は、人間が制御できるものではないということが、チェルノブイリや福島の事故ではっきりしました。 原発に頼らない国を作ることが、私たちのこれからの世代への重い責任だと思います。 原発の温存や再稼動は、日本国民の基本的人権への侵害です。 経済活動などを大義名分にして自分の利益しか考えない人々は、早くそれに気付いてほしいと思います。
30542	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	横須賀を母港としている原子力艦船含めた艦船炭酸ガス排出量と海水温度も地球温暖化防止に違反する行為	国連の地球温暖化防止国際協定に参加していない米国海軍横須賀基地第七艦隊所属の艦船と太平洋に展開している原子力潜水艦の1年間に排出する炭酸ガス量と原子炉冷却海水温度上昇分も炭酸ガス総排出数値に換算して、地球全体に占める概算値を国連機関に求めること。 原子力艦船が日本近海と太平洋海域での安全安心70億人の食文化を保全する立場から、原子力艦隊の環太平洋の航行を原子力潜水艦保有国に日本政府は航行停止を求めること。 日本国内の稼動停止原発の1年間に外部電力での原子炉冷却電力量を各原発所有者毎に公表すること。 大飯原発再稼動させた国の責任で、1ヶ月稼動させると広島・長崎原発に換算した核分裂放射能廃棄物生成量を公表すること。 大飯原発稼動生成放射性廃棄物の処理問題は誰(野田佳彦？原発所有者？)が責任を持つのか。稼動させた閣僚が国会議員を辞めて、ただの国民になっても未来国民に先送りせずに閣僚個々人がどのような責任を執るのか知りたい。 福井県内廃炉原発ふげんの原子炉解体年数・予算計画および廃炉原発内の高濃度放射性物質の保管場所や維持管理費等は確定したのでしょうか。 文科省は原発所有者から国民に報告(原発ゼロに伴う原子炉解体計画)させることに政府が責任を持つこと。 意見提出済み文書の訂正をお願いします。2012／08／01＝(12)小笠原諸島先太陽★北★に。 2012／08／03＝で、前記同様に★落★に。2012／08／03＝子安川・★尾★に。2012／08／04＝家督相続。194★2★に各々訂正します。
30543	個人	その他	30代	女性	原発ゼロシナリオを選びます。	原発ゼロシナリオを選びます。 自然エネルギーを拡大させる政策をつくってください。 原発に頼らず自然エネルギーだけで日本の電力は賄えるはずです。
30544	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロシナリオ	未来を考えた上で、経済面安全面・・双方から見ても、続ける理由が無いと思います。 現状ですら、安全に廃炉に出来る見通しすらないのに、続けるのは無理。 負の遺産を、子供に託したくありません。
30545	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発ゼロシナリオを強く望みます。	福島F1事故が収束とは程遠く、この先何十年も、水・米・魚・空気を気にしながら生活しなければなりません。子供たちに安心した世界を残すことができませんでしたが、せめて、この先二度と原発事故で日本国民が路頭に迷うことがないようにすることが、今を生きている者の責任だと思います。 福島原発震災でわかったことは、原発事故は誰も責任を取らない・とる事ができず、原発はとても技術とは言えない代物です。日本国民を絶滅に導くような装置である原発は即刻廃炉にし、その技術で世界に貢献することが、日本の世界にたいする義務だと思います。 原発以上に危険(水をかけることさえできない)でまともに動けない「もんじゅ」で核燃料サイクルは破綻しています。軽水炉にプルトニウムを利用するようなことで取り繕っても、かえって原発事故を過酷にさせるだけです。使用済み核燃料は、プルトニウムを取り出す再処理をすることで環境を汚染し放射性廃液を生じて原発以上の危険性を生みますので、全量直接処分に転換するようにして下さい。
30546	個人	その他	30代	男性	原子力発電は事故が起きて爆発した場合の対処を聞いておらず、福島原発の事故の場合、放射能の制御も除去方法も被爆時の治療もまったく確立なく、明らかに原子力発電所そのものが危険であるとしか思えません	福島の郡山市西田町にて原発事故まで1年暮らし、作物もそだてていました。ふき、タケノコ、梅、柿なども自然に生えていていました。これらが放射能検査をしないと食べて良いのかまったくわからなくなりました。放射能障害にしても、チェルノブイリの話しを聞けば、体調不良と奇形や障害や死亡が、事故後に多く発生しているという情報は間違いなく、医学的に関連性がはっきりしていないということは、放射能の危険性はまったく未知数であり、解明されきれていない物を取り扱うのはおかしいです 情報と照らし合わせ考えても原発事故後の放射能拡散は危険であると思わざるおえない。 人の暮らす環境を作ろうとしているとは、思えません 電力料金の料金設定は、総括原価方式と聞いています。原発のような建設費のかかる施設を作ったほうが電力会社は儲かるそうですが、消費者としても納得のいく方式ではないし、これはエネルギー政策としても失敗な方式ではないですか？これでは、お金のかかる無駄な方法で電気を作る施設を、いくら作ってもよい、とも言っているようなものです さらに、水力、ソーラーや風力、地熱、天然ガスなどの普及に積極的でないまま、原発を使わないと電力がたりなくなると言われても、まるで納得できません それらの代償が、現在の福島ではないですか。 もう一度、原発事故がおきた場合の、電力会社や政府、行政の対処について、われわれは何も聞いていません あまりにも、おそまつな、この社会状況に、ブラックジョーク映画を観ている気分です
30547	個人	パート・アルバイト	40代	女性	ゼロシナリオを選択します	原発は絶対に安全とは言えません。 核廃棄物の処理等を考えても再稼動することは反対です。 今すぐ全原発を廃止すべきです。
30548	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発はコスト的にも高く、事故が発生した場合の環境への持続的被害の度合いが大きく、さらに内部被ばくによる人体被害は受忍できるものではない。早期にすべて廃炉し、自然発電と省エネ技術の有力技術を促進すべき。	原発はコスト的にも高く、いったん事故が発生した場合の環境、水産、農業に対する持続的被害の度合いが長期的にわたり大きく、さらに内部被ばくによる人体被害は生命権、幸福追求権、生存権という憲法上の最も枢要な人権を侵害し、受忍できるものではない。 　原子力発電所が人工物である以上、事故等の放射能漏れの危険を完全に除去することは実際上不可能である。原子力発電の非道徳性は、たとえ万分の一の可能性の事故であっても、いったん放射性物質が排出された場合—福島第一原発事故ではこれが起こった—人間や生物が、空気、食物、水を通して体内に吸引・吸収し、重大な疾病を惹起しうることを前提として看過する、人体・生態系に対する無配慮にある。特に地震大国であり、津波の危険が高い日本では、今後原発の存続はありえない(活断層近隣に設置されている原子力施設も多く)、今後、第2第3の福島原発事故同様の事故が皆無であるとは言えず、原子力施設のヒューマン・エラーやテロのリスクを考慮すれば、この可能性はさらに拡大する)。したがって、今後の対応策として、暫定的には休止中の火力発電所や水力発電所そして企業の自家発電を最大限に用いつつ、その間に最新の技術を一気に促進すべきであろう。具体的には、風力発電や地熱利用、海流・潮流利用などの確立されつつある自然発電技術、ヒートポンプや排熱利用、スマートグリッド等のエネルギー効率化技術を早期に実用化すれば、国に必要十分なエネルギーを供給するところまで技術革新は進んでいるという見方が有力である。原子力発電の唯一の利益ともいえる地元雇用については??、今後各地で原子力発電所が廃炉された場合でも、廃炉や核廃棄物の管理業務は長期にわたり必要とされ、それに伴う雇用が発生するほか、近隣に優先的に、自然エネルギー発電施設を設置し、雇用確保を実施するなどの代替案を促進すべきであろう。 「社会にとってリスクの『許容可能』な水準がいかなるものかを判断することは、何よりも 『政治』の責任である。なお、原子力のコストについて以下参照願います。 http://jbpress.ismedia.jp/articles/-/35824
30549	個人	その他	50代	男性	可能な限り速やかに国家プロジェクトとして、またこれからの主要な産業としての戦略的な代替エネルギーを探すべきだと思います。それまでは過渡的に原子力の使用もやむおえないと思います。	(1)原子力はその事故リスクが大きすぎ、いままで築いてきたものをすべてなくしてしまう危険性があります。そんな危険を冒すほど必要なエネルギーでしょうか？ (2)完成された技術ではないと思います。たとえば核のゴミの問題。どのように処理するつもりでしょうか？
30550	個人	法人等	50代	男性	現在稼働中の原子力発電所の運転を直ちにやめるとともに、既存のすべての原子力発電所を廃止してほしいと強く願っています。	地震大国、自然災害大国の我が国には、原子力発電所のような危険な施設を設けるべきではないことが、3／11の東日本大地震で明らかになったと思います。原子力発電所を安定的に運転するためには、ほかから電気を持ってきて冷却装置等を稼働しなければなりませんが、完全なファイルセーフを考えれば、原発一基ごとに数十もの補助電源を分散的に配置する必要があると思います。そんなことはコストを考えれば不可能です。 　本当に原子力発電所が安全な施設だと考えるのであれば、霞ヶ関から10キロ以内の場所に完璧な原子力発電所を建設してみせてください。
30551	個人	自営業	30代	女性	脱原発　ゼロシナリオ、を支持します。	福島第一原発の事故から、これまでそしてこれからも続く被害を考えると、原発を動かす理由が分からない、というシンプルな理由です。 日本のどこにあっても地震の被害が出ないという確証はないと思うし、自ら危険性を生み出すことはないと思います。 再生可能エネルギーには専門家の方がたくさんいらして、いろんな可能性があると思います。健康でゆたかな自然とともに生きられるのが国民の願いです。どうかよろしくお願いします。
30552	個人	会社員・公務員	40代	男性	国として様々な事項をバランスよく検討し、建設的な情報発信と判断を期待します。現時点では原子力の日は消すことなくバランスの良い政策を願います。	現時点で約20年先の技術など想像もつかないため、有識者の意見に頼らざるを得ない一般人としては、3.11以降の原子力＝NGという風潮に疑問を感じます。都会と比べ地方では職が制限されるため、原子力など大きな雇用に頼らざるを得ない実情があります。日本の技術力は世界でも優れており、今回発生した問題をクリアすることはできると思っています。今後の技術革新を踏まえ、且つ地方の状況をよく理解し中長期計画を立案されることを期待します。 マスコミも問題点に関する報道の割合が高すぎると感じます。こんな時こそ建設的な情報を発信し、一歩前に考えを進めるような動きをして欲しいと感じます。これは政策を考える立場の皆様も同じと思いますが、情報発信の結果、国民に与える影響力は非常に大きいものと思います。 人間は贅沢な生き物なので今の生活レベルを下げることは抵抗があると思います。もう少し一般人・地方を見て頂ければ幸いです。 最後ですが、このような状況下において政党間で足下論争は控えて頂ければ。

30553	個人	会社員・公務員	40代	女性	ゼロシナリオを選択します。今ある原発はできる限り早く廃炉にするべきです。	「エネルギー・環境に関する選択肢」について、ゼロシナリオを選択します。今ある原発は即時停止し、できる限り早く廃炉にし、原発依存度は0%とするべきです。 「エネルギー・環境に関する選択肢」の「おわりに」には「東電福島第一原発事故を経験した我が国」とありますが、事故はまだ収束しておらず、危険な状態が続いているのだから、「経験した」という過去のことではなく、「経験している」現在進行形のことです。このような事故が起き、そして1年5か月経過しても収束できずにいるのだから、我が国は地震が多いという立地条件からも、技術的な点からも、原発を使用することはやめるべきであることは明らかです。 また、「それを硬にして、政府は責任ある選択肢を行う」と言っているのですから、福島第一原発事故の責任を政府も東電もとっていない今の状態でこの言葉は信用することができませんが、本当に責任ある選択を行うよう望みます。 なお、この選択肢に関しては、中間である15%を選ばせようとする意図がみえ、問題があると考えます。選択を誘導するようなことはせずに国民の意見を聴いてください。
30554	個人	自営業	50代	男性	原発の現実的利用 エネルギーの安定的利用	原発は、今想定できる最高の技術と安全を念頭に新規に建設する。 一基建設する代わり、40年前の基準で作られたものを、三基廃棄する。徐々に原発を減らす方向でありますから、新規の建設に対する国民の抵抗も少なくなる。 揚水発電が行われていますが、巨大なバネ、ゼンマイを動かすシステムを都市部に構築すれば、同様の効果が得られるのと、送電ロスも少なくすむと思われます。揚水発電も、バネ発電も大きな物理電池と考えます。
30555	個人	その他	60代	男性	選択肢3（20~25%）を支持します	原子力・エネルギー政策は国家の最重要事項なのでもっと時間をかけて冷静にじっくり熟慮して決めるべきだ。一時期の感情論にとらわれてはいけないと思います。どうしても今決めるのなら選択肢3しかない。
30556	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発は、即時停止、廃炉作業を開始する。 蓄積された使用済み核燃料の処理ついて本腰をいれて研究する。	日本は世界でも例をみないほどの地震大国。活断層はいたるところに存在する。（地層が安定しているフランスなどとは大きく違う。）こんなところで原発を運転していれば、また福島のようなことが起きる。そしてだれも責任をとれない。 幸運にも、原発が事故無く運転されたとしても使用済み核燃料の処分は、将来に大きな負担を残すことになる。 原発を無くしても電力の供給に問題はない。（現在、大飯原発2基のみ運転しているが、関電は原発稼働とともに火力発電所数基を止めた。猛暑が続いているが電力供給に問題はない。某電力会社などはオール電化を宣伝しているほどだ。） 現在、原子力発電につぎ込んでいる費用（例えば「もんじゅ」、六ヵ所村の再処理設備）を自然エネルギーの開発・研究に回せば良い。 原子力発電のコスト他の発電方式に比べて安いというのは欺瞞である（廃炉費用・使用済み核燃料の処理費用・さらには今回のような過酷事故の補償などを含めて安いはずがない。） 送電設備の自由化を早急に行い、電力供給に競争便利を導入すべき。（かつての電話回線のように） とにかく、狭い日本の国土に一度事故が起きれば数十年にわたって人が住むこの出来ないような設備は即刻停止すべき。 いまその重大な選択の時である。
30557	個人	その他	50代	女性	ゼロシナリオを選択します。 命と共存できない原発は、なくしていくべきです。	原発の安全神話は崩れました。悲しいことに福島原発事故が多くの人にそのことを教えてくれました。この先絶対に事故が起こらないという保障はありません。ひとたび事故が起きればどういうことになるのか、川内原発がある私たちも人事ではありません。放射性廃棄物の大きな問題もあります。放射能との戦いは私たち子孫まで長く続くことでしょう。
30558	個人	家事専業	50代	女性	原子力発電は即刻停止してほしい。 2030年には、原子力は電源としてゼロパーセントになっていてほしい。	日本列島は、自然災害が多く、また人口密度も高い。そのような場所での原子力発電は、被害を受けた時の痛手が大きすぎる。 失うものは、命に土地、仕事に家族とのだんらん、ふるさと。私たちは充分に学習した。あまりにも大きな代償を払って。 電気が必要なら、なにか起こっても、ある程度制御でき、被害の少ない火力・水力・風力・太陽光他の発電を増やそう。必要な分は、お金がかかってもしょうがない。 原子力発電を停止してから、他の電源での発電が整うまで、みんなが少しずつ我慢してもいいんじゃないだろうか。計画停電は、病院や工場で本当に困っているようだ。計画節電なら、普通の家庭でも協力できる。 また、自国での事故も収拾できていない今、他国に原子力発電を輸出することには反対である。 「あんな大事故は起こしてしまったけれど、やはり日本人はすごい！ 国民みんなが協力をして、ちゃんと後始末をして、廉価無害の未来のエネルギーを作り出してしまった！ 人類のためにも地球環境のためにもすばらしい貢献をしてくれた！」 と、50年後に世界から賞賛されたい。
30559	個人	自営業	40代	女性	国内から原発をなくして欲しいです。 ガスや火力、自然エネルギーを利用しやすい仕組みを国が作るべきです。	先の震災による原発事故が、福島の人の生活を奪い、国民全体に影響を及ぼしました。今でも事故現場からは放射能が延々と降り続け、水や空気、食物を汚しています。こんなに重大な事故が起きているのに原発を再起動させるなど信じられません。 原発は地震に強くないことが、今回の事故で判明しました。 災害大国である日本で同じような悲惨な事故を二度と起こさないためにも原発はなくすべきだからです。
30560	個人	無職	60代	女性	先の地震の恐ろしさはいまだ忘れることができない。過去にも同じような規模の地震があったしこれからも起こるであろう。このような国に原発は絶対いらない。地震は防げないが原発をゼロにすることはできる	我が家の枇杷の葉をお隣のお孫さんのアトピー治療に使っていただいていた。 何気なく枇杷の葉の放射線量（福島のだが）を見てびっくりした。 早速、お隣さんに報告し枇杷葉の放射線量を測らまで使用をやめてほしい旨伝えた。 測定所で測ってもらうと、洗浄後の葉のセシウム合計は約20Bq、無洗浄のものは約27Bqあった。そう高い量ではなかったが、我が家で育った枇杷葉をお風呂に浮かべることで小さいお子さんが少なからず汚染されたかもしれないと思うと、決して心穏やかではない。 おなじようなところに生えているからといって、放射線移行率がそれぞれ違うということを測定所で伺った。庭に生えている路やシソやニラなども、例年と違い恐る恐るよくよく洗って、湯でこぼしてから食べている。以前は、農薬も全く使わない我が家の庭のものはすべて安心して、天からの恵みとしてありがたくいただいていた。このような思いをこれからも持ち続けなければならないと思うと、辛い。 経済界のことはよくわからないからこういうことが言える、とおっしゃるかもしれない。だけど、いまだに福島原発の危うさが解決したわけではなく、新たな地震が発生すればもっともっと広大な範囲に被害が及ぶ。そうしたら経済活動どころではないだろう。 地震国にすむわたしたち日本人はすべての原発を廃炉にする方向で、世界に先駆けてその技術（持続可能な代替エネルギー開発も含め）の開発を切に願ってやまない。
30561	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロを選択します。	唯一の被爆国である日本が原発を何十機と抱えていたことを知ったのは、あの震災の事故がきっかけです。 私たちひとりひとりが心がければ十分に節電ができ、それで十分に生活できることを知ったと思います。 今までどれだけムダ使いをしてきたかを知ったと思います。 今こそ原発を手放す時だと思います。 原発の制御が難しいことは十分に知っておいて、あんな事故があったにもかかわらず、使い続けることはかなり無理があると思います。 私たち人間だけが、人間だけの力で発展してきたわけではないと思います。 今後の地球、地球で生かされるすべてのもののために、 本当に安心安全なエネルギーを使っていくことを願います。 4つ目のシナリオがあるのならば、それが、原発ゼロで、またすべてに負担のかからないものであるならば、その4つ目を本当に選択したいところです。
30562	個人	学生	20代	男性	提示された3つのシナリオから選ぶとするならば、「ゼロシナリオ」を選択するべきと考えます。また、原発を段階的に廃止するのではなく、即座にすべての原発を停止、廃炉にするべきです。	原子力発電は70年代のオイルショック以降、エネルギーの安全保障問題の解決を可能にする存在として注目を浴び、政府によって積極的に推進されてきました。しかしながら、2011年3月11日の大震災、それに付随して起きた福島第一原発の事故によって、夢の発電技術として脚光を浴びてきた原子力発電の虚構性が露わになりました。原子力発電を推進してはならない理由は数多くありますが、中でも重要な要因を上げたいと思います。 1．原子力発電は民主主義と相容れない存在であるということです。民主主義の中心的価値・理念は、「参加」と「自治」です。なぜ原子力発電がこれらの理念にそぐわないのかといえば、原子力発電によって生じた事故の被害は予想することが原理的に不可能であり、誰が責任を負うのか、その責任の所在を明らかにすることが出来ないどころか、事故に対して責任を追うこと自体が不可能であり、「自治」が成り立たないためです。自動車事故や停電といったアクシデントとは違い、原子力発電は、そのリスクやコストを評価することができません。事故が起きた際に誰が被害者であるのか、責任の所在はどこにあるのかについて決定するのが極めて困難であり、民主主義の理念・価値と共存することが出来ません。 2．原子力発電は、技術的・工学的部分と人的・組織的部分の2階建て構造になっており、技術的にクリアしていようとも、民主主義から程遠い日本社会において、原子力発電の人的・組織的部分の問題を解決することが困難である以上、原子力発電を推進することには巨大な危険性が伴います。よく知られた通り、日本社会は非常に高度なテクノロジーを生み出す力があります。しかしながら、よりよい社会、組織を生み出していく力については、あまり期待することが出来ません。昨今の問題で言えば、原子力規制委員会の人事案の決定に際して、十分な説明や民主的決定があったとは言いがたく、役人によって恣意的に委員が選ばれたとしか考えられません。残念ながら、日本社会では、個々の組織の独立性を健全に保つことが難しく、癒着や賄賂、天下りが数多く発生してしまいます。民主主義とはかけ離れた現状の社会状況において、原子力発電を推進してしまえば、原子力規制委員会による抑止、牽制効果が機能することなく、これまでの原子力政策がただ延長されるに過ぎません。福島第一原発事故の原因究明、および、そこからの十分な反省もないまま、原発を続けてしまうことは極めて危険です。それゆえに、原発を段階的に停止、廃炉にするのではなく、即座にすべての原発を廃炉にすべきです。 3．もんじゅ・高速増殖炉を利用した核燃料サイクルが成功する見通しがなく、また、従来の原子力のコスト算定の結果があまりに小さく見積もられている可能性が高いため、他の発電機構に対する原子力発電の優位性を認めることが不可能です。核燃料サイクルは未だに実現のめどが立たず、ナトリウム漏れなどの事故を繰り返すばかりであり、六ケ所村の再処理工場も事実上、使用済み核燃料の貯蔵施設と化している状況において、核燃料サイクルの実現を期待することは困難です。政府、電力会社が核燃料サイクルをやめられない理由は、それをストップしてしまえば、使用済み核燃料を資産計上することができなくなり、バランスシートが崩れ、電力会社の破綻処理を免れず、既得権益を危険に晒してしまうためです。また、核燃料サイクルを推進した背景には、核兵器等への転用を可能にする核オプションを維持したかったことも疑われます。そもそも、原子力発電のコストを見積もることは自体が困難です。使用済み核燃料を処理する場所、また、実際にどのように処理すればいいのかという問題が解決されていない状態であり、未規定のコストが多く存在していることが予想され、今まで思われてきた以上にコストが掛かる可能性が濃厚です。それゆえに、原子力発電を推進すべきではありません。即座に中止し、可能な限りリスクを背負わないようにすることが必要です。
30563	個人	家事専業	60代	女性	ゼロへ　原発の危険が確認されたのが今回の震災でした。ゼロにする為の検討を進めて下さい。我が家は都内の小さな住居ですが、太陽光パネルを載せました。新築住宅に義務付ける事も選択肢と成り得ると考えます。	原発がどれ程危険な物かは、誰も異論はないと思います。そして私は原子力の専門家なんていないんだと思うようになりました。それ程人間の力では制御不能の物のようです。唯、原子力に頼らないエネルギー生活が実現可能なのか・・という事については、専門家の知識、技術を結集して取り組みたいと思っています。大きな柱となるエネルギーがなくても、いくつもの選択肢を組み合わせて、それぞれの地域で、それぞれの企業、家庭でできる事が見つかると考えます。そして、新興国はじめ、多くの国が原発依存へ舵を切る中で、脱原発の実現を世界に示そうではありませんか。 概要欄で示しましたが我が家の発電状況をもう少し詳しく述べます。 都内の小さな一軒家ですので、屋根だけでは発電量が少なかったのでベランダにもパネル4枚並べて3.44kWの発電となりました。 2011．9．12　発電開始　2012．7．31まで 発電量　3024kw 消費量　3441 売電量　2104 東京電力へ支払った電気料金　　61490円 東京電力から支払われた電気料金　83028円　となりました。 設置工事費用の回収には10年以上かかりますが、1個人でもこれ位の事が可能です。 原発以外のエネルギー政策をすずめる予算措置を検討して下さい。
30564	個人	会社員・公務員	40代	男性	脱原発（ゼロシナリオ）を指示します	原子力は危険なエネルギーであり、人類には制御不可能である。一度事故が起きると誰も手に負えず、国でさえ責任をとることはできません。 また、政府の事故後の安全に対する姿勢には極めて不信感をいだかざるを得ず、大飯についてはベントさえつけていない・活断層の存在の疑念があるにもかかわらず再稼働している。過去から経緯を振り返っても反省が言葉ばかりでまともに生かそうという意思がないようにしか感じられず、日本は原発を運転する資格なしと考えます。
30565	個人	無職	60代	男性	原子力発電は全て即刻に中止すべきである。	私の故郷は福島県双葉郡富岡町である。現在は警戒区域となり、立ち入り不可能となっている。これは全て東京電力福島第1原発の事故のためである。我が国のように、地震大国では原発のように危険きわまりないものは設置すべきでない。一般に、原発は炭酸ガスを排出しない利点が宣伝されているが、核分裂による超高温の熱を最終的に海に放出しており、直接に海を暖めて地球温暖化に拍車をかけている。これからは、太陽光・風力・地熱等々の自然エネルギーによる発電を目指すべきである。
30566	個人	その他	30代	女性	ゼロシナリオを選択。早期の脱原発希望。3つの選択肢には多くの問題点あり。パブコメ募集期間も短すぎるので延長し、テレビやラジオも利用して告知すべき。核燃料サイクル問題に関しては別途国民の意見を聞くべき。	1．脱原発を強く求めます。 ひとたび事故が起こったら収拾がつかなくなる事が分かりました。安価なエネルギーというのも嘘。メリットよりリスクが大きい発電方法を選ぶ理由はありません。また、今まで原発を推進してきた背景には安全性よりも一部の人にもたらされる利益が優先されてきたことはすでに多くの国民の知るところです。関係者は過ちを認め、これからは正しい道に進んでいただきたいです。また、核燃料サイクル問題に関しては別途国民の意見を聞くべきです。 2．電力システム全体の見直しをしてください。 このことがシナリオに組み入れていないのはなぜですか？ 震災の影響で電気が足りなくなるなどありましたが、PPSの余剰電力を有効に利用すれば計画停電の必要はありませんでした。システムの見直しだけでも原発のいらない状況になるのではないですか？ 早急に発送電分離、電力自由化を含め電力システム全体の見直しを行い、このような事態にも対応できるようにしてください。また、9大電力会社の地域独占状態をなくしてください。 3．再生可能エネルギーについて各専門家の意見をしっかり聞いてください。 再生可能エネルギー＝電気料金値上げではないはずです。ゼロシナリオには作為的な印象を持ちました。各専門家の意見を聞き、きちんと研究・分析して正しい情報を国民に提供してください。 4．もっと国民の意見を聞いてください。
30567	個人	家事専業	30代	男性	絶対、原発反対！！ 直ちに撤廃せよ！！	原発の怖さ、原発がもたらした被害の大きさが確認された以上、もはやこれ以上の理由は無く、原発はいらない。必要ない。 例え生活が不便になろうと、原発はいらない。 命が一番だからだ。 原発で誰が儲かるんだ？　真実を話してみろ！ 太陽光、地熱、風力、水力、波、その他色々、現在の原発と同等のクリーンエネルギーは日本国民みんなで意見を集めれば作れるはずだ。 そもそも責任の取れないモノは作るな！！悪い種は蒔くな！これで終わりにしよう。 そして新しい時代、低コストクリーンエネルギー、無限エネルギーの時代を迎えよう。 税金は、日本及び国民の為に使うべきだ。
30568	個人	会社員・公務員	40代	女性	ゼロシナリオ。	事故の不安だけでなく、核廃棄物の処理など、人間の手に余るものだと思います。どうかどうか、限りある自然、限りある資源の中で、調和して暮らせる道筋を考えてください。私もできることからやっていきますので。
30569	個人	会社員・公務員	40代	女性	0%シナリオ…原発を0%にする	地震大国日本で、危険な原発を稼働続ちていては、国民の安全を保障できない。いったん事故が起きた時の被害の大きさもさることながら、廃炉費用や、核廃棄物処理など、不透明な部分が多い。こういった費用を考えれば、原発にかかる費用は「計算できない規模」になり、その負担を国民、特に子供世代におしつけることは容認できない。経済構造や社会の在り方を変えてでも、原発ゼロを実現して欲しい。
30570	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオを選択します。	ゼロシナリオを最適と考えるのは、原子力研究そのものは意味があるとしても、それを実用するにはまだ科学技術が充分発達していないと判断するからです。「社会の繁栄」が犠牲の上にあってはなりません。事故のリスクがまったくないと言えない以上、電力不足が生じることがあろう。原子力発電は極力即刻断念し、それに見合った社会を形成するべきです。
30571	個人	家事専業	60代	女性	原発〇を1日も早く実現する。	フクシマの現実は、私の住む新潟県の明日ではないか、と強く思うからです。福島では、風が海に向かって吹いたから東京が助かっただけだと言うことを、どうして政府の関係者は思い浮かべないのでしょうか？ 柏崎刈羽原発で事故があれば、とりわけ冬には風は東京に向かって吹きます。そうなれば首都圏は壊滅します。1日も早く、柏崎刈羽原発の運転再開を断念して下さい。新しい国際関係は、そのあとにしか開かれません。
30572	個人	パート・アルバイト	30代	女性	(1)ゼロシナリオを選択します。 ゼロ以外ありえません。	国民の健康を脅かしても、原発を動かさなければならないなんておかしいとおもいます。 命が一番大事ではないのですか？ 本当に放射能を浴びている子どもたちは大丈夫なのでしょうか？ 子供たちに明るい未来が訪れることを願っているだけです。 自分たちで処理できないものを何世代に渡って残していくのは嫌です。 できるだけ負の遺産は減らしたいです。 命を削ってまでも必要な電力はいりません。

30573	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロ　今からできる限り早く、自然エネルギーにシフトすべき。	原爆投下された日本に、原発が存在しその上震災により人々に苦しみを与えたこと、又福島の子ども達の未来を奪ったことを考えるとどうして今後原発に依存しなければならないか疑問に思う。今こそ、私たちの生活スタイルを見直すことそしてエネルギーも自然現象に頼るべきだと思う。私たちの国の子どもの未来がどうなるかとても大切な岐路に立っていると思う。
30574	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	(1) 0パーセント を選択 依存をゼロにしない限り、安全、経費面でリスクが残る。	原発が安全でないということは既に立証されているのだから、即刻、全廃に向けて動いて欲しい。また、使用済み核燃料を外国で処理する案には、反対する。日本が使ったものは日本で処理すべきである。
30575	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電は無資源国日本の必須エネルギーです。自然エネルギーでは需要を賄えません。資源の無い日本国がこれからも発展し、国民が生きていくためには十分に安全対策を施した原子力エネルギーが必要です。	日本にはエネルギー資源がありません。今、一部の国民の間ではやされている自然エネルギーでは国内のエネルギー需要を安定的に賄うことは到底無理です。それは技術的に考えても当然の話です。いくら資金を投入したところで、もともと自然界から得られるエネルギーが需要量に達しないからです。 一部の国民感情から自然エネルギーがはやされ、一部の政治家もときの声に踊らされていますが、国策を誤ってはいけません。 過去、政治家、官僚、技術者たちが脈々と築いてきた原子力エネルギーの技術を絶対に手放してはいけません。福島の原発事故の影響を受けている人々の気持ちはわかりますが、日本国の全体を考えなければ国家百年の計を誤ります。 化石燃料を輸入に頼っていては国家の財力が底をつきます。 従来の原子力エネルギー政策を継続するべきです。十分に安全対策を施した原子力発電が日本国民がこれからも生き続けるためには必要なのです。 それから、最後に、東日本大地震の直後、福島原発のメルトダウンの予測を発表した原子力保安院の審議官は、まさに技術的にただしい判断をした勇気ある官僚です。
30576	個人	その他	40代	女性	2030年までに原発は0（ゼロ）です。今から即時廃炉にしてください。	2030年までに原発は0（ゼロ）です。そして今から即時廃炉にしてください。 理由： (1)　原発がなくても火力発電（天然ガス）で代替えとして賄える。その間に地熱発電などの自然エネルギーやメタンハイドレードを開発する。 (2)　現在でも福一1～4号炉が倒壊の危機（崩壊したら首都壊滅）に陥っているのに、他の原発を稼働させるなど言語道断。地震のストレステストがない、原発が地震に耐えられない、老朽化など問題山積です。再度大事故が起きれば日本の居住可能区域は大幅に小さくなる。 (3)　核廃棄物の問題。原発を再稼働させても核燃料プールが満杯になりつつあり、数年後には原発を止めざるを得ない。核廃棄物をどこに捨てるのか、問題が解決せず、稼働させればそのための費用もそれだけかかる。 (4)核燃料サイクルの失敗。もんじゅや六ヶ所村に何兆円を投入しても稼働不能とは全く税金の無駄遣いです。すべて廃止してください。
30577	個人	無職	70代	女性	「即刻、原発ゼロ」と「核燃料サイクルのストップ」、「電力の自由化」、「自然エネルギー推進」を求めます。また、エネルギー政策について、福島の事故について、国民への真実の情報開示を求めます。	選択肢の3つの中から選ぶとすればゼロシナリオです。 が、30年後にゼロになるのでは遅すぎます。すでに一刻を争う時期と感じています。 福島の事故を全く収束させられず、ひとたび事故を起こした時の危険性について学んだはずの日本がまた原発を動かす…。正気の沙汰ではありません。 また、それ以前の問題として、核廃棄物の処理が人類にできない限り、いかなる理由があろうとも、原発に未来は無いと考えます。私は同時に、核燃料サイクルを止めることも求めます。難しい問題が山積しているでしょうけれども、国民は、原発が無くても「電気が足りている」ことをとっくに知っています。人類は、原発という、いわばパンドラの箱を開けてしまった。しかし人類には知恵があるはずです。これ以上、未来に負の遺産を遺すわけにいきません。 電力の自由化と自然エネルギー推進は、より良い未来のために必要と考えます。 3つの選択肢に記載されている内容では、地球温暖化対策についても考えが甘いように思えます。 地球に優しいやり方を、最大限追究すべきと考えます。 最後に、このパブリックコメントや、各地の意見聴取会についても、やり方に不満があります。 その存在が、一般にあまりにも知られていないこと、聴取会が少なすぎることなど、とても、国民の皆の意見をきいているという風には思えません。 多くの国民が、脱原発に向けて、真剣に声をあげています。 どうか、人の心を持ってお聞きください。
30578	個人	自営業	30代	女性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます。 この夏、大飯原発3･4号機が再稼働されましたが、 原子力発電がなくても、夏のピーク時及び夏全体の需要を賄えることが証明されました。 再稼働に反対している市民の多くは、「原発の再稼働は需要を満たすためではなく、関西電力の経営破綻を避けるために行われた」ということを知っています。 また、福島第1原発事故の被害者に対して東京電力が支払った賠償金や仮払金が、7月末時点で総額約1兆795億円になっており、今後必要となる賠償金が予想できないことを考えると、地震の活動期に入った日本で、原発を稼働することのリスクは計り知れないものとなります。 この状況において、国民の生命と財産を守るべき日本政府が「原発ゼロ」以外のシナリオを選ぶ余地はありません。 議論すべき課題は原発ゼロ（稼働）をいかに早く達成するのか？ 既に原発サイトに貯蔵している使用済み燃料を地震や災害･テロからどのように守るのか？ 使用済核燃料をどう処分していくのか？ 省エネルギー、再生可能エネルギー転換をいかにして最速で達成するのか？ これまで原発に依存してきた地域の住民や行政をいかにして地域自立経済に転換するか？ といったことです。 これらの課題を解決するために、以下4点の政策が必要となります。 ■さらなる省エネルギー政策として中小企業へのESCO導入支援策 産業部門におけるESCO事業の導入率は多くても10%程度だといわれています。 多くの中小企業では、ESCO事業を導入しても効果が少ないため、ESCO事業者自身が売り込みを行わないのです。 そこで、中小企業を対象としたESCO事業の促進をする必要があります。 ESCO導入の費用に助成金を出す、あるいは後述の炭素税導入により、中小企業の省エネルギーを加速させることができます。結果、LED･FHF蛍光灯、デマンドコントローラー、ガスヒートポンプエアコンの導入など、効果的な省エネ機器への転換や対策がとられ、産業部門からの5%～10%程度の節電と経費節減が可能になると考えます。 ■再生可能エネルギー研究、開発、地域自立型事業の促進 ･これまで原子力に向けられてきた研究開発費を再生可能エネルギーに 向けるべきです。 ･7月施行の再生可能エネルギー固定買取価格制度を支持します。 ･今後は研究、開発だけでなく、再生可能エネルギーの生産地である地域の 住民を主体とした再生可能エネルギー事業を展開する企業家やコーディネーター が必要となります。これは第3次産業の人材の雇用創出にもつながります。 ■電力会社に向けた脱原発支援策 これまで日本政府と電力会社、原発関連企業が共に原子力行政を行ってきました。 この「共依存」を支えてきた仕組みを廃止し、電力会社に「安全な電力の安定供給」という本来の社会的責任を果たさせる必要があります。そのためには以下の5点が必要です。 ･天下りの廃止 ･発送電分離 ･総括原価方式の廃止 ･原発事故時の補償の無限責任化 ･情報公開と引き換えの脱原発経営のために必要となる補助金 ■炭素税の導入 上記3項目を達成するために最も効果的な制度は「炭素税」の導入です。 既に多くの国で採用されており、効果や課題についても多くの事例があります。 エネルギー政策の根幹となる政策のひとつとして国民的議論をしながら、導入すべき制度だと考えます。
30579	個人	会社員・公務員	60代	女性	原子力依存のエネルギー政策はできるだけすみやかに終了すべき。現在の政策の延長線上での方針転換ではなく、人類が地球上で安全に平和に生活していくことを大前提として、根本から政策を検討し直すことが必要。	現在の議論は経済活動を維持するためにはどのような政策が必要かにポイントがおかれているが、経済活動は人類のためにあるもので、人類の生存をあやうくする経済活動はありえない。原子力は、一歩間違えば人類の滅亡につながる可能性があり、使用済核燃料の処理問題も解決されていない、原子力発電を始めた時点では、やがて処理技術が開発されるという期待があったのかもしれないが、現実はそうはならなかった。今後は、生成されてしまった使用済核燃料の処理技術、安全に原子力発電を終了させる技術、安全な新しいエネルギー技術の開発を、政策の柱としていただきたい。
30580	個人	学生	20代	男性	エネルギー・環境委員会において話し合われるべきは、どのような社会のあり方が望ましいのか、その理念・価値について議論されるべきであって、3つのシナリオを提示することではありません。	委員会で話し合い、その中で出される結論は選択肢（3つのシナリオ）を提示することではなく、現状ではどのような仕組みでエネルギーが選択されており、今後エネルギー政策を決める上で、どのような社会システムが望ましいか、その価値・理念について話し合われるべきです。すでに原発依存度を可能な限り減らすことに同意しているのですから、パーセントごとにシナリオを示すことにはあまり意味がありません。そうではなくて、原発依存度を下げ、再生可能エネルギーによる発電比率を上げるための仕組みについて議論がなされるべきです。例えば、具体的には、巨大なシステムに依存した現状の電力システムを変え、電源を市場原理によって消費者が自由に選べるような仕組みを実現すべきだ、などです。
30581	個人	家事専業	40代	女性	福島第一原発の廃炉作業に関する技術経験を国内原子発全てへ順次展開すべきと考えます。原子力技術の開発・展開に代わり廃炉技術・核廃棄物最終投棄作業と自然エネルギー類への研究開発へ予算を向けるべきです。	国内での廃炉の経験はまだ一度しかなく、ただちにすべての原子力発電所を停止し廃炉に向かうのは現実的に厳しいことは理解しております。福島第一原発の事故は大変残念ではありますが、新しいエネルギー生産、消費のあり方に対して確実に向き合う時となりました。現在の私たちは電力なくしての生活は成り立ちません。今までの原子力発電技術関係者に対して感謝しておりますが、日本人の技術努力と創意工夫で新しい仕組みを作り上げてゆく必要があります。新規の原発は不要です。いまや前年以上に電力を消費したい人はいません。段階的に老朽化した原発の廃炉を進めてください。老朽化のラインは30年または32年で考えるべきです。老朽化の引き伸ばしがどれだけのリスクかはご存知のはずです。原子力による発電はクリーンでCO2が出ない、という仕組みは理解しています。しかし原子力発電による海への放出熱による地球温暖化、火力、発電所との併用必須での原子力発電の存在意義、ウランの採掘から始まる加工処理から最終処分までの環境安全性のあり方を考えると、どうしても「次世代に残したいもの」とは考えられないのです。「明かり・灯り」は「優しさや希望」でありたいのです。人の大切ないのちや日々のささやかな生活を踏み台にしてまでも原子力発電に拘る経済効果を享受するわけにはいきません。自然エネルギー・スマートグリッド等日本には誇れる技術があります。今こそ英断すべき時です。
30582	個人	家事専業	40代	女性	(1)ゼロシナリオを選択します。	原発の事故は全国的に大々的に報道されるのは少なく、震災により全国民は原発は危険と再認識できたと思います。原発に関して隠さず真実を伝えられないのであれば、原発反対です。報道できないヤバイ情報があるはずです。事故により日本に住めなくなるかも、世界中のみんなに迷惑かけるかもしれません。正直「秘密保全法案」が気になります。このメールにより将来、逮捕されはしないかと。政治家の皆さん、自分たちは特別な選ばれた偉い人間だと思っていませんか？ 自分のことしか考えてないように見受けられます。
30583	個人	無職	80代以上	男性	直ちに廃止。使用済み核燃料の処理問題が解決されていないのに、稼動を続けることは、未来に救い難い禍根を残す。	＜直ちに廃止＞の主要な理由は、再稼動して、予想される人命毀損の事故が起きた場合、誰が責任を取れるのか、責任を取れないことを法治国家ではやるべきではないし、絶対にやってはならない。
30584	個人	無職	70代	男性	原発を50～60年かけて0にする。 その間に　1．新電源を開発する。 2．分散型電源の比重を高める。 3．電気のサイクルを全国60サイクルに統一する。 4．送電網を強化し、中央司令所を設ける。	政府提言3案にはいずれも反対。もっと長期的は目標が必要。 原子力は50～60年掛けて0とし、軟着陸する。0にするのが早ければ早いほどよいが廃炉にする場合のコスト、エネルギーセキュリティ、温暖化を考慮する必要がある。今手がけている新規建設も、設計を変更した上で容認する。 安全は絶対といえるほど確保する。特に全電源が喪失したときの対策は徹底して施し、1時間以内に対応して、メルトダウンに至らないようにする。訓練も必要。 その間に： 1．新電源として、原子力に代わる新しい電源を強力に開発する。核融合は夢の話しで未来のことだが、例えばウランに代わる安全な新物質とか安全な運搬も可能になった水素の利用(燃料電池、水素ロータリー発電他）等を研究開発する。 地球温暖化を防止するため火力は30%ほどにする。空気をそんなに使ってよいのかという思いもある。 自然エネルギーは国民、産業界のコスト負担を配慮しながら、出来るだけ採り入れる。太陽光の42円は高すぎる。 2．分散型電源の促進して、自然エネルギー、企業・個人による発電等、あらゆる電源を有効に利用する。 3．そのために、電気のサイクルを60サイクルに50～60年掛けて全国統一する。 4．電力間の送電線も強化して、全国に司令する中央給電司令所を設ける。 (その他)1．核廃棄物の最終処分場を早急に決め建設する。今のままでは50年後も出来ないのではないか。強制的立法とか外国との共同処分場を考える必要がある。 2．ナトリウムを使った今の高速増殖炉は即時廃止する。水も危険物になってしまう。全電源喪失時の炉の冷却はどのようにするのか国民に説明してもらいたい。 3．フランスのように住民の原子力にたいする疑問を一定期間内に回答するような機関を作ってもらいたい。 以上
30585	法人・団体等	法人等	40代	女性	まず、福島第1原発事故が集結しておらず、事故の原因が究明されている中で大原原発の再稼働は即中止すべきである。そして、将来のエネルギー政策においては原発が危険なものである限り、原発0%以外ありません。	原発が一度事故を起こせば、国民の暮らし や命を破壊する危険なものである。取り返しがつかないものである。この事実だけでも原発を0にする理由は十分である。 危険な原発を稼働すること自体からの脱却を急ぐことが国民の安全を守る国がやるべき第1課題と考えます。
30586	個人	学生	10代以下	男性	原発反対！！　放射能反対！！	子供でもわかる危険なモノ、原発。 放射能まきちらして、一体誰が得をするのか？ 自然を壊してまでの電気なら、そんなのいらない。 原発に関係している一部の毒を持った人間以外、原発は必要ない。 3.11以降、放射能汚染された魚の奇形が増えている。寿司も食えない。 危険なのはもうバレバレ。　すぐやめてくれ。
30587	個人	その他	30代	男性	資料「エネルギー・環境に関する選択肢」における「エネルギーの選択において重要となる4つの視点」から考察した結果、2030年の原発依存度を20-25%とするシナリオを支持します。	エネルギーの選択において重要となる4つの視点の各項目に対する私見を述べ、原発依存度20-25%のシナリオを支持する根拠を明らかにする。 原子力安全確保と将来リスクの低減の観点（および国民感情への配慮）から、新規原発の建設は行わない、老朽化した原発は使用しない、原発の安全を徹底するなどの対策を推進する必要がある。経年による廃炉を通じて、徐々に原発への依存度を下げる必要がある。 エネルギー安全保障の強化の観点から、国際情勢に大きく影響される化石燃料への依存度を上げることは危険であり、オイルショックの教訓を無視するものである。2030年の段階でどのような代替エネルギーが開発されるかは未知であり、原発を稼動させながら、代替エネルギーの開発を進めるべきである。 地球温暖化問題解決への貢献の視点から、原発なしではCO2排出の大幅な削減は困難であるように思われる。再生可能エネルギーの開発やエネルギー効率の高い家電製品への転換をベースとした議論は現状では推論であり、実現可能であるかの根拠が薄い。 コストの抑制、空洞化の防止の観点から、原発を使用して発電コストを少しでも低くすることは重要である。少子高齢化が進み、経済の低迷する現状にあっては、原発への依存度を急速に減少させることは国力低下に繋がる危険性がある。

30588	個人	無職	70代	男性	「即刻、原発ゼロ」と「核燃料サイクルのストップ」、「電力の自由化」、「自然エネルギー推進」を求めます。また、エネルギー政策について、福島の事故について、国民への真実の情報開示を求めます。	選択肢の3つの中から選ぶとすればゼロシナリオです。 が、30年後にゼロになるのでは遅すぎるので、即刻ゼロを希望します。 核廃棄物の処理問題が全く人類にできていないことを考えると、それだけでもはや結論が出ます。 原発に未来はありません。 核燃料サイクル施設も即刻やめるべきです。 電気は足りています。 次のステップは、電力の自由化と自然エネルギー推進、そして同時に地球温暖化対策です。
30589	個人	その他	50代	女性	原発依存度0%にすべきです。稼動は即時停止、順次原発をなくしていく。自然エネルギーの開発に国を挙げて取り組むことが必要と考えます。	福島の事故は私たちに未曾有の被害をまき散らしました。現在から未来に向けての放射能汚染というあってはならない事態を引き起こしました。いまだに核の廃棄物処理の方法すら決まっていない、科学では明らかにできないものを人類が持ってしまったことはあってならないと思います。 いまだに放射線量を測定すると高値を示している土地が多くあり、森林・川・海は計り知れない。そんな「安全」でもない危険なものを未来に残すわけにはいかない。人類だけではなく地球環境に無謀な破壊をもたらすことが非常に大きい確率であることがわかっていて実行するとは信じられない。原発の利益に依存している側の論理としか思えない。 今回の夏の電力自給も大飯原発稼働はしたが後は停止しているわけで、それでも成り立っている。早急に稼働させなければならない理由がない。環境に安全な自然エネルギー中心の開発にしっかりと予算もつけて取り組むべきと考える。
30590	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発は0%にするべきです。 昨年のように地震、津波などの災害により大事故になる可能性もある。 また、安定して稼働していても使用済み核燃料を処分することもできない。 ただちに原発は止めるべきです。	災害による原発事故に関して 今もフクシマの人は避難している。私の親戚は原発の一〇キロ圏内にあるため、もう帰ることは出来ないだろうと考えている。先祖から受け継いだ土地を無理矢理奪われてしまったも同然だ。 保証の内容も決まっていない。今後、このようなことがないように原発をなくすべきだ。 使用済み核燃料に関して 何十万年もなくならない人殺しの毒薬のようなものを増やしてどうするつもりなのか。 自分たちの子孫におしつけて平気なんだろうか。 今すぐに原発は止めるべきだ。
30591	個人	その他	70代	女性	原発比率　0パーセントを選択 2030年と言わずに、直ぐに全廃に向けての取り組みを開始して欲しい。できないことではない。	不可抗力とはいえ、ついに日本でも事故が起き、取り返しのつかない被害を出している。それでも尚、原発を稼働させたいとする考えにあきれかえっている。経済よりも大切にしなければならないものがあることを、口先ではなく政策として示して欲しい。
30592	個人	家事専業	50代	女性	「原発ゼロシナリオ」を選びます	「原発ゼロシナリオ」一唯一のシナリオを選びます。 これから先の、不安のない、明日への希望を育てられる社会は、 電力のシステムが改革され、地域分散型のエネルギー供給が進められる事だと思います。もっと、皆で知恵を出し合って、自然エネルギーを推進して省エネルギーの取り組みを進めて下さい。 宜しくお願い致します。
30593	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発の即時撤廃を希望します。	私は震災当時海外に滞在していました。 当初、各国の友人から私の家族の安否について、心配と応援のメッセージをたくさんもらいました。しかし、数日後には、原発事故とその対応に対しての不安や自分たちへの影響を心配する声に変わってきました。 私も、世界中の人達も、当時、情報の少ない中で、まさに地球滅亡の時を予想したか。。。 もう二度とこのような思いはしたくありません。 世界中に迷惑と心配をかけた日本が、平然とエネルギーが不足するからと、原発を再稼働していることを他国の市民にどのように申し開きすればよいのでしょう！？ 自分たちの都合だけ考える企業家と、それに同調する政治家の考えには、辟易とします。どうか大多数の一般国民の意見を、もっと真摯に受け取ってほしい。
30594	個人	法人等	50代	男性	日本は原発ゼロシナリオを選択すべき。今回の災害から、原子力・核の制御は人間の能力を超えることが判った。原発ゼロへの方策こそ議論すべきことである。	(1)今回の原発事故に対して、個人や企業、政治家といえども、誰も根本的責任を果たしえない。それは自然災害であったとか、べらぼうな費用がかかるとかいうことではなく、何万年もの間有害放射線を出し続ける原子力・核というものに対する人間の無力さ、命の脆弱性に由来するものである。我々はこの事実を謙虚に受け止めることから今回の選択をしなければならない。誰も責任が果たせない原発に依存するべきではない。 (2)したがって、現在の電気使用状況や今後の電力供給のあり方を基にして原発依存度を選択する議論の枠組みは本来的ではない。原発事故から飛散した核物質が今後どのような健康被害を国民に及ぼすかもしれないこと、核の最終処分場や処分方法さえも決まっていない現実を直視し、更にこれ以上の原発事故が生じることを防ぐ観点から、原発ゼロにするためにどのような選択をするのかの議論にならなければいけない。本来は、電気の問題と命の問題を同列で論じるべきではない。 (3)福島原発事故は終息していない。今まだ使用済み核燃料やメルトダウンした核燃料を冷やし続けているのであり、いつ再来するかも知れない地震などですでに損壊した施設で核燃料の再臨界、自然界への放射性物質の再飛散が起こるかもしれない。廃炉をするにしても何十年もかかり、それに関わる作業員やその健康を確保し続けることができるのかも見通せない状況と思われる。そうした中での原発再稼動や新規建設を前提としたシナリオは無責任であり無反省な所業といわねばならないだろう。 (4)温室効果ガス問題を考慮するなら、再生エネルギーへの大胆な転換と省エネルギー政策の強化、火力のLNG化を進めて対応すべきである。世論調査などでも国民の大多数は脱原発を求めており、省エネルギー政策への協力は惜しまないであろう。再生エネルギー活用に向けた転換と道筋提示が必要である。 (5)原発はウラン採掘から濃縮までの課程で大量のCO2を発生し、常にフル稼働するために夜間停止ができない。このことから夜間電力活用、オール電化などのエネルギー多消費構造が生まれてきた。こうした構造の転換が求められるのであれば、率直に国民に訴え、協力を求めるべきであろう。
30595	個人	無職	60代	男性	原発0シナリオを選択します。 それも、2030年までにではなく、現在止まっている原発を再稼働させず、また大飯原発の再稼働を中止することにより、実現することを求めます。	・「エネルギー・環境に関する選択肢」では原発0 シナリオの場合、「他のシナリオより経済負担が重 くなる」としていますが、この前提も怪しいと思い ます。福島原発事故では周辺住民は莫大な損失を被 ったばかりでなく、損害賠償も、今でも総額いくら にもかか見積りできません。このように、原発は、 一旦事故が起きれば、どの程度の経済的損失が起き るのか、まったくわかりません。また、原発事故が 起きなかったとしても、高レベルの放射性廃棄物を 出しつづける原発は、費用の問題もさることながら、 将来の人類の安全性を脅かす無責任なものと言わざ るを得ません。また、今後放射性廃棄物を処分する 場合には、それこそ超歴史的長期にわたり、管理し ていかざるを得ず、その費用は見積り不可能なほど 莫大なものになると思われます。もちろん、原発0 シナリオを選択したとしても、すでに発生してしま った放射性廃棄物の処分問題は残るわけですが、今 の量で食い止めるべきと考えます。 ・空洞化防止の点ですが、ドイツが脱原発を進めな がら、経済成長を実現しているのを見れば、原発0 では空洞化が進むかのような議論は正しくないと考 えます。 ・CO2 削減の温暖化対策について言えば、発電だけ の問題ではありません。わが国は、高い省エネ技術 を持ちながら、全体の排出量で、京都議定書の削減 目標を達成できませんでした。これは、今までのわ が国の、原発頼みの温暖化対策に問題があったと、 考えざるを得ません。代替案としては、風力、太陽 光発電のいっそうの採用と、それだけでなく、小規 模水力、地熱、バイオマス、潮力、洋上 MHDなど、 あらゆる再生可能エネルギーの可能性を追究する必 要があると考えます。もうひとつの柱は、一層の省 エネです。たとえば、摩擦があるので、完全には0 にはなりませんが、原理的には、エネルギー保存則 により、同じ高さの場所に物を運搬するのに必要な エネルギーは0です。したがって、まだ省エネの余 地はあると思われます。また、無駄な高速道路を作 り続けるのではなく、公共交通へのシフトなどの政 策転換も必要と考えます。
30596	個人	パート・アルバイト	60代	女性	すべての原発は即時ストップを！！ 再稼動は、絶対反対です。地球上の人類と原発は共存できません。 自然エネルギーの推進を追及しましょう。	被爆国の日本が、福島の原発事故を経験してもなお原発に依存して行こうとしている東電と政府の姿勢を断じて許すことが出来ません。
30597	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロ%シナリオを選びます。	原発ゼロ%シナリオを選びます。利権にとらわれずに電力産業の制度システム改革を実行し、太陽光、地熱、水力、火力等々の様々な発電を一般家庭も含めて推進する補助等の政策を推進すれば電力は賄えると思うからです。原子力発電がないイコール電気料金値上げを国が許すべきないし、電力不足を煽り、原発必要論につながるようなマスコミ報道も国が監視、規制すべきです。
30598	個人	会社員・公務員	30代	女性	絶対に原発ゼロです。再稼働は反対です。	昨年の事故以来、これで日本も変わると思いました。でも何も変わっていないように思います。悲しくて仕方がありません。日本の技術と資金を終結して、太陽光発電を中心とした自然エネルギーの活用に邁進するべきです。 原発は絶対に反対です。外国にも輸出しないでください。世界の大国の一国としての責任と品格が問われていると思います。 子どもが二人いますが、もう生みたいと思いません。
30599	個人	会社員・公務員	50代	男性	全ての原発は直ちに停止、廃炉に。	電力が足りる/足らない、自然災害に耐える/耐えない、というレベルの問題ではない。原発の存在そのものに反対です。何百万年もかかって土に戻るのをただ待つしかない核物質・廃棄物をこれからもずっと増やし続けるのか。電力が足らなくても、経済が沈滞しても、平和で安全なエネルギーの新しい日本に生まれ変わる事を私は望む。
30600	個人	学生	10代以下	男性	原発反対！　絶対反対！	いくら核を平和利用と謳っても、たった一度の事故や、爆発で全て終わり。 チェルノブイリを忘れたのか？ もう二度と元には戻らない。だったら最初から作るな！　使うな！ 原発反対！
30601	個人	家事専業	40代	女性	脱原発、ゼロを願います。	事故以後、とてもストレスに感じています。 国土の一部が放射能によって汚染され、この状況のなかで、原発は安全ではないと思います。 子供たちはこれから長い人生を歩んでいきます。 その子供たちが安全でいられる環境を、今の大人たちで作ってあげたいです。 そのために、原発の再稼働もしないでいただきたいのです。 このままでは、大事な子供のことがとても心配でなりません。 親として、そう思うことは当たり前だと思います。 地震大国日本、自然の脅威には逆らえません。 原発ありきを白紙にし、原発を選択肢に入れずにゼロにした状態から、新たにスタートすべきではないでしょうか。 国民あっての日本です。 その国民の多数の意見を無視しないでください。 よろしくお願いいたします。
30602	個人	家事専業	40代	女性	原発からの脱却。原発ゼロの世界を実現すべく努力すべきです。即刻！	今の政府、政治家、官僚各位の再稼動ありき、福島の事故から何も学ぼうとしない姿勢に対し日々憤りを感じています。総理大臣が軽く「私の責任で」と言いましたが、どのように責任をとるつもりなのか、はっきり言ってもらいたいです。事故がおきた時には今回再稼動をきめた関係者全員の財産を没収し賠償にあてさせる位の念書をとって下さい。一人の日本人として、日本の未来に対し大事な曲がり角にある今をまかせたくはありません。 今年の夏、原発を動かさなくては本当に電気は足りなかったのでしょうか？ 皆で出来うる限りの節電努力を行ったら何とかなったのではないかという思いがしてなりません。短絡的と言われるかも知れませんが、まずやってみない事には可否の判断もつかないと思うからです。 すぐ経済が、、という話がだされますが、何が一番の幸せなのか過去のやり方、考え方から抜け出さないといけない時期にあると思います。 電気が足りなければ、藻などいろんな発想から研究をされている部門をもっと 早く進むよう国としてサポートすべきです。あと原発以外にも選択、手段は沢山ありますよね？発想力の無さにつきると思います。 地震国である日本において何をしても安全とは言えない原発は稼動させてはなりません。今回の事故から学び、世界へ原発ゼロを働きかける大事な使命を背負わされているという自覚を国民全員が持つべきです。
30603	個人	その他	40代	男性	ゼロシナリオを目指すべきだと考えます。また稼働中の原発に関しては即時停止、他のものも再稼働すべきではないと考えます。	関西電力自身が認めているように、再稼働は電力不足の問題ではなく、電力会社が倒産しないため、また銀行の電力会社への融資が不良債権化しないための再稼働でしょう。実際、もっとも関西が乗りつった日でも電力は余っているのにもかかわらず、安全性の調査（原子炉、地盤、避難経路など）が終わらないうちに再稼働されています。これは問電だけではなく、日本全体の電力会社の抱えている問題でしょう。もし経済が問題ならば、銀行まで倒産させるなら国民が大混乱するというのなら、他に解決方法があるはずです。税制などの調整で、そのためならば国民の負担が増えても（低所得層は除いて）しかたありません。もし核兵器をもつためという軍事的理由で原子力発電所を維持するというのならば、憲法違反であり、論外です。経済、軍事より、命です。ヨーロッパにはそれを実現している国がいくらでもあります。日本にできないはずがありません。
30604	個人	自営業	40代	男性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発ゼロ」 さらには「即刻原発ゼロ」を目指すべき。	福島の事故を経て、これ以上原発を続けることは私たちの生きる尊厳を無視する行為。「2030年に原発ゼロ」は当然であり、今すぐ国は「原発ゼロ」を目指すべき。発送電分離、再生エネ普及へ尽力すべき。

30605	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	3つの選択肢の中では2030年までのなるべく早期に原発比率をゼロとする「ゼロシナリオ」を支持します。できるだけ早期に原発比率をゼロとするにするべく最大限の努力をはらうべきと考えます。	原発はひとたび事故が起これば、広大な地域を汚染し、多くの人々の生活基盤を破壊し、多くの人々に健康被害を及ぼす危険性があります。また事故が起こらなくても核廃棄物を生み出し続け、核廃棄物を安全に処理する技術も場所もないのが現状です。このようななかで原発の稼働を続けていくことは、未来に多くの重荷を負わせていくことになります。 一刻も早く、すべての原発を安全に廃炉にしていくべきと考えます。 現在、ほとんど原発が稼働していない状態ですが、深刻な電力不足には陥っていません。燃料費の問題、CO2削減などの観点から火力発電の比率を下げて、再生可能エネルギーの比率をあげていくことが必要です。 再生可能エネルギーについては安定性、経済性などの点から疑問を呈する意見もありますが、再生可能エネルギーは大きなポテンシャルを持っており、それを推進していく政策があれば、普及がめざましく進むことが期待できます。 強い意志で原発ゼロを実現させていくべきと考えます。
30606	個人	会社員・公務員	30代	男性	そもそも前回計画における再エネ等の目標は非現実的であり、さらに上積みを見込む時点で問題だが、敢えて選ぶなら再エネ、省エネ、化石燃料、原子力がバランス良く組み込まれている20～25%シナリオが適当。	上述の通り。この中ならば20～25%を支持。原発比率を高めたより現実的なシナリオがあればそちらを支持。
30607	個人	自営業	50代	男性	0%を支持 1．地震国である日本では原発の安全確保は困難 2．エネルギー安全保障は、再生可能エネルギーなどへ 3．原子力発電は実態は高コスト 4．使用済み核燃料の最終処理に見通しが立ってない	選択肢：0%を支持します。 1．地震国である日本では常に想定外の事態が起こりうる。従って原発の安全確保は困難であり、福島の再発は不可避と考えるべき。安全を主張するならば、東京、大阪などの都市部に原発設置すべき。 2．エネルギー安全保障は、再生可能エネルギーへの分散と、米国からのシェールガス輸入を進めるべきだと考えます。 3．原子力発電のコストは、安全対策コスト、使用済み燃料最終処理コスト、原発解体コストおよび事故発生時の対策コストなどを考慮すれば、むしろ高コストではないか。 4．使用済み核燃料の最終処理に見通しが立ってない状況で、使用済み核燃料を積み上げていくべきではない。
30608	個人	無職	50代	男性	原発ゼロを選択します 原発事故の悲惨さを改めて経験したことからも廃炉は急務です	原発事故が如何に悲惨なものか、身をもって知った以上二度と事故を繰り返さないためには原発をなくすしかありません。 電力の独占体制をやめて、再生可能エネルギーの普及を図るとともに電力の自由化を進めていく必要があります。発電や送電の自由化を進めて、発電コストの低減と需要家の選択肢も増やすべきです。 再処理施設や高速増殖炉は技術的に危険な上に、電力コストの上昇を招くのでただちにやめることが重要です。
30609	個人	無職	60代	女性	原発はゼロに。 これからのエネルギー問題は原発に頼らず、自然エネルギーに切り替えて ゆくべきです。	先般の東北大地震からひどい原発の人災。電気がなければ、どうしようもないぞ―という東電、政府、経済界の言い分。地震国の我が国には原発そのものが相応しくないのです。美しい山河を壊して建てた原発多数。事故となれば、その上に放射能をばらまき、汚して人々の心身をずっかり破壊して、どこまでも続く悪循環。そして核の廃棄も定まらないなんて、考えられない仕様。こんな魔物を後世に残してどうするんですか。 技術国日本と名を馳せているのですから、自然エネルギーに転換は大いに期待できるのではないですか。日本のすごい所です。やさしい人に寄り添ったエネルギーなら国民は高くても賛成です。文句は言わないはずです これからの日本、今こそ大きく舵を切る時です。 2030年までという随分悠長なのには、何が根拠なのでしょうか。
30610	個人	無職	60代	男性	今すぐすべての原発を廃炉に！	人類と原子力の共存は無理。自民党より与力派的で国民の声を無視する野田政権には何も期待していない。もう民主党にはうんざり。原発、消費税、TPP、オスプレイ、すべて国民の声からは程遠い。政府は、15%に結論付けたいのだろうが、これだけ0%の声が多い中、どのように理由付けするのかしっかり見届けたい。
30611	個人	無職	60代	女性	原発依存度0パーセントを支持します。	福島の今の現状を見れば原発はもう動かしてはいけないと思います。 原発付近の住民が自分の家に帰れるめどもついていません。 汚染がれきの処分の展望もありません。 使用済み燃料の始末も，放射能の影響がすべてなくなるには，何万年もかかると聞きます。原発の諸問題を次世代に残してはいけないと思います。
30612	個人	家事専業	40代	女性	1、ゼロシナリオを選択します。 選択肢があれば、即時ゼロを切望します。	経産省などの原子力ムラの方々が提示するデータは一切信用できません。 実際に今夏も電気は足りています。 電力需給の問題ではなく、電力会社の経営の問題は明らかです。 電力会社を生かすために、国と命を天秤にかける訳には行きません。 即刻、原発をゼロにしてください。 そのための一時的な電気料金の値上げは、受け入れられると思います。 が、恣意的な操作をしたデータに基づく値上げは止めてください。 また、日本は地震国です。 地震をコントロールできない限り、日本に原発はあり得ません。 即刻廃炉にしてください。
30613	個人	家事専業	40代	女性	(1)ゼロシナリオを選択します。	すでに福島原発ではメルトダウンが起きて、今なお陸に、海に、大量の放射性物質が放出されている。 健康を害すれば、働けない。健康な子供も望めない。 これ以上、事故のリスクを背負えるとは思えない。 2030年までという期間は遅すぎる。 その間にまた地震がある可能性もある。 急いで廃炉に勤くべき。
30614	個人	会社員・公務員	50代	男性	いずれのシナリオも採用しない 極力早期に原発依存度を低下、将来的には原子力開発技術の維持・発展のための研究的発電設備を除き、廃止する 単なる選択肢の議論でなく、総合エネルギー戦略策定を	いずれのシナリオでもなく、極力早期に原発依存度を低下させる。 将来的には原子力開発技術の維持・発展のための研究的発電設備を除き、廃止する。 それを実現するために、省エネルギー技術や代替エネルギー技術の開発のための集中的投資を行い、産業界・家庭へ提供することで、経済成長を押さえることなくエネルギー供給量の削減に資する。 合わせ開発技術を海外展開し、世界的エネルギー転換に貢献することで、持続性のあるグローバル経済の実現に貢献する。 単なる選択肢の議論でなく、総合エネルギー戦略策定に向けた議論とする。 先端的エネルギー技術により、日本の技術立国の柱足らしめる戦略的取り組みを期待したい。
30615	個人	その他	60代	女性	15シナリオ　一気に0にするには生活に支障はないのか不安が残ります。と言って原発はいらない。火力、風力、太陽熱と資源の活用が私たち庶民に安易に手に入るよう政府がらみで検討して行って欲しいです	現在節電ということで努力はしていますが、実際60年間以上電気のない生活は考えられないと言うほど生活に身付くしています。しかし今回の震災により原発の恐ろしさを顧みると原子力発電はいらないと考えざる得ません。しかしすでに設置してしまった核燃料とを簡単に破棄するわけにはいかないとおもいます。一度になくすと言うのでなく、0になるまでには時間を掛け、私たちに納得の行く方法を見出して欲しいです。身近で発電できるシステムが格安で設置できることも考えて欲しいです。この暑い最中デモ当て抗議している国民代表とも思える方々の行動を早く解決の形に持っていて欲しいです。
30616	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力は国際競争力の維持（空洞化防止）、電力源の安定確保、地球温暖化阻止の効果等から、少なくとも20～25%を維持すべきである。	そもそも日本は、電力料金が高く、化石燃料への依存度が高い。 また、原子力を放棄することは、日本の技術力（安全性を含む）をなくすことでもあり、他国の安全レベルの向上にとっても非常に打撃を与えることになる。 日本の技術力は今回の福島原発の事故で疑われるものではなく、備えに対する認識が甘かったことである。 今後も石化燃料へ依存し続けるならば、電力の安定供給は困難と言わざるを得ない。〔原油の高止まり、産油国の情勢不安…etc.〕
30617	個人	無職	60代	男性	ゼロシナリオを採用し、原子力発電の稼動を直ちに停止してエネルギーに関する新しい技術の開発に人材や予算を振り向ける。	昨年の東京電力福島第一原子力発電所事故は次のことを明らかにした。原子力発電技術はいったん事故を起こすと長期にわたる甚大な被害を引き起こすなど、人類が使いこなせる技術ではないこと。また、使用済核燃料や放射性廃棄物の問題に代表されるように、原子力発電は将来世代に課題や責務を押し付けて現在の豊かさや利便性を享受しようとする、倫理的にも許されない行為であること。 　福島第一原発事故への対処の混乱からは、わが国の科学・技術力の驚くべき停滞が見えてくる。様々な分野での技術革新の遅れの象徴に思える。原子力発電への安易な依存がもたらしたものであろう。これを機に再生可能エネルギーや省エネの技術開発や実用化に取り組むことが、経済の活性化につながるとともに、将来世代にツケを残すことになった私たちの責務であると考える。 　以上の理由により、ゼロシナリオを採用し、直ちに全ての原子力発電を停止し、廃炉作業に取り掛かるべきであると考えます。
30618	個人	無職	70代	男性	提示された3選択肢の中で、原子力発電依存率20～25%を支持する。 原子力の安全にかかわる、工学・技術の高度化、原子力行政(規制、社会とのコミュニケーション）の改革、国際化等に努めるべきである。	我が国のエネルギー戦略をしっかり樹立してほしい。2030年までに再生エネルギーを30～35%の目標を実現するには原子力ゼロでは実現しない。時間経過に沿った説明が不足している。 中期的に見ても、脱原発は日本の安全、国民の平和のためにはならない。 福島の反省の上に立って、自力で国の安定なエネルギーを確保することは喫緊の重要課題である。エネルギー問題で国際紛争に巻き込まれ日本が遭遇した、あの第2次大戦の悲劇を2度と繰り返してはならないと考える。 今回の0%選択は国の安全保障の根源に関わる事であり、将来の世代のために重要な今、感情論的な議論に走ることなく時間をかけ論を尽くして選択すべきである。再生エネルギーは重要であるが、諸外国の現状からみて過度に依存するのは危険と考える。
30619	個人	その他	40代	女性	提示されている3案では「ゼロシナリオ」を選択する。 火力発電における化石燃料の割合を緊急に低減することを求める。 原子力発電所の運営、廃炉には例外を認めないものとする。	1　一刻も早い全ての原子力発電所での廃炉作業の開始を求める。 2　原子力発電所の運営、廃炉に関しては原則を厳守し、30年を超えた運転期間の延長はこれを一切認めない。 3　地質学的に安全が疑問視されている原子力発電所については法に則って直ちに運転の停止、操業許可の取り消しを命ずる。
30620	個人	その他	60代	女性	エネルギー環境に関する選択肢に対する意見 「2030年に原発0」ではなく「即刻、原発0」を主張	「2030年に原発0」ではなく「即刻、原発0」を主張 大飯原発、敦賀原発とも地下に活断層のあることが指摘されているのに、大飯原発は再稼動した。10キロ県内に住む私達小浜市民は、福島のような事故となったら、逃げようがない。たとえ逃げられたとしても、この歴史ある小浜の地を捨てなければならない。福島の人達のように。今すぐ原発を止めてほしい。
30621	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	「0シナリオ」はエネルギーの多様性を放棄し、「15シナリオ」は、原発問題を先送りし、認められない。「20～25シナリオ」は原発維持の姿勢を示し評価。ただし物づくり産業への影響は甚大。見直しが必要	1.各シナリオの共通の問題点1）シナリオの前提とする経済成長が「日本再生の基本戦略」と矛盾。2）全てのシナリオが「雇用」と「国民生活」に対して多大な悪影響。とりわけ、全てのシナリオで電気料金が大幅に上昇する想定は、電力多消費産業に対する負業動告に等しい。電力多消費産業の雇用が危機に晒される状況を看過することはできない。3）各シナリオとも、高いCO2削減量（国内削減）を前提とすることで、過剰な省エネを想定。4）各シナリオとも「最大導入」であるはずの現行エネルギー基本計画の再エネ比率（20%）を超える過剰な再エネ導入を想定。 2.各シナリオの評価 1）意見概要に述べたように、「0シナリオ」、「15シナリオ」は認められない。2）「20～25シナリオ」は評価するものの、以下の点において見直しが必要　・CO2削減目標の見直し。今般提示された全てのシナリオが「雇用」と「国民生活」に多大な悪影響を及ぼすものとなったのは、高すぎるCO2削減量（国内削減）の想定と、そのために積まざるを得なかった省エネが大きな要因。このことは、政府資料として示された経済影響分析における炭素制約の有無による結果を比較すれば一目瞭然。・再生可能エネの見直し。現行エネルギー基本計画では、再生可能エネルギーを「最大導入」を前提として2030年の比率を20%と想定。この2年間で再生可能エネルギーの技術レベルに大きな変化が見られない中、2年前の「最大導入」としたレベルを大きく上回る導入は論理的、物理的に有り得ず、今般のシナリオは明らかに過剰想定。
30622	個人	その他	50代	女性	エネルギー環境に関する選択肢に対する意見　原発は　10年以内に0にして ください　国は　10万年も放射能物質を管理は無理 自然エネルギーに　原発の予算を投入し安定的な地熱発電　潮流発電を利用すべき	ビルの寿命がおおよそ40年です。 原発は、中性子の働きで劣化が早くなっています。 そのことが全く考慮されないで、さらに20年延長はありえません。 また事故が起きたら国民が犠牲になります。 福島の事故で全産業に影響が出ているのを考えてください。 日本の安心安全のブランドに傷がつきました。 40数力国が日本製品、農産品の輸入規制をしたのを忘れないでください。
30623	個人	無職	70代	男性	再び選択肢について 　あまりにも疑問点が多いので、アンケに素直に答えられません	「再び選択肢について」の疑問点を記します。 1 総合資源エネルギー調査会基本問題委員会での議論では、(4)社会的コストを適切に負担する仕組みの下で、市場における需要家の選択にゆだねる、があったのを削除した理由が不明。 2 省エネ効果が一律なのはおかしい。ゼロシナリオのごとく厳しい節電を要求されれば当然、皆が省エネに必死に努力するはずです。 3 ゼロシナリオは核燃料サイクルに関して、直接処分への政策転換を含んでいるようにもみえますが、明確ではありません。何故ですか？ 4 15%シナリオについて:"本命とされている"これは、そのまま推移すれば、原発ゼロになるかのようですが、一応の区切りである2030年には見直すこととされている。これでは最終目標の脱原発依存にいるのではありませんか？ 5 核燃料サイクルの是非について:本件は原発問題の陰に隠されて、選択肢ではないかのようにとれますが、六ヶ所村に所蔵されている核燃料は極めて膨大であり、再処理も廃棄処分も全く先が見えない現実を踏まえるとき、国民の多くはそれを知ったとき呆然とし、かつ全く否定的に反応するであろうことは関係者なら容易に想像がつきます。あえて曖昧にした理由を伺いたい。 6 1兆円もの巨費を投じてもなお先の見通しがつかない "もんじゅ"をどうするのか？を含め、正に核燃料サイクルこそ存廃の是非を問う選択をすべきであると考えますが、当局は敢えて矮小化しようとしているように見えます。 以上　8/8 AM
30624	個人	パート・アルバイト	30代	男性	原発は段階的に廃炉とし、代わりに回収可能エネルギーに力を注ぐべき。 また、政府はもっと東電に対し強気に対処し、情報の完全公開を求むべき。	もともと人間にはコントロールできない核物質を使うのはナンセンス。 まして、地震大国なので立地に不向き。 東電は既に国費が注がれた時点で、国有化を明言し、国が管理、運営するべきで、情報公開、調査結果の精査を進めるのが当然。 自民党が原発を進めたのなら、現政府が回収可能エネルギーを進める事も可能だと思う。 段階的に原発を廃炉していき、代替エネルギーにシフトするのが賢明だと思う。 厳しい事だが、先のチェルノブイリの事故を参考とし、立ち入り禁止区域を素早く決め、被災者に絵に描いた餅をいつまでも抱かせずに現実を突きつける必要があると思う。その為の負担はしょうがない。
30625	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロ、もしくは削減によって日本経済の成長を阻害し、失業者の増加を招く「3つの選択肢」に強く反対します。 原子力による電力供給システムを継続．発展させていくべきです。	原発ゼロになった場合、家庭の電気代は最大2.1倍に跳ね上がり、地球環境産業技術研究機構(RITE)の試算によれば、GDPは自然対比(原発維持した場合との比較)最大45兆円も減少します。 新エネルギーの研究開発はもちろん大切ですが、太陽光発電や風力発電への性急なシフトは国民への経済的負荷が過大になるばかりでなく、その不安定性をカバーするために結果的に化石燃料への依存度を高め、我が国のエネルギー安全保障を著しく損ねる恐れがあります。 世界的には新興国の経済成長に伴う資源獲得競争の激化が見込まれる中、資源小国の日本としては、高速増殖炉の実用化を視野に入れた原子力の活用は依然、必要不可欠です。 震災後も世界の趨勢は原子力発電の導入・維持・拡大であり、脱原発を決定した国はほんの少数に過ぎません。 我が国は福島の事故を教訓に原発の安全技術を高め、原子力による電力供給システムを継続・発展させていくべきです。

30626	個人	その他	50代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。2030年ではなく早急な実施を求めます。	福島第一原子力発電所の事故は、福島に住む人々をはじめとして多くの二人々に影響を与え、すべてを台無しにしました。北海道に住んでいても、前のように安心しては食材ひとつ選べません。東京、関東圏に住む母親、兄弟とその家族、息子のこともいつも気がかりです。 　あれだけの大事故を起こして再稼動ですか？冗談はやめてください。福島の事故の原因も究明されていないし、誰も責任を取らないのに、大飯原発を再稼動させたことは狂気です。今回の事故を通して、政府、東電、原子力の専門家、大手メディア、その他推進してきた関係者が誰も責任を取らず、福島の人々のことを本気で考えていない、人の命よりお金や利権が大事な人々が日本の中枢には少なくないことを、まざまざと見せ付けられました。 　その他にも原発は問題点がいくつもあります。原発労働者の命の犠牲の上に成り立つエネルギーであるということ、そして、未来永劫までまだ処理の仕方が誰もわからないということ、何万年先の世代にまで危険な廃棄物をを残していいのですか？ 　これからのエネルギーは、当面は天然ガス、火力などの力も借り、自然エネルギーの開発を急ぐ。これまでも政府は国策として石炭から石油へ、そして原子力へとエネルギーをシフトしてきました。できるかできないかは決断次第です。 　それから最後に、今になってもこれだけ問題の多い原子力の推進から抜け出せない要職にある方々、最低5年間は福島の汚染の強い居住区に住むこと、数年間の福島第一原発での現地での処理にかかわることをお奨めします。それができなくて原発推進はありません。私たちも少し不自由はあっても、安全安心な日本を築くためには協力できます。
30627	個人	無職	60代	男性	原子力発電はエネルギー源として、廃棄物処理の見通しが科学的に明確になるまで採用すべきでない。今ある原発は順次廃炉にし、それに変わる再生可能エネルギーに転換すること。	2011年の福島原発爆発で原発に対する安全神話は完全に崩壊し、原発事故は起こる可能性があることが実証された。しかも事故が起こったならば、今の科学技術では防ぎようがないことも白日のもとなった。また、事故が起こらなくても廃棄物処理における技術は未だ開発されていない。このようなものはいくら経済性や効率性があるといっても、人類社会・地球上にあってはならないと思うのは人類の将来、地球の未来を考えて至極当然と考える。事故の以前にもその危険性は指摘されており、一貫して導入に反対してきた科学者や政治（団体）家が警鐘を鳴らしてきた。 それらを無視または軽視してきたために「安全神話」となり、事故が起こった時点での防災や避難マニュアルもなく、ましてやその訓練も行われていなかったことが今回の被害をいっそう大きくした要因にもなっている。これへの反省や対策もないままに再起動などまったく考えられない。電力不足や経済性の主張で原発継続は、問題のはき違いである。これまでの原子力依存のエネルギー政策が作り出したもので、この点でも福島事故の反省は感じられない。
30628	法人・団体等	会社員・公務員	50代	法人等	原子力完全反対します。即刻廃止。廃炉。	生命を破壊する原子力に完全反対します。即刻廃止。廃炉。
30629	個人	会社員・公務員	60代	男性	現時点での選択としては～25%が限度であろうが、資源の無い日本にとって、安定的に電力を供給できる原子力は不可欠であり、世論の落ち着きと将来的にGDPの低下の頭在化により、2～3年毎に見直しが必要。	1.過去30年間で日本国の貿易収支に原子力が何十兆円と云う、貢献をしてきた（重油、天然ガスの代替）ことを忘れている（知らない？）。 2.輸入エネルギー（毎年3兆円の貿易赤字）への置き換え、コストの高い自然エネルギーへの転換（電気料金値上がり）では将来の日本国の発展はまずない（国際競争力が低下）。 3.企業は電気料金の値上がりでコスト競争力が低下するため益々生産拠点を海外に移すことになり、国内ではさらに就職難、個人の収入源、国の税収減につながる。
30630	個人	パート・アルバイト	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」・・・唯一の脱原発シナリオに賛成です。 福島原発で安全でないことが証明されました。 原発があるかぎり地震の多い日本ではこのような惨事がまた起こる可能性は大です。	震災後一年半ちかくになるにもかかわらず、終息に向かわない福島原発に対しての政府の対応に苛立ちをかくせませんでしたのでご意見させていただきました。
30631	個人	家事専業	60代	女性	ゼロシナリオ選択。即時全廃炉を要求。原子力に替わる様々なエネルギーの発展を妨害して来たのは国と電力会社だ。発送電を自由化し代替エネ振興政策をとれば安全安心の上に立つ雇用確保・経済発展は充分可能。	ゼロシナリオを選択する。 　まず、原発を維持するのに絶対必要となる現場作業員の被曝が避けられない。彼等の命を削る行為があってこその原発で、その多大な重たい犠牲の上に立つ電力供給など絶対に許されるものではない。 　次に、原発を維持すれば必ず産まれ出て来る大量の猛毒の廃物をどうするのか。その処理法も確立されず、保管場所すらまともに無いままどんどん産出され続けている。こんな狭い日本でそんな恐ろしい汚物をこれ以上増やし続けて、いったいこの国をどうするつもりだ。 　また、「原発はクリーンなエネルギーだ」というが、それが真っ赤な大ウソであることは既にはっきりしている。ウランの採掘の時点から加工、移動を経て発電の時点までに相当のCO2を排出していることを、採掘時の作業員の被曝と共に隠している。ひとたび事故が起きた時の環境や生命体に与える深刻な回復不能な負荷、悪影響はチェルノブイリや福島が証明している。事故が起きなくとも原発が稼働しているだけで、日常普通に大気には放射能を白い蒸気と共にまき散らしているし、海にも放射能が混じった反自然の温水を垂れ流し海水を異常に温めて生態系を崩している。そういう事はもう皆ごまかし様の無い周知の事実だ。 　さらに、「コストが安い、従って電気代が安くて済む」というのもごまかしだ。最初に記した様に現場作業員は命を削って原発を維持している。その犠牲を金額にしたらどれ程になるか。フクシマは、先祖伝来の土地、それにまつわる生きる為の普通の営み、豊かな実りをもたらす大自然、諸々を失いながら尚生きて生活していかねばならず、その精神的な打撃・苦痛・将来への不安等々を金額にしたら一体どれ程になるのか。お金に換算出来ないそれら深く重大なものをどう補償するのか、出来るのか。 普通に稼働させるにも防潮堤だけではすまされない安全の為の実質コストが掛かるにも拘わらず、確実に存在するにも拘わらず、計上必須であるにも拘わらず、必要経費に計上せず「原発は経済的」などとうそぶいて全くもって欺瞞に満ち満ちていることも、我々国民はもう知っているのでだ。 　都合の悪い事には全てフタをして国民に知らせずにごまかし、一部の人間達だけが利益を得て来た政治手法はもう通用しない事を政治家や官僚は今こそ知るべきだ。国民と共にこの国を将来に亘って良い方向へ持って行く為に、今政治家や官僚は自身がどうすべきか何をすべきか自分の原点に戻って考えて欲しい。一部の既得権益保持に走れば国を未来に亘って誤ち取り返しのつかない事になる、大切な時であることを知るべきだ。 　つまり、何万年もの永きに亘り海と空気を汚し国土を荒廃させ国民を疲弊させる原発など地震国日本にはーつもいらない。無くても充分やって行ける。即時全廃炉に、国として大きく、確かに、舵を切るべきだ。 　加えて、このパブコメのシステムを「国民の意見を聴いた」というアリバイ作り、形式だけのものにしたり、国民の脱原発への熱い思いのガス抜きに悪用したりすることは、私達国民を愚弄・侮辱するものであり、私達は決してそれを許さない。
30632	個人	その他	50代	女性	原発はゼロシナリオでお願します	子供、孫の身体の事を、考えると無で廃止にしてほしいです。なぜなら同じ日本人でありながら　いざ事故になると、お互いに他人事になってしまう。又 今までも、原子力発電を受け入れている県など、税金等の無料化など、その他のことに使ってしまうわでなく蓄えておく事も考えてほしいです。 今、私は、毎日生活する事で精一杯です。 政治家の方は、自分の事だけで、本当に私達の事、考えている人はいないと思います。本当に、考えているなら自分に財産を、国に寄付をしてもいいのではないかと思います
30633	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発ゼロシナリオを選びます。エネルギーとしては省エネルギー政策をさらに押しすすめ、その上で再生可能な自然エネルギーの利用を促進すべきと思います。原発葬送産業を興し雇用確保すべきです。	原発ゼロシナリオを選んだ理由を以下に段落ごとに未とめる。 原発は基本原理からして、放射能が低かったウランを核分裂させ、大量の放射性物質（プルトニウム、死の灰）生じてしまうところに問題点がある。死の灰の多くは千年単位で、プルトニウムなどの超ウラン元素は数十万年単位でしか人から見る安全レベルに戻らない。いわば丸い頑丈な卵（ウラン235やウラン238）を無理やり割って中身を巻き散らかしたようなものである。放射能の恐ろしさは量の多少にかかわらず、「見えない恐怖」であるということである。今我々の世代は気をつけて扱っていても何百年何千年後の世代にまで受け継がせるには荷が重過ぎる。今でも再稼動してそのような放射性廃棄物をさらに増やすこと犯罪である。 さらに老朽化した原発を、世界一地震の多い国この日本で動かすことは放射性廃棄物撒き散らしの危険性を高めることになる。たまたまこれまでの40年間で幸運にもそのような事態がなかっただけのことである。どんな頑丈な原発でも運転中に震下型の地震に見舞われたら事故になる危険性が高い。運転していなくても使用済み核燃料貯蔵プールで新たな臨界が起きたり、原発の膨大な廃棄物の貯蔵施設から放射能が漏れ出す危険性は否定できない。 それらも含めて現在ある原発およびその関連施設を段階的に廃止し、何千年にもわたって安全に管理していくためには現在そこで働いている人々の知識と技術が欠かせない。国は、本当の意味で国民の命を守る、いわば「原発葬送産業」ともいうべきこの大事な産業の育成を図り、原発がなくなった場合の雇用不安を払拭すべきである。 自然エネルギーでは「太陽光発電」「風力発電」「地熱発電」等が脚光を浴びていて、それらの推進もすべきと考える。しかし、もっと一般の人々が自分たちでも簡単に利用できる昔ながらの薪炭、それの変形ともいえる木性ペレット等を利用も推進すべきだ。それらを利用しやすい仕組みを建築規制の法律等に盛り込んでいくべきだと思う。荒廃しているがパイオマス的にはかつてないほど大きな資源となっている日本の森林の保全ともあわせて考えていくべきだ。太陽光利用も電池だけでなく、それより効率がよくかつて普及していた温水パネルの利用も推奨し省エネの一助とすべきだ。
30634	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	ゼロシナオリオを選びます。	(1)安全性が第一です。東京電力福島第一原発以上に危険な原発が日本には多くあります。 (2)必要も足りています。この夏も実証されるでしょう。 (3)経済的問題は、上の(1)、(2)を認めれば、解決する他の方法がいくらでも考えられます。認めないので、議論や政策が後手後手にまわり、原発依存から抜け出せない悪循環に陥るのです。
30635	個人	学生	20代	女性	即時ゼロを希望します。	核のゴミをこれ以上増やさないでください。 原子力の予算を再エネに回し、新しい産業を作ってください。 海水の上昇は、世界の原発のせいだと思います。 原発は、どんな安全対策を施しても人為的なミスは防ぐことが出来ません。 原子力の研究は必要です が、商業炉を稼働する必要はありません。 現在提案されている原子力規制委員会のメンバーに断固反対します。 彼らはほとんどが、原子力ムラの住人です。一部は違法です。
30636	個人	学生	20代	男性	3つの選択肢から選択するのではなく、発送電分離を前提とした、電力の自由市場を作り出し、自由な取引を可能にした仕組みの中で可能な限り原子力依存度を低減させていくべきだと思います。	原子力発電への依存を可能な限り減らしていくことは国のエネルギー政策として掲げられていますが、この際にエネルギーミックスの割合について議論することには、今後のエネルギー政策を進める上で、あまり有効性がありません。大事なことは、2030年の時点でエネルギーミックスの割合をどの程度にするかということではなくて、中央集権的な巨大システムに依存したエネルギー供給体制から、需要者が自らエネルギーを選択することが出来、オープンでフラット、フレキシブルな仕組みに変えていくことです。そのために は、電力会社の発送電を分離し、様々な供給者が存在するようにし、自由な市場を作り出すことが要です。自由市場の原理に従って、自然淘汰的に原子力発電がなくなっていく方に政策を転換すべきです。
30637	個人	その他	50代	男性	原発0%を支持します。今すぐ原発を廃止すべきです。	これ以上の放射能廃棄物を未来に残すことは許されません。東京電力福島原発事故による被害を直視すべきです。誰かの犠牲の上に成り立つ原発はいりません。そういう社会こそ変えるときです。
30638	個人	自営業	40代	女性	現存の原発を廃炉にすると世界に向けて正式に表明する。代替エネルギーへの取り組みを国内問わず世界共通課題とする。原発に頼らない施作をすぐに始める	地震が多い日本での運用はリスクが高すぎる。
30639	個人	家事専業	40代	女性	原発を即時廃止。	福島での原発事故は、いま現在解決していません。人間の手に負えないものなのだと福島の事故が教えてくれました。そして、そこで生活されていた方や、自然豊かな綺麗な場所をズタズタにしてしまいました。そんな原発は、即時廃止でお願いします。これ以上、エネルギーだけの為の大きな犠牲は要らないです。未来ある子ども達の為にも、即時廃止を願います。
30640	個人	無職	60代	男性	原発は、ただちに0パーセントにすべきだと思います。	原発の恐ろしさは、今回の事故で明白です。生物の命を脅かす原発をただちに廃止すべきだと思います。
30641	個人	無職	50代	女性	今ある原発を廃炉にするまで残余のリスクを回避する為に具体的に何をするのか、原発の耐震安全性を守り、原発震災を未然に防ぐ為の科学的な検討をし、納得できる指針を作って下さい。0%を希望します。	指針は原発が重大な事故を起こし、被爆させるリスクがあると言う内容なので、今ある原発を止めて、建設を中止して下さい。そして、今ある原発を廃炉にするまでは、リスクを回避する為に、具体的に何をするのか、原発の耐震安全性を守り、原発震災を未然に防ぐ為に科学的な検討をし、納得できる指針を作って下さい。0%を希望します。 　今回の大震災と原発事故により、原発が安全ではないと言う事は誰の目にも明らかになりました。安全でない物に依存することはできません。原発事故は、日本だけでなく、地球上のすべての人、物に被害を与えるものです。地球上にある日本の責任として、その被害を回避するには、今ある物も可能な限り早くなくして行く事こそ、これから生まれる新しい命も含め、人類・自然・地球を守る道だと思います。 　今年の5月5日に原発のない日が実現し、夏の需要も、皆さんの努力で80%におさえられた事をみると、原発をなくしていく事も、不可能ではない事が明らかになりました。再生可能エネルギーへの転換の道を、選ぶべき だと思います。そして、日本が世界に誇れる頭脳と技術で、再生可能エネルギーの新しい分野を切り開いていくことが、世界の人々への貢献にもなる最善の道だと思います。 　また、平成4年の最高裁判決によれば、原子炉等規制法が、「原子炉災害が、万が一にも起こらないよう、審査する事を求めている」としていますが、法的にも合致する安全審査の基本的考え方に反しない指針の策定を望みます。
30642	個人	無職	50代	男性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見	2030 年のエネルギー・環境に関する3つ選択肢（原発依存度を基準に、(1)ゼロシナリオ、(2) 15%シナリオ、(3) 20 ～25% シナリオ） ではなく、その依存度の即刻ゼロを求める。 理由は、発電するだけなのに莫大な費用と国民の命を最も危険にさらす手法であるため。 原発地域の雇用問題については、補償により解決すべき。 以上
30643	個人	その他	40代	女性	原発はもういりません。脱原発、ゼロ原子力です。 原子力発電以外の方法で考えこと。地球温暖化になる為の、最もすぐれた方法であるエネルギーを選択して下さい。	原発の比率を見れば、支持できるのは、原発ゼロのシナリオしかありえません。
30644	個人	家事専業	50代	女性	原発ゼロシナリオ	稼動中の大飯原発を停止させ、さらに現在活断層の上にあるもの、操業から30年を越したもの、福島第1原発と同じBWR型を即時廃炉にする。 火力・および水力発電で必要なエネルギーは賄えることから原発の再稼動は認めない。 米NRCへのワシントン巡回裁判所による放射性廃棄物処理に関する判断、GEのCEOによる経済面からみた原子力ビジネスからの撤退宣言をみるように、既にアメリカは原子力ビジネスからの撤退を実施しており、原子力を利用しつづけることのほうが経済に対する負担が大きく、また原子力ルネッサンスとして発展途上国に輸出することも、生来的に事故が発生した場合の裁判を考えると危険率が高い。 エネルギー不安による経済の空洞化が原発再開の根拠の一つとされているが、空洞化は昨年の原発事故以前から始まっていた。電力不安定なミャンマーをはじめとする東南アジア諸国に、なぜ工場移転をするのかをみれば安い労働力であり円の強さ、マーケットへの近接であることが明らかである。 またエネルギー問題は、今後50年間に大きく人口減社会を迎える日本がどのような社会を作り上げたいかに大きく関係している。高齢化社会により税収は大幅に減ることが見込まれており、その時の社会が維持管理コストの負担に耐えられるのかを見極める必要がある。そのためには危険係数となる施設をなるべく少なくしておくのが肝要と考える。 各電力会社のBSをみると全原子力発電所の価値は4兆円とされていることから、これらを政府が買い取り、政府の責任で廃炉とする。
30645	個人	家事専業	50代	女性	ゼロシナリオを支持します。	日本は地震国。いたるところに活断層がありつどこで地震があってもおかしくない。そんな国で原発を続けるのはおかしい。原発は人間が制御できる物ではありません。未来のことを考えたら一刻も早く違うエネルギーを考えるべき。
30646	個人	自営業	60代	男性	3拓では「ゼロシナリオ」となりますが、即時廃止を求めます。	ともかく、これ以上放射性物質の絶対量、総量を増やさないことです。再処理はもってのほかです。プルトニウムのみを見れば「再処理」かもしれませんが、ほかの核種で見れば、特に揮発性のものについては、環境中に廃棄しているに過ぎません。 現状で、電力の大きな不足があるとは考えていませんが、もしそれがあるのなら、至急火力を増設し、そののち、火力から再生可能エネルギーに時間をかけてシフトしていくべきです。
30647	個人	会社員・公務員	30代	男性	エネルギー基本計画の見直し	福島原発の事故が終息していないというのに、他の原発の再稼働を認めるとは、行政はどう考えても国民の安全より原子力ムラの利権を優先させているとしか思えない。 エネルギー基本計画は原発依存0%が当たり前。そして2030年まで待てない。今すぐ基本計画の中に原発廃炉計画も同時に盛り込むべき。 国民を馬鹿にするのもいい加減にしてくれ！ 我々の血税を何だと思ってる！
30648	個人	無職	50代	男性	原子力村の住人のいない安全な国	原子力村の住人はまるで治外法権があるかのような態度だ。 このパブリックコメントも原子力村の住人によって操作されてるとすると 私のような脱原発の意見を書き込む人間はブラックリストに載せられ 命の危険にさらされることになるのだろう。 日本ほどても恐ろしい国になったのだと思う。 首相も責任をとれないものに大見栄を切らず 国民の安全を優先的に考えて欲しいものです。

30649	個人	自営業	60代	女性	原子力発電は即停止、近い将来ゼロ%を提案します。	2011年3月11日以来、原子力は停止してもそれ程の影響はありませんでした。他のもので代替可能です。既にフリーエネルギーが日本人の手で、実用化段階に入っています。これができれば電線無しで、空中から無尽蔵に取り出して、無料でエネルギーが使えます。素晴らしいことですから是非、注目して研究協力をしてください。また、日本海にメタンハイドレートが豊富にあります。邪魔がなければ2020年迄に実用化が可能でしょう。ソーラー発電は蓄電器ができれば100%自給可能です。私はソーラー発電を採用して1年2ヶ月ですが、平均50%を賄っています。家庭用だけなら100%賄えます。安全なエネルギーが他にも沢山あるのですから、「原子力を平和利用に使う」などと、遅れた考えを持たないでください。核兵器を使ったらもう地球は終わりです。今でも地球が異常気象で息たえだえであることを、知らせています。原発は煙突から放射能を漏らしているし、余った熱を海に流しています。事故を起こさなくても環境にも悪いです。1945年に日本に原爆が落とされてから、地球以外の進化した惑星の方たちが、地球上空に滞空している宇宙船から、核兵器やミサイルを使わせないように、観察していることをご存知でしょうか？地球以外の惑星でも、地球での核兵器は迷惑なのだそうです。311をきっかけに地球はもっと進化した星になるように努力すべきです。全地球から原子力を無くす為に、日本が先がけて見本を見せていただきたく思います。最終的な処分が安全でないエネルギーが、あって良い筈がないと思います。危険と隣り合わせの毎日なんて、国民は不幸です。
30650	個人	会社員・公務員	30代	女性	「0」にしてください！	危険な原発は絶対いりません！即廃炉に！！地震が多い日本に原発はいらない！しかも活断層の上に原発があるかもなんて冗談じゃない！即廃炉！！
30651	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発はすぐに0%にすべきと考えます。第1に事故の可能性、第2に技術問題　第3にコストの問題、とりあえずこられの点からすぐに0%にすべきです。	原発はすぐに0%にするべきです。第1に、事故の可能性についてですが、政府や電力会社は軽く考えすぎです。安全神話から未だに脱皮できていません。地震列島であり、しかもこの何十年かは地殻の変動が活発です。今までと同じ感覚、知見では通用しません。活断層の存在も指摘されているとおりです。事故が起きれば、福島で経験しているとおり、そこには100年は住めません。チェルノブイリ並みに避難地域を計算すれば、ホントはもっと広い範囲で避難していなければならないはずなのに、政府と電力会社は、賠償額が大きくなりすぎるので黙っています。原発事故は火力発電所の爆発で生じる被害とは、比べものにならないほど広く、かつ長い歴史に悪影響を及ぼします。現在の私たちの「くらし」に影響するからと、「くらし」と原発を比較することは、馬鹿げています。その「くらし」さえ、命があってこそ、です。第2に技術問題。すでに述べたように事故が起きれば、その放射能を止める技術がないため、どこまでもいつまでも被害が広がります。さらに使用済み核燃料をどのように保管するのか。何万年もどうやって保管するのか。まったくメドがありません。未完成の技術であることを、正直に受け止めることが大事です。第3にコストですが、原発が安くつくというのは、結局ウソであったことはすでによく知られるようになりましたが、さらに廃炉費用や、使用済み核燃料の処理保管費用など将来に莫大な借金をつくっています。そう考えれば、原発はとんでもなく高額です。そのお金をすぐに再生可能エネルギーに回して、技術を上げて、効率を高め、将来、そこで上がった利益を原発の廃炉のために使っていく、あるいは、使用済み核燃料の処理保管費用に充てていく、それぐらいの展望をもって、すぐ廃炉計画を進めていかないと、そもそも資金的にも大変なことになります。以上より、すぐに原発を0%にすべきです。
30652	個人	学生	10代以下	女性	1,ゼロシナリオ 選択肢はありませんが、希望はすべての原発をすぐに廃炉にしてください。	命や国土を失う可能性があるエネルギーは必要ありません。原子カムラの既得権益を守るために、怯えて生活することは嫌です。核廃棄物の処理も出来ないのに、これ以上増やすのは止めてください。全国の原発をすぐに廃炉にしてください。官僚の方々は皆さん原子カムラを守りたいようですが、皆さんは国民の税金で仕事をしているのですよ。もっと真面目に誠実に国民のことを考えてください。先日も原子カムラを擁護するようなメモがでてきました。いい加減にしてください。地震もコントロールできないし、人為的なミスも防げないので原発は必ずまた事故が起きます。大飯原発は、福一と同じ時期に事故があれば、愛知県は住めなくなります。新幹線も名神高速道路も使えなくなってしまいます。想像すると恐ろしいです。そうなれば経済どころではなくなります。まだまだ、いろいろ恐ろしいことはありますが、書ききれません。 すぐにすべての原発を廃炉にしてください。
30653	個人	家事専業	60代	女性	原発は、いますぐにでも廃止すべきだと思います。もちろん0パーセントにしてほしいです。	放射能の恐ろしさを思うと、すぐにでも廃止してほしいです。放射性廃棄物の処理もできない状現状で、なぜ原発を推進するのか理解できません。
30654	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原発ゼロシナリオを選択する。 再生可能エネルギー、自然エネルギーの技術開発に予算を注力する。	原発自体、科学的に未完成の技術であり、使用済み核燃料の処理の問題や放射能に対する対処の方法など、まだまだ研究段階でありながら、安全神話を作り上げ、原発を推し進めてきた国のエネルギー対策は、今回の福島の原発事故により明らかに失敗であり、その代償はあまりにも大きすぎます。 そして誰も責任をとる事が出来ません。 原発に頼らない事を国民皆で腹をくくれば、再生可能エネルギー、自然エネルギーの技術は格段に進むと思います。
30655	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発は0パーセント。 それ以外はあり得ません。	福島原発事故により、住むところを無くし、故郷を失った人が沢山います。 安全だという言葉を信じていた国民を、想定外という言葉で簡単に裏切るような事態はあり得ないと思います。 もし事故が起きたら大変なことになることは、はっきりしました。 廃棄物処理についても、未だ人類の手に負える状況だとは言えません。気の遠くなるような半減期がそれを物語っています。 私達人類の手に負えるようになるまでは、決して扱ってはいけない。 国民の健康や命に変えられるものはないと気づいてください。
30656	個人	家事専業	60代	女性	ゼロ案を支持。燃料の最終処理方法が、世界中でまだないようなものを実用化すべきでない。研究は大事にすべし、安全性、公開性を大前提に。線量計は、下請けの問題ではなく原子力発電分野のいい加減さの表れだ。	ゼロシナリオを支持します。 NHKテレビの2時間番組も見ました。今日まで、繰り返し考えてみました。 火力発電による温室ガス排出量も気になります。 しかし、燃料の最終処理方法が日本だけでなく、世界中で分かっていないようなものを、工業的に実用に供するべきではないと考えます。 しかし、研究と実用を混同してはならないと思います。 いまだに、原子炉の中で実際は何が起きたのかもわからない、分かりたくても近付けもしないような事態は異常です。こんな事態はあってはならない。 この点で、日本の原子力研究と実用発電の関係は転倒していたのではないでしょうか？放射能が高くて、人間が入っていけない、誰でも日本の自慢のロボット技術を考えます。そのロボットすらも、どういう研究状況だったか。 研究は大いにやってください。研究者の身も、一般住民の身も、安全に。 線量計の扱いひとつをとっても、科学的な態度で原子力を扱っているとは、とても思えません。下請けの問題ではない。 日本は、こんないい加減な国だったんですか？ ここで、どういう方向をとるか、政治の姿勢が問われます。 いろいろ考えても、しっかりと脱原発の方向に実際に舵を切るためには、セロシナリオで踏ん張る時だと思います。 わたしたちの期待を裏切らないでください。
30657	個人	自営業	30代	女性	原発比率「ゼロ」シナリオを支持します。	2011.3.11の福島原発事故以降、常に頭の中は放射能への恐怖で脅かされています。 この国の政策に対する不安も増すばかりです。 ただ、安全に生活をしたいと願うのはいけないことなのでしょうか。 核と人間の共存は不可能と思います。常に危険と隣り合わせの今の現状に我慢できません。 脱原発を絶対的に支持します。
30658	個人	無職	60代	男性	ゼロ%とするべきです。日本列島は地震の巣の上にあるために、過去数えきれない大地震と津波に襲われました。今回、世界最悪の事故を起こしたことを肝に銘じなければなりません。	1993年7月、北海道南西沖地震が発生したとき、わたしは岩内町にいました。震度5強の激しい揺れ。北電泊原発は5キロしか離れていません。原発に異常がないか確かめようと発電所に電話しても、通じません。車を飛ばして現地に行き、無事である(運転している)ことを確かめました。この地震では奥尻島を中心に120人超が津波で亡くなりました。わたしの管轄している町村では合わせて9人が犠牲になりました。泊村の隣の神恵内村でも2人が港で漁船の安否を確かめようとして津波にさらわれて亡くなりました。 泊原発と神恵内漁港とは10キロしか離れていません。 はっきりしていることは、弁慶岬のお陰で泊村も岩内町も津波の被害を免れたということです。 寿都町にある弁慶岬は日本海にずっと首を伸ばしています。震源地から放射状に直進した津波は、この岬にさえぎられた結果、泊原発には至らず、少し沖合を通った津波が神恵内を襲ったわけです。 寿都町の南に位置する島牧村では津波の直撃を受けて、7人が命を落としました。海沿いの高さ4－5メートルの電線にコンブがからまっていました。 この地震津波で泊原発が無事だったのは、運が良かったというだけです。北電の発表によると、泊原発の十数キロ沖合に活断層が見つかっています。規模の大きな津波が発生するかもしれません。泊原発ではまだ十分な津波対策がなされていないなかで、1号、2号機の再稼働を図ることは許せません。 泊とすべての原発の十全な津波対策を早急に実施するべきです。
30659	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原子力発電所の2030年での依存度はゼロにするべき。原子力発電は稼働すれば事故に関係なく、核廃棄物が生み出される。国は大きくエネルギー政策を転換すべき。自然エネルギー利用で雇用も増やことができる。	日本で原子力による発電が行われるようになった当時から、一部の科学者はその危険性を訴えていた。しかし、国はその意見に耳を傾けようともせず、安全は保たれるとし推進してきた。当時は事故による放射能もれや放射線による被曝が問題となっていたが、今や使用済み燃料の保管や将来にわたっての廃棄方法も大きな問題になっている。原子炉は運転すればかならず、使用済み核物質はたまっていく。放射性物質を無害化するという技術はなく、安全に保管する技術も確立していない。ガラス固化も日本のような地下基盤が浅く、さらに至る所に活断層があるという状況では、使用済み核物質の保管地すらないのが実際である。事故は起こる、だから安全重視という前提で、将来のエネルギーを考えるのではなく、実際にチェルノブイリや福島での事故が起こり、生物や土地、河川、海洋、大気が大きく汚染されたのだから、原子力エネルギーにかわる自然エネルギー利用へ大きく転換するべきと考える。そのための技術や機器の開発は10年もあれば十分ではないかと考えている。ドイツをはじめいくつかの国では風力や地熱、太陽光を利用して原子力によるエネルギー供給をゼロにしている。政府が国の政策として、自然エネルギーへの転換を決定し、その技術や機械開発に力をいれる企業を応援し、助成金などをつけるなど振興策をとるならば、雇用も増える。また、地方でも自然エネルギー活用のための法人発足やその地域住民による事業展開があれば、地域の町や村の経済振興にもつながっていく。放射性物質による事故は外部被曝だけでなく、内部被曝もある。特に内部被曝はまだ、その実態が科学的に証明されておらず、福島での事故でも放射性ヨウ素や放射性セシウムによる内部被曝による被害は、今の状況では全く不明である。人間だけが被曝しているのではない。ありとあらゆる生物が被曝している。染色体内のDNAが傷つけられている。何年かあとにも顕在化する。
30660	個人	会社員・公務員	50代	男性	0%	後始末もままらないこのような原発を推進するのは、考えられない。 原発にかけたコストをもっと安全な自然エレルギーに使うべきだと思います。 また、危険な原発は、1日も早く廃炉にすべきであると考えます。 次世代のためにも危険なものは、早くとりかえるべきであると思います。
30661	個人	自営業	60代	男性	早急に、原発ゼロシナリオを望みます。	老朽化する原発は更に危険度を増し、次世代へ引き継がれていきます。 福島で起きている深い悲しみは、二度とあってはなりません。
30662	個人	会社員・公務員	30代	女性	2030年の原発依存度はゼロになるべきだと思います。既存原発の再稼働は即刻止めるべきであり、新規原発の建設は凍結すべきです。コストと電力を分け合う社会を求めています。	福島の原発事故は明らかに人災であり、技術を過信した人間の驕りがもたらしたものでした。 原発はクリーンで安全、事故は起こりえないという、誰もが信じていなかった言説は（なかには信じていた人間もいるかもしれませんが）、この事故によってすべて説得力を失いました。 事故は起こりえる。核の力は、人間の想定するリスクを超える存在だということを、私たちはこの事故で学びました。 地震大国である日本でもう一度原発を稼働させる、建設するということは、我々の経験した原発事故の教訓を何も活かせていないことになります。 エネルギー問題は、東京電力という大企業の利益のみで語られるべきものではなく、驕りと過剰な欲望を保持したままの経済界が決める権利を持つのではなく、国際・国内の大きな声を持った誰かの政治的権限で決められるべき問題ではありません。 なぜ全国各地で、世界中で、「反原発」を掲げたデモ、運動が巻き起こっているのか。それは、論理的にも、倫理的にも、再び原発に依存する生活というものを、拒否するという決意の表明です。 そして、談合や裏切り、嘘やごまかしによって、我々の未来が決定されていくということへの、密かな拒否の表明です。 現在、冷静に「本当に原発を止めるために何が必要か」という有識者による研究、議論がなされています。 それらの声を聞くと、原発ゼロでもやっていける、コストは最低限に抑える技術的工夫が可能である、そしてたとえ原発依存度25%に設定するにしても、いずれにせよ電気料金は70%も上がる可能性がある、といいます。 原発を動かせば、すべての問題は解決するのか。核の力に依存しつつ電気が十分ある国が、豊かな国家なのか。原発によって私たちが負担するコストを最低限に抑えるための工夫を重ねていく、そして、そのコストがたとえあるのなら、「原発ゼロ」を選択した国民自身がそれを受け入れていく。 それ以外の社会のあり方は、必ず将来に大きなひずみと矛盾を生み、混乱をもたらすでしょう。 戦後、私たちは戦争を起こした責任の存在を曖昧にしてきました。安全保障の問題も、国のあり方も、原発推進の問題も、深く考えることを怠ったまま、経済の豊かささえあれば、平和だという甘さを誰もが抱えたまま、「自分たちでは何も決められない」ままで、生活してきました。 このままもし、原発が再稼働を続けるなら、ここまでの「戦後」と同じ矛盾を抱えてしまうことになります。それは私が生きていたい社会、国家、日本の姿ではありません。 最後に、個人的なシンパシーにすぎませんが、私は福島で生まれ育ちました。 福島の名も無い、小さな声の人々が味わった苦しみと悲劇を、これを読む人の愛する人たちが、再び味わう可能性があるとするなら、私はそれを阻止したい。 原発ゼロを選択する私の内発的な理由は、本当はそこにしかありません。
30663	個人	家事専業	50代	女性	一刻も早く原発をゼロにすべき。どこまで再生可能エネルギーを拡大するかではなく、できるだけ早く全力で最大限の拡大を目指すべき。エネルギー転換を直ちに最大限のコストをかけて行うべき。	いつ（今日明日にでも）どこで大地震が起きてもおかしくない状況でいつまでに原発の依存度を下げるかなどと悠長なことを言っている場合ではないと思う。今回の震災で明らかになったように、原発事故が起きればそれへの対処が優先され自然災害犠牲者への対処や復興は二の次になる。国土も失われる。長い目で見れば放射能による様々な疾患で亡くなる人が増え人口も減るだろう。過去に何度も大地震に見舞われながらも今の日本が存在しているのは当時原発が存在しなかったからだとしか思えない。再生可能エネルギー転換への大変さばかり強調されるが、原発事故の収束や除染とどちらが大変なのか。後者が不可能なのに比べたら前者は大変でも不可能ではないだろう。15%などと中途半端なことを言っていたらエネルギー転換に全力を注げない。できるだけ原発をゼロにする方針を打ち出すべき。
30664	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発ゼロ 子どもたちに負の財産を残さず、安心してくらせる未来を残すために、原発はゼロにしてください。原発の再稼働反対、核燃料サイクルの即時停止、再処理の廃止、省エネと自然エネルギー推進を希望	福島原発事故によって、福島や近隣の地域に暮らす人たちに何が起こったのか、事実を何も知らされないまま、不必要な被爆をし、家や仕事を失い、分断され、過酷な状況におかれたままの人たちがいる。 大切な人たちとの当たりまえの暮らしを破壊して、補償もせず、事故原因も追及せず（報告書を作るではないはず）、刑事責任を誰も取らず、原子力委員会の組織の人事すら改善しない。国政にかかわる人たち、政治家、官僚、いったいあなたたちは何を守ろうとしているのか。 野田首相のいう「国民の生活を守る」とは、電気があれば事足りるものなのか。 違うだろう。 大切な人たちを、大切にできる暮らし、そのために原発はいりません。即時ゼロを希望します。
30665	個人	その他	50代	女性	原発ゼロ。次世代へ希望を大きく示すべき。	原発ゼロは疲弊した日本を救う。家屋、ビル、校舎、公舎など利用できる場を発電に置き換える新事業を見逃してはならない。 それ以上に安全であることの安心は、日本を救う。 通常でも出産には不安がつきもの。男性には理解されがたいが、一人の人生を担う母となる責任は重い。増して奇形などの障害を背負わせることへの苦悩は最たるもの。障害の可能性があれば出産を避けようとする。 原発の安全性は崩壊した。国の信頼も崩壊した。 3･11から一般の国民は捨て去られている。これからも。 何かあっても助けてはくれない。助かるのは、特権階級だけ。 フクシマの方が今後、発病しても全て原発に関係なしとされるのは目に見える。 奇形出産も同様。その全ては個人が担う。 国は助けない。どの政党になっても同じ。日本を牛耳っている官僚が変わらない限り。 こうした想いを持つ人が多ければ、少子化は加速する。 安心できる国での暮らしは、経済だけで測ることはできない。
30666	個人	会社員・公務員	50代	男性	電力事業の独占が問題の根底にある。将来に向けて原発ゼロで自然エネルギー100%社会を構築していき、原発復活、再処理、高速増殖炉は不要。原発の行く末は、発送電を分離した上で市場原理に委ねる。	意見聴取会2030年シナリオの「3つの選択肢」の立て方は、著しく原発推進側に偏っている。ゼロシナリオ以外は、原発を復活させるか拡大させるシナリオで、政府は脱原発を打ちだしているのに脱原発になっていない。細野大臣は15%シナリオが落としどころであるかのような発言をしているが、これは偏ったものをさらに偏らせる発言。意見聴取会の運営には、電力会社が組織的に関与し、そこには「やらせ」を当然とした旧態依然の姿勢が見られる。原発推進論者に原発事故に対する根本的反省がないため、原発事故があたかも存在しなかったかのような傲った姿勢がとれるものと考えられる。 　その背景には、電力会社が地域の発電・送電を独占し、独占企業として強い経済力・政治力をもってきたことが考えられる。原発は、独占企業による国策民営事業として、原発立地地域の反対を押し切って強行されてきた。その過程で行われた「やらせ」公聴会と同じことを電力会社は、この場でも行おうとしてきた。これは電力会社だけでなく、原発推進勢力(原子カムラ)が自分たちに都合の良いように運営できる制度を作って都合の良いように恣意的に動かしてきたことが問題。それは原発事故の背景でもあり、そこを改めない限り、問題は解決しない。原発推進勢力が、政治力によって自分たちに都合の良い制度運営をしようとしていることは、原子力規制庁のトップ人事にも現れている。しかし自分たちに都合の良いように制度を造り、運営し、仕切ってきた人たちが、原発事故以前と同じように振る舞うことをゆるせば、再び過酷事故が起きる恐れがある。 　事故前、原発は安全・コストが低く安価でクリーンなエネルギーと宣伝されてきた。意見聴取会で15%や20～25%シナリオを主張した人の中に、「あれはウソでした。すみませんでした。」といった人はいるのか？またプレート境界型や直下型などの地震の危険性に触れ、なおかつそれでも原発再稼働は必要と唱えた人はいるのか。福島や故郷を失った被災者が、原発再稼働をどのようにみているのか、その気持ちに触れた人はいるのか。これらの知見を欠いたり過去の反省なく、原発事故をまたいで原発の復活や拡大を主張することは、全く説得力がない。 　原発はここ10年ほど、不安定電源。実績において稼働率は下がり、危険で社会的費用を含むコストが高く、信頼性に乏しい発電システムである。 原発ゼロで自然エネルギー100%社会を2050年までに創れるというシナリオがすでにいくつも出されている現在、原発を復活させることは全く不要。再処理やプルサーマル、高速増殖炉は、技術的に未確立で、実現したとしてもコストが高く危険で現実性に乏しい。これらに注ぎ込んできた金は、原子カムラの利害関係者の利権・延命に役立ってきただけで、今後一切不要。また「原発は潜在的確抑止力として有効である」という国策に反する政治的主張を平然と主張する軍拡論者を跋扈させないためにも、これらの開発は完全に封じるべきである。国家予算のエネルギー開発費は、これからは省エネと自然エネルギーにかけるべきである。 　原発復活・推進を主張する人たちは、事故前と同じように振る舞って同じようなことができると思っているようだ。このような人々との妥協点は、原発の行く末を公正な市場原理に委ねることだ。独占の弊害をなくすために、発送電を分離し、電力市場を完全に自由化する。そして消費者は、原発以外からも自由に電力を選べるようにすべきである。原発は事故に備えて保険金を上乗せした電力料金を設定し、原発賛成の人に選んでもらうようにする。原発事故が起きたときの補償は、電力会社と保険会社が全額負担し、公的資金は注ぎ込まない。このような自由主義的市場原理の下で原発が事業的に成り立つのなら、原発反対の立場から見ても安全な原発についてのみ再稼働を容認する。

30667	個人	その他	60代	女性	原子力25-30%に賛成。本来なら50%以上を目指すべき。	自然エネルギーを重視した政府のエネルギー政策は日本の安全と経済的競争力をなくすことから間違っている。このまま推移した場合、自然エネルギーで賄えないエネルギーは緊急時すべて化石エネルギーで補てんすることになる。また化石資源は将来の子孫に最大限残すのがよい。原子力エネルギーは発電だけにしか使用できないエネルギーであるので今後も原子力の欠点を知ったうえで最大限人類は利用すべき。今ある原発の施設はすべて一日も早く稼働させ、安定した電力源の系統へ組み入れること。安全を追及する姿勢は大切だが無限の安全性は実質ないことも知るべきである。 民主党政権は鳩山政権で原発を45%以上めざし、菅政権がゼロを唱え、野田政権が将来原発依存を限りなくゼロにすることを目指すが当面の必要な電源を原子力から得るという現実的な判断をしている。同じ党が地震・津波・原発事故が発生したとはいえ、政党の態をなさない党が組閣した政権が、現在の福島原発事故で混乱した世論のもと一律に怖い、安全が安全が確保できない等々、マイナス面のみを羅列してすべての観点から検証せずにこのような長期にわたり国益を決める重要事項をほとんど説明なく、パブリックコメントで決めるとは、信じられない、政党である。
30668	個人	会社員・公務員	40代	男性	安定した電力供給が必要ですから、原子力発電とともに歩む必要があると思います	安定した電力供給は必要なことは自明なことです。 そして、自然エネルギーを活用することも必要だと思います。しかし、安定ということになると自然エネルギーでは十分に賄うことはできないのも確かです。。 原子力発電は安定した電力を供給することに貢献してきており、3.11以前の日本を支えてきたことは紛れもない事実です。 自然エネルギーを開発活用しつつも、原発を再稼働させて安定した電力供給を行っていくことが国民の生命や財産を守るためには重要なことだと思います。 原子力の問題点は、廃棄の問題です。これは、福島を契機に日本が世界の先陣を切って切り進めることによって、また別の産業を生むことにもつながります。 将来的にも、原子力の依存度は徐々に下げることが望ましいとは思いますが、技術が追いつかない状態で志題目だけを決めても意味がないと思います。
30669	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発をやめて、廃炉にしていく。国の予算を自然エネルギーへ多く使って欲しい。 東京電力、政府は子供たちに説明できるように潔く罪を認めて責任をとってください。	この狭い国そして活断層の通っている日本に原発を次から次に作り、歴史から何も学ばず、一部の人間の利権のためだけに国民の生きる権利を奪っていく今の日本の政治は間違っていると思います。原子力発電所は「トイレのないマンション」と言われています。もんじゅは何の為にあるのですか？ 私の父親は広島の被爆者でした、孫まで被爆者にはさせたくありません。私達はつぎに来る者のために生きているのだと思います。今はその選択の大事なときです。政治家の方、今、脱原発を選べばあなたは日本の歴史に残る政治家になれると本当に思います。また事故が起これば、野田首相は本当に責任が取れるのでしょうか？福島の人への責任も取っていないのに。
30670	個人	無職	60代	男性	3つのシナリオのうち、原発ゼロのシナリオを選択します。	原発は人類の科学技術の発達大きな成果である思います。人類の成果を国民生活の向上に利用できないのは非常に残念ですが、しかしひとたび事故が起こった時のことを考えると（絶対起こらない保証がえられない以上）、被害が他の事故にはみられない大きな特徴をもったものであること、また何万年にもわたる廃棄物の管理に絶対的な信頼がおけないことの2点が理由です。 今すぐに、原発を止められなくてもゼロに向かっていく方向性を明確に定めて国民に示していくことが大事だと考えます。方向性が明確になってこそ。代替えエネルギーへの取り組みも、節電と現代文明への再考も本格的なものになると思います。 いつ頃までにという指針もなく、だんだん減らすというのでは、その取り組みも真剣なものにはならないと考えます。
30671	個人	学生	10代以下	女性	0%	私は、原発は今の我が国では危険な発電であると考えます。なぜなら、 火山噴火や地震がいつおこるかわからない今、このような危険な発電所は 必要ないと思います。今、諸外国にほこれる日本の技術は、代替エレンルギーを開発する十分な力があると信じています。私達、わかい世代のために原発はやめてください。
30672	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原子力発電所を安全な方法で減少・閉鎖させつつ、新しいクリーンなCo2を排出しない代替発電方法で発電する・新しいクリーンなCo2を排出しない発電方法を開発・実現する。	原子力発電で唯一支持出来る点は、Co2を排出しないという点だけであり、 その他を考えれば原子力発電は支持する事に値しないと考えております。 どうしても、現状の主な発電方法だとCo2を排出する為、新しい安全なCo2を排出しない発電方法を未来の子供達の為に、考えて欲しいと思う。 その発電方法が開発される迄は、自然エネルギーでまかなえる様に、もっと地熱発電や太陽光発電を増やして欲しいと思う。
30673	個人	家事専業	60代	女性	原発は廃棄物の処理方法が全く解決されていない点、一度事故が起これば事故後の処理もできず、しかも人間の力ではどんなに努力しても事故をなくすことは不可能であることを考えるとゼロにする他はありません。	この夏の電気事情を見ても、もっと真剣に一人一人が脱原発を考え、節電の考えの 啓蒙、子どもたちへの教育、それと同時に温暖化対策も考慮した自然エネルギー利用のための技術開発への国の援助がなされれば、原発ゼロは可能だと思います。経済活動のために脱原発はできないという人もいるようですが、経済活動も国あってのものであり、大事故が起これば国として成り立たなくなるかもしれないことを地震国にいる我々は子孫のためにも考えるべきです。
30674	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロシナリオの実現を、即時、求めます。	既存のエネルギー政策をベースに対策を考える、というのは、もう通用しないと思います。去年の3月の現状をみたら、その危険を認めつつなお原子力維持を考えることは、よほど現実的と思えません。 自然エネルギーへの転換などを、強く望みます。 よろしくお願いします。
30675	個人	パート・アルバイト	20代	女性	ゼロシナリオを選択します	いつ何が起こるか分からない、ということは福島の原発の事故で実感しました。そうなると、原発は絶対に止めるべきです。 どんなに不便でも、どんだけ不景気になったとしても、安心・安全に暮らすこと の方が断然いいです。それでも、原発をやめないのであれば、それなりの理由を提示して欲しいです。 原発のメリットも教えて下さい。 単純に電気が・・・とかでは全く納得いきません。 寧ろ、原発は危険なので、国民の皆さんには不便をかけますの方が、納得する人も多いと思います。 鹿児島県の川内では、近隣の海で影響が出ていると聞きます。 これから先の未来で、人体に影響が出てこないと言い切れるのでしょうか。東日本大地震よりひどい地震が起きて、原発が爆発しないと言い切れるのでしょうか。 そんなことが100%ないというなら教えてください。
30676	個人	無職	80代以上	男性	0%	私は、原子力発電所があのような事故を起こしてもなおそれを維持しようとすることが信じられません。一度、事故が起きればその被害ははかりしれない そのようなものをいつまでも一部の人たちの利権のために再度使用するには、 断固反対です。
30677	個人	無職	80代以上	男性	原子力発電に反対です。政府・電力会社・代表的な専門家、関係者が、正確で信頼できる資料・情報を、国民に広く提供しなければなりません。	原子力発電以外に利用できるものが分かれば、国民は納得できます。不便があっても受け入れられます。国民を愚弄することを、直ちに、止めて頂くこgとを願っております。
30678	個人	その他	50代	女性	原発依存率0%を選択します。直ちに国内全ての原子力発電所の廃炉を行うことを求めます。	日本国存続のために直ちに原子力からの脱却が必要と考えます。 原子力発電は経済を支えるために必要と言う意見がありますが、全く正反対だと思います。 今回の事故で、我々納税者は大変な負債を背負うことになりました。事故の終息までにかかる費用や、健康被害に対する補償などは天文学的な数字になると思われます。このような不測の大支出は経済にとって大変なダメージです。また、事故による健康被害で労働力の減少が起こることも懸念されます。 日本の国際的評判は地に落ちています。メディアは震災後冷静に助け合う人々の姿が日本の美徳として賞賛されているという事は報じますが、福島の事故が未解決のまま大飯原発が再稼働されたと言うことに海外から驚き呆れられていることは報じません。公海の汚染地図を初め、日本の現状は日本のメディアより海外のメデイアの方がよっぽど詳しく報じています。 「あんな事故が起きて、地震国にありながらなお原発に依存する国」を、その国の製品を、誰が信用するでしょうか。 これまで原子力によって利益を得て来た人たちの中で賢い人たちはすでに原発を見限っているに違いありません。日本がそれを持ち続けていては最後にババをひくことになるでしょう。 原発から脱却して世界のリスペクトを集めてこそ経済成長が可能になると私は確信しています。 目先の問題としては廃炉にかかる工事で特需を喚起することも可能でしょう。
30679	個人	無職	80代以上	女性	ゼロシナリオを選択します	原発はいったん事故が起これば現在だけでなく何千年以上も放射能により人間をはじめ、あらゆる生物や環境に悪影響を及ぼすことは明らかです。特に日本のように地震大国では事故の確率が大きく、大災害の危険性が大きいという考えから、ゼロシナリオを選択しました。2030年より早い時期に原発ゼロのエネルギー政策が実現することを願っています。 代替エネルギーとして自然エネルギーの活用。また節電の対策を進めるべきです。それが経済の活性化にもつながります。 再処理事業は当然不要になりますが。現在たまっている使用済み燃料も再処理ではなく埋め立てることが必要になります。これは簡単ではありませんが、より適切な処置が必要です。 その他のシナリオでは今後も放射性廃棄物が発生します。そののんからもゼロシナリオ以外の選択肢はありえないと思います。
30680	個人	会社員・公務員	40代	男性	0シナリオ	いつまで経団連のいいなりになっているのか。自分の利益のことしか考えていない人間には被災者の気持ちはわからない。0シナリオを実現するためにひとつひとつ困難を解決していく、国はもちろん、大企業もそこに責任を持つべきだ。
30681	個人	その他	60代	男性	原発ゼロシナリオを選びます。 現在の人類の科学技術水準では、ゼロシナリオ以外の選択肢はないと思います。	原発の廃炉費用をコスト算入すべきだが、原子炉の廃炉、処分技術が確立されていない段階で、原発の発電単価をどうやって算出できるのか。 また福島原発事故にかかる復旧、被害補償費用も原子力発電単価に反映させて、シナリオの比較検討すべき。 示されている3つのシナリオの発電コストには、ゼロシナリオでは15．1円／kwに対し、15～25シナリオでは14．1円／kwなどと、前述のことが全く無視されている。いかにも原発は発電コストが低いかのように、国民の判断を誤らせるように誘導しているのではないか。 「各電源の諸元一覧」で、一般水力の出力を1．2万kw、小水力の出力を200kwとして、1kw当たりの建設単価が高いように計算して比較されているが、中部電力管内の水力発電所は、古い資料（02年）だが、180か所で総出力521万3200kw。そのうち2000kw未満の小水力は約80か所となっている。エネルギー・環境会議は水力発電を過小評価し過ぎではないか。しかも水力発電所はほとんどが無人化されており、人件費はゼロに近いはずではないか。
30682	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを望む	処理出来ない放射性廃棄物を増やし続ける事、 一度の事故で破滅的影響を及ぼす事、 再生・代替エネルギーの使用、エネルギー使用量の低減 によって需要電力量をカバーすることは可能である事、 等により原子力発電の必要性は認められない。 福島原発事故後の今、さらに原発稼動を選択する事は、 現在・未来の日本及び世界への犯罪行為である。 日本政府の政策は、世界の認識に置いては愚行でしかなく これ以上の原発継続は、信頼の失墜だけでなく、海洋への 放射能投棄等は告訴・告発へ繋がりかねない。 かかる現状を見れば、原発の速やかな停止と廃炉は早急に 手を打たねばならない日本の選択であり、我が国及び世界中 の子ども達に対する我々の責務である。
30683	個人	会社員・公務員	30代	男性	2030年は15%を目指すべき。その後、0%を目指す。「家庭電力→自然エネルギー／産業→電力会社供給電力」等の考えが必要。自然エネルギー開発に財を集中投資し、雇用に結びつける方策も必要。	原子力発電を今すぐに0%にすることはできない。なぜなら日本の産業は電力の安定需給によって支えられているからだ。電力が安定しているから、生産も安定し、国内外の消費者から信頼を得ているのだ。そこが欠けてしまえば、貿金コストの高い日本の魅力は一気に失われ、産業の空洞化が今よりさらに急速に進み、失業者も莫大に増えることが予測される。それほど日本において電力の安定供給は産業に大きな影響がある。短期的に考えると原子力発電をすぐ全廃して、労働者の雇用、賃金の安定は守れない。このように考えるならば、当面産業維持をするために電力を安定供給する目的で電力会社の供給電力を使い、家庭電力から自然エネルギーに変えていくという柔軟な対応が必要だ。そうして電力会社の供給負担を減らして、原子力依存度を低くしていく方策が最も現実的ではないか。国はしっかりデータを整理して国民にそのような情報を発信すべきと考える。 また、今後はエネルギー開発に財を集中投資し、研究を重ねて実用化することで世界をリードする施策をとっていただきたい。それがこの未曾有の震災を未来に生かす道だと考える。この事業は時間と財をかけないと実現できないので、国民にしっかりと説明を行うべきだ。なお、どうしても原子力発電を用いるならば、原子力を安全に制御し、人為ですぐに無力化できる技術の開発を急がねばならない。これらのことに関わる企業、職種を育成し、雇用につなげていけるとよい。自然界に戻せるまで10万年もかかるものを使い続けることは遠い未来に禍根を残すことになるし、誰も責任を取ることができない。 この問題は国民に「物事は直線的に考えられず、複線的に考えないと解決できない。」という示唆を与えている。日頃の報道等では、原子力に「賛成」か「反対」かの二元論でしか語られていないような錯覚を覚える。しかし、現実に原子力発電に「反対」の姿勢を取る国民も多く存在し、その思いを強くする人びとがいるのだから、丁寧な説明が必要だ。 原子力発電に頼らない生活は、日本国の生活スタイルの大きな変化をもたらし経済的、精神的な負担を強いること、自然エネルギー開発に膨大な時間と財を投入しなければならず、これまでの財の配分を変えなければならないこと（今まで国家予算でできていたことができなくなること）、環境面では、エネルギー革新がないと二酸化炭素の排出量を増大させてしまうこと等、またコスト面では化石燃料に頼るため、価格が一時的にとても不安定になる要素があることなど、原子力発電を全廃した際のリスクをしっかり説明するべきだ。そして、脱原発にむけて少しでも前進しているところを国民にアピールしなければならない。 現代は、短絡的な批判ばかりが目立ち、新しい道筋を示し、行動しようとする人間の足を引っ張ろうとする。「何かを変えようとすれば、今までの何かが維持できなくなる。」ことをもっと国民も理解しなければならないし、為政者の方々も説明できなければならない。総合的に物事を判断し、説得して、大きな流れで行動できる国家、集団にしていけるようになってほしいと願う。
30684	個人	その他	30代	男性	ゼロシナリオ。いますぐ大飯原発の稼働を停止すべき。今夏の関西の電気は足りています。電力使用量を減らしつづける経済社会を目指すべきです。このテーマに関する「国民投票」を実施すべきです。	福島第1原発事故を経て、どれだけの人びと、自然が、どれだけの被害を受けているか、現実を受け止めれば、原発の再稼働は、もはや許容できません。大飯原発にしても、万一の事態に必要とされる複数の安全対策について、現時点では対策が完了されておらず、今後数年以内に実施する、というような子どもだましの論理でゴリ押し再稼働したことを国民は見逃していません。地震活動が日本列島全体で活性化していると言われる中で、原発を再稼働するというリスクを多くの国民は選択しません。いますぐ、大飯原発を停止して、原発の稼働0にすべきです。パブリックコメントだけでなく、このテーマに関する「国民投票」を実施して、国民の信を問うべきです。
30685	個人	その他	50代	女性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」。	「2030年までに」という前提自体を支持しません。 すべての原発を即刻停止して廃炉にすべき。 自然エネルギーの開発に国家的に取り組むべき。 すでにある放射性物質の安全な取り扱いの研究に尽力すべき。

30686	個人	家事専業	40代	女性	三つのうちどうしても一つをというのであれば0%シナリオを支持します。本来は、事故の収束（被災者の全面救済を含む）までは大飯も含めて再稼動してはならないというのが私の意見というより道理です。	私は以下に述べる条件で30年後の0%シナリオを支持いたします。 私は昭和40生まれです。小学生以来、天然資源に乏しい日本が、国際社会の中で自立を保ちつつ成長していくために原発は不可欠である、また、自然環境にマイナスの影響を与える火力や水力に比べクリーンなエネルギーである、と教えられ育てられてきました。大学生になり、様々な社会問題に触れる中で、原発の問題につき考えた時期がございました。様々な本を読み、いろいろな人の話を聞くの中、今まで言われていたことが必ずしも正しくはないということに気づかされました。しかし、最終的には「再生可能エネルギーは絵に描いた餅である」「電力がなくなったら生活して行けないではないか」というプロパガンダに屈し、「原発は良くないものだが、これなしでは難しいのだ」と思うようになり、原発の稼動、六ヶ所村再処理施設の建設を容認してきてしまいました。 今、三児の母となった私は、このような国策に間接的にも加担してきたことを深く恥じ、後悔しております。100年に一度とも言われる災害に見舞われた福島、これが自然災害であれば、復興はできたはずなのです。しかし国会事故調においても「人災」とされた原発事故により、故郷を失った人が何十万人と出てしまいました。更には、音を続けざるを得ないような安全宣言によって、本来ならば「放射能管理区域」とされるべき地域に、いまだに多くの子供たちが生活しているのです。国の一大案件は「少子化対策」だったのではないですか？国家の財産ともいえる子供たちをこれだけの健康リスクにさらしておいて、「原発の経済性」を主張するのは、滑稽にしか見えません。さらに首都圏で原発事故が他人事のように思っている人にとっても、実は大切な海の幸山の幸がこれからも長期にわたって汚染されていくのです。 起こってしまったこれらの悲劇を元に戻すことはできません。しかし私たちは50年前の誤りを反省し、これからこの国を支えていく子孫に対しても恥ずかしくない決断をする大きな責任があります。100万年もの長期にわたって管理し続けなければならないゴミを押しつけるなど言語道断です。私たちは、50年前に比べたら格段に進歩した社会に住んでいるはずです。50年前より少しはましな決断をしたいと心から願っています。電力が国全体で不足していないことは証明されました。原発が安い電力でないことも明らかにされました。日本の技術力と知恵で、国として自立できるエネルギー源の実用化に努力しようではありませんか。 前置きが長くなりましたが、0%シナリオを支持する最低条件は、以下の通りです。 1. 現在、国の法によって避難させられている福島県民の人々全員に、直ちに最低限の補償金を支払う。 2. 放射能汚染により帰宅困難となった人々に、直ちに事故以前と同等レベルの居住場所を安全な土地に提供する。 3. 原発事故により生業の道を断たれた農業林業漁業の従事者にこれまでと同等の年収を補償する。そして別の地でその職業を継続してゆけるようにサポートする。 4. 上記1.,2.,3.に要した費用を国民の前に明らかにする。これらの費用を一次的には東京電力に国家への損害賠償として請求する。 5. 再稼働中の大飯も含め、ただちに全国の原発敷地内および周辺の活断層の有無を第三者機関に調査させ結果をすべて公表する。 以上の条件が整ついない場合には、私は原発の即刻廃止を求めます。再稼動は一切容認いたしません。 最後になりますが、今回のパブリックコメントおよび各地で開催された意見聴取会、更には討論型世論調査についてですが、事前事後の公示・公開のやり方には大きな問題があると思いました。国民的議論を必要とする案件であるにもかかわらず、どれだけの人が意見聴取会に参加できるということを事前に知っていたでしょうか。パブリックコメントを知っている国民は全体の何%でしょうか。討論型世論調査に至っては、私は事後になって初めてその存在を知りました。「絆」ばかりが強調された瓦礫の広域処理に比べると、何やらひっそりとしか宣伝していなかったように見えるのですが、いかがでしょうか。本当に国民の声を広く求めるのであれば、「瓦礫」以上にしっかり周知徹底してほしかったです。集まった民意を、国民の納得できる形で反映していただきたく、心からお願い申し上げます。
30687	個人	会社員・公務員	50代	男性	25%案を指示します	感情に流されて0%案を選択してはいけません。 原子力の適切な比率を想定し、様々なエネルギーのミックス案を冷静に検討 していくべきです。 さらに、25%案に未来永劫、固執することなく、5年、10年後に 柔軟に見直していくべきだと考えます。
30688	個人	家事専業	40代	女性	原発ゼロを希望し、自然エネルギーを推進して欲しい。	再稼働はしないでください。子供たちに健康な未来を残す為に、原発は ゼロにしてください。 もっと省エネルギーの取り組みを進めてください。 再処理の廃止を決めてください。
30689	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発現状案	選択肢の中に極めて実現性の乏しい内容の原発ゼロ案を入れているのは道を自分で作りながらすすめっと言うことで無責任。専門家なら簡単に分かることをあえて隠匿し提示する姑息さに、常に国民など簡単に捌けるといった思い上がりがみえみえ。
30690	個人	パート・アルバイト	60代	男性	今すぐに原子力発電をゼロに。	(1)原発事故は航空機、鉄道、コンビナートなどの他の事故とは異質で、その影響は時間的、空間的、社会的に考えても甚大である。 (2)原子力発電の技術は未確立だと思う。 事故が起こっても放射能の影響で、人間は現物調査が出来ない。 (3)使用済み燃料の処分方法がない、トイレ無き マンション。 (4)これまでの自民党政府と財界の原発推進の政策は、まやかしの「安全神話」によって進められてきた。今その破たんがはっきりした。 (5)福島の事故後すぐに原発ゼロを決断した、同じ工業国であるドイツを見習うべき。
30691	個人	会社員・公務員	50代	男性	福島原発の事故で明らかになった原子力発電所。嘘で塗り固められた安全神話。人の生命を脅かす存在は、必要ありません。	日本は、核による「被爆」の唯一の被害国であります。それがもたらす不幸を世界の人々の中で一番良く知っている存在であるはずなのに、なぜその脅威を恐怖をないがしろにするような政治になるのでしょうか。 私たちの生活には、エネルギーは必要です。が、生命の危険にさらされながらおびえながら使うエネルギーを本当に望んでいるのでしょうか。 私は、新潟にある別荘の電源を山の沢からの豊富な「水」による小水力発電でまかなっております。 化石燃料の中でも、メタンハイドレードやシェールガスは地球環境にダメージを与えるものではないかと懐疑的ですし、これからは残された化石燃料の中でも比較的埋蔵量がある と言われる天然ガスと自然再生エネルギーで生活できる構造に変化できないものでしょうか。 家庭用はともかく多くのエネルギーを使う産業・工業用のエネルギーを何で賄うかという大きな課題は残りますが、日本人のもっている知恵や技術で危険なエネルギーである原子力を利用しない方策を考え出せるのではないかと期待しております。 「唯一の被爆国」であることを国民一人ひとりが再度思い起こし、2度と辛い思いをしないよう国民全員で悩みぬき、痛さを共有して「非核」のエネルギー立国を目指していこうではありませんか。 日本人は優秀な民族であります。きちんとした説明と道筋を示せば、やり遂げる民族であると思います。そのためにも、すぐれたリーダーとブレーンが必要で、今の日本に一番欠けているものであると思います。
30692	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	1の「原発ゼロシナリオ」を選択しますが、これだけでは まったく不十分です。 私たちは全原発即廃炉を強く求めており、その道はすでに開かれていることも知っています。	(1)使用済み核燃料の処理も未だ確立されていないにも関わらず、すでに何万トンもの「核のゴミ」が存在している。今後もこれを増やし続けることは、絶対に許されないと考える。 (2)原発を今すぐゼロにしても電力が足りていることは、多くの国民の知るところであり、政府のデータでも明らかである。 (3)省エネの割合と再生可能エネルギーの導入見込みを積極的に増やすことは、充分可能である（こともご存知のはずです）。 未だに原発を推進するという考えには、まったく同意できず。地震大国であり、かつ狭い国土の日本に原発が50基以上もあったこと自体が異常で、再び福島原発レベルの事故が起きたらどうなるのかという想像力が欠落していることに驚きを隠せません。 以上の理由などから、「2030年までのできるだけ早期に」ではなく、今すぐ全原発を廃炉にすることを強く求めます。
30693	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発ゼロシナリオを支持します。 また、原発を再稼動せず、即時ゼロとすべきです。	1．事故リスクが大きすぎます。 福島原発事故の影響は、取り返しのつかないものであります。今も目に見えない放射能リスクがどの程度に、拡大しているのか、きちんと精査もせずに国民を危険にさらしています。 「大丈夫だろう」で、原子力人らの人々が、再稼動を急ぎますが、万が一、次の事故が起きたら、誰が責任を取るのでしょうか？ 責任を取れない人間が、「責任を取る」とうそぶいて再稼動させましたが、 福島事故の責任を誰が取るのでしょうか。誰も責任を取れないのに、再稼動は許されません。 2．福島事故の原因究明がなされていません。 地震でどの程度の損傷があったのか、津波でどうなったのか、事故調でも、原因究明が充分には行われておりません。 原因究明がなされていないのに、再発を防ぐ事はできないのではないでしょうか。原発再稼動などもってのほかです。 3．核のゴミを次世代に押し付けてはなりません。 使用済み核燃料は、どうするのです か。何万年もの間、管理し続けなければならない核のゴミのツケを次世代に残してはなりません。 放射性廃棄物をこれ以上作り続ける事は、許される事ではありません。
30694	個人	法人等	60代	男性	ゼロシナリオ支持：原子力からの脱却を明確に 原子力は、リスクが大きすぎ事業として成立しない。 使用済み核燃料の管理リスクを将来世代に転嫁すべきでない。 いつまでに全廃するかを検討すべき。	ゼロシナリオを支持します　～まず、原子力から脱却することを明確に～ （1）原子力は、リスクが大きすぎるため、現在世代にとって事業として成り立つものではない。 （2）使用済み核燃料を長期間管理するリスクを将来世代に転嫁することは倫理的に選択すべきではない。 （3）したがって、2030年のエネルギー構成（原発比率）が問題なのではなく、原子力からの脱却を確認したうえで、いつまでに全廃するするかを検討すべきと考えます。
30695	個人	会社員・公務員	40代	男性	国民の意見がきちんと通るエネルギー運用を。国民の過半数以上は原発にNO!と言っている現実を真摯に受け止めろ。	どうしてわからないのか不思議で仕方ない。あれだけ世論が原発にダメ出しをしているのに何を考えているのか。政府は国民の安全より電力会社の倒産のほうが気になるのか。東電を潰さなかった時点で終わっている。もっと真摯に国民に向き合え。こんなところで意見と書いたってダメなのはこちらも承知であるが、それでも今国会前で毎週行われているデモに参加できないのでせめて強く言いたい！絶対「0」です！！！！！
30696	個人	パート・アルバイト	30代	男性	原発0%ゼロシナリオを要求します。 少しでも早急な全ての原発の停止、全ての原発の廃炉を要求します。	福島半径40kmの人々の故郷を奪い、東日本大震災の復興の一番邪魔をしている原発での事故は絶対に起こってはならないものでした。 放射能の人体への影響もはっきり分からないまま、原発から出るゴミの処理方法も分からぬまま、地震に対する対応策もまともに取れていないまま、 見切り発射してしまった原発のリスクはあまりに大きすぎたのでは無いでしょうか？ 人の命はお金では買えません。 放射能の危険性は5年10年後、または次世代の子供たちまでずっとつきまとってくるものでないのですか？ 危険で心配なものはなるべく使わないのがまともな人間としての判断だと思います。原発なくしてください。お願いします。
30697	個人	自営業	40代	女性	いますぐ「原発依存ゼロ」を実行すべきです！ その理由は「ご意見及びその理由」の項目に箇条書きに記します。	(1)地震や津波をはじめ、自然災害の多い日本では、安全に原発を運転するのは不可能であり、安全率を高くするためには莫大なコストがかかる。 (2)電力会社の独占システムが、運用者をはじめそれに群がる学者や官僚の腐敗を招き、情報の透明性と情報公開の迅速性が著しく阻害されている。 (3)多くの原発が活断層の真上およびその周辺に立地し、非常に危険な状態にある。 (4)使用済み核燃料の処理及びメンテナンスや、原発事故が起きた場合の補償及び事故による時間的・空間的に及ぼされる甚大な被害を含めると、天文学的なコストがかかり、どのエネルギーよりも経済的に採算が合わない方法であることは明白である。 (5)使用済み核燃料の有効な処理法が確立されておらず、今後も確立され生みこみがない現在、これ以上使用済み核燃料を増やし続けることは、人類の自滅を意味すること（今後何万年も使用済み核燃料を管理することは不可能である）。 (6)脱原発に切り替えて、再生可能エネルギーの技術を発展させていくことは、日本にとって他国との差別化を図ることになり、ひいてはそれが国家にとっての最大の強みになること（ピンチをチャンスに変えるべきである！）。
30698	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発ゼロを。	チャレンジ精神は大事だが、一度失敗したら元に戻らないモノは、慎重であるべき。今回学ばずして、いつ学ぶのか。ゼロから新たな社会を組み立てる。日本再生はここからだ
30699	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発ゼロシナリオを選択しますが、数点加えていただきたい内容があります。詳細は以下に書きます。	・原発の運用期限について 「2030年までのなるべく早期に」では期間が長すぎます。 福島の事故もまだ収束しておらず、周辺の住民への補償もまだ十分にできていないのに、他の原発を稼動するのはおかしいと思います。 万一事故が起こったとき、次は「想定外」では許されません。フクシマの教訓を生かしましょう。 311後様々な断層の動きが活発化している日本には原発は危険すぎます。 原発の即刻廃止を求めます。 ・自然エネルギーの割合を増やす ゼロシナリオの35%というのは少ないと思います。 WWFの試算では電力の6割以上を自然エネルギーでまかなえるとされています。 お金も時間もかかるとは思いますが、原発の維持費とその危険度を考えると比では無いと思います。 各地の電力会社を統合するか、電力事業への新規参入がしやすい制度を作り 自然エネルギーの生産比率向上を目指してほしいです。
30700	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発ゼロの社会をつくりあげていきます。	扱えないものをなぜ扱おうとするのでしょうか。自分たちで処理できないことがわかっているのになぜそれをまだ使用するのでしょうか。福島の事故で何を私たちは学んだのでしょうか。なぜこんなにも地震大国と叫ばれているのに、原子力発電所は日本に顕在するのでしょうか。また事故が起こったら私たちはどうなるのですか？？未来はありますか？電気は確実に賄うことができます。原発を稼働させる費用をこれからの未来のために使いましょう。あなた自身の子供のことを考えてください。命よりも大切なものはありますか？
30701	個人	パート・アルバイ	50代	女性	原発ゼロシナリオを希望	ひとたび事故を起こせば取り返しのつかない事態を起こす原発の再稼働に反対します。今後は自然エネルギー政策の推進を積極的におこなうよう希望します。
30702	個人	会社員・公務員	60代	男性	(1)案　ゼロシナリオ/2030　に賛成です。	原子力産業は、産業技術分野としての成立が不可能と考えます。 私自身の自動車技術者の経験から、市場の変化するユーザーニーズにオープンな環境下で競争が行われ。その評価方法・評価条件・判定基準の構築と、市場からのフィードバックが、製造メーカーの存続意義の根幹と考えて、PDCAが閉じた完結したサイクルで、その改良・革新に継続敏に取り組んで来ました。 一方、原子力技術では、多様性・多重性の安全対策を標榜しながら、技術分野のPDCAの実施が、市場に該当する第三者による客観評価を自己正当化で省き、閉鎖的な共通利益集団(ムラ)のバイアス条件下で、判断を行って来ています。「長時間の電源喪失は考えなくて良い」というムラの論理を金科玉条とした上での思考停止が典型です。 GE社マーク1型原子炉の技術課題に対し、スイスが行った対策＆日本へのスイスの動告を一顧だにせず済ます為の上記論拠が、一貫して閉鎖環境で行われる日本固有の仕組みなのです。 格納容器のSR弁の不作動も、自動車における評価方法・評価条件の検討に照らすと、ハードとして極めて低次元です。かつソフトとしての、PDCAが回る、自己完結した帰結としてフィードバックすべき訓練も行われておりません。 その事故影響をかんがみた産業技術として、大炎次元が低く今後も成立は不可能と判断します。 地震・津波という地理的な入力環境の大きさ、 10万年に及ぶ高レベル放射能排気物処理場の選定の不可能さ。（核兵器保有国では付帯的必然による）事故発生時の訓練・実施能力に対する完全欠落。むしろ国民視線からの秘匿を言い訳とする、事故対処能力改善からの逃避行動。 産業競争力の低下を理由に、原子力の延命を図る旧勢力がいますが、 こうした連中が、この失われた20年といわれる低迷期に、電気料金引下げを口にしていたのでしょうか？ 今まさに将来の日本をどうしていくのか、何を次代に引き渡すのかを考え、 産業構造の転換策として、再生可能エネルギーの発展拡大を政策として実行する期間と2030年をとらえるべきです。 再生可能エネルギーのコストは、需要増大に伴う化石燃料コストの上昇も考えると、既存の電力コストを下回るという各種試算が出ています。 日本が、高齢化・地域経済の低迷を打ち破り国際競争の中で生き延びるためにも、（周回遅れで）世界が必ず求める再生可能エネルギー技術の開拓に、先行することがきわめて重要と考えます。

30703	個人	自営業	50代	女性	将来原発をどうするか？について。	原発による発電はゼロにすべきと思う。 原発はもう時代遅れ、国民の真の幸福を目指し、同じ過ちを繰り返してはならない。 安心して暮らせる社会を目指して欲しい。
30704	個人	その他	30代	女性	原発ゼロシナリオ（即時）	●「原発規制委員会の人事等について、中立的で公正な人選を求めます！」 ●「原発エネルギー、今すぐゼロにすべきです」 ●「使用済み核燃料の処分方法は未確立、核燃料サイクルは失敗だらけだから！」 ●「今後のエネルギー政策に今回の提言やパブコメをきちんと反映させてください」
30705	個人	会社員・公務員	30代	男性	2030年ではなく、今すぐに、全ての原発を廃炉にすべき。	今すぐに全ての原発を廃炉にすべき。 経済の減退は仕方ない。原発あっての経済はそもそも身の丈に合っていないと考えるべき。 電気料金が上がっても構わない。安全な未来の為に必要だというのなら払う。
30706	個人	その他	60代	男性	原発の廃炉まで含めた発電コストは莫大であり、経済性がない。その上放射性廃棄物の処理は、果てが無く未来への負の遺産となる。原発をきっぱりと止め、その財政負担を再生エネルギーの推進と発送電分離に投資する。	これだけの放射能をまき散らし、福島の人々の故郷を破壊し、永遠に住めなくして置いて、まだ、原発にしがみつきますか？原発のコストは、莫大だ。政府の言うでたらめのコストではなく、原発と燃料の再処理、および再処理工場の開発から運転、そして、発生する放射能廃棄物の処理、そのうえ廃炉、原子力村の村民の天下り費、これらは全て我々国民の税金である。それらを電力会社自身に負担させれば、経済的メリットなど、あるはずがない。 電力会社は、政府のたくらみ（電気料金のしくみ）と補助金（税金）とで、はじめて採算がとれるのである。 もち私達は、原発は要らない。それにかかわる税金は、払わない。今の原発にかかる総費用を電力会社自身で最後の最後まで負担させるなら、原発を継続しようという電力会社はない。 地震大国における原発の危険性は、福島原発の事故で証明された。この国に原発を建てる場所はない。すぐに、全部の原発を停止し、廃炉にすべきである。また、原発は現在でも使用済み燃料の処理ができずに、六ヶ所村や、各原発の使用済み燃料プールに大量に保管されている。この使用済み核燃料の危険性を指摘したのも福島原発である。ただちに、原子炉格納容器近辺のプールを、それとは離した場所で、安全に保管すべきである。この燃料の再処理は、再処理工場の稼働のめどが立たず、なおかつ高速増殖炉もんじゅの動き出す可能性もないのであるから、この再処理計画は破綻している。 中途半端に再処理を稼働させるならば、さらなる高レベル放射性廃棄物と高レベル放射性廃液を製造するだけなので、地震の影響を考えると更なる被爆の可能性を高めるだけである。莫大な税金の投入が予想される再処理を止め、使用済み核燃料の直接処分を目ざすべきである。 再処理計画を変更し、その莫大な費用の一部を再生可能エネルギーの研究に使用するなら、再生エネルギーの割合を増大させることができる。また、税金をつぎ込みながら、ビデオさへ公開しない実電は、破綻させ、各資産を売却し、送電網の分離を実現し、再生エネルギーの活用を目ざすべきである。それが、我々に科された課題である。それが、全電力会社の発送電の分離にもつながる。 原発をゼロにすることで、未来への負担を少なくすることができる。最終処分さえ未確定で莫大な費用を要する原発は、ここで廃棄する。ただ、その廃棄に対しても莫大な費用がかかるのが腹立たしい。しかし、今すぐ止める方が、だらだら続けるよりも国民全体の負担が少ないのであるから、そうするべきである。 それにしても、このようなとんでもない原子力開発を推進させた連中の責任をはっきりと明確にし、責任をとらせることが必要だ。ここでまた、曖昧にするとこの国の無責任体制は永遠に続く。
30707	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力との早期決別	国民の安全を担保できない以上、原子力利用の選択肢は 日本文化の悪い点である、経済至上主義と隠蔽文化を助長し、今後国際的にも競争力の無い国民性、文化、政治になってしまうだろう サンクコストとなってしまい、判断に迷いを生む怪質である事は理解できるが、大胆に早く見切りをつける事が重要である 原子力政策上、安全確保にかかるコストを明確にした上で、民主的判断で推進していれば、違う現状になっていたかもしれない 違う道を歩む決断は、早い方が保存される利益は大きい、そこまで来ている状況だ
30708	個人	会社員・公務員	50代	女性	20-25%　でお願いします。 0%は非現実的です。理想郷にすぎないです。	0%にすると　かなり他の電力をつくるエネルギーが必要なわけで、その費用は 原子力よりかなりかかりそう→　電気料金高騰→　消費税も上がるだろう、一般ピープルの生活ますます苦しくなる。＋製造業　海外に逃げる→　仕事がなくなる→　失業者続出（少子化だから大丈夫か！？）→　日本国中　生活保護者天国　→　日本国　破産です！　韓国か中国に身売り？？？
30709	個人	家事専業	30代	女性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 《経済復興には国民の「未来への希望」というエネルギーが必要》	政府は経済再生と経済復興というけれど、毎年、再生可能エネルギー比率が増えていくことが国民の活力を生み出す。放射能の危険から開放されれば、日本は飛躍的に成長する。求められるのは国民のほうではなく、官僚の頭の中のパラダイムの転換だ。 不安というトンネルから抜け出せない限り、経済再生も復興もあり得ない。 まずはひとつ、国民に希望を与えて欲しい。 真の希望を与えてくれた政府になら国民も寄り添うでしょう。
30710	個人	パート・アルバイト	40代	女性	ゼロシナリオ！原発はいりません！！	今も大変な生活を強いられている方達が大勢います。 経済問題も大切かもしれません。でも何かを犠牲にしてまで楽な生活がしたいと思いません。その為には我慢もします。大切な子供たちが安心して暮らせる未来の為に、します。出来ます。 素晴らしい技術力を持っている日本です。原発に頼らず自然エネルギーで暮らせる生活がもっとできるようにその技術力を活かして下さい。
30711	個人	無職	70代	男性	2030年時点で原子力発電所を0%にすることを強く望む。	1、2030年時点で原子力発電所（原発と略称）を0%にすることを強く 望む。 理由 （1）人類は原発をコントロールする技術（防止・処理技術と能力）を 持っていない。将来その技術をうる望みは薄い。 （2）ひとたび事故が起きれば、その惨禍と将来世代への影響を合わ考えれば　この事故は第二次世界大戦に匹敵する。第三次世界大戦を望む人は 50億人のうち1人もいない。 （3）日本は広島、長崎、福島と3度被爆した。4度目の被爆の可能性をなぜ 消さない。 2、原発以外の発電について （1）現在の電力ムラを解体し、競争可能な自然電力等は20年で十分開発　可能、そしてそれを世界に紹介（売る）する。 3、原子力工学について 将来に備え原子力技術者等を1000人規模で養成研究させておく。 4、まあ駄目だろうけれど、今、政府に要望する事項。 （1）事故の徹底調査（偏るな、透明に、ウソをつくな。） （2）2030年までの廃炉計画（工程表）の作成と即実行。 以上
30712	個人	会社員・公務員	50代	男性	「エネルギー・環境に関する選択肢」についてはどの項目も選択肢と成り得ない。	選択肢のシナリオの根拠となる原子力比率・再生可能エネルギー比率・温室効果ガスはそのものの根拠が希薄で（卑しく）、説得力がない。国民に提供される情報は少なく、都合の悪いものは公表・報道されないとの認識は、国民全体に広まりつつある。 原子力発電コストは発電コスト以外に使われている事実があり、全貌が明らかでない。本来は先送りされている原子力廃棄物の処理に使われるべきものである。子孫に負の遺産を送る行為は決して許されない。計画全体が歪めている。 再生可能エネルギーは安定電力ではなく、その活用は非常に難しい。活用のための技術開発費に使われていることが判らない仕組みでは賛成できない。 温室効果ガスに至っては論外である。温室効果ガス削減のパフォーマンス自体に意味がないことは今日明らかである。国際公約とのことであるが、根拠のないパフォーマンスのつけであり、国民負担などとんでもない。 今回の選択肢はいずれも電力コストの上昇を招くと思われるが、既にイコールフッティングの原則から大きく逸脱しており、国内産業のますますの衰退を招く。国益に大きく反する。
30713	個人	学生	20代	女性	原発の増設は反対です。	原発を増やすことは、後世に危険な廃棄物を残すことになるので反対です。 代わりに、火力発電に頼るのでもなく、新エネルギーの開発、実用化を進めていってほしいです。
30714	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発ゼロを目指すべきである。	現状では原発による廃棄物の安全な処理方法が確立されていない。 海外（例えばフィンランド）では、地中深くに埋める試みもされているが、これも安全性が担保されておらず、現時点での最善策でしかない。 国民の健康・安全を考えれば原発の存続はありえない。 日本は原発をゼロにし、再生可能性エネルギーの活用において世界の最先端を目指すべきである。
30715	個人	自営業	30代	男性	原発ゼロシナリオ（即時）	●「原発規制委員会の人事等について、中立的で公正な人選を求めます！」 ●「原発エネルギー、今すぐゼロにすべきです」 ●「使用済み核燃料の処分方法は未確立、核燃料サイクルは失敗だらけだから！」 ●「今後のエネルギー政策に今回の提言やパブコメをきちんと反映させてください」 福島の事故が収束していないのに原発を稼働し続けるのはゆるされない！！！
30716	個人	無職	70代	女性	福島の事故を踏まえて即エネルギー政策のかじを切るべきです。2030年を待たずいますぐ原発ゼロに取り組まねばなりません。再稼働を強行するなど許せません！	福島第一原発の事故で原子力の平和利用なんてあり得ないことがよくわかりました。事故の詳細が垣間見えるにつれ、こんな無知な人々が原発を動かしていたのかと背筋が寒くなります。安全神話は完全に崩壊しました。 日本には核兵器を持てる力があると世界に知らしめんがために平和利用で核技術を磨きたかっただけなのか、金で人を釣り利権に群がる人々が動かしていたのかとようやく気づきました。 温暖化防止のためクリーンな安価な原子力のエネルギーをなどとまやかしの論理で国民を操ってきた従来の自民党政権と財界の責任は重大です。 お金がかからないなんて嘘です！使用済燃料の処分にかかる費用や廃炉の費用、自然災害や予ロに備えて安全を担保するための費用などは膨大な額に上るのに、それら全てを棚上げにしてコスト計算されているのですから。 国民はこの事故でいろいろなことに気づきました。そして声をあげています。 唯一被爆国の日本人は放射線の恐ろしさをよく知っているからです。病気持ちの老人でなかなか無理はできない私も脱原発の署名集めに微力ですが参加しています。 でもむなしい限りです。「さようなら原発1000万人署名」で700万人以上集めても、金曜日ごとの首相公邸前で毎週何万人もの人が自主的に集まってデモを行っても（組織の動員はありません）、耳を傾けようとしないのですから。 ドイツを見習ってください！地震大国の日本で原子力発電ほど危険なものはありません。自然エネルギーなどの再生可能エネルギーの利用を増やしましょう！日本に豊富な地熱の利用もすぐに検討しましょう。そしてその方面で雇用を生み出し若い力を生かしましょう。今こそ大きく政策を変え生活を変えるべきチャンスなのです。即刻原発ゼロの方針を打ち出してください。一刻の猶予もないのですから。
30717	個人	パート・アルバイト	40代	女性	ゼロシナリオを支持します。今こそ腹を据えて、ゼロシナリオで動き出すべきだと思います。	今回の原発事故を体験してます、今まで原発に無関心でいた自分を反省しました。そして原発に関する本を読み為さり、思ったことは、原発は地震国日本はもちろんのこと、地球上にあってはならないものだということ。人間が制御できないことは自明の理なのだから、そこをごまかさず、きっちり認めてください。それが大前提です。安全か安全でないかかなどという無意味な議論はやめてください。浜岡原発に莫大な費用を掛けて防潮堤をつくっていますが、無駄です。そのお金を被災者支援に回してほしいです。 という大前提を考えれば、ゼロシナリオ向けて動き出すべきです。意見聴取会を聞くと、「0%を望むけど、それは現実的でない、無理だ」というのが、ゼロシナリオ以外を選んだ方たちの意見のようです。経済の低迷、生活の不便さをどこまで受け入れるか、その幅の違いがシナリオ選択の違いになっているようで、「0%を望む」はベースにあると理解しました。 私は、原発を動かして得られる成長はいりません。そんな成長は砂上の楼閣ですから。いつまた原発が爆発して、経済成長どころか、国が破たんするかわかりません。福島原発の後処理だって、いったいこれからどれだけの費用と作業をする人たちの犠牲が必要なのか…わかっていたら公表してください。わからないとしたら、そんな手におえないものを動かし続ける権利は誰にもありません。 3つのシナリオが提示されましたが、このような複雑な大きな問題を三者択一では選べません。もちろん、あくまでもたたき台のつもりだと思います。意見聴取会も途中から、「3つのシナリオ以外の意見」ということで意見表明する方を受け入れられていました。形式的ではなく、ずっとこのような柔軟な姿勢でのぞんでください。さまざまな意見をくみ取ってください。まとめるのは大変なことです。悠長に構えてもいられませんが、結論を急いで、多くの真剣な意見、議論を無駄にすることは決してしないでください！
30718	個人	法人等	60代	男性	・2030年以降の長期的全体像が見えない。 ・温暖化ガスの問題は、国際問題であり、ここで議論すべきではない。 ・稼動中の原発の危険度を定量化すべき。 今の時点で結論を出すのは拙速。	・2030年の原発依存度のみを議論するのでは全体像が見えない。脱原発依存を唱えるのならば、（例えば）2050年の原発依存度をゼロにすることを明言すべき。 ・温暖化ガスの問題は、国際問題であり、電力コストなどの国内問題と混同して判断させるのはバランスを欠く。国際問題も考慮するのならば、地殻プレートが4つも合流する国で原発を持つことの是非まで論ずるべき。原発を持った上で、最高レベルの安全性に配慮しても、隣外国から見れば、本末転倒である。福島で地球規模の汚染を引き起こしたことに対する反省がないのではないか？そもそも温暖化ガスが温暖化の主因であるかどうかには疑問が出ていることでもあり、温暖化ガス排出量のデータを添付べきでない（CO2削減については、福島を受けて、原発を減らす分、目標を下方修正することに国際的理解を得るべき。この期に及んで尚、削減に拘ることの裏に原発推進の意図を感じる）。 ・稼動中の原発の危険度を定量化すべき。旅客機や車の危険度との比較がないと、危険度とコストを横並びで評価できず、各自、感覚で判断することになる。 総じて今回のシナリオに対する反応から何かの結論を引き出すのは拙速と考えます。
30719	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを支持します。 自然エネルギーの比率をもっと高くするための施策を実施して下さい。	現時点で、既に東日本では原発の比率はゼロである。 ガスコンバインドサイクルへの置き換えれを進めれば（設置は2ヶ月で可能）、現時点より更に余力ができる。 その認識が無いのではないかと思わざるを得ない選択肢案であり、見識を疑わざるを得ない。 自然エネルギー政策への取り組みを真剣に進めていただき、自然エネルギー35%という極めて低い目標を恥ずかしげも無く提示するのはやめていただきたい。 やる気の無い方々が検討された案だと思われるので、やる気のあるメンバーへの変更をお願いします。 原発の即時廃炉をお願いします。予算を自然エネルギー推進施策へあてて下さい。
30720	個人	家事専業	60代	女性	(1)原発ゼロシナリオを選択します	原発事故を経験して、核の恐ろしさと制御不可能なものだということを確信した、未来のために核のごみを作って残してはいけない。 六ヶ所再処理工場や高速増殖炉は直ちに止めるべきだ。
30721	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発0シナリオしかありえません	地震大国日本で原発などありえません！ これ以上福島の悲劇を繰り返さないためにも ただちに決断しなければいけないと思います。 子ども達が健康で安心して暮らせる為に 宜しくお願いします。

30722	個人	その他	30代	男性	(1)原発ゼロ を希望 第一に安全保障上の問題。 火力水力地熱再生化エネルギーであれば、 ミサイル攻撃の際は 比較的短い期間で収束するはず。 原子力では収束の見通しさえ立たない。	第二に、核のゴミ処理が決まっていないからです。 処理方法・処理場所がみつからないのに 新しく核のゴミを産み出すことには反対です。 昨年の3月11日までに、 原発の地震・津波リスクについてどれだけの警告が発せられていたのか、 またどのような提案が株主総会で行われていたのか。 東電の経営陣がそのうちの一つにでも真摯に対応をしていれば、 事故は防げたかもしれないし、 また仮に事故そのものは防げなかったとしても、 ここまで被害が大きくなることはなかった。 だから東電経営陣には明らかに責任がある。 ひいては、 監督官庁である経済産業省にも責任がある。 ひいては、 国会議員にも責任がある。 ひいては、 国民である私にも責任がある。 電気が自由に使えなくて多少不自由しても、 結果的にコスト高になったとしても、 国民である私の責任として受け入れます。
30723	個人	家事専業	50代	女性	大飯原発を稼働させるのは愚策。脱原発・原発0に向けた政策を早急に推進すべき。	1　福島原発事故の真相究明、原因の検証が不十分 2　被災地の復興支援の遅れの中、被災者の救済を早急におこなうべき 3　広島・長崎の原爆の被災者はいまだに問題を抱えている。被ばくした人たちの救済を早急にすべき 4　政府の機関には原子力ムラ関係者は排除し、中立な立場の人を人選すべき 5　自然エネルギーの推進に力を入れ、欧州のような早急な脱原発にすべき 6　核燃料の処分には膨大なコストがかかる。その金額まで電気料金にいれるような算定方法を見直し、発電と送電の分離も早急にすること。そのことにより1社独占ではなく、競争できる電力社会をつくるべき
30724	個人	会社員・公務員	20代	男性	エネルギー源としての原子力利用を日本からなくすことを求めます。	私は家業として日本酒の醸造を生業としておりますが、昨年の地震後の福島の原発の事故により、350年続いてきた家業の存続の危機に瀕していると感じました。 結果としては、安全性に問題がないということで自己以前と同様に、日本酒を製造できておりますが、実際のところ本当に安全性についての心配が拭えません。 重工業の工場等と違い、我々の製造している商品はその土地から離れることの出来ない農業に近い仕事です。 これからも日本で暮らしていくために、そして我々の後の世代のために、今からでも可能な限り、自然を汚すことをやめたいと切に願っています。
30725	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロリスクを要望します。 時期は即時全面停止を希望します。	以下の3つのことから原発の即時停止を望みます。 事故リスクが大きすぎる。 福島第一原発の事故の原因が究明されていない。 核のゴミを次の世代に押し付けてはならない。
30726	個人	自営業	50代	女性	もし選択できるのなら、日本のエネルギーは今後原子力に頼らないものに移行して頂きたく思います。その為に一般の私たちが多少の我慢を強いられるようなことがあったとしても私は文句は言いません。原発要らない！	自分が真生きしたとしても、せいぜいあと20～30年です。だけど今年生まれた子供、これから生まれる子供、その子たちの未来を決定できるのはその子以外の大人たちなのです。その子達の未来に負の財産など残したくありません。 今まで政治は一部のそういうことに興味のある人たちにまかせとけばそこそこ安心で安全な日本で暮らしていけるのだと根拠無く信じていましたがどうやらそうではなかったようなので、声を大にして要らないものは要らないと叫びたいです。
30727	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発ゼロシナリオを選択します。すぐに原発をゼロにしてください。	原発ゼロシナリオを選択します。すぐに原発をゼロにしてください。理由は以下です。 (1) 原発は、他の発電に比して事故リスクが大きすぎる。 福島第一原発の事故により、今もなお16万人が避難生活を余儀なくされています。 汚染地域では、これからの子ども達への健康被害が大変危惧されます。いまだに農業・漁業が再開できない方、汚染や汚染の不安で販売減となり生活が厳しい農林水産業者、汚染された食べ物(基準値以下でも子どもへの健康リスクは小さくない)を食べなければいけない子ども達。放射能による影響はあまりにも大きすぎます。事故処理のために多くの作業者が被曝をしています。日本だけでなく放射能汚染は世界に広がっています。 　このように、ひとたび事故が起こったら取り返しがつかず、誰も責任を取れません。事故のリスクは他の発電と比べ物にならない位大きいことが今回の事故で証明されてしまいました。だから、原発はすぐにやめるべきです。 (2)地震国日本では原発は危険すぎる。 日本は、世界でも大変地震が多い国です。その上、マグニチュード6以上の地震は震災前の年平均20回から震災後は116回も発生しており、日本の原発は大変危険な状況です。地震国日本で原発を動かすという危険な行為はすぐにやめるべきです。 (3)福島事故の原因が究明されていません。 上記(2)に加え、福島事故の原因が解明されていない中、同じような事故の再発を防げる保証がありません。 更に、福島事故では2号機が東京含めたより広範囲な地域で避難を余儀なくされるような深刻な事態になる寸前だったと報じられています。幸運にもその事態は避けられましたが、なぜ避けられたかもわかっていません。次に事故が起きた場合、そのような事態になる可能性が大いにあるということです。このような状況で原発を再稼働し動かし続けることは絶対に反対です。 (4)事故が無くても、稼働のために被曝労働を生み出し続けます。 原発は、労働者の被曝を避けることができない、危ない技術です。やむなく被曝を承知で働く方々が居ますが、他に選択肢があれば原発で働きたいと思うでしょうか。原発を継続しようという方々は、自分の子どもを原発の現場で働かせてよいと思っているのでしょうか。被曝労働をこれ以上生まないため、できるだけ速やかに他のより危険の少ない発電に切り替えるべきです。 (5) 核のゴミを次の世代に押し付けてはならない。 原発を動かす限り使用済み核燃料が発生し、再処理、直接処分とも何万年も間管理しなければなりません。そのわずか40年の稼働のために、何万年にも及ぶツケを、次世代に残してはならなりません。 (6)電力は足りている 一番需要のピークである今年の夏、わずか2基の原発で電力は賄えています。原発の割合の多い関西電力エリアで、電気が足りないからと大飯原発が再稼働されましたが、計画的な節電やピークカット・シフトの政策、他の電力会社からの広域調達、企業の自家発電等で原発無しでも対応できたはずです。関西電力は大飯再稼働決定後、何基も火力発電所を止めたという情報もあります。 政府の「ゼロシナリオ」では節電を10%しか見込んでいませんが、2011年東京電力管内で16.8%という節電実績もあり、ピーク管理、発電転換ロス対策など積極的な節電(ネガワット)対策で、もっと消費量を減らすことができるはずです。原発以外の発電で電気が賄える選択肢があるのですから、原発は止めるべきです。 (7)国の政策として、自然エネルギーの普及に力を入れるべきである。 ヨーロッパを中心に、世界的には自然エネルギーは第4の革命と言われるほど成長産業となっています。ドイツで風力発電に新規雇用が30万人生まれたのは有名な話です。日本は、水力、地熱、風力、太陽熱など自然エネルギーのポテンシャルが非常に高いと言われ、太陽光発電の分野では世界をリードする優れた技術もあります。 発電コストがネックとなっていますが、発送電分離により自然エネルギーの販売・購入が促進されること、政府や電力会社が原発推進に使っている予算を、自然エネルギー開発の初期投資の費用に転換換することで、日本でも自然エネルギー市場が飛躍的に成長すると確信します。自然エネルギー推進による原発ゼロは、政策としてこれからの日本経済再生のためにもすぐに実施すべきです。
30728	個人	会社員・公務員	60代	男性	今からの脱原発。 電源は安全で安いと言って誘導してきた方向をリセットする必要があります。	メリット　デメリットを計算してください。 使用後の燃料を兵器に使用しないなら、他国に搬入後の兵器使用も除外するなら、保管にいくらかかるのでしょうか？ 今回の事故の保証金はいくらかかるのでしょうか？ 計算してください。 そして人間は誤るものです。 今回の事故は避けれないとしたら、次回は明日です。 今の政治の混迷と同じ方向性をまとめられない我々日本人が生活の豊かさのために　原子力を使う権利はありません。
30729	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発0%を推進します。	国民の福祉、幸せ、健康を優先し、経済発展のみを優先するべきでない。 電気（原発）がなければ、というが、それは、実情に反映されていない。 原発0を選択すれば、新しい技術など、開発され 企業にとっても、プラスになるはず。 今までのやり方は通用しなくなる。 新しい形を模索し、チャレンジするとき。 今の日本には、それができると信じています。 世界にも、新しい日本の形、あり方を示し、リーダーとして貢献できるチャンス。
30730	個人	法人等	50代	女性	「原発ゼロシナリオ」を選びます。	「原発ゼロシナリオ」を選びます。 これからも世界中の人や生き物が安心して暮らせる地球にするためには、原発は絶対に亡くさなくてはいけないと思います。ものすごい金額の原発関連予算をやめて、太陽光発電や風力発電にもっと助成金を出し、安い金額で各家庭や企業・工場・学校・病院・会場・建物等に太陽光発電のパネルを取り付ければ、クリーンで安全な電機は、豊富に生まれます。原発からは必ずセシウムが生まれるのです。原発から出る放射能廃棄物の管理を子どもたちに押し付けるのですか?目の前の経済ばかりを優先しないで、これから50年、100年、1000年先もみんなが、安心して暮らせる社会を作る責任があります。原発がなくても十分な電気を使い、暮らしていけます。電力会社の言うことばかり聴かないで、、もっと国民の声を聞いてください。 それと2030年というのは、長すぎです。今ある原発をすぐに廃炉にすべきです。今とめている原発は、絶対再稼動しない。再稼動をした原発は、速やかに止める決断をして下さい。総理が「自分の責任で再稼動する。」と言われましたが、何かあったとき、責任なんか取れるわけないじゃないですか?今すぐでも終わりそうな政権の約束が信じられるわけもなく、もし事故が起こったら、誰も責任が取れない、日本は、人が住めない国になります。 福島や東北の被災者の声を聞くべきです。近い将来、必ず関東東海大地震が来るといわれているのに、原発を存続させるなど、正気とは思えません。福島原発事故より、もっと大事故になることは目に見えています。地盤の弱い場所に数値を書き換えて原発を作っている浜岡原発やプルサーマルを始めた玄海原発など特に心配です。広く長い視野で英断をお願いします。
30731	個人	無職	60代	女性	ゼロシナリオを選択します。	今回の福島第一原子力発電所の事故が起こったことで、 原子力発電における安全神話は崩壊しました。 全ての原子力発電所を廃炉にして、核廃棄物の出ない 再生可能エネルギーや化石燃料エネルギーで 構成してください。
30732	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます 地域分散型のエネルギー供給を進めるように、現行の電力システムを改革してください。 重大な人災事故を引き起こしておきながら、まったく反省が見られないどころか事故を過小評価して自己保全しか考えない東電や、この事故から学ぼうとせず、人事のように旧態依然とした方針を遂行する楽しか考えない他電力会社、国民の目線に立たない政府、すべてに失望を覚えます。 現在の電力システムに依存しなければ生活していけないのあり方は我慢できません。 本当に原発がなければやっていけないのか、原発なしで社会が回る仕組みをきちんと模索し、国民に提示してください。
30733	個人	無職	70代	男性	(1)ゼロシナリオを選択する。 理由 安全な原子力発電システムおよび廃棄物処理がなされないからである。	シナリオ１ -- ゼロシナリオにすべきである。 理由: 1. 原子力発電所は人類と共存できない。 2. 核燃料廃棄物の処理については安全なものはありえない。 3. 福島原発事故は原発安全神話によるものである。
30734	個人	その他	40代	男性	ゼロシナリオ（可能な限り速やかに）を希望します。	最終処分の方法や処分場が未定でもあり、廃棄物の管理に非常な長期間を要し、また、この度の福一事故にも見られる様に、一度事故が起きた場合のその大規模な複合災害性を鑑みても、そして、原料の採取時の被害、発電所の立地、廃炉作業時被曝などには構造的な差別の問題を助長する側面があるという倫理的な見地からも、原発は我々の社会には手に余る技術であると言わざるを得ず、そもそも手を出すべきではなかったものであるように思われます。 エネルギー問題などへの対応も非常に重要な課題ではあると思いますが、原発はそもそも選択肢のうちではなかったという視点に立ち、(2030年までに、とは言わず、)一刻も早い脱原発を達成するべきで、正当性・規範性の見地から、「(再生可能エネルギーの促進などといったテーマとは)独立した問題としての脱原発」への政治主導の発揮を強く期待します。 エネルギー問題への対応としては、再生可能エネルギーの促進などもにも期待はありますが、電気依存を減らす方向での技術開発の奨励なども含めた省エネ社会の達成という方向性でも諸々の課題が解決できる余地も充分にある様に思います。 健康的で持続可能な社会の達成に向け、そういう方向へも国民の目を向けさせつつ、皆で頑張れると良いのではないかと思いますので、そういう方向付けの政治に期待しています。
30735	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	私達はゼロシナリオを支持します。原発は原子力による事故という危険を抱えた爆弾。原発事故はもう恐り恐りです。原発への資金を全て再生可能自然エネルギーへ注入し、速やかなエネルギー政策の転換を求めます。	原発による発電は、効率がよくリサイクル可能な日本に適した発電方法と言われますが、我が青森県にある中間貯蔵施設からの受け渡し先となる最終処分場の場所も決まっておりません。瓦礫すら受け入れ先に困っているのに、最終処分場なんて誰も受け入れるはずがありません。最終処分方法(場所)も決まっていない発電に日本の電力の15～20%も委ねるなんて考えられません。 また事故を起こせば福島のように放射能によって何十年も人が住めなくなります。原発が危険であることは明らかになりました。 原発に依存して裕福な生活を送るより、節電をしても危険の少ない社会に暮らしたいです。原発への予算を全て自然エネルギーに変更して欲しいです。 ※火力発電に燃料が枯渇する恐れがあるのなら、原子力発電もウラン等鉱物由来のエネルギーですから枯渇問題があると思います。 ※原発を廃炉にするのにお金も時間もかかるなら、子供や孫の世代にそれを残すより、今廃炉にすべきなのではないでしょうか？ ※原子力による軍需や経済界の要望が強いというのなら、目先のお金より数年後の安全だということに気付いてほしいです。
30736	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオを支持します。	ゼロシナリオを支持します。 国民の負担額は確かに大きいかもしれませんが金銭を払い、安全を買うことが出来るのであれば子供達の為に最も必要な買い物だと考えます。

30737	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	シナリオは電力量の量的検討が大部分で、サーチャージも含めて電力料金が産業界に与える影響についての具体的検討が少なすぎるように思う。 電気料金はコストでありその影響を予測、提示すべきである。	「3つのシナリオ」を見ると、電力量の量的検討が大部分で、サーチャージも含めて電力料金が産業界に与える影響についての具体的検討が少なすぎるように思う。「家庭用への影響」が述べられているが、これは我慢するとか、節約するといった観点から見るので何とか許容できるといったことになるのだが、産業用の負担増に関してその影響を分析しているとは思えない。 「有識者提起の論点」の中で述べられている。「これだけ電気料金が上昇すれば中小企業を含む製造業にとっては死活問題であり、海外移転が急速に加速する可能性が高い。GDPの低下を含めた国民経済への影響が非常に大きくなると危惧しているが、経済影響分析結果は、産業界の現場感覚とは相当大きなかい離がある。」 言うまでもなく電気料金はコストであり、部品や製品はコスト高になり、その製品は国際競争力を失い、大手は海外に製造居拠点を移し、国内の仕事が減り、製造会社は倒産し、労働者は職を失い、納税額が減少し、今までのような社会が維持できなくなる。これは中小企業だけの問題ではなく日本全体の問題である。「産業界の現場感覚にあわせた」細かい予測値を提示すべきである。サンプル製品を取って、コスト（売価）、世界シェア、海外流出企業数、就労人口の変化、税収の変化などなど、シュミレーションしてみるべきである。 資源のない日本がこれだけ繁栄してきたのはなんと言っても高付加価値製品を海外に輸出して稼いだお金が原資だということを忘れてはいけない。「内需」を増やせば良いという考えはGDPの落とし穴である。内需をいくら増やしても国内の貯蓄は減る一方で決して増えないのである。これまでの「貯蓄」を「内需」で何年で食いつぶすか、その先はどうなるのか、これらを国民に示して選択すべきである。石油も鉄鉱石も何も買わないで日本はやっていけるのであろうか。
30738	個人	その他	40代	男性	ゼロシナリオを支持します。	世界的には、自然エネルギー政策へのシフトが進んでおり、自然エネルギー先進国との差はどんどん広がり続けています。 日本でも、制御しきれない核から、自然エネルギーへの転換に向けて大きく舵をきる時が来ていると思います。 ゼロシナリオに向けて、がんばってください。
30739	個人	無職	60代	男性	原発ゼロパーセントを決断すべきです。脱原発依存とは原発に依存しない社会の実現であり、原発をゼロすることです。決断して初めて次へのステップが見えてきます。	福島第一原発事故を経験して、国民が原子力について分かったことは、ひとたび事故が起きれば人間には制御できないということでした。電力は日常生活に欠く事のできないエネルギーですが、原子力だけが唯一の発電方法ではありません。地震の巣の上にある日本で、地球より重い人の命を危険にさらしてまで経済が優先されることなどありえません。消費税増税の時は将来の世代に先送りできないと言いながら、原発の危険性を将来世代に引き継ぐことなど許されません。ここで原発をゼロにする決断こそ将来世代に対する今を生きる者の責任だと考えます。「放射能が直接の原因で死んだ人はいない」との言い逃れはあまりにも無責任で、原発事故からの避難が原因で亡くなった、多くの方々に対する冒とくです。事故が起きても自己保身だけで誰一人責任を取らず、人の命より金儲けが大切な人や、原子力村の利権に群がる人たちに原発を任せるわけにはいきません。国会の事故調が人災と断定したことを知りながら、政府は原発事故に対し東電・保安院とともに真っ先に責任を取るべき人、原子力村で原発の危険性を隠蔽し強力に原発を推進してきた人、その人を原子力規制委員会の委員長に指名しました。原発事故に対する反省もなく「原子力村とは無縁の人を選ぶ」との約束も反故にした暴挙としか言いようがありません。これでは政府への不信感が高まるばかりです。いまこそ原発をなくす決断をして再生可能エネルギーをはじめシェールガスやメタンハイドレードの開発を進め、原発の後始末を始めるべきです。ゼロシナリオではシェールガスやメタンハイドレードの国内開発が考慮されていないのは何故でしょうか。核燃料サイクルはすでに破綻しています。使用済み核燃料を今以上増やさず、全数直接処分しかありません。実現不可能な核燃料サイクルに無駄な予算を割くよりシェールガスやメタンハイドレードの国内開発に力を注ぐべきで、特にメタンハイドレートは環境対策にも貢献します。放射能こそ最悪の環境汚染物質です。今でも福島原発から放出されている最悪の環境汚染物質が、海を・山を・農地を・住宅地を・公園を汚染し続け、そこで暮らしていた人たちの心と体を蝕んでいます。これ以上日本の大地を汚染することは許されません。日本の英知を結集し、原子力に代わるエネルギー開発に全力で取り組む時だと考えます。 このパブリックコメントが単なるガス抜きで終わらないことを祈ります。
30740	個人	自営業	40代	男性	ゼロシナリオを支持します	15%シナリオは原発の増設が必要であり、非現実的である。 ゼロシナリオでも火力を使いすぎであり、火力をもっと削減し、省エネ・自然エネを増やす努力をすべきである。 また、現在の日本社会は電力あるいはエネルギーを使い過ぎであり、使用をを抑制する方向を社会として目指すべきである。 自然エネの増加は経済的なメリットも大きく、その点が過小評価されている。
30741	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	15シナリオを選択します。選択の理由は、現在存在する原発50基をどのように管理するかが最大の問題であり、安全を確保するにはある程度の既存原発の再稼動はやむをえないと考えるからです。	既存原発の安全性、使用済み核燃料の安全保管、原発事故発生時の対応などが担保された段階で既存原発を再稼動させると、2030年時点での原発比率は15%前後となると予想できます。 それを前提に不足する電源を、省エネ技術の向上、火力発電の効率向上、再生可能エネルギーの導入拡大を推進する政策を進めるべきです。
30742	個人	会社員・公務員	60代	男性	再生エネルギーの比率が3つの選択肢とも殆ど同じで、原発の比率は変わってもコスト差の出ない構造となっていると思われる。国家の命運を左右し、国益にとって極めて重要なテーマなのにミスリードの懸念がある。	1. 政府が今回示した選択肢について、 　政府が今回示した選択肢は、再生可能エネルギーの導入ありきで無理矢理作った感があり、不思議なことに導入が極めて難しい筈の再生エネルギーの比率が3つの選択肢とも殆ど同じとなっており、原発の比率は変わってもコストに差の出ない構造となっているのではないか？ 　再生可能エネルギーの現実的な導入シナリオに基づき、設置費用や運転費用の負担方法を明確にした上で、国民に対して、原発を稼働するリスクと、原発を停止するリスクを判り易く説明し、今後のエネルギー対策について真面に国民的議論ができるベースを作り、広く周知して欲しい。 　特に今回のテーマは、国家の命運を左右し、国益にとって極めて重要なテーマであり、マスコミ報道だけしか情報源のない国民は、再生可能エネルギーを簡単に導入できるものと錯覚しミスリードが懸念される。 2. 国民的議論の仕方について、 　マスコミの魔女狩り的な論調をベースにした、ヒステリックな対応では議論として噛み合わず、今回の様な意見聴取会なら両者の溝が深まり感情的になるだけで、実施する意味がないばかりか、百害あって一利なし。 　エネルギー問題は、日本の将来にとって極めて重要なテーマであるが、非常に複雑な要素が絡み合っており、簡単に答えが出るものではない。従って、感情論ではなく理性的な議論ができる様に、必要な情報を提供しそれを充分に理解した上で議論できるような配慮を望む。 3. 電力会社の社員の扱いについて、 　電力会社の社員とはいえ、個人的な意見まで封じるべきではない。会社の考えと個人の考えは違い、電力会社の中にも原発反対の意見はあるだろうし、団体や組織の意見を禁じるのであれば、反原発団体の個人的意見も排除すべきで、多様な意見を封殺するべきはない。
30743	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電をいますぐゼロにする。真剣・全力で自然エネルギー開発・活用を行い、日本が世界のリーダーになる。	原子力燃料には限りがあし、すべて海外依存である。また、放射能汚染の危険がゼロにならない限り、世界中の人の人権意識が高まりのなか、いずれ原子力発電は放棄しなければならない。 日本は、自然エネルギー活用の分野でグローバル競争を行い、世界のリーダーとして資源小国を脱却するべき。 原子力発電を続ければ、処理い困る使用済み核燃料をさらに抱え込むことになり、将来の負担を増やす。
30744	個人	自営業	30代	男性	原発ゼロシナリオを選択します。 政府や電力会社による原発再稼動に関しての説明には、未だに矛盾点や説明不足の点が多く、現状では、原発存続を意味する他の二選択肢を、選ぶことは不可能です。	原発ゼロシナリオを選択します。加えて、できる限り「即時」ゼロをめざすべきだと考えます。 政府や電力会社による原発再稼動に関しての説明には、未だに矛盾点や説明不足の点が多く、また福島第一原発事故の完全な収束も済んでいない現状では、原発を今後も使用するという他の二選択肢は、論理的にも(感情的にも)選ぶのは不可能です。 また、原発を廃炉する場合に計上される経済的損失は、原発を今後使用する限り必ず有り得ると覚悟しなければならない事故のリスクや未だに実用化の道も開けていない使用済み燃料の問題等を未来の人々に残す、それこそ数字として計上できないほどの、経済ばかりにおさまらない人類史的損失と比較したら、受忍もやむなしと考えます。 原発に代わる新たな方策としての再生可能エネルギーへの転換は、それこそ時間的、経済的な困難はあるかもしれませんが、一方で強調したい点は、現在の私たち、そして未来の人々に残すものが(原発の「不安」に対して)「希望」であるという点です。
30745	個人	その他	40代	女性	原発ゼロシナリオを希望します。	原発事故があり、原発というものがなければ、福島の方々の今の苦しみはまだ軽減されたものだったのではないかと思います。原発の事故は、もう絶対に起こらないとは、言い切れないでしょう。 まず、もっと省エネルギーの取り組みを進めてほしいです。そして、もっと自然エネルギーを推進してください。 病気になれば、医師に頼り治療してもらいます。それと同じように、内閣府には頼れる機関になってもらいたいです。この国の原発という危険なものによって苦しんでいる方々を救っていただきたいと思います。
30746	個人	家事専業	40代	女性	ゼロシナリオを支持します	事故の恐ろしさ、事故後の住民の苦しさ、原子力発電にかかわる「偉い人」が無知な一般国民をケムにまいて印象操作をしたがっていること。身に染みて感じている今しかゼロにする決断はできないと思います。すこしでも原子力発電を利用し始めれば2030年を待たずに稼働率を上げるための見直しが、私のようなものでは知らないうちにされてしまいそうで恐怖を感じます。 いろいろな我慢も今ならできるでしょう。いろいろな工夫も今なら深く広くできるでしょう。そんな気がします。日本経済は事故の前から下り坂。毅然とした下り方もありかも。そして、もしかしたら、下る工夫をしているうちに新しい発展があるかもしれません。
30747	個人	学生	20代	男性	(1)ゼロシナリオを選択。日本の技術力を活かせば再生可能エネルギーによる発電効率を上げ、原発なしで十分な電力を得ることができる。政府の仕事は新エネルギー分野へ予算を配分し、その成長を支えることにある。	原子力発電を日本のような地震国で安全に運用しようというのは、いかなる措置を講じようとも3.11の犠牲を無駄にするようなものです。 日本の技術力を持ってすれば再生可能エネルギーによる発電効率を上げ、原発なしで十分な電力を得ることができるでしょう。またメタン・ハイドレートなどの新エネルギー源も見つかっています。政府の仕事はこれらのエネルギー分野へ予算を配分し、その成長を支えることにあると思います。 その成長はサステナブルな世界を目指す潮流とも一致し、日本の産業技術を世界にふたたび売り込むきっかけともなりえます。
30748	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発0シナリオを推進します。	原発の再稼動はしないで下さい。 未来の子供達の健康の為に原発をゼロにして下さい。 そして自然エネルギーの開発、発展に力を注いでください。 お願いします。
30749	個人	会社員・公務員	40代	男性	セロシナリオしかありません。 できるだけ早く原発を全てなくしてください。	危険な原発の不安を抱きながらの生活はいらないです。 漏れた放射能は対処しようがないが、足りない電力は 原子力ではなくても補える。 無駄を省いてスローな生活を送ればいい。
30750	個人	自営業	50代	男性	「20～25シナリオ」を支持する。	化石燃料のほとんどを海外に依存する我国にとって、エネルギーの安全保障は国の成り立ちに関わる最優先事項である。一方で、現状の再生可能エネルギーは安定性、コストの点で未だ日本の経済を支えるには実力不足である。 上記の観点から、原子力エネルギーを2030年にゼロとしていくことは、国際社会の経済競争と安全保障の両面において自殺的政策であり、国民の安全と繁栄を図る責任ある政策ではないと言わざるを得ない。 8月7日付日経の「経済教室」で五百旗頭真氏も言及しているように、1941年の太平洋戦争、1973年の石油危機がいずれもエネルギー危機を発端としていることを忘れてはならない。現在は中華人民共和国の軍事拡大と海洋進出が著しく、日本のシーレーンの安全が万全ではなくなっていることを考えあわせれば、原子力発電を放棄するという選択はありえない。 原子力に関しては廃止ではなく、むしろ海外に技術輸出ができる高度な安全性のシステム開発が必要である。その技術開発を急ぎ、活断層等のリスクの低い立地条件のところに最新鋭の原子力発電プラントを新設していくのが正しい。原子力の新技術開発を積極的に取り入れる流れができないと優秀な人材は集まらないので、この点は重要である。 立地自治体への有形無形の保障を十分に図っていくこと、国策としてのエネルギー安全保障の必要性の説明を懇切丁寧にしていくこと、住民の納得が得られる安全性の説明ができること、これらが必須であることは言うまでもない。 15シナリオを支持しないのは、これが中途半端であり、化石燃料依存度が20～25シナリオよりも高いことと原子力発電の新設・更新を言及していないからである。大きなエネルギー戦略として、日本は化石燃料依存度を下げることと、政策的に省エネルギー技術、原子力安全技術、再生可能エネルギー技術の開発を推進することが不可欠と考える。15シナリオにはこのような方向性が見られない。 今回の意見募集があらかじめ用意された3シナリオの選択という極めて制約の強いものであることに不満を感じる。我が国の将来にかかわる非常に重要な案件であるのだから、今回の意見募集を皮切りに今後とも広く深く国民の意見を集め、国民に分かる形で政策に反映していくことを強く期待する。
30751	個人	会社員・公務員	40代	女性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張します。 安全性の不確かな原発より、クリーンエネルギーの開発に力を入れるべきです。	●福島原発の問題が未解決のため、安全性に疑問を感じます。 その中での再稼働は許されません。 ●日本の全ての原発を40年かけて廃炉へしたとしても、 また自然災害はいつ起こるか分からないからです。同じ事故が起きたらどう責任をとるのでしょうか？ ●本当の国益は、国民が住む土地・水・環境を守ってこそ利益がでます。 人間が住めない土地をこれ以上増やしてはいけないからです。 ●クリーンエネルギーの開発に力を入れると共に、廃炉技術の向上を望みます。
30752	個人	家事専業	30代	女性	流暢なことを言っていないで、今後の原発再稼働は全て見合わせ、すぐに原発ゼロを実現すべき。 原発ゼロはすぐに可能なのであり、2030年なり2020年なり目標を決めて代替エネルギーを調整して行けば良い。	原子力発電について、無知のまま育ったが、地震と津波による原発事故で実際は人間のエゴエネルギーであることを知った。すでに産出してしまった使用済み核燃料の維持管理だけでも莫大な費用がかかり、自然環境に多大な悪影響を及ぼすとわかっていながら、クリーンエネルギーと称して都市部での過剰消費のために日々発電を行ってきた。無駄な部分を徹底排除すれば節電効果が生まれるはずだと思う。 さらに原子力発電施設について、日本の地震に耐えうる耐震設計がなされていればしかるべきだがそれもされておらず、耐用年数を越えてもまだ使われているものも多々あるという。 福島原発事故で明るみになった原発を稼働することの危険性を認識すれば、これ以上の原子力発電の利用を辞めるべきであることは明白であると思う。 原子力発電を使えない状況をまず作り、代替クリーンエネルギーの開発や設備投資が必要な状況に追い込むことで国をあげての技術開発を推進できるのではと思う。 2030年と言わずこの先5年、10年と短いスタンスで目標値を定めて実行していくことが必要だと考える。
30753	個人	無職	60代	男性	シナリオが3通りでは足りないです。2030年などという目標は国民の意見を反映していません。もう一つ、10年後に全部廃炉にすることを選択肢として入れるべきです。	まず、この度のパブコメについては周知が極めて不足しています。これでは組織がある推進派から集まりやすく、組織のない脱原発派からの意見は集まりにくくなります。推進派は組織があるので、パブコメがあることを周知徹底出来るでしょう。脱原発派はバラバラなので周知させるのが極めて難しい。政府は明らかにPR不足です。討論型世論調査も偏りがあると思いますが、それでも無作為に選んだ3千人でしたでしょうか、67%がゼロシナリオというのは頷ける話しです。 この三つの中から、どうしても選べと言われたらゼロシナリオです。しかも、2030年時点では遅く、10年後に廃炉することを希望します。何故なら、関電も含め、強力な節電対策で十分対応出来ると思います。リサイクル研究に費やされる予算を代替エネルギーの開発に振り向ければいいじゃないですか。 そもそも、このシナリオ自体がまやかしで、落とし所を15%にしているのが見え見えです。エネルギー選択のための4つの視点について、 (1)コスト面だけでも、自治体への補助を指摘され漸くコストに算入しましたが十分でなく、揚水発電コストなども加えなくてはなりませんから、原発の発電コスト9円は間違いで12円程度が妥当でしょう。このベースが違うと少なくともコスト比較では原発は負けです。 (2)地球温暖化対策も環境保全という意味では原発の大事故が起きた時の環境に与える影響は甚大で温暖化を引き起こす化石燃料の比ではありません。政府首脳も300km圏の避難が頭を掠めたと言っておられたでしょう。もう、忘れたのでしょうか。一度起きたことは二度起きます。二度目は日本沈没となってしまいます。視点がずれている。 膨大な放射性廃棄物がある危険性も良く忘れないでいただきたい。放射性廃棄物は福一が落ち着いたら避難区域に直接処分してください。福島の皆様には申し訳ないが、どうしようもない廃棄物を作り出してしまったのだから、これしか合理的な方法がありません。 また、エネルギーのベストミックスが必要などとテレビなどの御用メディアを通じて専門家（と称する）に喧伝させていますが、国民の目は節穴ではありません。皆、見抜いているから世論調査であのような結果となるのです。こうした傾向は何れは選挙でも反映されることでしょう。 国民は有識者会議だとか専門家会議といったものを全く信用していません。原発を推進してきたのもこうした会議で、国民は何度も裏切られているのです。事故原因の調査でもまともなのは国会事故調だけです。役人や御用学者に任せても自分達の仕事がなくなるから、温存させようとするに決まっているじゃないですか。この人達には代替エネルギー・廃炉・放射性廃棄物処理等の技術開発に専念していただきたい。リサイクルなど絵空事で25年以上経っているのに、何も出来ていないじゃないですか。これに使われる予算は原発の発電コストに入っていないでしょう。この人達のために、国民の血税及び支払った公共料金が無駄に使われ、美しい日本の国土に住めなくなることをもう国民は絶対に許しません。
30754	個人	無職	70代	男性	後世に禍根を残さないためにできる限り早く原発を廃止して代替エネルギー確保に政財界一丸となって取り組むべきである。	原発は地球温暖化ガスを発生しない素晴らしいエネルギー源だと言われているが、それは原発稼働時における過程だけでのことであって、ウラン鉱採取から始まって使用済み核燃料の再処理過程などでは多大の温暖化ガス発生エネルギーを費やしていることは明白であり、決して環境に優しい発電法とは必ずしも言えない。また、電力を生み出すコストが安いと言っても、政府からの補助金など総合的にコスト計算すれば決して安価とも言えないであろう。それに最も注視すべき大問題は未だに原発稼働でどんどん貯まっている原発の使用済み核燃料である。これには六ヶ所村の再処理工場で再処理してMOX燃料として既存の原発で使ったり、もんじゅのような高速増殖炉で再利用すれば何の問題もなく理想的な核燃料サイクルを組めるというような安易な考え方もあるが、再処理過程そのものがまだ未達であり、またナトリウムという危険な冷却剤を使う高速増殖炉も試験運転の目処さえ立っていない現状を鑑みれば、とても夢のような核燃料サイクルの実現は不可能であり、ここ数年で使用済み核燃料の貯蔵場所が無くなってしまうことは既知の事実でもある。したがって数年後には再処理不可能な使用済み核燃料が六ヶ所村や日本国内の原発敷地に貯蔵することができなくなり、それをどうしたらよいのか未だに明瞭な筋道が示されていない。地下に埋めればいいというような安易な考え方もあるが、10万年後も安全に保管できる場所を見つけることは不可能であることは自明であり、そうならないためには今すぐにでも全原発を停止し廃炉にすることが人類存続のための今すぐ実施すべきものであると考える。
30755	個人	無職	60代	男性	原発即時停止　原発関連事業一切を即時中止	原発は、その立地、建設、運転などすべての局面で民主主義を否定封殺する反国民的存在である。 政（金、票）、官（天下り）、業（談合発注）、報（広告）、学（研究費）、暴（地上げ、住民の脅迫）の悪の枢軸が国民にたかり、弾圧し意見を封殺しねじ曲げる悪の権化である。それがわかっていながら、表向きはいかにも全うなことをやっているかのように見せかける腐臭に満ちた「原発システム」だ。
30756	個人	会社員・公務員	40代	男性	提示されたシナリオはどれも、これからの経済成長を考えた場合、マイナス面しか見えてこないものである。エネルギーの安価安定供給のための方策を検討し持続的経済成長が実現できる社会としていただきた	再生可能エネルギー比率の想定が高く、今後革新的に技術レベルを上げなければ到底実現できるものではない。むやみに高いコストで、効率の悪い再生可能エネルギーを使用すれば、国民生活全てに悪影響を及ぼす。現実的な再生可能エネルギー比率の設定、原発の安全の確保、廃棄物の処理方法等長期的運用方法を国民に示し発電量を決定)、これらを考慮し持続的経済成長を達成できるCO2排出削減量を設定し、将来を見据えた日本のエネルギー政策を検討していただきたい。

30757	法人・団体等	その他	40代	女性	選択肢は、0%にするべきです。震災のあと、福島は大変な状況となっています。原発事故後、福島の方々は不安な状況のままの生活を余儀なくされています。 原発再稼働や、新たな原発建設など納得できません	いつ災害が起こるかわからない状況の中で、再稼働はあり得ません。絶対に震災が起きないという保障はないのですから。エネルギー・地球環境・温暖化含め私たちが安心して住み続けられる国づくりをお願いします。
30758	個人	家事専業	40代	女性	二度の母親として未来に核のごみ残してはいけないと思いました。そのためにも原発依存ゼロシナリオを指示します！	311後、わたしたち家族は父親を残して兵庫県へ避難、バラバラの生活になりました。 低線量の内部被爆が子供たちにどんな影響を与えるかは、まだ未知数ですが、データがないからと言う理由で、子供たちに不幸な未来を背負わせる訳にはいかないと思ったからです。 現在は東京に帰りましたが、食べ物の不安は常について回ります。汚染された大地で暮らし続けていくことは、家庭の母親一人一人にたいへんな負荷を　　強いていると思います。 原発に依存しなくても再生エネルギーと家庭や企業の節電の努力、WWF などが提唱するアイデアに政府は耳を傾けるべきです。
30759	個人	自営業	40代	女性	原発0	不経済で危険すぎるから ・核廃棄物の処理が不可能 ・安全面が保証できない ・子孫たちが核廃棄物の保管と処理をしいく費用や 事故が起こった時の費用を算出したら採算がとれないでし ・影響が遺伝子に及ぶ核の利用は、リスクが大きすぎる
30760	個人	その他	50代	男性	20～25%ですら不可。、2030年時点で原発は30%程度は必要。	(1)わが国の地理的条件（陸続きの諸国と異なり、わが国の電力需給は自己完結型で、外国からの調達が不可能）、(2)温暖化ガス削減、(3)エネルギー安全保障（自前の安価、安定的な電力源を持つべき）、(3)原発技術の進歩により従来以上に安全確保が見込める、(4)周辺諸国の（野放図な）原発増大をけん制する意味でも、わが国は最先端の原発技術を保有すべき（最先端の技術を持つには最先端の原発が不可欠）
30761	個人	無職	70代	男性	核物質の処理が不十分なままで見切り発車をしてきた原発を廃止して、再生可能エネルギーを導入して、子々孫々にまで安心して心豊かに暮らせる日本を再構築することが、世界に向けての我が国の責務である。	我が国のかつての戦中戦後の悲惨さを子ども心に覚えている。世界の歴史の中で我が国は広島と長崎に原子爆弾が投下され、数十万人の命が奪われ、幾多の方々が放射線の後遺症に苦しめられ続けてきた。そして今、核の平和利用の名のもとに電力エネルギー源として頼ろうとしていた原子力発電所が "レベル7" という事故を引き起こしてしまった。その結果、地球環境に膨大な放射性物質を撒き散らし、福島の原発周辺では住処を失い、生活の糧を失う多数の犠牲者を出す結果を招いた。 　技術立国を標榜してきた我が国であるが、原発の安全に対する対応の不十分さと原子力利用技術の未熟さを露呈した。安全神話を作り上げてきた原子力村の体質は、当然打破されなければならない。日本列島が地震と津波の巣窟であることは肝に銘じて、諸外国とは異なる格段の安全対策が必要であったにも関わらず、「想定外」という言葉で責任を逃れようとしていた当事者は糾弾されなければならない。 　核物質の処理の行方も定まらず、事故を起こした原子炉の廃炉に莫大な国費と年月を必要とする負の課題を抱えて、国力の衰退を憂う者である。経済優先で突き進んできた原発依存の国の方針を見直して、子々孫々にまで安心で、心豊かに暮らせる日本を再構築することが、世界に向けての我が国の責務である。 　私はかって太陽光発電の出力制御の研究に関わり、パワーエレクトロニクスの分野の技術力が世界に誇れるものであることを自負しているが、太陽光、風力、地熱発電など再生可能エネルギーの利用促進の国策が消極的であったことを残念に思ってきた。ドイツを初め諸外国はその普及に率先して力を入れているので、再生可能エネルギーが20~30パーセントを占めるまでにその成果を上げはじめている。 　東日本大震災と福島原発事故に伴う電力不足により、計画停電を体験させられ、市民生活の困惑や産業の停滞を余儀なくされたが、市民も産業界もそれなりの対策をして、電力不足の課題を乗り越えようと懸命の努力をしている。 　今年の夏も、国民の節電・省エネ意識も高まって、電力の需給には政府が予想した以上に余裕さえ生じている。結果的には大飯射原発を再稼働しなくても、電力を賄うことができると思われる。しかしながら、老朽化した発電設備などを一時的に総動員しているのが現状であり、化石燃料費の負担増やCO2排出量の増加などの問題点がある。そこで、効率の良いガスタービン発電設備を早急に増設して、同時に安価なシェールガスの輸入を急いで、当面の電力源を確保すべきである。 　また、LED照明をはじめとする省エネルギーと節電対策を促進する。開発途上国などへの技術移転と省エネルギー機器の輸出、高効率プラントの輸出などにより、全世界規模でのCO2削減効果を図り、我が国の産業経済の振興を図ることが大切である。 　同時に、太陽光、風力、地熱、小水力、バイオマス発電など再生可能エネルギーの普及に政府がテコ入れすべきである。変動する自然エネルギー利用発電の導入を妨げている縦形地域独占の電力事業体制を改めて、発電と送電を分離をして、電力の自由化を促進し、電気料金の低廉化を図ることが必要である。さらに、東西の異なる周波数問題を解決するために日本列島の背骨となる大容量の直流送電設備を敷設することが急務である。また、島国日本国内のみならず、大陸の諸国との電力連携も視野に入れておく必要があろう。交通・通信網の公共性が重視されているのに対し、電力網も広く利用者が必要に応じて利用できる公共性を兼ね備えたものとすべきである。 　日本の電力はその法的規制により高品質である。停電のない電力は確保されねばならないが、周波数と電圧変動変動の許容値をもう少し広げて、変動する自然エネルギーの導入を容易にする方向で検討する必要があると考える。 　電力の安定供給を供給側にのみその義務を負わせるのでなく、需要者も電力網の安定化に配慮した需要行動をとるスマートグリッド化を実現していくことが、将来的な方向であると考えている。そのことによって、脱原発、再生可能エネルギー利用が一層促進されると思われる。
30762	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発事故を受けてゼロシステム導入に賛成します。	このように意見を述べるのは初めてです。ゼロシステムがあるということを知り、意見させていただきます。 私はゼロシステムに賛成です。原子力に頼ったエネルギーシステムを続けることは、また昨年度のような事故を引き起こす可能性があり、とても恐ろしいからです。
30763	個人	無職	60代	男性	現在の科学・技術のレベルでは、リスクが大きい原発は速やかに廃止すべきである。省エネ・節電を徹底し総発電量を更に削減することにより、再生可能エネルギー35%、化石燃料65%、原発ゼロを実現する。	原発ゼロシナリオを支持する。ただし、省エネ・節電を20%まで増やすことによって電気消費量を0.9兆kWh、再生可能エネルギー35%、化石燃料65%とする。 原発をゼロにする理由: 1．地震と津波のメカニズムが科学的に解明し尽くされていない。一旦事故が起こった時の被害が甚大で、リスクが大きすぎる。 東日本大震災は従来の地震学では予測できず、海溝型地震およびその連動のメカニズムについて未解明な部分が多いことが明らかとなった。内陸型地震についても活断層の再評価が必要となっている。殊に日本列島が火山活動の活動期に入っているとの指摘のある現在、原子力発電所の再稼働には慎重の上にも慎重でなければならない。 2．放射性廃棄物の最終的な処分方法が確立していない。 　原子力発電所を稼働させる限り大量の放射性廃棄物が発生する。廃棄物の中には半減期が数万年に及ぶものもあり、これらを安全に処分するのは容易ではない。処分方法が確立するまでの間、廃棄物は貯まる一方であり、中間貯蔵場所の確保と安全性も問題が大きい。廃棄物の増加は最小限にとどめるべきである。 省エネ・節電20%は実現可能である: 1．わが国の建築物の省エネルギー基準は欧米に比べ遅れている。建築物の断熱化の徹底、熱電併給システムの普及、地中熱利用など、新築基準の法制化と改築への行政的な補助を行う。 2．電気器具などの省エネ設計トップランナー方式の適用、省エネ製品購入の促進を図る。 再生可能エネルギーを最大限開発する: 1．再生可能エネルギーの潜在量はきわめて大きい。しかし、目標を定め、万難を排して実現する努力しなければ不可能である。あれこれ理由を付けて原発を残せるとすれば、結局再生可能エネルギー開発に手抜きが生じる。 2．再生可能エネルギーを開発する上で、発電と小売りの自由化とともに、送電網を国有化してスーパーグリッドにより安定的な供給を確保し、託送料金を安くすることが必要である。 化石燃料については温暖化防止の観点から、石油・石炭から天然ガスへの切替、火力発電の効率化、熱電併給システムの確立が求められる。 なお、経済界から成長戦略との整合性を問題にされているが、この際、経済成長パラダイムも見直しが必要であろう。
30764	個人	無職	50代	女性	0シナリオを選択します。 原子力発電所の安全性が東日本大震災で完全にくずれてしまったのであるから、ただちにすべての原子力発電所を廃炉にし、再生エネルギーなどの研究開発を進めて行くべきであると思う	東京電力や、政府は東日本大震災以前よりその安全性について疑問があったにも関わらず、安全神話というような形で国民をだましてきたように感じます。 大地震と大津波が起こってしまい、たくさんの放射能が日本全国だけでなく世界各国に飛び、流れていきました。 東京電力は自分たちも被害者だと言う感じでした。 だれも責任を負う事も無く、時間だけが過ぎていき放射能はどんどん広がって行ってます。 内部被ばくは大変心配です。特に子どもたちには重大です。 だれも手に負えないようなものを作り出す、原子力発電所はもういりません。 廃炉しても死の灰は消えてなくならないのです。 こんなに危険な原子力発電所を動かさなれば日本の経済はダメになってしまうのでしょうか？ 原子力発電は儲かると聞いています。 日本の将来を担う子どもたちよりも、大事な経済とは何でしょうか？ 国民を守るためにもすべての原子力発電所を廃炉にし、再生エネルギの開発をすすめて下さい。 心から祈るばかりです。
30765	個人	会社員・公務員	50代	男性	可能な限り早期に原発をゼロとすることを先ず決定すべきである	現在提示されている3案は2030年の電力構成を選択するものであるが、本来、原発をゼロにするという前提があって、その過程の2030年の原発比率を議論するべき。 核の制御は、放射性廃棄物の処理、放射能汚染の除去等、理論的にも完成しておらず、国や公的機関、電力会社等の運用面でも必要なレベルをクリアすることができないことが、今回の福島の事例で明らかになった以上、原発ゼロが前提とされるべきである。
30766	個人	パート・アルバイト	40代	女性	「エネルギー・環境に関する選択肢」に対する意見 ゼロシナリオを選択します	政府が提示している3つの選択肢のうち、「ゼロシナリオ」を望みます。 政府は早々に「原発ゼロ」を宣言、実行してください。 日本のトップが日本国民の意志として、原発のないエネルギー開発をすると決定すべきです。 国民の意志を政府が決定したならば、企業は必ず自然エネルギーの開発を加速させるはずです。それが出来るのが我々日本企業の強みです！ どこの国にも真似できない強い技術力を発揮し、ひいては企業の、国の、利益につながると考えます。 政府は、まず、固い意志を持って、目先のことばかりではなく今後100年.200年先を見る「親の立場」で原発ゼロを宣言してください。
30767	個人	会社員・公務員	30代	女性	(1)ゼロシナリオ　を選択します。	原発は地球を滅亡させる危険性があり、特にこの地震大国日本には最も相応しくない。再生可能エネルギー、特に集光型太陽光発電を今後積極的に増やす事により能率の良い供給が可能になる。個人宅にはソーラーパネルを設置、そして建物にしっかりとした断熱材を施す事により無駄な電気使用を抑えることができる。公共施設の過剰な電気使用は一切辞める規制を作ること、家庭の電化製品の見直しを徹底する事でゼロシナリオは実現可能。
30768	個人	家事専業	60代	女性	原子力発電はなくすべきである。	原子力発電が、存続することによって、事故が起こった時の安全性について何も考えられていない様に思います。 もし何かの対策が考えられているのなら、私達にもっとわかりやすく知らせてほしい。原子力に代わるエネルギーの開発についても、政府の考えを具体的に解る言葉で伝えるべきです。私たちの孫や子孫が原子力の危険にさらされることなく生活できる国を作るべきなのが、政府のすべき事だと思います。余りにも政府からの言葉が伝わってこない。原子力発電の中止を望みます。
30769	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発の「ゼロシナリオ」を求めます。	「3．11福島原発事故」で明らかなように、原発の危険性から私たちの生活や命を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。原発を稼働し続けることは、将来にわたって危険な放射能を残すことになります。使用済み核燃料の処分技術や処分場所も不確定な中で、原発を稼働させることはできません。たかだか5000年前のエジプト文明さえ解明できないのに、10万年後の人類に責任が持てるのでしょうか。自然エネルギーへの政策転換を図るべきです。原発立地市町村には新しい地域経済復興の施策を実現することを求めます。
30770	個人	無職	70代	女性	原発比率　0%　政府の原発再稼働に信じられない怒りを感じています。福島の経験は何だったのか。故郷に帰れない人々を作ったのは自民党政府ではないか。 原子力にかかわる人間を信用できない。	経済よりも何よりも人の命が優先する。再び事故が起きたら日本は滅びる。まずこの地震大国に、アメリカの言うなりに原発を導入し原子力村を作ったのは、自民党である。まず責任の所在を明らかにせよ。 　故郷を失った人の悲しみを考えてみるがいい。今度事故が起これば、私が故郷を追われるかもしれないし、地球全体を汚染することになる。一番コストがかからないと言って54基も地震の巣である日本に作ったのはだれか。狂気の沙汰だ。私は3年前地方紙に脱原発を唱え、代替エネルギーを開発して世界を救うのが日本の役割だと書いた。事故が起これば取り返しがつかないと書いた。恐れたことがその2年後に起こった。 　原子力は人の手に負えない魔物である。事故が起これば最悪のシナリオ、核廃棄物は、人類は処理できない。地球はこのために滅びるだろう。他の生物も巻き込んで･･･　政府は人の命が大切と言いながら、日本を破滅に追いやる政策を取っている。 　「足るを知る」べきだ。都会は貧しい県を犠牲にして好き放題にエネルギーを使ってきた。こんな愚かなことはもうやめるべきだ。深夜放送を止め、コンビニは12時まで、自販機の台数規制など手を打てば脱原発は可能だ。100年先に禍根を残してはならない。 　これから脱原発に進むにしても廃炉にするための費用がかかるのか、これで一番安価なエネルギーと言って国民をだましてきた歴代の政府・原子力村の責任はあいまいになぜ出来ない。野田首相の再稼働は狂気の沙汰としか言えない。私は地方に住んでヘルパー支援を受けている70歳の貧困層だが、できることなら、金曜日の官邸前のデモに参加したい。100年先の子供を守りたいから。
30771	個人	会社員・公務員	30代	男性	「ゼロシナリオ」ではなく即ゼロ稼動を強く希望します。福島第一原発の事故処理と、汚染された各地域（福島以外を含む）への賠償問題が終わらないうちに再稼働はあり得ません。	概要の通りです。
30772	個人	無職	60代	男性	原子力発電はゼロにすべきである。	理由 1．現時点では、原子力、核エネルギーを制御できない。 2．放射性廃棄物の採取処分法が確立していない 3．生産、消費を現在の30%程度圧縮した人間社会に変えることを模索する。 以上
30773	個人	会社員・公務員	40代	女性	ゼロシナリオを支持します。そして、大飯原発も含めたすべての原発再稼働に反対します。	2011年3月の福島第一原発の事故が起こった以上、もう日本では原発の稼働はありえないと考えます。地震国であり海に囲まれた国土で原発の事故が絶対に起こらない安全な場所などありません。再稼働された大飯原発がどう安全なのかさえよくわかりません。 今年の猛暑、それでも東京電力では電気は足りました。東電は子会社からLGNを米国への8倍以上の値段で買っていたことが報道されました。民間企業ではありえない仕入れですよね。これを普通の値段に戻すだけでももっと安い電気がつくれるはずですし、関西でも電力不足はなくなるのではないでしょうか。 まずは、電力の独占を正し、発送電分離をすすめてください。 関西電力関内で電力が足りないと周知されていましたが、再稼働の大きな要因は電力不足ではなく、関西電力の経営上の問題、つまり再稼働しないとつぶれるからだと聞きました。 北海道には風力発電に適した場所が多くあるのに、再生可能エネルギーを送電線に送る総量が含まっているから企業がなかなか参入できないということも北海道電力を守るためでしょうか。 電力会社を守るために国民の安全や健康を犠牲にしないでください。 こうやって甘やかされた大企業からは、故郷や生活や食べものを奪い、今も国民を苦しめていることを反省していないと思える言動ばかり聞こえてきます。東電の「原発事故発生時の社内ビデオ」の公開の仕方も納得がいきません。 放射性廃棄物の問題も解決できていません。現状の核のゴミでさえ行き場がないのに、再稼働させてこれ以上放射性廃棄物を増やすことに全く賛成できません。 私たちはこの事故で、大きな犠牲の上に多くのことを学びました。真実はただ待っていては知ることはできないのだとわかりました。情報公開に不誠実すぎます。 これほどまであからさまに未成熟な社会を見せつけられた今、制御がむずかしい原発を動かす資格が日本にあると思えません。 全国の子ども達にこれ以上被曝の上乗せをさせたくありません。早急に食材の放射性物質規制値をもっと下げ、給食の安全性を確保し（放射性物質0ベクレルです）、被災地瓦礫の無用な拡散をやめてください。放射性物質は福島第一原発周辺に閉じ込め、福島第一原発を廃炉にでき、国民が安心できた時点で始めて原発再稼働を検討する資格をもてるのではないでしょうか。 放射線から人々を守り、自然エネルギーに舵をきってください。 もうこんな思いはいやなのです。 原発ゼロシナリオを指示します。
30774	個人	会社員・公務員	50代	男性	これ以上の放射能被害を拡大させないように、自然エネルギーへの転換と大量のエネルギーを消費する社会と生活スタイルを見直す取り組み施策を進め行い、原子力エネルギーに頼らない社会を希望します	各地の原子力発電所の敷地内に新たな活断層が指摘され、地震の想定被害の見直しがされています。人類が放射能を無力化する科学技術がない以上、どんなに安全対策を行っても、完全に安全を保証することは不可能です。 また、使用済み核燃料のリサイクルどころか、再処理さえできない現状での原子力発電所の再稼働は行き場のない放射性廃棄物を作り続けることであり、子孫に多大な負担を残すことです。さらに、危険なプルトニウムを含んだ高濃度放射性廃棄物の地中処理が検討されています、数万年先の地球にまで危険を及ぼす行為であり全く愚かな施策としか言えません。 提言ではOプランでは地球温暖化対策の目標達成は不可能としていますが、水資源が豊富で地熱や気候にも恵まれた日本の自然エネルギーを最大限利用する事で不可能ではないと考えます。環境省のデータでも自然エネルギー量は原子力エネルギーの　倍と報告されています。地域の特性に合わせた様々な自然エネルギーを利用し発電した電気の売電制度を活用することにより、山村地域にも新たな産業・雇用が期待でき、地域の活性化に繋がります。 家や住み慣れた土地を奪われた福島の人たちの思いを重く受け止め、これ以上の放射能被害を拡大させないため、自然エネルギーへの転換を最大限進めるための施策と取り組み、また大量のエネルギーを消費する社会の仕組みと生活スタイルを改めたための企業と国民全体の取り組みとそれを推進するための制度の新設により、環境先進国として将来を見据えた政策を希望します。

30775	個人	自営業	60代	女性	原子力発電は即刻全廃すべきです。	原子力発電は即刻全廃すべきです。稼働すれば核廃棄物と被爆労働が増え続けるからです。廃炉にも時間がかかりますが、核廃棄物発生量は最小です。 今後の原子力関連予算を再生可能な自然エネルギー由来の発電方法の開発に注ぐなら、たちまち54基の原発にとってかわるエネルギー源が実現するはずです。 さらに、福島事故の原因究明もおぼつかないまま無理に再稼働するなどは、北朝鮮以上の核疑惑を誘発するでしょう。
30776	個人	会社員・公務員	50代	男性	脱原子力発電（ゼロシナリオ）を支持します。国民は原発事故に悲しみ、恐怖心を抱き、政府に不信感を感じています。経済活動においては電気供給だけでなく、すべての面で”足るを知る”べきです。	生活の豊かさには　心と物質的満足感の両面があります。原発事故の後、人々、特に福島の人達は悲しんでいます。今は心情的に喪に服す時期であり、政府は国民に寄り添うべきである。また、今回の事故を通して被害の質や大きさに驚き、恐怖の認識が出来上がってしまった。この状況下で原発の稼働には相応に相当に大きなメリットがなければ受け入れられないが、現状そのようなメリットは見当たらない。強引に稼働を続ければ、国民としてはリスクに対する恐怖心と原発事故のトラウマから抜け出すことは不可能で不安や不満感情の継続という問題を内包することになる。また、情報管理は仕方ないが、情報操作にはかなり危険な問題が発生することは歴史が示している。日本国民の知的水準は世界一と言われている。更なる情報公開のみが政府の信用回復への道である。 経済面では電力供給のみならず、すべての面で供給に上限や制限があるはずで無制限などはあり得ない。原子力発電なしの前提で即刻自然エネルギーや火力発電に取り組むべきである。そもそも原発のコストが高いことも判明した以上、向且つ使用済み核燃料の後始末など考えれば原発即中止は当然です。”善は急げ”である。世界の人々も原発の代替えエネルギーが本格的に動き出せば追随するはずである。日本の力、国民の力を自然エネルギー開発一点に集中させ効率的に開発が進むようにする為にも　中途半端な方向性ではなく、明確に”脱原発、自然エネルギー開発促進”を打ち出すべきである。原発ビジネスを上回る受注も期待できるし、なにより品が良い（国家の品格）。現状の国民感情としては国の運営が大企業まま様的であると感じている。大企業も足るを知るべきである。円高だの電力不足だの政治不在だのと不満ばかり言う前に不景気になっても社内貯蓄があるうちはリストラは致しませんと約束すべきである。二度と東京電力のような非人道的な”下品な大企業を作ってはならない。
30777	個人	会社員・公務員	40代	男性	(1)温室効果ガス排出を抑えたエネルギー政策を検討を優先に。(2)原子力を減少させながらも再生可能エネへのシフト（細かいスモールステップ）の計画を見直す。(3)再生可能エネの試算をさらに高めてもいいのではないか。	このようなブリックコストを書かせていただく機会にまず感謝申し上げますと同時に、さらに今後のエネルギー政策の議論（科学技術政策の議論が並行して）が活発になり、さらに国民が一緒になって考えていく雰囲気と場を創出していただきたいと思います。 　さて、原子力エネルギーはこれまで、国民の生活を支えてきた事や、国民は多くの恩恵を受けてきたことを、先ず以って踏まえなければならないと思います。しかし、やはり事故のリスクは可能性で語られることも大変危険であり、世の風潮が一気に原子力ゼロに流れることも理解できます。今後のエネルギー政策を冷静に検討する点として主観的ではありますが、以下に挙げさせていただきます 　(1)今後の地球環境への影響を先ず第一に考えること。これは数世代だけの地球を考えるのではなく、この先、太陽系がなくなるまでの地球（その中の日本）のことを考えなければならないと思います。同時に人類と地球上の生命の繁栄にとって何が良き姿なのかを模索する。そしてそれは、先ず環境問題への配慮が優先であろうと思います。 　(2)急に原子力エネルギーをゼロにすることは、他のエネルギーへの負担となってしまい、供給バランスが崩れることからも、環境への負担が大きいと予想されます。将来的に（それが30年先かどうかは・・・長短あると思いますが）原子力ゼロにしていくために徐々に減少させていくための細かな計画（スモールステップ（仮に1年ごとの計画））を打ち出し、やがてゼロにする（廃炉の計画も）方向性を打ち出してはいかがでしょうか。 　(3)再生可能エネルギーへのシフトにとって、ネックなのは土地だと考えます。しかし、日本の人口が今後減少していくことを逆手にとれば、空家が増え、土地が余ることは必然です。そこで仮に国で土地政策を統括し、人口の集合・分散の計画を地方にゆだねながらも、土地を整理し、そこに再生可能エネルギーを割り当てると考得ることはいかがなものでしょうか。試算も少し数値としてあげられるのではないかと思いました。しかし、難しいですね。長年暮らしてきた土地から離れたくない。この土地に永住したい。そういう願いがあることを根こそぎ覆すことはもちろん不可能なこと。よって、300年400年さらには数千年、数万年先の日本を創造し、化石燃料はもちろん使用できないのは当然のことですが、よって今から…地球上のプレートが1年に数センチずつ動くかのように、人口密度の操作を微動ながら初めて見てはいかがでしょうか。しかし今の日本の政治は、政党が変わる・・・。ということもあり、超超長期プランとしてプロジェクトチームを立ち上げてみてはいかがでしょうか。 好き勝手なことを書かせていただきました。内閣府にはたくさんある仕事の中で、このように多数の国民の意見を集約し国の方針としてまとめあげることも大きなプロジェクトであると存じます。どうぞお体に気をつけて、頑張ってください。よろしくお願いいたします。
30778	個人	無職	60代	女性	原発ゼロのシナリオを選びます。	＊　福島原発の事故で沢山の福島県民が故郷を捨てねばならず、健康被害も懸　念されており、他の原発も事故が起これば同じになる。 ＊　日本のような地震大国特に活断層の上にある原発は非常に危険で即刻稼働　中止すべきである。 ＊　放射性廃棄物は管理に百万年かかる。 ＊　原発稼働による放射性廃棄物は溜まる一方なのにの廃棄方法・廃棄場所が 　決まっていない。 ＊　多少経済成長が低下しても、原発ではなくクリーンエネルギーに替えて い　くべきです。 　第二第三の福島の悲劇を招かないためにも、即刻原発の稼働を中止するこ　とを望みます。
30779	個人	パート・アルバイト	60代	女性	原発は0にすべきです。 原発は日本にはいりません。原発は即刻ゼロにしてください	たった今、猛暑の夏、甲子園野球も始まりました。東京電力では原発は一基も稼動していないにも関わらず、全然足りないことはありません。充分足りています。電力が足りないと言うのは嘘です。 日本のような地震国、活断層が走っている土地に原発を立てること事態、また福島のような事故が想定される事は明白です。 核の使用済み燃料の廃棄も出来ないのに、この先、たとえ廃炉にしてもこんな膨大な廃棄物を処理するのかと心配です。 こんなものをこの先続けるというおろかさをどう国は考えているのでしょうか？ 何よりもヒロシマ、ナガサキ、その上福島の事故を経験しているにもかかわらず政府はそれを教訓ともとらえないのですか？ あの不幸な経験を学び日本から即刻、核を廃絶すべきです。
30780	個人	その他	40代	男性	3つのシナリオから選択するとすれば、ゼロシナリオを選択すべきです。	今回提示された3つのシナリオから選択するとすれば、政府はゼロシナリオを選択すべきです。福島の原発事故を受けて、私達は原子力発電が人的にはコントロール不可能なエネルギーであり、万一の事故が生じた際には、人々の生活のすべてを破壊するきわめて危険なものであることを学びました。また、核のゴミといわれる廃棄物処理の見通しが立っていない現実は、後世の人類やあらゆる生物に対して責任をもてないことを意味します。原子力発電は可能な限り、早期に廃止すべきです。 　また、今回の国民的な議論を呼びかけた政府の責任として、パブリックコメントや意見聴取会などで寄せられた意見・要望を個人情報を除いてすべて公開し、どういう形で政府の意思決定に反映したのか、国民にわかり易く説明されることを強く要望します。
30781	個人	会社員・公務員	30代	男性	「ゼロシナリオ」を指示します	本来原子力は現在の科学技術水準では制御できていない。原発を使えば使うだけ、危険な放射性廃棄物が発生し、その処理方法も確立されていない（埋めるなど、問題を先送りしているだけ）。そしてひとたびバランスが崩れれば、取り返しのつかない大惨事になることは、福島原発が示している。地震に対する備えが不十分というレベルの話ではない。コストが安い、一部の人間がもうかる、どこかの国からウラン購入を押し付けられているなど、国民の生活・認識からかけ離れた地点での議論ではなく、真に国民の声に耳を傾け、すべての原発は即廃炉に向けた準備を開始し、それに代わる自然エネルギーの取得方法に力を入れるべき。 さらに国民を意図的に誘導し、原発を存続させるような手法をとる今回のパブコメの在り方自体も大問題がある。選択肢の設定、周知の不徹底、説明不足と期間不足と問題だらけ。しっかりと意見を公開し、正当な批判を受けるべき
30782	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます 自然に返えす事の出来ない原発ゴミを出すべきではない 未来に負の遺産を残して今を生きるべきではない
30783	個人	無職	70代	男性	原発20～25%の選択肢を支持 1)原発事故は人災と判明 2)世界、国家、個人の各レベルで環境問題を考えた選択肢 3)使用済み核燃料の課題は残る 4)世界、将来の世代への配慮	1)事故は材料や技術が原因でなかった。原子力ムラなどの弊害は改められる 2)・世界レベル：温暖化、資源の枯渇以外にも人口爆発が続いている 　　昨年暮れに70億人になった人口は、半年余で5千万人も増えた 　　今後化石燃料の需要が益々増える ・国家　〃　：電気自動車、整備新幹線やリニア新幹線にも電気が必要 ・個人　〃　：子孫に繋げられる生活スタイルの実践 3)原子力建屋での保管から、専用の一時保管場所を設置できないか 　負の遺産を残すにしても、将来の世代が安心して管理できるものにする 4)脱原発は可能だが、30年までという短い年数ではかなりの負荷がかかる
30784	個人	家事専業	50代	女性	原子力は基幹電源であり、現状の維持が必要である。ポピュリズムに陥ることなく重要性を責任をもって説明をするべき。意見聴取会は国民の一般的意見ではない。特に電力会社の社員排除はきわめて遺憾である。	国のエネルギー政策は高度に総合的、科学的な見地からの判断が必要であり、一般国民が軽々に判断できるものではない。政府が専門家の意見を聞き高い立場から、日本の将来を見据え責任をもって判断すべきことである。国民に意見を聞いても、基本的には感情的にしか考えることができない。科学的な基礎データが示されてもそれを正しく読みとる力がある国民は非常に限られている。国の判断がこの状況に左右されてはならない。しかし以下電力会社との何ら関係のない一般人としての現在考えていることを記述しておく。 (1)　このたびの意見聴会後で電力会社の意見排除は遺憾である。 　国民にとって専門的な見地からの意見を聞く機会排除であり、強い憤りを感ずる。 (2)　福島の人々に安心感をもってもらうことが最重要である。 福島の人々を広島、長崎の被爆者と同じとして、被災された方々を不安にさせることはあってはならない。いたずらに福島の人々をヒバクシャ扱いにすることは許されない。現に最大被曝量は健康への懸念がある100ミリシーベルトを超えた住民の方はおられるのであろうか。（実際には今回の事故での放射線による健康上影響がないことを信じている。福島の方々に現地で実際に接っすると、多くの方はマスコミが煽るほど心配はされていないし、子供たちも明るい。福島の方々が不必要に健康不安を持たれることを最も危惧している。）いずれ今回の事故による放射線の健康上に問題がないことは明らかになる。 　福島の被災者の方々の被曝量を科学的に、それぞれに情報開示するとともに、国民にも早く示してもらいたい。福島の方々に医学的に安心していただけるよう最大限の努力をお願いしたい。 (3)　原発は津波対策をしっかり行うとともに専門家による科学的検証を行え従安全であると考える。危険性の指摘事項に対する対策をできるだけわかりやすく説明する必要はある。 　このたびの震災でもっとも震源に近く揺れも大きかった女川原発、福島第二原発に大きな被害はない。津波対策と全電源喪失対策さえできれば原子力発電に危険性はない。この点科学的で厳正な審査がなされる必要がある。 (4)　自然エネルギー等の発電業者が利益を上げるだけの制度はいずれ国民の強い批判の対象になる。 　自然エネルギー買取制度などは、財政的に負担が大きすぎる。また太陽光を設置した家庭は電気売りつけにより利益を得、これを設置できない人々の電気料金の上乗せや税金で負担するのは不公平きわりない。 (5)　原子力をやめれば経済的損失は莫大である。国民が計り知れない負担を負う。 ・　特に、脱原発によって電力供給が安定しないことや電力料金の値上げにより、日本国内の製造業は成立しなくなると同時に、外国企業の撤退、投資を行わないなど産業の空洞化がおこり、雇用の維持ができなくなる。特に若者の失業は現在以上に深刻な状況となる。 ・　電力料金の値上げにより電力会社は収益上困らないであろうが、一般人とくに経済的弱者には大きな負担となる。 ・　これから地球全体の人口増や経済的発展により、石油や天然ガスなどエネルギーの需給が厳しくなることは必至の状況にある。このような中で原子力エネルギーの活用ができないなど考えられる選択ではない。日本が原子力エネルギーを失えば他のエネルギーを高額で輸入せざるを得ない状況となる。 ・　原子力技術は日本の残された数少ない世界的に優位性のある技術であり、これを失うことは国家的に莫大な損失となり許されない。 (6)　地球温暖化防止は人類全体の最重要課題である。日本は世界に対して責務を負っている。 　これ以上化石燃料を燃やしCO2の排出をすべきではない。原子力発電は、この点において最も確実に貢献できるものである。 (7)　電気自動車普及などの国家戦略と矛盾する。 　将来、国家戦略として電気自動車などの普及を目指すのであれば、石油やガスを電力に変換してその電力を活用するなど全く本末転倒となる。直接利用する方が遙かに効率的である。 (8)　自然エネルギーは自ずから限界がある。 ・　日本では、太陽光が推進が推奨されても国土面積から自ずから限界がある。 太陽光発電では膨大な面積の土地が必要であり、農地の転用も必要となってくる。これは食料自給や自然破壊の問題とも関係する。家庭の屋根への設置強制は許されない。 　海洋であっても漁業との関係が不明である。 ・　風力発電は騒音や低周波の健康被害もあり、また自然景観を著しく損なう。 　日本のすばらしい自然景観の多くが壊される。（風車がある風景を好むものばかりではないことを理解する必要がある）。 ・　地熱発電は温泉地の出湯へ与える影響も不明であると同時に、景観を損ねる可能性がある。 (9)　電力不足は高齢者や病気等身体的弱者へ最も大きな負担がかかる。 　この夏の熱中症発症や死亡の状況を見ても明らかである。また呼吸器や心臓疾患等電力により生命を保たれている方々へも思いをはせるべきである。 (10)　他国の状況との分析結果をわかりやすく国民に示すべきである。 ・　ドイツの脱原発がよく引き合いに出されるが、日本とドイツとの置かれた電力供給状況との違いや電力買い取り制度の現状、ドイツ太陽光パネル企業の現状等正しく国民に知らせるべきである。ドイツも即脱原発ではない。 (11)　原子力発電についての科学的理解を進める必要がある。 ・　世界では原子力利用が今後とも進む。日本は技術を高度に維持し世界の原子力発電の安全性への責務を果たす必要がある。 ・　原子力は他に例を見ない莫大なエネルギーを生む科学技術であり、この技術の進展を進めることは歴史の必然であり、日本がこれに乗り遅れることはできない。 (12) 現政府をはじめとする脱原発派の勢力は電力の安価でかつ安定供給に向けどのような具体的な案をもっているのであろうか。特に多くの国民が官邸前デモなど感情的に原発ゼロを叫び自らの政治的主張を繰り返すのはあまりに無責任である。
30785	個人	会社員・公務員	50代	男性	安定した供給を必要とする化学産業としては、選択肢を広げた電力確保が必要であり、信頼できるエネルギーミックスが重要である。その意味で限られた選択肢の中では、20－25シナリオを選ぶ。	日本の産業界は電力問題（電力不足、高い電力料金）を含めた「六重苦」ともいわれる厳しい経済環境に直面している。化学産業も極めて厳しい状況である。 福島第一原子力発電所事故と周辺地域への災害については、十分な原因究明と対策についての総括がなされておらず、こうした中で、産業の死活にかかわるエネルギー政策を拙速に決定することは、国民と国家と産業の将来について大きな問題をもたらすものである。 化学産業にとっては、今回のシナリオは、利益・生産・雇用・設備投資(国内外)・国際競争力についてマイナスの方向にある。それは発電コストおよび系統対策コストが極めて大きく、この条件下では、産業との国際競争力がなくなり、グローバル化した経済の下で、世界と競争している日本の化学産業は大きなダメージを蒙る。 また、化学産業は化学反応をベースに24時間操業等の長時間操業を行っており、化学反応をコントロールするためには安定的な供給電力が必要不可欠である。しかし、今回のシナリオでは再生可能エネルギーの比率が大きく、発電量が不安定なリスクへの対策が十分に担保されていない。 中でも、シナリオを比較すると系統対策を含む電力コストが大きくかつ再生可能エネルギーの比率が大きい「ゼロシナリオ」および「15シナリオ」は問題が大きいことから、「20－25シナリオ」を選択する。 3つのシナリオにおける省エネについて 日本の化学産業は、これまでの省エネ努力の積み重ねで、世界最高水準のエネルギー効率を達成しており、2020年以降の更なる削減には面期的な技術的なブレークスルーが必要となっている。従って、単純な省エネルギー量増大の方針には反対である。 　前提とされている省エネルギー量は、現行エネルギー基本計画から更に踏み込んで、2030年までにGDPが2割以上増える見通しの中で、2010年度比2割削減する意欲的なものであるが、計画内容は裏づけを持った明確なものとなっていない。 家庭、業務、運輸も含めて、各部門で具体化した対策を積み上げることにより、実現の裏づけをとり、確度・可能性を考慮して、実現可能な省エネルギー量目標を再検証すべきである。 再生可能エネルギーに依存するシナリオの問題点 すべてのシナリオにおいて、最低でも25%の再生可能エネルギー比率が見込まれているが、この再生可能エネルギーに過大に依存するエネルギー計画は妥当性を欠いていると考える。 (1)再生可能エネルギーの大量導入は、発電コストと系統対策コストが大となり、産業の存続基盤を損なう。 (2)再生可能エネルギーにおいては、時間・日間・季節間変動は宿命的な問題であり、本格的な普及には、系統の安定化と出力調整が必要である。普及に大きな役割を果たす大幅なコストダウンを行うためには面期的な技術開発を要する。この技術開発には不確実な要素が多く、現状はその解決方法の裏づけがない。 (3)すべてのシナリオにおける再生可能エネルギー比率目標は、何れも、極めて高く設定されているが、技術開発の不確実性、電源の不安定性に対するリスク対策がなく、将来に不安を残すものとなっている。 (4)再生可能エネルギーによる発電計画に不具合生じた場合の代替電源である効率的で安全性の高い火力や原子力発電所の建設には10年、20年の長い年月と高い技術力を要するため、再生可能エネルギーの導入に当たって、リスク対策として、効率的で安全性の高い火力や原子力の十分な能力を確保しておくことが考慮されていない。 以上を踏まえれば、3つのシナリオはいずれも実現可能性や経済に及ぼす影響など問題が多い。とりわけ「ゼロシナリオ」、「15シナリオ」を選択肢としてとることは、産業・貿易立国とする我が国の20年後の国家像を維持することが困難と思われ、これから我が国の将来を背負っていく若者たちに明るい将来像を描くことを妨げている。 したがって、消去法的な選択の結果で「20－25シナリオ」を選択したが、政府は3つのシナリオいずれも、2020年における温室効果ガス排出量の見通しには原子力発電所の順次再稼働を前提としていることを政府は国民に説明し、福島第一原子力発電所事故によって損なわれた国民の原子力発電に対する不信感を払拭するために十分な説明責任を果たされることを切望する。
30786	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は、再稼動しない。原発は0にすることを望みます。	原発事故は、一度起きれば取り返しがつきません。 国や、電力会社が賠償するといっても完全な賠償は期待できません。 原発に代わるエネルギーは、地熱発電、潮流発電に取り組めば無限のエネルギーを得ることができます。 当面は、化石燃料、ガス等に頼るしかありませんが。また、小規模の水力発電も規制を緩和するのもよいと思います。

30787	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発依存度を2030年にゼロにするべきです。	世界の中の、地震の多発地帯で、原発を建設しているのは、日本だけです。 日本は、地震発生のリスクを十分に考えることなしに、経済、利便性を優先して原発を建設し、依存度を高めてきました。 かつては、民主党もマニュフェストで、原発依存度を60%に上げることを謳っていた思います。 しかし、原発がいったん重大事故を起こしたら、未来永劫に壊滅的な悲劇をもたらすことを、私たちは学びました。将来は、世界中の原発依存度をゼロにするため、日本は努力をするべきだと思いますが、まず自国の原発依存度をゼロにして世界の模範となるべきです。短絡的な経済性を念頭においている時ではありません。 また、原子力政策の根幹である「もんじゅ」は、先進国があまりの危険性のために撤退した高速増殖炉です。原発よりも危険性が高く、「もんじゅ」で重大事故を起こしたら、福島とは比べ物にならないほどの悲劇が起こります。 プルトニウムを再利用するために、放射性物質を放出する六ヶ所再処理施設が造られたのも、「もんじゅ」のためです。 今こそ、「もんじゅ」を停止しすることが、良識ある政治家としての決断であると思います。 原発依存度をゼロにし、「もんじゅ」は廃炉にし、六ヶ所の再処理工場は運転を止めて下さい。 日本を沈没の危険から脱出させて、原発依存度ゼロの国づくりに汗を流す時です。エネルギーを浪費しない、ライフスタイルを国を挙げて造るときだと思います。
30788	個人	家事専業	40代	女性	原発はゼロにするべきです。	原発は原爆より多くの放射能を持っている自爆専用爆弾にもなりますのでなくなるべきと思います。その他の発電方法を積極的に使うべきです。 今回の事故の放射能がどれだけの近隣諸国に迷惑をかけたか、そしてこれからも処理に大変なお金と時間と人の犠牲がかかります。即刻止めなければいけないと思います。 止められない理由はアメリカからウランを買わなくてはいけないのでしょう。 その約束をやめるべきです。 日本はこれから自立するべき。 それしか日本の幸せの道はないと思います。
30789	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発に依存するエネルギー政策は、限界にきています。時間を区切り、再生可能エネルギーに移行すべきです。新しいエネルギーは、競争力のある産業として社会に機能するよう、国全体で取り組んでいただきたいです。	福島の原発事故による甚大な被害を目の当たりにして、多くの国民は原発の恐ろしさを感じています。 原発は一度問題がおきれば取り返しがつかない事が痛みを伴いながら明確になりました。 速く脱原発へ移行すべきです。 天然資源の少ない日本は、原発によるエネルギーを放棄するとよても苦しいと思います。けれども、できないと決めてかかればいつまでも成し遂げられないのでしょうか？ 国家百年の計として、脱原発の決断をし、国難に対峙する姿勢を政府に示していただきたいです。 故郷を半永久に失ってしまった人々がいること忘れてはいけないと思います。
30790	個人	自営業	40代	男性	ゼロシナリオに賛成します。	2030年といわず、早急に全ての原発を停止し、廃炉にすべきです。国民の意向を無視した大飯原発の再稼働など論外であり、国民の民主党に対する支持の激減は避けられないでしょう。 原発について知れば知るほど、直ちに全てを廃炉にすべきという考えに傾かざるを得ません。私にも2人の幼い子どもがおり、福島や栃木に親戚がたくさんいます。核廃棄物という負の遺産を後世に何と説明するつもりでしょうか。４号機の核燃料プールが倒壊したらどうするつもりでしょうか。 経済界優先の政策はもういい加減止めにすべきです。政府は市民の声に真摯に耳を傾けるべきだと思います。 電力会社は、経済的合理性、自社の損益しか考えていません。その結果、環境が破壊され、食べ物も水も安全ではなくなりました。こうした状態が今後も長期間続くのです。 私は札幌で弁護士をやっており、経済活動の重要性も理解しているつもりです。しかし、安心して暮らせる環境があってこその経済ではないでしょうか。 私だけではなく、私の家族、職場の同僚、友人たちも、ゼロシナリオ以外の選択肢はないと言っています。 一国民としての声を寄せることができるこうしたパブコメの制度を設けていただいたことに感謝します。
30791	個人	会社員・公務員	50代	男性	3つのシナリオいずれにおいても化石燃料による発電が大きなシェアを占めており、その場合将来的にCO2排出削減が求められるので、CO2回収・貯留（CCS）も加えたより幅広い政策を検討すべきである。	火力発電の高効率化によるCO2の削減には限度があるので、将来的にゼロエミッション火力を実現する方策としてCCSを実施するこも視野に入れた政策を展開することが重要である。例えば石炭火力でCCS実施すれば、CO2の排出はゼロまで持っていくことが可能であり、その場合の発電コストは現時点においても42円/kWhの半分以下で達成できるし、将来的にはCCSのコストをもっと下げることが可能である。
30792	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は「将来」ではなく「今すぐ」やめるべきです。	現在稼働している大飯をなるべく早期に止めて、原発比率を今年、遅くとも2013年中にゼロとすべき。 日本の夏の電気は不足がないことが実証された以上、今後の全ての再稼働は国民が認めない。 日本の原発は天災で爆発することが実証された以上、今後の全ての再稼働は国民が認めない。 国民の生命財産よりも優先されるエネルギー戦略など、どんな形であれ、絶対にありえない。 将来ではなく「今すぐ原発をやめたらどうなるか」そのシナリオが必要。 それのないエネルギー・環境会議は無意味。 会議自体を一からやり直す必要がある。
30793	個人	パート・アルバイト	50代	女性	ゼロシナリオを選択(1)電力会社のデータではなく国から需要と供給の正しい数字の発表(2)限定的に火力発電所を使い早急に再生可能エネルギーによる供給を図る(3)電源立地交付金はすぐに全廃をする(4)送電線の分離をする	ゼロシナリオを選択　地震国の日本で原発をすることは技術的に無理。福島原発事故からまったく学習できていない。しようとしていない。 理由：(1)電力会社のデータではなく国から需要と供給の正しい数字の発表　関電のデータは信用できない。何のために税金で運営されている政府があるのだろう。 関電の資産と経営を守るために危険な原発を動かそうとしているのは悪の骨頂。 (2)限定的に火力発電所を使い早急に再生可能エネルギーによる供給を図る。 再生可能エネルギーであればCO2も出ないし、原油価格に翻弄されなくてよい。太陽光の他、地熱発電、風力発電、小水力発電を生かすべき。その技術を日本は持っているという。これからであっても日本の技術力であれば可能。 (3)電源立地交付金はすぐに全廃をする　この麻薬が税金から出ているのは理解できない。何もしないでお金がもらえると人間は持つ能力も気力も人間性も無くなって行く。箱ものばかり目立ち、からんとした大飯町など見ると哀しい。事故だけでなく常に環境を汚染し続ける原発。溜まって行く恐ろしい廃棄物。全て犠牲にして箱モノを立ててもらい、雇用や交付金を得ても本当に自立できていない住民は本当に幸せにはなれない。 (4)送電線の分離をする。新しい業者や研究者、電源を選べる国民、すべてに可能性と機会と希望をあたえる社会が民主主義である。新しい活性化が経済を良くし、未来に希望の持てる地域で構成された国になって行くと思うし、私たちはそうするように努力していかなくてはならない。地震は多いけれども美しくて豊かなこの国を次世代に引き継いでいくために私たちはいるのだと思う。
30794	個人	学生	20代	男性	原発から自然エネルギー発電へ徐々にシフトしていくが、原発をゼロにはせず、原発の100%の安全性を確保できる技術を獲得した後、原発の割合を徐々に大きくするべきだと考える。	原発の運転に100%の安全が確保されない以上は、エネルギー発電の割合で原子力を増加させることは許されないと思う。しかし、途端に原発をゼロにしてしまうと、日本全体の経済活動に大きな支障が出てしまうことは理解できるし、避けるべき問題である。よって、現段階においては、原発を、日本経済に支障が出ない程度で稼働させ、その間に太陽光発電や波力発電等、原発以外の発電方法について、発電効率を高める技術を早急に得る努力に努め、徐々に原発から自然エネルギーへシフトしていくのが良いと考える。そして、国際社会においては、原発は廃止される方向にはないので、外交政治の面で不利を被らないためにも、原発をゼロにはせず、そのなかで原発の安全性を高める研究はさらに続けていくべきで、将来、原発の100%の安全が確保されたならば、原発の割合を徐々に高めていけばよいと思う。
30795	個人	法人等	30代	男性	原発ゼロを望みます。 2030年という未来では遅いと感じます。地震以外にも、いつ何が起こるかわからないのですから。 停止中のものに関しても、再稼働させることなく原発がなくなれば、と思います。	経済やコストよりも、まずは「安全」を考えるべき。その為には、完全に予想の範囲を超えてしまっている現状（福島の原発）から見ても、原発をゼロにすることが唯一の選択肢ではないかと思います。 そもそも、事故の検証も満足にできていない段階で「安全」の担保がまったくできていない。 その中で、2030年という数字の根拠も理解できない。車検の通らないような車で市街地を走るのと違いがないのでは？ 経済の問題や生活への支障の問題（質の問題？）等で語られることが多いような気がしているが、この問題は命へ直結するものであり、もっと倫理的に考えねばならない問題ではないかと感じます。
30796	個人	その他	40代	女性	原発ゼロシナリオ	即時廃炉を求めます。 福島の原発事故で、多くの人々が苦しんでいる現在、これ以上、原発に依存する考えは持つべきではない。 どんなに電気が足りないという主張があっても、原発以外で考えていかなければならない。原発に考えが至る以上、何も進歩も復興もない。 無条件に原発事故で苦しむことになっている人々に本気で思いを寄せていただきたい。 電力以前に、人の命を第一に考えて原発ゼロ、即時廃炉を求めます。 よろしくお願いします。
30797	個人	自営業	50代	男性	3つのシナリオの中では「ゼロシナリオ」を支持します。 2030年時点ではなく、現時点で原発「ゼロ」とすべきです。	福島原発の事故により、原子力発電が極めて危険であることが明らかになりました。 放射性廃棄物の処理方法も決まっておらず、これ以上放射性廃棄物を増やし続けて子孫に負の遺産を残すべきではありません。 今年のような猛暑においても電力は不足していないのですから、「電力が不足するから原子力発電が必要だ」という理屈は成り立たなくなりました。 加えて、日本全国どの場所においても、いつ次の大地震が発生するかわからない状況なのですから、原発は再稼働せず、一刻も早く全原発を廃炉にし、燃料プールの使用済み燃料も、より安全と思われる場所に（無いと思いますが……）移すべきだと考えます。
30798	個人	家事専業	60代	女性	2030年ではなく、即刻、原発はゼロにするべきです。	これからの日本だけでなく、地球のため。人間だけでなく無数の生命体のため。ゴミ処理もできないまま、核爆弾の製造につながる原発は、即刻、廃棄すべきです。
30799	個人	会社員・公務員	30代	男性	国民生活（福祉.医療）の維持には、貿易収支の改善による国内の雇用と税収を長期的に確保することが肝要。そのために低廉で安定的な電源は不可欠であり、エネルギー安全保障上の観点からも20～25%以上が必要。	資源に乏しい英国において、現在までの人口の増加や国民生活レベルの向上は、失人の弛まぬ努力による製造業の高度化を伴う貿易収支の拡大・外貨獲得によってもたらされ、世界的に類を見ない発展を遂げてきたことは歴史的な事実である。それに比例する形で電力等の社会的インフラは整備されており、立国の形態が変化しない限り、低廉で安定的な電源は将来に渡って重要である。また、ナショナリズム等を背景としたグローバル競合が激化加速する中、国民生活（福祉.医療）レベルを維持し、資源や食糧を確保していくためには、中長期的に科学・ものづくり立国を指向する以外になく、その重要性は益々高まっていると考える。 更には、新興国を中心に原子力利用が拡大する中、端なに火力発電に大きく依存することは燃料調達費の観点から、国富を資源国・新興国に流出させることになる。 また、化石燃料の地政学的リスク（中近東.極東）に鑑み、エネルギー安全保障上の観点からも準国産エネルギーとして位置づけ出来る原子力を一定割合活用し、ベストミックスを指向すべきであると考える。 一方、省エネルギーの推進も必要であるが、オイルショック以降に既に産業部門では大きく推進しており、経済性の高い具体策に乏しい状況であることも踏まえ、地球環境（CO2）問題の観点からも原子力の利用は必要であると考える。 しかしながら、原子力の利用は安全性の確保は大前提であり、今回の事故を踏まえ、外部電源の確保や制御棒のフェールセーフ化等の技術的対策をしっかりと議論推進した上で、（短期的なポピュラリズムに迎合することなく）国家運営責任者としての原子力利用継続に対する英断をお願いしたい。
30800	個人	会社員・公務員	30代	男性	エネルギーの選択、「ゼロシナリオ」を支持します。	3．11の震災／原発事故以来、放射能の前では法人間が如何に無力かを全人類が実感したと思います。 日本がここまで豊かに発展して来たのは原子力発電のお陰である事は紛れも無い事実ですが、こんな事態になった以上は足を止めて考え直さなければなりません。 色も匂いも音もしない、揮発して洗い流せる物でもない。 原子力は到底人間が操れるものでは無かった、というのが本当の所ではないでしょうか。 他の再生可能エネルギーにシフトしていくには課題も多いとは思いますが、これは今の世代に課せられた試練だと思います。 そして、ゼロシフトを支持すると同時に「エネルギー転換に関する国民投票」の実施を強く望みます。 このようにコンピュータを開覧して意見を送る事が出来るのは、国民全体の一部の人達だと思います。 選挙権を持つ、全国民に広く意見を求めるべきだと思います。 宜しくお願いします。
30801	個人	会社員・公務員	60代	男性	共有とする方向性（前提）に客観的根拠が見えない。不安なら脱しかなくも問題は別次元。実現性に欠け震災便乗商機の盗意を感じる。現生活水準保持から無い方が良いが多数の静かな声。政治不信、せめて国民投票願う。	正常ならいずれ冷静な進路に収束すると思っていたが、政治事態がそのつもりがないようなので意見を投じることにした。 震災混乱時に政治圧力を使って個人的考えを浜岡原子力に押し付けた。その上、再稼働の約束も反故にした慎じられない政権。更に、脱原発、再生エネルギー、電力輸入の扇動育景に商機を伺う政商の存在。またその活動の顕在化。この商機の明らかな成功者は既に中国産業と観測されている。原子力安全はまだ調査段階であり、先入観（脱原子力の空気）だけで全てのことを動かしている。厚生省など線量被害と無関係に「不安解消」とか言う非科学的論理で安全基準を後決めし、世の中を扇動、混乱させている。今後のあり方の係る諸検討の仕方、諸委員会、会議のメンバーは、議論だけさせればいいだけの、まとめる意思を期待しない意図的人選であった。誠に残念な時間と国費を費やしたものと落胆している。いずれも係わっているのは一般民間人は生活レベルも社会的地位も違う、今後の負担も気にならない方々で、専門外でも空論していれば仕事になる高級国民である。明らかに方針・結論ありきのやらせとしか感じなかった。これでも、私は放射線業務従事者の経験者で廃棄物処分に係わってきた。何か安全かは知識を持っているつもりである。 エネルギーの国際情勢は、アジア、日本の足元を見た展開となっており、アジアにあっても日本にむけた商魂たくましい海外勢力、世界の攻勢は緩むことは無いでしょう。CO2京都議定書の無様な日本が良い例で、国際社会における交渉力の弱さは自覚すべきである。虚勢は通じない。そんな状況の中で、国産燃料の価値を捨て、燃料は安く買えばよい。古い家は補強してでも太陽光つければよい。風力は海にたくさんある。農地を太陽光に。電力解体すれば安くなる等など、すべて確実性のある具体的説明がなく、であろう期待の元の提案は机上の空論とか映らない。 そもそも、これまでの負担試算にしても、脱原発路線に乗るような数値しか精査せず、現実に起こりつつある危機に対する負担を国民に正面から示していない。国民を軽んじているとしか思えない諸施策である。 従って、時間切りで選択させるのは、国の仕掛けた規定路線としか思えない。 もっと時間を置いて、国民全体が冷静に発言でき、考えられるまで、3案の選択を迫るべきではないと考える。そもそも、選択できるまでの知識と情報をきめ細かに各戸に示すくらいの努力が必要である。 これを無理とするなら、末裔への言い訳となるよう、国民総意を形成すべきと願う。となると、拙速には「総員投票」的な手段しかないと思う。結果が悪くても、これなら政権批判が歴史に残らないかもしれません。
30802	個人	無職	50代	男性	原発ゼロシナリオに賛成。理由は（1）核燃料サイクルの不合理性（2）原発の危険性の大きさ（3）安全管理体制の不備（4）代替技術の発達。	原発ゼロシナリオに賛成。理由は以下の通り。 （1）核燃料サイクルの不合理性 放射性廃棄物の再処理法が何十年間も未確立のままなのに、それがさも確立されているかのような前提で事業を進めていくのはあまりにも不合理。このまま原発を続ければ廃棄物がどんどん溜まっていくだけ。原発は止め、核燃料サイクル推進のための費用は他に回すべき。 （2）原発の危険性の大きさ 地震多発国である日本で原発を続けていくのは無理がある。 （3）安全管理体制の不備 原発の原理的な危険性に加えて、現状の管理体制に対する不信感がある。福島の事故の検証も対策も被害者救済も不十分なまま、小手先の手続きだけで再稼働を行おうとする関係者の姿勢は許容できない。 （4）代替技術の発達 短期的には天然ガス、中長期的には再生可能エネルギーの利用が、原発を代替するものとしてコスト的にも理に適ったものになりつつある。
30803	個人	その他	60代	男性	原発稼働には、電源と取水に関して、絶対的な安全が保障される必要がある。 また、使用済み燃料の処理法の確立が急務である現状では使用できる水準には達していないはずである。	原発を安全に稼働させるには長期にわたり、外部電源が遮断しても安全な対策が必要である。今使われている炉はその条件をみたしていない。 地震、山崩れなどによる鉄塔倒壊、デリンジャー現象による送電網の破壊（カナダで最近あった太陽活動が原因の事故）など多くの原因が考えられる。 さらに、敵国、過激派などによる攻撃も考えられる。若狭湾の原発はどれも丸裸同然で、関西、中京の住民は「ダモクレスの剣」の下で生活しています。 すでに、使用済みの燃料でどの原発も限界です。早く、安全に保管できるプールも必要ですし、処理施設も必要です。原発立地県に雇用を生ませつつ、廃炉にする方法を直ちに模索してください。

30804	個人	学生	20代	女性	ゼロシナリオを選択 福島の原発事故で「絶対安全」神話が日本においても崩れました。安全性が確保できるとしても、放射性廃棄物を大量に産み出しつづける原発は、将来世代のために推進すべきではありません。	1. 原発を稼働すれば、放射性廃棄物が出ます。50年、100年、それ以上監視し続けなければいけません。それを監視するのは私たちの世代、またその次の世代です。原発は、「死の灰」であるプルトニウムを製造し続けることになります。将来世代に負担を押しつけるべきではありません。ゼロシナリオの2030年までにではなく、いますぐ原発比率をゼロにすべきです。 2. 日本は地震大国です。原発の立地にふさわしい場所がありません。福島第一原発の例からわかったように、活断層の上になくとも、安全ではないのです。 3. 昨年の夏は、その前の年に比べ約30%の省エネを実現しました。エネルギーを多く使うのは家庭ではなく産業部門です。まだまだ省エネの余地はあります。発電転換時、送電によるエネルギーの無駄は多く、国として率先して省エネを行うべくシステムの変更をすべきです。シナリオ上、省エネの割合を約1割としているのは消極的です。 4. 3つのシナリオとも省エネの見込みが小さく、その分、化石燃料依存度が高いのはおかしいです。脱原発と脱化石燃料を両立し、石炭依存からの脱却を図るべきです。 5. 再生可能エネルギーは、ゼロシナリオにおいて35%としていますが、もっと増やすことができるはずです。一時は、太陽光パネルの設置が世界一といわれた日本が政策の誤りにより、すでに大幅に水をあけられています。太陽のエネルギーは、化石燃料とは比較にならないほど大きく無限です。 6. 原発に依存しても「温室効果ガスの排出量を2020年までに25%削減する」という目標は達成できませんでした。ゼロシナリオを選択すると、あたかも温暖化対策が遅れるかのように考えるのは誤りです。また、原発が地球温暖化の原因となる二酸化炭素を排出しないというのは誤りで、発電時以外には二酸化炭素を排出します。そして、温排水によって直接的な熱汚染すなわち温暖化をもたらしています。 7. 核燃料サイクルは破たんしています。また、仮に六ヶ所再処理工場が本格稼働すれば、核兵器1000発分のもプルトニウムが毎年製造されることになります。「平和利用」という名目で世界最大の核物質を保有することになってしまった日本が、これ以上の増産をすることは認められません。 8. 再生可能エネルギーは、まだまだ可能性のある新な技術が誕生するまさに「技術立国日本」の待望の分野です。電力の自由化や発送電分離は、新たな可能性への必要不可欠なシステム改革でありビジネスチャンスとなります。 9. 再生可能エネルギーを選択する消費者は、これ以上、次世代に負の遺産を残したくないという思いから、未来への投資を厭いません。
30805	個人	無職	70代	男性	2030年のあるべき原子力エネルギーは0%を目指すべき	昨年の福島原発事故で明らかなように、起こした事故を未だにどのように収束するかもわからない。技術的にコントロール出来ない。 また、排出された核のゴミはどのように処理されるかも決めないままで勧めるのは本当に危険であり、無責任である。地震列島の日本にはこの様に危険な原子力発電はいらない。
30806	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発ゼロシナリオを選択します。	今回の原発事故の技術的な事故原因が明らかとならず、万全の対策を取ることは不可能に近い以上、原発はただちに停止するべきだと考えます。また、同時に原発以上に危険性の高い再処理の廃止も求めます。 今回のように原発の維持に対し、温暖化問題をひきあいに出されることが多々見受けられますが、議論の方向性が間違っていると思われます。世界からみればごく小さな島でしかない日本がCO2をわずかに減らしたところで影響があるとは思えません。根本から見直すべきだと考えます。
30807	個人	無職	60代	男性	自然エネルギーを最大限生かして、できるだけ早く原発はゼロにするべきです。	原子力を制御する知恵を人類はまだ持っていません。また、原発の発電が一番安いと言われていますが、原発を立地するための費用や補助金、補償費、立地してからの補助金、立地県や自治体の対策費用等が含まれていません。これからのエネルギーは、できるだけ地域で自給を目指すべきです。小規模水力発電も太陽光発電も波動発電も地熱発電も風力発電もすべての技術が日本にあります。これは、とてもすそ野の広い産業になります。新たな雇用も生まれます。また、電力を市町村の単位で自給をすることができれば、ロスも少なく効率の良い送電になります。そして、台風や自然災害等の何らかの事情で発電に支障が出てもその周りから直ぐに融通ができます。本当に安全なものは、近くでつくれるものです。また、それが一番安いものになります。そのような考えの基に政策があれば、すべての工場にソーラー発電や風力発電の設備をつけることもすぐにできることです。また、原子力発電は、廃炉するにしても40年とも60年ともかかるものです。この国の将来を考えるならば、自然エネルギーを活用して電気を供給することは、電力会社の責務でもあります。できるところから迅速に進めるべきことで、先ずは発送電の分離を行い、発電会社の新規参入を容易にするべきです。
30808	個人	会社員・公務員	60代	男性	原子力発電電力量を0%にする。	1. 原子力発電は放射性核物質を燃料にしており、一たび事故が起こると広範　囲に危険な被害をもたらす。人体に健康被害を及ぼすだけでなく大地の生物　全般に大きな被害を長い年月にわたって与える。そのような燃料は使わない　方がよい。 2. 地震多発の日本では「長期にわたって安全だ」という確証は全くない。 3. 原発を再稼働せずにできる限り早い時期に原子力発電を0%にすることが　大切である。原発は、ウラン鉱を精錬・濃縮する過程でもCO2を出してい　る。原発が100%CO2削減になるとは言えない。 4. たまる一方の使用済み核燃料も国家的大問題である。又、核燃料サイクル　の展望が全くない。40兆円を超える国民負担がのしかかってくるといわれ　ている。これらは今後数百年にわたっての解決策をいまだ持てないでいるこ　とを示している。 5.「原子力発電を0%にする」ことを政府が決めることが大切である。その　ことによって、自然エネルギー(再生可能エネルギー)の方向へ国家的に向　いていくことになる。 6. 当面は、石油燃料への依存が高まるが液化天然ガスの使用を中心にして発　電をすることは止むをえない。 7. 自然エネルギーへ国家的に推進していくには財政の裏付けが必要です。公　益財団法人「原子力環境整備促進・資金管理センター」が管理している資金　や、日本原子力産業協会の内部留保金などを活用する、そして順次原発を廃　炉にしていけば原発立地への補助金が必要なくなる。 8. 上記によって自然エネルギー(再生可能エネルギー)を全面的に広げてい　くことが可能になる。今のような一般家庭への電気料金の負担増もきわめて　少なくなるか、負担増がなくなることもあるのではないか。そして自然エネ　ルギーの設置費用が大幅に減少していくこともあるのではないか。 9. 自然エネルギーが雇用を生むことがドイツで示されている。そのことはわ　が国でも可能であると思う。
30809	個人	家事専業	60代	女性	エネルギー自給率と原発利用は切り離して議論すべきです。原発無しでも電力不足にならないシナリオを国民に示すのが政治の役目です。0%か20%かなどとパブコメを募るのは無策の極み。	使用済み核燃料の再処理工場が満足に運転できた例がない。技術的に無理があるから。福島第1原発のように大量の使用済み燃料棒がプール保管されているのは危険極まりない。原子力発電は安価な電力の筆頭だ、などと言うのは核燃料処理に税金が使われているからであって、これまでのわが国の原子力政策には国民を欺くような問題が多すぎる。H22年度の発電システム別発電設備容量と発電量を見ると、原発をゼロにしても電力需要を賄えることは明らか。電力需要のピーク期を平準化するなど、技術的に進めるべき方法があるのではないか。地震大国の日本で原発を使う危険性は、今回の福島でいやというほど分かった。多くの市民がもう帰宅できない状況を真正面から見ず、死者がでなかったから原発は安全だなどと言う馬鹿者もいる。少数の犠牲の上に立つ大多数の利益など求めてはならない、人道に悖る考え方だと思う。電力自給問題と切り離して原子力発電は考えなければならない問題でしょう。
30810	個人	会社員・公務員	40代	男性	全原発の迅速かつ安全な廃炉を国策として推進すべきである.	2011年3月11日の東日本大震災に伴う福島第一原発事故が引き起こした取り返しのつかない被害(国土の一部を将来にわたり居住不能にしたこと, 子供たちを内部被曝させたこと, 良心的な農業従事者を自殺に追いやったこと等)を真摯に反省し, 原発を推進してきた国策の過ちを認め, 全原発の迅速かつ安全な廃炉を国策として推進すべきである. もともと発電のために核分裂を使うのは「鶏を裂くのに牛刀を用いる」ようなもので, なぜこんなことが始まったかと言えば核兵器用のプルトニウム生産の際の排熱を発電に有効利用したからであり, 核開発と一体でなければコスト的にも見合わないはずである. 隠れた軍事目的があるから, すべてにおいて秘密主義となり, 安全神話で国民を欺く必要が生じるのである. 今後日本が核武装を公式に進めるのなら話は別だが, 少なくとも私は核開発に反対であり, 原発も廃止すべきと考える. 今回, 自然エネルギーと石油・石炭・天然ガスの比率の問題と原発の比率を合わせて議論しているが, 原発はそもそも選択肢から除外すべきであり, 自然エネルギーの比率をどこまで高めるかは別途議論すればよいことである.
30811	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロを選択します。	核燃料は人体にとって非常に有害であり、なおかつ未だ人類が完全に無害化処理する技術を持たない物質です。 事故等でひとたび大気中、或は海洋に放出されれば長い年月にわたり土壌、地下水、河川、動植物、海水、海洋生物等地球上のあらゆるものに放射線の悪影響をあたえ続け、それによる被害も広範囲に、甚大かつ長期間発生します。 このように自然界にとっても人体にとっても大変有害で取り扱いも困難な物質を使用した発電方法を用いるのはあまりにもリスクが大きく、また使用済み核燃料の処理・貯蔵・管理の費用を考えるとコストパフォーマンスに優れているとは到底思えません。 日本の未来、将来を担う子供達のためにも原発ゼロ、即時廃炉を選択します。
30812	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力発電は、日本の国において、生命をも脅かすエネルギーの根幹であると考える。ある一定の水準での維持は必要であり、その限られた枠の中での発展も重要と考える。	原発事故が起これば甚大な被害をもたらすことは確かである。 しかしながら、現在の文明において経済成長を果たし、人々が現代文明の生活をおくり生きていくためには、エネルギーは必要不可欠なものである。 原子力発電の代わりに、再生可能エネルギーとあるが、不安定は発電能力と場所の確保やハード・ソフトシステムの確立には、時間と費用が掛かるとされている。 省エネといってもこれ以上大きなものは望めないと考える。特にピーク時の電力を保証できなければ意味がない。 また、化石エネルギー資源は、いつ枯渇するかも定かではない、当然売価も影響してくる。今後も安定的に輸入ができるとは限らない。 一説では、化石資源が豊富な中東諸国でも近い将来石油が枯渇することを想定して、原子力発電の導入計画をしている。このような諸国は自らの技術だけでは原発を建設・維持できないと考えており、日本を含めた諸外国の持続的な技術支援を想定している。特に日本は政情的にも信頼がされている。 化石燃料がなくなれば、日本はエネルギー自給率で一けた台となり、エネルギー破たんが起きることが予測される。 原子力発電の使用を止め、廃炉や使用済燃料の処理だけをしていれば、このようなエネルギー危機に直面した際、何もできなくなってしまう。 こうしたことからも、できるだけ原子力発電は維持していくことが、原子力に対する技術の維持・発展につながり、またエネルギーリスクとしてもそれなりに補えることにもなり、日本の国益にかなう正しい選択であると思われる。 国、国民を守るとは、どういうことなのかを、国家を司る方々は考えるべきで、国民やマスコミの一時の感情や批判に惑わされてはならないと思う。 もっと将来を考えるべきである。責任のある立場とはそういった一般国民と違うからこそ、その任に就いているのだと思う。
30813	個人	無職	60代	男性	すべての原発は出来うる限り早急に停止・廃止すべき。遅くとも5年以内。この間に、エネルギーの利用を抑制した社会を作り上げ、持続可能なエネルギーの開発に全力で取り組む。	(1)地震・津波その他の災害により、また人為的なミスにより甚大な被害をもたらすことがが実証された。福島原発事故は、制御不能となった。 (2)国民及び世界の人たちの健康に害を与えており、福島原発事故のために亡くなった人が発生している。 (3)核廃棄物の安全な最終処分方法が確立されておらず、将来的にも極めて困難。 (4)原発コストは恣意的に安く見積もられており、国民をだましている。 (5)核廃棄物の安全な最終処分方法と処分コストが未定であることは、国民の生命を脅かし、莫大な経済的な負担を強いることになる。 (6)政府は国民の安全(健康)と財産を守る義務がある。
30814	個人	無職	50代	男性	選択肢以外の即時全面廃棄です。当初はドイツのような10年以内の段階的廃止 を考えましたが、未だ脱原発の方向性すら示せない日本においては即時全面廃止 しか選択肢はないと考えるに至りました。	1. この夏の猛暑の中、関西電力の2原子炉を無理やり動かした関西電力を含め 今のところ余裕があった。一部火力を止めている状況もあり今後も使用制限が生じる事態は考えづらい。2. 当面は化石燃料に頼らざる負えないが燃料費高騰に よる電気代値上げには政治が動いて燃料費を補助するなど電力会社を支援すればよい。3. 仙台に住んでいて大震災時には札幌にいて揺れを経験した。仙台の自宅を心配したが仙台に戻れない2週間あまり原子炉の状況に眠れない不安な気持ちになった。東日本が潰れる危機を感じた。多くの国民が同様だったと思う。郷里から強制移住させられたり自主避難した人は更に大きな不安を感じただろう。感情面からも原発には反対だ。幸い11年4月の余震を除き大きな余震はないがこれは幸運なだけだ。今も福1を大きな余震が襲ったらと不安だ。4. 今回の事故で福島を中心に少なくとも数十兆円の損害が発生するだろう。経済活動にも大きな影響を及ぼし続けている。それにも関わらず東電は勿論、政官財、学会、メディアを含めた原子カムラへの責任追及や反省がほとんどなされぬまま原発再稼動などありえない。経済活動を理由にするなら強制避難で事業継続が不可能になった中小企業の経営者、農家、漁業者などの損害をどう考えるのか。事故が起こったら経済活動も何もない。補償が不十分な状況を見ると許しがたい。5. 放射能の影響については急性障害による死者がないことを理由に過去の公害事件のように被害者を無視、排除しようとする人たちがいるようだ。放射能の影響は致死量の被ばくをしなければ影響がでるのは数年、数十年後だ。そのような価値観を持つ人たちに危険な原発をまかせられない。6. 福1事故の収拾に多くの労働者が被ばく労働に従事しているが、この作業は少なくとも3,40年は続く。今はまだ未成年だったり生まれていない労働者も投入されるだろう。元々原発を動かすには下請け労働者の被ばくが必須と言われる。倫理的にも許しがたい。7. 日本は世界の0.25%の国土でM6以上の地震の20%が起こると言われる。2兆円以上をかけた六ケ所村の再処理工場もまともに稼動せず、高速増殖炉もんじゅも1兆円をかけて全く発電していない。更に今地震津波対策と称して全国の原発で巨費がかけられている。金の面でも無駄ばかりの原発はいらない。8. 女川原発や福2などは事故にならなかった。安全対策を講じれば大事故は防げるという意見は幸運だっただけと考えるべきだ。女川では本体ではないが施設が破壊され死者も出ている。複数の原発では活断層調査が不十分だと指摘されており防潮堤を築いても直下型地震が起これば原子炉は破壊されるだろう。この日本で完璧な地震対策をとった原子炉など作れない事を認識すべきだ。9. 政治に対する不信がある。現内閣は大飯原発の2機を再稼動させたが、津波対策の防潮堤、ベントのための設備、事故対応の免震施設すらない。福1でベント施設、免震重要棟がなかったらどうなったとは考えないのか。多分当面は大地震は起こらないとの考えだろうが、こんな判断はありえない。責任など取れるはずもない。10. 電力不足は今のままでも民間からの電力融通、電力会社間での融通等で間に合うと思うがコスト削減のため当面はガスタービンやコンバインドサイクル発電の導入、中長期的には風力、太陽光等の再処理エネルギーの導入を積極的に進めコストを下げていけばいい。CO2増大の問題については放射能問題より重要視することは出来ず緊急避難として当面は増えても止む終えない。11. 再生エネルギーのコストは高く、不安定、原発は安いと言う人がいるが、事故がなくても最終処理費用等を考慮に入れれば決して安くはない。柏崎刈羽原発でも大事故は起こらなかったものの何年も止まるなど安定していない。今後老朽化に伴い稼働率は確実に下がりコストは高くなる。今まで原子力に投入した税金を自然エネルギーに投入すれば量産効果、技術革新等でコストは下がる。スペインやドイツ、中国などが日本よりすっと多くを発電している。財界などは急激な導入はできないと言い張るが、原発の既得権益を守り短期(せいぜい2〜3年)しか見ていないのではないか。他国ができて日本がどうしてできないのかわからない。12. 30年での発電比率の他の選択肢については0%案は大事故がなく、地震もほとんどないドイツが10年で全面廃止するのに比べ遅すぎる。いつ大地震で原発事故が起こるかわからない日本ではそんな悠長なことはいっていられない。15%案は建設中の2機の稼動や稼働率8割を前提にしている。大事故でも老朽化のため2000年以降は稼働率は7〜5割に落ち込んでいる。全く現実的ではない。20〜25%案は残る50機をできるだけ40年を越えて動かし更に増設する案。この地震列島に原発事故の危険を更に増やす案で許しがたい。 最後に。まとまりのない文章で考えた事を綴りました。今政府に期待したいのは原子力規制委員会に過去原子力を推進した原子カムラの重要人物など推進側の人を外しもっとまともな人材を入れることです。委員長候補は反省しているからいいとのことですが、本当でしょうか。事故前、地震などによる全電源喪失による大事故の危険性を指摘していた人は複数いました。断わられたとH大臣が言ったと聞きましたが今の政府の原発再稼動の流れでは断わられて当たり前です。各種世論調査で脱原発が多数。脱原発デモが継続して実施され、各地の意見聴取会では7割が30年0%を選んだと報じられています。30年0%案は私の考えとは異なりますが、せめてそのあたりを落としどころにする考えはないのでしょうか？
30815	個人	家事専業	40代	女性	日本が原子力の技術があることは、安全保障を考えれば抑止力になります！そして燃料価格が高騰する中でこれ以上、原発停止が続けば全国で電気料金が上がります。私たちは電気料金値上げが負担です。	日本が原子力の技術があることは、安全保障を考えれば抑止力になります！そして燃料価格が高騰する中でこれ以上、原発停止が続けば全国で電気料金が上がります。私たちは電気料金値上げが負担です。より安全な原発を作るべきです！
30816	個人	無職	30代	男性	原発依存度をどうするか	原発ゼロ
30817	個人	家事専業	30代	女性	原発0シナリオを選びます	原発0シナリオを選びます。 福一事故があって苦しんでいる人たちが大勢いるのに、まだ進めるなんて信じられません。子供達の未来を考えたら0シナリオしかありません。 地域分散型のエネルギー供給を進めるよう電力システムの改革が必要だと思います。
30818	個人	その他	40代	男性	原発ゼロ希望。原発事故は国家レベルのリスクとなる。世界の趨勢は「天然ガスと風力、太陽光の組み合わせ」であり原発は時代遅れ。現在大飯原発しか稼働してないが猛暑でも電力不足は起きていない現実を直視すべき。	「原発ゼロシナリオ」を希望。 日本はすでに昨年の福島第1原発事故で地球を(土壌も、海洋も、生体も)汚染してしまったので、これ以上汚染しない方策を真剣に検討すべきです。原発を存続させている間は放射能汚染の可能性が増えることはあっても減ることはありません。 福島の事故でも、最悪の場合、菅首相(当時)が想定したように「首都圏3000万人の避難」が必要でした。ここまでの国家的リスクを背負ってまで、原子力発電を継続する理由は見当たりません。 原子炉メーカー世界大手の一角を占めるゼネラル・エレクトリック社のジェフ・イメルトCEOが、原発はコストが高いと指摘しました(2012.8.2 東京新聞)。世界の趨勢は「天然ガスと風力、太陽光の組み合わせ」とのこと。つまり、「原子力発電は時代遅れの発電方式」ということです。原発は、危険なだけでなく、実はコストも高いのです(原子力発電の場合、巨額の廃炉費用や放射性廃棄物の処理問題も加わります)。 現在、日本では大飯原発のみが稼働しています(これに合わせ複数の火力発電所を停止しています)が、この猛暑にあっても、電力不足は起きていません。つまり、電力供給的には、原発に頼る必要はない、ということです。 結論。古臭い“原発”にいつまでもしがみつくのではなく、原発以外の手段で発電することが日本の未来につながります。当面は火力(LNGなど)への依存は避けられないでしょうが、長期的計画で再生可能エネルギーの比率を高めていき、そしてこの分野で日本の技術が世界をリードしていくのが産業振興的にもプラスとなります。早期に脱原発を実現し、安全な環境の中で、新産業分野の拡大による景気回復と被災地の復興を進めましょう。
30819	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年までに原子力発電はゼロにして下さい。	自然エネルギーを増やし、火力・水力発電により電気代が高くなっても、放射能汚染による危惧がなくなるのであれば将来の日本には原子力は要りません。生活水準をエネルギー供給レベルに合わせてシフトすることはデメリットより、メリットも大きいと考えます。生活様式を見直し、より持続可能で真の意味で幸福度の高い国になることを希望します。福島の地がきれいに除染されてもいないのに原子力を使用し続けるのは人類にとって、地球上のすべての生命にとって賢明な道ではありません。
30820	個人	無職	70代	男性	原発ゼロを望みます。今すぐ廃炉にすべし。	問答無用。地球上に存在しなかったものを作り出した原子核。責任は人間にある。私にある。今あるすべての事故は人災と考えるべきだ。人類が修復せずに誰がするのですか、地球の持っている力の浄化作用が始まってるのに気付かないのですか。これでもか、これでもかと人類破滅まで浄化作用は続きますよ。 引くこと止めること、この勇気人間に与えられた最大の自由。これは前に進むことなんですよ。 どんな理由、どんな理屈をつけても所詮は人間どもの欲の塊、駄目なものは駄目、絶対だめ。押し通したらそれはもう死を選んだことと同じだ。 解決策は沢山ある。解決策について意見を述べる機会があったら話そう。
30821	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオ」を支持します。	[意見及びその理由]原発はゼロにするより他にとるべき道はありません。原発を運転する限り、有害かつ管理が極めて難しい核廃棄物が、処分方法もないまま溜まる一方であり、後世に多大な負の遺産を残すことになります。これは倫理上も許されないことです。運転中の大飯は早期に停止し、全ての原発を順次廃炉にしてゆく手順を具体的に検討すべきです。 原発を無くしても電気は足りることは、政府が発表しているデータからも明らかです。? 地震大国である我が国は、もともと原発の立地として無理がありました。これは福島の事故で身を持ってわかったはずです。

30822	個人	家事専業	40代	女性	原発ゼロシナリオを選びます。	原発ゼロシナリオを選びます。 放射能は少量でも生物の体内に取り込まれると(内部被ばく)遺伝子の異常をもたらす危険がある。一度以上をきたした遺伝子はその後何台も受け継がれる。この事実は1950年代には日本でも動物や植物を使った実験などでわかっていることである。 それなのに安全神話に騙されて日本に多くの原発が出来、フクシマの事故が起きた。 原発によりつくられる放射能は人間が安全に処理しきれないものである。地震や津波あるいは人災等、あらゆる想定外の事態に処理できない。フクシマの様な事故がまた起きる可能性がある。 そして原発は使っていなくても危険だが動かしているともっと危険である。使用済み核燃料もこれ以上ふやしてはならないと思う。 広島、長崎、三度とくり返しませんと祈りながらフクシマの事故が起きたのに大飯原発を再稼働したことはこの現実に向き合わない信じられない事態である。もし、日本でもう一つ事故が起これば日本の再生はもうないと思う。これからの子供たちに、地球に、こんな危険なものを経済や政治、いかなる理由があってもこれ以上残してはならない。これから人類はただちに計画的に廃炉の努力をしなければならない。 CO2と放射能とどちらが危険かという声があるが、はっきりいって放射能のほうが危険だと言いたい。節電しながら再生可能エネルギーに力を入れること、これこそが今、日本がフクシマを教訓にして生きていく唯一で一番良い方法だと思う。他国に原子力発電を売るなど無責任極まりない行為だと思う。
30823	個人	無職	60代	女性	原発はゼロにするべき	将来、私の孫が安心して子供を産み育てられる環境であって欲しいと強く願う。その為にも原発はゼロに、自然エネルギーの転換へと国を挙げて推進していくべきであると私は考える。
30824	個人	自営業	50代	男性	ゼロシナリオを切望します。 選択肢があれば、即時ゼロを希望します。	原発は電力需給の問題でしょうか。実際今夏も原発はなくても、十分足りていたのではないでしょうか。少なくても関電に関しては、電力会社の融通や去年からの火力発電の準備で十分まかなえたのではないですか。明らかに原発は、電力会社の経営問題です。 また、今日本は戦後の産業構造改革以来の2度目の構造改革の時期に来ているのだと思います。軍事産業からの大量離職者によって労働力が急増しました。石炭から石油へのエネルギー政策の転換により重化学工業化が進展し、以降大企業を中心に経済発展を成し遂げました。今の日本はグローバル化によって同じ状況に陥っています。 今の日本がなすべきことは、原子力から自然エネルギー政策の転換を図り、鎖国をしていた江戸時代のように自主自立を基本とした分散型の産業構造を目指すべきだではないでしょうか。大企業が倒けたら日本が倒けるような産業構造は改革すべきです。そして、数年後はエネルギー技術を輸出する国へと変わるべきです。また日本近海にあるとされるシェールガスなどの自前のエネルギー発掘し、早急に国としてのエネルギーの自立を図るべきです。使用済み燃料の問題が残る原子力エネルギーは決して自立したエネルギーとは言えません。 自立に勝る国力なし！
30825	個人	その他	50代	男性	0%の「ゼロシナリオ」を選択	意見：0%の「ゼロシナリオ」を選択します。 理由：地震大国である日本に制御技術の確立されていない原発は、直ちに停止・廃止すべきである。今回の福島の災害：地震・津波・人災で明らかなように完全な安全が保障される原発はなく、将来にわたり放射能障害の影響は継続されることとなる。命・健康を犠牲にした経済活動も有り得ない。再生可能エネルギーの推進・開発、生活スタイルの根本的見直し：省エネルギースタイルの追求などで有限である化石エネルギーに対する依存度も漸減させる必要がある。原発は24時間体制での稼動であり、24時間型社会生活を誘導してきてしまった、エネルギー消費活動を推奨してきたエネルギー源である。多消費型・24時間型社会生活スタイルで逆にCO2の排出も増加してしまっている。
30826	個人	自営業	40代	男性	福島の事故を教訓に、より安全な原子力の技術開発を求めます。	高速増殖炉の実用化を視野に入れた原子力の活用は依然、必要不可欠です。 震災後も世界の趨勢は原子力発電の導入・維持・拡大であり、脱原発を決定した国はほんの少数に過ぎません。 福島の事故を教訓に原発の安全技術を高め、原子力による電力供給システムを継続・発展させていくべきです。
30827	個人	無職	60代	男性	原発は早期にゼロにすべきです。大飯原発もすぐ止めるべきです。他の原発の再稼働もすべきではありません。山口県の上関原発建設計画もただちに中止してください。人の命と経済活動とどっちが大事なので	福島のあの悲劇があってもまだ原発を稼働させるなど、信じられないことです。人類と核兵器が共存できないように、人類と原発も共存できません。使用済み核燃料の安全な処分方法も確立されていないのに、なぜ54もの原発をつくったのか。信じられない話です。経済活動を稼働の口実にするのでなく、人の命と健康を最優先するあたりまえの政治をしてください。
30828	個人	無職	70代	男性	原発および放射性物質の処理処分はすぐ作業に着手してほしい。	エネルギー不足を心配して当面原発稼動を求める意見があるが、稼動すればするほど使用済み燃料棒等放射性物質が増えていく。 この放射性物質の安全管理技術が未完成なため、原発は稼動すればするほど放射能汚染の危険性が高まる。 東京電力福島第一原発にある放射性物質は事故から1年以上たったのに未だに密閉系に戻すことができていない。 これは日本に放射性物質の安全管理技術がないからである。 政府も電力会社も原発会社も政府の原発推進の方針の下、放射性物質の安全管理技術を開発しながら原発稼動を続けてきたが、予想以上に放射性物質の安全管理技術の開発がむずかしく、既存原発および増えた放射性物質の危険性は最早無視できない状態にある。 これ以上原発を稼動して放射性物質を増やすことは日本、さらには世界の放射能汚染度を高めることになる。 原発および放射性物質の処理処分は早く始めれば始めるほど比較的苦労は少ないが、遅くなればなるほど幾何級数的にむずかしさが高まる。 つまり子孫が苦悩することになる。 したがって外国の動向を気にせず、日本は速やかに処理処分に入った方が得である。 当面日本はエネルギー面で不利に立つが、後で日本は有利になる。 外国は日本の動きを見て、日本に学ぶことになる。 処理処分技術も日本から学ぶことになる。 原発および放射性物質の処理処分については機械化、無人化が必要である。 政府は惜しみなく技術開発予算を計上すべきである。 怠ると放射能被曝で作業者が苦悩することになる。 原発および放射性物質の処理処分は原発を推進してきた政府の最大の責務である。
30829	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発は直ちにすべて廃炉とし、再生可能エネルギーへ転換すべきと考える。 福島第一原発はいまだ危険な状態にあるので、作業員の安全を確保しつつ、 放射性物質の封じ込めを進めるべし。	原発事故が起きれば地球規模の被害が発生し、その影響が長期に及ぶこと。 地震の多発する日本列島に原発を立地するのは無理であること。 増え続ける核廃棄物処理の方法が確立されていないこと。 フクシマの教訓を生かして生活スタイルの見直しが迫られていること。 以上の理由から、原発をなくし、新たなエネルギーを模索することこそ、地球環境の悪化を食い止める道と考える。 従って、野田政権がおこなった大飯原発再稼働は全くの暴挙と言わざるをえない。猛暑が続いているが、原発なしでも夏場を乗り切れる。
30830	個人	会社員・公務員	50代	男性	1．ゼロシナリオを選択します。	18年以内にゼロを行うわけですから、選択肢の中では、国民意識に沿っていると考えます。 エネルギーシフトを推進させ、一刻も早く再生可能エネルギーの発展を助成し、経済を活性化させるべきと考えます。 長期的に見ても核廃棄物を発生させ、処理方法すら確定しない原発を続けることは子孫に対する冒涜であります。 短期的に見ても社会不安を増幅させ、様々な経済活動の妨げになっているだけでなく、 現実的な健康被害が福島県でこれから表面化するのはチェルノブイリの過去の現実を見ても明らかです。 之以上原発を続けることは危機を助長させる事になります。
30831	個人	会社員・公務員	20代	男性	原発ゼロシナリオ(即時) 政府は、全原発を即時停止させ、廃炉へ向かわせるべきである。	理由 第1に、福島の事故により全国民が知ることとなった、原発のずさんな管理体制が問題である。 もちろんめったにない規模の災害があり、壊れるはずのない機械はないが、原発に限ってはそうは言ってられない。 今回の事故により、国土の一部が失われたと言ってもよいからである。今までの日本における韓国・中国・ロシアとの領土問題と本質は違うが、それらの領土問題とされている国土の何十倍もの土地に人が住めなくなった。こんなことはもう二度と起こしてはならない。 たとえ、今までより厳しい安全基準を設け、クリアしたとしてもそれを運営・維持・管理をする人間が信用できないのは明らかなので原発をこのまま運営させることを許可してはいけない 第2に、放射性廃棄物の処理技術が確立されておらず、この先もできるか未定だからである。 もんじゅが、些細なミスで何度も事故を起こし、大金を投じてもまともに動かせていないのだから、核燃料サイクルは早くあきらめるべきだし、核兵器を放棄しているのだからプルトニウムを溜め込み海外から余計な疑念をもたれるのは得策ではない。 核燃料サイクルが成功したらエネルギーを本当に自国でまかなえるかは疑問であるが、できないのだから他の方法を模索すべきである 第3に、経済や雇用への影響については他の方法を国民に提示し、判断を国民がすべきであり、首相がトップダウンで再稼動しなきゃ停電するし経済に悪影響がでると決め付けて責任をどうとるかも具体的に述べずに判断していいとは思わない。 去年は誰もが、「全原発即時停止など無理」と思っていたのが、実際とまってみると他の電源によってまかなえることが分かった。 実際に全原発がとまっても停電は起きなかったわけだし、夏場の電力ピーク時のためだけに原発を運営していくことが得策だとは思わない。 経済のために再稼動したのなら景気が良くなるのだろうか。。 燃料費の増大による電気代値上げについては、もっと電力会社が企業努力をするよう政府が促すべきだし、その上でなら公的資金を投入することは納得できる。原発事故の被災者への賠償・企業への負担を減らすための電気料金値上げを抑えるためなら国民も仕方ないことだと思えるはず。 去年の事故によって、私を含め原発とは関係ないと無関心だった市民が思ったことは、こんなにひどいものだったのか、とゆう感想につきると思います 数年のうちに、すべての原発が絶対に安全で、死の灰が確実に処理でき、原発による雇用が一時的なものでなく安定し、立地している自治体が交付金を必要としなくなり、万が一事故が起きたときの責任を明確にするとゆうなら誰も文句は言いませんが無理なのは明白です 明らかに今のシステム（核燃料の、お金の、）ではいつか立ち行かなくなることは誰もが思っていることなので、もっともっと政府内で議論して原発を必要としない道を模索し、国民に提示すべきでは？ 数々の事故（死者もでていますよね）を繰り返しながら、危険性を指摘されながら、最終的にとんでもない事故を起こしてしまった。これから反省・議論を尽くしていかず、次に同じこと起こしたら全世界から馬鹿にされますよ
30832	個人	家事専業	40代	女性	原発へのエネルギー依存度を2030年までの出来る限り早期にゼロ、0%とする。 原発・核燃料サイクル（使用済み核燃料再処理）開発・推進政策からの早期、総撤退 再生可能エネルギーの推進	私は、2030年まで出来る限り早期に「脱原発」、つまり原発へのエネルギー依存を0%とすべきと考えます。 理由は、 ・今後、福島第一発電所のような過酷事故が起こらないという保証は、どこにもないこと。 ・放射性物質（使用済み核燃料含む）を無毒化する技術(方法）を、いまだ人類がもたないこと。 ・被曝の特に低線量内部被曝の影響が、政府によって過小評価され、国民の生命と健康を守るための適切な措置がいまだ行われていないこと ・現在、日本列島は地震活動期に入っており、多くの原発が活断層の上にある危険性（可能性）を専門家から指摘されていること。 ・原発は、高コストで高リスクであることが、福島第一原発の事故から、国民の広く知るところとなったこと。 等があります。 2030年までの早期に「脱原発」を実現するために、次のことを要望致します。 ・原発および核燃料サイクル（使用済み核燃料再処理）施設の開発・推進政策からすべて撤退する。 ・定期検査等で停止している原発は再稼動させず、原発の新設・増設は中止する。 ・2030年までに、全原発を廃炉にする。 ・福島第一事故だけでなく、これまで全原発から放出された放射性物資による環境や食品の汚染状況、原発にかかるコスト等、いままで国民に隠されてきた全データを情報開示し、開かれた議論を行い、エネルギー政索に真の民意を反映させる。 ・原発事故の被災者救済、専門家の知見と適切な方法による汚染の除去、放射性物質の管理を進め、国民の健康と生態系への影響を最小化する。 ・原発及び関連施設で働く労働者及び、事故被災者の継続的な被曝管理・健康管理を行う。 ・エネルギー基本計画を見直し、効率化を推進し、一層の節電・省エネルギー政索をすすめる。 ・発送電を分離し、新規発電事業者の市場参入促進、電力事業における不透明性、寡占独占、政官学報の癒着による弊害をなくす。原子カムラの解体 ・人体及び環境・生態系への負荷の低い再生可能エネルギー中心の政索へ速やかに転換する。今まで、原発の開発・建設等にかかっていたコストを、再生可能エネルギーの開発と推進にふりむける。 ・地域主体の多様な再生可能エネルギー事業を支援する ・国民への情報開示、政策決定への参画の進め、電力の選択の権利をもてるようにする。 ・電力事業者の原発依存、高コスト体質の原因である総括原価方式は廃止する。
30833	個人	自営業	30代	男性	原発ゼロシナリオを求めます。	原発反対です。理由はシンプル。危険だからです。 再稼働させたらいつか同じ悲劇が繰り返されます。 原発を動かさないと赤字になるような電力会社（関西電力）の経営がそもそもおかしい。今まで何をやってきたのか。 経済が成長するのに原発が必要だとしたら、その経済社会自体が間違っています。 人間が安心して暮らせない社会に経済成長はありません。 もう原発やめたと思える人が生みだす経済成長に未来はあると思います。
30834	個人	会社員・公務員	40代	男性	未来の子どもたちに安全な国土を残すために、ゼロシナリオを。	唯一の被爆国である日本において、放射線の恐怖は他の国民より身にしみて実感できることではないでしょうか。原発は安全である、ということが神話であって事実ではないということが、この震災以降実感しています。それは、福島原発で起きたことをみれば、自明のことです。核のエネルギーをコントロールすることは、今の技術では無理なことではないでしょうか。これから、安心して日本で生活していくためにも、原発を無くし、自然エネルギーの有効活用を推進していくべきではないでしょうか。

30835	個人	その他	40代	女性	日本国内全原発の即時廃炉を求めます。これ以外に道はありません。3つのシナリオはいずれも適切でないため、このように提案します。	・原発依存度15%シナリオは原発の新設の可能性もあり、20－25%シナリオでは新設を更に増やすことになる。また、原発ゼロ（0%）シナリオも2030年までのいつの時点で行われるか不明確で、このシナリオと他の2つのシナリオとの間のギャップが大きすぎる。昨年3月の福島第一原発の事故で原発がコントロールできない代物だと分かったのに、政府はいまだ国民の安全より、原発維持・推進を重視している事を証明しています。 ・再稼働した大飯原発を含む全国の原発54基について、福島第一原発事故を踏まえた上での安全対策が、いまだ手つかずといっていい状態です。対応が遅すぎ、今後事故を防止するため最大限の人知を尽くす姿勢が全く見られない。周辺住民の避難対策も遅れている。今後の事が非常に危ぶまれます。 ・3．11以来、日本では大地震がいつ、どこで発生してもおかしくないと専門家も指摘している。福島のような原発事故がまた発生しないとは言いきれない。そうなれば日本は文字通り破滅、避難民が逃げる場所さえないでしょう。国会事故調が指摘したように、福島の事故も津波だけでなく、地震も原因である可能性がある。この期に及んでも政府はまだ大丈夫だと夕方をくくっているが、大飯、志賀原発などの下にも活断層があるとも指摘された。いまだにリスクから目を背け続けるのもいい加減にしてほしい。一国の政府として危機意識がなさすぎます。 ・使用済み核燃料（核廃棄物）の問題： 原発を稼働させている限り、増加する一方。放射線濃度が非常に高く、10万年もの長期間安全に管理する必要があるが、安全な処理方法は定まっていない。現存する原発では核廃棄物保管プールも余裕がなくなってきている。直ちに全原発廃炉を求めるのは、このやっかいな核廃棄物を、もうこれ以上、絶対に増さないためです。将来の世代に残す負の遺産は最低限の量に抑えるべき。 （燃料の再処理計画も何十年間も先送りされ、その上莫大な費用を費やしている。また、成功した場合はプルトニウムによる核兵器製造も可能にする。平和利用とは真逆な目的が見え隠れし、言語道断です。） ・原発に関しては、政府、官僚、電力会社が、長年示してきた基本的な姿勢に根本的な問題がある。やる事なす事に嘘、隠蔽があり、非常にいい加減で全く信用できません。誠実性、真摯な姿勢がゼロ。仮に原発依存度0%シナリオが選択されたとしても、このように信頼性の堕ちた政府、官僚、電力会社が携われば、そのシナリオすら、2030年になるまでの間に捻じ曲げられる可能性が大きい。（※を参照） ・産業界も、原発が止まると日本経済がダメになると主張している。本当にそうなのか、具体的な根拠も提示しないので、疑わしい。原発事故が再発したら、産業や経済どころではなくなるが。 ・再生可能エネルギー： 技術開発を進め、高い普及率を達成すれば、経済活性化にも役立つし、化石燃料使用も抑制でき、温暖化を抑えることもできます（地熱、風力の技術は海外でも評価が高い。長い将来のために必要）。むろんすぐには出来ない。一時的に電力供給が不安定になり、経済成長が落ち、CO2発生率が抑えられなくても、それは今まで原発を推進するために政府、官僚、産業界、電力会社があえて再生エネ開発を抑え込んできた結果。仕方がない。 ・全原発が即廃炉となれば、節電・省エネも更に進める必要があります。 政府や産業界（電力会社含む）は、節電は産業や人々の生活を脅かすというが、原発のもつ多大なリスクを考えれば、節電や省エネの割合を高めるべき。日本には高い省エネ技術もあるはず。それによって化石燃料使用も減らせられる。 計画停電が必要になり医療器具が使えない人が出てくる、熱中症が増えるから等々で原発を動かすとは言うが、ただの情けない泣き言に聞こえる。その分他で〇〇%節電しよう、という発想をした方が、節電のノウハウを生み出すし、長い将来にも役立つ。 ・原発は正常に稼働していても、作業員を日常的に被ばくさせる。付近の海水、川の水の温度を何度か上昇させ、環境に負荷をかけ、一種の温暖化を招く。CO2は純粋に発電時にしか発生させないだけ。ウランなどの発掘（作業する人々への被ばくによる健康被害も問題）、運搬・輸送、原発稼働に必要な電源を供給する火力発電等でも、CO2は発生する。 ・原発が止まると雇用がなくなるというが、残念ながらそれはない。廃炉にするにしても、使用済み燃料を処理するにしても多くの人材が必要。ただし、その人々の被ばくは避けられないので、政府と電力会社が十分健康管理および補償を行う必要があるのは言うまでもありません。 ・全体として、原子力発電所に依存するのは、倫理に反する面が多い。 ※＜最近の例＞ ・大飯原発再稼働の理由： 電力不足のためと散々言いながら、結局は電力会社の経営を圧迫しないため、という事が関電の話からも明らかになった。計画停電の可能性をちらつかせたのは単なる脅しですか？再稼働の為の基準はでたらめ。 ・意見聴取会： 明らかなやらせを行った。参加者から批判されてやっと修正したが、九州電力などが既に使った手法をまた使うなど、国民を舐めきっている。ばれない／ばれても文句など言えないだろう／ばれても強行しよう、等と考えていたのでは？ ・原子力規制委員会の人事案： 原子力ムラと深い関わり持ってきた人材が中心。政府は当初、原子力ムラから独立した第三者を選ぶと言っていたが、大きなウソだった。特に、委員長候補の田中俊一氏は過去3年間原子力ムラから離れていたというが、長年その中心におり関わりも断っていない、さらに委員候補者の中村佳代子氏、更田豊志氏は関連団体の現職。 以上
30836	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオを支持します	日本は唯一の原爆被爆国として、それにもかかわらず原発事故を起こしてしまったことを反省して、国際社会において原発との決別・クリーンエネルギー推進の先頭に立つべきである。 二度とこのような悲劇を繰り返さないために。
30837	個人	会社員・公務員	40代	男性	0%を望みます	福島原発事故を繰返してはいけない。 経験から学ぶことが大切。
30838	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発ゼロシナリオを選択します。	不測の事態や事故に迅速で安全な対応をできないエネルギー供給は危険だと考えます。 唯一の被爆国である日本が脱原発運動の先頭に立つべきです。 犠牲の上に成り立つ幸福は、要りません。 日本の財産である、知力で、エネルギー供給を根本から考え直しましょう。
30839	個人	その他	50代	女性	「2022年に原発0」を主張する。 「即刻、原発0」を希望したい所ではある。	1．事故は周辺環境に多大な被害を与え、その影響は地球規模に及ぶ 2．毒性が強い放射性物質である核廃棄物が生じる 3．高レベル放射性廃棄物の最終処分地が未決定 4．放射能廃棄物の処理は、地中深く万年単位で静かに安全に埋める以外の方法は 　現存しない。 5．核燃料サイクルは破綻していて、高速炉は世界でどこも成功していない。 6．ウラン資源の可採埋蔵量に由来する資源枯渇問題 7．地震大国であり活断層だらけの日本には不向きで、事故のリスクが高い。 8．発電施設および核廃棄物へのテロの危険 9．東京電力福島第一原発事故の収束ができていない 以上により、原子力発電は国の繁栄を生むものでなく、むしろ衰退・破滅に導くものであると判断するから。 ただし、廃止のソフトランディングをする為に、10年の時間をかけるのが現実的と思われる。
30840	個人	自営業	60代	男性	3択では原発は出来るだけ早く全廃すべきです、 0パーセント選択支持	日本は広島、長崎であれほど苦しめられた原子力にまた福島で惨事を味わった、いまの人間の能力では原発の完全コントロールは出来なし、そうなら直ちに廃絶にむけ進むことです。 方向が決まれば、社会、経済、国民意識もそれに適合したシステムを再構築する柔軟性がきっとあります
30841	個人	自営業	40代	男性	ゼロシナリオを推進すべきです 再エネの活用は脱原発だけでなく、日本の社会を元気にし世界に胸を張れる国に変えていきます 原子力への幻想に別れを告げ、温暖化問題にも正面から対処する政策を進めるべきです	政府の資料は明らかに再エネのコストを強調し過ぎています。 将来の発電コストを念頭において、政策決定をおこなうべきです。 遅くとも2030年には化石燃料より安く電力をつくれるようになることを念頭に置く必要があります。 原子力だけでなく、石炭火力も野放しにしてはなりません。脱原発と同時に、排出量取引制度などきっちりとした低炭素化のための枠組みを導入すべきです。
30842	個人	会社員・公務員	30代	男性	エネルギー革命ととらえ、ゼロシナリオの実現を前提とし、その為のエネルギー、経済、教育・研究、行政・外交、防衛等の各分野の施策を進めていくべきと考える	【前提】 　ゼロシナリオ実現の為に、原子力の廃止、火力発電の削減・廃止に向けた多角的な施策を実施すべき 【原子力の廃止について】 下記の様な観点から出来る限り早い時期で廃止されるべき ・地勢的環境、運用・安全維持面での脆弱性によるリスク等が明白である事 ・最終処分の具体的道筋が立てられておらず、リスクが次世代におよびかねない事 ・海外への展開も将来的なリスク、不利益となりうる事 なお、下記については限定的な利用を認めるべき ・医療・衛生等平和目的での利用 ・最終処分方法の確立に関する研究等での利用 ・軍事面においては、非核三原則の下、防衛目的の研究に限定 【地球温暖化対策との兼ね合い】 　再生可能エネルギーの比率を上げる為の具体的な計画に基づき、中途の各時点における二酸化炭素排出量目標を定める。 　目標値に従って、火力・原子力の比率を段階的に下げていく計画が望ましい。 【再生可能エネルギーの活用】 太陽光、風力、水力、地熱等、地勢の利を活用した様々な方法を促進・支援すべき スマートグリッド等、産業基盤・構造の刷新も必須 エネルギー革命の一つととらえ、中心的な産業に育て上げる あわせて、技術の輸出等により海外においてもイニシアティブをとる 【省エネルギー化支援・教育】 　省エネルギー促進の為に、全体的目標値と合わせて、具体的なモデルケースを多数公開し、補助等促進事業を活性化させる。 　生活水準や利便性が低下するのではなく、持続可能社会の実現を協力して実現すると言う意識改革を、学校教育や地域行政等を通じ全国民向けに実施 【共通】 　本件は、一国内に限定されるべき事項ではなく、全世界的な持続可能社会の実現に向けた取り組みとすべきである。 　この機会を通じて、日本国として経済・行政、外交・軍事等の分野でのイニシアティブをとるための取り組みとする事が望ましい。
30843	個人	家事専業	60代	女性	原発は即時廃止 経済より命が大事 電気は原発に依らずともできます。原発稼働により出来るプルトニュームはどうするのですか？ 未来に禍根を遺してはダメです。今でも遅すぎます。	政府に拠るエネルギー政策 2030年に0%,15%,25~30%にいずれも反対です。即時廃止を求めます。この地震国に於いて 本来設置すべきで無い原発を国民の目を誤魔化して設置し、なをかつ安全神話を振りまいて国民を騙してきた結果がこの有様です。福島の惨状を尻目に大飯原発を再稼動するなど愚ノ骨頂です。 政府は何か勘違いしていませんか？何でもかんでも国民の目をごまかせると、又国民を能無しの愚か者とでもおもってどうにでも操作出来るとおもっていませんか？　３．11からはそうは行きません。政府の言うことはみんなウソだと言う事が分かってしまったからです。 ですから原発は即時廃止です。他は認めません。 国民の声をよく聴くことです、白紙委任している訳では有りませんので宜しく！！
30844	個人	その他	60代	男性	原発事故後は、核エネルギーを止め、再生可能エネルギーを大幅に増やすよう政策転換をする。再生可能エネルギーは、輸入に頼らず自前でエネルギーの自給率を高めることができるという、大きなメリットがある。	今後のエネルギーのあり方 日本はこれまで、エネルギー源として化石燃料と核エネルギーを主に利用してきたことから、その殆どを輸入に頼り、エネルギーの自給率が10%未満と著しく低かった。原発事故をきっかけとして、核エネルギーを止め、再生可能エネルギーを大幅に増やすよう政策転換をすべきである。再生可能エネルギーは、1箇所で大量のエネルギーは得られないが、輸入に頼らず自前でエネルギーを確保できる利点があり、エネルギーの自給率を高めることができるという、大きなメリットがある。短期間に大量の再生可能エネルギーを確保するのは難しいと宣伝がされている。しかしこれまでの電源三法交付金を再生可能エネルギーつぎ込めば、実現可能なことである。
30845	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます 今　私たちは　原子力を制御する力を持っていません 事故後の後始末も出来ない状態で　原発稼働を続けることはあまりにも無責任だと思います 風力発電や　太陽光発電の可能性を　これからの経済の発展にも関連させながら　前向きに取り入れていくべきだと思います

30846	個人	家事専業	40代	女性	日本は原発の立地に適さない巨大地震と津波の被害を受け得る国です。どんな優秀な専門家も巨大地震と津波を予測、対策することは困難です。したがって、原発ゼロシナリオを強く希望します。	日本は原発の立地に適していない、巨大地震と津波の被害を受け得る国であることを明確に認識すべきです。したがって、2030年までの早期に原発比率をゼロとする、ゼロシナリオに賛成です。 今回の福島第一原発事故の根本的な原因が何であったのか。それは巨大地震であり、津波です。我が国は世界有数の地震国です。国連開発計画（UNDP）による報告書「災害リスクの軽減へ向けて」(2004年8月)によりますと、我が国は、マグニチュード5．5以上の地震が起こる頻度が世界第4位です。巨大地震と、そして国際語にもなってしまった津波の危険性にさらされている我が国の特殊な立地条件を十二分に考慮していただきたい。 我が国には既に56基の原発が設置、稼働されてきました。すべての原発が津波の被害を受け得る臨海部に設置されています。福島第一がそうであったように、今回のような巨大地震と津波の影響を想定外として設置されてしまった経緯があります。 改めて、日本は原発の立地に適していない、巨大地震と津波の被害を受け得る国であることを明確に認識すべきです。 さて、原発ゼロシナリオの場合、経済にマイナス影響必至であるから、原発ゼロ依存はあり得ないとする意見があります。しかし、2009年の10電力会社の合計の年間総発電量は957TWhで、そのうち原子力発電による発電量はその29%にあたる278TWhです。2009年の原子力以外の発電による発電量は、年間総発電量から原子力発電による発電量を引いた、957－278TWh＝679TWhとなります。これは1985年の総発電量584TWhよりも多いことになります。したがって、1985年当時の電力消費量に戻せば、原子力発電所を全部止めてもやっていける計算になります。 したがって、無駄な電力を消費しない節電を国民全体が心掛けることで、原発をゼロにしてもかなりの部分は対応可能と考えます。 また、原発がなくなると電力価格が高騰して、ものづくり企業が海外に出ていってしまい、ものづくりの空洞化が起こるとの意見があります。しかし、海外に出ていかなければならない企業は、それでよろしいかと思います。国内に生産拠点を限ることなく、経済合理性を考えられて、海外に生産拠点を移されることで問題はないかと思います。と申しますのは、このように海外に出ていくとおっしゃる企業のほとんどが、実際は競争力も資金もある一貫生産、大量生産型の大企業だからです。このような大企業の多くでは、すでに、海外での生産拠点確立が原発事故前から進められているのが現実です。 今後、日本は、一貫生産、大量生産型のものづくりではなく、高度な知的情報や中小企業や職人技能に代表されるような付加価値の高い多様な製品を生み出す新たなステージのものづくりの国に生まれ変わっていくべきです。 さらに、原発の代替エネルギーとしては、地熱発電と風力発電（地上と洋上）、さらに オイルサンドシェールなどの組み合わせを提案します。 地熱発電に関して、我が国は、世界有数の火山大国です。資源量として2347万kW、世界第3位の地熱資源量を保有しています。地熱発電だけで原発23基分の電力を供給できるとの試算があります。地熱発電機補地の多くが国立公園や国定公園に指定されていて発電所を建設しにくいようですが、放射性物質を東日本の自然環境にばらまいてしまった原発と比べて実質的にクリーンです。環境行政が行き過ぎにならないようにすれば、国民の理解は得られると思います。 　次に、風力発電ですが、陸上、洋上を合わせて原発代替分のエネルギーを手かなえる再生可能なエネルギーとして注目されています。しかし、天候任せの不安定さがありますから、地熱発電、オイルシェールと組み合わせて、風力発電の不安定性を補うべきと考えます。 　次に、オイルシェールですが、現時点で220年分程度の埋蔵量が既に見つかっています。オイルシェールを活用できるよう、日本も技術と資金両面で大いに貢献すべきです。 今後、地熱発電、風力発電、オイルシェール開発に我が国の技術と資金投入を積極的に行うべきと考えます。特に我が国はこれら発電に適する材料開発の点で、非常に貢献できるのではと考えます。 原子力の設置、開発に投入する予定であった巨額の資金を、これらの新エネルギー開発に使途を変えることで、新エネルギー開発が飛躍的に進み経済的効果も期待できるのではないかと考えます。 原子力研究開発機構等の原子力関連研究団体は、福島第一原発処置の今後の対応と、国内56基の原発の安全な廃炉へ向けた技術開発を行うべきと考えます。特に、大量の核廃棄物をどのように永久的に処置するのか。候延の深層地下処理設備のようなものを作るのも、国民の理解は容易には得られないと思います。 原発は電力が安いと誤解している方が経済界を中心に多くいらっしゃいます。しかし、核廃棄物の永久保管管理や、福島第一原発の後処置、原発事故による健康被害、農水産業、観光業の被害、海洋や山野の放射能汚染などのコストを、原発が発電する電力のコストに含まないまま、電力が安いと誤解されていることは、甚だ遺憾であります。
30847	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発ゼロシナリオを選択	（1）絶対安全な原発はありません。 （2）事故が起こると被害甚大です。 （3）全原発を廃炉とし、核燃料サイクルを廃止すれば、莫大な維持管理費を大幅に減らすことができ、再生エネ発電賦課金や火力発電用の燃費増加分を相殺できます。さらに、現行より一般家庭で月に600円ほど安くなります。企業用電気料金も安くなるので、産業界にもメリット大です。 （4）電気は足りています。現在2基の原発が動いていますが、暑い日でも電力使用率が90%を超えたことはほとんどありません。仮に、2基の原発を止めても十分余裕があります。 （5）原発を動かすと、10億年以上隔離が必要な使用済み核燃料が年間100トン発生します。1トンの使用済み核燃料の放射性物質は1000年後、琵琶湖の水量で薄めても飲めないほど、環境を汚染します。 （6）原発は発電エネルギーの2倍の熱量を捨熱し、海水を温めます。地球温暖化を加速し、地球環境を悪化させます。 よって、原発ゼロシナリオを選択します。
30848	個人	会社員・公務員	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します。	「原発ゼロシナリオ」で即時0%を希望します.
30849	個人	その他	40代	男性	ゼロシナリオを支持します。	東京電力福島第一原子力発電所の事故の教訓を受け、2度とこのようなことがあってはならないため。
30850	個人	無職	70代	男性	0パーセントにする。原発は稼動すればするだけ、放射能廃棄物を出す。その廃棄物は永久と言って良いほどの長い間放射能を出し続ける、大変危険。今回のような事故になれば、収拾も付けられない。人間の使うものではない。	原発は安全だと言いながら、国民を騙していた。そして原発を設置すれば、その地域の行政に金をばら撒いてきた。危険かもしれないと不安を持ちながらも、金につられて原発を設置した地域が多いでしょう。それが危険を大きくしている。それは政治の堕落をも招いた。 　今回の事故は今までで最悪の大事故にもかかわらず、国民にはさほど危険では無いような報道をさせた。事故原因の正確な把握も出来ていないし、報告もでたらめだった事があった。隠蔽と騙しのやり方で正確な報告も出来ていない。 　さらに事故の責任を取るべき東電が全財産をなげうっても保障をしなければならないのに損害賠償を渋っている態度は許せない。 　原発を造るのでなく、もっと早い段階から、自然エネルギー開発に取り組むべきだった。地球に生きている者の命を大切に考えて来なかったと言われても仕方が無い。 　原発は全部廃棄にして、急いで自然エネルギーの事業に取り組む事です。
30851	個人	その他	40代	女性	今回の福島県の事故を受けて、原子力のないエネルギーを目指すべきだと思います。	これまでは、電力会社の採算を重視して原子力発電が推進されてきたが、このような事故に対して、十分に対処することができないことが証明された。 これを機に、日本人は厳粛に受け止め、当面は将来の子供たちへの負担をふやさないために、原発ゼロへの動きへと、早急に転換すべきだと思います。
30852	個人	会社員・公務員	50代	女性	0%にすべきです。人間の手によって制御できないものを人間が作ったことが間違いです。現に福島の原発事故の収束のめどがついていません。日本は自然エネルギーの宝庫です。一番大切なのは命です	大飯原発はすぐに停止をしてください。日本にある全ての原発を廃炉にしてください。今までマスコミを通じて原発はクリーンで安全であることを大宣伝してきましたが、それがクリーンでも安全でもないということがチェルノブイリや今回の福島原発の事故で誰もが思い知ったことです。もう以上原発の被害を出さないでください。原発事故で誰も死んでいないといわれる人がいますが、そうでしょうか。「原発さえなければ」と書き残して亡くなった方がいるではありませんか。原発事故の被害者は、「原発さえなければ」・・・多くの方がそう思って暮らしています。もうこれ以上の犠牲者を出してはだめです。人類が住んでいられる地球を次の世代へ残しつづけていくことが、今この地球で住んでいる私たち人間の責務です。誰がどんな理由で原発は残したいと言っているのでしょうか。本当に残したいと思っているのは、原発で儲けたい人だけでしょう。ノーモア広島、ノーモア長崎、ノーモア福島　原発0を切に望みます。 原発がなくても日本の電力は自然エネルギーで十分足ります。自分の家には太陽光発電を早くから設置して節電にもこころがけています。原発0にするためやれることはなんでもします。この地球で一番大切なものは命です。
30853	個人	自営業	40代	男性	原発ゼロを希望	原発問題はエネルギー問題ではない。 命の問題。 怠け者の僕にとって便利、効率的もとても魅力的だけど、幸せな生活を一番に考えると原発は現状否だ。
30854	個人	その他	30代	女性	(1)ゼロシナリオを選択します。 この3つの選択肢の中からどうしても選ばなければいけないのであれば(1)になります。 それ以外の選択肢は考えられません。	ゼロシナリオでは「2030年までに」と書かれていますが、私は即時ゼロを求めます。 使用済み核燃料の処分方法も確立していない状態で、原子力発電を続ける事は無責任だと思います。 まして、福島第一原子力発電所が収束をしていない上、海外にも多大なる迷惑をかけ、その後始末も出来ていないのに、原子力発電を続ける事は無責任だと思います。 原子力発電に関しては絶対に安全という事はあり得ません。 命より大切なものはないと思います。 その命をかけてまで、命を危険にさらしてまで、原子力発電を続ける意味がわかりません。 以上の理由から、即刻廃炉を強く求めます。
30855	個人	会社員・公務員	50代	女性	「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきである。	3・11の福島原発事故で原発の危険性が明らかになった。近い将来相当大規模な地震が想定される日本で安全性を保てない原発を続ける事は、生命や自然環境を無視した無謀な政策である。使用済み核燃料をどうするかという技術面の問題や処分場をどうするかの問題などが不確定な中で、原発の稼働を続ける事は許されない。将来の子どもたちにどうする事も出来ない危険な放射能を残す事になってしまう原発をなくすことが第一であり、「ゼロシナリオ」以外に選択肢はない。原発に代わる自然エネルギーの拡大に努力すべきであり、その事が新しい日本の経済成長にもつながると考える。
30856	個人	家事専業	40代	女性	原発即停止のうえ、2030年の時点でもゼロをキープすべきです。	原子力は現時点では人間の手に負えないもの、危ないものは危ないのです。奢りと過信を捨て、先祖から受け継ぎ子孫へ渡していく土地や自然をこれ以上汚さないという謙虚さを持つべきです。 安全な廃棄物処理方法、廃棄物保管場所、安全確実な廃炉技術、事故発生時の放射線防護対策、事故発生時の拡散放射性物質の除去方法、海洋汚染への対処方法、原発労働者の人権問題や厳しい健康管理、すべてが未解決および解決不能です。それなのに平気で原発を続けて行こうとする何の反省もないこの傲慢な姿に日本の未来の繁栄はありません。私の受け継ぐ土地も原発事故で汚されましたが、除染の手立ては未だ分かりません。 現代日本人は1人当たり時間当たりで、地球が太陽から受けるエネルギー以上のエネルギーを消費している、そのことをよく考えるべきです。風や波や太陽光や地熱や森林、今手に入る範囲で自然のホメオスターシスを損なわない範囲でエネルギーを消費すべきです。何も策を打たないまま都市一極集中社会を作ったのは官僚ですが、これをやめて地方分散、地産地消型の社会にしていくことも重要です。都市に緑を増やし、気密性が高く風通しのいい建物にすれば、隔風機だけで十分夏を乗り越えられる、それらな原発は即停止でも当面も充分やっていけます。 経済面を見ても、目先の利益にとらわれて原発にしがみつき変われないこと、そのこと自体が日本の将来性を潰すのです。がんじがらめの規制で新しい産業を潰さず、利益を上げられない企業を後に守らないことこそ、政府がすべきことです。政府、官僚は国民より優れているとお思いでしょうか。歴史を振り返れば政府こそが愚かです。多くの国民が選ぶ道を政府は裏々とただ実行し
30857	個人	その他	30代	女性	自然エネルギー産業は経済発展に繋がる。安全性・公平性・透明性・そして恒久の平和の為に、エネルギー転換を。	現時点で、原子力発電の後が人類で処理不可能ということは明確。また、使用済み核燃料も、ただ保管しているというだけで、放射性物質は消えていない。政府は、脱原発と言いつつも、官僚や経済界との結びつきで、再稼働にまでこぎつけて、エネルギー政策も不透明になっている。 たとえ、3年後に原発で経済が維持出来ても、20年、30年後までに事故が無いまま運転出来るかどうかの保証はどこにもない。 今すぐに、自然エネルギーへシフトすることを国策として、もっと開発にもカを入れるべきだと思う。 今の日本は加害国になった。 ここでエネルギー先進国としてのイニシアチブをとっても良いのではないだろか。 目先の利益だけでは、国益は守れない。 国益は国民の安全と健康によって生み出されるものだということを忘れてはならない。 機械が利益を生んでいるのではなく、人の力で経済が動いている事を再認識し、これまでの過ちを反省して、真の21世紀に向かうべきだと思う。 未来に受け継ぐ国として、革命を起こして欲しい。 それが日本国の存在意義であり、先進国といわれる本来の姿だ。 原発依存は無し、つまり0%は不可能でない。 それもすぐに出来る。 0%を主張します。
30858	個人	会社員・公務員	20代	女性	1番の0%を願います。	2030年までではなく今すぐ全て廃炉にすべきです。 電力が足りないなどというまやかしはうんざりです。 チェルノブイリや福島に学ぶべきです。
30859	個人	会社員・公務員	20代	女性	原子力発電を全て廃炉にして、一切利用しない社会にしてほしいです。 原子力につぎ込んできたお金を再生可能エネルギーにつぎ込んで代替エネルギー技術をはやく確立させてください。	実際、メルトダウンして、放射性物質が垂れ流されているのに、なぜ原子力発電所を再稼働したのですか？ 原子力発電が生み出すメリット以上に、被災した際に汚染された土壌や、人やこれからそこで生まれてくる人たちへの被害は、絶対に大きいのに、困るのはその土地にすみ、原子力を受け入れざるを得ない貧しい人たちなのに、どうして原子力をすすめるのですか？ お金のない国民のことは、どうなってもいいと思っているとしか考えられません。 原発は、全て廃炉にして下さい。経済活動より健康や命がゆうせんではないのですか？
30860	個人	自営業	60代	男性	（1）ゼロシナリオを支持。 （2）健全な国土（海域を含む。）の維持（放射能汚染の回避）を最優先課題とする。 （3）核のごみをこれ以上増やさない。 （4）基礎認識として、人は核を制御できない。	（1）ゼロシナリオを支持。 　省エネと再生可能エネルギーを最大限に活かす選択を支持します。その分野での技術、社会システムの構築で世界をリードすることを政策目標にしてほしい。 （2）健全な国土（海域を含む。）の維持（放射能汚染の回避）を最優先課題とする。 　経済成長や企業の競争力の維持のために、原発が必要との議論があり、原発賛成に対する会計上の理由から、稼動時間を少しでも長くしたい背景もあると聞きますが、国民の生存基盤であり、国家の存立基盤である国土を第二のフクシマによって、さらに毀損すれば、日本のダメージは計り知れず、原発を残すメリットは吹き飛んでしまうでしょう。 （3）核のごみをこれ以上増やさない。 　現在の世代が電気を得るという便益を享受しながら、数万年の間には究極の地球環境破壊をもたらす可能性のある、核廃棄物という容易ならざる負の遺産を後の世代に残すことは、倫理上許されないと考えます。 （4）基礎認識として、人は核を制御できない。 　原子炉においては、一旦異常が発生すれば、備えていたはずの防護機能が働かず、事態が深刻化することを福島の事故が教えています。複雑なシステムが正常域から外れたときに、システムに起こり得るすべての事象を予測することは至難であると思います。「安全」という場合も、そのときの知見の範囲での安全が最大であり、知見があっても、予測される不都合な事象を過小に評価すれば、「安全」の意味はもっと狭くなります。特に、地震国の日本において、安心できる原発があり得るのかについては悲観的です。
30861	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発稼働率0%を支持いたします。	三つの選択肢の議論の前に環境エネルギーを主役に産業改革すれば経済の空洞化に歯止めや若者の雇用の促進になります。「原発ゼロシナリオ」を前提に環境エネルギーの比較を議論する時期だと思います。
30862	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は早急に再稼動すべきだ。今回の震災を教訓に安全技術をより高め、さらに進んだ原発システムの構築に力を注ぐべきで、まず縮小ありきではないと思う。豊富で安定した電力供給こそが国民生活と産業の礎である。	原発は再稼動し、さらに発展させるべきだ。日本の経済繁栄のためには、豊富で安定した電気の供給が不可欠であり、電力事情の悪い諸外国もあの巨大地震にも耐えた（ただ津波対策は不十分だった）日本の原発技術の導入を願っている。だから、日本は今回の震災を教訓にして安全技術をさらに磨き、もっと進んだ原発システムの開発にこそカを注ぐべきだ。 　性急な自然エネルギーの導入は国民の経済的負担が大きく（先発のドイツは既に縮小することを決定）、電力供給の不安定化をもたらす面が懸念されるので、もう少し時間を掛けて取り組むべきものであり、こんぺき方向性は結果的には、火力発電に再び頼りすぎる島国をもたらすものでもある。資源の乏しい日本は安全保障の観点からも、化石燃料の輸入に頼りすぎず、長期にわたって自前の電力供給が安定的に可能な原発の優れた面を切り捨ててはならないと思う。 　放射能漏れによる死者はゼロであるが、たとえば節電を意識しすぎたお年寄りの熱中症による死者はゼロではない。死者の数から言うと、減少してきたと言っても1万人以上の死者が毎年出る車による交通事故や、近年、経済的事情からやむなく自らの生命を絶つ方々も増えてきた自殺者3万人という数の方が、もっと声高に我々が取り組むべき現実の課題である。<br　今は、日本の国をもっと強くする時である。さもなくば、被災地の復興もままならない。持続的な経済成長による二国の繁栄を実現するためには、安定した豊富な電力供給が欠かせないものである。諸々の規制をなくし、自由競争のもと、将来の世代に重税や不況のツケを回すのではなく、世界を牽引していくだけの日本の夢と技術力を続いていく時である。<br　過剰な放射能と反原発報道を冷静化させ、もっと学術的観点や国益の観点から政府には日本を導いて頂きたい。
30863	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発依存0%「ゼロシナリオ」以外に私達の未来を守る道はありません。	原発依存度を単に低減して放射能の危険はなくなるものではありません。 原発の使用済み核燃料をどう処理するかの技術も処分場も不確定な中で、原発を稼働していくことは大変無責任なことです。将来の子どもに向け、どうすることもできない負の遺産を残すことになる原発は、即刻廃止すべきです。 また、近い将来、大規模な地震が想定される中で原発の安全性を保つことは不可能です。3．11の福島原発事故後の日本の対応を世界中が注視しています。命や生活の全てを奪う危険のある原発については、「ゼロシナリオ」を決定し、自然エネルギーの拡大に努力すべきです。それこそが、新しい日本の発展に繋がる道です。
30864	個人	無職	20代	女性	原発ゼロシナリオを支持します	311以来、原子力について深く考え、調べた結果、原子力発電所にあるべきものではないと思いました。 本来であれば危険な地域で子供たちが遊んでいる様子は胸が痛みます。 どうか原発をゼロにしてください。
30865	個人	会社員・公務員	50代	男性	60年も研究して放射性廃棄物の処理もきまっていない、もう地震が来ないと決めつけたかのように再稼働。原発は安全安全は神話？。電力は原発なしでも	何も無ければ安全に稼動出来る、というのは一度事が起きれば何も手を打てないに等しい。5重の安全、笑ってしまう。そんなのは安全ではない。米国でも原発から撤退、化石燃料のシェールガスで国内電力の需要を賄っている。日本には地熱や水力、ガスコンバインド発電など外国に売れる技術がある。国家を挙げて脱原発、廃炉に向かうべきである。

30866	個人	法人等	40代	女性	できる限り早く、原発ゼロの日本を目指す方向とその計画を示してほしい。	まず原発ゼロの日本を目指す方向を明確に政府に国として示してほしい理由についてです。 原発に依存するということは、人間が完全には管理不可能な放射性廃棄物を永遠に増やし続けるということです。3、11により起こった原発事故から学ぶべきは、原発は人間にはコントロール不可能であること、そして経済や便利さよりも何よりも優先されるのは自然と人間の命、地球を大切に考えることです。経済も便利な生活も健康な地球、命があってこそです。 現代の生活においてエネルギーが必要なことはいうまでもないと理解しています。有難いことに、そのエネルギーを得るために原発以外の可能性があるのだから、移行していくのが当然と考えます。なぜ、あれだけリスクの高い方法～原発に少しでも頼るのか、ましてや一度、事故を起こしてしまったにもかかわらず、原発を継続し続けるのか理解できません。原発の近くに住んでいた多くの人々の生活を奪い、原発から離れた距離に住む多くの人にも不安を与え、多くの土地を汚染してしまったという事実があること、そして奪われた生活は戻っていず、その不安は解消されていず、汚染された土地は元通りになっていないという事実があること。これらのことを考えれば、原発ゼロの方向を求める理由としては、十分です。 また、私は幼児教育に携わる仕事をし、また高校生の子供の母親でもあります。教育に携わる大人として、また社会の一員として子供たちの育つ環境に責任があります。目に見える物質的環境として原発に頼らない、自然も人間と同じく生き生きと、安心して生きていける環境が重要であるとともに、大人たちが何を大切に考えて社会を作っているかということもとても大切な環境の一部です。その考えを表す形で目に見える環境ができていきます。国が何を大切に考えているかは、その決断によって明らかになります。人間や自然の命をさしおいても、経済活動を第一に考えるのか、本当に命、未来、子供たちのことを考えた健康な社会、日本を目指していくのか。本当に大切なことがないがしろにされる考えをもとに社会を作っていくのならば、子供たちが命をないがしろにする行動や自然を大切にしない行為などをした時、どのように教え、または国が、犯罪を裁けるというのでしょうか。全く矛盾してしまいます。 福島での原発事故がおこったにもかかわらず、原発をやめずに、今度、同じような原発の事故が起こったなら、国民の信頼を取り戻すことは更に難しくなり、環境の面からも日本に安心して住み続けることはできないと判断することもあり得ると思います。今回の原発事故の為に、福島近くから関東より西に避難した方は多くいましたが、再び原発事故が起これば、日本から避難する人が多く出ることもあり得ます。そして、それは命や子供の未来を守るために当然の行為です。そうなれば、国自体が危うくなります。補償の面からも国が対処できる規模を超えてしまうと予測できます。 子供たちが、安心して育ち、社会をつくっていく大人に生きていく上でのお手本を見出せるような日本となっていくことを切に願います。自分の生まれ育った日本を誇りに思い、愛し続けられるためにも、本当に大切なことが守られる日本であってほしいと願っています。
30867	個人	家事専業	40代	女性	原発やめましょうよ	人が「止まれ！」と言っても、即座に止まらない原発 福島の原発で思い知りました それまで知らないと言っても良いくらい 原発の存在すら考えた事ありませんでした 毎日市内の有線放送で放射能の計測結果が流れます お天気予報のような当たり前な感じで 那須高原でホテル勤務している母が 風評被害で閑古鳥のホテルから解雇されてしまいました 原発以外で電気作りましょうよ
30868	個人	会社員・公務員	30代	男性	「原発ゼロシナリオ」を選びます	「原発ゼロシナリオ」を選びます。 どこで地震が発生してもおかしくないこの国にこれ以上原発を置いておくことには反対です。原発からの廃棄物、使用済み核燃料の処分方法が決まらない状況での再稼働には同意できませんし、これ以上使用済み核燃料を増やさないためにも全原発の即刻廃炉に取り組むべきです。自然エネルギーの利用の普及や省エネルギーの取り組みを推し進めて欲しいと思います。
30869	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発はゼロに	原子力を制御する技術は未確立であり、一方で処理不能の放射性廃棄物を大量に生み出す原子炉は直ちに廃炉にすべきです。
30870	個人	無職	60代	女性	原子力発電への依存ゼロの日本になるよう希望します。わが国のもつ技術力を総動員して原子力ゼロをめざすこと、これが福島の人々の犠牲に報いる唯一の道と思います。	1. 日本の技術力からすれば、原子力に頼らない方策はすでにあります。蓄電池、分散型発電、発送電システムの変更など。原発ゼロ社会がオール自然エネルギー社会なのではありません。原発よりはるかに発電効率のよいコンバインドサイクルの火力発電を併用し、上記方策を地域ごとにきめ細かく実施すれば、エネルギーは大丈夫のはずです。 2. 福島の原発事故を起こしてしまった今、たとえ大きな困難があろうと、原子力からの脱出を国が決断すべきです。2030年といえば、今年生まれた赤ちゃんが18歳になる年ではありませんか。人口が減っていくこの時代に、私たちの次代を背負ってくれる若者に原発ゼロの社会を準備しようではありませんか。
30871	個人	会社員・公務員	50代	男性	現在の原発廃止に関する意見	・昨年の原発問題が、現在も解決していないのに再開をすることを承認することに納得がいきません。今も原発事故で苦しんでいる方々が中で、なぜ原発が再開できるのでしょうか。 福島の原発処理をいつまでに、どのように解決していくのか、全くわかりません。具体的に、どのように解決をしていくかをもっと、国民に示すべきではないでしょうか。今も、福島に戻れない 方々、仕方なく福島に住んでいる方々の保証が進んでいるようにも思えません。子供たちが一番かわいそうでなりません。これから10年先、20年先に健康障害が発生したらどのように対処して いくのでしょうか。全く見えません。また、瓦礫問題も一向に解決が出来ていません。こんな状態で、原発再開などもってのほかだと思います。 国は、現状の解決策、将来に向けた対応策、子供たちのこと等々もっと明確に示し、国民が安心して住める日本にするべきです。 従って、原発廃止を提言します。
30872	個人	その他	60代	男性	原発はただちにゼロとすべきだ。世界の地震大国である日本に原発を設置すること自体が間違いだ。さらに核のゴミも処理できず、未来につけを回す原発は社会的に、論理的に、倫理的に稼働させるシステムではない。	(1)原発はウランの採掘からウラン濃縮、搬送、稼働、保守、点検、処理にわたる一連の作業で被曝労働者を生み出さざるを得ない犠牲の連鎖で成り立っている。フクシマの原発事故処理にあたる原発労働者自身が被曝線量隠しもせざるを得ないような労働環境も明るみにされたばかりだが、最前線の原発労働者にそうした犠牲を押し付けるシステムそのものだ。 (2)原発は稼働に伴い、低レベル放射性廃棄物、高レベル放射性廃棄物、いわゆる核のゴミを生み出すが、その核のゴミを処理できる方法が未だに確立されていない。いわゆる「トイレのないマンション」そのものであり、稼働すればするほど、最終処理ができない核のゴミという危険を上積みしてゆく決定的な欠陥構造物だ。 (3)核のゴミは、例えばプルトニウム239のように、半減期だけでも2万4000年、最終的に3000世代後の10万年先の世界まで放射能汚染を持ち込む。現代人が自己の利益のために将来の子孫、未来の人々につけを回している。そもそもの初めから近い未来や遠い未来に迷惑をかけている。いや、もはや未来に対する「犯罪」であるともいえる施設であり、人類として、人間として根源的に倫理的に許されない代物だ。 (4)いったん今回のフクシマの原発事故のような過酷な事故を起こせば、住み慣れた故郷を放棄せざるを得ない多くの住民と心身に大きなダメージを与える膨大な原発難民を生み出す。とくに子供たちに甲状腺ガンなど、将来のリアルな健康不安を抱えさせ、子育て世代に不透明な不安や解消できないストレスを日常的に引き起こす不安施設だ。 (5)過酷な事故を起こした原発から飛散した放射能は地元の村や町や市、さらにいくつもの県にまたがる広大な土地や海原、川や湖、森や林、田や畑、園庭や校庭などを放射能で汚染させ、日常生活はもちろん、農業、漁業、林業に大きな悪影響を与え、それまでのふつうの生活を根こそぎ揺るがす現代の怪物であることがわかってしまった。 (6)これだけでも原発即時廃炉の理由になるが、もともと世界で起こるM6・0以上の大地震のうち約20%は日本で起きている。つまり地震や津波を繰り返し受けざるを得ないことを全m邸にした自然条件にある国家・社会でありながら、大自然の影響を受けざるを得ない原発を設置していること自体が大いなる誤りだ。 (7)さらに言えば、民間、国会、政府などの事故調査の結果が発表されているが、どの報告でもメルトダウンした事故の原因を特定できず、推定で原因を述べているに過ぎない。未だに事故現場に踏み込んで検証できないためだが、事故原因もわからず、ほんとうにしっかりした安全対策が施せるわけがない。そのうえ事故が起きた際の司令塔となる免震棟の設置なども先送りのまま、大飯原発3、4号機を再稼働させたのは狂気の判断でしかない。 (8)今後は国内の原発を即時に廃炉としたうえ、天然ガスなどを生かした火力発電や水力発電をさらに活用する一方、太陽光、風力、地熱、波力など再生可能エネルギー分野に国策として大いに力を入れて、小規模・分散型のエネルギー政策を進めていくべきだ。国家として、そうした分野に向けた決意、方法、日程を示し、それへの投資や支援、周知などによるテコ入れも大いに取り入れるべきだ。 (9)今の政府の方針はフクシマの過酷な事故から学ぶべきほんとうの教訓を得ていないといわざる得ない。ドイツは高度な技術国家である日本のフクシマで起きた事故に衝撃を受け、かえって、今回の事故から学んでいる。ドイツ政府は「脱原発」の方針を明確に打ち出したが、それを促した「ドイツ倫理委員会」の示唆に富んだ報告書を生かしながら、さらに当事者として「原発安全神話」から抜け出し、ドイツを上回る「脱原発」の確固たる指針を世界各国に示すべきだ。
30873	個人	無職	60代	男性	原発事故原因究明と対策が提示される前に、原発の比率を軸とした「エネルギー政策」を決めるべきでない。	民間・東電・国会・政府の4つの報告書が出揃ってから約1ヶ月経過するが、その後の動きはない。 国民に選択を提示する前に国会に調査委員長を招致して事故の究明と対策を図ることが先決である。 国の最高機関である国会で調査権をフルの発揮してもらいたい。それからが2030年を見据えた日本のエネルギー施策を決定すべきです。
30874	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発は安全ではありません。今後も大きな地震が起きる確率の高いわが国には 原発は適切ではありません。	原爆の被害に遭った唯一の国なのに，原発は違うなどとは到底認められません。
30875	個人	自営業	30代	女性	日本に存在する原発は全て止めて、廃炉にする政策を行ってほしい。	原発がなくても、火力、水力、天然ガスなどの既存のエネルギーで十分賄えるため。 湯水のごとくエネルギーを使う今の生活をあらためて、もっと自然に沿った生活習慣に改めるべき。 日本にはたくさんの無駄があります。無駄にたくさんのものを作って、売り、捨てる。富は一部に集中する。これを経済発展とよぶならば、経済など発展しなくてよい。 少しのエネルギーで、物や食べ物を大切にし、皆で分かち合って暮らす。そんな暮らしの提案をしていきながら、地熱発電などの自然エネルギーへシフトしていけばいいと思います。 原発はいりません。核のゴミをこれ以上増やしたくありません。子どもに負の遺産を残したくありません。だれも責任のとれない原発という政策はやめてほしい。税金の無駄遣いの六ヶ所村核再処理工場、もんじゅもやめてほしい。
30876	個人	会社員・公務員	20代	男性	この3つの選択肢ならば、「ゼロシナリオ」を選択します。	選択肢では原子力による発電を2030年までのなるべく早期に0%にするとなっていますが、私は今すぐに0%にするべきだと思います。 福島第一原発事故に対して首相は「収束宣言」をしましたが、事故は全く終わっていません。原因究明や安全対策も終わっていません。避難を余儀なくされている方々がまだたくさんいます。なのに、大飯原発を強行に再稼働する。私は絶対に許せません。安全対策も完全に終わっていないのに、また同じような大地震がきたらどうなるのでしょうか？また同じことが起きるのは確実です。私の実家は福井県にあります。私の家族はどうなるのでしょうか？不安でたまりません。 安全に絶対はありません。国民の命と電気どっちが大切なのでしょうか？ 私は電気が多少足りなくなってもよいです。なぜなら電気よりも大切なものがあるからです。そもそも原発がなくても電気は足りています。 原発をもつ自治体への補助金がなくなると、そこに住む人の生活が成り立たないといった意見があります。しかし、補助金に頼る自治体に自立した経済は成り立ちません。そもそも補助金に頼らなくてはならない状況にしたのは誰でしょうか？自立できる仕組みを作るのが政治家であり官僚の役目ではないのですか？それを放棄し上手く利用する。国民を馬鹿にしないでください。 原発につぎ込むお金があるならもっとクリーンエネルギーの開発に力を入れて欲しいです。 また、脱原発に向けたデモや集会には何万人も参加しています。こういった多くの声をなぜ無視するのでしょうか？もっと国民の声を聞く耳を持ってください。 日本には2度原爆を落とされました。そして福島の事故が起きました。それでもなお原子力に頼るのであれば日本は全世界の笑われ者になってしまうでしょう。 未来のこども達が安心して暮らせる国にするため、私は即時原発ゼロを訴えます。
30877	個人	会社員・公務員	40代	男性	電気が不足しても人は、知恵、助け合いがあります。原発問題は、人が死にます。生死の選択、原発はいりません。原爆を経験したのに…原発＝原爆、日本を攻撃する気ですか？人は失敗します。原発も失敗します。	1.昨年も節電のため、輪番操業とかありました…文句はでましたが、国民は乗り切りました。原発に問題が発生し、放射能が漏れればどうやっても国民は乗り切れません。こんな簡単なことが何故解らない人がいるのでしょうか？解らない人には、たぶん別の問題があるのでしょう。原発が無いと明日のご飯が無い…とか…原発を動かさないと何が本当に問題なのかを明確にして対応をとるべきだと思います。現時点、7割の人が原発を要らないと言っています。その7割の人が力を合わせれば、3割の人の真の問題を解決することは可能だと思います。原発を動かす動かさないの議論ではなく、真の問題解決に時間を費やして下さい。 2.原発は人の生活を助ける良いものだと勘違い(洗脳されているのかも)している人がいませんか？良いものは、人を不幸にしません。原発は本当に人を不幸にしませんか？核融合はすごいエネルギーを発生させます。現代、快適に過ごすためにはエネルギーがたくさん必要です。断片的には人を幸せにしていると思いますが…人を幸せにする保障はどこにも見当たりません。爆弾を抱えている現実に何故気づけないのですか？ 3.人は誰でもミスをします。一般企業でもヒューマンエラーを無くすことに四苦八苦しているはずです。失敗をしていない人を知っていたら教えて欲しいです。そんな人達が、原発を動かす、動かさないの議論をしていることが理解できません。誰かこの議論を止めて下さい、私が止めるにはどうしたらいいのでしょう。動かさないに決まっている！全知全能の神なんていないのです。全て確率論で世の中は廻ってます。そして100%ってあるのでしょうか？何を持って100%と言うのか？自然現象、未知のものがある限りどんな議論にも100%は無いと思います。 私は性格上、人は信じません。普段、信じなくても人は死にませんが…原発は人を殺します。
30878	個人	パート・アルバイト	60代	女性	『ゼロシナリオ』に賛成です。しかし2030年などと言わずに、直ちに原発依存は、ゼロにしていただきたい。原発はいりません。	二度と繰り返してはならない原発事故。どんなに安心と言われても現状では信じられません。 私たちの住む柏市も原発の影響を受けました。 子育て中の若い家族は、買ったばかりの新築の家を手放し、お子さんのために引越しをしていきました。引越しができた方は、資金にゆとりのあった方。知人は、引越しすらできないと嘆いています。私も下手な慰めはできません。 自宅は3丁目にありますが、お隣の2丁目は今年も夏祭りは中止。どうしても若い方々は、目に見えない放射線に不安をぬぐい去ることができません。夏祭りは、貴重な地域住民の交流の場でした。 学校、公園等々子どもたちが多く集まる場所の除染作業が目の前で行われている現実。 目の前にある県立柏の葉公園も11月までの予定で、漸く除染作業が始まります。公園でこどもたちの姿は今は見ることができません。 原発事故が起こる直前までは、素晴らしい柏でした。埼玉県在住の孫たちにも、心から安心して『柏に遊びに来てね』とは言えません。 一般国民が『安心して暮らせる国づくりを』望むのはそれだけです。
30879	個人	家事専業	30代	女性	原発0シナリオを支持します。	地震が来たときに大変だと停止した原発を再稼働する意味がわかりません。 地震が来ても福島の二の舞にならないと100%保証できるのでなければ再稼働するべきではないと思います。停止した意味がありません。 そして、地震大国日本は、今まで災害がなかったことが奇跡で、いつまた福島と同じことが起きてもおかしくないと考え、お金がかかっても原発をなくし、代わるエネルギーの開発に全力投球すべきと思います。 幸い日本は水と風も豊富ですし、また太陽のエネルギーは特に期待できると思います。 原発0の未来を子供たちへ。
30880	個人	家事専業	30代	女性	人の命、暮らし、自然、食べ物に悪影響を及ぼす原発に反対です。自然エネルギーへの転換を強く望みます。	電気がなければ暮らせませんし、原発のおかげで成り立ってきた町や人々の暮らしがあったことも事実です。 しかし福島原発事故以降、何が事故の真実なのか頼りにできる報道がなく、何を信じていいのかとても悶々としていました。 そんな中ある集会へ参加し、今の日本には原発に頼らずに、水力・火力でエネルギーが十分賄えることを知りました。原発を再稼働したのは、電力会社の経営とそこに融資している銀行を破綻させたくないという理由からではないでしょうか。命よりもお金が大切なのでしょうか。 大飯原発の真下は活断層です。もしここで大地震が起こったら、もっと取り返しのつかないことになってしまいます。どこで暮らしたら良いのでしょうか。何を食べて命をつないでいったら良いのでしょうか。 この夏、私はお腹に赤ちゃんを授かりました。まだ米粒ほどの小さな命ですが、とてもとてもかわいいです。この子が大きくなる時に、将来の社会保障すらグラグラのこの国で、目に見えない放射能の心配までしながら暮らさなくてはならないことを考えると、本当にたまらないです。桜の季節に生まれてくる我が子に、いつまでもきれいな桜を見せてあげたいです。 私と同じような思いを抱いているお父さん・お母さんがたくさんいらっしゃると思います。それはただただ子ども達を守りたいからではないでしょうか。誰の子ではなく、社会みんなの子どもです。 どうか利益ではなく、命、暮らしを第一に考えて下さい。
30881	個人	会社員・公務員	30代	女性	毎年日本の人口は減っています。 残された人に、原発の処分を任せないでください。 原発を止めて、今すぐ廃炉にしてください。	原発事故により、今も苦しむ人がいるからです。 これからも苦しむ人がいるからです。
30882	個人	会社員・公務員	30代	女性	福島原発の事故から原子力の被害の取り返しのつかなさと人間が完全にコントロールすることの不可能さを思い知りました。すぐには困難でも原発比率を順次下げていき0にするべきです。	福島原発の事故から原子力の被害の取り返しのつかなさと人間が完全にコントロールすることの不可能さを思い知りました。いまなおそれらが進行し続けているのに、このことから学ばず原発依存を続けることは救いようがなく愚かとしかいいようがありません。すぐには困難でも、計画的に順次原発を廃炉していき、脱原発することを望みます。いままで原発の恩恵を受け無駄を含めた豊かさを享受してきましたが、今回の事故の被害を目の当たりにして、生命、健康、家族、生きる糧、家に財産、自然、さまざまな生物、生態系、人と人の繋がり、ふるさとなど、取り返しのつかないものばかりが失われ、また失われつつあり、どんな便利さ、利益よりもこれらより大事なものなどありえないと思います。また、今回被害をうけたのは原発を受け入れざるを得なかった自治体と住民の方々です。このことに大変責任を感じると同時に、無関心で考えず行動せずにいたことにも責任を感じます。ですので今回は自分の意思で脱原発を推進してほしいと意見表明したいと思います。被曝国であり、未曾有の原発事故を経験した日本には脱原発を被害者、これから生まれてくるこどもたちのためにも進める義務があると思います。たとえこれを進めたとしても失われたものは決して帰ってこないのですから、これは守るべく必要最低限のことだと思います。

30883	個人	その他	30代	男性	ゼロシナリオに賛成。不十分な対策での再稼働は反対。稼働するなら数年かけてしっかり対策を行ってから。(その場合も2030年には原発ゼロに賛成。)高速増殖炉はすぐ廃炉を決め、核燃料取り出しを。	ゼロシナリオに賛成します。 また、電力が十分でないことや火力発電の燃料コストの件などは認識していますが、少なくても大飯原発のような検討や対策が不十分な状態での原発稼働は反対します。電源車や消防車での対応では到底許容できません。できれば原発を稼働させないことを望みますが、再稼働させる場合は、決して既存の原発の多くを再稼働させることを前提とせず、本当に安全確保したものだけを再稼働することを求めます。 堤防や地震対策、ベントフィルタなどは対策に数年かかるようですし、まず地震や津波に対する設計の想定が大幅に不足していると思います。環太平洋地震帯で何度もM9を超える地震や津波が起きており、東日本大震災は当然対応しておくべき地震と津波でした。中越沖地震や島根原発の断層など原発近くの活断層を何度も見逃し、志賀原発や大飯原発は原発敷地内の活断層さえ指摘されています。地震規模や場所、活断層の特定技術は不十分であり、世界で起きたプレート境界地震や活断層地震は、日本ならどこでも起こると認識し対応することを求めます。また、ベントフィルタや電気系統の水密化など欧米が行っている過酷事故対策はすべて行うことを求めます。ウェットベントは放射性物質を低減させると聞きますが、圧力抑制プールは圧力容器の減圧にも使用され水温が上がるため、共用では安全性が不十分だと思います。ウェットベントなら(スイスのように)専用の水槽を設置すべきだと思います。なお、原発敷地内の活断層は再稼働に関わらずすべての原発でしっかり確認し、あれば使用済み核燃料も撤去すべきです。 中部電力社員の発言や関西電力社長の発言などを見ても事業者に全く反省や改善の気がないことは明白です。このような状態では安全を確保できません。今回の事故の刑事責任の追求も必要ですし、今後揺れや津波が設計値を超えるなどの危険なことがあれば、数千億円の制裁金を課す法律なども必要と思います。 そういう対策を行わない再稼働は、よほど電力が足りないという場合(大地震が襲えば大事故を起こすギャンブルだとしても稼働が必要な場合)を除いて強く反対します。再稼働させる場合は、比較的安全な原発5～15基程度に限って集中的に対策し、再稼働させるべきだと思います。なお、浜岡原発は直下の強い地震の揺れと大きな津波の同時襲来など非常に危険であり、廃炉を求めます。伊方原発も日本最大の活断層が通っていると聞きますし、玄海原発1号機など圧力容器の材料が劣化した原発なども廃炉を求めます。今回の事故でも冷却不能になった当初から4号機の使用済み核燃料が一番心配されていたと聞きます。再稼働させる原発からは、使用済み核燃料を安全な保管場所に移すことを求めます。なお、再稼働しない原発でも、使用済み核燃料がある場合は、一定の安全対策を求めます。 なお、高速増殖炉(もんじゅ)は、危険で他国も諦めました。地震国で大事故を起こした日本が挑戦する技術ではありません。自然災害がなくても危険な原発ですが、大地震などが襲う可能性もあります。事故対応の難しさも、事故被害拡大の可能性も軽水炉とは比べ物になりません。既に多額の費用を使っていますが、大事故を起こしてからでは遅いです。すぐ廃炉を決め、また内部の核燃料の速やかな撤去などを求めます。また15%シナリオの「直接処分と再処理の併用」は再処理技術の開発を継続を意味し、コストも安くないはずです。反対です。各原発での使用済み核燃料の大量保管も、核燃料サイクルが言い訳ではないでしょうか。再処理はやめ、使用済み核燃料のできるだけ早い直接処分を求めます。 そのような対策をした上で再稼働した場合でも、2030年頃には原発をゼロにすることに賛成します。スイスやドイツは、脱原発の方が経済的にも良いと判断して脱原発を決めたと聞きました。日本は地震国で、さらに原発は高コストになるはずであり、日本も脱原発が良いはずです。日本はアメリカより人口密度が高く、広域の避難は難しく賠償コストも多額で、日本はアメリカよりスイスなどの安全規制を見習うべきだと思いますが、地震国の日本では大地震や大津波の対応をしても過酷事故に至るリスクは高いです。また、事故の危険性以外でも、使用済み核燃料処分の問題もありますし、労働環境でも、放射線作業員の多重派遣や偽名登録、放射線障害などいろいろな問題があると聞きます。できるだけ早く、原発をゼロにすることを望みます。 また、今回の事故を見た世代に原発や原子力業界への不信感は強く、今後原子力業界や大学で原子力の学部に進む人は確実に減り、学力の低下もあると思います。今までの原発に関わってきた人たちの責任で、速やかに原発廃炉を進めるべきだと思います。 再生可能エネルギーに注力して量産やコスト削減し、外国メーカーより良い製品になれば、海外での需要も期待できます。温暖化防止の観点からも、2030年、40年、50年と進むに従い、ほとんど再生可能エネルギーに変わっていくと思います。日本は地震国で原発には向かないですが、地熱発電や洋上風力発電、バイオマス(水が豊富)などには向くと思います。太陽光発電は不安定だと言われますが、夏の暑く晴れた昼間の消費電力が多い時に多く発電し、消費電力の増減を緩和します。ぜひ、再生可能エネルギーに注力して欲しいと思います。なお、再生可能エネルギーの発展のための補助など最初は必要と思いますが、高価格で高止まりして「多少性能や機能は良いが高価」などのガラパゴス状態にならないように、外国の安い製品の価格なども参考にして、機器の値段や発電コストがしっかりと安くなるように監視、調整しながら、補助金や電力買い取り価格を設定して欲しいと思います。2030年頃でも高価格で高止まりし、日本国内で補助金を付けないと売れないような製品では、せっかくの世界的な再生可能エネルギー発展のチャンスに、効果は半減し、長期的には国内の財政や経済にも悪影響です。
30884	個人	会社員・公務員	40代	男性	20－25シナリオが最も現実的。	20－25シナリオが最も現実的。 現状原子力発電所の事故を目の当たりにして、目の前にあるリスクを回避使用する安易な考えにより0シナリオを要望する人も少なからず存在するが、実際に0シナリオを実施した場合の具体的な世の中の姿を示すこと(産業の空洞化による雇用の悪化、税収悪化による更なる増税の可能性等)により冷静に将来のエネルギー戦略を考える必要がある。 各シナリオのリスクを考えた場合、原子力発電所事故のリスクよりも、産業の空洞化(日本経済の破滅)の方がよりリスクが大きいと考える。
30885	個人	その他	60代	女性	原発反対--- 現在から原発0% のエネルギー政策を	我が家は太陽光発電を設置していますが、夏中、売電が出来る程。他の代替エネルギーも加えれば充分原発に依存しなくとも日本人の技術力で賄えるはずです。それに原発の負の影響を考えれば、絶対原発依存すべきではないと思う。我が家にはまだ結婚前の子供もいますし、将来、どのような放射能の影響があるかを考えると、環境汚染、経済面からもマイナス面の方が多い。 二度と一年半前のような不安な生活はしたくありません。
30886	個人	自営業	40代	女性	原子力発電ゼロを目指していきたいです。	最終処理施設も決まっていない状態で、原発を維持または増やしてしていくことは反対です。
30887	個人	パート・アルバイト	50代	女性	エネルギー開発において、現在の自然エネルギー(太陽、水力)再生エネルギーは勿論、アイルランドで成功している地熱発電を進めるべきです	地熱発電は火山を利用しており、日本の土地柄に合っている上に大きなエネルギーを作ることが可能です アイルランドで、既に成功しており、驚くことに地熱発電の機械は日本の大手メーカーなのです アイルランドでは地熱発電に全て移行しており、温水も無料で配水しているのに 何故、日本では自然を利用することに抵抗しているのかが、分かりません・・ 原発が日本に与えるダメージは、自然エネルギーの比では無いことは 分かっているので、自然エネルギー(太陽、風力、地熱)とこれを再生エネルギーととして半永久的に作り続ける方法を研究することに税金を使うべきです 電力会社やその他、自分の利益や体裁ばかり考えて、当たり前の安心した人間の生活を忘れて欲しくないです・・・ 権力に負けず、日本の自然を守りましょう NO MORE FUKUSHIMA！！
30888	個人	無職	60代	男性	(1)原発ゼロ 原発再稼働をしないこと、温暖化対策は先送りせず、再生可能エネルギーを基幹エネルギーと 位置付け推進すること求める (2)パブリックコメントの期間を延長するよう求める	人類が健康な子供たちを育て未来を生きるうえで放射能による健康被害は避けなければいけません、 原発を稼働させる事を反対し廃止することを求めます 現在存在する原発も全て廃止することを求めます 震災津波に対しても完璧に放射能を出さない状態にすることを求めます。 核燃料の最終処分に対して永久に安全性能があることを実証した上で巨大地震が起こる前に最終処分を求める 原発の稼働に対して反対です、最終処分方法や場所の決定がなされていないと言う事は未完成なシステムであります。地震に対して津波に対しても永久的に完璧に安全な状態を維持しなければシステムは存在理由がありません、
30889	個人	会社員・公務員	50代	男性	日本のエネルギー事情、経済や生活への影響、世界の原子力情勢等に鑑みれば、原発の更なる安全性の追求は不可欠だが、原子力依存度は20～25シナリオでは少な過ぎ、もっと高めることが必要である。	現在、停止した原発に代え高価な化石燃料を購入して国富が海外に流れ、効率の悪い再生可能エネルギーを電力会社が高く買ってそれを国民が負担し、電気料金の上昇や計画停電を危惧して産業が海外に移転している。世界は趨勢が原子力増設に向かう中、発電からサイクル、高速増殖炉と原子力の最先端技術を有していた我国が原子力から撤退すれば、将来、国際面における国の発言力は如何。法的根拠もないまま全国の原発は停止させられ、これまで国民生活を支えてきた立地地域の人々の経済・生活は益々悪化している。国は速やかに原発すべての再起動に踏み切るとともに、冷静な判断の下、長期的観点から日本のエネルギーバランスを再検討すべきである。
30890	個人	無職	60代	男性	原発から速やかに撤退する。大飯原発3. 4号機は直ちに停止をする。エネのギーは自然エネルギーを中心とすること。	原発は、未完成の技術であり、地震と津波の国日本で安全に運用することが不可能なことは、東日本大震災により発生した福島第一原発の惨状がそれを証明している。原発の運転により生ずる使用済み核燃料は現代科学では処理不能の高レベル放射性物質を大量に含んでおり、地震国日本でどう安全に保管するかもまだ、決まっておらず、原発の稼働をつづけることは、将来の国民に多大な付けを残すことになる。 太陽光、地熱、風力音は力などの再生可能エネのギーは、原発を遙かに超える潜在力を秘めていることは、政府の資料からも明らかになっており、直ちに自然エネルギー開発に舵を切るべきであり、そのための国民合意をめざすべきである。
30891	個人	無職	40代	男性	原子力発電は当面のあいだ現状維持	2030年に向けたエネルギー政策の方向性は当面のあいだは原子力発電は現状維持すべきだと思います。原子力発電に替わる有力なエネルギーがまだ見当たらないと思う。ソーラー発電等の自然エネルギーは天候等に左右されるとても不安定なエネルギーであり総発電量もまだ期待出来ない。しかも高い電力買い取り価格の為 普及すればするほど電気代が値上げして企業や家庭の家計をひっ迫させる。火力発電を増やせば その燃料となる石油や天然ガスのコストがとても心配である。日本から原子力発電の選択肢が無くなれば、必ず石油 天然ガス 石炭などに投機のお金がながれ途轍もない高額な値段で買わざるえなくなる。また中東で戦争でも起きればオイルショックが起きる。いずれにしても日本の産業の崩壊 経済の崩壊 雇用の崩壊等大打撃を受ける。代替エネルギーが見つかるまで 例えば尖閣諸島等自国の領土で石油や天然ガスの採掘ができたり メタンハイドレードの実用化やソーラーパネルで高発電が可能になったり自然エネルギーで高発電が可能になる等がないかきり原子力発電は現状維持すべきだと思います。確かに事故等のリスクもありますが今まで以上に何重にも安全対策をして運転していくしかないと思います。
30892	個人	会社員・公務員	50代	男性	0パーセントであるべきです。	数十年経っても一向に解決の目処の立たない廃棄物処理を棚上げにしたまま、そのものの安全性にも多大な疑問が持たれた状態で原子力発電を再開する事には絶対反対です。子孫末裔に禍根を遺す原子力発電を目先の経済的理由で押し通す事こそ売国的政策です。少なくとも廃棄物処理が穴に埋めるなどという姑息な方法ではなく、ちゃんとした処理ができるようになるまで、実験レベルの技術であり実用すべき技術とは思えません。0パーセントであるべきです。
30893	個人	無職	60代	男性	原発の全部廃炉と廃炉後の高濃度放射能の処理、速やかな原発事故被害者救済(放射能被爆追跡調査も含む)、そして再生可能エネルギーの促進・開発	1. 今ある国内の原発は全部廃炉にする。その上で、高濃度放射能は地中深く埋設する。その土地確保は、原発廃炉後の跡地を活用する。 2. 原発事故被害者の速やかな救済を進める。東電の対応は官僚的で悪すぎる。放射能除汚の研究開発を早めて帰宅を早める。そして、放射能被爆調査を必ず開始し、健康を守っていく。 3. 廃炉後の対策として、再生可能エネルギーを開発・促進する。発送電システムは分離し、活用を進めやすくする。太陽光発電は高速道路、鉄道路線等に屋根を設置するなどして利用する。 太陽光発電等の設置を公共事業として増額し設置を進める。 どうであれ、早く廃炉を決定し、被害者救済を進め、再生エネルギーを活用し国民の安心安全を進めることが国の役割であります。多くの国民がこれを深く望んでいます。某電力の社員がいみじくも言った「放射能で一人も死んでいない」は原発事故の本質を何も分かっていない。「死んでいない」ので原発は事故を起こしても安全というのだろう。事故により生活基盤を奪われ、数十年帰宅できない人たちがいることに目を向けていない。自殺した人もいることに目を向けていない。国民の生活が第一という以上、国民とは日本をしたから支える多くの一般国民を指すのではないのか。もし、そうなら廃炉以外ないと思う。
30894	個人	会社員・公務員	50代	女性	福島の事故で原発の恐ろしさを改めて認識しました。まだ未完成のエネルギーを、この地震列島の日本では危険きわまりないと思います。一刻も早く再生エレルギーに切り替えてください。計画停電があっても我	放射能の汚染について知れば知るほど怖いと思います。特に子供に与える影響は深刻です。 日本は少子化で子供の命を大切にしなければ、今後の日本の将来はないと思うからです。子供ばかりではありません大人にとっても健康に与える被害は深刻です。 安全で過ごしやすい日本が危険で住みにくい日本にならないよう切に希望します。
30895	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオを望みます	二度と原発事故を起こさないためには原発をなくすべきである。 原発はウラン採掘から核廃棄物処理まで処理できない核廃棄物を ふやす仕組みであり、弱いところに犠牲を強いる仕組みである。 早く脱原発をすべき。
30896	個人	無職	70代	女性	、0にしなければまた福島の二の前になると思われます。風力,波力、太陽、地熱などあらゆる方法でその地にあった発電をして備えていかなくてはいけないと思	地震大国の日本では早晩原発の場所に地震被害が起きることを頭に入れて尊属を考えた場合、0にしなければまた福島の二の前になると思われます。風力,波力、太陽、地熱などあらゆる方法でその地にあった発電をして備えていかなくてはいけないと思います
30897	個人	会社員・公務員	30代	男性	20～25シナリオが妥当	これまでの経済界を支えてきたのが安定した電力供給であり、今後も経済界を衰退させてはいけない。よって、20～25シナリオが妥当である。
30898	個人	家事専業	30代	女性	(1)0%直ちに廃止 これ以上事故が起きないため被爆する人を出さない 核のごみをださないため 今も福島の事故で日々の生活に苦しんでる人がいる	田中俊一原子力規制委員会会長は不適切と思います。今回の事故が起きたのも原発を推進してきたこのような人達の怠慢からおきたのではないでしょうか。 人と核は共存できないと思います。今でも技術が進歩したって危険なことには変わりない。弱い人たちに嫌なものを押し付けてそんな世界は許されてはいけないです。一部の人たちの金儲けのためにほかの人を巻き込まないでください。 事故の現状も把握できてない、地震対策もできていない地震の活動期なのに再稼動しているのはおかしいです。電気足りないとかいうまえにエネルギーの使い方を見直さなければならないとおもいます。
30899	個人	自営業	60代	男性	1のゼロシナリオを選択します。日本の将来を考え、子孫の安全を考えると、原子力は危険です。たとえ貧しくなろうとも将来にわたり安全なほうを選択します。	東北大震災が起きて、原子力発電所の事故が起きるまでは、原子力に対する関心は少なく、安全なものだと思っていました。 しかし、今回の事故で、そうではないことを思い知らされました。 今回の福島の事故でひとつ間違えば、つまり、4号機の燃料貯蔵プールの水がなくなっていたら、今頃、東京も避難区域となって、ゴーストタウンとなっていたかもしれません。日本の国の存在自体が危ぶまれるかもしれません。 今まで、日本では、原子力発電所の大事故は起きないと言われ、そのように信じていたのですが、そうではないことがわかりました。 基本的に、原子力の燃料は冷やし続けなければならず、冷やせない時には、このような事態に必然的になることさえ知りませんでした。放射能が大量に放出され始めると、だれも近づけず、手出しができなくなり、人間の手におえない悪魔の物質となります。 大地震、大津波、大事故、テロ、戦争、隕石などが絶対おこらないと、だれがいえるのでしょうか。ひとたび何か起きれば日本の破滅にもなりかねない原子力発電は絶対反対です。原子力発電をなくすためなら、多少の経済的犠牲は仕方ないと思います。 日本は、アメリカから長崎市と広島市に原爆の投下を受け、また、今回、福島の原子力発電所の事故による放射能を広範囲に受けました。 もう原子力はいりません。 原子力のない、たとえ貧しくとも安全な日本の国にすべきと思います。
30900	個人	無職	40代	男性	ゼロシナリオを選択します。 原子力エネルギーにたよらず、再生可能エネルギー、新しいエネルギー技術を開発してください。そして日本と世界を救ってください。 日本は重要な責任を果たす時です。	いま世界は経済などで混乱しています。 エネルギー問題を解決することは、人類にとって必須の課題です。 エネルギー問題を解決することで、戦争や貧困や格差など、多くの問題を解決する糸口がみえてきます。もし日本が、いままでにない新しいエネルギー技術の開発に成功すれば、日本のみならず、世界を救うことになります。 日本は世界から、とても感謝されるとおもいます。 そして日本は世界のリーダーにもなれると思います。 日本人も世界の人々も多くの方々の努力で、ここまで歴史をつないできました。 もし太陽フレアなどで巨大な停電など起きた場合、原子力発電所の全電源喪失の恐れもあり、そのときは日本だけでなく世界中の原子力発電所が危険な状態になってしまいます。これは地球人類の存亡にかかわります。 日本のエネルギー政策の行方は、日本一国の問題ではなく、世界にも関わりのある重大な問題です。日本政府には、勇気と誇りをもって原子力エネルギーから脱却して、新しい道を開いてほしいです。日本人にはそれができると思います。 そして、そのような選択をした日本政府を日本国民は応援するとおもいます。 たとえ困難があったとしても日本国民は信じて、ともに頑張ると思います。 そして世界の人々も応援してくれるとおもいます。 日本政府の皆様、勇気と誇りを持ってゼロシナリオを決断してください。 大丈夫です。この選択は間違っていなかったといえる日が、かならずきます。 日本人が世界中から感謝される日がきっときます。 みんなで新しい道へ進みましょう。 内閣府の皆様、日本政府の皆様、ありがとうございます。　敬具

30901	個人	無職	70代	男性	エネルギーは原発に変わる代替エネルギーが進化し必ずや確かなものになるCO2削減に前進していくそれに対し原子力発電所による核のゴミの処理は今だ進展せず又放射能に対して対処できて無い原発稼働は容認できない	形あるものは 必ず壊れる それは自然的な問題 又入為的問題で 破壊される場合も有りうる、それが 予測できない、事故で今回の福島原発事故が 発生し メルトダウンによる 放射能の拡散があり 大きなダメージを負ってしまった、将来において これ以上の自然災害が 発生しないと 言う保証は無い 人為的に考えれば 第三国からの 原子力発電所へのミサイル攻撃があった場合 それを防げる 防衛力は我が国にあるのか 日本は非核三原則で 原子爆弾はもっていないが 全国の原子力発電所に 攻撃されれば 自爆用の原子爆弾を持っているような ものである、全国にある 原子力発電所を攻撃されたら 放射汚染により 日本沈没 という ストーリーも考えられる まさに考えられないような事が 起こるのが想定外です、放射能はいまだ人間がコントロールできず 放射能と人間は 共存できない 今回の事故により 放射能の影響うを受けた方々 又 福島の事故処理に 放射能を浴びて 作業している方々が 将来 どのような形で放射能の影響がでるのか 広島 長崎の原爆投下と重なり 考えれば 考えるほどなら心配があるとすれば 政府の強いリーダーシップにより 日本国民一丸となって対処すれば、節電 代替エネルギー 環境対策により 強い経済力が推し進められるのではないか、新幹線・高速道路の200兆円を方向転換してもらい、コンクリートから エネルギー環境対策を 前進させてもらいたい、その後 新幹線・高速道路建設に着手してもらいたい、切に願うものです。
30902	個人	会社員・公務員	40代	男性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見	日本の原発は、安全だと3.11までは漠然と信じていました。 しかし、原発も機械である以上壊れることもあれば、操作ミスもあるでしょう。 拙重もの防護壁もいざとなれば役立たないことをよくわかりました。 福島の苦しみを想像すれば「原発ゼロ」しかありません。
30903	個人	会社員・公務員	60代	男性	「原発ゼロシナリオ」を選びます。	福島第一原発事故の収束はおろか炉心溶融の状況もハッキリと把握できていない技術の現状です。 使用済み核燃料の処理もまったく見通しを持てないまま、次世代の人びとに大きな負担を背負わせている現況は見るに耐えません。 このような状況を改善するためには、まず政府が「原発ゼロシナリオ」の政策を確立し、自然エネルギーへの計画的推進を図ることが重要と考えます。 日本の技術で、経済力をもってすれば必ずや世界をリードする成功を収められると思います。 そのためには「原発ゼロシナリオ」を確立することが最も重要と考えます。
30904	個人	パート・アルバイト	60代	男性	原発ゼロシナリオを選びます。 未来に、これ以上、負の遺産を残す、ということは私たちに許されてはいない。	原発ゼロシナリオを選びます。 福島原発での事故を教訓とすれば、原子力に頼らない世の中を目指すのが、人間として、当然のことと考えます。 この美しい国土を、放射能で汚してしまって、人間がいまだに近づけず、原因究明もなされていないというのに、原子力を今後も利用しようという考えは、とても理解できません。 快適な生活や経済発展とかの問題の、前の段階として、人間としての、安全に安心して穏やかに生きていける、ということが大切だと考えています。 これ以上、未来に負の遺産を残すことのないよう、再生可能な自然のエネルギーを利用する社会を目指してほしい。
30905	個人	学生	30代	女性	原発ゼロシナリオに賛成です。現時点ではそれ以外は反対です。	上記意見の理由は2つあります。1つ目の理由は現在福島第一原発の状況からして、原発に何か災害や障害が発生し異常事態になってしまった場合、それの事態を我々人間の手で収束する手段がないからです。（ただし現在の福島第一原発の状況を速やかに収束させる手段が見いだされた場合には意見は変わると思います。）2つ目の理由は原発には非常事態発生時には人命を脅かす可能性が十分にあり得るためです。 どんな理由があるにせよ、人命を脅かす可能性があるものを使い続けることに賛成はできません。 さらに申し上げれば、「シナリオ」なんて話ではなく、即時停止を希望します。
30906	個人	会社員・公務員	30代	女性	日本の原発について、ゼロシナリオを支持します。 日本で原発を稼働させることすべてに反対します。	地震多発期の今の日本でどの原発も安全とは言えません。 火力発電でコストがかかる、二酸化炭素が出る、などの理由でそれを避けて原発を選び、いざ事故が起こり環境が汚染されれば人間には取り返しがつきません。 原子力発電はリスクが高すぎます。 広島・長崎・福島と、放射能の被害に遭い続けた日本で今後も原発を稼働していくことに反対します。
30907	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発は即廃炉!核もゴミの処理もできず、子々孫々負の遺産を受け継がせることになる。燃料棒全部引き抜け!発送電分離、大規模はガスコンバインドサイクルに。基本基礎自治体単位の小規模発電に移行。	原子力村の人間が許せません。特にこの文章みてるような官僚!自分のする事に責任持てよ。自分のする事に何も責任を取らない奴は何もしちゃいけない。自分のする事に責任持てないなら、何もするなお前たちみたいな無責任な連中が社会を動かすとか非常に迷惑だ。何も責任がないと思ってるだろう画面の前の集権係の官僚含め、国民、特に被災者を苦しめているのはお前達みたいな無責任で税金に寄生する卑劣漢しかいないから。霞ヶ関と中央集権体制は出来れば自主的に解体して頂きたい。
30908	個人	家事専業	60代	女性	原発ゼロ・シナリオを支持します。 原発がどんなに怖いものかが思い知らされました。	世界で唯一原爆被害を受け、放射能の怖さを一番よく知っているはずの日本が、この狭く、そして地震国である日本に、よくもこんなにたくさんの原発を作ったものだと、怖さと怒りで震える思いです。原発の怖さは3.11で十分証明されたはずです。狭い日本は今やどこも放射能の危険にさらされています。それどころか他の国にも迷惑をかけています。 自然エネルギーによる発電も十分可能だと聞いています。 美しい日本を、みんなの命を、何よりも優先して、守って下さい。
30909	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電の安全性を高め、万が一の事故の時の対応体制も整備して、原子力発電の割合を20から25パーセントにすべきと考えます。	福島第一の事故は、津波が原因といえども、その軽減策をとっていなかったことに猛省すべきです。テロや台風などが原子力発電所を襲ったとしても2度とこの事故は起こしてはなりません。電力会社も政府もも3大丈夫だと気を緩めず、安全第一を念頭においてください。 原子力発電の安全を保つ技術はあると思います。東北電力の女川発電所、東京電力の福島第二原子力発電所は福島第一原子力発電所のように大きな地震と津波に襲われましたが、安全に停止しています。安全に停止できたことと できなかったその分岐点を解明する必要があると思います。事故調査報告書が出されていますが、その点をはっきりと示してほしいと思います。今後の安全向上と原子力発電の信頼回復に寄与すると思いますので。 一方、省エネや再生可能エネルギーで本当に2030年に経済成長2%を達成できるのでしょうか？ オバマ大統領はグリーンニューディールを提唱しましたが、その成果は芳しくありません。風力も太陽光も開発を進めるべきですが、もともとのエネルギー密度が低いのですから基幹エネルギーとはなりえません。 化石エネルギーは無尽蔵にはありません。地球温暖化の対策も必要です。 省エネもすべきですが、おのずと限界があるでしょう。 さらに自国のエネルギーは自国で賄うことが安全保障の観点から自国の平和と安全を守るために必要です。 このように考えてくると、原子力発電の安全は対策を取れば守ることができるが、エネルギーの安全保障は、原子力発電をゼロにすると保つことができないとの結論になります。 以上より、2030年の原子力発電を20から25パーセントにしてください。
30910	個人	その他	50代	男性	2030年に0%ではなく、今回の原発事故が取り返しのつかない甚大な被害を生み出すことがはっきりした限り、もう二度とこの様なことが起きないよに、すみやかに0%にすべきです。	関西電力大飯原発が再稼動する前、日本は、原発なし、つまり0%で、何の不自由もなく国民は生活していました。これは大いなる未来に向けての、世界に誇れる、国家規模の実験であったと思います。東京電力福島第一原発の事故の収拾も未だ現状、原発を稼動する限り出続ける放射性廃棄物、その処理方法もまったく完成する目途も立っていない現実等を考えると、速やかに0%にすべきです。多少の節電と納得の良く電気料金の値上げ、太陽光発電、風力発電、地熱発電等の再生可能エネルギーにシフトするまでは、シェールガス、石炭、ゴミ等、何でも創意工夫し燃料として、電気を作り原発のない世界、子、孫、子孫に明るい未来を作る為に、何度でも言いますが、速やかに0%にしましょう。
30911	個人	家事専業	60代	女性	原発絶対反対	命あってのものだねです 不便でも暗くても、死ぬよりはまし。 小さな、美しい日本を守っていきたい。 原発に頼らない社会をつくる政治を、切に望みます
30912	個人	会社員・公務員	50代	男性	2030年に0%ではなく、ただちに0%にすべき。たった一度の原発事故のために広い国土が放射能で汚染され、多くの人々が故郷を追われている。この悲劇を二度と繰り返さないためには原発を無くすしかない。	原子力発電を行えば大量の核分裂生成物が必然的に生み出されます。いわゆる死の灰と呼ばれる放射性物質です。日本にはすでに大量に存在していますが、その処理の方法はいまだに確立していません。核燃料サイクルなど莫大な国費をつぎ込みながらいまだに実現の見込みすらありません。後始末もできない核のゴミをこれ以上作って将来の世代に押し付けることは許されません。多くの人々が故郷を追われている電力を作るために、何十万年も厳重な管理を必要とする核廃棄物のツケを未来の世代に押し付けて良いのでしょうか。もう、これ以上原発を動かすことは人間の倫理に反する行為だと思います。さらに、原発は今を生きる私たちの命をも脅かす存在です。前述の通り、全国の原発や再処理工場には膨大な放射性物質が存在しています。これは絶対に環境中に漏れ出してはならないものです。かつて政府や電力会社は「5重の壁に守られているから安全だ」「地震がきても大丈夫」と言ってきました。ところがその「安全神話」は大地震と大津波の前に跡形も残らず崩れ去りました。福島原発事故では地震そのものによる冷却水漏れが起きていました。その検証すらされていません。この日本列島で地震や津波の起こらない場所などどこにもありません。大飯原発や敦賀原発、志賀原発などはなんと活断層の上に建っている疑いすらあります。地震列島日本に原発を54基も作ってきたことは狂気ですらあります。命を守るためにただちに原発廃止を求めます。
30913	個人	会社員・公務員	50代	女性	原子力発電は震災前以上の比率を維持すべきである	1.新エネルギーの研究開発はもちろん大切だが、太陽光発電や風力発電への性急なシフトは国民への経済的負荷が過大になる。 2.その不安定性をカバーするために結果的に化石燃料への依存度を高め、我が国のエネルギー安全保障を著しく損ねる恐れがある。 世界的には新興国の経済成長に伴う資源獲得競争の激化が見込まれる中、資源小国の日本としては、高速増殖炉の実用化を視野に入れた原子力の活用は依然、必要不可欠だ。 震災後も世界の趨勢は原子力発電の導入・維持・拡大であり、脱原発を決定した国はほんの少数に過ぎない。 我が国は福島の事故を教訓に原発の安全技術を高め、原子力による電力供給システムを継続・発展させていくべきだ！！
30914	個人	会社員・公務員	30代	女性	『原発ゼロ』のシナリオを支持します。 2030年までの、ではなく、日本全国にある全原発の即時停止、速やかな廃炉処理開始を求めます。	福島第一原発の事故原因も解明されておらず、東電や政府や保安院の誰一人として責任を追及されないまま再稼働が行われたことに、大変強い憤りを覚えています。 たとえ千歩万歩譲って事故原因が解明されたとしても、『地震の巣』と呼ばれるこの日本列島で原発を動かし続けることは、まさに常軌を逸した行為と言わざるを得ません。 再稼働を始めた大飯原発、そして志賀原発の下にも活断層の存在が疑われ、つい先日も保安院が関西・北陸の両電力会社に追加調査を命じたところですよね。 原発維持を推進する方々は、日本の経済が危機に陥るといっておられるようですが、日本の経済が傾いていたのは、原発事故の前からでしたよ。原発が止まっているせいではありません。 現にいま、電気は足りているではないですか。関電は、大飯を動かしたら火力を止めたりしていますか。本当に足りないならそんなことをするはずがありませんよね。 放射性廃棄物を適切に処理する方法も見つかっておらず、毎日毎日被曝労働者を生み続ける原子力発電所は、もうその役目を終えました。 もんじゅも、六ヶ所も、もう要りません。これ以上国土を汚し、未来にツケを残すような施策をとるのは金輪際止めてください。 命の反対側の天秤皿に電力・経済を置く愚かさ。総理、政府、経産省、電力会社、経済界、みなさんにも引目を覚ます時なのです。 これまで原子力に費やしてきた労力と時間を、今度は地熱、太陽光、風力、火力、その他の代替エネルギーの開発・成長に注ぎこんでください。 原発を動かし、地震のたびにビクビクし、誰かの生命を脅かしながら経済の存命をはかるなら、この国に未来はないと思います。 福島から避難されてきた方が、官邸に向かって静かに呼びかけておられました。 『私たちは、家と土地を諦めました。だからあなたたちも、原発を諦めてください』と。 贅沢をしたいんじゃない。ただ安心して暮らしたい。それだけなんです。
30915	個人	その他	60代	女性	原発0%シナリオを選びます。	原発は人間の手に負えないもの（核のごみ処理を含めて）。 既得権益に縛られている人々に子供たちの将来をゆだねることはできません。 政府は再生可能エネルギーへの転換政策を明言し、雇用も含めたプログラムを提示して、国民の信頼を取り戻すべき。
30916	個人	会社員・公務員	50代	男性	選択肢の中から敢えて選ぶとすれば15-25%。本音はこれ以上。	企業の電力対策は限界。ｺｽﾄ増で国際競争力を失うことにつながる。再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰ開発には国費が必要で、現状のままでは、それすら不可能になる。
30917	個人	会社員・公務員	50代	男性	今、正しい判断できないような情報の誘操作がされていることに怒りを感じています。原発は、地球温暖化をくいとめるという、前提自体がおよそ情報操作のたまものであり、これ以上用いるべき道具ではない。	原子力発電はアメリカ合州国の都合で日本に押し付けられ、過去の政権が国民に情報を開示することなく原子力を用いて発電を開始し、現在のエネルギー使い放題の生活を強いてきたということを、いま、政府が反省することなく、原子力発電を再開したのはまさに権力の乱用といっべき事態と考えます。 　今、アメリカ合州国の社会が大金持ちの言い放題の政策に加担し、金持ち優遇策で、アメリカ社会、いや世界全体が崩壊しそうな時代にあって、日本は世界の混乱とかにかかわることなく国民が新しい時代に対しどのような生活してゆくのか判断すべき時にあると感じます。 　総体としての日本の庶民、大衆の判断が次の時代を導くと信じています。
30918	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発に依存しない政策の実現を	昨年三月の東日本大震災、東京電力福島第一発電所の事故より一年半が経過しようとしています。 現在、私は福島在住の障害者の自立支援をボランティアをしています。 収束宣言が出たものの、現実には収束とはほど遠い現実。 まず、原子力に依存しないエネルギー政策の実施を求めます。 大飯原発の稼働停止、原発の全廃をお願いします。
30919	個人	会社員・公務員	40代	男性	現時点では、原発依存度25～30%でも我国のエネルギーセキュリティーが確保できるか疑問である。冷静になって、より現実的な方策を検討すべきである。	現在は、原発依存度を下げて、代替エネルギーをどのように確保するか、地球温暖化問題をどうするのか、その負担をどうするのか等が明確にされないまま、ただ原発が危ないとの感情論が先行しすぎていると思う。安全対策を向上させた原発から再稼動させ、エネルギーセキュリティーを確保しながら、代替エネルギーの技術革新に取り組むべきであり、近隣諸国が原発開発を進めている現状を冷静に考えると、我国が原発安全性向上の技術力を維持・向上させるのが世界的に必要とされると、現実的である。
30920	個人	会社員・公務員	60代	女性	三つの選択肢の中では、当然ながらゼロ%を選びます。	2030年までなどと悠長なことを言わず、原発即時廃炉を求めます。何よりも、始末もできない高レベル低レベル放射能廃棄物を量産し続ける原発によってエネルギーを生み出そうとすること自体、人類の道から外れています。福島の事故を受けて尚原発稼働を続けることは、狂気の沙汰と言うしかありません。何故自然による再生可能エネルギー作りにはく進しないのですか。ここにしか人類の生きる道はありません。
30921	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオを選びます。	原発ゼロシナリオを選びます。 当然の選択です。 お金や電気は命より大切でしょうか？ 日本の政府や官僚、大企業・・・おちゃくちゃです。 皆知っています。 日本は世界に誇れる技術を持っています。 自然エネルギーで十分賄えると思います。 即時、原発は廃炉にすべきです。
30922	個人	無職	60代	男性	原発は、一旦、事故が起きれば制御が出来ず核廃棄物の処理が確立されていないことで決して安価な電源ではない。また、日本は地震大国であり原発建設の適地ではないことから、即時に撤廃すべきである。	原発は福島第一原発事故で見られるよう、一旦、事故が起きれば制御が出来ず、菅前首相が言った通り再度事故が起きれば狭い日本が全滅することになる。 　核廃棄物の処理が確立されておらず、地下に埋設すると言った楽もあるようですが、今の日本で受け入れる地域はないことである。安全だから地方の経済が活性化するからという理由等で交付金・補助金をだすことは止めて下さい。原発はだれが考えても決して安価な電源ではないはずです。外国で地下埋設する方法もあると言った報道もありますが核廃棄物を後進国にゆだねるなどといった考えは是非止めていただきたい。 　日本に原発を最初に輸出した米国は、自国の地震が起きそうな地域には建設していないということを、過日のNHKの放映を見て驚きました。 　日本は地震大国であり原発建設の適地ではないことから、即時に撤廃すべきである。 　どうしても原発を維持するなら安全だから維持するということでしょうから交付金・補助金を止め、大都市周辺に交付金・補助金なしで建設したらどうでしょうか？ 　技術立国・日本が率先して自然エネルギーに転換するとともに発送電分離を直ちに進め地域で自然エネルギー主活用すべきであると考えます。
30923	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電ゼロを強く主張する。絶対の安全はないことは福島第一の事故が証明した。今後も巨大地震の危険がある。放射性廃棄物の管理は途方もない労力と費用とリスクを伴うため、子孫に巨大な負の遺産を残す。	原子力発電を推進してきた人々は放射能は完全に封じ込めることができると主張してきた。その前提は現在、完全に崩れたが、それでもなお原発を続けることは不可能ではないか。今後も巨大地震の可能性は捨しも不安を覚えるし、それがどのようなダメージを与えるか想定できない。想定できたとしてもその対策が十全のものたりえるとは誰も保証できない。自然災害は避けられないとしたら、あらかじめ原発が与える被害は排除しておくべきではないか。これ以上私たちの国土を失うような事態は絶対に避けなければならない。また事故調査も終わったように見えるが、これは完全に国民を欺く欺瞞である。放射能が高すぎて誰も現場に近づけないのに「事故の実態」「事故原因」などが本当にわかったといえるのか。炉心の中を見て初めて今回の事故調査が始まるのではないか。事故調査が終わっていない段階で再稼働していることは自体が大問題である。第二に放射性廃棄物の処分の問題が未解決である。以前からトイレのないマンションといわれた原発の放射性廃棄物処理問題について、多くの人々が指摘してきたのに、それを先送りして核のゴミだけどんどん作り続ける現状はあまりにも愚かである。もし最終処分場が決まったとしてもそれを今後何千年、何万年も管理し続けるなど不可能だしあまりにも無責任である。子孫に恐るべき負債を残すことは未来を殺すことになる。第三に被曝労働者の存在である。彼らを前提にして原発の作業が成り立つ。その労働の実態は弱い立場の労働者に「仕事がなくなる」という暗黙の脅迫の元に安全管理を犠牲にして働いているのである。人を消耗品のように使うことを前提にして成り立っている原発は根本的にまちがっている。さらに経済的にやむを得ないという意見があるが、生命・生存の安全性は何より優先すべきだ。

30924	個人	その他	60代	女性	原発はゼロにする。最初に結論ありきです。国としてまずそのような方針を決め、それに向かってエネルギー政策や、節電対策を進めていくべきです。ホットスポットに住む住民としての実体験に基づく意見です。	福島の原発事故により、200キロも離れたわが街がホットスポットとなり、生活が一変してしまった。住まいの中も外も、依然として放射線量は高い。家庭菜園の作物や庭の果樹はセシウム濃度が高く、もう一生食べられないだろう。幼い子供のいる人は、引っ越しして行き、人口は減少している。不動産価格も下がった。 下水の汚泥やクリーンセンターの焼却灰からは、原発の低レベル放射性廃棄物をはるかにしのぐ高濃度のセシウム汚染灰が出て、保管場所がないまま、膨大な量になっている。 こんな街に住み続けていいものか？　近い将来、いったいどんな健康被害が出て来るのだろうか？　引っ越すべきか？　しかし、引っ越しても、日本全国津々浦々に原発はある――これが私たちの現実である。 原発を推進したい人たちは、ふたこと目には「原発を止めると経済が成り立たない」と脅すが、いったい誰のための経済か。原発の利権を受けている人のためであることははっきりしている。一部の人たちの利権のために、このまま原発を続け、放射能のゴミを出し続け、日本の国土を放射能づけにしたいのだろうか？　わけのわからない“経済”より、安心して作物を育てられる土地、汚染のない海を守るほうが、はるかにはるかに重要である。 今回の事故を教訓に、日本は原発とはきっぱりと縁を切るべきである。チェルノブイリ事故のあと、日本人のあいだでも反原発意識が高まった。あのとき、次世代の安全なエネルギーを開発するまでの「つなぎ」として、原発もやむを得ないというのが、世間一般の認識だったと思う。 しかし、実際にはどんどん原発が増設され、クリーンエネルギーの研究はおろそかになってしまった。その遅れを今からでも取り戻すべきである。
30925	個人	その他	40代	女性	シナリオゼロに賛同します。 2030年までとは言わず、止められる原発から随時止め、30年以上のものは随時廃炉にしていくべきです。	さらなる節電とクリーンエネルギーへの早期転換は必至です。クリーンエネルギーは高いといっていますが、これこそが政府の決断力です。一歩先を行く、ドイツに学び、政府主導で、住民の安全、福祉を保障するのが政府の役割です。クリーンエネルギーへの転換で電気料が高くなったとしても、健康を守っていく必要があります。政府として知恵を集め、しっかりとした決断をしてほしいです。即時ゼロです。
30926	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発NO！今すぐ0！	核エネルギーは人類には制御出来ない力です。物理的にも生物学的にも対処する技術を持っていません。 ましてや、スリーマイルやチェルノブイリの事故が起こっても、日本に当て嵌めて検証する知恵も技術も持たなかった東電は、地震国日本で起こった事故になす術も無く、福島の多くの県民を被爆させその命と健康と未来に恐怖を残し、生活を破壊し尽くし、いまだに16万人の人々を流浪の民としました。 福島原発の今の状況のどこが収束したと言えるのでしょうか？ 平常の運転であっても、その最終処分には何らの技術も無く、10万年後の地球にすら放射能の影響が残るとは狂気の沙汰です。 わずかな人々の金儲けのための無理やりに作りあげた、人類を破壊させかねない原子力体制は今すぐ廃棄すべきです。 未来の人類に手渡さなければならない地球をこれ以上汚さないよう、今すぐ原発0です！
30927	個人	会社員・公務員	30代	男性	「(1)ゼロシナリオ」を希望します。	「(1)ゼロシナリオ」を希望します。 原発は、地震などの自然災害や、他国からの攻撃や、テロでの標的となったときのウィークポイントとなりうるからです。 日本という領土事態を脅かす大きな大きな爆弾を抱えているようなものです。 他エネルギーとの比較を行う場合は、原発の維持費だけでなく廃棄物の処分などにかかる費用のすべてを、さらに、今回のような原発事故の対応費用も可能な限り考慮すべきだと思います。 原発以外でのエネルギーの開発に注力していき、新しい技術が開発されるように推進していくべきだと思います。 費用面、安全面、双方から考えても、原発はやめるべきだと思います。
30928	個人	その他	40代	男性	超長期的には再生可能エネルギーへの移行を希望する。	以下の3点を希望する: (1) 発電能力の不足は当面天然ガス発電所の新設や増強で補う。 (2) この新設・増強は電力会社以外の会社も行えるようにする。 (3) 超長期的には再生可能エネルギーに移行する。 天然ガス発電所は建設費が安く燃料費も安い。例えば川崎天然ガス発電所の 建設費は84万kWに対して500億円と言われ，原発の10分の1以下となっている。 また現在の火力発電は旧式の重油火力を使っているが，重油は高く熱効率も 天然ガスに比べ低い。天然ガスの熱量当り価格は重油の半分程度である。 電力会社が算出する天然ガス発電所の建設費や燃料費は国際水準よりかなり 高い。従って(3)のように既存の電力会社以外の会社も参入させるべきである。
30929	個人	会社員・公務員	50代	男性	いずれのシナリオも電気料金等の大幅な上昇をを招き、雇用と国民生活に多大な影響を及ぼす。一定レベルの原子力発電は維持したうえで、安定的なエネルギー確保と経済成長との整合性を持つシナリオとすべきである。	○今回示されたシナリオは、いずれのケースともに電気料金や光熱費の上昇を　もたらすものである。これは、国内産業、とりわけ、過酷な国際競争にさら　されている製造業にとって死活問題であり、国内生産の空洞化、失業率の上　昇を招き、雇用と生活に多大な悪影響を及ぼすことになる。 　いずれのシナリオも、そのまま選択した場合は、将来に大きな禍根を残すこ　とは確実である。 ○エネルギー・環境に関する政策の選択に当たっては、雇用と生活を守るため　に必要な持続的経済成長との両立を前提とすべきであり、一定レベルの原子　力発電の維持は不可欠である。 　脱原発、反原発という感情論に左右されるべきでない。
30930	個人	会社員・公務員	30代	女性	(1)ゼロシナリオを選択します。 日本全国の原発を直ちに廃炉にしてください。	原発の安全性は100％ではありません。 自然災害は人間がコントロールできるものではないし、今回の事故の様に人間の甘さによって危険性が見過ごされる事もあるからです。 今度、事故が起こったら”想定外”では済まされませんし、誰にも責任は取れません。 福島の原発事故後、以前の様な楽しい気持ちで福島市の実家に帰省する事が出来なくなりました。福島のおいしい果物も食べられなくなりました。そういう小さな不満や怒りを、地震によって亡くなられた方やそのご家族、原発の事故で故郷を失った方たちに比べれば…とぶつけるところもなく我慢している人達もたくさんいるんです。 日本は、今回の事故から学ばなければいけません。美しい国土を汚染したり、子供たちに負の遺産を残す事はもうやめなければいけません。
30931	個人	家事専業	30代	女性	(1)原発0案以外賛成できません。	ゼロシナリオ＝石炭依存ではなく、自然エネルギーを取り入れる策を進めて欲しい。この夏電力は足りている、、原発がなくても電気は足りている。節電を煽る報道はするが足りていることについては全くニュースにでない。 発送電の分離は必要だと思うが、今後どのように改革されるのでしょうか？ 多くの国民は福島の事故をきっかけに安全なエネルギーへのシフトを望んでいます。経済的理由が絡み進まないことも、明らかです。 政府は何を迷っているのでしょうか？ 再処理についても断固反対です。管理できないものを扱うのは、もうやめましょう。 国民の信頼や豊かな自然を失うことのほうが、、大きな問題だと気付いているはずなのに、行動できないのは何故ですか？ 私たちはクリーンなエネルギーを求めています。 実現できる技術や開発力もあると思います。 事故の日から一日も放射線の不安がなくなったことはありません。この先数十年汚染された中で子育てをしてゆきます。 どうぞ、真剣に、経済から少し離れてお考えください。 国をつくるのはヒトです。安心して産み暮らせる日本をつくってゆきましょう。
30932	個人	その他	30代	女性	未来のエネルギー政策の指針を考える上で、脱原発（ゼロシナリオ）することは当然のことだと考えます。さらには、「2030年に向けての取り組み」ということにとどまらず、現存の原発の再稼動にも反対です。	昨年の福島原発事故を受け、地球環境全体のことを考えた上で、私たちが今後どのように「エネルギー問題」を見直していくべきであるのか、大きな選択の岐路に立たされています。 このまま原子力発電を推進するのではなく、国民一人ひとりが節電の意識を持つよう徹底して呼びかけをし、国として、自然エネルギーの導入や開発に力を注いでいく道を選んでいただきたいと思います。 国の予算についても、原子力関連の予算を計上するのではなく、そのぜんぶを、個人・法人に限らず、自然エネルギー（ソーラーや風力発電など）導入のための設備投資をサポートする政策を考え、そちらに補助金を出していくべきだと思います。 自分たちの目先の利益や便利さに捉われ過ぎることなく、私たちが先人から、当たり前のように享受してきたこの素晴らしい地球環境を、責任を持って守り、次世代にきちんと伝え、残していくという努力は怠ってはいけないのではないでしょうか。 いかに安価で利便性の高いエネルギーであったとしても、人の暮らしを脅かす危険性のある原子力発電に頼る暮らしには大反対です。 それよりもみんなで助け合いながら、節電や自然エネルギー導入の道を選び、人間らしく豊かに生きていきたいと思います。
30933	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発再稼動は必要。 震災前の比率は維持すべき。	福島の事故を教訓に原発の安全技術を高め、失敗を繰り返さず 電力の安定供給を進めて欲しい。 それが真の復興と考える為。 その他、電気代が上がる。火力発電では貿易赤字が増える。 地球温暖化が進む。 また、中国が南シナ海や尖閣で不穏な動きをしていてシーレーンが 脅かされると、化石燃料等の供給が不安定になると思うので、 そのリスクヘッジとして。 以上
30934	個人	会社員・公務員	40代	女性	『ゼロシナリオを選択します』	まず始めに原子力発電は、燃料発掘の段階からたくさんの被爆を生み、そして発電所での作業員の被爆、そして核廃棄物の問題、、、とすべてにおいて莫大な犠牲をともなう発電方法であるということ。 そして今回の原発事故により、私たちひとりひとりが、自身が使っている電気について責任を持って決断する時が来ました。 膨大なエネルギーを生むものは、膨大なリスクを伴う。 これは、その世の真理です。 原子力は、人間の扱いうるものではない。 現に核廃棄物の影響は半永久的に消えず、子孫の世代へと受け継がれる。 人間は初心に帰り、すべてにおいて責任をもてる行動を取るべきであるとの考えから、私は『ゼロシナリオ』を選択します。 私たちの智恵を総動員すれば、不必要な電力は押さえられ、それに変わる発電法はかならず実現することと信じています。 お読み下さりありがとうございます。
30935	個人	学生	10代以下	女性	ゼロシナリオが良いと思います。	電気が安く作れても危険な原発より、安全な再生エネルギーがいいと思います。
30936	個人	無職	70代	女性	提示された比率だけを見れば支持できるのは「ゼロシナリオ」しかありません。東日本大震災で地震、津波はひどいものでしたが原発は言葉に言い尽くせない災害それも人災でした。	私は昨年、今年の2回東北へ行き惨状を見てきました。放射能に汚染され ふるさとを追われ家族がばらばらになる、こんな不幸は見ていられません。 現状よりも原発を増やさない選択肢は「ゼロシナリオ」しかありえません。 しかしどの「シナリオ」も地球温暖化防止には不十分です。また(省エネ)はどれも一律「20％」前後しか掲げていません。 　原発だから温暖化防止というのは違うと思います。脱原発と温暖化防止は 両立できないので，石油や石炭に依存した今のままの社会では温暖化をよめる ことはできないのです。風力，太陽光，バイオマス，地熱などを進め100％自然エネルギーによるエネルギー供給を達成する技術は日本にはある筈です。 国内のエネルギー需要を縮小し効率化しながら再生可能な自然エネルギーに 転換する、これこそ21世紀のエネルギー社会を実現するものであると信じます。また核廃棄物の処理問題も全く解決されていません。 　原発はゼロにしつつ温暖化目標を考えたシナリオを支持します。昨年の福島 原発事故以来解決のつかない問題、悲劇が限りなく出てきています。これがいつまで続くのか、おそらく長く長く続くことでしょう。今私たちが考えなおす 時ではないでしょうか？これからの世代の人たちのためにも。何よりも「命」 が大切なのです。 　最終的には脱原発と大幅な省エネ、節電で再生可能エネルギー100％の 安全な明るい未来を目指すことにしたいです。
30937	個人	会社員・公務員	40代	女性	当面は原発の継続は必要で、3つの選択肢以外の選択を考えるべきではないかと思います。	確かに福島の事故から学ぶべき事は多く、安全性を高めるための努力は最優先に考えるべきだと思います。 が、他のエネルギー供給の目途もないままに原発ゼロや大きな削減をする事は 家庭の電気料金の値上げも避けられず、また色々な面での経済発展を阻害する事になると思います。 日本の経済状況が混迷している中、急速な原発ゼロへの動きは、ますます混乱を招く事になり、しいては日本の危機を招く事になると思います。
30938	個人	自営業	60代	女性	「2030年に原発0」ではなく「即刻原発0」を主張します。 政府は本腰を入れて再生可能エネルギーの開発に力を尽くすべきです。	「2030年に原発0」ではなく「即刻原発0」を主張します。 1発電力は原発無しでも不足していません。 　関電は大飯原発フル稼働の後火力発電を停止しました。 　それでもこの猛暑の中、電力不足になっていません。 2原発を動かすかどうかは電力会社の経営問題です。 　原発は廃炉にすれば即不良債権となり電力会社の経営を圧迫します。 3日本は世界に冠する地震大国です。 　危ない地盤の上で危ない原発を責任をとらない人たちが動かす事を危惧します 4核のゴミ問題が未解決です。 　最終処理方法がない使用済みの核燃料廃棄物が溜まり続けています。

30939	個人	パート・アルバイト	40代	男性	原発0%シナリオを支持します、他のシナリオは支持しません	可能な限り早くに、原子力発電所を全廃すべきだと思います。 スリーマイル、チェルノブイリ、そして福島と過去三度、大事故が起こりました。 この事実をふまえて、原子力発電所は事故を起こすものだという前提で、エネルギー選択を行う必要があります。そして、原子力発電所が事故を起こすと、広い範囲に渡って、放射性物質による汚染が起こります。発電所の近隣地区はもちろんの事、遠く離れた首都圏でもセシウムなどが検出されています。農作物などが流通する可能性を考慮すると、汚染の範囲は全国に及びます。これらの放射性物質が、どの程度健康被害をもたらすのか、あるいはなんら被害をもたらさないのかについては、専門家の間でも意見が分かれており、時間の経過によって事実が明らかになるのを待つ必要がありますが、多くの人々が将来の健康について強い不安を抱いているのは事実です。首相官邸前のデモなどを見ても明らかなように、原子力発電所が再び事故を起こすのではないかという不安を抱く人も多いです。政府は国民の不安を見過ごすべきではありません。なぜなら不安を抱いたまま暮らす生活は、快適な生活ではないからです、たとえ豊かなエネルギーが提供されていたとしても。 原子力発電所が稼働している限り、事故への不安は無くなりません。どうか可能な限り早く、原子力発電所を全廃していただきたい。そのような願いから、原発0%シナリオを支持します。
30940	個人	無職	60代	男性	昨年の福島第一原発の事故から学び、私はエネルギー政策を根本的に見直し、原発の依存から脱却し自然エネルギーへの転換を図るべきだと思います。	1、今回の原発事故を修復するにあたって、結局人間の手に負えないことがわかりました。撒き散らされた放射能によって、避難を余儀なくされた人々が、いまだ16万人もいるということが、今回の事故の重大性を物語っています。 2、次は放射能の与える影響についてですが、一部の論調の中に、故意かどうかは分かりませんが、放射能の影響を過小評価している節があります。これは、とんでもない暴論だと思っています。これでは、放射能対策が手薄になるのは目に見えています。特に小さいお子さんのいる親御さんの不安は推し知るべし です。 3、今回の事故に当たって、政府や東電は事故を過小評価（少なくともそう見える）し、放射能の影響についても同様である。その結果、多くの人々が多大な放射能を浴びてしまっている。 以上のような理由から、エネルギー政策の根本的転換が必要と考えます。
30941	個人	その他	50代	女性	子供たちに負の遺産を残さないで。	3．11以降、私の人生観は変わりました。日本政府がおしすすめてきた原発推進、そのことを知らずに今まで暮らしてきたということは、結果的にそれを容認してきたのではないか、と自分自身を責めています。今すぐ、原発はやめてほしい。原発がなくても、電気は足ります。少し、勉強すれば明白です。去年の暮れ、野田総理が福島第一原発の収束を宣言しましたが、あまりに国民を馬鹿にしていて聞いた口がふさがりませんでした。私の住む日本は、こんな国だったのか、と絶望さえおぼえました。すでにたまった核廃棄物、それの処理さえわからないのに、原発を稼動させてさらに廃棄物がたまったら、どうするのでしょうか。福島の人たちを、モルモットにしないでください。経済より、命のほうが大切です。未来に、今の子供たちに、負の遺産を押し付けるような原発推進を根幹とする政策はやめてください。放射能でこれ以上、この美しい日本という国土を汚さないでください。
30942	個人	会社員・公務員	30代	女性	もう原発に頼らないエネルギーを求めます。また、再処理施設を廃止してください。	バイオガスによるエネルギーを国全体として取り組み、原発に代わる新たなエネルギー源として進めていってほしいです。限りある資源を使うのではなく、出来るだけ、クリーンに無駄のない安全な再利用可能な資源を使い、研究、導入、運営等進めていってほしいです。また、その事業を磨りガラスみたいに隠蔽、隠すのではなく、国民にクリアになるようにお願いします。今まで原発に頼っていましたが、今回のことでよくわかりました。原発に未来はないです。未来がないということは、人間も存在しません。国民のための政治です。そのために私は、税を義務として支払っています。政治家、官僚、役人の方々に、支払っているわけではありません。責任を全うして頂きたいです。その為にその場にいるのではないのかと思います。私利私欲の為の運営はもう、しないで頂きたいです。
30943	個人	家事専業	50代	女性	揺れている国民感情、難しい再生エネルギー評価、事故の詳細な検証ができていないことから、5年間程度最終決定を猶予したい。 当面は新規の原子力発電所は無理なので、中間評価として「15シナリオ」を選択。	近未来2030年の原子力比率を、今決めることに不安があります。国民感情が揺れているときに落ち着いた議論ができるのでしょうか？　原発の過酷事故の直後では、国民感情は「ゼロシナリオ」を選んでいるようですが、このような状況に不安を覚えます。そして、再生エネルギーの将来性についても、ここしばらくポテンシャルの評価は難しいのではないかと思います。さらに、福島第一原発事故に対する地震そして津波の影響についても詳細な検証ができていない現在、原子力に最終判断をすることはできないと思います。例えば、東北電力の女川発電所は震災に耐えたことはあまり話題にもなりませんが、将来の政策判断に当たり、大切な材料になると思います。したがって、エネルギー政策決定にモラトリアムが必要で、5年間ぐらい最終決定を猶予する必要があると思います。 当面は新規に原子力発電所を建設することはできないと思うので、敢えて今暫定的に中間評価するならば「15シナリオ」がよろしいかと思います。
30944	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発は0にすべき。	一旦放射能が漏れると、長い期間影響が及ぶ。放射能の悪影響をなくす技術がないのだから、原発は0にすべき。 人間が作っているのだから、100%安全ということはない。 放射能が漏れたときの悪影響が大きすぎる。
30945	個人	自営業	40代	男性	原発利用割合は0% 現在稼働中の原発も直ちに停止すべき。	使用済み核燃料の再処理施設や、 最終処分場が無い現在では、 原子力発電施設は、動かすべきではない。 この考えは、福島第1原発事故以前から思っていました。
30946	個人	無職	70代	男性	福島原発の事故は東電の責任が一番で犯罪にも当たります、映像の開示を、個人のプライバシーを理由に出し渋るなどは言語道断です。抹消されないように注意すべきです、そうしないと国際的にも信用を失います。	原発（核）は人類と共存はできません。 理由：原発の存続は国民投票で決めるべきです。廃棄物の後始末すら出来ない現状では原発は廃絶の方向を打ち出し、自然エネルギーの開発に民意を集約すべきです。私は、29年前に敦賀原発のタービン建屋内で蒸気発生器の定検指導員として10日間ほど勤務した経験がありますが、放射能の安全管理が杜撰であることを新聞に投稿し掲載されたことがあります、放射能の記録隠しなど、原発は人間の倫理感をも破壊します。
30947	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原発はいらない。	必要だと言う理由がわからない。危険極まりない核の管理は不可能と311からの事故で証明済み。事故後、福島近辺の状況は誰が見てもほったらかしで、政府・東電の対応は愚悪である。 唯一の被ばく国の日本が、自然エネルギー開発の先頭に立つべきだ。
30948	個人	無職	60代	男性	日本が原子力発電を導入したのは、エネルギーセキュリティの確保、即ち化石燃料に依存しない電源構成にすることであって今でも変わらないはず。この観点から原子力発電の比率は最低でも20～25%は必要である。	自然エネルギーを今後増やしていくことに賛成ではあるが、水力や風力、地熱、太陽光等の自然エネルギー生産に向いた適地が限定されることや、電力生産コストが高いことから、自然エネルギーが今後急激に伸びることは期待できません。補助金を投入しても一気に大きく成長することはないでしょう、もし補助金付きの自然エネルギーが国の主要電源になるようなことになればその国は潰れてしまいます。 原子力発電比率をすぐにあるいは2040年までに0（脱原発）にした場合、原子力の分を自然エネルギーで代替できるなどありえない絵空事で、もし原子力を0にすれば、その分は化石燃料でしか代替できないことになるのです。結局昔のように海外から輸入する化石燃料に依存した脆弱なエネルギー消費国になってしまいます。これは絶対に避けねばなりません。 自然エネルギーが将来実力で国の主要電源の一つとなれる日まで原子力エネルギーを安全に利用していかなければなりません。自然エネルギーを着実に育てていくためにも原子力エネルギーを利用していく必要があり、2030年時点での原子力発電の比率は最低でも20～25%は必要です。この比率は決して原子力に依存した数値ではなく、化石燃料に依存しないために最低必要な数値であると考えます。 福島の事故で避難を余儀なくされた方々に対し国としてやるべきことは、早期帰還出来るようにするために知恵を絞り必要なあらゆる施策を実施していくことであり、マスメディアに煽られて心情的に脱原発を志向し一時の国民の共感を得ることではないと考えます。
30949	個人	学生	10代以下	女性	(1)ゼロシナリオを選択します。 2030年までにではなく即刻すべて廃炉にしてください。	原発の事故で福島だけではなく、たくさんの方が苦しい思いをしています。 そんな危険のものは無くなった方がいいと思います。
30950	個人	無職	70代	男性	ゼロシナリオを選択する。『2030年までのなるべく早期に原発比率をゼロとする』には、当然、即時ゼロも含まれるので、即時ゼロが望ましい。	大飯3、4号の再稼働が強行されたとはいえ、48基は止まったままである。この状態から、わざわざ再稼働してよいものとよくないものを区別し、再稼働したものを順次廃止していくというのは、むしろ現実的ではない。原発ゼロによって起こる課題に具体的に対処していくことで、段階的廃炉より早く問題の解決が可能になると考える。
30951	個人	自営業	60代	男性	原発による発電を即時中止してください。	地震に対する安全性の確認が出来るまでは、原発を稼動してははいけないはずです。 野田首相などが、安全性の確認を出来てるはずがありませんな。 今正しく安全性の確認を出来る組織がないのですから。 今の保安院・原子力安全委員会などは、事故を予測出来なかった程の、能力不足なので、信用してはいけません。 こんなことは、常識で分かるでしょう。 福島第一原発事故前は、シビアアクシデントが絶対起きないから原発は稼動出来たはずです。しかし、その前提が崩れてしまった以上、すべての基準をゼロから見直さなくてはいけません。そんなことも出来ないうちに、再稼動はありえない。 また、事故の検証も十分出来ていない。国会事故調でもNHKでも、地震による配管損傷等が、今回の引き金になった可能性があるのに、その対策もされていないのに、なぜ再稼動できる？ 今度また事故が起きても、また、誰も責任を取らないでしょう。そんな、原発による電気はいりません。即時停止してください。
30952	個人	自営業	50代	女性	原子力発電の即時撤廃を求めます。	昨年3月の福島第一原発事故の収束はおろか、見通しもないままに大飯原発その他の原発再稼働などは理解できません。 のみならず、使用済み燃料の処理手段さえ見通しのないまま継続をもくろむことには狂気すら覚えます。 原子力発電を継続するエネルギー政策には断固反対いたします。
30953	個人	その他	40代	女性	ゼロシナリオを支持。ただし、太陽や風力エネルギーなどクリーンエネルギーの研究および実施を最優先し、化石燃料の使用はもっと抑えること。	女性が安心できるエネルギー政策が何よりも重要だと考えるからです。これまでのように、事故が起きない最大限の努力をして、危ない原発受け入れる方式では、女性が安心して子供を産み育てることができません。そうでなくても子育てには困難さが予想される（いじめや不登校など問題）のに、更に人間の力ではどうしようもない放射能の被害まで考えなくてはならないなんて、ますます子供を産みたい、育てたいと思えなくなるのでは？このままでは、少子化に歯止めはかからないと思います。どうか、安心安全な太陽や風力エネルギーの開発を国を あげて進めてください。
30954	個人	自営業	30代	女性	老朽化した原発は要管理の元期限を区切り廃炉へ、新しく原発建設は行わず、再生エネルギー政策を柱に、段階と経過を経て、30年後を目指して原発ゼロにする。	省エネと再生エネルギーだけでは、今の消費エネルギーを賄えず、化石燃料依存型で温暖化対策と逆行し、環境にも負荷がかかる。又一般消費者への電気料金としての重い負担を強いる結果も否めないが、場当たり的なエネルギー政策を続けるより、先ずはゼロを念頭に政策を転換掲げる事で、新産業育成への経済資本移動が伴い、実現への相乗効果も高まる。そして何よりも、福島原発事故は今も継続中の問題であり、原発ゼロを目指す事は、日本に課せられた世界への責任だと考える為。
30955	個人	会社員・公務員	40代	女性	2030年のエネルギー・環境に関する3つ選択肢『原発ゼロシナリオ（即時）』を支持します。	処理できない放射性廃棄物を出し続けている事実だけで原発に存在意義はありません。そして地震大国で原発を推進するのは自殺行為。更に40年6前の遺物である原発を推進していれば、世界の主流である自然エネルギーを中心とした産業と社会システムの構築に大幅な遅れをとり、経済的な損失はかりしれません。日本のものづくりの技術力は今ならまだ、自然エネルギーでトップに立てるだけの力があります。それをなぜ潰そうとするのでしょうか？原発ゼロシナリオ（即時）」以外にあり得ません。
30956	個人	パート・アルバイト	60代	女性	(1)原発は、一刻もはやく無くしてほしい。 (2)原発に変わるエネルギーの開発に、官民一体となって取り組むべき。	(1)　核廃棄物の問題やメルトダウンした場合の対処など、人類はまだ原発をコントロールできていないことがわかる。再発防止の策はない。 (2)　いまこそ、新しいエネルギー技術の開発にとりむべき。それは、人々の心を前向きにすると、世界にメッセージを発信すると、新技術を生み出し輸出すれば、経済の発展にも寄与するに違いない。
30957	個人	その他	60代	男性	私は医者です。医療界では安全性について厳しく追求されます。当然危険性のある原発は存在を認めるわけにはいきません。速やかな撤退を前提にして自然エネルギーへの転換を国挙げて図るべきです。	私は医者です。医療界では安全性について厳しく追求されます。当然危険性のある原発は存在を認めるわけにはいきません。速やかな撤退を前提にして自然エネルギーへの転換を国挙げて図るべきです。
30958	個人	パート・アルバイト	30代	男性	原発依存度をなるべく高く保ち、自然エネルギーを電力需要の増加への対応に充てるべき。 原子力発電所、火力発電所共に老朽化した効率の悪い炉は廃炉にして新設すべき。	原子力発電所、火力発電所共に老朽化した効率の悪い炉は廃炉にして新設すべきである。 安全性を削りながら依存を続ける「稼動年数延長」ではなく、 明確に「出力および安全性向上のためのリプレース」を宣言するべきである。 必要な安全対策、断層の調査などは行うべき。 意図の不明な「補助金」は不明瞭なので望ましくない。 事故が起これば別途補償は絶対に必要なのだから「迷惑料」の前渡しはそもそもすべきでない。 それよりも、イメージ向上などではない正しい知識の広報、避難訓練の充実、 ヨウ素剤備蓄、配布手順の確実化などに力を注ぐべきである。 火力への転換は、既存原発への安全対策よりも明らかに時間もコストもかかる。 また、運用に必要な燃料費の増大は万が一の事故対応よりも巨額である。 日本近海の天然ガス田を他国に邪魔されず独占、自給自足できるのであれば火力依存増加も 可能だろうが、日本が独占どころかこちらの取り分まで奪われかねない状況に見える。 自然エネルギーへの転換は、現時点では火力転換よりもさらにコストのかかる方針となる。 実験的に導入し、技術の向上・競争が適正に行われることを期待するべきだが、 過度の補助金投入は、「低品質の発電設備でも採算が取れてしまう」ことになり、 普及はするだろうが技術向上・競争による発展を阻害する可能性がある。
30959	個人	無職	30代	女性	原発ゼロシナリオでお願いします。	原発ゼロシナリオを支持します。 日本は本来技術力がある国なのですから、省エネルギーの研究にもっと力を入れるべきです。 原発は福島の件がなかったとしても結局は常に原発の作業員の方等の健康を犠牲にしなければ成り立たないものです。 どうかそんな犠牲が必要のない、原発のない日本にしてください。
30960	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発の即時廃炉を希望する。再稼働などはもってのほか。	廃炉理由)(1)核廃棄物の増加が続き、処分方法も決まらない中、増やすべきではない。 (2)地震列島の日本において、電力会社、役人の非常時の対処能力がない。(福島の事故の際、このことがはっきりした) (3)これらの結果、原発での電力供給は、リスクが大きすぎる。地熱・風力等の再生可能エネルギーへの転換を早め、今すぐにでも原発を停止させ、廃炉とすべきと考える。
30961	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発依存0%を熱望します。日本が目指すべきところはそれしかないはずです。原発事故で大きな犠牲を生みました。犠牲は今後も続きます。私たちは猛省し、大きな決断をするときです。脱原発です。	発依存0%、脱原発を熱望します。 原子力は日本には必要ありません。 被爆国日本は、核を持たないことを誓いました。原発は、広島・長崎を実験台にして開発されたものです。そんなものを使っていたということを、私たち日本人は猛省しなければなりません。核と平和は両立しません。今回の原発事故できのこ雲があがったのを見て思い知りました。 私の住む北海道にも原発があり、私は日々その電力を使っています。原発を危険と知りながら使い続けてきた私は、加害者の1人だと思います。今回の原発事故を引き起こした加害者の1人です。そう思うからこそ、私は今度こそ原発を止めたい、もう加害に加担したくはありません。 私は被爆したくありません。誰かに被爆しなさいと言うこともしたくありません。原発に賛成することは、誰かが被爆してもいいと思っているということです。私はそんなことは言いたくない。 原発は全て廃炉にしましょう。 電気は原発がなくても安定して作ることができます。 原発につぎ込んできたのと同じ力とお金を自然エネルギーの開発に投入すれば、より安定した持続可能なエネルギーの仕組みを作ることができます。その開発や建設で経済も雇用も活性化することができます。そして、次世代に向けて日本が世界をリードすることができます。 自然エネルギーに見向きもしないで原発ばかりを研究し建設したうえで、「自然エネルギーは不安的でだめだ」などと言わないでください。 同じように研究して開発してみてください。 日本の技術を今こそ発揮してください。 日本が今ここで原発を止めることが、歴史上大変大きな意味をもつということに気づいてください。 世界中が日本を見ています。 日本が国際社会をリードし、自然エネルギーで成功していく姿を見せましょう。 それを貫くだけの大きな報酬が、大きな犠牲のもとに今ここにあります。犠牲を無駄にしないためにも、原発ゼロの日本に転換していきましょう。 原発、廃止しましょう。

30962	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを支持します。この猛暑続きでも、東京電力管内は原発0で十分やっていけていますし、日本中でも1基の稼動で、余るほど電力が供給できているのに、再稼動する必要は全くないと思います。明確です。	今夏、電力が十分供給されていることにより、政府が経済的な問題のために、再稼動を推進していることが明確になりました。史上最悪企業、東京電力をなぜ政府がここまで支持するのでしょうか？ 政府が国民よりも一企業側につくのはあってはならないことですよね。おそらく野田首相が再稼動を取りやめようとすると、管元首相のように原子力ムラの圧力によって潰されるのでしょうけど、そういうマフィアみたいな人たちはそろそろ潰してください。3.11以降東京に住んでいる私たちでさえ、大きく生活が変ってしまいました。こどもたちは更に色々な活動が制限されてしまいました。 一部の自分たちの利益しか頭にない人たちのために、未来を背負う子どもたちを犠牲にしないでください。 少しでも良心があるのであれば、冷静に判断し、原発をなくしてください。 日本が途上国であれば暴動が起きているかもしれませんよ。
30963	個人	会社員・公務員	50代	女性	「ゼロ　シナリオ」しかないのでは	3，11の原発事故の汚染地域に住めるようになるには、何年もかかると思います。また、放射能も今ではなく、将来　何年か後に影響がでるのではないでしょうか。 地震大国　日本　には　原発は必要ないのではないでしょうか。
30964	個人	家事専業	40代	女性	ゼロシナリオに賛同します。	私は、原発依存度はゼロにしなければならないと思います。なぜなら、原子力はどうやっても人間が制御できないものだと思うからです。そして、原発は決して安全ではありません。福島の事例を取ってみても危険なのは明らかなのです。あらゆる事故を想定しても防ぎきれない放射能汚染は発生するのです。ですから、原発はゼロにしなければなりません。そして、よりクリーンなエネルギーを開発していく必要があります。化石燃料も使わないようにしなければなりません。地球温暖化を防止するためです。日本には新しいクリーンなエネルギーを開発する技術力があるはずです。今まで、原発の技術ばかり推進してきたので、海外に後れを取っていますが、日本の技術力は世界屈指のものなのですから、地熱発電や太陽光発電など、もっと日本の国土にあったエネルギーを作ることができるはずだと思います。そして、原発を無くし、綺麗な国土を取り戻してください。
30965	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発ゼロシナリオに賛成	原発を稼働することによって生じる放射性廃棄物の安全な処理方法も確立していないのに、原発を動かしてしまった電力会社や国の見識には、あきれるばかり。原発稼働を容認するなら、その方たちの裏庭に、人に迷惑をかけず放射性廃棄物を保管してくれるならまだしも、それもなしに、原発によるエネルギー政策を問うのはどう考えても間違っている。 地震がほとんどないイメジでさえ、裁判所から耐震上の欠陥があるとして建設された原発を一度も稼働させることなく廃炉にしている。地震大国日本で原発による発電を志向するのは、そもそもスタートからして誤り。 国も電力会社も、人から生業を奪っておいて満足な補償をしないのだから、それは原発は安上がりだろう。しかし、国民の常識では保障の考え方は違う。こんな危険な原発の稼働はかえって高上りだ。それをぜんぶ国民にかぶせようというのだから、気がしれない。 100歩譲っても、この国のうそつき政府やうそつき企業に原発を動かす資格はありません。
30966	個人	自営業	50代	男性	0%シナリオを支持、むしろ前倒し全廃を望む。理由 (1)事故や最終処理を含めた原発コストは最大。 (2)15%以上が目標では、例え技術が許しても前倒し全廃できなくなる。(3)国民は原発廃止による負担に耐えられる。	福島の事故以来、原発が過去喧伝されてきたような「絶対安全」なものでは決してなく、ひとたび事故が起きれば国民の多くに多大な犠牲と負担を何十世代にわたって強いることになることが明らかになった。このような状況下で、我が国のエネルギー政策を原発廃止の方向に舵を切るべきことは、もはや自明の理である。経済ではなく生命を重視すべきである。 したがって、2030年時点における原発依存率は、できるだけ少なくすべきであり、その意味で0%（できるだけ前倒し）を支持するものであり、さらに以下の理由を追加する。 （1）猛暑のつづく2012年の今夏、原発稼働ゼロでも停電は生じなかった可能性が高いこと。（大飯原発の再稼働後、関西電力は火力発電所の一部を停止した。また、8/8現在、電力需給に想定されたほどの需給ひっ迫は訪れていない。再稼働が必要という議論はいわゆる『原子力ムラ』の既得権益維持のための欺瞞のロジックであると思われる。） （2）2030年時点において、15%ないし20～25%という目標を設定することは、今後生まれるであろう数々の技術革新の可能性を度外視している。一旦、これらの目標に設定してしまうと、技術革新によってそれ以前の原発廃止が可能になったにもかかわらず、2030時点でも原発を廃止しないというような安易な判断に流れる危険がある。予断を排して進むには、2030年以前のできる限り早期に0%廃止に持っていくとの基本路線を敷くべきである。 （3）我々国民は子子孫孫の幸福を考えると、原発依存脱却によって、経済生活に多少の苦難が生じても、一致協力してそれを乗り越えていく覚悟と能力を有している。それができないと考えているのは、株主利益を気にする産業界と、税収不足に悩む政府のみである。我々国民は、納得できる説明を受ければ、自分たちの国のことは自分たちで支える気概をもつ国民である。そのような国民を信じるべきである。
30967	個人	会社員・公務員	20代	男性	少なくとも20%から25%の原子力発電は必要。 ただし、どの選択肢も省エネや二酸化炭素の削減目標が大きすぎ、環境対策のための大きな負担が発生し、結果的に経済に悪影響があるのではと心配です。	敢えて挙げるとすれば、原子力発電20－25%案を支持します。 しかし、本音を言えば原子力ゼロであろうと、原子力25%であろうと、自然エネルギーの大幅増強や省エネ20%といった目標は不安です。 そのため、「世界に誇れる日本の原子力安全技術、高効率で環境に優しい火力発電」を目指して欲しいです。技術開発やコストの状況によっては、原子力発電や火力発電の比率が増えることも十分あり得ると思います。 コストについては、いずれの選択肢も省エネや二酸化炭素の削減目標が大きすぎるため、国民負担が大きくなるのではと思います。 更には、個人も企業も大幅な環境対策のために新たな負担が必要となり、可処分所得が減少して経済に悪影響があるのではないかと考えています。 個人的な事情となってしまいますが、私の実家は築45年の古い家屋で、そこに家族5人で住んでいますが、古い住宅であるため断熱性も低いです。 また、太陽光パネルを設置することが出来ない状態ですし、家の建て替えも簡単には出来ませんし。 現状では、買い取り価格を見ても風力や太陽光は不安定で高コストとなってしまいますから、コストを考えてもソフトランディングが必要だと思います。 原子力発電は一定程度を利用し、火力発電も技術を改良しつつ、エネルギーを安定的に、かつ安価にする必要があると考えます。 原子力発電については、福島事故の記憶が生々しいです。 そこで、この苦い記憶を反省し、新しい安全基準を確立したり、新聞などでも報道されている新技術の開発（受動的安全炉、加速器未臨界炉、放射性廃棄物処分方法の研究など）も国が関与して取り組む必要であると考えます。 また、火力発電についても、高効率化や環境対策の研究を引き続き行い、世界をリードして欲しいと思います。 原子力や火力の技術を世界に広める、「世界に誇れる日本の技術」とするくらいの気概で取り組み、インフラの輸出にも積極的に取り組んで欲しいと思います。 20年後、多くの人たちがエネルギーで困ることの無いよう、政府の方々には頑張ってほしいと思います。
30968	個人	パート・アルバイ	50代	女性	原発ゼロ（脱原発）に賛成します。	原発を残すということは、原爆の材料を保持することになるし、廃棄もできず放射能を出し続ける厳罰事故が二度と起こらないよう、そして経済優先ではなく生命優先のため、原発ゼロを選びます。
30969	個人	自営業	40代	男性	「原発ゼロシナリオ（即時）」エネルギー計画はどれも、将来に対して安全な社会を約束するものではありません。原子力エネルギー依存を終了させ、より踏み込んだ原子力ゼロの筋書きの提案を求めます。	具体的に私たちは以下を要求します： 直ちに原子炉再稼働をやめさせる 積極的な温室効果ガスの削減目標を掲げた日本の気候変動と戦うための国際公約を尊守させる 再生可能エネルギーの生産を加速させる 発送電分離によって崩壊したエネルギー部門を再生する 石炭と天然ガスへの依存の前に、エネルギー効率を優先付ける 私たちはあなたがたが人々の意見に真摯に耳を傾け、私たちが誇りを持って支持することのできるエネルギー計画を提案することを望んでいます。
30970	個人	会社員・公務員	40代	女性	私は、「原発ゼロシナリオ」の意見です。 今回の災害事故で原発の安全性がゼロになりました。 そして、色々勉強しました。 やはり自然エネルギーが一番です。	私は、「原発0シナリオ」の意見です。 人間がたくさんのお金をつぎ込んでつくってきたたものが　その人間を苦しめています。人間も動物。自然が一番です。日本は世界で初めて原始爆弾を落とされたただ一つの国です。その日本でまた違うかたちではありますが、放射能に苦しんでいる人々がたくさんいる。という現状が、今あります。 なんでもそうですが、「いけないとわかっていてやめない」ということが一番いけないことです。小学校や、幼稚園児でも「これはよくない事」ということをちゃんと分かっています。事故がおこれば日本にもう住めなくなると思います。 お金の使い方にも大きな問題があると思います。日本人が払っている税金はもっと日本人に使って下さい。大震災で今もつらい生活をされている方々に国としての支援ができないのか・・・。と思います。日本の国は日本で守っていく、という姿勢でこれからは、進みたいです。危険なものは、取り除くということは本当に当たり前のことです。 是非、国民の意見を、思いを大事にして下さい。 これまで人間は暮らしやすい生活のために、お金のために色々な面で進化しすぎてきたのだと思います。お金だけでは　本当に大事なものが失われてしまいます。 人間らしい人間でいるためにもこれ以上のものは失いたくはありません。 未来のこども達のためにも、ここで、しっかりと判断しなくてはならないと思っています。
30971	個人	会社員・公務員	20代	女性	(1)ゼロシナリオに賛成します。	(1)ゼロシナリオに賛成します。 明日は長崎に原爆が投下された日。 放射能を浴びた人が今でも苦しんでいる様子をDVDで見る機会があり、おそろしさを改めて感じました。 原子力に頼らなくてもよい社会を作っていかなければならないと思います。
30972	個人	家事専業	40代	女性	1番のゼロシナリオしかない。早期の脱原発を目指し再生可能エネルギーや自然エネルギーの検討を。再処理工場や核燃料サイクルも主権者の国民に議論を問うべき。パブコメの受付も早く長期に広く周知するべき。	昨年の震災で、多くの国民や世界各国の人々は、原発は人間のコントロール能力を超えていることを確信したはずです。日本は唯一の被爆国でありながら本当に情けなく恥ずかしく思います。 一日も早く脱原発ができるよう、太陽光・風力・メタンハイドレート・ガスコンバイン等の専門家を結集し、今の若い人たちが、子供たちが、安心して暮らせて、未来に希望が持てる国にしなくては。 そのための政府ではないですか？国家とは、何かあったら守ってもらえるのが国家であり、それがないなら国家とは言えません。主権者は国民です。政治家が国民の声を聞かないから、どこのセクトにも属さない、ごく普通の人々が毎週、官邸前に集まるのです。私もその一人です。政治不信、危機感を募らせて、何かしないといられないんです。もっと多岐に渡る原発問題について、国民に議論を問うべきです。そして、サイレントマジョリティの声なき声までも拾って下さい。このようなパブリックコメントの募集告知は、もっと早く広く長く周知して下さい。お金より命が、地球が、自然が大事です。
30973	個人	会社員・公務員	40代	女性	2030年といわず、即時全廃を希望します。	原子力発電は、ウラン鉱採掘の時点から、使用済み核燃料の廃棄処分に至るまで、被ばく労働者を生み、人を含む自然環境に深刻なダメージを与えます。 そのダメージが現代の技術力をもってしても解消できない以上、原子力発電は使用可能な技術とは言い難いと考えます。
30974	個人	会社員・公務員	40代	男性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 （政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべき）	このパブコメ募集の前提が「2030年までは原発が維持される」というもの。日本の多くの地震学者の共通見解は「巨大地震のサイクルに入った」。再び事故が起これば、日本は再起不能になる。 政府はエネルギー開発スケジュールを国民にしっかり示すべき。

30975	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発ゼロ希望	2030年までに原発利用を0%にまで減らすことを希望します。 理由は簡単です。 原発を動かせば必ず出てくる 核廃棄物の処理方法が見つかっていないこと。 （ゴミ捨て場を作らずに 大量のゴミを出し続けることは 常識で考えて、おかしなことです。） この地震の多い国に原発をたくさん作ってしまったこと それを動かすことに生命の危険が伴い続けることを知りつつ目を逸らしてきたこと いずれも理論的に筋が通っていないからです。 再稼動の問題も同じです。 福島での原発をコントロールできていないのに ほかの原発を再稼動しようという声は、 一体どうやったら出てくるか。 自分自身、もしくは自分の家族だけは 原発の敷地内に入らない 原発を動かす仕事にはつかない 原発に事故が起こって被ばくはしない そう思っているから。 （どこまで思い上がった自分中心の考えなんだろうと、呆れます。） 自分が死ぬまで無事に過ごせれば、 子孫の未来についてはまったく興味がないから。 再稼動はまさに狂気の沙汰です。 あなたがた政治家のみなさんと違い、 私たち国民はまだ狂ってはいません。 理論的な考えから声を上げているのです。 国民の声に耳を傾けてください。 これ以上国民の願いを無視しないでください。 たとえ貧乏になっても、原発を使わない暮らしを望んでいる国民は 相当数います。 集計してみてください。 自分の命、自分のまわりの人、動物、植物の命を大切にしたい 地球、自然を大切にして おだやかに生きて、そして死んでゆきたい。 国民のこの最も根源的な願いをかなえることは 難しくありません。 原発を止めればよいのです。 それもすぐにです。 私たちはもうこれ以上、世界を陵辱することに耐えられません。 ほかの国の人たちがみな日本を見ています。 とても恥ずかしいと感じます。 国民の声をしっかり聞いて、国民の言葉をしっかり読み取って、 国民の顔をしっかり見つめてください。 私たちはみな真剣です。 これ以上狂気の世界に進みたくない、この状況を止めたい 本気でそう願っている事を、正面から受け止めてください。 それが政治家の、まともな人間の仕事だと思います。
30976	個人	会社員・公務員	50代	男性	代替エネルギーの見通しが全くたっていない、また、経済が落ち込んでいる今、原子力発電での電力価格抑制が一番だと思われるため、20～25シナリオが妥当と考える。	もともとエネルギー資源の乏しい日本が、熱源が比較的安全に輸入できる原子力発電を主電源に舵取りしたことは正しかったと思われる。ただ、昨年の震災を受けてどんな設備も「絶対」安全と言ういわゆる神話は崩壊してしまった。しかし、急遽訪れた神話崩壊によるエネルギー源変換は容易なものではなく、2030年断面（18年後）までに、再生可能エネルギーをゼロシナリオの35%に高めることは技術的にも経済的にも無理がある。加えて火力発電の割合を現状維持以上（65%）にすることは、CO2排出量削減の意味や化石燃料の残量期限からしてもとうてい許されるものではない。以上の理由からゼロシナリオは全く問題外である。 では、15シナリオか20～25シナリオかと言うことだが、当然のことながら、いずれにしてもエネルギー単価が高騰し、今でも諸外国との競争に四苦八苦していることから、今以上にエネルギー単価を上げることは、適切では無いと考える。したがって、エネルギー単価を抑制する観点からは20～25シナリオが適性と考える。しかし、震災による安全神話崩壊後で新しく原子力発電所を新設したり、老朽化した原子力を長期にわたって運転し続けることに国民の理解を得ることは大変難しいと思われる。 そのためには、国・電力会社がいっそう指針や安全対策を明確にして国民への理解を求めていくことが必須と考える。その上で20～25シナリオを推薦したい。 なお、20～25シナリオで進めながらも、出来るだけ早い時間で、開発コストの安い再生可能エネルギーを開発して頂き、原子力発電の比率を段々と縮小させていくことを望みます。
30977	個人	家事専業	30代	女性	原発0のプランを支持します。これからの未来を担っていく子どもが、放射能の心配なくご飯を食べられる世の中、それが生きていく基本です。	経済活動が成り立たないと、国民の生活が成り立たないのではないか。エアコンに頼らない生活は無理なのではないか。色々と考えましたが、やはり原発はあってはならない。0にすべきです。子どもやこれから私につながる人たちに、自分たちの世代が手に負えないものを背負わすことは罪です。今年の夏はエアコンに頼らない生活をおくってみています。自然の風が涼しいことを久々に思い出しました。やればできるもんだと思いました。自転車で電気を起こす発電機を一家に一台置くことにする、などいろんなアイデアも出てくるはず、本気で原発をやめる気になれば日本人はやれます。
30978	個人	家事専業	50代	女性	脱原発　原子力発電依存0%にするべき	福島の原発の事故以前より、原子力発電は反対でした。 やはり核のごみ処理の不安です。人の力でコントロールできない核のごみを出し続けるべきではないと思います。そして今回の福島の悲劇に不安が一杯です。自然の中で生かされ自然と共存していくクリーンエネルギーに移行して欲しいのです。
30979	個人	法人等	40代	女性	20～25シナリオに賛同。政治は私利私欲しか考えておらず、我々の生活、仕事、日本の産業を守り、成長するには、その活力となるエネルギー（電力）の低価格、安定供給が最低限確保されること望む。	想定外の自然災害を恐れ、原発ゼロにすることは、交通事故に遭うことを恐れ、家に引きこもるのと同じと思います。まさにこれは今の日本を象徴しており、自民党政権の下、原子力発電を推進し、ゆがんだ補助金を大量に投入した原発（いわゆる箱物）を有効に活用しなければ、私たちの血税が無駄に捨てられることになり憤りを感じます。政権交代後は地に足がつかず翻弄させられ、疲弊した日本を立ち直らせるためには、政治、政府には期待できません。自らが自分たちの生活を守るため、雇用が確保され、仕事ができることが不可欠です。仕事ができるということは、日本の産業が健全であることだと思います。政府はものづくり立国日本を推進するなら、第一次産業、第二次産業をもっと大切にすべきです。そのためには低価格で、安定した電力供給が不可欠です。エネルギーは、生活、産業の空気、水と同じくらい大切なものです。今、原発をゼロにすることは、日本のこれまでの政治を否定することになること、政府や政治家の皆さんは自分のなさってきた仕事に対し、責任を放棄することになるのではないでしょうか？ 生活、産業が安定し、成長できる条件を確保し、すなわち20～25シナリオを選択肢、私たちの生活、仕事（会社経営、産業）に極度なプレッシャーをかけない条件下で高い目標（ゼロシナリオ）を目指せばいいのではないのでしょうか？増税、電力料金の値上げ、年金の不透明など不安になる条件ばかりを課せられれば、人間だけでなく企業も震災からの復興、がんばっていこうという気力もなえてしまいます。日本自身が引きこもり、本政策による産業界へのいじめとしか思えません。今の日本の世相は、まったく政治を映し出していることを、政府や政治家はもっと自分自身のこととして考えてほしいです。
30980	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを選びます。国や電力会社は事故前となんら意識が変わっておらず、国民を騙し、なし崩しに元来た道に戻そうとしているだけ。	選ぶシナリオは、やはりゼロしかない。本当に原発が必要というのなら、まずは原子力ムラを解体すること。事故の責任をきちんと取らせること。そこで初めてスタート台に立てる。事故前と同じ組織で同じ人間が同じ意識で事を運んでいる限り安全などあり得ないし、原発の必要性も全く説得力がない。実際に記録的寒さだった昨冬を、何の制限もなく乗り切っている。関西以外は原発なしにこの夏を迎えている。昨年の国や電力会社の主張が正しいのなら、今頃日本経済は大変なことになっているはず。従って、関西圏の電力が足りないというのも全く信用ならない。しかも野田首相は大飯の再稼働にあたり安全性の確保は絶対条件、安全が確保されないうちの再稼働はあり得ないと力説していた舌の根も乾かないうちに、活断層の可能性、手つかずの免震棟などを無視しての再稼働である。しかも夏の電力ピークを過ぎても安全性を無視したまま大飯を止める気配はない。国民をばかにするのもいい加減にしてほしい。日本にはいい技術がたくさんある。再生可能エネルギーで世界をリードし、事故で世界中に赤恥さらした「ものづくりニッポン」をもう一度世界にとどろかせる絶好の機会ではないか。もちろん口で言うほど簡単ではないだろうが、ダメな理由を並べるのは子供でもできる。今すぐにすべての原子炉を廃炉にしても、解体まで数十年かかり、その間にかかる費用も大変なものであること、それが50基分にのぼることも承知している。しかし、15シナリオとてその後の原発の方向性をグレーにして国民を騙しにかける要素を含んでいる。仮に原発の安全性が確保されたとしても、使用済み燃料の問題が残る。後輩たちにハイ、あとよろしくね、ではあまりにも無責任である。事故の収束もできていないうちにこの短期間で大事なことを決めるのも、国民の意見を聞いたという既成事実を作りたいだけ、という国民騙しを、ここにも感じる。だから本当は意見を書きたくはなかったが、書かなければさらに思う壷なので書いた。やはりゼロシナリオである。
30981	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオを指示します。 プラス化石燃料への依存度も下げ、省エネ、自然エネルギーへの切り替え社会を目指すべきだと思います。	福島の事故が一向に収束へ向かわない現状、 核廃棄物の処理方法が決まらない今 原発をゼロにする以外の選択はないと思っています。 2030年といわず今すぐ廃炉への道を探るべきではないでしょうか？
30982	個人	その他	40代	女性	日本は未来指向のエネルギー政策で世界をリードして下さい。	「クール・ジャパン」。現在、このスローガンは、仮想世界を描く漫画とアニメのことを意味しますが、日本の人々、それから世界中の人々のインスピレーションになるために、現実世界でわれわれが直面しているエネルギー問題に対する新しいビジョンを反映するよう、その意味を拡大して下さい。 原発は、このエネルギー危機の解決にはなりません。原発が出すゴミを安全に保存する方法がなく、そのような技術があっても保存状態の安全性を維持する社会構造がいつまでも存在しつづける保障は何もありません。また、原発にはこのような問題がまったくなくても、「お湯を沸かす」技術に過ぎず、将来、石油に依存しない運輸や生産など、そのような問題をどうすればいいかという非常に深刻な課題に応えることはできません。 現在、原発に力を入れるよりも、エネルギー問題に包括的に・長期的に対応できるアプローチが必要です。これは簡単なことではありません。原発などのこれまでのエネルギー対策をどうしても維持・拡大したい既得権益が強く、太陽発電などの持続可能エネルギーは現在の技術ではわれわれのエネルギー・ニーズをカバーすることはなかなか難しいと考えられます。しかし、日本政府は、現実を避けて中身・勇気のない政策をしつづけるよりも、現実を認めて、大変かもしれないけど一緒に頑張れば新しいエネルギー対策、新しい生き方を開拓できるという態度、つまり、本当のリーダーシップを示せば、日本に住む私たち、それから世界の人々全体にとって、どんなにすばらしいこと、どんなに将来に対する希望が湧いてくることでしょう。 私はオーストラリア出身ですが、1992年に来日して現在日本人の夫と東京で暮らしています。当初、日本に1年くらい滞在してからオーストラリアに帰る予定でしたが、日本の人々、日本の食べ物、日本の自然、日本のさまざまなことが非常に気に入り、結局ここに住み続けることにしました。これからも一生、日本に住むつもりです。 日本もオーストラリアもそうですが、多くの国で、選挙で投票しても、何も変わらない、どの政党が与党になっても結局同じような政策をとってしまう、という政治に対するシニシズムが大きな問題となっています。エネルギー問題に対する「マーシャルプラン」を立てば、エネルギー問題だけではなく、この問題にも対応できるし、日本の経済も活発になる可能性が十分あります。また、新しい道を開拓している国として、世界で日本のイメージと日本のソフトパワーがアップするに違いありません。 人類に夢と希望を与える。それ以上に「クール」なことはないと私は思っています。
30983	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発ゼロ（脱原発）に賛成します。	唯一の被爆国である上に、福島原発の事故を経験して、原発の恐ろしさをどの国よりも一番痛感しているはずです。これ以上子孫に、危惧する原発を残すことは考えられません。
30984	個人	会社員・公務員	30代	女性	これからのエネルギーについて	エネルギー資源に乏しい日本において、原子力は必要かに思えました。 しかし、それは世論の操作であったことが原発事故によってよくわかりました。 無関心で原発を野放しにしていたことに責任を感じております。 将来は安定供給や、経済における重要さを差し引いても、原発から脱却すべきであり、 高温岩体発電やマグマ発電の研究、クリーン火力発電に重きを置くべきだと考えます。 原子力は人の力の及ばない危険を含んでいること、天下り先や各種利権の温床であること、 原爆を落とされた唯一の国にもかかわらず核兵器の代わりのように保持していること、 放射性廃棄物が出ること、地球温暖化の一因にもなること等、将来性が無いように感じられます。 いくら原発推進派が必要性を訴えようとも、危険性や実際にかかるコストを公にせず、 常に隠ぺい体質であることも、上記を裏付けているように思えてなりません。 未来の子孫には、経済的な豊かさよりも美しい地球を残すべきです。 豊かになっても日本人の心は誇りを失い、病んでいます。 みんな最後は死んでしまうのに、なぜ目先の利益や経済にのみこだわるのか理解ができません。 放射性廃棄物というゴミを子孫に残すことは避けるべきです。
30985	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発ゼロシナリオを選びます。	原発ゼロシナリオを選びます。福島県民をはじめとする、福島第一原発の放射能の被害に苦しんでいる人々がおられることを考えただけで、原発のエネルギーは一刻も早くなくすようにしてほしいです。もっと自然エネルギーを推進してください。福島県民の多くの方々は「原発ゼロシナリオ」を望んでおられると思います。当事者であるその方々の考えを第一に尊重するべきです。「電力が不足している」などというおどし文句を言うのをやめるようにしてください。「命が脅かされている」ということのほうがより深刻です。命が一番大事です。 　2030年までのエネルギーのありかたとおっしゃいますが、そんなにいつまでも原発を使ったとしたら、使用済み核燃料の置き場所に困ると思います。
30986	個人	自営業	50代	男性	ゼロシナリオを支持します。	昨年、管政権及び野田政権は脱原発を政策の基本に置いたはずですが、15%シナリオは原発の40年廃炉を基本としながらも、運転期間のの延長及び原発の新設なくしては達成できないのではないか？ また、20～25%シナリオは新設をしなければ達成出来ないはずである。 その意味からも、15%シナリオ及び20～25%シナリオは脱原発を前提として設けられたものではないので、本来この選択肢を設ける事は不適格である。 東京電力は原発の耐震性を主張しているが、原子炉の耐震性は確保されているかもしれないが、本来配管や配線などのシステムを含めた設備であり、システム毎に震性を等級分けしてていること自体も含め、地震列島の日本において原発の耐震性を主張する事はナンセンスである。 また、使用済み燃料棒の処理技術、処分方法、処分場が未完成、未定の状況で放射性物質を燃料とする原発を稼働する事は、将来において大きな負の遺産となりえる。 それ故、ゼロシナリオを支持し、再生可能エネルギー及びLNGを含めた化石燃料との併用を支持する。 電力会社が購入している化石燃料の費用を下げれば電気料金は上昇しない。また、原発の有る自治体への交付金を圧縮し、再生可能エネルギーの開発、推進、補助金等に充てるべきである。 原発の有る自治体の経済的な問題に関しては、長期に亘る廃炉作業により経済的な還流は起こり得る。 逆に、日本全国では原発のない自治体の方が多く、交付金が無いなりに経済活動を行っている。
30987	個人	会社員・公務員	30代	女性	3つのシナリオから「原発ゼロシナリオ」を選びます。	3つのシナリオから「原発ゼロシナリオ」を選びます。 理由は、福島原発の事故から1年半も経つのに、まだ落ち着かない状況なこと、原発付近に住んでいる人が避難している状況が続いていること。また、福島から遠く離れた土地でも食品や土壌等で放射性物質が検出されたり、その影響で海外で日本の製品の輸入規制があったりするからです。 子供たち、またその子供たちが健康に生活できる日本である為に、できるだけ早く原発ゼロの社会になって欲しいと思います。
30988	個人	会社員・公務員	30代	女性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張します。	《政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべき》 このパブコメ募集の前提が「2030年までは原発が維持される」というもの。 前提自体が国民を騙すトリックだ。 再び事故が起これば、日本は再起不能になる。政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示すべき。

30989	個人	無職	50代	男性	エネルギー・環境に関する選択肢では、原発比率の選択肢ばかり注目され、二酸化炭素排出シナリオは事実上、原発比率選択肢の従属関数化され、二酸化炭素排出量幅がほとんど変わらないのを改めるべき。	原発ゼロから原発25%まで違いが大きいのに、温室効果ガス排出シナリオは、事実上横並びで、数合わせとしか思えない。そのことは2030年の発電電力量予想もいずれのシナリオも2010年比横並びの1割減、また最終エネルギー消費量も、原発ゼロ追加対策後のみ突出させて後は横並びからも察せられる。 なお、選択肢では「温室効果ガス」となっており、2010年の排出量は1990年日▲0.3%となっているが、エネルギー選択という文脈ならはあくまで二酸化炭素排出量でなければならない。2010年の二酸化炭素排出量は11億9200万トンであり、1990年の約11億5000万トンから3.7%ほど増えているので、2030年のシナリオも変更すべきだ。 差見としては、2030年時点で二酸化炭素排出量を▲30%にせねばならず、20～25%シナリオ＋追加対策後を入れれば賛成できる。その結果、化石燃料比率は40～45%まで下げられ、二酸化炭素排出量も▲30%に近づけられる。 またそのシナリオの中で原発比率を可能な限り20%にするために更なる追加＋追加対策で再エネ比率をもっと意欲的に増やす努力をすべきだ。
30990	個人	会社員・公務員	40代	男性	遅くとも2030年までに原発0を目指すべきと考えます。	福島での原発事故以降、原発の安全性に関する今までの考え方に素人でも大変問題があったと考えられる面が多々伝えられています。 この様な状況の中で、原発を再稼働した事は大変問題であり、本来であれば即時に全原発を廃棄すべきと考えます。 しかし、現在の日本のエネルギー状況を考えると即時原発を全廃した場合のエネルギーの需給に対する問題が大きいのも事実です。 こうした中で、大変苦しい選択ではありますが、安全対策と規制を徹底的に見直した上で、今後10年程度は比較的安全性が高いと考えられる原発は使用する事として、省エネルギーと再生可能エネルギーへのシフトを徹底的に進めるべきと考えます。 省エネルギーと再生可能エネルギーの技術開発と需要の喚起は世界的に見ても大きな商機であり、原発技術の輸出よりも日本と世界に大きな貢献となると考えられます。 原爆で被爆した国がまたも少多くの被爆者と故郷に住めなくなった人をだし、さらにそのシステムを他の国に輸出する事は、道義的に許されるものではありません。 出来る限り早く、原子力に頼らないで生活出来る様になる事を望みます。
30991	個人	家事専業	20代	女性	(1)0% 現在から、すべての原発を使わないべき。	原発事故により、自宅にも帰れなくなったり放射線被爆した人、放射線を日本中で心配しながら生活することが起きている。 原発を動かすということは、これからも同じことが起こりうるということ。 自分たちや子どもたちの未来を考えれば原発を動かすべきでないことは誰でもわかる。
30992	個人	自営業	50代	男性	原発ゼロシナリオを選びます。	原発ゼロシナリオを選びます。 福島第一原発事故が起きた今、人間に原発をコントロールすることが不可能だということがはっきりしました。 放射性廃棄物の処理方法や費用、一旦事故が起きた時の事故処理費用、損害賠償費用など原発のコストの問題を考えると、原発はコストの安い電力源とは考えられません。 政府や電力会社や経団連は電力不足や経済性の問題を言いますが、省エネルギーへの取り組みを進め、自然エネルギーを推進し電力システムを改革することで、解決することが多く有るはずです。
30993	個人	家事専業	30代	女性	環境保全はもちろん大事。エネルギーは自然エネルギーの普及に努めると同時に、現在の原子力エネルギーは安全を確立した上で存続が必要。	自然エネルギーで日本国内のエネルギーが全て賄えるのであれば、それが一番良いと思う。 が、しかし日照量や風力は国土地形や四季がある等の自然状況より、自然エネルギーの安定供給は難しいと考える。 また、エネルギー資源の乏しい日本にって火力などではコストがかかり過ぎ、世界の含有資源を今の世代だけで食いつぶすわけにはいかない。 その点、原子力は今の日本にとっては重要なエネルギー供給源と考えられる。 未曾有の大震災による津波で原子力のあり方に疑問が投げかけられた。 それは日本人の平和ボケにとってはよい考える機会となった。 安全確保、これを第一に考え、施設の強化や安全対策が確固たるものとなり、徹底されるのであれば、資源の乏しい日本にとって原子力は最も有効なエネルギー源となると考えられる。 安全確立、安定供給、を第一に今後の日本が発展していくことを望みます。
30994	個人	その他	30代	女性	原子力発電による発電を0%にすることを望みます	安全な発電方法で発電した電気を使用したい ひとたび事故がおこると　健康被害　農作物の被害　輸出できなくなったエ業製品　農作物の増加　観光業のおおちこみ　ほぼ永年にわたって住めなくなる土地がでることなどより　原子力発電はリスクが大きすぎる 原子力あって　人はなし　という国が残るのは望ましくない そして何より福島の事故が収束できていない 事故がおこったときに収束できる、土地や農業　工業　人生がもとに戻せるということを示していただければ原子力を残す理由にもなるが、全く見通しが立たず、健康被害が世界中に広がっている。許されない。許されない。末代まで私たちの責任は許されることはないだろう。
30995	個人	家事専業	50代	女性	原発反対	子供達の将来、地球全体の将来を考えて　原発は即中止するべきです。 今までに溜った原発廃棄物の処理さえできないのに　今後その廃棄物を増やしてどうするつもりですか？日本だけの問題ではない。地球全体の問題です。この度の災害経験を生かして新しいエネルギーの開発や原発廃止に日本が世界をリードして行かなければなりませんか。
30996	個人	パート・アルバイ	20代	女性	原発反対です。	原発のない平和な世界で幸せに暮らしたいです。
30997	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発依存比率は0%が望ましい。	産業界は目先のコスト、収益性にのみ着目し原発の優位性を主張しているが、今般の福島第一原発の事例からも明らかなように、一たび事故が発生してから生ずるコストは経済的なものはもとより、生命、環境、コミュニティ等あらゆる方面におよび、「外部不経済」以外の何物でもないと言わざるを得ない。 多少目先のコストが安くとも、これら国民の財産権、生存権等を著し損なう可能性が多少なりともあるものを一基でも稼働させることは我が国の誇るべき自然、国民、経済的繁栄を破滅せしめることを意味しており許すことはできない。 むしろ、自然エネルギー、再生可能エネルギーへの段階的移行を模索する道こそが、中長期的なコストの抑制、環境破壊、コミュニティ破壊等の外部不経済の抑止、万一のテロ攻撃等のリスクヘッジ、雇用の創出、科学技術の振興等もたらすメリットが大きく、多少目先のコストが高くともそれは十分に回収可能な、費用対効果が極めて高い投資であると考えるべきである。 以上の事由により、原発依存比率0%の案を支持する。
30998	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオよりシビアなシナリオを希望する。即時、全ての原発を廃炉に！	私は原発事業からの即時撤退を求めます。 原発ゼロシナリオは一見、よさそうに見えますが、よく見れば2030年までという文言があるではありませんか。2030年まであと18年もあります。この18年の間に先日のような大震災が起きたら、また原発で爆発があったら、と考えただけでもぞっとします。 現在3歳の子どもがいます。原発事故直後から現在まで、水や食品などセシウムを極力避けようと、労力と費用をかけてきました。これをあと18年間も強いられるのは許せません。このような状況下では、到底2人目の子どもを持つことも考えられません。 このパブリックコメントの募集も、政府はテレビCMなどを使ってもっと大々的に宣伝すべきだったと思います。
30999	個人	家事専業	50代	女性	脱原発、ゼロシナリオを推進してほしいと思っています。	ものごころついたころには、すでに原発が存在していて、基本的には反対でしたが、今までは具体的に運動をしていたわけではありません。 しかし3・11以来被爆国の日本がなぜこのように多くの原発を保有するようになったのかを改めて知り、とても矛盾を感じています。 今回の地震によってもたらされた放射能被害はもちろんですが、原発を稼働することによって出る放射性廃棄物の処理方法及び処分場も決まっていない日本で、どんどん増えていく廃棄物、安全になるまでには何百年もかかるのに、どうして稼働させることができるのでしょうか。 子供たちに未来ある日本を、安心して住める日本を残すことが今我々に課せられているのではないでしょうか？ チェルノブイリでも福島でも事故が起こった場所だけでなく地球規模で影響があるのです。 「環境」という言葉がはばれている昨今、一番の環境破壊は原発だと思います。 脱原発、声を大きく叫びたいと思います。
31000	個人	会社員・公務員	30代	男性	今後のエネルギー政策に対しての取り組みについて	日本に資源が少ないからと言って、原発に頼り続ける今の政策は非常に危険である。昨年の福島の事故もそうですが、核廃棄物の問題・原発で作業する方の問題・原発の安全性・原発を取り囲む方々の隠蔽体質。どれをとっても今後の日本を託すに値するとは思えません。 確かに今後一切原発に頼らなくなると、エネルギー供給に支障をきたし、経済にとって大きな影響を及ぼすかもしれません。しかし、日本人は与えられた環境に適応し、それを乗り越える力を持っていると思います。 現在自然エネルギーを活用する動きが少しずつでも活発になりつつあります。ここへ国の力が加われば大きな力になるに違いありません。その力はきっと経済界を牽引する力にもなるのではないでしょうか？ 今からでも遅くありません。直ちに原発を止め自然エネルギーを推進するような政策を前面に打ち出しましょう。 自国の国民の力を信じてください。 将来に負の遺産を残さないようにしましょう。
31001	個人	家事専業	60代	女性	危険極まりない原発は速やかに廃止すべきです。	お金と嘘と隠蔽で推し進められてきた原発、図らずもその危険性が明らかになった今、もうだまされないぞと思っています。これ以上知らないふりして危うい安全神話にすがりついて暮らせない。みんなでしっかり地に足をつけて生きていくために原発は廃止するしかありません。 わが国には、自然エネルギーもそれを活かす技術もあるから、こちらに本腰を入れてシフトするべきだと考えます。
31002	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発に反対します。	人々の生活、命を奪ってまで原発を推進する必要性があるのでしょうか？断固として原発に反対します。火力、再生可能エネルギーに移行していかなければ、悲劇は続きます。今やるしかないと思います。
31003	個人	無職	70代	男性	原発は2030年には0にする そのため1）代替エネルギーの開発、2）徹底的な省エネ、3）化石エネルギー等の総合的な利用による環境へ無駄に放出するエネルギーの削減、等にできるだけ早くとりかかるべき。	原発は事故が起きれば人間の手に負えない（いまだに福島原発の溶融した核燃料が取り出せないし、その状態も分からない）。その影響は地球規模でありゆるくとも十万年続く。 仮に事故が起きないとしても、使用済み核燃料を安全に保管することは極めて困難。たとえ保管するとしてもその状態を監視し続ける必要があり、その期間は十万年におよぶ想像を絶する負担を後世の人たちに強いることになる。
31004	個人	自営業	40代	女性	原発ゼロシナリオ（即時）	福島第一の二の轍が、日本のどこかで起きれば、日本は終わってしまう。 福島の問題も未解決、解決の糸口さえない、関東にも住めない状況、この状況を二度と起こしてはならない。 核の最終処分法もない今、このまま原子力を続ければ、日本は汚染され続ける。 地球、日本、日本の子供たちを守るために、今こそ原子力と手を切るべき。
31005	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発が安全かの判断は、現在の技術で想定される原発事故が発生した場合、被害・犠牲者が敷地内やチェルノブイル事故のような多くの犠牲は伴わないと考えます。	原発が安全かどうかの判断は、原発に飛行機や隕石が落下したりテロリストが破壊活動をした場合など考えられる事件、事故が発生した場合、被害・犠牲者が敷地内で済むのか、福島のように広範囲になるのかと思います。火力発電所や太陽光発電施設のみならず、地球上の施設は福島事故、チェルノブイリ事故のような多くの犠牲は伴わないと考えます。福島の事故については これまで多くの国民が原発事故に関心がなかったことで犠牲者が出てしまい申し訳ないと思っていることと思います。原発がなくなることで日本の経済が一層悪くなったり、それにより貧富格差が大きくなる懸念や地球温暖化の懸念がありますが、日本には、また世界には多くの富裕層や高い知識を持った方がいます。彼女、彼らの多くは生活の安定を少し犠牲にしても責任感からこれら問題を解決す新産業の起業や新たな仕組みを見つけてくれるはずです。その環境を創り支援する責任を政治家や官僚が持っていただきたいと思います。
31006	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオ	直ちに既に発明されているフリーエネルギーの実用化を求めます。磁力発電機、M-Lコンバータ、r-fジェネレーター、デゴイチの実用化開発に資金をあててください
31007	個人	会社員・公務員	50代	男性	「ゼロシナリオ」しか有り得ません。事故を起こしていないドイツがその決定をしているのに、これだけの大事故を起こした日本がそれをしなかったら世界の笑い者です。	(1)日本は、どこまで「金のモウジャ」で行くんでしょうか？安心・安全より金・金・金！原発反対の人々は、良心からの意思表示で損得は超越しています。もしかしたら不便な生活が待っているかもしれない、収入が減るかもしれない。それでも、安心・安全のために反対するのです。一方、推進派は、良心なんて別世界、儲けの為でしかありません。「エコノミックアニマル」と言われて久しい日本、ここでまた本領を発揮するのでしょうか？ (2)原発の論議をする時に、事故に対する安全性ばかりに偏るのはおかしいし、意図を感じます。仮に原発事故が皆無であったとしても、放射性廃棄物の問題は深刻です。「地中深くに埋設するから安全だ」なんて誰が保障するんですか？万一、被害が出ても「誰も責任を取らない」繰り返しが目に見えています。 (3)「原発を止めたら日本経済が壊滅する」と言った国民に対する恫喝は止めて欲しい。そんなことを続けていたら、政権は崩壊しますよ。 (4)「原発を廃止したら、立地市町村が立ちいかない」とのもっともらしい理屈は、いい加減に止めにしましょう。議論のすり替えです。例えは悪いかもしれないが、麻薬を与えておいて、それに対する批判が出ると、「本人が欲してるのだから一気には止められない」と言っている様なものです。本来、地方財政の支援は、交付税措置の一環として行われるべきもので、原発をダシに行うのは完全なる間違いです。 (5)原発事故および放射性廃棄物事故は、ふるさとを蝕み、人体を蝕み、人心を蝕みます。本当に日本を愛し、良心があるなら「ゼロシナリオ」しか有り得ません。目を覚ませて下さい！！！切に願います。
31008	個人	自営業	40代	男性	原発ゼロシナリオを支持し、再生可能エネルギーや新エネルギーの開発促進政策を進めることを期待します。	私が原発をゼロにすべきと考える理由は2つあります。 ひとつは増え続ける核廃棄物。最終的な処分方法が決まる・決まらないという問題以前に、気の遠くなるような半減期をもつ放射性物質を数万年にもわたって安全に管理することなど不可能としか思えません。人類の歴史を辿ってみたって、数万年前のことがどれだけわかっていますか？　このような負の遺産を何世代どころか何百世代も先の子孫に放り投げることは無責任としか言いようがありません。 原発を動かし続けるかぎり増え続ける核のゴミ。未来の人類への責任として核廃棄物はこれ以上増やしてはならないものです。 もう一つの理由は、絶対に安全な原発などあり得ないということです。どんなに強固な安全対策を施しても、避けられない脅威があるのではありませんか？ 地震・津波などの天災だけではありません。宇宙から隕石が原発に落ちてきても最悪の事態は防げますか？　飛行機が墜落しても大丈夫ですか？　北朝鮮やテロ国家から発射されたミサイルが命中しても問題ないのですか？ 事故が発生した時の被害規模が他の発電方法に比べて著しく甚大な原発は、これらのリスクへの想定もすべきです。が、対策したからといって被害にあった時にできることなどほとんどないだろうと、普通に考えればわかることです。 以上の理由により、私は一日でも早く原発を無くすべきと考えます。 そして、火力・水力・太陽光だけでなく多彩な新エネルギーの開発を促進する政策を進め、世界に誇れる（真の意味での）クリーンエネルギー大国を目指してほしいと切望します。
31009	個人	家事専業	40代	女性	原発使用は、即刻ゼロにしてほしい。2030年を待つことはできない。	目に見えない放射能におびえて暮らすのは、嫌だ。専門家ではない一般人が放射能の量を気にして暮らさねばならなくなってしまった今の日本を、異常だと認識して、今までに作ってしまった原発をできるだけ安全に廃炉にし、再生可能エネルギーを使うようにしたい。原発は、絶対安全ではなく、ある日突然「原爆」と同じ被害をもたらすリスクを常に抱えているので、使ってはならない。
31010	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを選択します。 直ちに日本の原発を全て廃炉にしてください。	去年の震災、原発事故で日本は大きな痛手を受けました。 今後また、この様の事が起こらないとは限りません。 事故の収束も被災地の復興も出来ていない今も今後も、原発の稼働はあり得ない事です。
31011	個人	会社員・公務員	20代	男性	原発ゼロシナリオを希望	福島でチェルノブイリの何倍もの被害が起きている現状でこれ以上 再稼働をする事は危険すぎると考えます。 再処理の廃止を決めて下さい。
31012	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発比率0%（即時）を希望します。	原発は人間が持つべきものではありません。これまで、安全で何かあってもコントロールできると思われてたにも関わらず、2011年3月「想定外」の事が起こり、甚大な放射能が放出されました。1年半たった今でも、はっきりした原因と、事故の状況と、事故発生時の対応も、放射能の影響も、分からない事だらけです。もし再度「想定外」の事故が起こったら、もう日本には住めなくなり、日本は信用も安全も失います。そもそも、原発のごみ（使用済燃料棒）の処理方法も決まっていないのに、原発を続けるのは無責任だと思います。優先すべきは、目先の経済成長（現状維持）ではなく安全と長期的な成長です。「想定外」はもう二度と許されません。「想定外」が起こり得る時点で、リスクの高い原発は即時ゼロにすべきと思います。宜しくお願い致します。
31013	個人	学生	10代以下	女性	原発ゼロ（脱原発）に賛成します。	原発を廃止することで防ぐことができる過ちを、繰り返してはなりません。唯一の被爆国であり、福島原発の事故も経験していながら、悲しい事故が起きる可能性を残してはいけないと思います。また使用済み燃料の処理方法も確立されていないのに、原発を残すのは無責任すぎると思います。

31014	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオを選びます。	原発ゼロを選ぶ理由:(1)使用済み核燃料の処理方法等が全く決まっていないのにゴミを出し続けるのは理解できない。 (2)現在の原子力規制委員会の評価、判断基準のシステムが全く信用できない。 (3)国民を守るべき政府の思考が信用できない！ (4)そろそろ自分達の事ではなく、次世代の事を考えた思考や行動を！ 100%安全との神話を信用して今まで思い込んできたが、全くそうではなかった事を確信しました。 結局、利益優先の原理や思考が今回の惨事を招いたと思っています。原発は現在の日本の歪みを象徴しています！ 儲かれば多少の事は。。。が今の原子力の考え方です。今の日本経済や国民の生活に麻薬のように浸透した原子力システム、そのものを見直す時期にきているのではないでしょうか？ 半分ヤクザまがいの脅しや警告では、もう我々は騙されません！ 多少のリスクや我慢は承知の上の考えです。 今回のエネルギー選択の是非、新たな原子力規制委員会人事等が、将来の日本の発展に良い方向に向かう事を祈っております。
31015	個人	会社員・公務員	40代	女性	ゼロシナリオ支持。原子力発電は、その危険性、維持費（交付金含む）の高額さからも、即刻廃止すべきである。現在の生活（価値観）も見直し、未来を担う子どもたちへの負の遺産を減らすべき。	原子力は、目的の如何を問わず、その危険性（天文学的な期間、生命に危険をもたらす）、維持費の高額さ（設置自治体への交付金含む）を考えても、クリーンで安価なエネルギーとは到底言えず、即刻廃止すべきである。 太陽、地熱、波など自然が持つエネルギーを利用することこそが、人間の叡智を試されることでもあり、その利用法を確立することに知恵や資金を注ぐのであれば、エネルギー料金が高くなっても納得がいく。 エネルギー消費が高い生活が幸福な生活、のような価値観を変え、現在の生活（価値観）も見直し、未来を担う子どもたちへの負の遺産を減らすべき。 安心で安全な未来を描くことは、少子化対策への根本的な解決にもつながるものと考えている。 我が子をはじめ、子どもたちの未来のために、どうか、既得権に縛られない、自由で正義のある選択をお願いいたします。
31016	個人	会社員・公務員	30代	女性	選択肢の3つのシナリオではなく、原発をゼロにしつつ、温暖化対策目標を強化した第4の選択肢を支持します。	現在の費用負担が若干重くなったとしても、省エネを行い、再生可能エネルギーの利用率をあげることで、将来世代に負担の少ない社会にできると思います。
31017	個人	無職	60代	男性	原発は推進すべきと考えます。エネルギー安全保障と経済への影響を考慮した上で、原発廃止と現状維持と推進のそれぞれの場合のメリット、デメリットを十分に考慮して判断しなければなりません。	原発は推進すべきと考えます。資源の少ない日本のエネルギー安全保障の観点は決して外してはならない観点です。シーレーンの不安が増している現状を見逃してはいけません。また、経済界でも認めているように将来の成長を考慮した場合は現状の原発比率でも不足することは明白で、増して現状より下げるということは、経済が縮小するということを意味します。それによる失業者の増加、自殺者の増加など国民生活への大きな影響が懸念されます。どちらがより大きな犠牲者を出すかを考えるべきです。日本の原発技術は世界一です。さらに今回の経験を糧としてより安全な原発を作る技術の向上を目指すべきです。原発廃止と現状維持と推進のそれぞれの場合のメリット、デメリットを十分に考慮して判断しなければなりません。情緒的な判断は国を破滅に導きます。
31018	個人	無職	60代	男性	原子力発電及び電力に関する情報をすべて公開し、将来の日本のエネルギー政策を決めるべきである。 電力会社の都合のよい加工された情報のみの公開で「エネルギー・環境に関する選択肢」の決定には反対する	昨年の福島原発事故が原因で国のエネルギー政策を決めるには、現時点での原発事故原因と対策及び各選択肢の減価償却費やバックエンド費用を提示すべきである。 情報公開が不十分で限られた条件や情報提示での国民に選択を迫る方式は、問題である。 また、選択肢の3シナリオは4項目の前提条件に縛られている。 しかも、選択にしても限られた情報しかない。国会や政府は国会の調査権を発揮して電力・エネルギーに関する情報を公開すべきである。不十分な情報やデータで2030年を見据えたエネルギー政策を決定すると国家100年の針を誤る恐れがあります。
31019	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発は廃止を願います。断固、反対です。再稼働も反対です。エネルギー政策にはこの先、よりクリーンなものを使いたいです。	福島第一原発事故を経験し、原発を使うことのリスクを学びました。そして、使用燃料の核の廃棄物についても莫大な処理に費やす時間、費用がかかるという事。全てにおいて、危険と隣り合わせの生活には国民として不安があります。福島第一原発事故も収束していない今。今後、原発ありきのエネルギー政策には断固反対です。原発使用ゼロな国にして下さい。
31020	個人	家事専業	40代	女性	私が選ぶ選択肢は(1)のゼロシナリオです	原発依存度はゼロを目標にすべきと考えます。理由は以下の4つです 理由(1)放射性廃棄物処理問題 原発から発生する放射性廃棄物の処理方法は埋め立てしかありません。 埋めたからといって安全になっているわけではありません。 私たちの子孫にそのようなものを残してはなりません。 理由(2)原発の安全性 原発は電源が失われるか冷却機能が失われるかすれば、メルトダウンにいたります。 福島のように想定外の事故が起こったときにはどんな対策も無意味です。 理由(3)原発の必要性 この夏、たったと機の大飯原発の稼働でも電力不足は起きていません。それどころか余っているので火力発電所をとめているくらいです。 日本には原発以外の発電技術があります。また輸入に頼るしかない火力だけではなく地熱や水力、風力、太陽光を生かすことを目標にすべきです。 理由(4)原発のコスト 原発は建設、稼働、保守、そして廃炉のためにも、廃棄物を半永久的に保管するためにも長期間にわたり莫大な費用がかかります。もしかするとその費用が電力会社を圧迫しているのではないでしょうか。
31021	個人	会社員・公務員	40代	男性	次世代のエネルギー依存の必要性	世の中に完全な物はあり得ない。万一事故を起こした場合のリスクは、原発はあまりにも大き過ぎる。現在も続いている原発事故処理の今回の教訓は絶対に活かすべきである。この償いは今後何十年も続く。今後の日本経済は人口減少もあり今までの様な高度経済成長はあり得ない。本当に今まで以上の電力は必要なのか。又地球温暖化を考えれば、水力、太陽光等自然エネルギーに頼って当然の流れにきているのではと思います。
31022	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発0シナリオを選択します。	自分たちの子ども、孫、その子孫の代まで安全で美しい日本を残してあげたい。これまで人間はいろいろな苦難を努力と知恵で乗り越えてきました。まずは原発を無くして、それに頼らないエネルギー政策を考えるべき。
31023	個人	その他	40代	女性	原発0でお願いします。	危険でしかない原発0にして欲しいです。 子孫に負の遺産は残すべきではないと思います。
31024	個人	会社員・公務員	60代	男性	選択肢の中では20－25シナリオを選択するが、どれをとっても電力コストは上昇することになり、産業は打撃を受ける。これ以上の景気後退は日本の将来にとって危機と言わざるを得ない。	理想が0シナリオということは分かるが、それには大きなリスクを覚悟しなければならず、現実的に無理があると思う。強行しようとすれば、日本経済の破綻を招き、それに対して今0シナリオを選ぶ人々が耐えられるとは思えないし、自分も耐えられるとは思わない。そのあたりのことをもっと明確に示すべきではないか。
31025	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発停止に反対。代替エネルギーの目処も無いまま、無責任な意見に流されて、停止することは、国家が行う政策では無い。	原発停止で乗り切っているのは、これだけの円高にも関わらず、原油等の化石燃料の輸入が激増しているからである。この状態が10年単位で続けるはずがない。震災前まで問題になっていた京都議定書・温暖化対策はどうするのか？ さらに太陽光はじめとした次世代エネルギーが現時点で原子力や火力に変わるためには、どれくらいの予算を投じ、発電コストがどれくらいあがるのか？ それは、天文学的な数字になるだろう。 政府は、こういった事情を数値で明確に国民に示すべきだ。 すべての政策には、必ずリスクが伴う。 死傷者の数で比較すれば、交通事故や自殺の方がはるかに多い。 交通事故を撲滅するため、自動車を廃止するのか？ デモを行っていない声なき国民の声に応えるべきだ。 将来的にリーズナブルな代替エネルギーに変えていくこと、そのための研究開発に注力するのは当然だが、それには相当の時間がかかる。 発電コストの増大は、単に電気代が上がるだけで無く、それで無くても、様々なコストが高い日本の製造業の国際競争力の足かせになるのは明らかだ。 それは、国民の生活に直接つながる。 耳障りの良い言葉ではなく、データに基づいた冷静な議論ができるように、国民にしっかりデータを示すべきだ。
31026	個人	その他	40代	男性	原発ゼロシナリオを選びます。	原発ゼロシナリオを選びます。 現在私たちは放射能と向き合わざるを得ない環境の中で暮らしています。 ふるさとを離れなければならない人たちもいます。そうしたなかで原発 をまだ動かそうとする人たちというのは、命というものをどう考えてい るのでしょうか。命よりもお金が大事なのでしょうか。自然エネルギー を積極的に導入し、いますぐにでも原発を止めるべきです。止めてもな んの支障もないことはすでに証明済みです。これからは生活の質を落と し身の丈にあったくらしをしていくべきです。
31027	個人	無職	70代	男性	原子力は、人類と共存が不可能な存在。	原発は全廃です。 理由は、元来原子力エネルギーは、使用済み核燃料の処理を含めて対応することが不可能。さらに日本は、地震国であり何時、何処でいかなる規模の地震があるかわからないこと。
31028	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発依存の状態からの変革を自ら起こす気概のない利権集団の振る舞いを見ていると、2030年には原発依存から脱原発に向かっていなければならない。	既得権益と国民の利益、行政が優先すべきは当然、国民の利益である。既得権益を守るようなことはしてはならない。
31029	個人	自営業	40代	男性	迷うことなくゼロシナリオ。目先の利益（景気）にこだわっているときではない。	発電の不足について市民や世論が心配しているのはおかしい。東電が責任を持って電力を充足すべき。
31030	個人	自営業	50代	女性	１．ゼロシナリオ を選択します。即時全基廃炉を決定してください。	福島第一原発の事故で、ひとたび原発が過酷事故を起こしたら、非常に大きな被害が出ることが明らかになりました。その上、使用済み燃料棒の処理方法も全く確立されておらず、危険なゴミがどんどん溜まっていきます。それらはこの先、何十年、何百年も続く問題です。そういうことがわかっているのに、原発を動かすことなど選択できません。
31031	個人	無職	60代	男性	エネルギー選択の前提条件であるCO2削減は除外すべきである。	「エネルギー・環境に関する選択肢」の前提条件からCO2削減を下記理由から除外すべきである。 IPCC（気候変動に関する政府間パネル）が提唱した地球温暖化のCO2原因説は2009年11月の「クライメート事件」で多くのデータが意図的に作られて事が発覚した。それ以降は先進国では人為的温暖化論を信じる人が激減し、温暖化防止法案も否決されている。 この緊急時に慌ててCO2削減を前提にした将来のエネルギー政策を決めることには大きな疑問です。日本国中でCO2の排出量をゼロにしても気温はたったの0.00004℃しか下がらない、これからは「地球寒冷化」の予兆もあるとの説もあります。 「地球温暖化のCO2原因説は誤報であるとの認識されつつある」従って、他の国は方向転換して削減義務は負っていないし、アメリカやカナダは京都議定書の批准もしていない。 このCO2削減の前提条件を外すと原子力発電の減少分を無理なく再生エネルギーに振り向ける必要がなく、高額買い取りによる「再生エネバブル」による将来の電気料金の負担増も防止できる。
31032	個人	会社員・公務員	40代	男性	一にも二にも、早期、超特急での「ゼロシナリオ」を要望します。	福島第一原子力発電所による被害は、とても甚大で、取り返しのつかないものです。原因の究明すら進まない中、何も知らされず避難せざるをえなかった方々、またわたしも含め周辺の人々にいつまで続くかわからない大きな恐怖と損害を与えています。 原子力発電所自体、安全性が保たれておらず、曹段の状態でも危険な物だと考えます。安全ならば、電力が必要な地域の近くに存在してかまわないはずです。 もとはなるウランも結局外国依存であり、日本国にある物でまかなえないというところ、またウランそのもののわずかしか燃料に使えないところも大きな損失です。 核燃料のリサイクルはまだまだ研究が進まず、破綻しています。また原発から発生する核のごみの処分が決まらない状態で、発電を続けるのは危ない物を増やし続けるだけです。 日本の技術力を持ってすれば、原発の解体処分、核のごみ処分方法を研究、推進することで経済効果も上がるであろうと思います。また、新たなエネルギー活用において、先進的技術を持っていながら、使われていません。国内で活用、推進すれば、莫大な経済効果が上げられますし、より危険を回避しながら生活が営めると思います。エネルギーも地域循環型へ。 核「兵器」による甚大な被害を受けていながら、核エネルギーで自ら被害を出してしまったこと、両面から考え、原子力発電（核エネルギー）からの素速い撤退を強く求めます。
31033	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	墨田区教職員組合は、子どもたちに安心安全な明日を贈るために、2030年におけるエネルギーの原発依存率を0%とするだけでなく、直ちに全原発を停止することを主張する。	現在の過剰な電力消費量を前提に論を組み立ててはならない 　そもそも、現在、原発稼働率が極めて低いにもかかわらず、電気需要は満たされている。さらにエネルギーの無駄遣いを減らすことをすすめるべきだ。福島原発事故以前から教育現場では、「地球温暖化」（それが正しい論であるか否かは別として）対策として教職員・子どもたちの副意工夫により大きな電気使用量削減を行ってきたは政府もよく知るところであろう。何の知恵も使わずに現在の過剰な電力消費量を前提に論を組み立ててはならない。 エネルギー政策以上に、福島第1原発事故被害者への満足のいく補償・救済を優先されたい 　首相は「私が責任をもつ」との賜っているが、では、福島第1原発事故の責任をだれにとらせているのか。どのように責任をとって被害者への満足のいく補償・救済をしているのか。それがない所での「責任」の言葉は非常に軽く虚しい。何より、福島第1原発事故被害者への満足のいく補償・救済を優先されたい。 危険な原発からできるだけ早く脱却すること 　政府が言うように「安価」なエネルギーがあれば「経済成長」するかもしれない、あるいはこれまで電気を浪費しても「経済成長」しなかったことがあるように原発があっても「経済成長」なんかしないかもしれない。まして「経済成長」すれば日本に暮らす一人ひとりが幸せになれるかなどわかりようもない。それよりも私たちは原発という核の不安から解放されたい。原子力発電の存在に不可避な事故の不安・経常的な労働者の被曝という非人間性・何万年もケアしなくてはならない原発の存在による不安よりも、「経済的負担」・電気を浪費しない「不便」を選びたい。
31034	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は25パーセントもしくかもっと重視すべき、もんじゅなども再稼働させ、 原子力の研究はもっと推進すべきです。	放射能の人体における影響をもっと放射線防護学の観点から研究し、実は低放射線の影響は人体にはむしろいい影響を与えるということをはっきり確認すべきで、なんとなく悪いんじゃないかで原発をなしにすべきではない。 自然再生エネルギーは未来のエネルギーにするのは無理であって、かといって化石燃料に頼りすぎるには、先の大戦が石油を断たれたことで起きたことを考えたら、比率を減らしていくべきである。電気代も高騰するわけだし。 原発の事故で死者はでてないが、節電を推奨することによって、お年寄りなどが熱中症で死亡するケースのほうが危険だ。 日本のような技術立国は高いレベルの技術を発展させることによって成り立っているのに、それを放棄するのは転落していくことを意味する。
31035	個人	会社員・公務員	40代	男性	(1)ゼロシナリオに賛成、0%は経済的に有利、今後日本も他国も原発が爆発することは許されない。ただし裏付けされた技術により、原発の爆発の回数が、1回／1万年になれば25%原発でもよい。	使用済み核燃料の処理費が莫大であろうから原発0%が一番安いのでは？ 0%するのだから、使用済み核燃料は早急に埋設処理し電気料金に加算すべき。 使用済み核燃料の埋設は東京の地下に埋めるべき。 (2)15シナリオに反対、ただし0%への移行期間のみ許容できる。30年程度だとよい。この期間の電気料金には使用済み核燃料の処理費用を加算が必須。政治家は この30年の間に何基の原発が爆発する可能性があるか明言すべき。この場合の使用済み核燃料の埋設は東京の地下に埋めるべき。万が一15%が長年続く場合、原発の 建て替えが発生するが、次の原発は東京湾に作るべき。 (3)20-25シナリオに反対、最小限の原発にしないと、使用済み核燃料の処理費が莫大であろうから25%は無理でしょう。 日本の国家をこの先何年継続させるか考えると、たとえば1万年継続したとすると 今の原発の実績で以前の稼働状況だと、1万年の間に600基の原発が爆発することとなる。既存の原発に何も対応せずに運転しているので当然爆発するでしょう。政治家は今後日本で何回爆発させるのか明言してから運転再開するべきだ。

31036	個人	会社員・公務員	50代	男性	2030年までに原子力発電0%では遅すぎる。省エネ、再生エネルギーで、30年までに100%可能です。30年廃炉を基本とし、無謀な核燃サイクルからの即時撤退。人類に核は扱えない。人類を滅亡から救おう。	3．11以降、日本列島の構造が、以前とまったく変わってしまったと、NHKドキュメンタリーで言っていました。この地震の巣のような島国で、電力会社が否定している多くの活断層が専門家から指摘されています。その中で1番怖いのが、六ヶ所核燃サイクル下を通る、M8クラス以上の地震を起こす言われる活断層です。ここで大事故が起きれば、地球規模の汚染。人類に大変なダメージをあたえます。最近、六ヶ所再処理工場で、高濃度の死の灰を溶かして、ガラス固化体にする作業が終わったが、予定どうり2012年10月の稼働は無理だろうと、小さく報道されていましたが、これも本た、とんでもない話して、この再処理工場が1日稼働するだけで、原子力発電所1年分の死の灰を、空と海に撒き散らすそうです。とにかく、今、我々がやらなければならない事は、これまでに生み出された膨大な量の死の灰を、乾式で保管しながら、どのようにすれば安全に未来の人類に引き渡していけるか、必死になって研究、開発していかなければいけません。核燃サイクルの予算は凍結して、こちらに回すべきです。そうでなければ人類は滅んでしまうかもしれ未せん。しかし、今から。本気で、省エネ、再生可能エネルギーに取り組んでいくのであれば、日本の未来、そして世界の未来は明るく輝いてくるでしょう。日本にも素晴らしい発想をもった方々います。田中　優さん、飯田哲也さんから、省エネ、再生可能エネルギーの具体的なアドバイズを聞いてください。総括原価方式は辞める事。世界一高い電気代！韓国の2倍の値段で天然ガスを買ったり、今年の貿易赤字の原因になりました。電力会社のみの利益の為に活用されています。地域独占廃止、発送電分離も必要です。これをやらないと省エネ、再生可能エネルギーは発展せず、今までのように潰されるからです。また再生可能エネルギーで私が注目しているのを1つあげておきます。筑波大、渡辺信教授の研究チームの藻から石油をつくる技術は可能性大だと思います。ときかく過去60数年にわたり、日本の科学予算の大半を食い物にしてきた。巨大な権力、利権は却、解体しなければ、日本に未来はありません。今度できる原子力規制委員会の委員長が、その原子力村の村長さんのような人だそうで、信じられません。撤回してください。再生可能エネルギーの普及により、年間およそ23兆円のエネルギー輸入代金が消え、100万人規模の雇用が生まれるかもしれません。輝く未来のために、勇気を持って、エネルギーの選択は、原爆＝原子力発電所ではありません。再生可能エネルギーです。
31037	個人	その他	60代	男性	日本全国の森林の痛んだ間材木など切り出し、チップにして火力発電に使用する。	日本には、たくさんの森林資源が、ある。しかし外国の材木のために、日本の 材木が、うれない。そのため、森林が、荒れ果てている。もったいない話だ。また、山が、荒れ果てることは、台風などの豪雨による自然災害のなるとおもう。最近は、豪雨の被害が、大きい。間材木だけでなく、日本の余分と思われる材木を全部火力発電につかうえば、荒　れ果てた山林は、再生するし、大規模な雇用が、発生する。豪雨による自然災害もすこしは、少なくなると思う。日本山林大改造である。
31038	個人	会社員・公務員	30代	男性	現在行われている原発再稼働に反対します。 3つの選択肢から選べという事であればOシナリオを希望します。 万が一にでも原発事故が発生した場合、リスクが大きすぎる事が福島の事故でわかりました。	現在行われている原発再稼働に反対します。 3つの選択肢から選べという事であればOシナリオを希望します。 原発を100%安全に運用する事は無理だと考えます。 理由は不測の事態を0%にする事は無理だからです。 大規模地震や巨大津波、テロ・戦争、極端な話では飛行機・ミサイル・隕石の衝突等すべてのリスクに対応できて初めて100%安全が確保できたと言えるのです。 想定外、不測の事態などは原発に関しては2度あってはならないのです。 原発を0%にする事により発生するリスクとして 1．日本の経済的な競争力の低下 2．電気料金値上げ 3．二酸化炭素排出量の増大 等が考えられますが、原発事故のリスクの方が大きいと個人的に考えています。 その理由は以下の通りです。 日本の経済的な競争力の低下については私はそれでも構わないと考えています。世界の国々の経済的なランキングと幸福度のランキングに関連性があるのでしょうか？日本は経済的なランキングが下位の国よりも幸せな国だと言えるのでしょうか？1970年代の日本は2010年代の日本よりも不幸せだったのでしょうか？政府には経済競争力よりも国民の幸福度の向上を追求していって欲しいです。 電気料金値上げについては原発停止に向けた理由であれば仮に2倍になったとしても文句は言わないつもりです。その値上げ分が次世代エネルギーへの投資であればなおさらです。 二酸化炭素排出量の増大については懸念しています。この問題については電気料金の値上げを可とすれば解決に近付くのではないかと考えています。次世代エネルギーへの投資を政府が強力に推進していただきたい。この問題こそ2030年までかけて解決するべきであるし、電気料金値上げさえ許せば技術的にはすでに解決できているはずです。 以上よろしくお願い致します。
31039	個人	無職	60代	男性	電力は火力発電主体で推進すべきである	エネルギー政策の方向を誤ると国力を維持できなくなる。 原発事故の原因究明と対策ができていない現状で原子力発電を軸にして2030年からのエネルギー政策の策定は無理である、従って、当面は火力発電の改善で電力を確保すべきである。それには、韓国の数倍で購入している燃料価格低減については、日本政府もバックアップしていくのはいうまでもないが、2030年に向かっては日本近海に天量にあるメタンハイドレートの商用化に国家予算も重点的に配分し全力をあげるべきである。 なお、地球温暖化のCO2原因説はデータ捏造であり、多くの科学者は信じていない。
31040	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発のゼロシナリオを支持します。 原発を現在の技術で稼働させることに怒りを持って反対します。	原子力による発電は、どんな対策を講じても、現在の技術では、核のゴミが出てしまうので、未来の住人に危険と迷惑がかかります。 原子力発電がないために現在の生活の水準が下がっても、それは甘んじて享受しなければなりません。利益と効率を求めるのではなく、生命と健康を優先して、電力を確保するべきです。 ただちに全ての原発を止めて、廃炉にし、再生可能エネルギーの実用に向けて、技術開発をするようにお願いします。
31041	個人	家事専業	30代	女性	原発なんてありえない一機おかしくなるだけでこんだけの影響を及ぼすとわかった今でも原発維持と普通の顔して言えるのか？豊とはつなんでも不自由なく暮らせる生活ではないということが証明されましたよね。	私も以前は原発を反対なんてしていませんでした。 もちろんどういうものかということは、常識の範囲内で知っているつもりでしたが、私の想像を遥かに超える化け物だということがわかりました。 東京に住んでいる。周りの人は原発がああなっても自分たちの生活はあまり変わらずが現状だと思いますが、福島の原発の被害をもろに受けた方の気持ちは到底理解することはできません。ですが、放射のなんて微量でも人体に良いはずがないんですよ。 東京は安全なんて空想でしかありません。 だからこそ、世界に核施設や原発なんて必要ないんです。 なんでみんで議論しないのですか？　友人や家族といろいろな意見をかわすべきです。 そして、一人でも行動にうつすべきです。 今なんです。今からがスタートだと思っています。
31042	個人	会社員・公務員	50代	男性	日本は原発0%を選択すべき。かつ二酸化炭素の削減のため再生可能エネルギーの導入をもっと増やすべきである。	まず放射線の解毒方法はいまだ発見されていない。またその見通しも立たない。つまり核と人類は共存できないということである。 またウランを再利用する核燃料サイクル問題にはさらに大きな問題がある。これはウランとプルトニウムを混ぜたMOX燃料を使用する。プルトニウムは延毒なのでいったん事故が起きれば福島原発事故以上さらに危険である。 事故発生後16万人もの人が故郷を追われ避難している。8月1日福島で意見聴取会が開催されたが原発ゼロの声が圧倒した。せめて福島のひとびとの悲痛な声を聴き、従うべきである。 最後に地震国日本での原発建設は危険である。どこに活断層があるかわからない。
31043	個人	その他	50代	男性	2030年におけるエネルギ源一の選択 原子力発電は、0とすべきです。	原子力は人類がコントロールできない物質であること。 福島原発事故が示す通り、万一深刻な事故が発生した場合、その被害、影響は甚大で回復・復旧に恐るべき時間を要する。 原発建設、運用に莫大な税金投入が示す通り、コストは高い。事故になった場合、恐るべき金額となる。 核廃棄物の処理方法がない。深刻な被害をもたらす物質が猛毒を何万年以上も持続させる。毒を封じ込めたり消去しあるいは解毒する根本的な方法を持たない。 のちの人類に重大な迷惑をかける物質を増産することは許されない。 ごまかしの「低コスト」宣伝と取り返しのつかない原発問題を安易に天秤にかけるような愚かなことをしている場合ではない。 日本の英知と経済力を集めれば、再生可能エネルギーの急速で安定した生産と供給は200%可能。
31044	個人	その他	30代	男性	この選択肢そのものが原理的に無効である。原発は即時廃炉する以外に何の方法があろうか。	今回の福島第一原発事故をもって、震源から原発が遠く離れていても大きく損傷し、極めて広範囲にわたって甚大な人的・物的被害が証明された。しかも、日本中、数多くの原発の直下に活断層が存在することが既に判明しており、未調査のものも含めればそうした原発が潜在的に存在することも容易に予測されることとなった。しかも、原発に依存せずとも電力には充分な余裕があることも科学的に判明している。原発がCO2を排出しないというのも科学的に誤っている（それ以前に、現代の地球科学のパラダイムは地球温暖化そのものに懐疑的ですらある）。 政府はこうした選択肢を国民に示し、原発是非論を公平に論ずる振りをしつつ世論を誘導しようとするのはいい加減にやめたらどうか。経済が立ち行かなくなるなどと言い訳をせずに、原子力ムラの温存が目的だと正直に宣言したらどうか。 われわれ一部の国民は、将来のこの国を本気で憂え、脱原発以外に選択肢はあり得ないという信念を持ち、行動するものである。それに対し、政府および原子力ムラは、命より力本を優先するという意味で、底に透けて見える原発容認・推進の姿勢は信念でも理念でも何でもない。こうした姿勢に基づく、アリバイ作りとしてのパブリックコメントに応じるのも徒労と思えるほどであるが、直接民意を反映させる手立てがこの国には現在のところ存在しないので、こうして意見をお送りする次第である。 大江健三郎氏、坂本龍一氏をはじめとする、世界的な日本の文化人が原発をゼロにすることを求めて行動されていることもまた、よく肝に銘じて欲しい。彼らの思想を無視するほどに、あなたがたは偉いのか。 全ての科学技術には失敗がつきものだが、原発は失敗が許されない。安全対策は万全だと野田首相は言うが、そんなことは絶対に言えないはずである。今回の事故を持ってこの技術から日本は手を引くべきでだ。今引かずして、いつ引くのか。第二、第三のフクシマを経験してからか。いつまで福島県民および国民を愚弄する気か。
31045	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発はゼロであるべきです。	日本を守るため、未来を守るため。 原発事故前のように、当たり前に子供を産もうと 思える環境に、大急ぎで戻す努力をしたいです。
31046	個人	自営業	30代	女性	（1）「原発ゼロシナリオ」を支持します。 しかし、「2030年までにゼロ」ではなく、すべての原発の即時撤廃を強く希望します。	・放射性物質を人体や環境に対して無毒化する手だてが未だにないのに、これ以上先の世代へ重く負担となる核廃棄物を作り続ける原発を動かさないでください。 ・福島の事故がまったく収束していない上に（未だに2億4000万bq/日の放射性物質を環境に放出中）、事故のあった原子炉内部の状況は把握できず、廃炉への工程の目処すらたっていない状況で、他の安全対策も不足している、地震大国の上に建っている原発を維持しようとするのはおかしいと思います。 ・今の状況で他の原発でまた同じように事故が起こった場合、原発の収束作業する人員は不足するでしょうし、まず、国の存続も覚束ないと思います。 原発作業員の方々の健康、生命と引き換えに電気を得たり、一部の利権に絡む方々や電力会社の利益を確保する原発は、その存在自体が歪で邪なもののように思います。 電力会社が経営破綻しても発電・送電は可能なはずです。すべての原発の即時停止・廃炉への転換を求めます。 ・電力の確保のための一策として、発送電の分離をし、電力自由化を進めれば良いと思います。 一般家庭でも、希望する電力会社からもっと自由に電気を購入できるようになると良いと思います。 ・電力が不足する不足すると電力会社は言いますが、現在ある火力発電所を効率よく動かしたり、社会全体が適度に節電、ピ?ークカットやピ?ークシフトなど?電力の需要をコントロールすることで?省電力を実施したり、省エネルギーを進めれば、ともすれば国民の生命・生活、国土を失う可能性のある原発を無理して動かさなくても良いのではないでしょうか。 ・再生可能エネルギーの導入・研究に力を入れたり、既存の火力発電の効率を上げる研究をし、それを他国に輸出できる技術にまで磨いても良いのではないでしょうか。その方が現実的と思います。 ・原発はクリーンエネルギー、との位置づけのようですが燃料のウランの採掘・精錬・濃縮／加工までにも資材とエネルギーを要し、原子炉を動かして出来た廃棄物を再処理・処分するためにもまた資材やエネルギーが必要です。しかも廃棄物の管理には人間では何世代にも渡る長い期間が必要です。 そんな手間がかかって毒物だけが長い間のこる発電方法は、まったくクリーンだとは思えません。 ・なかなか思うように稼働させられないまま維持費ばかりかかる高速増殖炉もんじゅや六が所村再処理工場は非現実的です。さっさと諦めて、その分のお金を再生可能エネルギーや効率の良い火力発電の開発等に投資した方が余程建設的なお金の使い方だと思います。もう「昭和の明るい科学」的な古びた計画にこだわり続けるのはやめてほしいです。 青森県六ケ所村の再処理工場などは、大量の放射性物質を環境に垂れ流しながらの処理となるとのこと、即刻整理倒産させて閉鎖されるべきだと思います。 もんじゅに関しても、冷却剤がナトリウムということで、事故が起きれば福島原発の時よりも手が付けられなくて恐ろしい状況になろうことは想像に難くありません。もうやめてください。 ・一部には核兵器が作りたいがために原発を維持しつづけたいという意見もあるようですが、もう核兵器を作るのには十分過ぎる量のプルトニウムを保持しているのではないでしょうか。また、保持していることによって、逆にテロの標的となるのではないでしょうか。むしろ日本のような地震国家、テロ対策の甘い国家には、管理の際の不安を思えば無い方が良いと思います。すべての原発を廃炉にしてください。
31047	個人	パート・アルバイト	20代	男性	2030年までの原子力発電所の発電比率を0（ゼロ）にすることを強く望みます。これは2030年までにゼロにして欲しいということを望んでいるのではありません。即時ゼロを望みます。	原子力発電所の問題は、発電比率の問題だけではないはずです。最終処理の問題、廃炉の問題などいろいろあります。本心としては、原子力発電所の即時廃炉を希望します。再稼働も反対です。よろしくお願いします。

31048	法人・団体等	法人等	60代	男性	再生可能エネルギーと水素による持続可能なエネルギーの形をR水素といいます。地域で電力、動力機関の燃料をつくる、地域のエネルギーセキュリティーを水素で大容量貯蔵。マイクログリッド。地域自立型の構築	現在のウラン、化石燃料をベースとした社会構造では地球の氷の40%がとけることからくる異常気象による生命存亡の危機、福島のようにひとたび事故が起きれば取り返しのつかない、限られた場所に限られた量しかないことからくる権益確保の戦争→難民→貧困→少女売春→ストリートチルドレン、また必要以上に資金の流出により本来回るべき福祉や教育に充分な資金が回らない、そして広がる社会格差などの世界の大きなストレスの元凶です。しかしながらそういった地球レベルの問題を劇的にオセロの白と黒がいれかわるように、シンプルでありながらも包括的に解決する技術や知恵はすでにあります。全ては私たち一人一人の責任ある行動と協力に委ねられています。 米国地震ハザードプログラムの発表によりますとM6~8が21世紀の10年間で20世紀の10倍発生しています。 http://www.thehorizonproject.com/earthquakes.cfm 地球の急激な地理的変化で中国四川省、スマトラ、ハイチ、ニュジーランド、そして今回の東北大震災の背景にあります。 福島の原発はひとたび事故を起こせば取り返しのつかない事は言うまでもありませんが、一極集中型の電力や動力機関の燃料が送電線の破線や道路の寸断、港湾、ガソリンスタンドの崩壊によりエネルギー供給が出来ない事でますます被害が拡大しています。また自然エネルギー100%を超える町においても停電が起き被害がおおきくなるなど既存のエネルギーシステムの危弱性が明らかになりました。 災害時の安全面においても東北大震災では自宅からプロパンガス、車からガソリン、船から重油がもれたことで大火災が発生し被害が拡大されています。水素は地球上で最も軽いために空間さえあれば空気中に拡散されます。 再生可能エネルギーと水素の持続可能なエネルギーの形をR水素といわれていますので以下、R水素。 人類が食を保存する技術を持っていた事で現在まで人類は生き延びてきたのです。例としてお米も保存食です、野菜などもいっきにとれた時にひと手間加えてお漬け物にしたり、魚も干物にしたりして必要な時にいただいています。 それと同じように再生エネをエネルギー密度の高い水素に変換するとは 大震災を経験した日本だからこそエネルギーセキュリティの観点からも極めて重要であるばかりでなく次の人類の進化にとっての重要な鍵となります。 ※そういった意味においても地域でエネルギーセキュリティーとして再生エネを水素で大容量貯蔵する必要に迫られます。 考える順番を現在、盛んにいわれている再生エネからではなく、人間の使用してきたエネルギーの歴史から考えてみると、全く違った視点がみえます。炭素と水素の割合です。http://rh2.org/ 薪、石炭、石油、天然ガス、そして水素とドンドンと脱炭素化し燃焼効率の高い水素に進化しています。 ※そしてエネルギーの基本は水素と空気中の酸素の反応と言えます。 化石燃料由来の水素はエネファームとしてすでに一般家庭で25,000軒が電力とてそして水素ステーションは羽田空港を始め世界に200カ所以上あり動力機関の燃料として使われています。 そして2015年には国内に水素ステーションが100カ所設置をし燃料電池自動車の量産をすることを石油会社や自動車会社が発表しています。 水素が注目される理由は沢山ありますが三つほどにしぼりたいと思います。 (1)水のなかなどに身の回りに豊富にある (2)エネルギー密度が高い (3)燃料電池の効率が高い 本来まともな国内外がまともな政治体制であれば(我々一人一人の責任ですが)主な技術の水の電機分解も燃料電池も200年前に発見されており また、水から水素を取り出す光触媒も1968年日本で発見されており、そういった技術開発は何よりの最優先され、R水素(再生可能水素)を中心としたエネルギーの社会がとっくの昔に構築されていたはずです。 しかしながら今直ぐにでもチャレンジする技術としては誰もが学校で実験をして経験のある水の電機分解です(燃料電池の反対のしくみ)。つまり決して新しい技術でなく昔からあった技術といえます。 国内では今年の三月にホンダ自動車が埼玉県庁にソーラー発電の電力を水の電機分解で水素を燃料とするソーラー水素ステーション(R水素ステーション)をオープンし、 欧州でも再エネを水素に変換して1tの大容量貯蔵のR水素のニュースです。1kgに水素でホンダの燃料電池車で100km,イギリスのリバーシンプル会社が軽量化に成功した小型燃料電池車は350Kmの走行可能です。 水素はタンクさえあればいくらでも大容量貯蔵でき、漏れなければ永遠に劣化しません。 http://t.co/GnVF1Fwp このように再生エネルギーを大容量貯蔵可能な水素を加えることで、エネルギーセキュリティーの意味においても従来の重厚長大なエネルギーシステムからマイクログリッドの電力や動力機関の燃料を自立する建物自立型、省コミュニティ自立型、地域自立型のエネルギー社会をめざすように政策誘導する必要があります。 またR水素システムは、世界のエネルギー貧困の光になります。 14億人が電気にアクセスできない！これは本当に切実な問題ですが、解決する術はすべてすでに私たちの手にあるのです。 真っ暗の中でリスクの高い出産、子供たちが燃料確保のための労働で一日が費やされるなど、シンプルな方法でエネルギーが確保できればインタネットにアクセスでき高度な通信教育なども受けることができます。 重厚長大で複雑な送電系統が必要なくなれば、インフラがシンプルになり普及を促進することになります。 自分たちが抱えている問題を解決する鍵は、実は見たこともあった事もない 世界の同胞の問題を解決する事にあるということにきづかれます。
31049	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオを支持します	将来世代に何を遺すか。 今から原発ゼロシナリオを始める。2030年を目途に、環境低負荷の再生エネルギーの活用と環境循環型の技術革新をできる限り推し進める。クリーンエネルギーの技術で国際貢献を担う。環境低負荷・循環型の社会モデルを遺す。 原発15シナリオと20～25シナリオは、将来世代に「核のゴミ」を遺す。地震活発期に入っている今後60年、活断層が巣食う日本列島のどこに核のゴミを安全に再処理・直接処分できる場所があるのか。それを受け入れる地域があるのか。そもそも東電福島第一原発事故の原因究明と責任所在もはっきりしないまま、今後の過酷事故リスクを制御する技術と規制を国民の信頼の下につくれるのか。 将来世代に遺すのは、環境高負荷・制御型社会の負の遺産ではなく、環境低負荷・循環型社会へ向けた萌芽でありたい。
31050	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロ。新たなエネルギー政策を希望します。	福島第一原発の現状をみれば自ずと答えは出るはず。まだ手の付けようがない状況をどのように説明しますか？放射能はまだ出続けている現状をどう説明しますか？ この狭い日本という国の国土を奪ってしまう、人が住めない土地ができていまうという現実をどのようにお考えですか？ 安全・安全と言われてきたが、安全でないことの証明はされました。 経済の観点でも目先のことだけを考えていたら、これから先どうなるのですか？ 素人の我々にでもわかることです。 本当のことを言いましょう。自分の本当の心で動きましょう。 本当に安全だよ！！とおっしゃるならば、まず東京に原発を。もしくは、福島第一原発周辺に政府機関を移動させるべき。 原発ゼロ。 新たなエネルギー政策の策定をお願いいたします。 この国とこの国に生きる子供たちの本当の意味での未来のために。心からお願いいたします。 10万年後まで管理する必要がある核廃棄物に責任を持てますか？ 10万年保管できる地下施設って何ですか？ 10万年前：ホモサピエンスがアフリカを出た 5万年前：クロマニヨン人 3万年前：ネアンデルタール人 1万3千年前：日本列島が大陸から切り離れた 5千年前：古代エジプト文明、メソポタミア文明 10万年後は全く予測不可能だと思うのは僕だけですか？ そんな無責任なエネルギーによって成り立つ経済ってどうですか？ 今、目を覚まさなければ！！福島原発の現実に目をむけるべきです！！
31051	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます 未来をになう子供たち、これから生まれてくる命のために、危険なエネルギーもうはやめて下さい。 日本の技術力を活かし、国が全力で自然エネルギーを推進させ、原発のない国、クリーンエネルギーでくらす国にしてほしい。
31052	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発ゼロシナリオを選ぶ。今すぐ原発ゼロにすべきだ。原発は事故の時の環境リスクが大きすぎる。たとえ事故が無くても、放射性廃棄物の安全な処理方法が決まっていない中での稼働は危険であり、地球の未来を壊す。	放射性物質が長く深刻な害を与えることを、核兵器による被爆国である日本人はよくわかっているはずだ。さらに原発事故による被曝を経験した今こそ、世界に先駆けて安全で再生可能なエネルギーの開発と実用化に全力をあげる時だ。日本の技術力は高く、新産業も起こり、雇用も増大する。 政府はこの問題に対して本気で取り組んでいるようには思えない。今回のパブリックコメントに関しても広報が少なく、募集期間も短い。国民の声を偏りなく集め、集めた声をどのように活用するのか、明らかにしつつ進めてほしい。
31053	個人	会社員・公務員	30代	男性	産業の発展や雇用を守る観点から、ゼロシナリオを選択したとしても、国は安定的なエネルギーの供給先を開発し、また電力多消費産業に対し、発電コストを電気代に反映させないような制度を作って頂きたい。	私の勤務している製造業にとって、会社の発展や従業員の雇用を守るためにも電力の安定・安価供給は絶対条件である。 このようなことから個人的に20～25シナリオの選択を選んでほしいが、原発の安全神話が崩れ、脱原発の風潮が広まっている以上、原発の再稼働は非常に困難であると考える。また、コスト試算においてもゼロシナリオと20～25シナリオの発電コストがさほど差がなく、両方とも電気代資産が大幅な値上げとなることから、どのシナリオを選んでもほとんどの製造業が生き残ることができない。 ゼロシナリオを選択したとしても、安定的なエネルギーの供給元の開発（例えば他国からの安定した買電ルートの確立等）について国を挙げて促進していただき、また、発電コストが大幅に上がった場合でも、電力を多量に消費し、産業界の発展に寄与している業界には電気代に反映されないような制度を策定してほしい。
31054	個人	自営業	60代	男性	国内原発は全て即廃炉　反原発先進国として国際的に廃炉・核燃料廃棄物処理に貢献すべき　九電力会社は発送電分離が確立迄国有化とし発電事業は燃料電池をメインに据える	そもそも原発は　原爆用プルトニウムの作成過程を"核の平和利用"と称して蒸気機関とし核燃料を燃やし使用済み核燃料・核分裂生成物を作る事が目的として誕生した 使用済み核燃料・核分裂生成物から高濃度のプルトニウムを得ることが本義であったため　発電機を回転させ電力を得る事は二次的な事で　原発の発電効率の悪さはそれを証明して居る そして使用済み核燃料・核分裂生成物は無毒化・廃棄処理が不可能で　犯罪的に放置か埋め捨てるしか方法が無い　原発は「トイレ無きマンション」と言われて居て抗弁する余地がない すなわち原発には「始まり」も「終わり」も無い為技術論がなり立たたず　技術論の無い原発は技術ではない　また技術でない事は今回の福島第一原発の事故は商業化された原発の緊急時の制御に総理大臣を先頭とした政治権力の介在無しに成し得ず　そしてその結果は総理大臣の知識と時期を失わない能力と判断のタイミングに左右されと言う事で確認出来ます そして立法府が行政の事後評価?するというのだから言葉を失います 「終わり」修正の核燃料サイクルなど論外でこの工程でも被爆・汚染を拡大・拡散し採算的に引き合うかどうか以前の実用化の見積すら出来て居ないのが現状 ウランの採取からはじまり　燃料棒の作成搬送・原子炉の運転・管理・使用済み燃料の管理等原発の作業工程の全て人が介在する所全て被爆・汚染を強い　かつ被爆には差別を産み・拡大する　悪しき資本の論理を展開する(線量の(下請け)現場作業員と東電等の正規社員の格差はひどく　現場作業員は被曝線量に依る保証は無く、成果主義による報酬の為被爆線量を安売りしかねない状況すらある　年間被曝線量を決めたのなら作業員にはこの上限に達した場合残り年間日数の生活保証しなくてはならない　この事は経済的にも倫理的にも原発は駄目な事業の証明でもある) 技術でも無く　差別を生産拡大し　経済的にも成り立たない世界中の原発は即刻廃炉に向けて計画し実行すべきである 確立は無理だが経済性を無視しても核廃棄物の処理の最大限を計画実行しなくてはならない 9電力会社は国有化して発電と送電を分離 発電部門は燃料電池部門と廃炉・廃棄処理部門と分離 発電部門は燃料電池をメインとし　特に家庭用には小型燃料電池を促進し地域分散化を促進する　他分野の自然エネルギーに依る発電と共存安定化を計る 事業化の確認後民間企業とし地域優先のグループ企業の中心とする (原発所在地に事業所を設立し地域企業を取り込み事業化する　もちろん民間の融資を受け独立を促進する) 廃炉・廃棄処理部門は研究・開発を含み　基本的には利潤は期待出来ないので国有化を永続とし従事者には身分保障が必要なので国家公務員とし民間委託は全て無しとする(下請け業者も全て公務員とする　新たな公務員法が必要) 予算化(一般会計)し国営事業所を創設する 年度毎に「廃炉白書」(仮に命名)を発表し完全オープン化とする 規制庁は廃止　廃炉庁を創設する 使用済み燃料・核燃料生成物を管理する貯蔵庫・燃料プールの設定・保全等は廃炉庁で管理する　最新の地震・活断層等のデータを再チェックし可能な限り反映した対策をとる様にする　緊急時の際の地域住民の避難と汚染対策を十分に検討し　公開し確認する　亦最悪の事態による保証内容も仮称「廃炉白書」に必ず明記し予算の根拠と　保証の原資を公開する 廃炉作業中のトラブル・事故等も最大限作業者側に立った視点でのケアー・保証を前提とする(全員公務員　被曝線量等に依る解雇・待機は不可　完全な生活保障とする　外所得があった場合等の問題も法律を作成　完全保証を前提とした法律を用意する必要がある) 技術は等しく関わり合う人に幸せをもたらすものです 差別を産み　犠牲を強いて　その上に幸せはやってこない 原爆は敵味方を特定せず内部被曝を全ての人に強制するので武器・兵器ですらない「核兵器」と言う言葉は言葉自体に存在根拠が無い　言葉としても存在根拠のない「核兵器」は即刻廃棄すべきで 「核の傘」なる核安保は論にならない　同様に技術でない「原発技術」は廃棄　廃炉技術・核分裂生成物の管理技術の確立をめざし 人としての営みの原点に立つべきです
31055	個人	会社員・公務員	50代	女性	私は「原発ゼロシナリオ」を選択します。	原発事故が起きたときに、国土を損ない、国民が負うリスクが大きすぎることが、今回の事故でよく分かりました。 核エネルギーは人間がコントロールできるものではありません。 日本は地震国であり，地震が多い時期になっているのは明かです。 国が示している原発の発電コストは過小に見せかけており「原発がないと電気料が上がる」は欺瞞でありまする。 国が支出する原発のエネルギー対策費は即座に代替えエネルギー開発に転換すべきです。 子々孫々まで管理が必要な廃棄物をこれ以上増やすべきでありません。 放射性廃棄物は埋設すべきでなく、安全になるまで手の届く状態で管理すべきです。 廃炉となった場合の原発施設の償却不足による欠損と上記廃棄物管理費は、国民が負担していくこととなるであろうが、日本を愛する国民であればこそきっと受け入れられると考えます。

31056	個人	家事専業	30代	女性	<エネルギー・環境に関する選択肢>に対する意見 選ぶなら (1)のゼロシナリオ	仕方なく(1)を選びましたが、使用済み核燃料の安全な処理方法もなく、福島の事故があったにも関わらず、2030年まで原発がある前提で話を進め、今現在もまた原発が稼働してしまっていることと自体理解できません。 2030年ではなく即刻、原発ゼロにし廃炉にして下さい。 一握りの人たちの利権の為に独裁的な政治をやめて下さい。 官僚の方は手遅れになる前に頭の中身を入れ替えて下さい。 情報を隠すのをやめて下さい。 それでも進めるのであれば、国会議員の方、官僚の方とそのご家族も伴って、福島の高線量地区でこの先住まわれてください。
31057	個人	家事専業	30代	女性	この先原発の稼働は反対です。	この先原発の稼働は反対です。 3つの選択肢の中では0シナリオを希望します。 福島の事故が発生するまでは原発は安全だと思い込んでいました。 でも実際に事故が発生した後、目に見えない恐怖、いつ住み慣れた家に戻れるかわからない絶望感などを見てこれから先の子供たちに負の遺産を残す事はいけないと思うようになりました。
31058	個人	学生	10代以下	男性	原発の三つのシナリオについて『ゼロシナリオ』が最も良いと思いますが、発電量を抑え、消費する電力量自体を抑えるシナリオはないのでしょうか 原発の使用済み燃料の処理を早く済ませるべきです。	現在既存するシナリオ内の内、『ゼロシナリオ』が一番いいと思います。 しかしながら、発電の内訳を調整するのではなく、もっと『電力の発電を抑える』シナリオがあってもよいのではないかと思います。 理由としてあげられるのは、福島原発事故の際に電力が足らなくて、節電や計画停電を行った場合でも、十分に生活が成り立っていたことです。 発電量を少なくした場合、どう考えても消費を抑えるしかないのですから、消費量は格段に落ちるはずです。とりあえず福島原発事故の際の電力の足らなさでも十分生活が成り立っていたのですから、そこまで発電量を落としても問題ないのではないでしょうか。 是非、発電量を抑えても問題ないシナリオを考えて下さい。 後、原発はもうやめておくべきです。絶対に。 使用済み燃料を処理するための場所が現在日本にないのでしたら、これ以上原発を動かすべきではありません。 僕は原発自体に反対というわけではありません。命の危険性が高いのは車に乗って事故する方が高いので。 使用済み燃料を処理するための場所を作るのを優先すべきです。 早く、その燃料を処理してください。
31059	個人	学生	20代	男性	原子力発電所の早期再稼動を強く希望する。また、原子力発電所は将来共に、必要な電源だと考える。	私は、大学で原子力についても勉強している。昨年、東日本大震災により、東京電力福島原子力発電所の事故が発生し、原子力発電所の安全性が大きくクローズアップされた。マスコミは、あたかも原子力発電所は将来ともに危険な物として報道をしてる。しかし、冷静に考えると、今回の事故は、1，000年に一度と言われる大地震でしかも想像を遥かに超える大津波により、全ての電源が喪失したため、原子炉が冷却できなかったことにより、発生したものと思われる。 その後、今回の事故を踏まえ、各電力会社では、国の指導により、様々な安全対策を取った上で、ストレステストを行い、国に報告書を提出し、再稼動を待っている状況である。このため、今夏は電気の供給が不足することが予想され、節電要請や計画停電の案内があり、非常に不安な毎日を過ごしている。電気は生活をしていく上で、欠かすことの出来ないエネルギーであり、仮に計画停電が発生した場合、パニック状態となると思う。また、産業界も節電や計画停電が発生するような環境では、経営が出来なくなり、海外に工場を移転するなどの対応をしていくだろう。こうなれば、国内の雇用にも大きく影響し、日本経済が成り立たなくなるだろう。一部の人間では、太陽光や風力などの自然エネルギーで原子力をカバーできるなどと勝手に大口をたたいている。自然エネルギーの拡大は、重要とは思うが、将来のベース電源には無理がありすぎる。また、日本は、資源のない国であり、石油や石炭などは、海外からの輸入している状況から考えると、原子力発電所は将来ともに必要な電源ではないかと思う。今後、安全が確保された原子力発電所を速やかに稼動し、電気の安定供給を図り、安心して暮らせる社会を作って欲しい。
31060	個人	会社員・公務員	60代	男性	2030年の原発依存率は0%どころか即刻全ての原子力発電所を廃炉にする決定をしてください。	福島の原発事故に学ぶならば全ての原発を一刻も早く廃炉にする決断をすべきです。 明らかにアメリカの要望どおり原発の稼動を継続することは日本国を発展させるどころか国を無くすことにつながる明らかな背信行為です。 政府はよく経済の発展はどうするのかと半ば脅かすような言い方をしますが、国民の命とどちらが重要と考えているんですか。 国民は素朴な生活に戻っても命を脅かされる生活よりは余程ましと考えています。一部の大資本家のことしか考えない政府にはこれら国民の声は聞こえていても平気で無視を決め込んでいるのでしょう。 このままの失政では二度と民主党の執政は推奨されないことでしょう。 なぜ安全な廃棄処理ができないものを作り続けるのでしょうか。大切な子々孫々にこんなにも危険なものを引き渡していくのですか。よく平気でいられますね。 私たちは次回の選挙でどこに投票すべきか、今後の政府の執政の内容を見て判断しようと本気で思い始めています。 どのような社会を子々孫々に残すのか考えています。 どうぞ歴史にこれ以上汚点を残さないように大英断を望みます。
31061	個人	自営業	40代	女性	ゼロシナリオを選択します。 原発はとても高価でエネルギー安全保障上も最も劣るエネルギーです。 代替エネルギーは太陽光を中心に自然を利用します。 電力使用量を減らす為に一局集中化を緩和すべきです。	2010年のエネルギー基本計画には原発は安価でエネルギー安全保障上も優れるとありますが 原発事故後の現在では、先の見えない賠償問題や故郷へ戻れない被害者の方々の状況から見れば とても高価でエネルギー安全保障上も最も劣るエネルギーと考えます。 5年も家に帰れない人々が2万人以上もいる状況は極めて異常と考えます。 除染が進み、家に帰れる状況になったとしても、生活はマイナスから再出発しなくてはならないでしょう。 人の人生にとって5年は決して短くありません。 避難を余儀なくされた人々にとって失った年月は賠償しきれない思います。 このような悲劇的な状況を二度と出してはならないと思います。 絶対は存在しません。安全神話は崩壊しました。 日本は原発依存という間違った選択を正すために、原発ゼロを実現しなくてはならないと思います。 代替エネルギーとしては、太陽光エネルギーを中心に、一般家庭の電力はそれぞれの家庭で賄えるように広く普及させればいいと思います。 具体的にはソーラーパネルの設置は標準装備とし、振動による発電システムや、トイレの流水で発電できるシステムなど、随所に小さな発電所をとりこみ家庭においては自家発電が当たり前となるようにしていけばよいと思います。 電力の使用が増える原因として、一局集中の弊害も考えられると思います。 たとえば、東京のヒートアイランド現象ですが、東京の住宅地は（高級住宅地を除いて）家と家の間が狭く、隣家のエアコンの室外機の熱によって、暑くなり、そのためにエアコンを使用し、そのまた隣家を暑くするという悪循環に陥っています。私は現在石川県に住んでいます。日中は35度を記録するなど、都市部と変わらない暑い夏です。しかし、夜になると風が通り、気温は下がっていきます。熱帯夜はあまりありません。東京の人は当たり前のことになってしまっていて気が付いていないかもしれませんが、東京の実家に帰省するたびに、東京の夏は異常だと実感します。 人口密度を減らしていくことは容易ではないのは自明の理ですが、超長期計画で一局集中を緩和していくように政策を進めていくべきではないかと思います。 100年後に私はこの世にはおりませんが、ひ孫は日本で暮らしているのではないかと思います。100年後の子孫のためにも、今、原発ゼロを選択するべきだと思います。
31062	個人	会社員・公務員	60代	男性	出来るだけ早期に原発は発電比率として0%とすることを求めます。	およそ人間がすることに完全はありえず、日本のように狭い国土に加え、地震帯の上に国土の大半が立地するような国において、重大事故が発生した場合に人間がその発電機構をコントロールすることがほとんど不可能な原発は人間社会に対して重大な脅威となる。そして、一端放射能もれが生じれば、その原発周辺には数十年・数百年というスパンで人間が住むことの出来ない地域が出来る。さらに人体への放射能の影響も甚大な被害を招く。ロシアのチェルノブイリ事故の後遺症を見ればこの問題は明らかである。　原発をやめると国民の経済的負担の増加を招くと言われるが、原発事故は経済的負担の増加などという問題をはるかに超越して、人類の存続すらも脅かしかねない問題であることを、多くの国民は理解していない。 また、原発を維持していくことで毎年生ずる放射性廃棄物の処理も技術的に解決されていない。　単に集めて地中深く貯蔵するのみである。（中間貯蔵施設という名目で）今後数十年という年月で原発を利用し続けることにより発生するより危険な放射性廃棄物を最終的にどのようにして処理しようと言うのか？　日本には処理技術はない。 原子力発電は時の政・財・官が一体となって、新エネルギー政策として進めたものであり、今後、原発に代わる安全な再生可能エネルギーに軸足を移し、新たなエネルギー産業を構築することは我が国の現在の技術力からして大いに可能である。国民もドイツの選択をみならい、経済的負担に躊躇することなく、子供達の将来に向けて、今こそ原発廃炉に向けた政治的決断をすべき時だと思う。
31063	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオにお願いいたします	私の実家は南相馬市小高区です。 もう、原発によって故郷を奪われる人がでるのはこりごりです。 そして国の対応にも、失望しています。 原発なしのエネルギーへ転換は必須です。
31064	個人	会社員・公務員	50代	男性	稼働中の原発を直ちに停止し原発による発電をゼロにするとともに、2030年までにすべての原発を廃炉にし、エネルギー政策を自然エネルギー・再生可能エネルギーにシフトすること。	福島第一原子力発電所の事故で明らかなように、原発事故の際の影響や被害の大きさは甚大であり、稼働中の原発は直ちに停止すべきであり、停止中の原発の再稼働は論外である。 また、原発により生み出された大量の核のゴミを後世に残すことは、後世への責任転換であり原発を再稼働させこれ以上核のゴミを増やすべきではない。 さらに、いくら安全対策を講じたとしても事故や故障が無い設備はあり得ず、とりわけ原発事故のリスクは甚大であり、原発事故を防ぐ唯一の方法は原発を無くすことである。 自然エネルギー・再生可能エネルギーへ一日も早くシフトするために、原発依存をゼロに設定すべきである。
31065	個人	会社員・公務員	60代	女性	「原発0シナリオ」を選択します。今すぐ原発0に。	おかねより人の命が大切なことは自明のことです。電力は足りています。 半減期まで50年もかかる放射線は人にとって毒です。しかも半減であってなくなることではないのです。 放射線の処理ができない以上、地震の頻発する日本で扱ってはいけないものです。 子孫の健康を守るために原発を0にしてください。
31066	個人	会社員・公務員	20代	女性	一刻も早く、「原発ゼロ」の実現へ	震災の直後、地元神奈川から、就職先のある茨城に引っ越しました。 茨城で暮らしながらも、土地のもの、果物も、水も、米も、魚も、極力口にしないように、神経を尖らせる生活をしています。 茨城には「今更気にしても、もう遅い」と言い、無頓着な人たちもいますが、「今更」と言って投げだせる生命はないはずです。 原発は、私たちが生活する上で、安全と安心の対極に位置するものです。自然エネルギーの比率を増やしていくスケジュールをはっきり示してください。
31067	個人	パート・アルバイト	40代	男性	(1)ゼロシナリオを選びます	原発依存0。日本はその道を歩むべき。そして世界の指針となるべき。 日本にはその技術があるはずだ。 そして理由云々より、原発事故による被害をちゃんとした目でみれば誰もが原発はもう要らないという筈である。 正しい未来を作りましょう。
31068	個人	その他	50代	女性	0%	現在指針を決めている人間が生きている間には責任を取りきれないような未知の危険物質を扱うべきではないと思うから。 ましてや、使用済み核燃料を10万年という想像もできないような長い年月を完全に安全に保管し続けることができると思う発想は、地球にも自分たちの子孫にもあまりにも無責任すぎる。 地球や人類を本気で破滅に導きたいのなら別ですが、それならそうだと、そしてなぜなのかもはっきりと表明してくれたほうが、理由次第で選択肢の余地を考えられるのかもしれないと思うくらいばかげた投げかけだと思います。
31069	個人	会社員・公務員	60代	男性	経済成長のため、地球環境保全のため、安くて二酸化酸素を排出しない原子力発電しか当面は方策はない。一時の感情で原子力発電を排除しては、 日本は立ちゆかなくなる原子力発電は30%以上必要である。	・原子力発電を安全に運用する努力を放棄しおて科学立国は成り立たない。 ・資源確保の安全確保の面からも準国産エネルギーを確保することが重要である　。 ・これ以上地球上に日本のエゴにより二酸化酸素を増やしてはならない。
31070	個人	会社員・公務員	20代	男性	2030年には原発依存をゼロパーセントにする、「ゼロシナリオ」を支持します。	東日本大震災の際、フクシマの事故におびえながら東京で毎日を過ごしました。以降、便利な（ように見えて）危険な社会か、多少不便になっても絶対安全な社会か、原子力をめぐってさまざまな意見が述べられている最中ですが、地震が多いこの国の生活者を脅かす原発にはやはり反対です。 その理由は、大きく分けて 1．自分が使うエネルギーを、日本の生活者一人一人が考えるようにするため。 2．原発が、そこから得られる利益よりも、人間を含めた生活環境（自然環境）を大きく脅かす存在であるため。 です。 福島の人々の生活圏の、一刻も早い回復を願います。
31071	個人	会社員・公務員	50代	女性	2030年を待たず、即時に原発をゼロにしてください。	2030年を待たず、即時に原発をゼロにしてください。 未だに東京電力福島第一原発事故は収拾できていません。 被曝、除染など、課題は何一つ解決していません。 経済活動は大切ですが、命、安全は、もっと大切です。 原発がなくても生活できることは実証済みです。
31072	個人	無職	60代	女性	原発依存率0%を支持します。2030年まで18年間も、原発稼働のまま、不安な状態では暮らせません。 原発を容認してきた責任世代として、再稼働した大飯原発の即時停止とともに、直ちに全原発の停止を求めます。	「土地は子孫からの預かりもの」、先祖伝来大切に受け継がれてきた土地を、放射能で汚し、人が住めない土地にしてしまった、その罪の深さは計り知れません。国土と日本の文化を葬り去る行為で、エネルギー以前の問題です。原発を国策として容認してきた私自身の痛烈な反省の下、この国を受け継ぐ未来ある人たちが安心して住める国づくりへと方向転換したいと切望します。 広島・長崎への原子爆弾投下と福島原発事故という、原子力の戦争利用も平和利用もともに災禍に見舞われた日本は、世界へ向け、原子力の利用廃絶を訴え得る唯一の国だと確信します。 原発が世界じゅうに広がっていく動きを止め、地球を救う1リーダーは日本だという自負を持って望みたいと考えます。 エネルギー政策も大きく転換する時だと思います。これまでの大手による一極集中から、エネルギーの地産地消が望まれます。輸入原料に頼らないエネルギーの国産化も将来的視野におさめる時でしょう。 同時に、原子力研究にも邁進しなくてはなりません。すべての原発を廃炉にした後、それを安全に保つ研究と最終処分場の研究と、更には、使用済み燃料を再び安全に自然に還す方法への模索です。これらの研究成果を持てば、現在ある世界の原発処理に大きく貢献することができるでしょう。 原発のない未来を、まずヴィジョンに据えたいと希望します。
31073	個人	会社員・公務員	30代	女性	以下について明確な解決方法が提示されない限り、原子力を扱えるだけの能力が無いと、ゼロシナリオを希望 ・廃棄物の最終処理方法が確立される ・事故が起きた場合でも迅速に事態を完全に収束できる	廃棄物の処理方法について、現在はあくまで「中間処理」施設があるのみで 最終的にどうするか、明確に決められていないと認識している。 これは次世代に尻拭いを先送りしているだけにすぎない。 （原子力に限らず）なんらかの事業を行う上で ゴールが見えないままスタートするのはそもそもおかしいとかいえない。 また、政府は「事故は収束した」と宣言しているが 現在もまだ食品から放射性物質は検出され、原発近くが立ち入り禁止のままである点などからも、とても「収束＝なかったこと」とは考えられない。 毒には解毒剤がセットとなるように 原子力においても、もし事故が起きた場合でも速やかに無害化できるだけの 技術がなければ稼動させるべきではない。 現在のように、ロボットですらなかなか立ち入れないような状況では 原発依存など、夢物語としか思えない。

31074	個人	その他	40代	女性	ゼロシナリオを支持します いままさに日本が世界に向けて指針を示し、実現し、新たな可能性を提案していく絶好の機会と考えることはできないでしょうか	ゼロシナリオを支持します 「身の丈にあった生き方をする」のはひとつの美徳です。 人間には「順応性」「適応力」も備わっています。 上限が決まれば優先順位の低いものは自然と淘汰され、無駄なもの余分なものが見えてくるはずです。過剰な電力供給でブヨブヨになったメタボな社会を実感し、本来の健全な姿に近づくでしょう。 しかしながら、このまま原発がなくなったら個人単位の不便不都合はともかく経済産業活動に与える打撃が大きく景気の面でも様々な影響がでるということの懸念が大きいのだとしたら… それでもなぜ「原発」でなければいけないのでしょうか。 そこにかけるリスクとコスト（安全管理コストだけでなく、明らかに「負の施設」受け入れ委託のための無駄なコスト）をたとえ今はまだ軌道に乗せるためのコストがかかりすぎたとしても原発比率を減らしていきながら最終的にはゼロにして「リスクのない選択肢」にシフトすることで、そしてその技術力をもって新たな道を切り拓くことで日本は世界に向けて大きな存在感を示すことができるようになるのではないでしょうか 世界の他の国と比較して圧倒的に未来に希望を持つ子供が少ない国、日本。 いま、目先の利便性と既得権益から逃れられずにずるずるとあいまいな政策を続けるよりも、産みの苦しみと割り切って新しく生まれ変わるためのに努力する姿勢のほうが未来に希望とやりがいを感じる魅力的な国になると思います。 そのビジョンを明確に掲げてくださることで私たちは納得して産みの苦しみを受け入れることができるものと思います。 リスクを抱えながらの、そして今回の事故で実際にそのリスクを受け入れざるを得なくなってしまった現実を考えるにつけ、なぜこの先あらためて原発稼働なのか理解に苦しみます。
31075	個人	パート・アルバイト	20代	女性	三択の中なら「原発ゼロシナリオ」を支持します。 原発を今後も使っていく意味がわかりません。 再生可能エネルギーや電力需要をコントロールすることで電気は足りるのだから、できれば即ゼロがいいです！	ゼロ以外ありえません。 即ゼロにして欲しいです。 今までは原発を使って電気を作ってきたかもしれません。 でも、3･11のような震災・事故があって、誰があんなリスクをおかしてまで、命を危険にさらしてまで、誰が原発の電気を使いたいと思うんですか。 このまま原発を使うと言う事は、また3･11のような事故が起こってもいいという事なんでしょうか。 事故以降、ほとんどの国民が「原発なくて大丈夫ならない方がいい」と思っていると思います。 だったら！無くせるんだから無くし正しょう! 原発に使っている膨大な予算を再生可能エネルギーや省エネに使って、電力需要・電力ピークをコントロールして、国民にちゃんと伝えればできます！ そうしてください！ みんながじゃぶじゃぶ使う電気に合わせてどんどん電気を作るんじゃなくて、電気に合わせてみんなが使えばいい。それが普通です。 自分達の手に入るものを使う。どんな代価を払って何を得るか、どんな風に使うか、それはみんなで決めるべきです。一握りの人達で決めないで下さい！ なんでこんなに原発を推し進めるんでしょう。 どんな日本にしたくて原発なんですか。 どんな未来を創造して原発なんですか。 政府ってなんなんでしょう。 民主主義ってなんなんでしょう。 私は胸張って日本人です！って言える日本にしたいです。 脱原発するならスパッと断言して、謝る事は謝って、行動！ 騙したり、脱原発と言いながら原発輸出したり、責任をうやむやにしたりするのはかっこ悪い！ 自分が、自分達が本当に正しいと思う事を胸を張ってして欲しい。 私は未来に意志のある日本をのこしたいです。 私は未来に安全な日本をのこしたいです。

31076	個人	学生	10代以下	女性	(1)ゼロシナリオを選択します。 それ以外に選択肢があるとは思えません。	私がゼロシナリオを選んだ理由は、多くの人を殺す危険な原発は即刻廃止するべきだと思うからです。 ３．１１で原発の安全神話はとっくに崩れているんですよ？ というか、それ以前にもたくさんの事故が起きているんですから、再稼働なんて寝ぼけたこと言ってないで目を覚ましてください！ 『間違ったことをしたら、正直に自分のしたことを認めて、みんなにもう二度としませんって謝りなさい』 って子供のころ学校で習いませんでした？ こんな当たり前のことを子供の私に言わせないで下さいよ… 原発による事故で本当に多くの人が亡くなってるんです。 数字が大きすぎて実感がわかないなんてこと言わせませんよ。 どうしても安全だという自分の意見という名の妄言を突き通したいのなら… 今日、福島県にある３．１１の時の原発に引っ越して、そこで毎日放射性物質まみれの福島県産のものを食べて過ごす安全で健康的なあなたの一生を全国民にマスコミを通じて公開すればいいじゃないですか。 それであなたの死因がただの老衰であれば、日本の全国民に、いや全世界に『原発は安全である』ことを証明できますし、証明したあなたはヒーローですよ！ こんな大それたこと、他の誰でもない、あなたにしか不可能です！ 美味しい話ですよね？ 安全で大好きな原発の中で一生を送るだけで歴史的な英雄になれるなんて、こんなチャンスはもうありませんよ？レッツトライ！ …嫌味を言ってるの、わかりますよね？ 私は、毎日のニュースであなたたちが頭のおかしいことを言っているのを見て、 『学校で習った正しいことと、なんで違うことばっかりしてるんだろう？』 って思いました。 頭のおかしいあなたたちと違って、私たちは将来、この日本という国を背負っていかなくてはならないんです。 その際に邪魔な間違った知識を刷り込まないでください。 そして、私たちの未来に、原発のような大量殺戮兵器はいりません。
31077	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを選択します。 再稼働、原発の新設増設に反対。	今日本がすべきは、これからどうやってより安全な原発をつくるかではなく、 とにかく福一事故の処理を急ぐことではないでしょうか。 いつ大きな余震があるかも分かりません。 早急な対応をお願いします。 今回の福一の事故で、こんなにも甚大な被害を現実に見たのですから、 原発は国民の生活を守る為に選択すべきものではありません。 今原発は、国民にとって、恐怖です。 未来が不安です。 こどもたちが心配です。 こどもたちの未来は、今親である私達が守らねばなりません。 この島を、汚したままで、 こどもたちに手渡せません。 自分が生まれる前からずでに動いていた原発。 ここからは、次のステージへ移行する為、 役目を終えて頂きます。 日本が、自らを見直す、大切な選択です。 皆でゼロシナリオ達成の為に頑張りましょう。 いろんなアイデアを集めましょう。 明日をつくっていきましょう。
31078	個人	家事専業	50代	女性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます。 1、原発は運転すれば必ず放射性廃棄物を生みます。これの安全な処理技術は未だ開発されていません（永久に不可能でしょう）。生命を脅かし続けるこの放射性廃棄物を未来に残すことは、子孫に対する犯罪です。 2、原発の運転とメンテナンスは、労働者の被曝なくしては不可能です。自らの命と引き換えに（時にはその危険性を十分には知らされないまま）働かざるを得ない人々の犠牲によって作られた電力を、私は使いたくありません。 3、福島第一の事故後「原発安全神話は崩壊した」と度々耳にしましたが、未だ生き延びているようです。神話を語る人によって大飯原発が再稼働されてしまいました。 原発はいつかまた必ず大事故を起こします。原発事故が引き起こす甚大な被害を私たちは経験しました。もう二度とこんなつらい思いをしたくありません。 今すぐすべての原発を廃炉にして下さい。 原発を使わず、自然エネルギーを推進していくことを政府の方針として決定して下さい。
31079	個人	パート・アルバイト	40代	女性	「原子力は、私達を幸せへと導いてくれるのか？」 答えは「NO」である。 子供達により良い地球環境を残すために、今こそ「正しい」選択を！	今の「満足」だけでなく、子供や孫の世代のことを考えたとき、原子力というあまりにも大きな負の遺産を残すものを選択することなどあり得ようか？ 私たちには、次の世代により良い地球環境を残していく「責任」がある。 原子力というコントロール不可能な怪物を作り出してしまった代償はあまりにも大きい。 この期に及んで、原子力をコントロールできるとまだ思っている、言っていることは、傲慢以外の何者でもない。 人間は全能ではない。与えられた資源を大切に使い、環境に影響を与えないように工夫して生活していかなければならない。自分の欲のために、自由にして良いものではない。人間には地球を守っていく責任があるのだ。 原子力という物は、私たちを幸せへと導いてくれるのか？ 答えは、間違いなく「NO」である。 私たちの「命」と引き換えにするには原子力はあまりにも危険が多すぎる。 どこで地震が起こってもおかしくないような国に原発を作る事は自殺行為であること、そして、 一握りの豊かな国の人の便利のために、ウラン採掘の時点から作業員を被爆させ、今も福島の原発の作業員を被爆させ、低濃度放射能汚染の恐怖におびえながら暮らしていかなければならないような原子力は、本当に必要なのか？？？ なぜすぐに正しい判断ができないのか？「人の命」より「カネ」なのだ。原子力は核につながるうさんがある。日本は豊かかもしれないが、ひどい国である。 本当の豊かさとは・・・？ 何でも物があること？便利なこと？ 震災を経験して、「本当に大切なこと」が分かったはずではないだろうか？ 「愛する人とともに、ささやかでもいい、平和のうちに毎日を過ごす事」・・・全ての人が望んでいることである。 原子力はこれを作り出す事が出来るだろうか？現状を見る限り、破壊するものとしか思えない。 日本の技術、知恵を持ってすれば、原子力に代わるエネルギー開発は可能だと思う。いまこそ、転換の時期なのだ。そうでなければ、原発被災者をまた生み出すであろう。
31080	個人	自営業	40代	女性	なるべく早く原発を0にする。一刻も早く0にしておく。社会の中には経済的な利益を中心に考える人が多くいます。そのことを踏まえて、再生可能エネルギーが、急速に普及するしくみも考えるべきです。	・2030年までになるべく早く原発を0にする。いえいえ、大きな地震が再び日　本で起こる前に一刻も早く0にしておく。 ・一人、一人、1企業、1企業の行動で原発に頼らない社会に変わっていくこ 　とを望みますが、啓発啓蒙で、変えていくには、時間がないです。社会の中　には経済的な利益を中心に考える人が、多くいます。そのことを踏まえて、 再生可能エネルギーが、急速に普及する制度、しくみも併せて考え進めてい 　くべきです。
31081	個人	無職	70代	女性	原発を0にすることに賛成します。理由は、核廃棄物の置き場が、無くなること。放射能の影響がすぐにわからないで、将来、害が出るかもしれないこと。日本は、地震がとても多い国で、安全を保証できないこと。	流山市には、緑の豊かな公園がたくさんあります。流山市がホットスポットと呼ばれて以来、市は公園の表土を除き、木々の枝をはらい、草花を刈り取り、袋に入れて、市有地に保管しています。その近辺の人々は、当然ながら、不快感を示しています。市内には、そのような廃棄物を保管するような空地はほとんどありません。それなのに、国はこの状態をどのように収束するかをほとんど示していません。 福島の原発の後始末についても、実現可能な案を、国は、示していないと思います。メルトダウンした、核物質を取り出した経験を持つ国は無いのだそうですね。ロシアのように広い国ならば、長期間、周辺を立ち入り禁止にすることもできますが、日本のように狭い国土では、それは多大な損失を与えます。 自然エネルギーだけでは、経済が成り立たないと言いますが、政治家は国民のほうを向いて言っていません。日本は人口も減少期に入っています。もっと国民一人一人の幸福を、追求してください。電気を使い放題しなくても、給料を何千万円も取らなくても、まじめに仕事をすれば、衣食住が得られるようにしてください。質素でも、ストレスのない生活のほうがいいと思います。
31082	個人	自営業	40代	法人等	原発　縮小から撤退へ　希望	経済効果やその他の理由はあるのでしょうが、 人道的に考えて　なぜ国土や人身を奪う原発 を維持しようとするのか、その明確な目的を 教えてほしいです。 　また、その目的が何かは今の自分には解り かねますが、その目的のために再び庶民を 恐怖にかりたてる場合、その保障について、 明確な取り決めはありますか？ ただ保障されても、人の恐怖心や命、死んだ 土地は戻ってきませんよね。 　何かが潤うために、大きな犠牲を払わされる ことへの責任を考えてほしい。
31083	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを支持します。原発事故の甚大な被害を国は補償する事が出来ませんので原発を持つ選択肢はあり得ません。	ゼロシナリオを支持します。原発事故の甚大な被害を国は補償する事が出来ませんので原発を持つ選択肢はあり得ません。また、電力会社、経産省を始めとする原発の運営を行う議団体が身勝手に振る舞う事によるリスクも大きいものです。事故の反省も無いまま準備出来る備えも行わぬ状態で原発を再稼働させた事がそのリスクの大きさを表しています。また、あらゆる安全施策を講じたとしてもそれを運営する側のモラルが低ければ意味がありません。 再生可能エネルギーの導入による技術の活性化と雇用の創出を戦略的に考えるべきです。
31084	個人	パート・アルバイト	50代	女性	(1)ゼロシナリオを選択 　ゼロ以外はありえません。	1、地震国に原発なんて考えられません。 2、使用済み核燃料はこれ以上絶対に増やすべきではない。 3、原発はウラン採掘から原発の点検や廃炉に至るまで必ず被曝が 　ともないます。 4、いったん事故が起きれば経済も大打撃を受けるのは容易に想 　像できるのではないでしょうか。 5、あと一か所でも原発事故がおきれば日本は破滅します。日本を 　守ってください。
31085	個人	会社員・公務員	40代	男性	日本にとって原発は減少させていくのではなくて、むしろ増加させるべきである	日本にとって電力確保の観点を考えたときに、原子力発電は非常に重要であり、減少させるのではなくむしろ増加させるべきである。２０１１年３月１１日に起きた東日本大震災では、私も被災地であるここ、ひたちなか市にいて電力のありがたみを実感した一人である。またその同じ年の夏の輪番制でも電力の必要性を感じた。電力を自然エネルギーでまかなおうとする動きがあるが、不安定な電力供給のためにエ場の生産を制限したり、突然の停電になったのでは今後の日本の発展は望めない。また化石燃料による火力発電でまかなうにはコストが高すぎて、家計は現在の2倍近くの電力料金を支払わなければならず、また製造した商品は価格高騰のための国際競争力の低下を招くため、日本の国力は衰退する一方である。 そこにきて原子力発電は、低コストで安定した電力供給を維持できる。東日本大震災では、原子力発電のトラブルではなく、原子炉を冷却するためのタービンの故障により事故が起きた。タービンの設置場所を安全な位置に配置していれば事故は起きなかったはずである。そもそもマグニチュード9の地震が起きたにもかかわらず、その地震により直接的に壊れた原発はない。その安全性の高さに諸外国は気づき、中国は500もの原発建設を表明しており、またあの地震のあと、日本の技術力の高さにより、日本の原子力発電技術を導入する動きが高まっている。にもかかわらず日本はそのことを知らされず反対運動をし続けているのはおかしい、もっと冷静に事実を受け入れるべきである。 電力不足や電力料金高騰により使用を控えたために熱中症で毎日何十、何百の人が病院に搬送され死者が出ているにもかかわらず、そのことは気にもとめず、電力を安定的に作れて熱中症患者を減らすことができる原発に反対しているのは同じ国民の判断とは思えない。このような判断をしているのは、報道により捻じ曲げられて伝えられているか、意図的に原発反対の報道を流し続けているとしか考えられない。 アメリカなどは消費電力の2倍近くの発電能力を維持している。これが一流国の証明である。日本も原発を反対するのではなく、日本の原発技術の高さをの世界にアピールするとともに、消費量ぎりぎりの発電量ではなく安定した電力供給をして、企業が安心して国内に工場を維持しようとする一流国を目指してほしい。 そのために私は原発を推進したいと思う。
31086	個人	自営業	40代	女性	原発ゼロシナリオを選びます。	福島での事故を経た日本は、原子力発電から可及的速やかに撤退すべきです。 シナリオが2030年時点になっていますが、私は2030年を待たず全原発を速やかに廃炉にすべきと考えます。 意見は以下です。 1.大震災以来、日本は地震の活動期に入り、全国どこの原発も安全とは言えません。もっぱら津波への備えを指標にしているようですが、専門家は直下型地震で配管が破断すれば打つ手はないと言っています。大飯原発は再稼働してしまいましたが、今からでも止めるべきです。若狭湾で事故が起きて、西日本まで汚染されたら、もう日本は終わりです。今すぐ全原発を止めてください。 2.この事故を通じ、原子力行政のすべてにおいて、国民の信頼は完全に裏切られました。今なお誰一人責任を取らないまま、同じ人たちが審査し決定する「再稼働」など、我々の目には茶番にすぎません。規制庁も不要です。廃炉委員会にしてください。 3・この期に及んで、経済的理由で原発推進・維持する人たちは、被曝労働をどう考えているのでしょう。事故が無くても、働く人を犠牲にするようなエネルギーは倫理的に許されません。原子力なしで立ち行くような社会の在り方を、全力で志向すべきです。

31087	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発の早期稼働で安定な電力供給を	電力供給が心配な中での産業の発展は望めません 中東の政治の不安定さ、中国の軍拡によるタンカー航路の 危険性の増大など石油に依存するのは非常に危険です。 原発が危険というのであれば最新の装置を入れていくことで リスクを下げることを考えればいいと思います いずれは天然資源との併用も必要なので10年20年という スパンでの計画をたててシフトすればいいのです 現時点では原発は必須なエネルギー源です。 このままでは国が衰退します ポピュリズムに迎合せず、必要なものは必要と進める べきです。
31088	個人	自営業	50代	女性	原発0を求めます。	私は農業を営んでおります。 今回の原発事故で多くの方が、食の安全に益々の恐怖、危機感を抱いたことと思います。 立場的に農業関係の意見をさせていただきますが、汚染された土から、生産はされてはいけないと思っております。 人の命を崩壊させてしまうこの原発は作ってはいけない稼働停止にするべきです。 しかもこの国は地震国、優秀な先生方が、長年も研究されているはずなのに、その危険地帯に現在の原発が設置。 全てにおいて、お金優先の仕組みでしかない。 この事故がこれからの日本を変えていく、大きな機会です。 人は死ぬまで食します。安心して食べれますか？何かが起こっては手遅れです。日本を廃棄物国にしないためにも、反対します。 悲しいかなこの国が、一部の利権者のものになっているのはわかっています。 私は日本という誇らしい国を次の世代に残したいのです。
31089	個人	会社員・公務員	50代	男性	「福島」を経験した我々日本人にとっては、原発依存度0%以外のシナリオはあり得ません。ただし、「2030年度時点での0%」は、即刻全ての原発を廃止し、その結果当然達成されているものでなければなりません。	地球の歴史の中で、東日本大震災クラス、あるいはそれをはるかに上回る規模の地震は数限りなく繰り返されてきました。現在の日本列島自体が、繰り返された地殻変動により形成されたことが紛れもない事実であることからもそれは明らかです。人類のコントロールできない大地震（およびそれに伴う津波）、活断層のずれによる地形の変形、火山の噴火等はこれまでも、そしてこれからも繰り返されてゆくのが地球の歴史そのものです。我々の住む日本列島は、地球上でも特にこのような「地球の活動」が活発な地域であることも周知の事実です。 今回の東京電力福島第一原子力発電所の壊滅的な事故はたった一度の地震（とそれに伴う津波）を直接・間接の原因として引き起こされましたが、その被害はまさに甚大です。広大な土地が失われ、土地から引き離された多くの福島県民はふるさとを失い、多くの国民がもはや震災前の生活には戻れなくなりました。大規模な原子力発電所の事故が再び繰り返されたら、日本が壊滅的状況に陥り崩壊に至るというのは、きわめて現実的なシナリオと言わなければなりません。そして、そのような壊滅的事故を引き起こしうる主要な要因の一つである大規模な「地球の変動」が、いつどこで起きるのかを予測することも、それを防ぐことも私たちにはできません。このような危険性を持ち、いざという時に人間の力ではコントロールできないことが今回の事故で明らかとなった原子力発電所（あるいは核関連技術）が、もはや人間、特に災害多発地帯である日本列島に住む私たち日本人が持つことを許されないものであることは論を俟ちません。 さらに、既に私たちは大量の使用済み燃料をはじめとする放射性廃棄物を抱え込んでしまっています。国は高レベル放射性廃棄物の地層処分の方針を決定していますが、その受入先は全く決まらず、日本学術会議からはこの方針の見直しが提起されています。現状の解決すらままならない状況の中で、原子力発電所の運転によりこれ以上の放射性廃棄物をため込むのは未来の世代に対する犯罪であり、決して許されることではありません。実現の可能性が全くない核燃料サイクルに向けた使用済み燃料の再処理により、使うあてのないプルトニウムをため込むことなど、論外の暴挙です。 これらの点以外にも、差別を前提とした被ばく労働なしに原子力発電所は存在し得ないこと、原子力発電所の運転により産み出されるプルトニウムが核兵器の開発と不可分の関係をもつものであることなど原子力発電所の問題点は枚挙に暇ありませんが、上述した二つの理由だけでも、全ての原子力発電所は即刻廃止し、直ちに廃炉作業を始めるべきであるとする理由としては十分です。 日本はこれまで、電力を含むエネルギーは無尽蔵に供給されるものだということを前提とした社会を構築し、その中で、54基という多数の原発を持つに至ってしまいました。しかし、破滅と隣り合わせの原子力発電所に依存した社会は決して持続可能なものではありません。「福島」を経験した我々日本人は、直ちに「原発依存度0%」の社会を実現し、そこを原点として持続可能な未来を築き始めるべきと考えます。われわれ日本人の未来の世代が幸福な生活を送り続けるためには、それ以外の選択肢はあり得ません。
31090	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発0パーセントを求めます	原発に変わる環境に優しいエネルギーの開発計画を早急に立てて下さい。地震が多い日本で原発を稼働することは国民の生活を脅かします。核のゴミ処理もできない状況で稼働することが間違っています。ヨーロッパの国々のように勇気ある決断を求めます
31091	個人	無職	60代	男性	2030年までのできるだけ早い時期に原発をゼロにする。当面は天然ガスを燃料とする火力発電と水力発電で電気を供給し、同時に、再生可能エネルギーの拡大をはかる。	事故が起きたら制御不可能となる原発はすぐにでも廃止したい。又、原発からでた放射能を含んだ廃棄物の処理ができないのに原発を動かすのは日本を滅ぼすもとです。 原発より安全なLNG燃料を使用できる火力発電が可能なのに原発に拘る政策が理解できない。現在LNG燃料のほうがコストが高いといっているが、長い目で見れば原発を存続すればするほどコストが高くなる。こんなことをしていれば本当に日本が滅んでしまいます。
31092	個人	会社員・公務員	40代	女性	(1)ゼロシナリオ 原発即時停止を指示します?	今まで無関心で、何も考えず、ただ、電気を使ってきた自分がいるのは確かです。でも、今回福島の事故があり、改めて原発というものがどういうものか、考える機会になりました。 そして、みんなが原発は、このまま動かし続ければ大変なことになってしまうというのも、気付いたはず。当たり前にある空気が、水がなくなってしまうのです・・・どんなことにも、100パーセントはありません。事故が99パーセント起こらなかったとしても、残りの1パーセントで起こるかもしれない。もし、また、福島のようなことが起こったら、日本はどうなってしまうのでしょうか。事故が起こらなかったとしても、稼働することによって増え続ける処理方法が見つかっていない放射性廃棄物は、どうするつもりなのでしょうか。 考えれば考えるほど、止める以外の方法は、選択肢にないと思います。 なのになぜ、一度すべてがとまったのに、再稼働してしまったのか・・ 原発即時停止を強く指示します。
31093	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力は電力電源として必要なものであり、火力・自然エネルギー（水力、太陽光、風力）とベストミックスの形で活用し、これまで同様以上に用いていく必要がある。原子力発電は継続して用いるべきである。	現在の日本の経済状況を考えると原子力を動かさない事により電気料金が値上がりするが、回りまわってその影響は私たちの生活に大きな影響を及ぼし、計り知れない。一時期の感情論で原発反対論を論じることは、将来の日本のためにならないと考える。きれいごとだけで世の中は回っていない。たとえば交通事故で毎年5千人近くの人が亡くなっているが、車を廃止する論議にはならない。（人命は何より尊いと言いながら・・・）これは、車社会から利益を得ていると誰もが思っており、車社会が無くなることで計り知れない影響が自分自身にすぐさま降りかかってくることを知っているからであり、それを論じない。 また、3．11の原発事故で地球温暖化論議も影をひそめた。マスコミや政府もあれだけ熱心に論議していたはずなのに。 一時期の感情論に流されず、冷静に、資源の乏しい日本では、原子力発電を安定したエネルギー源として上手に活用すべきである。
31094	個人	自営業	50代	女性	ゼロシナリオを支持します。 大飯原発を止め,現在稼動していない原発の再稼動もしないように求めます。再生可能エネルギーへの転換を求めます。放射能の心配ない未来を子ども達に残す事は私達大人の義務です。	福島第一原発事故はまだ終結していません。放射能はまだ出続けています。原因も解明されていません。福島の人達は故郷を失ってしまいました。このような状況で原発の再稼動は認められません。 先日野田総理は原発がゼロになった場合の影響を精査するよう指示したと報道されていましたが,逆の場合：原発が再稼動された場合の影響の事は精査しないのでしょうか？地震大国である日本での原発は安全なのでしょうか？核のごみを100万年も管理しなくはいけない事。その方法も確立していない事。事故がなくても放射能を出し続けていること。よく精査していただきたいです。 再生可能エネルギーにすると電気代が高くなると言われていますが,政府がエネルギーシフトを再生エネルギーに転換し原発でなく再生可能エネルギーに補助金を出す事になれば変わるのではないでしょうか？第一,核のごみにかかる費用・事故が起こった場合の費用は現在の電気代には加算されていません。納得できません。
31095	個人	家事専業	40代	女性	「原発ゼロシナリオ」を選びます	「原発ゼロシナリオ」を選びます。 地震大国のこの狭い日本で、どうして原発が稼動できるのでしょうか？ 未だに、福島からは放射能が放出され、全く安心な生活を送れません。 子供たちを！国民を！国は守ってくださるのではないのですか？ 安全が第一です。原発エネルギーの代替は日本の技術があれば、必ず見つけられるはず。 どうか、どうか、勇気ある決断をお願いします。
31096	個人	パート・アルバイト	40代	女性	2030年には、日本の原発稼働は絶対に「0パーセント」にして欲しいです。 2030年にゼロ%は最低限の目標だと思います。 それよりも早い時期でのゼロ%を希望します。	福島第一原発の事故の後始末は今後どうなるのか。1～4号機の中の詳しい状況すらまだわからないとか、注水し続けているのに格納容器には水が少しだけしか残っていないとか、膨大な汚染水が流れ出ているのではないかとか、不安なことばかりです。 除染したって、膨大なその汚染土や汚泥はどこでどうやって処理するのか、誰にもまだ決められないのでしょう。 事故がなくても、高濃度の放射性廃棄物の最終処分の方法も決められないままの状態で何十年も原発を稼働させて来ました。私もその電気を使って生きてきましたが、これ以上原発を続けるのはもう無理でしょう。 原発は事故無く稼働させても、所詮40年くらいで廃炉にしなくてはいけないのだから、電気を原発に頼るためには、次々と新しい原発を建てないといけないのでしょう。安全に廃炉にしてその膨大な放射性廃棄物を10万年もかけて処理しなくてはいけないものを、まだまだ今後も作り続けるなんて無謀すぎます。 これからは、どう考えても長くて苦しい原発からの撤退戦が必要です。 原発を再稼働させれば、放射性廃棄物が更に増えて、撤退戦はもっと苦しくなるばかりです。 また日本の経済のためにも原発は無しにすべきと思います。 日本の過疎地の海辺に、40年後には廃炉にしなくてはならないのに最終処分の方法も決まっていない巨大な原発を次々作り続けるなんて、経済的にもおかしいです。それに、再び日本のどこかでまた原発が爆発したら、今度こそ日本は終わってしまうでしょう。原発の再稼働はもう、今あきらめるべきです。
31097	個人	無職	60代	男性	1．早期に原発を廃棄すべきで。2．原発は温暖化防止に寄与すると言う電力会社等は，その他の発電プラントと比較して数値で示すべき。3．自然エネルギー開発に原発開発に掛かった費用と同等の費用を掛けるべき。	1．原発使用済み核燃料の処理技術が確立して居ない。地中に埋めても放射能がなくなるまでに30万年必要とする。また，廃炉技術も未経験の分野であり，そのような原発プラントが，将来とも安全だといえるのでしょうか?再処理技術が確立しないまま，原発を使い続けた場合，核廃棄物をどうするのかを含め，政府，原発を推進する経済界，学者，官僚は国民へ将来計画を示す責任があります。それが示されず国民が納得できない現状では，早期に原発を廃棄すべきである。 2．原発の冷却には，発電量の倍の熱量を冷却する必要があります。この熱量が海に放出されています。火力はほぼ同等かそれ以下の冷却が必要です。火力の場合，冷却水を温水や温度差発電に再利用できます。原発を1器増やしたら具体的にどの程度温暖化防止に寄与するのか明らかになっているのでしょうか?原発を増やし続けてきた時代は，温暖化に歯止めは掛かってきたのでしょうか? 3．自然エネルギー開発に原発開発同等の費用を掛ければ，格段に割合が伸びるでしょう。特にバイオエネルギー開発は重要と考えます。バイオエネルギーに適した植物の開発，バイオ発電プラントの開発を推進すべきです。休耕地の利用，農業活性化，過疎地問題，雇用促進にも寄与できます。温暖化防止対策としても，海外に依存しないエネルギー確保としても，強力にバイオエネルギー開発に取り組むべきです。
31098	個人	無職	70代	女性	原発は1日も早く全廃すべき。	原子力は人間が制御できるエネルギーではない。 核燃料の最終処分の見込みもないまま原発を増やしてきたきたこと自体が，そもそも論理的な矛盾であった。このことはさておいても,原発の危険は福島を経験してはっきりわかったことではないか。原発によるエネルギーが一番経済的だとする説の根拠は完全にくずれた。原発によるエネルギーがどれだけ高くついたかは,国債の発行高や消費税の増税をみても明らかだ。いつ地震や津波に見舞われるかわからない日本で今もう一つ原発が壊れたら,日本は立ち直れない。 自然エネルギーの利用がいま一つ振るわないのは，これまでの原発一辺倒の政策によるところが大きい。自然エネルギーの研究もアイディアも奨励されてこなかった。1日も早く方針を転換して，原発以外のエネルギー開発に力をそそがねばならない。
31099	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年時点の原発依存度は0%とすべきと考えます。	″エネルギーと環境のみらい″に記述されている″原発依存度0%″についての内容に、特段付け加える定量的・定性的理由や考え方はございません。 ″0%″以外の説明については、肝心の『なぜ原発が○%必要なのか』という定量的な根拠が一切ないように見受けられるため、全く賛同できません。 ただ、いずれの見解にも 「現在の経済水準・国力・生活水準を下げてはならない」 という考え方が伏流しているように見受けられます。 確かに、原発依存度0%の場合にしても、次世代クリーンエネルギーへのシフトを本格的に推進すれば、新しい産業分野に対する雇用を含め経済の活性化が図れると思いますが、超高齢化がとてつもないスピードで進んでいる日本において経済活動を担う中心的な世代のボリュームが減少することは中期的には避けがたいことであり、その中で右肩上がりの経済や生活レベルを維持することを望むことにそもそも無理があると思います。 (高齢化社会の回避については別の議論が必要だと思います) そういった即物的な充足が幸せに必ずしも直結するものではない、という啓蒙も含めて、万が一原発事故が起きた際の経済や生活などあらゆる側面のリスクに対して経済・生活レベルの下がり幅がはるかに小さい、ということをわかりやすくアナウンスできれば、『つつましい生活の中に″足るを知る″ことで、むしろ今よりもはるかに高い充足感を得られる』ことに国民の意識をブレイクスルーさせ、ひいては原発依存度0%における生活水準が仮に下がったとしても、それを納得させることができるのではないでしょうか。
31100	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオを支持（期限も大幅前倒し要）。東電は解体しリストラ。東電OBの年金も削減。発送電分離等のシステム改革を。自然エネ導入を増やせ。	放射性廃棄物サイクル事業は一向に実用化しません。永久保管せねばならないことを知っていて先送りしてきているだけでしょう。永久保管の場合でも安全性、受け入れ先について目処はたたないでしょう。せめてこれ以上の廃棄物増加は避けなければなりません。核エネルギー発電は早急に廃止し、代替エネの為の大規模な投資が必要であると考えます。 また逸れますが、身内に甘い判断を続けてきた原子力関係者、事故の直接の責任事業者である東電への処分が何も無く不満です。せめて今後のエネルギー検討のメンバーから従来の原子力関係者を排除して欲しいと思います。
31101	個人	家事専業	30代	女性	脱原発(ゼロシナリオ)を支持します。	福島原発の事故は今もなお収束していないし、誰も責任をとっていない。 原発が安全ではない事は証明されました。 そんな中で電気が足りなくなるといって再稼働。 もし、本当に電気が足りないとしても原発を動かして電気を作るという選択肢があること自体おかしいと思います。 事故から1年以上も経っているのに何も策を講じていないこと自体おかしいです。 今すぐに原発を止めて廃炉にしてください。 命を脅かす原発は必要ありません。
31102	個人	自営業	30代	女性	原発ゼロシナリオを強く支持します。	きちんと廃棄できる目途も立っていない、核のゴミを出す原発は、今すぐ全基の廃炉に向けて計画を始めるべきです。 ひとたび原発事故が起こったら、後の世代のDNAを壊し続けて、多くの人、特に子供たちの心身に甚大な悪影響を及ぼし続けます。 事故が起きない保証はどこにもなく、今回の福島第一発電所の事故がまさにそれを証明しています。真剣に原発ゼロシナリオを検討してください。
31103	個人	会社員・公務員	50代	男性	20～25%のシナリオを要望する。理由は、いずれもエネルギー使用量の大きな素材産業には極めて厳しい選択肢であり、中でも他のシナリオは、コスト、供給安定及び地球温暖化対策の面で不安が大きいためである。	産業界の競争力を考える時、原料から最終消費財に至るサプライチェーンで考える必要がある。政策的にも最終消費財のみに着目せず、素材産業や、高度な技術力を有する中小企業を含めたサプライチェーンとしての産業の競争力に焦点をあて、事業環境を整えていかないと国内産業の空洞化の流れに拍車がかかり、雇用の喪失、日本経済の衰退は避けられないと思う。 最終製品メーカーに対して素材を供給する素材産業は、その裾野の広さ、層の厚さ、新規素材の開発力、製造技術等を背景に依然高い世界シェアを維持できる潜在能力を有している。 日本の産業の活力を維持し、発展させていくためには、このような強みを活かし、更に強化していく取組が必要である。そのためには企業のみならず、国の政策としても「ものづくり」の重要性を認識し、原料・エネルギーから最終消費財までのサプライチェーンとしてのグローバル競争力の強化を目指した成長戦略が望まれる。 今回のエネルギー・環境の選択肢は、まさに戦略の核となるものであり、日本の「ものづくり」を維持・発展させるものでなければならない。 再生可能エネルギーを拡大することは我が国のエネルギーセキュリティ上、並びに関連産業の育成のためにも必要であることは理解できる。一方、将来技術革新及び量産効果等で再生可能エネルギーのコストは低減していくものと予想されるが、さりとて系統対策を含めバックアップのコスト負担は大きく、特に中小企業にとってその負担は死活問題となりかねない。日本経済を支える中小企業が衰退しないようにバランスの取れた政策を要望する。 また、自然エネルギーの増加を進めることへの課題も整理されていないと思える。自然エネルギーへの移行期間では、化石燃料による火力発電の比率を上げるとあるが、地球温暖化対策は、発電以外の分野にCO2排出削減の義務を割り振ることを考えているのか? 一時的にもCO2排出が増えるような施策をとるのであれば、これまでの世界に向けての地球温暖化対策の発信を取り下げる発表を行うべきである。 原子力産業の人材確保の視点から、原子力産業は裾野が広い産業分野で、その技術は建設、運転のみならず廃炉、廃棄物の処理に至るまで広範かつ高度なものが要求される。0%、15%のシナリオでは、原子力産業へ進もうと考える人材の確保に重大な支障が出ると考える。停止した原子力発電所の管理、防災対策は誰が、責任を持って行うのか、そもそも原子力発電所は、停止していれば専門的な人材無しに安全に管理できるのかほとんど触れられていない。原子力発電をより安全なものとする方向に力を注ぐことが、重要と考える。

31104	個人	会社員・公務員	50代	男性	リスクをはらんだままの原発は廃炉にし、 不要不急の電力消費を抑え、化石燃料中心の電力に依存。 従来原発に振り向けていた予算を省エネ、自然エネルギー開発に振り向け、 近未来の電力源として期待。	そもそもパーセンテージを選択肢にすることに無理があると思います。 原発はメリットもあると思いますが、 以下のデメリットを克服する方策が確立しない限りは 原発を再稼働することはありえないと考えます。 デメリットを克服する方策とは、ざっくりいえば (1)想定外の地震津波台風等の自然災害があっても、福島のような放射能漏れを起こさない体制であること (2)放射性廃棄物の処理方法が確立すること の2つです。 (1)について補足しますと、火力発電で火事が起こっても被害は限定的です。 原発はそうはいきません。広島長崎福島の再現は絶対に認められません。その安全対策が確立されているのか? 地震大国、台風大国日本では、欧米以上の安全基準が必要だと思います。 (2)については、未来へのツケです。 数千年数万年単位でないと処理できないような荷物を未来に追わせるのは無責任です。 時間が解決する、という問題ではない。 処理できる場所がなければ、これ以上廃棄物を増やすことは認められない。 単純な理屈です。 停止しているだけでは(1)のリスクは減らないと聞きます。 (2)のめどがたたないのであれば、再稼働はあり得ず、廃炉をめざすべきではないでしょうか。 原発を止め、自然エネルギーによる電力が現状ではさほど望めない中、 化石エネルギーに電力を依存することになります。 その結果原発稼働時よりはより電力生産量が不足することになります。 電力不足によるブラックアウトはありえませんが、 7，8割までは消費電力を抑える方法はいくらでもあります。 テレビを消す、エスカレーターを止める、相変わらず効きすぎの電車のエアコン温度を上げるなど、 不要不急の電力はそこらじゅうにあります。 逆に言うと、不要不急の電力を使いながら一部地域のブラックアウト=計画停電はもってのほかです。 昨年3月の東電のあの施策、あれを平気で実施するという事実だけでも東電は公益企業の資格はなく、 破たんさせるべきだったと思います。
31105	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオ	大飯原発は再稼動してしまいましたが、福島第一原発の事故も収束していない、使用済み核燃料の処分方法も確立されていない状況での再稼動はありえません。即刻、大飯原発の停止、原発ゼロに向けたシナリオ作りをお願いします。現在進行形で核のゴミは増え続けています。再処理技術も実用化の目処は立つ気配すらありません。 我が家には二人の子供がいますが、子供達の世代にこれ以上負の遺産を残さないで下さい。 福島第一原発の事故で私を含め多くの国民は原発の怖さを知ってしまいました。世論も脱原発に向かっています。今が世界の原発に依存する国に先駆け、脱原発社会のモデルケースを作るチャンスだと思います。発展途上の国々にも原発ではなく、安全なエネルギーを輸出して下さい。心よりお願い申し上げます。
31106	個人	無職	80代以上	男性	菅　直人を捕まえてください。 パンダはチベットが生息地です。	国家反逆罪？
31107	個人	会社員・公務員	40代	男性	20－25シナリオに賛同。早期に原発が再稼動することを望みます。電気料金が上がるのは困ります。	20－25シナリオに賛同。 電気料金のコストは、全国民の生活、全企業の経済活動に直結するものである。 巨大地震で原発が事故になるリスク(確率)と日本の経済活動の低下や温暖化の進行のリスク(確率)を比較すれば、明らかに後者のリスクが高い。 早期に原発が再稼動することを望みます。電気料金が上がるのは困ります。
31108	個人	パート・アルバイト	20代	女性	脱原発について。	私は日本にも3原発は必要ないと考えます。 電力会社が赤字になるから、経済縮小、代替エネルギーのコスト、 そんな事の前に人命は大切ではないのでしょうか？ 福島の事故がおきていまだに16万人もの人が避難しているにも関わらず、再稼働なんてもってのほかです。 今後原発0%で日本は進めていくべきだと思います。
31109	個人	会社員・公務員	40代	男性	脱原発（ゼロシナリオ）を指示します。	史上最悪の原子力災害となった福島第一原子力発電所事故の、根本的な事故原因の解明及び放射性物質の封じ込めも出来ていない現状の中で、再び原子力発電を行おうとしている政府の方針には、一般市民のみならず世界中から非難の声が上がっています。 この事故で地球全体に放出され続ける死の灰は、私たちが想像も出来ないほど遠い未来までも汚染し続け、後の世代の生命に多大な影響を与えることになるでしょう。 私たちは自分達の力で制御できない技術に、これ以上頼るべきではありません。今こそ人類の叡智を結集し、最悪の原子力事故を収束させ、すべての原子力産業から撤退し、新たな自然エネルギーへの転換を図るべきです。
31110	個人	自営業	40代	男性	「2030年に」ではなく、即刻原発0 原子力は欺瞞の上に立脚 国民の創造価値は欺瞞によって破壊され、国家衰退 原子力は被爆なしに運営不能。五官感知されぬ為、責任負うべき当事者が責任回避、事実隠蔽	トラブルが起こったときに、事実・データをありのままに国民にさらけ出し、語れない様なエネルギーシステム。そのようなエネルギーシステムを国民は必要としていません。 原子力エネルギーシステムは、運用すればかならず作業員が被曝します。これは不可避です。 さらに、この原子力エネルギーシステムの恐ろしいところは、放射線が人間の五官で感知されないことをいいことに、責任を負うべき当事者が責任を回避すべく作業員の被曝の事実・データを隠蔽し改ざんすることが可能であるという点にあります。 シビアアクシデントの際は、作業員のみならず、国民の被曝の事実・データも隠蔽し改ざんされる可能性があります。 放射線は人間の五官で感知できない。これが放射線の他の有害物質と比べての特異性です。 だからこそ、取扱いを管理するものは、被曝データの改ざんに対しては他の有害物質に比して桁違いに厳しく目を光らせ監視すべきなのではありませんか。 原子力を扱う機関としては、「放射線に関わるデータの隠蔽・改ざん」だけはやってはならない禁忌事項です。国民の健康に関わる問題ですから。 一方、それを取り締まる監督省庁としては「放射線に関わるデータの隠蔽・改ざん」だけはゆるがせにしてはならない、それだけは譲れない一線のはずです。もし違反者を摘発できないのであれば、監督省庁の存在価値はゼロです。 ところが蓋を開けてみれば、実態はどうでしょうか。 事故を起こした当事者は、今まで事実・データを隠蔽し続けてきたし、監督省庁はそれを放置、黙認してきました。 責任をとるべき立場にある者が、起こった事故の事実・データを、起こった被曝の事実・データを、起こった放射能汚染の事実・データを改ざん・隠蔽してしまう。そうしなければその組織の存続を維持できないような行政機関は要りません。 そして、もとより、国民に対して、起こった事故の事実・データを、起こった被爆の事実・データを、起こった放射能汚染の事実・データを、嘘と欺瞞によって隠蔽しなくては存続を維持できないような、そのような日本国民にとって反社会的なエネルギーシステムは、要りません。 ● 日本国家の経済価値は、国民一人一人によって生み出された「価値の創造」の集積です。 そして、国民一人一人の「創造」は、国民一人一人の絶え間ない真摯な「事実に立脚した、真理の探究によって掘り起こされた智慧」の産物であります。 その「事実に立脚した真理の探究」を殺ぐ最悪の元凶が、今の日本社会に蔓延している「嘘と欺瞞」であることを知りなさい。 国民の創造意欲を殺ぐことが、どれほどの経済損失であるか。金額に換算していくらになるのか？ これは国家衰退の危機です。 さらには、この嘘と欺瞞で塗り固めた福一事故後の茶番劇を、諸外国の有識者、インテリジェンスはどうみているのか？ 低劣な嘘つき・欺瞞国家をどこの誰が信用するのか。嘘つきは相手にされません。 いったいこの失った信用を、先人の英々と築き上げてきた日本人としての誇り、古今東西で世界に賛賛された日本人の真実義、スピリットの毀損を、いったいどうやって回復するおつもりか？ もはや民族存亡の危機と言っても過言ではありますまい。 ● 国会、民間、政府の各事故調の報告書が出そろい、福一事故後の一連の隠蔽工作が明かるみになりました。 既に「嘘と欺瞞」をつき続けてきた事実がはっきりと裏付けられた訳です。 「嘘と欺瞞」にまみれて権力中枢に居た者達、「嘘と欺瞞」の情報を発信してきた者、また要職にありながら傍観するばかりで「嘘と欺瞞」の情報を正さず看過してきた者は、今回の福一の事故を境に、自らを恥じて去りなさい。 原子力規制委員会の構成員は、事実・データを国民に対して語ることができる人だけになっていただきたい。 田中俊一氏は、上記の理由から著しく不適任格です。 君子、李下に冠を正さず、瓜田に履を納れず、である。
31111	個人	会社員・公務員	40代	男性	(1)ゼロシナリオしかありえません。原発の本当の怖さを味わった日本という国が他の選択肢を選ぶことは考えられません。	3つの選択肢のなかで(1)ゼロシナリオ以外の選択はありえません。今後何十年も故郷に帰ることすらできない福島の人のことを思えば、当事者である日本という国が原発を将来ゼロにするというシナリオ以外の選択は考えられないはずです。加えて2030年までにゼロでは遅すぎます。地震や津波は待ってはくれません。もう一度福島のような事故が起これば日本という国は滅びてしまいます。即刻再稼動も中止しOにすべきです。福島原発事故は人災です。政府はその点を十分反省し、原発0への道を一刻も早く選択するべきです。原子力エネルギーはけっして人間の扱えるものではありません。これ以上悲しむ人々を増やさないでください。人の命と経済を天秤にかけるようなまねはやめてください。電力自由化や発送電分離により原子力エネルギーなしでも生活は成り立ちます。電力自由化となれば私は原発で作られた電気は買いません。原発なしでも電力がまかなえることは既に証明されているのです。利権のためだけに原発を再稼動させるなんてことはやめてください。人々を危険にさらす原発をOにするというのは人として当たり前の選択肢だと思います。
31112	個人	無職	80代以上	女性	原発ゼロは被爆国日本の絶対値です。	原爆被爆国である日本は今後事故は皆無と断言できない以上、起こりうる事故の原因となる原子力は全て排除・永久不使用とすべきだと考えます。 誰のため何のための経済発展か、次世代、子どもの未来を豊かにするためとよく、言われますが、まず大切なのは命、そして心身の健康です。 クリーンなエネルギーはもっとも危険なエネルギーになりました。 相対的な数字を選ぶ問題でなく、日本は原発ゼロ絶対値にすべきです。
31113	個人	家事専業	40代	女性	原子力依存度ゼロにむけて、邁進すべきです 気が付いたときにいつでもよりよい方向にシフトできる政治 をよろしくお願いします。	福島の事後処理でさえまだ収拾がついていないのに 再稼働の不思議、政治と企業の癒着を痛感 また原子力発電によりできるプルトニウムなどの 持っていき場所のないゴミを増やす愚鈍さを もっと公表すべきだし、原発で就労される方の 被曝の保障や　安全のために冷やし続けるエネルギーを 考えると原発電力はコストパフォーマンスべらぼうに高いと思う いえいえ、本能が拒否しています。どうか、踏みとどまって 魂を磨きましょう　明るい方へ向かいましょう
31114	個人	会社員・公務員	50代	男性	2030年における原発比率の選択意見を求めるということですが、いわゆる3つのシナリオという枠組みそのものに恣意的な方向付けがあると感じています。この件について異議を唱えたいと思います。	2030年における発電のための原発比率について、3つのシナリオを想定しての問いかけをされていますが、即時廃炉に向けての意思表示が存在しません。これはおかしいと思います。 原発即時廃炉を国家一丸となって目指すべきだと思います。それしか日本が生き残る道はありません。 福島の原発事故で改めて証明されたことは、人類には原子力を制御できない、安全確保を担保することはできない、という厳然たる現実でした。このことに対する理解を現政府は持っておられないように見えます。世界の趨勢も原発から離れようとしています。福島の事故を経て、多くの国が原発からの全面撤退を表明しています。日本で何故それがなされないのか？　原発利権にまつわるカネの論理としか思えません。 今必要なのは、一刻も早く福島の人たちを税金を使って避難していただき、当面の生活の補償を行うこと。そのために政府も東電も身を切って即刻行動しなければならないということです。未だに補償の手立てすら暗中模索の状況とは、本当に驚くべきことです。 今夏の猛暑を経てなお、日本のどこにも停電は起きていません。台風直下の地域で単発的に起きるだけです。東京で、大阪で、名古屋で、神戸で大規模停電が起きたでしょうか？　政府、東電の救援発表は全く信頼できません。今までの国が行ってきた事故対処の経緯を思い返してみて浮かぶ言葉は、「恥を知れ」という文言のみです。 今回のパブリックコメントも殆どの人が知りません。こんな大事なことを取り決め、進めようとするのに、何故もっと周知徹底されないのですか？　改めて即時廃炉を目指すという項目を加え、かつ、新聞テレビなどで徹底的に広報をかけてください。日本の安全の確保に責務を持つあなた方の義務のはずです。（広報にかかるお金もすべて我々の税金です。）
31115	個人	無職	60代	男性	電力料金の現状維持、安定供給が生活水準を維持させるうえで、不可欠。原発が減ると産業の空洞化が加速され、国民生活はじり貧必至。	電力料金の現状維持、安定供給が生活水準を維持させるうえで、不可欠。原発が減ると産業の空洞化が加速され、国民生活はじり貧必至。原子力発電を減らすことは、結局原発事故以上の社会的悪影響を及ぼし、国民生活レベル低下を招く。
31116	個人	家事専業	30代	女性	原発依存度0%	子どもに、汚染された未来を引き継ぎさせたくないです。 フクシマの教訓に学ぶべきです。 原発は、もういらない。

31117	個人	会社員・公務員	40代	男性	1、ゼロシナリオを選択する。 2、核廃棄物処理の問題がある限り、人は原子力を扱ってはならない。 3、福島第一原発の事故で、原発の危険性は確認された。 4、国は地熱発電に積極的に着手すべきである。	1、原発ゼロ%シナリオを選択する。明日にも原発をゼロにすべき。廃炉に掛かる時間を考えれば、一刻も早く止めるべきである。それにより電気料金が上がってもしかたないが、発送電の分離が先。 よく「いますぐに原発を止めたら電力不足で停電が起きて病人が死ぬ」などと脅す人がいるが、仮に数時間程度の停電が起きたとしても、そうそう人は死なない。それを言ったら落雷に伴う停電で人が死んでいることになる。本当に停電が生死に関わるような人のところは、自家発電機や蓄電池を備えている。ただちに原発を止めても問題無い。 2、核廃棄物処理の問題を解決できない以上、人類は原子力エネルギーを扱ってはならない。地中に埋めることは断じて処理したことにならない。核燃料サイクルは破綻しているうえ、これは処理したことにもならないので論外。 3、福島第一原発の事故で、原発の危険性は十分に確認された(人には取り扱えないことも証明された)。危険性の確認されたものに、安全性を確認することはできない。 　事故後、地震や津波の対策ばかり聞こえてくるが、火山弾や溶岩流への対策は？ゲンコツ大の火山弾に露出した配管や、非常用電源車両が耐えうるようには思えない。これまでに無かった自然災害は想定しない？明日起こったらまた「想定外」で済ます？　原発にじわじわと迫る溶岩流になすすべがない人間たち。鮮明にイメージできるのだが。 4、国は地熱発電に、もっと積極的に着手すべきである。景観度外視。温泉地など、どんどん買い取ればよい。温泉地域の住民は地熱発電所で雇用すればよい(ニュージーランドを手本に)。それこそ、温泉に入らなくたって人は死なないのである。 　法改正で国定公園を開発せよ。国定公園内の一部に地熱発電所を設けることは、放射能による環境汚染リスクや、これまでの国土の開発を振り返れば、まったく問題にならないレベルであると考える。見た目は別として地熱発電は環境にもやさしい。なぜ地熱発電を盛り上げようとしないのか甚だ疑問である。地熱発電への消極姿勢は異常。 　最後に、原発を推進する人々は福島第一原発事故の時、放射性物質が降り注ぐあの日の恐怖を忘れてしまっているのではないだろうか？　国の中枢、保安員、東京電力すべてがヒステリー状態に陥ってしまうほどのあの恐怖を。 　電気の豊富なくらしと引き換えに、国土の放射能汚染のリスクを負うなんて、わたしには悪魔との取引としか思えない。 以上
31118	個人	その他	40代	女性	原発ゼロシナリオを望みます	未来の世代に負担になる、使用済み核燃料をこれ以上増やすべきではない。 福島の事故について政府や東京電力からの発表にあまりにも嘘が多く、原子力についてこれ以上全く信用できない。 日本は活断層が多く、原子力発電は危険すぎる。 電力会社に、まじめに安全対策をやろうという態度が見られない。 ふだんから食品中の放射能が心配。これ以上汚染の種を増やすべきではない。 原子力発電所は、事故時でなくても被曝がつきもの。そのような場所での労働は非人道的。
31119	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発依存率2030年にではなく即時0。 地震国日本では重大事故の可能性が非常に大。また今後事故は絶無と仮定したとしても無害化まで10万年を要する放射性廃棄物を増やし続けるシステムは今すぐやめるべき。	地震国である日本では全国どこでも、明日にでも福島のような重大事故が起こりえる。原発は稼働中はもちろん停止中であっても事故の際の危険性に変わりがないのは福島で見たとおりだ。さらに、仮に今後事故が起こる確率が絶無である、としても、無害になるまで10万年という途方もない期間を要する放射性廃棄物を増やし続けるシステムは、どのような理由をもってしても容認できない。コスト面から原発を擁護する意見もあるが、膨大な補助金や事故時の補償も加えれば決して安いとは言えない。原発は即時停止、廃炉とし、再生可能エネルギーへシフトするべきだ。国全体で方向を定めれば、技術やコストの問題は解決できるはずだ。電力会社は料金値上げを脅しの材料に使う。電力会社の利益を守るための不合理な値上げは受け入れがたいが、正しいエネルギー政策のための負担増であるなら、よほど法外なものでない限り受け入れる用意はある。起こってしまったことは戻らない。事故を教訓として未来へ進む日本の姿を世界に示してほしい。
31120	個人	自営業	60代	男性	原発はただちに全部廃止してください。 火力発電も段階的に減らしてください。	原発は廃止しても発電手段は他に多くあります。 原発はテロ攻撃や、巨大地震に対して極めて脆弱であり、危険であります。 放射線廃棄物の問題を取っても、将来性はありません。 原発の稼動は、核兵器体制の維持と密接な関係があります。プルトニウムの抽出法との関係からそれは明らかです。核兵器の維持は人類の滅亡につながります。 よって、反対します。 火力発電も環境を汚染しますので、段階的に減らしていくべきです。 それに代わる無公害の発電方法を大幅に採用すべきです。 有望なものとしては、各種フリーエネルギー装置があります。 日本人が最近開発したものとしては、井出治氏の 超効率インバーターがあります。これを大量生産すれば問題は解決します。雇用の創出にもつながります。 ブラウンガスも有望なエネルギー源です。 原料は水ですから、入手が容易です。無公害です。 ソーラーパネルも大幅な性能アップが見込まれます。
31121	個人	会社員・公務員	30代	女性	2030年の原発依存度0%「ゼロシナリオ」に賛成	世界中で唯一原子爆弾の恐怖を知っている日本で、核の平和利用といえど、 いまだに使用済み核燃料を埋め立てることでしか処理できないのに、 原子力に頼ること自体おかしな話です。 東北の震災で、福島があれだけの被害を受けたのにもかかわらず、 大飯原発を稼働させる政府の方針には納得いきません。 結局、国民の声は繁栄されない国なのだとがっかりすることが多いです。 そして、子どもたちに説明のできないことばかりです。 費用がかかっても、日本の技術を総結集して、原発に頼らない電力供給が行われるようにするべきです。 2030年を待たずとも、原発依存0%を早期実現してほしいと思います。
31122	個人	会社員・公務員	40代	男性	私たちの命と環境を守るシナリオは「ゼロシナリオ」	日頃は私たちのエネルギー・環境問題に関してお取組いただき、ありがとうございます。 さて、国民の声を反映しての英断か、国民の声を無視しての愚断か、大飯原発が再稼動されましたが、今回の東日本大震災での多くの方々の命と引き換えに、私たちは何を学び、何を将来につなげていけばよいのでしょうか。 幼き頃から慣れ親しんだ光景、仲間とともに遊んだ場所、子どもと手をつないで帰った帰り道・・・。そんなお金に換えがたい故郷や思い出が、今回の震災により、原発により、一瞬にして奪われた方々がいるということを、忘れてはならないと思います。 日本のことを考えるのであれば、未来を担う子供たちが安心して生きることのできる社会の形成が責務であると考えています。 一瞬にして全てを奪う原発は、本当に必要なのでしょうか。日本の未来にどうしても必用なものなのでしょうか。一時の利害や一部の利益によって国策が振り回されているような気がしてなりません。 国策は一時や一部のものではありません。 真に日本の将来を、子どもたちの未来を考えるのであれば、原発「ゼロシナリオ」を進めることが英断ではないでしょうか。
31123	個人	会社員・公務員	60代	男性	「原発ゼロシナリオ」を選びます。	福島の原因究明が一向に進まず収束ができていない現状と更には、原発廃棄物の処理方法が見つからない中、再稼働なんてもってのほかです。 福島の廃炉をどの様に行うのか、英知を結集する必要があります。 「原発ゼロシナリオ」を早急に決め、再生可能エネルギーの開発に金の使い道を変更してください。
31124	個人	その他	30代	女性	原発0%	原発0%を希望する理由は、本当の「安全」とは何かを突き詰めたとき、原発はエネルギー政策とはいえ、あまりに危険を含んでいるからです。福島の事故を見ても、安全神話はもろくも崩れ落ちました。目に見えない放射線の恐怖。福島の人たちの受けた被害は、決して地域の問題ではなく、日本国、否、世界の問題です。今、ここで原発を廃炉にしていく動きを日本がきちんとリードしていかないと、世界からもブーイングでしょう。原発問題は、「核」の問題です。電力は足りている事は、すでに昨年の夏を超えた時点で実証されました。電力問題ではないことも、国民も気付いてきているのです。また、雇用問題にも置き換えてしまうと、本質の「核」の危険性というものを、また他の題材にすり替わってしまう。原発を廃炉にしていくのにも、雇用が長年発生するはずです。新しい形の雇用を発生させ、新しい形の取り組みをしていく準備は、国民達の大半はできていると思います。絶対に、福島の犠牲を無駄にしてはいけない。私は、強く、原発0%を望みます。
31125	個人	パート・アルバイト	30代	女性	ゼロシナリオを支持します。	この真夏でも原発無しで電力は足りています。 国民の工夫次第で原発なしでもやっていけるはずです。 2030年ではなく、今すぐ原発廃止にすべきです。 今後絶対に事故が起きないなんて、誰も断言できません。
31126	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロへ、すぐにでもお願いします。	経済の発展はもう結構です。子どもたちのために、安心できる場所を。 原発はなくても、生活できます。 原発のことを考えると怖いです。この土地に住んでいてよいのか、心休まることはありません。 毎日、汚染された食事を作り、それをおいしそうに食べている子どもたちを見ると、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいになります。 心からのお願いです。もう原発は止めてください。
31127	個人	会社員・公務員	30代	男性	脱原発	政府が原発を勧める訳が不明瞭。 電気は足りてるのになぜそれに依存するのか。 いろんな情報を隠して、安全だ安心だと信じられる訳がない。 今、変わる時だと思います。
31128	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発は要らないと思う。未来の人たちにゴミを残したくない。 自分たちが快適に生きるために未来の人たちの快適を奪う。 今を生きる人間たちの恥だと思います。	政府主体で日本のあるべき姿を。 土日正月はおやすみでいいじゃない！
31129	個人	自営業	30代	男性	国内すべての原子力発電所の廃止。	私は生まれた時から海に近い所に住んでいて海や海のもたらす物が身近な存在です。 福島原発の事故により多くの陸地、海が放射性物質によって汚染されてしまい、多くの魚、水性生物なども汚染されてしまいました。 子供たちに安心して魚や野菜などの食べ物を食べさせられる、安心して海や、川、山野に入って遊べる環境を残していくために、これ以上汚染された地域を増やさないために国内すべての原発を廃止して行くべきだと思います。
31130	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオを選択します	ゼロシナリオを選択した理由は、日本は地震が多い国なので、また大きな地震が起きた時に、必ず原発でも何らかの事故は起きることが予測されます。その時の完璧な対応は不可能だと思います。 また、原発は原子炉の定期的な清掃などがあります。炉内の掃除は線量が高いことより、主に下請けの労働者の方々が行っているそうです。被曝を受けて働いているそのような方たちの犠牲によって成り立っている電力のシステムは、無くしていったほうがいいと思います。 使用済核燃料の処分地となる土地の方々の犠牲もあります。原発が立地されている土地の方々、使用済核燃料の埋め立て地となっている土地の方々は、もし国から支払われる補助金が支払われなかったら、受け入れるはずがありません。 あと、他の国の使用済核燃料を日本で受け入れて処理する話が出ていると聞いたことがありますが、絶対にやめてほしい。 日本人が安心して暮らせる国にしてほしい。日本製のものを原発事故前までは選んで安心して食べていたが、今では産地を必ず確認して放射能汚染されている土地の食べ物は極力買わないようにしています。 ゼロシナリオにして、はやくクリーンなエネルギーの開発に全力を注いでほしいです。石油輸出国は日本なら水から作れるエネルギーを開発してしまうのではないかと恐れていると聞いたことがあります。正直言って、このまま火力や原発にしがみついていると、日本は他の国から出遅れているような感じがします。 まさか、原発にしがみついているのは防衛のためだとしたら、自国が被爆国なのによその国に核ミサイルを発射するような考えがあるのだとしたら、国民どころか他国の信頼も全くなくなり、大変な損失だとおもいます。 ぜひクリーンエネルギーの先端を目指してください。
31131	個人	無職	60代	男性	直ちに、すべての原発を止めることを求めます。	(1)地震国日本にある原発はリスクが大きすぎる。東日本全域を脅かした福島第一の事故で環境に放出された放射能の多くは太平洋へ落下した。もし福井で同様の事故が起きると関西・中部・関東に壊滅的な影響が及ぶであろう。安心・安全を確保するためには犠牲を払っても、すべての原発を止め廃炉にしてほしい。 (2)エネルギーを大量に消費している先進国の中で、日本は比較的低緯度で太陽をはじめとする自然エネルギーに恵まれている。しかも技術力の面でもトップクラス。今世界で起こっているエネルギーシフトを主導する力を有しているにもかかわらず原発があるためその力を発揮できないでいる。
31132	個人	パート・アルバイト	30代	女性	「ゼロシナリオ」を選びます。 そして、2030年までにとありますが遅いです。 現在稼動中の原発の停止、停止中の原発の再稼動を行わない、速やかに全ての原発を停止を強く望みます。	1～3とあるようですが、0%選択です。 他の選択はありえません。 唯一の0シナリオ、2030年までということですが、再稼働には反対です。 再稼働、稼働を始めた原発の停止も含めた選択を希望します。 再稼働に強い危機感を抱いています。 福島の原発爆発事故の日から一日一日と遠ざかる今、先の猶予を見据える余裕ができてきたということでしょうか。 遠ざかるのは日付と記憶のみで、実際には壊れて、未だ思うようには手の付け難い状態となっている壊れた原発と、その他50基余りの原発が各地に配置されているということです。 福島在住ですが、地震の直後、テレビで煙を上げる映像を見て、途方に暮れました。 一年が周り、この状況は来年も再来年もまたその次も続くのです。 この季節に気兼ねなく子供を外で遊ばせてあげられないことをはじめ、色んな制約や心配事が常について回る生活、自然に存分に親しむことのできない窮屈さは、時間をかけてどれほどその土地に住む人の心を蝕んでゆくでしょうか。 線量計を「お守り」だと言って首に下げている子供の姿を、身近な子供の姿と重ねて見て下さい。 取り戻せないものを思うと、社会に必要なものだからだと、今すぐ止めるのは現実的ではないからと、それらを理由にして再稼働を受け入れることはとてもできません。 経済のことを問題にできるのも、命あっての物種、土地があっての物種です。 色んな問題、不自由さはあるでしょう。 色んなエネルギーを消費して生活を営んでいる、それは事実ですし、現実です。 それは原発によるエネルギーを軸として経済が、社会が築かれてきた故でしょう。 その仕組みに向かい合ってゆくことは、簡単にはいかないでしょう。 それは原発ありきの社会によって暮らしてきた私達の価値観を問うことでもあります。 これ以上、誰にとっての故郷を失ってもほしくありません。 それに、原発を停止していても電力は足りているとありますが？ 使い方の問題ではないでしょうか。

31133	個人	自営業	40代	男性	「原発ゼロシナリオ」でなくてはなりません！	すでに人の力に余る問題ばかりを起す原発に頼ることは、過去の遺産にしがみつくことと同じです。（ましてや、島国の日本にとっては、ゴミばかりが増える負の遺産です！） 自然エネルギーを利用する為の技術研究、施設開発の為に、どんどんお金と人を投資して、経済の回復を促すべきです。 最低限の電力確保を理由に、原発の再稼働をしなくてはならないのは、新技術の開発、景気回復への糸口に待ったをかける行為だと思います。 多少、不便を感じているくらいが、新たな道を見つけることに貪欲になれると信じています。 また、民意を軽んじる政府が未来において悪と見做されることは必死です。 孫、ひ孫の代の教科書に、今の政府の決定が民意を反映していなかったと書かれるのことは、今の時代を生きている自分にとっては無念なりません。 まやかしばかりでない情報社会であることを、政府自ら実践して証明して頂きたいと思います。
31134	個人	家事専業	60代	女性	2030年では遅い。即原発ゼロ、廃炉に向けて政府、原子力施設、電力会社は工程表を作成すべき。これが東電福島原発事故からの全ての国民の生存権を守る道である。世界の海を放射能で汚染した罪を償う道だ。	政府の対応は、いまだに原発安全神話から目覚めていない。核廃棄物リサイクルでできたプルトニウムの半減期は燃料取りだし、再処理・ガラス固化がうまくいっても1万年はかかる。原子炉の廃炉、核廃棄物の放射能低レベル化まで関わる人材と技術、作業を考えると、計り知れない税金投入、莫大な費用を誰が負担するのか？ 目先の利益に走り、廃炉寸前の原発を再稼働させ、しかも地震の活動期に入っている狭い日本列島54基もの原発を作ったのは誰か。福島の原発事故をみても、責任の擦りあい。ふるさとを追われた何の罪もない国民の目線がない。電力会社は、もっと代替えエネルギーを開発する、企業努力をするべし。税金投入、消費者に負担を押しつける経営者は、失格。
31135	個人	会社員・公務員	40代	女性	全原発、即時廃炉を求めます。	人間、動物、植物、すべてのいのちが一番大切です。 いのちがなければ、何も始まりません。 少しの放射能も生命体に影響を与えます。 通常の運転時も、放射性物質を排出し、生命体や環境に影響があります。 また、使用済核燃料の処分方法が決まっていない現状で、再稼働すべきではありません。 廃炉にすると、多額の不良債権が発生し、電力会社の経営に深刻な影響がでるといわれています。 しかし、ドイツの例にもあるように、生命の尊厳を第一に考えるべきです。 以上のことから、全原発、即時廃炉を求めます。
31136	個人	家事専業	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」を選びます	私は「原発ゼロシナリオ」を選びます。こんなに大きな被害を引き起こした原発にいまだ執着しているのは間違いです。 経済やお金の勘きですべてを判断するのはもうやめてください。今最も大切なものは、お金では代えることのできない子供たちの未来です。私たちが人生を終えてもなお続いていく日本の未来です。大地の営みです。 ここまでひどい被害をもたらした原発を、なぜそんなにも擁護するのか、原子力業界の恩恵をいままで享受してきた方々が国家の中枢でがんばっているとしか思えません。まず経済ありき、という思考をいったん捨て去り、本当に正しい行いをしてください。 もっと自然エネルギーを推進してください。そして、電力会社を広く選べるようにしてください。自然エネルギーを主体にする電力会社があってもいいと思います。自然エネルギーのなかでも、太陽光パネルをすべての建物に必ずつけることにして、その電力を大規模に蓄電するしくみを確立させてほしいと思います。 また、省エネ対策として、豪雪地帯の住居には雪室を設置し、冬にためておいた雪の冷気を室内に送り込むことで夏を快適に過ごしているお宅がテレビで紹介されていました。そのような雪室をぜひ豪雪地帯の 建物には基本装備として設置してほしい。夏場の電気使用量が大幅に減少することでしょう。 そのような地域ごとの特性を生かして省エネの工夫をしている企業を探し、行政が政策として取り入れることを願います。
31137	個人	無職	60代	男性	福島の原発震災を経験した私たちは、同じような地震、津波が日本付近でいつ起こってもおかしくない現在　即刻全ての原発ゼロの、廃炉に取り組むべきである。	（理由） 869年の貞観地震による津波浸水地域が　歴史家や中食正展氏や岡村行信氏などの研究者から明らかにされつつあり　今後同様の地震津波の発生することが警告されていたにもかかわらず、国や電力会社は対策を怠ってきた。そのために　2011年3月11日の福島原発震災が、発生してしまった。今後マグニチュード8クラスの余震も想定され、なおかつ、東海、東南海、南海での巨大地震、津波が想定されている中、2030年以降に原発をどうするかというた　のんびりした対応では、今回と同じような　原発震災が再び起こってしまう危険性が大である。よって即刻全ての原発ゼロの、廃炉に取り組むべきである。2012.8.8.
31138	個人	自営業	30代	男性	今後の原発依存度ですが「ゼロシナリオ」を選択します。	ましてや福島はこの比ではありません。住める環境でなく故郷を失った人たちが大勢おります。チェルノブイリ事故をみる限りでは、生きているうちに故郷に戻ることは無理でしょう。消えてしまう町も出てくるのではないでしょうか。こんな生きる希望を奪私は宮城県仙台市に住んでおり、東日本大震災の福島原発事故の身近な環境におりました。県南では農漁業に携わる人たちが放射能汚染のせいで今までの生活を取り戻すずにいます。このようなことは二度とあってはいけない。 東電もそうですが各電力会社は「原発は安全」「クリーンエネルギー」などいいことしか言いません。まっ、国も分かっていて黙認していたと思いますけど。リスクはあるのに表に出さないで、住民を騙して作り上げた事にまったくもって信用出ません。 活断層は？耐震は？オフサイトセンターは？原発再稼動の前に少なくとも解決すべきリスクでしょ！ 故郷を失った知り合いもいます。メディアで福島の現状を見ると涙がでてきます。 この地震大国の日本には原発はマッチしていません。自然エネルギー100%が日本がとるべき能です。 自然エネルギーを推進している町もあるではないですか。孫さんもメガソラーを推し進めてますし、日本なら出来ると思います。 それから、各地域の電力会社の形態を変えるべきです。少なくとも発電と送電は分社化すべきですし、もっともっと自由化しなきゃいけないです。資本主義は競争の原理なのに電力会社は競争がなく独占ですよね。（独禁に引っかからないのが不思議）それいやあいいものも出来ないし。国が大量に株持ってるから、あえて国がそうしてるとしか思えませんよね。 とにかく、私は「ゼロシナリオ」を望みます。これから生まれてくる子供達が住みよい国づくりを、自然との共存を心の底から願います。 追伸、家を建てたら太陽光発電システム取り付けます。
31139	個人	自営業	40代	女性	安心して住める日本にシフトして下さい！	日本は四季に恵まれ、海に囲まれ、山の恵恵を受け水にも恵まれているとても美しい国・・・日本人は素晴らしい国民性を持っていると世界で称賛されていることを、私はとても誇りに思います。 私は日本をとても愛しています。でも311以降、この国に住んでいるということが、実はとても不確かなもので、危険・危機という文字が頭から消えません。それはやはり原発があるからです。 元々反対の気持ちを持ってはいましたが、懸命に反対運動をしていた方々でも、国から無視され続けるようでは・・私の声など届くはずがないと思っていました。今回この様な機会があり嬉しく思います。私の反対する理由は、子供でも分かる単純なものです。被曝国である日本国政府の原発政策は、間違っていたと思います。それに賛同し実現させた方々でも、原発事故があったら逃げるでしょう、自宅の庭に放射性廃棄物を置くことを拒否するでしょう。それなのに福島のある住職は、仏の道を説くよりも住民が恐れている自宅から出た土を大きなドラム缶状のプラスチック容器に入れ150トンも自身の裏山で保管されているそうです。処理できないものを生み出した日本国政府とそれに関わった人々は、こんな事ができるのでしょうか？作った人達は無責任でしかなく、それらのつけ後世に残すなんてあり得ないことです。原発政策に関わった優秀なはずの方々の気持ちが全く理解できません。今後起こり得る大地震への心配はもちろんですが、大地震があってもなくても責任の取れないものを生み出し続ける原発はやめるべきだと思います。私は浜岡原発を即時停止した菅首相に感動しました。少なくとも初めて原発を止めてくれ政治家ですから・・・現総半島の南部に住んでいると、次に大地震＆原発事故が起きたら逃げ場所がないと思ってしまいます。アクアラインも311で液状化でダメになった幕張・浦安近辺も通れなくなったら、どうやって首都圏を抜ければいいんですか？福島や茨城の放射能から逃げられません。国に殺されてしまいそうで怖いです。私は独身なので、どこか安全な国へ引越せる可能性を得る為に国際結婚もいいな等と考える始末です。首都圏を襲う大きな地震だけでも怖いのに、原発への心配などしたくありません。命あっての人生ですから・・・今こそ政府は国民の脱原発の声を叶えるべきだと思います。世界中から称賛と安堵と喜びの声が届くでしょう。それこそが私の愛する日本ですし、世界に誇れる日本人像です。間違った選択は改め、どうか原発への心配だけはしなくていいような、安全な日本に住ませて下さい。
31140	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオしかありません。	時間は後18年あります。 化石燃料以外の太陽、地熱、水力の強化のための政策案を打ち出して行くことを検討すべき。 これから先今の僕らが生きているうちにクリーンな物にしなかったらこの先の未来に何も彩は残せません。 震災以降にどのような形で原発が推進されてきて、今の日本の現状になってるか知る人も増えたのも事実です。 もう国家が見て見ぬふりして何とかなる問題ではない。 国民だまし通せると思うのはもうあきらめて頂きたい。 自分たちの利益基準で考えないで頂きたい。 儲けたいのなら新たなエネルギー開発で儲けたらいい。 人体、地球に悪影響の無いものを作ればいい。 思考を停止して今のままでいたら何も生まれない。国会議員になって少しでも国民の事考えてるなら寝ないで考えて頂きたい。 そのために沢山の人が税金を納め、国民としての義務をはたしてきている。 国会議員も国民の意見を聞きくにをよくするため、これからの未来の日本のために義務をはたしてください。
31141	個人	会社員・公務員	30代	女性	危険極まりない原子力に頼ることを一切やめ、地球にやさしいエネルギーの開発に全力を注いでください。 全て廃炉にし、既に生み出されてしまった危険な使用済み核燃料を一刻も早く何とかしてください！！！	・福島原子力発電所の事故は終わっていない。 ・日本のエネルギーの30%だった原子力発電は今、大飯原発3号機1基のみ。一それでも電気は足りている。 ・福島原発周辺以外の空間線量が軒並み下がっている。一原発が動けば放射性物質を出し続ける。 ・安全と言えるまで10万年かかるプルトニウムを含んだ使用済み核燃料が日本にはウラン重量で約1万900トンある。 →しかも「再処理」すると、原発1基が1年間出し続ける放射性物質を「六ヶ所再処理工場」はたった1日で海や大気に放出する。 こんなに危険なものだとわかっているのに、なぜ原子力発電を進めようとするのか理解できません。
31142	個人	会社員・公務員	30代	男性	今回掲示された三つの選択肢のなかであれば、(3)の20～25%である。	原子力に代わる代替エネルギーがない中、化石燃料に頼るというのは、産油国次第でエネルギー供給が悪化しかねない。また、再生可能エネルギーでは、安定的な電力供給が維持できない為、原子力エネルギーは重要である。
31143	個人	会社員・公務員	40代	男性	故郷を追われ、生業を奪われ、家族が分断された福島の人々の生活を2030年までに元に戻せる見通しが立たないのなら、原発ゼロ以外の選択肢は人間として倫理的に許されない。	故郷を追われ、生業を奪われ、家族が分断された福島の人々の生活を2030年までに元に戻せるなら、15、20～25%選択肢もあるだろう。その見通しが立たないのなら、原発ゼロ以外の選択肢は人間として倫理的に許されない。
31144	個人	家事専業	60代	女性	2030年には、「原発依存度を0%に！」と強く願います。 (1)ゼロシナリオ　で 日本の平和は、歴史に学び、英知を集め、良い方向へ舵を切る勇気から生まれます。勇気ある政府の選択を期待します。	2030年には「原発依存度を0%に」意外考えられません。 人智を超えた自然の力を過信してはいけない。 再び、3．11のような原発事故が絶対起こらないと考えるのは間違っていると思うからです。 原子力を平和利用している積りでいた自分を反省しました。 狭い屋根ですが、太陽光パネルを乗せる予定です。
31145	個人	家事専業	40代	女性	原発ゼロシナリオを希望します。	福島の原発事故が起きてから、ずっと不安な日々を過ごしています。 子どもの将来のこともとても不安に思っています。 再びこのような事故が起こることのないように、また今後どうするのかも決まっていない使用済みの核廃棄物がこれ以上増えることのないように、できるだけ早く原発を無くし、 太陽光、風力等の自然エネルギー中心の社会になることを望みます。
31146	個人	その他	60代	女性	ゼロシナリオを選びます。	ゼロシナリオを支持し、今すぐ原発ゼロにする。 原発は使用済み燃料の安全な処理が確立していません。 一度事故を起こすと、収束することができません。このように、人智で制御できない燃料は使用すべきではありません。 　政府のエネルギー政策は、2010年現在の生活を維持し、経済成長をし続けることを前提としている。2011.3.11の東電福島原発事故で、国民は過度に電力に頼りすぎた生活を、命よりも経済を優先した社会をつくってきてしまったことを反省したのです。そのことを、国が引き戻すような、エネルギー政策の提案をしないでください。未来へつなぐ、持続可能な社会づくりのために、省エネ・創エネへ国民は生活スタイルを変え、国は産業構造を変えていくことが必要です。 　戦後の高度経済成長は公害をもたらしましたが、日本は技術開発・革新で、克服し、その技術で海外進出をはたすことができました。今までの原発にかけた国家予算を、再生可能エネルギーの開発、促進に向けてください。そのことで雇用の拡大につながります。 　この夏の電気需要は、停電になることもなくまかなわれています。家庭でも、企業でも、節電は定着しています。東電管内は、原発は全面ストップしています。火力発電で、対応しているのでしょが、温暖化防止対策のためにも技術開発が必要です。そして、エネルギーの地産地消をすすめることで安定供給がすすめられます。子供たちが外で遊びまわることができる社会を作っていくことが、大人に課せられた課題です。経済より命を大切にする価値観と日本の科学技術力で創造していきましょう。
31147	個人	学生	10代以下	女性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます 経済よりも、環境や生命の方が大切だと思うからです。 日本は地震の多い国なので、他の国がやっているからといって、絶対に原子力 発電をやってはいけないと思います。
31148	個人	自営業	20代	男性	私は「ゼロシナリオ」で進めてほしいと思います。 原り速やかにこれを無くすことが必要だと思います。	原子力発電が人間の手に負える代物ではないということがわかった以上、出来る限り速やかにこれを無くすための政策をたて、行動を起こすことが必要だと思います。 原子力発電がなくなることによって国内の経済が縮小し、この国の力がなくなってしまうかもしれないという懸念はあっても、それでも原子力発電をゼロにすることのほうが大切だと思います。 日本は非常に災害の多い国です。豊かな自然に恵まれているからこそ、その驚異と背中合わせに生きなければならない国です。その国で私たちの先祖達は自然と寄添いながら、世界に誇れる日本の文化と暮らしを営み、知恵と技術を育んできました。 原子力発電もまた大いなる発明であり、輝かしい技術の進歩であったことは間違いないと思います。いかなる分野においても新しい挑戦は必要不可欠であり、それを否定することは愚かだと思います。 しかし、挑戦が失敗だったのであれば、これは速やかに中止しなければいけないと思います。失敗の原因を分析し、他の方法にチャレンジするべきです。 原子力発電は明らかに失敗だと私は思います。いろいろな学者の話を聞いてみて、そう思います。苦しくても、ほかの道に挑戦するべきです。 これは日本にとって、一つのチャンスだと思います。敗戦から一気に世界の頂点へ駆け上り、先進国故の問題を抱え、いま震災によって大きな苦難に立たされています。いまの日本の姿は10年20年後のアジア諸国の姿と重なるように思います。いま日本がどうするかで、今後日本が再びアジア諸国をリードしていけるかどうかが決まると思います。いま現在から今後にかけて世界のマーケットの中心になるといわれるアジア諸国にとってエネルギー問題は必ず直面する問題だと思います。日本が原子力発電の失策を活かして、原子力発電から脱却し、新たなエネルギー政策による新たな発展、新たな豊かさの提案、新たな価値の提案をしていくことができればそれはアジアの国々にとって、新しい進しるべとなると思います。それはまた世界における日本の立ち位置にも良い影響を与えるはずです。

31149	個人	パート・アルバイト	50代	女性	ゼロシナリオ選択（原子力による発電自体をゼロにする）	私は「原発」そのものに反対します。 理由二点 1）「地球上で命を紡いでいるのは、人間だけではない」。 2）「例え京・垓分の一であっても、手に負えぬ被害を生み出す可能性の在る物を、子孫に残すべきではない」。 「人間の膨れ上がった欲望の為に、なぜ人間以外の無数の生き物達が苦しみ、理不尽な死を迎えなくてはならないのだろうか。彼らが存在するからこそ人間だって生きてゆけるのに、どうして私達はここまで尊大な在り方をし続けるのか。」何か起きるたびに、心に飛来する問いかけです。 ある日を境に「原発再稼働」の動きが突然活発化した時、 「原発を使い続ける人類だけが放射線被害を受け、絶滅するならすればいい。 けれど、事故が起きた時には、他の生物は否応無しにその被害を受けるのだ。そのとき、人間はどのようにして謝罪する？他の生物に対して　どのように責任を取るのだ？」 と思いました。 自分の命を　存在を　無下に扱われたくないならば、他の命をも尊重すべきだから　です。 けれど「使い続けるのなら人類だけが絶滅すれば良い。」とは思ったものの「しかしそうは言っても、やはり、小さな子供達や　若い父親母親までそんな目に遭わせたくはない」。 そしてまた、「放射線を浴びた人達の5年後10年後を考えた時、きっとその害は形を取り現れるだろう　否応なしに『広島と長崎での差別』がここでも繰り返されるだろう」と。 更に、原子力発電所と再処理工場に於ける放射能核種の半減期が、代表的な物だけとってみても「短くても数年」「長いものでは千年単位」という事を知り、このようなものを後世に残すべきではない　と強く思ったのです。 過去は変えられずとも未来は作っていけるものであり、「大人」ならば　利便より利権より　経済より　若い人達の未来の為に歯を食いしばって動くべきです。 同じように、汚染した土地や、そこに住んでいた人達の為に成すべき事は「その土地や海で穫れた作物や海産物を買う」事ではなく、「二度と同じ事は繰り返さない」という覚悟を持つ事だと私は思います。 その思いの上で「土地の汚染」や「地元の人々の生活」を考えれば、今　何を成すべきか　何を構築して行くべきなのかが　自ずと見えて来るのです。 「万が一」の「万が一」まで熟考し、人類の未来までをも責任を持つのが「大人」としての在り方ではないでしょうか。 そのための「不便」であるならば、今ここに生きている人間達は「義務」として受け取るべきものであると思います。 「原発再稼働」にかけるお金があるならば、他の発電方法を考え、「原発」地元の人達を雇用するなどの道を考えて欲しい。そのための「消費税アップ」であるなら　とさえ私は考えています。 そして、人間以外の命にも配慮するような「謙虚さ」を、どうか持って頂きたい。 そうでなければ、いずれ人類は他の多くの生き物達の命を奪いつつ自分の首をも絞める道を歩む事になると思います。 指導者というものは大局的な視野に立たねばならず、それ故に一時は国民の支持を得られぬ事もあると思います。 が、しかし目先の事より、もう少し先の、或いはもっと先の未来を考えてください。 「自分の子供が、孫が、汚染されている可能性の在る土地に住む」と想像すれば、容易に理解できることでしょう。 若い人達　これからの人類に、彼らの肩が折れるかもしれぬ「重責」を背負わすような「逃げ」は、私達の「恥」です。
31150	個人	自営業	60代	男性	(1)ゼロシナリオを選択 「福島原発事故を踏まえて」エネルギー・環境を見直すなら、選択肢に「原発を継続するシナリオ」が入る資格はない。今だメカニズムの解明が十分でないまま原発の安全対策は成立していない。	「福島原発事故を踏まえて」エネルギー・環境を見直すなら、選択肢に「原発を継続するシナリオ」が入る資格はないのではないか。 巨大で悲惨な原発事故を目の当たりにして一年以上もたち、出揃った事故調査報告においても原因究明、真のメカニズムの解明が十分でないとされている。 原因を明らかにせずに現有原発の安全対策は成立しない。答えがでないかもしれない福島事故の不安を抱えたままの原発依存のシナリオを提案することは、事故を踏まえていると言えない。 原発事故の悲惨は放射能拡散につきる。 1.3号機の電源喪失、圧力上昇、放射性物質を含むベント、水素爆発に至るメカニズムは昨年来あまたの報道機関が図解入りで解説をしてくれました。 想定外の大津波の所為でその見直しで安全対策が済むのでしょうか。 東電事故調は「福島1.3号機のベント放出より2号機の格納容器のガスが“何らかの形”で大気中に大量放出された。放射能汚染の主たる原因」と認めながら、起因するメカニズムを解明できないでいる。2号機は圧力抑制室近傍の水位が予測以下である水密不全を報告している。 ベントに至らない水密損傷は電源喪失以前、地震によるダメージが一因であった疑いが残る。放射能拡散に至るものではなかったのでしょうか。 最も重大な汚染メカニズムが想定外の地震でさえクリアできなかった疑念、原子力技術は「自らが与えた一滴漏らさず」というハードルを超えられない」基本設計が地震国以外から来た履歴・アキレス腱を残したままではないのでしょうか。 この疑念を晴らし、又は起因するものを払拭できる安全対策を提示する責任が原発事業者にある。責任を負う企業力・技術力を持たない事業者に将来のエネルギー・環境を託すことはできない。 「福島原発事故を踏まえて」資格を失ったままの「原発依存」を排除した　(1)ゼロシナリオを如何に大きい課題が伴っても「国難」として全国民で受け止める以外にない。 さらには、怯えたまま続ける再稼働をやめる（いかに短期・最小限に留めるか）高い目標を掲げた国家戦略シナリオを策定していただきたい。 「国難」を世界をリードする技術革新の機会としなければ被災国民は浮かばれない。
31151	個人	パート・アルバイト	60代	男性	2030年に原発「0」ではなく、「即刻」原発「0」とすべきと考えます。 福島第一原発事故を経験し、活断層だらけの日本では原発以外の、自然エネルギーに方向転換すべきです。	国会事故調で、福島第一原発の事故は、「1～3号機に地震動による損傷がなかったとは言えない」とある。活断層だらけの日本は原発以外の　エネルギーに即、切り替えるべきである。2030年では遅い。それまでに原発直下で地震が起きたら、経済などなんのと言っている場合ではなくなる。 使用済燃料の処理ができない。 原子力発電所を稼働させればさせるほど、使用済の核燃料廃棄物が生じる。 このような核のゴミは、これまでに蓄積されたものだけでも、大量に保管されている。 これ以上、核のゴミを出さないような、エネルギー政策にすべき。 核のゴミを出さないようなエネルギーは、風力、水力、地熱、など。 当面、火力発電との併用は仕方のないことであると考えます。
31152	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発廃炉。ゼロシナリオを望みます	原発が人の力で制御できないことがわかった以上そこに依存するのはあり得ない。 日本を子々孫々の代まで受け継いで行くには原発というのは高過ぎるリスク。 自分の子どもにはそんなハイリスクな時代を生きてほしくありません。
31153	個人	会社員・公務員	40代	男性	ほかに選択肢がないので、あえてゼロシナリオを支持します。 ゼロからスタートするのは原発事故で救えない人たち、避難を余儀なくされた方々への最低限の礼儀です。	安全性が確保できない現段階の原発技術は実験室に戻し、やり直すべきです。 ドイツのように勇気を持って未熟を認めるべきです。 変革することによる負担増は覚悟しています。これは子ども達のためです。 その代わりに、負担増の部分の透明性を徹底的に追求します。 希望のある未来を選択したいからです。
31154	個人	会社員・公務員	50代	女性	国土の狭い日本において、一端事故があれば国土が失われるような原子力発電所を使用すべきではない。速やかに全原発を停止し、廃炉にすべきである。	原子力発電所の速やかに停止し、廃炉、その後の安全な管理技術の研究への予算と人材の投入を要求します。 理由 1　国土の狭い日本では、原子力発電所の事故で起こる国土の汚染は将来の日本という国の存続を危険にする。 2　経済の悪化を叫ぶ経済人がいるが、目指す国の価値観の問題である。国土と国民のいない国家をつくろうとしているとしか思えない。 3　地震の多発する国土で絶対に安全な原発を建設維持することは大変困難であることが今回の事故は示している。安全にするために巨額を投じて不安を継続させるのであれば、安全な廃炉の方法を研究し国際社会に貢献すべきである。 4　絶対安全は技術はなく、自動車事故で死亡する人に比べれば原発で亡くなった人は格段に少ないという反論を聞くが、自動車事故が起こってもその場所が数十年にわたって立ち入り禁止成ることや健康被害をながら続けることはなく、同列に論じることが間違っている。 5　国民は知恵を出し合い、節電し、原子力発電所がなくてもできる生活をすることができる。できている。
31155	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年までではなく、即刻、原発ゼロにすべき。 何故、2030年までという前提になっているのか、不思議。 即刻、ハイロにし、自然エネルギーに転換していくべき。 政府はそちらに尽力すべき。	2030年まででなく、即刻、原発ゼロにすべき。 電力不足ではない。現に関東では電力は足りている。 また、計画停電もない。 原発廃止で職業が奪われる地方の人がいるという。 では、ハイロビジネスを立ち上げて、その間に自然エネルギーにシフトすればいい。 次に原発事故が起こったら、日本は再起不能になる。 次世代を考えても、即刻、ハイロにすべき。
31156	個人	会社員・公務員	30代	男性	これからのエネルギー政策は、原発に頼らずにクリーンエネルギーによる発電を希望します。現在稼働している原発は停止し、その他のも廃炉にして欲しい。	東電、政府の欺瞞にはもう辟易しています。いまエネルギー政策転換をするべきだと思います。それが311を経験した者の当たり前で普通の考えだと思います。 私は前回の衆議院議員選挙で、小選挙区・比例区共に民主党に入れましたが、もう民主党に投票することはありません。 これだけ国民の声を無視・裏切り続けるのは常軌を逸していると思うからです。 マニフェストを実現出来なかったことに対しては、百歩譲って攻めはしません。しかし、原発の再稼働の判断を下したことに対しては怒りを覚えます。 許しません。 人として、正しい判断を望んでおります。
31157	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発即時撤廃	安全性の確保ができていない。 事故時の被害が大きすぎる。
31158	個人	家事専業	50代	女性	原発即時ゼロを支持。国民は回復不能の被害を体験した。政府・電力には原発を運営する資格能力なし。 原発ゼロによる経済損失は事故の損害を政府・東電が無視している分も含めて考えよ。国民をバカにしてはいけない。	原発「即時」ゼロを支持します。 原発事故が起きれば、取り返しのつかない被害を被ることがわかった。賠償責任は認められたが、損害の一部しか対象としていない。そして、生活基盤を根こそぎにされるなど、金銭ではあがなえない被害が甚大だ。 地震国日本ではいつどこで事故が起こっても不思議ではない。電力会社も政府も過酷事故に対する備えを怠ってきたことがわかった。原発建設ありきで立地、設備、スタッフ、避難体制など必要なことが無視されてきた。それがわかっていながら、国や経済界はあいかわらず再稼動ありきで動いている。 政府にも、電力会社にも原発を稼動させる資格も能力もない。これまでの過ちに対して責任をとらないし、将来起こりうる危険も見ないふりをする。国民をバカにしないでほしい。 安全な原発というものがあったとしても、それは理屈のうえのことで、今の日本ではありえない。 原発ゼロによる経済的損失が言われるが、再び事故が起きてしまった場合、世界における日本の信用は大きく損なわれよう。日本が誇る農水産物、工業製品は輸出できず、観光客や留学生は他国に流れる。産業は崩壊し、農地は耕作不能となり、人々は土地を追われ仕事を失う。汚染されていない食料は限られ、輸入に頼るか多少の汚染なら我慢して食べることになる。加えて、壊れた原子炉の処理と除染に莫大な費用が発生する。福島の事故による損害をすべて、政府・東電が無視している分も考えてから言ってほしい。 原発はウラン採掘の段階から人を被ばくさせる。事故処理でも通常運転でも弱いものを犠牲にする。 核廃棄物の処理方法を決められない核利用はトイレのないマンションにたとえられる。りっぱな建物でなくてよいから、トイレのある普通の家に私は住みたい。
31159	個人	会社員・公務員	50代	男性	エネルギー施策で原子力の選択は間違いではないと考えるが　安全への考えがあるべき論に終始している。これ以上原発を増やすことは賛成ではないがある時期一定を維持しながら減少させていくのがベターである。	説明のなかで「原子力発電の事故リスクをいかに管理していくかという安全確保の手法については、原発を利用しないというアプローチと安全技術と安全規制で事故リスクを制御するというアプローチの二つがあり・・・」とあるがそもそも「事故リスクをいかに管理・・安全規制・・」などと　なにを思いとがっているのか　上記の言葉そのものが　あるべき論に終始し想定外などというにげの言葉でうやむやにしているのではないかまったく安全なものなどこの世に存在しないのであり「XXはあり得ない」ではなくても起こったら」どうするのか　あきらめるのかそれとも対処するのかを十分に検討し「もし・・・」という考えで今後原発を一時稼働させても良しとするものの　15%維持とか25%維持では無く　この機会に今一度、産業を育てながら（省エネ自動車等、エネルギー貢献産業製品への補助を行い（これは企業の他ユーザーにも）また　代替エネルギーの買い取り価格を上げるのではなく一般住宅への設置補助をもっと行い早期に代替エネルギーのペースを構築せねばならない。早期の原発の“0”はあり得ないと考える。ここでの多少の赤字国債はやむおえない。
31160	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発再稼働、断固反対。	ドイツでは世界的犯罪とまで報道された、福島原発事故のような悲劇は2度と繰り返してはいけません。 また地震は確実に来るのに、原発再稼働を決めた、民主党と野田総理大臣に、何を考えているのか、どう責任をとるつもりかと問いたい。 そももそも火山列島、地震大国日本に、こんなに原発があること自体、おかしい。 またその政策を推し進めてきた自民党にも責任を問いたい。 原発なしでも経済発展してゆける国づくりを、今しないで、いつするつもりか、と野田総理大臣に問いたい。 負の遺産である原発を、次世代の子供たちに押し付けないでほしい。
31161	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオしかありません。	時間は後18年あります。 化石燃料以外の太陽、地熱、水力の強化のための政策案を打ち出して行くことを検討すべき。 これから先今の僕らが生きているうちにクリーンな物にしなかったらこの先の未来に何も形は残せません。 震災以降にどのような形で原発が推進されてきて、今の日本の現状になってるか知る人も増えたのも事実です。 もう国家が見て見ぬふりして何とかなる問題ではない。 国民だまし通せると思うのはもうあきらめて頂きたい。 自分たちの利益基準で考えないで頂きたい。 儲けたいのなら新たなエネルギー開発で儲けたらいい。 人体、地球に悪影響の無いものを作ればいい。 思考を停止して今のままでいたら何も生まれない。国会議員になって少しでも国民の事考えてるなら寝ないで考えて頂きたい。 そのために沢山の人が税金を納め、国民としての義務をはたしてきている。 国会議員も国民の意見を聞き<にをよくするため、これからの未来の日本のために義務をはたしてください。

31162	個人	家事専業	40代	女性	提示された3つの選択肢から選ぶとすればゼロシナリオということになりますが、「2030年まで」ではなく、できるだけ早い時期にすべての原発を廃炉にすべきと考えます。	出来る限り早期にすべての原発を廃炉にすべきです。そのために、今まで原子力研究にかたよりすぎていた財源を利用し、節電の方法、代替エネルギーの開発などに専門家の知識を結集してとりくんでいくべきです。 理由：わたしにはもうすぐ4歳になる息子がいます。福島第一原発の事故以来、放射能という見えないものへの恐怖におびえながら子育てをしています。食べ物、遊び場など気にしながら暮らしています。今のままでは安心して子育てができません。 私の住む北海道にも泊原発があります。万一泊に何かあったらと考えると不安でしかたがありません。 私はたとえ今ほどの便利な生活を捨て去っても安心して暮らせる世の中を子どものために残してあげたいと思います。 原発は人間の手に負えないおびただしい放射性廃棄物を生み出します。また、日常的にも放射性物質を海水などに撒き散らします。 以上のようなことから出来るだけ早期に原発ゼロを実現すべきと考えます。 既に日本は加害者であります。これだけの事故を起こしてしまった国として原発をなくすことは、一刻も早くなしとげるべき責務であるとわたしは考えます。
31163	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発の必要性、再可動要請について	原発の再可動を要請する。 原発は現在の日本に置いて重要なエネルギー源であり、将来的に太陽光発電などにシフトするのはよいと思うが、今は原発を止めるべきではない。 電力が不足することにより、ただでさえ民主党の下手な国家運営により、国の経済は下がりっぱなしで、倒産する企業が相次いでいる中、これを続けると更に企業活動は困難なものになり、失業者や自殺者を増やすことになる。 原発の自己で死んだ人はいないのに、熱中症で亡くなる人は後を絶たない。計画停電により熱中症の患者や命を落とす人は増える。これはおかしいです。計画停電という名の殺人です。 それに日本に原発があるということは、中国や北朝鮮の日本侵略にに対する抑止力になっている面もあり、原発が機能しなくなることにより、みすみす国をあけわたすようなものであり、そんなことは断じて許さない。 国の指導者たるもの、この国の国民の「生命」「安全」「財産」を守れないのであれば、そのような腑抜けの政治家はさっさといなくなっていただきたい。
31164	個人	パート・アルバイト	50代	女性	「エネルギー・環境に関する選択肢」に対する意見 提示された3つの選択肢に賛同できるものがありません。 2030年に原発0ではなく即時0を目指すという第4の選択肢を求めます。	なぜなら残念ながら大飯原発は再稼働してしまったというものの現時点ほぼ原発0の状態でも私達は「生きて」はいるからです。 脱原発により産業の空洞化はじめ日本経済への損失が大きいという声も理解できないわけではありません。しかし、巨大地震の活動期に入ったとされるこの狭い日本列島の国土で再び福島の悲劇が繰り返されたら・・・私達は「生きて」いく保障さえ失いかねません。子供たちの当たり前の未来も無くなるかもしれないのです。核のゴミも重大問題！です。命の危険を冒してまで原発と心中覚悟で電気を得たいとは思いません。 去年まではそんなことは空想の世界だったかもしれません。でも不幸にも私達は悪夢を現実として経験したのです。世界最悪の大事故を起こしてしまった国としてこれを警鐘とし原発依存から抜け出す契機としないでなんとしましょう。福島の今もこれからも続く苦労も無にしてしまいます。 2030年を待たずとも現在停止中の原発を再稼働させず即時速やかに原発0を目指すという第4の選択肢を要求します。私達はさらなる省エネ節電も覚悟します。かつて求めた豊かさや便利さへの価値観も捨てます。安心して「生きて」いける日本を残したいのです。 最後にこのような重大問題はこんな短期間に密やかな方法でなくもっと大々的に正面から世に問うていただきたいとも切に願います。
31165	個人	会社員・公務員	20代	女性	3つの中から選ばなければならないのなら「原発ゼロシナリオ」を支持します。この原発ゼロシナリオに、更に省エネ・温暖化防止策に関する対策を盛り込んだシナリオを希望します。	・何故、原発をゼロにするか、増やすか、という選択肢しか無いのでしょうか。原発を徐々に減らしていく、という選択肢を作るべきです。 ・原発事故が起こり、各方面に影響が出ているというのに、まだ使い続けようとする理由がわかりません。電力会社に勤めている人は守っても、風評被害に苦しむ漁業従事者や農家は守ってくれないのですか。 ・原発関連の会社に勤めている人たちを路頭に迷わせるわけにはいかないでしょうから、原発は現在の数のまま増やさないでおき、代替エネルギーの研究開発、実用を早急に進めるべきです。日本は温泉資源が豊富なのですから、温泉観光地に影響を出さずに地熱発電をする事は、十分に可能かと思います。 ・地球温暖化についての対策はどうなっているのでしょうか。先日ボン会議があったかと思いますが、特に進展がないように感じます。日本の町の名前が付いた京都議定書が意味を成していない現状をどうお思いですか。日本人として恥ずかしいです。 ・2013年以降の世界による温暖化防止の取り組みの一つとして、原発ゼロを目指し、クリーンエネルギーの開発に取り組むべきです。
31166	個人	その他	20代	女性	わたしは、原発0シナリオを選択します。	わたしは、原発0シナリオを選択します。 東日本大震災を経て、改めて命の大切さを感じました。 原発には今まで私たちの暮らしを支えてきてもらった感謝の気持ちがありますが、人間が制御できないものをこのまま残しておくことはとても不安です。 これから何万年と残る放射性物質をこれ以上増やさないために、未来の子供たちのためにも、原子力はなくしていきたいです。
31167	個人	パート・アルバイト	30代	女性	絶対、原発ゼロ！！ 国が電力の規制を定め、自然エネルギーを確保してはいかがでしょうか？ 電力による儲けに対しての依存はもう終わりにしましょう。	忘れもしない昨年の3.11。今回の震災により二次災害で起った人的災害。 原発による日本列島の放射能汚染。 空や大地や海が汚され、目に見えない放射能に脅える日々でした。 私達人間は、放射能汚染に我慢し耐えるか…東北・関東地方を離れるか… 僅かな選択肢しか与えられず、また、自然は放射能汚染を受け入れるしか術がありませんでした。 変えられぬ過去ではなく、変えられる未来に「今」希望を抱きます。 只々、同じ事を繰り返さない為に。 脱原発。 現在、日本の電力は電力会社が所有しています… 今回明るみになったのは、原発城下町への過剰な巨額寄付。過剰な施設投資。 そして、原子力研究開発機構への過剰な巨額寄付。 一体、今まで幾らの金額が使用されたのでしょう。 この無駄を省くだけで、日本の未来は変わると思いませんか。 そこに執着する限り、何も変わらないと思いませんか。 電気料金で儲ける事を止め、使用出来る電力を皆でシェアしようと 考えてはいかがでしょう。 第一、企業と一般家庭の電気使用料金が異なる事が不思議です。 利益ある企業が、使用する程に電気料金が下がる仕組みとは何なのでしょう。 自然エネルギーの確保が可能になるまで、使用出来る電力を国が管理する事が 望ましいと思います。 そこで得た利益を無駄に使用するのではんく、自然エネルギーの研究に投資 して下さい。 震災後に行われた計画停電では、どの家庭もどの企業も電気の使用を制限され ましたが皆どうにか過ごしました。 行わないだけで、出来ない事なんてありません。 まず、第一歩を。。。 私事ですが、初秋に結婚が決まっています。 いずれ命を授かり、この世に、この日本に一つの命が誕生します。 どうか、未来の子供・孫、その子供・孫…。 命のリレーが、原発によって私達人間の手によって途絶えない事を 祈るばかりです。
31168	個人	会社員・公務員	20代	男性	ゼロシナリオを希望します	再び原発事故が起きてからでは手遅れです
31169	個人	会社員・公務員	50代	男性	当面20-25%を維持し、福島第一の教訓を検証し、組織体制の強化とともに、自然災害にも強い安全性向上を施し、原子力発電への依存度を高め、アジアおよび世界の原子力安全をリードしていくべき。	そもそも「原発依存度を低減するという基本理念」との決定の意味が理解できない。エネルギー・環境会議における理念とは、我が国のエネルギーの安定供給と環境保全をどのような方策で行うかを示すもののはずであり、原子力発電への依存度を低減させることが何故理念となるのか？更に、このような国家の存続基盤となる政策を、国会で官僚、電力、産業界、有識者等を含めて議論することもなく、一般国民に100字で意見を求めて決定のための参考にしようとするのは衆愚政治以外の何者でもないのではないか。このアンケート結果で政府は責任を持った判断ができるのか？ 次に、今回の事故によって原子力発電の安全性を確保できないと判断できるのであれば原子力発電から撤退すべきである。しかし、東電・福島第一と同様な大地震、巨大津波を被災した東北・女川、東電・福島第二、原電・東海第2の各原子力発電所では安全を確保できたのではないか。この事実をどう考えているのか？また、原子力発電からの撤退を政治判断しているドイツを除いて、原子力発電を継続しているアジアや欧米諸国は原子力発電からの撤退はしていないし、原子力発電の今後の導入計画を見直してもいない。どの国もエネルギーの安定供給と環境保全のために原子力発電の重要性を認識した状況は変わっていないのである。このような事実を無視して、日本だけが原子力から撤退することの意味はあるのか？資源小国であるが故に技術立国を標榜してきた我が国の産業基盤をどのように支えていけると考えているのか？このような無責任というか無定見な選択肢を提示して、国民に選択させるというのが今の政府の方針は我が国を破滅させる方針とかとしか認められない。 一方、原子力発電が今回の事故も踏まえ安全を向上していくことができるとする立場に立てば、原子力発電の比率を最大でも現状以下とする根拠も薄弱である。安全向上方策を充実しながら、現状規模に拘らず適正な規模にしていくのが我が国の原子力発電への適切な依存度であるはず。 エネルギー自給率が僅か4%である事実を認識し、我が国の経済を支える産業基盤を長期的に維持・発展させていくには原子力発電の活用は不可欠である。再生可能エネルギーへの取り組みは行うべきであるが、原子力依存度をゼロとするまでの過剰な期待はドイツ、スペイン等の現状を見れば無謀であることは明らかである。我が国の原子力発電が今回の教訓を糧に、一層の安全性向上とこれを維持できる体制を整備していくことが、アジア地域および世界の原子力発電の安全確保にも貢献でき、事故発生当事国の責務を果たしていくことができると考える。
31170	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発廃止	努力すればできるなら、人間のてにおえない危険なものはなくすべきたから。利権が絡み合うのは世の常としても、絡みすぎなことが可視化されたから。
31171	個人	自営業	40代	男性	原子力発電所の全機即時廃炉を希望していますので当然ゼロシナリオを選択します。	●効率のいい火力発電と再生可能エネルギーの開発で十分エネルギーシフトしていけると思います。 ●放射能を無毒化する技術が開発されない限り、どのような理由でも原子力には反対です。 ●どうしても原子力を推進するなら、今すぐ発送電分離を進め、原子力を使わない電気を買える様にしてほしい。毒を使ったエネルギーで生活をするのは我慢がなりません！
31172	個人	その他	50代	女性	日本のような地震が多い国には原発を設置してはならない。また福島が過酷にもしめしたように日本の原発は全くと言ってよいほど地震への対処ができていない。ただちに全ての原発を廃止すべき。	原子力は安全及び安価と言う神話はくずれた。むしろ一旦問題をおこしたら何十年も収拾がつかなく被害は地球環境全体を影響する。このような危険な燃料を日本のような国土が狭く地震、津波が多い国に設置すると言うのは気違い沙汰だ。またこのような歪んだ政策を許したのは政府と原子力産業の癒着によるもの。福島での出来事は全てこの実情を暴露した。国民はもう黙っていない。
31173	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は全て、即刻、廃炉にすべし。	福一の事故で原発は人間が制御できないことが、明らかになりました。明日にでも次の事故が起きます。従って、全て、即刻、廃炉にすべし。但し、 廃炉にすると電力会社は減損をしなければならず債務超過になるため、国が責任をもって買い受けること。その理由は国が推進して来た張本人に他ならないから。そのためなら税金を投入することも止む無し。今までそれを許してきた国民にも非があると思うから。 以上、国の良心に期待する。
31174	個人	会社員・公務員	20代	女性	2030年のエネルギー・環境に関する3つ選択肢、原発依存度のゼロシナリオを支持します。原発はいりません。	必要なことをきちんと発信することをせず、隠蔽や工作ばかりが目立ち全く信用できません。エネルギー政策としてゼロシナリオを明言し、廃炉への過程をはっきりと打ち出してください。廃炉への技術推進に重点をおくべきです。また、ひとりひとりが選択の余地のある体制にしてください。電力会社もエネルギーも、選べるようにしてください。
31175	個人	学生	20代	女性	2030年までに原発ゼロ、もんじゅ廃炉を求めます。	私たちの生活には今や電気はなくてはなりませんが、その供給源が原子力である必要はないと思います。廃棄物をどこで、どのように、処分するかも定かでない、そして安全度がとても低く、何か起こった場合に私たち人間だけでなく、原子力の恩恵をうけていない地球上のあらゆるいきものにも多大な悪影響を及ぼすようなかに、これ以上私たちは介入すべきではないと思います。高い技術力や高い投資金は他の持続的なエネルギー開発に充ててもらいたいです。そのような状況に至るまでに、消費税増税になろうが、節電を強制されようが、構いません。わたしたちのまわりのいのちのこと、未来のいのちのことも考えた上での議論をお願いします。
31176	個人	家事専業	30代	女性	問題点は多々あるようですが、あえて選ぶならゼロシナリオをお願いしたい。原発をなくして、放射能におびえないですむ安全な環境を作ってほしいからです。	ゼロシナリオの改善してほしい点は以下のとおりです。 ・地球温暖化対策と、原発にたよらないことを、両立していける道があるはずです。探して提示してください。 ・化石燃料を大幅に減らし、再生可能エネルギーを増やした計画を立ててください。 ・1割の省エネではなく、もっと省エネする道を考え、提示してください。 ・原発をゼロにする時期を、明確にしてください。 ・ゼロシナリオばかり国民の負担増を強調しないでください。また、負担を軽くする方法も考えてください。 ・電力の自由化を目指してください。 なお、再処理については、他のシナリオでもきちんとノーと言ってほしいです。
31177	個人	法人等	40代	女性	原発再稼働反対について	昨年起きた福島第一原発事件以来、正しい情報が政府や東電からは出されていないように思います。 とにかく「直ちに健康に害はない」と言い続けていましたが、2014年以降から本格的に福島原発周辺の人々には癌や白血病、甲状腺の病気などが現れてくると聞きました。 原発はもう日本には要りません。 広島長崎の原爆被害に遭った日本で55基も原発が在る事自体恐ろしくて、生活していけません。 しかし、電力が足りないと言って国民に原発の必要性を訴えていますが、その根拠が曖昧でよくわかりません。 少しずつ、自然エネルギーに転換し、原発ゼロを目指してください。 アイスランドは地熱発電でやっています。 日本と同じように火山国で地震もあります。しかも地熱発電の機械は日本製です。 そのような技術があるにもかかわらず、なぜ原発が必要なのでしょう。 これ以上、国民の生活を脅かさないでください。 一部の利権によって原発を稼働させないでください。 もしまた福島原発が爆発したり、大飯原発や浜岡原発が壊れたら、福島と同じかそれ以上の被害が出て、世界中に放射能をまき散らす結果となります。 そんな危険なことをこれ以上は続けてはいけないと思います。 火力水力だけでも企業が節電していけば十分電力は足りるのです。 ぜひ国民投票でこの問題を問うてください！

31178	個人	パート・アルバイト	60代	女性	地球上どこにも存在しないことを最終目標に、まず日本国内の原発全てを即刻廃炉に。また他国への原発輸出などもってのほか。 原子力技術者は廃炉のより安全な技術、放射性廃棄物処理、内部被爆の研究を進めよ。	プルトニウムの半減期、もちろんご存知ですね。2万4000年！現在地上に生息している人間の誰が生き残っているのでしょう？ 地球の自然界に存在しない危険極まりない物質プルトニウムを作る装置が原発。 先日の反原発集会で「たかが電気」と発言され非難されているようですが、たかが電気を作るために人間が扱う範疇をこえた「爆弾」つまりは「原爆」の材料を作ってしまうのが原発。 そもそも発電装置ではない。核分裂を起こす原子炉なのです。 電気を作るのにそんな装置はいりません。 「非核三原則」のなかで核兵器を手段として原発を捨てられないのではないでしょうか？ そういう意味でも、日本にあってはならないものが原発です。 そして今現在地上にある放射性廃棄物、それを「安全に」管理できると明言できる方がいるでしょうか？ 今福島原発事故処理のため、どれほどの危険にさらされて人々が働いているのでしょう？どれだけの犠牲を強いているのでしょう？そしてこれから先どれだけ長く続くのでしょう？どれほど莫大な費用がかかるのでしょう？ 多くの人々の生活が原発によって支えられていたのは確かかもしれませんが、でもそれは今までの話で、事故以来、福島の方々をみれば分かるように生活を根こそぎ奪われ全てを失い、経済的にも原発は人が頼れるシステムではないことが判明しています。 危険であり、不経済、あらゆる点において原子力発電所は即刻すべて廃炉にする。再稼動などんでもないことです。
31179	個人	家事専業	50代	女性	(1)ゼロシナリオ　を選択します。それ以外は、有り得ません。	原子力発電所を54基も持っているということは、将来その核燃料廃棄物が日本の国内で処理されるということ。その放射性物質が、生命に影響を及ぼさなくなるまで何百年かかりますか？人間の出来ることには限界があるので、核燃料廃棄物の処理施設でも事故が起こるかも知れません。不安を抱っていないのではなく現実にあり得ることです。たとえ将来それでひとが死んでも、どこの市町村が住めなくなっても、発電に付いてくる利権を手放したくない人々のせいで、原因が特定できないとかで、国民は少しずつすこしずつ殺されていくのと同じだと思っています。たった今の便利な暮らしよりも、必ず待っている核燃料廃棄物への対策をどうするつもりなのか、政府は国民に説明して下さい。国が公立の学校に配布している、原子力に関する情報で安全を刷り込むような印刷物をすぐにやめて下さい。わたしの税金でこどもたちに不完全な情報を出さないでください。誰も責任を問われないということを利用して、勝手なことをしないで下さい。2030年までにもんじゅ廃炉をお願いします。
31180	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発再稼働には反対します。大飯原発は秋に停止してください。	長期的にエネルギー政策を立案し、実行に移してください。 将来的には、原発0にする目標で計画の作成をお願いします。 電力需要が一休みする秋に大飯原発の稼働を停止してください。 今から実施することを望みます。
31181	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオを支持します。	今回の震災において、原発における危機管理のずさんさが露わとなり、原子力発電所の非常事態発生時に備えたリスク回避、また、事故後のハザードに十分対応できる組織や仕組みは存在しないことが立証されてしまったといえる。歴史では多くの事故や事件を失敗として反省し、それらを克服してきたが、今回の事故を一つの「反省」として次に進むには、被害規模があまりにも大きすぎ、2回目の事故の発生に対して「ゼロリスク」すなわち原子力発電所をゼロにする、「ゼロシナリオ」以外に支持できる案はない。 なお、今回のシナリオ提示内で明らかにされていない「ゼロ達成目標年」「代替エネルギー開発政策」「エネルギー消費量の削減具体案」を早急に策定、提示すべきとも考える。
31182	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオに賛成です。理由は他に選択の余地はないからです。ゼロシナリオを実現するためには、官僚と政治家の首のすげ替えが不可欠と思われますが、これを読んでいるあなたもその対象です。	ゼロシナリオに賛成です。 圧倒的多数が脱原発を主張している中、未だに原発の存続を選択肢に入れているあなた方官僚はもはや地獄の餓鬼のような存在です。他人の生活を踏みにじって成り立っている自分達の裕福な家庭を恥と思わないのです。弱い人たちへの思いやりのない両親の元に育ったあなた達の子どもが最近のいじめの犯人達ではありませんか。自分達の生活さえ良ければいいというあなたが官僚の態度が、福島の被害を増幅しています。 さて、政治家に目を向ければ、日本に理念を持った政治家はいません。ドイツが倫理的な理由から脱原発を決めたことを理解できる政治家はいません。金金金です。オリンピックのことではありません。金をくれるお友達がやさしい良い人に見えてしまう精神の貧困な人しか見当たりません。だから、志を高く掲げて政権をとっても、周囲からいじめられると、お金持ちクラブの親切に戻ってしまうのです。 本題の原発ですが、もし技術が進歩して経済的合理性が証明できたとしても反対です。放射能を無毒化する技術が確立しない限り、いつ誰が死ぬか分かりません。事故は必ず起きます。毒物を大量に生み出し、その管理方法が確立していないというような幼稚な技術は技術と呼ぶに値しません。 もし、政府の中にお金持ちクラブからお金をもらっていない、良心の残っている人がいるのであれば、あなたは何のために脱原発を止めているのかを聞きたい。金をもらっている野田以下下司野部は福島に島流しにしたい。
31183	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオ。2030年に0%ではなく、ただちに0%に すべき。安全性が確保されていない、コントロールできない、後始末の方法が確立していない原発は動かすべきではない。	ゼロシナリオ。2030年に0%ではなく、ただちに0%にすべき。安全性が確保されていない、コントロールできない、後始末の方法が確立していない原発は動かすべきではない。
31184	個人	無職	60代	男性	福島原発事故が教えたのは核物質は一度制御を失うと途方もない被害をもたらすと言うことだ。核廃棄物処理の見通しもないまま原発に頼り続けることは財政赤字以上の害悪を後世に押しつけることだ。原発即時廃業。	福島原発事故から一年以上たっても、原発から放出された放射性物質は広い地域にわたって汚染し続けています。私が住む郡須町は福島原発から100キロほども離れていますが、庭の土壌をサーベイメーターで測定すると今でも0．5マイクロシーベルトほどの放射能が検出されます。「ただちに健康に影響はない」のですが、私たち住民は低濃度放射線を毎日浴びているわけで、その影響の結果は10年から20年後に徐々に明らかになるでしょう。 原発を停止すると電力が不足し、産業活動に悪影響を及ぼすと主張する人もいますが、格納容器破壊という最悪の事態を免れた福島原発事故でさえ、100キロ以上の広範囲にわたって自然環境を破壊しただけではなく、人が生活する基盤自体を破壊したのです。東京電力は移住を強いられた人たちにはある程度の賠償金を支払っているようですが、汚染された自然を元に戻すことはできません。「移住するほどではない」つまり「直ちに健康に影響はない」地域に住んでいる私たちの生活破壊については一切「知らん顔」を決めゴンっています。 工場が川を汚染したらそのエ場は操業を停止し、汚染について賠償責任を負います。ところが放射性物質をこれだけ広範囲にばらまいても東京電力の企業責任を法的に問うことができないでいますし、経営者が起訴されたということもありません。原子力発電ようものは国家戦略の一つであり、また事故に伴う被害の規模が大きすぎるので、企業責任を問わないという無責任体制のもとでしか運営できないものだからです。 こういう、無責任という形でしか運用できないものを「私の責任」で再稼働を決定することは、「責任」という言葉の遊びでしかありません。 核物質を人間が利用して電力を作り出すことはできても、その後に残る核廃棄物の処理については、こうすれば大丈夫という目処はまだ立っていませんし、おそらくこれからも立たないでしょう。地中深く埋めることくらいしかできないのですが、そういう施設の耐用年数と核廃棄物の半減期（プルトニウムは2万4千年）を比べてみて、「これで安全だ」とか言う人間は狂気に陥っているのです。 これまで原子力利用は国家戦略として位置づけられ多額の資金が投下されてきましたが、その投資を再生可能エネルギーの開発に振り向ければそこに新しい仕事が創出されますし、新しい技術が開発されれば、地球環境を守るということに関して日本が世界のリーダーにもなりえます。 現在、原子力関連で利益を得ている組織・団体が既得権益を守ろうとして「電力不足」という恫喝をかけていますが、そういう人たちは福島原発事故の被害者から目をそらし、地球規模での人類の課題に取り組む長期的視野も持ち合わせいないのです。作ってしまった原子力発電所の維持管理費・解体費の捻出など、課題はありますが、今を好機として新しいエネルギーの創出に向かうべきだと思います。
31185	個人	自営業	30代	女性	ゼロシナリオを支持します。再稼働も反対です。今すぐ全ての原発を廃炉にしてほしいです。	フクシマですべてを学びました。福島だけでなく、日本という国、地球という星の健康と平和を脅かす可能性を持っている原子力発電。もうこれ以上共存したくありません。私は日本人は原発に頼らないでも、真の意味での豊かな生活を創造する力があると信じています。ゼロシナリオで提示しているよりも、もっと多くの自然エネルギーをつくり出すことができると信じています。よりいっそうの省エネをする気持ちももっています。
31186	個人	学生	20代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。原発は可能な限り早く廃炉に。電力需給などの問題ですぐには無理なら、今後数十年のうちに原発なしで日本の電気を まかなえるよう中長期計画を立ててそれを実行して下さい。	原発は可能な限り早く廃炉にして下さい。原発は事故発生時の被害が大きすぎるだけでなく、処理不能の放射性廃棄物を出し続けるので、続けるのは現実的ではありません。 核燃料再処理サイクルもまともに動かず、続けるのは無理です。また、放射性廃棄物を埋める「確実に安全な深い地下」など地震国日本には存在しません。数万年後まで責任をとるなど不可能です。 これ以上危険な廃棄物を増やすことなく、一刻も早く原発を止めるべきです。 即刻全停止・廃炉が電力需給や雇用の問題で不可能なら、今後数十年のうちに原発をやめて日本の電気を他の発電方法でまかなえるよう、中長期計画を立ててそれを実行し、再稼働は必要最低限にとどめてください。そのための議論をすぐに始めてください。再生エネルギーの推進などを経済の活性化につなげることは十分可能だと思います。 なんら脱原発につなげる議論もないままなし崩しで原発を再稼働するのはやめてください。現在の政権は脱原発を掲げているのを忘れたのですか。原発のない日本を望む声を聞いて下さい。
31187	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は即廃止し、核廃棄物の処理に注力すべし。 モラルハザードの象徴である東京電力福島原発に関して監督官庁、事業者の責任の所在を明らかにするべき。東京電力は破綻処理しかない。	事故発生時に高リスクな事象が発生する原発はコスト面からもメリットなし。 また核廃棄物の処理方法さえ確立されていない状況で、これ以上稼働などありえない。 またこのまま監督官庁、事業者を見過ごしては、モラルハザードに歯止めが効かなくなり、日本という国家が崩壊する。事故関係者すべてに相応の責任を取らせ、未来へ向かうという意思を国民に見せなければならない。
31188	個人	無職	70代	男性	既に溜まってしまっている多量の核廃棄物、その放射能が無くなるまでに数十万年を要するという。だから子孫に対する責任を果たすためには原発を全て廃炉にするしかない。	二度の核爆弾を浴びた日本、そして福島の原発事故を経験したわれわれ日本人、全世界の人々に対し原発事故に対する責任を負う日本。政治家や保守思想家の中には、昔から核武装論者がいる。だから。核武装を許さないためにも、その材料を提供する原発はすべて廃炉にしなければならない。 これまで原発を造り維持するためにおびただしい額の金が注がれてきた。今こそその全額を再生エネルギーの創出のために振り替えることにより、原発が発電する総エネルギー以上のエネルギーをたっぷりと造り出すことができる。
31189	個人	無職	50代	男性	「ゼロシナリオ」を推進すべし	(1)「原発否定の理由」 ・地震大国「日本」に原発は危険すぎる。 ・福島第一原発の教訓から一旦事故が発生したならば、制御不能となること。 ・「喉元過ぎれば熱さ忘れる」の典型、再び発生すれば日本存亡の危機となること必定 (2)「代替エネルギー」 ・埋蔵量が豊富なシェールガスを早期に安価で輸入する努力をすること。 ・シェールガスの温室効果ガス排出量が既存化石燃料よりも大きくなる不安が あるとさくが我が国の先端技術をもってすれば解決出来ないことではない。 ・上記ガスで当面の需給をカバー、その間再生可能エネルギー開発を推進せよ ・再生可能エネルギーが「開発コストが高い」とか、「経済性に問題がある」とする原発推進派の意見を耳にするが、そうやって「やりたくない」⇒「出来ない」という理論にすり変えてはいけないし、技術革新の好機ととらえるがいい。ドイツが好例である。 *2030年に固執せずともよいと思う
31190	個人	自営業	50代	女性	原子力発電への依存は、0にして頂かなくてはなりません。	「核エネルギーを安全に、無害に取り扱い得る技術水準」に、人間は達しておりません。原子力発電は、稼働の現場で、人の命の犠牲を必要とする、非人道的な産業です。研究に、国レベル、世界レベルのサポートを施し、廃炉と、放射性廃棄物の封印に尽力し、原子力発電への依存は、0にすべきだと思います。福島で、原子力発電所の現場で、事故の収束作業にたずさわっておられます、と申しますか、日々、事態の進行を、生命を賭して食い止めておられます方々を、心身ともに保護し、将来にわたって十全に遇し得るための法整備などが施されますように。
31191	個人	会社員・公務員	20代	男性	泊原発再稼働反対！！	泊原発再稼働反対！！ 原発なくても電気は足りる北海道の電力情報 北海道の過去最大電力使用量(発電端1日最大値)は、 2011年1月12日の578.8万kWなんだって知ってた？ Q:北海道は電気をどれくらい使ってる？(ピーク時の最大使用電力ver) 1980年 291万kW 1990年 380万kW(1989年 泊原発1号機運転開始) 2000年 525万kW(オール電化住宅等の普及による増加) 2010年 578万kW Q:北海道電力の発電能力はどのくらい？ 火力発電 11カ所 406万kW 水力発電 53カ所 123万kW 地熱発電 1カ所 5万kW 原子力発電 1カ所 207万kW 合計 66カ所 741万kW(ほくでん：発電総配電設備 2009) そしてこれは北電の設備だけの話で、他の発電事業者148万kW北電に電気を 卸しているんだよ。 合計で889(赤文字、大文字)万kWも発電しているのだ!! 道内総発電能力 - 原子力発電所(黄色文字) 889万kW - 207万kW 682万kW 計画停電必要ありません!! Q:泊周辺の雇用はどうするの？ 原子力発電所の廃炉には時間もかかるし、再生可能エネルギー事業への転換で雇用は可能です。 【北海道反原発連合として政府?北電へ要求すること】 ■泊原発廃炉 ■現在、建設中の京極発電所などの発電源を早急に確保すること ■高速増殖炉もんじゅの廃炉 ■MOX燃料の使用禁止 ■幌延町核廃棄物施設誘致に反対 という、資料を札幌市内で見かけたのですが、本当ですか？ 色々あると思いますが、僕は再稼働反対です。 宜しくお願い致します。
31192	個人	学生	10代以下	男性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます 理由） 原発は、確かに大きな電力を生み、人々の生活を豊かにしてきたが、今回の福島第一原発の事故のように、一度事故が起きれば二度と取り返しのつかないことになってしまう。 日本には、活断層が多くあり、今回問題になっている大飯原発の下にもあるのではないかと言われている。そのような問題があるなかで、これからも原発にこだわらなくても、自然エネルギーをもっともっと活用すれば、原発にも負けないぐらいの電力が賄えるはず。 しかも、例年よりも節電に力を入れても生活は成り立っている。 だから、僕は原発をなくしていきたいし、それは可能だと考えている。

31193	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発0パーセント！もう日本に原発はいらない！	核のごみをどうするのか？全く手立てのないまま、強引に再稼動するべきではない。核のごみ問題だけではなく、日本はあきらかな地震国。そこに原発施設を持つことは許されないはず。福島の大惨事は教訓にならないのか。収束してもいない危険な状態が続いているにもかかわらず、国民の為に必要以上の電気をなどと歴史に不名誉な名を残すことのないよう、今の政治家のみなさんに即刻脱原発を強く要望します！
31194	個人	会社員・公務員	30代	男性	速やかに原発0に	一度事故を起こしたら多くの犠牲と精神的苦痛を生み出す原発は絶対に必要ない。 原発に頼らない国づくりへの負担は惜しまない。 必ず原発0案を国の方針として選んでほしい
31195	個人	無職	60代	男性	「原発ゼロシナリオ」を選びます。	「原発ゼロシナリオ」を選びます。 地震国の日本、東海東南海南海地震やそのほかの地震の発生の可能性があり、かつ現在の原発立地の中には活断層があるものもある。また数10mの津波に耐えられる原発はまだない。巨大地震や活断層地震に対して全く安全な原発は出来ていない。また、使用済み核燃料の処理技術もまだ絵に描いた餅状態である。地中に埋めてしまえば、漏れ出した時に対処のしようがないような危険な物を、負の遺産を子子孫孫に管理をさせる事は現代に生きる我々としてはやってはいけない事である。 自然エネルギーは多くは不安定であるし、まだまだ経済性がない。ここ10－20年は化石資源に頼りながら、自然エネルギーの技術開発に、公的な資金をつぎ込むべきである。化石資源は、多国から如何に安定して購入するか、政府はもっともっと戦略的外交を行うべきである。 それまでは、電気代は高くなっても、産業部門には負担させずに、一般家庭部門で負担するような形にすべきである。原発を無くす選択をするなら、一般庶民は痛みを分かち合うべきである。
31196	個人	その他	30代	女性	原子力発電は0%にしてください	できるだけ速やかに、原子力発電は0%にしてほしいと思います。もんじゅ、常陽も即廃炉を希望します
31197	個人	自営業	50代	女性	国家戦略として、人間と環境を破壊する全ての原発の廃炉と、原発以外のエネルギー産業への転換を求めます。	国を守っても、国民が原発による被害で健康を害してゆけば、国は支えられません。 どのように世論を操作しても、原発事故による汚染は明白になってきています。 国民と国土を犠牲にして、日本は何処へ行くというのでしょうか。日本の存続のために原発を止めるべきです。
31198	個人	パート・アルバイト	40代	女性	福島県出身です。 3.11から福島の時計は止まったままです。 ゼロシナリオです！！	宮城や岩手は震災の復興が徐々に進んでいますが、 福島の復興は一つも進んでいません。 正直、「遊びに来て」と言えません。 いつになったら以前の福島に戻るんでしょうか。
31199	個人	パート・アルバイト	30代	女性	政府の出した3つの案の中ではゼロシナリオを支持します。	本当は今すぐに大飯原発を止めてゼロを実現させたいです。 原発が一つでも動いている限り福島のような悲惨な事故は起こりうるので、その依存度が何パーセントであれゼロでない限りは支持できません。 ゼロを実現させるためには、まず送電網を国有化にし電力会社に競争原理を取り入れることが必要です。色々な会社が発電に関わるなかで日本の技術を結集させれば脱原発は必ずできると思います。 これまでの日本は電力をぜいたくに使いすぎたと、今たくさんの人たちが反省して生活を見直しています。ある程度のがまん、節約は日本人の得意技ではないですか？　もう始めている人はたくさんいます。 国の未来・国の宝である子どもたちのために、また、おとなたちが自分の国に誇りを持てるように、どうかよろしくお願いします。
31200	個人	家事専業	40代	女性	原発を今すぐ止めてください	原発以外の発電方法で電気は十分にまかなえているようです。 世界唯一の被爆国、日本は原子力に頼るべきではないと思います。 次の大地震は明日起こるかもしれません。今すぐ止めてください。
31201	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロを望みます。	日本のような地震大国ではリスクが大きすぎると思います。 原発に代わる「自然エネルギー」に転換する議論 開発、実現へ向けての投資 いくつも考えなければならない問題があるのだと思いますがを 今すぐにとは行かなくとも変えてゆくべきだと思います。 健康を害して明るい未来はないと思います。 経済は国民が健康に生きているから成り立つものだと思います。 福島の方々の苦しみ、忘れるべきではありません。 現代社会では電気は必要です。ない生活はあり得ない。 でも発電方法は原発でないといけない理由が分かりません。 自然を利用した発電方法に転換してゆくことを強く望みます。
31202	個人	家事専業	30代	女性	日本国内における全ての原発の即廃炉、脱原発を望みます。	福一の事故後、何一つ解決しないまま、今後も解決できそうにない問題ばかりを生み出し、再稼働。この事故で原子力は人間の手には負えないとわかったはず。 節電を呼びかける前にもっと出来ることはあるのでは？ 世の中、いらないものが多すぎます。 そして汚染食品に対して一言。食べても安全、なら、東電の社員食堂と、政府関連の食堂でまず消費して下さい。 福島が住んでも大丈夫、なら、国の機関を移転したらどうでしょうか？ 命、生活の安全と引き換えのエネルギーだとしたら、考えなおすべきです。
31203	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオを選ぶ。	原発ゼロシナリオを選ぶ。 原発稼働により生み出された使用済み核燃料について、高レベル放射性廃棄物の冷却は数十年単位。その後の監視・管理は数百年～数万年単位。 後世に非常に重い負担を押し付けてしまった現世の身勝手。 今からやらねばならないことは、過去に生み出してしまった放射性廃棄物の最終的な処分技術の確立と（それを名目にした核燃料サイクル（兵器用プルトニウム生産）は論外）、これ以上使用済み核燃料を増やしてはならないこと。 原発稼働は即時中止しなければならない。
31204	個人	無職	30代	男性	2030年までに廃炉。なるべく速やかに。	原発ゼロシナリオを強く望みます。民意を無視した政治にならないでください。謙虚になりましょう。人間だけの世界ではないのです。原発を0にするために共に知恵を出しましょう。エネルギー産業に多くの企業に参加してもらい、よりよい電気を生み出しましょう。発送電分離にすれば、よりよい技術が生み出されるでしょう。
31205	個人	会社員・公務員	50代	女性	ゼロシナリオ．もしくは　原発ゼロ　に　加えて　温暖化対策目標を強化した第四のシナリオを支持します。	原発は安全面でも、関連するコスト面でも、問題が多すぎると認識しています。 今、原発関連に費やしている資金を省エネや，再生可能エネルギー関連に回せば，原発ゼロ十分賄えるという試算もされています。 来る少子高齢社会においては，重厚長大産業型のエネルギーに偏ることなく，より身近なところで小規模，低コスト，幾つかの選択肢のあるエネルギーを用意しておくことが大事だと思います。 これはまた災害対策にも直結するものと考えます。
31206	個人	無職	50代	女性	原発再稼動しやすい電気代を供給して	介護現場にいましたが　計画停電など起きるとエレベーターが止まるなど　足腰の不自由なお年寄りは　移動できません 電気代が安くないと　冷暖房の節約などで　高齢者乳幼児は死につながる危危険があります。 放射能で日本で亡くなった人はいませんが、熱中症で毎日人が死んでいます 放射能が飛散しない新しい原発施設など　安全性を高めた一層の技術革新をして国民を安心させるべきです。 日本の周辺諸国が　原発建設を進めているのに　高い技術力持つ日本が原発を止めるのはナンセンスです。 原発を止めろと言っている人達と電気代を分けて徴収して欲しいくらいです。 火力発電や代替エネルギーで電気代どれくらいになるかも　国民に説明すべきです。電気代によっては　国民の　意見も変わると思います。
31207	個人	自営業	40代	男性	1．ゼロシナリオを選択します。	地震国、日本では原発の運用自体に無理が有る。 更に地震の活動期に入った現在、廃炉を遅らせればそれだけ新たな災害による事故のリスクが増すので極力早期の原発ゼロを目指すべきだと思う。 そもそも人間のコントロールの範囲を超える物、自然に致命的ダメージ を与える物を運用すべきで無いのは今の福島第一原発の状況を見ても明かで、 その他の原発の廃炉も議論の余地が無いと思う。
31208	個人	法人等	30代	女性	2030年までになるべく速やかに原発ゼロ、もんじゅは廃炉に	史上最悪と言われる、福島原発による放射能汚染。 まだまだ避難される方々，自殺があとを絶たない中、また、未だ福島原発爆発の原因・状況の解明がなされていない中、一度事故が起きてしまったら取り返しのつかない原発の再稼働をしてしまうことはあり得ないことだと思います。 これを機に、日本は世界の先頭となって、今までのシステムを変えていかなければならないのではないでしょうか。 変化していかないこととは、衰退していくことと同義だと思います。 一年半前の出来事を、 無かったことには出来ないのではないでしょうか。
31209	個人	会社員・公務員	30代	女性	原子力の発電におけるパーセントは2030年までにゼロにすべきだと思います。	なるべく速やかに、原子力発電ゼロを実現するための準備を議論して、国民みんなで考えていくことが必要だと思います。新しいことを生み出していかないと、国は錆び付き輝きも失っていき、日本で生きて行く希望も薄らいでいくような気がします。
31210	個人	会社員・公務員	20代	男性	2030年までになるべく速やかに原発ゼロ、そしてもんじゅは廃炉に。 そして自然エネルギーに代替すべき。	現在の電力システムは、第二次世界大戦後に形成された電力の独占と総括原価方式といういくらコストをかけても電気料金に上乗せでき、一部の独占者に対し、一般の国民が負担するシステムである。 自然エネルギーは原発のように巨大資本はいらず、地域分散型の発電（各地域でいろんな人が発電、使うことができる）を行うことができる。分散型エネルギー社会では、エネルギーを通じて、お金と雇用を生み出し、地域社会の活性化に繋がるメリットがある。
31211	個人	会社員・公務員	30代	男性	1、ゼロシナリオを選択します。 選択肢が3つしかないので、1を選びましたが、即刻廃止を望んでいます。	リスクヘッジが出来ないものに対して稼働するという見解がそもそも理解できません。 企業や個人、その他の利益や損得を一切排除して冷静な常識ある判断を望みます。
31212	個人	自営業	30代	女性	エネルギー・環境に関する選択肢で、提示された3つのシナリオのうち「原発ゼロシナリオ」を支持します。	原発ゼロシナリオ」を支持します。 福島の事故以降、原発の安全性に疑問を感じるようになりました。安住の地を失くされた方々の事、これからの世代の事を思うと、何があった場合に人の手に負えないような物を扱ってはいけないと強く思うようになりました。技術的に発展をし様々な自然エネルギーを実用化できる時代になった今、脱原発にむけ私達世代が動かなくては、これからの日本を担う世代に申し訳ないと思います。 事故は本当に災難ではありますが，立ち止ってしっかりと考える良い機会になったと思います。 人の命、自然の命以外に大切にしなければならないものなんて存在しません。 日本には沢山のすばらしい技術があります。 この技術が今まさに必要とされています。 美しい日本と地球の為に、私達がやるべきことのまず第一歩を踏み出すべきです。 原発がゼロになっても、残ってしまう課題は使用済み燃料の事、廃炉後の処理、地元自治体の現実など山の様にあると思います。しかし一年でも早く方向転換をし、真に安心安全なエネルギーが普及していけるように、政府と国民がひとつになれたら素晴らしい未来が待っていると思います。 新たな自然エネルギーの発展と共に、原発がゼロになる事を切に願います。
31213	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発ゼロシナリオ（即時）	ふくいちと東海第二原発に関まれ、明日来るかもしれない地震に怯え暮らすのはもうたくさんです。 東北大震災で、ライフラインが全滅して感じたのは、電気があっても私たちは生きれないってこと。私たちは水と食べ物で生きてるんです。 そして、呼吸、空気です。 その空気と水と土を汚染され、奪われた今、せめて汚染を免れた地を守りたい。 これ以上の親ばくは勘弁願います。 保養の地をこれ以上奪わないでください。 全国の原発を即刻止め廃炉にしましょう。 非戦の誓いを守りましょう。 今がターニングポイントです。

31214	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年を待たず、今年、来年くらいのタイムスパンで建設中の原発を含めた全炉について廃炉・廃止作業に着手し、可及的速やかにゼロとすべきである。	1）使用済み燃料の再処理技術が当面確立できないこと、既に保管場所が満杯に近いことが福島事故をきっかけにいみじくも公になった以上、原子力発電所の再稼働によりこれ以上使用済み燃料を増やすことは最早許されない。保管費用の後世へのつけ回しといった金銭面の問題と同時に、大変な世代間不公平感、モラルハザード等の問題を惹起し、相互扶助心、愛国心といった国の道徳的存立基盤の骨威となる。 2）天然ガス、再生可能エネルギーの活用が十分ではない現状でも、出来る範囲の努力により電力不足がさほど目立っていない事実を踏まえ、電力会社の経営問題さえ脇に置けば、国民にとって原発を無理に動かす必要は全くない。ただし、火力発電燃料費増大分はこれまで安い電力料金をエンジョイしてきたツケであると位置づけ、今生きている世代が負担増を甘受するほかない。廃炉費用も同様の意味あいから早期の費用化開始が望ましい。 3）全世界的な地震活性期に入ったと言われているが、原発敷地内の活断層や過去の地震履歴についての調査・発電所基本設計への反映が不完全なままであり、一定の安全対策が完了する前に次の被害が生じる可能性が否めないので先を急く必要がある。揺れによる配管等の破断といった、福島原発のハード面での事故原因も未だ明確になっておらず当該安全対策に反映されていないなど、いまだなお安全対策そのものが、ある一定の想定を超えないレベルであり、透明性・スピード感が一向に高まらない現状から、民間の電力会社による安全対応・責任負担にもはや不可能と判断せざるを得ない。 4）大地震や巨大津波のみならず、太陽のスーパーフレアを含む宇宙的な異常気象等についてすべて織り込んだプラントはこの世に存在しおらず、福島事故のような想定外の過酷事故が今後も起こりうる。 5）玄海1号機を筆頭とした脆性破壊の懸念がありながら、人為的に決めた40年という稼働年数を前提としたパーセンテージの選択には何ら意義を見出せない。 6）平常運転中であっても高線量被爆労働者を多く生み出しており、人権軽視が甚だしいことも露見したため、先進国が持ちつづけるべき技術として最早適切ではない。 7）日本は島国国家であり、土着傾向が大陸住民よりも強いため、国土の喪失・汚染という半永久的なショック、有形無形資産の無価値化を乗り越えてまで原発に拘りつづけるインセンティブが最早存在しない。経済を原発に依存してきた立地自治体に対しては、自助努力を促しつつも、補完措置として廃炉ビジネスや再生可能エネルギーの分野で生きていけるよう国がリードしなければならない。 8）新設の原子力規制組織の独立性・透明性を幾ら高めようと、経産省・文科省や原子力事業関係者の囲い込みの徹底ぶりからして既成観念・人的ネットワーク・過去のしがらみ・既得権益等からの脱就・脱却は殆ど期待できず、従前からの責任不在の内部寨制を改善することによって次の過酷事故を防止できる保証がどこにも見当たらない。
31215	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力発電に依存しない発電システムの再構築を求めます。	昨年の東日本大震災の影響で東京電力福島第一原子力発電所が大事故を起こしました。 もはや、原子力に依存した電力は望めない環境にあることは既知の通りであるにもかかわらず再稼動をさせた国の判断は極めて大間違いであるといえます。完全な原因究明がなされていない環境において再稼動を強行したことによる国民の不信感は増大しています。目先のお金だけにとらわれることなく大局的見地に立って国民の安全・健康を守るという観点から最終的な目標として原子力依存率を0%とし、原子力以外の既存発電を活用しつつ、新たなエネルギー開発に十分な予算をつけたうえで早急な構築が求められます。原子力発電はもはや安全性・信頼性ゼロのものであるといえましょう。
31216	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発依存度はゼロ0%。これ以上核のごみを増やすのは反対。まして、原発輸出なんて無責任です。廃棄処理に何万年も要埋しなくてはならないエネルギー、即刻、安全な自然エネルギーに転換するべきです。	いつの世も、お金が世界を動かしているのだろうなという物質至上主義の世の中の末路に来ている気がします。戦争がなくならないのも武器製造ビジネスがあるからだし、核がなくならないのも原発があるから。どちらも人間の強欲から生まれたものです。日本人のすばらしさは3/11の地震津波の日に世界中にクローズアップされた理性と他人を気遣う涙とた沈着冷静さです。筋の通らないことを続けるのではなく、世界をリードしてエネルギー革命を起こしてほどうでしょうか？技術力のある日本に起こった試練に立ち向かってこそ日本人の意地を見せるときではないでしょうか？いつか核廃棄物も無害なものに浄化してしまうような奇跡の技術が生まれるかもしれませんん。もちろんその時は原発など過去の負の歴史となっていることを望みます。 新しいエネルギーシフトに伴って拡大するビジネスに日本人の新たな夢を道筋立ててはいかんでしょうか？夢を失っている若者を取り入れて一緒に盛り上がって行けたら、いろんな社会問題も明るくなっていくかもしれません。 今までと同じことをやっていてはだめだと感じるのです。
31217	個人	その他	10代以下	女性	1の原発ゼロを選択します。 でも本当は今すぐゼロにしてほしいです。	原発はこわいです。 安全なものが食べたいです。 これから大人になるまでにまた事故が起こらないか心配です。
31218	個人	会社員・公務員	70代	男性	原発0%　2030年などと言わず、今すぐやれ!!	原発など即廃炉するべきだ!! 子々孫々に原発の危険を残すとは何事だ!! けしからん!!
31219	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発について	「2030年までになるべく速やかに原発ゼロ、そしてもんじゅは廃炉に」
31220	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発は2030年までに0に。?を選びます。	前にも書いて送ったのですが、?の、2030年までに0に。 を明記せずに送ったので、再送いたします。 即廃炉がいいのですが、この三つから選ぶなら ?です。 原発の安全性について、政府も原子力関係者も全く信用できないので。 あとは、核廃棄物の処理の問題。被爆労働者の問題。 既得権益の問題、などなど。 原発はやめても電気は作れるし、これからは、もっと原発による 電気は高くつくこと。 事故が起これば、人々は、被曝し、命や健康、財産も仕事も 生活も失うこと。 原発は、いらないです。
31221	個人	家事専業	70代	女性	3つの選択肢の中からであればゼロシナリオ（2030年には原発ゼロ）ですが、即刻ゼロが望ましい。	再生可能エネルギーへの転換が急務。地震大国・活火山の多い日本においては地熱発電が最も合理的で、開発面において日本がトップを築ければ、経済効果も計り知れない。
31222	個人	無職	60代	女性	原発ゼロを目標に新エネルギーの開発に全力で当たるべきだと思います。 原発は地震により損傷を受け汚染を引き起こすことは福島の事故で明白になりました。日本中が汚染されたら日本人はどこも逃げられません。	実際、事故が起これば手の施しようがない原発への依存率をできるだけ早く0%に持っていけるように、代替エネルギーの研究、開発を国の最優先課題にすべきと思います。 その間に起きる多少の不便、節電は私達の責務だと思います。 福島の原発事故後、各国は日本からの輸入を禁止・制限しました。 一たび、原発事故が起これば こんな風な影響も出ることを身をもって経験しました。 また、大勢の人が住んでいる土地を汚染されて、追われて人生を狂わされました。 世界中回ってみて、日本ほど自然に恵まれた国はないとつくづく感じます。 この美しい国を子や孫の世代に絶対に残さないといけません。 それでなくても、私達は、自分達で処理できない「原発の廃棄物」という負の遺産を残さざるを得ない立場なのですから。
31223	個人	その他	60代	男性	◎ゼロシナリオを支持、今すぐ原発をゼロにするべき。 ○パブコメなど「国民的議論」の期間は延長すべき。 ○使用済み核燃料は「再処理」をせず、「直接処分」すべき。	◎ゼロシナリオを支持、今すぐ原発をゼロにするべき。 福島原発事故の甚大な被害を考えれば、原発を維持する選択肢は考えられない。原発自身が人類がコントロールできない技術である上に、世界的にも地震多発地帯・「地震の巣」の上に位置し、しかも地震の大活動期に入ったといわれる今日の日本列島においては、明日にでも再び大地震が起こる可能性があり、羽鳥光彦気象庁長官が7月10日に国会で述べたように、マグニチュード6以上の大地震は、科学的に日本のどの原発直下でも起こる可能性があり、2030年といわず、今直ちに、全原発を停止、廃止すべきである。日本は、先の大戦で、広島に原爆を落とされても戦争をやめず、さらに長崎に落とされてやっと終戦を受け入れたが、第二の「フクシマ」を経験して、やっと原発をやめる愚を繰り返してはいけない。経済性を議論する以前に、人類そのものの生存を脅かす、原発は直ちにやめるべきであるが、福島原発事故でも明らかなように事故が起こった場合の膨大な費用や将来の世代にわたって超長期間の危険と負担を負わせることになる核廃棄物の問題を考えると、原発は経済的にもとても成り立たないものである。 ◎「国民的議論」と言いながら、期間が余りにも短過ぎ、拙速すぎる。そもそも選択肢の提示が、本来は今年春までに出されるはずであったのに、それが6月29日にずれこんだのに、結論を出す時期は延ばさず、もともと短すぎる「国民的議論」の期間をさらに削り、1週間余りの短期間で、「国民的議論」と称するのは、国民を軽視・愚弄している。「国民的議論」と言うならば、本来は「国民投票」等を行って決定すべきであるが、少なくとも、もっと長期間かけて、予算もかけて、テレビや新聞等のマスコミも使って、広報を徹底させて（パブリックコメントの募集すら一般には知られていない）、徹底的に議論すべき。パブリックコメントの期間もちっと延ばすべき。（7月31日から、わずか二8月12日まで12日間延ばしたのでは不十分。）各地での「意見聴取会」や「討論型世論調査」も、開催地域や回数、参加者や意見を述べられる者の選定など不透明で、電力会社の社員が選ばれて、原発推進の意見を述べるなど、運営にも不適切なことが多々あった。ごくごく少数の意見を聞いただけでは「国民的議論」とは言えない。 ◎パブリックコメント等の「国民的議論」の結果は、政策決定にキチンと反映すべき。それを無視し、違った政策を選択することは、国民の選択を無視し、それと違った決定をすることであり、主権在民の民主主義に反することであり、許されない。パブリックコメントの集計を意図的に行うことがあってはならず、個人情報は除いた形で、パブリックコメントの内容と、その分類・集計を公開すべき。 ●原発はその「使用済み核燃料」や「核廃棄物」を処理する技術がまったく確立されておらず、その意味でも、本来、導入・稼動させてはいけないものである。何万年、何十万年にわたって、将来の世代に危険と負担を押し付けるものである。まさに「トイレのないマンション」状態である。 ●たとえ他のシナリオが選択された場合でも、使用済み核燃料は「再処理」をせず、全量「直接処分」すべき。破綻が明らかな、そして毎年膨大な予算を浪費し続けている高速増殖炉「もんじゅ」や再処理工場など「再処理」を前提とした核燃料サイクル政策は放棄すべき。「再処理」によって、核兵器の原料となるプルトニウムを作り出し続けることは、核拡散や核テロの危険性を生み出すことであり許されない。 ●「選択肢」の説明の仕方自体が、「ゼロシナリオ」を選択した場合の負担をことさら強調し、「15シナリオ」に誘導するような書き方になっている。もっと公平、客観的に説明すべき。 ●省エネルギーと再生可能エネルギーの可能性とその比率を過小評価しすぎている。それらは未来への投資であり、その経済効果、波及効果、雇用増大効果は非常に大きく、化石燃料やウラン燃料等の購入による膨大な外貨流出、資金流出を防ぎ、資金を国内、地域で回せるものであり、長期的に見れば、その経済効果は非常に大きい。もちろん、原発とは違って、安全・クリーンであり、化石燃料と違って温室効果ガスの削減にも大きく寄与できる。 ●日本は、再生可能エネルギーや省エネの技術や製品を成長産業に伸ばして行くべきであり、原発輸出ではなく、これらを輸出すべきであり、新興国や途上国にも、その普及・拡大に、ODA等も使い、これらの技術や製品で、積極的に協力・貢献すべきである。
31224	個人	会社員・公務員	50代	男性	「原発ゼロシナリオ」を選択します！	核燃料廃棄物を処理できる技術を持っている国は、世界中のどこにもありません。 そのゴミを誰に押しつけるのですか？ 後世の子供達にですか？ これ以上処理できないゴミ（核燃料廃棄物）を作ることは許されない。
31225	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発ゼロシナリオを支持	他のエネルギーへの転換を早急に進めるべきである。もっというと、原発を採用すべきではない。今回の原発事故への対応ぶりをみると、原子力を全く制御できなかった感が強い。フェールセーフでは全くなかった。フェールセーフを全うする安全対応に必要な対策を完遂すると、大幅なコスト高になると思われる。原発は安全という宣伝は、幻だった。一方、地震国日本で、地震は頻発し、安全とは言えない原発で、原発事故は起こるべくして起こるだろう。原発事故の再発は許してはならない。今回の事故で、もはや原発を採用すべきではない、ということが了解されたのではないか。経験から学ぼう。空気や海流が循環している地球で、放射線の漏洩という公害をワールドワイドにまき散らしてしまっては、日本は国際社会で孤立する。もう孤立し始めているかもしれない。孤立したら、わが国はもはや立ち行かない。今回の事故への収拾はまだこれからなのである。どれくらいのコストがかかることか。不甚気ななか実施できるのか。しかし、きちんと対応していかなければならない。このことは、国際社会の一員としての社会的責任である。果たさなければ信頼を失う。負担は大きい。この負担は経済を疲弊させるだろう（消費税を上げて、さらに経済の負担を増やすのは得策ではない）。これは、次世代にとって、大きな負の遺産である。そして、負の遺産を増やす可能性のある施策は継続すべきではない。他の（もっとよい）エネルギーへの転換を早急に進めるべきだと考える。
31226	個人	家事専業	20代	女性	原発以外のエネルギー政策を推進すべきです。よって、なるべく早く代替エネルギーを検討し、原発ゼロを目指して下さい。	私の祖父母、従兄弟、甥っ子たち・・未だに福島に住んでいます。 住み慣れた土地を、自分の意思と関係なく【出ていかなきゃいけないのだろうか】とか、福島に居るだけで避けられる人間の気持ちがわかりますか。 "政治屋"と言われたくないのならば想像すべきです。 そんなに原発が必要ならば、東京のすぐ側に建てれば良いと思います。 また、感情論だけでなく、代替エネルギー政策を進めて行く事は、確実に将来の日本の利益に繋がると思います。 世界各国から、そのエネルギーを求めてくるはずです。 原発だって大きなエネルギーを生み出すからと、日本はアメリカから輸入したのですから。 省エネ家電だって日本の強みになるはずです。 現在の日本の家電メーカーの世界での地位、ご存じですか。 このままだと日本倒産しますよ。 自分の利益以外にも目を向けて下さい。
31227	個人	会社員・公務員	20代	女性	2030年までになるべく速やかに原発ゼロ、そしてもんじゅは廃炉にすること	一定の検討対策期間を提示しその間に新エネルギーの実用化をはかる。 2030年までにすべて移行し危険性のある原子力をなくす。
31228	個人	会社員・公務員	20代	女性	ゼロシナリオを支持します。	心から安心できる国で生きていきたいから原発は不必要だと思います。
31229	個人	家事専業	40代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。 原発は人間がコントロールできるものでは無いという事は福島の事故で明らかです。地震の多い日本に原発は危険すぎます。 脱原発へ方向転換するべきです。	先日公開された、福島第一原発事故の時の東京電力と政府のTV会議の模様をニュースでみました。あんないいかげんなやりとりをしている人たちの言う事は信用できません。無責任すぎます。 原発には断固反対です。多少のリスクがあっても、再生可能なエネルギーの推進を希望します。
31230	個人	無職	60代	男性	今後の原発の在り方を考える際の最重要な視点は「安全性」で有るべき。 その視点に立てば、日本という国土が狭くかつ地震多発国においては可及的 速やかに原発廃炉に向かうべきと考える。	原発再稼動の必要性として「経済」への影響が言われるが、今回の福島原発 事故では農業・漁業から観光業に至るまで大打撃を受けた。もし、放射能の 影響が東京に及んでいたならば日本経済はどうなっていたか。原発停止による 影響など比べものにならないだろう。そういう危険性が計算上どんなに小さな ものであっても、代替出来るエネルギーが有る限りは原子力に頼ることは避け るべきである。国は現状に囚われず、智恵を絞りはしてより安全かつ効率的な エネルギー政策を打ち出せ。その間、日本国民（企業を含む）は多少の我慢は 受け入れよう。
31231	個人	パート・アルバイト	60代	女性	あえて言うならば1のゼロを選択します。 理想は、今すぐ廃炉、即刻ゼロを希望します。	原発事故が起こり、息子夫婦は東京から関西へ転職し引越しました。 孫が生まれましたが、孫の将来を思うと、心配しかありません。 原発は即刻廃炉にし、ゼロにするべきです。 孫の世代に、行き場のない核廃棄物の処理等、大きな問題を残すべきではありません。 一度事故が起これば、その被害・影響は甚大であり、 ひとつの電力会社がその損害を保障できるものではありません。 人間は原子力に頼らずに生きていく方法を今求めていくべきです。

31232	個人	学生	20代	男性	原発ゼロシナリオ	安全性の問題と放射性廃棄物問題から、原子力発電はなるべく早いうちに0%となるべきだと思う。火力発電で排出されるCO2は植物の光合成で吸収されるが、放射性廃棄物は地下深くに長期的に埋めておく必要がある。処理技術が進まない現在、これ以上放射性廃棄物を出し続けるのは問題であり、一刻も早く原発を止める必要がある。 太陽光発電や風力発電だけでなく、地熱発電やバイオマス発電などの自然エネルギーの活用により、原発を補えると考えられる。地熱発電やバイオマス発電は太陽光や風力と異なり天候に左右されるものではないので、これらよりも安定して発電が行える。従ってベース電源として原発に変わる発電方法として有効である。 また今後、省エネ家電やLED照明の導入などにより、電力消費は減っていくと考えられる。よって原発を廃して、自然エネルギーにシフトしていくことも可能と考えられるので、私は原発ゼロシナリオを選択したい。
31233	個人	会社員・公務員	30代	女性	(1)ゼロシナリオ 2030年までに　なるべくすみやかに全国の原発をゼロに、そしてもんじゅも廃炉に。	原発の比率は、ゼロシナリオで行くべきです。 福島原発事故が明確にした事故のリスク、事故が起きた時の対策の不充分さ、未だに解決できない核廃棄物の処理問題など、様々な問題を抱えています。 今回の福島第一原発の事故は世界レベルの事故になっています。 これ以上、このような思いを未来の人々に押し付けるべきでは無いと考えます。事故が起きてしまった以上、私達も、これから先ずっと放射性物質に悩みながら生きていかねばなりません。 日本はこの事故をふまえて、自然エネルギーの開発にシフトし、リードしていくべき。
31234	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選ぶ理由として ・福島の事故原因もはっきりしていない段階で 　再稼働はありえない ・核廃棄物の処理方法が確定していないのに 　原発を動かすのはダメ ・原発を稼働させて電力を作ったほうがコストが安いと言っているが 　どこまでのコストが入って安いと言っているのかがわからない 　（もんじゅの事故で使った２１億円など） ・福島の事故で原発で事故がおこったら 　危険なのはだれもがわかったはず 　危険なものは必要ありません。 原発が必要だと言っている人たちに言いたいです。 「あなたの家の横に核廃棄物処理施設ができても原発が必要ですか？」
31235	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	大飯原発3号機が再稼動を再開しました。再稼動に反対する圧倒的な国民の声を無視した強行に断固講義します。	首相は財界や米国の圧力に屈するのでなく、いまこそ国民の声を真摯に聞くべきです。政治判断ありきの、科学的な検証のない、なし崩し的な再稼動に道理はありません。専門家からも批判の声があがっています。福島第一原発事故の検証を急ぎ、教訓から学び、原発依存から脱却し、エネルギー政策を転換することを求めます。そして、関西電力管内の財界・大企業・自治体は、全力をあげて節電対策を講ずるべきです。今からでもやれることはたくさんあります。私たち全日本民医連は、大飯原発の再稼動に断固講義し、即刻中止を求めるとともに、すべての原発を再稼動させないとりくみに全力をあげます。
31236	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオを支持します。	2030年までのできるだけ早期に原発を0%にする、ゼロシナリオを支持します。 巨大なリスクをゼロに。もう、見逃せない。
31237	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発依存度は0%にすべきである。 それも極力速やかにすべきである。 理由は、福島の事故を深刻に謙虚に受け止め、 原発に依存しない社会への方向転換に注力すべき、 と考えるからである。	原発依存度は0%にすべきである。 それも極力速やかにすべきである。 理由は、福島の事故を深刻に謙虚に受け止め、 原発に依存しない社会への方向転換に注力すべき、 と考えるからである。
31238	個人	会社員・公務員	40代	女性	ゼロシナリオに賛成。	今、日本で原発2基しか動いていません。でも、大丈夫です。その二基も動かさなくても大丈夫そうです。 原発を稼働させたり増設することを国や一部の人たちは「経済のため」と言いますが、誰のための経済なのでしょうか？国民を苦しめて何のための経済なのでしょうか？ こんな危険な物、無くても支障のない物は即刻、停止・廃炉にするべきです。 その作業だけでも途方もなく長い道のりで、莫大なお金や労力を必要とします。そして知識も必要です。「原発が無くなれば経済が停滞する」なんて馬鹿げた話で、脱原発でも経済は動きます。 そもそも選択肢が3つしかない、それも「脱原発」といいながら、原発を増やさない選択肢はゼロシナリオしかないという、異様な異常な提案自体がおかしいと思います。 2030年に原発ゼロを実現してください。そのためにも一刻も早く脱原発宣言をして、すべての原発を止めてください。うやむやにしながら次々再稼働させている現実が腹立たしくてなりません。
31239	個人	自営業	70代	男性	１番のゼロシナリオ 今すぐ危険な原発は停止し、廃炉してほしい。 福島の声・国民の声を聞くべきだ。	確かに電気は私たちの生活を豊かにしてきたかもしれない。 だが、福島の事故によって、それらはまやかしの上にできたものだとわかった。 このまま原子力に頼っていればやがて人間が滅亡に向かうことは明白である。 原子力は人間には手におえないものなのだ。 どうかここで賢明な判断をしてもらいたい。 有権者はみなそう望んでいる。
31240	個人	家事専業	30代	女性	原発依存0シナリオを選びます	原発依存0シナリオを選びます。使用済み核燃料の処理、処分の方法が決まっていないまま、決まっていたとしても処分に大変な作業や金額がかかるものを、今後増やしていくのはあまりにも無謀ではないでしょうか。原発は即すべて停止後廃炉を望みます。生きていくのに必要な電気は原発がなくてもまかなえるのではないでしょうか？地震活動期のいま、原発は大変危険なものと感じます。
31241	個人	自営業	40代	男性	原発はゼロにしなければいけません 国民全員で美しい日本を守るため省エネに取り組み、一方で研究機関や技術者は全力でエネルギー関連対策に注力し今こそ日本が世界の模範となるように覚悟を決めて取り組むべき。	日本の選択が世界の未来を大きく変えてゆくものであると私は考えます。 エネルギー政策については日本は今後は独自の考えでリードし、流れを作って行く 側にならないといけないと考えます。よってWWFのような温暖化と自然エネルギー１００%を考えたビジョンですすめることを支持します。
31242	個人	会社員・公務員	60代	女性	地震国日本に原発はいらない。福島をみれば良くわかる。大飯原発再稼働反対。	日本の国土は狭く、原発事故が起これば、生活可能な国土を失う。今後5年、10ねん、20年と時がたてば、さらに原発事故の影響が明らかとなるに違いない。チェルノブイリ事故、福島の現状から、学ぶべきである。 大飯原発再稼働後関西電力は、火力発電所を止めた。大飯原発の出力分よりも多量の出力分の火力発電所の稼働を停止させた。このことからも、大飯原発再稼働なくとも、電力は十分であったことがわかる。 福島を経験して、誰も責任をとらない。とれるはずもない。被害が大きすぎる。原発が安全だなどとどうしていえるのか。
31243	個人	会社員・公務員	30代	男性	選択肢の中では、ゼロシナリオを選択すべきです。 ゼロシナリオにおいても、自然エネルギーの拡大目標はもっと上げるべきで、省エネ目標はもっと下げるべきと考えます。	原子力のリスク面やコスト面においてもゼロシナリオでなければならないと思います。 リスク面に関して、 今回の福島原発程(あるいはそれ以上の)の事故が今後も起こる可能性が少なからずあること(ゼロとはいえない)から原発は全て停止すべきです。 安全を追求し精度をあげることができても、100%事故がなくすことは事実上不可能です。 (軍事攻撃、旅客機墜落、隕石等、確立は低くとも予期せぬリスクはいくらでもあります。) 万が一事故が起こった場合のダメージが計り知れないのは福島原発で明らかです。 福島以上の事故が起こった場合、日本という国家が崩壊する程のリスクがあるといっても言い過ぎではないはずです。 万が一事故が起こった場合でも対応できるほどの技術がなければ、実用化すべきではありません。 コスト面に関して、 使用済み核燃料の処理費用、事故処理費用(有事の際の処理費用)を計上せずに原子力のほうが、他のエネルギーよりコスト面で有利というのは、そもそもおかしいです。 特に使用済み核燃料は問題を先送りしているだけで、子や孫へ危険な負債を残しているに他なりません。 未来を考えれば、是非ともクリーンで安全な自然エネルギーへ、舵をとって頂きますようよろしくお願いします。
31244	個人	学生	20代	男性	石油資源の枯渇や原子力発電の安全への不安から、エネルギー政策は難しい局面を迎えていると思いますが、これは今後の技術や経済の発展に非常に重要です。私は20-25%程度への原発依存への微減を支持します。	国家政策に対しては私は素人ですが、石油依存からの脱却は、地球温暖化防止、またエネルギーの自給自足の観点から非常に重要だと思います。石油はこれから枯渇が心配されているのはテレビ、新聞等でよく報道されています。加えて、火力発電に伴うCO2の排出は大きな問題です。特に、世界規模でCO2削減が叫ばれている今、火力発電比率は速やかに減少させるべきだと思います。 一方で、自然エネルギー、再生可能エネルギーはCO2を排出せず、完全に自給自足が可能ですが、国民へのコスト負担の大きさ、さらに別のリスクを負うことになります。自然エネルギーは自然の環境、例えば天候などに左右されやすいという欠点を持つため、電力の安定供給という面では不安が残る上、単位面積あたりの発電量はごく限られてしまいます。従って、国内の総発電量の大部分を再生可能エネルギーに頼るというのは現時点では現実的ではありません。今後の研究に期待するばかりです。 原子力発電はその点、安定した電力供給、単位面積当たりの発電量、国内自給、CO2排出量の全てにおいてすぐれた発電方法です。しかしながら、現状に見るような、一度オペレーションを誤るとかなりの被害をもたらす諸刃の剣です。今回の事故は不運が重なってしまったのはいうまでもありませんが、なにより社会的なオペレーションに欠点があったということができると思います。政府としては原子力委員会の設置等、このオペレーションに関する施策を進めており、非常に評価できます。ただし、こうした諸刃の剣を多く持つべきではないとも考えます。今後の研究等で状況は変動することはあると思いますが、以上の理由から、現段階では原子力発電を維持しつつ、新たな技術開発によってその割合を減らしていくことが最善だと私は考えています。 また、率直な感想を言うと、福島第一原子力発電所のオペレーションルームを見て、私は愕然としました。なぜなら、原子力発電という最先端技術の制御を行うオペレーションルームの装置が旧時代の遺物に見えたからです。40年近く稼働していたということで、当たり前ではありますが、老朽化は激しいと思います。国はこうした原子力発電所の老朽化を厳しめに見積もって、古いものは早々に廃炉にし、最新の研究に基づいた原子炉を新たに建造する方が安全面や発電コストを考えてもよいように感じます。ぜひ政府にはこのような古いものの置き換え、特に40年近くも稼働している原発の置き換えを検討していただきたいと思います。と同時に、廃炉の時期を明確に定めることが重要です。また、今後の廃炉作業のためにも原子力関連の専門家は大変重要になると思います。エネルギー政策とともにこうした人材の育成に力を入れていただきたいと思います。
31245	個人	会社員・公務員	30代	女性	2030年までに原発ゼロに	原発事故は実際に起こってしまいました。もうこのような事態にならないという保証もなく、危険性がある要素はすべて取り除くべきだと考えます。 原発以外の発電に移行し、将来的に自然エネルギーによる安全、安心な生活を強く希望します。 国民全員が正しい知識を持ち、エネルギーを大切にすることも必要だと考えます。正しい教育で発電や再生可能エネルギーの知識を付けるべきであり、その上でさらなる安全向上を考えられる世の中になることが理想です。 使用済み燃料が今後どうなってしまうのか、放射能汚染された土地は元に戻るのか、人体、生き物への影響など考えると不安しかありません。日本だけでなく近隣国、地球がどうなってしまうのか。温暖化問題も含め、危険がゼロになるまで安心できる世界はないと思います。
31246	個人	会社員・公務員	60代	男性	「原発ゼロシナリオ」去年福島原発で事故が起き、着の身着のままで逃げざるを得なかった人たち、今だに故郷の土を踏めずにいる人たちが沢山いるという現状の中、理由も曖昧なまま再稼働するとは狂気の沙汰だ。	日本は、これまでの経済優先の政策から、人間優先の国へ変換を計るべきだ。これからの世界の中で「持続可能な社会」を形成していくことは先進的なこころみとなるだろう。私がなぜ原発に反対するかという最大の理由は、原子力とは調和を様々な形で引き裂いていくものだからだ。世界の負の構造の中心にあるものこそ「核」なのである。世界と世界、国と国、人と人の関係を切り離し、上下関係を作りだし、差別を生む。「核の平和利用」などという言葉が大手を振ってまかり通っているが、そもそも核に平和利用などない。なぜならウラニウムの採掘という最初の段階で大勢の被ばく者を生み出し、苦しみのうちに一生をすごさなければならない人たちが現実にたくさんいるではないか。そしてすでに使ってしまった核燃料の最終的な処分場も決まらないまま進めているこの不条理。本来、人が手を出してはいけない物質だったのではないだろうか。しかし人はこれに手を出し利用してこのような世界を出現させてしまった。もうここでちゃんと考えるべきだ。ある意味で日本はそのチャンスを授かったのだ。もう時代錯誤の原子力からは手を引き、日本という国でわたしたちに与えられた資源を使い、いかにして安心・安全、そして持続可能な社会を作っていくか、そのことに集中すべき時だ。本来日本人が持っていた「つつましやかさ」「堅実さ」をもう1度取り戻す時だ！そのためには原子力は必要のないものだ。今すぐ撤退すべきだ。
31247	個人	自営業	30代	女性	原発ゼロを望む	原発以外のエネルギーを利用して電気を使いたい。 波力や海沿いの風力で電気がまかなえるとの研究結果があると 学びましたので、それらを利用してほしい。 原発は、事故があった場合に 福島のように住むことも外で遊ぶこともできなくなる。 また、廃棄物の処理方法が確立しておらず 事故の保証など経済面でもリスキー。 百害あって一利なし。 例え事故が起きなくても、原発で働いている人達の 生の声が今はネットでも見られる。 原発は働いている人達の犠牲も伴う。 今後、10万年も子孫たちに廃棄物の処理をお願いするのは 人道的にも経済面でも負担が大きい。 100年あとに、どのような評価がされるかよく考えて行動すべき。
31248	個人	無職	60代	男性	(1)２０３０年にゼロシナリオを選択します。 3つの選択肢からしか選ぶのであれば(1)以外考えられません。	絶対安全でない物は一日も早くやめましょう。 お金のために生命を脅かされたくありません。 地球に生存するすべての生命が第一です。
31249	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発依存0シナリオを支持します。ただし、省エネの目標や使用するエネルギーの種類については、より環境を守り地球温暖化を阻止するものであることを、望みます。	人間のすることに絶対安全、絶対安心はありません。歴史を振り返れば、火を見るより明らかです。今回の福島の事故は誰がどう頭を下げて謝り、どう回復に向けて死力を尽くしたとしても取り返しのつかないことです。 原発で一度事故があったらどうなるかを知ってしまった今となっては、選択肢は原発廃止しかありません。 経済界の声に押されて隣県の大飯原発が再稼働し、本県の志賀原発直下に活断層があるかもしれないことが明らかになり、また、二度と繰り返してはならない人類の罪～原爆祈念の日～を迎えた今、原発依存0の思いを一層強くしております。 そして、原発依存0を達成するために、省エネ率をもっと高め自然エネルギーを十二分に活用することが必須であると考えております。 私たちの日常の生活の中で、無理な我慢をせず省エネルギーを推進していくことは十分可能です。それは主婦として、また、一母親として日々の生活の中で感じております。また、自然エネルギーを日常の中に取り入れる方法も様々にあります。 日本が一体となり、それらを推進することこそが、日本の国力を揚げ、世界に貢献する日本となる道です。それだけの叡智、科学力が日本にはあるはずです。その主体を是非是非政府に担っていただき、本選択肢の内容以上に省エネ率を高め、自然エネルギーの利用を近い将来１００%とする高い目標をたてて下さい。思い続ける限り、夢は叶います。不安を抱えた暗い未来は見たくありません！即刻の脱原発！そして、自然エネルギー１００%の実現を切に切に望みます。
31250	個人	会社員・公務員	30代	女性	(1)2030年までに原発ゼロに	2030年までになるべく速やかに原発ゼロ、そしてもんじゅは廃炉に。 核燃料のリサイクル技術もなく、核燃料のゴミを国内に大量に持つなんて 自国に時限爆弾を仕込んでいるようなものだし、原発は事故が起きた時のリスクが大きすぎる。古い技術の原発ではなく、安全で安く供給できるエネルギー開発に力をいれるべき。

31251	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力発電所は全て必要ありませんよね？	専門家の意見を聞いた上での意見です。もしウソがあるなら指摘してください。反論を添えてご意見頂けたら非常に分かりやすいです。 原発が必要でないと思う理由 ・原発を運用すればする程お金は余計にかかる。 ・資産価値の問題。原発も含めた資産価値となっているので原発を無くす事で資産価値が落ちてしまう懸念材料がある。関西電力が電力不足を補う企業努力をすれば今夏の電力は足りる可能性は高い。と考えているのが大半の国民世論はさすがにおわかりと思いますが、政治を持って対応しない今の政府。報道機関を利用して情報操作をするなどあってはならない事ですよね。 ・科学的には水素爆発を伴う核爆発であった。 参照：http://www.asyura2.com/12/genpatu25/msg/170.html まだまだありますが切りがないのでまとめます。 原発反対！脱原発！原発ゼロ！ 何故、原発を推し進めているのかは未だ明答がないままです。夏の電力が足りないが言い訳ですよね。送電線の問題をクリアにしていく動きを国民にみせる事はないのでしょうか。具体策が全くないままの政府にしか国民には映ってません。政治の派閥なんてどうでもいいんです。税金を上げる対策もやりますといっただけで、具体的な説明がない。 子供騙しな発言を繰り返し欺く。 国民は誰一人としてなぜならばが伝わってません。 何故電力が足りないのに、電力提供できる企業からの電力を断るのでしょうか？ 電力料金の値上げ!?言語道断。国も静観しているところもあるようですが、国の対応のせいもありますよね。あんなにも外国へ支援金のような形で投げまくっているなら、復興や電力供給の問題に費やしたらいかがでしょうか 悲しいかな政治主導の独裁というより独断政治。心なき人には心ある人はついていかず。人は1秒で考えを変える事ができます。人の心を持ったやさしい国を目指していくよう様々な利権を取り払った政治活動をお願い申し上げます。
31252	個人	自営業	50代	男性	問題は組織だ。明確な責任、権力の分散と集中、情報公開など、成熟した組織の構築が必須だ。必要なのは、専門家をコントロールする賢い社会システムで、原発の比率はカイゼンされた組織が決めれば良い。	どんなに情報を公開しようと、科学技術や国家統治に関して国民は素人だ。素人の国民に意見を聞く必要が出ること事態、国家を統治する組織が未熟といえる。3つのシナリオを用意したことで、原発さえ無くせば問題が解決されるんだと、国民が勘違いしてしまった。原発事故以来、専門家の権威が失墜し、多数の素人による衆愚政治が行われている。これで技術立国といえるのか？目はやぶさ」が成功したのは、運用が見事だったからではないのか。原発というシステムに失敗の責任を押し付けるのは日本人らしくないではないか。原発にかかわっていたそれぞれの専門家の心構えに、日本人らしさが欠けていたせいではないのか？発電システムを入れ替える前にまず、心を入れ替えることだ。
31253	個人	自営業	30代	男性	2030年までに原発利用がゼロになることを望みます。	2030年に15%の選択肢では、現在工事中の大間原発も稼働する可能性を含んでいると理解していますが、それは容認できません。過去20年にわたって、地元住民を二分し対立させてきた様子を見ると、原発は地域の文化を衰退させます。健全に働く意欲をそぎ、仕事の選択肢を失います。原発で地域の経済が発展するなどということは事実ではないことは、全国の原発立地地域が経済的に疲弊している現状から明らかです。排水によって海水温が上がれば当然温業にも影響が出ます。観光業は成立しなくなるでしょう。そうやって人の少ない土地を、人の住めない土地へ変えるのが原発です。人口の減少するこの国で、無限の経済発展などありえません。原発は場所を選びますが、自然エネルギーは、その場所に合った方法を選べます。原発を一切やめて、自然のエネルギーへ投資してください。もんじゅや再処理工場などの不完全でわずかな希望にすがるのはもうやめてください。お願いします。
31254	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発比率0% 現状稼働している原発で、地下に活断層の可能性ある原発は即時停止。	想定外の事態が起きたら、日本だけでなく地球規模での被害の原因となる原発に依存することは、あまりにリスクが大きすぎる。 昨年事後が起きて誰も責任を取らず、結局国民が、税金や放射性物質による汚染という負の遺産を背負わされることが良くわかった。 もし、再び事故が起きたら、結局また国民が責任を負うことになるが、"2回目"はおそらく日本は耐えられないであろう。 100%安全が確保されない限り原発は受け入れることはできないが、人間が行うことに100%はあり得ない。 たとえば、テロへの対策は完璧なのか？ また、大飯原発を経済のために再稼働させたのは、事故前の怠慢な状態と全く同じであり、経済という"金"のために安全を売ったとしか思えない。 もし学習能力があり教訓を得たのなら、すべての不安要素を排除してから再稼働させるべきであろう。しかし現実的に、すべての不安要素を100%排除することは不可能であろう。 （原発に隕石が落下したら？旅客機が落下したら？見つかっていない活断層があったら？等々）
31255	個人	無職	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」	核廃棄物やMOXは危険すぎる。 震災で証明されたが、日本で安全に運用する技術がない。誰も責任がとれない。 関西は原発とめてもいけていたのでなくしても問題ない。 太陽光エネルギーなどクリーンなエネルギーに徐々に変換していってほしい。 電気代上昇で倒産しそうな中小企業には補助を。
31256	個人	会社員・公務員	20代	男性	三つの選択肢の中では、(1)ゼロシナリオを支持します。 また現実的に可能であれば、2030年より早い段階での脱原発が望ましいです。	先の原発事故を踏まえ、ハイリスクな原子力発電から、自然エネルギー発電へと移行していくべきだと考えます。 また、未来への負債を残す原発を推進することは、これから生まれてくる人々に対して無責任なことだとも思います。 そのために、まずは2030年のゼロシナリオを、国民が一丸となって目指す目標とすることが望ましいです。 廃炉・放射性物質の除去技術・福島の事故によって将来的に起こるかも知れない健康被害への対策などを国を挙げて支援し、また効率的なエネルギー供給システムや、クリーンエネルギーの開発に多くの予算を投入していくことも必要不可欠でしょう。 もちろん、国家予算の額は限られていますが、上記の政策は優先して予算を割り当てられるべきと考えており、もしどうしても足りないのであれば、その分だけの増税も仕方ないと思います。
31257	個人	会社員・公務員	20代	男性	原発依存度について	国内の原子力発電所の数を2030年を目処に、すみやかにゼロにする事を希望します。 そして、もんじゅは今すぐ廃炉へ。 原爆を落とされた国で、福島のような原発事故は二度とあってはならない。 天災が多い日本で原子力発電所を動かすというのは、危険そのものです。 原子力発電に頼らない社会の構築と、安全で安心できるクリーンな発電技術の開発と、メタンハイドレード等の次世代燃料の開発に国家をあげて行ってほしいです
31258	個人	法人等	30代	男性	原子力発電の現時点での停止・凍結に反対。 原子力に代わる新エネルギーが量的にも、コスト的にも、継続供給できるまでは、原子力をより安全に活用する技術を高め、推進していかざるを得ないと考える。	原子力発電の現時点での停止・凍結に反対である。 理由は下記の通りである。 (1)電気料金等の高額化による家計圧迫。 (2)電力不足の地域から電力が安定供給できる地域への企業等の流出。それに伴う雇用の減少。 (3)石油等のエネルギー資源が中東から輸入できなくなるリスクがある。（中東の紛争、中国等の軍事国家等によるシーレーンの封鎖等） (4)日本が原子力を運用している事実自体が、核兵器所持国家への抑止力となり、輸入エネルギーの安定確保にもつながる。 上記の理由以外に、下記のように原子力発電への反対意見に対して反論をする。 (1)日本の原子力発電所の事故による被爆等が直接の原因の死者は、いないと認識している。電力不足による熱中症が原因の死者が多々ある。現実的な対応が必要と考える。 (2)原子力発電の反対意見として、広島・長崎の原爆被害が例示されるが、原子爆弾と、原子力発電所の放射能破壊力は異なる。事故も、原子力そのものの事故ではなく、原子力を冷やす機能の事故と認識すべきであった。原爆投下された悲劇は繰り返してはならないが、恨み心で全ての原子力活用を反対するとしたら意味が異なるのではないか。逆に原爆投下された広島、長崎でも人が住め、復興することが出来る勇気の原理として伝えるべきではないか。
31259	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロパーセントを選択します。	そもそも原子力は「核」であり、原爆と同質のものであり、手を染めてはならないものです。平和利用とロで言ったところで、危険性も放射能の毒性も何も変わりません。また過酷事故時の被害も甚大すぎて誰も受容できません。その証拠に昨年起こった福島原発の過酷事故に一体誰が受容できているでしょうか？核廃棄物も固めて地下に埋めてあとは知りません、なんていうのは未来の人類に対する非人道的な欠席裁判で、道徳上許されることではありません。原子力発電は、再稼働せずにただちにやめるべきです。
31260	個人	学生	20代	女性	(1)原子力発電所を即時全廃する (2)発電能力の不足は天然ガス発電所の新設や増強で補う (3)この新設増強は電力会社以外の会社も行えるようにする (4)長期的に再生可能エネルギーに移行する	以下の4点を強く希望する： (1) 原子力発電所を即時全廃する。 (2) 発電能力の不足は当面天然ガス発電所の新設や増強で補う。 (3) この新設・増強は電力会社以外の会社も行えるようにする。 (4) 超長期的には再生可能エネルギーに移行する。 (1) 原子力発電所を即時全廃する。 福島第一原子力発電所事故と同じような取り返しのつかない状況に、2度目はあってはならない。 (2) 発電能力の不足は当面天然ガス発電所の新設や増強で補う。 天然ガス発電所は建設費が安く燃料費も安い。例えば川崎天然ガス発電所の 建設費は84万kWに対して500億円と言われ、原発の10分の1以下となっている。 また現在の火力発電は旧式の重油火力を使っているが、重油は高く熱効率も 天然ガスに比べ低い。天然ガスの熱量当り価格は重油の半分程度である。 (3) この新設・増強は電力会社以外の会社も行えるようにする。 電力会社が算出する天然ガス発電所の建設費や燃料費は国際水準よりかなり 高い。従って既存の電力会社以外の会社も参入させるべきである。 (4) 超長期的には再生可能エネルギーに移行する。 長期的には資源量に限界がある天然ガスを使い続けることはできないが、 ウランに関しては高速増殖炉を使ったプルトニウムへの変換なし利用するなら、 その資源量は 天然ガス中石炭より少ないと言われている。
31261	個人	会社員・公務員	30代	女性	(1)「2030年にゼロ」のシナリオしかありえません。もちろん、なるべく速やかに達成してください。	福島の事故のあと、「ただちに健康に問題はありません」といわれましたが、子育て中の私には「何年かあとには健康に問題が出ます」と聞こえました。こんな不安を生じさせる原発が、まだ日本で稼働し続けていること自体が信じられません。いろいろ勉強しましたが、結局は核抑止力のために原発を残しておきたいと考えているようにしか思えません。 なるべく早く、日本中すべての原発を廃炉にしてください。 大事な子どもに、不安な未来を残したくありません。
31262	個人	その他	30代	女性	原発0%を支持します。	原発0%を支持します。 これほどまでに国民が関心を寄せた事柄があったでしょうか。なるようにしかならない、という気持ちでは済まされないほどに、 この、"原発のこれから・行方"は深刻に受け止めるべき事象だと考えられています。 今回の選択をきっかけに、原発のおそろしさを痛感しました。安全に暮らしていく希望が消えてしまいました。 これだけで十分です。原発を反対する「十分な理由」ではありませんか。 脱原発によって生じる問題が山積みであることは承知していますが、安全・安心な暮らしは第一優先にされるべきです。 そのためにはいかなることも結局は乗り越えられることだと思います。
31263	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオを支持します	2011年3月11日の震災による福島の原子力発電所の事故により、はっきりした安全上の問題は、現在の、また近未来の人間には満足いく形で解決できないと認識しました。現在と未来の日本人の健康と安全にとって脅威となっている原子力発電所の停止と核廃棄物の安全な処理をできるだけすみやかに実現することが、日本の発展にとって重要だと考えます。
31264	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	福島第一原発の事故の検証や解明ができていない中での、原発の再稼動の反対を表明します。この国の未来に原発は必要ありません。	福島第一原発事故で学んだ教訓を私たち日本人は永久に忘れてはいけません。後世に語り続けていかなければなりません。8月6日広島原爆の日に首相はこうコメントされました「中・長期的に安定したエネルギーの確保を約束する」この言葉からは、原発の再稼動によるエネルギー源の確保としか聞き取りようがありませんでした。あの事故は一体何だったのでしょうか？自然災害いや、人的災害と報告されています。日本の国を支える未来の子どもたちのためにも！日本の国から全世界へ「NO!more!genpatu!」の声をあげていこうではありませんか。原発の無い、安全・安心の世界が実現されることを要求します。
31265	個人	自営業	40代	女性	原発依存ゼロを目指していただきたいです。 未来の日本に私たちの汚物を押し付けてはなりません。	先の地震による大きな事故で、原発の危険性はもちろんのこと、崩壊した時の取り返しのつかない事態が明確にさらされました。 この過ちから学べることは、今度同じ規模で地震が起きた場合のための耐震…ではなく、原発をなくさなくてはならない、ということです。 東京電力が貪り続けている暴利。その甘い汁に擦り寄る天下り。 原発が抱えている膿は、プルトニウムやストロンチウムだけではなく、まさに私利私欲にまみれた一部の人間です。 原発はいりません。 子供たちの将来に汚物の処理を委ねてはなりません。 「やめる」という選択は、やり続けるよりもよほど大変だとは思います。 でも、今やめなければ、いつか私たちはこの美しい地球を生命が住めない星にしてしまった無責任な生き物と成り果てることでしょう。 お金のためではなく、票のためでもなく、ただひたすらに人として正しい道を選ぶのなら、道はたった1本しかありません。 そしてその道以外の道は全て行き止まりなのです。
31266	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は0%に。将来と言わず、できるだけ早く。	あれだけの事故があって、まだ収束もしていなければ、廃炉に何年かかるのかも分からず、避難生活を余儀なくされた人たちへの賠償も十分されておらず、放射性物質に汚染された土地の除染も済んでいないのに、また事故が起こったらどうするのか。人の手で制御できないものは使うべきでない。日本で地震の来ない場所などなく、まして原発は海沿いが多いので、津波の危険とも隣り合わせで、いつまた福島のような大惨事になるか、分からない。産業云々の前に、被曝でみんな死んでしまう。即死はしなくとも、何らかの影響はこれから必ず出てくる。もうあのような事故を繰り返してはならない。今後は、再生可能エネルギーを活用し、足りない分は節電する努力も必要ではないか。今まで電気を使い過ぎていたと思う。
31267	個人	会社員・公務員	40代	男性	当然「ゼロシナリオ」。 NO NUKES!	「エネルギーの選択」「原子力への依存度」云々以前のレベル。 「原子力発電」という選択肢自体、そこにあるべきではなかった。 本当に電機が足りないのであれば、今ある電気を如何に効率よく使うか、そちらに目を向けるべき。超電導や、リチウム空気電池等、いくらでもその投資対象はあるはずです。 http://youtu.be/RyiedwjGoKM

31268	個人	会社員・公務員	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」を支持します。	現在、2歳になる子供がいます。福島の原発事故以来、主に食料について生産地が非常に気になるようになりました。 東北・北関東で農業を営んでいらっしゃる方々には本当に申し訳ありませんが、「安全」だと心から思うことができません。 原発事故後の政府の対応、情報開示の遅延などから、不信感が先に立ってしまい、どんなに「安全」だと言われても、信じ切ることができません。 日本は地震国です。 福島の原発事故は、この先も起こりうるものです。 不安定なエネルギーに支えられた生活は、いつまた崩れるか、不安が絶えません。 子供の将来について、今はまだ自分で選択できない子供に代わって、何が必要なのか考える責任が、私たち親にはあります。 10年後、20年後、全ての子供が安全で健康に暮らせる国を作って下さい。 エネルギーが足りないのなら、使用量を減らす努力をします。 「足りないから再稼働」だけが、解決策ではないはずです。 原発のための補助金を、クリーンエネルギーなど、新しいエネルギーの開発のために使用できませんか？ 今がまさに、その転換期であると思います。 将来のために、原発を廃止して、新しいエネルギー転換を希望します。 日本は、それが可能な、優秀な国であると信じています。
31269	個人	会社員・公務員	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」を希望します	2030年までになるべく速やかに原発ゼロ、そしてもんじゅは廃炉にして下さい。 省エネルギーの取り組み、自然エネルギーの推進により、原発ゼロは可能だと信じています。
31270	個人	会社員・公務員	40代	女性	全原発廃止してください。	日本が好きだし、ずっと存在していて欲しいから。 また原発が爆発したら次こそは日本が無くなるかもしれない。 それに再稼働する前にするべき事がありますよね。
31271	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを支持します。 但し、2030年ではなく、即刻ゼロのシナリオです。	現在稼働に踏み切った原発で、もし万が一の事故が起きたら また国民に責任を押し付けるのか たぶん2回目が起きたら、諸外国からも見放され、日本はつぶれるであろう。 しかしこのパブリックコメントは、よく考えて見ればれひどい。 即刻停止というシナリオがないこの選択肢は 少なくとも2030年までは稼働は了解したということになってしまう。 即時全原発停止してほしい国民からすれば「ゼロシナリオ」は 悪質な詐欺である。私も騙されることだった。 パブリックコメント自体、茶番であるともいえよう。
31272	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロのシナリオでお願いします。 2030年にこだわらないで、早急に。 とりあえず、そこから始めないと。	今の子供達が大人になった時、原発問題が少しでも軽くなっているように、一番難しいことを今私達の手で片付けておきたい。 つまり、原発ゼロ。 他にも沢山の難しい問題があるけれど、とりあえず、原発ゼロから。 原発からは放射性物質がどんな形であれ、またもれます。 必ず。 原発を動かすということは、そういうこと。 誰も責任など取れない。 であれば、答えはひとつしかない。 原発ゼロ。 大変だけれど、それしかない。 出来るかどうかではなく、やるかどうかだと思う。
31273	個人	会社員・公務員	30代	女性	「エネルギー・環境に関する選択肢」に対する意見 「原発0」！！ 2030年までではなく、より早く原発を0に！ もんじゅもいらない！！	このまま、原発を存在させ、稼働させ、大地震が起きたとき、事故が起きたとき、責任を取れますか？私は自分や大切な人や未来ある子どもたちのために、原発自体がいりません。それに伴う負担は受け入れます。 利己ではなく、本当に大切なことを決めてください。 原発以外のエネルギーで生活していきましょう！原発を存続させるのであれば、都内に置くか、省庁は全て福島県などの原発半径100キロ以内に置いて仕事をしてください。自分たちだけぬくぬくと安全圏にいて、原発由来の電気を使うなんて卑怯です。 一度もまともに働いていない、維持費だけが膨大にかかるもんじゅもいりません。放射性廃棄物の処理の仕方が確立されていないのに、原発を動かしていることに無理があります！
31274	個人	パート・アルバイト	30代	男性	原発0シナリオを選びます。	未だに福島の原発事故によって、生活していた区域に戻れず、避難所、仮設住宅で生活をしている人たちがたくさんいるのに、そもそも再稼働を選択する事があり得ない。 昨年から続く原発事故の責任を政府、いやだれも取れない事がはっきりと分かった。今後、原発の稼働はいっさい必要ない。 たとえ、電力が足りなくなり、今までの生活に戻れないとしても、原発は今後、稼働する必要は無い。都市で生活する者としてのけじめはこの選択しかない。 帰宅困難区域？ 立ち入り禁止区域の間違いでしょ？ 再稼働を考える前にするべき事があるだろう。 経済、とりあえずの生活＞人命 これが民主主義ですか？ そんなお国には住みたくない。 国民の生活のための再稼働、との事ですが、国民の事を考えるのなら、 原発事故による避難者にするべき事があるでしょう？ その為の増税なら喜んで払うよ。
31275	個人	会社員・公務員	40代	女性	2030年までと言わず、なるべく速やかに原発ゼロ、そしてもんじゅは廃炉に！　お願いします。	再稼働はしないでください。使用済み核燃料等、そこにあるだけで危険な、後処理にも何年もかかるものを増やし続けることを止めてください。そして、もっと自然エネルギーや省エネルギーを推進してください。
31276	個人	会社員・公務員	30代	女性	2030年までのなるべく早い時期に、原発は0%に。もんじゅも廃炉にするのが良いと思います。まずは「ゼロにする」と目標を明確に定めて、それからそのための個々の課題を考えて行くのが良いと思います。	昨年の大震災と原発事故をきっかけに多くの日本人がこれまでの生き方やこれからの暮らし方について、真剣に考える機会を持ったことと思います。その結果、原発による電気を使う生活はもうやめよう、もうやめたいと考える人が多数になって来ていると思います。 原発事故によって、故郷や毎日生活していた家、働く場へ戻ることが出来ないかも知れない人々を多数生み出してしまったこと、安心して食べたり呼吸したり遊んだり、将来を夢見たりすることが難しくなってしまったこと、現在も多くの人が悲しみや苦しみや怒りや悩みの中にいる状況が残念でなりません。もう原発は止めて欲しい、と心から思います。 また放射性廃棄物の問題もあります。どう処理したら良いか分からないものをこれ以上増やし続けるなどということをなぜする気になるのか理解できません。 最近では原子力発電は他のエネルギーと比べてコスト的にも効率が良くないとアメリカのGEのCEOまでもが発言したと聞きました。日本も決して景気が良いわけではないのに、効率の悪い原発にこだわる必要があるでしょうか。 事故を起こさなくても稼動している原発から出る温排水による海水温の上昇や出続ける微量の放射線による健康への影響も気がかりです。 先頃の大飯原発再稼動によって、関西電力は火力発電所8基の稼動を止めたとも聞きました。原発を停めても電力は足りているのではないでしょうか。 一時的には火力発電等によってCO2排出量が増えてしまうかも知れませんが、ゼロ目標を定めて自然エネルギーの普及を後押しすれば技術の向上なども進み、次第に解決していくことができると思います。 もともと限りあるエネルギー資源をこれまでのように過剰に消費する必要も無かったと思っています。電力の使い方についても考え直す時に来ていると思います。必要以上の冷暖房や明るすぎる照明など節約できるものは節約するようにすでに社会が変わって来ていますし、原発ゼロ目標のもと、今後も推進していけば良いと思います。 このような理由から、もうこれ以上原発を使う必要も道理も無いと私は思います。 そしてこれ以上行き場のない放射性廃棄物や環境や健康への影響を増やさないためにも、原発をゼロにする日は1日でも早いのが良いと思います。 2030年までのできるだけ早い時期に原発をゼロに、と目標を明確に定め（法的拘束力も持たせて確定できると良いと思います。）ることができれば、その為に何をしたら良いか、国や自治体も企業も個人も、具体的に考えたり話し合ったりして、行動していくことが出来ると思います。 また原発を停めると電力会社の経営が立ち行かなくなってしまうために、電力会社は原発を停めることに積極的になれないという話も聞きました。原発立地の自治体についてもそうですが、今までのシステムを変え、原発を無くしていく道を選んでも経営破綻したり職を失う人が出ないように経済や経営などに関する専門家にも加わってもらって対策を作り、それを当事者の人たちに説明していくことも大事だと思います。 多くの課題があり難しい問題だからこそ、まず始めに曖昧でない明確な目標「ゼロ」を定め、その目標を達成するために様々な部門の専門家や国、自治体、企業、市民みんながアイデアを出し合い、考え、努力して、実現に向けて歩んで行くのが良いと思います。
31277	個人	自営業	30代	女性	原子力発電所をゼロに。	震災後、日本中の原発が止まりました。 1、全原発が停止しても、日本中のどこも停電はなかった。 2、福島の原発事故の原因解明が未だ何も行われていない。 3、同原発事故は収束していない。また、する見込みもない。 4、世界で「放射能による汚染」と「被爆」の被害が3回もあったのは 　日本だけ。 5、全原発施設、またそれに伴う運営利益などが全く明確でない。 6、東京電力は自己責任を取らず、値上げという横暴な方法で、 　国民から原発稼動費用、人件費を搾取している。 7、いま　この瞬間にも被爆者が増加している。そして、二度と福島は 　もとに戻らない。 よって、原子力発電所の存在理由がない。 私は、「原子力発電ゼロ」を強く求めます。
31278	個人	自営業	30代	女性	再稼働反対 原発ゼロ	将来的に安全を見込めないものに頼り、いつ何が起こるか分からない状況に脅かされ生活よりも、安心して暮らせる国を作ってほしい。 また何かが起こってからでは遅すぎる。過ちを犯す前に立ち止まることが、真の役人の果たすべき役目ではないでしょうか 原発再稼働反対です。 稼働ゼロでお願いします 大人は先に死ぬ。けれど、子供たちの未来を奪う権利はどこにもない。
31279	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発ゼロシナリオを支持します。	原子力という圧倒的な力に対する根源的・本能的恐怖はもとより、それを制御できると過信し、推進し、それを拒むものの横面をカネというただただ一過性のもので張り倒し、押し込め、にんげんを分断する存在を許してはならないと思う。 もっぱけな島であるこの国、岩盤プレートが重なり合い、活動期に入っている火山帯に属している、そんな土地のぐるりに何基もの制御の利かない施設を推進するのはすでにして愚であり悪である。そのうえ、その施設を司るものは想像力を働かせもせず、ことが生じても保身にのみ走る非人間的存在であり、そのくせ被害者意識だけはフツーに持っている。 またいっぽう原発推進を訴えるものは、確かに学ぶことを知らず、我が身安泰ならばそれで良しとし、近視眼的・重厚長大的な発想にのみ囚われ、人間的存在を経済と等価とし見られぬものとしか、私には見えない。 原発を今なしたとて、すでに出来上がっている放射性廃棄物の問題は待ったなしのくせにその方法は宙ぶらりん。微量の放射線の震災がれきの処理進捗さえままならない状況なのに、この無責任は何たることか。この状況下で休止していた原発を再稼働した音相は、個人的責任でいったい何を償おうというのであろう。 今ここで原発をとめなければ、世界から日本は学ばぬ国との誹りを受けよう。 「安らかに眠って下さい　過ちは繰返しませぬから」という命の声を、既に反故にしてしまった今、心に刻むべきは「知足」であり、推進派の言う原発なきあとの代替案に対しては「耐える意志」と応えよう。生きる土地と命を守ることに貪欲になろう、いのち無くしては産業の成り立ちえぬことに思いをめぐらそう。そしてこれ以上「お墓に避難します」という言葉を、皆が言わない、言わせないようにしたいと考える。
31280	個人	家事専業	30代	女性	日本の未来のために、「ゼロシナリオを支持」します。	私は、東日本大震災以前は、原発の安全神話を信じ、原発がクリーンなエネルギーだと考えていました。しかし、福島第一原発の事故後、これは誤った認識で、政府、自治体、電力会社の利権の渦巻く構造で、いわゆるムラ社会であるという認識に変わりました。被災された方々の生活はもちろん、汚染された水・食料によって関東に住む私までも甚大な被害を被っています。 1年以上経っても、いまだに収束することができないような原発を今後将来にわたり稼動させたり、増やしたるすることは考えられません。 今すぐにでも全ての原発を廃炉にし、再生可能エネルギー中心の政策に舵を切るべきです。 原子力規制委員会の人事案についても、原子力関係者が委員に多数候補に上がり、民主党政権の判断や良心を疑わざるを得ない状況と考えています。 一刻も早く、被災者の救済と原発を廃止する、日本の未来を築くための英断を期待します。
31281	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電への依存は0%を望みます。	日本政府および電力会社が原子力発電をマネジメントできないとわかった以上、ただちに日本国内の原子力発電所の稼働を止めていただきたい。福島第一原子力発電者の事故を制御できない技術力、統治力が露呈しているわけで、これ以上の惨事が起こることないよう、原発依存0%、即刻の原発の稼働停止を求めます。
31282	個人	会社員・公務員	20代	男性	ゼロシナリオを支持します。原発の再稼働には、どのような理由があっても反対です。	原子力発電はまだ未完成の技術です。一度事故が起こっても、自分たちで制御出来ないばかりか、そこに生活する人の住居も土地も奪ってしまいまいました。日本は国土を失ったのです。 「太陽光や風力は現状ではコストが高い」のであっても、長い目で見たら原子力や火力よりも遥かに低コストです。ずっと先の世代になっても変わらず使えるエネルギーを、出来ることなら我々の世代で見つけたい。それは原子力のような誰かに必ずしわ寄せが行く未完成な技術ではないものとしたい。ウランは安く手に入れられるといいますが、それも天然の資源で、輸入相手の国の、採掘している人たちがどんな暮らしをしているのか、まったく説明がなされていません。福島第一原子力発電所が作っていた電力は関東が消費していた。「立場の弱いもの」を作らずには成り立たない技術はもう使いたくありません。これからは自然エネルギーを中心に据えて欲しい。それを発展、洗練させていけば、いずれは外に向けて技術を輸出することも出来るでしょう。

31283	個人	無職	30代	女性	原発ゼロシナリオを選びます。	今の原子炉は老朽化しており、原子炉内で放射能が漏れる可能性が、とても高いです。 安全装置も、アメリカの方式をそのままに取り入れただけで、地震・津波・竜巻のある日本の土地適していない。 燃料棒を溶解しないようにするのも、今の原子炉の技術では方法がない。 その上、高濃度に放射能汚染された廃棄物が常に出て、これを安全に処分する方法がない。 コンクリートに詰めて、農村の民家の近くの平らな地に埋める方法しかありません。 地震が来てコンクリートにひびが入っただけで、放射能が漏れ出し、私達は簡単に被曝してしまう。 今の原発のシステムでは、安全確保がまったく出来ていません。 現在の私達の社会の電気は、70%が石油・石炭の火力エネルギーでまかなわれ、原発は数%に過ぎません。 原発を止めても、すでにある自然エネルギーを活用すれば、生活が送れるはずなのです。 大企業が電気を輸出し高収入を得るために、電気を大量に生産する原発が必要なのです。 大企業が必要なのであって、私達の生活に必要な訳ではありません。 「原発がなくなると、大企業が儲ける電気が足りずに、富を維持する為の大きなデメリットがある。」というのが、事実だと思います。 今現在、本当は貯めた電気があるのに使っていないだけで、十分に足りていると聞きました。 電気が足りないということを信じ込ませるために、節電を実行し、原発を稼働させようとするのを止めて下さい。 生活や工場で節電しながら、観光イルミネーションに電気は使い放題。おかしいと思います。 日本は、原発を自然エネルギーへ変えることが、すでに十分に可能です。 その技術を、すでに日本は持っています。 原発を止め、自然エネルギーへ変換させましょう。 なにより、電気より命を守ることが大切です。 放射能で破壊されたDNAは、次の世代にわたって遺伝し、DNAが自然に修復するのに何代もかかると聞きました。 子供たちを、被曝させないこと。 私達が、次の世代を放射能の被曝から守ることが大切だと、私も強く想いました。
31284	個人	会社員・公務員	30代	女性	提示された三つのシナリオはどれも支持することができません。2030年ではなく、もっと早い段階で原発をゼロにすべきです。	・福島第一原発の事故で多くの人が被害に遭いました。人々は生活をあこと奪われ、その被害は今でも続いています。大量に放出された放射性物質がこの先人体や生態系にどのような影響を及ぼして行くかに関しては専門家の意見も別れています。このようなリスクの高い発電に私たちは頼るべきではありません。また、被害の大きさはとてもお金に換算しうるものではありません。 ・日本は地震国です。原発の管理体制のずさんさ等とあわせて考えたとき、この先に同じ規模の事故が起こる可能性は充分にあり得ます。100%の安全はありえません。原発なしでやっていけるよう知恵をしぼり、一刻も早く実現させるべきです。 ・再生可能エネルギー、省エネには大きな可能性があります。これらを最大限に追求していく中での経済活性化を図り、真のエネルギー自給率をあげていくべきです。これは安全保障にもつながります。また、再生可能エネルギーを増やすことで地球温暖化の防止をすることも大切です。 ・原発をいつまでにどのようにゼロにするのか、段階的・最終的な具体的な数値目標を作ることが必要です。また、あわせて再生可能エネルギーも数値目標を作り、具体的に促進して行くべきです。 ・原発は正常運転時も、ウラン採掘や原発労働者などサイクルのあらゆる過程で被曝者を生み出します。また、核廃棄物の問題も未解決です。このような非人道的な発電方法は一刻も早く廃止し、未来の世代にツケを残さないエネルギーを追求するべきです。 ・原発の倫理的問題点が重要課題としてとりあげられるべきであり、ドイツのように専門家による倫理委員会を設置するべきです。経済的、技術的側面のみでこの先のエネルギーのあり方を議論するべきではありません。 ・政府は国民の声を真摯に聞くべきです。首相官邸前には毎週何万人もの人が脱原発の声をあげて押し寄せています。また意見聴衆会でも圧倒的な数の人が脱原発を支持しています。国民の声を聞かない政府に正当性はありません。現在の「国民的議論」は形だけのものであると多くの人が認識しています。 ・この先のエネルギーを考えるにあたり、女性や若者の視点をもっと取り入れるべきです。どのような委員会も中年男性ばかりなのが大いに気がかりです。とりわけ、現在行う決断により未来を左右される若者の声を多く聞いて行くべきです。 以上です。政府の誠実で真摯な対応を期待します。
31285	個人	その他	60代	女性	国家として国民の命を生命を危険にさらすべきではない。 子供達の将来がこの国の将来です。 今ある利益や経済を優先していてはこの国に未来は無い。	人として、命の尊厳が最も大切だからです。 命の尊厳なくして国の未来は語れない。 福島県民を自国の中で棄民すべきではない。 国家として国家賠償責任を取れ！ 歴代のTEPCO社長会長の刑事責任を追及し財産を没収すべきだ！ 脱原発とエネルギーの地域自立が経済や雇用の活性に繋がる事を早く知るべきだ。 何故今、ドイツがEUの中で経済的に一人勝ちなのか考えるときだと思う。
31286	個人	会社員・公務員	30代	女性	「原発0%シナリオ」を支持する。 0%はリスクが高いという。 しかし高リスクは原発を維持しても変わらない。 ならば未来に取り返しのつく選択をしておきたい。 フクシマはもう取り返せないのだから。	1992年6月。 リオの環境サミットで12歳の少女、セヴァン・スズキは語りました。 「こんな大変なことが、ものすごいいきおいで起こっているのに、 　私たち人間ときたら、まるでまだまだ余裕があるようなのんきな顔をしています。 　まだ子どもの私には、この危機を救うのになにをしたらいいのかはっきりわかりません。 　でも、あなたたち大人にも知ってほしいんです。 　あなたたちもよい解決法なんてもっていないっていうことを。 オゾン層にあいた穴をどうやってふさぐのか、あなたは知らないでしょう 死んだ川にどうやってサケを呼びもどすのか、あなたは知らないでしょう。 絶滅した動物をどうやって生きかえらせるのか、あなたは知らないでしょう。 そして今や砂漠となってしまった場所にどうやって森をよみがえらせるのか、　あなたは知らないでしょう。 どうやって直すのかわからないものを、 こわしつづけるのはもうやめてください。」 原発を稼働させ続ける事によって、果てしなく増え続ける死の灰… どうやって処理するか分からない放射性物質を、 生み出し続けるのはもうやめてください。 と、声を大にして言いたい。 また、ある物語の一説には、こうあります。 「かつて、現在では犯罪とされている行為が、国家単位で公然と行われていた。 奴隷売買がそうであり、麻薬売買がそうである。そして、戦争が犯罪ではな い現代においては“兵器売買”が国家産業として認められているのだ。」 今、日本はあの悲惨な原発事故を起こした後も、 ベトナムをはじめ他国に原発を輸出しようとしています。 本来、‘‘経世済民’’を意味する、経済という巨大なシステム＝金の為に。 もはや経済の奴隷…狂気の沙汰に思えます。。 先日、原発立地・福井の方の声を直接聞きました。 「30年前、我々は原発反対運動を行った。いやだと声を上げたのに、 　金の力で国と電力会社の‘‘愛人’’にされた。 　なのに、今更、その生き方を責められても納得できない」 貧しい地方自治体を自分たちの豊かさの為に、 原発の‘‘愛人’’に認めたのは全日本国民です。 我々は、早くその責任を深く自覚し、原発から離脱する決意を固め、 彼らを‘‘原発中毒者’’の立場から全力で救済しなければなりません。 私が死んだずっと未来でも、日本が美しい国土を保ち、 その時には、原発売買が犯罪とされるような、 平和な世界で、子孫が健やかに暮らしている姿を心から夢見て、 今「原発0%シナリオ」の選択を強く支持します。
31287	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。	クリーンエネルギーを推進して、原発依存はゼロにして欲しいです。福島の事故で、原子力エネルギーは『安価・安全』ではないということを、私も知りました。CO2排出削減も脱原発も進んで、豊かな自然環境をこの先の世代まで引き継いでいけるためのエネルギー政策を支持します。
31288	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発事故は、取り返しのつかない国民への被害とコストをまねく可能性が否定できない。早急に廃炉に向けた取り組みと、再生可能エネルギー推進を国家プロジェクトとすべき。	安全神話が完全に崩壊した原発は最早国民の信頼を得ることは無理。 また今回の福島第一原発事故は、地震などの自然災害だけでなく、テロや紛争時の攻撃に対するリスクヘッジがまったくできないことを証明した。 電源喪失、高圧配管の破断、燃料プール上部建屋の軟弱な構造など、自然災害のリスクももちろんだが、もしも他国と戦争状態になった場合に攻撃を受けたら、間違いなく福一事故以上の大規模な周辺被害はさけられない。 これは、いざ紛争状態になると想定される隣国にしてみれば核兵器など所有せずとも、通常兵器で原発を持つ相手国に核攻撃並みのダメージを与えることが可能になる。 かつてイスラエルがイラクの稼働前原発を攻撃して破壊したが、あれは航空機と通常兵器によるもので、もし稼働中であれば完全に炉心溶融を起こして大規模な放射能汚染を起こしていたと思われる。 以上を考慮し、日本国内だけでなく戦争状態になりえる国外への輸出や技術移転はもしもの時のリスクが大きすぎる。誰も責任を取りきれないような被害をもたらし得る現在の原発は収束させ、自然エネルギー、再生可能エネルギー技術推進に国家予算を投入すべき。
31289	個人	家事専業	40代	女性	ただちに原発は停止し、化石燃料に切り替えるべき。再生可能エネルギーに移行するのはそれからでも遅くない。	2児の母です。エネルギーに関する難しいことは分かりません。ですが、これほど人々を苦しめている原発を続ける理由はどこにあるのでしょうか？ どう考えても、政府の原発稼働には理解できませんし、怒りがこみあげるばかりです。 もし、原発を続けるのであれば、汚染されたすべての土地を元に戻し、福島第一原発を終息させる、それだけの技術が確立してからにするべきです。 そんなこと、到底できないのですから、原発を動かすことは異常で、狂喜の沙汰としか思えません。 もう、本当に日本が嫌になっています。 こんな日本に微塵の明るい未来も感じられません。 日本は福島の事故で、取り返しのつかないダメージを負ってしまいました。もう、以前の日本には戻れません。 それならば、せめて、原発を廃止し、新しい日本を子供たちに受け継いでください。正直に、シンプルに、素直に国民のことを考える政治。それが、日本における唯一の希望となります。 私たちは3．11以降、いろいろなことを知りました。 これからは政治を放置することはないでしょう。 もう、国民をだまし続けることはできないのです。
31290	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを支持します。	理由は日本人が原発を安全に運用する事は能力的に不可能だからです。 理由の根拠として、福島の原発事故の原因解明もされないまま大飯原発を再稼動した事が挙げられます。さらに周辺住民にヨウ素剤を配る事も、万が一の事故時の避難計画等、最低限必要な安全のための措置さえ行っていない事実です。また、日本では原子力を推進するために育成された人材が体勢を占め、客観的な判断が行える規制組織が原理的にあり得ないからです。仮に客観的な判断が行える規制組織が作れたとしても、そもそも原子力において客観的に判断する方法論さえ（少なくとも日本では）存在せず、規制組織としての役割を果たす事が原理的に不可能だからです。
31291	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電は今こそ即座に依存度0ゼロ%を国家意志として決定すべきである。このための艱難辛苦ならば耐え抜く覚悟がある。国は国民の意見を全く聞かずに原発推進をなし崩しに国策としてしまっていた。改めるべき。	『原子力発電は今こそ即座に依存度0ゼロ%を国家意志として追求すべきである。このための艱難辛苦ならば耐え抜く覚悟がある。いままで国は国民の意見を全く聞かずに原発推進をなし崩しに国策としてしまっていたが改めることが賢明である。』この意見は、自主的に提出しており、自分の判断であり勤員されたものではありません。新聞報道によるとこれに投稿しているのは勤員者なので聞く必要がないという論調ですがとんでもない妄言です。

31292	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年までの 「0シナリオ」 を指示	環境技術立国として、大きな舵を切るチャンスである。 日本は、豊富な環境技術を有しているにもかかわらず、 原発という既得権益があるために、他の市場投入機会を阻んでいるのが 現状である。 まさに、シュンペータ氏が言うところの、 イノベーションのジレンマ状態 に陥っているのだろう。 311の震災において、リスクコントロールが出てきて それらの欠点を補うべく経験知を培ったのならまだしも、 実際は、データの隠蔽、改ざん等々のネガティブな部分だけ 浮き彫りになり、本来、取らなければいけなかった リーダシップを発揮できないばかりか、 他国の方が汚染状況等々の分析を先に公開する有様であった。 そのような大失態を犯したことで、原発事故が起こった際の リカバリーという市場には、日本の参入余地はないと思うし、 日本＝データ改ざん、隠蔽をする という印象が植え付けられているので、誰も信頼してもらえないだろう。 従って、日本が、将来、マーケットシェアを獲得するためには、 2030年でなく、2020年迄に原発を0として、 再生可能エネルギーの割合を40%以上にもっていくことが必要である。 そうでなければ、他国との競争に負けてしまい、 日本のお家芸になりつつある、環境ビジネスでの世界トップシェアは難しくなるだろう。 その間、火力発電に依存する割合が高くなるのだが、日本政府が行なっている 円安政策を取るのではなく、円高政策に転換して、円を基軸通貨にすることも 同時に重要なことである。円安と円高のマクロ的なメリットを考えると、円高の方が、日本経済においては遥かに効果が高いと言える。 確かに、一部の輸出産業に関しては、一時的な打撃を受けるかもしれないが、 日本ブランドとなっているものに関しては、盛り返す事が可能である。 EU、US、中国が不調に陥っていく中で、日本が経済大国にとして復権できる大きな機会であることからも、原発0シナリオを促進していく必要がある！
31293	個人	自営業	50代	女性	原発はゼロのシナリオでお願いします。	原発はゼロにするというシナリオで、これからの日本のエネルギー政策は考えていってほしいです。これだけの事故を経験し、そして何も終息できていないのです、原発ありきのエネルギー政策はやめてしかるべきではないでしょうか。 現状を見ていると、これまであるものを無事に終息させられるのかだけでも、これから先の不安はぬぐえません。 そもそも右肩上がりの経済成長を基準にしたエネルギー方針を見直しましょう。より現実的な未来像の中でシナリオを描けば、再生可能エネルギーを中心とした社会でまかなえるのではないかと思いますがいかがでしょうか。 ぜひ、現実的で多様性のある国民生活で試算をして見せてほしいと思っています。 投票や購買や生活における選択は、少しでも原発ゼロのシナリオにつながるよう思い描いて行っています。ほんのささやかな活動ですが、決して無理難題を政府や役所に押し付けてあぐらをかいているわけではないんです。 ゼロシナリオ、できないではなくやってみましょうよ、一緒に。

31294	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発はいらない・・・。廃炉へ向けてください。新エネルギーへの移行まで火力でもたせ、最大の企業の力を使い、新エネルギーの開発に取り組んでください。日本人を守ってください。未来を守ってください。	3月11日以降。。。犠牲者となったはずの日本人が二つに、分断されてしまった。 原発が四機も爆発を起こしたのに、安全だとうたうことによって・・・・ 泣きながら悩みながら線量計を赤ちゃんにつけ、毎日の被ばくを記しながら 生きて行かざるをえない人たちがいます。 そして、故郷を失った家族がいます・・・。両親を置いて、逃げ出すように被災地を離れた人々がいます。 ホットスポット首都圏より、九州方面に逃げた若い夫婦がたくさんいます。 福島県やその周辺の地域は、新緑が美しく、農業にも最適で最高のお米どころでした。 お米も水もおいしくて、美しい水で作る野菜も果実も美しく人々が収穫する楽しみを たくさん味わいました。安全なお米を食べてほしくて、おいしい牛乳を飲んでほしくて 必死にお金をかけて耕した土地。。。。高いお金をかけておいしい牧草で育てた牛・・・ だけど・・・。一瞬にして夢も希望も破壊されたのです。 「原発さえなければと思います。残った酪農家は原発に負けないで頑張ってください。 仕事をする気力を失いました。」 「原発で手足ちぎられ酪農家」「やる気力なくした　6／10　pm1:00」 この報道をおぼえていますか？ 福島県相馬市で酪農を営む50代の男性が、「原発さえなければ」などと書き置きを残し、首をつった状態で死亡していたことがわかった。捜査関係者や男性と親しかった複数の人によると、自殺の疑いが強いという。 （朝日新聞より） 彼が最後に見たのは、妻や大事な子どもたちではなく 大事に育てた牛さんだったのだろうな。。。。 どんな気持ちで最後に売れなくなって価値のなくなった牛さんを見つめて旅立ったのだろう・・・ 放射線によって二つに分断される国民。 放射線の法律をすべて無視した今の状況。 もし、原発さえなければ、私たちはみんな傷付け合わなくてもよかったのでは？ 命を犠牲にしなくて良かったのでは？？？ 記憶から薄れていくけれども再度武田邦彦教授のブログに 当時の記事が・・・・ ・・・ 2011年3月12日に爆発した福島原発。小雪の降る極寒に地震で打撃を受けた福島の人たちに放射性物質が追い打ちをかけた。 2011年3月31日午後2時2分に共同通信から配信された情報によると、警察当局は、原発から10キロメートル以内に震災、凍死、あるいは放射線の打撃で亡くなり収容できないご遺体が数100から数1000あると推定していると報じた。 その頃、上杉さん達の事実を伝えたいというジャーナリストは必死になって現場に入る許可を政府に求めていた。「少しでも情報があれば、まだ救われる人がいる」と叫んだが、政府は許可を与えなかった。 3月27日には福島原発から5キロの大熊町でご遺体から高い放射線を測定した。ご遺体の除染を必要とする基準として警察が定めていた10万cpmの測定器が振り切れて県警がこのご遺体の収容を断念した。 寒風吹きすさぶ福島の地に「汚染されているから」という理由で放置されたご遺体。私は日本人として心が痛み、涙をこらえることができない。ああ、すみません。こんな原発をやって・・・ この地域のご遺体は、地震によって家屋の下敷きになったり、津波で服が濡れ折からの寒風で体温が下がった人が多かった。でも、放射線が強く救援が届かない。餓死、衰弱死、病死でなくなった方が多いとされている。 あのときの寒さは酷かった。寒空の中でこれまで真面目に生きてきた日本人を見殺しにしたのは事故を起こした東電と、救援を拒否した政府だった。 武田先生ブログより。。。。 地震で原発が爆発しなければ、酪農家の彼も、津波でかろうじて生き残ってた方々も助け出され 亡くならずにすんだのではないですか？ 自分の故郷を一瞬にして奪われる・・・・ それを考えたら一人一人が意見を出すことが必要になります。 私たちの歴代の祖先たちが日本を守るために、命がけで戦ってきたように。 自分じゃない。未来を守る それが私たちの義務です。今やらなければいつやるの？ 日本存続の危機です。決断をしてください！！
31295	個人	自営業	30代	女性	原発即時廃炉	現在、乳幼児子育て中。食材の汚染で大変迷惑しております。 暫定基準も下がりましたが、未だ高い状況で子供の口にはいれさせられません。早く、世界基準に戻し、汚染物質(食材)を作らないシステムを確立してください。 。メーカーは国の基準に従う一点張り。おまけに業者の偽装まで。 新鮮な食材が、街で気軽に買えないのは、「いのち」より「おかね」を優先している、国の施策のお陰。 あまりにも国民と、まだ意思表示が出来ない子供まで蔑ろにしている。 今の状況は、誰のため？ いい加減にしてください。
31296	個人	自営業	50代	女性	原発は不要です。0%で投票します。	クリーンエネルギーだけの社会が、未来の子どもたちに残したい日本だからです。
31297	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原発ゼロシナリオ（即時）	福島第一原発事故により首都圏から母子避難しております。未だ放射性物質を出し続けている福一があるにも関わらず、何故まだ原発に頼るのでしょうか？原発がなくても他のエネルギーで供給できるはずですし、多くの国民が今回の事故で原発安全神話は嘘だったと気付きました。官邸前デモや経産省前、国会包囲と民意は高まってきています。もうこれ以上国民を無視して原発を稼働させることはやめてください。そして福島や東北、関東から避難、移住してる多くの国民の声を聞いてください。うちの子どもから健康と大好きなお父さんを取らないでください。
31298	個人	パート・アルバイト	40代	女性	2030年といわずできるだけ早い時期の原発ゼロシナリオを支持。再エネの割合を最大限にし、省エネ。化石燃料の依存度を極力下げることが、地球温暖化問題、日本の信用回復、国防や世界経済にも有効と思う。	・地震大国日本に原発の立地は福島原発事故の再来の可能性は否定できない。 家族や地域社会の崩壊、放射能被害（安全安心の地元食材、健康） ・原発を使い続けることによってこれ以上放射性廃棄物を増やしたくない。 ⇒福島原発事故から学ぶべき。 ・原発から再エネへの移行には時間がかかるので省エネが必要。原発事故、原発ゼロにすることにより企業の省エネ製品の開発が進む。日本だけでなく世界中でもそのようなニーズがあると思う。 ・一極集中型の原発より病院などの命に関わるところには太陽光など再エネの導入補助金など国を挙げて促進し、停電になっても命が脅かされない状態にするべきだと思う。 ・ピークオイル問題を考えると化石燃料の依存度を下げることが、一歩先行く社会。化石燃料が希少価値を持つようなると世界経済にも悪影響。その論理に乗らないようにすることが地球温暖化防止、将来の日本にとってもいい影響を与えると思う。 ・　原発は核の傘、国防にも影響がある。日本は被爆国であり、その影響で苦しんできた人々がたくさんいる。原発にテロが起これば、この国は終わるだろう。国際社会からの目もあるのに、わが国はどこの国から軍事的に脅かされるというのであろうか？　朝鮮半島、ロシア、中国それぞれに領土問題があるが時間がかかっても必ず外交で解決していく姿勢が必要で、国民に対してどこかの国が攻めてくると恐怖をあおっているように感じる。原爆で国を守るという考えから離れないと原発は止められない。 ⇒新しい価値観を日本から発信し、国際社会から日本の信用回復、日本人としての自信を取り戻したい。
31299	個人	自営業	40代	男性	「原発ゼロシナリオ」を強く希望します。2030年といわずにただちにやめて頂きたい。	昨年の事故を見て明らかなように今の人類には原子力を制御する力はありません。危険な原発はただちにやめて、それ以外の方法に政府として取り組んでください。
31300	個人	自営業	20代	男性	原発0%を切望します。	福島の事故を受け、未だ収束の目処が立っていない福島第一原発を抱える今、 原子力以外の政策も打ち出せず、原子力に依存していく将来に不安を感じます。 世界から原子力、核を廃絶して行く事を、日本が世界に向けて発信していけるチャンスだと私は考えます。 どうか原発に依存しない未来を切り開いてください。 そして早急に福島第一原発を収束させ、日本の歴史に負の遺産を残さないでください。
31301	個人	学生	30代	女性	脱原発、すなわちゼロシナリオを支持します。エネルギー政策は脱原発を大前提に考えるのが人間として当然です。自然エネルギーと火力の割合については、固定ではなく、技術革新とともに変動するはずです。	原子力発電の主な利点として、発電コストの低さと二酸化炭素の無排出が挙げられていましたが、そのどちらの利点も利点ではないことが明らかになりました。まず、発電コストについては、原子炉設置自治体への補助金・交付金・協力金等を始め、事故時の賠償・補償を考えれば最もコストの高い発電方法であります。次に、発電時に二酸化炭素を排出することはないとはいえ、原子炉を作ったり、未使用・使用済を問わず、燃料を管理する過程で大量の二酸化炭素を排出すると思われます。それどころか、原子力発電は二酸化炭素よりもよほど有害な放射性廃棄物という、最終処理方法を決めることすらできないでいるゴミを出し続けます。以上のことから、原子力発電には何の利点もないことになりますから、この発電方法をあえて選ぶ道理がありません。 そもそも、エネルギー供給量を最低でも現状維持しようとする考え方を改めるべきであり、たとえ経済の低迷、国民生活の不便を招いたとしても原子力発電には一切依存しないという信念で、エネルギー政策を打ち立てるべきです。 また、自然エネルギーについては、国がしっかりと予算を使えば現状の何倍も技術革新は進むと考えますので、原子力発電に浪費していた財源を充てればよいと考えます。
31302	個人	会社員・公務員	30代	女性	選択肢の中で言えば「2030年原発ゼロシナリオ」を、もっと言うならば「可能な限り速やかに原発ゼロ」を希望します。	理由は以下の3つです。 1）核廃棄物の最終処分方法が確立されていない。 今日本で保管されている核燃料は将来的にどうなるのか、100年先、200年先の安全性を誰が保証してくれるのか全く不明の状態で、原発を稼働するのはおかしい。トラブル続きのもんじゅを含め、全ての原発を廃炉にすべきだと考える。 2）地震から原発を守る手段が講じられていない。 福島の事故では、想定以上の地震が起きてしまったとの主張がなされたが、それによって払った犠牲がどれほど大きかったかを考えるべきで、今後もいつ地震が起こるか分からない状況の中、原発をコントロールすることが不可能であるならば、原発を稼働すべきでないと考える。 3）自然エネルギーを主軸にした代替エネルギーの可能性 現状自然エネルギーでの代替が難しいという主張は理解できるが、国が自然エネルギーでの代替を宣言すれば、それをビジネスチャンスととらえる企業も増え、今よりも研究のスピードは格段に上がり、新しい技術も生まれると考える。省エネの技術も国がCO2削減路線を打ち出したからこそ格段に進歩したはずなので、是非自然エネルギーを採用してほしい。
31303	個人	その他	40代	女性	脱原発(ゼロシナリオ)を支持します。 現在二人の息子がいる母親です。 ゲーム世代の子どもたちが、 将来つきたい職業に農業や畜産を志望しています。	現世利益の追求に血道をあげてきた大人（私もふくめ）を横目に見ながら、 自分たちの未来や、命をつなぐことの大事さを、子どもたちは本能的に知っているんだなと思いました。 そういう使命を持って生まれてきた子どもたちに 本当の意味で命のバトンを引き継ぐためにも、 原発を卒業することこそが心の終戦なのではないかと 私は信じます。
31304	個人	パート・アルバイト	20代	男性	原発をゼロにするべき。2030年では遅すぎると思います。	いつまで間違った歴史を繰り返すんでしょうか。どこかで止める必要が必ずある。それが今だと思います。 自分の子供や孫の代に押し付けて、「後は宜しくね」って無責任すぎる。 原発ゼロでくらせる日本を今目指すべきです。

31305	個人	家事専業	30代	女性	ゼロシナリオ（2030年までに速やかに原発ゼロ）	原発事故の責任をとる事など誰にもできません。 原発事故による損害が 節電による経済低迷などと比較にならないほど甚大であることは明白。 この国において地震が途絶えることがないのと等しく、原発を持ち続ける限り 事故のリスクから逃れることは不可能。 投資した分取り返すまで止められない ーかハかのギャンブルに国民を巻き込まないでください。 もし再び 大きな事故を起こしたなら、日本は立派なテロ国家として諸外国から相手にされなくなるでしょう。 自ら御せないものを持つべきではないのです。 一刻も早く もんじゅを含むすべての原発の廃炉を望みます。
31306	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発は直ちに停止し全て廃炉作業に入るべき。原発エネルギーの利用で日本の経済を発展させる事は、事故が起きた時被害を受ける人々を犠牲にする非情な政策だ。「原発がなければ困る」というのは刹那的な考えと思う。	私は福島県で生まれ育ち40年以上暮らしてきました。しかし原発事故という思いがけないことにより、考えた結果福島を離れて暮らしています。事故直後、健康被害がどの程度になるのかわからず、専門家でも意見が分かれる中、素人の私としてはとりあえず離れておきたい、との思いが強かったからです。 私は避難区域ではなかったけれど避難した。同じような立場の方々もいますし、もちろん避難区域となり何もかも置いて、故郷を汚染されて避難せざるを得なかった方々もたくさんいることを思うと、原発はただちに停止し廃炉への手続きをすべきと思います。自分の家を奪われ、離れたくないのに別の土地に、仮設住宅などに住まなくてはならない、家族もバラバラなっている人もたくさんいます。どんなにつらく苦しく大変か。この現実をもっと自分のこととして想像してみてください、官僚の皆様、東電はじめ電力会社の皆様。これは「感情論」と言って済ませてよいことですか。 人間は感情を持つ動物です。科学では、データという数字だけでは割り切れない思いがあるのは当たり前ではありませんか。 いくら日本全体にしたら被害を受けた方の人数が小さいからと言って、日本全体の経済発展のために原発が必要、とする政策は、おかしいと思います。少数の犠牲の上に成り立つ幸せってそれは正しいのでしょうか。犠牲になった人の人権を無視した考え方です。 それに、直接被害を受けた方以外にも日本全国で間接的に被害、影響を受けた人々や企業は膨大な数にとります。 これだけの事故を起こしたのに、すぐ大飯原発を動かし、次々と他の原発も動かしたいとの政府や電力会社の鈍感さにはあきれます。 野田首相は「私の責任において動かす決断をした」とおしゃっていましたが、「何か起きたら責任をとる」とはおっしゃっていませんね。それはそうでしょう。今回の福島原発の事故の責任だってとれていません。とれっこない問題だからです。 野田首相も、ほかの官僚の方も、国会議員の多くも、電力会社の人もこのような事故はめったに起きないと思っていらっしゃるのでしょう。いまだに。 そう断言できるわけありません。まだわからないのですか。けれどたぶんそう思っていらっしゃるように私には見えます、なさっていることを見る限り。 もしまた事故が起こったとしても首相や社長ははやめれば、いい、もし再度事故が起きるのがうまいことと何年も先であれば、自分は首相も社長もやめているであろうから責任は取らなくてもいい、だから今は原発を動かし、見返りをたくさん得ておこう、という考えに私には見えます。原発を希望する経済界の方々も同じ穴のむじなに見えます。「今が良ければ良い」という考えで本当に人は幸せになれるのか。幸せとは何か、今こそ日本人も世界中の人も真剣に考えなければならないのではないか。エネルギーは確かに今の生活には不可欠だろうが、無駄がまだまだたくさんあると思う。無駄に使っているエネルギーは何か、無駄を徹底的に減らし、必要なところは削らない、そういう議論やシュミレーションがぜんぜんなされてないではないか。それで足りない足りないというのは納得できません。 子どもを持つ身として、今と将来の安全をないがしろにした、経済優先の原発ありきの政策の進め方には断固反対です。核廃棄物の処理問題も未解決だし、解決策が見つかるのかも今は疑問です。このまま原発を使えば人類の破滅が早まると思います。まあ、人類の破滅はまだまだ先だから「今が良ければ良い」と思っていらっしゃるのでしょうけれど。 それからこんかいこういった意見を求めたり意見聴取会をポチポチと行ったことを「国民的議論」と言い、国民がオリンピックに沸いている間に意見を締切り、政策を決めるなんて拙速ではありませんか。 意見が何週末たのかもきちんと開示してほしい。８月に決めるのも早すぎます、私はまだ何も納得できません。「政府としては１５%と思っている」という話も早くも発言ありましたし、こんな結論ありきのおたのごかし、ごまかしのやり方は偽善です、国民を欺くやり方です。国民に対し真摯に向き合ってください。国民の声をまっさらな気持ちで聞いてください。 あなた方のしている政治は誰のためですか。 原発は一刻も早く無くしてください。現在原発で生活している方の別のお仕事も政府が真剣に考えてください。原発は国策として進めてきたのですから、それをなくすときには仕事のことも考慮するのは当然と考えます。 以上です。よろしくお願い申し上げます。
31307	個人	会社員・公務員	50代	男性	日本が生き残る為には、原子力発電を保持することが必要である。震災の経験を生かし、原子力の安全対策技術を確立し、実証するのが日本の役割であり、その為にも、原子力発電を維持していかなければならない。	工業立国の日本として、国内産業を保持することは、日本が生き残る為には必然である。１億２千万の国民が生活できているのは、間違いなくこの工業立国としてで　あり、食料を７０%も海外に依存している現状では、工業なくしては、国として存在できない。震災のときに、電力供給問題により、日本の産業がどれだけ影響を受けたかは記憶に新しい。安価な電力を安定して供給できる体制は、産業の基本である。政府は、代替エネルギーに頼る案を中心に議論を進めようとしているが、いずれのシナリオも原発依存度を減らすという結論に限定してしまっている点は問題だ。代替エネルギーの経済性は、どの程度あるのであろうか。 原子力を止めることにより負担しなければならない、化石燃料代は、今後の30年を想定すると、数百兆円にも達するだろう。そういった巨額の費用を一体誰が負担できるというのか？化石燃料を燃やすことによる環境問題は、どう解決するのか？原子力のリスクに過剰に反応するだけではなく、現実を見た議論を進めるべきだ。 日本・先進国は原子炉から、逃げようとしているが、世界の開発途上国は逼迫する電力を原子力で補おうとの動きは避けられない。福島の不幸な事件を「想定外」と単純に片つけようとしているが、人災だとの声も漏れ聞こえてくる。最悪を想定し、災害の起きた段階で、速やかに適切な処置を施していれば、これほどの問題にならなかったというのは結果論であろうか。世界は繋がっている。世界の何処かで、また、原子炉溶融といった事故が起きれば、日本もその影響を避けては通れないのだ。 不幸にも、世界でも経験できないような重大災害を引き起こしたのは間違いない。日本は、世界に対し、その経験を生かし、より安全な原子力システムを開発していく義務がある。 少なくとも、今現存する原子炉は、世界に対し安全に運転できる技術の実証の場として、活用していかなければならない。
31308	個人	自営業	30代	女性	原発の停止と廃止、自然エネルギーへの転換を求めます。	ひと握りの人しか得をしない政治と原発はいりません。全ての原発の停止と廃止、自然エネルギーへの転換、そしてそれが可能な国作りを求めます。
31309	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発…2030年までにゼロ。	なるべく早くエネルギー政策の転換を図ってほしい。 原子カムラの不健全さ、不透明さにもうんざりです。
31310	個人	無職	70代	男性	政府が提示している2030年の日本の発電量に占める原発割合の3つのシナリオ選択肢（原発0%、原発15%、原発20～25%）中、原発0%シナリオを支持する。	原発0%シナリオを支持する理由 1.私は長年、大学教育を勤め、自分で放射性物質を取り扱った経験も有るが、原発の様に莫大な放射性物質を発生する危険な装置を、毎年の様に地震、津波、台風等の天然災害に襲われる日本列島で、事故が起きない様に、常に絶対安全に制御して行くことは、神ならぬ人間には究極的に無理であると思う。昨年3月の東日本大震災での東電福島原発の悲惨なメルトダウン事故の際は、何が起きているのか専門家達も分らず、初期対応が極めて稚拙だったため人災とも云われており、3号機の爆発原因が今なお不明なことからも、原発についての我々の知識は極めて乏しく、原発を安全に制御して行くことは、たとえ2030年でも難しい。 2.東電福島原発事故での高濃度放射性物質により汚染された広大な土地には多くの市町村が含まれるが、この地域では高濃度放射能による健康被害が必ず起きるため、住民は少なくとも今後10年間は戻って住むことは出来ない。この様な悲惨な地域をこれ以上増やさないためにも原発0%シナリオでなければならない。 3.原発0%シナリオでは、発電を火力や自然エネルギーに頼って発電コストが増えて電気料が高騰し、産業が国外に逃避し、雇用が減少するとの産業界の意見に対し、産業界が新しい自然エネルギー等の開発を奨励促進すれば、それによって発電コストも高騰せず、新しい産業や雇用も生れるはずであると回答したい。 4.原発運転による莫大な放射性廃棄物が既に国内に蓄積し、それらを処理する方法や場所も未定である現状からも、これ以上原発を増やすべきでなく、2030年迄には、すべての原発を廃炉にすべきである。
31311	個人	自営業	30代	男性	ゼロシナリオを即時。	現在、大飯原発のみが稼働し１年で一番電力が必要なピーク時を乗り切るところであります。つまり電力が足りていないわけではないですね？2010年実績の26%を原発に依存しているという示し方がまずフェアではないのではないでしょうか。現状を説明してください。またなぜ15%、25%という選択肢、2030年という期限を勝手に示しているのでしょうか。 多くの権力や財力を持たない人間が犠牲になり、ひとたび事故が起これば広大な大地や海を汚染することが露呈した管理不能で斜陽の技術を頼りにした産業を続けるということは、恣意的な理由を必要とすることは明らかです。 それは高度化した民主主義や資本主義の社会とはいえないのです。 核兵器の抑止力を視野に入れたプルトニウムの保持もその理由なのでしょうか？現代の国防は陣取り合戦ではなく、ITや金融にみられるような物理的な線引きを軽々越えた新しい競争のはずです。あまりに拡散した核での牽制は合理的だとは思えません。 国力とはなんでしょうか。社会システムの成熟がひとつです。生産者であり消費者である国民は納税を通じて社会システム構築に寄与していますが、その根源はなんでしょうか。与えられた権利と義務に納得し、むくわれる労働や公共への献身がされるのです。それをモチベーションといいます。 隠された、ウソをつかれ、さらにごまかされ、言葉だけで押し付けられ、モチベーションは維持・向上はされないのです。 それが生産力や消費行動に直結し、それが国力として数値として示されるでしょう。原子力を確固たる理由なく続けるといことは、国力をそぐことだと思うのです。対局に立って考えて頂きたいのです。
31312	個人	その他	40代	女性	「原発ゼロシナリオ」を望みます。2030年までに速やかに原発を廃炉にして下さい。	原発事故は日本国内だけの問題ではありません。近隣諸国はもちろん、地球環境に大きな影響を及ぼすことをもっと真摯に考えるべきです。原発開発には巨額の国の資金が投下され、独占的に事業を請け負ってきた組織が、お金の為だけに甘い見通しで事業を継続しようとしているようにしか感じられません。一度事故が起こってしまえば生身の人間では制御が難しい設備が、いつ大地震が起こってもおかしくない日本の土地に点在していることに恐怖を感じます。一刻も早く、全原発の廃炉・解体を行い、太陽光や風力など危険度の低いクリーンエネルギーでの発電にシフトすることを望みます。
31313	個人	自営業	60代	男性	選択肢の3つのシナリオの中では「ゼロシナリオ」です。しかしそれは2030年における原発比率であり、私の意見はすぐに2012年での「ゼロシナリオ」です。メガソーラーで夏場のピークカットをして実現します。	現在稼動している原発は大飯原発のみであり、その大飯原発は稼動しなくてもこの夏場のピーク需要に対応できたという状況があります。 現在計画されている鹿児島メガソーラー発電は270億円の投資で１年で完成し70メガワットの発電出力になります。福島第一原発6号機は1,100メガワットですので鹿児島メガソーラーと同等出力のものを16台つくれば平均的な出力の原発を置き換えることができます。その投資額は4,320億円ですが維持費が原発より格段に安いので十分コスト的なメリットがあります。 原発は一定出力の連続運転に適しておりベースロードに強みがありますが、夏場の晴天昼間のピークカットにはメガソーラーが最適です。54基の原発をすべてメガソーラーで置き換えれば夏場の晴天昼間のピークカットができます。 米GEのCEOが原発について「正当化するのは大変難しい」と発言し、米国NRCでは新規原発及び稼動原発延長のライセンスが凍結されました。 日本もできる限り早く脱原発すべきだと思います。
31314	個人	会社員・公務員	20代	男性	2030年までの原発稼働率を0%目標にします。	0%目標にする為に国がかどのような行動をとるべきか国民と政府が話し合うべきだと思います。 デモ活動が100%民意だとは思いませんが、一つの話題として上がっている以上 対応すべきで、今後の日本の在り方を考えたいです。
31315	個人	会社員・公務員	20代	男性	人生は美しい	29年間生きてきた人生の中で、沢山の夢を見ることができた。もちろんいいことばかりではなく、苦悩した日々や苦痛な時間も沢山あったけれど、こうして思い返してみると、それぞれの場面、それぞれの場所、その全ては心 の中の宝物だ。 俺は幸せ者。 素直に、単純に、そう思う。 この人生を与えてくれた両親、共に歩んでくれる仲間や恋人。 決して１人では成り立たない人生を歩みながら、様々な、あらゆる幸せを受け取って今の自分が存在しているから、次の世代にも、まだ見ぬ子供達にも、同じ様に、それ以上に、幸せを感じることのできる世界を、暮らしを、未来を、残してあげたいし、与えたいと思う。 100%の安全なんて、この世のどこにも存在しない。 100%の保証なんて、１人の命の足元にも及ばない。 俺たち一般人は専門家でも、政治家でもない。 難しい専門用語の羅列よりも未来へと繋がる真実を。 人生は美しい。 将来、そんな言葉を沢山聞きたい。 だからそれを脅かす放射能を根拠のない、安全、を謳い文句に扱う原子力発電に 100%反対、原発ゼロを訴えます。

31316	個人	自営業	70代	男性	ゼロシナリオは次善の選択、最善のシナリオは、(1)即脱原発、(2)再生可能エネルギーを拡大しつつ、(3)火力発電の燃料を日本海底のメタンハイドレートに替えていき、(4)原発を推進した人たちに責任を取らせるというもの。	1．即脱原発 以下の理由から、全ての発電用原子炉を直ちに廃炉にすることを日本の政策として決定してもらいたい。 理由1：原発は、複雑すぎるシステムである。運転マニュアルは大部なものとなり、運転員はシステムを把握しきれない。マニュアルに想定された異常事態にさえ対応困難である。想定外の異常事態には全く対応できない。結果として、暴走事故はいつ起きても不思議はない。 原発で一度事故が起きれば、原発の周囲数百kmにわたり放射性物質が撒き散らされ、多くの住民は、仕事と生活の場を奪われた上、将来にわたって、癌やその他の病気が発症するのではないかという恐怖を与えられ続ける。 事故後の除染処理や廃炉処理がいかに困難であるかも明らかになった。 理由2：原発は、現場作業従事者の放射線被曝という犠牲無しには成り立たない技術である。放射線被爆者を増やし続ける技術である。 理由3：日本の安全保障のために原発が必要であるという論が起きているけれども、いつでも原爆を作れる余地を残しておくも解釈できる論であって、決して受け入れることはできない。 日本の安全保障は、他国に脅威を与えるのではなく、他国から信頼され尊敬される高い理念を掲げてそれを実践することによって保たれるものでなければならない。 2．再生可能エネルギーによる発電を早急に普及させる 現時点で、実用段階にある、太陽光発電、風力発電、小規模水力発電および地熱発電を早急に普及させる。 畜産・農産・漁業廃棄物のメタン発酵による小規模メタンガス火力発電も早急に普及させる。 太陽光発電の、効率向上と低価格化のための技術革新を促す。 その他に、音力発電、温度差発電、波力発電、潮汐発電、潮流発電、太陽熱発電などの技術開発にも力を注ぐ。 3．火力発電の燃料を日本海底のメタンハイドレート由来のメタンガスに替えていく 火力発電は、再生可能エネルギーによる発電の変動を吸収するためと、数年後に到来するかもしれないとされる、マウンダー極小期という太陽活動の低下による寒冷期に対処するために、全電力容量の50%程度は確保しておく必要がある。寒冷期では、太陽に依存する発電容量は、大きく低下するであろうから。 火力発電の燃料を、現在輸入に頼っている石油と天然ガスから、日本海底に存在しているメタンハイドレート由来のメタンガスに替えていくことが、発電コストを低下させかつ安定させるために、必須要件である。 日本海底のメタンハイドレートは、太平洋底のものに比べて、水深が浅く、海底に露出して存在するので、比較的容易に採掘できるとのことである。日本海底のメタンハイドレートを採掘する技術を早急に確立すべきである。 新設する火力発電所は、メタンガスを主な燃料とし、いうまでもなく、ガスタービンと蒸気タービンによるコゼネレーションシステムとする。 半導体素子による温度差発電の技術開発を行ない、火力発電の排熱から発電することによって、火力発電のさらなる高効率化を目指す。 火力発電所に隣接して、太陽光を主力光源とする植物工場を設け、発電所から二酸化炭素と排熱を供給する。植物工場は、その二酸化炭素を植物の炭素源とし、その排熱を駆動熱源とする吸収式ヒートポンプによって工場内の冷暖房を行う。 植物工場では、ユーグレナ（ミドリムシ）の培養、石油生成藻類オーランチオキトリウムの培養や野菜の栽培を行って、食料、家畜飼料、養魚飼料や石油を生産する。 メタンガス火力発電は、二酸化炭素排出量が、石油火力発電に比べてもともと少ない（64%／kwhとの試算がある）のであるが、植物工場と同時に運転することによって、二酸化炭素排出量をさらに低減させることができる。 4．原発を推進した人たちに責任を取ってもらう 原発を推進して来た人たちは、超巨大津波のような危険性を、わかっていたにもかかわらず、対策に費用がかさむので、いわゆる原発安全神話という虚構を作り上げることによって、検討しないことにして来た。また、自分たちは、常に安全地帯に居て、事故が起きた時、それに直面する人たちのことをほとんど考えない。このような考え方とやり方は、太平洋戦争時の戦争指導部のそれと全く同じではないか。 あの原発事故以来、テレビに出演した、原発を推進して来た、政治家、官僚、研究者、技術者、財界人たちは、責任を感じているとロでは言うものの、誰一人具体的な責任の取り方に言及しなかった。中には、あまりにも深刻な事故なので、責任をどう取ってよいかわからないとさえ言う人が居た。 責任の取り方がわからないのであれば、彼らに、国民の多くが納得できる責任の取り方を教えて上げたい。あの原発事故を防ぐことができなかったことを深く反省して、放射性物質をばら撒いた事故原発周辺地域の除染と廃炉作業に自ら進んで従事することによって、責任を取ってもらいたい。 自分たちが蒔いた種は自分たちで刈り取らねばならない。 5．徒然草から学んでもらいたいことがある かつての大きな公害事件や今回の原発事故を見るにつけ、高校時代に習った徒然草の一節が思い出される。ネット上の検索によると、その原文は188段の一部にあった。現代語訳を引用する。「京に住む人が東山に急用ができて、既に東山に行き着いていたとしても、西山に東山よりも勝る利益がある事に思い至ったならば、すぐに門から出て西山に急ぐべきなのだ。『ここまで来たんだから、まずこの用事を済ませう。日時の決まった事でもないんだから、西山の事は家に帰ってからまた考えよう』と思ってしまうがために、一時の懈怠（怠りと緩み）がそのまま一生の懈怠になってしまう。このことをを、恐れるべきだ。」 今回明らかになって来た原発推進の過程が、同じように見える。今まで多額の予算を投入して来たので、引き返すことができない。 引き返すことができるのは、政治家による賢明な政治主導によってだけである。政治家の皆さん、今こそ、目を覚まして欲しい。
31317	個人	会社員・公務員	30代	女性	出来る限り速やかな原子力発電からの脱却と再生可能エネルギー自給へのシフトを望みます。	原子力発電はあまりにも持続不可能だと思うので。 未来の世代により良い地球環境を渡すには持続可能で循環するエネルギーを誰もが使える状態が整わなくてはならない。 唯一の被ばく経験国としても、今だけではなく、未来を見据えた選択をしていきたいです。
31318	個人	会社員・公務員	40代	男性	1　原発依存、ゼロを望む。 2　考慮されている情報が少なすぎる。 3　国民に与える情報が意図的に難しく表示されている。 4　このページに中々辿り着けない。	1　原発依存、ゼロを望む。 ・原発とは「いつ爆発するか分からない時限爆弾」といっても過言ではない。 　火山国・地震国である日本の国土のどこに、安心して原発を建設できる土地があるというのであろう。それこそ「時限の分からぬ時限爆弾」である。 　また、兵器の材料として持っていたいのであろうが、風上国からのテロにより「風上国の兵器」に変わりうるリスクは考慮しているのか？これもまた時限爆弾である。 　推進する人間は、原発近隣に居住し、放射能を扱う業務に勤務する覚悟を見せて欲しい。 　英仏の再処理工場で放射能漏れを起こしたという事実を知っている以上、再処理には到底同意できない。 ・コストのことを大々的に謳っているが、本当にそうであろうか？ 　そもそも電気の原価・価格の定め方自体に問題があるのに、そこを土俵に論じることに意義はあるのか？ 　原発停止後、解体（物理的コスト・時間的コスト）、廃棄物保管コスト等々のすべてのコストは入っているのか？ 　再処理コストを配分しているのか？ 　原発の所在地域に支払われるコストは入っているのか？ 　一方、火力発電の試算において、化石燃料に替え、藻類（オーランチオキトリウム）による産油（リッター50～60円が見込まれている）を考慮したのか？ 　これらの数値が加味されていないデータで国民に比較させることは卑怯である。 2　考慮されている情報が少なすぎる。 　上記に述べたことも含め、情報が少なすぎる。テーブルいっぱいにある情報を、お鉢にのるだけの情報に狭めることが、本当に国家の舵取りと言えるのか？ 　「もうこれ以上、誰も思いつかない。」と言うところまで突き詰めることこそ、国がやるべきこと。こんな中学生レベルの情報で国の未来を占うというのか？ 　スマートグリッドを試算したのか？ 高効率モーター（平板式発電機）、コンバインドサイクル発電、レンズ風車、波力、地熱、海流、低温廃熱（65度以上）発電などを考慮したのか？ 　町中発電所や燃料電池を考慮しているのか？ 　発電箇所を細分化することによるリスク分散という観点を加味すべきである。 ※　以上の中で、知らないものが一つでもあったならば、勉強不足、職務怠慢に外ならない。 3　国民に与える情報が意図的に難しく表示されている。 ・この調査は誰を対象にしているのか？ 国民は皆、日々の生活に追われ多忙を極めている。最初の「エネルギー・環境に関する選択肢」を読まねばならず、挫けてしまう国民が大半であろう。 　一般国民に問うたら「ゼロ」にいうに違いない。そこで、こんな「関所」を設け、統計の誘整をしているようにしか思えない。 　電力会社側は社員に「エネルギー・環境に関する選択肢」の内容など気にせず「こんな意見を書け」と命令さえすれば、それだけで数値が増す。電力会社及びそのトリマキも必死だろうから。 ・事実との違い 　選択肢に「ゼロ」「15%」「20～25%」とあり、いかにも「20～25%」が現状であるかのように説明があるが、現状がこのまま続き、正しく耐用年数が考慮されれば、当然、廃炉を迎え「15%相当」となるはずである。とすると「20～25%」というのは新規建設が前提という事になる。しかし、耐用年数は何らの安全根拠もなく延ばされる。 　結果として「ゼロ」=縮小、「15%」=現状維持、「20～25%」=拡大路線、ではないか？ 　正しい数値による比較を求める。 4　このページに中々辿り着けない。 　何故このページに辿り着きづらくしているのか？ 　上記3同様、黒い意図が見える。 　そのような意図がなかったとしても、一国民にそう思われたということだけで、配慮が足りないことは明らかである。 　同文を知りうるマスコミ各社に伝える予定であることを申し加える。
31319	個人	その他	20代	男性	原発ゼロシナリオ	原発ゼロシナリオ 　もっと自然と共存していかなくてはいけないと思います。経済とか何とか言っていますが、これからは地球にやさしく、世界の見本になるような国を作っていかなくてはいけないと思います。それを今できるのが大災害のあった日本だと思います。日本はその使命を地球から与えられています。 　僕らは電気に生かされていないのです。水に生かされ、大地に生かされ、空気に生かされ、魚に米に動物に生かされてきました。原発はそれをすべて破壊していきます。まさに人間の作りだした負の遺産です。貧しくても良いのです。貧しいー不幸ではないのです。
31320	個人	その他	40代	女性	3.11以後、原発との共存が不可能であることが明確になった以上、2030年の原発依存度を「0%」とする「ゼロシナリオ」=「脱原発」を採用するべきである。	三つの選択肢から選ばなければならないのであれば、原発依存度をゼロとする「ゼロシナリオ」しかありえない。 　原発事故が起こったときに誰も責任をとれない（とらない）ことは、先の福島第一原発事故で明らかにされた。今年の5月に日本国内では原発が一基も稼働しない状態となり、他のエネルギー源の利用と節電の努力で、電力不足に陥らずに夏を乗り切れることを証明する最大のチャンスになるはずであった（いくつものデータが原発なしでも電力は足りることを示していた）。にもかかわらず、関西電力からは原発を稼働させなければ電力不足に陥るという嘘たらデータも示されず、安全性も確保されないまま、大飯原発直下は活断層の可能性ありとの専門家の警告も無視して、政府は大飯原発の再稼働を認めるという犯罪的な決定をした。福島第一原発事故という未曾有の「人災」は、多くの人々からこれまでの生活を根こそぎ奪い、いつ終わるとも知れない避難生活の苦しみを強いているにもかかわらず、政府はこの多大な犠牲から一体何を学んだのか。 　事故の可能性を措いても、核燃料サイクルが実験段階ですでに破綻し、日本国内に使用済み核燃料（さらには廃炉後の原子炉）の最終処分場もない現状で、原発をこれ以上延命させるべきではない。引き延ばせば引き延ばすほど問題が先送りされ、難題が拡大する――未来の世代が、何の恩恵に浴することもなく負の遺産のみ押しつけられる結果になる。そのような無責任が果たして許されるのか。 　そういった「後始末」を考えないエネルギー政策はすでに破綻している（原発が「安く」つくといわれるのは、それら後始末の費用や事故の補償などを完全に度外視しているからにすぎない）。ましてや、日本は近い将来、東海・東南海・南海地震の発生が想定されている地震大国であり、ほとんどの原発は活断層の上に建設されているといわれる（それ自体が法律違反である）。そもそも原発の導入自体が、ありえない選択であった。 　政府が示す「ゼロシナリオ」では必要以上に化石燃料の比率を高く設定しているが、脱原発がめざすのは、エネルギーの絶対的消費量を縮小させるという大前提で、資源に限りある化石燃料に依存しない「自然エネルギー」への転換を図ることである。先の政府主催の意見聴取会においても、参加者の7割が「ゼロシナリオ」を支持したと報道されている。大飯原発の再稼働にも過半数の市民が反対していたにもかかわらず、完全に無視された。今回、あえて意見聴取会を開きパブリックコメントを募集したのならば、それを単に「実施した」というロ実として利用することは許されない。そこで表明された市民の意見を必ず政策に反映していただきたい。再び取り返しのつかない事態を招かないうちに、一刻も早く全原発の停止・廃炉へ。
31321	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年のエネルギー・環境に関する3つ選択肢のうち(1)のゼロシナリオを選択してほしいです。	2030年のエネルギー・環境に関する3つ選択肢のうち(1)のゼロシナリオを選択してほしいです。原発は事故の危険があるだけではなく、廃棄物の処理についても問題が残っています。電力会社のためではなく、日本国民の命のための選択をしてほしいです。
31322	個人	自営業	30代	男性	ゼロシナリオが妥当と思います。もっと言うならば、もう原発は稼動させるべきではないと思います。	理由ですが、まず第一に事故が起きた場合の被害があまりに大きすぎます。どんなに注意しても事故は起きるものです。どんな産業でもそう。絶対に事故が起きない現場なんてないんです。原発の場合その被害は日本の存亡、ひいては人類の存亡にかかわる可能性をはらんでいるのです。論外な産業といえます。実際に福島で、あと一歩で日本の存亡があやうくなるほどの事故がありました。想定外のことが起きる可能性がゼロになることはないのです。論外としかいいようがありません。 第二にこれ以上放射性廃棄物を増やすべきではないと思うのです。放射性廃棄物を自然にかえす技術はまだありません。何万年と地道に管理し続け線量が落ちるのを待つ以外にないのです。管理場所は飽和状態で原発のプールでとりあえず保管しているありさま。すでに管理しきれてないのです。管理にしても事故は日本や人類の存亡にかかわる可能性をはらんでいます。放射性廃棄物を増やすというのも論外なのではないでしょうか。 もちろんやめるにやめられない事情もいろいろありますが、そんなことを言っても場合ではないと思います。
31323	個人	会社員・公務員	20代	女性	ただちに大飯発電所を停止し、原子力発電を0%にすべきである。原子力の代わりに火力、という選択肢ではなくエネルギー政策自体を再考してほしい、そもそも電気を使いすぎない社会へシフトしていくべきと考える。	大飯発電所の安全と判断した基準も、福島原子力発電所の「冷温停止状態」という宣言も、不明瞭で納得のいくものではない。国民に対しきちんと説明がなされないままにすすめられていると感じ、非常に不安に思っている。地震から1年強で、反省ヤ十分な検討もなく、原子力発電を再稼働すべきではない。 　現状では、原子力発電がなくても電気は足りている一方で、火力発電のコストが貿易赤字を生んでいるという意野経人氏の指摘を朝日新聞で読んだ。現時点では今あるエネルギーの中で、選択していかざるを得ないのかもしれないが、早急にエネルギー政策自体を再考し、新しいエネルギーを開発していかなくてはならない。原子力から火力に代えるだけでは、問題解決になっていないと考える。その開発に税金を使ってほしい。東京電力の平均年収が高いことに非常に驚いたが、電力会社の原子力による利潤の追求は、競争社会の原理で止められないとすれば、その基走をとめるのが政府の役割ではないか。 　自分の子に、「原発は危険なんだけど、大人の都合でなくならないのだ」と言いたくない。「原発は危険なものだからなくなったんだよ」と、原子力発電の危険性を身をもって知った今だからこそ、ちゃんと説明できるような社会を大人が作っていかなくてはならないと感じている。経済成長だけを考えずに、人間としてまっとうな生き方を大事にするような社会に変われるチャンスだと思う。
31324	個人	家事専業	30代	女性	原発は絶対にいりません！	使用済み核燃料の安全な処理の仕方も決まっていないのに、その負の遺産と引き換えにするほど原発は必要ではないです。 地震大国の日本において、100%の安全はありえません。 稼働している一基がまた大事故を起こしたら、日本はさらに汚染され安心して子供を産み育てることはできなくなります。 その可能性をもう残さないでください。 本当にもうやめてほしい。 お願いします。
31325	個人	自営業	50代	女性	原発ゼロを希望します。	日本は、海があり、山があり、火山があり、川がありと自然エネルギーを生み出せるたくさんの条件がそろっている珍しい国である。 石油資源があるわけでもない、日本にとって、世界に対し、日本のエネルギーへのビジョンを広くアピールするのには、原発をゼロにし、自然エネルギーへのすばやい変換の道は、日本の世界でのスタンスにとっても、私たち、そして未来のこどもたちにとっても、必要不可欠なものだと感じるからです。 今のこの日本の状態をパネに、自然エネルギーへの道をすすめば、世界でのリーダーシップも夢じゃないものになる。 人にも自然にも環境にも負荷がない選択肢である自然エネルギーは、原発という一歩間違えれば、大変なことになる不安を抱えたものへの依存とは違い、私たちにとっての、大きな財産になる。 大きなエネルギーの財産を生み出すために、原発ゼロを希望します。
31326	個人	会社員・公務員	50代	男性	人類や地球を守るために「ゼロシナリオ」の他には、道はありません。	事故が起こったら、人間の力ではどうすることもできないような原発を続けていていいのでしょうか。事故が起きた地元だけの問題でなく、日本中、いや世界中を恐怖におとしいれ、地球上の自然を破壊しているではないですか。人間の生活にとって、電気はとても大切ですが、それとは比較するする重さが違いすぎると思います。電気の供給については、再生エネルギーの促進や、省エネルギーの促進によってなんとかできるはずです。人類や地球を守るために「ゼロシナリオ」の他には、道はありません。

31327	個人	パート・アルバイト	40代	男性	「2030年に原発0」ではなく「即刻原発0」を主張します。このパブコメ募集の前提が「2030年まで原発維持」となっている事自体、国民を騙すトリックではないのですか。	「エネルギー・環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張致します。 このパブコメ募集の前提が「2030年までは原発が維持される」となっています。前提自体が国民を騙すトリックではないのでしょうか。再び事故が起これば、日本は再起不能になりるばかりか、世界中に放射能をばらまきます。政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示すべきです。
31328	個人	自営業	30代	男性	日本の未来エネルギー、原発依存0%	日本の将来を考えたら原発依存0%しか考えられない。
31329	個人	家事専業	20代	女性	原子力反対	原子力が、どんなに恐ろしいものなのか、わかりました。安全だよという言葉を信じてきたけれど、安全なんかじゃない。 事故が起これば、国も電力会社も何もしていない。ましてや、国民を危険にさらしています。そんな恐ろしい原子力事業を賛成なんか出来ないし、 原子力事業には未来がないとGEのトップだって言っている。 そんなものに、税金を投入してまで、国民の安全を侵してまで取り組む必要性ってありますか??? 核の安全利用なんて、夢のまた夢。事故が起きたせいで、家をなくした人、仕事をなくした人、たくさんいます。そして、その人たちの状況は、特になにも改善されてません。もう、いい加減、国民に本当のことを言わないで…というか、政府も電力会社も本当のことがわかってないというか、事実を隠してるような原子力事業 は、ソッコーやめたら良いんです。 今すぐ。 電気なくなったら、私たちは生きれないっていうことを言った政治家がいましたけど、そうなのでしょうか???無いなら無いなりに、知恵を出して生活するし、原子力発電が無くても、火力水力風力で全然間に合ってますよね。原発なんか必要ないって分かってます。 仮に今日本にある原発を全廃炉にしても、廃炉を完全にするまでには、何十年も時間は必要といわれてます。つまり、雇用が必要ということ。あたらしいエネルギー事業を展開していけば、それにも雇用が必要となりますよね。 仕事がすぐなくなって困る人なんかいません。 代替えエネルギー…っていうか、原子力なんかダサいし古くさい。新しいエネルギーには、地熱発電を進めていくのはどうですか??日本はあちこちに火山がある。温泉がある。地熱発電するにとても良い環境をもっているし、あと、原子力なんかよりも、安全です。事故が起こっても、誰も国民を守ろうとしないというのはわかりました。だから、私達国民は安全に発電できる方法を選ぶべきです。
31330	個人	学生	30代	女性	原発は今すぐやめるべきだし、できるはず。	原発を使わなくても、必死に節電しなくても、少し今とシステムを変えるだけで電力供給は間に合うということはいろいろな学者や機関が証明している。一方、電気が足りないという人（政府、電力会社も含め）の理屈は「足りない」というだけで説明になっていない。それともそれは机上の空論といいたいのか。日本の科学者をバカにしたいのでしょうか。 理想論を押し通そうというわけではありません。「原発がある生活の豊かさ、安全（病院などの機器も含め）」と、「なくしたときの不便」、そして「原発事故が起きたときのリスク」を秤に掛けたときに、一番悲劇なのは原発事故であることは経験済み。事故は起きる可能性があることも証明された。 政府には、原発をなくすことを前提に、国の設計図をたててみてほしい。そのために力を尽くせる人は無数にいるはずだと思う。
31331	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電をゼロに、太陽光、地熱、風力、水力発電などを軸にして、不足分を火力発電で補う形にすべき。	根本的に、燃焼や核分裂による発熱を伴う発電システムを主軸にする事が望ましくないと考えます。 原子力発電かどうかが問題ではなく、自発的な発熱によって熱タービンを回し、 発電する方式そのものが、害悪であると考えています。 火力発電も、必要最低限度に抑えるべきです。 太陽光発電、地熱発電、風力発電、水力発電など、自然界に発生しているエネルギーを転換して利用する発電システムに切り替える。 一度そのコストを異剤に算出し、ロードマップを示して欲しいです。 国際競争力が下がっても良いです。 世界で一番電気代が高くても良いです。 貧しい国になることがいけないことと思いません。 環境は変わっています。 良い形で生き残っていきたいと考えています。
31332	個人	学生	20代	男性	私は、エネルギーシナリオとして、3つのうち原発依存度ゼロシナリオを強く支持します。	私は、エネルギーシナリオとして、3つのうち原発依存度ゼロシナリオを強く支持します。私は、昨年の原発事故が起こる前から、再生可能エネルギー導入が進まない日本はダメだと考えてきました。そして昨年の大事故が起こってしまった以上、このような事が二度とないように、原発を廃止していき、再生可能エネルギー導入を強力に推進していく事が非常に重要です。中途半端な依存度を策定してしまうと、時代の流れとともに、事故が次第に忘れ去られ、原発への熱が次第に高まってしまう事が予想されます。そのような事がないよう、ゼロシナリオを策定することが非常に重要であり、またそれが徹底した再生可能エネルギー導入推進につながるのです。原発の再稼働を考える前に、再生可能エネルギーをどのように迅速に導入していくか徹底的に考え抜くべきです。導入が進む事により、コスト低減も進み、将来的に、火力発電への依存も減らしていく事が可能になるのです。そして、世界に日本が再生可能エネルギー導入に積極的に取り組んでいる姿勢を示すことにもつながるのです。以上より、私は原発依存度ゼロシナリオを強く支持します。たとえ経済的負担が増えたとしても、「安全」で「低環境負荷」の再生可能エネルギー導入を推進してもらいたいのです。
31333	個人	その他	40代	男性	判断の前提となる政府・電力業界の情報公開が全く不十分な以上、ゼロシナリオを強く支持するしかない。	今までの原発のコスト、安全の基準づくり、分析と判断、3・11以降の東京電力への働きかけ、政府各機関の不十分な情報公開（SPEEDIのデータ等）を考えると、政府は、単に原発推進を声高に主張できなくなったので、30年で政策を見直す余地を残し、とりあえず延命させる「15%シナリオ」に誘導しているようにしか見えない。今後真摯な情報公開が行われ、乱暴な3択ではない選択肢が示されるようなことがなければ、やはりゼロシナリオを推すしかないと思われる。それしか、私たちの子どもの世代に確かなものを残せる確信が持てない。
31334	個人	無職	30代	男性	ゼロシナリオを支持します。原発を動かす理由は見当たりません。	ゼロシナリオを支持します。最優先課題は原発による発電を今後一切行わないことです。原発よりも最新式のガス火力発電の方がトータルのコストは安くなります。早急にガス火力発電所を増設し、原発は全廃するべきです。原発は核廃棄物が出る上、地震大国の日本ではどの場所でも地震に見舞われる可能性が高いです。その意味で日本には原発は向いていません。 原発をなくすと電力不足が心配されますが、東日本大震災以降、企業等で自家発電装置が導入され、全国で省エネ化が進んでおり、ピーク時でも足りています。 再生エネルギーがどれほど普及し、発電できるものなのかは不透明な部分がありますが、原発を動かム必要も理由も見当たりません。ですからゼロシナリオしか選択肢は残されていません。
31335	個人	パート・アルバイト	40代	男性	0%を目標に。	リスクの大きさ、核燃料ゴミ処分を考えれば継続していく意味はない。 福島の広い地域は、もう何十年も使い物にならなくなった。今回の事故で死者が出なかったのを幸いとし、原発を終わらせて行くことで国民の生命・財産を守りながら、新エネルギーへの転換へ能とりすべき。
31336	個人	学生	20代	男性	原子力発電所の暫時(一例として2030年)廃止及び災害高リスク地帯における原子力発電所の即時廃止	地震、津波、火山帯の集中する我が日本国は、控えめにいって原子力発電所の立地に不適格な土地であることが昨今の震災で証明された 故に原子力発電所は廃止されなければならない 政府主導の原子力発電依存度ロードマップ従うとすれば、私の意見は2030年には依存度0%が進むべき道であると確信している 現状でも、我が北陸や中部、そして中国などの電力会社は原発なしで安定需給を維持できているので、即時廃止すべきである それ以外の原発 例えば東京電力や東北電力の原子力発電所すべて被災しておりリスクは通常のそれに比べ非常に高いと感じる ゆえにこれらも廃炉処理に入るのが現実的であろう 東海地震域の原発も同様に考えるべきである(中部電力 浜岡原発) 残るは原発なしでは電力不足が不可避な関西 四国 九州 北海道のような電力会社の原発であるが、これらが直ちに依存度をゼロにすることは不可避である そこで提案するのが、各社に対し火力発電所への代替案を提示すること、つまり原発ゼロロードマップの作成の義務化である これを原子力発電所の一時的な再稼働の条件とすべきである そしてこのロードマップは実行すること義務とし、原子力発電所なしでの電力安定需給が達成可能になった電力会社より暫時廃炉を行うべきである 私は長期的視野で見てLNGによる火力発電を第一候補としてあげることを推薦したい LNGの一大輸入国であった米国は非在来型ガスであるシェールガスの実用化に成功し、既に中東(主にカタール)からLNG輸入量を減らしている 欧州もシェールガス(ポーランドが主力である)実用化まで秒読み段階であり、その場合ロシアからの天然ガス輸入量が減少することが予測される つまり世界的な天然ガスの在庫過多状態が近い将来発生する可能性が非常に高いのである 在庫があまる即ち、安値で在庫処分をすることを意味するならば、天然ガスは50-60年代における石油のような、非常に安価なエネルギーに取ってかわることは想像に難くない そして日本近海には国内96年分のメタンハイドレートが埋蔵している 環境問題もさして影響はない メタンを燃やした時の地球温暖化係数が1とすればメタンをそのまま大気に放出する時のそれは21なので燃やした方がかえって二酸化炭素削減に資する また1エネルギー単価あたりの二酸化炭素放出量は、石炭や石油のそれより低い 100年スパンで考えれば、日本は天然ガスに多くを依存するのが正解への近道であると私は確信する
31337	個人	家事専業	40代	女性	2030年までに原発ゼロを強く希望します。	原発は地球上には作ってはいけなかった知恵の罪だと思います。 2030年に拘らず、速やかに原発ゼロとなることを望みます。 また原子炉もんじゅも廃炉にしてください。 地球にとって真に正しい選択を日本が率先してするべきだと思います。 これからを生きる子供たちが日本人として生まれたことを誇りに思えるような、賢い選択をよろしくお願い致します。
31338	個人	パート・アルバイト	30代	男性	1ゼロシナリオ。 希望として、即刻廃止を望みます。	核燃料廃棄物の解決策もないまま、原発を 推し進めるのは、無謀、かつ次世代に責任も持てない政策は 止めて頂きたい。
31339	個人	自営業	50代	男性	0シナリオ	危険で事故及び使用済み燃料の処理技術もない、原子力発電はするべきではない。
31340	個人	その他	40代	女性	原発は直ちに全停止し原発に頼らないエネルギー政策をお願いします。	原発はゼロパーセントを強く望みます。よろしく。国民の声を聞いてください
31341	個人	会社員・公務員	40代	男性	(1)原子力発電の即時ゼロ (2)代替えコストの国費投入 (3)電力各社の再編成	(1)不測の事態に備えられない設備、管理体制であることが明確。関連する方々も神様ではなく、ミスを犯す人間であることをお忘れなく。次は誰かが責任をもてばよいのではなく、制御できないものは業てましょう。 (2)消費税でもなんでもあげてよい。国が残るためだ。ただしなにがコストか半年で明らかに。環境先進国に分析、調査を委託し参考にしては。 (3)各社を発電、送電くらいには分ける。管理は別会社、監査法人など電力村の力が及ばない組織を三年で作ること。自助努力に期待するほど余裕のある事態ではありません。
31342	個人	会社員・公務員	30代	女性	もちろん原発廃止。0%、原発はもう使えません。要りません。 1%でもなく、0.5%でもなく、0%。	今、何が理由で、要らないと思わないんでしょうか？ あれだけの大事故、世界に類を見ない非常事態をむかえて、どうして原発を使い続けられるんでしょうか？？ もちろん廃炉までには、問題山積み・もはや解決できるのか…と思うような、気の遠くなるような…そんな状況ではあると思いますが、 だからと言って、使い続ける理由にはなりません。 今でも処理しきれない使用済み核燃料を、もう増やしてはいけません。 放射能は、わたしたちの手に負えません。 なので、必要なのは、こんなアンケートではありません。 自分たちの手に負えない原発を、1日も早く止めること。 お願いしたいのは、ただ1つ。 とにかく1年間原発を動かさないで下さい。 そんなことしたら困る人が居るというなら、実際に困らせてみて下さい。 命の危険や危機的に生活が脅かされるという方へは、送電すればいい。 その他の人は、困ればいい。 困ればそこから考えます。 とにかく、まず止める。 そこから、どうしていくのが良いのか考える。 それしかありません。
31343	個人	パート・アルバイト	30代	女性	0%	電気をつからけど、原発以外の方法で。日本は、新しい電気を作れる技術があるはず。ヒロシマナガサキの経験があるからこそ、そうしてほしい。日本を大切にしてください。どこに顔をむけているのか、日本を、日本人を大切にしてほしい。
31344	個人	パート・アルバイト	60代	男性	日本の原発を廃炉にし、再生エネルギーを拡大して行ってもらいたい。	原発はいつ起こるかわからない地震大国日本にあって最も危険なものであり、いざとなったら人間がコントロール出来ないし、稼働させればさせるほど核のごみは貯まる一方ということが分かりました。将来に渡り、危険を抱え込んだり、子供たちの命を破壊してしまう原発には絶対反対です。
31345	個人	無職	60代	女性	(1)ゼロシナリオを支持	原子力エネルギーは人間が扱えるものではない。 次回事故が起これば国が成り立たない。 2030年といわず即刻廃止すべき。
31346	個人	会社員・公務員	30代	女性	2030年より早いか遅いかに関わらず、まず、今後は原子力依存ゼロを目指すということを決めるべき。その後、経済への影響も考慮しながら、着実にその目標に向けて進める。	まず、2030年以降も見据えて考えるべきである。私は、実現年度に関わらず、今後は原子力依存ゼロを目指すということを決めるべきだと考える。 その主な理由は、処理が確立していない原子力を使い続けることに疑問を感じること、一旦事故が起きてしまうと被害が甚大であることの2つである。 経済への影響が大きいということだが、そもそもGDP成長だけが全てなのかという根本的な疑問がある。日本は、これまでの経済的成長が全てという路線を見直すべきときにきているのではないか。 ただし、短期的には特に中小企業への影響が大きいと考えるので、原子力依存をゼロにするという大方針を示しながら、影響を最小限に抑えるように補助するようなことも検討すべきだと考え
31347	個人	その他	40代	女性	ゼロシナリオ、2030年を待たず即時を求めます	昨年まで仙台に住んでいた私にとって、原子力発電所の事故は遠いところの出来事ではありません。一時はしつこいせきに悩み、多少なりと被曝したと思っています。事故など起きないことが前提だったこれまでと、どこがどう変わっていますか？救命ボートも十分ない状態で再稼動していいのでしょうか。もう子どもたちにこれ以上迷惑をかけないでください。放射能汚染の問題はまだ解決せず、ことは日本だけに留まりません。世界中を巻き込む大事故がまた起きないと誰が言えるでしょう。そもそも地震の多い日本に作るべきでなかった原発を、2030年まで動かし続ける方が間違っていると思います。
31348	個人	パート・アルバイト	60代	男性	原子力発電所は0に	原子力は人類が未だに制御不可能な状態です。 廃棄物処理も出来ません。 そして、何より福島原発の事故原因と救済ができていない状況です。誰も責任を取ることも出来ません。今のうちから、再生エネルギーへの転換を進めてください。
31349	個人	家事専業	30代	女性	（1）ゼロにするシナリオ(唯一の脱原発のシナリオ)に賛成。	長期視点で考えたら、安全性の面でも、コスト面でも原発にメリットがあるとは思えない。人体に長く影響を及ぼすかもしれない危険なものと隣りあわせで生活することの不安は除去されるべきだと思う。未来の子供たちに残された土地が放射線で汚染され、飲料水、食品全てが汚染されているような状態であってはいけないと思う。原発を始めてしまったことが私たちの間違いだったとしても、私たちに今できることは、その過ちを認め、正しい方向へ導くことだと思うから。
31350	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオ（即時）を選択します	事故が起こっても起こらなくても環境や生き物に大小の負担を与え続けることが考えられるエネルギー作りを選択することはありえません

31351	個人	パート・アルバイト	30代	女性	即刻、原発依存0%を求めます。 福島の事故は未だ原因の解明も事故収束もしておらず、日本の多くの原発直下には活断層があり、大地震の可能性が高まっています。また核廃棄物は確実な処理方法がありません。	原発依存0%の実現と温暖化防止を両立するため、下記諸条件も必要と考えます。 ・省エネ技術革新をすすめてゆくこと ・一時的に火力（特に天然ガスによる）や水力への依存度をあげ、 　その間、再生可能エネルギーを推進し、段階的にエネルギーシフトしていくこと ・電力自由化や発送電分離などシステム改革も合わせてすすめていくこと また、膨大なお金を使って、膨大なプルトニウムを作り続けることになる核燃料サイクルにつきましても、非核三原則の観点からも、安全面・経済面からも早急に手を引き、より安全で経済的な「直接処分」に切り替えていただきますようお願い致します。 再度原発事故が起これば、日本に安心して住める場所はなくなってしまいます。 どうぞ、子供達に美しい日本を、故郷を、希望を、残して下さい。 私たちは故郷を捨てたくはありません。
31352	個人	会社員・公務員	20代	男性	2030年原発0に。出来るだけ速やかに。	新潟県長岡市在住ですが、柏崎刈羽原発が恐いです。安心して自分の夢が叶えられないし、子持ちの仲間達も不安を抱えています。 新しいエネルギー開発も進んでいる様ですし、実際ドイツ では成功しています。日本も是非。
31353	個人	家事専業	30代	女性	2030年段階の全電源に占める原発の比率について0%を選択肢とする。	国民の本当に安心した生活を守るためには、原発による被害を早急に無くすことである。 すでに欧州諸国では脱原発によりクリーンエネルギーへシフトしている。 日本は多くの山や川などに恵まれているため、それらを利用した地熱や水力（小型）などの発電へのエネルギーシフトが可能である。
31354	個人	無職	40代	男性	0シナリオを選択します。	2030年までに再生可能エネルギー100%にしてほしい。 添付資料を見る限り、現実的に難しいとは思うが、安全、温暖化防止、エネルギー自給という点で優れ、更に経済的にも、マイナス面ばかりでなく、新たな産業を短期間で育てる事により、雇用やITバブルの様な景気を生み出す可能性も有るのではないか。思い切った方向転換を望みます。 再稼働出来ずに、仕事が無くなった人達にも手当すべき。 地熱発電も促進すべき。 太陽光発電の設置場所に拡大の余地が有る。道路　鉄道 計画停電でなくアンペア制限を設ければ、自由にやりくり出来悪影響も少ないはず。
31355	個人	家事専業	40代	女性	原発ゼロのシナリオ。原発は直ちになくすべき。	1年5ヶ月前の大地震よってたくさんの方が被害に合われました。その中には地震津波によるものだけではなく、原発事故による放射能汚染の被害も多数ありました。むしろそちらの方が被害が多く、未だに解決される方法も見つからず苦しんでいる人もたくさんいるのではないでしょうか。それにもかかわらず、政府は原発事故収束宣言など全く根拠のない発表をし、東電の被災者に対する補償も消極的で全く理解出来ない事ばかりです。まずは何が安全で何が問題なのがはっきり国民に正しい情報を伝えるべきです。今のままでは今後の不安しかありません。だったら原発など全てなくして、変わりとなるエネルギー対策を考えていくのが安全安全安心な道だとおもいます。
31356	個人	その他	40代	女性	0%まで減らす方がよい。	日本の技術をもってすれば、原発に頼らない世界を作ることは、今すぐには難しくとも数十年のうちには可能なはずです。少なくとも廃棄物の処理問題が完全に解決しないうちは、現在の私たちの生活のツケを、何万年も先まで子孫たちに払わせたくありませんので、0%まで減らした方がよいと思います。
31357	個人	その他	40代	男性	原発依存度ゼロシナリオです。	これはもはやパーセンテージの問題ではなく、われわれが現代に使うエネルギーのために、未来に危険な負の遺産を残してはいけないという人間の道義的立場からの判断です。 　われわれは100年後、200年後の人類から、よくぞあそこで決断してくれたと感謝されるような決定を今しなければなりません。原発に頼らなくても、エネルギーを作る知恵、それは十分にあります。
31358	個人	自営業	50代	女性	原発の比率は0パーセントに 速やかにすべての原発を停止。廃炉にする。	使用済み核燃料の問題を始め、どうやって終われば良いかわからない危険なものを使い続けることは、あり得ないと思います トイレの無いマンションという言葉を聞きますが、今の自分たちさえよければという考えはすてて、真剣に将来を考えるべきだと思います。 また電気を使うことより節電の工夫もすすめるべきと思います
31359	個人	家事専業	30代	女性	2030年までに原発0。それ以前にもできうる限り早く、稼働0に。	多くの犠牲を生み出した人災、福島第一原発事故はまだ収束しておらず、周辺の住人の方の帰還のめどさえたっていない。 　ひと度事故が起きれば、制御不能で甚大な被害を子孫にも残すことになる原発は、やめるべき。その美断を今すべきだと思う。子供たち、子孫に負の遺産を押し付けてはならない。
31360	個人	家事専業	50代	女性	原子力発電の安全性を一層推進するよう規制強化をはかったうえで、原子力発電を継続して利用し、エネルギー供給の安定性、経済性を維持していただきたい。不安定な供給、価格高騰は絶対反対する。	エネルギー安全保障を考えれば、石油、石炭、LNGをほぼ全量輸入に頼り、政情不安、輸出国の規制、価格変動や高騰などあらゆるリスクが現実のこととして想定されるなかで、エネルギー供給の2～4割を占め、準国産エネルギーである原子力発電を廃止することは許されない。太陽光発電、風力発電を導入促進することはもちろんであるが、それが原子力発電にとって変わるほどにはならない。天候に左右される自然エネルギーであることを忘れてはならない。また、導入が進めばすすむほど個人負担が大幅にかさみ、ドイツやスペインのように買い取りシステムの変更が余儀なくされる。島国である日本は他国から連結された送電線はなく、原子力廃止をうちだしたドイツなどと同等にすすめるべきではない。隣国の韓国、中国も原子力推進を維持している。
31361	個人	その他	50代	女性	原発0を目指したい。そのためには小さな電力を各自治体や各市町村、各家庭で賄えるような小さな発電システムを考えたらどうだろう。	現在の科学では、原子力エネルギーを使用した後の処理が未来永劫の自然破壊につながる。私たちは子孫から自然を借りていると思って生きなくてはいけない。そのためには原子力の使用は現在の科学のレベルではしてはいけない。 　スイスの町シューナウの町民や議員たちが、原子力を主とする電力会社から自然エネルギーを主とする自分たちが作った電力会社に、町の電力供給方法をかえる物語を描いたドキュメントのDVDを観た。政府の人にも観てほしい。 　その中で、各家庭が発電機を持っていることが描かれていた。大きな電力を一気に賄おうとするから大きな発電所が必要になる。各自治体、各市町村、各家庭で電力を賄うようにすれば、原発は必要ない。 　日本の今の動向が20年、30年先に世界から評価され、発展国のエネルギー使用方法の見本になるようなものにしていきたい。子孫が誇りを持てる国を私たちはつくりたい。
31362	個人	会社員・公務員	50代	男性	(3)20%～25%を支持します。もしくはそれ以上、	今現在原発以上に安定して十分な電力をまかなえるものが見当たらない。 とくに、火力をメインにする燃料を外国に頼らざるを得ず、国内のエネルギー供給が、人質になりかねない。水力・クリーンエネルギー等では十分な電力をまかなえるかどうか、出来るとしたら、いつなのかわからない。では、その間節電で、凌ぐとすると国内の産業は立ち行かなくなるとおもわれる。また、とくに夏場など熱中症でなくなる人が増える等の理由による。
31363	個人	パート・アルバイト	50代	女性	0%(ゼロシナリオ)に賛成	世界的な流れを見てもクリーンエネルギーへのシフトは必須と思う。民意の動向(原発ゼロ)がどう国を動かせるのか、歴史の1ページとして見たいと思う。
31364	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発20～25%を支持します。 過去積み上げてきた世界最高の原発に関する技術力を日本のためにも世界のために維持すべき。	国内の産業・生活に欠かすことのできないｴﾈﾙｷﾞｰ問題であり単なる感情論・理想論であってはならないと思う。原発ｾﾞﾛ目標はﾏｲﾅｽのGDPが予測されている。国内の産業発展・景気上昇を図らなければ日本が現在抱えている消費税問題、財政健全化、年金破たん問題等の解決に繋がらない。
31365	個人	パート・アルバイト	40代	女性	ゼロシナリオを進めてください。	ゼロシナリオを進めてください。化石燃料に全く依存しないわけにはいかないでしょうが、最終的には再生可能エネルギーメインになるよう国を挙げて様々な資力投入をお願いします。我々国民の経済的負担が重くなってても、安心して暮らせる日本、地球を守ることの方が大切です。 「国の経済」「国力」などこの次です。原子力依存度をいくら下げてもゼロにしない限りは事故のリスクはゼロにはなりません。エネルギーの安定供給ももちろん大事ですが国民は少々の不便さを受け入れる用意はあります。今まで原子力政策につぎ込まれてきた莫大な税金を再生可能エネの研究開発に投資してください。
31366	個人	無職	30代	男性	脱原発	いまの原子力マネーの流れを原子炉解体研究の資金に回るように切に願います。 日本の原発の即時停止・解体をお願いします。
31367	個人	パート・アルバイト	30代	女性	国内の原発、すべてを即時停止、廃炉することを希望します。 今後の原発維持率に関しては、0%を希望いたします。	福島原発の事故によって、東北関東甲信越中部地方（以外の地域も差こそあれ）は大変な汚染を受けました。 なかでも、東北、関東は信じられないような量の放射性物質の降下を受け、 なおかつそれを甘んじて受け入れながら日常生活を続けることを強いられています。 福島の人々は震災からの復興を悲願に掲げ、精一杯毎日を続けているのに、 そこに原発事故による風評（とは一概に言えないと私は思っていますが）も 重なり、そして彼ら自身高線量による被爆を毎日受け入れているのです。 これは悲劇です。 人として、健康で文化的な最低限度の生活を送ることは憲法にも記された 権利であるはずなのに、被爆による将来的なリスクを恐れながら、 自宅にも戻れず、復興もままならず、経済活動も取り戻せず、 そのようにして生きろという。 怒りを感じます。 福島の方々を避難させるには莫大な金が必要になると、 政府の方は考えているようですが、 そんな用意もないのに、福島一箇所にすらそんな用意もないのに、 原発を維持推進するおつもりですか？ 原発は安全であるようにと作られていると今までは国は国民に伝えてきましたが、ものである以上壊れるのが当たり前です。 ただ、その時にどのようなことになるのか、そして政府がどのようにその地域の 人たちを扱うのか、まざまざとみせつけられています 原発そのものの危険性のみならず、原発に関わるシステム、その全てを私は拒否します。一国民として、0%を希望いたします。
31368	個人	会社員・公務員	30代	男性	1ゼロシナリオを選びます	安全性のリスクがあまりにも大きすぎる。コストについても、他の代替方法に比べそれほど大きな優位性はすでになく、管理、保管のコスト、リスクを後世に残すことになる。
31369	個人	会社員・公務員	50代	男性	3つの選択肢の中では、原子力発電の比率を25%程度にする。個人の意見としては、もっと割合を増やして50%にする。	エネルギー自給率4%という日本にとって、準国産資源ともいうべき原子力発電は絶対必要。脱原子力を目指しているドイツと違って、日本は石炭も風向の良い地域もない。また欧州と違って、送電線、天然ガスのパイプラインも張り巡らされていない。いざというとき、どこの国からも助けてくれない。 ウラン燃料は、リサイクルできる唯一の燃料であり、高速増殖炉が完成すると数千年は現在のウラン資源を有効活用でき、次のエネルギー開発に要する時間を稼ぐことができる。石油と違って、政情の安定している国が産出国である。かりに日本が原子力を放棄しても中国をはじめとする国々は原子力発電を積極的に推進している。福島事故を教訓とした、より安全度の増した原子力発電技術により、世界に貢献するべきである。 さらに、国富流出という視点から見ても、原子力を放棄すると、石油、石炭、天然ガスを産出国の言い値で購入せざるを得ず、現在でも、一日当たり100億円という、国富の流出が燃料代の余分な支出というかたちで続いている。 新エネルギーは、エネルギー密度が低く、お天気任せで非常に不安定。安価で高性能の蓄電池の開発も不十分である。 以上を考えると、原子力発電の一定割合の維持は絶対、日本にとって必要である。 25%よりもっと比率を高め、フランスなみの8割にしても、良いぐらいであるが、一時の国民感情の高まりにより、今回のような全原子力発電停止のリスクを勘案すると、石油、石炭、天然ガス、原子力をバランスよく組み合わせて発電するベストミックスの考えがよく、総発電量の占める割合、原子力比率50%がもっともよい比率だと思う。残りを火力、水力、新エネルギーでまかなうべきだと思う。
31370	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発は推進すべきではないが維持すべきである	代替エネルギー源が不安定な状況で無くしていいものなのか？ 政府は"民意"と言うが民意のみで国は成り立たない。 丁寧な説明をした上で原発は維持していくことが必要不可欠である。 "民意"と言う言葉は政治家の責任転嫁・放棄にしか聞こえない。 "原発再稼働"の美断をした野田総理にエールを送るものである。
31371	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロにしてください。	冷静に考えたら、誰にだってわかるとおもいます。
31372	個人	会社員・公務員	30代	女性	1ゼロシナリオを選びます	1ゼロシナリオを選びます。 日本は地震大国で、大震災が再度起こる可能性があるため、再び福島のような事故が起きた場合、放射能物質による汚染被害だけでなく、風評による輸出への影響など、経済的にも大きなダメージを受けます。 子供たちの未来のためにも、過去の負の遺産は現役世代で解決していくべきです。
31373	個人	会社員・公務員	30代	男性	責任を果たせない企業・政府が、社会的影響の大きい原子力発電所を維持するべきでない。ゼロシナリオをとらざるえない。	これまでの広報活動、原発立地地方への補助金の投入など、原子力発電所がどういうものかを正確に伝えるというのではなかった。いわばテレビやラジオなどで、よく見る、いいと言われるものは信じてしまうような理的な効果を利用したものであった。さらに、現場の作業員の教育も十分ではなく、手抜き工事、JCOの臨界事故などを引き起こしている。また、科学的な根拠もなく原子炉に寿命はないという発言をして稼働を続けようとしたり、モニタリングポスト周辺の放射線量が低くなるような処置をしたり、地層について都合の悪い事実を隠そうとしていると聞く。いわゆる原子力のゴミ、廃炉の問題も先送りにしている。さらに、このような状況を改善する根本的な活動をせず、再稼働を優先した企業・政府が責任を持って原子力発電所を維持しているとはとうていいえない。さらに重大な事故の繰り返しになり、負の遺産を大きくふくらませる危険性が十分にある。したがってゼロシナリオをとらざるえない。
31374	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	子どもたちの未来のために、ゼロシナリオの選択を	原発が100%安全ということはあり得ないことが、東日本大震災で明らかになりました。人間は必ずミスを犯すものです。原発を残すのではなく、原発に変わるエネルギーをみんなで考えていくことが今求められています。子どもたちの未来のために、ゼロシナリオを決定をお願いします。
31375	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発は全て廃炉にしてください。	コストが高いですよね。 プルトニウムの保管場所もないですよね？ 安全で健康な生活をおくれない国になりましたよ。 原発は要らないです。
31376	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年にゼロ	原子力発電は、災害時だけではなく 通常運用時にも 大きな危険が伴う人的作業が発生するため。
31377	個人	自営業	50代	男性	原発はすべて廃炉に、0%にしよう！	原発が危険であることはもう福島で証明済みである。なぜこんなリスクを背負いながら再稼働の道を突き進むのでしょう。増え続ける核廃棄物の問題も解消されていません。未来を担う子孫たちの為にも今すぐ廃炉にするべきでしょう。
31378	個人	会社員・公務員	30代	女性	「原発ゼロシナリオ」を希望します。	課題を次世代に先送りしたくありません。福島のような事はもう沢山です。
31379	個人	無職	60代	男性	福島の事故は人間が原子力を完全には制御できず、ひとたび重大事故が起きたら大変なことになるという事実を私たちにつきつけました。地震列島・日本では一刻も早く「原発からの撤退」を決断すべきです。	福島原発事故の詳細を調べた国会の「事故調査委員会」（黒川委員会）の概要などを見ても、あの重大事故の本当の原因さえまだ解明ができていないこと、いわゆる「安全神話」がいかに国民の目をみえなくさせていたかということ、今後、地震列島の日本でひきつづき原発を稼働させていくことには重大なリスクを伴うことなどが明らかとなり、現在の科学技術では、人類と核（核兵器も原発も「核」です）との共存があり得ないことがはっきりしました。 一方、「電気が足りない」という問題でも、客観的に冷静に見れば、火力・水力や、太陽光・地熱・小水力・風力などの自然エネルギーなど、他の発電方法で十部に電気は足りることが明らかになってきており、「原発をとめれば停電は必至」というのが、原発を動かしたいための電力産業なあどの誇大宣伝であると分かってきました。 －－そうである以上、日本の原発は一日も早く撤退させるべきです。 今回の「パブコメ」ではあらかじめ「3つの選択肢」があって、私のように「一刻も早く原発からの撤退を」という意見は十分には反映されない仕組みになっていますが、おかしいと思います。 福島のような事故が再度起きてから、「あの時に原発からの撤退を決断すべきだった」と悔やんでも遅いのです。厳しい排出ガス基準を決められた自動車業界が必死の努力で世界に冠たる低公害車を作りだしたように、原発も「止める」ときめれば、代替エネルギーの開発は大きく進むという予測は、多くの識者が共通して指摘しています。 一日も早く、原発からの撤退を決断されるよう、強く要請します。

31380	個人	会社員・公務員	50代	男性	福島第一原発の事故によって、福島県を中心とした人々が生活を奪われている状況の中で、ゼロシナリオ以外の選択肢はあり得ない。	（1）福島第一原発の事故により、沢山の人々が生活を奪われ、現在も避難生　活をしていて、しかも立ち入りさえもできない状況の続く中でどうして再　び原子力発電に依存することができるのか。再稼働を前提とするシナリオ　はあり得ない。エネルギー・環境会議の委員の方の想像力の欠如を感じ　る。委員の方は原発が奪ってしまった生活、環境を理解できていない。 （2）放射能汚染を除去する技術が、除染以外にない。しかも「除染」ではな　く「減染」でしかない。集めた放射性物質を最終的に除去することは不可　能である。 （3）2009年の総発電量1．1兆kWhから、原発による発電量をのぞいて　も1980年台後半の総発電量をまかなえている。原発がなくても私たち　の生活は可能である。 （4）提案では、経済成長を前提としているが、私たちが今直面している問題　はまさに『経済成長を永遠に続けていかなくては豊かな生活をすることは　できないのか？』『環境と経済成長は両立してきたのか？』『経済成長が　多くの人々の生活を犠牲にしてきているのではないか？』という根源的な　問題を抱えている。国家戦略室の政策立案の前提を、再考するべき。 （5）東京電力には、今後原子力発電によって作った電気を販売する資格はな　い。今回の事故によって放出させた放射性物質を全て回収することは、不　可能なのだから。 （6）原子力発電の電気を使ってまで経済成長、経済活動を成長させなくては　ならない経済システムは持続可能なシステムではない。環境と共生し弱者　を生みださないシステムを目指すことが国家戦略である。 （7）飯舘村がこれまで作り上げてきた『まてい』な生活システムこそこれか　らの持続可能な環境と両立した経済システムである。
31381	個人	自営業	60代	男性	日本は、自然が豊かな素晴らしい国です。また、地震を起こす活断層が沢山ある地震国です。この国の将来は「脱原発」しかないことを今回に原発事故が示しました。選択肢では「2030年原発依存0%」です。	日本は地震国です。歴史からも過去に大きな地震に何度も襲われて来ました。昨年起きた東日本大震災は、東日本の太平洋側で歴史に残る甚大な被害起こした。次は東南海地震の巨大地震が起こると予測されているし、地震を起こす活断層が日本の各地にあることが解っています。 この地震で、福島県にある「福島第一原発」がメルトダウンし、放射能が拡散し、周囲の広い地域まで放射能の降灰を受け、放射能の恐ろしさを知らされた。絶対安全と言って来た「福島第一原発」の作られた安全神話が簡単に壊れた事故でした。 国民は、原発が壊れた時の恐ろしさを知りました。間違いなく、再び同じ原発事故が起きれば、日本は無くなります。この事実から安全で平和な日本の未来を考える時、「脱原発」しかありません。政府の今回の3つの選択肢では「2030年原発依存0%」です。 3月11日の巨大地震は、地震国の「原発の安全神話」を崩壊させました。この国の野田政権は、原発事故実態の把握がされないまま、一方的に大飯原発を再稼働しました。地震国で生活する被害者や国民の「危険な放射能不安」を無視して、まだ安全神話がある様な対応をしたのには驚きました。 これで日本や国民を守る資格の無い事を知りました。 脱原発！ 野田政権も即退陣！
31382	個人	自営業	20代	男性	ゼロシナリオ	使用済み核燃料は100万年管理しなければ安全にならない。 100万年というと、縄文式時代が始まって約1万年だからその100倍? バカヤロウ！　そんなもの後世に残してたまるか！！！！！ 広島、長崎、福島と続いてもまだ原子力などやりたいヤツはまとめて火あぶりの刑にすればよい。以上。
31383	個人	その他	60代	男性	原発ゼロシナリオを選びます	日本は地震列島の上にあります 地震（津波も含め）があるのは普通であり、それに対応した電気エネルギー対策を常に考えるのが常識です。 また、原発から出る産業廃棄物の安全な処分も未定な中、お金だけで過疎地や原野を持つ自治体を懐柔するのは本当の政治ではないと考えます 自立可能な安全な地域分散型のエネルギー政策を進めてください 地域分散型エネルギー対策は、自然災害にもっとも有効な日本型の政策と考えます
31384	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます。 今回の事故（人災と考えています）で、原子力エネルギーは人間がコントロールできないものだということがはっきりわかりました。 事故の収束も、福島はじめ被災地の今後がどうなるのか、見通しがついていないばかりか、東電の相変わらずの姿勢には言葉もなく呆れかえるばかりです。 このような状況で、原発の温存、再稼働、海外への輸出という考えは全く理解できません。 経済優先の政策を改め、代替エネルギーの開発、供給とともに更なる省エネルギーの取り組みを進めてください。 人と動物たちが失った生活は誰にも取り戻せません。
31385	個人	自営業	50代	女性	原子力発電は0%に！原発は全て廃炉にしてください。答えはこれ以外ありません。地球上の生命はすべてつながっています。そこに、不要で有害な「放射能のゴミ」を捨てることは許されません。	世界でも唯一の被爆国である日本。放射能による苦しみを一番わかっているはずの日本。それなのに、いつのまにか全国各地に、「地域の復興のため」という詭弁を使い原発が造られました。「事故は起こらない」「安全でクリーンなエネルギー」との政府や電力会社の説明を鵜呑みにしていた私たちは、今回の福島の事故を目の当たりにし、やっと目が覚めたのです。いまも、震災だけでなく、原発事故のために多くの人たちが故郷を追われ、いつ戻れるかもわからない状況です。また、事故の際に拡散した放射性物質が、広範囲に大気や海を汚し、今まだ収束していません。この状態で、原発を動かそうと考えるのは、狂気の沙汰です。私たちの命、子どもたちの将来と、目先の「電力」「お金」「しがらみ」どどちらが大切なのでしょうか。国政をつかさどる皆さんは、優秀な頭脳はお持ちのはずです。自らの心の声に正直に、冷静で適切なご判断をお願いしたいと思います。
31386	個人	会社員・公務員	30代	女性	2030年までに原子力発電の依存度を0%とする、ゼロシナリオの選択を強く望みます。	私は原発ゼロシナリオを選択します。そのために電気代が上がるならば、節電をしながら負担をします。現在ある原発を安全に廃炉にすることに税金を使ってください。なお、原発のゼロシナリオと同時に、日本の温室効果ガス削減の目標数値についても2050年までの80%削減を明確にし、原発ゼロにより化石燃料使用を増やさないよう、地球温暖化問題もあわせた総合的な政策を求めます。原発がなくても国は発展できることを、原発を増やそうとするアジア各国に示すことができる国に、日本をしていきたいと思います。
31387	個人	会社員・公務員	60代	男性	ゼロシナリオ	原子力発電がなくても電気は足りることがわかった。 大飯を止めて早急にゼロにするべき。 こんな危険なもの、当たり前に辞めるしかないだろ。 ぐずぐずしてる場合じゃない。 早くやれ。一刻も早く。　危ない？　辞めろ！！ 電気などどうにでもなる。実際は余り過ぎている。
31388	個人	自営業	50代	男性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます 福島の事故の検証も不十分、責任者の処罰もないまま、これまでと同じ体制で再稼働を進めるなど論外。 原子力のコストは決して安くはなく、いったん事故が起きた時の被害の甚大さを考えたら、今後の選択肢としてあり得ない。使用済み燃料が処理できないままに、これからも動かすことはできないと考える。 選択肢が2030年となっているが、それを待たずに、できるだけ速やかに脱原発を進めて、地震国の原発を一日も早く廃炉にしてもらいたい。
31389	個人	会社員・公務員	50代	女性	0シナリオを支持します	1．日本は地震大国であり、東日本大震災以降地震の活動期に入ったと考えられるため、原発が寝静まるには危険すぎる地域であるから 2．原発によって生じる放射性廃棄物の処理は私達のあとの幾世代へも負の遺産として継承され、安全に処理されるとは到底思えないから 3．一度の原発事故による影響は計り知れず、そのリスクが私達の節電や生活スタイルの改善、経済的負担によって回避できるのであれば、甘んじて受ける覚悟ができている 経済的負担・生活上の不便は原発を続ける理由にはなりません。 原発はできうる限り早期になくすべきだと思います。
31390	個人	会社員・公務員	40代	男性	30年以内に原発ゼロパーセント	事故によるリスクが大きすぎるので。
31391	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年の原発ゼロを求めます。	琵琶湖のある滋賀に住んでいます。福井県のいわゆる原発銀座とは隣り合わせています。たとえば、原発銀座からの距離を考えても、福井県福井市までと、琵琶湖までの距離はどちらが近いでしょうか。事故の際、琵琶湖の汚染は免れません。このため、原発ゼロを求めると同時に、私たち自らが自然エネルギーの利用に移行するよう準備を始めないといけないとおもいます。
31392	個人	無職	60代	男性	3案のうち強いてあげるのであれば原子力の比率は安全性をより高めて20～25%案を支持。 国のエネルギー政策は、(1)電力の安定供給(2)経済性(3)環境保全(4)安全確保が前提。特に0%案は現実的ではない。	1、脱原発のシナリオ（特に0案）は、経済的な負担が大きい。 (1)再生可能エネルギーの比率を高めて行けば大丈夫であるという主張が氾濫　しているが、買い取り価格は高く、電気料金等のアップにつながり　国民　生活や企業活動に相当影響するものと思う。 (2)太陽光や風力発電等再生可能エネルギーの割合を2030年までに35%（現在　1～2%比率）に持っていくのは非現実的（1200万戸の住宅の屋根にソーラ　ーパネルを設置、東京都の2.2倍の敷地に風力発電を設置等夢物語）。 (3)火力発電の割合は（65%程度）高くなり、国際公約であるこ酸化炭素の排　出量が大幅に増え、環境対策上問題。 2、エネルギー政策は今後の国の経済、社会保障、雇用問題等の根幹に係る問題。もっと冷静な国民的議論が必要。 福島原発事故以降、国民の中にポピリズム的に脱原発や反原発の声が多くなっているのは止むを得ないと思が、冷静にみると国民の大多数はエネルギー政策について、まだ自分たちの身近な問題と捉えて真剣に、行動をとろうとはしていないと思う。国民の意見を聴く会や討論型世論調査、パブコメ等従前よりは関心が高まっているのは理解するが、大多数はそうではないと思う。現状はスケジュール優先の取りまとめ方になっている感じがする。グローバル経済社会の中で今後日本がどのような形を追求しよとするのか各国は注目している。マスコミの偏った情報が蔓延している中で政府は冷静な判断環境を作ることが重要。今の情報提供は不十分。政府がどんどん分かり易い情報の提供を行い、時間をかけた冷静な検討が必要と思う。
31393	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発ゼロ	1　自らが制御できない物は使わない 　現時点で人類は放射能をコントロールする力を持たない。使用済み核燃料の地下埋設なども欺瞞である。「想定外」の地震が「想定外」の活断層によって埋設施設に甚大な被害を与えることも想定される。核が安全に利用できるという幻想は、地震地帯に住む日本人にとってはあり得ない発想である。 2　代替案について 　まず，考え方の根本が間違っている。 　現在の日本の発想は数十年前とまったく変わっていない。水俣病やイタイイタイ病をもう忘れ去ってしまったのか。なぜあの悲劇は起こったのか。目先の利益に惑わされ，「垂れ流してはならない物を垂れ流した結果」ではなかったか。先の悲劇・失敗も忘れ，放射能を垂れ流そうとする発想が間違っている。 　無いものはみんなで協力して我慢すればよい。それが古来からの日本人の美徳である。どうしても必要ならお金を出し合えばよい。 　高価な電力が日本の経済力を弱体化させるというが，従来と同様の発想・方法では電力が高かろうが安かろうが日本経済の先行きは目に見えている。これから発展を目指すには，新しい道を進まざるを得ない。原発をなくすことから新しい産業・経済の形を模索することが必要である。自動車やテレビの輸出に頼る経済は破綻した。新しい日本は新しいエネルギー政策から立ち上がるべきである。 3　広島人として 　1945年8月6日・9日の過ちとは，原爆が落ちた，ということのみではない。放射能の影響でその後の人々にも大きな影響を残したことも含まれる。過ちとは，後先も考えず目先の事だけを考えて放射能をまき散らしたことも意味するのである。福島でまた過ちを繰り返したという実感を，為政者の方々は持っているのだろうか？　仕方がなかった，やむを得なかったという言い訳を繰り返してはいけない。
31394	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	ゼロシナリオを支持します。	福島の原発事故により、農家は代々受け継がれた田畑を一瞬にして失いました。事故が終息しても、もうこの土地で農業はできないでしょう。供給される電気量よりも、奪われたものの方が多く感じます。 　現在の国民生活に電気は必要です。しかし、それは原発で作られた電気である必要はありません。生活を見直し、節電に努めれば原発以外の電力で賄えるのではないかと思います。原発をなくすために電気代が高騰するのでしたら、受け入れられると思います。
31395	個人	無職	30代	女性	速やかに脱原発への行動を一国民として要求します。 もちろん（1)原発ゼロを支持します。	日本が地震大国でありながら、原発を推進してきた数十年。 未だに放射性廃棄物の安全な廃棄方法も開発されていない。国民による税金を莫大に投入し続けて、国民や世界の人類のために、何が進歩したでしょうか？ 電気代が高くなる、経済に響く、資源が尽きる等、 今までの政府による一方的な原発推進の為の虚言に過ぎないことは見過ごしたとしても、 後の世代に受け継がれる負の遺産をみるだけで、充分です。 今現在の、日本の食や環境の安全性が大きく失われた状態をみるだけで明らかです。 原発は要りません。 今の大人がさっさと判断をくだすべきです。 Noとはっきり声をとおすべきです。 これも幻想なのかと、ニュースを見ていると疑わずにはおれませんが、 あなたたち政府が真の日本人であり、日本国民の政府なのであれば。 原発利権にあやかっている資産家や社員を除いて、 世界が日本の動きを、ため息混じりに見ています。 原発依存、震災がれきの広域処理、食の安全性確認の基準の甘さ、 今の政府がしていることは、どれもこれも国民を馬鹿にしすぎです。 いい加減にしなさい。 加えて、この分かりづらい、国民への周知の少なすぎるパブコメのやり方にも、誠意等感じられません。許せないことです。
31396	個人	会社員・公務員	30代	男性	(1)ゼロシナリオに賛成する立場で意見を述べます。	「100年後先の子どもたちにいったい何を残すことが大切なのか」 福島原発の事故から改めて考えさせられました。 　人が作りとけるものには100%安全な物というのは存在しないと思います。人の力をはるかに超える「核」。その危険性・使用済燃料の問題など解消されない事柄が多くあります。そういった負の部分を抱える「原発」をこれからも運用していけば、この先きっと第2、第3の事故が起こってくるでしょう。 　私は100年後の子どもたちにも安心して笑顔ですごせる世界であってほしいと強く願っています。人々の協力と知恵を終結すれば、原発に依存しない社会は成り立つはずです。今はその岐路。「核と人類は共存できない。」政府の毅然とした決断を期待しています。
31397	個人	その他	30代	男性	原発ゼロパーセントを選択します。	人は必ずミスをします。絶対安全などということはありえません。 二度と福島のような事故を起こしてはならない。悲しいことですがあれは原爆投下と同じと感じています。いのち、自然、心を脅かすもの、未来の笑顔を奪ってしまう。一番大切なものを失なってしまう。今だけのヒトにとって「都合」のいいことを、勇気をもって手放し、未来のいのちが健やかに輝ける選択を。
31398	個人	学生	30代	男性	(1)原発ゼロを支持	今の状況をちゃんと見たら、誰もがそういうでしょう。 原発要りません。 国民のために政府が機能していない茶番劇ばかり見るのはもう我慢できませんよ。 国民をナメるな！
31399	個人	会社員・公務員	30代	女性	1番の0%が希望です。原発が無くても地熱エネルギーで発電すればいい。それで充分です。	今回の福島の状況を見て、まだ原発を稼働させたいという理由がありません。国会議員は原発近くに住むべき。国民の何を守るのか体を張って伝えてほしい。

31400	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発反対！原発ゼロにむけて	3・11の福島原発事故で明らかになった原発の危険性から私たちの生活を守るためには「ゼロシナリオ」しかありません。 福島の事故もまだ解決に至っていないのに、なぜ、大飯原発を再稼働させるのでしょう。原発の安全神話は完全に崩れています。国民の生活をどう考えているのでしょう。未だに故郷に帰れずに苦しんでいる人たちのことをどう考えているのでしょう。放射能はいったん外に出ると私たちの生活を奪ってしまいます。故郷を失った福島県民のことを考えれば、原発をなくすことが重要であり、「ゼロシナリオ」しか選択はありません。 何一つ解決しないままの再稼働などは国民の生活を脅かす以外の何者でもありません。 地震国日本では、近い将来相当大規模な地震が想定されています。私たちの地域もそうです。その中で原発の安全性を保つことは不可能でしょう。「ゼロシナリオ」の他に私たちの安全を確保する道はありません。
31401	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロシナリオを選びます	私は原発ゼロシナリオを選びます。 一度、事故を起こすと取り返しがつかない危険なエネルギーよりも 安全で再生可能なエネルギーにシフトする事を希望します。 その為に、今よりも生活のレベルが落ちても原発はゼロを望みます。
31402	個人	無職	10代以下	男性	(1)原発ゼロを選びます	自分達さえ、人生を全うできれば良いのですか？ 次世代を生きる子どもたちのことを、想像して見てください。 原発要らないでしょう？ 僕たちはnoといいます。 こんな日本に誰がした？ あなたたち、大人全員です。
31403	個人	会社員・公務員	60代	女性	負の遺産を孫の時代に残したくない。 2030年時点ではなく、今すぐ原発の稼働ゼロを決め、後処理に時間とお金を使ってください。	原発は「トイレなきマンション」といわれています。 国内の「もんじゅ」もいまだ順調な稼働もままならず、原発によるの電力供給戦略の当初の計画は暗礁に乗り上げたことを、政治家、官僚も正直に認めるべきです。 又、高レベル廃棄物の最終処分にしても無害化までには何百年、何千年かかります。我々の時代が責任の持てない「負の遺産」をこれ以上増やしたくありません。
31404	個人	自営業	30代	女性	将来は、原発はゼロを目指すべきだと思います。	日本は、原子力発電という名前のついた原子爆弾をたくさん持ってたということを今まで知りませんでした。 こんなひどい状況の中、いまだにその爆弾を動かそうという気持ちがわかりません。今の便利な生活は、そんなリスクを背負ってまで必要なのでしょうか？ そして、原発を無くすことで、今までそれを抱えていた町の財政や人々の生活が脅かされることのないような政策を考えていかなくてはいけないと思います。
31405	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原子力発電所はいりません	削減目標だけでなく、吸収源対策（森林等）も必要だと思います。
31406	個人	その他	60代	男性	原子力は要りません。	森林の吸収源対策も必要だと思います。
31407	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原発直ちにゼロにすべきです。地震の多い日本での安全性の確保は、極めて困難です。福島の事故が証明しています。また、使用済み核燃料の処理方法も確立しておらず、放射能の危険性の逓減は膨大な年月がかかります。	(1)原発は、温暖化対策に有効であるかのように宣伝されていますが、実際は燃料製造過程において、大量の二酸化炭素（化石燃料）を消費しています。また、発電の過程で生ずる熱量の3分の2の大量の温排水を海に放出しており、生態系へ影響を与えています。 また、核燃料再処理の過程で、多くの放射性物質が生成されますが、これらは海底に廃棄され、海洋汚染にもつながります。 (2)日本列島には、たくさんの活断層が存在し、安定的な地盤は存在しないに等しい状況です。最近も、志賀原発一号機の直下に活断層があるとの指摘がされました。また、既存の原発でも活断層の指摘がされています。このような危険な地帯に原発が立地されている状況であり、福島のように一端事が起こったら取り返しのつかない事態が生じます。福島の事故から教訓をくみ取り、原発廃止にエネルギー政策の舵をきり、再生可能なエネルギー政策に大胆に転換すべきです。 (3)現在、大飯原発2基を除いて、既存の原発は停止しています。その状況の中でも、国民の節電等の努力によって、原発の稼働なしでもこの夏を乗り切っています。この経験が、原発ゼロに踏み切る絶好の機会ではないでしょうか。火力発電所も石炭からLPGガス等に燃料を切り替えれば二酸化炭素の排出量を抑えることが可能です。LPGの価格も故障によって引き下げるなどの努力をすべきです。 (4)現在示されている(2)、(3)の案は、いずれも今後原発に依存したエネルギー政策を採り続ける事を目的にしているものであって、容認できる物ではありません。日本の技術力でもって、再生可能エネルギー（太陽光、風力、バイオマス、地熱、小規模揚水発電等々）の新しい産業を育成する事は、地球環境を守り、地域経済の活性化にもつながり、雇用の創出も生み出します。ぜひ、この方向を大胆に進むことが多くの国民の願いにも合致するものと考えます。
31408	個人	家事専業	20代	女性	2030年までに原発ゼロを望みます。出来る限り早く。	子を持つ親ですが、子ども達のために安全な未来を築きたいからです。福島第一原発のような事故が二度と起こらないように。国民はそれだけを願っています。
31409	個人	家事専業	40代	女性	原発ゼロ	未来の人達に、これ以上危険をおかしてまでのエネルギーは続けてはいけないと思います。
31410	個人	パート・アルバイト	40代	女性	ゼロシナリオを支持します。	こんな事故を起こしても、脱原発を掲げれない国。 長い目で見ても命を軽んじ、経済を重んじる路線では、日本がしぼんで沈んでいくような気がしてなりません。 今日、廃炉と決定しても本当の安全が確保されるまで何年かかるかも分からない。 日本は世界に向け脱原発を宣言し、心血を注いで廃炉と次世代エネルギー技術の開発を行うべきだと思います。 日本人なら出来ると思います。 世界に誇れる日本へと、立て直してもらいたいです。 その目標にするならゼロシナリオしかありません。 行きつ戻りつして目標に到達しなくとも、掲げるものはゼロシナリオしかないと思います。
31411	個人	自営業	60代	男性	日本国領海内の利用 原子力発電は全て国家事業とする 原子力発電所は日本国の陸上には設置しない 原子力発電所は日本国領海内の陸上から150Km～200Km離れ海上に設置し移動出来る様にする。	核武装、原子力の利用の構築 日本国領海内の利用（、排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用 原子力発電は全て国家事業する 大型蓄電器利用 (1)原子力発電所は日本国の陸上には設置しない。 ☆日本国の陸上には大型蓄電器の保管場所と大型貨物船が接岸出来る港と送電網を敷く ☆原子力発電所は日本国領海内の海上に設置し移動出来る様にする。 ☆大型蓄電器の開発 ☆日本国領海内の海上に設置した原子力発電所と日本国の陸上に設置した大型貨物船が接岸出来る港を大型蓄電器だけピストン輸送する。 送電網利用 (2)原子力発電所は日本国領海内（、排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用の促進のための低潮線 ）海上に設置し移動出来る様にする。 ☆陸上から海上の原子力発電所まで送電網を敷く。 ☆原子力発電所は陸上から150Km～200Km離れ日本国領海内（、排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用の促進のための低潮線 ）海上に設置し移動出来る様にするた(日本国領海内)場所に設置し移動出来る様にする。 原子力を研究して原子力発電所を日本国領海内（、排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用の促進のための低潮線 ）海上のいたる所設置し移動出来る様にする。 福島原子力発電所爆発に負けるな。まいるな。 (3)原子力発電は日本国民のためにも止めてはならない。 ☆電気料金が上がるだけだ。 ☆原子力発電を止めると日本経済が落ち込むだけだ。 ☆少しずつ原子力発電所は日本国領海内（、排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用の促進のための低潮線 ）海上に設置し移動出来る様にすることだ。 ☆出来るなら日本国の陸上に設置している原子力発電所を日本国領海内の海上に設置し直し移動出来る様にすることだ。 核武装、原子力の利用と宇宙開発（宇宙空間の開発） (4)原子力発電所から出る（使用済み核廃棄物）最終処分は宇宙空間だ。 ☆宇宙開発を進めて安全に（使用済み核廃棄物）太陽へ運ぶことだ。 日本国国民は自衛の為、早急に核武装しよう 現実をみれ。現実をかたれ。 日本国国民は自衛の為、早急に核武装しよう。 日米安全保障条約は廃止して、日本民共栄存続の為、自衛の為核武装しよう。 全世界と共栄存続の為の条約を結ぼう。 教育者（公務員）の立場を利用して子供に教え込もうと考える、目標を持って進む、バカげた学生の平和主義者。 カンボジヤのポルポトみたいに子供に教え込もうとする、バカげた学生の平和主義者。 平成24年7月3日20時45分ごろからのNHKテレビを見て 僕は憤慨した。ロシアは嘘つきだ。日本国民族よ怒れ。条約を破る、ロシア人を。 日本国国民は日本民族共栄存続の為、自衛の為核武装しよう。 日本列島の各々の中央にミサイル基地を作ろう。自衛の為の。ミサイル攻撃基地を作ろう。ミサイル射程は日本国領海内（、排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用の促進のための低潮線 ）海上をカバーする範囲にしよう。外国から騙されないため。自衛艦は攻撃されたら、沈むけど日本列島は沈まない。日本国民族の意地、を海外へ示そう。2段攻撃として、海中から発射できるミサイルを開発しよう。原子力浸水艦を日本国民族どくじで開発しよう。自衛艦は攻撃されたら、沈むけど原子力浸水艦は移動しない限り攻撃されない。原子力浸水艦を日本国領海内（、排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用の促進のための低潮線 ）海上をカバーする範囲にに進達し配置しよう。（半世紀）67年前アメリカ合衆国によって原爆が投下（広島や長崎）された事を何時まで記念式典するの。現実をみれ。現実をかたれ。外国にこれ以上に不法占領されたいのか。シベリア抑留生活の話聞いた事ないの。騙されたバカげた学生の平和主義者。。。 ☆金から（洗脳された）騙されたとしか思われないバカげた学生の平和主義者。金はどこの人。朝鮮人それとも（工作員）かな。 ☆日本国国内から日本民族以外の外人を排除を早急に実施しよう。 ☆日本民族存続繁栄の為、外人はアフまで外国人。 ☆（広島や長崎）アメリカ合衆国によって原爆が投下された事を何時まで記念式典するの、思い出を記念式典するの。 ☆外国にこれ以上に不法占領されたいのか。自衛の為核武装式典しよう。（現実をみれ。現実をかたれ） ☆空想（理想）を重視するな。現実をみれ。現実をかたれ
31412	個人	自営業	40代	男性	原子力発電のゼロシナリオを求めます。	未来の子供たち、日本、地球にとって原子力は危険すぎる。 即時に廃炉、そして自然エネルギーを使う。 この流れを日本が世界をリードしていくべきです。
31413	個人	パート・アルバイト	50代	男性	直ちに原発は中止し、将来も0%にすべきだ。理由は、日本は災害大国で、地震や津波の可能性が高いので、原子炉の破壊につながる。核廃棄物の処理方法が確立されておらず、廃棄物の保管期間にも危険が続くからだ。	原理力発電の技術は完成されておらず、絶対安全とはいえない状態だ。巨大地震や直下型地震、津波に対する安全評価も設置者関連の調査機関が行い、確認機関も不十分性があり安全に問題がある。また、原子炉自体の安全性も検査を含めて不十分と考える。また、発電後の放射性廃棄物処理についても、処理方法が完成しておらず、未処理のものが多くあり、将来放射線漏れをきたす恐れが大である。そうした面から、直ちに原子力発電から撤退し、将来も0%にすべきである。代替えとして、当面はLNGなどを使ったコンバインドサイクル発電を推進しながら、将来は、環境負荷の少ない自然エネルギーの利用・開発を大々的に進めていくべきだ。また、日本が原発から撤退すれば、中国での原発開発にも申し入れができる。日本に原発を残せば、中国の原発開発はそのままおこなわれ、中国で事故が発生すれば、日本にも大きな被害が及ぶことが推測される。この点からも、直ちに廃止すべきである。
31414	個人	無職	60代	女性	原子力発電を今すぐやめることを求める。せっかく自民党から民主党になってもなんら政策に今は変わりがない。命あってのものだねです。すぐ止めて後始末に取りかかるべきです。	高知県ほど存じのように来たるべき地震津波の被害を多くうけることになります。伊方原発も断層の近くにありM9以上の予想される地震では想定外の被害を受けることでしょう。そもそも地震列島に危ない原子力を置くことが問題で、後始末の方法さえ分かってないものをこれからも続けていくのは間違いです。ドイツは日本人にあきれていると思います。生命倫理の問題です。雇用は原発の後始末等で十分過ぎるほどできると思います。個人の金銭欲、権利欲に走るのは止めましょう。
31415	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発依存度0%にする。 ピンチはチャンスである。 日本は科学技術を持って世界の先進を目指すべき。	原発依存度0%にする。 ピンチはチャンスである。昔、自動車の排ガス規制でいち早くその基準に達したからこそ、日本の自動車は評価され、海外シェアを取ってきた。 高いハードルがあるからこそ日本は成長する。今の日本は目指すべき目標が（金額）でした示されないあるいは評価されない状態となって久しい。 日本の目指すべき目標は「科学技術の高さ」「システムの精度」である世の中を取り戻して欲しいという思いから「0%」を選択しました。 文系評価から理系評価への転換を期待します。
31416	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発ゼロ	できる限り速やかに原発ゼロへの対応をお願いします。 福島が収束できていないのに稼働し始めた大飯原発は不安でなりません。

31417	個人	無職	60代	男性	日本の地理的特性、社会構造の特性を考えたエネルギー政策に早急に転換し、安全で持続可能な電力源と利用技術の開発により原発ゼロの社会を目指す。 （原発ゼロ　シナリオ）	1．日本の地理的特性 三つのプレートが複雑に絡み合う地盤の上に立つ日本は海溝型地震と活断層による地震に繰り返えし襲われる宿命にある。そして島国である故に自国或いは他国で発生した地震による津波にも繰り返し襲われてきた。 小さな島国である上に、列島を縦横に走る火山帯により山間部そして傾斜地が多く、人の住める平地は限られる。逆に言えば山の稜線や海岸線が長く、河川には傾斜があり、山林、温泉が豊富な風光明媚な国土である。 2．日本の社会構造 勤勉な国民性により、小さな物から大型プラントまで繊細で高品質な製品を生み出す能力を持っている。更に国土の特性から日本人は治水、傾斜地の利用、山林の利用等々自然と共生する術を持っている。 都市部から山間部まで送電網が張り巡らされており、制度の改変と知恵により発電の分散化、地産地消にむけた取り組みがし易い環境にある。 社会の成熟と伴に少子高齢化が進み山間部を中心に非耕作地が増えている。又、将来的には人口減が予測されており電力消費量は抑制されると思われる。 今回の震災では避難した人々の帰郷できない理由として地方産業の弱さが露見している。地方産業の振興と人口の分散化はエネルギー消費の分散化として重要な課題となる。 3．原発ゼロの社会への舵きり 日本の地理的特性、使用済み核燃料の処分技術の現状、福島第一原発の事故でいみじくも露見した人知によるコントロールが不能な原発、放射能汚染による人、食べ物、経済、環境への計り知れないダメージを考えるともはや原発に頼る社会は在り得ません。 既存原発を速やかに停止し、原発ゼロ、原発以外の既存技術の改良と拡大、再生可能エネルギーへの切り替えに向けて舵を切るべきと考える。 4．原発ゼロへの取り組み 地方産業の振興、環境保全と抱き合わせる形で日本の特性に合ったさまざまな形態での発電を行う。それは安全で持続可能な日本社会を構築することにも繋がる。 併せて人口減、節電技術の効果による需要減を見通し、都市と地方の需要の平準化を図る施策により送電の無駄と都市部での需要のピーク対策の緩和を図る。 4．1　廃炉への取り組み 現原子炉の廃炉までの工程は勿論使用済み核燃料や関連施設の処分を含めたその後の安全をも考慮したオープンで長期に亘る取り組みが必要です。 一私企業のレベルを超えて国を挙げての科学者、技術者の育成、投入と、国際的でオープンな研究と技術開発を行う。 4．2　小水力発電 河川の傾斜を利用した小水力発電は一基当たりの発電量は小さいものの、既に実用化されている技術であり全国的に低コストに多数設置できる可能性を秘めている。 4．3　地熱発電 縦割り行政の所以により火山国日本でありながら導入が進んでいない。諸外国の例を参考に設置を拡大する。 4．4　バイオマス発電 山間地の振興、環境保全をも睨んだ非耕作地、山間地を利用したバイオマス発電の開発・展開を進める。併せて広葉樹林の再生を行い生物多様性と環境保護を進める。 4．5　風力発電 低山稜、海岸線を利用した風力発電を進める。 4．6　民間企業による発電の促進 ソフトバンクによる太陽光発電等の例を検証し地元産業による更なる参入を促進する施策を投じる。 4．7　都市部大企業の自力発電の拡大 事務所ビルでの太陽光発電、工場でのLNG発電等都市部での大電力消費産業での自力発電の導入を数値目標化して進める。併せて地方での港湾整備と流通網の整備を進め大企業の地方移転を促進する。 4．8　既存発電設備の改良 既存火力発電等の設備を改良し熱効率の改善と発電量を拡大する。 4．9　今夏の実績より 原発のほとんどが停止する中で迎えた今年の夏の電力事情を見るに、上記対策を施す過程での電力供給に問題があるとは思えない。原発問題に係わらず電力産業の透明化、発送電分離を進め、発電設備の障害対応として公共交通機関・医療機関・介護施設・中小企業の生産設備等々のライフライン確保、産業活動への対策としてきめ細かな特別供給網の整備を行うことを提案する。併せて過大なピーク時電力需要への対策緩和を提案する。 以上
31418	個人	パート・アルバイト	70代	男性	ゼロシナリオを支持します。先進国は地球資源をこの100年間で食いつぶしてきました。1パスフローのプロセスではだめなこと、必ず安全な循環型のフローで如何なる物質も捕捉可能なプロセスであることです。	環境カウンセラーをして、この20年近く地域社会や企業内で環境に関するJOBをしてきました。直近の4年は3Rマイスターとして福岡県リサイクル総研で廃棄物減量化・再資源化のJOBをしてまいりました。永年化学工業の技術者として化学プロセスの企画や設計に携わってきた経験を生かすためでした。廃棄物問題から学んだことは、必ず循環のプロセスを作り上げることに尽きます。仮に地球資源（化石資源類）を使う場合も、最小にとどめリサイクルして循環系を作る必要があります。化学プロセスでもそうです。物質収支、熱収支をとり微量な物質といえども捕捉することが肝要です。 　原発は熱発生器としては極めて単純ですが、廃棄物問題は1パスフローのままです。しかもそれがもたらす影響はほかの物質と異なり制御できないものです。 地球上のプロセスの中でリスクに対する人間の制御に及ばないという事実です。どのような危険な化学物質でも、ある範囲に制御可能なプロセス技術を持っていますが、放射能だけは無害化の技術がありません。 　更にいえば、原発に与えるダメージのリスクが関係者で普遍的に共有されていません。専門家と呼ばれる人々の中でもそうです。技術論で見解が分かれるプロセスはいけません。 「想定外」があってはいけません。人間社会のあらゆるリスクを想定し、専門家集団のあらゆる人々が制御可能な循環型プロセスと認識する必要があります。今の原発は化学プロセス技術者の目から見ておよそそうしたレベルにありません。
31419	個人	その他	60代	男性	即刻原発「ゼロシナリオ」の実現を求めます。	3･11福島原発事故が起きて、まず思ったことは、こんな危ないものをよくぞ作ってしまった、とんでもない、大変なものを作ってしまった、という強い後悔と将来世代に対する反省、懺悔でした。 新潟は中越地震、中越沖地震と相次いで震災に見舞われました。石橋克彦さんは地震の活動期に入ったと指摘しています。中越沖地震はできそこないの地震といわれ、断層の連続性を考えるとM9.0の可能性も否定できません。豆腐の上に立つ危険な原発を再稼働させてはなりません。 また、廃棄物処理の方法がいまだ定まっていないことも大問題です。10万年もの間、監視し続けなければならないこと自体、人間の所業とは思えません。 さらに、被曝せざるを得ない作業があること自体、労働者として許せないことです。 福島の避難者は「故郷を捨てる覚悟がなければ原発をつくるな」と訴えています。 人が人らしく生きるためにも、すべての原発をなくす政策をとるべきです。
31420	個人	自営業	50代	男性	原子力発電は即時、全てを撤廃	四号炉の爆発に見られるように原発は稼動していなくても冷却機能が失われれば爆発する。炉心のみならず使用済み燃料も冷却し続けなければならない。 地震が起きても停電が起きても何十年も冷却を中断してはならない。これは事実上不可能。さらには今までにたまった放射性廃棄物の保管も限界でありモンゴルへ持っていくか、海外にまでその被害を回さなければ維持できないところに来ている。これは日本国民として非常に恥ずべき行為である。もし本当に安全に使用済み燃料が保管できるなら、最大の電力消費地、東京都内で保管するべきである。田舎に危険なものを押し付けなければ成り立たない原子力は、貧しい農村・漁村を差別する政策である。これは国民の平等を保障した憲法違反である。
31421	個人	無職	30代	男性	即刻、原発の使用を停止してもらいたい。 そして、それに代わる代替エネルギー・再生可能エネルギーを安定して利用出来る様に研究開発を進めて欲しい。	原子力は現在の技術力で制御出来ているとは言えず、更に、スルーマイルやチェルノブイリ、そしてフクシマの様に事故が起きた時のリスクが大きすぎる。 また、原発から出される、放射性廃棄物の処分の方法も決まっておらず、無責任な所行である。 しかも、この放射性廃棄物が無害になるまで10万年掛かると言う、負の財産を後世に残すのは、罪悪だと思うから。
31422	個人	会社員・公務員	50代	女性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 ＜即原発ゼロへ、弱者の保護を優先＞	大飯原発の直下には活断層がある。日本の地質学者の多くは、「巨大地震のサイクルに入った」と言っている。すぐに原発は止めてもらいたい。柏崎・刈羽原発もすぐに止めてもらいたい。病人、被介護者、子ども、老人は守らなければならない。安心して生活できる、安全な環境を作ってもらいたい。
31423	個人	会社員・公務員	40代	女性	絶対原発反対です。 なぜなら第二のフクシマを作りたくないからです。 原発をやるということは未来をお金で売ることだと思います。 安心より安全を選びます。	私は福島県民です。日本列島は地震活動が活発化しており想定外の巨大地震や巨大津波が襲って来る可能性があります。こんな場所で原発をやるなんておかしいと思います。放射性廃棄物の置き場所もないのだから未来原発は稼働してはいけないと思います。 どんなに「原発の耐震強化」しても絶対に大丈夫とは言えないと思います。現に私たちのところがそうでした。いくら安心と言われても先のことはだれにもわかりません。想定外ですませられてしまうことが悔しいです。万が一の時の責任はだれもとってはくれないのです。 だったら、私は絶対安全なことをやってもらいたいです。 稼働すると発生する放射性廃棄物の処理・管理費用や、事故の収束費用は膨大です。そちらの費用を今後の自然エネルギーの方へ回していただけませんか。私たちのお金を無駄なことに使わないでください。
31424	個人	会社員・公務員	60代	男性	(1)原発の再稼働反対 (2)将来の原発は、全て即廃炉にする (3)2030年の原発は勿論ゼロ (4)原発が無くても、代替エネルギー開発がすぐ見つからなくても、 　家庭の省エネを推進すれば、全く問題は無い。	(1)国の将来を担う子供に対し、極めて危険であったことを3.11は証明している。 (2)技術的にも、本当の原因も未だ解明されていない。 　今になってSR弁だとNHKが報道していたり、 　今後の対策についても国会の審議も全く進んでいない。 　そんな状況で、再稼働するというのは科学技術先進国と言えない暴挙である。 (3)東電や経産省も、その危機回避マネージメントの点で全く機能していなかった。 　事件までも、事件後もその体質に改善の兆候さえ見えない。 (4)福島県に居住している住民にとって、今だ原発の災害は収束していない。 　原発から60kmも離れている福島市の人々でさえ、子供のいる家庭は、 　まだ窓を開けることもできず、洗濯物を外に干せない生活が続いている。 　ましてや、双葉郡とその近くの住民には、帰宅することさえ出来ない。 (5)国会の事故調も「人災」と言っている。 　その東電や国のマネージメントには、今後も全く信頼できない。 (6)各地で、国民のデモが目に目に、盛り上がっていて、6割を超える国民大多数の意見が、 　国政に全く反映されない・・・そんな政治・政党は無い方が良い。 (7)国民目線に立ち、原発だけで国民投票をやってみたら良い。 　イタリアの様に。 (8)私自身は、自分の家の電気の消費を昨年から一年間の累積で、 　約50%の節電を実施している。今もそれは続けている。 　原発への寄与率30%を大きく上回ることは、家庭でも出来ることを証明している。 　何も、次期エネルギーの開発が間に合わなくても、国民全員がそれをやれば、 　現在も原発は不要である。 (9)また経済の復興よりも人の命の方が絶対に優先される。
31425	個人	自営業	40代	男性	「原発ゼロシナリオ」を選びます	「原発ゼロシナリオ」を選びます。経済より、安全を優先するということです。当面の火力発電によるコスト増はしょうがないと思います。 まず省エネだと思います。家庭より企業のほうが多くの電力を消費しています。企業向けの、使うほど単価が安くなる電力価格を見直すべきです。それにより企業の省エネ投資を促せます。省エネ後必要な電力をどう調達するか。そこで自然エネルギーも考えることになります 送電網を国有化できれば、いろいろな人・事業者が発電しやすくなるので、選択肢が増えます。 電力価格はコストに一定の利益率を掛けた価格が認められています。コストが多くなるほど電力会社の利益が増えます。この仕組みも問題です。
31426	個人	無職	40代	男性	ゼロシナリオ　（即時廃炉を求める）	物理的に制御不能で地震に対する備えも皆無で耐震性が全くない 欠陥を隠す原発を素人運転で素人危機管理した結果は事故しかない その事故収束は命を捨てた強制労働でしかできない 否定できるなら官邸を福一に移してモノを言うべきだ 一瞬しか滞在していない枝野の完全装備は国民の目に焼き付いている それだけ危険なことも同時に知っている。 被ばく保障も当然手厚くすると信じる。 電気は足りているし、経済阻害しているのは原発そのもの ３１１で最先端であった省エネ技術が停滞し、長期化すればまた 技術が海外流出して富の基を失うことになる。 金のかかる研究を日本でして、実用化のおいしい部分を海外がとる。 逆輸入となり民間潰しと財政悪化を招く。
31427	個人	家事専業	40代	女性	エネルギーとしての原子力の利用に全面的に反対です。原子力の平和的利用なんてありえない、人類は核とは共存できないのです。	現在原子力発電所の災害などに対する安全性ばかり論じられていますがナンセンスです。原発を異常なく運転したとして、使用済み核燃料の処理をどうするのか？ 　原発事故によって発生した放射能に汚染されたがれきや土壌の最終処分地どころか、一時保管の場所すら見つからないのに…。高濃度の放射能を延々と出し続ける核燃料そのものをどこで引き受けるというのでしょうか？宇宙へでも打ち上げるつもりですか？ 　たとえ処分地があったとして、10万年にも及ぶというその管理にどこのだれが責任を持てるのか？考えれば行き詰ることは目に見えています。 　またこの夏電力不足が言われていますが、大飯原発がフル稼働に至っていない猛暑の現在でも日々の電力使用率は90%を上回ることはありません。多くの国民はちゃんと考えているのです。 　原発はいらない！原発が止まっている(しかし何とか電力がまかなえている今のうちに)持続可能なエネルギーの推進に本気で取り組むべきです。 　産業・経済の発展より安心して暮らせる世界のほうがはるかに大切です。

31428	個人	法人等	50代	女性	原子力発電をやめる選択をしてほしい	先週福島の温泉地をたずね、美しい風土に感銘しました。と同時に、さまざまな年代の地元の方のお話を聞くことができました。引っ越しする、しない、家族と一緒にやって行く、別れる、畑をする、しない、子どもを産む、産まない、、、そんな選択を日々迫られる暮らしは想像の範囲をこえます。でも実際そうして暮らさざるをえない状況がつくられてしまった。福島の子どもたちは親たちはどうしたらいいのでしょうか。 昨年来これだけの犠牲を人々にしいていながら、便利な消費的な生活はできません。宮城や岩手など自然災害からの被害はどんどん復興していきますが、福島はちがいます。何年も何年も人が忘れてしまっても失われた自然、家、健康はかえってこない、さらにこれからは海でとれた魚や食物に含まれる放射能の影響など、広範囲で日本中に被害が及んで行くと思います。 昨夏みなが協力したように、少しずつ節電して行けば原子力はいらないはずです。 100年単位、いやもっともっとのつけを未来に残す原発はやめるという選択をしてください。国民は協力します。
31429	個人	その他	60代	男性	原子力発電は全て廃棄しゼロにしてください。技術が未熟、核廃棄物処理の 方策も明らかでない、リスク大きい原子力発電は必要ありません。 自然エネルギーの研究と実用化に予算を振り向けてください。	原子力発電の技術は未熟であり事故はありえないとする前提で原子力行政が進められてきました。福島原発の爆発と放射能被害に対して、東京電力は情報公開を行わず、隠ぺいを続けています。政府もそのことを容認し加担してきました。福島原発事故の責任をいまだに誰もとっていません。 交通事故でも医療事故でも殺人でも実行犯は刑事責任や社会的責任をとっています。福島原発は自然災害と思っているような状態で、原発再稼働などとんでもないことです。 よって、原子力発電は全て廃棄職分しゼロにしてください。
31430	個人	会社員・公務員	60代	女性	絶対原発反対です。 なぜなら、第二のフクシマを作りたくないからです。 原発をやるということは未来をお金で売ることだと思います。 安心より安全を選びます。	私は福島県民です。日本列島は地震活動が活発化しており、想定外の巨大地震や巨大津波が襲って来る可能性があります。こんな場所で原発をやるなんておかしいと思います。放射性廃棄物の置き場所もないのだから、本来、原発は稼働してはいけないと思います。 どんなに、原発の耐震強化や、防潮堤のかさ上げをしても、絶対に大丈夫とは言えないと思います。現に私たちのところがそうでした。いくら安心と言われても先のことはだれにもわかりません。 想定外ですまさられてしまうことが悔しいです。万が一の時の責任はだれもとってはくれないです。 だったら、私は絶対安全なことをやってもらいたいです。 稼働すると発生する放射性廃棄物の処理・管理費用や、事故の収束費用は膨大です。そちらの費用を今後の自然エネルギーの方へ回していただけませんか。私たちのお金を無駄なことに使わないでください。
31431	個人	家事専業	50代	女性	原子力発電を止めてください。今は、火力で十分です。	（理由） 1．日本の原発は欧米と比べ、ベント操作弁、ベントフィルター、共用の 排気塔など元々設備の安全度が低い。本来地震・津波の多い日本は 世界最高峰の安全設備でなくてはならないと思います。 しかし、現実は低い防潮堤、地下にある発電設備が不安全のまま。 稼働停止した原発であってもこのままでいい訳がない。 2．使用済み核燃料は危険性がなくなる迄で10万年間という長期間を 必要とする。これを次の世代につけ回すことは罪悪です。 3．今回の事故で、東電、学者、経産省原子力安全保安院、文科省等 信頼に足るものでないことが分かりました。すぐに変わるものでもないので 原発の運転資格なしと思います。 4．原発のコストは資源エネ庁が今まで言ってきたコストよりずっと高い 事が分かりました。（有価証券報告書では15～20円）太陽光発電とあまり変わ らず、風力発電より割高です。今回の事故でさらに膨らみました。 再生可能エネルギーは今後の普及でさらに安くなります。 5．不安全でコストの高い原発は先進国はどこも消極的です。日本が いつまでも原発にこだわる意味が分かりません。 6．早く廃炉を決めて、廃炉ビジネスにより現地の経済と雇用に貢献してほしい。この一年で、さまざまな試みが新しいビジネスを生んでいます。ピンチはチャンスにできます。 7．原発の作業には作業員の被ばくが避けられません。自分の子どもたち、経済的にその作業につかなければならない人たちに、わざわざ被ばくする仕事をさせられますか？ 8．核兵器を作れるために原発が必要とも言われますが、核兵器は、敵味方どちらの市民の命も守れません。
31432	個人	自営業	40代	女性	原発は全てやめましょう。	万が一、でも億が一、でも、原発事故はあってはならない。 地球は私たちのものではない。私たちがつくれるものではない。 壊してはならない。汚してはならない。
31433	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発は不要。自然エネルギーの開発に全力を注ぎ、 将来の電力を賄えるようにするためにも、今こそ原発を0%にするべきだと考えます。	同左
31434	個人	家事専業	40代	女性	1番、ゼロシナリオを選択します。 福島での意見聴取会を、細野大臣は「特別なんだ」と繰り返されたそうですが、 実際に放射能の恐怖にさらされている人々の意見をもっと謙虚に聞いて頂きたい。	特別だからこそ、国民全体でその恐怖感こそ分から合い、これ以上子孫にその根源となる負の遺産を残すようなことはしてはいけないと強く思います。 経済ならやり直しができます。日本にはそのカがあると信じています。 でも放射能汚染は、人類の手には負えません。やり直しがきかない。 福島県での聴取会で出た、nihaiさんという方の意見に賛同します。 とくに2番目の意見。福島の事故の責任をもっと強く追及してほしい。情報隠し（私達一般国民からは当然そう思われます。）に関わった人間も明らかにし、罰するような法律を作るべきです。そうでなければ電力会社、政治家、官僚に対する不信感など無くなるはずがない。 原発事故で傷ついた、傷ついている国民が大勢いて生活も変わってしまったのに、原発を推進してきた方はなにも変わっていない。 そんな姿をみていたら、原発に対する信頼などもてるはずもありません。 繰り返しますが、原発エネルギーに関しては「直ちにゼロ」を選択します。
31435	個人	自営業	50代	男性	原子力発電の現状と未来について。危機感をもっています。	原子力発電の再稼働、プラント輸出について反対します。 処理が非常に難しく、現状ではどうにもならない放射性廃棄物。それに携わる多くの現場労働者。ウランプラント自体の枯渇の可能性。 あらゆる点において、原発は人類とは共存できません。 地震大国である日本において、危険云々は当然のことですが、仮に「安全」を担保されたとしても、未来のエネルギーにふさわしいものではないことは明白です。 人類は核と共存できません。
31436	個人	会社員・公務員	40代	女性	2030年段階の全電源に占める原発の比率について、0%を選択すべきだと思う。	＜理由＞ (1)万一事故が起きたときに、被害が甚大になるおそれがある。特に、放射能汚染。 (2)使用済み核燃料の処理法が確立していない。よって、その保管場所が限界にきている。 (3)原発がもたらす、心理的負担。（魚や海草は安全か？自血病にならないか？原発立地自治体に住む親戚が心配など。福井県出身というだけで、「原発の多い所ですね。」と否定的なニュアンスで言われたこともある。） (3)福島原発事故後の今こそ、世論を味方につけることができ、代替エネルギーへの転換期として最適である。国策として行えば、技術の大幅な進歩を促進できる。資源がない国なので、自然エネルギーの比率世界一を目指してもよいくらいだと思う。 (4)自然エネルギーの技術が発展すれば、それを応用してCO2削減、温暖化防止にもつなげられる。（温暖化の問題はかなり深刻。） ＜その他の意見＞ ・送電線の分離を行い、小規模発電会社の台頭を奨励し、消費者が電力会社を選択できるとうれしい。 ・福島だけでなく、原発立地自治体の海産物やきのこ類も放射能値を定期的に測定、公表してほしい。
31437	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオを選択する。 ただし、原発をゼロとする時期については、即時とするべきである。	(1)事故リスクが大きすぎる。 福島第一原発の事故により、今もなお16万人が2011年3月10日まで暮らし　ていた地域に戻れないでいる。福島第一原発がまき散らした放射能は東日本　全域に及び、河川や湖沼、太平洋までも汚染している。大気中に放出された　放射能は、地球を何度も回って世界を汚染している。 食品は放射能で汚染され、日本列島に暮らす市民は、その汚染された食品を　やむなく供取すべき状況に追い込まれている。また生産者は自ら生産した生　産物が忌避されるという事態にさらされている。漁業者の中には、未だ漁業　を再開出来ない方も多い。 原発の事故は、事故が起こったら取り返しがつかず、誰も責任を取れない類　の事故である。 (2)福島第一原発の事故の原因が究明されていない。 国会事故調査委員会の報告書は、「福島原発事故は終わっていない」として　いる。政府の事故調査・検証委員会の最終報告でも、事故の原因究明が十分　には行われていない。加えて、福島原発事故を教訓とした新たな規制が定め　られたわけでもない。 このような原発事故の再発を防ぐ事は出来ない状況下で原発の運転を再開す　るのはもってのほかである。 (3)核のゴミを次の世代に押し付けてはならない。 使用済み核燃料は、再処理をするにしても直接処分をするにしても、何万年　もの間、管理しなければならない。原発の稼働期間は40年に過ぎず、その　わずか40年のために、何万年にも及ぶツケを、次世代に残してはならな　い。放射性廃棄物をこれ以上作り続ける事は、許されない事である。
31438	個人	無職	50代	男性	「原発ゼロシナリオ」	利権より　命 子供たちの未来のためにも 原発0を提唱します 30年後と言わず今止まっている全てを即廃炉！！
31439	個人	その他	30代	女性	散々、福島や東北の地を汚染しておいて、責任はいまだに取らず、復興も進めずさらに自分がコントロールができないものを稼働させるなんて、あってはならない事です。	命を掛けてやること…消費税増税ではなく、東北、福島の復興や除染でしょ！！ 増税されたら、被災地の中小企業は倒産の嵐ですよ。 分かってますって？？ 原発を動かして、自分たちの懐をふやすより、海外に多額の支援金送る余裕があるなら、福島や東北の全てを除染して、元通りにしてから言ってよ！ 自殺者も増えるでしょうね。 このままじゃ、政府に財産を差し押さえられて、国民が政府に殺されるされるんでしょうね。 選挙の時、ばっかり良い事言って、なにひとつ実践しない詐欺集団。
31440	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発はいらない。原発ゼロに。	福島の事故も片づけられないのに、原発政策続けることが理解できない。もう被曝したくない。
31441	個人	会社員・公務員	20代	女性	ゼロシナリオを選びます。	ゼロシナリオを選びます。もうこれ以上原発の危険に私たちを晒さないで下さい。海や地中などの地球に廃棄物投棄をしないでください。地域分散型のエネルギー供給のしくみをを進めて下さいい。
31442	個人	家事専業	60代	女性	原発の安全な廃棄は、早いほど良いです。未来を生きる人達の為に、少しでも恵まれた自然環境を残すのが、今を生きている私達の義務だと思います。	o昨年の3.11以来、事故で、原発がいかに不完全な危険物かが、身にしみました。現在もその只中。そんなシステムを許してきた世代として、もうこれ以上黙っているのは、子や孫達に、申訳がたちません。普通の老婆が、一所懸命に調べて書きます。どうぞ、読んでご理解いただき、エネルギー源としての原発の選択を、早く改め、他のエネルギーの開発を急いでいただきたい。日本の技術力を持ってすれば、できるはずです。 o当然、儲け手段に、他の国への輸出は止めて下さい。自国の事故の終息も出来ないのに、技術力を持たない国へ危険物質をまき散らす結果になる等、倫理に反します。恥ずべきです。 原発は、 o運転するだけで、従来者に危険な作業を強要しています。被曝隠しまで常在的にあったと、大手新聞の8月6日報道。ピンハネにより、そんな危険な状況でも、下請けの人達の賃金がそれほど高くないのも分かりました。被曝量が高くなって働けなくなった人達は、その後どうなったのでしょう。なかなか労災も受け付けて貰えない構造の様ですね。自分の家族の一員だったら、堪りますまん。 o運転するだけで、無駄に温水を垂れ流しです。生態系を乱しているのは、明らか。というより、その温水を利用しようとすら、考えられなかった仕組みは、何故。その温水の放射能含有量のせいですか。 o運転するだけで、重要注目管理が必要なゴミが、ドンドン増える。 今回の事故で、処分まで、あんなに長く大きい使用済み燃料棒を、常に水のプールに保存しなければいけない事を、知って驚きました。地震の度にこぼれ落ちる水にヒヤヒヤです。事実、休止していた、福島第一原発の４号機の燃料棒の多さが危ないから、一番に廃炉を考えている訳ですね。 ▲放射能のゴミの安全な最終処理方法を考えずもせず、ゴミを作り続けている事は、一番の大問題。それを後回し後回しにして、原発を動かし続けるのは、明らかに非科学的やり方です。 電力の需要を満たすために、学問の世界まで巻き込んでの、利権でガンジガラメ一端発電し出したら止められない原発と、需要を作り出し、止めれば不便ですよ、と脅しの株相。発電所の立地箇所は、お金を出さねば、引き受ける所はない。危険だからこそ、大消費地より、遠い所に作る。当然、効率は悪いです。その危険物質のゴミは増え続ける。フィンランドで、貯蔵が始まっても10万年経たねば無害化しない、最終処理場の紹介を知り、恐怖を覚えます。 作る時に、ゴミ処理の廃棄法の考え無しで、今現在も考え無し。その上、核燃料リサイクルをすれば、もっともっとプルトニウムが増えていくのですから。酷い話です。 ▲早急に必要な取り組みは、世界の各国が既に断念したもんじゅなど高速増殖炉計画は即刻やめることです。冷却材にナトリウムを使う危険性は論外。これほどの無駄使いを、仕分けの一番目にすべきでした。 その無駄な経費で、新しい効率の良い、近くで使えるエネルギーの開発にお金が使えたはずです。昨年事故が起こってすぐ、その段取りをしていたら、この夏にでもどんなに役に立った事でしょう。電力会社の言うなりの電力不足話は、最早、信用できません。 ▲先に負債を残せないから消費税を、という考え方なら、何故に、自分の子どもや孫達に、負の遺産を残すのが平気なはずがありません。使えば使うほど、危険物質は増え、活動期に入っている地震など、天然災害の危険性が心配な日本国土です。 もう一度結論を述べます：自分達の大事な子々孫々が、末永く幸せに暮らせる為に、考えて下さる様。切に願っております。地球という星は、生きとし生けるもの、皆の大事な環境です。
31443	個人	会社員・公務員	60代	男性	25シナリオを支持 今年1年は電力不足やコスト増を辛抱するにしても、 来年も再来年もとなると企業は国際競争の上からも耐えられない。後戻りのきかない産業空洞化が懸念される。	間違いなく、国内経済は破綻する。特に中小、零細の製造業は壊滅的なダメージを受ける。 その結果は大企業にもおよび、失業問題が大きくなる。原発反対で首相官邸前でお祭り騒ぎをやっているが、電力エネルギーを失ったら仕事も失う事を認識してないようだ。 評判悪い東電であるが、神流川揚水型発電所だけは、褒めてあげたい。完成すれば原発3基分の発電量に相当し、信濃川水系と利根川水系を結んだ技術は素直に褒め、もっと世間に知らしめててもらいたい。 太陽光、風力だと言っているが現実を直視してもらいたい。現に太陽光パネルの寿命は20年と言っているが、躯体のプラスチック樹脂は10年持ちません。おおよそ7、8年でボロボロとなるでしょう。そのようなことは専門家なら知っているはずです。 また、太陽光発電パネルや風力発電装置を製作する膨大な資源やエネルギーはどこから持ってくるのでしょう。CO2も多く発生します。地球温暖化にも影響します。 再生可能エネルギーを生むには、膨大な資源やエネルギー消費があり、CO2の排出の増大となります。（エントロピーは増大します）

31444	個人	その他	30代	女性	全ての原発は可及的速やかに廃炉すべきである。そもそも、福島第一原発事故 の原因が未解明で、かつ、原発の安全性を担保する 新基準もなく、過酷事故対策 の不備も露呈している現状において再稼働はありえ ない	全ての原発は可及的速やかに廃炉にすべきである。当然、再稼働すべきではない。 理由を以下に述べる。 (1)福島第一原発事故の原因が未解明である。原発中枢構造の耐震脆弱性がそもそ も事故原因だったとすれば、津波対策を講じたとしても、今後の大地震により放 射能漏れ事故を起こす可能性がある。そして、実際に大地震が発生する可能性が あることが専門家により指摘されている。 (2)安全を確保するための指針がない。現状は、9月上旬に原子力規制委員会が発 足する見込みというのみであり、新指針制定時期は未定である。しかも、規制委 員会の構成員候補にも偏りが見られる。 (3)政府の暫定基準は安全基準ではない。政府の基準の中には、安全性が実際に確 保されずとも、電力会社がその計画さえ示せば達成されるものもあり、到底安全 性確保の基準として機能するものではない。 (4)過酷事故対策の不備が露呈している。重大事故についてのシミュレーションが 欠如しており、さらには緊急事態のおける指揮系統の機能障害も露呈した。にも かかわらず、現在も過酷事故対策として実効性のある対策はまとまっていない。 (5)自治体の避難計画策定は困難である。そもそも地域防災計画を策定するための 指針も存在しない状況であり、原発から30キロ圏内の自治体が実効的な避難計 画を策定することは不可能である。 (6) 原子力規制組織の実効性は不透明である。 今回、浮上している原子力規制委員会の委員長候補田中俊一氏は、前原子力委員 会委員長代理であり、規制委員会の委員長として適任かどうか、疑問を呈さざる を得ない。 (7) そもそも放射性廃棄物という負の遺産を生み出し続ける原発をこれ以上維持 すべきではない。 (8) 原発に依存しなくても、電力の供給は十分であると考えられる。大飯原発再 稼働即の状況がそれを証明している(再稼働が必要であったとも思われない)。 また、今後代替エネルギー、再生可能エネルギーの開発、利用に国をあげて取り 組むべきである。
31445	個人	会社員・ 公務員	50代	男性	正しい選択は"常に少数派の手にある"ので、民意に 沸きたてプロの責任放棄はダメ。今、本当に必要なこ とに着手しなければならないが、それは、原子力の更 なる技術落差獲得での国家の安全保障を確立すること	先に1回送りましたので、最近のニュースを見ての続いての意見としてご了解いただければ幸いに思います。　(＊9968 番の投稿者) さて、「民に是非を問う」ということが、今の政局を含めての大きな話題になっていますが、ことエネルギー行政においては、今回は、多数決や圧力団体に流される形で事を決すると、国家の命運が尽きてしまうことがあるということを訴えたいと思います。 先ずは、「国民の皆さんの声に従う」ということは、民主主義の香りがして、大衆受けやマスコミ受けは良いものではありましょうが、その延長線上には、つまるところ「政治家・政治家としての責任放棄」「プロの行政官としての責任逃れ」しかあり得ないのではないかと考えます。 原子力についての正しい科学知識を持つ者は、少数です。 また、エネルギー行政に関するプロ的な知識を持つ者も少数です。 そして、正しい政治判断ができるもの、それに対する行政を勧める者も少数派であることを逃れることはできないと思います。 多くの国民は、深い専門知識もなく、またそれを提示されれば、かえって判断に迷い混乱し、簡勤家の簡単な主張にもってゆかれてしまいがちなものであると思います。 ゆえに、正しい判断を下せるのも少数派であることは間違いありませんし、その判断を断行するのには、大きなリスクと強い使命感が求められるものと推定いたします。 ゆえに、理解されぬまま正しいことを進めることは、決して独裁や専制といった範疇に属するものではなく、希少価値に基づくいわば現代の王道、あるいは帝王学であると考えます。 だから、感情のままにある多数派に流されてゆく決定は、つまるところ国家の命運を誤る道を選択することになると考えます。 ゆえに、政府として是非とも見解を求めていただきたいのは、 1、アジアの"ホルムズ海峡化"する、東シナ海、南シナ海に対する考え方 2、第2次世界大戦前、ABCD包囲網によって日本国内へのエネルギー補給が断たれたことが開戦への大きなきっかけになった地政学的経験。すなわち、化石燃料に依存した際のシーレーンに関する考え方と、1で示した尖閣諸島等日本との領土紛争やフィリピン、ベトナムとの領土紛争における覇権主義の中にある中国との間の危機管理。 3、上述した紛争の激化に備えたリスクヘッジとして最大の力を有する原子力エネルギーを、"脱原発"という稚拙な考えに流されて、いとも簡単に捨て去ることを決定していることへの大きな反省。 政府並びに行政機関におかれましては、少なくとも以上3点においての見解をはっきりさせ、どう考えても他の選択肢がない、「今以上の原子力の継続開発」「原子力に関して、他国との圧倒的技術落差を獲得する事による国家の安全保障の確保」にむけて大きく舵を切り替える必要があることへの再認識。 「基本的に、正しい選択は、少数派の下にある」ということをご自覚いただいて、国家の運命を切り拓いてゆくためにこそ、正しい選択と、正しい指し手を着々と進めていただくことを希望するものであります。 以上、迎合することは、誠に容易き道。 歴史に、悔やみきれない汚名を残すことをこそ、恐れていただきたいと、切に願うものであります。 以上、今考えていることを述べさせていただきました。 心ある方々この内容が届きますことを、心より願ってやみません。
31446	個人	家事専 業	60代	女性	原発について	なぜ、政府はもっとしっかりと訴えないのでしょうか。例えば、10年後には原発を廃止して、それに代わるエネルギーを開発する。と･･･ そうすれば、10年後を目指してみんなが頑張ると思うのですが。すぐに廃止することは簡単ですが、代替エネルギーが、石油か石炭ではどうしようもないですよね。もっともっと政府から力強い言葉を発信すべき。何か後ろ向きで国民の意見を聞きすぎている。ビジョンを持て。
31447	個人	会社員・ 公務員	40代	女性	絶対原発反対です。 ゼロシナリオでお願いします。 原発をやるということは未来をお金で売ることだと思い ます。 安心より安全を選びます。	私は福島県民です。日本列島は地震活動が活発化しており、想定外の巨大地震や巨大津波が襲って来る可能性があります。こんな場所で原発をやるなんておかしいと思います。放射性廃棄物の置き場所もないのだから、本来、原発は稼働してはいけないと思います。 どんなに、原発の耐震強化や、防潮堤のかさ上げをしても、絶対に大丈夫とは言えないと思います。現に私たちのところがそうでした。いくら安心と言われても先のことはだれにもわかりません。想定外ですまされてしまうことが悔しいです。万が一の時の責任はだれもとってはくれないのです。 だったら、私は絶対安全なことをやってもらいたいです。 稼働すると発生する放射性廃棄物の処理・管理費用や、事故の収束費用は膨大です。そちらの費用を今後の自然エネルギーの方へ100%回していただけませんか。私たちのお金を無駄なことに使わないでください。
31448	個人	パート・ アルバイ ト	40代	女性	日本国内の原発すべて即刻廃炉決定・運転即停止・ 廃炉計画ノ準備・その予算決定・実行を求めます。原 発依存度0%(即刻)・原子力委員会の解体し廃炉委 員会にする(即刻)・クリーンエネルギーに力を入れる	福一の原発はまだ全然収束していません。東電は相変わらず本気で取り組む気があるとい思える言動をとりませんし、国(政府)にしてもそうです。その場しのぎばかり、利権がからんでいるから、福一が全く収束の見通しが立っていないのに大飯原発を再稼働させるし、しかも後から再稼働しなくても電力は足りるとわかるし、あきれかえっています。 今、大飯原発以外の原発が動いていなくても、計画停電することもなく、何とかなっています。国民に協力を呼びかければ、節電に気を付ける人も結構いるはずです。 セシウムの規定値があっても、だから100%安全・安心という保証はどこにもありません。 専門家も意見がバラバラですし、政府は自分たちに都合のいい専門家の意見しか取り入れないので、もっと国民の命と健康を真剣に考えてもらいたいです。 私は セシウム入りの野菜を食べたくありません。 セシウム入りの水を飲みたくありまえん。 セシウムが舞ってる空気を吸いたくありません。 セシウム入りの土を触りたくありません。 友達に奇形の子供を産んでほしくありません。 将来、本当はならずに済んだかもしれない病気になりたくありません。 セシウム以外にもストロンチウムやプルトニウムが野菜や水や空気、土に交じってしまっている可能性もあります。人体にどういう影響が出るか、人によって度合いは違うにせよ、健康を害する可能性が大きい訳ですから、そんな危険なものをは即刻廃炉にし、別のエネルギーに転換できるよう、策を練り、そちらの方に力を入れるのが一番だと考えます。
31449	個人	会社員・ 公務員	30代	男性	原発即廃炉希望。	原発即廃炉お願いします。福島第一事故以来、東京に住むのも怖くて引っ越すことになりました。食べ物もいつも気を使い、疲れました。本当は賠償請求すべきだと思っています。 一度事故を起こしたら手がつけられず、日本中の人間を不幸にするようなものと共存はできません。日本国として、何が大切か考えて下さい。
31450	個人	家事専 業	50代	女性	原発をなくしてください。 自然エネルギーを推進してください。 お願いします。	原発に頼らなくてもエネルギーは足りています。 今こそ自然に沿ったエネルギーに切り替える時が来ています。 いろいろな形でのエネルギーがすでに発明されています。耳を傾けてください。 原発再稼働での恐怖感はもういやです。公表されていなくても福島による健康被害はみんな知っています。 どうかよろしくお願いいたします。
31451	個人	会社員・ 公務員	60代	女性	絶対原発反対です。 ゼロシナリオでお願いします。 なぜなら、第二のフクシマを作りたくないからです。 原発をやるということは未来をお金で売ることだと思 います。 安心より安全を選びます。	私は福島県民です。日本列島は地震活動が活発化しており、想定外の巨大地震や巨大津波が襲って来る可能性があります。こんな場所で原発をやるなんておかしいと思います。放射性廃棄物の置き場所もないのだから、本来、原発は稼働してはいけないと思います。 どんなに、原発の耐震強化や、防潮堤のかさ上げをしても、絶対に大丈夫とは言えないと思います。現に私たちのところがそうでした。いくら安心と言われても先のことはだれにもわかりません。想定外ですまされてしまうことが悔しいです。万が一の時の責任はだれもとってはくれないのです。 だったら、私は絶対安全なことをやってもらいたいです。 稼働すると発生する放射性廃棄物の処理・管理費用や、事故の収束費用は膨大です。そちらの費用を今後の自然エネルギーの方へ100%回していただけませんか。私たちのお金を無駄なことに使わないでください。
31452	個人	会社員・ 公務員	60代	男性	将来のエネルギー環境に関しての選択年の前倒しと 再生可能エネルギーの拡大を 希望します。	1．将来のエネルギー環境に関する選択肢について 今回エネルギーに関する選択肢を2030年と設定されていますが、政府 が過去に発表している2020年度にCO2排出量を25%削減と公言 されているので、2020年の原発依存率を15%程度、2030年以降 0%とされては如何でしょうか。 理由：原発の寿命を40年で厳格に運用すれば可能な数字では。 2．再生可能エネルギーの拡大 上記1項でもCO2削減の提案に触れましたが、再生可能エネルギーの 拡大を図れば当該目標の達成に寄与できます。 特に地熱発電は原発100基以上との推計も出ていることから原発の補助 金を地熱発電の設置に振り向けると共に、大深度地下特措法と同じように 温泉権を制限する処置をとれば温泉街への配慮も必要がない。 3．エネルギー環境の整備 再生可能エネルギーの拡大で電力品質の低下も懸念されていることから 送電網を電力会社から分離し、各家庭全戸へのスマートメーター配布を 行い、再生可能エネルギー拡大の基礎がためをしてはどうか。 費用は、原発の補助金を振り向ければ過大なコスト増加はしないと考え ます。 以上
31453	個人	家事専 業	40代	女性	原発0シナリオ。2030年までになるべくすみやかに原 発0。そしてもんじゅは廃炉に！	311、福島の原発事故で、いったん事故が起きたら、取り返しのつかないとんでもなく恐ろしい被害が起きることは、実証された。世界の反応も原発に依存しない方向へ転換されて行っているのに、こんなに放射能の怖さを知っている日本が、どんなに大変でも原発を動かしたり作ったりしてはいけない。日本だけではなく、地球を壊してはいけない。今から生まれてくる子ども達や、今から日本を支えていかないといけない子ども達のあしたも、一刻も早い「原発0」を目指し、色んな自然エネルギー等の開発をするべき。
31454	個人	会社員・ 公務員	40代	男性	日本に原発は、ひとつもいりません！	原発がなくても 生きていけると思います。 原発なくすためなら 節電もかまいません 増税も構いません
31455	個人	その他	40代	男性	原発0シナリオを選択します	・現在の原発が老朽化していること ・原子力発電が高コストなこと 事故の際のコストや大量に発生する廃棄物・廃炉費用を適正に判断すれば，高コストになることは明白。 そのコストを新エネルギー開発に振り向けべき。 特に，放射性廃棄物を先送りするのではなく，現世代の間に処理する技術が確立されていない現在，今後さらに新しい原子力発電所建設が必要な15%やそれ以上のシナリオを選択することはできない。
31456	個人	無職	60代	男性	ゼロシナリオを選択します。 私は広島の被爆二世です。もうこれ以上被爆者を出し てはいけないと思います。従って、原子力発電に頼る ことは止めて下さい。	ゼロシナリオを選択します。 日本は地震大国です。いつどこで地震が起こっても不思議ではありません。その地震多発の国に原子力発電は絶対に無理があります。また、放射能廃棄物の処理の展望も見えていません。 原子力発電はすべて廃炉にすることを決めるべきです。 小水力発電などは、日本の地形に最も適した方法だと考えます。小水力発電を含めて自然エネルギーに変換すると、二酸化炭素の排出を含めて自然に優しく、安心なエネルギー対策がいくらでも可能になってきます。 原子力に頼るエネルギー対策には絶対反対します。

31457	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発ゼロシナリオを選んでください。 必ず、原発ゼロです！ 全原発を即時！廃炉にすべきです。	私たちは原発ゼロシナリオを選ぶ必要があります。 福島原発事故が収束しておらず、はっきりした事故原因の究明にも至っていません。 そんな状況で再稼働をするなど許されません。今後、災害や事故が起これば（放射能汚染されていない）西日本まで、「死の国」生物の住めない地域になってしまいます。 稼働中の原発は、すぐさま停止してください！ もう一度、言います。 稼働中の原発は、すぐさま停止してください！ 原発安全神話が崩壊した今、火山国・地震列島の日本に、安全な原発・安全な場所など存在しません。 原発事故による放射能汚染は10万年という長い間、消えません。 第2の福島の惨事を生まないために即刻、全基「廃炉」を強く望みます。 そして、自然エネルギーを中心とした持続可能な社会にシフトするための方策を 真剣に議論し、実行してください。 原発は放射能の再処理技術も確立されておりません。 負の遺産（放射能廃棄物）をこれ以上、産み出さないでください。 どうか、国民の生命「いのち」を第一に考えてください。
31458	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発を0%にする（ゼロシナリオ）を選択します。	原発の事故がどんなに怖いものか福島原発でわかりました。 安全神話はなくなりました。世界にも恐怖を与えました。 放射能の怖さは、原爆を受けた日本が一番よくわかっているはずなのに、 なぜこんなに多く原発を保有するのか、また継続しようとしているのか わかりません。 多くの若いお母さん方は、子どもの将来を心配しています。 安全に処理できない使用済み燃料を、将来に破棄も ゆだねるような、 怖い負担はかけないでください。 国の財政の一部を使って自然エネルギーに転嫁していってください。
31459	個人	自営業	40代	女性	原発ゼロシナリオを選びます。	原発ゼロシナリオを選びます。 原爆の被害を受けた日本だからこそ、核の安全利用を実現したかったという当時の思想背景は理解できますが、ここまで管理がルーズで核廃棄物の処理法が不確かであることが露呈された今 となっては、多少いえかなりの犠牲をはらっても原発をやめる決心をするべきだと思います。 日本の技術にはそれをおぎなうだけの力があると信じています。 日本がその道を選べば、他のアジア諸国も同じ道を進むのではないでしょうか・・・ とりあえず　過剰な空調と不必要なネオンをストップ！ 早くしないとまた地震はきます。 故郷を失う人がまた増えてしまします。 そして最後は日本もなくなります。 それでいいなら原発続けてください。
31460	個人	自営業	40代	女性	提示された三つのシナリオの中から選ぶとしたら原発ゼロしかあり得ないと思います。この地震大国の日本において、原発の絶対的な安全を確保するのは不可能です。	原発ゼロ以外の選択肢を支持します。地震大国の日本において、原発の安全性を確保するのは難しいと考えます。自然の力は、ときに人間の想像をはるかに超えるものであり、どんなに大きな災害を想定していても、不測の事態が起こりうると思います。また、不幸にもそうなってしまったとき、原発のもたらす危険性は私たち日本人はもとより、世界に住む人々の生命と生活に取り返しのつかない影響を与えると思います。 また、放射性廃棄物の処理の問題もあります。私たちの世代だけでなく、何代も先の子孫にその尻ぬぐいをさせるとは思か極まりない行為です。たった数十年の原発稼働の間で、すでに手に負えない事故を招いてしまっているのですから。長期に渡る放射性廃棄物の適切な保管などできるはずもありません。 戦後驚異的な経済成長を遂げた日本。私たちにはその血が脈々と受け継がれているはずです。世界に先駆けてクリーンエネルギーの開発、普及の出来る良いチャンスと捉え、エネルギー大国 日本を目指すべきだと思います。
31461	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオを選択してほしい。 大事故ですでに取り返しのつかない事態となっている。 産業構造の見直し、国民のライフスタイル見直しの論議とともに 脱原発を進めていただきたい。	福島第一原発の事故は、大勢の人が故郷を追われ、生活や職場を破壊されて、すでに取り返しのつかない事態となっています。 さらに何十年にもわたる今後の健康被害も懸念されます。 原発を存続させること自体が無理だと思います。 今回の3つのシナリオの設定の仕方にも意見がありますが、 このなかのゼロシナリオを支持します。
31462	個人	パート・アルバイト	20代	女性	私は、原発依存度ゼロシナリオの選択を求めます。 生命は、他の如何なるものとも天秤にかけられないからです。 それができないなら日本を出ます。	放射能汚染がどれだけ危険だとか、どんな影響を人体に及ぼすかとかいうことは 私は自分で研究して知っているわけではありません。 だけれど「人の住めない場所」が現にできてしまっている。 それは人に限ったことではないでしょう。 そんな場所を作ってしまう可能性のあるものを使い続けてまで 私は今の暮らし水準を保とうだなんて考えません。 原発撤廃は、色んなことに影響することでしょうが その色んなことのうち、「人の住めない場所ができたこと」よりも重要なことがあるでしょうか。 それ以上に重要なことがあると言うならば、それは優先順位の価値観が違いすぎると考えますので、この国に住むことはすぐにやめます。
31463	個人	自営業	30代	男性	ゼロシナリオを希望！	原発に頼らなくてもエネルギーの確保ができる。 原発がなくなったことで新しい産業もできてくるだろうから、マイナス面だけではないと考えています。
31464	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオ　に賛成！	原発がなくっても 生きていけると思います。 原発なくすためなら 節電もかまいません 増税も構いません
31465	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は、廃炉し現在の再生可能エネルギーのさらなる躍進、開発を推し進めるべし、	核融合炉は、現状何落ち着いていれば現状維持できているが、ひとたび異常事態に陥ると、制御不能に陥り、大惨事になります。 日本政府は、チェルノブイリの時に大きな教訓をへ、その後の対策は、各電力会社にお任せし、今回の大惨事に至った。 そもそも、核融合は現状として制御しきれる現象ではなく、異常事態に今までならなかったのが不思議であった。 今回の事件で、現在動いている原発は徐々に廃炉し、人間も馬鹿ではないので、今以上に、クリーンなエネルギーを開発出来るはずである。 原子力自体始まりに矛盾が多かったのだから。 　しかも原子力にしても核燃料生成に化石燃料を大量に使い、CO2の減少にはほとんど変わらないし、使用済み核燃料の処理も、現在安全に埋めているというが、今回のような大地震などが 起きれば放射能漏れなど絶対にないと言えない、見切り発車もいいところだった。 　原発を、使いたいのであれば、放射能、核融合、廃棄物の安全な自然回帰が可能となった時に、使うようにすればよい。 　日本は、扱いきれないものの結末を、世界大戦の2発の爆弾とチェルノブイリ、さらに今回の福島ので十分知ったはず、一門の繁栄で全国民の安全を棒に振るのか、よく考えてほしい。 私は（電気工学科を卒業した者として）、原発は0へすべて廃炉すべき、 そして政府は、クリーンネネルギーの開発に国の責任としてもっと着手すべき（但し大企業などへの丸投げ援助金はやめて）
31466	個人	パート・アルバイト	40代	女性	もんじゅと全ての原子力発電所の廃炉	未来の為に核は要りません。 リスクが大き過ぎます。 日本の優秀な開発能力・技術力で核開発から自然エネルギー開発へ 総力挙げて、速やかにシフトすべきです。 安定した安全な自然エネルギー開発・蓄電池開発が成功すれば、 その技術を世界に広めれます。 都会のビルの壁面にソーラーパネルを、屋上に風力発電機を。 そうすれば里山の緑も水も守れるし、電力をたくさん使用する場所で 発電できます。 日本はそれが出来る唯一の国だと思います。
31467	個人	学生	10代以下	女性	原発はいりません。命あっての電気ではないですか？ 私たちは何も知らずに、原発が作られていました。	地震と津波で流されて破壊されるような、原発で16万人の人たちが彷徨わなくればいけないような電気なら必要ありません。 人間は神ではないので絶対はありません。 人間の作る機械にも絶対はありません。 原子力は絶対に大丈夫ですと言うのなら、わざと他から爆弾でも 落としてみてくださいよ。 爆弾でも破壊しませんか。 嘘ばかりで塗り固め、必死に農業を、漁業を営んできた人たちを 一瞬にして引き裂き、 生き残ってたかもしれない人々は救助されずに 放置されたのです。 私は絶対に許せません。 私たちは、これからあなたたち大人より生きて そして廃炉に携わる人間です。 廃炉まで40年？簡単に言わないでほしいのです。 ゴミが捨てられない家、排水のできない家で住む日本人。 核に苦しめられたのに、今の状況はバカまるだしです。 どうか未来を守ってください。まだ見ぬ私たちの子どもへ 未来をください。 日本は有数の地震国です。 中学二年　（削除）
31468	個人	その他	30代	女性	原発の稼働には反対です。大飯も含め、もう1基も動かすべきではない。できるだけ早急に順次廃炉すべきだと考えます。原発を動かすくらいなら節電も（適切な）値上げも構いません。	福島の事故処理も、東京電力の調査も、まったくまともに進んでも済んでもいない。 他の原発も断層だの運転期間延長だので安全性に信頼できる根拠が一切ない。 ストレス テストも何もかも、原子力利の利権追求でしかない。 事故を起こさない原発や再処理施設、高速増殖炉はありえないし、何より燃料の行き場も処理方法もない。 こういう事柄すべてを子供たちの代に押っ被せるのは、真っ当な大人のしていことではあり得ない。 食品やがれきに関しても、正確で誠実な情報や検査結果が、国の側からは一切出てこない。 福島の事故当時の恐怖、現在も続く食への不安、そしてこれからへの不安と不透明さ、これだけでも原発稼働に反対する十分な理由になると考えます。 コストがかかろうが、時間がかかろうが、自然エネルギーなり火力や水力なり、原子力以外のエネルギーへの転換を今行わないでいつ行うのか。 どうか国民の声に、真摯に耳を傾けていただきたい。
31469	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発ゼロシナリオを選択する。 ただし、原発をゼロとする時期については、即時とするべきである。	(1)事故リスクが大きすぎる。 　福島第一原発の事故により、今もなお16万人が2011年3月10日まで暮らしていた地域に戻れないでいる。福島第一原発がまき散らした放射能は東日本全域に及び、河川や湖沼、太平洋までも汚染している。大気中に放出された放射能は、地球を何度も回って世界を汚染している。 　食品は放射能で汚染され、日本列島に暮らす市民は、その汚染された食品をやむなく摂取すべき状況に追い込まれている。また生産者は自ら生産した生産物が忌避されるという事態にさらされている。漁業者の中には、未だ漁業を再開出来ない方も多い。 　原発の事故は、事故が起こったら取り返しがつかず、誰も責任を取れない類の事故である。 (2)福島第一原発の事故の原因が究明されていない。 　国会事故調査委員会の報告書は、「福島原発事故は終わっていない」としている。政府の事故調査・検証委員会の最終報告でも、事故の原因究明が十分には行われていない。加えて、福島原発事故を教訓とした新たな規制が定められたわけでもない。 　このような原発事故の再発を防ぐ事は出来ない状況下で原発の運転を再開するのはもってのほかである。 (3)核のゴミを次の世代に押し付けてはならない。 　使用済み核燃料は、再処理をするにしても直接処分をするにしても、何万年もの間、管理しなければならない。原発の稼働期間は40年に過ぎず、そのわずか40年のために、何万年にも及ぶツケを、次世代に残してはならない。放射性廃棄物をこれ以上作り続ける事は、許されない事である。

31470	個人	無職	50代	女性	原発ゼロシナリオを選びます。 戦後復興の道を歩んだ日本を子供の頃誇らしく思い ました。原子爆弾の驚異を味わった日本にいながら何 も考えなかった自分が3.が1いないです。電力を原子 力に頼るのはやめるべきです。	原発ゼロシナリオを選びます。 　最先端科学の名を着た「夢の原子力発電」という言葉に疑問を抱くこともなく、電気の消費を謳歌しました。でも、あの地震が、原子力を制御できない人間の愚かな行為に警鐘をを鳴らしました。取りかえしのつかないことが起きてから気づくなんて、あの戦争の時と同じじゃないですか！ 　莫大な予算と時間をかけて、原子力発電に携わってきた多くの人々には申し訳ないのですが、時代と環境が変わり、人はさらにすばらしい英知で新しいエネルギーを開発しつつあります。 　原子力よりも安全なものを求めて、国は援助をケチらないでほしい。私たち国民は昔の人々の知恵を再発見して、楽しみながら我慢・節約していつか来るそのときを待ちたい。 　これから生まれてくる子供たちのために安心して暮らせる日本にしたい。ゼロから出発できるチャンスは、今しかありません。
31471	個人	自営業	40代	男性	原発は無くすべき。廃棄物の処理、メルトダウンの処 理、撒き散らされた放射能物質の除去処理等、何もで きていない現状を深慮すべき。	原発は要らない。現在の発電と経済のために廃棄物を何万年も次世代に残すような傲慢な発電方法である。廃棄物の処理方法、廃棄場所も正式には決まっていないではないか？　福島原発のメルトダウンの処理には膨大な費用がかかる。そのコストは未だに原発の発電コストに入っていない。なのに電気料金には「自然エネルギー買取費用」だけは別枠で徴収している。「原発メルトダウン費用」を別枠で徴収すべき。自然エネルギー買取費用だけ別枠に徴収するのは、自然エネルギー発電コストを高く見せかける為の原発推進派の方々の悪意。「原発の発電コストが安い」というのはウソ。撒き散らされた放射能物質の除去はほんの一部しか出来ない。これを除去というのか、そもそも疑問。福島原発のメルトダウンした建屋等、人間が放射線被曝しないで処理できるのか？今だにその処理方法も確定できていない。人間が被曝しないようにロボットを作ることから始めるなんて、悪い冗談かと思う。高放射線の中で動くロボットが作れるのか？ 火力発電の燃料は現在よりもっと安く買えるはず。費用の総原価方式なんて馬鹿げた方式は今すぐ改善すべき。 そもそも原発なしでも火力、水力その他の発電方法を合わせれば電力は現状でも足りる。電力需要ピーク時だけ節電するように政府が呼びかけ、必要ならば立法すれば良いこと。その努力すら出来ない政府に疑問。原子力推進派の既得権維持圧力に乗せられているだけ。 原発再稼働に首相は「私の責任において」と言ったが、何が出来てそのようなことを言えるのか？何も出来ないではないか。無責任な発言にも程がある。本人は本気かも知れないが、冗談にしか聴こえない。
31472	個人	会社員・公務員	30代	女性	再稼働大反対！ 2030年までになるべく速やかに原発はゼロにするべき	再稼働大反対！ 2030年までになるべく速やかに原発はゼロにするべきです！ 地震大国日本では原発は無理だと思います。 どうか自然エネルギーを推進してください。
31473	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	放射能は、いったん外に出ると私たちの生活環境を 奪ってしまいます。故郷を失った福島県民のこと、再 び他で事故が起こることを考えると、原発をなくすこと が絶対です。	放射能は、いったん外に出ると私たちの生活環境を奪ってしまいます。故郷を失った福島県民のこと、再び他で事故が起こることを考えると、原発をなくすことが絶対です。
31474	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発は要りません。	人間の手に負えないものを扱うべきではない。
31475	個人	家事専業	40代	男性	原発に依存せずして日本は成り立たないしかし現政 権は動かない	将来的に100年後など核融合炉が確立(そのためにはもんじゅが必要)現行原子力発電に変わる物も出るであろうと思われるがそれは今では無い。 大規模太陽光発電に於いてはアリゾナでの実験は断念(コストが膨大)されているし 風力発電に於ける人体(脳神経への障害)への影響などが考えられる オランダで成功していると云う意見もあるが気候も違えば確保出来る土地も無い まして代換えエネルギー採掘をするわけでも無い。(地質学的に危険なハイドロは論外) まるに完全対訳出来る知識人も専門機関で独自の研究成果を学会で発表出来る科学者を抱えている訳でも無いそうなれば当然日本国民に対しても正確な事を云える筈も無く先行きも暗くなるばかりである 現政権は次の政府に丸投げしたい様に感じられるが 100年後の日本を考えた政策をして頂きたい。 日本で現行の原発を廃炉にする事＝日本の荒廃 そう考えて居る。 関係者(大臣を含め)最低限の学術を学べるアメリカの大学を出して貰いたい
31476	個人	自営業	50代	男性	2011.3.11の後、福島原発事故は今だ収束はしてませ ん。このことの意味を考えず、今後の起こりうる事を予 測せずしてエネルギーや環境のことを論じることはあ り得ません。脱原発。即新エネルギーへ転換を！	原発を養護する人の多くは経済人です。企業の利益を考えると必要だと思っているからでしょう。しかし、皆気づき始めているのではないでしょうか？企業や組織は何のためにあるのか？3.11以降私たちは何かに気づいたはずです。福島の原発事故は未だに終わっていません。それどころか、同様の事は論理的/確立的にはまだまだおこり得ると思います。もっとわかってきたことは、原発の利権や、それを推進するに当たっての構造です。さまざまな仕組みをつかって原発を推進してきた分けて、その本当の理由は国民には知らされていると思えないです。最大のネックは放射性廃棄物の問題です。そういった未解決の問題や、コントロールできない発電方法など、日本の知恵を使っていち早く方向転換し、新しい価値観の創造へシフトし、そのことで世界をリードする日本になって欲しいとひから願っています。 原発はコスト高だと思います。 保険は引き受けてくれないでしょう。 福島の被害者のことを考えてください。 未来の子供達の事を考えてください。 今後被爆関連でどれだけのコストや犠牲を払えばいいかも考えてください。 福島の避難者はまた、今も残っている方々の精神的被害を計算してみてください。経済考えるのであれば、見えないリストや、永遠に続きそうな見えないダメージなどを計算してみてください。 今でも、既にとりかえしのつかないところまできてしまっているかとおもいます。不良債権処理に似ていると思いますが、どこかで誰かが方向転換しないといけないと思います。どうかすぐにでも、きっぱりとした方針を打ち出し、日本人の知恵で、この危機を乗り越えて行きましょう。国民も一生懸命考え、努力します！
31477	個人	無職	60代	男性	2030年までに子々孫々が放射能から、健康で安全 で安心して暮らせる日本にするために、太陽光、風 力、現行の化石燃料以外に、地熱、深海の代替エネ ルギーの技術開発を行い、原発のゼロシナリオを創 るべきである。	2030年のエネルギー・環境に関する選択肢として、私はゼロシナリオを選択すべきという意見です。福島原発事故により、原発が安全ではないとわかりました。事故は起こりうるものとして考えなければなりません。起こりうるものである限り、私たちは子々孫々、放射能汚染から健康で安全で安心して生活できる環境を用意しなければなりません。それがゼロシナリオを選択した理由です。 エネルギー問題は、代替として太陽光、風力の再生エネルギーと化石燃料(石油・石炭・天然ガス)が前提となっていますが、日本は火山国という特性から地熱、海に囲まれているという特性から深海に化石燃料資源など、多彩に考慮すべきであります。まず、ゼロシナリオを出発点として、代替エネルギーの技術開発をすすめ、約20年後には、原発がゼロにするという強い決意を政府は持つべきであり、また私個人も含め、我々国民も原発ゼロにする強い意志を持ち続けていきたいと思います。
31478	個人	会社員・公務員	40代	男性	本当に原発0で良いのでしょうか。	最近のニュースでもあったように、火力発電所のフル稼働により燃料費がかさみ貿易黒字がマイナスになってしまったと報道がありましたが、原発0の前に国がつぶれたらどうしますか。 また環境にとってもクリーンな原発なのに、なぜ0でしょうか。 福島の1．2．3．4号機がだめでしたが、5．6号機また女川原発は無事ですよね、他国ではその部分は評価して原発の受注を受けているのに、何故、日本はその部分を評価しないのでしょうか。 このようなことを書くとすごい反発はあると思いますが、あえて言わせてもらうと、原発がある自治体は金銭面でも暮らしても仕事でも、凄く恩恵を受けていたわけですよね。ところがこのような事故になったら、凄い反発で、どうしてもそのところの不信感はぬぐえません。 私の結論としては、原発の再稼働や増やすべきで、地震対策や津波対策を考えたほうが国民や国の利益になると思います。
31479	個人	会社員・公務員	30代	男性	「1.原発を0%にする」以外に選択肢はないと思います	広島、長崎、そして福島。これらを実際に経験した日本が原子力に反対しなくて誰が反対するのでしょうか。世界に向けて率先的に脱原発を訴えていくことが世界の中の日本の使命です。 日本の豊かな自然、これからを担う子供たちの為にも、絶対に原発を無くしていくべきです。お金や利権とかそういったものを考える余地はありません、他のものでは絶対に埋めることのできないものを失ってからでは遅いです。
31480	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロを望みます。	子どもたちの未来のため、地球上の生命全てのため、速やかに全ての原発を廃炉にする事を強く希望します。 人の手に負えないエネルギーは要りません。 原発ゼロを、強く望みます。
31481	個人	無職	80代以上	男性	原発20～25%シナリオ　支持 エネルギーコストを下げることが一経済発展一国富増 大一軍事力強化へのみち 要に原子力の安定的確保を強化する	原子力利用の高度化一核武装・原子力潜水艦・原子力空母一開発強化を急ぐ 亡国寸前の危機に囲まれている
31482	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオを選択する。ただし、原発をゼロとす る時期については、即時とするべきである。	福島第一原発の事故の原因が究明されていないから。 　国会事故調査委員会の報告書は、「福島原発事故は終わっていない」としていると聞いています。政府の事故調査・検証委員会の最終報告でも、事故の原因究明が十分には行われていないですし、加えて、福島原発事故を教訓とした新たな規制が定められたわけでもないですよね。 　このような原発事故の再発を防ぐ事は出来ない状況下で原発の運転を再開したところで本に同じ事故が発生すると思うのでやめて下さい。
31483	個人	自営業	40代	女性	原発は稼動させるべきではありません。すべての原発 を直ちに停止させるべきです。今回わかった、必ずし も安全でないこと、人間にはコントロールできないとい うことを認識し、高リスク発電はするべきではないので す。	今回の原発事故により、多くの人が迷惑し、そして苦しんでいます。喜んでいる人などー人もいません。地元の人はつらく、悲しみをこらえています。東京に住んでいる私たちも飲み物や食べ物に困る毎日です。暫定基準値は設定すべきではありません。もともとの厳しい基準値が守られてこそ、安心して口に出来るのです。暫定基準値を設置したせいで、本当の基準値は守られなくなり、「検出せず」という結果でも、今まででは出荷停止になるような数値なんだろうと思わずにはいられません。
31484	個人	無職	20代	男性	2030年の原発依存率0%を希望します。	次の世代の子供たちに安心・安全の日本を引き継いでいく為にも、原発依存率0%を切に願います。
31485	個人	自営業	40代	男性	「ゼロシナリオ」に賛同します。	原発に不足の事態が起こると、対処できないことが今回の福島の事故で明確になった。 原発の開発や、維持にかかるコスト、原発誘致に伴う地域への現金ばらまきなど、それらにかかる膨大な資金を、新エネルギー実用化のために使用するべきだと思う。 原発事故は、人の生命に関わるだけでなく、動物や、自然、地球全体、に影響し、後生までその影響が残ってしまう。 そうなった時に、誰が責任を取れるのか！？ 責任の取れない原発を使用し続けるのは愚の骨頂としか思えない。 すでに、福島の事故が起こって、手遅れの部分もあるが、今、この時期に、原発からの脱却をしなければ、今回の悲惨な事故も、時とともに人の記憶から薄れて、脱原発の気運も弱まっていってしまう。 そうなってしまって、原発の是非を問う機会が失われる前に、今、原発ゼロに踏み出さなければならないと思う。 これが、福島の事故を起こしてしまった日本人の責任の取り方だとも思う。
31486	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオを選択します。	原発だけでなく、総合的に、危険な事態が予測されるような、取り返しがつかないとわかっているものは減らし、安全かつ、地域で再生できるエネルギーに変えていける政策を望みます。 お金儲けのみを考えているわけではないかと思いますが、命と健康はとても大切なことだと思っています。その上で、化学がもたらす様々な自然を壊す取り組みを止める法律も必要だと感じています。 ただ、望んでいても達成しないと思いますので、できる限りのことはしますので、何かご協力できることがあれば、教えてください。
31487	個人	無職	70代	女性	原発は即刻廃止してください。	子供や孫たちのために安心して生活できる環境を残したい。 それは原発がなくても十分可能です。むしろ原発は害です。
31488	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発はゼロにしてください	太陽光、風力、潮力、地熱、バイオマス、小水力など、日本は、原発に頼らなくても自然エネルギーが豊富です。特に、地熱、バイオマス、小水力は、地域で雇用を作り出す原動力ともなりえます。早期に自然エネルギーに移行して、原発に依存しない社会を作って欲しいと思います。
31489	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年原発非依存は少なくとも社会全体として掲げな ければいけない目標	今回の事故とは切り離して、根源的な意味でコメントします。 原子力発電所はそもそも、そこで発生する廃棄物をどう処理するかを全く考慮していないシステムであると認識しています。 これは例えれば、おしりの穴を塞いで、食べるだけ食べる様なもので、いずれ破綻する事は自明です。 現在の考え方では、放射性廃棄物を地中深く埋める事が最終処分と見なされていますが、実際の所、これは問題を先延ばししているだけで、処分とは名ばかりの物であると言わざるを得ません。 これが、化学性の毒物であれば、他の物質と化学反応を起こさせ完全に無毒化することが、おおよそ可能ですが(まれに科学的活性の極めて低い毒物もある)、放射性物質の場合、物質の根本要素である原子が既に毒性を持ってしまっている以上、このような方法も取り得る物では無く、また、これらの放射性物質を無毒化する基礎研究ち、目処が立っていないのが現実です。 放射性物質の性質が物質の根幹に帰するという事実から見て、近いうちにこれを無毒化する技術が現れる事はほぼ絶望的であると考えます。見つけ出す努力をする必要はありますが、絵に描いた餅に期待するのは論外です。 今取り得る唯一の手段は、時間が解決するのを待つしか無いという事になります。 一方で、原子力発電に於いて、ウランなり、プルトニウムが燃料として使える時間に比して、それが無害化するまでに要する時間が、極めて長いという側面もあります。 また、ひとたび最終処分という名の一時しのぎを行ったとしても、それは無害化されるまで、人間の手によって管理し続けなければいけません。これは粗大ゴミを埋め立てて処分するのとは訳の違う、非常に神経を使う管理を必要とします。 私たち今の世代は、放射性の廃棄物は増え続ける一方で、なんら内在する問題を解決できないまま、未来の世代に対して、この大きな負債を負わせ続けることは出来ないですし、してはならない行為だと思います。 今の経済を維持するために電力が必要、だから原発が必要というのは、あまりに短絡的な発想で、そもそも私たちはこの数十年間、原発という砂上の楼閣の上に生活を成り立たせていたという事実を正しく理解する必要があります。 個人的には、もう全ての原発は動かすべきでは無いと考えていますが、現実問題としては、そのようなハードランディングは社会システムに与える影響が大きく、代替エネルギーや生活様式の見直しに、社会全体で取り組みつつ、原発非依存の社会を作る必要があります。 2030年という目標が近いか遠いかは微妙なと事だとは思いますが、2030年に非依存の社会を作り出せるかは、私たち一人一人の努力次第であり、達成しなければいけない、少なくとも目標として高く掲げなければいけないものだと考えます。
31490	個人	会社員・公務員	50代	男性	明日にでも原発0を目指すべきです。	次の世代の事を考えると明日にでも原発0をめざすべきです。 スタートは出来る限り早いほうがいいと思います。
31491	個人	学生	30代	女性	原発0%が必要とおもいます。	古い原発の耐用年数は計算されて出されたものであるのにもかかわらず、運転を延長している現状は目先の儲けを考えた短絡的な行為に思えます。 福島での多くの農作物や製品が汚染され、輸出禁止処理を受けた現状や、原発の維持費用や周辺住民への理解などを目的として発生したコストを考えるとこれからのエネルギー政策へ投資を行った方が合理的で国際的な競争力を持てると考えます。 タービンを回すためだけに、問題が発生した時点で何が起こっているかさえ理解ができない点、常に冷やし続ける環境を維持しなければならない点ににおいて、原子力による発電は効率が非常に悪く、低線量被曝の明確な安全性さえ不明な状況で安全神話を唱え、原発推進を行うのは無理があると思います。 国防のためであるならば、核保有などを検討したほうが良いです。
31492	個人	無職	30代	男性	原子力発電所を全て廃炉に。	チェルノブイリ、福島で我々は学びました。 私は人間ですので、人間が大切です。 節電にはもちろん協力しますし、 今より電気を使わなくても、多少不便になっても 私たちは生きていけます。 原子力発電所は将来的にゼロにしてください。

31493	個人	家事専業	30代	女性	2030年までには、出来るだけ速やかに原発ゼロを強く願います。 もんじゅ、六ヶ所再処理工場は即時中止、廃炉を、島根、大間原発を含む新規原発は即刻計画中止を。	私たちは生きています。 何のために生きるのか、どうして子供を産み育てるのか。 決して一部の経済のためではありません。 安心して外出でき、安心して食べ、暮らす。 そんな当たり前の事さえ一つの原発事故で奪われたのですからこれ以上奪われるのはごめんです。 次は現実に命ですから。 原発を止めたら経済が悪くなるは極々一部の企業、財界だけです。 現実今は原発はほとんど動いていませんが経済状況はそれを理由に悪化してはいません。 一部の人間のために多くの人間を犠牲にしていいはずはありません。 あなたたち政治家、官僚は私たちの税金から養われています。 私たちを切り捨てる事は即ち、必ずあなた達の身も周り回って削られると言う事を忘れないでください。 私たちはただ、子どもに明るい未来を返したいだけなのです。
31494	個人	会社員・公務員	50代	男性	「ゼロシナリオ」を選択します。 電力消費をもっと減らし、自然を利用した発電をもっと増やしていき、危険な原発をなくしていきたい。	福島原発の事故の悲劇を考えたら原発はもうやってはいけない。これ以上原発を稼動させることは地球上の生命の存続を脅かすことになる。
31495	個人	パート・アルバイト	60代	男性	原発0% 再稼働反対　即、0%	核廃棄物の処分方法も廃棄場所も無く、このまま再稼働すれば核廃棄物は溜まる一方。 首相や経団連は国民の為の再稼働と言うが子孫がどうなっても良いのか。今、多少不便でも孫子の事を考えてほしい。食器洗い器乾燥機、掃除機など本当に必要可？。今一度考えてほしい。
31496	個人	家事専業	70代	女性	「原発0% 」を提案します。	子供達、大人である私達自身、日本だけではなく、世界中の人々、動物、または生き物達の為にも「原発0% 」を提案します。人間が責任を負いきれないテクノロジーにこれ以上しがみつく事は間違いであると思われます。 「15%案」では脱原発への試みさえ見えません。 日本人は既に、電気の無駄使いをしすぎてきました。例え、今後多少の不便をしようと、それを我慢できない国民なんていないと思います。不便だと感じる事自体、何か間違っているのではないでしょうか。 未だ経済と国民の命を天秤にかけている政府と日本経済会には、怒りがかくせません。民主主義とは何かをもう一度考えるべきではないでしょうか？ （このアンケートを扱う広告代理店、またはその下請けの方々へ。どうか国民の意見聴取プロジェクトを表面上だけの「形」にしないで下さい。。）
31497	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発稼動云々ではなく、持続可能な産業構造を確立するための適正な電気料金体系の維持を、目指した議論が欠けている？	原発の発電コストは燃料棒の処理を含めて本当に割安か？ 大口需要家の企業は省エネを推進、人口は減少で、将来の電力需要は減少する？ 電力需給の見通し、高コスト体質の解消、電力会社の再編等、先進国で高いといわれる電力料金に対する課題は多いと思う。円高で輸出の採算が採れない中で、電気料金の値上がりに繋がる施策ばかりが列挙され、国内の企業の競争力が失われことは国の存亡にかかわることも加味すべきである。
31498	個人	無職	60代	女性	選択肢（1)ゼロシナリオ	原発の危険度はチェルノブイリ事故時に確定的だったものが、福島でやっと決定づけられたとは残念としか言いようがありません。 政府は何を迷うのですか？政治とは誰のためのものですか？ 経済や産業の発展は確かに国民の生活を豊かにするには必要なことでしょう。 しかし、その国民の生活や命をおびやかす原発の存在とは相いれません。全く矛盾しています。 国家の赤字を次世代にひきつがないために、私たちは消費税の増税をやむなしと考えています。原発も大きな負の財産になることが明白なのにまよってる場合ではありません。 可能なかぎり早く、いえ即刻、全原発の廃炉を決断されることを強く望みます。

31499	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は即廃炉にすべきです。地震大国日本で、事故を再び起こす可能性がゼロではない、原発を稼働した場合発生する核廃棄物の最終処理が、事実上不可能だからです。原発は、「今」勇気をもって辞めるべきです。	原発政策については選択肢は即刻廃止しかないです。 そしてもし原発を再稼働させるのであれば、 もし原発をエネルギー政策の一つの選択肢とするならば、 まず次の三つのテーマについて開示させるべきです。 まず一つは技術的な問題です。 原発は絶対安全でしょうか？ まともな技術者なら、絶対はない。といいます。 これは原発に限らずどんな科学技術も絶対はありません。 であれば、どういうケースが重なったら放射能漏れが起こるか、ということを国民に開示すべきです。 想定内の事故であれば放射能は漏れませんし、は意味がないことを 私たちは福島の犠牲で学びました。 どういうケースを想定外として想定しているかを開示すべきです。 パブコメの資料には、どういうことが重なったら放射能漏れが起きますよ、という設計者の技術基準が必要です。 今の時点で原発の再稼働を容認している人は、自分には原発事故は降りかからないよと、根拠のない甘い予想から目が開かれていない人かもしれません。 第二に、放射能漏れ事故が再び起きたときに誰が責任をとるかを明確にすべきです。 電力会社なのでしょうか？ 経済産業省なのでしょうか？ 政府なのでしょうか？ 我々国民でしょうか？ 広域に渡る除染の費用は誰が責任とりますか？ 健康被害の補償は誰が責任とりますか？ 経済活動の補償は誰が責任とりますか？ 実際に福島で事故が起き、未だ責任の所在はあいまいなままです。 再び事故が起きたら誰が責任をとるのでしょうか。 エネルギー政策には誰が責任をとるかを明確にすべきです。 その責任の所在ととりかたをパブコメで意見を募るべきでしょう。 今の時点では、議論の叩き台にもなっていません。 原発を推進している人は、電気が止まるのは嫌だ、高い燃料を使うのは嫌だ、といいます。その気持ちはわかります。ただ責任は自分以外がとると思っています。 電力会社は、国や国民が負担すると思っています。 経産省は、電力会社や政府が責任とると思っています。 政府は、その時の政府か、電力会社か、国民が負担すると思っています。 国民には二通りいます。所設事故が起きたら国民全員の連帯責任になると思っている人と、事故が起きることをまるっきり他人事と思っている人と。 電気が止まるのは嫌だ、電気代が上がるのも嫌だ、でも事故が起きた時の責任は自分以外の誰かがやって。 未だこんな発想をしている人間がいるとしたら、甘い幼稚な人類ですね。私たちと連帯責任とはいえ、情けない大人たちです。 第三に核廃棄物の処理です。 原発を推進するならその政策を明確にすべきです。 六カ所村は再処理工場であって、核廃棄物の置き場ではありません。日本の国土には最終処分場はいまだないままなのです。 ですからこれからのエネルギー政策には、 もし原発も推進するのであれば廃棄物の処理についても国民に提示すべきです。 実は私に良いアイディアがあります。 それは国民の電力サービスを二つに分けるのです。 一つは原発反対コースです。 電気代は高いです。 そして足りなくなると真っ先に止まります。 真夏の午後とか、真冬の夕方とか。 もう一つは原発賛成コースです。 電気代は安いです。 使用量も制限ありません。どんどん使っちゃって。 その変わり、定期的に核廃棄物が小分けにしたものが自宅に届きます。 だって使ったんだから仕方ないでしょ。 敷地の端っこに置かれると近所が迷惑なので、居間のど真ん中においてもらいます。 テレビ台と組み合わさったものが選べるといいですね。 放射性廃棄物といっても大丈夫ですよ。 政府の発表する「ただちに健康の被害が出るレベル」ではありませんから。 大企業のようにエ場でたくさん電力を使用する企業は 使用量に応じてたくさん引き取ってもらいます。 法人の場合は工場に置くのではありません。 本社敷地の真ん中に置いてもらいます。 それぞれの役員室に分散するのが望ましいでしょう。 それでも原発の電気が必要だという人はどれだけいるでしょう。 安い電気とたくさん使うということで、原発を選ぶということは 誰も引き取りてのいない核廃棄物も選ぶということです。 原発の廃炉でも数十年かかります。「今」始めないと取り返しがつかないことになりかねません。
31500	個人	その他	20代	女性	将来のエネルギー比率、原発はゼロに。即時全廃炉を求めます。	東京電力福島第一原発の事故原因の解明はおろか、収束目処も立っていない中、原子力の暴走は人間の手に負えるものではないことが、この事故によって誰もが知るところとなりました。 見えない放射能の影響が長く続いていくものであるというのは、チェルノブイリ原発事故が教えてくれています。 国策として進めてきた、核燃サイクル技術も確立しておらず、また最大の課題である使用済み核燃料処理についても全く決まらず、結論は先送りとなっていることに非常に憤っています。 過去から学び、現実を見、未来を考えても、原発は全く必要ありません。 ドイツでもしたように原発依存ゼロと決めた上で、具体的なエネルギー政策の転換を図るべきです。 日本列島には、いくつもの活断層が走っているのは周知の事実です。いつ来るかわからない大地震に備えて即時廃炉にすることが、日本の未来にとって、とるべき道です。 世界第三位の熱源大国日本での地熱発電に大いに期待をし、再生可能エネルギーの研究、普及に力を入れ、原発ゼロを出発点とした議論をしていくことをしていくべきです。
31501	個人	無職	60代	女性	原発ゼロシナリオを選びます	原発ゼロシナリオを選びます。一番大きな理由は、放射性廃棄物処理の目処がないことです。地層に埋めるという考えなどがあるそうですが、地層が比較的安定した諸外国でさえその方法は進んでいないということですから、地震大国の日本に適用できる方法とはとうてい思えません。 このことは、東日本大震災の結果が十分物語っています。もしその方法や考え方が安全だというのなら、福島のさまざまな汚染物質の処理にこれほど苦しまなくてもいいのではないでしょうか？ したがって、一刻も早く、原発依存から完全に脱し、エネルギー政策の重点を代替エネルギー開発に向け、また、省エネの取り組み支援の施策などを積極的に推進すべきと思います。省エネに関しては、製造業においてはコスト削減につながりますから既にかなり意識が高いと感じますが、それ以外の産業については、エネルギー消費と経済効果のバランスに疑問を感じざるをえない面が多々あります。身近な例では施設のライトアップ。LEDだから省エネ、といわれますが、そもそもライトアップする必要があるのでしょうか。施設運営が安易としかいいようがありません。国として、もっと省エネへの意識改革を求めるべきです。
31502	個人	会社員・公務員	30代	女性	「(1)ゼロシナリオ」を支持します。	原発の稼働には断固反対です。 今回の原発事故のような事態に対応するすべもないのに原発稼働することの意味がわからない。 今現在も苦しんでる人がいて、福島の原発も終息していない中で具体策も提示しないで稼働することばかりに固執してる政府を支持することはできない。 東電自体もまるで責任を取っていないと思うのは私だけでしょうか？ 人はみな順応していくものです。 電力が足りないなら足りないなりの生活をしていけばいいだけです。 最初から今のように便利な世の中だったわけじゃない。 ちょっとだけ昔の暮らしに戻る。 それだけのことです。 そのちょっとが積み重なれば、いずれは地球の温暖化にも歯止めがかかるんじゃないでしょうか。 もう一度言いますが、原発の稼働には断固反対です。 国民の意見を無視するような政治に国の未来はないと思います。

31503	個人	その他	50代	女性	原発ゼロのシナリオを選びます。	原発ゼロのシナリオを選びます。 原発は、いまのところ危険極まりない技術です。使用済み燃料の処理も含めて、これなら絶対大丈夫という技術に達するまで使うべきではありません。 福島原発事故で苦しんでいる人がたくさんいます。このような悲劇を二度と繰り返してはいけません。 直ちに大飯原発を止め、原発ゼロに戻すべきです。そのためにたとえ電力不足が生じて計画停電を行ったとしても、きっと庶民からは文句は出ないでしょう。 自然エネルギーを推進するとともに、少電力で足りる社会を作る努力が大切です。
31504	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロ（ゼロシナリオ）の選択が当然です。 脱原発を決め、自然エネルギーへの転換を求めます。	0%シナリオが当然だと思います。そもそも3つの選択肢が信用できません。15%、20～25%は新たな原発建設、再稼働前提の案であり、そのことに触れられていません。しかも従来となんら変わらず大手電力会社依存案で、他国で進んでいる地産地消の案はありません。 原発が環境に優しいと言うまやかしはもはや誰もが気づいています。これまで私たちは「クリーンだ」「安全だ」ということを信じ込まされてきました。しかし福島の事故は高い高い代償を払って、それが嘘であったことを教えてくれました。 日本は幸い海や降水の水力、風力、日照、地熱などの自然エネルギーの条件と、現に世界に輸出する世界一の技術を兼ね備えています。原発依存ではなく、安全安心な自然エネルギーへの転換を求めます。 原発は人類が制御できる技術を持たず、100万年先まで使用済み核燃料を管理し、放射能汚染の処理で安全面とコスト面で大変高くつきます。原発は使えない技術であることは明らかです。一度事故を起こせば、取り返しがつきません。生活と環境を失った福島の現実を直視すべきです。 原発依存を進めてきたドイツは、福島原発事故を受けて直ちに脱原発を決め、自然エネルギーに転換し着実に実行しています。 原発ゼロ（ゼロシナリオ）の選択が当然です。
31505	個人	パート・アルバイト	30代	男性	原発ゼロシナリオを希望致します。	昨年3月に起きた「想定外」の地震ならびに津波、またその後もつづく余震等により、地震国である日本において原子力発電をつづけていくことの危険性は明白になったと考えます。もしふたたび福島第一原子力発電所事故と同種の事故が起きるとすれば、次は想定外ではすまされません。福島では生活を根こそぎ奪われた方々が多数おられます。もし原子力発電を停めることにより、多くの国民の生活に支障をきたし、また別の犠牲を生みかねないのなら、その方々の救済策を早期にお考えいただきたく思います。「原発を動かせばその方々も救われる」といった拙速な計画ではなく。個人的には自然エネルギー実用化の促進、人命に関わらないレベルでの恒常的な省エネルギーの促進を望みます。そして二度と現在の福島の方々と同様の苦しみを生まないため、原発ゼロシナリオを希望致します。
31506	個人	会社員・公務員	50代	女性	2030年までになるべく速やかに原発ゼロ、そしてもんじゅは廃炉に。大飯原発は即刻停止して欲しい。	福島事故後の対応があまりに杜撰で、原発に依存することは出来ない。すみやかに廃炉の方針を固めて、自然エネルギーなどの代替エネルギーの開発に専念して欲しい。
31507	個人	その他	40代	男性	原発は今すぐ廃炉に　0%にすべき　自然エネルギーへの転換 エネルギーは地産地消　大きい企業が行うだけでなく、中小企業にも	原発が必要だと言っている人たちは、エネルギー、電力が足りないからとの理由でなく、あくまで関電の経営上の問題から、原発がもうかるから必要だとしている。 人類が制御できないことが明らかとなった原発は今すぐ廃炉にすべき。 日本の企業が、お金儲けのために再稼働を急いで世界に原発を売り込みに行くのは、もってのほか。 今すぐ期限を切って自然エネルギーに転換すべき。それに当たっては原発関連で働いている労働者、企業の雇用の面も当然国が責任を果たして、次代のエネルギー関連事業につけるようバックアップすべき。見捨てるようなことがあってはならない。 自然エネルギーは、大企業だけの儲けの手段とすべきでなく、地元中小企業の地域経済振興の政策として位置づけていくべき。そういう技術力がある。
31508	個人	自営業	40代	女性	即時、原発ゼロにして下さい。 1.エネルギーの使用はもっと減らせば、原発は不要。 2.経済成長だけが幸せではない。低エネルギー、自然エネルギーの社会の方が自然の一員である人間にとって幸せである。	エネルギーの効率化や節電によって、エネルギーの使用量はもっと減らせます。現行のシナリオは、自然エネルギーの比率が少なすぎます。自然エネルギー100%を目標にした計画を立てて下さい。 原発の稼働よりも、自然エネルギーの促進にお金を使って欲しい。地産地消できる自然エネルギーのしくみをつくってほしい。 地球の歴史が45億年かかって、地中に沈めた放射性物質を取り出して、地表に出すのはやめて下さい。自然の摂理に反しています。どんなに技術開発が進んでも安全ではありません。 放射能を浴びた一次産業は、国を守る力を失っています。これを続けるような選択はありえません。既に降り注いだ放射性物質を取り除くのに何百年もかかるのに、これ以上のリスクを増やさないで下さい。
31509	個人	自営業	50代	女性	福島第一原発の事故と対応・処理の報道を視聴する限り、原発施設は安全とは考えられず事故発生時にはメンテナンスに多額の費用がかかることが判明した。	原発による発電は一旦事故が発生時には放射性物質が広範囲に飛散して長年に渡り多人数に健康被害をもたらす。地震大国・日本に地震に弱い原発施設を建設するのは危険極まりないことである。事故発生時にはまた費用対効果が極端に低くなりコストが膨大にかさみ国民の負担が多額になるため、2030年には自然エネルギーによる発電に移行し原発による発電は0%とすることを望みます。
31510	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発ゼロシナリオを強く希望します。	今の時代、電気は欠かせないものになっています。 原発はその電気を作っている。しかし、行き場のない核のゴミを生み出す。そして、事故が起これば甚大な被害を起こすとても危険なものです。この度の福島での原発事故を教訓に、是非とも原発ゼロを目指して新しいエネルギーの取り組みをして欲しい。して行きたい。私は、原発ゼロシナリオを強く望みます。
31511	個人	自営業	60代	男性	「原発ゼロ　シナリオ」を支持し、2030年までの出来るだけ早い時期にゼロにする。	原発のエネルギー源であるウラン鉱は有限であるうえ、建設・維持運営・処理に莫大な費用がかかり、トータルコスト的にも他の発電方法より有利とはいえない。さらに最終的な放射性廃棄物の処理方法も確立されていない、未熟で危険なシステムである。3.11により起きた福島第一原発の災害でもわかったように、いったん事故・災害が起きた場合、その被害が広範囲かつ長期にわたって続き、多くの人々に多大な苦難を与える結果を引き起こす。それを再び起こさせないという保証はない。
31512	個人	家事専業	30代	女性	原発は絶対に全面廃止を望みます。 原発が無くてもやっていけるかどうかではなく、原発が無くてもやっていける社会の構築を強く望みます。	原発の全面廃止を強く望みます。 311で露見した日本の原発の管理の甘さ、緊急時の対応の不甲斐なさ、未だに解決策が見いだせない残土や瓦礫の処分問題、被害を受けた方々への保証問題など、今後原発を続けて良いという選択肢がある事自体が理解出来ません。 6月18日付けの東京新聞の記事に、「使用済み核燃料の地層処理は無理」というものがあります。日本学術会議でも解決策が見えてこない。仮に何万歩も譲って、稼働中に事故やトラブルが無かったとしても、その後にでる使用済み核燃料はどうするのですか？海に捨てて海を汚染しますか？地中に埋めて地震で漏れ出てくる放射能に怯えながら暮らしますか？それとも宇宙に飛ばして知らん顔ですか？ 様々なメディアで、原発が無くても電気は足りているとか、電力会社の利益優先だとか、そういった意見が聞かれます。真実は一般国民には分かりません。しかし、311以降、国民の多くが（企業も含めて）積極的な節電に取り組み、実際に電力使用量は減らす事が出来ています。経済活動に大きな影響はあったかもしれませんが、そういったシステムで行くと決まれば、人間はその中でどうやったら結果が残せるかを考え、努力します。それが進化だと思います。 「原発が無くては電気が足りなくなる」では無く、国が国民や国土、そして地球規模の災害を未然に防ぐ為に、「原発が無くてもやって行ける社会システムを作る為に、全力を尽くす」と言うべきです。そのために多少の負担を国民が担うのは、仕方が無い事だと思います。自分たちが安全で便利な生活をしたいのですから。 5年、10年先の事ではなく、自分や自分の周囲の事だけではなく、100年、200年先の地球規模の環境や安全を考えた選択を強く望みます。
31513	個人	自営業	30代	男性	日本の発展に必要なのはまず健康な体です。これからの日本を支えていく一員として、また優秀な人材が日本から海外へ流出しない為にも原発なんてものは全廃してください！	原発いらないです。何よりもまず命が大切です。その命を脅かす原発を何故今後も使わなければならないのでしょうか。日本の発展に必要なのもまず健康な体です。既に日本は大半が放射能によって汚染されました。しかし、この汚染された日本から「日本は復活した」と世界の人々を驚かせたい！これからの日本を支えていく一員として、また優秀な人材が日本から海外へ流出しない為にも原発なんてものは全廃してください！

31514	個人	無職	30代	男性	提示された選択肢の中からあえて選ぶならゼロシナリオを選択する。	人類は原子力を制御できない。 その事が明白になったから。 原理力などという言い方自体がまやかし。 あれは核だ。 核発電所がなければあの地震はあそこまでの被害を 及ぼさずに済んだ。 のちのちの影響を考えれば、今日本にまだ核発電所が 残っている事自体が危険。 何をおいても核発電所をなくす事が最優先。 その為にはいま止まっているものの再稼働など言語道断。 現在と同水準のCO2排出量がどうのと書かれているが、 二酸化炭素の排出量などこそ、 むしろ気に留めない方がまだましだ。 日本の総排出量など地球の規模から考えたらたかが知れている。 ゼロシナリオを選べばCO2削減の為に各方面に 大幅な規制をしなければならなくなりますよというように 書かれているが、そんな規制も必要ない。 エネルギーの消費が少なくて済むよう節減を心がける事は 大切だが、核を使わなくなった分CO2の排出量が 増えたとしてもそんな事自体を気にする必要はない。 CO2の排出が増えたところでただちに人が死ぬわけではない。 温暖化というのもまだ証明されたとはいえないが、 核発電を行う事はただちに甚大な被害を生むのだ。 核の研究や核発電に関係している人間にとっては大きな不利益を 生むだろう。既に得ている利益や生活を犠牲にする事になるだろう。 だがその人たちも死にはしない。故郷を失いはしない。 それに反して、核発電を行い続ければ また地震があった時（少なくとも2030年までには大きな地震、津波が 必ず日本の核発電所のどこかの近くで起こるだろう）、 その近くに住んでいる（あるい日本中の）人は 命も安心も故郷も平和な生活もすべて失うのだ。 私が生まれた時既にこの国では核発電が行われていた。 原子力発電所があってほしいなどと意思を表明した事はない。 原子力発電所にはなくなってほしい。 日本に核はいらない。 理想論だけでなく、そんなものがなくてもやっていける。
31515	個人	無職	60代	女性	国家戦略室の選択肢の中に、「全原発即時廃炉」が無い。2030年までに。日本国内の原発の直近で大地震は起きないという想定による政府の3つの選択肢は根拠がない。全原発即時廃炉を求める。	チェルノブイリ事故の後、原発を抱える危険について学んだつもりであったが、どこか他人事であったことを、福島の原発事故により気づいた。いつの間にか、日本中に原発ができていた。既に北海道から名古屋まで放射性物質で汚染されてしまった。この責任は、歴代政府、電力会社、いい加減なマスコミだけではなく、怒って見過ごした私たち世代の責任でもある。 地球が活動期に入っていることは素人でもわかる。西日本のどこかの原発が福島のような事故を起こしたら、日本には住むところが無くなる。日本人は難民化しなければならない。既に、国外に移動する若い家族が増えている。経団連の米倉会長は、原発をなくせば経済が成り立たないというが、人が住めない国に経済が成り立つということはありえない。 私は終戦の2年前に満州で生まれ、1946年7月に、焼け野原の東京にたどり着いた。船と列車の中で乾パンばかり食べて引き揚げてきた私には、叔父の家で見た湯気の出るごはんが新鮮だった。その光景を祖母はどう思ってみていたのだろう。よく、「戦争前は、こういうお菓子があって」などと話してくれた。それでも、文字通り、国破れて山河あり、おかげで日本は復興した。しかし、目に見えない猛毒の放射性物質に囲まれて、逃げ出すしかない国になったらどうするのか。 二人の幼い孫たちの未来のために、この国に住んで幸せになれるように、全原発即時廃炉を求める。
31516	個人	会社員・公務員	40代	男性	震災前の稼働率にしていただきたいが、無理ならば20-25シナリオを踏襲していただきたい．根拠無く声高にゼロを唱える人たちに懸念を感じ．サイレントマジョリティ（マイノリティ？）として意見します．	原発はなければよいのですが、その理の合わせをするための代替エネルギーの実用化の研究開発が全く進んでいないということに憤りを感じています．そのため、現在の経済状況の維持のための電力消費を前提にするならば原発の25%稼働は必須だと思っております．代替エネルギーの研究費はかなりな額が支給（ばらまき？）されているにもかかわらず進んでいません(もちろん進んでいる、という人もいます)．研究開発者のなかには国難の打破というよりも研究バブルだと言っている人もいます．これでは少なくとも**あと20年**では原発の替わりになるエネルギー発生源は期待できません． また、原発を停止させているから大丈夫、と報道は伝えていますが、燃料棒は冷却水に浸かっていて、制御棒が入っているだけです．その熱を冷却する冷却水は循環しています．ですから今地震、津波が起こった場合には福島第一と同じような熱暴走（よりゆっくりですが）は起こりうると考えています．燃料棒を抜く手立てがない状況では「停止」も「フル稼働」にも抜本的な進いはないのではないかと考えています．原発が家電のようにデジタル的にオンオフできるものではないということをきちんと報道は伝えるべきです． これ以外にもちろん社会的、経済的要因もありますが、専門ではないので控えます．
31517	個人	家事専業	40代	女性	当然、1のゼロシナリオです。即刻日本国内の全原発を停止し、廃炉にするべきです。既存の水力発電、火力発電、地熱発電に加え、世界的にも先進である日本の地熱発電を拡大させるべきです。	なぜなら、原子力発電は平常運転でも放射性物質が漏れているという事実がある。加えてウランを掘ることや、定期点検などの際に作業員の被曝は避けられず、原子力発電所を存在させることで、誰かが被曝をする、誰かの被曝という犠牲の上にしか成り立たない、そんなものはいらない。 日本が大地震という災害をいつも抱えている国であるということ。まさかおこらないだろうという大地震とそれに伴う原発事故が現実に起きた今、きっかけはなんであろうとも、原発を存続させることほど、愚かなことはない。 原発を動かせば動かすだけ、核廃棄物がでる。その行き場もないのに、動かそうとするその根拠がわからない。全原発が止まったが、電気は足りていた。夏場のわずかな電気不足など、乗り切れることはわかっている。なぜ電気不足と煽っているのが見え見え。 私が原発から60キロの鮫川村で、家族と暮らしていたささやかな幸せは、原発によってそのすべてを奪われた！燃料棒がどうなっているかもわからない状態を「収束」と言い放ったこの国において、原発はゼロ！ゼロシナリオしかあり得ない！！
31518	個人	会社員・公務員	50代	男性	3つのシナリオはいずれも実現可能性が乏しく、かつそれを実現する場合の国民負担について明確でなく、選ぶことはできません。シナリオの内容を充実させて意見募集を行って頂けますよう、よろしくお願いいたします。	3シナリオが提示され、国民意見を求めていますが、このシナリオはいずれも実現可能性が乏しく、かつ、それを実現する場合の国民負担について明確でなく、選ぶことはできません。 国民に意見を求めるにあたっては、次のような理由から、実現可能性や国民負担についても合わせて提示することが不可欠であると思います。 第一に実現可能性についてですが、再生可能エネルギーを現状の10%から、少なくとも25%、多い場合は35%までも増やすというのは、実現可能性がかなり低いものと思います。 例えば、ドイツでは太陽光発電に10年間で10兆円を投資しても発電量は3%以下であることからみても明らかであり、その他の対策でも実現可能性が低いものが多々見られます。 実現可能なシナリオに修正して提示して頂かないと、シナリオの選択はできません。 第二に国民負担についてですが、現状90万戸に設置されている太陽光発電設備を現在設置可能な1000万戸に増やすか、現在不可能な家は改修して1200万戸に増やすとし、12．1～13．8兆円の費用が必要としていますが、導入する国民は家の改修費用も含めてどれくらいの初期費用を負担することになるのか、個別に負担しないのであれば税金としてどのくらい負担することになるかを提示頂きたいと思います。 また、省エネルギーでは、新築住宅は全て省エネ基準適合となっており、新車販売で7割が次世代自動車2～6割が電気自動車となっていますが、新しく住宅または車を買う場合の費用負担はこれまでに比べてどのくらい増加するかを提示頂きたいと思います。 国民は、自分が育食うことになる負担を覚悟せずにシナリオを選択することは到底できません。
31519	個人	無職	70代	男性	原子力の電力は主に国内産業用に、新エネルギーの電源は一般家庭に供給することをエネルギー政策の中で謳っていただきたい。原子力なしには、我が国の社会が成り立たないことは自明なことだ。	福島を契機に、原子力はキチンと安全対策がとられることが前提であるから原子力の比率を何%にするかは、国際的エネルギー事情を踏まえ5～10年ごとに見直しが必要であり、必ずしもこのような認識をもたない国民に問いかけても、好きか嫌いかで判断され、国家100年の大計を見誤ることになる。史上、いまなお繰り返されるエネルギー資源をめぐる戦争や原爆被災、そして、近年のオイル危機など歴史をキチンと理解し、国の存亡にかかわるエネルギー問題について、市民の感情論を排除した冷静な判断をしていただきたい。
31520	個人	会社員・公務員	20代	男性	原子力はゼロです。	日本は再生可能エネルギーに舵を切った方が、将来敵に明るい未来が開ける。 原子力のようなものにいつまでもよりかかっていてはいけない。 核はもうたくさん！！　広島、長崎、福島・・・・と続いたらさすがにやばいだろう。 政府が決断すればいいことなのに何をぐずぐずしてる？ ドイツ、イタリア、スイスにならえ。 原子力はゼロにします。と早く宣言してくれ。
31521	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロ	子供達に安心して住める世の中を作ってください、原発はいらない！
31522	個人	自営業	40代	男性	どう考えてもゼロシナリオ。放射性廃棄物をどうするか？を決めないで原発を稼動することは将来の人たちのことを全く考えておらず、非人間的行為である。	今回の「パブリックコメント」の選択方法も全くナンセンス。現在の原発ありきで将来どうするか？という選択では我々が望む即刻廃止・廃炉という選択肢はないのはどうしてなんだろう？ もちろん将来的なことを考えると石油や天然ガス等の化石燃料が戦争等により海外から輸入できなくなった場合を考えると今の現状、近い将来のことを考えると電気の供給が危ぶまれるというのは理解できます。それだから「原発」という選択肢だけでなく、もっと「省エネ」したり、「生活様式の変換」を国民全体で考えていくという選択肢もあっていいのだと思います。 現在、または将来的に電気がこのくらい必要だから・・・という議論から現在使用している電気をもっと減らしていこうという考え方から始めていくべきだと思います。 先月末まで全国すべての原発が止まっていました。それでも現在のところ供給する電力は足りていたことが明らかになりました。今後は化石燃料による発電を減らしていけるよう国として更なる節電、脱電力を進めていく努力をしていくべきだと思います。そして将来、電気使用量が今の半分となれば最低限の自然エネルギーによる発電だけで賄っていけるのではないでしょうか？ 今こそ日本人が大量消費社会から脱して、真の幸せな暮らしを取り戻していくチャンスなのではないでしょうか？
31523	個人	その他	50代	女性	原発ゼロシナリオを選択。市民が主体の地域分散型自然エネルギーで暮らしたい。核の再処理も不要。	福島の大惨事を忘れてはなりません。命が危険にさらされ、住民だけでなく原発労働も大変危険です。生まれ育った土地を離れざるを得なくなり、コミュニティは崩壊、福島の生業であった第一次産業も崩壊。原発から離れた都市にも長きにわたり甚大な被害を及ぼす。そのような大きな犠牲を伴う核エネルギーの電気で暮らしたくありません。地域の特性や自然の力を活かした再生可能エネルギーで暮らしたい。省エネとともに「脱原発」を決めて創エネの努力をする。十分に可能なことと思います。責任ある選択をし未来の子ども達が安心して生きていける国土・日本を残したいと思います。
31524	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発ゼロシナリオを選択する。 ただし、原発をゼロとする時期については、即時とするべきである。	(1)事故リスクが大きすぎる。 福島第一原発の事故により、今もなお16万人が2011年3月10日まで暮らしていた地域に戻れないでいる。福島第一原発がまき散らした放射能は東日本全域に及び、河川や湖沼、太平洋までも汚染している。大気中に放出された放射能は、地球を何度も回って世界を汚染している。 食品は放射能で汚染され、日本列島に暮らす市民は、その汚染された食品をやむなく摂取すべき状況に追い込まれている。また生産者は自ら生産した生産物が忌避されるという事態にさらされている。漁業者の中には、未だ漁業を再開出来ない方も多い。 原発の事故は、事故が起こったら取り返しがつかず、誰も責任を取れない類の事故である。 (2)福島第一原発の事故の原因が究明されていない。 国会事故調査委員会の報告書は、「福島原発事故は終わっていない」としている。政府の事故調査・検証委員会の最終報告でも、事故の原因究明が十分には行われていない。加えて、福島原発事故を教訓とした新たな規制が定められたわけでもない。 このような原発事故の再発を防ぐ事は出来ない状況下で原発の運転を再開するのはもってのほかである。 (3)核のゴミを次の世代に押し付けてはならない。 使用済み核燃料は、再処理をするにしても直接処分をするにしても、何万年もの間、管理しなければならない。原発の稼働期間は40年に過ぎず、そのわずか40年のために、何万年にも及ぶツケを、次世代に残してはならない。放射性廃棄物をこれ以上作り続ける事は、許されない事である。
31525	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発はいますぐゼロにするべき。	東京電力福島第一原子力発電所の事故で、多くの人々が住みなれた家や田んぼ、畑、手をかけてきた家畜たちを失いました。 このまま原子力発電に頼る生活を続けていけば、さらに多くの人が福島の人々と同じようなつらい目にあう可能性があります。 女川原発の近くに住む自分にとっても他人事ではありません。 子どもたちに、きれいな空と海、そして大地を残すために、私たちにできることは、原発依存から脱却して、クリーンなエネルギーで新しい日本の未来を作ることです。 2030年といわず、即時の原発廃止を要望します。
31526	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発依存度は0%にすべきだと考えます。 将来の姿として、リスクの大きな発電方式を選択し続ける意味はないと思います。 速やかに再生可能エネルギー等へのシフトを目指すべきです。	原発依存度は0%にすべきだと考えます。 現在の技術で御しきれないエネルギーを、いま使う理由がないと思います。十分に制御、無害化できるまで科学技術の進歩を待つのが当然かと。 何かが起こる可能性が仮にほんのわずかでも、それが起こったときの社会への影響の大きさを考えると、そしてそれが我々の世代だけでなく後の世代にまで引き続き蓄積されていくものだとすれば、そのようなリスクは享受している便益を捨ててでも回避すべきものだと考えます。 将来の姿として、リスクの大きな発電方式を選択し続ける意味はないと思います。 速やかに再生可能エネルギーへのシフトと、そもそもエネルギー大量消費型の社会からの移行を目指すべきです。
31527	個人	自営業	30代	男性	原発は即時にすべてを廃炉に	原発は即時にすべてを廃炉にしなさい。 忘れているようだが、 あなた方はただの公僕だ、国民の意に従いなさい。 あなた方の個人個人が責任のとり様がないものを、 子や孫のひとりひとりに押し付ける権利など、誰も有していない。 ましてや、偉そうに語る資格などあなた方にないのです。 詫びなさい、そして即刻全廃しなさい。
31528	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発温存（比率15%程度を目指す）を支持します。	原発について、きちんとした危険性の評価や安全対策はすべきです。特に、「地震や津波等では電源喪失しない」ような対策は最優先で必要だと感じます。きちんとした基準を決めた上で、危険性の高い原発は廃炉する決断も必要でしょう。 しかし、「とにかく原発はすぐにゼロにしなければいけない」という反原発派の主張が必ずしも正しいとは思いません。今後のエネルギー政策として、地熱発電等の研究開発を進める一方で、原発についても選択肢としては残し、多様な発電ポートフォリオを構築しておくのが日本の国益にかなうと感じます。

31529	個人	学生	20代	男性	原爆施設は廃止するべき	今回の原発事故の被害にあった人たちは尋常じゃない苦しみを受けた それなのにまたその原発を再稼働させることが国の礼儀なのか 疑問でしかない 再稼働する理由はなんですか それに別の対策はうてないのですか、考えないのですか 人間では制御しきれない、必ず多くの人を殺す可能性を持つその力を使っていないと、我々は本当に生きていけないのですか
31530	個人	自営業	40代	女性	一刻も早く、原発から撤退してください。再稼働もやめてください。	小さい子どもを育てる母親として、311以降の福島原発の事故は、関東に住む私たちにも大きな影響を与えました。福島ではなおさらのことです。そして、福島の人たちは、母子避難した人たちは家族がバラバラ、避難していない人も家から出られない、外遊びもさせられない、地元でとれた農作物も子どもには食べさせられない、除染も進まない、子どもの甲状腺に異常が見つかるなど、未来に不安を抱かずにはいられない状態です。関東ですらも、千葉や茨城産の農作物や海産物から、まるであたりまえのようにセシウムが検出され、基準値以下だから安全だと上からも押し付けられ、まだデータもなく病気にならないかどうかは証明もされていないのに、子どもへの内部被曝対策をされるどころか、完全に経済優先で、親の心配などお無視の行政、政治のあり方がなされています。そして、次々に明らかにされる東京電力の原発運営にかんする杜撰さ、情報公開も都合の悪い部分はみな隠す。こんな状態で、電力を原発に依存し、東京電力に託していていいのでしょうか？　子どもを安全に安心して育てるためにも、関東から移住したい母子も増えていますし、海外移住も視野に入れている人たちが増えています。一刻も早く、原発依存を辞め、活断層がある地質学者も指摘している大飯原発の再稼働も止めてください。自分たちに都合がいい事実だけで、ことを進めることもいい加減にしてほしいと、強く願います。
31531	個人	その他	50代	男性	原発は0%にすべきである。それと同時に地球温暖化対策も進めるべきである。	原発は現時点の人類がコントロールできるものではない。それが福島で明らかになった。人類の未来を保証するためにはすべての原発を止めるべきである。なお、このパブリックコメントでは、ゼロシナリオを選択することは2020年の温室効果ガス排出削減数値目標は0%とされている。このような選択肢をつくること自体、大問題である。政府が今回の原発事故にきちんと向き合っていない証拠である。猛省を求めるものである。原発ゼロと地球温暖化対策は両立することは現時点での研究成果からも明らかである。この観点で取り組まなければ日本はやがて世界の孤児となるであろう。
31532	個人	家事専業	20代	女性	原発を使うのはデメリットが多すぎる。今後同じような事故や被害が出ることは許されないと思う。100パーセントの安全などあり得ないのだから、原発はなくすべきだ。	地震の多い日本にそもそも原発は合わない。その結果3．11の時のような事態が起きてしまった。 同じような過ちが起きることは絶対に許されない。多少効率が悪く不便でも、 別のエネルギー源を使うべきだ。そういった方法があることはたくさん報道されているので国民も知っている。 現に今、原発がほとんど止まっていても問題が起きていない。再稼動の必要性がわからない。 私はこれまで、デモや反対運動をやっても意味がないと思って、みているだけだった。それは国に対して信頼がなく、どうせ国民の声など無視されると思うからだ。同じように感じてる人は多いと思う。 もし聞く耳があるなら、選挙のように国民投票を行ってほしい。メリットとデメリットを知った上で国民も必要と感じているなら、再稼動していいのではないかと思う。 これから生まれてくる子供たちに安全で不安のない日本を造ずことは、理想ではなく義務だと思う。
31533	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	コジェネ電源構成比15%を実現するため、その普及を加速させる具体的施策が必要であるとともにすべての選択肢において天然ガスシフトを明確に織り込むべき	・エネルギーシステム改革のなかで分散型エネルギーについて極めて重要な役割を担うとの視点でとりまとめが行われ、3つの選択肢のすべてにおいて、コジェネを発電電力量の15%に拡大すること。家庭用燃料電池を全世帯の1割にあたる530万台普及させることが明記されていることは大いに評価できる。家庭用燃料電池も含めて需要家先での高額な導入費用などによりコジェネの導入が進みにくい現状を踏まえれば、上記の高い導入目標に対応してコジェネの普及と技術開発への支援策のさらなる拡充とともにコジェネ廃熱の利用・融通も含めた分散型エネルギーシステム普及促進のための法整備、規制緩和など、その普及を加速させる具体的施策が必要である。 ・天然ガスは化石燃料のなかで最もクリーンであり、シェールガスなど新たな供給源の立ち上がりにより可採年数が大幅に増加しており、かつ世界に広く分散して賦存することから、エネルギーの選択肢along当たって重要となる視点として、エネルギーの安全保障の強化、地球温暖化問題解決への貢献、コスト抑制等の課題に対応して、コジェネ電源構成比15%の実現するための方策として、すべての選択肢において天然ガスシフトを明確に織り込むべきである。
31534	個人	会社員・公務員	30代	女性	●なるべく速やかに原発をゼロにしてほしい ●もんじゅを廃炉にしてほしい	今まで電気は使いたい時に使えて限りないものだと思ってました。 しかし、福島第一原発の事故でいろんな事を知りました。 わたしは安全なきれいな電気を選びたいです。 今までの電気のありがたさは身に染みてます。 今までありがとう。これからは慎ましく大事に使います。 だから、あんなに恐ろしいものは廃炉にしてほしいです。 日本の豊かなものが一瞬にしてなくなります。 原爆と変わらないと思います。 安全て信じられません? お願いします、未来豊かな日本のために政府の方々に考えて頂きたいです。 もう経済成長など、目先の豊かさではないとわたしたちは気づいてます。 この声が届くように祈ります。 よろしくお願いします。
31535	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシナリオを選択する。 　ただし、原発をゼロとする時期については、即時とするべきである。	核のゴミを次の世代に押し付けてはならない。 　使用済み核燃料は、再処理をするにしても直接処分をするにしても、何万年もの間、管理しなければならない。原発の稼働期間は40年に過ぎず、そのわずか40年のために、何万年にも及ぶツケを、次世代に残してはならない。放射性廃棄物をこれ以上作り続ける事は、許されない事である。 チェルノブイリが今だに修復出来てないのがいい例である。
31536	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	30年後に向けてのエネルギー政策は、原発ゼロに向けて進めるべきである。 日本は広島の原爆と、福島の原発事故を世界で唯一経験している国で、この経験を生かし全世界に発信すべきである。	福島原発4号炉の使用済み燃料1200本の処理さえ見えない中、また災害が起こりストロンチュウムなどが大気中に拡散した時点で日本の国土及び国民の大多数がが致命的打撃を受ける可能性が大きい。原子力技術の継承は現在の課題を解決するため必要と考えるが、30年後に向けては自然エネルギー発電やガスタービン発電に向けて日本が一丸となって技術開発を進め、安心安全な日本を築いていくべきである。 　また、現在の原子力産業も自然エネルギーに転換することで、新たな産業として再生して行くと確信する。この方針が国で示される事で国民は未来に向けて安心して、前向きに取り組んでいく決意が生まれると考える。
31537	個人	パート・アルバイト	60代	女性	今すぐ原発ゼロに！	どう考えても人類がコントロールできない原発は、すぐに廃止すべきです。 経済よりも安全性を優先。 福島の悲惨な事故を教訓にして、もっと人は謙虚になりましょう。 後の世のためにも、今が変われるチャンスです。 国民の意見を無視しないで、政治の力を示してください。 このままでは、益々政治への絶望感がひろがるばかりです。
31538	個人	無職	50代	女性	安全な水、空気。生物としての人間が生きるために不可欠なものを犠牲にしてまで便利な生活を享受する社会は本末転倒だと思います。	原発ゼロ、の選択肢を支持します。 「原発が安全」というプロパガンダを鵜呑みにしてきた私たちですが、昨年のような天災に対して全く無防備でなす術がないことを目の当りにしました。 今も放射能は放出されています。 私たちは今生では、きれいな水、きれいな空気、安全な食べ物、と出会うことはもうないでしょう。 これからイノチを受け継いでいく子供たちに対して、申し訳ない気持ちです。 エネルギーを大量消費して、便利さを維持していく社会より、せめて今後は原発の事故による新たな被害を受けることのない社会を次の世代に残すことが私たちの世代にできる唯一の罪滅ぼしだと思います。
31539	個人	学生	10代以下	男性	1・ゼロシナリオ	原発は危険だと思う。放射性物質がある日本で不安な気持ちで暮らすのは嫌なので、原発はなくしてほしい。
31540	個人	家事専業	40代	女性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 即刻、なるべく早い時期のシナリオゼロ案を願います。	子どもたちの未来のために これ以上、核のゴミを増やしてはいけない。 後始末のできないことから目を反らしてはいけない。 むずかしいことは分からないけれど こんな単純な想いが今の日本には必要なのではないでしょうか。
31541	個人	パート・アルバイ	30代	男性	0%にすべし	人が制御できないものを動かしてはならない。即刻全ての原発を廃止するべき。
31542	個人	自営業	40代	男性	エネルギー政策に於いては、原子力からの完全脱却を目指すべきであり、その補完には天然ガス等を中心とした火力や地熱・海上風力の積極開発を中軸にすべき。その上で、資源確保のために日露関係の改善が急務である。	昨年3月11日に起こった東日本大震災とその後の福島第一原発のメルトダウン事故は、広い範囲を居住不可能にするなど、未だ甚大な被害を拡大させている。 90～00年代に於いて、地球温暖化が喧伝され、その対策として原子力しか無いという「空気」が醸成され、その他のエネルギ開発が非常におざなりにされてきた事が否めず、また、原発を管理する電力会社が過度の利益市場主義に邁進しており、それらの必然的な結果として福島第一原発の事故があったものと私は考える。 その上で、これ以上の国土と水産・農産資源の損失を抑えるには、原子力からの全面撤退と廃炉等への資源集中に方針転換する必要性が非常に大きくなっている。 原子力の代換としては、太陽光がよく言われるが、安定性や専有面積に問題があると同時にシステムの本質的な問題から、太陽光は特に都市部のビルディングや工場等でピーク需要時の電力需要を緩和する役割を重視すべきであろう。 有望なのは洋上風力と地熱であるが、これらは都市部への建設が容易ではないので、送電ロスが大きく、これらに過度に依存することは得策ではない。 現在最も有望な「原子力代換発電手段」は、原子力の二倍以上の熱効率を達成しているガスタービンや石炭ガス化発電であり、この部門への大きな国家補助が最重要課題であると考える。 用地確保や機材調達への法的補助・扶助、原子力発電所の国への移管・電力会社の持つ原子力関連債務の切り離しが具体的政策の骨子として上げることが出来ると思う。 石炭に関しては国内炭田・炭鉱の復旧とオーストラリアなどの主要産出国との良好な外交関係の維持が鍵になる。 また、天然ガスに関してはその主要産出国であるロシアとの友好関係・協力関係が最重要課題になるであろう。既に、サハリンガス田の開発案件やパイプライン建設計画が動いてはいるものの、不安定な日露関係の煽りを受けて進捗が微々たるものになっている。 また、パイプラインに関しては日本との関係が良好とは言い難い韓国・北朝鮮を経由する南ルートではなく、北海道を経由する北ルートを優先的に開通させられるような外交努力も必要になる。 どちらにせよ、原子力発電からの脱却は現状の日本を見ると不可避であり、迅速かつ国家の総力を挙げたオールジャパン体制での資源政策の転換が不可避になると考える。
31543	個人	その他	30代	女性	原発ゼロシナリオを選びます。一日も早い全原発の廃止を望みます。	自然エネルギーへの転換を考えてください。 あんような事故を目の当たりにしてもなお推進していく意図がわかりません。 国民の意見を聞かずに進めることがどういう将来を生むのかよくお考えいただきたいと思います。
31544	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	エネルギー政策は安全性を確保の上、国民生活や産業・経済基盤向上を支える枢要である。現下の経済危機回避と日本再生に向けた政策に整合させ、エネルギー安全保障や温暖化対策と共に改めて総合的に検討すべき。	平成24年8月9日 一般社団法人　電子情報技術産業協会 「エネルギー・環境に関する選択肢」に対する意見 　エネルギーは、国民生活や産業・経済活動の維持向上にとって不可欠な要素であり、エネルギー政策の選択は、わが国の将来像を決するに等しい。また、現下の厳しい経済状況やエネルギー需給問題の解決がなければ産業の空洞化や雇用への悪影響は避けられない。しかしながら今般の政府案は、日本のあるべき姿を明確化せずにエネルギー政策の各論のみが示され、内容の検討に必要な情報も十分に提供されてはいない。したがって、以下に指摘する点を考慮し、改めて国民に総合的な検討を求め、政府として責任ある政策を示すべきである。 【シナリオに対する意見】 1.我が国のあるべき将来像の再構築をした上で、エネルギー政策を提示すべき ・エネルギーは国民生活や産業・経済活動を支える基盤であり、一国のビジョンの枢要となる。まず日本が目指す将来像を示したうえで、その実現に向けたシナリオとしてのエネルギー政策案を示すべきである。 ・国民の安全確保、生活の充実、経済基盤の安定は相互に密接な関係にあり、我が国の将来像の再構築において、いずれの観点も欠かすことができない。 ・政策は、導入後も検証を実施し、適宜見直しをはかるべきである。 2.国民的議論に必要な情報が不足 ・導入を想定する施策については、投資対効果、費用負担方法、新技術の開発動向等の情報を、まず直近のエネルギー安定供給策を示した上で2030年以降についても示し、2030年の一断面のみならず一連の流れの中でその必要性や実現可能性の評価を求めるべきである。 ・さらに、国民がそれらを容認可能か適切に判断できるよう、施策が及ぼす経済影響については、局所的ではなく波及効果を含めて包括的に提示すべきである。 3.エネルギー／温暖化対策の在り方に疑問 ・エネルギーはあらゆる活動で不可欠であり、その政策には「安全性の確保」とともに「安定供給」「環境への適合」「経済合理性」の観点が必須である。 ・エネルギーの供給形態を大きく変えようとするに際し、従前のCO2削減方針に固執して国民に過度の負担を強いるは本末転倒も甚だしい。わが国の技術力を活かした地球全体の温暖化抑止方策を見いだし、また国際社会に正しく理解を促し国際公約に反映すべきである。 ・当業界は、エネルギー・環境問題の根本的な解決に向け、今後も全力で技術開発とその普及に貢献を果たしていく所存である。その具現化に必須となる企業活力、国際競争力、革新技術開発の強化・促進に向けた適切な政策に期待する。 以　上

31545	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発は、事故が起こった場合の人的経済的リスクが高すぎ、放射性廃棄物の処理方法がない現状では将来へ問題の先送りでしかない。原発を速やかに停止し、次世代エネルギーへのシフトを国が強力にすすめる必要がある。	0シナリオを支持する。 1　大規模災害等事故が起こった場合の人的及び経済的リスクが高すぎる。 2　放射性廃棄物の処理方法がないままの原発の稼働は、近い将来への問題の先送りでしかない。 3　次世代エネルギーへのシフトを国で強力に進めていくべき。 1について 福島の原発事故を受けて更なる事故対策を行っているとしても、「安全神話」の崩壊が物語るように、いつなんどきでも安全に絶対はない。万が一事故が起こった場合に取り返しのつかないことはやめるべきである。そもそも、日本は地震が多いところであり、先の東日本大震災のように想定以上の地震、津波が今後起きないという保証はない。また、天災だけでなく、人為的なミスが起こる可能性もOではない。 原発の歴史、50年余りの間に、スリーマイル島、チェルノブイリ、福島と3度も起きているのである。 古い原子炉から順次廃炉していけばよい、というのではなく、できるだけ早期に停止すべきである。 事故による人的リスク、健康被害はまだ公にはなっていないが、低線量の被曝でも人体に影響を全く及ぼさないものなのか、分かっていないことが多いのではないだろうか。今後何年にもわたって経過をみなければならないだろう。 また、すべての土地を除染できるわけではないはずだし、除染したところで放射能が消えるわけではなく、放射性廃棄物が増えるだけ、そして廃棄物の処理方法は後段に述べるように実質はないのである。 「多くの土地が人体に影響がないレベルの放射線レベルである」「今回の事故で直接放射線で人が病気になったり亡くなったりした事例はない」と仮にいったとしても、原発には、即死レベルの放射性物質が多くあるのはまぎれもない事実である。そんな危険なものと隣り合わせに生きていくことはあまりにリスクが高いのではないか。 そして、福島の原発は事故処理が終わっているわけではなく、これから少なくとも何十年とかかるのは間違いない。使用分、未使用分すべての核燃料を安全にとりだすまでどれくらいの時間と費用がかかるのかを考えると、ほかの発電方法に比べると事故による経済的リスクは低くはない、むしろ高くなってしまうのではないだろうか。 2について 核廃棄物の処理技術はいまだ確立していない。日本が推進する核燃料リサイクルは、六ヶ所再処理工場、高速増殖炉もんじゅの稼働にめどがたっていない今、完全に破たんしている。そもそも、再処理工場の建設費当初7800億円だったものが、2兆1900億円まで膨らんでいるのに、まだ稼働できていないというのは、実現不可能ではないのか。 プルサーマル発電にしても、プルトニウムを抽出した残りの高レベル放射性廃棄物が増えだけである。 核燃料リサイクルが実現していない現状では、とりあえず使用済核燃料を保管し続けているだけの状態である。そして、原発を稼働させることで、使用済核燃料が年間約1000トン出てくるが、全国の使用済核燃料プールの余裕は7年弱しかなく、現在計画されている中間貯蔵施設についても、5000トンの一施設だけと聞いている。原発を動かし続けて、この大量の「核のゴミ」を一体どう処理しているというのだろうか。 また、直接処理をするにしても、地震が多い日本国内に地層処分する施設を作れるのかという問題がある。もっとも、すべての放射性廃棄物が無害化するには、10年20年の話ではなく、何万年とかかるのに、地中に埋めて何十世代にもわたって管理するなどまったく非現実的である。 そのような点から、選択肢の15および20～25シナリオでの、「再処理、直接処分がありうる」という前提そのものに問題がある。そもそも、シナリオ全体において、「廃棄物の問題はさておき、電力構成を選べ」というような形になっているが、この問題を検討しないことはあり得ない。 もっとも、0シナリオにしても、現在ある放射性廃棄物やこれから廃炉にする上で生じる分はあるが、原発を動かしている限りより多くの放射性廃棄物が出続けることになる。せめて原発を稼働させない、ということしか選びようがないのではないだろうか。 3について 選択肢の説明では、0シナリオをとるには経済的負担が大きく、経済成長を害することや、次世代エネルギーへのシフトには莫大な費用がかかることばかり強調されており、次世代エネルギーへのシフトがさも難しいものであるかのように見える。しかし、核燃料リサイクルや放射性廃棄物の処理技術の実用化と、光、風力、水力、地熱などの次世代エネルギーが化石、原子力にかわるものになるまで技術革新が進むのと、どちらが費用がかからず早くできるのかについては分からないのではないか。 そもそも国は、原発を国策として莫大な費用負担して技術開発を行ってきているはずである。その財政負担を次世代エネルギーの効率化、実用化、普及に振り向け、研究機関や民間への研究開発、発電施設、設備の補助を行うべきである。 とりあえず、次世代エネルギーが本格的に普及するまでの間は、天然ガス、化石燃料等で代替するよりほかにないだろう。 次世代エネルギーが世界の潮流になるころに、日本の技術力がその要となるような時代を目指すべきである。
31546	個人	自営業	30代	男性	この選択肢では不十分で、更なる議論が必要。自律分散型エネルギーは経済成長・国防に寄与します。省エネ目標は企業と家庭を分ける。今後の政策には発送電分離、総括原価方式廃止、広告宣伝活動禁止を盛り込む。	現在、太陽活動と連動して地球の地震活動が活発な時期に入っており、これ以上原発事故による国土的・生物的な打撃やリスク、経済活動の停滞を避けるには、原発の即時廃炉が必要です。よって、選択肢の中では「2030年度に0%」のみが唯一選択可能な選択としますが、このパブリックコメントで示されている選択肢とその内容では不十分で、2030年度の自然エネルギー比率が低すぎる為、選択の枠にとらわれず、更なる議論が必要だと思われます。 また、日本には既に多くの再生可能エネルギー技術が存在し海外に輸出している他、現在も新たに省コスト・高効率な技術開発が進んでおり、経済成長に貢献するのみならず、自律分散型の再生可能エネルギーの普及を促進すれば、国防や防災にも大きく寄与します。 省エネに関しては、企業活動と一般家庭の削減目標率を一緒くたにするのではなく、大きく削減できる可能性のある企業活動を中心に削減率を弾力的に示すべきです。すでに一般家庭においては家電製品も10年前と比較して大幅な省エネ率を達成している為、その多くが限界に近いところで節電・省エネの取り組みを行っているものと思われます。 こうした再生可能エネルギーを促進するには、まず第一に発送電を分離し送電線に自由に接続可能にする仕組みづくりを行う事、第二にデマンドサイドのマネジメントを実施する事が必要です。また、普及を妨げる要因となっている、電力九社のコスト増＝収益増となる総括原価方式の廃止、更に、電力会社が政府のみならず、企業活動、市民の活発な議論を妨げている広告宣伝活動を禁止する必要があります。
31547	個人	家事専業	30代	女性	原発0へ！自然エネルギーへ！	原発を、無くして下さい！日本は、こんなにも小さな島国なのに、原発が多すぎます。 もっと省エネルギーで生きていく方法を選択し、全てを自然エネルギーで賄うことは、絶対可能です！ いまこそ、日本は変わるべき時だとたくさんの日本人が気づいています。 今、子供を持つ親は、何を食べさせればいいのか、どこで遊ばせればいいのかさえ、よく考えなければならず、あらゆる情報に惑わされながら、 たくさんの不安の中で子育てをしています。 未来ある 子供達が、安心して暮らせる国にして下さい。
31548	個人	会社員・公務員	50代	男性	「ゼロシナリオ」脱原発の計画	柏崎刈羽原発から自宅が30キロ圏内にあります。福島原発事故と同じようなことがあれば、自宅があっても住むことができません。私たちの命、生活を守るには「ゼロシナリオ」しかありません。
31549	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発ゼロシナリオを望みます。 そして、2030年にゼロであることを前提として、可能な限り早急にゼロにする。できれば、現在止まっている原発を再稼動せずにしてほしいと思います。	福島の事故は、未曾有の被害を日本にもたらしました。また、もし格納容器が壊れたりしたら、首都圏3000万人が避難しなければならなかったのです。原発が稼動すれば、今回の福島の事故やそれ以上の事故が起きる可能性が常にあり、万が一そのような事故が起きれば、日本は立ち直れなくなってしまうと思います。 原発をなくし、再生可能エネルギー等のエネルギーで電気をまかなえる体制を早急につくるべきです。 核燃料サイクル政策をやめ、六ヶ所の再処理工場や高速増殖炉もんじゅも廃止してください。
31550	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発依存率0%！！！	正直国民にパブリックコメントを求めること自体、政府のパフォーマンスに 思えてしかたありません。 国民の声を正確にアウトプットするか信用できませんが、それでも将来の 子供たちのためにメールをします。 原発依存のエネルギー政策は反対です！ 処理できない物を使うことの危険や怖さ、そしてリスクを充分実感できたので ないでしょうか。 広島の原爆、そして原発事故を経験した日本が、まだ原子力に 頼ろうとしていることはなぜなのですか？ 原発によって誰が儲をしているか、誰のための原発なのか？ 原発やむを得ずと言っている人たちの多くは、原発に直接かかわっている のではないですか？ 原発に使うお金を、もっと別のエネルギー政策に使えば原発に依存しない国に なるのではないでしょうか。 原発で苦しんだ日本が、これ以上原発に依存するのは絶対に反対です！ 日本を守ってください！！！
31551	個人	自営業	40代	女性	シナリオゼロにすべきです。2030年までにではなく、ただちにすべての原発をとめることを強く要望します。また新たな原発施設の立ちあげも絶対にやめてください。送電線の分離もただちに行うこと。	日本の四季豊かな自然や風景を思い出してください。ちいさな島国でありながら、これほど資源豊かな国は珍しいのではないでしょうか？ 原発は原爆と同じです。 原爆の被害にあった世界唯一の被爆国です。それなのに、私達はなんと軽はずみに原発に依存してしまったのでしょう。 敗戦から立上ってきた国がすこしぐらいのエネルギーの不足ぐらい、国民総出でがんばれば、なんということなく乗り越えられます。 国民の代表である貴方達は、日本という国をなくそうとされてるのですか？ また本当はエネルギーが足りることは、政府が思っていらっしゃる以上に国民は知っていますよ。うそやまやかしも透けてみえていますよ。 原発事故の責任を一切とらないどころか、情報を隠し、情報を操作し事故当時のこともあきらかにしない東電及び他の電力会社。普通の企業なら倒産ですね。 なぜ守る必要があるのですか？ いったいだれのために政治をおこなっているのですか？ 原発にかかる費用で充分　代替エネルギー移行する費用が捻出されることも政府が思っている以上　国民は知ってますよ。 送電線を分離して、地域で好きなようにエネルギーをまかなってもらう。そうすれば、雇用もうまれるし自分達で構築したエネルギーなので市民が自主的に管理運営していきます。税収としての新しい産業がまちがいなく生まれます。 なにより核廃棄物の処理方法も決まっていない、3.11の瓦礫さえ処分の方法も決まっていない中で、再稼動するというのは、頭の賢い人が行うこととは思えませんね。アホのわたしでもわかりますよ。核廃棄物を決めてから原発使いますか？使いませんか？と質問してください。 私達は確かに大量に消費できるエネルギーの恩恵を受けてきました。しかし、止める勇気を一緒に持たせてください。一緒に国創りに国民も関わらせてください。 どうか私たちも願いを聞き入れてください。大好きな日本に住み続けるために。
31552	個人	家事専業	20代	女性	脱原発！原発はいらない！	原発0?
31553	個人	その他	30代	女性	人間は原発のようなすごい技術を要するシステムを構築できるのだから、クリーンエネルギーに切り替える能力だって当然あると思います。 再稼働全面反対。2030年には原発依存0%を希望します。	どう処理していいかわからない、誰の手にもおえないような核のゴミをどんどん作ってしまうようなシステムは、どう考えてもおかしい。 他に代用できる方法があるのに、それを模索しないのはおかしい。 経済は人間のためにあるものであって、経済のために人間の生活、地球の環境がおびやかされるような方法は絶対にとるべきではない。 そのような経済発展の上に人間の幸せはない、と私は思います。
31554	個人	パート・アルバイト	40代	女性	脱原発	事故後1年も過ぎているのに対応が後手に回って それなのに、原発を稼働させる事自体おかしい?
31555	個人	家事専業	40代	女性	2030年の電力に占める原発の割合を「0%」にし、これまで以上に自然エネルギーの開発・促進に力を注ぐべきだと思います。	使用済み核燃料の最終処分方法が見つからない状況で、原発の稼働を続ける わけにはいかない。 いったん深刻事故が発生すればその影響は半径200kmに及び、多くの人々の暮らしが失われ、国力を疲弊させ、国土の荒廃を招くから。
31556	個人	家事専業	50代	女性	原発を使い続けてでるごみの処理法もみつからず、福島の被爆者が故郷に帰ることもできない現状、これ以上原発を進めることは全く不可能。	人間のカで処理できないものをこれからも作り続け、使い続けていく政府。 脱原発には莫大な費用がかかります。こんな無駄なものを作ってしまった罪はこれから生きていくための未来の人間たちに少しでも減らしていかなくてはなりません。真摯に脱原発を求めればもっとたくさんの有効な知恵が出て新たな職務も増え、社会も発展できる筈。これだけ難しいことをやってきたのだから、これからの困難も健全な未来に向かって解決していかなければいけない。 人間の手に負えないものを作り続けながら言い訳をしながら自らの富を追い続ける政府に断固反対します。
31557	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発事故による国民の健康への影響と使用済み核燃料の処分ができない現状では原発を動かすことには絶対反対です。「ゼロシナリオ」によって原発以外の電力確保を目指すべきです。	福島原発事故の悲惨な状況や今後の廃炉への手順・年数や費用を考えれば、事故が起きる前に日本国内すべての原発を廃止するべきだと思います。また、使用済み核燃料の処分もできない現状ではこれ以上増やすべきではありません。 直ちに原発をゼロにするよう求めます。代替えによる風力・水力・太陽光・地熱などを利用した自然エネルギーによる発電を目指していただきたい。 子どもたちの将来に不安がないようお願いします。
31558	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発は0にすべき。 すべて廃炉にし、すぐに無くすべき。 原発再稼働は、ありえない。	福島では、原発事故の影響で多くの方々が現在も避難生活を余儀なくされています。また多くの子供を持つ多くの親が、現在も放射能汚染と癌などの病気になることを日々恐れています。 全く事故が収束せず、具体的な事故処理の方法や放射能廃棄物の処理方法が確立していない、またチェルノブイリでの避難権利区域に相当する地域が数多く存在する福島県民への賠償や支援策、子供への健康調査が十分でない中、再稼働に走るとは言語道断である。
31559	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオを選びます	ゼロシナリオを選びます。 自然エネルギーを推進し、 地域分散型のエネルギー供給を進め、 企業の電力消費ピークを分散させるよう料金体系や法整備をすることで 前倒しで原発ゼロを達成するよう求めます。
31560	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発ゼロシナリオを選択する。 ただし、原発をゼロとする時期については、即時とするべきである。	(1)事故リスクが大きすぎる。 福島第一原発の事故により、今もなお16万人が2011年3月10日まで暮らしていた地域に戻れないでいる。福島第一原発がまき散らした放射能は東日本全域に及び、河川や湖沼、太平洋までも汚染している。大気中に放出された放射能は、地球を何度も回って世界を汚染している。 食品は放射能で汚染され、日本列島に暮らす市民は、その汚染された食品をやむなく摂取すべき状況に追い込まれている。また生産者は自ら生産した生産物が忌避されるという事態にさらされている。漁業者の中には、未だ漁業を再開出来ない方も多い。 原発の事故は、事故が起こったら取り返しがつかず、誰も責任を取れない類の事故である。 (2)福島第一原発の事故の原因が究明されていない。 国会事故調査委員会の報告書は、「福島原発事故は終わっていない」としている。政府の事故調査・検証委員会の最終報告でも、事故の原因究明が十分には行われていない。加えて、福島原発事故を教訓とした新たな規制が定められたわけでもない。 このような原発事故の再発を防ぐ事は出来ない状況下で原発の運転を再開するのはもってのほかである。 (3)核のゴミを次の世代に押し付けてはならない。 使用済み核燃料は、再処理をするにしても直接処分をするにしても、何万年もの間、管理しなければならない。原発の稼働期間は40年に過ぎず、そのわずか40年のために、何万年にも及ぶツケを、次世代に残してはならない。放射性廃棄物をこれ以上作り続ける事は、許されない事である。

31561	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発不要。	安全な社会、未来を求めます。
31562	個人	家事専業	30代	女性	原発不要	安全な社会、未来を求めます。
31563	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発を0%にすべきです。現在稼動している原発、再稼動する原発が今後何らかの理由で事故を起こしたとき、誰が、どう責任を取るのか。今の対応をみると不安でいっぱいです。	事故はあり得ないといっていた原発がこのような事故を起こし、地震、津波がかなからず影響しているとはいえ、大きくは人的災害だと思います。政府、東京電力のこの間の対応をみると時間ばかりが経過し何も手当てがされていないように思います。放射能は目に見えないのでより恐怖であり、しかも自分の子供たち、その先の子供たちにも大きく影響していきます。今自分ができることは少しでも安心、安全な世の中にしていくことです。危険な原発に頼るのではなく、再生可能エネルギーの追求、具体的行動をしていくことだと思います。原発0%、これしか考えられません。
31564	個人	パート・アルバイト	60代	女性	原発依存即時ゼロを強く希望します。	原子力は、ウラン鉱山の段階から膨大な放射性のゴミを生み、使用済みの核燃料は、無害化する技術を持たないままです。 私遠の大切な子どもや孫、その後にずっと続く大切な未来の人類に、悲惨な負の遺産を残すことは、認める事ができません。 また現場の労働者の被曝の問題や一度事故が起きた時の、地元の悲惨さを思う時、だれかが泣かなければ、成り立たない電気はいりません。原発が核兵器と密接に関係する事もわかりました。平和を希望し、だれかが泣かなければ成り立たない世の中の仕組みは、希望しません。
31565	個人	家事専業	30代	女性	全原発を即座に廃炉にする。 政府は原発を無くすための方向性を出すべき。	全原発を即座に廃炉にする。経済界からの反発があるので、「即座に」ということには無理があるだろう。 だから、その妥協点を政府が探って、5年なのか10年なのかは分からないけど、原発を無くすための時間軸をはっきりさせて、国民にはっきりと示してほしい。 国民投票ではなく、選挙でこの問題を問うというのは大きな間違いだと考えます。
31566	個人	会社員・公務員	50代	女性	0%にすべきです。福島の原発事故後の現状を見ると、原発再稼動はありえません。絶対安全はないのですから、後始末のできないものをこのまま持ち続け、動かし続けることには納得できません。	原発が「クリーン」で「安全」で「低コスト」ではないことが明らかになった今、原発にこだわり続けるのはなぜなのでしょうか。 何よりも大切なのは「いのち」です。また、住みたい場所に住み、食べたいものを食べ、外の空気を思いっきりすって、太陽の光をあびて、健康に暮らしたいと願うのは贅沢なことですか。ごくごく当たり前のことだと思いますが、それがかなわなくなった多くの人々、子供たちのことを思うと原発は人を幸せにはしないことは明らかです。まして地震大国日本のあちこちに原発が存在することじゃないとてつもなく恐ろしいと感じます。 政治が、国民の方を向いていないと感じるのは私だけではないと思います。政府は、国民が健康で幸せに暮らしていることを1番の目標に仕事をしていただきたい。 原発に多額の費用をかけるのではなく、太陽光発電等の普及にもっと力を注ぐべきです。 今回の原発事故で被害を受けた方々への賠償や、将来にわたっての健康管理について、被災地の復興について本腰を入れて取り組んでいただきたい。 健康被害は、全国に広がっていると思います。半年ほど福島原発に出稼ぎに行っていた人は、説明会で「あなた方は将来がんになります」といわれたそうです。
31567	個人	自営業	30代	女性	原発には絶対反対です。自然エネルギーへのシフトを希望します。	原発事故、地震があるまで国民はあまり原発を理解していませんでした。 でもこのような危機がある中、もうこれ以上原発に頼って生活して行く事を願っている人はいません。 加えて、東電と政府の隠蔽の数々にもう信頼していません。 どうか、国民の声を聞いて下さい。 安全なエネルギーで生活していきたいと皆思っています。 どうか、政治的な理由で是が非でも東電を守るのはもうやめて下さい。 節電、皆頑張っています。 身を守ろうと私財を投げ打って移住した若い家族を想って下さい。 本当は国のサポートで移住すべき若い家族達が、仕事や生活のリスクを負ってまで避難しています。 安心して暮らせる日本にする為に自然エネルギーを推進して下さい。 お願いします。 心よりお願いします。
31568	個人	パート・アルバイト	60代	女性	今、止まっている原発はそのまま廃炉にし、原発0にする。原発の予算を自然エネルギー開発のために振り向け、早急に自然エネルギーの普及に取り組む。	原発は、事故を起こすと制御するのが難しい。放射能が自然界に放散されると、それを取り除く技術もまだ確率されていない。被害は広範囲に及び、狭い日本では逃げる場所すらないのが現状である。 放射能による健康被害は、すぐには出てこないが、出た場合はその治療方法はない。 そして、なにより心配なのは、使用済核燃料の処分の問題である。トイレなきマンションと称されるように、その処分方法もまだ決まっていない。核物質の半減期は何万年のものもあるので、将来の人々にその負担がかかってくる。 このように、問題だらけの原子力発電はすぐにやめて、廃炉にすべきである。電飾が足りないという声もあるが、今の生活を見直して節電し、自然エネルギーの普及に力を注ぐべきである。
31569	個人	会社員・公務員	20代	男性	現状のエネルギー問題に関して、原子力だけに目を向けさせる報道はやめてほしい。	化石燃料もおそらくあと50年程度で枯渇してしまうと考えられている。現在よりも原子力の割合を減らす一化石燃料の使用量を増やすといった考えでは、電気のほとんど使えない50年後を確実に招いてしまう。 事故について、しっかりと考えていかなければならないが、原子力技術の発展や、より安全な発電所整備などの対策も考えていかないといけないと思う。 そのためには、「マスコミ各社の悪者を作る報道」を作成するディレクターをどうにかしてほしい。
31570	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発ゼロシナリオを選択する。 ただし、原発をゼロとする時期については、即時とするべきである。	(1)事故リスクが大きすぎる。 福島第一原発の事故により、今もなお16万人が2011年3月10日まで暮らしていた地域に戻れないでいる。福島第一原発がまき散らした放射能は東日本全域に及び、河川や湖沼、太平洋までも汚染している。大気中に放出された放射能は、地球を何度も回って世界を汚染している。 食品は放射能で汚染され、日本列島に暮らす市民は、その汚染された食品をやむなく摂取すべき状況に追い込まれている。また生産者は自ら生産した生産物が忌避されるという事態にさらされている。漁業者の中には、未だ漁業を再開出来ない方も多い。 原発の事故は、事故が起こったら取り返しがつかず、誰も責任を取れない類の事故である。 (2)福島第一原発の事故の原因が究明されていない。 国会事故調査委員会の報告書は、「福島原発事故は終わっていない」としている。政府の事故調査・検証委員会の最終報告でも、事故の原因究明が十分には行われていない。加えて、福島原発事故を教訓とした新たな規制が定められたわけでもない。 このような原発事故の再発を防ぐ事は出来ない状況下で原発の運転を再開するのはもってのほかである。 (3)核のゴミを次の世代に押し付けてはならない。 使用済み核燃料は、再処理をするにしても直接処分をするにしても、何万年もの間、管理しなければならない。原発の稼働期間は40年に過ぎず、そのわずか40年のために、何万年にも及ぶツケを、次世代に残してはならない。放射性廃棄物をこれ以上作り続ける事は、許されない事である。
31571	個人	無職	70代	男性	原子力発電はゼロにすべきである。米国の主要な原子力機器メーカーGEのCEO ジェスイメルト氏が「原発が他のエネルギーと比較してコスト的に正当化するのが困難」と発言したと聞く。原子力発電は安くない。	米国の主要な原子力機器メーカーGEのCEOジェスイメルト氏が「原発が他のエネルギーと比較してコスト的に正当化するのが困難」と発言したと聞く。メーカーの主要な経営者自身が原子力の経済性を否定している。 原子力廃棄物の処理する場所が決まっていない。今後どのように処理するのか？できるのか？今回の福島事故による費用がどれほどになるか定かでない。原子力発電がが安いとは言えない。「地球温暖化対策に有効である」とも言えない。事故による環境破壊は地球破壊につながる。。 各発電のコストを比較するとき原子力の場合は原子力廃棄物の処理コスト、地元対策費、事故の場合に住めなくなる国土のコスト、移転を余儀なくされる人々の経済的、心理的コスト(経済的測定には慰謝料の形になろうか)などすべてのコストを含めて計算すべきである。 原子力の場合は経済性だけでなく「多くの人の命を脅かしてよいのか」の倫理的問題もある。
31572	個人	自営業	40代	男性	原発再稼働反対！脱原発の道筋をちゃんと付けて下さい！	これ程までの人が声を上げ、デモに参加してるのに、それから目を反らす、政治家、官僚は屑だと思います。本当に国民をどれだけ舐めればいいのでしょうか？再稼働反対！消費税増税反対！オスプレイ配置反対！それ以前にシロアリ駆除して下さい！それが国民が政権交代に票を投じた理由です。官僚も国民舐め過ぎです。ふざけるな。たいがいにしろよ。
31573	個人	無職	60代	男性	ゼロシナリオを選択すべき。「安全神話」が崩れました。地震国の日本では事故は不可避です。核廃棄物の処分方法も決まっていません。ツけを将来世代に渡わしてはいけません。直ちに原発ゼロをめざしましょう。	1．選択肢への意見 ゼロシナリオを選択すべき。 2．理由 2011年3月11日に起きた東日本大震災とそれにつづく福島第1原発事故を経験することにより、これまでの豊かで便利な暮らしを支えていた仕組みへの信頼が失われました。 多くの日本人の間に、これをきっかけに、便利さと快適さに満ちた暮らしのあり方を見直し、質素でも幸福に満ちた暮らしのあり方を求める機運が高まっています。 原子力発電は便利で快適な暮らしをもたらしてくれましたが、その裏には事故の可能性や放射能汚染、核廃棄物の処理の問題があることが、日本人全体の共通認識となりました。「多重防護により原発事故は絶対に起こらない」としてきた「安全神話」が崩れ去った今、一刻の猶予もなく、原発依存から脱却すべきです。 3．一日も早く原発ゼロを 2030年までにゼロにするなどと悠長なことをいっている暇はありません。東日本大震災級の大地震は今日にも起きるといわれています。地震の巣のような日本列島で、原子力発電は無理です。 ドイツは2022年を目標として脱原発政策を進めています。ドイツと同じペースで進めることは不可能ではありません。 現在稼働中の原発は関西電力の大飯原発3、4号機のみです。これは夏の電力需要期が過ぎたら即刻停止し、稼働中の原発をゼロにすべきです。停止中の原発はそのまま廃炉にする手続に取り掛からねばなりません。 4．原発廃炉庁の創設を 原発事故により、日本の原子力政策に対する市民の信頼は崩壊しました。「原子力村」といわれる利権の複合体がこれまでの原子力政策を牛耳ってきたことが白日の下にさらされました。この利権の複合体を解体することなしには、どんな原子力政策も信頼を得られません。 廃炉までの間、停止中の原子炉を安全に管理し、廃棄物の処理等を行なうには、こうしたプロセスに市民の監視の目を行き届かせることが不可欠です。そのためには、これまで原子力政策を動かしてきた原子力委員会、原子力安全委員会などの各種諮問機関、機関等を全廃しなくてはなりません。その上で、市民の参加と監視のもとに原子力政策を策定し、実施に当たる機関や、原発の廃炉を監視、管理する規制機関を新たに作る必要があります。市民の信頼に基づく原子力規制機関＝原発廃炉庁を創設し、廃炉までの間、原子力政策を実施する場に市民の声を生かす仕組みをつくるべきです。それ以外、一度地に落ちた原子力政策への信頼を取り戻すことはできません。 5．原発のコストへの疑問 これまで原発は他の発電システムに比べてコストが安いといわれてきました。しかし、そこには事故の場合に必要となる処理、補償、現状回復等にかかる費用が考慮されていません。また、電源交付金の負担や運転後に出る核廃棄物の処理費用が算定されていないことが指摘されています。 こうした現実的な費用を計算に入れると、原発は決して安価な電力源ではありません。 6．事故の発生確率 今回のような原発事故が再び起こった場合、日本社会は再起できないほどのダメージを受けます。事故の発生は想定しておかなくてはなりません。「エネルギー・環境に関する選択」においては事故の発生確率の計算が行われていません。 健康への影響、社会への影響、経済への影響を計算し、それぞれのシナリオごとのコストに含めておくべきです。 7．将来世代への負担 原発の運転を続けると、核廃棄物がたまっていきます。現在、日本国内の原発には広島型原爆約90万発分の死の灰が保管されています。これらの処分方法はまだ決まっていません。核廃棄物の処分は将来世代に任せようということでしょうか。だとしたら、将来世代はどれくらいの負担を現世代から押し付けられることになるのでしょうか。この問題の解決を先送りしながら原発を存続することはできません。 8．私たちの負うべき責任 私たちの世代は原発から多くの利益と利便性を享受してきました。原発がもたらす負の遺産は私たちの世代が負わなくてはならないでしょう。 私たちは原発ゼロを主張するからには、経済の構造を大きく転換しなくてはならないこと、場合によっては生活のレベルが低下することを受け入れる覚悟が必要であることを認識しています。 福島原発事故は日本社会だけでなく、世界中に不安と恐怖をまきちらしました。この責任を私たちは負わなくてはなりません。 そのためには、今すぐに、原発をすべて止めることから始めなくてはなりません。 2030年までといわず、今すぐ、全原発の廃止に踏み出しましょう。
31574	個人	自営業	30代	女性	ゼロシナリオ	2030年とはいわず、なるべく速やかに原発はゼロにすべきだとおもいます。生活が不便になったとしてもかけがえのないものを守るほうが大事だからです。 よろしくお願いします。
31575	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオを選びます	原発はゼロにしていくべきです。 目に見えない放射能を一度まき散らされたら、それを完全に防ぐ手段がないのに、そして放射能を摂取してしまったひとの救済すらちゃんとできていない政府なのに、同じことをまた繰り返す可能性をどうして高めようとするのか。 信じられない！ 人間が生み出す放射能は毒です。エネルギー開発するなら、毒にならないものですればいい。わざわざ毒になるものを使わなくても、他にも水力とか風力とか太陽光とかバイオとか、ちゃんと研究してやっていけばどうにかなるものがあります。 繰り返します。 原発はゼロにしていくべきです。
31576	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発依存度の比率は0%がよいと考えます。もっとも大きな理由としては、核燃料サイクルの実現化の目途が立っていない現状、これ以上原発を稼働し続けることは、未来世代への大きな負担の先送りとなるからです。	原発依存度の比率は0%がよいと考えます。理由を以下に記述します。 ・核燃料サイクルが実現化の目途がたっていない。六ヶ所村の再処理工場の稼働の目途が立っていない、再処理工場が稼働したとしても、そこで処理された燃料を唯一国内で使える「もんじゅ」が、実用化の目途が立っていない、また核燃料の最終処分場の決定は福島の現状をみるとさらに困難であると考える。これ以上、原子力発電を進め使用済み核燃料が蓄積されると、よく言われるように「トイレのないマンション」状態となる。そのような状況でさらに原発を稼働し続けることは、未来の子供たち世代に大きな負担の先送りとなる。 ・コスト算出について、原発比率が高いケースが一番安くなっているが、これは疑問。上記の再処理への投資額、最終処分場へ今後必要となる用地買収の金額など、すべてのコストが含まれているのか、原価に参入している詳細なデータが知りたい。実際にすべてを参入すると、むしろ原子力が高くなるのでは？という疑念がある。 ・また、現状のコスト算出を正とした場合でも、月1~2万の負担増加で、より安全な世の中の実現、および未来世代への負担が減るのであれば、負担増も受け入れられる。 最後に、国内産業の空洞化が叫ばれているが再生可能エネルギーへの投資によって、創出される新たな雇用や、自然エネルギーをキーワードに欧州のように新たな社会を作り出すきっかけとなるプラスの側面にも目を向けるべき。 今までのように大量生産・大量消費を目指す社会からの価値観の転換が求められている。そして、私たち自身も、今までのように人任せにせず、自分たちの頭で考え、社会を変えていこうと行動することが必要だ。
31577	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオ　原発の最大リスクが不明な為、2030年と言わず出来るだけ早く廃止を求める。	1：原発のリスクが明確ないので、相対的な利益を判断できない 福島の事故は想定される最大の事故では無い事が分かっているが、他の原発も含めて最大リスクが国民に示されなければ、原発の相対的な利益判断が出来ない。 リスクが判断出来ないものを利用するべきではない。 また、最大被害時のコストも分からない。 2：原発を運営している電力会社に事故処理が出来ない 電力会社では事故時の対応が出来ない事が明らかになった。 事業者として事故対応し終息させる技術を持たないものを運用すべきではない。 3：再生可能エネルギー産業を育成し国際競争力を付けるべき これを機会に、国際競争力の強い産業とし再生可能エネルギー産業を育成し、新たな日本の産業エンジンを作るべき。 4：安全保障上も原発は不利 テロ・国際紛争時に原発はターゲットとして非常に脆弱であると思われる。 特に京都・大阪などの大都市は原発からの近く、テロのターゲットとして利用されやすいと思われる。
31578	個人	自営業	40代	男性	選択肢内の条件が恣意的でおかしい。	まず単純に原発利用について意見を聴くべきであって、その他のエネルギー選択は別な問題である。そこに他のエネルギー条件を提示する事によって、本来求められている回答に影響があるのは明らか。それをわざとやっている。自然エネルギー利用率もこれからもっと上がる筈で、政府は国民が望むエネルギー政策のあり方をねじ曲げている。拝金主義の産業経済界の方々、そこからたくさんの金をもらっている政治家の皆さんにはまず子ども達の未来を念頭に考えてもらいたい。金を儲けるのも未来あってこそ。産業経済界はもっと企業努力して勉強し儲けのシステムを考えるべきで、その儲けるシステムはそれこそ自然エネルギーであるべきだ。

31579	個人	会社員・公務員	40代	男性	「1.原発を0%にする（ゼロシナリオ）」を選択する	今回の東日本大震災により発生した福島第一原発事故は、私たち国民を大変な不安と混乱に貶めた。特に福島在住の多くの方々が生活・住居・労働等を奪われる結果となり、すでに1年半が経過しようとしているがその状況はなかなか改善されていない。さらに除染しなければ元の生活に戻ることができないのに、ほとんど進んでいない。福島以外の国民も放射能影響を気にせざるを得ず、国民の不安は怒りに変わり、毎週金曜日に首相官邸前で行われる集会が時間を経る中でどんどん膨れ上がっているのは周知の事実である。 世界的にみればスリーマイル島やチェルノブイリから学ぶものが大きかったはずなのに、これも教訓にされていない。なにより日本は戦時に原爆にあった被爆国なのに、である。 日本は地震列島であり、この間の報道でも「原発の直下に活断層」などが相次ぎ、そもそも先の大震災でただでさえ地震が頻発しているのに、未だに原発を再稼働させる、あるいは原発を建設するなど狂気の沙汰と言わざるを得ない。それでも原発を推進させるというならば、推進派の政府や議員宿舎、電力会社本社、経済界役員の本人と家族を福島第一原発をはじめ原発周囲に移転させればよい。そうすれば国民の支持も得られるだろう。しかしながら現実的にはできっこないだろう。むしろそれらの人々は原発周辺とは無縁の地にいるわけで、国民は納得しない。犠牲を強いられた福島の人々の立場にたってみればよい。おのずと原発は廃炉にすべきとの解がでる。したがって今後の日本は原発を0%にするゼロシナリオを選択しなければならない。自然エネルギーだけで十分である。
31580	個人	会社員・公務員	30代	女性	脱原発	福島の原発事故から1年5ヶ月が経過しましたが、未だに解決の目処は立っていません。 生活よりも生命が大切です。 私たちと私たちの子孫の未来のために、ゼロシナリオを選択する以外にはありません。
31581	個人	会社員・公務員	20代	女性	2030年までにすみやかに原発をゼロにするシナリオの実現を。原発をかかえて生きることによるリスキーな経済発展ではなく、クリーンエネルギーの先進国に。	2030年までにすみやかに原発をゼロにするシナリオの実現を、 原発をかかえて生きることによるリスキーな経済発展を何十年も続けることは不可能と、震災後身をもって実感しています。 この世界で、私は被爆者として生きていきたくない。次の事故を想定してください。これ以上無用に被爆者、被害者を増やしてはいけないです。 すみやかにすべての原発を廃炉にしてください。 クリーンエネルギーで世界のトップにたちましょう。がんばろう日本、今が転換点だと思います。
31582	個人	その他	60代	男性	(1)　ゼロシナリオを選択します。 三つの中からどうしてもと言うことで、(1)を選びました。 しかしながら、何年後のゼロではなく、再稼動をやめ、直ちに廃炉にすると言うことですよ。	福島の後始末も終わっていない中で、科学的にも、倫理的にも、経済的にも、政治的にも政権執行部、経産省、環境省等の動きは理解に苦しみます。 よーく日本の人々の心に思いを致してください。 日本の人々は、皆が賛成なら、皆が一緒にやるなら、我慢や節約は容易に受け入れられる人たちですよ。 既に、電力の2割前後の節約は実行しているか、受け入れられるものと思われます。 企業、工場についても、節電・節約は日本の得意分野かと思います。 もう、被爆者を出さないことを、心から願ってください。
31583	個人	自営業	60代	男性	原子力比率は20～25%以上を保持するべきです。 今回の3つの選択肢はそもそもおかしいと思います。 今回の選択肢の前提となっている再生可能エネルギーを30%という数字はどうすれば達成できるのか不透明です。	上述の通り、3つの選択肢がどのような背景、条件で達成出来るのか、もっと具体的に説明がないと国民は正しい判断が出来ません、しかし、一方でこのような国策となるエネルギー政策をこんな簡単な3つの選択肢で国民の意見を聞いてなんになるのでしょうか。もっと事前に政府関係者でもんだ結果を公表し、我が国はこのような理由でしかじかなエネルギー政策をとると公表し、それで総選挙ででも国民の判断を仰ぐべきではないでしょうか。国際政治経済的にも影響の多いエネルギー政策を単純に国民の一時的感情で決めるべきではありません。
31584	個人	会社員・公務員	40代	女性	日本中の原子力発電所をなくしてほしい。	福島で起きた原発事故は、地震津波による偶然起きた事故でなく 人の手によって必然的に起こった事故と思っています。 いろいろな隠蔽、原子力ムラの人々の私利私欲のために、尊い命が 殺がれてもいいのでしょうか? 何年も病魔に襲われていいのでしょうか？ 子どもたちの未来はどうなるのでしょうか? 新たな隔たりを作っていいのでしょうか? 私には疑問しか浮かんできません。 もっと広い目で福島の人たちの苦しみを分かってください。 何のための平和利用なんでしょうか? 日本は今平和ではありません。 原爆を東電に落とされ、未だに収束していない生き地獄です。 それに本当の苦しみはこれからです。 子どもたちがかわいそうです。 原子力による発電は0パーセントでお願いいたします。
31585	個人	家事専業	50代	女性	エネルギー問題は死活問題だ。経済の困窮は自殺者を増やす。熱心に節電した結果、生命の安全が脅かされるようなことがあってはならない。原子力発電は経済的でクリーンなエネルギーだ。日本の技術を信じている。	昨年千葉県に住んでいた私は、計画停電を経験した。 まだ肌寒い時期で、一日に2回停電した日もあったが、ニッポン国の一大事だからと、なにひとつ文句も言わず、誠心誠意、節電に努めた。 しかし、振り返ってみると、おかしいと思うことがある。 「安全」や「安心」への対策はなかったと思えるからだ。 一番怖かったのは、信号機の消えた交差点だ。 あの不安と緊張は、不必要に疲れる。 日本では普段から「譲り合い事故」が多いという話を警察で聞いたことがあるが、あの時はどうだったのだろう。 怖くて運転できないから、外出できないと言っていた人もいた。私も、ほとんど外出しなかった。 一時的なことならなんとかなるが、これがが続いたら、経済活動が困窮して、被災地の支援もできなくなってしまうんじゃないかと思った。 さらに、近所の医療機関や医療施設など、生命を預かるところでも停電していたことに驚いた。 医療器具によって生命を得ている人たちや、緊急手術が必要な人たちなど、命にかかわる人たちがいる施設を停電させてしまうのは、絶対におかしい。 確かにあの時は、緊急避難的な形だったし、真面目な日本人は、みんなが協力した。 だが、恒常的な電力不足は、生命の安全を脅かし、経済活動の停滞をも招く。 昨日、近所の知人と話していたら、彼女は数日前、熱中症のような症状になって、2日半、寝込んでしまったそうだ。 そのため「節電って言われてるから申し訳ないんだけど、今は、ずーっとエアコンつけてるのよ」と言っていた。 確かに、福島の事故で亡くなった方はいないけど、熱中症で死亡したというニュースはよく聞く。今年の猛暑では、約2万人が搬送されたそうだ。 日本の原子力発電施設は優秀で、福島の事故の後でさえ、日立、東芝、三菱重工などへの発注が続いている。 世界が認めている日本の技術を、なぜ日本人自身が認めないのか不思議だ。 「脱原発」という高い理想を掲げながらも、きちんと現実を見据えるべきだ。国を挙げて羹に懲りて膾を吹くような愚かなことは、やめた方がよい。
31586	個人	その他	80代以上	男性	現在の議論は核廃棄物の質的危険性から国民を守る視点が欠けている。軽水炉の使用済燃料はフッ化処理法に基いて、プルトニウムを含む超ウラン元素、ウラン、核分裂生成物に分離処理して利用又は処分すべきである。	原発依存度低減に向けたエネルギーの選択を行うに当たって重要となる4つの視点の中で第一に掲げている「原子力の安全確保と将来リスクの低減」では、使用済核燃料や放射性廃棄物の発生量を抑制することに言及しているが、発生する放射性廃棄物の質を改善することについて触れていない。わが国の核燃料サイクル政策は、無限に続く経済成長率に対応し、準国産電源としての原子力発電への依存を高める手段として、プルトニウムを回収するために使用済核燃料を再処理し、回収されるプルトニウムを軽水炉或いは高速増殖炉で有効利用することを唯一無二の選択肢としてきてきた。そこで、我が国が固体燃料加工に直ぐ使えるプルトニウムを作るために選択した再処理プロセスは、高レベル廃棄物にプルトニウム以外の超ウラン元素（マイナアクチニド）を必然的に含めてしまい、高レベル廃棄物に含まれる放射能毒性が長期間継続する超ウラン元素（マイナアクチニド）を減らすことを後回しにして、安易にガラス固化体として、国民の同意を得ないままに処分することにしてきた。 エネルギー・環境に関する選択肢に関する議論において、選択肢の種類に係わらず、直ぐ使えるプルトニウムを作る「再処理」と、プルトニウムを作らない「直接処分」という燃料サイクルのあり方を固定している。この選択の判断はプルトニウムを利用する経済的判断に基づいてのみ行われ、高レベル廃棄物の危険性から国民を守る視点が欠けている。 福島事故後の原発依存度を可能な限り減らすという環境において、核廃棄物の処分を可能にする観点で燃料サイクルを完結して核廃棄物の危険性から国民を守る視点を明確にして原子力エネルギー利用への国民の理解を増やすことが重要である。将来の資源保障に直接関係が少ない目先のプルサーマル利用政策を維持するためにマイナアクチニドを含んだガラス固化体の製造を続けることは原子力エネルギー利用への国民の理解を益々困難にする。 具体的対策として、今後の原発依存の有無、程度に係わらず必要な使用済燃料の始末において、処分する高レベル廃棄物にマイナアクチニドを含めないことが必要である。 高レベル廃棄物に含まれるマイナアクチニドを分離する技術の開発努力は1988年に通称オメガ計画が策定されて以来なされているが、技術の確立を待たずに分離技術の適用が困難なガラス固化体にされようとしていることは開発の見込みが薄いことを示している。使用済燃料の始末において、高レベル廃棄物にマイナアクチニドを含めないことを実現するためには、マイナアクチニドとプルトニウムを一緒にウランや核分裂生成物と分離すればよい。これは、フッ化法と呼ばれる既知の処理プロセスで可能になる。 フッ化法処理プロセスによれば、使用済燃料の構成成分はすべて弗化物とされ、弗化物の物理化学的特性の差を利用して分離される。プルトニウムは他の超ウラン元素と類似した物理化学的特性を有するので弗化物である限りは分離が容易ではないため核拡散抵抗性がある。マイナアクチニドを含んだプルトニウムはそのままでは固体燃料として加工することが出来ないが、使用済燃料の再処理も燃料再加工も必要としない弗化物溶融塩燃料として、専焼炉において原発依存がある場合には在来型発電炉を補完して使用できる。 核分裂エネルギー利用と超ウラン元素消滅を持続的に両立させるために弗化物溶融塩燃料にトリウムを導入することが有益である。原発依存選択肢がない場合でも、既に発生している使用済燃料を直接処分することなく、超ウラン元素を消滅するためには核分裂を経由するしか方法がないことに鑑み超ウラン元素を分離する処理を行い、弗化物溶融塩燃料として専焼炉で核変換し、或いはトリウムを共存させてプルトニウムを含む超ウラン元素を文字通り消滅するものとする。 また、将来における状況の変化に対応して、超ウラン元素弗化物はそのままトリウム溶融塩増殖炉の立上げ用初装荷燃料として利用して、或いは、加水分解して酸化物としてから湿式溶媒抽出法を適用して固体燃料製造に使用できる精製プルトニウムを得ることもできる。いずれの過程を経ても発生する高レベル廃棄物にマイナアクチニドを含むことはない。 プルサーマル政策を継続できなければ、使用済燃料は核廃棄物の質的危険性が最も高い直接処分を選択するしかないとする原案は、原子力を含むエネルギー利用の選択肢について国民に真摯な議論を期待するために最低限必要な配慮に欠けている。 15シナリオにおける年間原子力発電量1500億キロワット・時（17．1ギガワット・年）における年間天然ウラン資源必要量は3420トンである。内閣府原子力政策担当室による昨年2月の資料によれば、2009年3月における日本の天然ウラン資源の購入調達量は33万トンであり、これは、軽水炉に依存する15シナリオを95．5年間維持することができる量である。日本におけるプルトニウムの使い方は今世紀の終わりに決定すれば十分である。既存量を含めて発生する約5万トンの使用済燃料から回収される約600トンの超ウラン元素を専焼炉でエネルギー化すれば、増殖炉を使わなくても15シナリオをさらに35年間延長できる。 本提言は、あらゆる選択肢において使用済燃料の直接処分を認めず、全ての使用済燃料はプルトニウムを含む超ウラン元素をウラン及び核分裂生成物と分離し、ウランと核分裂生成物は適切に利用・処分しても、プルトニウムを含む超ウラン元素は弗化物溶融塩燃料として専焼炉で核変換し、或いは、トリウムを共存させて持続可能な核分裂エネルギーを提供しながらプルトニウムを含む超ウラン元素を文字通り消滅することを提言する。
31587	個人	無職	70代	女性	そもそも核と安全性は共存できない。2030年ではなく、早期に「原発ゼロ」を望む。すべてのシナリオが2030年を目標となっているのはアンケートとして作為を感じる。不当である。	主理由 (1)日本は世界一の地震国である (2)廃棄物は子孫へ付けを残す (3)労働者の被ばくなしには原発は稼働しない
31588	個人	その他	50代	女性	原発はゼロにしてください。 再稼働にも反対します。 地震国日本に原子力発電所は不要です。 わたしたちひとりひとりの工夫、努力で目前の電力不足は補えます。 補います。	活断層の上に原子力発電所を建ててはいけないことになっている。 しかし　活断層は全て明らかになっているわけではない。 活断層が新たに見つかった時点でその上にある原子力発電所をすぐに 止められない、という現状、矛盾を　直視するべきです。 使用済み核燃料の処理方法が確立されていないのに原子力発電を始めたこと自体間違っています。何万年も先の人類に問題を先送りする、という 責任回避の仕方は地球にとって何もよいことはありません。 広島の原爆死没者慰霊碑の石室前面には、「安らかに眠って下さい 過ちは 繰返しませぬから」と　刻まれています。被ばくのばくの字は違いますが 広島・長崎での被爆された方々の無念をもう一度思い返す時です。 福島で被曝されたかたの苦しみを考えるときです。
31589	個人	その他	30代	女性	原子力発電をやめ、自然エネルギーにシフトしてほしい	今回の地震により、原子力の危うさが一般に知れ渡りました。 これ以上「安全です」「直ちに影響はありません」は通用しません。 自然エネルギーが発達していく以上、原子力にこの先頼るのは不思議でなりません。
31590	個人	会社員・公務員	60代	男性	20－25シナリオに賛成。 ゼロシナリオは、非現実的で、国民への負担が過大。	1．ゼロシナリオは化石燃料の依存度が高過ぎる。今後、化石燃料資源の先細り、資源争奪の激化等が予想され、量的にもまた価格高騰の観点からも現実的ではない。 2．再生可能エネルギーの比率が高すぎ非現実的で国民への負担が大きすぎる。 ゼロシナリオでは、太陽光発電は1200万戸もの屋根に設置することになるが、現在設置不可能な住戸も改修して導入というのはあまりにも無理がある。この改修費用を国民に負担させる過大な要求を前提としている。 また、風力発電にしても、これに適した東京都の面積の2．2倍もの土地の存在を期待するのは、非現実的。風力発電の設置の追加費用、系統対策費用等も莫大で国民への負担が過大すぎる。 3．省エネルギーへの期待も過大。ゼロシナリオだと2010年比22%もの省エネルギーを期待しているが、今後20年間1%の経済成長を考えると、さらに20%程度の省エネが必要と考えられ、合わせて40%もの省エネはあまりにも過大。我が国はすでに諸外国に比べてもかなりの省エネを実施しており、更に過度な省エネは産業の競争力を削ぐ恐れがある。 4．家庭の電気代の負担がゼロシナリオでは最大月2．1万円と算出されているが、これほどの負担が可能とはとても思えない。このような過度な負担は、産業の競争力を削ぎ、製造現場の海外シフトを招き、失業率の増加を招く可能性が大。再生可能エネルギーに関連する産業が増大するとの見方もあるようだが、ドイツの例に見るように、安い外国製の太陽光パネルの進出を助長するだけで、国内産業にはほとんど寄与が期待できない。 以上ゼロシナリオを中心に述べたが、15シナリオでも程度の差はあれ同様の国民負担となる。できる限りの原子力拡大を期待する。

31591	個人	自営業	30代	女性	原発ゼロを支持。電力会社の経営のために、世界中を原発の脅威にさらし続けることは許されません。放射能拡散の危険、その処理方法もなく、安全確保できない原発をこれ以上動かし続ける理由は見当たりません。	原発ゼロを支持します。 今頃になって政府も原発ゼロ実現可能と言い出していますが、 ゼロにすることは十分可能だと思います。 現に今年の5月5日に稼動原発がゼロになりましたが、 電気が止まることはありませんでした。 また、原発を動かし続けることは、電気が不足することではなく、 電力会社の経営を持続させるためであると、電力会社自身が明言しています。 そんな理由のために、日本を、世界を、未来を 原発の脅威にさらし続けることは許されません。 10年に一回どこかの原発で大事故を起こす可能性があり、 放射能拡散の危険、その処理方法もなく、安全確保できない原発を これ以上動かし続ける理由が、国民の目から見てどこにも見当たりません。 一度拡散した放射能は、何百年も消えることはないのです。 それどころか、今も日本中、世界中に放射能物質は広がり続けていると思います。 いまや、世界的にみても原発依存している国は日本だけだと聞きます。 もはや、原発は時代遅れの電力供給源だと思います。 原発ゼロを実現すると同時に、電力供給の体系も見直し、 企業独占を禁止しなければなりません。
31592	個人	家事専業	50代	女性	原発依存0パーセントの提案に賛成です。生命の安全と将来の自然環境を保護するということを何よりも優先させるべきと思います。再生可能エネルギーのさらなる研究と実践を国を挙げて追及する必要があると思います。	昨年3月11日には、私は主人の駐在のため海外(ベルギー)にいて、日本の被災を知りました。その際にすぐに原発に関しての報道が現地の報道機関によって大きく取り上げられ、その被害の大きさに震撼しました。その後、私の住んでいた地元アントワープ地域でもそして、ベルギー政府はもとより周辺の諸国が次々に原子力発電に対しての点検、政策の再検討をしていきました。同時に世界の目も日本政府と日本の国民が災害と原発事故にどのように対処するか、注目していたと思います。しかし当該日本での原子力発電への対応対策、再検討が遅れているという印象は否めませんでした。 その後私は帰国し、政府の原発再稼働の決定を聞きましたが、まだ福島の現地の調査も不十分である中、また、各地の原発の安全点検についても疑問が残るのも相まって、とても不安を覚えております。 原子力発電については、過去に「クリーンで素晴らしい夢の発電」として私自身小さい時からずっと教育されてきましたが、チェルノブイリをはじめとする一連の世界の重大事故、そして今回の福島の事故を考えると、その安全性について調べれば調べるほど、聞けば聞くほど疑問が起こってきます。これはこのまま進めれば将来に取り返しのつかない禍根を残すと思います。 特に日本は頻発する地震国です。今後の自然災害についても他国以上に十二分に考慮するべきです。 経済の利便性や、一部の利益のために、目先の何年間かの効率のためにだけを考えてはならないと思っています。
31593	個人	自営業	40代	女性	2030年に原発は0%になることを支持します。1)活断層がある、2)ベントがない、3)免震棟がない、4)非常時の複数ルートが確保できない、5)40年を過ぎた原発は即刻停止をお願いします。	日本は今地震の活動期に入っているのは明らかです。 福島の事故の収束の目処も立たず、事故原因の究明もできない段階で、原発を再稼働はできません。日本政府、電力会社、官僚のみなさんには原子力技術を安全に管理運営する能力はありません。それは3.11以降の原子力事故とその後の責任転嫁や情報隠蔽の姿勢を見ていれば明らかです。あなたたちに原子力は任せられません。 また原子力の核のゴミをどう処理するのかの目処も立たないまま、原発を動かそうというのも反対です。もんじゅは誰の目から見ても不可能な技術で、それを推進した政策は失敗です。これ以上の負債を増やす前に日本は原子力事業から撤退すべきです。 日本はヨーロッパに比べ太陽光に恵まれた国です。周りは海で、高低差のある島国です。素晴らしい技術も持っています。太陽光発電、水力発電、風力発電などの再生エネルギー技術開発に力をいれ、再生エネルギーを新たな産業にできるポテンシャルが十分にあります。まずは、国が原子力を手放し、再生エネルギー立国を目指すという旗印を掲げること。そこから復興を推進していただきたいです。そうでなければ、福島の方々の犠牲は報われません。 どうかお願いします。
31594	個人	会社員・公務員	30代	男性	すべての原発は即停止。これ以上原発を建設・稼動することは不可。すなわち将来にわたって原発依存度を0%とする。	経済よりも金よりも命が大事。それ以上の理由はない。 たとえ、日本経済がどん底に落ちても生きていれば日本社会の修復は可能。 日本社会の修復とは経済成長を意味しない。人口減の中GDPという指標での成長を見込むのはナンセンス。人口減退、経済衰退というある意味"超先進国"の日本が人類の次なる社会のあるべき姿を示すべし。 ところが、万が一でも事故がおきればすべてが崩壊する。社会の修復どころか生命そのものが無くなってしまう。 ただし、すべての原発を即停止するだけでは問題は解決できない。 現在存在する放射性廃棄物の処理方法を早急に開発しなければならない。 原発を停止しても現存する廃棄物がある以上は安全とはいえない。 フィンランドでは10万年地中に埋めるなどという稚拙な対策をとっているようだが、10万年後まで安全に保管される保障はどこにもない。これは人類が自ら開発したものへの責任を放棄しているとしか考えられない。 自らの子孫に危険なゴミを押し付けることが人として正しいことなのか？今更考えるまでもない。 10000歩譲って仮に原発が100%安全ならば、霞ヶ関および首相官邸周辺に建設するべき。 政治家、官僚が身をもって原発の安全性を訴えるにはそれしかない。 あなた方にそれができますか？自宅に原発を作って見本を示してください。
31595	個人	家事専業	50代	女性	日本国内のすべての原発を「ゼロ」にしてください。それもただちに「廃炉」という形を望みます。この地震国に原発はいかなる安全策を取っても危険です。	国内すべての原発を「ゼロ」にすること、それもただちに「廃炉」を望みます。我が国のような地震国にあって、原発の"完全な"安全策はありえないと思います。一旦事故が起きた際に、住民の心身の健康に重大な被害をお祖母氏、経済面においても多大な損失を与えることは、すでに福島第一原発で証明済みです。 また、使用済み核燃料をどうするのでしょうか？深刻な危険性を持つものの処分方法が見つからないままに、原発を運転し続けることは危険すぎます。未来の世代に対しても無責任すぎます。 何の罪もないのに故郷を去らなければならない人をこれ以上増やさないために、美しい日本の国土をこれ以上汚さないために、また周辺諸国や海洋への汚染をこれ以上行わないために、すべての原発を即刻停止し、廃炉にしてください。
31596	個人	自営業	40代	男性	ゼロシナリオを強く支持する	(1)原発稼動における安全保障の問題。 →起こる心配はないとされてきたが、実際には起こってしまった。 (2)半永久的な放射性廃棄物は高リスク。 →事故が起こらなくても廃棄物は半永久的に出て、その処理法の解決は何もできていない。 (3)津波、地震による安全性は100%ではない。 →原発は100%安全であるとされているが実際自然災害の元では安全ではなかった。 太陽光発電、風力発電、それぞれのリスクはあるが、リスクの質と量は桁違い。 (4)原発を稼動する上で避けられない人道的問題。 →一年に一度行われるメンテナンスの前段階で、低放射能を浴びることを前提に雇われている人がいるという事実。 (5)責任の所在がない。倫理観、道徳観においても誰がどういった基準で原発を運用し、経済的利益をあげているのか明確でない。 (6)核廃棄物をどうするか、まったく見通しがないまま、次世代に押し付ける姿勢は大いに疑問視すべきである。 (7)原発はひとたび動き始めると即時止めることができない。 他の発電は必要でない時、消費が少ない時に止めることが出来る。 (8)CO2に関して2012年までは京都議定書の取り決めがあるにせよ、世界に事情を説明する努力をしてでも、原発ゼロシナリオの道をとるべき。 （CO2削減と原発再稼動の理由を混同するべきでない。） (9)家庭自家発電の規制緩和(農地法)等々、別の道を模索することなく原発依存に回帰する危険性。 (10)放射能および汚染がれきなど、災害は単に原発のみの問題ではなく、近隣諸国、世界的な問題を引き起こす事実を忘れてはならない。 →それでも原発を運用する場合どこまで保障するのか、あるいは保障する意思はないのか明確な方針を公表すべし。 (11)経済が落ち込むことを謳い文句にしているが、いまだ実証されていない、憶測的あるいは仮定的理論である。
31597	個人	会社員・公務員	30代	男性	「20～25シナリオ」が妥当。できれば、もっと原子力の比率は高くても良い。	・エネルギー安全保障の観点で、資源小国であるわが国にとっては3．11の震災前後においても原子力の必要は変わらず高い。 ・温室効果ガス排出量の観点において原子力を代替できる発電量と安定度を有している発電方法の確立は現実的に不可能である。 ・高コストの自然エネルギーへの過剰な投資は経済成長率の低下を招き、国民生活への影響が大きいことから、ランニングコストの低い原子力を推進すべき。 ・原子力は日本人の英知によりコントロールすることが十分可能である。
31598	個人	無職	60代	男性	今回の福島第1原発1から4号機の放射線漏れ事故は東京電力経営陣の防災対策の不備と驕りによる人災となる。また、今後東電および政府の馬鹿官僚では原発の運転はもはや稼働できませんので即刻廃止すること。	上記の意見で私は0%にすることが当たり前です。原子力平和利用の目的で導入した正力松太郎、中曽根康弘、東芝、日立、三菱重工、IHI.鹿島等のゼネコンがただ自分たちの利権のみで推進してきただけであり、そこに電力業界、東京大学工学部の御用学者が私腹の為に推進してきただけで、代替エネルギーの開発も妨害してきたのでエネルギー産業が成長しなかった。
31599	個人	無職	40代	男性	原発ゼロシナリオを求めます。	2度の原爆投下、および未だ収束しない福島原発の事故に関する状況を考えて原発は廃止されるべきものであると考えます。福島の子供達の身体は現在も放射能によって触まれ続け、日本全国汚染食品であふれかえっています。汚染状況に関してろくな調査もせず、それを政府は放置している状態です。このように、冷静に現状を把握できていないという状況下に何故安全に原発を運用できるでしょうか？ 原子力ムラの利権の問題、電気料金の設定方法のカラクリなどこれまで金のために国民に隠してきたことも洗いざらい公開し、政治的にも環境的にもクリーンなシステムを構築する事を願います。 途中なにがあったとしても、別途エネルギー確保の後に脱原発をはかるのではなく、脱原発ありきであると考えます。 シナリオとしてはゼロシナリオになるかと思いますが、実際は即刻ゼロが妥当でかつ当然のシナリオであり、シナリオ自体の検討も再度行なわれることを望みます。
31600	個人	無職	60代	男性	次世代にツケを先送りにしないというのが消費税導入の決意なら、処理できない使用済み核燃料を、脱原発して今以上次世代、次次世代に遺さないというのも、一体改革と軌を一にすべき決意ではないか。	政府への意見 脱原発には百の理由がある。それをここで繰り返す積りはない。指摘したいのは次の3点である。 1．次世代にツケを先送りにしないというのが消費税導入の決意なら、処理できない使用済み核燃料を、脱原発して今以上次世代、次次世代に遺さないというのも、一体改革と軌を一にすべき決意ではないか。総理の覚悟のほどを問いたい。 2．現状でも数十年先に廃炉等、大変な困難が予想されるが、一体誰がその作業を担うのか。福島以降優秀で信頼できる技術者の養成は最早困難になった。脱原発への工程が遅れれば遅れるほど、若い世代（現在幼児を含めて）へ負担が先送りにされる。それでも若い世代に命を捨てる覚悟で原子炉工学の技術を修得してほしいと総理は言えるのか。 3．経済学者らが脱原発で日本の経済は潤落すると言っているが、これまで経済学者（ノーベル賞学者を含めて）が経済の健全な発展や人類の安寧に寄与したことがあるのか。国民は脱原発から派生する負担に耐える覚悟を既に示し、より安心な社会への発展を願っているではないか。今こそ、総理は脱原発のスケジュールを国民に示し、新しい科学技術立国の将来像を語るべきだ。
31601	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は、一刻も早く全基廃炉。 原子力依存を0%にする。	この猛暑の中、関東地方は原発ゼロでも電力が足りている。 原発稼働を即刻0%にしても何ら影響はない。 電力会社や原発立地自治体がお金の面で立ち行かなくなるのならば、 今までと同じように税金から補助金を与えればいい。 我々の負担は今までと何も変わらない。 そして、2030年までに「補助金を」0%か15%か25%を議論するべき。 原発稼働を即刻0%にしても何ら影響はない。 政府の、野田さんの、勇気ある英断を期待しています。

31602	個人	会社員・公務員	50代	男性	選択肢の中では20－25シナリオを選ぶが、いずれのシナリオにおいても電力コストの大幅上昇により、国民生活、国際競争力の低下が懸念される。温暖化対策は、日本だけが突出せず、国際的に公平であるべき。	全シナリオとも、再生エネルギー目標の設定、或いは、省エネ目標が非現実的であり、電力価格の高騰が、国民生活と産業に大きな影響を及ぼす。そもそも、復興を第一にとらえ、実質2%の成長を目標とすべきところ、いずれのシナリオも1%未満に設定されており、持続的な発展と雇用の維持の観点で大きな懸念がある。温暖化対策は重要なるも、国際的な公平性が担保できていない。日本がその優れた省エネ技術で世界に貢献するにあたって、国内で関連投資が持続することが必要だが、3案いずれも、産業活動の海外移転を促進するだけであり、国内への投資が行われるとの想定に甘さがある。あえて選ぶとすれば、エネルギーに多様性がある20－25シナリオだが、国内だけでのCO2削減を25%程度も想定するのは無理があり、国際的な均衡性の観点で省エネ目標や再生可能エネルギー導入目標を現実的なレベルに引き下げるべきである。 1.生産、雇用への影響について そもそも、高齢化と貧困化が急速に進む中で、雇用と生活水準を守るための経済成長目標は、実質2%であったはずである。ところが、提示されたシナリオは、3つとも、実質1%以下の成長しか見込んでいない。このような前提でシナリオを提示すること自体、政府の誠実さが問われる。 再生可能エネルギーの導入拡大による電力コストの上昇は、20-25%シナリオでさえ5.5円/kWhとなり、年間1,700億円のコスト増となる。しかも、価格高騰による電力使用量減少を多めに見積もり、結果として、支払う電力料金を少なめに予想している可能性が高い。なぜなら、電力需要の価格弾性値は低く、経済成長と電力使用量はこれまで正の相関をしており、電力使用量を大きく削減させつつ経済成長を見込むことに現実性が乏しい。 安価で安定的に再生可能エネルギーが得られるのであればエネルギー安全保障の観点でも意味を持ちうるが、設定された購入価格は世界的に際立って高く、ドイツをはじめ、すでに価格設定の見直しが行われている世界の潮流と逆行している。持続可能性には大きな疑問がある。 日本産業は、これまでの省エネ努力の積み重ねで、世界最高水準のエネルギー効率を達成している。他の先進国と比較しても、省エネ投資額は極めて高い水準に到達している。経済の先行きの不透明な中で過度な省エネ目標を設定しても、生産の海外シフトを助長するだけである。投資は、国内ではなく海外へ向かい、国内産業の存立を危うくする。 化学などの基礎産業においては、連産品のバランスの上に、産業全体の競争力が維持されている。したがって、電力消費の多い産業分野が大きく生産活動を落とさざるを得なくなる場合、それは、関連産業へも波及し、生産活動の不可逆的な収斂をひきおこす可能性がある。モデル分析ではこのような構造変化を想定できていないと考えられ、産業活動への影響はモデルの想定よりも甚だしい可能性が高い。 2. 地球温暖化問題解決への貢献について 温暖化対策は地球規模で取り組むべき課題である。主要排出国全部が加わり、公平性を担保すること欠かせない。日本の対策は、今でも世界で突出し、すでに国内で大きな負担を伴っている。世界全体でみれば、既に日本の排出量のシェアが小さいことから、日本一国で大幅な削減を行っても、世界全体での削減量は極めて限られる。もともとの目標設定に無理があり、しかも、原発の大幅増を前提としていた。なので、削減目標を、現実的な水準とすべき。そもそも、事故前の25%目標も、国内での削減は15%程度を想定していたが、これすら極めて厳しいと見られていた。今回提示されたシナリオでは、原発20-25%目標でも、国内でのCO2削減目標は25%となっており、持続的な成長と両立させることには無理があろう。 日本が自ら省エネに努めることは大切ではあるが、日本の温暖化ガス排出量のシェアはすでにかなり限られたものとなっているので、日本が技術開発をリードし、それを世界に普及して行くモデルを国家戦略として目指すべき。過大なコスト負担は、投資と技術開発の足かせとなり世界をリードすることを難しくする。日本産業の地球温暖化問題に対するより一層の貢献が困難とする。 3. 省エネルギー、再生可能エネルギー導入の実現可能性について 国家全体のエネルギーシナリオとしては、家庭、業務、運輸も含めて、各部門で経済効率と実現性の高い対策をとるべきであり、その実現可能性を十分に検証した上で省エネルギー目標を設定すべきである。温暖化ガスの排出が増えている民生と業務部門での対応が重要であり、この観点で、先進諸国のみならず周辺諸国と比べても見劣りする建築物の断熱基準を強化すべきと考える。 再生可能エネルギーの比率を現状10%から30%とするために、太陽光パネルを強度的に設置可能な一戸建1,110万戸の9割にあたる1,000万戸への、導入、また、風力発電においても、国内最大級のウインドファームを、現状の30カ所から、さらに420カ所建設するとの想定など、その技術的・経済的・社会的実現可能性には大いに疑問がある。 電力供給は、価格だけでなく安定性も重要である。発電所の建設には計画、環境アセスを含め、10年単位の年月を要することを踏まえ、効率的で安全性の高い火力や原子力発電に十分な技術と能力を確保しておくことが必要である。日本は、自国で産出するエネルギーのシェアが他の国々と比べて極めて低いことから、エネルギー安全保障、及び、エネルギー調達におけるバーゲニングパワーをどう確保するかという観点でも十分な考慮が必要と考える。 4. 原発の安全性について 原発の事故の検証、再発防止は重要な課題である。そのためにも、しっかりとした科学的知見を蓄え、技術を維持し、世界全体での安全確保へ貢献すべきである。情緒的に原発を否定するのではなく、科学的に問題点とそれに対する対処方法を検討すべきである。
31603	個人	会社員・公務員	40代	男性	「3つの選択肢」いずれにも反対。脱原発に舵を切るならば「国策不況」となってしまう。電力が不十分で経済が停滞すれば、国民の生活を苦しめられる。やはり原発を含めた安定した電力供給を日本は目指すべきである。	「3つの選択肢」いずれにも反対する。原発ゼロを支持するパブリックコメントが、たとえ7割を超えるにしても、ぶれることなく政府は震災前、あるいはそれ以上の原発比率を目指すべきだ。枝野幸男・経済産業相は発電における原発依存度をゼロにしても「経済的にはむしろプラスになる」「(原発ゼロで)再生可能エネルギーや省エネルギーの技術開発が進み内需拡大につながる」などと発言したが、根拠なき、実態を無視した精神論にしかすぎないのではないだろうか。日本総合研究所の試算によれば、現時点においても、燃料費の高騰を電気料金として回収するには、電気料金の3割程度の値上げが必要となる。さらに、2030年に原発ゼロを実現した場合、生産コストは企業全体で5.4兆円、うち製造業は2.5兆円上昇。企業の海外流出が避けられなくなり、結果、2030年のGDPは最大45兆円分押し下げられてしまうという。太陽光発電や風力発電への性急なシフトが、どれほど国民への経済的負荷をかけるか、政府は冷静に見つめるべきである。原発への不安を煽るマスコミ報道に踊らされて、「民意」に従ったというアリバイをつくって脱原発に舵を切るならば、日本経済の成長を阻害し、失業者を生み出す「国策不況」となってしまう。無責任極まりないのではないだろうか。稼働率が不安定な再生可能エネルギーの不安定性をカバーするために、結果的に化石燃料への依存度を高めることになり、日本のシーレーンの危機が、エネルギー安全保障の危機に直結して、国の命運を他国に任せることになってしまう。新しい有力な発電技術が確立していない以上、福島の事故を教訓に原発の安全技術を高め、高速増殖炉の実用化を視野に入れた原子力の活用を含め、原子力による電力供給システムを継続・発展させていくべきだ。海外に目を向ければ、原発の重要性ならびに必要性は明らかである。インドでは7月末に、送電設備や発電所の整備の遅れから大規模停電が起こり、国民の生活に多大な被害が出た。インド政府は、エネルギーの安定供給のため、2050年までに原発比率を25%に上げる計画を持つ。韓国でも、猛暑に伴い電力需要が増大し、韓国政府は6日、点検中の事故で2月から運転を止めていた釜山の古里(コリ)原発も再稼働することを決めた。電力が不十分で経済が停滞すれば、給料カット、失業、倒産の嵐が国民の生活を苦しめる。やはり原発を含めた安定した電力供給を日本は目指すべきである。 そうであってこそ、現在の豊かで文化的な生活を維持できるのではないのか
31604	個人	自営業	50代	男性	エネルギー・環境の選択肢につきまして、「ゼロシナリオ」を選択するよう求めます。	核燃料サイクル計画および使用済み核燃料の最終処分について安全確実に処理できる見通しが立たないため。
31605	個人	会社員・公務員	50代	男性	公共目的と社会貢献企業活動の使用に限り100%原子力発電にする。個人は、生命活動維持に必要な最低限の発電方法をいろいろと試す。社会貢献を企業は、個人の生命活動維持を妨げない製品開発や環境整備をする。	日本列島においては、様々な地形地質や気象環境等をそれぞれの地域で独自に生かし、個人が消費する電力は個人で発電出来るようにしましょう！その為に、社会貢献企業は様々な工夫を製品化し環境を整える為の技術開発をしましょう！政府は、「交流」と「直流」の使い分けを、全ての国民に「教育」し直す事から始めましょう！100%原子力発電を今始めれば、将来(近いうちに)原子力発電に依存しない社会が早く訪れるのです。
31606	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	再生可能エネルギーの開発・普及に人・金・物を注ぎ、「ゼロシナリオ」へ政策転換を図るべきです。	福島第一原発事故の原因はいまだ究明されず、収束のメドも立っていません。廃炉まで半世紀近くかかるとも言われ、その先の核燃料の処分技術や処分場所も不確定なままの状態です。過酷事故が起きると原発は制御不能な状態に陥ることを福島第一原発は明らかにしました。 そういった原発を活断層が縦横に走る地震大国の日本に作ること自体無謀なことです。 国が東電に注入した、または今後も注入するであろう資金や、汚染地域の除染費用、汚染地域からの避難者にかかわる諸費用、各種復旧費用と同等の資金を使う決意を持って、原発に代わる太陽光、風力、地熱、波力、潮力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの開発・普及に国は力を注ぐべきです。 日本の選択肢は、原発をなくし、「ゼロシナリオ」へ政策転換を図ることです。
31607	個人	自営業	40代	男性	原発稼働の即時中止を求めます。	使用済み核燃料を処理する方法が未だにない、ということ一つをとっても原子力発電をやめる理由として充分ではないかと思います。これを後の世代に押し付けるなど、もっての外と感じます。 しかも原発をやめたところでこの問題は一切解決しません。せめて新たな使用済み核燃料を発生させるようなことは絶対に避けるべきと思います。 さらに直接原発に従事する労働者が被爆を前提にした作業にあたらなければならないこと。作業員が電力会社の社員ではなく、賃金の低い日雇い労働者などに不当で過酷な労働を強いていること、彼らに対する差別が発生していることも大きな理由です。
31608	個人	パート・アルバイト	30代	女性	原子力発電はやめて、自然エネルギーに切り換えたい。	原子力発電はリスクが高すぎる。人の命を守れないものに頼ってまで生活を向上させる必要はない。自然エネルギーは雇用も作り出し、やり方によっては無理なくたくさんのエネルギーを作れる。自然の恵みに感謝し、流れのなかで生きていけるシステムを作り出す必要があると思います。
31609	個人	会社員・公務員	50代	女性	●●シナリオを選びます。2030年までではなく、今すぐ、原発ゼロでお願いします。	●●シナリオを選びます。2030年までなどと悠長なことを言っているうちに地震が起きてしまいます。地震が起きて、また原発事故が起きれば、日本は破産します。今も電気は足りていますが、再生エネルギーに変えていくべきだと思います。再生エネルギーに変えていくには、現在のような広域を対象とした発電を考えるのではなく、自治体ごととか、またはその建物ごととか、小規模の発電を考えていくべきだと思います。私のマンションでも再生エネルギーにしたいという声があるのですが、いろんな理由でできません。今の電力システムを変えていくしかないと思います。
31610	個人	自営業	30代	男性	原発ゼロを強く希望します。	・経済的とされている原子力発電は実際の所自転車操業で動かすひじょうに不経済なものです。 ・人さらいのようにしないと労働力を得られない原子力発電を自分が住んでいる国に存在させるのは我慢がなりません。 ・福島第一原子力発電所の事故は収束宣言をしても収束しそうにありません。現在の人類はこの事故を収束させる事は不可能でしょう。2030年になってもむりだと私は考えます。故に事故が起きていない原発を廃炉にし新しい原子力発電所を建設してはいけません。
31611	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発はやめるべき。技術力の向上は地震などの不確定要因が大きい日本では説得力に欠ける。汚染食物の摂取による間接被爆も心配。経済合理性よりも持続可能な安心安全な社会を選びたい。	原発はやめるべきだと思う。技術的安全性や経済合理性を理由に一部の人の利権を覆い隠すのはやめてほしい。チェルノブイリ事故の翌年、私は父親の仕事で家族でキエフに滞在する予定だった。子どもの被爆を恐れて、父の計らいで私たち家族はキエフからサンクトペテルブルグに変更になったが、ロシアやウクライナに友人がたくさんおり、今でも年の近い友人たちは顔色が悪く、不調を訴えている。直接の被爆だけではなく、汚染された大地で育った植物や内蔵等に放射能が凝縮された魚などを知らず知らずのうちに口にしている恐れがあるという。ソ連崩壊後、貧富の差が激しくなり、年金や保険等国家による保護がなくなり、貧しい人は経済的理由から衣食住の選択肢がなくなってしまった。命をつなぐため、安くあるいはただ同然で手に入る食物を食べるが、それがかえって体をぼろぼろにしてしまっているという。日本は自然災害が多く、定期的に大地震が起こる。不確定リスクはチェルノブイリよりも遙かに大きい。命を失い、将来の子どもたちの未来を奪ってまで得る利益がどこにあるのか？国民自身が経済性や合理性よりも安全や自然に寄り添った豊かな社会に価値を置いているにもかかわらず、今原発を推し進める理由がわからない。原発を誘致することで地方財政や雇用で見返りを得ている人がおり、彼らの生活が支えられていることはわかる。しかし、今この流れを変えなければ、一生権力の構図は変わらないと思う。原発に依存し、生活することから今抜け出さなければ、彼らも後で公開することになると思う。一時的に辛い境遇、立場に置かれる人もいると思うが、将来的なことを考えれば、原発をやめることが私たちに残された最善の策だと思う。
31612	個人	会社員・公務員	40代	女性	事故の根本的な原因究明・分析や使用済燃料の処分方法が解決できない以上速やかに原子力発電から撤退すべきである。事故による甚大なリスクを考えれば再生可能エネルギーのコスト高より脱原発を目指す価値が上回る。	7/21放映のNHKスペシャル「メルトダウン連鎖の真相」において、メルトダウンの原因は津波ではなくSR弁の構造的欠陥であること、また、ベントができなかった理由としてはベント実施用に空気を送る50ミリ管の地震による破損のためではないか(耐震性が最低クラスのCレベルであったことも判明)という検証を行っていた。これらの事実は各事故調査委員会による報告書にも取り上げられていないという。 地震などの様々なリスクを想定せずに設計された原発の構造上の問題が核心なのであれば、非常用電源・冷却機能の徹底強化は必要事項ではあれど、根本的な対応策とは言い難いのではないか。 事故の根本的な原因究明・分析がなされていない、また、使用済燃料や放射性廃棄物の処分方法が数十年に渡って解決できない状態は、原子力の安全確保について議論する前提が成立していないと考える。事故のリスク回避から廃棄物処理まで、現状、誰も責任をもってコントロールできない状態にあることを今回の事故は露呈した。これは、原子力によるエネルギー運用は、現実的な手段ではないことを意味するし、安全を確保できるエネルギー資源とは言い難い。こうした点に何ら懸念を感じることなく、今なお原子力の安全確保を謳い原発依存を継続することは、被害に遭われた方々の心情を葬り去るに等しいと感じる。速やかに原子力発電から撤退をすべきである。 同時に、再生可能エネルギーの割合を随時増やして移行するべきと考える。ドイツは日本と同程度の国土・経済規模・人口で、1年間で700万kw (2010年)の再生可能エネルギー導入を果たしている。これは、原発7基分／住宅200万戸分に相当するという。日本は1年間で100万kwの導入にとどまっていた(2010年)。風の状況は日本の方がいいと言われている上に、ドイツがこれだけ増やしていることから考えれば、日本の再生可能エネルギー導入の参考になる。「エネルギー市場」における既存の規制・制度との不整合や障害の見直し、あらゆる再生可能エネルギー事業が優先して送電系統を利用できる制度、建築物の新設・改築の際に再生可能エネルギーを一定の割合で導入することを義務づける、などの体制を整備することで、再生可能エネルギーの普及につながると考えられる。 ドイツの電力供給に占める割合は再生可能エネルギー全体で16.8%、CO2削減効果は年間1.2億トン、産業経済効果は再生可能エネルギーで年間約3兆円、雇用効果は37万人(2010年)。地域活性化効果も非常に高い。 この実績からも、再生可能エネルギーに頼っては経済効果が落ちる、空洞化するという考えは該当しないと思われる。これまで原子力関連に使われてきた様々な予算や電力会社からの多額の寄付金、また、原子力推進に向けていた労力と資金を、再生可能エネルギーの低コスト供給に向けた研究や事業に振り替えていけばカバーできることではないか。 そして、何よりも、事故による取り返すことのできない甚大なリスクを勘案すれば、再生可能エネルギー拡大によるコスト高よりも、脱原発を目指す価値の方が上回ると考える。
31613	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	3つのシナリオの中からなら、「ゼロシナリオ」を選ぶが、「2030年までのなるべく早期に」では遅すぎる。原発は一刻も早くなくすべき。核燃料サイクル・再処理の余地を残していることには賛成できない。	当団体は、2012年4月12日の総会において採択した「大飯原発再稼働に反対する特別決議」の中で、「大飯原発を再稼働しないこと、定期検査で止まった原発をすべて再稼働しないこと、脱原発社会を実現することを強く求め決議します。」としている。「2030年までのなるべく早期に」ではなく、一刻も早く原発をゼロにすることを強く求めるとともに、核燃料サイクル・再処理にも強く反対する。
31614	個人	自営業	20代	女性	原子力エネルギーを再生可能エネルギーへ転換することは必須です。原発ゼロを望みます。核廃棄物の処理方法もはっきりせず、核燃料自体もいずれ枯渇するのに危険を犯してまで使いつづける意味はあるでしょうか？	私が原発に反対する理由はたくさんあります。 生き地獄を味わいながらじわじわと亡くなった被爆者たち 広島、長崎、チェルノブイリはもちろんですが私の記憶から消そうと思っても消せない恐怖がJOCの臨界事故です。2名の作業員が被爆によって亡くなりました。染色体がバラバラになり、再生できなくなった皮膚がはがれおち、目蓋もしまらず、体液を流しながら、全身の痛みに耐え、何十日も生かされた被害者。自分が、自分の家族が、友達が、誰かが、命を持ったものが、そんな風に死ななきゃならない可能性を原発が1%でも持つのなら、即刻やめるべきです。 核の安全確保か自然の確保か？ 原発が100%安全になることはありません。100%安全な核廃棄物の処理法はありません。私たち人間は未来の予知はできないんです。経団連の方は安全確保をして使いつづけるべきだとおっしゃっていますが、未来になにが起こるか予知をして安全確保ができたのなら東北の地震の被害はあんなに大きくなかったでしょう。1万年先に生きる人たちに核廃棄物の処理方法を正しく伝える努力よりも、核に依存しない生活方法を伝える努力をするべきではないでしょうか？ 日本は無駄なエネルギーを使いすぎる 今年の夏は実は原発ゼロでも乗り越えられたそうです。そんな日本で街を歩けば、夜はネオンできらびやか、昼間は扉を開けっ放しでクーラーをがんがんつけているスーパーやドラックストア、電気ではないけれどエンジンをかけたまま車を止めている人。もはや節約ではなく、当たり前のことを当たり前にすればいいんです。 エネルギー転換は難しい エネルギー転換は簡単ではありません。電力網一つとっても大規模な工事が必要です。早く始めないと本当に手遅れになります。 人は忘れます。今、ここでこの環境配慮の機運を保たなければ次は破滅です。広島、長崎、福島、もうたくさんです。
31615	個人	その他	50代	女性	エネルギーの選択に関して、国民的議論をと野田首相が発言されていますが、 国民的議論を本気で行なわなければならないと考えます。	原発反対を訴える声も大きいですが、では、原発を止めた場合、国民はどんなエネルギーとこれからの暮らしを選択するのかの発言があまりに少ないように思います。私自身も原子力発電に関しては大きな不安を感じているので、出来ることなら別のエネルギーの選択をしたいと思いますが、かといって代案の妙案が有るわけでも有りません。 国民がどんな社会をこれから作り、どんな暮らしを選択するかの議論無しに、ただ原発の反対を訴えるだけでは問題の解決にはつながりません。 経済的な議論だけで原発の稼働を決めるような、そんなことにならないことを望みます。ただ、そちらへ行きそうな恐ろしさを感じています。 憲法では国民主権と言っているのに実際の社会ではそうならないもどかしさを感じます。 力のある方の判断に流されている現在の日本の社会を悲しく思います。
31616	個人	自営業	40代	男性	脱原発100%を希望します。 地域ごとの小さな単位での太陽光の蓄電、小規模な水力の発電など、自給自足の地域版のような。 具体的には地域の田んぼや防火水槽などを使った発電など。	おかしな電力の仕組みがあるとききました。 電力会社は、コストがかかったらその分(3%)だけ、利益に上乗せできると。だから、喜んでコストのかかることをする(原発はその典型)。 電力は本当は足りているのに、不足を強調して、おかしな論調をつくっていること。 大きな仕組みではなく、大きな災害でも対応できる、小さなエネルギー、食糧、物資の自給的な仕組みをつくっていくこと、そこに雇用が生まれること、その積み上げが大切だと思います。 大きな組織や力は素晴らしいこともできますが、とんでもない不可抗力的な恐ろしいこともしてしまいます。 小さくても、続いていく仕組みをつくること、これからの人たちのこと、未来のことを思いやる＝いつも、人のことを思う習慣が必要。組織も。 具体的な仕組みについてはわかりませんが、多くの方が知識と技術を持っておられるはずです。それを、うまく舵取りしていくのが、国の役割だと思います。

31617	個人	会社員・公務員	20代	女性	1ゼロシナリオを選択します。	日本に原発はいらない。 また大きな地震がいつおこってもおかしくないのに、原発を稼働し続けるのは何のためですか。 また福島原発事故のようなことが起こるかもしれない。 起こらないかもしれない。 多くの人が命を落とすかもしれない。 落とさないかもしれない。 故郷を失うかもしれない。 失わないかもしれない。 原発は絶対安全かもしれない。 安全ではないかもしれない。 未来に起こることはわからない。 今こそ国民の多くの声を聞いてください。 利害よりも、国民の望むことを。 他国に頼ってはいられないのです。日本は国民自身が守らなければならないのです。
31618	個人	自営業	20代	女性	原発はゼロにすべき。 そして停止中の原発の再稼働は福島第一原発の事故処理がすべて解決した後にすべきです。大飯原発の再稼働は早すぎたし、まったく正当性の無いものだと私は思います。	福島第一原発の事故があって、地震国である日本でいかに原発が大きなリスクを抱えているのか再認識をしました。 原発を新設する予算があるなら、すべて福島第一原発、そしてもんじゅのような不安定な原発の解体に まわしてほしいです。
31619	個人	自営業	20代	男性	2030年までに原発依存度をゼロにすべきである。	福島第一原発事故を見る限り、現在の原発の安全性が保たれているとは到底言えない。安全性を確保するために、相当のコストがかかるので、原発による安心安全の安い電気代はありえない。仮に、耐震、免震技術が保たれ、原発が稼働されたとしても、使用済み核燃料の問題が解決できていない。完全に処理するのに一体どれくらいのコストがかかるのか、世界的に見ても、埋蔵ウラン量やそのコストを考えると、原発の寿味期限は40年くらいではないか。ましては、プルトニウムの拡散防止も考えなければいけない。 ましては、CO2排出は、発電だけではない。自動車等のCO2排出を抑えなければ意味がない。であるのなら、莫大な原発事業の予算を、再生エネルギーに特化すべきである。ソーラーパネル、電気自動車、蓄電池が各家庭、並びに地域社会に爆発的に普及させ、更なる技術革命を起こすべきである。 原発の既得権益を壊し、新たな既得権益を生み出しても、安全に暮らせる社会を作るためにも、ただちに方向転換すべきである。 日本を変える、最後のチャンスです。よろしくお願いします。
31620	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力は維持し20～25シナリオで進め、省エネを並行して推進する。	現状の原子力以外の水力・火力発電では、電力事情を考えると非現実的。また、火力発電に頼った場合の環境問題は、CO2問題で後世代に与える影響も懸念されるので25シナリオで進めるべきと思う。
31621	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発には絶対反対です。即時全面廃炉に向けて進むべきです。それ以外の道はありません。	どんな理由があろうと、この日本国が、この地球が、子ども達の未来が、取り返しの付かないことになる可能性のあることは、原発であろうとなかろうと、絶対にしてはいけないことは、正常な神経の人間なら、意見の相違があろうはずのないことと思います。
31622	個人	自営業	40代	男性	原発はいりません。0%にして欲しい。	ゼロシナリオを支持します。 全ての原発の即刻停止、廃止、解体を希望します。 0%でお願いします。 非常にコストもかかり、一部の人間の儲けの為に地球と全人類を犠牲に出来ません。
31623	個人	自営業	30代	男性	原発ゼロを強く希望します。稼動しているものは今すぐにでも止めることを希望します。	人間が、自然災害をすべて食い止めることは不可能であり、原発を絶対に安全なものにするということは出来ない。自然災害や人災などにより、重大事故が起きたときに、止めることさえも困難である原発。風土、生物、暮らし、今と未来に対し、取り返しのつかない甚大な被害をもたらす原発を、福島の事故がおき、その現実、影響、人の技術や運営能力の限界、人の無力さを気づかされたこれからも使い続けるということは、あまりにも無責任であり、子供や後世に対し何の言い訳もできない愚かな行為である。安全なものに処理することができないのに、核廃棄物をだしつづける行為も同様である。原発はすぐにでもゼロにしなければなりません。 原発をやめ、再生可能な自然エネルギーを促進することで技術を高め、上手に普及し、それで得られるエネルギーの範囲内で、省エネルギーなど工夫をしながら人間らしく生きる日本の暮らしを望みます。 先祖から受け継いだ自然豊かな日本を、少しでも良くして（最低でも悪くせずに）、後世に受け継いでいかなければなりません。
31624	個人	家事専業	50代	女性	「ゼロシナリオ」を選びます。	「安全」に絶対がないことを今回の事故で証明されました。 一度起きたら取り返しがつかないことを、無知と無関心であるがゆえに許してしまった事を悔いています。 日本の未来を背負う子ども達、これから生まれてくる子ども達に負の遺産を残すわけにはいきません。
31625	個人	家事専業	40代	女性	(1)のゼロシナリオを選択します。	(1)のゼロシナリオは2030年までに原発を0パーセントという内容でしたが、私は直ちに0パーセントにしていただきたいと思っております。ただ、この3つから必ず選べというのであれば(1)を選択します。理由としては、京都大学の小出裕章助教がおっしゃっているように「政府の統計局のデータに基づく限り原子力発電所を全廃しても電気は足りる」からです。また、CO2排出量の削減についても京都議定書を順守しようとしているのは日本くらいのものだときいています。なぜ、CO2の排出量の削減というこのような不利な条件を日本だけが守っているのでしょうか？また、電気料金がアメリカの2倍、韓国の3倍であるのに化石燃料は燃料費が高くつくと言っている電力会社にも疑問を感じます。私にはCO2の排出量や化石燃料の原料のコストなどを理由に原発が必要であると誘導しているように思えてなりません。セシウム137に関して言えば広島原爆の100発分を超える量が放出され、さらに、大量の汚染水が海に放出されました。汚染食品がザルのような検査で全国に流通し、今後どのような健康被害が出るか未知数であるにもかかわらず、なおも原発を推進しようとするなどありえません。広島、長崎でもチェルノブイリでも健康被害の詳細は隠されたままです。たとえ死に至る病でなくとも慢性疾患を持つことがどれだけしんどいことかわりますか？私たちは電気によって便利な生活ができています。しかし、命がなければ電気は使えません。命か電気かという2択であれば みなさん間違いなく命を選ぶでしょう。
31626	個人	会社員・公務員	40代	男性	資料「エネルギー・環境に関する選択肢」から「原発ゼロシナリオ」を支持します。	第二次大戦の敗戦を機に、高度経済成長という右肩上がりの時期を経て、現在の日本はあります。 経済的に豊かになり、総中流国家と自称するほど貧富の差の激しくない、平等で幸せな国を先人たちは築いてくれました。 個人的には原子力発電がその下支えとして重要であったというこれまでの経緯を否定するものではありません。 ですが躍進するアジア各国を相手にして、これまで同様の経済的優位を維持することが現実的であるとは到底思えないのです。 かつて我が国がそうしてきたように、自然環境の保全を無視し、健康被害を無視した労働に支えられ、途上国の経済は「安価であること」を武器に挑んできます。 我々がそれにどうやって勝てるというのでしょうか。 「経済的に豊かであることがすなわち我々が豊かであること」「頑張れば頑張るだけ経済が伸びる」時代は終焉を迎えるのです。 であるならば、我々は経済で優位に立たずとも豊かで幸せな国を目指すべきではないでしょうか。 我々は変わらなければなりません。変化をはじめなければなりません。 フクシマの被害を単に発した「脱原発」がその変化の端緒となりえると私は考えます。 敗戦という困難が我々日本人を炊きつけたように、我々に省エネルギーの足かせがあっても日本は再生します。 それはこれまでの経済成長の延長線上にはない未来かもしれません。 一億総中流とは異なる未来かもしれません。 ですが、我々に変化は必須です。同じ事を同じように積み重ねていく時代は終わったと思うのです。 原子力発電はやめようと思ってもすぐには止まりません。いま始めることが重要です。 また原子力村と呼ばれる産業構造はまさに「これまでの経済成長の澱」のようなものです。 これを消し去るために、原子力エネルギーからの完全な脱却を支持します。
31627	個人	学生	10代以下	女性	「原発ゼロシナリオ」を強く推進します！	今までは電気の無駄遣いをしてきたから原発の力を借りなければならなかった。 でも、無駄遣い分の電気と引き換えに、原発のない安全な日本を得ることができるなら、迷わずに無駄遣いの電気を減らします。 もし節電するだけでは、やっていけないというなら、安全な再生可能エネルギーを使えば良いと思います。 昔は原発がなくても、生活することはできたのです。 原発は生きるために必要不可欠なものではありません。 それなのにわざわざ危険なものを日本に設置している意味は、果たしてあるのでしょうか…？
31628	個人	会社員・公務員	50代	男性	2030年段階の全電源に占める原発の比率について、0%にすべきと考えます。できれば、もっと早く原発を0パーセントにし他の安全なエネルギーに替えたい。	福島の事故を通して、原子力発電は制御不能で大変危険なエネルギー発電であることが判明しました。災害に対して万全な対策が取れない、廃棄物の安全が将来的に確約できない、一端事故が起こると対処できない、といった理由から、早期に原子力発電をやめるべきと考えます。 原子力推進や維持管理にかけるお金を、より安全で恒久的に使えるエネルギー開発と推進にかけることをお願いしたい。日本の人間力・技術力があれば、それは十分に実現可能です。日本国政府なりのことを率先して示すことは、原爆や原発事故で被害にあった方々への責務であるとともに、世界全体への貢献になると考えます。 ぜひ、将来にわたっての人類の幸せという大きな視野に立ち、良識ある判断をしていただきたいと切に願います。
31629	個人	会社員・公務員	40代	男性	「3つの選択肢」いずれにも反対。福島の事故を教訓に原発の安全技術を高め、高速増殖炉の実用化を視野に入れた原子力の活用を含め、原子力による電力供給システムを継続・発展させていくべきだ。	今後の原発政策について、政府の「エネルギー・環境会議」は、2030年のエネルギー・環境に関する「3つの選択肢」（原発依存度を基準に、(1)原発ゼロシナリオ、(2)原発15%シナリオ、(3)原発20～25%シナリオ）を提示し、国民にパブリックコメントを求めた。原発ゼロを支持するパブリックコメントが7割を超えるという報道もある。 しかし、私は「3つの選択肢」いずれにも反対する。枝野幸男・経済産業相は7日、原発依存度をゼロにしても「経済的にはむしろプラスになる」などと発言したが、これは根拠なき、実態を無視した精神論だと思う。 日本総合研究所の試算によれば、現時点においても、燃料費の高騰を電気料金として回収するには、電気料金の3割程度の値上げが必要となる。さらに、2030年に原発ゼロを実現した場合、生産コストは企業全体で5.4兆円、うち製造業は2.5兆円上昇。企業の海外流出が避けられなくなり、結果、2030年のGDPは最大45兆円分押し下げられてしまうという。 太陽光発電や風力発電への性急なシフトが、どれほど国民への経済的負荷をかけるか、政府は冷静に見つめるべきである。原発への不安を煽るマスコミ報道に踊らされて、「民意」に従ったというアリバイをつくって脱原発に舵を切るならば、日本経済の成長を阻害し、失業者を生み出す「国策不況」となってしまう。無責任極まりない。 稼働率が不安定な再生可能エネルギーの不安定性をカバーするために、結果的に化石燃料への依存度を高めることになり、日本のシーレーンの危機が、エネルギー安全保障の危機に直結して、国の命運を他国に任せることになってしまうならば独立国家とは言えまい。 海外に目を向ければ、原発の重要性ならびに必要性は明らかである。インドでは7月末に、送電設備や発電所の整備の遅れから大規模停電が起こり、国民の生活に多大な被害が出た。インド政府は、エネルギーの安定供給のため、2050年までに原発比率を25%に上げる計画を持つ。韓国でも、猛暑に伴い電力需要が増大し、韓国政府は8日、点検中の事故で2月から運転を止めていた釜山の古里(コリ)原発も再稼働することを決めた。 新しい有力な発電技術が確立していない以上、福島の事故を教訓に原発の安全技術を高め、高速増殖炉の実用化を視野に入れた原子力の活用を含め、原子力による電力供給システムを継続・発展させていくべきだ。 そうであってこそ、現在の豊かで文化的な生活を維持できるのではないのか。ぶれることなく政府は震災前、あるいはそれ以上の原発比率を目指すべきだ。
31630	個人	自営業	40代	男性	原子力損害賠償支援機構法を実現するための本法改正に反対します。	原子力損害賠償支援機構法は、民間の株式会社であれば当然あるべき形（債務超過だったら会社更生法で破綻処理）を無視し 東電ステークホルダーを救済することが目的の法であり、一般国民と東電利用者に不当に賠償金を負担させるものとなっています。 本来東電という企業が負うべき痛みまでも、国民と利用者に押し付ける枠組みには、国民として納得いきません。 このような悪法には断固として反対します。
31631	個人	自営業	60代	男性	ゼロシナリオで行くしか無い。 使用済み核燃料の処分方法も無く 永久的に管理せねばならないというだけで原発は全てストップするのが当り前。一部でも稼働させれば日本人の悪い癖でのど元過ぎればになる。	日本国民の多くは 便利な生活をしたいからといって危険な消費者金融（原発）へ頼るようなバカではない。 足りなければ足りない程度の生活レベルにすればいいことであって、いつもいつも右肩上がりの生活が当然だと思っているのは拝金主義の犯された一部の経済界や政治家だろう。 百相も 国民にこの夏は我慢してみんなで乗り切ろうと伝え 大飯原発も稼働させない方法もあったのに 原発ゼロで乗り切られるのを恐れ 動かしてしまった。 せっかくの国民の覚悟をそらせ 原発の稼働に対する拒否感をそらさせたのは卑怯ないやり方だ。 一部の企業の利益の為に国民に多大なリスクを犯させる危険なものを認めることは即刻やめる。 最近やたら テロテロと国が先頭に立って危機感をあおり防衛費を増やそうという動きがあるが 原発こそもっとも大きな危険施設だということがはっきりした今こそテロ対策としても即廃止。 いまこそ再生エネルギー関係の後押しを進め新規事業を活性化し 原発に頼らない国作りに取りかかるべき。 そうしないと エネルギー部門でも国民の道徳意識レベルでも世界のお荷物国家になってしまう。
31632	個人	家事専業	40代	女性	原発事故から日本人は多くを学んだはず。現状維持の安心感によりかかってる場合ではない。 高リスクな原発への依存は幸福にはつながらない。脱原発を目指し安全なエネルギーによる経済的発展を果敢に選択しよう。	福島の事故によってもたらされたのは、汚染された国土、被害地域の住民の方々の先の見えない苦しみ、そして健康や食に不安を抱えた多くの国民です。 このように国土と国民を長期間脅かすような事態が「人災」によって引き起こされたことを、私はつくづくやり切れないと感じています。 きっかけこそ天災（津波）でしたが、原発事故はリスクの高い発電方法を危機感なく運用してきた日本人の責任です。 私は原発に不安を感じながらも、原発による電力を使うことに甘んじてきました。そこに選ぶ自由がなかったからではありますが、それでも、自分たちの使う電力のために原子力発電所周辺の人々を高い危険にさらしていることへの危機感が足りなかったと猛省しています。 今、選ぶ自由があるのなら、迷わず選択したい。 私は、原発依存度ゼロを目指す道を支持します。 原発はあまりにもリスクが高く、そして運用するのは神様ではなく私たち人間です。 福島の事故以来、各電力会社や関係者の失態を多数目にしました。あの隠蔽体質や安全への危機感の薄さを変えるのは容易なこととは思えません。 しかし、彼らだけが義務から特殊な人格だったわけではなく、人は誰もが立場が変われば彼らのように、今行っていることを最善と信じて現状を守ることに固執し、危険を忘れて先行きを楽観してしまう可能性があるのです。 それを思えば、原子力という超強力な諸刃の剣を、人が清く正しく安全に操るなどとは、それこそ神話のように聞こえてしまいます。 ましてや地震大国の日本で、事故再発の確率をゼロとは言い切れません。 もし再発すれば、国力はより大きく削がれるでしょう。今必死で維持しようとしている経済も国民生活も、今度こそ壊滅的になってしまわないでしょうか。 残されるのは放射能にまみれた国土と、それでもそこで暮らさざるを得ない国民です。 資産のある人は、この国から脱出をはかるでしょうが、私を含む富を持たざる多くの人は、汚れて危険な国土に住みつづけるほかないのです。 長期的安定的な幸福を追求する賢い人類ならば、このような高いリスクを伴う発電を維持し続けることを選択するべきではない、と私は考えます。 逆に、原発というリスクを取り続けることで私たちが手に入れるのは「持続的な経済的成長」、または「現状を変えないですむ安心感」でしょうか。 経済的には確かに脱原発によって競争力を失い一時停滞する恐れはありますが、成長の道を断たれるものではないと思います。 安全なエネルギーの開発・低コスト化や省エネルギーを追及することによって新たな発展が促され、環境負荷の少ない長期持続可能な産業の形態にたどりつくなら、それはより安心で幸福感を伴う生活につながります。その方向で、この国よりも先端的であることを目指したいものです。 優れた日本の技術者ならばきっとリードできると期待し、またそういう技術を応援する消費者であろうと思います。 そのためには現状を積極的に改善していく果敢な心が求められますが、これこそ成長する生き物である人間の面目躍如であり、イノベーション大国への道のりです。 個人的には、あの原発事故を目の当たりにしながら「現状を変えないですむ安心感」などを弄んでいる場合ではない、と声を大にして言いたいです。 人は学び成長する生き物だと、私は信じたい。 現状を改善するための努力ができます。過去の失敗を糧に、リスクを排除し、より幸福を感じる道へ軌道修正ができます。 今、福島の原発事故という過酷すぎる教訓を得た私たちもよりよい方向に舵を取り直したいです。

31633	個人	無職	60代	女性	原発はゼロにして、もっと再生可能エネルギーの開発を推進すべきです。地震国日本に原発は危険すぎます。その上、使用済み燃料は適切な処理方法がないまま増え続けています。後世の人々にも責任を持つべき。	私たちは、地震国日本には原発は危険すぎると、福島の事故で思い知らされたのではなかったのでしょうか？事故時の対応もあまりにもお粗末で、今もなお原子炉の中の状態さえわからず、収束したとはとても言えません。 福島原発は、地震、津波、活断層等々、信じられないほど杜撰な調査、予測に基づいて建設されましたが、他の原発も同様ではないかと疑われます。にもかかわらず、事故からわずか1年余りで、何を根拠にしたのか、「安全が確認された」として大飯原発を再稼動してしまうとは、事故から何の教訓も学ばなかったのでしょうか。 また、使用済み燃料は、再利用もおぼつかなく、適切な処理方法も見つからないまま増え続けています。この膨大な量のとんでもない負の遺産を後世の人々や生物に残すのは、あまりに無責任で恥ずかしいことではありませんか？ 事故が起きた場合や廃炉などの費用を考えると、原発は経済的とはとてもいえないでしょう。これまで原発を国策として突き進んできましたが、今後は再生可能エネルギーの開発にもっと力を入れていけば、産業も雇用も生み出すことができるはずです。 現代社会は何とエネルギーを浪費して成り立っているのかと思えてなりません。昨年の計画停電のように無理して節電しなくても、林立する高層ビル、明るすぎる照明、ききすぎる冷暖房、多すぎる自販機等々、節電できるところはいくらでもありそうです。 今、もう一度、エネルギーを浪費する社会、私たちの暮らしを真剣に見直すべき時だと思います。問題の多すぎる原発にいつまでも頼っていていいはずはありません。 原発事故を起こしてしまった日本だからこそ、世界に向けて原発ゼロを示すべきです。 ※　※ これまで政府のしてきたことを考えると、国民の声がどれだけ反映されるのか、残念ながら、全く信用できません。それでも、ひとこと言わずにはおれませんでした。
31634	個人	無職	60代	法人等	原発事故の恐ろしさを、子供たちへの影響と海外、特に日本海沿岸諸国への配慮から考察し、0シナリオを支持する意見。	私は、元教師で現在66才の年金生活者です。 先日、買い物に行く途中、小学校の横を通ると「雨上がりで水たまりがあるから、運動場での遊びは足下に注意しましょう」、という放送が聞こえました。その時、目に見えない放射線のため、校内での遊びを余儀なくされる福島の子供たちのことが思われました。子供は外遊びはもちろん、危険スポットといわれるような隅っこや物陰が好きです。日常的な被曝の影響は、成長期にある子供は我々老人とは比較にならないと聞いています。また、好きな遊びを好きなところで出来ない子供への影響は身体的な面だけではなく精神的な面でも計り知れないものがあると考えます。 次に福井県大飯町での原子力発電再起動についてです。東日本大震災での漂流したサッカーボールが北アメリカに沿岸に漂着し、それが元の持ち主に返却されたという報道を見て、目に見えない放射性物質も流れているのだろうなと考えていました。今日本は福島であれほどの事故を起こしながら、大飯の原発を国民の生活を守るためと言う名目で再開しました。もし、事故が起きたら、内海と言われるような狭い日本海のあちらの朝鮮半島や中国沿岸への影響はどうなるのでしょう。先の大戦であれほど迷惑をかけた東南アジアの国々にどのような申し開きが出来るのでしょう。 私は、福島で原発事故が起きたとき、チェルノブイリやスリーマイル島の事故を思い、我が国のような技術先進国でよかった、国や東電はきちんと事故処理をするだろうと考えました。しかし、その信頼は見事に裏切られました。日本を信じ支えてきた国民として、福島に住む同胞をこんな苦しい境地に追いやってしまったことを心底情けなく思います。どうか、日本に技術立国の意地を見せてください。それは将来を背負う子供や近隣の国々に不安を抱かせるようなやり方ではなく、安心・安全なエネルギーの一日も早い技術開発です。どうか、私達国民に国を誇るじを取り戻させてください。そのためには、少々不便な暮らしも、高いエネルギー費用も、協力しようと考えています。 上記のような理由から、私は0シナリオを支持し、むしろ一日も早い脱原発を願っています。国の仕事の第一は、国民に安心な生活を保証することではありませんか。将来を背負う子供や近隣諸国の人々に不安を抱かせるようなことでどうするのでしょう。
31635	個人	無職	70代	男性	原発ゼロシナリオ 福島原発事故の原因が明確になっていない段階での再稼動は許されない。	福島の例に見られように、原発事故は一度おきればその影響は世界に広がり人類に多大な影響を及ぼし、収拾できなくなる。 太陽光・風力・小規模水力などの自然エネルギーを活用した発電所を増設すれば原発はなくても必要な電力を確保するができる。 また、核燃料リサイクルについてもただちに中止すべきである。
31636	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオ（即時）、いつ自然災害が起こるか分からない日本列島に、原子力発電所があることは危険だと思います。一刻も早く原発ゼロをめざすほかに未来はないと思います。	原発ゼロシナリオ（即時）、いつ自然災害が起こるか分からない日本列島に、原子力発電所があることは危険だと思います。一刻も早く原発ゼロをめざすほかに未来はないと思います。 原子力発電所のような負の遺産を残す事は、子供たちにも申し訳が立ちません。
31637	個人	自営業	70代	男性	原子力発電設備は、冷却機能が維持できれば、安全・安心な設備である。原子力系を主軸に新エネルギーとのベストミックスで電源を構築する。放射線の人間健康の影響を、国内外の研究資料を調べ、公表する。	イ、昨年3月11日地震発生時、東北地方では11基の原子力発電設備が稼働しており、全てが設計通りのプロセスで運転停止し、次の冷却機が稼働した。 約1時間後に襲った、津波により、各発電所の冷却機のは損害を受けたが、東電福島以外は臨機応変に対処し、完全に冷態状態となった。ロ、さらに今回の地震による設備の損傷は見当たらない　ハ、冷却機能維持技術並びに管理法は、既存技術で対処できることは明白である。ニ、したがって、エネルギーの選択を行うに当たって重要となる4つの観点（エネルギー・環境会議、H23．6．29）からも、原子力発電が最もすぐれている発電設備といえる。ホ、更に、該設備は、単基発電能力が、代替エネルギー装置に比し、飛びぬけて大きい。我が国の増大するエネルギー需要応えうる設備である。重化学工業、大型製造工場への電力供給能力は、これを代替エネルギー供給装置に振り替えることは不可能である。ヘ、原子力発電設備にかかわる研究開発は、従来通り推進するとともに、さらに都市型発電設備の開発を進め、送電ロス低減をはかる。 ト、エネルギーネットワークの最適化を図る。分散型と集中型とを、新エネルギーとの兼ね合いで最適化をはかる。チ、放射線量と人間の健康への影響については、我が国の広島、長崎の事象、古くからのラデューム温泉治療効果、10年来の宇宙飛行士ハ1回のフライトで100mmシーベルト受けてイ有り、当然健康調査を行っている。10年来の研究資料がある。オックス大学名誉教授アリソン氏は、その著書で福島の放射線規制は過剰で歯にかと明言している。このほかに内外の権威者が意見を表明している。これを国は整理し国民任示さねばならない。膨大な国費を注入している。規制の見直しは、喫緊の課題である。リ、我が国の、優れた原子力発電技術を、世界各国に提供し、地球　エネルギーーの安全・安心の具現に提供すべきである。
31638	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	核のゴミ処理（リサイクル）の方法が確立していない以上，これ以上，原発を動かし，核のゴミを将来の日本人に残すことに賛成できません。ぜひ「ゼロシナリオ」の選択をお願いしたい。	「原発は安全である」ということは福島の事故で言えなくなりました。目に見えない放射能では，問題が起きてからでは遅げようもありません。そして，放射能の影響は私たち大人より，子ども達が多くの影響を受けます。また核のリサイクルももんじゅの事故以来進んでいないように思います。核のゴミを増やし続けることは将来の日本に大きな負担になるように思います。今からでも遅くありません。「ゼロシナリオ」を選択し，自然豊かな日本を将来の子ども達にぜひ残して欲しいと思います。
31639	個人	無職	60代	男性	1原子力発電も事故を起こせば核兵器と同じ。 2原子力発電による核廃棄物の処分が基本的に出来ないかぎり、これ以上核廃棄物を出さないことだと考える。 3従って、脱核兵器、脱原発を早急に決めること。	(1)原子力による工業エネルギーを社会問題にするが、原発から発生する核廃棄物についてどうするのか、政府も経団連等も問題提起をしない。マスコミも話題にしない。原子力エネルギーについて国民に意見を聴く場合、核廃棄物の実態も公表し、総合的に意見を聴くべきだと考える。 (2)核廃棄物は、人類の生存と共存出来ないものであり、核廃棄物の処分問題を先送りにしてはならないと考える。以上
31640	個人	会社員・公務員	30代	女性	もんじゅは廃炉にした方がいいとおもいます.	どこの国も危険だからと手を引いた事業に，日本が自らを犠牲にする必要はないとおもいます.
31641	個人	その他	40代	男性	3案のうちではゼロシナリオ.	3案のうちではゼロシナリオが全く不当である。震災のみならずテロの危険をも勘案するならば、原発自体をなくすべきである
31642	個人	法人等	50代	男性	「原発ゼロシナリオ」に賛同します。 原子力は、最終処分までの過程を安全に処理する方法が確立されず、大きなリスクがあります。 次世代への不安を無くすためには、脱原発以外選択肢はないと思います。	内閣官房参与を務めた田坂広志氏の新書「官邸から見た原発事故の真実」を読みました。今まで、覆い隠してきた、原発の課題が明らかにされ、それに対する答えもないまま、再稼働を進めるのは、あまりに不安です。 エネルギー不足が、言われますが、真摯に脱原発の政策を明確に打ち出せば、それなりに対応する力が、日本人にはあると思います。事故が起こってからでは、取り返しがつかないことは、明白になりました。そのリスクと新たなエネルギー対応する苦労を比較すれば、後者の方が、苦労のしがいと、日々の不安から逃れる方法であることは、自明だと思います。 子孫になぜ、あれほどの事故がありながら、何も手を打ってもらえなかったのかと、非難されることほど、悲しいことはありません。改めるに遅いことはありません。 今まで、原発に依存してきた地域では、大きな雇用問題が起こり、死活問題となることでしょう。代替エネルギーのコスト高により、光熱費の負担増にもなるでしょう。エネルギー自体が不足し、計画停電を甘受することになるかもしれません。 それでも、あえて脱原発に進むべきだと思います。この自然災害銀座の日本において、安上がりであるから原発を継続することは、あまりに不安。それは、立地周辺だけでなく、全ての地域の不安であると思います。目に見えない放射能の不安の中に生きるのは、悲しいです。 是非、脱原発に向けて、明確なかじ取りをお願いしたいと思います。
31643	個人	会社員・公務員	30代	女性	3つの選択肢のなかでは「原発ゼロシナリオ」を支持しますが、それに加え、地球環境を汚染しない自然エネルギーの開発・普及により一層力を入れて欲しいです。	昨年の震災での原発事故が記憶に新しく、その検証も補償も充分行われていない中、原発を利用したエネルギー政策を維持することは絶対容認できません。 長年コマーシャルされてきた「原発は低コスト・低環境汚染」という言説は必ずしも真実でないことが明らかになってきています。 国民の多くが不信感を持っています。 使用済み核燃料の処理についても確実な方法がありません。現時点で後始末ができないものを、だましだまして使い続けることには大きな疑問を感じます。 原発輸出への影響や他国との軍事技術的なバランス、利権ありきの原発維持政策は、第1に守るべき国民の安全な暮らしを無視しているように思えてなりません。 ぜひ、民主党政権には「原発ゼロ」および「自然エネルギー立国」を目指す宣言をして欲しい。 現状ではズルズル原発を使い続けてきた自民党政権から何も変わりません！！！ より早い段階での脱原発に向けて、時間的・数値的目標を明らかにして欲しい。 これまで給付金や雇用と引き換えに僻地に押し付けてきた原発から、みんなが安心して住める日本を目指す新しい提言をして欲しい。 自然エネルギーの更なる研究開発は新しい国のビジネスモデルを生むだろうし、原発の安全な廃炉に向けた研究・作業は、これまで原発で働いていた人への雇用確保にもなると思います。 震災後、日本が生まれ変わる姿を世界に知らしめるチャンスだと思います。どうかお願いします。
31644	個人	自営業	60代	男性	エネルギー政策に関する原発シナリオにつて、あえて選ぶとすればゼロシナリオです。基本的なわたしの考えは、原子力利用の禁止を提案します。	人類が核エネルギーの解放技術を手にしたときから、人類の悲劇が始まったと言えます。ロスアラモスでの核爆発実験以来、ヒロシマ、ナガサキ、ビキニと核エネルギー利用（軍事的、産業的）に伴う「死の灰」被害は人類の生存そのものを脅かし、、人間の力では回復不可能な環境汚染とそれに伴う健康リスクを日々強要する事態を進行させています。究極の公害とかつて武谷三男博士が警告したゆえんであります。 あるレベル以下は被害が実証できないから危険とはいえない、との理屈で“安全とみなし”て自先の利益だけで利用を是認する考え方は、人のいのちや健康を「売り買いできる」品物と同じ扱いにするものであり、ひとり一人の人権を侵害して恥じないものの論理です。 今必要なことは、安全の保障のないまま、便利さだけを尺度とするような選択を国民に求めるまやかしをやめて、未来の子ども達、孫達、子孫達に責任の持てる自然と共生した行き方、文化をどう創るか、国民的な議論をすべきでしょう。 核エネルギー利用の問題を目先の電力需給論やエネルギー資源論の中に矮小化することは許されません。というより、そのような議論に閉じこめようとするやり方は公平ではありません。「原子カムラ」という言い方が流布されていますが、今回のようなシナリオを選択させるやりかたこそが、「原子カムラ」を印象づけるやり方と思います。 本当に、国民の将来にわたるいのちと生活にとって安全で豊かな社会、国際的に尊敬されうるやましがられる自然資源豊で文化的な日本を作るために、根本的な議論を勇気を持ってすべきでしょう。 原子力基本法があるからなどと狭隘な考えを言わないでください。必要なら法律はけければいいのですから。ヒロシマ、ナガサキ、ビキニ、そしてチェルノブイリ、フクシマと核の参加を経験した私たちこそがが、核エネルギー利用の禁止を世界に宣言し、国際的な合意を作る活動をすべきです。 2012年8月9日　被爆67周年　長崎忌
31645	個人	会社員・公務員	10代以下	女性	原発ゼロシナリオを選択する。 ただし、原発をゼロとする時期については、即時とするべきである。	(1)事故リスクが大きすぎる。 福島第一原発の事故により、今もなお16万人が2011年3月10日まで暮らしていた地域に戻れないでいる。福島第一原発がまき散らした放射能は東日本全域に及び、河川や湖沼、太平洋までも汚染している。大気中に放出された放射能は、地球を何度も回って世界を汚染している。 食品は放射能で汚染され、日本列島に暮らす市民は、その汚染された食品をやむなく摂取すべき状況に追い込まれている。また生産者は自ら生産した生産物が忌避されるという事態にさらされている。漁業者の中には、未だ漁業を再開出来ない方も多い。 原発の事故は、事故が起こったら取り返しがつかず、誰も責任を取れない類の事故である。 (2)福島第一原発の事故の原因が究明されていない。 国会事故調査委員会の報告書は、「福島原発事故は終わっていない」としている。政府の事故調査・検証委員会の最終報告でも、事故の原因究明が十分には行われていない。加えて、福島原発事故を教訓とした新たな規制が定められたわけでもない。 このような原発事故の再発を防ぐ事は出来ない状況下で原発の運転を再開するのはもってのほかである。 (3)核のゴミを次の世代に押し付けてはならない。 使用済み核燃料は、再処理をするにしても直接処分をするにしても、何万年もの間、管理しなければならない。原発の稼働期間は40年に過ぎず、そのわずか40年のために、何万年にも及ぶツケを、次世代に残してはならない。放射性廃棄物をこれ以上作り続ける事は、許されない事である。
31646	個人	会社員・公務員	30代	女性	自然エネルギーに転換すべき	この先、人口が減っていく日本で、重厚長大なものは時代遅れです。 地域でエネルギーをつくり、地域で消費する、再生可能な循環型の社会になるべく、まずはリスクばかり大きな原発はやめる方向で準備をしてください。 採取可能なウランの埋蔵量を試算しても、あと数十年も持たないと言います。 ウランが取れなくなったら高炉で何を燃やして原子力エネルギーを取り出すつもりですか？ 再処理工場は頻繁にトラブルを起こし、もんじゅは改修不可能な状態で、これ以上原発ばかりに頼るエネルギー社会は犠牲者ばかり増やすだけで、夢のような幸せな社会にはほど遠いです。 地震や津波や災害がなくても、ウラン採掘現場で働く人、原発の中で働く人、皆そこで働き続ける間にじわじわとヒバクしていきます。 表だってニュースや話題にもならず、問題を認識している人は少ないでしょうが、 目立った事故がなくても、犠牲になる人が確実に増えていきます。 他人を犠牲にしないと成り立たないような暮らしなら、いくら便利でラクに過ごせても、真の意味での“文化的”で“豊か”な暮らしだとは言えないと思います。野蛮で原始的な発想です。 自分さえ、とか、今だけ、を考えるのではなく、将来にわたって、自分のみならず我々日本人、ひいては地球に生まれて育つ未来の人たちが安心して住み続けていける社会をしっかり考える時期だとおもいます。
31647	個人	会社員・公務員	30代	女性	現状では安全が担保されていない技術を使い続けるのは愚かなこと。	コントロールがきかないような技術。 きちんとした治療法も確立していないような技術。 数十年どころか、何万年も処理できないような技術。 そんな技術は、いらない。 だいたい、最後に神頼みするようなものは、技術と呼べない。 コントロール法や、治療法、処理法の研究自体は続けられるべきだと思う。 それは原子力発電所を再稼働させることとは違う。 中央の人たちは、自分事化して考える能力に著しく欠けているのではないだろうか。 安全だ、問題ない、などと国民に主張する人々は、自身のみならず観競経者含め福島で日常を過ごしてみたらいい。 自分が嫌なことは、他人だって嫌なものだ。 これ以上、愚かなことを続けないで欲しい。
31648	個人	会社員・公務員	30代	男性	一次エネルギー供給の構成を提示し、天然ガスシフトを明確にすべき。分散型エネルギーシステムの構築を早期に実現するために、普及促進に向けた具体的な施策が必要である。	エネルギー選択をめぐる議論のなかで、どのシナリオにも“原発からグリーンへ”との方向性が示されている。確かに環境負荷低減・エネルギー源を多様化する側面からも、再生可能エネルギーの導入促進は大いに図られるべきである。一方で、再生可能エネルギーの普及が進むまでの、代替エネルギーについての議論も必要不可欠である。現実的なエネルギーミックスの狭として、CO2排出量が少なく、シェールガスなどの非在来型ガスによる供給拡大・価格低減も期待される天然ガスの利用拡大が期待される。しかしながら各選択肢では一次エネルギー供給の構成が示されないまま化石燃料輸入額やCO2削減量などが提示されている。そこでエネルギー選択を議論するなかでは、電力需要だけでなく、エネルギー自給率が低く、化石燃料のほとんどを輸入に頼っているわが国としては一次エネルギー供給全体として議論を進めていくことが重要である。各選択肢における一次エネルギー供給の構成を提示し、産業部門の天然ガスへの燃料転換、ガス空調の導入拡大等により省エネや省CO2、電力ピークカット等に貢献することができる天然ガスの利用拡大を明確にすべきである。 全ての選択肢においてコジェネを全電力量の15%まで拡大することや、家庭用燃料電池を530万台（全世帯の1割）普及させることが明記され、分散型エネルギーシステムの構築を実現するための方向性が示されたことは高く評価する。しかしながらこ数年は原油価格の高騰の影響等により、天然ガスの原料価格も高止まりにあるため、天然ガスコージェネレーションの競争力が落ちていることもあり、高い導入目標でもあるコジェネについて電源構成比15%を実現するためにも具体的な施策が必要不可欠である。

31649	個人	会社員・公務員	20代	女性	ゼロシナリオ以外、選びません 原発再稼動には反対です	原子力発電では、必ず誰かが被曝しなければなりません。 その被曝が必須な作業員が、 東電の社員ではなく、下請けの下請けの、そのまた下請け というような乱暴で雑なやり方が通っていた、今までが異常です。 作業員の健康のことを、完全に無視していますね。 原子力による発電は、そのような犠牲の上に成り立つエネルギーです。 原発事故の少し前、原発のCMを見て、家族と雑談しました。 その内容は、核廃棄物のことです。 CMでは、「地層処分だから、安全です」とアナウンスしていました。 埋めて保管するしかやり方がない、とんでもないものが廃棄物として 出てくる。これがまずおかしい。 そして、日本は地震の多い国です。 埋めて安心、などということがありますか？ 地震によって、地中に埋めた核廃棄物の保管容器が破損する恐れだってあります。 どうして、これで安全だなんて言えたのでしょうか。 御上は、どうしても原発を再稼動したいようですね。 利権が絡んでいるからですね。 国民を捨てて、利益を取るなんて、もう、人間とは思えません。 この「ご意見募集」だって、ここにたどり着くまでに随分かかりました。 しかも、インターネット環境が無い人は、意見も言えないような仕組みです。 郵送やFAXを受け付けてはいるようですが、この様式をダウンロードするにも、 インターネット環境が必要です。 本当に、意見を聞く気があるのですか。
31650	個人	無職	70代	男性	民族と国土の存続のために原子力発電は即刻廃絶せよ。 如何なる安全確保策もこの火山・地震列島での事故の防止には無力です。原発に対するテロは、即、核攻撃となり国防上からも即刻廃絶せよ。 原発は原爆だ。	政・官・財・巨大マスメディアの4大権力が「安全だ、安全だ」と権力・金力・情報操作で騙し続けてきた結果がこの人災であり、国民に対する犯罪である。 国民の命と暮らしを守れないどころか破壊する政・官・財・巨大マスメディアの4大権力は非国民集団であり徹底的に責任を追及し糾弾されるであろう。 使用済み核燃料の処理もできないままで、原発廃棄物を何10世代もの後代のわが民族と全ての生命あるものに垂れ流しすることは断じて許せない。同胞を永久に被曝させてはならない。核と地球は共存できない。 此の期に及んでも原発の存続を画策する輩、すなわち、政・官・財・巨大マスメディアの原子力村住人は日本民族と国土を滅ぼしてでも原子力発電にしがみつき、己の金銭的利益擁護にしがみつく亡国の亡者である。
31651	個人	自営業	50代	男性	原発ゼロを求めます。	処理が出来ない核廃棄物を生み出す原発は、少しでも早くクリーンエネルギーへの移行して行くのが、子孫へ残すことができることではないかと思います。
31652	個人	家事専業	40代	女性	できるだけ早く原発0を目指して進めていくべきだと思います。	使用済み燃料、放射性廃棄物の処理問題を残したまま原発を稼動し続けるのはおかしい。 人がいくら頑張っても自然の力に勝てるとは思えない。不測の事態で原発事故が起きた際に、「想定外でした。」では済まされない状況になるものをなぜ動かし続けようとするのか理解できない。 私たちが選んだ人たちが国を動かしているはずなのに、本当に国民が望んでいる方向に国が向かっているのかとても不安。
31653	個人	会社員・公務員	60代	女性	・原発は0に即すべきです。 ・自然エネルギーに方向転換していく事 ・生活の価値感を変える、	地震国日本で技術も完全にこなり得ない原発を動かす事は現時点、将来において、日本の国自体、経済、国民の生活、生きる望み、人間、動植物、大地に損傷を与え、取り返しが効きません。 今後えるエネルギーをつかいながら自然エネルギーを受け入れるべきです。そして、今のエネルギーの使い方も考えるべきと思います。体のしくみ、能力からして、快適、便利を追い求めすぎでいいものかと疑問に思います。また、今の経済活性とはどんどん作り、売りまくり、廃棄物を作り続ける事です、エネルギーの無駄使いとおもします。経済活性の考えも方向転換がいるのではないでしょうか。
31654	個人	その他	20代	男性	原発を今すぐ全部なくしてください（ゼロシナリオ）。 そして、地熱、太陽光など持続可能で資源の輸入に頼らない発電方法にお金と力を投入して下さい。	原子力発電所の利用は、資源を輸入に頼るというだけでなく、管理も難しく、使用後の核燃料の処理、保管、管理など、発電時以降も多大なお金と力が必要です。 また、末端の労働者にばかり危険が伴い、一旦事故が起きれば、発電所労働者だけでなく、周辺地域の住民などにも多大な影響を与えてしまいます。 このような課題を含む原子力発電所は、とても持続可能とは思えません。 従って、地熱、太陽光などへの環境負担が原子力に比べて小さい発電方法にお金と力を投入して欲しいと願っています。
31655	個人	会社員・公務員	40代	女性	私は、原発ゼロシナリオの選択に賛成いたします。	原発の再稼働に際しての安全確認がどのように安全と判断されたのかが不明確です。 また核燃料の処理方法も確立されているとは思えません。 福島に暮らす知り合いの方々のつらさ、苦しみはずっとずっと続いています。 避難してきている子供達も、いちいち、親に聞いてからでないと何も口にできないと言います。 このような暮らしはどう考えても不自然です。 電気による便利な生活を享受するかわりに、誰かの笑顔が奪われるとしたら・・ おのずと選択は決まってくるのではないでしょうか。 再稼働はやめ、省エネルギーの取り組みと、自然エネルギーの推進に力を注いでください。 国民はもっと協力できると思います。 どうぞ、よろしくお願い申し上げます。
31656	個人	自営業	50代	女性	即時、脱原発、原発ゼロ。	エネルギーの中央集権から地域分散に。一部の国際的企業だけではなく、地域で地産地消、完結できる仕組み作りのための産業振興を目指すべき。その中から、世界に打って出る企業が生まれるなら、地域からの卒業を支援し、新たな産業の芽を育てる循環を作る。
31657	個人	パート・アルバイト	40代	女性	原発を0パーセントに。原発関連のバラマキを新規エネルギー開発に注ぐべし。廃炉に伴う数十年で地元は食べられるはず。原子力の研究事態は継続すべき。	原子力発電所を順次止めて行き、将来的には0にするべきです。地震帯国の日本で原発を利用すること事態、非常識です。原発事故が自動車事故と比較されることがありますが、原発は事故が起こったときの影響力が違いすぎます。絶対に安全でなければ利用すべきでないのが原子力。ヒューマンエラーは無くせないし、地球規模の変動も止めることはできない以上、「絶対」はありえないのだから、利用できないのが原子力。それより原発関連に費やされるお金を新エネルギーに注ぐべきでしょう。クリーンエネルギー輸出国が日本の次の政策になるはずです。と同時に、今回の一連の件でわかったのはお金ばかり使って、結局原子力関連の研究は全然できていなかったということ。頭子に乗って使うばかりで、きちんとした役立つ研究はなされていなかった。原子力村の御用研究者はいりません。どの原発も廃炉するにも、まだまだ呆然とするほどの費用と時間がかかります。それで十分地元は食べていけるでしょう。原発推進がただのお金目当てだということをはっきりさせたければ、全ての助成をカットしてみればいいと思います。誰も賛成しなくなるでしょう。
31658	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年の原発依存率は「ゼロ」、原発は要りません！！ この度の原発事故で良く分かったハズです、事故が起これば人の手には負えない恐ろしいモノだと言う事が。	福島の原発事故から学んだ事、それは事故が二度と起こらないように安全管理を徹底する事ではありません。全ての原子力発電を止めて、二度と起こらないように完全に原発依存率をゼロにする事です。あの福島の悲惨事故は我々に教えてくれたのです。人は余りにも無力だと言う事を・・・それを思い出して欲しいのです。 日本人には素晴らしい知恵と技術があります。自然エネルギーなどの新しい産業が発展すれば、そこに雇用も生まれます。原爆と原発事故の被害を受けた唯一の国だからこそ高らかに脱原発を世界にアピールして、よりクリーンなエネルギー政策でリーダーシップを発揮するチャンスなのです！！ もう一度言います、原発は要りません！！ よろしくお願いいたします。
31659	個人	自営業	50代	男性	選択の中では「2030年原発ゼロシナリオ」を選択しますが、即刻廃炉すべきです。	日本は地震が世界で最も多い地域です。当然津波も。「想定外」ではありません。近年では4000ガルというような常識を超えるレベルになっています。耐え得る構造物はありません。地震の少ない欧州のような段階的廃炉の選択肢はあり得ません。 また原発のコストの高さはすでに「原子力のコスト(岩波新書)」などで立証されています。経済性や国際競争力からは原発を選択することはできません。 そもそもGDP成長率がエネルギー消費量を考える元になっていますが、ドイツではGDP成長率とGHG(温室効果ガス)排出量は反比例しています。GDP成長率はエネルギー消費量を減らせます。 省エネや自然エネルギーに対しても、「経済的負担が大きくなる」としていますが、わずか数年の電気料金で取り戻せるのに、なぜ「負担が大きい」のでしょうか。イニシャルコストだけで、ランニングコストを考えていないように見えます。 電源構成はピーク瞬時の電気需要に対して構成されます。したがってピーク瞬時の需要を下げれば足りるのに、年間電力消費量で考えられているようです。八幡東区で「新日鉄」などがやっているように、ピーク時の料金を10倍まで高くする仕組みを入れれば、ピークの消費を下げられます。電源構成は瞬時の対応ですからその点から考え直すべきです。 以上により、原発に依存する必然性はなく、逆に動かすことのリスクは限りなく高いため、即時のゼロシナリオを求めます。
31660	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発絶対反対。原子力村の解体。あと、2～3個原発が事故を起こせば、日本には住めなくなり、我々日本人は流浪の民となってしまう。	私は、長崎で被爆した両親から生まれた被爆2世です。この前、次女の結婚をしたのですが、被爆2世とは言えませんでした。明治維新の時からのことを考えると、結局軍人が天皇を担ぎ出して大義の御旗のもとに戦争を始めている。太平洋戦争が終わるまで、外地で亡くなった人、内地で亡くなった人は数百万人に及び、中にはノーベル賞をとれるような優秀な方も多数おられたと思われる。その後は焦土な生き残りが総理になり、佐藤総理が偽装る賞をとった。私の考えでは、このときに、すでに、被爆した日本という国に原発を最初に作り、安全神話を定着させようという目論見が至合されていたと思う。私の父母は一瞬にして、家族を失い非常にショックだったようです。父には当時3歳の長女が生き残りました。後に母と結婚してから、母としては、ちゃんと育てなければという思いで、長女は厳しく育てていました。長女は昨年、パーキンソン病とDMが悪化して、長崎の原爆病院で68歳の若さで亡くなりました。原発が54基も30数年でできたという事は、これは、自民党時代に作ったわけで、民主党は自民党をもっと厳しく追及せねばならないと思います。民主党は自民党ができなかったことのつけを今させられているわけで、もっと強く出てほしいと思います。
31661	個人	会社員・公務員	30代	女性	(1)ゼロシナリオ	二度と東日本大震災の様な事故を起こさない為に、原発に頼らない他の選択肢を考えるべきだと思う。
31662	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発、即時廃炉で！	大飯原発再稼働して火力発電8基めているということか、再稼働の必要はなかったということ。 中部電力管内も2011年5月から浜岡原発停止していても停電など起こったことがない。
31663	個人	家事専業	30代	女性	原子力発電による核のゴミ処理が、うまくいっていないように思います。生態系に多くの悪影響を及ぼす原子力エネルギーをすぐに止めて欲しい。そして、意見を反映していただきたい！	中学生の時、原子力発電による核のゴミについて、近い将来、処理方法が確定する事を見込んでの稼働だと知り、大変驚いたのを覚えています。自分が大人になり、子を持つ母として、そして3.11の原発事故を経験した者として、黙っている訳にはいきません。原子力エネルギーは危険です、すぐに止めて、これ以上増やさないで下さい！！
31664	個人	その他	40代	女性	原子力エネルギー0%を望みます。	自分たちで自然に還せないものを 使い続けることに大いに疑問を感じます。 まず原発ありきで考えるのではなく なくても何とかする方向へのシフトチェンジを心より望みます。
31665	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	熱需要も含めた一次エネルギー供給全体についての天然ガスシフトを明確化するとともに、再生可能エネルギーの飛躍的拡大や省エネ・節電、コージェネ15%の達成等を着実に実現するための具体的施策の検討が必要。	○選択肢に対するスタンス ・選択肢の判断を行ううえで重要となるのは福島原発事故に起因する原発リスクに対して、安全性をいかに確保できるかであり、安全性の確保ができないならば、一定程度の原発比率が確保されることが重要と認識。当社は、どの選択肢にも記載されている電源構成に占めるコージェネ比率15%および天然ガスシフトを推進することで、エネルギーセキュリティの確保と地球温暖化対策への対応を図りたい。 ○熱需要も含めた一次エネルギー全体における天然ガスシフトの必要性 ・我が国のエネルギー選択について議論する際には、電力需要だけでなく、エネルギー消費の約半分を占める熱需要も含めたエネルギー全体について、議論を行うことが必要である。民生・産業部門等の熱需要に対しても、化石エネルギーの中で最もCO2排出量が少ないことに加え、シェールガス等非在来型ガスの開発による供給拡大も期待される天然ガスへのシフトを明確に織り込むとともに、運輸部門においてもガソリン燃料以外の燃料の多様化等を進めるべきである。 ・震災後に初めて制定するエネルギー基本計画は、国民的議論を含めて1年以上もかけて作成する非常に位置付けの高い計画となるものと考えられる。電源構成比率だけでなく、エネルギー政策の重要な要素をすべて国民に示した上で恒久的な指針として作り上げるべき。 ○コージェネ導入施策の具体化とコージェネの新エネルギー政策における位置付けの向上 ・エネルギー・環境会議で提示されたエネルギーミックスの選択肢のすべてでコージェネ構成比は15%である。本年8月1日より、コジェネの導入促進に向けた施策の企画・立案を行うコージェネ推進室を設置頂いており、今後、具体的な支援策等の検討が進められるものと思われるが、イニシャル・ランニング両面で需要家の導入促進を支えるような政策が打ち出されることを期待する。具体的には、補助金の継続および創設、需要家が余剰電力を適切な価格で販売できる電力卸売市場の活性化、自家消費電力の適正な評価、長期取引市場の創設による事業予見性の担保等が重要だと考える。 ・これらは「あるべき政策」が実施されれば、分散型がこれだけ普及拡大する」というようなものではない。政府には、コージェネを始めとする分散型電源の「供給電源」としての位置づけを法的に明確化し、「政策パッケージ」として総合的に進めていただきたい。エネルギー・環境会議で提示された資料からは、コージェネについての記述が大部分割愛されており、国民議論の争点ではないとの理由から推察するが、省エネ・節電、再生可能エネルギー導入と並ぶ、大きな柱としてコージェネ構成比15%の実現を取り上げるべきであり、減原発の代替エネルギーとしてコージェネの導入が非常に重要な役割を果たすことを広く国民に認知して頂くことが必要である。 ○再生可能エネルギーの飛躍的拡大、省エネ・節電の実施、コージェネ導入15%等の実現可能性の向上 ・減原発の代替エネルギーとして、再生可能エネルギーの飛躍的拡大や省エネ・節電の徹底、コージェネ導入拡大等が盛り込まれているが、いずれも非常に高い目標であるにも関わらず、前回エネルギー基本計画からの上積み分等については、具体的な達成手段についての検討が十分なされているとは言いがたい。新エネ部会、省エネ部会等で、実現可能性を高めるための詳細検討等を実施することが必要である。また、再生可能エネルギーだけでは安定供給等の不確実性が高いため、天然ガスを始めとする化石エネルギーと組み合わせていくことを等、系統に及ぼす負荷変動対策の具体化についても合わせて取り組むことが必要である。
31666	個人	法人等	50代	男性	ゼロシナリオでお願いします。原子力はリスクが多すぎる。化石化燃料はいずれ無くなる燃料です。自国で賄えるエネルギー政策・省エネを真剣に取り組むべき。	目に見えない放射能の危険性におびえる生活はいやです。 原発が無い国があるのになぜ、日本は原発にこだわるのか解らない。
31667	個人	会社員・公務員	60代	男性	(1)ゼロシナリオを選択します。	今回のような原発事故がおこれば、国民の生命を膨大な範囲で、落とし込める可能性のある原発は廃止するのが、為政者の取るべき態度ではなかろうか？ こんなことを国民に問うことが、すでに、政治家の考えは間違っているのではなかろうか？国民の生命を第一に考える誠実な政治家は、こんなことを問わずに、率先して、原発廃棄を唱えると考えるがいかがなものか。 勤勉・優秀な日本国民は、多少の、お金の犠牲を払っても、危険極まりない、今回のような事故を想定できない原発は廃棄の安全安心な生活を選択すると、今回の結果もそうなるはず。 ドイツのように、原発にたよらないエネルギー対策をと、まず打ち出せば、優秀な国民は知恵を出し合い、絞り、必ず実現すると考える。国民に困難はあっても、夢と希望を持たせる政策を考えるのが、誠実な為政者のなすべき策でしょうが。 (3)の現状維持は論外で、変化・改善しない社会は滅びていくでしょう。

31668	個人	会社員・公務員	30代	男性	国民の健康権を侵害する原発は無くすべきです。温室効果ガス排出についても京都議定書通りの削減目標を追求すべきです。私たちは福島の事故から学び未来の子たちへ日本をつながなければならないと思います。	原発事故は往環境・衾生活・仕事などの広範な環境を破壊し、国民に日常的で長期的な健康被害・健康不安をもたらしており、究極には自殺者まで出しました。これほど国民の健康権を侵害する原発は無くすべきです。 ゼロシナリオでは原発が“クリーン”エネルギーであることが前提とされていますが、福島の事故から学べる様に、原発事故は近代社会の起こす最大級の環境破壊です。地震大国の日本では原発事故はゼロにできません。つまり原発は全く“クリーン”ではないということを大前提とすべきです。特に電力会社・政府による不透明で曖昧な原発安全神話が未だに続いている現状では、原発は環境破壊の比較的強いリスクファクターとなっていると思います。 地球温暖化対策にスポットを当てた上で原発を“クリーン”とするとして、それでも原発は“クリーン”ではないとする話をききます。燃料生成の過程で温室効果ガスを多量に排出したり、発電後に高温の海水を海へ多量に排出したりといった具体的な話です。発電過程で“クリーン”であったとしてもトータルではどうなのか、私たち素人にもわかる様に説明をし、温暖化対策に関してシナリオを提示しなければなりません。電気業の石炭使用量も右肩上がりに増えており、原発はその推進政策においても“クリーン”である点に矛盾がある様に思います。安全神話が崩壊した今、これまで電力会社と政府が結託して示してきた原発の理論・イメージは全てゼロにして、再度国民の見えるところで組み立て直すべきです。 ゼロシナリオでは、原発を無くすと温室効果ガス排出削減はできないという内容になっていますが、原発を無くした上で京都議定書通りの温室効果ガス排出削減目標を追求したシナリオを、国民に提示すべきです。それは原発問題と別に、我々が日本・地球をどのように未来の子へつなぐかという重要な課題です。国として責任を持ってシナリオを提示いただきたいと思います。
31669	個人	会社員・公務員	40代	女性	(1)ゼロシナリオ	ゼロシナリオが書けるとゆーことは出来るから書いたと思うので、あんな危険なものは無い方がいいので、早く廃止して欲しい。 原発ゼロ大賛成！！日本中のみーんなが安心して暮らせる日本にしてください！
31670	個人	自営業	50代	女性	エネルギー政策が人命を犠牲にした経済の上に成り立つことはありえません。1日も早い脱原発への具体的なプロセスを国民で話し合い、進めるべきです。	原発再稼働の背景には、人命を犠牲にした経済の回復という重い罪がつきまとっています。そして戦後民主主義という名のもとに、敗戦国・日本が受け入れざるを得なかった政策が背景にあることも、国民の多くは知り始めたと思います。簡単なことではないかもしれません。しかし、もはやアメリカと日本、および東アジアの関係のみで語れないほど、世界は人間の尊厳を後回しにした、経済優先主義で破滅に向かって突き進んでいるように思います。エネルギー問題は、それ単体で解決できることではないでしょう。雇用、若年層の就職難、また、就職難を苦にしての自殺者の多さを見ると、明らかに生きるということの本質をねじ曲げられて、未来のない人生に絶望している国民が、その思いの深さの違いこそあれ、大半だと考えます。国民の精神がこんな状態で国がよくなるわけはないでしょう。復興予算の余剰分が原子力委員会の研究費に拠出されるような異常さも、もはや国民は知っています。経済的な豊かさはとどのつまり、人命や人間の尊厳を犠牲にした上にしかなかったのです。もう、そんな豊かさはいりません。そして政局のために国民を使うのも、もう終わりにしましょう。このままでは、誰も次の選挙で選ばれる人はいませんよ。
31671	個人	自営業	40代	女性	原発依存度を、2030年までには、0%にしてほしいと思います	原発依存度を、2030年までには、0%にしてほしいと思います この地震大国で原発をつかい続けるのは危険すぎますし、そもそも原発の存在自体、そこで働く作業員の被ばくを前提としたものであり、わたしはそんな犠牲を伴う電力を使いたくありません それに、使用済み放射性廃棄物は、これからこの地球上で生きる人々、生物たちにも、危険を与え続けます そんなことを、わたしたちがしていいとは思えません そんなことが、わたしたちに許されているとは、思えません 再生可能エネルギーを、なんとかがんばって、増やしていけたらと思います そのために、しばらくのあいだ、ある程度わたしたちの負担が増えることは仕方がないと思っています ただし、その負担を、「原発をやめるからお金がかかる」という言い方をしないでほしい 「新しいエネルギーを開発するためにお金がかかる」、そのための負担だと言ってほしいです
31672	個人	会社員・公務員	50代	男性	電力は経済発展上必要不可欠ですが、原発利用では先ず安全性とそれを実現する施策の実施が必要。原発以外のエネルギー源も一般的な議論でなく日本の地勢学的な特徴を活かした（例えば潮位発電）検討が必要です。	7月31日（火）に名古屋で行われました勉強会に出席しました。タイトル「エネルギー・環境に関する選択肢」について（一般社団法人中部経済連合会）。この勉強会で、原発依存比率見直しの話がありました。原発の必要が理解していますが、しかし、安全性の議論が十分にできていないと考えます。また、原発のトータルコスト（核燃料廃棄処理、今回のリスク対応必要、等々）での議論が抜けていると思います。再生可能エネルギーについては、地勢学的な特徴を活かした使い方が重要と思います。実際、米国ではGPSが電力グリッド面で上手くいっていません。日本で、どのエネルギーを使うかの検討が必要です。天然ガスの利用も同様です。ご承知と思いますが、メタンハイドレードが使えるかも議論あると思います。シェールガスが掘削技術進歩で使えるようになり、また、埋蔵量も以前に比べると分かってきています。持続可能な経済発展を実現できるエネルギー政策の実施をお願いいたします。
31673	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発はゼロにするべき。（原爆なども含め原子力の「利用」を全てゼロにするべき。）	人類には原子力を取り扱えるだけの技術がまだない。「トイレの無いマンション」と言われるように、核廃棄物の処理方法、現在も未来の子孫に対しても自信をもって「安全」に処理する方法すらまだない。 研究をするのは良いが、利用するのはまだ無理。
31674	個人	その他	60代	女性	原発依存度を基準に、(1)ゼロ%シナリオを選択いたします。	私は原発依存度を即刻ゼロにしてほしいです。 国が安全だと進めてきたエネルギー政策の原発利用は、昨年の福島第一原発事故でその安全性が覆させられました。ひとたび事故が起これば、収拾がつかなくなることが明確になりました。 私の娘は福島県二本松市の動物施設で勤務中被災、その後も動物を置いては逃げられない、と避難はしていません。今でも大量被ばくではないにせよ、ずっと被ばくさせられている状況です。健康被害がどのように将来出てくるのか、とても不安な日々を送っています。結果が出てからでは遅いのです。 多くの人たちに犠牲を強いるようなエネルギー政策は直ちにやめてほしいです。 エネルギー利用にあたり危険物を排出しないこと、無駄な熱の排出をできるだけ抑えること、自然破壊や景観を損なわないことが大切だと思います。 そのことを重点に抑えたエネルギーの開発を急いで行ってください。 一部の人たちの利権のために原子力を使わないでください。少子化対策のためにも、特に子どもや妊婦、若い男女に健康被害をもたらすエネルギーは使わないでください。 最後にもう一度、私は原発依存度を「即刻ゼロ」にすることを希望しています。
31675	個人	その他	40代	女性	原発は地球や人類に与える害の大きさを考えると絶対に反対です。人類の長期的視野に立てば、今後は電力事業の自由化、送配電分離を行い、再利用可能エネルギーの開発に力をいれるべきだと考えます！	放射線の害について、自然にある放射線と、このように人為的に取り出した放射線の害は全く比較になりません。原発はコスト安と言われていますが、掘り出すところから、最後廃炉にするまでの総コストを考えたら、絶対にコストは大きいはずです。ましてや、福島のような事故がおきた場合損害賠償や、除染のための費用は多大なものであり、しかも、それだけコストをかけても安全な状態にもどす絶対的な保証はないはずです。事故がおこらなくても、放射能などの危険物質が多少なりとも放出されていることは確かであり、すでにアメリカなどでの調査では原発100マイル以内に住む人の癌の発生率は高いことが立証されています。このように、人類にとって危険なものは直ちに廃止すべきと考えます。
31676	個人	自営業	30代	男性	ただちに0%に。	電力は足りており、「火力発電」に対する価格上昇も受け入れており（個人的には納得いってませんが）、なんのために再稼働するのでしょう。そこで働いている人たちが食えなくなる？　原発を立地した「地元」への補助金？　やっぱりカネでしょうか。 それならば政府として「新しい仕事」を創設すればいい。「全国どこへ行ってもおなじ」となる土建的な創設ではなく「その土地に根ざした」仕事です。おそらく文化的なものとなるでしょう。大きなお金にはならないでしょう。でもどうせ原発再稼働で使うお金があるんなら、そっちに使えばいい。復興資金があまってる？　ならそっちに使えばいい。 考えてみると、大きなお金が今後10年でさえ、継続して落とせるような事業なんて、もう考えられません。日本は貧乏なんですから。少子化も進んですし、移民も受け入れない状態で、国力なんて衰える一方です。少なくなった国民で、自国内で生活できる環境を作る、というのが今後の課題ではないでしょうか。 一番の問題は、新しいことをやることに臆病になっているということです。臆病でないなら「面倒」だと思っている。でもそれをやらないと、ほんと、10年先でさえも、未来はないと思います。
31677	個人	その他	40代	女性	0%シナリオを願っています。低線量被爆の問題をもっと国民に公開すべきです。また、志賀原発が、活断層の上に立っているのは許せない。もし有事があった場合は、福島のように、能登半島を封鎖するのですか？	チェルノブイリ原発事故後のベラルーシの子ども達の健康被害を、日本国民にも公開するべきです。また、活断層の上にある原発は、速やかに廃炉にしてください。
31678	個人	無職	60代	男性	2030年までに0%、あるいは15%程度まで下げるシナリオに反対し、20～25%程度まで下げるシナリオ、あるいは必要性に応じて拡大するシナリオを採用すべきである。	政策決定には、感情論を抜きには出来ないが、一方理性に基いた議論は必要だ。我が国では、エネルギー、原子力についての勉強が足りない。最近では、原子力専門家も勉強不足である。資源のない、日本が戦後、エネルギー源を確保しつつ国力を高める努力をしてきた。そのなかの重要な柱として、原子力がある。それを放棄して、財政的にもきびしくしていく方向は自ら、国力を弱めていくことであり、国際的位置付けはどんどん小さくなっていく。海外諸国がそれぞれ何を苦労しているか、あるいは何を日本にアドバイスできるかを直接調査もしないで決めるのはいかがなものか。
31679	個人	無職	30代	男性	2030年時点でのエネルギー・環境に関する3つの選択肢は、1のゼロシナリオを支持する。	2030年時点でのエネルギー・環境に関する3つの選択肢は、1のゼロシナリオを支持する。 理由は原子力は人類には制御できないものとチェルノブイリや先の福島原発での事故で証明されてしまったからである。一度起きた原発事故はいったいいつになったら収束するのかわからない状況でこのまま原発を使い続けるのはあまりにも愚かである。 よって、将来的には原子力発電をゼロにしていく方向を取るべきである。そして、それに代わる発電源として、水力や火力発電などの昔からある技術も使いつつ、太陽光発電、風力発電、地熱発電などを用い、潮流発電や核融合発電などの新技術も編み出していくべきである。さらに、日本の深海に埋没されている「メタンハイドレード」を使ったいわば「メタンハイドレード」発電技術も開発するべきである。そのためのメタンハイドレード掘削も早急に開始するべきである。 また、新たに発電所を作る際は周波数を日本国内で統一されるようにしていくことを求める。先の東日本大震災では日本国内で周波数が違うという余りにも愚かしいことが原因で、西日本から東日本へ融通する電力が限られるという事態になってしまった。原子力発電でなくても、なんらかの災害で発電所の機能が停止することがありえる。そうなった時、日本国内から周波数のことなどを気にせず、速やかに融通し合えるよう、将来的には日本国内の電気の周波数を統一する方向に進めるべきである。
31680	個人	家事専業	20代	女性	「原発ゼロシナリオ」を強く望みます。	私は広島出身で、原爆や放射能の恐ろしさについて小さい頃からたくさん勉強してきました。 そして、現在東北で暮らしています。 福島の原発事故で、放射能汚染がどんなに恐ろしいかよくわかりました。 いつも食べている魚、大好きな山菜、野菜を口にすることが、日常生活が、原発の事故でとても恐ろしく、いまお腹にいる子どもにどんな影響がこれからあるのか、現在も不安も抱えながら生活しています。 絶対の安全はありえないとおもいます。 絶対に再稼働をしないでください。 生活の場を、安らぎを奪わないでください。 どうかこれからの子供たちのためにも、原発ゼロにしてください。
31681	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発ゼロを求めます。原発事故による空気や水、食料への不安は、原発が存在する限り消えることはありません。納税者として、税金が原発廃炉のために使われ、安心して生活できるようになることを求めます。	1．原発が一度事故を起こせば、多くの人々が故郷を追われ、仕事を失い、家族との別居を強いられ、そうでなくとも放射能の影響による生活の不安が何十年も続きます。二度と今回のような事故を起こしてはならない。住めない国土を増やす危険のある原発は、不要どころか国家を滅ぼす道具であることは明らかです。 2．原発の廃棄物処理問題は未解決です。数十万年ともいわれる地下での長期間貯蔵は、地震が頻発し、地下水の多い日本では不可能です。子孫にこんな危険な遺産を残してはなりません。また、使用済み核燃料の問題も残っています。 3．「原発がなければ日本経済が破綻する」という脅しは誤りです。国外からみれば、未だ福島の事故の収拾がつかない中で原発を稼動させている日本での生産及び製品は、放射能のイメージが付きまといます。工業製品の工場でさえ、原発のない沖縄県への移転が増えています。ましてや農産物は、どんなに生産者が努力しても、輸出は落ち込みます。とくに関東の農水産業従事者は、遠方の市場への出荷が困難になっています。第一次産業を軽視して、何が「日本経済」でしょうか。国民の衣食住を守ってこその経済です。 4．エネルギーは足ります。私自身、事故以来、前年に比べ毎月20～30%以上の節電を達成しております。原発でなくとも、自然エネルギーの開発は昨年以来目覚しい発達をしています。この開発に税金を回せば、さらに自然エネルギー産業は伸びます。それを世界にむけての日本の新しい姿として発信することで、インバクトを得られ、かえって経済効果も上がることになります。 5．原発は被爆労働者を生み、その数は刻一刻と増加し続けています。今回の事故処理では、鉛板を放射線計量機につけていた例も明らかになりました。国民の健康を守り、職場の安全の保障のためにも、原発は無くすべきです。
31682	個人	会社員・公務員	60代	男性	原発のリスクのみならず、その運転を認めない場合のリスク(企業の日本離れによる国の沈滞他)についても冷静に評価し、福島の事故を検証の上、原子力発電所の運転を再開、継続すべき考える。20~25%を選択。	原子力発電所のリスクのみならず、その運転を認めない場合のリスク(エネルギー問題、二酸化炭素の問題、企業の日本離れ、雇用機会の喪失、国の沈滞他)についても冷静に評価し、福島の事故が2度と繰り返されないことを十分検証の上、確信を持って原子力発電所の運転を再開、継続すべきと考えます。三択から選ぶのであれば、20~25%です。三択からの選択は一種の思考停止であり、政治家は大衆迎合に走るのではなく、真に国家のことを考えていただきたいと思います。 再生エネルギーは気候によって変動するエネルギーであり、バックアップとしてはいいと思いますが、原子力と肩を並べるエネルギーとして国民をミスリードすることは非常にリスキーと考えます。
31683	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力依存は25%以下ではエネルギーが不足する。40%程度は必要。	・自然エネルギーのような不安定なエネルギーに30%以上も依存するのは、安定供給は実施しないに等しい。 ・将来の子供達のために、安定なエネルギーを供給するには、安全で安心できるようにさらに原子力技術を向上させた上で、原子力発電は不可欠。 ・エネルギー自給率を上げるためには今は、原子力しかない。 ・開発途上国は、化石エネルギー、先進国は最新技術を使用してエネルギーを確保すべき。 ・今、原子力をやめたとしても原子力廃棄物は残るのだから、原子力技術を残しておかないと、廃棄物そのものの管理ができなくなる。 ・最も人口の多い地域であるアジアにとっては、安全な原子炉を供給できるのは、日本しかない。 ・石油はいつかは枯渇するのであるから、それまでに、原子力技術をさらに向上すべき。 ・一度の失敗で、原子力を葬るのはばかげている。 ・政府はエネルギーの安定供給について、海外の動向を含めて、しっかり説明すべき。 ・太陽光発電は、単に中国の経済成長を助け、中国を強国にするだけではないか？ ・エネルギー供給のベストミックスについて、経済産業省は国の今後の成長率も含めてしっかり説明して欲しい。 ー以上ー
31684	個人	会社員・公務員	50代	男性	現実を直視した発電エネルギーの転換を。	脱原発で、ヒステリックにall or nothingではなく、 段階的に減原発から2030年脱原発へ長期ビジョンで進めるべき。 そのため、発送電分離は不可欠!!! すぐに実施すべき （代替エネルギーの参入を加速化させるためにも）
31685	個人	会社員・公務員	30代	男性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 《即原発ゼロへ。弱者の保護を優先》	大飯原発、志賀原発、敦賀原発。ほぼすべての原発直下に活断層。日本の多くの地震学者の共通見解は「巨大地震のサイクルに入った」。2年程度の計画停電も受け入れよう。ただし、病人、被介護者、子供、老人は守らなければならない。
31686	個人	自営業	40代	男性	原発の比率はゼロシナリオで行き、今すぐ原発は止める、再処理も中止。 化石燃料発電所の増設によって電力は賄えます。 人類が更に科学的精神的に進化してから原子力を扱うことが人類にとって何より重要。	福島の原発事故では、多くの人が大変な被害に遭いました。その被害は、もはや単純にお金に換算し得るものではありません。 そのようなエネルギーにこれからもずっと頼ることはできません。原発はなくしていかなくていかなければなりません。 原発の比率は、ゼロシナリオで行くべきで、今すぐ原発は止めるべきです。昨年より原発なしでも電力は賄えられていたことからも分かります。再処理ももちろん中止です。 既存の化石燃料による発電所を増やすことによって、十分電力は賄えます。それから、自然エネルギーの比率を増やしていき、徐々に化石燃料による発電を減らしていけば良いのです。 原子力は、技術的科学的にもまた精神的にも、まだ人類が扱えるレベルには達していないと思います。 さらに人類が進化してから原子力を扱うことが人類と地球にとって何より重要だと思います。

31687	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発ゼロシナリオを希望します 「原発をやめる」という国の決定が先決。以下理由(1)国際社会に対する日本国としての決断。信用回復をしないと国益を損ねる。(2)再生可能エネルギー開発への後押し(3)国民の生きる希望	原発ゼロシナリオを希望いたします。今回の全選択肢は2030年までを目途とされていますが、私としましては、まずは国が「原発をやめる」ことを国内外に向けて決断することが最重要だと考えます。時期はその上で最短を目指すべきだと思います。その理由は3つあります。 第一に、国際社会に対し、原発事故の対応を含めたエネルギー政策を日本国としていち早く決定・提示することが重要だと考えます。福島第一原発事故以後、日本国内の放射線汚染を理由に、海外からの観光客減少や食品等の輸出に対する諸外国の対応など、懸念される事態となっています。さらに公海への汚染も起こしています。日本国としてこれらに真摯に対応するには「ゼロシナリオ」を決定し行動を提示することしかないと考えます。 第二に、国が「ゼロシナリオ」を決断することは、企業等が再生可能エネルギー開発を行う上で大きな後押しになると考えます。原発残存を望む人々においては、再生可能エネルギーへの不安視もその理由とされています。現時点で再生エネルギーへの取り組みをすでに行っている企業等もありますが、国が決断することにより、大きく事業が成長することが可能となると思います。 第三に、最も重要な理由として、国民の生きる希望となるのが「ゼロシナリオ」だと考えます。原発事故以降、私たち国民は、毎日、放射線汚染という非常事態のなかで暮らしています。近い将来どのようなことになるのかを考えると未来に希望など持てません。ただ、事故を起こしてしまった日本が「原発をやめる」という決断の下、「原発ゼロ」に向かっていくことになれば、日本国民としての唯一の希望が見いだせると思うのです。そのことにより、生活が大きく変化することを私たちはよく理解しています。それでも、というよりだからこそむしろ、世界にさきがけてそうした取り組みに一歩踏み出すことに希望を持って生きていけるのです。 以上の理由により「原発ゼロシナリオ」を希望します。どうか決断をお願いします。切実なお願いです。
31688	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発ゼロを目指すべきです。それも「2030 年までのなるべく早期に」という曖昧な形ではなく、直ちに原発依存度をゼロにするという目標を掲げてください。	原子力発電所の危険性が、エネルギー分野のどんなリスクと比べても桁違いに大きいことは今回の福島第一原子力発電所の事故で明白になりました。 人間の作るどんなシステムにも完璧はありえず、想定外の「万一」が起こりうることは大前提だと思いますが(だからこそ「危機管理」という概念が存在します)、原子力発電所にその「万一」が起きると、付近の土地には長期間にわたって人が住めなくなります。国土の一部が失われるわけです。事故が原因で生じる健康被害に至っては、現在の医学では、(たとえ被害がゼロであったとしても)数値的に確実なことが言えないことがわかってきました。原子力発電所を動かすには、「万一のとき」に国土の一部を失うほどのデメリットを常に想定しなくてはならないのだと、今回の事故で痛感しました。 私はどのような大義名分があろうとも、そのような大きな犠牲を払う可能性のある選択肢をエネルギーミックスに含めるべきではないと思います。たとえそれが「万に一つ」の可能性であろうとも、ゼロではないことは(残念ながら)既に証明されてしまいました。 また、「もんじゅ」に代表される再処理・高速増殖炉計画も、もはや頓挫したと評価せざるを得ないのではないのでしょうか。現実的に考えて、核燃料サイクルを実用化するのは非常に困難であり、このまま原子力発電所を稼働していては、処理のめどが立たない核燃料が増えて行くだけです。 以上のような理由から、2030年と言わず、原子力発電は直ちにすべて停止すべきだと思います。 政府がそのような大きな目標を掲げれば、その実現に向けて必ずや大きな力が集まるはずです。日本には「直ちに原発ゼロ」を実現するだけの潜在力は、必ずあります。しかし、まずは目標を掲げない限り、そのような潜在力も十全には発揮されないでしょう。節電、新エネルギーの開発と実用化、廃炉技術の推進など、努力しなくてはならないことは山積みですが、原発の「万一」の危険性を取り除くために必要とあらば、日本人はやり遂げると思います。
31689	個人	その他	30代	男性	エネルギー・環境問題に関して、今後は地球環境や安全に配慮したよりクリーンなエネルギーを利用していくよう、政府に強く求めます。	昨年の東日本大震災およびそれに伴う福島第一原子力発電所の事故は、我が国の原子力政策に対して根本的な見直しを迫ることになりました。 原子力発電所の「安全神話」が壊れた今、より原子力に頼らないエネルギー政策を進める必要性があると痛感しています。 もちろん、我が国が経済成長を達成するためには膨大なエネルギーを必要としたのであり、これまでその需要の一部を原子力発電所が満たしてきたことは認めます。 また、長期の不況にあえぐ我が国が再び活力を取り戻すためには、今後も大きなエネルギーを利用した生産活動を続けることが重要です。 しかしこのような深刻な事故が起こってしまった今、原子力に依存したエネルギー政策を進めることは非常に危険であると憂慮します。 多くの専門家や関係者が原子力発電の安全性に最大限の努力を払っていることは評価しますが、万が一事故が起こったときに人々に与える恐怖感や健康への被害は甚大であり、それは我々国民すべてがこれまで実感してきたところであります。 原子力発電の全廃は仮に難しいとしても、今後は様々な代替エネルギーも導入し、より多角的に必要なエネルギーを調達する方法を模索すべきではないでしょうか。 例えば、天然ガスを利用した発電は、中東の石油に依存しない新たな方法として、もっと検討すべき発電方法ではないかと考えます。 次世代によりクリーンな地球環境を残し、次世代の安全を守っていくため、我が国のエネルギー政策を根本的に見直していくよう、政府に強く要望します。
31690	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原発の比率はゼロシナリオで行き、今すぐ原発は止める、再処理も中止。 化石燃料発電所の増設によって電力は賄えます。 人類が更に科学的精神的に進化してから原子力を扱うことが人類にとって何より重要。	福島の原発事故では、多くの人が大変な被害に遭いました。その被害は、もはや単純にお金に換算し得るものではありません。 そのようなエネルギーにこれからもずっと頼ることはできません。原発はなくしていかなくていかなければなりません。 原発の比率は、ゼロシナリオで行くべきで、今すぐ原発は止めるべきです。昨年より原発なしでも電力は賄えられていたことからも分かります。再処理ももちろん中止です。 既存の化石燃料による発電を増やすことによって、十分電力は賄えます。それから、自然エネルギーの比率を増やしていき、徐々に化石燃料による発電を減らしていけば良いのです。 原子力は、技術的科学的にもまた精神的にも、まだ人類が扱えるレベルには達していないと思います。 人類がさらに進化してから原子力を扱うことが人類と地球にとって何より大事だと思います。
31691	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電の依存度は0%を目指すべきである。 発電会社と送電会社を分離するべき。 地熱発電とメタンハイドレートの開発を国家の重要課題とするべき。	原子力発電は事故が発生した場合の人命や経済的な打撃などリスクが大きい。特に地震国である日本には不向きな方式である。安全性については原子力村の意見は信用できない。また、現状の発電コストは将来の使用済み燃料の処理費用を含んでおらず、比較の対象にならない。 電力会社が政府の意思を牛耳っているような現状は異常である。また、競争がないことからコスト高の原因にもなっている。これは、地域独占であることが根本的な原因である。独占状態を無くすだけでも、相当のコスト削減になると考える。 また、地域独占をやめることにより、より直截に国民の意思が発電方式の選択に反映されることになる。 太陽光、風力、波力、水力などの発電方式は可能な限り増やしていくべきである。しかし、それだけでは安定した発電は不可能かもしれない。また安定的な発電を石油にたよる体制は、産油国に対する価格交渉力を減殺することにもなる。国内で調達できる安定的な動力源として、地熱やメタンハイドレートの開発に国家的に取り組むことによって、石油もリーズナブルな価格で調達できる可能性が高まると考える。
31692	個人	無職	70代	男性	エネルギー・環境に関する原発依存度の選択肢のうち、(1)のゼロシナリオを希望します。	日本のような火山列島上に原発を建設するのは、大災害時のリスクがあまりにも大きすぎること、核廃棄物の処理が適切に行われる見込みがないことから、原発依存は倫理的に許されないと考えるからです。また、原発に依存しなくても、国が総力をあげて他のエネルギー開発を進めるとともに、節電的な産業構造の確立、国民生活スタイルの改善により、我が国のエネルギー問題は克服できると考えます。
31693	個人	その他	50代	男性	脱原発を希望する。10年ほどの期間をかけ再生可能エネルギーへ方向転換すべきである。不足部分は化石資源使用もやむなしと思うが、社会全体で総エネルギースリム化へ生活スタイル転換の努力が必要である。	技術は科学とは異なります。原子力エネルギーの発見がどれほど画期的な科学的達成であろうと、いまだに原発を完全にコントロール出来る総合技術を備えているとは思えません。日本のような地震国、加えてテロの脅威も無しとは言えない国で、どうやって完全な安全を担保するのか、真面目に考えたら黄色ないし赤信号を出すしかないと思います。一度事故が起こればどれだけの被害が出るかを福島のケースからどうして学ぶ事が出来ないのか、政府首脳、中央官僚の理性と感性、常識を疑います。本来、行政が民間を“規制・指導”すべきなのは、今回のような電力会社の暴走に対してこそあったはずです。さらに現在の核燃料廃棄物、解体原発の廃棄方法すら確立出来ていない「汚物垂れ流し」状態を、何故放置、無視できるのか不思議でなりません。自分たちはやがて消え行く存在ですが、子供達に負の遺産ばかりを受け渡そうということに罪悪感を感じないのでしょうか？　放射能汚染の影響は、クリアカットな基準値が無い、結果が出るまでに非常に時間がかかるという特徴をもっています。何万年という半減期、全地球規模の拡散、という、時間的空間的に“桁違いの”広範囲な広がりをもたらすゆえに、通常の化学物質による汚染とは質的に異なる現象なのだという事を徹底的に認識すべきです。 電力エネルギー不足が経済力低下を招き、これが国民生活を圧迫、日本を国際的に競争力の無い“劣等国”に貶める、というシナリオが抵抗勢力の最も強い意見のようです。しかしこれまで数十年に及ぶ高度経済成長がもたらした光と陰の両面を考えれば、これからは資源やエネルギーの使いたい放題を前提とした成長は望むべきではなく、我々の幸福感そのものを見直してみることで、よりおだやかなテンポの持続可能社会を目指すべきなのではないかと思います。我々はアメリカでも中国でもないのです。ゆっくりとした人口逓減社会をほどほどの物質的満足度をもって生きて行くという社会の方が、競争まみれで自殺者ばかり増える社会よりもはるかに良いと思います。為政者はこのような時代にこそ歴史的、長期的視野に立った進路を国民に示し、日常生活での我慢も当然とする、しかし最終的には次世代の明るい未来を信じる事が出来る、といった展望を、勇気をもって提示、実現すべきと思います。 奇しくも長崎の記念日に、祈る気持ちで投稿します。
31694	個人	無職	60代	男性	自然災害、テロ等に対して150%安全な原発を目指し、国民の懸念と疑念を払拭するべくどのように安全なのかを説明するべき。 同時に自然エネルギーのコストダウンと普及に向け国をあげての取り組みが必要。	今回の原発事故は津波で電源を喪失するというあまりにもお粗末な結果であった。海辺にある発電所が20mや30m程度の津波を想定していなかった事は全く理解しがたい。またミサイル等に対しても本当に大丈夫なのか？ 地震、津波、破壊工作、サイバー攻撃これらに対する、「これでもか」と言えるような対策を講じるべきだと思う。そこに叡智と人材を投入して貰いたい。 原発に頼らずに、自然エネルギーと少ない化石燃料で経済活動や生活が可能であればそれは理想です。 しかし現実的に見れば、電気料金の高騰による産業の海外逃避、失業の増加、国力の疲弊、生活レベルの低下は目に見えています。このことに果たして国民は耐えうるのでしょうか？脱原発をとなえる方々はどこまでそういう事を理解して言っているのでしょうか？ CO_2対策の観点からも、限りある資源という観点からしても、また100%輸入に頼っているという安全保障上の観点からも化石燃料に多くを頼る事は出来ません。 再生可能な自然エネルギーの開発、そしてコストダウンと普及に国を挙げて取り組む事は当然必要です。 せめて自然ネネルギーのコストが化石燃料のコストの1～2割高程度まで下がるまでは原発比率の引き下げは難しいと考えます。
31695	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発0%　日本はそれを補えるだけの技術を開発できる	原発に限らず、事故確率0%などということはありえず、たとえ一箇所であっても事故が起これば甚大な被害が起こることは既に国民全員がわかっている。 その上、起こった事故について政府は国民に正直に説明しないこともわかっている。国民の信頼をどうやって取り戻すつもりなのか、想像もつかない。少なくとも私は簡単には信用できない。 原発なしでは増大した日本の電力消費を補えないという説がある。 たしかに産業だけでなく一般的な生活レベルでも電気を使う物品は増えている。でも、一昔前のものに比べてそれぞれの必要電力は技術革新によって減らすことができている。ものによっては1/10程度にまで。 日本はこういう技術力を持っている。それはこれからも進歩していく部分だし、この技術力を海外にアピールすることができる。 ・原子力を押さえ込む方法を今現在人間は持っていない。 ・日本という国の方針を決めている人たちは、原子力周辺の力関係の方が国民の生命よりも大切だと思っているので、原発について「安全」としている事は信用できない。 この2つが私が原発0%になってほしいと願う理由です。
31696	個人	パート・アルバイト	40代	女性	2度の原子爆弾を落とされ地震国である国が、大震災を受けて尚、原発を止めないという事が「なせ？」と思うのです。たとえ原子爆弾を受けなくとも、地震国でなくとも、原発はNOだと、本当は皆思っているはずです。	原発の仕事に携わる人たちに懸念してNOといえない人たちもいると思うし、自分たちが毎日の生活に原発を頼っていることでNOといえない人たちもいると思います。 でも原発に携わる人たちが仕事をなくしても、代替エネルギーが軌道に乗るまで少し生活が不便になっても、原発は止めて価値あるものと思います。 国が原発の仕事をしている人の新しい仕事の斡旋や、代替エネルギーにかかわる膨大な金額等々、かかっても、価値あるものと思います。 経済大国であることはすばらしいです。でも少し貧乏でも皆がしあわせであることはもっとすばらしいのでは。
31697	個人	自営業	30代	男性	ゼロシナリオを希望します。	「2030年に原発0」ではなく、今すぐに原発0を達成して下さい。 福島の悲劇を繰り返してはなりません。 原発事故が起これば、その責任をとることなど誰にもできません。 土下座しようが辞職しようが切腹しようが責任はとれません。 原発再稼働は土地を失った福島の人々を蔑ろにする行為です。 そして国内のほとんどの原発が停止している現在、電力は足りています。 ゼロシナリオを希望します。
31698	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	1．原子力発電を速やかにゼロにすべき。 2．破綻した核燃料サイクル政策は即刻中止すべき。 3．エネルギー消費を減らし、再生可能エネルギーを普及させるべき。 4．真の国民的議論にするべき。	私たち生活協同組合パルシステム福島はいわき市に本部を置き、福島県浜通りと中通りを事業エリアとする組合員26000人で組織する生活協同組合です。 東京電力福島第一原子力発電所の避難区域内にある浪江町の配送センターは事故により閉鎖せざるを得なくなり、所属する組合員のほとんどは避難生活を強いられる事態が続いています。事故後1年5ヶ月が経とうとしている現在でも事故はなんら収束しておらず、原発周辺地域の住民は故郷に帰る目処もなく仮設住宅等での不自由な暮らしをしています。またそれ以外の地域でも放射能汚染により、食の安全はもとより、生活全般が一変しました。自然に恵まれた福島県は、安心して自然に親しみ、自然の恵みを享受するという、事故前はあたりまえのことが奪われた状態です。原子力発電所の事故の過酷さを体験した生活協同組合として、原子力発電所の再稼動にも反対を表明しています。以下、原子力発電に反対の立場から「エネルギー・環境に関する選択肢」についての意見を提出します。 1．3つのシナリオについて 1)「原子力発電の速やかなゼロ」を選択すべきです。 ・福島第一原発事故の被害の規模と深刻さ、東日本大震災により発生の可能性が高まっているといわれている大地震のリスク、原発から出される放射性廃棄物の超長期にわたる管理の問題など、原子力発電はあまりにも大きな問題を抱えています。しかし選択肢は、どれも「過酷な事故は起きない」という前提に立って書かれています。 2)「15シナリオ」「20－25シナリオ」は原発の新増設や運転期間延長が必要な選択肢であり、「原発依存度を低減する」という基本理念とは相反する選択肢です。 ・「15シナリオ」は40年廃炉による自然減であり、単なる現状維持でしかなく、原発依存度を減らすことにはなりません。 ・「20－25シナリオ」は、原発の新増設や、運転期間の延長がなければ成り立たず、「原発依存度を低減する」という基本理念とはまったく相反する選択肢であり、論外で非常に不適切な選択肢の設定です。 3)あるべき社会像を国民的に論議して、政策立案と制度改革に取り組むべきです。 ・基本理念や方針が確認されている中で、「定量的な選択肢」のみで国民に問いかけることは意味がありません。原発の電力に依存しない社会像を描き、論議を行った上で、それに向けた政策立案、制度改革に一刻も早く取り組むべきと考えます。 4)再生可能エネルギーを普及させるべきです。 ・再生可能エネルギーは世界的に急成長をしています再生可能エネルギーの活用に向けて調査や研究、投資をおこなうべきです。 2．核燃料サイクル政策のあり方を選択肢に紛れ込ませるのは不適切です。 ・原発比率の問題と核燃料リサイクルの問題とは同義ではありません。選択肢のなかに核燃料サイクル政策のあり方までが含まれているのは非常に不適切です。原発比率とは別の重要課題として国民に提示し、議論をすべきです。 ・再処理と高速増殖炉による核燃料サイクルは破綻しており、即刻中止すべきだと考えます。 3．上記2点を踏まえ、私たちは、原子力発電とエネルギー政策に関し、以下の政策変更および制度改革を強く要望します。 1)速やかに脱原発を実現する。 (1)国策による原発・核燃料サイクルの開発・推進体制をやめる。 (2)被災者救済、汚染の除去、地域の復興を進め、健康と生態系の影響を最小化する。 (3)福島第一原発事故の徹底検証に基づく安全点検・安全確保を行う。 (4)隠されてきたデータをすべて情報開示し、エネルギー政策について開かれた国民的論議を行う。 (5)国際的な放射性物質汚染を謝罪し、徹底した情報開示を行い、汚染原因国としての責任を果たす。 (6)原発の新設と増設は中止し、原発推進・依存政策から速やかに総撤退する。 (7)定期検査中の原発は、再稼働は行わない。 (8)核燃料サイクル施設はすべて撤退する。 (9)原発・核燃料サイクル施設で働く労働者の被曝管理・放射線防護管理を改善、強化する。 2)節電と省エネ、効率化と最適化によってエネルギー消費をいっそう減らす (1)エネルギー基本計画の需要見通しを見直し、目標を定めて、政策的にエネルギー消費の削減を進める。 (2)エネルギー消費の「見える化」を行い、スマートメーターやホームエネルギーマネジメントシステム、ビルエネルギーマネジメントシステムの導入を推進する。 (3)エネルギーのロスと使い過ぎにメスを入れ、効率化を推進し、過剰消費は見直す。 (4)産業用・業務用・家庭用の電力・エネルギーを、節電と省エネを促す料金体系に見直す。 (5)ピークを抑制する季節別・時間帯別メニューのきめ細かい料金制度を導入する。 (6)住宅・施設の断熱・遮熱性能を高め、熱エネルギーの消費を減らし、熱源には電気よりもガスや太陽熱・バイオマスの利用を重視し、過度の電力依存から脱却する。 3)原発への依存に替えて、再生可能エネルギーを急速に普及させる (1)エネルギー政策基本法とエネルギー基本計画の大転換と、電力制度の大改革を進める。 (2)固定価格買取り制度を継続的に改善しながら、再生可能エネルギー発電の優先接続・優先給電と送電線の系統強化を進める。 (3)多様なエネルギー事業・発電事業を推進するために、地域主体の共同出資による再生可能エネルギー事業を支援する。 (4)市民への情報公開と、政策決定プロセスへの主体的参画を進めて、生活者のエネルギーと電力の選択の権利を確立する。 (5)原発推進と高コスト体質を支えてきた総括原価方式は廃止も含めて徹底的に見直す。 (6)電力会社の地域独占体制を見直し、発・送・配電は分離し、公共のインフラとして地域連携の広域送電網を強化する。 (7)火力発電は効率的な最新鋭石炭火力、LNG火力への転換を促し、地球温暖化防止と両立させる。 (8)車両や動力については、立地や用途に応じて適切なエネルギー源・燃料源を選択し、省エネを進める。
31699	個人	家事専業	40代	女性	原子力20～25%を支持します。それ以外のオプションは電気代が上がりすぎるので問題があります。	特に、原子力0%では電気の単価が2.7倍にもなります。これは一連の政府資料を相当読み込まないとわかりません。政府試算では電気代の支払い合計が2.0倍で収まるとなっていますが、これは単価が2.7倍になって高すぎるので節約するはずなので2倍に収まるという論立てになっています。国民は電気の値段がどうなるかを知りたいのであって、政府の見せ方はまやかしです。

31700	個人	会社員・公務員	40代	男性	・「ゼロ」シナリオを選択すべきと考えます。	・次の2点によります。 ・第1に、原子力発電は廃炉費用・廃棄物管理コストを勘案すると経済合理性がないと十分合理的に推定されることです。 ・廃炉方法すら曖昧な発電方法がコマーシャルベースで稼動しているのは信じられません。この状態では、総コストが把握できないからです。 ・電力会社は上場していながら、廃炉費用を引き当てていない。プラントを耐用年数を超えて40年以上稼動させ、廃炉費用を積まないのは、問題の将来への先送りであり、粉飾決算といってよいと考えます。 ・第2に、原子力は、そもそも、「エネルギー利用形態」の候補から外れると考えることです。 ・電力はエネルギーの2次利用です。よって、「エネルギー」の問題と「その利用形態」の問題を明確に区分して議論すべきです。 ・「エネルギーは原子力を利用せずとも足りている。」のが、基礎的認識とすべきであり、よって、「2次利用の形態」をコストによって比較すべきであると考えます。 ・コマーシャルベースのエネルギーコストは、「廃棄までの総コスト」とすべきであり、原子力のコスト優位性を「廃炉等のコストを除く」と制限をつけて主張するのは正確性を欠くのは自明です。 ・確実に「総コスト」が比較できる方法で比較すべきであり、この点から、現状の技術では、原子力は比較する候補とすらなり得ないと考えます。 ・また、廃炉費用は、簿外負債なので、可能な限り、早く顕在化すべきであるから、廃炉時期は2030年では遅きに過ぎ、遅くとも2020年とすべきです。
31701	個人	その他	20代	男性	「原発ゼロ」シナリオに賛成です。	ただし、それは同時に再生可能エネルギーへの以降や、省エネ化の街ぐるみでの運動(LED化の推進など)が必要だと感じています。
31702	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発の発電比率は15～20パーセントがいいと思う。	原発の発電比率はできるだけ少ない方がいいが、 現在において、核燃料の最終処分場などが決定していないなか、原発の発電比率ゼロを求めるのは非現実的だし、現在において安定し恒常的に発電できる自然エネルギーが開発されていないからこのシナリオがいいかと思う。
31703	個人	学生	20代	女性	原発は必要ありません。	震災以降、原子力発電の危険性が知られるようになりましたが、自然の理に反するものをつくってしまったこと自体がそもそも間違いだったのです。
31704	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発ゼロシナリオ即時。	経済的に、生活に不自由が発生しようとも人類の健康的存続には変えられない。 今はっきりと決めなければ、もうその時はこない。 これ以上地球を汚染させたくない。 原子力研究は今後も必要だと思うが、原子力発電はもういらない。
31705	個人	その他	40代	女性	原発ゼロパーセントのシナリオを指示します。	福島の事故の収束も未だの上、除染や被爆の影響も分からないことがあまりにたくさんある、さらに、地震や津波などの自然災害の危険性や影響も予測できないことが多々あるというのに、見切り発車のように大飯原発の再稼働をおこなったことは、この国の国民として許しがたい。 きちんと管理もコントロールもできないものを安全だと何故いえるのか？ 既に廃止した他の国のように、代替えエネルギーの開発にもっと力をいれるべきです。 唯一の被爆国である日本は、核や放射能が人間にどんな影響をもたらしたか既に一度経験しているのに、どうして人間の命をこんなに軽く扱うのでしょう？ 原発はいりません！ どうか、国民の声をちゃんと受けとめて下さい。
31706	法人・団体等	法人等	60代	男性	原発比率は最低限25%維持しなければならない。再生可能エネルギーは太陽・風頼みであり、基幹電源とはなり得ない。主たる火力はそのエネルギー資源調達に不安を抱えている。	今回の選択肢には再生可能エネルギーが20%～35%程度確保可能との前提条件があります。しかし、この前提条件は誤りです。風力発電、太陽光発電の平均稼働率は約20%ですから、その割合を全体の例えば20%にするということは「能力的には100%」の設備(年間発電能力1兆kWh)が必要になります。ということは、もし「理想的に風が強く吹き、太陽が照りつける状態」になったら、「風力発電と太陽光発電だけで100%の電気を作ってしまう」ということになります。この時、電気をどう処理するのでしょうか？電気が余るからと言って、急に火力発電・原子力発電を止めることはできません。また火力発電を停止しても、すぐに風がやみ太陽が顔を出さなくなったら、やっぱりもう1度稼働させなければなりません。稼働率に80%も振れ幅があると、そのバッファー(バックアップ)をどうするのか？という点は大きな問題になります。電池や揚水発電所を利用しても限界をすぐ超えます。再生可能エネルギーは3%～5%程度であれば扱いやすいものですが、20%～35%も依存するというのは現実としてはあり得ません。 再生可能エネルギーは3%～5%程度が日本における限界ですから、ほとんど全て火力に依存することになり、エネルギー政策上問題が大きすぎます。エネルギー資源調達においても交渉の余地がなくなり、石油生産ピークを迎えている現状で、ますます入手価格高騰を招きます。また、炭酸ガス発生抑制も困難になります。 原子力発電は今回の事故によりその安全性に大きな問題が有ったことがはっきりしましたが、これで原子力を捨てるという選択肢は日本国はとるべきではありません。原子力発電はその安全確保技術および管理体制を再構築して将来のエネルギー政策の根幹にしなければならないと考えます。
31707	個人	家事専業	50代	女性	原発は0にする。代替エネルギーの開発に心血を注ぐ事が日本の発展と、豊かで平和な世界の実現に貢献することになる。それは日本の生き残る道であり、世界の中での日本の義務でもある。	原発はまだ、廃棄物の安全な処理が出来ないのに、そのゴミを貯めながらやり続けることがそもそも間違いである。 後世に、負の遺産を残すことは断じて許されることでは無い。 また、今回の事故では、人は放射能を相手には赤子同然である事がわかった。この狭い日本で、いや、地球で、手に負えない事を進めるべきではない。 日本の技術、開発力を持って、真のクリーンなエネルギーを開発することは、必ず実現出来るし、エネルギーの最先端の技術を持つ国として、世界に貢献して行くことも可能だと確信する。
31708	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発ゼロシナリオを選択する。 ただし、原発をゼロとする時期については、即時とするべきである。	(1)事故リスクが大きすぎる。 福島第一原発の事故により、今もなお16万人が2011年3月10日まで暮らしていた地域に戻れないでいる。福島第一原発がまき散らした放射能は東日本全域に及び、河川や湖沼、太平洋までも汚染している。大気中に放出された放射能は、地球を何度も回って世界を汚染している。 食品は放射能で汚染され、日本列島に暮らす市民は、その汚染された食品をやむなく摂取すべき状況に追い込まれている。また生産者は自ら生産した生産物が忌避されるという事態にさらされている。漁業者の中には、未だ漁業を再開出来ない方も多い。 原発の事故は、事故が起こったら取り返しがつかず、誰も責任を取れない類の事故である。 (2)福島第一原発の事故の原因が究明されていない。 国会事故調査委員会の報告書は、「福島原発事故は終わっていない」としている。政府の事故調査・検証委員会の最終報告でも、事故の原因究明が十分には行われていない。加えて、福島原発事故を教訓とした新たな規制が定められたわけでもない。 このような原発事故の再発を防ぐ事は出来ない状況下で原発の運転を再開するのはもってのほかである。 (3)核のゴミを次の世代に押し付けてはならない。 使用済み核燃料は、再処理をするにしても直接処分をするにしても、何万年もの間、管理しなければならない。原発の稼働期間は40年に過ぎず、そのわずか40年のために、何万年にも及ぶツケを、次世代に残してはならない。放射性廃棄物をこれ以上作り続ける事は、許されない事である。
31709	個人	その他	40代	女性	「エネルギー・環境会議」による、2030年までの日本のエネルギー「3つの選択肢」(1)原発ゼロシナリオ、(2)原発15%シナリオ、(3)原発20～25%シナリオ)について、断固反対致します。	原子力発電は震災前以上の比率を維持すべきであると考えます。ここで、政府がエネルギー政策の選択を誤れば日本の没落は避けられなくなります。 新エネルギーの研究開発はもちろん大切ですが、太陽光発電や風力発電への性急なシフトは国民への経済的負荷が過大になるばかりでなく、その不安定性をカバーするために結果的に化石燃料への依存度を高め、我が国のエネルギー安全保障を著しく損ねる恐れがあります。 世界的には新興国の経済成長に伴う資源獲得競争の激化が見込まれる中、資源小国の日本としては、高速増殖炉の実用化を視野に入れた原子力の活用は依然、必要不可欠です。 震災後も世界の趨勢は原子力発電の導入・維持・拡大であり、脱原発を決定した国はほんの少数に過ぎません。 我が国は福島の事故を教訓に原発の安全技術を高め、原子力による電力供給システムを継続・発展させていくべきです。 よって、原発ゼロ、もしくは削減によって日本経済の成長を阻害し、失業者の増加を招く「3つの選択肢」に強く反対致します。
31710	個人	家事専業	40代	女性	原発ゼロシナリオを強く強く強く支持します。	この地震大国でこれ以上原発の事故におびえて暮らすのは嫌です。 原子力発電はこの国の未来を暗くする。 空間線量の問題だけでなく、放射能汚染された食物や瓦礫の拡散により不要の内部被ばくをさせられている子供たちへの責任はいったい誰が取るのか。 これからも必ず大災害は原子力発電所を襲う。 今後どのような過酷事故が起こっても誰も責任を取りはしないし、取れないことは明確である。 まして各電力会社に原発の管理能力などありはしない。電力安定供給の義務を忘れ「儲かって高給がもらえればそれでいい」連中であることは、はっきりした。 事故の実態をどこまでも隠し、まき散らした放射性物質は無主物ですから知りません。 原発の必要性をアピールするため、計画停電で国民を傷害し恫喝する組織である。そしてそれを黙認・応援してきた経産省と政府。 次の過酷事故が起こっても同じことの繰り返しになるのである。 こんなクソ原子力発電などは即刻やめるべきである。 事故直後から、脱原発でエネルギー政策の舵を全力で切るのが当たり前である。代替案なら諸外国にいっぱいヒントが落ちている。 いつまでも核兵器開発技術(潜在的な核兵器保有)を諦めきれない人々、国策だからと原子力利権の甘い汁を吸っている人々を始末するべきである。
31711	個人	その他	30代	女性	おかねのつかいみち	みんながお金がないのは、わかっています。わたしもお金もちではありません。 お金がないとき、1円でも安い物を買います。再生したものを使った高品は、高いです。みんな、だから、安かろう, 悪かろう、と知りながら 安い方を買います。 企業努力とかかはわかりません。 一度でいいから、世の中に流通させたいものを安く、簡単に手を出いやめさせたい物を高く、してみてください。 ほら、たばこが値上がりしたとき、煙草を辞めたヘビースモーカーがいたでしょ。 それでも吹つづける人もいるけど、あれは、嗜好品だから。 その感覚で、お金を使うところを考えて下さい。 えらい人は皆、年よりだから、お金持ちなのか、もうすぐ死ぬかだと思うから、気にならないでしょうが、いま損するように見えることや、しがらみや、意地やプライドは、未だに再生紙ではないトイレットペーパーを使っているのと同じことです。
31712	個人	会社員・公務員	40代	男性	「原発ゼロ」は不可避の選択であると考える。	はじめに断っておくが、このパブリックコメントの提出は「エネルギーに関する選択肢」なる構想を承認するものではない。政府の決定にどのように反映されるかも、どこまで参考にされるかも明確でないパブリックコメントの募集には、多大な疑問が残る。パブリックコメントの恣意的な解釈により、政府案の根拠付けに利用することだけはあってはならない、ということを強調しておきたい。また、「三つのシナリオ」というが、そもそも2030年という区切りには正当な根拠が示されていない上、将来のある時点でどれくらいの割合の原発が残存しているか、というシミュレーションのかたちで提示することにより、政府は基本方針の不在もしくは曖昧さを隠蔽しているように思われる。純粋に形式的な観点のみから見ても、三つのシナリオのうち、それ自体明確な基本方針として成り立つものはゼロシナリオのみである。他の二つはいくつかの要素を勘案した単なるシミュレーションにすぎず、「ゼロ」と「推進」を曖昧に並存させるならば、これまでと根本的な違いをもたらさぬまま、再び同様の事態を招くのみである。なすべきことはむしろ、基本方針をはっきりとした形で打ち出した上で、早急に舵を取り、それに沿って具体的な工程表を作成することではないのか。2030年といったように具体的に時期を区切ることが意味をもつとすれば、そのような工程表の上でのみであり、単にイメージを喚起するためだけでは何の意味も持たない。 こうした不信感をいだきながらもこのパブリックコメントを書いているのは、原発依存ゼロという意見があることをひとりでも多くの個人が表明しなければ、こうした声がつぶされてしまうことへのより大きな不安があるからである。福島の事故を目の当たりにした今でも、生産性なくして国民の生活は成り立たないという考え方が根強くあるようだが、安全なくしてはそもそも生活そのものが消滅しまうのであれば、どちらを優先すべきかは自明である。また原発が生産性を補強しているとは言えても、それを支えているのだという主張は、その裏で「もんじゅ」の場合のように、無意味な支出が莫大に膨れ上がっているという事実を十分考慮していない。政府は被災者に対する具体的保障をまだ行っていないが、生産性を云々する前に、事故での経済的損失をきちんと清算すべきであろう。もはや原発への投資は経済的にもきわめてリスクの高いものであることは十分示されていると思われるが、それ以上に、物理的な意味で日本を壊滅させるリスクが、経済優先の流れの中でなしくずし的に、無責任に覆い隠されるなど問題外である。 たしかに他のエネルギーには様々な問題点がある。埋蔵資源の場合はその枯渇が危惧されるのに加えて、石油、石炭の場合にはCO_2排出量、天然ガスは国外依存度と価格の高さ、水力は大規模拡大の困難さ、太陽光・風力のコストの高さといった問題があることは周知のとおりである。しかしながら、そうした問題を解決するために原子力発電が開発されたとする説明が一部でまかり通っているが、これは事実に反している。原子力の開発構想は、軍事目的も含めて、そもそものはじめから日本が国際的な技術・経済競争のなかで上位に立たんとする、国民全体の安全と幸福という理念からは遊離した「国家プロジェクト」というひとつの「夢」を出発点とするものである。いや、その前に原発そのものが第二次世界大戦の原子爆弾に起源をもつ、われわれに救済どころか破滅をもたらしてきた「古い」技術なのである。そのことをはっきりと認識すべきであり、すべての人々に認識させるべきである。もはやエネルギーの争奪を軸とする国際関係のモデルそのものが見直されなくてはならず、この点では日本だけの問題ではない。今こそエネルギーを巡るこの閉塞状況を打破するために、各国が協力して新しい技術を開発すべきときなのである。
31713	個人	会社員・公務員	30代	男性	0シナリオを選択すべきです。	原発事故を引き起こし被災したこの国が0シナリオを選ばない理由がみつかりません。
31714	個人	その他	40代	男性	ゼロシナリオを支持します。いますぐ原発をゼロにしてください。	ゼロシナリオを支持します。今すぐ原発をゼロにしてください。 事故を起こしたらすべてが滅亡してしまうような危険な装置で電気を作り続けることそのものが、根本的に間違っていると思います。そのために相当に生活レベルが落ちるとしても、そちらを選びたいと思います。また放射性廃棄物の処分方法についても未完成なのではないでしょうか。地方に負担を押し付けるのは間違っています。さらに、原発関連の現場労働者を被曝からきちんと守ることができるのかどうかも疑問です。 私は専門家ではありませんが、原発がなくても他の方法で電力は十分供給できるという意見もたくさんあり、いずれも信頼できるものと感じています。
31715	個人	家事専業	40代	女性	原発は今すぐに、廃炉にすべき。 原発で働く人々や電力会社の方向転換への協力を惜しみなくすることも急務。	国策で薦められてきた原発、このままでは何重もの悲劇を生みます。 そろそろ周囲をを生かす政治へ舵を切らなければ、人類は地球のガンとして死滅する道を選ぶことになると思う。 （まず最初に日本が） 日本から、人の命と人々の生活基盤の大切さを世界にしらしめ、原爆被災国・原発災害国として、これから恐ろしく増えて行くに違いない、被災による病人・奇形児・人口減を、目を背けることなく見つめていかなければならない。 （女性や子供が男性を見限る選択をしなくてすむ国にしてほしい） 私は、合理性・生産性ばかりで押し進めてきた男性理論に偏った社会の結末を、こんなにも早く見せてもらうことになるとは思っても見なかった。 女性は感情論だと言われるが、生命論だとおもっている。 言葉や理屈ではなく、魂から湧き起こる純粋な国民の声をしっかりと聞いて欲しい。

31716	個人	家事専業	30代	女性	脱原発と大幅な省エネと節電で再生可能エネルギー100%の安全な未来をつくっていきたい。 原子力の力をかりずにやれるべきことを私たちが出来る社会をつくってほしい。	福島原発による事故により、放射能がこの地球にばらまかれました。 目には見えない、身体を害するものが確実にこの日本から 世界へ広がっていったのです。 福島で住まわれていた方々は目に見えない恐怖に苛まれ 家に戻れない状態が続きます。 いつ帰ることができるのでしょうか。 人間が快適に暮らすことがもちろん大切なことです。 快適ばかりが行き過ぎてしまい、 なにか忘れてしまったことがたくさんあります。 私たちが自然によって生かされているという シンプルでとても大事なことに目を向けることを忘れていました。 しかし、昨年の原発事故により目を背けられない状況となりました。 これがとてもいいきっかけになったのでしょう。 今こそ、原発に依存せずに 自然エネルギーと私たち人間が節電し 安全で安心した生活を送っていくチャンスだと思います。 わたしは大阪の大都市に住んでします。 無駄な電気がたくさん 夜の街にあふれています。 原発を再稼働させる前に やるべきことがあります。 無駄な電気の使用を規制したらどうでしょうか。 自動販売機もそんなに必要でしょうか。 夜の広告ネオンも必要でしょうか。 まずそこを規制してください。 今日は長崎原子爆弾投下された日です。 人間、自然を脅かす核をこの世界からなくしてください。 よりよい生活、未来を残すために。 おねがいします。
31717	個人	家事専業	70代	女性	原発ゼロシナリオ(脱原発)を希望します。	できるだけ速やかに原発ゼロになることを望みます。
31718	個人	会社員・公務員	60代	女性	ゼロシナリオ、但し最低でもの意味。望むのは即時脱原発、廃炉。	3.11の原発事故以来、原発は未だに開発途上で核廃棄物の最終処分方法も確立されていない(場所の移動のみでゼロに出来ない)ことが明確になった。高速増殖炉も長い年月と莫大な費用をかけているにも関わらず実用化の目処が立っていない。まして最近の研究発表により各原発と活断層との関係が明らかになりつつあり、今回のような事故が今後ないとは明言できず、起きたら制御不能が判明した。大きな犠牲を払った今回のことを踏まえれば未解決の諸問題に対応できない原発を使い続け、次世代に残す決断をしてはならないと思う。 原発を止めると電力不足という脅し文句に乗ることなく、他の再生可能エネルギー開発を強力に進めて下さい。国民は安全安心を望んで適電、節電に努めています。東電はその責任を正面から受け止め、東電全体で更なる経営削減の抜本的見直しをして下さい。原発関連で亡くなられた方々、また期限のわからない避難を余儀なくされた方々、さらに広く東北関東にまで放射線被害を長い間与え続けることを深く受け止めて下さい。私は命をつなぐ母親として次世代に命を揺るがす恐怖を残さない決断を今こそしていただきたいと願う。
31719	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力発電所の閉鎖(廃炉)	昨年の大震災により、原子力発電の大きな危険性が広く認識されました。政府は国民の代表として国民を安全に生活させる為、原子力発電施設を可能な限り早く閉鎖(廃炉)の方向で進め、新たに安全な電力発電施設開発を推進すべきだと考えます。
31720	個人	会社員・公務員	40代	男性	経済性を無視したエネルギー政策には無理がある。 天災･人災による事故発生時のコストを含めたトータルコスト比較が必要。	国産のエネルギーが無い実情で、産業立国である出で立ちから。経済性を無視できないと思ったから。
31721	個人	会社員・公務員	20代	女性	早急に原発を全て停止して、廃炉にしてください。	危険だから
31722	個人	会社員・公務員	40代	男性	将来的に原発への発電依存度をゼロにすべきだと思います。	今回の事故での影響は、福島を初めとして多くの人の生活に多大な損害をもたらしています。 活断層や地震も多く発生する地に、津波も含めた上でのきちんとした対策もなされずに運用されていたことに怒りを覚えます。 核廃棄物の処理についても、きちんとした計画性も無くただだいい加減な保管をして将来へ負の遺産を残している様に思えます。 発電コストについても、燃料費だけを指標にしているようですが、バラまいている交付金、安全だと思い込ませるための宣伝費を上乗せすると、決して安くは無い様です。環境負荷についても、温水を海へ放出しているという部分などで疑問が残りますし、一度事故が発生したときの影響度は他の発電方法とくらべても余りにも問題が有ります。 いますぐにでも全てを廃炉にして欲しいとも思いますが、現実問題として電力供給事情からそれは無理だと思いますので、全ての原発を精査して、原子炉のタイプ(今回事故のGEのマーク1等、設計上問題のあるもの)、運用開始からの年数、立地条件等を踏まえた上で、順次代替えの発電施設への移行を進めて行って欲しいと思います。
31723	個人	自営業	30代	女性	ゼロシナリオを指示します。もっと自然エネルギーを推進してください。	ゼロシナリオを指示します。太陽光や風力など、もっと自然エネルギーを推進してください。特に日本は水脈に恵まれた土地です。水力発電ももっと見直してもよいのではないでしょうか。 福島の友人は幼子と老人をかかえ、逃げる事もままならず、憔悴しきっています。 一度事故を起こせば取り返しのつかない事態になる原発は稼働させるべきではないと思います。
31724	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は0%にすべきと考えます。使原発0%を目指して、自然エネルギーへの転換を考えることが、将来の日本のためになると考えます。	1)原発はリスクが大きすぎる。 　福島原発事故の除染ボランティアに参加しましたが、あの事故規模でも完全な除染は現実的ではないと実感しました。事故が起きた場合のリスクが高すぎます。 　また、使用済み核燃料の処理も試行錯誤の現状では、運用に伴なう課題がすすべてクリアになっていないと判断し、直ちに止めるべきだと思います。 2)自然エネルギーへの転換を真剣に取り組むことが将来の大きなメリットを生む 　原発を止めることで、自然エネルギーへの転換、電力消費の無駄の見直しなど、様々な点で技術や生活習慣などが進化すると考えます。日本には大きな技術力があるはずです。それを自然エネルギーを利用した発電技術の進化につなげれば、将来大きな市場を形成できる可能性があるのではないでしょうか。中途半端な脱原発ではなく、完全に0%にすることでこそ、真剣にその取り組みが進むのではないかと思います。
31725	個人	自営業	30代	女性	1日も早く原発ゼロにし、自然エネルギーを国が先頭に立って推進すべきです。	すべての生き物に安全な未来を残してほしい。 自分たちで責任もって処分のできないものを残すなんてどう考えてもおかしいと思います。
31726	個人	自営業	40代	女性	「原発ゼロシナリオ(即時)」	地震多発国であり、危険な近隣諸国に囲まれた日本において原発はどんな安全対策をしても危険な発電方であり、また今後も増え続ける核廃棄物の安全な処理方も無く、地球温暖化の視点からも海水の温度を上昇させますので、原発の即時停止を強く希望いたします。利益が大きい原発に依存し代替エネルギー対策を怠ってきた電力会社の経営のために、これ以上の犠牲者が出ることは望みません。 　福島第一原発から今も放出されている放射性物質、特に4号機に対する懸念の声は、私の住む北米でもよく耳にします。世界に対して日本国が、これ以上の迷惑行為を続けない意思を示すためにも、即時停止をするのが英知ある者の決断です。
31727	個人	法人等	50代	女性	(1)三選択肢のうちゼロを選択する。かつ即時全原発停止と廃炉の開始、原発および燃料輸出入の即時停止を強く要望する。 (2)規制庁人事案に強く抗議する。被曝を奨励するような方は規制庁にもっとも向かないはずだ。	【ゼロの理由】1. 過大なリスク　保険もかけられないほどのリスクはとれない。4号機が倒れれば世界が滅ぶとも言われている。万年単位で生命が存在できないような場所をこれ以上作ってはならない。2.過大な被害　作業員として被爆する人が今までも、これからも大量に出る。現在の子供を中心に、今後万人単位で健康被害が出るだろう。日本でコントロールできない原発が他国でできるとも思えない。世界中から原発を一刻も早くなくさなくてはならない。3. 廃棄物処理問題。 トイレなきマンションだから。すでに格納容器から出され、共用プールのような危険な場所に置かれている使用済み核燃料を、一本でも増やしてはならない。しかも未使用燃料と比べて格段に危険な使用済み燃料をこれ以上一本でも作ってはならない。4. 高価であること。大島堅一氏によればバックエンド費用抜きでも12円以上と電源の中で最も高価である。さらにバックエンドを含めると、どれだけコストがかかるのか想定さえできない。そしてこれだけ危険性が周知された以上、対策コストはますます膨れ上がり、かつ万全は望めない。廃炉、賠償、処理費用もウナギ登りである。核燃料サイクルも莫大なコストをかけ、しかも危険なだけで可能性がない。これ以上人類を滅ぼすような砂上の楼閣に税金をつぎ込まないで頂きたい。5. 活断層の存在。地震国に原発が立地できる場所があるとは思われない。処理施設さえ作る場所がない(輸出の代償に処理を引き受けるなど論外である)。世界の巨大地震の20%が存在するような地震国に54機も原発を作ったことそのものが正気でなく、日本は軍隊を持たないにもかかわらず世界の脅威となってしまった。世界の知恵を結集し、一刻も早く処理を開始することが、人類に対する日本の責任である。6. アノミーとモラルハザード。東電および国家は国土を破壊し、犠牲者を出し、多くの人に健康不安を与えた。毎日口に入れるもの、そのものが不安であり、一生の悔恨につながりかねないという日常は薄氷を踏む思いであり、それ自体が被害に他ならない。その被害を大量にばらまき、しかも責任を取らず、また取れず、反省もなく、さらに与え続けようとしている電力体制。その被害感情自体を「風評被害」と揶揄し、あろうことか自衛さえ禁じようとした政府の行いに、多くの人々は心の底から憤っている。デモはその表れに他ならない。加害者が今後の方針を決め、費用を被害者に負担させるような現在の在り方は、国を根本から崩壊させる重大なモラルハザードを引き起こしている。処理法から作り直すべきである。7. 内需空洞化。産業の空洞化を懸念されているようだが、それ以上に上記のアノミーは内需を冷え込ませる。信頼なきところに需要はない。火事を起こす家電をそうとわかっていて買う者がいないのと同じである。また、被害者が加害者から物を買う気になるだろうか。すでに原発推進企業とみなされた企業に対する不買運動の呼び掛けも見られる。1億という巨大な購買力は、このままではしりすぼみとなる。昨今NHKが「さあ、これで事故を忘れろ」といわんばかりのオリンピック報道を続けているが、空ぶかしに見えるのは私だけではあるまい。不安、嫌悪、憎悪は消費と経済の敵である。エネルギーの分散と自然化を進める企業だけが消費の希望である。経団連や同友会に代表されるような守旧派経済界に政策を左右されてはならない。8. 民意。意見聴取会が抽選であることを私は疑っていない。しかしながら、この討論の趣旨は原発推進のための説得工作であったと疑わざるを得ない。第一に周知方法の拙劣さと拙速さ。これは組織票にとって有利な仕組みに他ならない。にもかかわらずゼロ選択が3分の2であるということは、もはや民意は明らかである。第二に、選択肢の杜撰さ。40年廃炉であるならば、新規に原発を建てない限り15%以上の選択肢が実現不可能であることはすでに皆知っている。さらに意見聴取会参加呼びかけのHPにリンクを貼られた参考HPはとうてい中立ではありえない推進寄りのガイドであり、せめて15%に誘導しようという意図が明白だ。そして15%に落とそうということは、原発を推進するつもりか、40年で廃炉にするつもりがないかのいずれかであることも明白である。このような見え透いた誘導を行うことは国民を愚弄するものであり、これ以上失墜しようのないほど低下した政府や官僚への信頼をますます破壊する行為である。秘密会議や、よりによってミスター100mmsvを規制庁のトップにつけようとするなどは論外であり、ほとんど正気が疑われるレベルといっても過言ではない。もはや規制庁の信用も失われてしまった。10. テロや暴動の恐れ。現在のデモはきわめて礼儀正しく、平和的に行われており、諸外国が称賛するほどである。しかしながらこれ以上民意を無視し、姑息な誘導を行うことは、平和ボケといわれたほどの日本における治安を悪化させるのではないかと心から懸念している。正当な回路でexitもvoiceもできないとき、テロは起きるからである。 　さて、これ以上理由が必要なのだろうか。むしろ理由を問いたいのはこちらである。なぜ、どんな理由で、再稼働し、規制庁に推進派を置き、ノーリターンルールを形骸化させ、40年ルールでさえ延長しようとしているのか。まったく理解できない。「電力不足」を信じている人はいまや少ない。「国民生活の安定」のようなあいまいな理由では説得できない。いま、政府や官僚の皆さんが7割の国民にとって、大津いじめ事件の校長や教育委員会のように見えているのだということをどうか理解していただきたい。反発や怒り、憎悪を買ってまで成し遂げたいことはなんなのですか? それを言っていただいてこそ、国民的議論が始められるのではないか。
31728	個人	会社員・公務員	40代	男性	20～25シナリオ以上必要では	このまま高い電気代の中で生産を続けることはコスト増を余儀なくされ続け、日本の産業界の競争力が失われ、衰退の一途をたどることが予想されます。このまま国内での生活すらままならくなると考えます。
31729	個人	自営業	30代	女性	原子力発電所の可動完全停止と、処理の安全な推進を求めます	全ての生命の安全性の確保の為
31730	個人	会社員・公務員	50代	男性	(1)ゼロシナリオを選択します。	福島で発生した原発事故は、福島県民だけの苦しみだけでなく、全国の人々を不安と恐怖に陥れました。原発が絶対安全だと言えない以上、原発は廃止していほしい。代替エネルギーに切り替えていくべきです。
31731	個人	無職	60代	男性	プルトニウムを産み出す軽水炉なら0シナリオ，プルトニウムを産まず，大量の使用済み核燃料も地層処理なく消せる熔融塩炉なら柔軟な対応も．原発反対派も推進派もまず新刊「プルトニウム消滅！」を読み考えるべき．	熔融塩炉は，金属を液体にして用いる原子炉です．発電のため，つまり原発として用いるならその燃料はウラン235やプルトニウムではなく，トリウムでありこれがウラン233に転換して連鎖反応を起こし，その熱を利用します． トリウム熔融塩炉は，最近少しずつ話題になっています．しかし，熔融塩炉の原子炉としての大きな意味を，殆ど誰も知りません． 使用済み核燃料は，六ヶ所村の再処理施設に2860トン，全国の各原発の貯蔵プールに合計14170トン，併せて17030トンあります（東京新聞2012年3月9日朝刊，原発と使用済み核燃料の貯蔵量）．現在は，再処理によってこれらの使用済み核燃料からウランとプルトニウムを取り出してリサイクルし，一方残った高レベル放射性廃棄物はガラス固化体にして地下に埋めるというのが政府の方針です． しかし，原発の燃料はたった数パーセント燃やしただけで使い終わります．燃え残りのウランやプルトニウムを再処理しあらためて燃料を作り直しても，また数パーセント燃やしただけで使い終わります．危険な作業を何度も繰り返せねばなりません．効率が非常に悪いことは一般人でも直感的に分かります．でもこうするしか，プルトニウムに対する公的な対処ができないから，やむを得ないのでしょう．そのうえ，NUMOがいくら金を積んでも地層処理を引き受ける市町村はなく，この方針は結局は破綻するしかないでしょう．日本学術会議も，10万年もかかる核のゴミの地層処理は方針転換が必要であり，一から考え直せと6月上旬に提起し，8月末には原子力委員会に対して報告書をまとめる予定だそうです． どうにもなりませんね．何か画期的な方法はないのでしょうか． ウラン燃料は重量比で燃料になるウラン235が3－5%，無用のウラン238が95%以上です．それを燃やすと，ウラン235の燃え残りが1%，ウラン235が連鎖反応によって消滅し核転換された様々の金属（核廃棄物）が4%，ウラン238から生まれたプルトニウムが1%，残り94%がウラン238となります．ウラン238は連鎖反応をしないので，一部がプルトニウムに核転換する以外，殆どそのまま残ります．現在の方針では，核廃棄物のなかから燃料用としてプルトニウムを取り出すことになっていますが，プルトニウムを燃やす「もんじゅ」が現在までの長い研究の経緯において，全くうまく行っていない現状を考えると，不可能のように思えます． しかし，だからといってプルトニウムの混じった核廃棄物を地下に埋めるというのも，現代人の富の謳歌によって生まれたゴミを未来の世代に押しつけ，我々の本来の責任を果たしたことにならないし，また深く考えてもいないと思います．プルトニウムを未来に残すのは，核戦争の芽を未来に残すことです．それで良いのでしょうか． ウランにフッ素をくっつけて六フッ化体にするとウランはガスとなり，連鎖反応によって生まれた様々の金属（核廃棄物）と分離します．すると，核廃棄物のうち95%を占めるウランが単体として分離できます．ウランの他にも一部ガスとなりますが，沸点が異なるので，それらも分離できます．分離されたウランほとんどがウラン238であり，放射能をもつために注意は必要ですが核弾頭にはなりません．残り五%，プルトニウムと核転換した様々の金属の混合物を，そっくり熔融塩炉に入れ消滅させます．分離されたウランを地上で保管すれば，地層処理は無用になるでしょう． 今まで燃料としてプルトニウムを取り出すことばかり考えていたため，こういったアイディアは生まれませんでした．しかし，未来の人々に対してどうすれば責任を果たせるか？その最も有効な方法は？というふうに，現代人の私益のためではなく未来の世代の利益に目的を変え，さらに熔融塩炉を用いることと組み合わせれば，いろいろなアイディアが出てきます．こんなアイディアは固体燃料を用いる軽水炉では絶対に出てきません．液体燃料であればこそ，膨大な使用済み核燃料の処理を一挙に解決できる可能性が生まれます．予算が付けば研究は加速されるでしょう． しかも，核弾頭のプルトニウムも実際に消滅させることも可能です．オバマ大統領のプラハでの演説「核なき世界」の通り，核兵器の廃絶を机上の空論から実現実問題へと移行させる要の技術です．新刊「プルトニウム消滅！」を読んでよくお考えください．
31732	個人	会社員・公務員	40代	男性	現状維持の20～25%	特にありません。

31733	個人	会社員・公務員	30代	女性	2030年までに原発の比率をどうするかではなく、原発をなくすための道筋を！	『原発への依存度を出来る限り低減していく』 という骨子にはっきりしているのだから、2030年までに原発の比率をどうするかではなく、原発をなくすための道筋を作って下さい。 再生可能エネルギーの開発の政策を強化・加速させ、過渡期にどれだけ電力が不足し、それを何でまかなうのか。 なにが効率や燃費がよく、環境にもっとも負担をかけないのか。 過渡期には、実用化もされている発電効率のよいガスコンバインドサイクル発電の導入比率を増やすという方法もあります。 将来的には再エネ100%へシフトする政策を進めながら。都度、その政策がどこまで進んだのか、検証・改善して、着々と早期の原発ゼロに向けて舵をとって政策を進めて下さい。 また、再エネ開発をすすめるときも、環境破壊しないでください。 地域ごとの小規模発電へとシフトしていって下さい。 原発も核もいりません。 原子力発電は、温暖化対策に寄与しません。 発電時は、大量の温排水を海に捨てて海を温め続けています。 発電後も、使用済み燃料を電力を使い何十年も冷やし続けなければなりません。廃炉後も、管理し続けなければなりません。 使い続ける限り作業が必要で、あらゆる作業で被曝者を出します。 核廃棄物の問題が棚上げされたまま、未来に負の遺産を残します。 核融合？核燃料サイクル？危険が大きすぎてもはや、夢とも現実のとも思えません。 建設から廃炉、核廃棄物の管理まで含めると、原子力発電はどんな発電方法よりもコストがかかることがはっきりしました。 福島の原発事故により、専門家でもない一般の国民が今まで知らなかった知識を得、隠されていた情報も知ることとなりました。 原発の電気は要りません。 省電力、思い切ったエネルギーシフトへの道を描きましょう。
31734	個人	会社員・公務員	50代	男性	シナリオの中では20-25%だが、CO削減を含めて考えるとさらなる原発比率アップが必要	確実性のないシナリオで原発比率を低減させていくと、国内の産業空洞化を招くことになりかねない。
31735	個人	会社員・公務員	40代	女性	やはり将来のことを考えると、ゼロシナリオにすべきと思います。	今回の震災のような大きな事故がおきると、その後数十年にわたり人体に影響することを考えると、やはり原発はやめるべきと思います。今すぐにとはいかないと思いますが、国民の健康を考えるとクリーンエネルギーを開発・推進していくべきと思います。
31736	個人	学生	20代	男性	原子力発電所自体は即時撤廃し. 当面は天然ガス発電所の新設や増強によって発電能力の不足を補う。 この新設・増強は電力会社以外の会社も参入出来る形で進めることで. 建設や燃料にかかる費用を抑える。	以下の4点を強く希望する: (1) 原子力発電所を即時全廃する。 (2) 発電能力の不足は当面天然ガス発電所の新設や増強で補う。 (3) この新設・増強は電力会社以外の会社も行えるようにする。 (4) 超長期的には再生可能エネルギーに移行する。 天然ガス発電所は建設費が安く燃料費も安い。例えば川崎天然ガス発電所の 建設費は845万kWに対して500億円と言われ. 原発の10分の1以下となっている。 また現在の火力発電は旧式の重油火力を使っているが. 重油は高く熱効率も 天然ガスに比べ低い。天然ガスの熱量当り価格は重油の半分程度である。 電力会社が算出する天然ガス発電所の建設費や燃料費は国際水準よりかなり 高い。従って(3)のように既存の電力会社以外の会社も参入させるべきである。
31737	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロシナリオを強く望みます。	地震国の日本にいる以上、安全な原発などありえません。これ以上、放射能に人々の命を脅かされたくありません。子ども達の未来に負の遺産を残したくありません。どうか私たちの願いを聞き入れてください。全原発の廃炉へ向けての英断を！
31738	個人	家事専業	50代	女性	原発ゼロシナリオを希望します。再稼働はぜったいしないでください。自然エネルギーを推進してください。	安全対策を主張されますが、福島原発事故はいまだ解決せずして、補償問題もなにも解決していないうちに、脱得力も信用もありません。原発が安全だという保証もありません。絶対ということもありえません。原発再稼働に対する理解も納得もいきません。原発ゼロシナリオを希望します。
31739	個人	会社員・公務員	40代	男性	当面は、原子力発電を最低でも現状維持すべき。	産業の国際競争力維持及び強化、国民生活安定、の為にも安価で安定供給出来る電力の確保は必要不可欠であると考える。
31740	個人	その他	30代	女性	1.原発即時廃止、原発ゼロ を強く求めます。 止められない、制御できないものを動かすなど、正気の沙汰ではない。 核のゴミを何万年分も溜め込んで、ちょっとの便利を得るなど、ばかげている。	そもそも、原発でなければいけない理由がありません。 電気はある分だけ使えばよい。 たった少しの便利のために、子供の命や地球の環境を犠牲にするのは愚かなことです。 福島の大人災を経験してなお、原発稼働や新設をする国は、どう考えてもおかしい。恥ずかしい。 私達には、大切な地球を、未来へつないでいく義務があります。 この国の民に保証されている基本的人権によって、 健康で人として最低限の生活をおくることを望みます。 そのためには、放射能のない空気や海や食べ物が必要であり、 国民全員の意見をきちんと聞かずに行う原発稼働は、違憲だと考えます。
31741	個人	会社員・公務員	60代	男性	原子力比率２０～２５％シナリオを選択するが、本来なら政府は、国の将来を考えて現在の原子力比率２６％より増やす方向にするべきである。 将来のエネルギー政策はもっと時間をかけて検討すべきだ。	結論から先に述べるなら、最低でも原子力比率２０～２５％シナリオを選択するが、本来なら政府は、国の将来を考えて現在の原子力比率26%より増やす方向にするべきである。 日本は、エネルギー自給率4%という極めて資源の乏しい国でエネルギーの殆んどを海外に依存している事実をもっと認識すべきだ。昭和48年、54年のオイルショックを経験し、そこで学び、電源の多様化でリスク分散を図ってきたことで安定した生活と産業の発展をしてきたことを忘れてはいけない。 この1年半、原子力のリスクだけがクローズアップされて語られているが、原子力、石炭、石油、LNG、水力、再生可能エネルギーどのエネルギーであってもメリットとデメリット(リスク)がある。そして今、東電福島第1の事故原因が完全に解明されていないにもかかわらず、原子力ゼロシナリオのように貴重な準国産エネルギーを捨て去ろうという選択肢を提示していることは理解に苦しむし、国、政府としてかなり無責任ではないか。本来なら当面の東北地方の復旧、当面の電力需給対策に力点を置き、将来のエネルギー政策はもっと時間をかけて検討すべきだ。 原子力比率を現在より低下させることは、日本の国際競争力の低下、企業の海外移転、雇用機会の減少につながり、政治も経済も2流・3流の国になってしまう。国・政府は外交・防衛・エネルギー・食糧問題に関して、ポピュリズムでなく施策をとるべきでない。
31742	個人	その他	50代	男性	取り返しがつかない事故が起こる可能性のある原発はまったく要りません。要らないどころか、あっては困ります。0%でお願いします。	取り返しがつかない事故が起こる可能性のある原発はまったく要りません。要らないどころか、あっては困ります。0%でお願いします。
31743	個人	学生	40代	女性	脱原発　他のエネルギーへの移行期間は10年程度に	原子力研究は必要だと思うが、産業として、今のように発電所を存続させるのには反対だ。 素晴らしいシステムが発電所の中で構築されていても、それを運営するのは人間で、そこには事故はつきものだ。今回のような地震・津波被害がなかったとしても、事故は必ず起こる。想像を超えるアクシデントがあれば、もっと事故の起こる危険性は高まるということを地震・津波は私たちに教えてくれたのだと思う。 また、廃棄物の処理も地下に埋めるしかないというのでは、原子力エネルギーを長期間使用することは現実的でないだろう。 そして、原子力発電所の正しい管理ができる人材、新しいエネルギー開発、そしてそれを新しい産業に育てるような人材育成にもっと力を入れて欲しい。学ぶことの楽しさを知らない大学生に不安を覚える。
31744	個人	自営業	50代	男性	★「2030年までに原発依存度、ゼロシナリオ」を選択します 2030年というのは、最悪、最長の期間と考え、 それよりも早い、原発依存度ゼロを望みます。	(1)安全神話の崩壊―原発を統治する力、能力がないことが露呈 福島の未曾有の原発災害が生み出した状況、いまだ終息には程遠い原発事故現場を実直に受け止めれば、原発利用は考えられない。 ふるさとを失った人の気持ち、先祖から受け継いできた農地、家屋を離れざるを得ない状況、また放射能被ばくによる継続的な恐怖などなど。それらに対する保障もいまだ明示できない政府、東電。すなわち、原発を管理、統治する能力を持ち合わせていないのに、稼働することなどあり得ない。 (2)核燃料廃棄物の視点から絶対に稼働させるべきではない 枯渇するウラン燃料に対して、再処理、再利用を目指して、技術開発を数十年にもわたって技術開発に取り組んできているが、一向に目途が立っていないのが実情。海外では、再処理、再利用での核燃料の取り扱いは不可能との見解もある。直接処理現実的と言われる今、これ以上核のゴミ次の世代に残すことはありえない。 (3)放射能は人類にも、地球環境にも相容れない代物 地球温暖化防止の視点から原発推進と言われているが、とんでもない量の温水を海に放出し、海洋環境を破壊するような代物はとても容認できない。また周辺海域での放射能の露出。半減期までに50年、100年の代物をこれ以上増やすことなど考えられない。 (4)地方自治の崩壊を招く原発行政は今後不要 54基の原発を造ってきて、地方自治がよくなっただろうか。自立した自治でなく、補助金に頼った自治になってしまっている。これは、地方にとって、全くもって不幸なことだと思う。一極集中型がいかにリスクが高いか、十分に認識したはずである。 また、原発利権。もういい加減にしてほしい。 (5)自然エネルギー技術の保有と将来性 日本には、日本にあったエネルギー政策を考えるべき。地震大国であるのに、わざわざ危険を内包する原発に頼る必要は全くない。わが国には豊富な自然がある。ましてや我が国は、自然エネルギーの技術をたくさん持っている。どうしてそれを国内で活用しないのか。海外のあらゆるところで、日本の自然エネルギーの装置(地熱、風力、太陽光)を見かけるのに唖然とする。エネルギー自給率をもっと高める視点が重要。
31745	個人	会社員・公務員	20代	男性	2030年までになるべく速やかに原発ゼロ	原発に変わるクリーンエネルギーへと切り替えることで、リスクを回避できるだけではなく、先進的にエネルギーの切り替えを行った国として国際的な評価にもつながる。また、クリーンエネルギー産業の発展により新たな経済が産まれる。
31746	個人	自営業	70代	女性	(1)原発再稼働に反対(2)原発依存0%に向けたロードマップの作成(3)地域ごとに地理的気候的特徴に合致した代替自然エネルギーの追求・実現(4)新築の建造物には太陽電池発電を義務付ける。	フクシマの被災で、原発の事故処理の時間的・経済的コストの膨大さを官民共に目の当たりにしたと思う。このような事故の再発防止は、喫緊の課題であり、その課題を解決してこその経済発展である。 目下の施策は、本末転倒も甚だしい。 日本の官僚は優秀だったはずである。真の国益とは何か、探求し、実現する能力を持っているはずである。所詮は利益追求集団である企業・財界の論理に引きづられてしまったら、またもや戦前の昭和10年代に逆戻りである。唯一つの被爆国のニッポンが放射能の垂れ流しで、海水を汚染してしまった暇疵を世界に対してどう償うか、1万分の1の可能性でも、同じ過ちを犯す可能性のある選択肢は、放棄してほしい。 代替エネルギーの研究開発は雇用にもプラスの影響を与える。
31747	個人	会社員・公務員	20代	男性	各シナリオを推進することに異論は無いが、個人の負担・企業の負担の軽減への考慮を願う	これらのシナリオには原子力依存度を減らすということが前提にある為、発電コストの増加は免れない。 大きな事故が起きてしまった為、イメージ及び被害があったが原子力依存の削減の際にコスト及び個人・企業負担が多くなってしまった場合には既存の企業の存続を危ぶむ問題が生じてくる。私が勤めている会社は多くのエネルギーを消費する為、省エネ努力をすべき企業であるが、今回の電力料金値上げだけでも打撃を受けているようである。 反対というわけでは無く、むしろ賛成であるが、生活自体が大分厳しくなる状況が改善されないのであれば私達の不満が大きくなってしまうことが考えられる為、他人任せではあるがさまざまな方法を模索していただきたい。
31748	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力エネルギーを強く反対します。 絶対の安全は無い。 辞めるに足りる理由だと思います。	原子力エネルギーを今後も継続していく事に対し、強く反対します。 昨日の地震、津波により起きた福島第1原発の事故により、原発に近い区域は環境汚染にとどまらず、元々そこで暮らしていた人達が今まで通り生活出来ない状況が起こりうる事が目の当たりにされてしまいました。 今回の事故における、細かい事を言えばきりがない程のあまりに大きな規模の被害の為、家を失う人、職を失う人、家畜を失う人、風評被害を受ける人、生きる希望を失う人、責任の擦り付け合いで全ての人が心救われる状態には程遠い状況でしょう。 何かが起きた時に誰にも収集がつけれない、そのようなものに手をつけてしまったのです。 私個人の意見は「いつつかは辞めるでは無く、今すぐに辞めるべきだと考えています。」 私の拙い想像力、知識でも、今原子力が再稼働されている理由が電力不足であったりと脅しのような言葉や、問題を先送りしているようにしか聞こえないのです。 原子力エネルギーを辞める為にかかるお金もあると思います。 火力や自然エネルギーに変える事で料金が上がる事もあるかと思います。 それらはデメリットかもしれませんが、新しい体制に伴う一歩の為に本当に必要なお金であれば私個人としては構わないと考えております。 絶対の安全は無いということが証明された今。 辞めるに足りる理由だと考えています。
31749	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオを支持します。即時全機停止を希望します。	1.危険性:原発は危険。 2.社会的に不健全:政産電力と地元ボスの巨大な利権構造は社会的にも不健全。 3.電力は不足していない:蓄熱・蓄電などのピークシフトのための技術を発達させれば現在の火力中心で対応できる。事実東電では今夏は原発は動いていない。 4.発電コストが高い:原発コストと事故対応を考えると原子力はコストの高い電気である。
31750	個人	その他	60代	男性	原発ゼロは非現実的。当座は15パーセントを目指すべき。	再生可能エネルギーの風力・太陽光の実力は未だ不確実。現状の電力供給体制を前提にすれば、とくに関西では原発ゼロは無理ではないか。しかしながら、世界の地震の3分の1が発生する日本、悲惨な福島事故を考えれば、原発の稼働はより確実に安全なものに限定すべき。当然、今後、東西の周波数の差解消や発送電分離等の問題も前向きに議論されるものと期待している。
31751	個人	会社員・公務員	50代	女性	日本および世界のすべての原発は、ストップするべきと思います。チェルノブイリやスリーマイル島、福島の事故で学ぶべきです。	ただただ原発をストップするべきと言っているのではありません。もちろん、エコな生活、省エネルギーを目指し努力するべきと思います。政府も3．11の後のように常に「節電」を語りかけていくべきです。代替エネルギーは風力や太陽熱など自然エネルギーの開発に力を入れてほしいです。反原発デモに参加できなくても数倍の国民が反原発を支持していると思います。このパブリックコメントもちっと募集の情報を流すべきです。家族で省エネを心がけて暮らしていますが、子どもたちや孫の世代のためにも原発を止め、電気中心の暮らしの見直しを呼びかけてほしい！！
31752	個人	無職	60代	男性	原子力発電は0にすべきである。即0は無理と思うが、稼働させない廃炉に向かう努力は必要。	0にすべき根拠は(1)核燃料廃棄物の処理が確立されていない。(2)地震国日本ではどこで地震が発生するかわからず壊れない原子炉を作ることは不可能と思う。(3)原子力発電の安全に関しての組織が推進側に偏っている。(4)電力会社の説明に不自然さと隠ぺいさがあり信用できない。今後は再生可能エネルギーの生産拡大を図ることで政府の行動がゆっくり過ぎる。安定的な水力や地熱の拡大導入を本腰を入れて進めていただきたい。

31753	個人	会社員・公務員	40代	男性	エネルギー選択に関し	原子力比率は2010年並みの25%程度のケース3で良いと考える。 本当の省エネを考えれば原始的な生活が一番であろうが、便利さを追求した現世では不可能。昨日まで使っていた洗濯機を使わなくなるなどありえない、飛行機、電車、自動車で移動しているのを人力でなんてありえない。早く走る車には良く止まるブレーキが必要な様に原子力発電にも徹底した安全管理基準を設ける事で対応してはどうかと考える。 (1) 原子力によるエネルギーは必須 (2) 原子力を使う技術の進歩が必要 (3) 原子力を安全に使える知識が必要 (4) 原子力反対派は電気エネルギーを使う事はない自然で生活すれば良い 私はもっと便利に生活をしたい、もっと早く遠くへ移動したい、もっと簡単に物事を扱いたい、そのためにはエネルギーは必要、一番クリーンなエナルギーは原子力と考える。ハイリスクハイリターンはつきもの、リスクをどれだけ下げれるかが一番重要と考える。
31754	個人	その他	60代	女性	原発反対及び消費税増税反対	環境汚染および生活困窮度が増大するから
31755	個人	無職	60代	男性	原発ゼロシナリオを選びます！！！ 原子力規制委員会人事案に反対します！！！！	原発ゼロシナリオを選びます！！！ 報告書が四通出ても、福島原発事故の原因の核心をつかめていない。炉内に入れないのだから当然の事だろう。それ程一旦事故が起きたら手も足も出せない人間の力ではコントロールできない怪物を、動かしてはいけない。首相が私の責任で大飯原発再稼働させると言った。愚かなことだ。責任をどう取れると言うのだろう。国会事故調では人災と決め付けた。言葉の重大性を軽く見るような首相に代表される"英知"を持つ人類に核を使う権利はない。核燃料サイクルには、入口と出口も未だ解決されていない。ウラン採掘現場では被曝事故が多発してると言う。まさに福島と東京、大飯と大阪の関係其の物ではないか。使用済核燃料の管理を今この瞬間にも戦争真っ盛中の権力者、核兵器を廃棄出来ないどころか開発にしのぎを削っている権力者。この"英知"の持ち主が何十万年もの間"使用済核燃料"の番人を務められるとは思えない。"子孫へのつけ回し"其の物ではないか。今こそ全力で代替えエネルギーの開発に取り組むべき時です。何も全く新規のエネルギー開発しなくとも既存技術の改善は日本の最も得意とするところ。核に使う金を注ぎ込めば直に果実が実ると確信します。 原子力規制委員会人事案に反対します！！！ 国会事故調で提案しているでしょう！ 候補者多くあげて国会で審議しろと！ 昨日迄原子力むらの真っただ中で一生懸命原発推進の旗振りをしてた人物を、"あなた"信用できますか！ 変わり身の早い風見鶏、自分の保身に汲々としている厚顔無恥の"田中、更田、中村、大島"各氏の就任に絶対反対します！！！！
31756	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを強く希望します。	宮城県に住んでいますが、原発事故の影響で出荷されない野菜が沢山あります。おそらく今後何年何十年と続くでしょう。 エネルギーは重要な問題ではありますが、原発を利用してのエネルギーは要りません。 選択肢を読むと政策めなことは記述しているのに、国民生活や生命にかかわる事項の記述がありません。国民の健康権を守るのは、国の責任においてだと考えます。 是非、その内容を盛り込んだエネルギー戦略を策定してほしいと希望します。
31757	個人	家事専業	50代	女性	原発依存度はゼロ。再生可能エネルギーの更なる技術開発と推進に努めるべき	国民の安全保障のためにも原子力に対する技術研究は必要だが、管理面を考えると各地に原子力設備があるのは危険。一箇所で徹底した管理の元に研究開発が行われる事を望む。平和利用は医療面に特化し、後は原子力の廃棄も含めたコントロールに心血を注いで欲しい。
31758	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	ゼロシナリオで進める事が今の日本いや世界からの視点で考えても当然と思います。	3・11後の福島第一原発の処理ができていない状況のなか、危険性についてどうお考えかと思います。現実に住民は帰れないという現実が目に入っているのか、もし安全というのならば身を持って福島に移住できるのかと思います。今の日本何がおかしいかと政府が国民に目を向けていない事です。企業にばかり目を向けているとしか感じられません。再生可能エネルギーにもっと目を向け費用労働力も費やすべきです。国民が住みよい国造りに力を注いでほしい、それはまず安全からです。原発は危険です。作りだしたら使用済み核燃料も発生し永遠に危険が付きまといます。安全なものではありません。安全という言葉を使わないでください。原発は使わないでください。
31759	個人	無職	60代	女性	再稼働をせずに原発がなくなってほしい。	そもそも日本は複数のプレートの上に乗った地震国で、この国に50基以上の原発を作ることが無謀だったと思う。みんなが大津波を引き起こす大地震の可能性を忘れていた。でも福島の不幸があったあとでも原発をとめることができない日本人って、世界に恥ずかしい。今地震が頻発する中で、もう一度原発の事故があり放射能がばらまかれれば、日本は終わりだし、世界に顔向けができない。 核廃棄物の件もきちんとしていない。青森県の下北半島に、六ヶ所再処理工場、それと連動したMOX型大間原発、むつ市に中間貯蔵施設と建設が進行中である。県民はこのまま下北が永久貯蔵地に追い込まれるのではと心配している。再処理工場は事故ばっかりだし、もし一旦大事故(それが自然がもたらすものであれ、人為的ミスであれ)があれば、放射能の被害は福島の比ではないと思われる。本当に怖い。八戸に住む自分も家を捨てなければならなくなるかもしれない。 都会の人たち、電力会社、政治家の人たちは下北を訪問してほしい。交付金漬けにした下北の犠牲のおかげで、電気使い放題の生活がある。だがその見返りは小さい。やっと来た新幹線は下北半島の入り口、野辺地駅をかすりもしないで七戸に行ってしまった。悪ましていないからか、地理的に中央から遠ざけられたからか、下北には私たちが失ってきたものが多く残っている。自然も人の人情もとても美しい。この場所が、ここに住む人たちが放射能で汚されないよう、不幸にならないように祈るばかりである。 狭い日本で、人が住めない場所をこれ以上増やすのはおかしい。自然エネルギーに切り替えるなり、節電するなり、生活の質を変えるよう、日本人の知恵を総動員しましょう。
31760	個人	無職	70代	男性	2030年以内に原発依存率0%を希望する。 原子力発電は安価でかつ日本の様な資源がない国には最適な方式として容認されてきた。しかし一端放射能が漏れると人類の破滅につながる危険性を有している。	原子力発電は、過去において経済的であり資源のない日本においては、最適な発電方式として使用されてきた。 さらに安定した電力供給は工業の発展、経済の発展に寄与すること大であった しかし今回の大震災において、放射線の漏えいそれに伴う自然環境の破壊が発生しこれを防止する対策もなく、ただ流れに任せる状況となった。 この歴史的経過はまさに原子力発電の明暗である。いわば「天使と悪魔」の演出である。 人類の未来に対し何をすべきか。二度と悪魔を蘇らせてはいけない。
31761	個人	無職	60代	男性	原子力依存の割合の0%の選択を支持します。	東京電力の原発事故の反省に立てば速やかに原子力発電からは撤退すべきと考えます。 日本海の比較的浅い海底に開発されずに眠っているメタンハイドレードを早急に開発し日本自前のｴﾈﾙｷﾞｰを利用する対策を至急にとるべきと考えたいます。
31762	個人	その他	50代	女性	原発ゼロを選択する。それ以外は、憲法で保障された、人々の健康で文化的な生活をする権利を奪うことにつながり、あり得ない。さらに、温暖化対策に貢献する自然エネルギー100%の社会を実現すること。	新たな原子力規制の法律ができ、放射性物質による汚染は、環境基本法および循環型社会形成推進法の対象となりました。環境基本法は、持続可能な発展ができる社会を目指すことを目的としています。 原発は持続可能な社会には不適切です。ひとたび過酷事故を起こせば、福島のように人々の衣食住を維持する大地や水、空気を汚染してしまいます。人類史上にない放射能汚染を経験した今、人々は生態系サービスなくしては存続できないことをあらためて理解する必要があります。 また、核燃料廃棄の方法も確定していないものを続けることは、循環型社会形成の趣旨にも大きく反するものです。これらを将来の世代に引き継ぐことは、世代間の公平にも反します。 さらに、温暖化問題は、まったなしの危機的な状況になっており、これ以上CO2による環境負荷を高めることは、人類の存続を脅かすこととなります。 エネルギー政策は、原発ゼロと温暖化対策推進の両方の目的を達成するため、自然エネルギー100%を目指すことが必要です。
31763	個人	自営業	30代	男性	原発の即時全機停止及び今後の原発建設と開発の凍結を求めます。	人間が制御不能である原発は、未来に必要ありません。原発の即時全機停止、及び新規の原発建設と開発の凍結を求めます。
31764	個人	自営業	40代	男性	原子力発電は必要と考えます。	原子力発電は必要と考えます。理由としては電力の安定供給するため、計画停電などは何としても避けなければならない。 原発停止を火力で補うことになっている現状は、中東情勢の不安定な状況で石油天然ガスが価格が安定しないことや、海峡封鎖などで輸入できなくなることを考えれば、 自然エネルギーについては太陽光などは夜に電気を作れないなど欠点があって安定供給にはなりえません。
31765	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロシナリオ 選択 2030年までになるべく早期に原発ゼロへ 使用済み核燃料再処理施設の撤廃 省エネ大幅促進 再生可能エネルギーへのシフトチェンジ	原子力の平和利用はありません。 これ以上放射能による人体への被害、土壌への汚染を繰り返してはいけない！ 日本が世界に先駆けてしてみせなければならない 脱原発 2030年迄になるべく早く、 速やかに原子力によるを発電0%にすることを望みます。 使用済み核燃料を再処理せず直接処分し、 再処理施設や高速増殖炉もんじゅの撤廃すること そして、 再生可能エネルギーへ移行。 エネルギーの無駄を省き、 省エネを大幅に促進する。 その為にライフスタイルをかえる事に不満は全くありません！ 多くの国民が同じ考えだと思います。 子供の笑顔のために、子供の未来のために 国民の笑顔のために、日本の未来のために 世界のために 地球のために 今やるべきです???
31766	個人	パート・アルバイト	70代	男性	原子力発電の結果生ずる使用済み核燃料は放射性物質からなる。この使用済み核燃料は現状では処理できないまま残っている。人間の命を脅かす放射性物質を後世に残すべきではない。ただちに止めるべきである。	1、使用済み核燃料の処理についてはいろいろな試みがなされているが、原理的に不可能である。使用済み核燃料が処理でできないのは原子爆弾と同じで平和利用ではない。化学のような核外電子の扱いではなく、核の構造に関連して放射能が出るものである。研究開発は続ける必要性は否定しない。未完成の技術を使って経済の基盤となるエネルギーを生産すべきでない。 2、自然エネルギーを利用する技術を直ちに開発すべきである。太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電、潮汐発電など多々ある。山梨県の都留市では落差の少ない場合の水力発電の試みもなされている。小水力発電機や落差の小さい水流の場合の発電機を作成する企業も現れている。都市近郊の河川でも、落差は小さいものの大きな水流がある。これを電気エネルギーに変える試みがなされるべきである。これらの河川では水害対策で常に河川の改修を行っている。これらの工事と組み合わせた発電設備が考えられる。太陽光が天気晴れのとき、水力が天気雨のときの太陽エネルギーを使っている。風力が補完の役割を果たすとすれば、太陽エネルギーが安定的なエネルギー源となると考えられる。自然エネルギーはエネルギー密度が小さく、広く分布しているので集めないといけない。太陽光発電は規模によるが発電量が1～10～100kW程度で多数つくる必要があるのに対して、原子力発電は一基で何万～何百万kWを発電し、桁が違う。これまで経済界は原子力発電にお金を投資してきたが、自然エネルギー利用はまだ未開発なところが多く、自然エネルギーの特性を考え、経済活動の転換をただちに進めるべきと考える。政府はそのような政治指導と施策を進めるべきと考える。
31767	個人	無職	60代	男性	(1) ゼロシナリオを選択します。	野田首相は"安定した電力需給のために自らの責任において再稼働"と言ったが、政治家の責任を取るとは辞任することなのか、もう一度原発事故が起きた時に首相が辞任したところで何の問題の解決にもならない。事故の結果は国内に留まらずアジア更に全世界に影響を与え、その重大さはそもそも一個人が負えるレベルではないのは福島第一原発事故をみれば明白である。 一度事故が起これば制御ができない原子力発電を使い続ける意味は全くない。原発を稼働すれば、どう処理するか当てのない、猛毒の高レベル放射性廃棄物が溜まるばかりで、後世代に害毒を垂れ流すだけである。 しかもこの危険な原発を韓国などと競合して海外に輸出までしようとしている。輸出先で事故が起こり、製造物責任を求められたら、日本の破産につながるような重大な問題であり、即刻輸出計画を中止するのが当然である。 国はこれまでの原発体制というエネルギー政策が誤りであったことを率直に受け入れて、まったく別の再生可能エネルギーを目指すべきである。 一方で蓄電技術の抜本的な開発を図るべきである。原子力関係にかけている資金の一部をこの研究費にまわせば容易に開発できるであろう。蓄電技術は応用にも事欠かず、それこそ世界をリードできる日本の技術として誇ることができよう。 私は今年6月に下北半島に集中する核燃料サイクル施設を見学してきたが、この地に再度大地震や大津波が来て、これらの施設が破壊されたとしたら、と思うと背筋がぞっとする。原発は絶対にゆるせない。 国は、経済より何より、人の命、こどもの命をまずは優先して考えていくべきであり、たかが電気のために国民の命を犠牲にするのは、正気の沙汰ではない。 今や多くの国民が心から脱原発を求めている。この再稼動反対の声を聞いても受入れないのは民主主義とはいえない。
31768	個人	無職	30代	男性	原発ゼロシナリオしか考えられません。	福島第一原発事故のような大惨事をもう繰り返してはいけません。 この事故によって、原発がどれだけ危険ではかり知れない悪影響を及ぼすものかは皆が知ったはずです。土地が失われ、地域の社会が壊され、広大な範囲の汚染は生活を脅かし、経済やさまざまな産業にも大ダメージを与えました。人々の心に忘れられない深い傷が刻まれました。 しかし政府や電力会社は、事故が起きても誰も責任を取らない、人々を適切に避難させることもできない、適切な情報提供もできない、事故収束の確かな方法もわからない、原因究明のための現場や電力会社の詳細な調査もやっていませんし、かも、十分といえるような安全対策も無いまま、もし再び深刻な事故が起こった場合にどのように人々を守るのか、守りきれるのかも不明、誰がどう責任を取るのかも不明なまま、他の原発を再稼動するという信じられないことを行っています。この国には原発を安全に運用する能力がありませんし、過酷事故が起きたときに国民や社会を守る能力がありません。原発はやめるべきだと考えます。 原発は稼動し続けるほど使用済核燃料を作り出しますが、これらの最終処分方法も場所も決まっていないこと。問題です。中間貯蔵施設や原発内の貯蔵場所に既に余裕が無くなりつつあります。核燃料サイクルは全く目処がたっていませんし。原発を稼動する限り、処分できない使用済核燃料はそのうち行き場が無くなります。これはトイレの無いマンションに人々が住み続けるようなものです。使用済核燃料を保管するだけであっても大きな危険があることは、福島第一原発4号機が証明しています。原発をやめ、これ以上核のごみをつくらない、増やさないことも重要です。 権力者やその関係者の利権や都合ばかりを優先させた原発推進はいけません。原発政策や原発ビジネスは、原発マネーによる強引な説得、自由競争の無い地域独占の電力会社による傲慢で怠慢な運営、政界や規制側組織と電力業界等との癒着など、不健全に進められてきた実態もあります。福島第一原発事故は、これまでに利権者の利益や都合ばかりを優先させてきたため、危険性を過小評価し、安全対策を先送りにするといった怠慢が常習化し、起こるべくして起きてしまった事故です。 経済のために原発が必要と述べる人もいますが、電気は原発以外の安全な発電方法でまかなえばいいんです。電気が足りないと思うなら、太陽光発電や風力発電、地熱発電等を国策として強力に推進して発電能力を増やしていけばいいんです。コストが高いと思われていた再生可能エネルギーであっても、政策として強力に推進して、研究開発と普及を進めてゆけばコストは大きく下がるはずです。逆に原発は、事故対応や廃棄物の最終処分を考慮すると、コストは相当高いはずです。本当のコストを隠して原発が無いと電気料金が高くなるなどという主張は利権を優先するための脅しでしかありません。 健全で安全な社会の発展のために、電力自由化や発送電分離、再生可能エネルギーの推進、原発マネーなどの原発ばかりを優遇してきた制度やルールの撤廃などが必要です。福島第一原発事故のような過酷事故を繰り返さないためには覚悟を決めた大改革が必要だと思います。 すべての原発を無くすこと、処分できない廃棄物をこれ以上増やさないこと、他の発電方法を推進して電力を賄うこと、覚悟を決めた大改革によって健全で安全な社会を築いてゆくことが最も安全で健全で最善なエネルギー・環境政策だと考えます。
31769	個人	パート・アルバイト	30代	女性	「0%(原発ゼロシナリオ)」を支持します。 日本国内にある原発を、いますぐ、すべて廃炉にしてほしい。	原発をもっている各地の電力会社が、おのれの利益を優先し、情報を操作し、事実を隠蔽する体質は、フクシマ事故の以前から現在まで、ずっと変わっていない。このような企業に、大きな危険性をはらむ原子力発電を、安心してまかせておくことはできない。 そもそも原発は、「安全」に稼働している最中も、人間の被曝を避けられない。さらにいえば、「想定外」の大事故を今後は避けられる、という保証はない。 以上の理由から、日本国内の原発を、いますぐ、すべて廃炉にすべきだと考えています。
31770	個人	会社員・公務員	30代	女性	環境破壊、国民いじめ、財界バックアップはやめて	◎原発がもたらす環境破壊、自然破壊、人間破壊の根源です。 この国の住民がいらないといっているものを無理やり押し付けるのはなぜ？ ◎超安定・豪華な暮らしをしている財界、政治家には市民の気持ちはわからな いと思う。 ◎いじめはよくないと言った首相こそ、いじめはやめてください。原発も基地 も国民はいらないと言っています。 ◎67年前の原爆の恐怖をふたたび与えないでください。

31771	個人	会社員・公務員	40代	女性	2030年までに原発依存度ゼロとする案を支持します。根拠1：原発は危険である。根拠2：原発はCO2削減に貢献しない。根拠3：原発のコストは安くない。	平成24年6月29日エネルギー・環境会議編、エネルギー・環境に関する選択肢（案）に記載された「エネルギーの選択を行うに当たって重要となる4つの視点（下記）」を踏まえたうえで、2030年までに原発依存度ゼロとする案を支持します。 エネルギーの選択を行うに当たって重要となる4つの視点 1）原子力の安全確保、将来リスクの低減 2）エネルギー安全保障の強化 3）地球温暖化問題解決への貢献 4）コストの抑制、空洞化防止 2030年までに原発依存度ゼロとする案を支持する根拠 根拠1：原発は危険である。 根拠2：原発はCO2削減に貢献しない。 根拠3：原発のコストは安くない。 原発は危険である。 ひとたび事故が起きれば他の発電方法と異なり広範囲・長期間にわたり放射能汚染による甚大な被害をもたらし、自然環境や人間の生活を破壊する。 生命と経済性をはかりにかけることはできない。 未だに福島県の避難者は16万人おり、原発事故によってもたらされた被害に対する賠償、除染も進んでいない。そもそも地震国である日本に原発を建設すること自体が誤りである。 このような状況で原発を再稼働・使い続けること自体ナンセンスであり、即刻全原発を停止・廃炉とすべきである。 原発から撤退すればエネルギーに不安が生じるなどの意見もあるが、生命の安全は何物にも代えられない。一日も早く原発から撤退を決断しエネルギー戦略を決めることこそが省エネルギーや再生可能エネルギーの拡大にも道を開くことになる。 原発はCO2削減に貢献しない。 地球温暖化防止が叫ばれるようになって以来、政府や電力会社は「原子力はニ酸化炭素を出さず環境にやさしい」「地球温暖化防止のため原子力は絶対に必要」と宣伝してきたが、原子力発電もニ酸化炭素を出している。 原子力発電所を動かすには燃料が必要であり、燃料はウラン鉱山から採掘し、製錬所で製錬される。そして製錬したウランを原子炉で燃やすことができるように「濃縮」する。ウランには燃えるつまり核分裂するウラン（ウラン235）と核分裂しないウラン（ウラン238）が存在している。核分裂するウランは全体の0.7%であり、燃えるウランを集める作業（ウラン濃縮）が必要になる。さらにそのウランを加工して燃料ペレットにし、それから燃料棒の形にした後、やっと原子炉の中で使える燃料が出来上がる。 上記それぞれの工程で膨大な資材やエネルギーが投入されており、これらの採掘・運送・製錬などに使われるエネルギーはほとんどが石油などの化石燃料である。 つまり原子力発電所が動くまでに、既に沢山の化石燃料を燃やして二酸化炭素を出してしまっていることになる。 さらに原子力発電所を建てるのにもたくさんの二酸化炭素を出す。原子力発電所建設には膨大なコンクリートと鋼鉄を必要とするが、当該コンクリートや鋼鉄は大量の二酸化炭素を出しながらでないと作ることはできないし、工事でも大量の二酸化炭素を出す。つまり原発はCO2削減に貢献しない。 原発のコストは安くない。 これまで電力会社や政府は「原子力発電のコストが安い」と宣伝してきたが、これは事実と異なり原子力発電のコストは高い。立命館大学の大島堅一さんの40年間の有価証券報告書に基づく分析によると、原子力発電は10.68円/kWh、一般水力発電は3.98、火力は9.90、原子力・揚水発電は12.23となっています。電力会社などが主張している原発の安いコストは、実は一定のモデルで算出された金額にすぎず現実を反映していません。発電に直接要する費用に再処理などの費用、そして開発や立地に投入される国の財政支出を合わせると実際のコストは水力や火力より高くなります。 以上
31772	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力エネルギー利用中止について	原子力の利用は、国土が狭く石油などの資源の少ない本国において、 コンパクトで有用なエネルギーだと思います。しかしながら、一端 事故が起こった場合は、国土の狭さがネックとなり、米国などと比較 しても汚染される面積は同じでも、国土に対する割合は非常に高くな り、国としての存亡の危機に陥ることは明白であると考えます。 したがって、本国において原子力の利用は、代替えエネルギーの確保 が進み次第に中止していく事が、賢明な措置だと考えます。 この夏、大飯原発のたった2機が稼働しているだけで、それ以外は火 力、水力その他の方法で、電源確保が出来ているではありませんか？ それなら、省電力（省エネルギー）化への大胆な切り替えと、それを 行うための大幅な助成を進めていく方が理に適っていると思います。 また、主な原発で20カ所程度、たったこれだけの場所を同時に破壊 されたら・・・放射能汚染で日本全体がチェルノブイリや福島の様 になるのは、小学生でも理解できる話です。 日本の国土と国民を守る義務を、政府が果たしてくれる事を期待します。
31773	個人	パート・アルバイト	50代	女性	新しいエネルギーが開発されるまで、今しばらくは、原発が必要だと思います。	再生可能エネルギーは、ドイツで失敗しているそうですし、海外では原発建設を進めています。とくに、中国は何百基も建設予定だとか。技術力の高い日本が、今回の事故を教訓にして、より安全な原発を作り、世界の原発の安全に貢献すべきです。
31774	個人	法人等	50代	女性	「原発ゼロシナリオを選択します。」	今日は長崎原爆の日です。福島の原発での被害者がテレビで映っていました。被ばくという言葉が日本からなくなるように原発はなくしてください！ 原発はなくすのにも大変なお金と、期間が必要です。電力会社が原発を再開したと同時に火力発電所を8か所ですか？止めたのは利益のためですか？最初の理由とまったく違っており「うそつき」といわれてもしょうがないですね。 原発は日本のような地震大国の日本に必要ではないと思います。子供が安心して暮らせる日本を作っていくのが大人の責任です。税金も自然エネルギーのために使うらしょうがないと思います。株での利益に対する税金が安いのは理解できません。汗水たらして働く私たちには容赦なく税金がつくのに税金の取り方も公平にして必要なところに使用し廃止していってください。
31775	個人	その他	50代	男性	30年後の原子力エネルギーはゼロで進むべきである。 福島原発の事故処理の目途が立たない中、国民の大多数は不安を抱えて生活している。ゼロ方針を出すことで安心して未来に向かって進んでいける。	福島原発4号炉の危険な状態（使用済み燃料1200本）が続く中、また地震や津波が来たら、ストロンチュウムなどが大気中に拡散し、日本国土や国民に致命的な被害が起こる。地球上の今ある技術では解決できない物は、その技術が構築されるまで導入すべきではない。 原子力技術は、現在の様々な課題を解決するためにも今後とも継続的に技術開発が必要と考えるが、狭い国土に世界でも類を見ない原子力発電所が存在すること自体が問題である。技術開発と原子力発電所の継続・新設などはしっかりと分けて考える必要がある。 世界中の国々の中で、原子力爆弾と原子力発電所の事故を経験した国として この歴史的人災事故をしっかりと解明し、日本国内はもとより世界中に発信することが求められている。 今後30年と言う時間を考えると、日本国が明確に方針を示せば、自然エネルギー発電やガスタービン発電などの技術が飛躍的に進み、国内のエネルギー確保は十分に達成できる。日本の民間企業の底力を信じましょう。
31776	個人	会社員・公務員	50代	女性	日本の理念と方針を見据えた「ゼロシナリオ」を組み立てます。	原発の3つのシナリオについて エネルギー政策の方針として原発「ゼロ」を目指す事を私は強く支持します。 エネルギー・環境に関する選択肢の「15/20～25シナリオ」のような「方針」の先送りは、利点がありません。 結果、ゼロでなく残っても仕方がない、と思えるかもしれませんが、方向性をあやふやにしておくと、15シナリオでうまく行かなかった時、日本はもう、立ち直れないでしょう。今なら、国民の「ゼロ」で耐えようとする熱いがあります。 引き延ばすほどに国力がそがれます。一般国民の方向性としても、今が原発から抜け出るチャンスです。 日本経済のシステムは、大きな企業中心で動くのではなく、地域主体の経済活性化を目論むことで、内需拡大を目指すせば、今は日本の国力（人力）があります。 外交問題については、足元を見られぬような施策を取るのが日本の力です。 対米策として知の結集をし、日本国内とアジア（資源）を考えていくべきです。 今後、核処理、廃棄物に絞った研究に絞り込むべきで、開発から処理に転換した原子力研究にシフトしなければなりません。他国からも尊敬される研究分野でしょう。原発を輸出するのならそこも輸出できます。 再生可能エネルギーの不安定さなどのデメリットを、しっかり補強する施策や人々の「やる気」というエネルギーをうまく利用した政策にしましょう。 きっと感謝されるはずです。
31777	個人	自営業	50代	女性	1）ゼロシナリオ　を支持します。 原発事故の終息、福島の人たちの健康を守る。 廃棄物処理ふくめ今あるの原発の廃炉だけでも大変です。 原発があると安心して暮らせません。国民に安心・安全を。	事故を起こした福島第一原発の状況もまだ明確になっていません。家・故郷から切り離された人たちの人生は、元に戻せません。避難区域でなくても放射線量が高い福島の人たち、私の親戚たちもは、今も将来も不安のなかで生きなければいけません。このように、事故がおきると取り返しのつかない被害を起こすだけでなく、通常運転でも放射能を浴びる労働者の存在を前提にしているのが原発です。 原発は使わずに、他の自然エネルギーを開発しながら、電力使用量を下げて暮らすエ夫ができます。それが新しい産業を生み出すことにもなります。 発想を転換すれば、原発ゼロで豊かな生活ができるし、それを望む人が多いと思います。民意をくみとった政策をしてください。
31778	個人	会社員・公務員	40代	男性	すべての原発の即廃炉（原発ゼロシナリオ）	未来に負の遺産を残したくない。
31779	個人	家事専業	50代	女性	原発の比率はゼロを支持します。	原発の安全性には大変疑問があります。今や地震の活動期に入った日本においてどの原発も安全というにはほど遠いと思っています。これからも日本で次の福島がおこってもおかしくありません。今後日本で国民が安心に暮らしていくためには早急に自然エネルギーへの転換を推し進めるべきと考えます。さらに放射性廃棄物の処理方法も決まっていません。次世代につけを残す原発依存は早急に脱却すべきです。さらに脱原発と温暖化対策は同時に進めるべきと考えます。
31780	個人	会社員・公務員	40代	女性	(1)ゼロシナリオ	日本は地震大国です。 ゼロシナリオ以外あり得ません。 原子力発電所は新の意味では、国家の核武装なのかもしれませんが、 核武装して自爆してどうするんですか？ もっと他の国防を考えるべきです。 それが、政治家の仕事です。 また、原発後の国の対応がひどかった。国民の命を軽んじている。 混乱を避けるため？混乱大いに結構。子供の命を危険にさらすより、混乱してでも逃がすべきではないですか？
31781	個人	会社員・公務員	20代	女性	ゼロシナリオを支持します。また、もんじゅの廃炉も希望します。	未来の人々のためにも、 今のわたしたちのためにも、 廃炉にすべきです。 今出来ない技術任せなのも本当に怖いです。
31782	個人	パート・アルバイト	50代	女性	人間が制御不能なことが明らかで、廃棄物の処理法も確立されていない原発は全面的に廃止し、他の手段で適切な量（過剰でない量）の電力を確保すべきだ。	福島の事故を見ても、原子力発電は人間の手に余ることが明らかだと思う。 それに携わる人の生活を守るために運用を継続するというのは詭弁だ。 廃棄物の処理もできない、いったん事故を起こせば打つ手がないと状況で、 原発を作ってしまったこと自体が間違い。間違いはそれに気づいた時点で 正せばよい。今、方向転換すべきだ。 電力が不足するというのは電力会社の意図的なプロパガンダに過ぎない。 皆が少しずつ気を付けて使えば、十分生活できる量が 原発を稼働させなくても供給できる。 すべてが利権がらみで判断され、動いていく日本の現状は本当に嘆かわしい。
31783	個人	自営業	50代	男性	原発の依存度は20～25に賛成。何の手立ても無しに原発を減らすと原油、天然ガス等の輸入増加で貿易赤字が膨らみ、日本経済までも信用を失う。これ以上不景気になれば、日本の産業や国民の生活はどうなるのか！	福島第一原発の事故は津波による予備電源の消失によるものであり、地震での事故とは考えにくい。現場で働いた人達はよくやったと思うが、注水やベントの解放の失敗による、水素爆発、放射能汚染は人為的ミスによるものである。なぜなら福島第二原発は最悪の事態を想定した普段の訓練で危機的状況を乗り越えたではないか！ この事故は安全保安院及び国会の怠慢によるものである。それに当時の政府がより事故を大きくした。 現政府はマスコミに洗脳された愚民にも良く解るよう説明責任を果たすべきである。大衆迎合して何が政治か！ 今、中国は原発を増やそうとしている。日本が今まで培ってきた原発技術を放棄して、隣国で粗悪な原発を稼動される程怖いことはない。ならば、日本が新幹線のように、より一層技術を高め、安全な原発の運営、技術を世界に提供していくべきである。
31784	個人	会社員・公務員	10代以下	男性	(1)ゼロシナリオ	未来は、子供たちのものです。 無責任な大人たちには決めさせない。 絶対にゼロシナリオで。
31785	個人	会社員・公務員	50代	男性	福島事故直後の感情的になっている時期に、このような国家安全保障にかかるエネルギーもんだいの選択をすべきではない。あえて言えば20～25.以外はありえない。	エネルギー問題は、国家百年の計、感情的にならず、冷静に議論すべき事項。今現在は、それを議論できる環境にない。 特に、資源の乏しい日本において、ひとたびこれを誤ると取り返しがつかない。仮に、ゼロシナリオを選択するとなれば、製造業の海外流出、それに伴う、下請け企業の倒産、産業全体の崩壊に繋がるのは必至。 また、再生エネルギーへの過度な期待は大問題。現在の10%を25とか30にすると言うことは、単に2倍3倍というのではなく、水力を含まない再生エネルギーでは、10倍以上というけた違いの普及が必要。そのためにすべての住宅に太陽光を設置するなど、全シナリオとも政府が示すものとしては、無責任極まりない。 加えて、ゼロシナリオの、非実現的な省エネ施策の数々。資料には書いてるといわれるかもしれないが、もっとここの部分をキチンと言わないと、ゼロシナリオに過度な間違った期待を抱かせる。あとになって文句を言うと、「ここにかいてるやろ。見てなかったあんたが悪い」といった悪徳商法まがい。とても政府がやるべきことではない。 今やるべきは、20年後の話ではなく、目の前の電力の安定、コストの上昇回避のための原発再稼働であるはず。
31786	個人	無職	80代以上	女性	原発絶対反対。原発ゼロ。	67回目の原爆記念日にあたり、ひと言意見を述べたいと思い、娘のアドレスを借りて参加します。日本列島は地震多発プレートのうえにあり、多くの断層があるため、いつ大地震がおきるかわからず、安全ではありません。人間の考えが及ばない自然の力を考えるべきです。絶対安全な政策をとってください。（広島爆心地800mで被曝し、世界平和の祈りを続けている83歳女性より）
31787	個人	自営業	40代	男性	全く再稼働せずに今すぐに原発ゼロにするべき	原発がゼロでも電気が足りるのは明らか。電力会社、政府、マスコミは嘘を撒き散らすな。速やかに、すべての原発の稼働を止め、廃炉の処理をはじめるべき。そのための費用は国民負担にするな。新しいエネルギーの選択肢はたくさんあるのも明らか。技術を結集させ、本気で開発すれば可能なはず。雇用の問題があるが、新しい産業をつくるのは、政治の仕事ではないのか。国民も理解すれば、協力する。政府は国民を騙すのではなく、誠実に説明し、協力をお願いすれば、相応の負担も引き受けるはずだ。何れにしても政府には「原発をゼロにする意志」が欠如している。国民の声を聞いていない。福島事故の被害をちゃんと見ていない、見ようとしていない。
31788	個人	その他	60代	男性	ゼロシナリオを支持します！！	あれだけの事故を起こし、まだ問題の解決もみられない中、何事もなかったように再稼働することは、全く考えられない。 稼働する限り猛毒の廃棄物を生み出し続ける原発を使い続ける意味がわからない。

31789	個人	その他	20代	男性	ゼロシナリオを支持し、全原発をこのまま再稼働せず廃炉にすることを求めます。	原子力は、福島第一原発のような過酷事故が起これば国土にも国民生活にも壊滅的打撃を与えるばかりか、事故処理や賠償を考えると、国家経済を破滅させかねない究極の不良債権です。また通常に稼働したとしても、さまざまな保障や隠れコストが膨大で、けっして安い電源ではありません。さらに、ウラン採掘から通常稼働、定期点検、そしていまだ答えのない核廃棄物問題まで、多くの人と自然生態系を放射能汚染と被曝のリスクにさらす点、生命と共存できない技術です。 もう一つ原子力に関わる深刻な問題は、「推進」という結論ありきの情報操作、情報隠し、ヤラセ、札束で頬を叩くような地域分断その他によって、民主主義のプロセスをを決定的に歪めてしまう点です。この半世紀、日本は原子力政策によって民主主義的に大きく停滞・退行し、「学習能力のない社会」になり果ててしまいました。その硬直と驕りが、福島第一原発事故を招いたのです。そもそも、放射能汚染のリスクを僻地と下請け・孫請けの下層労働者に押しつけなければ成り立たない原子力は、差別を構造化する非民主的な技術であり、採用すべきではありませんでした。 福島第一原発事故に学んで、生命と共存できず、民主主義を歪める原子力から、いますぐ撤退をはじめなければなりません。全原発即時廃炉は、日本に新しい時代を開き、省エネ／節電や自然エネルギー発電によって経済を復活させる道です。 ただし、ゼロシナリオの省エネ目標が2030年で22%という設定は控えめすぎます。大胆で多様な方法を用いれば、生活の利便性を損なうことも、経済を衰退させることもなく、2030年までに電力消費を半減できます。これと地域分散型の自然エネルギー促進を組み合わせれば、化石燃料への依存度も2050年までにゼロにできるでしょう。
31790	個人	パート・アルバイト	40代	女性	ゼロシナリオを支持します	福島原発事故収束の見通しも立たない中では、ゼロシナリオのみが支持できる選択肢です。15シナリオは、だらだらと現状維持することだと思います。それを目標とすれば、そのときの権力は、達成している、予定どおりだといいのがえれすることは目に見えています。子供を持つ親としては、20～25シナリオは危険すぎて支持はできません。また核燃料の再処理も可能だとは考えていないので、ゼロシナリオを支持します。原発のある県で生活していますが、原発近辺の町には、子供とともに暮らしたくありません。そこで暮らさなければいけない人におしつけてしまっていることを反省したいと思います。
31791	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	エネルギーの政策イメージにおいて、 電気自動車やプラグインハイブリッド という自家用車の記述はあるが 事業用トラックについて記載がなく、天然ガス自動車の普及に関する記載を追加いただきたい	自家用乗用車でクリーンエネルギー化および省CO2化を目指す以上、 国内輸送の基幹を担うトラックなどの中・重量車についても、 同様に目指すのが当然である。 ところが、本編では「電気自動車」や「プラグインハイブリッド」 という自家用乗用車の記述はあるが、事業用のトラックについて記載がない。 さらに、トラックなどの中・重量車については、自家用乗用車のような EV化の見通しは、現状では立っていない。 そこで、クリーンエネルギー化および省CO2を進めるための現段階 の唯一の実現手段として、天然ガス自動車が挙げられられるため、今回の 意見の提出に至った理由である。 また、運輸部門は石油燃料依存度がほぼ100%であり、この依存度の削減 につなげるための有効な手段も天然ガス自動車である。 天然ガスを燃焼させて電気を作り、その電気で自動車を走らせるより、天然ガ　　スでそのまま走る自動車を、なぜもっと普及させないのか？ 東日本大震災では、スタンドに長蛇の列ができ、国民生活に支障をきたした という貴重な経験を活かすためにも、エネルギーセキュリティの観点から 燃料の多様化につながる石油代替車両の普及は不可欠である。 「中・重量車自動車部門の低炭素化」に向けて、長期にわたる安定供給と 低価格化に向けた未来への架け橋となる天然ガスの利用促進を、積極的に取り 上げて頂きたいと考える。
31792	個人	自営業	50代	男性	原発ゼロがいい、 研究機関として1カ所残すべき、ムラの人々が色めき立たないことが重要、大学の総合研究所のような形で全て透明化、 安全利用への科学的根拠を具現化する機関としての位置づけをはっきりする	ゼロにして、環境科学、整備に補助金をもっと出す、原子力に出していたくらいだから、かなり出してもいいと思うし、国益を考えると将来的にも日本の進むべき方向だと考えます、国民の賛成が得られやすい、又、企業にもその方向性を早くはっきり示すことが重要で、原子力原子力と言っていた人々も、すぐに風向きを変えるに決まっている、先端技術で世界をけん引するべきです
31793	個人	自営業	50代	女性	(1)脱原発ゼロシナリオ	福島原発の事故は「想定外」というが、その場合の原子力は人間のコントロールできるものではないことが明らかになっている。 そもそも最悪の事態を想定していないことは人命軽視もはなはだしく、活断層の有無が取りざたされる大飯をはじめ、すべての原発にも同様の甘い見通しがなされているのではないかと疑う。 電力不足問題は「原発ありき」で議論されているが、原発に関する既得権益層からの圧力を感じてしまう。それらの人々も命の危険は同じということをわかっているのだろうか。 環境やすべての命を守るためには、一からエネルギーの作り方、使い方を考え直す時がきていると思う。
31794	個人	無職	70代	男性	この日本に原発はいらない	・日本のような地震国では、福島のような事故が再び起こる可能性大である。 ・なによりも、現在の科学では核分裂の結果生じる核廃棄物の始末が出来ないこと。
31795	個人	会社員・公務員	50代	女性	原発はゼロシナリオしか選択肢はありません。	原発というシステムそのものに欠陥があり、日本の国土になじまないことはあきらか。
31796	個人	自営業	60代	女性	原子力発電のゼロシナリオを強く支持します！！	3.11以降の福島の惨状を見るときに、 一度原発が爆発したら、放射能に侵される人命はもちろんのこと、 住めなくなるふるさと、従事できなくなる産業、などなどすべての生きる糧が奪われてしまいます。 経済の発展が損なわれるなど、筋違いのことを言う向きもありますが、 命あっての物種というではありませんか。 しかも原発を稼働している間中、核廃棄物は増え続けます。 稼働数は減らしたとしても、それは同じことです。 私たちはこのむごい経験を無駄にしてはならないと思います。 ゼロシナリオを選んで、少しでも早く原発がゼロになるように総力を挙げて取り組むべきだと思います。 方針が決まれば、それに伴う法整備や、再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰ開発への予算づけ、 企業や国民の心構えも決まってきます。 その他の中途半端な選択肢で、原発を一基でも稼働することになれば、 3.11の事故でいまだに辛酸をなめている人々に対して申し開きができません。 国民の平和と安全を守るのは国の責任です！ ゼロシナリオのほかに国民の命を守る道筋はありません！
31797	個人	家事専業	30代	女性	原発ゼロシナリオを希望します	ガブリエル環境大臣は、「 原子力発電は安く、CO2を排出しないという神話は一掃すべきだ。原子力発電は、気候保護対策の選択肢とはならない。」とコメントした。【ドイツ連邦環境省】という記事を読みました。 今回の原発事故で、原発は生命を脅かす存在だということが分かり、日々の食事や生活にも支障が出ています。その上、環境にも優しくない原発を使い続ける選択をすることには納得できません。 日本には優れた技術があります。 そして、活用可能な自然エネルギーもふんだんにあります。 新しいことに挑戦し、雇用も生み出し、皆が気持ちよく生きて行ける日本で生活していきたいです。 日本をエコ先進国へ！ 自然エネルギーにシフトする日本へ、今出来ることをどんどん進めてください！
31798	個人	その他	50代	男性	原発をゼロにする道筋を示してください。	核と人類は共存できません。 最終処分場の問題も触れられていません。この問題を抜きに人類の将来は語れない。
31799	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力すべての使用をやめましょう。	原子力の使用は、この世の原則に反しています。 形あるものはいつか壊れる。とゆうことです。 いくら頑丈に作ってた建造物でもいつかは、または予想外に壊れることがあるってゆうことです。 たとえば敵国から見れば原爆をもっていなくても、相手国に原子力発電所があれば少ないコストの攻撃で簡単に被ばくさせることができます。 絶対安全といえることは、ないとしか言えない。 あるだけで命の危険にさらされます。 事故が起きたその後の責任は、原子力使用を決断した方が、末代まで責任をおっていかなくてはなりません。
31800	個人	学生	20代	男性	私はまだまだ日本に対しての知識は未熟者ですが、これからの原子力発電の利用継続に反対です。原子力発電所をなくしてほしいです。そして、自然エネルギーの利用率があがることに期待しています。	私は今カナダに住んでいますが、改めて日本の豊かさ便利さ、そして国としてのレベルの高さに驚きました。私が住んでいる所には、少しひねればとても気持ちよく出てくるシャワーや、定時に来るバスなどありません。先進国である日本には、便利な物が溢れています。おそらく私には分かり得ないもっと凄いテクノロジー等があると思います。 そんな日本に、まだ原子力は必要なのでしょうか？私は利便性に溢れていて、活気のある日本が大好きです。もし、原子力発電を無くす事によって利便性に支障がでようとも、それでも先進国である事に変わりはなく、さらにクリエイティブな日本の力をもってすればもっと素晴しいテクノロジーが必ず生まれます。それは、自然エネルギーに限らず全てにおいてです。なぜこんなにも利便性に溢れている国が継続して原子力に対してリスクを払い続けないといけないのでしょう。私の好きな日本は海外からの信頼が厚く、新しいものをクリエイトしていく画期的な存在です。お願いです、もうリスクのある過去の便利はいりません。日本がかけるべきリスクは、もっと先の、テクノロジーやそれを生み出す為のアクションにあると思います。 これからの日本の為に、原子力発電0に向って進んで下さい。以上です、ありがとうございました。
31801	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発依存度は2030年にゼロにすべき	原発事故は、天災であれ人災であれ、避けられないものであると認識すべき。また、ひとたび事故が起これば数100キロ単位で農作物や水産物、水道水に影響が出てしまう。放射能廃棄物の処理も解決されているとは言い難く、また、今後20年で画期的な解決策が得られるとは考えにくい。結論として、原子力は日本や世界のエネルギー問題を根本から解決するに足る技術ではないと考える。 一方で、再生可能エネルギーや代替エネルギーに対して、他国よりも先んじた技術的イノベーションを起こす事によって、日本国内のエネルギー問題を解決するにとどまらず、世界のエネルギー問題の解決をもリードできるチャンスがある。従って今後20年間は原発依存度をゼロにする事を目標とし、代替エネルギーの研究開発に日本の資本と人を集中させるべきである。
31802	個人	その他	60代	男性	(1)原子力による発電は廃止。 (2)電気料金が上がっても、エネルギー転換が完成すればコストは国外依存が変わり将来は料金も下げられる。 (3)2030年までは安全の確保、確認ができた原発は稼働するべき。	昭和20年8月6日と9日の被ばく体験国、平成23年3月11日に発生した福島第一原子力発電所の事故による被害はここで説明の必要がありません。 安全は、「Fail Safe」、いかなる人為的なミス（Fail）があっても、安全（Safe）が確保されなければならない思想です。 核物質は人知によって完全管理が出来るとは思いません。発生する核廃棄物も処理方法はありません。（トイレなきマンションと言われている）効率を優先してきた文明世界ですが自然エネルギーに完全転換することを示唆されていると理解するべきです。 一方、現在存在している50基（福島第一除く）の原子力発電所があります。 核燃料は停止しているから安心とは言えません。また、停止中でも相応のコストが発生していることを考えれば地震、津波に対応できる安全が確保されるのであれば運転させるべきと思います。循環型エネルギー化への進捗が心配ですがその間の繋ぎとして石化エネルギーが大量に使われることはCO2削減の観点からも懸念があります。 電気事業者が独占的に実施してきた電力供給体制は完全自由化にすること、少なくても発電と送電は別にする必要もあります。 政府、官僚、に申し上げたいこと、「安全」や「安心」よりも大切なものがあります。それは「信頼」です。今までのやり方を見ていると、どれほど「安全です」「安心してください」と言っても、語る政府や事業者に対する国民の信頼が無ければ、全く意味がない。
31803	個人	その他	40代	女性	ゼロシナリオを強く支持します。	再稼働は、絶対反対です。 地震大国である日本に、こんなに沢山の原発があることに、今更ながらビックリするとともに、自分の無知・無関心を恥ずかしく思いました。 美しい地球、国民の命、子どもたちの未来etc…ありとあらゆるものを犠牲にしてまで原発を稼働しなければならない、稼働させたい意図を教えていただきたいです。
31804	個人	会社員・公務員	50代	女性	地震津波対策を急ぎつつ、問題のない原発は稼働させる。その上で、日本に合った、経済状況を始め国益を損ねない選択肢を時間をかけて探す。核廃棄物の最終処分場を決める。原子力の技術を維持し発展させる必要あり。	私は3・11以前から原発には反対で、廃止すべきだと考えてきました。が、今、我が国の置かれている状況を考えると、ヒステリックに即廃止などということは、大きく国益に反します。 地震津波対策を迅速に押し進めつつ、問題のない原発はこれまでどおり稼働させ、一方で、自然エネルギーを含め、原発以外の選択肢を時間をかけて探していくべきです。その時に、エネルギーを利用して利権を得たり、国益を損なう動きは阻止すべきです。 まずは、福島からでた放射性廃棄物の最終処分、そして、全国の原発から出る廃棄物の最終処理をどうするか、政府主導で決めるべきです。 それから、自然エネルギーを持ちあげる人たちがいますが、これだけの人口と経済規模をほこる国で、しかも日本列島という独特の自然条件のもとで、安定的・経済的に電力を供給していくことが、本当に可能なのでしょうか。 提示された三つの選択肢に、どのような合理的理由があり、現時点で実現可能性がどれほどあるのか、疑問ですし、このまま数字だけが先走りしてしまうのではないかと不安です。このデフレの時代に、これ以上国力を落とさないことが第一です。 また、原子力技術は以後もしっかり引き継いでいかなければなりません。周辺諸国が核を持ち、千島列島、竹島、尖閣など、我が国の領土を侵害している国々と対峙していく中で、、原子力の平和利用のみならず、核武装も考えなければならない時期に来ていると思います。
31805	個人	会社員・公務員	20代	男性	電力の製造手段に関して	電力の製造手段に関して、自然エネルギーの利用拡大の方針を国として示されていますが、現状の技術ではあまりにコストが高すぎるように思われます。
31806	個人	会社員・公務員	50代	男性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張	原発がなくても、電力の供給は十分できるとわかった以上、代替エネルギーの準備を真剣に進める方が良いと思う。 まだ日本海に眠るメタンハイドレードの効率良い抽出方法を見つける方がいいような気がするが。それにしても地球温暖化の話もあるし、やはり太陽光や違うエネルギーにシフトすることを考えた方がベストですね。 とにかく放射性物質はシャレになりません。プルサーマルなんてもっての他です。 政府は嘘をついてはいけない。放射性物質の恐ろしさを正直に公表すべきである。
31807	個人	学生	10代以下	男性	1. ゼロシナリオを選択します。 2030年までにではなく、すぐに全ての原発を廃炉にしてください。	去年の原発の事故で、福島の方だけではなく、たくさんの方達が苦しい思いをしています。そういう人たちを最優先に考えてください。 これからの子供たちの事を考えてください。恐い原発はもう要りません。
31808	個人	会社員・公務員	40代	男性	身に染みて原発反対！	福島県は原発立地県だった。その事によって多くの利益の恩恵を受けてきたが、実際にこれだけの事故を味合うと、想像者ではなく経験者として天秤にかけると悩むことなく原発を容認する事は出来ない。それはストレステストをクリアしても地震・津波以外の事故も同様に多くの人々や環境にリスクを背負わせている事になる。 まして日本の社会性にも問題がある。原発と言う凶器に対して事故の隠ぺいや 行政の対応が国民第一となっていないからだ。それは組織などの形ではなく人間性の教育の欠如を招いている。 経済優先ではなく国民の心体を最優先に出来ない国は原発を持つ資格すらない。 福島の真の苦しみを対岸の火事として十分に理解できないだろうが、原発によっての利益とその事故によって損害（心も含む）は量らずとも答えが出る。

31809	個人	その他	30代	女性	原発の比率では「ゼロシナリオ」を支持。 ただし、自然エネルギーへの普及が不十分なため、それを踏まえた、第4のシナリオを支持します。	本日、長崎平和記念式典の様子を、TVで見ました。 唯一の原爆被爆国でありながら、また、震災による福島の被害を、目の当たりにしながら、今なお、「原発ゼロ」以外の選択肢があることに疑問を感じます。 電力の問題、エネルギーシフトにかかる資金、家庭への負担、また雇用の問題等…。様々な問題があり、容易でないことは確かですが、今、その解決に向かわないで、いつするのでしょう？ 現在の省エネ「25%削減」。 温暖化の観点から、これを続けつつ、「原発ゼロ」に。 そのための、自然エネルギー普及目標が、低すぎます。 「ゼロシナリオ」を、両手を挙げて支持できないのは、この理由です。 これから生まれてくる子どもたちに、明るい未来とならますように… ※こんな有意義な「パブリックコメントの受付」。 全ての国民が、これを知っているでしょうか？ オリンピック開催を、知っているように、告知できないものでしょうか？ 期間中、ネットのトップに出てきたり、CMで流したり。 知られないこと＝政府の思い　のように感じます。
31810	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発依存をゼロにして、風力発電などをもっと取り組みしたらいい。	地域温暖化が進むなか、電気に頼らない生活への見直しも必要だと思います。その中で、エネルギーの確保の方法も見直しが必要です。 原発依存度をゼロにしてください。
31811	個人	その他	30代	男性	(1)ゼロシナリオを支持します。2030年という約20年後の原発依存度なら、技術革新やエネルギー・産業・社会制度の改善など、時間的余裕も十分にあるため、より高い目標に向かうことが可能。	ゼロシナリオを支持する理由。 （1）原発施設、核燃料の最終処分方法の技術が確立されていないこと。 　ウラン、プルトニウムなどの核燃料は、全てがリサイクルされるがごと く宣伝がなされているが、実際のところプルトニウムを使った高速増殖炉も5000億円近い血税を投じておきながら、いまだに技術が確立されたとは言い難い。また、海外組みの核燃料サイクルも、徐々に難しくなってきており、日本にある中間貯蔵施設もすでにほぼ満杯である。そして何より、最終的にいつかは廃炉にする、廃棄物の最終処分、核燃料の最終的な処理方法が確立されていないのは、すでに明らかとなっている。フィンランドが大深度地下埋め立て施設を建設しているが、生物への無害化の想定は10万年後であり、そもそも最終処理技術が確立されていないものを、拡大・推進することは、環境先進国家を自負しようとする日本が取るべき選択肢ではない。福島第1原発事故への対応で、いかに日本が安全性以前に、この問題について真剣に取り組んでこなかったのか、ということが明らかになっている以上、深い反省を土台に早急に現在ある全原発の廃炉技術の確立へ資源を投資すべきである。 （2）福島第1原発事故で証明された、原発の巨大すぎるリスク 　東電福島第1原発事故発生により、これまで血税を投じて行われてきた、原発の安全性の根拠を欠くキャンペーンは罪深いことが自明の理となった。たった1回の事故で、たった2つの原子炉の問題で、16万人もの人間の生活基盤や人生を奪うことになった事実は、「仕方のないこと」ではなく、重大な権侵害であり、このようなことが現実に起こることが自日のもとになった以上は、政府も国もよりリスクの少ないエネルギー政策を選択すべきことは、議論の余地がない。より安全性を高めるという考え方も、現存し暫定的に稼働させる原発については、当然なされるべきではあるが、先に述べたように最終的な処分方法が確立されてないものである点も考え合わせれば、原発という発電方法自体を基本的にゼロにしていくべく努力すべきである。今般の原子力事故の検証の過程で明らかになってきたことは、このような手に負えない巨大なリスクのあるものに対して、安全対策そのものを怠り、安全性を高めるどころか、いかにコストを抑えるかしか考えられなかった、企業、官庁、内閣にもうこれ以上原発を扱えないことを、彼ら自ら証明している以上、ゼロシナリオ以外考えられない。現在、行われているさまざまな「議論」も、具体的に安全性を高め、相当程度確実な安全の確保がなされうる確証を抱くような制度設計がなされていない以上、現在我が国に原発という未知の巨大リスクを管理する、制度・能力・意志・見通しのいずれもないと結論せざるをえない。 （3）巨大公共事業及びエネルギー安全保障としてのクリーンエネルギー政策 　この原発依存度のシナリオでは、現在のエネルギー相場、エネルギーミックスが基礎になってシナリオそのものができており、ゼロシナリオでは火力に大幅に依存するため、電気価格が上昇し社会経済活動を圧迫し、温暖化ガスを大量に出すかに見えるが、これは「今まで」クリーンエネルギーへのシフトを怠ってきたのと同じ論理で、今後もクリーンエネルギーへのシフトを本格的に行わないという前提に立っている。どの発電方式がよいかは地域によって異なり、従来型の「全国一律」のエネルギー政策では次世代の政策構想は不可能である。ただ、難クリーンエネルギーの発電効率の向上、クリーンエネルギーの不安定な発電を補うガモとなる蓄電技術の向上など、国家的に共通に取り組めることも多くあるのも事実だ。原発の安全な廃炉技術の確立と並んで、世界をリードする日本の技術力を結集したクリーンエネルギー技術の革新と、公共工事としての新インフラの敷設による、経済効果は大きなものとなる。また、国内の自然からエネルギーを得るクリーンエネルギーへのシフトは、資源を海外に依存しないというエネルギー安全保障の観点からも支持されるものであり、食料と並びエネルギーも、海外や市場の情勢に左右されない、環境的にも経済的にも安全で安定したクリーンエネルギーを積極的に検討すべきである。
31812	個人	会社員・公務員	40代	男性	原子力発電所の積極的な推進	昨年の震災以来、原子力発電からの脱却が叫ばれているが、原子力の平和利用、安全性、コスト、継続性を鑑みるに、脱原発は間違いである。 今夏の猛暑で節電の影響による熱中症での死亡者が増加している状況も、 原発が稼動しておれば防げた人災である。 日本は原子力発電所の安全性を高め、積極的な増加建設による電力の安定供給に努め、経済的発展に寄与する政策を進めるべきである。 また、世界に高性能の原発を輸出して、エネルギー不足の解消に貢献することも重要である。
31813	個人	自営業	30代	女性	原発はゼロでいくべきである。	福島の原発事故がおこり、放射性物質が大量に流れたことにより、大勢の日本人が被害にあいました。さらに、永久にその付近の自然、農作物、漁業、生活が奪われる事態となりました。 地震だけであれば復興ももっと早かったはずです。 安全に気を付けると言って再稼働をされましたが、天変地異には100%安全はありません。 どんなに安全に原発の施設を作っても、地震が多い日本で原発を続けることは 危険であるという事実、例が福島で起こったではないですか！目を背けているのではないですか。 しかも、廃棄物の処理も検討して、長い将来、今の子供たちが大人になるときのことは何も考えず、今さえよければいいという国の考えには憤りさえ感じます。 国民の方を本当にみていますか！ 私の家族はひどいアレルギーの病気を持っています。 世の中の文明に伴う弊害です。 添加物、化学物質、農薬、遺伝子組み換えなどの大手企業の大量生産、経済欲または、医療界の薬の大量処方のために、人間の体は疲れ切っているのです。 放射能の被害はまだ計り知れません。今までここまでの大事故がおこっていないのに、この放射量では安全ですというのは何を根拠に言っているのでしょうか。このままでは、日本では何も食べられなくなってしまいます。 美味しいものがたくさんある福島、日本でもきれいな土地だった福島を返してください。もう事故は起こらないと考えているのではないですか。 おこってからでは遅いのです。 原発がなくても大丈夫になるように代替エネルギーについて、もっと、研究を怠らず、原発利権のお金を他のエネルギーの開発にかけるべきであると思います。そして、もっと国民に大々的に情報を知らせて声を聞いてください。 だまし続けないでください。 官僚のみなさん、目を覚ましてください。日本国民は皆苦しんでいます！ 原子力という現代の禁忌を捨て、自然のきれいな日本を目指してほしいと思います。 原発は絶対にいりません。幼児をもつ母より。
31814	個人	会社員・公務員	20代	男性	太陽光、風力発電等の割合が上昇するにつれて、供給予備率も上昇すると思われる。 現在7－10%程度の供給予備率の妥当な数値は検討されているのか？	太陽光発電、風力発電は出力をコントロールできないため、年間の発電量ではなく時間当たりの発電量を考えることが大事だと考えている。その点を考慮すると、太陽光、風力発電等の割合が上昇するにつれて、供給予備率も上昇すると思われる。 現在7－10%程度の供給予備率の妥当な数値は検討されているのか？ゼロシナリオだと大きな影響を与えそうだが・・・。
31815	個人	会社員・公務員	40代	女性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 《政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべき》	被爆国である日本だからこそ、原発を含めたいかなる核も持たない、という力強いメッセージを全世界に発信すべき。先祖から受け継いだ命と、美しい自然を愛し大切にし、クリーンな再生エネルギーの模範となる国に！ このパブコメ募集の前提が「2030年までは原発が維持される」というもの。前提自体が国民を騙すトリックだ。再び事故が起これば、日本は再起不能になる。政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示すべき。
31816	個人	会社員・公務員	30代	男性	3つの選択肢の中では「 20 ～25 シナリオ」を選択するが、消去法で選択しているだけ。	その他のシナリオでは再生可能エネルギー導入率が高すぎて、実現性がほとんど無いと考える。残った20-25シナリオについても再生可能エネルギー導入率が高すぎるのでこれに伴う電力料金増（または各種税金増）についてどのような考えがあるのか全く見えてこない。 現状でさえ電力料金が高く国内企業の負担が大きいのにこれ以上電力料金が高くなると国際的な価格競争力が無くなり、産業の空洞化→雇用低下を招くことになる。
31817	個人	家事専業	60代	女性	エネルギー　環境に関する選択についての私の意見を述べます 2030年時点の到達目標は、原発ゼロ もっと言うと2012年秋に原発ゼロにするべきです。 今すぐシビエンエネルギー利用に向けて動いてください。	使用済み燃料棒はいつまでも同一建屋に保管せず確実に安全（地震津波断層に問題がなく電力供給水供給可能等）な場所に保管冷却維持する必要あり。福井県大飯発電所。 福島原発も大変困難だが1～4号機今のプールから取り出して冷やしてください。 福島の処置もできないのに原発稼働するのは反対です。 地震で配管電線断裂で原発冷却ができないなら、北風で私は食べ物にも飲み水にも困る。西風なら中部地方関東地方。 福島等被災している人々は汚染の度合いのわからないものをずっと食べ続つけています。なぜ1年以上今食べる食品の線量を知る仕組みができないのか。 東大のホールボディーカウンター検査をうけて5931人中6人だけが検出限界値（1人250～300ベクレル）を超えたらしいがそのうちの3人は限界値わずかにこえただけ。残り3人は家族（普通さょうだいという）その1人が最高値615ベクレル。野生きのこを食べた。との報道。 何時（何年何月）に何グラム食べたのか、もち論住所から（農家なら）親が作った野菜を食べるのは非常識なほど空間線量が高いか、または心配不要で きのこだけが原因かを調しく分析していることでしょうね。そして高い3人と親に結果は知らせたでしょうね。これから遠方に子を避難させるか考慮するデータです。5931人全家族に通知させてください。なお福島以外の北海道関西等の遠方では検出限界値をもっと低く測れるとききました。大阪府京都府兵庫県の普通に在住してる各10人ずつの平均値は何ベクレルでしょうか。
31818	個人	会社員・公務員	30代	女性	経済合理性から原発はゼロにする事 経年劣化リスクの高い場所から順に廃炉とする事を決定しロードマップを示す 原発は国防安全保障上の問題として語られるがそれは国の原子力研究開発と経済成長でなされるべき	・経済合理性からも原発はゼロにすることが望ましい。 昨年の事故により、原発の災害発生時の経済的な損失、人的被害、国際的な評判の毀損は立証されており 「安全・低コストなエネルギー」ではないことがはっきりしている。 事故が起きた場合の被害額は甚大であり、今までは事故が起きないという前提のもとで 運用されてきた事業であり、今回の事故で経済合理性を欠くことははっきりした。 また、現在の原発作業員は一部の反社会的組織などからの派遣であることがはっきりしており、 国としてもそういった組織への資金の提供になることは許容されるべきではない。 原発の現場作業は外部からの差別や健康被害をを伴うものであり、 経済的な弱者を「薪にくべて」はじめて成立するようなエネルギー政策は許されるものではない。 ・経年劣化などリスクの高いものから順に廃炉とすることを決定し、国はそのロードマップを示すべき。 今回の事故の有無に関わらず、廃炉の問題はいずれ生じる話であったので これをきっかけに国は廃炉のプロセスを確かなものとし、モデルケースを構築していくことが望ましい。 またその計画を国民に開示し、指示を受けていただきたい。 現在はそういった中長期のロードマップが明確にされないまま、結論のみを先送りにして 既定路線に戻そうとしているように思われる。 すぐに全国の原発を全て廃炉とする事が現実的に不可能なのは理解しているが、 このままでは国民の指示は得られない。 短期的、中長期的なマイルストンを設けて国民の同意を得つつ、プロセスを進めていくべき。 また、先進国を中心に脱原発の潮流は生まれているため、日本の得た教訓としてそのノウハウを輸出していく。 ・原発は国防・安全保障上の問題として語られやすいが、それは国としての原子力に関する研究開発と経済成長でなされるべき 「原発を保有していることで近隣諸国から準核保有国という認識をされており、安全保障に繋がる」 という言説もあるが、それは研究開発拠点を残すことで充分に達成可能な問題と思われる。 研究開発拠点ではより安全な原子力管理、廃炉プロセスのための技術者養成などを行う拠点とする。 小さい国土の国防は、武力によるものでは対抗はそもそも不能。 アジア圏での立ち位置は刻々と変わっているが、 その中での優位性をキープするには国としての魅力度を高めていくほかない。 高い付加価値産業の創成、安全性、税制、高い医療サービス、文化・観光産業の成熟度などにより 周辺各国へ対する魅力度をアピールしていくべき。 そのための国としての一番のサポートは、原発を始めとした不安要因を解決し、増税などの景気減速要因を取り除くことである。 (削除) 東京都 女 37歳
31819	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年までのなるべく早期に原発比率ゼロに。	意見：2030年までのなるべく早期に原発比率ゼロに。 理由： ・核燃料サイクル政策に関して、使用済核燃料を直接処分する政策を採用。 　＞直接処分にしても再処理処分にしても最終的に、最終処分が必要となる。 　どちらの政策をとっても土中に使用済み燃料を埋める事による負担は変わらない。更に六ヶ所再処理工場だけでも総費用は約11兆円も掛かっており、経済的な負担が大きい。 ・原発をゼロとするため、より大きな再生可能エネルギー、省エネが必要。 　＞三菱重工業は、韓国の4カ所の大規模天然ガスたきGTCC（ガスタービン・コンバインドサイクル）発電所向けに、「M501J形」と呼ぶ世界最高効率を誇る最新型のガスタービン計10基を連続受注した。出力は合わせて約477万kWになる。このようにGTCC発電なども視野に入れる事で原発をゼロにしたからと言って再生可能エネルギーや省エネだけに頼る根拠とはならない。 ・省エネ性能が劣る製品の販売制限・禁止を含む厳しい規制を広範な分野に課し、経済的負担が重くなってでも、相当高水準の再生可能エネルギー、省エネ、ガスシフトを実施する。 　＞原発をゼロとしたからと言って、エネルギーミックスの選択肢を広げることで十分に対応可能である。 ・これにより、化石燃料の依存度を極力下げ、他のシナリオとそん色のないレベルまでCO2の排出量を低減する。 　＞前述で「原発をゼロとするため、より大きな再生可能エネルギー、省エネが必要。」という論旨ではCo2の排出量は、他のシナリオに比べてCo2の排出量が低減しているはずである。また、環境選択肢の公平さの観点からCo2だけではなく放射能汚染も判断基準に入れるべきである。

31820	個人	家事専業	40代	女性	すべての原発をなくしていきたい。安心、安全な国土を残していきたい。	福島での原発事故が起きなければずっと将来起こりうる危機を知らないままや孫に負の遺産を遺してしまうところだったと考えると恐ろしい。今思い切って原発をなくさなければこのままずると何もわからないままになってしまい日本は不安だらけで危険な国で大げさにいえば人が住めなくなってしまうかもしれない。地震などの災害がいつ、どこで起きる起きないかなど誰にもわからないのだから。ひとたび汚染されれば元通りになるまで、人の一生以上の年月がかかるという放射能。あの世までこの不安をもっていかなければいけないのか、原発ゼロへ向けての努力なら国民は耐えていけると思う。原発を存続していくための増税などはやりきれない。国は原発ゼロに向けての指針をしっかり示してほしい。
31821	個人	自営業	40代	女性	「2030年までに日本のエネルギーを何で賄うか」私は原発ゼロ、を強く希望します。太陽熱、水力、風力、バイオエネルギー等の持続可能なエネルギーに全てをシフトする事を希望します。	まず原発は何を置いても反対です。こんなに地震の多い国でこれだけの原発を持っている事は常識から考えても異常です。日本は国土が狭い中に人口が多い。電気を一気に作れる原発に頼ってきたことは、戦後のアメリカ支配、そして高度経済成長のまっただ中での この決断は致し方なかった事だと思います。戦争に負けた国としての威信も中にはあったのでしょう。しかしそんな時代は3.11 の大震災、原発事故で終わったと思います。ここで日本は本当の意味で賢く未来を生き残って行けるか、地球と共存して行けるのか、を試されている時だと思う。 　今も尚、1万6千人の人々が放射能被害で家に帰れずさまよっている。福島の子供達は外で思い切って遊べない。日本政府はこの事実から何故目をそらそうとするのか！？近い将来、東北で癌がものすごく増えるでしょう。政府はきっと原発事故とは関連性が認められない、などと原爆を落とされた時と同じような事をいうのでしょうが、それは絶対に3.11の福島原発の事故によるものです。 　エネルギーの生産を今の大手電力会社に独占させることをやめたらいい。日本は優秀な企業、ヒトがいる国。自由な参入を許して（本当に許して）、持続可能なエネルギー生産を日本の新たな産業にするべきだ。日本の科学技術をそこにシフトするべき。アメリカとの関係？日本のリーダーが自国の国民を守る為に立ち上がらずしてどうするんだ！野田総理、あなたが今本当に守るべきものは、原子力ムラの人達でも、電力会社でも、アメリカとの関係でもなく、日本国民でしょう。どじょうのど根性を国民は見たいのですよ。
31822	個人	家事専業	40代	女性	日本にあるすべての原子力発電所の即時停止と即時廃炉を。 原発依存度をすぐにゼロにすべき。 原子力規制委員会の人事を差し替えるべき。	＊福島の極めて重大な過酷事故を起こしているにもかかわらず、1基でも動かす 　とは、国内はもちろん、国際的にも全く理解されていない。 ＊世界最大の地震国、日本は、すぐに原発ゼロ、即時廃炉を選択すべき。 　ドイツに出来て、日本で出来ない理由は無い。 ＊太陽光や、自然を利用し、新たなエネルギーを研究、開発を進め、 　早い段階での実施を求める。 　日本の新しい産業のための雇用も増えるはず。 原発はすぐにゼロ！　すべて廃炉！　再稼働撤回を！ 原子力規制委員会の委員長を交代させてください。
31823	個人	会社員・公務員	30代	男性	ハードルを超える覚悟はある。不自由は自由さを違う形で取り戻そうとする原動力になる。戦後復興のように。今が正にその時だ。原爆も原発を管理できずに暴走させたのもいずれも人。ターニングポイントは今だ。	総理。電力会社のみなさん。原発推進派の政治家、各関係者のみなさん。 あなたやあなたの家族、友人を原発のすぐ傍に住むことを勧められますか？ 誰か見ず知らずの人の判断が誤った時に、致死的な量の放射線を浴びる可能性があることを納得することができますか？ 自分がやられて嫌なことは、みんな嫌なんです。 誰もが目を背けるような残飯を好んで食べるような人がいないように。 代替エネルギー政策にお金が掛かろうと、少しぐらいの不自由があろうと 愛する妻や家族、友人の命に比べればなんていうことはないでしょう。 不自由だなと不満をこぼす夜もあるかもしれない。 でも、人は不自由だからこそ便利さを欲し、頭を、体を、お金を、時間を使い、少しずつ快適にしていった。 戦後、そうやって僕たち日本人は暮らしてきたじゃないか。 理不尽で身勝手で一方的なアメリカの原爆という、被害者からすれば天災のような悲劇にさらされても尚、復興し、自由な生活のためにがんばってきたじゃないか。 もし仮に、刑務所であなたがその任に当たったとき、あなたは進んで絞首刑台のボタンを押せるのですか？ 喜んで立候補して押すのですか？ シナジーを起こしましょう。 一時的な不自由や不利益は、人間の力と知恵で、話し合って良くしていくことができるんです。 その覚悟が僕にはある。 覚悟ができていないのは、あなたたちだけです。
31824	個人	会社員・公務員	30代	男性	エネルギー・環境に関する選択肢としてあげる目標に「2030年までに0%とする」案は現実的とは思えず、こうした案を上げることを自体、真摯な原子力行政の改善を検討しているように思えない。	現状の日本国内のインフラを考えると、一般的な家庭の電力使用量も省エネルギー化による低減が図られているとはいえ、自動車や冷暖房の化石燃料から電力へのエネルギー転換による電力使用量の増加も今後進むことが考えられるし、産業分野でのエネルギー削減は既にコスト低減に向けた諸活動の中で一定の効果が発揮され、近い将来において大幅な削減が見込めるとは思えない。 この事から2030年までに原発依存度を0%にするという目標は、達成目標としては現実し得ないと思う。
31825	個人	会社員・公務員	30代	女性	2030年に0%ではなく原発依存はただちに0%にすべきです。再生可能エネルギーの先進国になることが日本を経済でも救うと思います。	原発依存は0%にしなくてはいけません。
31826	個人	パート・アルバイト	20代	女性	ゼロシナリオ、出来るだけ早期にゼロになることを希望します。 シナリオは、工夫次第でより実現しやすいものになると思います。 こんな時こそ、国全体の力を合わせて、努力すべきだと考えます。	ゼロシナリオを希望する理由としては、以下の2点です。 ・原発施設の安全性に不安があること ・処分方法が確立していない核という危険なものを後々の世代に残したくないこと 福島での事故と同等、もしくはそれ以上の地震が来る可能性も十分あります。 その際に、本当に大丈夫なのか？ まだ事故原因等もハッキリしない中、再稼動することは大問題です。 また、使用済みの核燃料をどのように処分するのか、無くなるわけではなく、しかも危険な物質。このようなものをこれ以上増やしてどうするのか？ その答えが出ていない状態で、原発を続けていくことには反対です。 もちろん、日常生活の中には同様の事例もたくさんあります。 自動車事故、ゴミ問題・・・ 今の生活の便利さを求めることで、生命を危険にさらしたり、将来に不要なものを残したり、問題点は似ています。 それらも含め、より持続可能な、より安全な、そして快適な暮らしができるように、努力すべきだと思います。
31827	個人	その他	40代	女性	原発ゼロでお願いいたします！ 安全&循環しうる方法での発電をよろしくお願いいたしますm(__ __)m	原発ゼロでお願いいたします！ 私の父は広島のヒバクシャです。私は第三子ですが、内蔵奇形があります。知人のヒバク二世の方は白血球の数が生まれつき異常に少ないそうです。 国民の健康と幸せを考えてくださる心ある決断をよろしくお願いいたします。
31828	個人	無職	60代	女性	原発0%のシナリオを選ぶべきだと思います。	東日本大震災と福島原発事故を転機としても以前のような価値観では生きていけなくなりました。生きていってはいけないと思います。もう金銭的物質的な経済成長第一の社会経済ではなく新しい社会と価値観を持つ国に生まれ変わる方向に向かうべきだと思います。そのことを後ろ向きにに考えるのではなく新しい産業を育てるという未来に向けた考えに変わることはできないでしょうか。今までの日本は原発に頼ればどうにかなるという考えしか持たず自然再生エネルギーを軽視してきました。中国がいつのまにか自然再生エネルギーにも力を入れ世界有数の国になっていることを知りショックを受けました。中国は確かに原発推進ですが一方では抜け目なく自然再生エネルギーにも力を入れているのです。日本の状態をみるとあまりにも東電をはじめとした電力会社と電力会社の労組と政治権力が結びつきその利益のために日本のエネルギー全体について国民生活の安全や命の大切さを軽視してきたように思えてなりません。原発は自然災害がさけられない日本には合わないというだけではなく一番気になるのは原発からの廃棄物の処理の問題です。一番危険なリサイクルは絶対に止めてください。10万年以上なくならない危険物をどう保管するのですか。もうこれ以上危険な廃棄物を少しでも増やさないためにも一刻も早く原発廃炉にむけて動き出してください。お願いします。
31829	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロシステムを支持します。	即刻廃炉にすべきだ。 核とは、到底共存出来ない。 大自然に人間は無力だ。 福島第一原発の事故で、原発が恐ろしいものだと気づかされた。 原発は安全だとの「神話」は崩壊したのだ。 あの事故で日本国民、そして世界中の人達がわかったはずだ。 利便性や上層部の利益のためだけに稼動するのは犠牲になるものが多すぎる。 命よりも、経済や利便性を優先するのか？ 放射性物質の拡散予測情報を隠すなど、事故後の政府や東電の対応はあまりに酷すぎる。 何の罪もなく浴び続けた国民を愚弄している。 今後、チェルノブイリ事故のように様々な病気を発症したらどう対応するのか。 核の最終処分場もなく、ゴミを増やし続けるのはいい加減にやめてください。 冷静に判断すれば、地震大国に原発は不要とのことが結論となる。
31830	個人	家事専業	40代	女性	原発0シナリオを選びます。	原発事故の恐ろしさを知った今こそ、子ども達に大人として正しい責任の取り方をみせましょうよ。 子ども達の未来が明るいものとなりますように。
31831	個人	会社員・公務員	50代	男性	あえて選択するのであれば20～25%を選択する。	日本の今後のエネルギーの方向に関することであり短期間の検討で決定することは無理がある。充分に時間をかけ、電源構成の変換による経済的負担のみならず、二次的に発生すると予測される産業の空洞化、雇用の減少、財政赤字の拡大等あらゆるリスクを踏まえて決定すべきである。剛直な考え方でなく柔軟性を持った方向を目指すべきであり、現時点での総合的判断ではスタートポイントとして20～25%とすべきであるが、引き続き柔軟性を持ってあたり、常にPDCAサイクルを回し見直し、修正する体制をつくるべきである。
31832	個人	会社員・公務員	20代	男性	原発比率0%、15%に低減させるシナリオには賛成できない。	原発比率を0%、あるいは15%に下げるシナリオでは日本の産業界における電力枯渇は必至であり。国自体が立ち行かなくなる為。
31833	個人	会社員・公務員	50代	男性	2030年の原発依存0%、すなわち「ゼロシナリオ」の計画ですすめられるようお願いしたい。	もはや原子力発電所の「安全神話」は完全に崩壊していると言えます。ひとたび事故が起これば、永きにわたって人々のみならず命あるもの全ての生存が脅かされるということが明らかとなっています。 電力は人々の生活にとって、なくてはならないものですが、原発がなくても十分にまかなえるということも明らかです。確かに今後火力(石油)に頼ることも厳しくはなってきます。今こそ、再生可能エネルギー(光　風力など)への転換をすすめるときだと考えます。
31834	個人	その他	40代	女性	原発0ゼロにしていただきたい。	危険を想定することなんてできない。 想定内の地震って？津波って？ 飛行機が落ちるかも、テロが起きるかも。 何が起きるかわからないのに、危険な因子を持ち続けるのがいいのでしょうか？ 危険な要素は取り除いていくべきでです。 子どもたちの未来のためにも美しい安全な日本であるべきです。 原爆を受けたこの日本がその恐ろしさ、つらさ、苦しさを忘れ、 その原因となったものに依存し、それを持ち続ける姿勢は何とも愚かです。 日本は経済も含め、方向性を変えていく時期に来ています。 いつまでも同じやり方での成長はできない。 何が本当の豊かさなのか、国が国民自身が変わる必要があると思います。 原発に依存し、電気が好きなだけ使え、物が豊富にあることが豊かではないと人々は気づいています。 新しい美しい豊かな日本にしてください。
31835	個人	会社員・公務員	50代	女性	原子力発電は技術として未熟であり、安全な稼働は不可能なことがわかった。子孫に災禍を残さないために、原子力発電の中止と完全撤退を要求する。日本の高い技術力を自然エネルギー利用に生かす政策転換を要望する。	東京電力福島発電所の原発事故は、多くの事実を国民に知らせてくれた。まず、原子力発電の技術が未完成であり、核の処理技術は確立できていないこと。被ばくした場合の対策はないこと。安全を保証する独立したチェック機構ができていないこと。地震国である日本では、原発の安全な立地はないこと。安全対策のチェックシステムが機能しない仕組みになっていたこと。「原子力村」と呼ばれる大きな利権組織が存在し、日本のエネルギー政策に科学はなかったこと、などである。 　これらの中に人智で克服できるものは少なく、原発の安全な稼働は不可能と断定できる。使用済み核燃料の処理技術も未確立であり、この認識は日本だけではなく世界共通のものだと考える。だから、世界中で原発からの撤退が動き出している。 　日本の高い技術力を自然エネルギー利用に使えば、エネルギー需要を満たす技術開発は可能だと考える。それが新しい雇用や社会活力、を生み出す原動力になると思う。エネルギー政策転換で予算の流れが変われば、日本企業の世界的な競争力を高める大きな契機になる。 　日本人の誇りを取り戻すために、今、ここで政策転換を決断してほしい。目先の便利さよりも将来の子孫と環境の安全を確保したい。

31836	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発依存度低減自体に反対。 減らしたとしても20～25シナリオ以外論外。	現在の世論は、再生可能エネルギーへの期待をかけ過ぎていると感じる。 ドイツの再生可能エネルギーへの転換の失敗例があるのに同じ道を辿るのは論外である。 省エネが進んでも、文化レベルが年々上がれば上がるほど、エネルギー消費も上がるのは目に見えており、自分の家を例にしてみても、高断熱の住宅を建て、エコカーにも乗り換え、エコ家電に買い替え、電球をLEDにし、随分とエコ政策に貢献してきた（政策に振り回されてきただけ？）つもりだが、子供が増え、家族が大きくなっていくほど、電気使用量はどうしても増え、家計を圧迫している。 自分たちの世代は、バブル景気の恩恵を全く受けないで来た世代だが、長引く景気低迷で、いったいどこまで我慢させられるのか？と強く思います。その上で、さらに再生可能エネルギーを推進する為に電気代まで高くされては、生きていけません。 国民生活を本当に第一に考えるならば、脱原発は論外だと思います。
31837	個人	パート・アルバイト	40代	女性	日本の未来には原発は不要です。未来に生れてくる子どもたちを守りたいです。	六ヶ所村の実情を見てきました。 目の前に埋められているゴミを見て これが安全といっていいのだろうかと。 地球は資源です。人間が便利さの為に 地球を汚してはならないです。 再生可能エネルギーに予算を切り替えてください。 宜しくお願いいたします。 （削除）
31838	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力発電はゼロにしてください。原発ゼロシナリオを選択します。	事故が起きた際のリスクがあまりにも甚大過ぎます。 事故対応のための保険や公的資金の投入を加味すると国民負担は跳ね上がります。 あれだけの原発事故を起こし、これだけ活断層の多く地震が多発する日本列島には あまりにもリスクが高すぎます。 大地震がくることと事故が起こることを前提に考えてください。 原発にはゼロシナリオを選択します。
31839	個人	パート・アルバイト	30代	女性	「ゼロシナリオ」希望。 まずゼロという方針を決めないと、電力自由化、核廃棄物、再生可能エネルギー等の検討が中途半端になる。 原発をゼロにする。そのために何ができるか、政治・経済・地域社会で知恵を！	福島の事故をみてください。 いまだ10万人の人が避難生活を送り、事故の原因究明も高い線量にはばまれ満足には終わらず、 収束には程遠い状況です。 避難者は、故郷に戻れるのか、あきらめて他所で定住するのか、迷っているうちにまともな定職につけず、不安定な生活です。 私の住む東京でも、どのくらいの健康被害がこののちでるのか分かりません。 核の平和利用　などという言葉は信じません。 原子力発電は核発電です。 核廃棄物の問題はいまだ解決できていません。 六ヶ所でさえ「中間」と呼んでいます。最終的にはどうしようと持っているのですか？ 地震国云々以前に、核廃棄物の問題がある以上、全原発廃炉しかないと思います。 もんじゅなどの核開発にかける膨大な費用があれば、 効率的な次世代エネルギーの開発はきっとできます。 電力の自由化を進め、エネルギーの地産地消を進めてください。 送電ロスをなくせば、今よりももっと少ない発電量でまかなえます。 地域をだいじにしてください。 節電は「我慢」ではなく「効率化」という観点から進めてください。 ムダな電気を考え改める。まずはそこからです。 原発を否定することは、電力を否定することではありません。 子どもにへんな教育をしないでください。 原発は可及的速やかになくしていきましょう。 8月9日、長崎からの提案にも耳を傾けてください。
31840	個人	自営業	60代	男性	「ゼロシナリオ」に賛成。 原発には本質的に放射性廃棄物問題がある。現在の原発は安全ではない（国会事故調が指摘）。なのに「安全」と政府が言っているのは今も安全神話に浸りきっていることを示している。	「ゼロシナリオ」に賛成。 放射性廃棄物を無害化する技術の見通しは無い。核燃料サイクルは破たんしている。放射性廃棄物を積み増していく原発の運転は将来に負の遺産を負わせることです。ですから、再稼働した原発も即刻再停止し、原発の稼働を無くすることを求めます。 　国会事故調が地震による原子炉損傷の可能性を指摘した。すなわち原発の安全性は確認されていません。現時点での原発の安全性はどうなのかは論理的にきちっと判断ペきです。そのようなことをきちんとできない政府に原発の稼働を推進する資格は無いと思います。 　安全が確認されていないと専門家が指摘しているのに、「安全は確認された」「電力が必要である」と大飯原発の再稼働を進めたことは、まだ安全神話が生きているということを示しています。福島事故を振り返る時は「安全神話」を問題視しながら、今時点の判断は結局安全神話に頼っています。そのような政府（規制をすべき保安院も）は明らかに無責任と言えます。このような状況を見ると規制組織を作り直しても、改善は全く期待できません。残念ながら日本には原発を扱う資格は無いと思います。 　国民が求めているのは安全平和な生活です。本質的に危険（放射性廃棄物の生成）な原子力発電から、一刻も早く自然エネルギーにシフトすべきです。そのために必要な技術開発や産業の育成に力を注ぐことこそ政府がやるべきことです。日本の英知を自然エネルギー開発に集結すべきです。雇用も増大させ、世界に誇れる日本の産業となるように推進すべきです。もうひとつは省エネルギーの推進です。同じ便利さを享受しながら使用電力は大幅に削減する技術開発はいくらでもあると思います。そのような技術開発を進め、そしてその製品の普及を図ることこそ求められます。このような努力を不十分にしたままのシナリオで、政策判断をしようとしている、しかもかたち上は国民の判断を仰ぐ（このパブリックコメントのこと）ポーズをしていることは、政府は国民を愚民と思っているのではないかと、非常に残念に思います。 　多くの人は、今まで湯水のように電気を使ってきたことを反省し、短期的には生活を変えて節電を図っています。このような工夫と努力をすれば電力は足ります。 　原発は即刻全て停止し、自然エネルギー開発と省エネルギー推進に国の英知を集中していくことを求めます。そして日本人にはそれを成し遂げる能力が十分あると私は思います。
31841	個人	会社員・公務員	30代	女性	過去から学んでください。	過去は私達のものですが、私達は過去のものではありませんな。 私達は現在を生き、未来を作ります。たとえその未来に私達がいなくても、そこには子どもたちがいますから。 （ガンディーの言葉より） 本当にこの言葉の通り、日本は広島、長崎と戦争によって被爆し核を持たない事を決めましたよね。 だからその時点で同時に原発も持たないことにすれば良かったと思いますが今それを言っても仕方がないので未来にむけてなくして行きましょう。 果たしてこのパブコメが何かを動かせる事に繋がるのかはわかりませんが沈黙は容認だと思うので意見しました。 現在の利益だけを考えるのはよしましょう。不便になってでも胸をはってバトンを子どもたちに渡したいです。
31842	個人	パート・アルバイト	20代	女性	原発0パーセントを支持します。	今回の福島の原発事故では、数多くの犠牲がありました。改めて原発の危険性とその影響力を感じました。 避難せざるを得ない地区の方、また政府が避難指定した以外の地域でも放射線量の高い地域は多くあり、避難した方も多くいます。土地にとどまらざるを得ないけれど、不安の中生活されている方もいます。 子どもたちにヨウ素の配布さえせず、将来放射線の影響がどのようにあらわれるのか。今も苦しむチェルノブイリの事故と同じことが日本でも起こるかもしれません。子どもたちの健康に与えた影響は甚大です。 海や大気、生態系も汚し、他の地域にも放射線の影響はあります。原発後の調査で、危機管理の甘さも露呈しました。 このような原発を今後も引き続き使うことは、とても危険性が高く、支持できません。原子力が安い、自然エネルギーが高いというのは、情報操作もあります。また、事故が起きなくとも、原発はウランの採掘から始まり、廃棄物の下請け作業員の方が被ばくし続けるものです。そして、廃棄物の処理さえ定まりません。何世代も先の子孫にもその負担を負わせるものです。 そのような弱い立場のものや、過疎の地域に原発をおしつける構造をやめ、未来のための新しいシステムをつくることを希望します。 原発はゼロにして、自然エネルギーに移行する。電力会社の独占をやめ、会社を選べるようにする。高価な送電線で地方から都市に電力を送るのではなく、地域ごとに電力供給を目指すやりかたを希望します。 二度とこのような事故がないよう、被ばく者を生み続ける仕組みをやめるため、原発0パーセントを強く支持します。
31843	個人	パート・アルバイト	50代	女性	原発ゼロシナリオ	起きてしまったことは元には戻せませんが事故を教訓として将来的な考えをしていきましょう。広島、長崎、福島これ以上被爆被害を出すようなことはあってはいけません。政府が自国民を殺すようなことはしないでください。今の日本なら原発に代わるエネルギーを造り出すことは充分可能だと思います。その開発に税金を使ってください。
31844	個人	自営業	50代	男性	原子力発電の危険性と廃止について考えたいと思います。福島第一原発事故によって明らかになってきている放射能拡散の危険性、このままでは日本そのものが危機であるどころか、諸外国にまで影響を与える大問題です。	原子力発電の危険性と廃止について考えたいと思います。福島第一原発事故によって明らかになってきている放射能拡散の危険性、このままでは日本そのものが危機であるどころか、諸外国にまで影響を与える大問題です。そんなか、原発再稼働という選択肢はあってはならないと考えています。今回、オリンピックで瓦礫バッチ問題があり認識をあらたにしたと思いますが、今の日本が原子力を選ぶほどナンセンスな話はありません。唯一の原爆被ばく国家の日本が、その危険な物質を排除しないでどうするんですか？国際社会においても、そういったスタンスがなければおかしい、世界中から笑い者になってしまいます。さらに地震の問題、福島の事故でよくわかったように自然の猛威には計算では立ち向かえない。次に大地震が来た時の事を考えたら、国民はおちおち生活も出来ないではないですか？電力不足というのを理由にするのならば、新しく開発されているエネルギーについてもっと発表があっていいし、日本人の開発力はもっともっと優れていると思っています。代替エネルギーはまだまだいくらでも余地があると思うし、いまシフトしなければならないというのは世界中が考えている思想でしょう。
31845	個人	自営業	30代	女性	原発ゼロシナリオをえらびます。	原発ゼロシナリオをえらびます。 地震大国、日本に原発はあってはならないと思います。 　人は、自然に生かされているのを日本人は忘れて、「原発がなければ、経済がなりたたない。」とよく聞きますし、言うひともいます。 人間が一番地球の自然を壊しているのです。 いろんな問題はありますが、自然エネルギーを推進してください。 　日本は、こんなに恐ろしいことが起こったのですから、もう二度と起こらないために変わるべきです。 　そして、何より子供たちに、負の遺産を残さないでください。（使用済み核燃料の廃棄の問題など）
31846	個人	会社員・公務員	50代	男性	可能な限り2030年に軽水炉原発をゼロ、もんじゅ等の研究開発も中止へ。無理であれば数%の原発が残るのはやむ無し。しかしできる限り早く廃炉を選択しおよそ2012年から15～25年程で完全に無くしたい。	1）廃棄物を何百世代にわたり管理するのは不可能であることがほぼ常識的な見方だと思う。放射能廃棄物は増やさない方が将来世代に対するリスク軽減として妥当ではないか。2）現行のウラン核変系原子炉でプルトニウムを生み出すものは残したくない。但しトリウム溶融塩原子炉のような技術は研究しても良いのではないか。核融合エネルギー等の新技術までの橋渡しの原発を否定するものでは無い。3）代替のエネルギー研究はもっと重視するべき。石炭、石油、天然ガス等のco2除去技術の研究発展とそれらのエネルギー利用は推進すべき。尚、京都議定書からいったん離脱すべき。日本の外交姿勢や世界貢献が京都議定書だけで評価されるとするのは官僚の貧しい見識。4）日本の企業や行政における人的・制度的な問題、つまりリスク管理や第三者機関による原発の管理がまだ我が国では大変未熟であることが今回露呈した。このことの解決は単に考え方や制度改変ではすぐには出来ないと思われる。必要とされる社会成員の育成や国民側の民主主義的な発想の未熟さや民主主義的制度や国家官僚制度のあり方への意識が、明治以降敗戦を通じてもまったく変わらなかった事が福島原発事故で明らかになったと思う。であるから単純に15%維持とかの政策を決定すべきでは無く、日本の国家制度や社会の有り様を国民全体で熟識していく過程が必要で、そのことをやりつつエネルギー問題の将来的な展望を作っていくのが国民と国家の責務と思う。
31847	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオを選択する。 　ただし、原発をゼロとする時期については、即時とするべきである。	（1）事故リスクが大きすぎる。 　福島第一原発の事故により、今もなお16万人が2011年3月10日まで暮らしていた地域に戻れないでいる。福島第一原発がまき散らした放射能は東日本全域に及び、河川や湖沼、太平洋までも汚染している。大気中に放出された放射能は、地球を何度も回って世界を汚染している。 　食品は放射能で汚染され、日本列島に暮らす市民は、その汚染された食品をやむなく摂取すべき状況に追い込まれている。また生産者は自ら生産した生産物が忌避されるという事態にさらされている。漁業者の中には、未だ漁業を再開出来ない方も多い。 　原発の事故は、事故が起こったら取り返しがつかず、誰も責任を取れない類の事故である。 （2）福島第一原発の事故の原因が究明されていない。 　国会事故調査委員会の報告書は、「福島原発事故は終わっていない」としている。政府の事故調査・検証委員会の最終報告でも、事故の原因究明が十分には行われていない。加えて、福島原発事故を教訓とした新たな規制が定められたわけでもない。 　このような原発事故の再発を防ぐ事は出来ない状況下で原発の運転を再開するのはもってのほかである。 （3）核のゴミを次の世代に押し付けてはならない。 　使用済み核燃料は、再処理をするにしても直接処分をするにしても、何万年もの間、管理しなければならない。原発の稼働期間は40年に過ぎず、そのわずか40年のために、何万年にも及ぶツケを、次世代に残してはならない。放射性廃棄物をこれ以上作り続ける事は、許されない事である。

31848	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロプログラムを選択します。 放射能汚染された国民の生産力は低下します。日本で生きるうえで、原発利用による豊かさよりも、本来取り組むべき消費エネルギーの削減に努力し続けられる可能性をこそ、望みます。	ゼロプログラムを選択します。 福島原発の事故後、世界は、放射能汚染されたであろう日本や日本産のもの、日本人に対する忌避感を隠しませんでした。 その時点では、過剰な反応だったかもしれません。 しかし、日本じゅうに流れている薄まった放射性物質が、生物濃縮により、やがて日本の全ての生き物を放射能汚染物質にしてしまうのは必至です。人間だけその輪から逃れることはできません。世界の人々は、自分は巻き込まれたくない、という、あってしかるべき反応をしているだけです。 放射能汚染された人間の生産力は、明らかに下がります。 わたしの家族は、広島の原爆被爆者を二人抱えてきました。おそらく内部被爆もしています。本人はもちろん、支える家族のぶんも、労働力としては平均的な日本人家庭よりも低くなっています。わたしたちは、家族が入院することに異常に慣れています。 また、外威を含め、被爆者が多くいるわたしの親戚を眺めると、労働力として期待される人間が被爆者だった場合、若くしていなくなる者が多く、残された者を支えることもまた、わたしたちの役割になっています。 これを国にあてはめるなら、国内に放射性物質が増え、放射能にさらされ内部被爆する国民が増えれば増えるほど、国民総体としての生産力は落ちるのです。己が放射能汚染されてしまったら、原発依存度を下げることはおろか、本来取り組むべき消費エネルギーの削減に努力する能力すら、失われてしまいます。 海に囲まれ、自然災害の多い日本で、世界と分断された時もわれわれ人間が生き延びて来れたのは、豊かな水と生き物がいつもそばにあったおかげです。目の前にある豊かな水や生き物が、われわれ人間を支えるどころか傷つけるものになってしまいつつあります。我々もいずれ、放射能汚染を免れませんが、今ならまだ、消費エネルギーの削減に協力できます。そしてこれ以上、国内に放射性物質が増えるのを、国を守るためのエネルギー政策を理由に受け入れることはできません。 日本国の日本人を守る方策として、原発による豊かさは要りません。健康で努力し続けられる可能性をこそ、望みます。
31849	個人	自営業	60代	男性	原発はゼロにするのが最も賢い選択であると思う。	人類の長い歴史のなかで、ここでどの道を選ぶかによって未来は全く変わってくると思う。資本主義の過当競争が既に煮詰まって人類の幸福とはかけ離れてきてしまっていることに人々は気づき始めているし、何が一番大切なのか問われているこの時代に、まだ経済最優先という亡霊に取りつかれて、原発にしがみついている一部の人たちはもう一度考え直して、もっとよりよい社会を未来の子供たちにバトンタッチするにはどの道を選ぶのが最良かを熟考してほしと思う。
31850	個人	その他	50代	女性	原発はいりません。すべての原発を止め、それに変わる新たなエネルギー政策をとるべき。	人の力ではコントロールできない3・11「原発」事故の現実を、直視して欲しい。日本は広島、長崎への原子爆弾投下による苦い経験、歴史があったはず。二度と過ちは繰り返しませんから…の誓いはどこに？ 国の対応は、人間の命よりも経済を優先しているとしか思えない。 国会議員の方々は、妻や子どもや孫を福島県に移住させてみたらどうか？ 現実がよりリアルに自分のこととして感じられるはず。豊かな農地や代々守り抜いてきた地域を失った福島の人々の苦しみがどれほどのものか。
31851	個人	会社員・公務員	50代	男性	20～25シナリオをベースとしたシナリオの見直しを実施すべきと考える。	エネルギーの多様性確保の観点から一定の原発比率維持の下、日本が温暖化対策をリードするとともに、「雇用」と「国民生活」の維持に不可欠な持続的経済成長を可能とする新たなシナリオの提示が必要であり、20～25シナリオをベースとしたシナリオの見直しを実施すべきと考える。
31852	個人	自営業	30代	女性	(1)ゼロシナリオ	原子力発電は反対です。 日本には地震があるし、活火山もある そんないつ何が起こるか分からない島で 日本、世界を汚染、破壊する核燃料を扱うのは危険過ぎます。 地球には人が住んでます。素晴らしい自然があります。皆、生きています。 人は地球に住まわせてもらってるんです！ 人間は偉くないんです。地球の恩恵で生きてるんです 日本の素晴らしい技術は世界でもトップレベルなんですよね？ それなら、地球に負担をかけない風力、水力、太陽光などの 自然エネルギーを使いましょう！ 地球の恩恵に感謝しましょう。原子力発電は必要ないです。
31853	個人	会社員・公務員	40代	男性	ゼロシナリオ	過去、原子力は安全でクリーンだとあれだけ 国民を騙し続けた挙句の事故は、国民への裏切りで あり冒涜であります。 放射能汚染は100年以上続く現実を考えれば この選択肢しかありません。
31854	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発に代わるエネルギー供給の早期の開発を望みます。	核兵器＝原発臨界による核反対。 原発にまつわる利権に反対。 原発立地による差別反対。 一刻も早い原発なしでの政策を宣言を切望します。 もう国民は騙せません。 消費税で庶民からお金をむしり取るより公務員の方々の大胆なリストラを望みます。 若い新規の公務員の採用を減らし、天下りなどを見逃していてはなにも未来に繋がりません。 電力会社と経団連の確執に反対。 全てを明らかにして、政治を国民の手に！ 以上よろしくお願いします。
31855	個人	会社員・公務員	30代	男性	「エネルギー・環境に関する選択枠」に関する意見。原発ゼロシナリオに賛成。ただし、2030年という期間の提示に疑問。	原発ゼロシナリオ賛成の理由は次の通りです。2011年に起こった福島原発事故は一年以上たった今も危険な状態が続いていて今だに収束のめどもたっていない状態です。このような深刻な問題を引き起こす技術を次世代に残してよいのか、倫理的に考えると原子力発電はやめるべきだと強く思います。後、「2030年まで」と提示する根拠がわかりません。その説明も不十分だと思います。なぜ2030年までなのかきちんとした議論がされているのか不透明です。詳しい説明を希望します。
31856	個人	会社員・公務員	40代	女性	「2030年原発ゼロシナリオ」を選択します。即刻廃炉すべきです。 福島の問題も片付いていないのに、これ以上人間が管理できないものを増やさないでください。	日本は地震が世界で最も多い地域です。「想定外」ではありません。 近年では4000ガルというような常識を超えるレベルになっていて、それに耐え得る構造物はありません。 地震の少ない欧州のような段階的廃炉の選択肢はあり得ません。 また原発のコストの高さはすでに「原子力のコスト(岩波新書)」などで立証されています。 経済性や国際競争力からは原発を選択することはできません。 電源構成はピーク瞬時の電気需要に対して構成されます。したがってピーク瞬時の需要を下げれば足りるのに、年間電力消費量で考えられているようです。 八幡東区で「新日鉄」などがやっているように、ピーク時の料金を10倍まで高くする仕組みを入れれば、ピークの消費を下げられます。 電源構成は瞬時の対応ですからその点から考え直すべきです。 以上により、原発に依存する必然性はなく、逆に動かすことのリスクは限りなく高いため、即時のゼロシナリオを求めます。
31857	個人	会社員・公務員	30代	男性	0パーセントのシナリオを選択します。	震災以前までは肯定的でしたが、震災以後政府や電力会社のあまりにも不誠実な対応と、準備しておきながら活用しなかった技術など、政府に原発を安全に扱う適性も資格もありません。 現在残っている原発の廃炉がいま生きている世代の課題で、今後は原発はゼロを必ず実行し、現在発生している高レベルの廃棄物の処分、再生エネルギーの推進が将来に負債を残さない唯一の方法です。 震災を機に露呈した原子力ムラの実状から察して、このシナリオの提示自体に疑問を拭えません。対等に情報を提示してこその意見の募集かと思いますが、国民にはまだ知らされていない事実があることを危惧していることが、原発への不信感となっていることも知ってください。
31858	個人	会社員・公務員	30代	女性	ゼロシナリオを支持します。2030年と言わずに、1年でも早くすべての原発から手を引き、他のエネルギーへとシフトすべき。	原発のコストを考えた時に、誘致にかけるお金や廃炉にかけるお金を考えずに「コストが安い」とするのは間違えている。ひとたび事故が起きた時にコントロールできないものを運用するのは間違えている。 福島第一原発の事故は、太陽光発電や洋上風力発電、地熱発電など別のエネルギーへのシフトを真剣に始めるきっかけとして十分。また、最近になって発見された秋田のシェールオイル油田にも一刻も早く対応を。日本海側の資源はいつでも他国からの横やりが入るので、素早い対応が必要。 経済は廃炉ビジネスによっても生まれるはず。原発にしがみつくのは終わりにして欲しい。私たち国民の健康を、未来の子どもたちの健康を守ってください。
31859	個人	会社員・公務員	20代	男性	燃料となるウランは特定の国・地域に頼ることなく安く買うことができ、備蓄効果が高く、発電時にCO2も出さないため、一定程度維持し2030年の原発比率を20～25%程度とする20～25シナリオを望む。	原発には危険が伴う燃料となるウランは特定の国・地域に頼ることなく安く買うことができ、備蓄効果が高く、発電時にCO2も出さないため必要なエネルギーとなっている。代替エネルギーとして考えられる石油は非常に使いやすく、我が国のエネルギー源の3割超を占めているが、約9割を中東から輸入しておりCO2排出量も多い。天然ガスは石油や石炭に比べればCO2排出量は少ないが、日本が世界のLNG輸入量の約3割超を占める最大の輸入国であり価格も高い。石炭は石油や天然ガスよりも安く調達も安定しているが、CO2の排出量が化石燃料の中で最も大きい。水力は国産で安くCO2を出さないがこれ以上の大規模水力の開発は難しい。太陽光や風力は国産でCO2を出さないが現状ではコストが高い。地熱は国産でCO2を出さず安価であるが開発の余地が限られる。代替エネルギーを用いることは電力に多大な影響を与えることになる。震災復旧を一日でも早く行う為には原発の力が必要不可欠であると考える。代替エネルギーの検討よりもどうやって原発と付き合っていくかを検討すべきであると考える。
31860	個人	自営業	50代	男性	原発はなくすべき	多くの人から聞かれるご意見と同じだとは思いますが、原発の稼動に全面的に反対します。 世界に対して顔向けできるエネルギー政策への転換が、求められています。国有化してもいまだに東電に対しての処分の甘い事、福島原発の廃炉に向けての後手に回り続ける対処の仕方に、国民の怒りが向けられています。 海外に目を向けても、原子力全般への日本政府の問題意識の欠如に対して、ロンドンオリンピック開会式での入場行進を見てもわかるように、世界各国からの強い批判の意思表示が、日本にハッキリと向けられています。選手団が退場を強いられる事にどれだけの意味が込められているのか、しっかり感じ取っていただきたいと思います。 それは、こんな事をまだ続けるつもりなら、国際社会から孤立する事になる、という警告に他なりません。北朝鮮の核保有以上に、差し迫って危険度が高いのだとしたら、それは至極当然のメッセージです。政府は世界を敵に回してまで、原発政策をまだ推進するつもりなのでしょうか？ 福島原発の後始末は、日本だけの問題ではなく、対処しきれないものを日本の力だけで対処しようと意固地になる事で、世界に迷惑をかけているのです。 国連か、アメリカか、最善の選択がどこかにあるのならば、例え国のメンツを捨ててでも、一日も早く適切な処置をしうる機関の助けを求めるべきだと考えます。 何よりも人命が、特に被災地の子供たちの将来が、最も憂慮されます。
31861	個人	家事専業	30代	女性	原子力発電をやめて欲しい。福島の原発事故の解明。説明。放射能の汚染状況の説明。すべての調査、説明を政府、民間、さらに海外の調査機関など三者以上で行う。	政府もマスコミも信用がないので政府、マスコミとその他の三者以上で調査、報告、今後の方向を国民、世界に向けて説明する。 この際の費用は責任を取ると言った人間が支出する。 最低でもこの調査、報告が終わるまで原発は絶対に動かさない。 この際の原発施設維持費は各電力会社がもつ。 なにより、デモや話し合いをしている人達の声を聞け。 以上を述べた理由は普通に考えて異常だと思うから。
31862	個人	会社員・公務員	30代	男性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張《即原発ゼロへ。弱者の保護を優先》	大飯原発、志賀原発、敦賀原発。ほぼすべての原発直下に活断層。日本の多くの地震学者の共通見解は「巨大地震のサイクルに入った」。2年程度の計画停電も受け入れよう。ただし、病人、被介護者、子供、老人は守らなければならない。

31863	個人	会社員・公務員	40代	女性	全ての原子力発電所の即時停止。獣医師。全て速やかに廃炉にし、安全に処理、管理をする方法を緊急で模索すべき。原発の恩恵を受けていない子孫が危険な廃炉作業を行なったり廃棄物の管理だけをする事態を避けねば。	全ての原子力発電所の即時停止を求めます。 全く収束の見えない福島をみて私たちが驚くことのひとつに、放射能に対するあまりの人間の無力さです。あれほど強く安全だと言い切っていた、各研究機関や電力会社はそのことについてはダンマリです。 事故の収束の方法すら確立されていないことに国民は愕然としています。被曝をしながら黙々と現場作業しているのは、原子炉の研究者でもなく、電力会社幹部でもなく、推進派の政治家でもなく、名もなき一般の方々です。各地の電力会社は皆静かなもので、まるで関係ないかのようなふるまいです。 「この事態をなんとかできる」と名乗りを上げる企業も無いまま。 残念なことですが、今日本が学ぶべきはチェルノブイリです。 チェルノブイリの事故の20年後、80キロ地点ベラルーシで、新生児の奇形発生率は85%だそうです。2004年に米国アカデミー賞をとったドキュメンタリー作品「チェルノブイリハート」でその子供たちの悲しい映像が見られます。多くの新生児は心臓に穴状の欠損があり、その穴を持った心臓は事故後に特異的なため、チェルノブイリハートと呼ばれています。 親族全員が癌で亡くなり自らも癌を発症する青年の言葉も胸を打ちます。 ベラルーシでは食品の基準値が日本より遥かに厳しく、食器や建築材料にまで厳しい基準を設けていました。強制移住も日本より広範囲で速やかに行われました。 しかし、チェルノブイリハートが防げなかったのです。 私は現在獣医師をしています。研究室では卵子の研究をしていました。 放射線の害というのは基本的に遺伝子に集中しますので、被害は次世代が主になります。 簡単に説明すると、成長による細胞分裂が盛んな子供は傷つけられた核が更に分裂を繰り返し、ガン化する可能性が大人より遥かに高いということです。成長も新陳代謝も細胞分裂によるものです。 特に女児は注意が必要です。 女の子は生まれた時から卵巣内に一生分の卵細胞（卵子）を抱えています。卵子は単細胞ですから核は一つしか持っていません。 すでに持っている卵細胞の核が傷ついた場合も卵巣が卵子を作りなおすことはありません。（精子も単細胞ですが、精子は毎回作られ排泄されるので卵子とはかなり異なります。） 傷ついた遺伝情報を持った卵子から形成される受精卵～胎児が無事なはずがありません。ですから放射性物質が血中に入り卵子を傷つけた場合被害は次世代に及ぶことになります。 恐ろしいことにこれは20年以上経過しないとわからないことなのです。 妊娠中の母体が内部被曝した場合も、お腹の胎児が女の子だった場合その胎児の卵巣の中の卵子が傷つくことが懸念されます。 原発は事故での社会的コストを含めると恐ろしく高コストになることは間違いないでしょう。そもそも国土を失うというリスクはお金に換算できるもんなんでしょうか？天文学的な数字になりませんか？尖閣や北方領土以前に、我々は自ら福島を失ったんです。 福島を失ってなお宗教のように、コストが安い、他の原発は安全です。といい続ける電力会社の体質からも、原発の危険性が推し量られます。放射性物質など扱える企業ではないことを自ら露呈しています。皮肉ですが。 加えて、廃棄物の処理地（最終処分地）が未確定であり、処理方法が確立されていないということが私には異常に思えます。 確実なこととして、廃炉にしてから数十年冷却を要すること、その後も数万年～十万年の管理が必要なことがわかっています。これはもう正直お手上げではないでしょうか。後片付けにかかる年数の桁が人間の一生をはるかに超えることに手を出して良いのでしょうか。 今、全ての原発を止め、人類の英知を原発廃棄物の処理に集結しなくては、と思っていたところに福島の事故が起こりました。日本中大変なことになっています。今後も福島の事態が収束する可能性はきわめて低いという専門家さえいます。 再稼働などとんでもない。この数十年間、原発を稼働した罪を我々世代は償えずに死ぬかもしれないのです。さらなる罪に手を染めるなど発狂しているとしか思えません。 我々は本当に亡国の民になるのではないしょうか。国土だけでなく、民も消えてしまうのではないでしょうか。 まずはもんじゅ、プルサーマルや老朽化した原発は問題外。（余ったプルトニウムはもう仕方ありません。頑張って管理しましょう。） 全ての原発を速やかに停止、廃炉作業にとりかかり、なるべく次世代に迷惑をかけずに処理、管理をする方法を模索することが緊急課題と考えます。急がねばそれだけ次世代に押し付けることになります。原発からなんの恩恵も受けていない子孫たちが危険な廃炉作業を行なったり廃棄物の管理だけをしなくてはならない、という事態を全力で避けなければなりません。 今、世界は大きな歴史的転換期にいると言えるでしょう。利害関係者の声も大きく、皆様が難しい立場にご苦労されることは容易に想像できますが、どうかどうか責任ある立場にいるということを忘れず、将来を見据えた決断をしていただきたいと願っています。 電力不足はこの重大さに比べれば大したことではありません。3割減を皆が甘んじて受ければ良いのです。それはやみくもに原発を推進したツケとしてやむをえないことでしょう。ささやかな利なの問題です。 石炭の時代が終わったように原子力の時代が終わるのです。遅かれ早かれ世界中で原子力は終を迎えます。違いは、それが何かを失う前か後かということです。 国民は文句も言いますが、たくましいものです。必ずや新しい何かを生み出します。もう次の発展が見えて来ています。原子力利権の悪あがきが日本の発展の邪魔をしないことを切に願います。 政治は長期的スパンの損得で決断をすべきです。 私も微力ながらお手伝いの方法を考えています。 原発からの勇気ある撤退を求めます。
31864	個人	無職	20代	女性	私が望むのは「原発ゼロシナリオ」（唯一の脱原発シナリオ）です。	私が望むのは「原発ゼロシナリオ」（唯一の脱原発シナリオ）です。日本の原発の再稼働はしないでください。子供たちに健康な未来を残す為に、原発はゼロにしてください。もっと省エネルギーの取り組みを進めてください。もっと自然エネルギーを推進してください。既に破綻している核燃料サイクル温存が2と3のシナリオです。再処理の廃止を決めてください。 もう原発の時代は過ぎました。終わりました。 この世界、地球は人間だけのものではありません。原発は必要ない。原発なんていらない。生命の原点に戻ってください。命も自然も買えません。命を育かし自然を破壊する不安材料はもういらないです。国民の声を聞いて下さい。国民を不安する政治なら意味がありません。国民の願いです。 みんなの命と地球を共に守りましょう。脱原発でお願いします。
31865	個人	会社員・公務員	30代	女性	2030年までになるべく速やかに原発ゼロ、 そしてもんじゅは廃炉にしてください。 再生可能エネルギーをもっと増やしてください。	安心、安全な生活がしたいです。 子どもを安心して育てたいです。
31866	個人	無職	40代	男性	「今すぐ原発ゼロ」を求めます。	仮に福島第一原発の事故を踏まえた安全対策を実施できたとしても、 その安全対策に対する想定外の事故は起こります。 まして、地震活動期に入った日本では、尚更原発の安全性を保証できません。 さらに、使用済み核燃料の問題もあります。 原発を稼働するということは、危険な放射性廃棄物を生産するということになります。 未だに、使用済み核燃料の処理方法や最終処分場など決まっていません。 そしてその放射性廃棄物はこれから数千年、数万年の間に安全に管理しなければならず、 未来につけを残すことになります。 安心、安全、将来のために、今すぐ原発ゼロを望みます。
31867	個人	会社員・公務員	50代	男性	エネルギーの多様性確保の観点から一定の原発比率維持の下、日本が温暖化対策をリードするとともに、「雇用」と「国民生活」の維持に不可欠な持続的経済成長を可能とする新たなシナリオの提示が必要。	原発あり、なしの単純な選択ではないはず。 (1)国民の生活と雇用を守り、経済成長2%を達成するための 　最低限の電力需給量の算定 (2)温暖化対策におけるCO2削減の目標設定をどう見直し、 　今後の地球温暖化をどう考えるかの政策の検証見直しをする。 (3)原発の安全性に関する科学的、定量的評価の明確化 　活断層が地下にあっても原発は安全であることをどう保障するか。 (4)再生エネルギー活用の定量的算定と、上記(1)の電力割合の明確化 　その下で、再生エネルギーの技術革新、技術開発の積極的な道筋 　をつける必要がある。 以上の事項を詰めて、それを前提にどうするかを決める必要がある。
31868	個人	会社員・公務員	40代	男性	現在・未来のために原子力発電は急いでやめるべき。	原子力が安全に管理し切れないことがもう明らかになっている。経済的なダメージとか心配ではあるが、安全を無視して、豊かな生活は有り得ない。ネガティブでなく、ポジティブに原発に依存しないようにしていくべきである。
31869	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発依存度は「ゼロシナリオ」が当然です。	先般、福島県南相馬市を視察する機会がありました。日中のみ立ち入れる20キロ圏内のある地区では、「津波による被害は何とかなるかもしれないが、放射能汚染はどうにもならない。」という状況です。昨年の震災以降いまだにがれき処理の手が付けられていない町並みや住むことができない住宅等をみました。結局のところ「放射能を制御できない」現在の技術を容認する政府の姿勢は無責任です。早急に「原発ゼロ」にすべきです。
31870	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロシナリオを望みます	以下の理由から原発ゼロシナリオを望みます ・生活と経済の基盤を根本から壊すリスクを内包している ・廃棄物処理の問題 ・人間だけではなく、自然や動物の権利を著しく損ねる可能性がある
31871	個人	その他	60代	男性	現在すでに莫大な放射性廃棄物がある、できるかぎり早く原発をなくすべきであるから、まず、原発をゼロにするということを政府は宣言すべきである。	昨年以来、これまでの経験によって原発のない生活が可能であることがわかっている
31872	個人	パート・アルバイト	40代	女性	福島の被災者が満足できる補償が出来ない以上、原発を再稼動すべきではない。	原発に事故がおこれば、非常事態になることは簡単に予想がつき、 対策は万全に期するべきで、どれだけ万全を期しても、想定外の事態が起こる可能性があってもおかしくないのに、「周辺住民の反感をあおる」と対策を講じることすら、タブー視してきた企業。 そんななか、福島が犠牲になり、現状があぶりだされた。 そして福島の被害者に十分な補償ができず、対策の検討をしただけで、再稼動するような政府。 その人たちが、「原発が必要」といっても、国民の意見を代表しているとは思えません。（企業の代弁？） それでなくても、日本は唯一の被はく国。放射能にはもっと過敏であるべきだと思います。 原発を停止していくこと。 それが、放射能被害者を増やさない唯一の方法だと考えます。
31873	個人	会社員・公務員	60代	男性	原子力発電は現時点では必要な電力エネルギーであり安定供給には 欠かせません。原発停止は大反対！！	私は、未来においての電力エネルギーは、ソーラーパネル、メタンハイドレード等の採掘技術の開発や技術進化によって将来原子力に変わるエネルギーが開発されることを感じております。ただ、現時点においては、ソーラー発電は誰でも知ってるように、原発から比べれば、比較にならないコスト高はわかっている。原発停止は、コストの増加と、無理な節電対策によって、熱中症で倒れたり亡くなられる方の増加が懸念されます。これは国家政策の誤りであると思います。ましてや、消費税増税になれば電気代の大幅アップになり、中小企業等の経営にも影響し、また、日本の国際競争力を削ぐものと思います。 国家は、単純な議論をさせるのではなく、原発を稼働させながら、未来の新エネルギー開発に投資する必要があるのではないでしょうか。技術置換することも同時に考える必要があります。
31874	個人	会社員・公務員	40代	女性	(1)ゼロシナリオを希望。	原子力発電所はひとたび事故を起こせば、国土を失い、多くの避難民を出し、日本の産業に壊滅的影響を与えます。子どもの将来にわたる健康被害も心配なくてはなりません。すなわち、地震の多い日本で原発を動かすことは、リスクが大きすぎる賭けだと思います。 　しかも、原発は運良く事故を起こさなくても、核燃料廃棄物の保管や処理に莫大な時間と費用を要し、次世代の子どもたちに多大な不良債権を残すことになります。そもそも原発における労働には、被ばくの危険が常に付きまとっていることもわかりました。 　私は、誰かを被ばくさせたり、未来の子どもたちにこれ以上の負の遺産を残してまで、原発で作った電気を使いたくはありません。以上の理由より、すべての原発を速やかに廃炉にすることを強く希望します。
31875	個人	法人等	50代	男性	原発を即時停止して廃炉に！地方でエネルギーも食料も自給する。大都市に住む人は地方に移り住んで、自然と共生した生活を！	どうしても原発を動かしたい人へ 　電力使用量に応じて、放射性廃棄物を引き取ってください．これまで原子力政策を推進してきた国会、経産省、東電をはじめ電力会社本店に放射性廃棄物を保管することを要求します． 廃炉にした原発と六ヶ所村を子どもと大人の修学旅行コースに 　これから10万年もの間、プルトニウムを保管することを我々の子孫に押しつける行為の愚かさを決して忘れないために、廃炉にした原発と六ヶ所村をすべての市民の見学コースにする子を要求します．
31876	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原発を0%とし、再生可能エネルギーへの大胆な転換と地域分散型の発電を行い、かつ省エネ政策の強化も併せた2020年温室効果ガス25%削減や経済発展・雇用増加も計った大胆な政策を立案することを要求する。	原発事故は被災住民を始め多くの人々の健康等を根こそぎ奪っている。1年を経過しても未だ悲惨なニュースが絶えない。しかし、2010年現在の原子力発電が26%として掲示され、2011年の福島原発事故後に福島第1・第2原発・女川原発・浜岡原発などが当分の間稼働せず、40年以上たった原子炉を廃止するという前提とした場合に、15%シナリオでさえも原発の建設に向かうシナリオであると考えられることから、原発事故の教訓は生かされてないように感じる。原発が安全であるという大前提が大きく揺らいだ今、憲法に基づき人権を守る為に原発を再稼働せずに0%にすることを求める。 また、コスト等検証委員会の「原子力発電は、相当程度の社会的費用があり、中長期的には火力発電、再生可能エネルギー発電との価格差は今までの常識よりもかなり近接する」との報告から考えれば、中長期的には国民の負担は変えずにゼロシナリオは可能だと考える。 地球温暖化対策においてでも、原発はウランを濃縮する過程などで多量のCO2を出し、また、発生させた電力の3分の2は毎秒70トンもの海水を引き込んでは捨て、海水の温度を7℃あげている。原発はクリーンエネルギーとはとても言えない。エネルギー多消費の社会構造を改め、発電ロス・産業・運輸・業務・家庭の全ての分野ごとに省エネ目標を明示し、省エネ技術の開発促進などの省エネルギー政策の強化を行い、脱原発と2020年温室効果ガス削減25%を求める。 さらに、地域分散型で、太陽光・風力・バイオマス・地熱・水力などだけで発電する100%再生エネルギーも視野に入れた大胆な政策転換が不可欠であると考える。その過渡期においても、石炭からCO2排出の少ない天然ガスへ燃料シフトするなど、100%再生エネルギーへの道筋を示すことも求める。 最後に、以上の取り組みを行い、かつ、雇用の増加や経済の発展を行い、2020年温室効果ガス削減25%が可能なシナリオとすることを求める。

31877	個人	自営業	30代	男性	原発により発電力や原子力・核技術の維持が可能かもしれないが、核のゴミや災害、テロで原発が破壊された際の問題を考えると早く原発をやめ自然エネへの転換を図るべき。福島原発事故被害者の声を国は第一に聞くべき	科学の力が、原子力の平和利用を実現すると政府は言ってき?た。しかし、科学は、核を抑えられず、福島原発は事故を起こしてしまった。日本は、放射能を世界中にばらまいた。 いまだに、福島の原発事故は終息していない。まだ?避難している多くの方がいて、除染は進まず、賠償問題も解決して?いない。先祖代々暮らしてきた大切な土地を失い、地に足を付けた仕事を失い、家を失い、家族を失い、生き残った家族はばらばらになった。避難の途中で、あるいは避難先で命を落とした人も大勢いる。絶望の果てに、焼身自殺や首つりなどで自死を遂げた人たちもいる。 政府は苦しんでいる国民のことを第一に考えるべきなの?に、経済界の要望を最優先して大飯原発を再稼働させた。 野田政権は、「命より金」を選択した。 原発事故の原因も解明されていない中、原発を再稼働するのは、?事故を起こした車をそのまま走らせるようなものだ。 今、原発を再稼働して、核のゴミはまた増え始めている。 人類は、この核のゴミを、100万年も管理していかなければな?らない。 政府は、胸を張って次世代にバトンタッチできるような国造りに汗を流してきたか？ 国民の多くは、政府が生活者の代弁者であるとも思わなくなってしまったし、国民の信託を受けているという自覚を持っているとも思わなくなってしまった。 生活者のために奉仕する覚悟のない公務員には、即刻辞めてもらいたい。たとえ薄給でも、国のため、生活者のために公務員になりたい志高い国民は、代わりに大勢いる。 国民の多数が求めているように、政府は原発をやめ、自然エネルギーへの転換を図るべきだ。
31878	個人	パート・アルバイト	30代	女性	私は「(1)ゼロシナリオ」を選択する。クリーンエネルギー開発を早急に進め、温暖化にもきちんと対応できるよう望む。また、日本の力を信じて「2030年までに」よりも、より早い段階の移行を切に願っている。	私は「(1)ゼロシナリオ」を選択します。 どのシナリオも原発依存を低減しようとしていること、クリーンエネルギーに向けてシフトチェンジをしていることは理解できますが、日本の持てる力を投じて早期に自然エネルギーにシフトし未来の子どもたちを安心させたいと考えます。 理由は以下の3点です。 (1)地震による原発事故の可能性が否定できないこと。 (2)原子力という人間の手に負えないものを完全にコントロールはできないこと。 (3)未来の子どもたちに、安全な暮らしを保証する責任ある選択をしなければならないこと。 以上の理由から、(1)ゼロシナリオを選択致します。 しかし、2点、意見を申し上げます。 (1)ゼロシナリオかつ温暖化対策をお願いします。 ゼロシナリオでは火力発電等が減らないため温暖化対策CO2減少にはなりません。日本の、日本人の力の総力を投じれば、クリーンエネルギーへの移行にかかるコストを危惧することなく、早期にクリーンエネルギー・自然エネルギーに移行できると思います。 (2)国の様々な費用を活用して、コスト面の対策をお願いします。 ゼロシナリオに出てくる「経済的に負担をおってでも」という言葉。日本の家庭・企業の現状を見て、コスト面のことを言われると、正直つらいです。国をリードしていかねばならない方々にとっては大変でしょうが、何とか国民への負担を少なくしてシフトチェンジしてもらいたいと考えます。 よろしくお願いいたします。
31879	個人	パート・アルバイト	60代	女性	原子力発電はできるだけ速やかに0にしてください。ゴミ処理ができない企業をこれ以上放置しないでください。 トイレのない家には、人間はすめません。原発のトイレがない以上、原発は0にして下さい。	最後のゴミ処理までをきちんとできない原発に頼るのは間違ってます。どんな分野でも、厳しいゴミ処理の条件をクリヤーして、企業は物をつくります。 自分が出すゴミの処理すら決まってない、できてない企業なんてあり得ません。 日本にある40基もの原発がすべて停まっていた時でも、停電すらおきませんでした。なくてもいけると言う事です。 震度5以上の地震が、年間に何百回もある日本と、何十年で数度しかないフランスで同じ物を動かしていいわけはありません。 地震国日本・・・と思っていましたが、こんなに圧倒的に違うなんて初めて知りました。福島と同じ事がもう一度起こったら、日本はもう立ち直れません。 すむ所がありません。 日本人の命を最優先にした政策を立ててください。
31880	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発依存度は減らすのではなく、無くすことを目標にしてほしい。	原発依存度は減らすのではなく、無くすことを目標にしてほしい。地震列島に原発がある危険性は十分に証明された。このうえ議論の種とすべきは、いかにして原発を無くすかの一点だ。
31881	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発ゼロシナリオを提案します。	「原発ゼロシナリオ」を提案します。 【理由】 1)安全性が確認されていないため 福島原発の事故が未だ収束していない中、終息させるための技術を持っていないという事実。 まずは、福島原発の事故を収束させ、この事故によって被害を受けた土地と人々の復興のために力を尽くすべきではないでしょうか。 「事故が起きない」ことと「事故が起きたとしても対処できる」という確証が持てなければ、本当の安全性が確認できるとは言えないでしょう。 2)原子力関連事業、政策の不透明さ 原子力事業、政策はほたして日本国民のためになるのでしょうか。そして、日本のためになるのでしょうか。さらには、日本が世界に貢献出来ることになるのでしょうか。 その点が明らかにされていません。 お金を生み出すことを目的とした事業・政策であれば必要はありません。 そして、高速増殖炉の役割が未だ見いだせない状態であれば、原発を導入した最初の核燃料サイクルは永遠に回すことが出来ない。いつかどこかで破綻することがわかっています。 以上の理由により、私は原発ゼロシナリオを希望します。 【提案】 ・ドイツに見習い、脱原子力政策を推進することを提案します。 限りある国土ではあるが、国や企業は消費電力を抑える技術・工夫を見出して、新しい生活スタイルへ変化していくことで、新しい経済を回すことができます。 この歯止めの利かない資本主義社会の中、日本こそいち早く抜け出して、新しい経済活動を提案し、世界のリーダーシップをとっていくことは可能だと思います。
31882	個人	自営業	50代	男性	原発は0%を支持します。	原発は0%を支持します。原発事故の際のあの絶望感は2度と味わいたくありません。そもそもコントロール出来ないエネルギーを使うこと自体ばかげています。ほかの燃料で事故があったとしても多くの犠牲は1時的なのもです。 原発は時間的にも長期にわたり影響されます。 他の代替エネルギーがないといいますが今まで原発に使ったコストをすべてそちらに使えばいいと思います。原発ムラの住人がすべて非原発ムラに移ってそこでお金を稼いでもいいです。認めます。 いざという有事の時の核の抑止力になるという意見もありますが実際核防衛に配備できることなど実験もせず実際に作る時のヒューマンエラー等を考えると不可能です。それより米国、その他から核を売ってもらう約束をするほうのがはるかに抑止力になります。 原発事故が発生したとき日本のすべての技術を集まられるシステムもなくコントロールできる組織もない原発には断固反対いたします。
31883	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	資源の確保や環境の保護などの制約がますます厳しくなる中で、島国である日本が経済・社会を維持していくためには多様なエネルギー技術の開発が必要。原子力も有力な技術オプションであり、維持することが重要。	（将来世代のためのエネルギー技術への挑戦） ・日本は極東に位置する狭小な島国であり、国内資源に乏しくエネルギー自給率が非常に低いという特殊性があります。（2010年において水力と再生可能エネルギーが7%、準国産といわれる原子力が11%）このような国が目覚しい発展を遂げた原動力は優れた人的資源と技術でした。 ・エネルギー総合工学研究所は、「エネルギーの未来を拓くのは技術である」という認識の下、さまざまなエネルギー技術を総合的に組み合わせることによって資源制約や環境制約を乗り越えるべく、エネルギー分野の幅広い技術戦略マップを取りまとめてきました。 ・今回のエネルギー・環境に関する三つの選択肢は、いずれも再生可能エネルギーの利用拡大や省エネルギーの一層の推進を目指しております。これらは全力を挙げて取り組むべき課題であることはいうまでもありませんが、加えて多様なエネルギー技術の開発も進めていくべきであると考えます。 （リスクへの対応） ・当研究所においては、東日本大震災後、「東日本大震災を踏まえたエネルギー需給構造のあり方」について、2050年を見通した検討をしています。昨年10月に中間的な取りまとめを行うとともに、現在も更なる検討を進めているところですが、これまでに、明らかとなった点は、以下のとおりです。 >エネルギー需給構造のあり方を考える上では、まず、想定すべきリスクを整理する必要があります。災害対応や原子力事故のリスクへの対応に加え、日本が資源の乏しい島国である以上、化石燃料の供給途絶や輸入燃料の価格高騰もエネルギーシステム上の主要なリスクであるという状況は変わっていないと認識しております。また、再生可能エネルギーや省エネルギーに関しては、技術開発への高い期待を込めつつも、技術の開発・利用・展開が計画通りに進まない可能性、そしてその場合の備えについては常に留意しておく必要があります。 >再生可能エネルギーの導入と省エネルギーの推進は、化石燃料依存度低減や二酸化炭素排出削減に寄与するだけではなく、地域分散型という災害等発生時のリスクの低減も期待でき、大いに推進すべき重要な技術です。しかし、再生可能エネルギーを、原子力の代替となるようなレベルで普及させる場合、電力系統の大規模な増強や蓄電技術の大規模普及が必要となり、経済面だけではなく、技術的にも課題があります。 >原子力については、化石燃料使用量低減及び二酸化炭素排出量削減の観点から有力な技術であり、脱原子力から原子力の利用拡大まで幅広い分析を行いました。種々のエネルギーリスクを想定してシナリオ分析を行った結果、「再生可能エネルギーの技術開発が期待通りに進まない中で厳しい環境制約を履行する」場合など、原子力利用が必要となるシナリオもあるということが示されました。 >原子力発電所の立地には長い年月を必要とすることに加え、発電所として長期間稼動することを考えると、非常に長いスパンでの原子力の位置づけを考える必要があります。2030年以降も原子力発電のオプションは重要であり、そのための技術的な基盤を整備しておくことが必要となります。当研究所においては、かねてから、シビアアクシデント対策なども念頭に入れた「次世代軽水炉」の開発などを進めてきました。このような技術開発を継続し、常に安全性の向上を追及するための技術開発を維持することが大事です。 （選択肢について） ・今回の選択肢は、原子力依存度が焦点となっています。しかしながら、エネルギーを取り巻く状況は複雑・多様であり、選択すべきものは原子力を含む電源比率だけではないと考えます。想定している各種エネルギーの技術（LNG、石炭などの火力、原子力、新エネルギー、省エネルギー、再生可能エネルギーなど）の開発動向とそのロードマップや、導入に伴う国民負担や産業構造変化の影響等も含めた議論が必要だと考えます。 ・また、エネルギー源によっては、長期間のリードタイムが必要であり、一旦作られた設備が数十年稼動することを念頭に入れると長期的取り組みが不可欠であり、2030年だけではなく、より長期を見通すような視点が必要です。
31884	個人	その他	40代	女性	ゼロシナリオの選択。 原発は安全ではなく、また現在のエネルギー使用状況には無駄な部分もあり、エネルギーの使用を減らすことが可能だから。そもそも、日本が成長する必要があるのか。	ゼロシナリオを選択すべきである。 なぜなら、原発の安全性は確保することが困難であり、これ以上処分できない核のゴミを作る必要はないからである。 また、エネルギーの無駄な使用を減らすことは可能だからである。 この意見聴取の前提に、「持続的に成長する」旨記されているが、日本が安定して存続することは必須なことであるが、果して「成長する」ことは必須なのであろうか。また、「成長」とは何を指すのであろうか。経済的な成長であろうか。人口が減少していくというのに、むやみに成長を求める必要があるのであろうか。成熟を目指すなら納得できるが、成長には納得できない。 この夏の猛暑も耐え難いものがあるが、それを増長しているのは無駄なエネルギーではないのか。例えば、やたらと目につく自販機は近づくとその熱気に閉口させられる。店の旁らにある自販機には何の意味があるのだろうか。飲料水は店で買えばすむ。正確な数値は忘れたが、過去に比べて夏の平均気温は3度上昇し、そのうち2度がヒートアイランドによるものだと聞いたことがある。気温を上昇されている要因、無駄なエネルギーの使用をなくすことが必要である。 熱中症を防ぐには冷房を入れることも必要かもしれないが、その冷房にも節電という点以外に改良が必要な点はある。冷房の欠点は、冷気が下にたまることである。冷気が下にたまるのは自然現象であるから仕方がないと諦めずに、何か新たな設備を発明することはできないのか。主観だが女性の方が冷気に弱く、職場等では足が冷え切ってしまい、外に出るとそこまで冷えた体が溶けるようで心地よく思えるほどである。なぜ人工的な現象で体調を崩されなければならないのか。 日本の経済や技術の発展について言うならば、節電商品に加えて、エネルギーを使わない、もしくは少量しか使わない商品を新たに生みだしていけばいいのではないか。
31885	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオを選択するべきだと思う。原子力発電は、安全面での問題はもちろんのこと、経済性についても合理的なものとはいえない。	ゼロシナリオを選択するべきだと思う。原子力発電は、安全面での問題はもちろんのこと、経済性についても合理的なものとはいえない。自然エネルギー（再生可能エネルギー）分野での技術開発と市場育成によって、日本の国際的存在感を高める必要があると思う。
31886	個人	会社員・公務員	50代	男性	原発運転絶対反対	福島第一原発事故と同じことが二度と起こらないように、原発依存から脱却し自然に依存したエネルギー政策に転換することをもとめます。
31887	個人	自営業	70代	女性	2030年までに原発比率をゼロパーセントにするようもとめます。	以下は「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見です。 2030年までに原発比率をゼロパーセントにするようもとめます。 できるだけ早く、全基廃炉にするよう希望します。
31888	個人	その他	40代	女性	できるだけ早期に原発を廃止してください。国民個人個人も省エネの努力をいたします。国としても、安全で再生可能なエネルギーの開発に力を注いでいただきたいです。	福島第一の原発事故によって、原発のしくみやそれをとりまく政治的な動きがあることを初めて知りました。今まであまりにも無自覚に電気を使用していたことを反省します。 今回の事故によって、幼い子どもたちに安全な食べ物を手に入れて、与えることに非常に苦労しております。好きなおやつもあげられません。外でのびのびと遊ばせる事もできません。放射能を気にかけながらの生活を強いられ、非常なストレスです。 避難によって家族が引き裂かれたり、よりどころとなる故郷を失うことも、ひとりひとりの人生にとっては、ものすごい苦しみです。 それだけではなく、今後の遠い将来にわたるまで、人類や環境、地球全体に非常なダメージを残します。しかも、原発はコストがかからないものではまったくないことがはっきりしました。 コストはかかる、安全ではない、気が遠くなるほどの長期にわたる核廃物の処理も不十分、燃料としての効率もよくない。 なのに、なぜ国は原発を維持したがるのでしょうか。 事故を起こしていないドイツが原発をやめる選択をしてもなお、日本はどうしてやめられないのでしょうか。 政治家や電力会社、原発のある地域その他原発をとりまく人々の利権と、核開発の可能性を持っていたいから。それだけの理由で、国民のいのちや生活をふみにじってもよいものでしょうか。 事故から謙虚に賢明に学び、国民の将来が安心で明るく思えるような選択をしてください。 私たちもそのための努力ならば惜しみません。

31889	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	今後エネルギー逼迫が予想される中、各シナリオを2030年に実現し、我々が必要な安定かつ安価なエネルギーを確保することは不可能である。よって、安全性を強固なものにした上で原子力を推進して行くべきである。	エネルギー・環境に関する選択肢に対する意見 社団法人　日本鋳造協会 今後も人口が増加する世界の中で、エネルギー施策を前提として「エネルギー・環境に関する選択肢」に関して、日本のとるべき道を考察する。 2050年には世界の人口が90億人に達すると見込まれることから、エネルギー、食糧と水が逼迫することが予想される。その中で、エネルギー・環境会議が3シナリオ提示にあたって大前提とした「省エネルギーの推進・原発依存度を下げ・化石燃料依存度を下げ・再生可能エネルギーを最大限引き上げ・CO2排出量を削減する」を2030年に実現しつつ、我々が必要とするエネルギーを確保することは不可能である。従って、原発依存度を下げるのでなく、むしろ原子力を推進して行くべきであるとの基本姿勢により、全ての事を推進する必要があると考える。 1.基本方針 　電力多消費型産業として、かつモノづくりの中核を形成する鋳造業が、我が国を代表する自動車産業等の製造業のグローバル競争に貢献できる鋳物製品を継続的に供給していくためには、安価で安定的な電力が供給されることが不可欠である。 2.2030年における3つのシナリオに対して （エネルギー・環境に関する選択肢[概要]P.6） 　当協会の基本方針である、安価で安定的な電力確保の実現には、シナリオ以上に原子力比率を30～40%にすべきである。その為には、如何にして安全な原発にするかを検討すべきである。 ・「ゼロシナリオ」の再生可能エネルギー比率の35%の実現は可能であるのか疑問である。仮に、35%が可能であれば、他の2シナリオの割合を25～30%に減らす理由が不明である。その理由が将来のエネルギーがタイであるならば、35%固執すべきである。 　再生可能エネルギーの発電機器の費用対効果は悪い。加えて、耐用年数が不確定であり、機器の信頼性も確約されていない。 ・3シナリオとも最終エネルギー消費が、現在の3.9億kLより2030年には3.0～3.1億kLと減少しているが、政府の成長戦略（2010年のGDP対比2030年に20%UPさせる計画）にもとづく経済成長を考慮すると矛盾する。 ・温室効果ガス排出量は1990年比23～25%減となっているが、火力の構成割合が最低である20～25シナリオでも50%となっており、無理な設定となっている。 ・3シナリオとも希望的、楽観的な前提に基づいており、実現性に乏しく、将来の日本のエネルギー確保が絶望的になる。 ・3シナリオとも発電電力量を2010年対比約10%減としているが、政府の目指す経済成長を考えるとかなり困難と考える。如何に達成するかの計画を示すべきである。 3.原子力の安全確保のため、核燃料リサイクル政策を前倒しして重点的に早急に実行すべきである。（エネルギー・環境に関する選択肢[概要]P.11） 4.「発電コスト一覧」より、普及のためとはいえ太陽光発電は、現状費用対効果が悪過ぎ、コスト負担に与える影響が大きいことから再考すべきである。 　また、原子力の設備利用率の設定についての詳細を明示すべきである。 （エネルギー・環境に関する選択肢[概要]P.14） 5.クリーンエネルギーの政策イメージ(1)(2)については、実現可能性とそのための具体的手段と実行計画を示すべきである。 （エネルギー・環境に関する選択肢[概要]P.17、18） ○おわりに 日本経済、安定した国民の生活を確保するためのエネルギー政策は、当協会の基本方針「安価で安定的な電力が供給されること」である。その為には、安全を前提とした原発の利用を前向きに取り組むシナリオが、日本が進む現実的な道である。 燃料サイクルの問題、安全性向上の問題、新設原発建設の問題を国家の最重要課題として取り組むべきである。 以　上
31890	個人	自営業	30代	女性	原子力発電所、ゼロの未来を今すぐ。希望します。	私たちには必要が無いからです。リスクに対してもたらされる恵もありません。 電気は他の方法で作ったものを使います。第一、今の生活は必要位上に電力を無駄遣いしています。それを見直し、使う電気を選びます。
31891	個人	その他	40代	女性	3案のうちゼロシナリオを求めます。省エネや自然エネルギーを導入強化し、天然ガスの利用を推進し、放射能のゴミを増やさないよう原発は全廃すべきです。	子どもたちの未来を脅かすような原子力発電を未来に残したくありません。また、世界に与える環境への影響を考えて原子力依存をやめていかなければなりません。日本には自然エネルギーのポテンシャルがあふれています。国民の英知が結集され、必ずや安定供給が実現するはずです。雇用を地域に産み出しながら、地域の中で自然エネルギーの創出を応援していける国の制度を望みます。
31892	個人	その他	70代	男性	選択肢3（20~25%）を支持します。 原子力・エネルギー政策は国家の最重要事項だからもっと時間をかけて冷静にじっくり勉強してから決めるべきだ。どうしても今決めるのなら選択肢3しかない。	日本は自国で必要とする電気エネルギーの95%を外国から輸入するエネルギー資源（石油、石炭、LNG、ウラン）に依存している。開発可能な水力発電所敵地は、ほぼ開発済の状態であり、これから国立公園を含む地域に、地熱、風力、太陽光、による発電所の建設が認められたと仮定しても、現在の原子力発電所（ウラン）が占める電力を供給することは不可能であることは自明である。 よって、原子力技術のレベルを更に向上させることにより、原子力発電所からの電力供給を最低でも20～25%を維持する必要がある。 原子力発電のシェアーを下げることは、国民が今よりも何割も高い電力料金を支払うことを納得して初めて実行すべきである。
31893	個人	家事専業	30代	女性	即時原発を廃炉にし、ガス火力発電に変えてほしい。	福島の原発事故で、原発は人間には扱いきれず、いずれは人類を滅亡させるものだと分かった為。
31894	個人	法人等	50代	女性	原発は2030年までにゼロとし、省エネと自然エネルギーの導入を3つの選択肢にあるより高くし、地球温暖化への対策を強化するべきと考えます。	原発は2030年までの早い時期にゼロとすべきです。 ただ、選択肢にあるように、省エネ10%、自然エネルギー導入35%、地球温暖化対策も2030年に最大-25%と、1990年比で2020年-25%目標を先送りしている点で、不十分と考えます。まずは省エネを大幅に断行し、需要そのものを減らして、原発に頼らず、自然エネルギーの割合を増やす政策を実行してください。そうすれば温暖化対策も強化できると考えます。 原発をゼロにする理由は、たくさんありますが、一番は、核燃料のリサイクル技術も安全な処理方法もないからです。原発が稼働している限り、核のゴミは増え続け、労働者の被爆はなくならないからです。倫理的に、犠牲者に支えられたエネルギーはあってはならないものと考えます。 しかも電気を作るなら、他の方法がすでにたくさんあります。しかし、石炭火力をがんがん燃やすとCO2排出量が増大してしまいます。自然エネルギーは、CO2の排出も低く、今後は導入量を増やすことを目指して、あらゆる企業も政府も知恵を絞るべきと考えます。 ただ自然エネルギーの大幅導入には時間が必要です。そこで、まずは大幅なエネルギー消費量の削減です。今、産業部門でも業務部門でも熱を無駄に捨てています。 ドイツのように、もっと効率よい仕組みを導入すれば、今すぐにでも原発に頼らず必要な電気を得ることはできるのではないでしょうか。富士通総研の梶山恵司さんは、きめ細かい政策で可能と指摘しています（http://jp.fujitsu.com/group/fri/report/research/2011/report-380.html）。 エネルギー安全保障の面からも、経済の面からも、他国のウランに頼るのは、化石燃料に頼るのと同じように、負担が続くことになります。日本がエネルギーで独立するには、自然エネルギーを活用するしかないと思います。そのためには何が必要か、どうすればいいか、研究者も産業界も行政も政府も協力して知恵を絞るべきです。
31895	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発はいりません。	原発はいりません。まずは原発の無い社会を目指して、国民全員で知恵を絞っていくべきだと思います。
31896	個人	無職	60代	男性	エネルギー・環境に関する選択肢　に対する意見 30年の原発比率は0%を支持。 残る18年間の計画到達点を2年毎に区切って明示すべき。 経済的影響　多少あるが西独に倣って原発0%方向を決める。	日本国の子孫に安全安心の大地を残すことは絶対ゆずれない使命です。 原発0%目標達成には国家レベルの節電徹底化・蓄電機器普及・地熱利用 の強力な推進・潮流発電などの新発電推進・全国電力基幹直流送電具体化 を行う。 なお高品位な電気エネルギーを低品位な熱エネルギーに変換して使う事 がないように、代替え技術・商品の開発を推進して下さい。当然CO発生 のないクリーンな環境を維持出来るものでなければならない。 開発方向として国産原材料による家庭用の実現を期待している。
31897	個人	会社員・公務員	20代	男性	原発の比率は0%にしてください。世の中に絶対安全なものは何一つありません。原発を扱うのは国としても人類としてもリスクが高すぎます。 少人数の利益とひきかえに全国民の命を脅かすのはやめてください。	核兵器は世界中で軍縮されているのになんで原発は別なんですか？ 用途が違うだけで危険性は同一です！ 核を安全に使うのは今の技術では不可能です、それなのにとりあえずの安全性・有効面を重視して今の原発問題が発生しています。 広島・長崎で原爆の被害を体験した日本が、核の怖さを一番わかっているはずの日本人が・・・ 戦後の先人達は二度と放射能による被害を出さないで欲しいといっています。 みんなが安全に暮らす道を全国民で考えましょう。
31898	個人	会社員・公務員	70代	男性	2030年には原発依存は0にすべきです。いくつものプレートの上にあり地震の巣である日本列島で原発はするべきでなかった。また放射能廃棄物の処理も子孫に付けを回すべきでない。	2030年にはエネルギーの原発依存を0にすべきである 今回の事故により原発の安全性はなくなった。事故が起これば不の対処がいか に難しいものであるか 我々は今まで安全神話の元に原発は絶対安全なものと信じきってきたが 今回根底から覆された よく考えてみればいくつかのプレートの上にある日本列島で大地震のリスクがある中、どんな活断層があるのか完全な解明がなされない中、一どんな地震が起こりうるか完全な解明は不可能である―原発を採用したのが誤りである。 また廃棄物の処理方法も確定していないのに、今の安楽な生活、過剰な消費生活を楽しむために　子孫に放射能廃棄物を残すような原発依存には反対である 脱原発の方針を明確にすれば我々日本人は必ず新エネルギーのみちがひらく そこに世界に先駆けてビジネスチャンスが出てくる　これこそ日本人がすべき世界貢献である
31899	個人	会社員・公務員	50代	女性	福島第一原発事故がまだ収束しておりません。 エネルギー政策に対しては、原発抜きで考えたらいかがでしょうか。	日本ほど電力消費の多い国はないと思います。 他国に行けば夜はもっと暗いし、24時間営業している店もこんなに多くないはずです。もっと自然に返り人間らしい生活が私達には必要だと思います。 日本人はエネルギーの使いすぎです。
31900	個人	会社員・公務員	30代	女性	脱原発　ゼロシナリオを支持致します。 今からすべての原発の廃炉を決めて、今から行動していっても私達大人が生きている間にすべての廃炉は間に合わないかもしれない。今、ゼロシナリオを決定すべきです。	私は、エネルギー・環境に関する選択肢として、原発ゼロシナリオを支持致します。 今も尚福島原発の収束はしておらず、 原発から避難している方が多い大熊町・浪江町・それにもう人が住めなくなってしまった飯館村の方々を初め 近隣都市の福島市・郡山市などにも未だ多くの人々が不安を抱えたまま暮らしています。 福島原発4号機は、いつ爆発するか、崩壊するのか予断を許さない爆弾のようなものであるという報告があります。 つまり、全く収束していないのです。 その中でこの狭い国で、他の原発を稼働するということ自体が考えられません。 世界から見たら恥ずかしいことではないのでしょうか？ 今も遠げ仿徨ラ福島県民達の保障問題においても、一時的に東電から数十万円程度支給されたところで、具体的には何の解決にもなっていません。 健康を守る仕組みさえもっきりと提示もされず、逃げた人へだけ逃げる。 情報も開示してくれないものだから危険であることを知らない人は知らないまま、などという状況があって良いのでしょうか？このパブリックコメントの募集にしても十分な情報がない中、未だ何も知らずに原発推進などと言っている人がいる中で行うことが危険であると言いたいです。怖さを知らないから原発はまだ必要だ、などと言えるのです。 この国では放射能の危険性についての教育さえもされてこなかったと 思います。 もう福島の除染作業は人間の手に負えないものになってしまいました。 放射性廃棄物の処理方法や場所を考えることでさえ精一杯なはずです。 今既に作ってしまった原発を廃炉にするだけでも もう私達大人が生きている間にその作業が完了することは難しい。 今ゼロと決めて他の自然・火力エネルギーへシフトしていくべきです。
31901	個人	無職	60代	男性	福島の事故は、原発の安全という根拠が崩れた、これだけの経済損失と、人生を狂わせた責任の所在をはっきりさせる必要がある。悪意のある国や、テロリストの原発攻撃にどう対策するのかも緊急課題である。	福島の被害の所在と責任をはっきりさせ、そのうえで原発の再開の重みと、もんじゅで事故を起こした時のナトリュームの冷却方法さえない欠陥試験設備は早々に廃炉とする必要がある。燃料プールが外部からの携帯ロケット弾で攻撃されても危ないし、プール配管が破壊されたら燃料の自壊が起きることをさらしてしまった。悪意ある国やテロリストは貿易センタービルを例にせずとも、簡単に空から侵入し、破壊工作を行えるだろう。福島のプールは標的となっている可能性があるし、日本海側原発は新入破壊工作に無力ではないか。森本大臣に尋ねたい。50か所以上の原発にその対策はなされているのか、もんじゅが攻撃されたら関西の被害はどうなるのか。福島の県民は安全であると言われるままに原発を許容してきた。危険についてマスコミ、役人、政治家、電力は国民に知らしめない又は安全神話を教育してきた。事故を起こした以上これらに関与したひとは福島に行き、除染作業に従事するべきである。それができぬならその損害を給与天引きで補てんするべきである。自衛隊のかたは事故後献身的に作業された。本来作業するべきは安全を吹聴した役人、組織、マスコミ、政治家、電力である。今後の除染作業は彼等を充てて頂きたい。そしてそれでも原子量を推進するなら、テロ、地震、津波に万全の対策をとった後出なければならない。100歩譲り、一部再開した原発は不足電力の補てんにとどめるべきであり、安全対策がなされないままに稼働することはしてはならない。多くの危険が原発にあることを今回の福島事故はおしえてくれた。しかも現在その危険は拡大している。処分できない廃棄物を殖やし、テロの格好の標的となることを覚悟しなければならない。
31902	個人	会社員・公務員	20代	女性	再稼働反対です。再稼働には、放射線がもれても人体に影響がなく自然に戻すことができるようになってから、にしてください。原子力に注ぐ投資を再生エネルギーなどへの研究や実施に使ってほしいです。	原子力発電は重大災害にはどんな対策をしようと耐えられると思いません。廃棄物の処理を地中に埋めるしかないということもコントロールできてない証拠です。大規模な施設などは自家発電が進められているはずです。節電対応もたくさんの会社で自ら施工推進してきました。節電に耐える方向で進めてください。
31903	個人	自営業	50代	男性	一刻も早く全ての原子力発電所を廃炉にしてほしい。	飛散してしまった放射性物質によって私は日々の不安にさらされています。 事故後の情報操作にも呆れています。 これ以上放射性物質をまき散らさないで下さい。 もはや事故がおこらない保証をするということはありえません。 健康に生きる権利が脅かされています。
31904	個人	パート・アルバイト	40代	女性	大飯原発再稼働反対！　脱原発望む。	昨年の具福島第一原発事故が未だ、収束されず、問題解決もされていない。そしていつまたあの東日本大震災のような地震がきてもおかしくない状況で　原発を推進する意味が分かりません。過剰な電気使用の今の暮らしにきづき　今の暮らしをみんな見直そうと努力を始め、脱原発を望んでいるのにどうして国民の声をむしするのですか？！　チェルノブイリ原発事故の時のようにこれから健康被害もきっとです。ただちに影響はないというがじゃぁ全く影響はないかといえばそんなはずはなく 被曝した福島人達や今も現場で収束作業してる人の健康のことを思うと　大飯原発の再稼働は今すぐ辞めるべきです。 また今でも地震が頻繁に起こっているのにいつ同じような事故が起きてもおかしくない状況で原発可動はとっても危険です。 自然エネルギーの利用　普及に全力してもらいたいです。日本にはまだまだ資源があります、原発に頼る生活から移行していく時が来たのです。原発から自然エネルギーに転換　そして自然再生　循環型社会に戻るべくもっと6次産業　農林水産業に本来の暮らしをとりもどしましょう。

31905	個人	会社員・公務員	40代	女性	原発依存ゼロを希望します。原発マネーに群がる魑魅魍魎は消えてください	原発依存というよりも、原発マネー依存が強いように感じます。 まず原発を止めるという決定をしないと、次の選択肢を考えないのではないですか。 福島を始め、東日本の多くの日本人の郷土と人生を奪っておきながら、原発マネーに群がる一部の人々は魑魅魍魎の化物のように見えます。 電力会社は顧客の意見を真摯に受け入れ、依存ゼロに向けて真剣に検討すべきです。 電力は口実で、原発マネーが欲しいだけ、という事は国民のもとにすでに曝されています。 お金ではなく人命を最優先した政策を強く希望します。
31906	個人	自営業	70代	男性	原子力発電設備は、冷却機能を確保できれば、安心・安全な設備である。原子力を主軸とし、新エネルギートベストミックス電源構成とする。放射線の人体健康影響を選択を、広く調査し、現行規制を見直す。	イ、昨年3月11日の大地震発生時、東北地方では11基の原子力発電所が稼働しており、全て設計通りに停止し、次のSTEPである崩壊熱冷却設備が稼働した。約1時間後の津波により、冷却機能は大きな損害を受けたが、臨機応変の対応により、東電福島原子力発電所以外は、無事冷態停止した。ロ、更に、前記11基の発電設備は、地震により破損していない。ハ、冷却機能は、既存の技術と管理手法により、機能できるは明白である。ニ、これを踏まえ、エネルギー・環境に関する4つの観点(エネルギー・環境会議、H24,6,29)を最も満足する、原子量発電を主、軸と市、新エネルギーとベストミックスした電源構成を、ここ10年は取るべきである。ホ、原子力発電設備の単基発電能力は、いわゆる新エネルギー装置に比し、格段に大きい。我が国の増大する需要に現実的に対応できる技術・設備である。ことに重化学工業、大型製造工場へぼ電力供給能力は代替エネルギーに振り替えることは不可能である。 ヘ、原子力発電設備にかかわる研究・開発は、すでに決まっている路線を積極的に推進するとともに、都市型設備の開発を進めることを提案する。送電ロスの減少による効率的エネルギ—使用を目指す。ト、節電技術・省エネ技術の開発とともに、その実用化に向けた、政策策定並びに社会の仕組みを改定することが必要である。従来の個人の権利を公共活用に向け制約することも考える。 チ、放射能の人体への健康影響について高知研究資料を、国ハ整理し、国民に開示しなければならない。長崎、広島の事象、古くからのラジューム温泉治療、打つう飛行士は1フライトで数百
31907	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発ゼロ	再稼働反対。子供たちに健康な未来を残す為に、原発はゼロにすべき。 このままでは将来を担う子どもたちに将来がなくなります。 なるべく速やかに原発ゼロ、それとともに税金無駄遣いのもんじゅは廃炉。 燃料シフトをし、エネルギーのムダをなくし、再生可能エネルギーをもっと真剣に考えるべき。見込みが甘すぎ。 非現実的な再処理計画、あまりにも無理がありすぎ。 地震国日本では原発は危険すぎる。 "国民的議論"の方法に異議あり–パブリックコメントの問題点 ・パブコメの期間が短すぎ ・WEBで募集するだけでは広がりません。テレビ番組などを通じて広報すべき
31908	個人	会社員・公務員	50代	男性	私は、大飯原発の再稼働を停止し、2030年を待つことなく、ただちに"原発ゼロ"、すなわち原発に依存しない社会に踏み出すことを求めます。	私は、大飯原発の再稼働を停止し、2030年を待つことなく、ただちに"原発ゼロ"、すなわち原発に依存しない社会に踏み出すことを求めます。 理由は以下の通りです。 (1)福島第一原発の事故は、原発というものは一度事故を起こしてしまえばその影響は時間的にも空間的にも社会的にも莫大な影響を及ぼすことを示しました。原発は人間の力では制御できません。 さらに、大飯原発や駿河原発は直下に活断層が走っている可能性が指摘されており、稼働させるのはあまりにも危険が多すぎます。浜岡原発も海水によって内部腐食が進行していることが指摘されています。事故が起こってからでは遅いのです。ただちに再稼働を停止するべきです。 (2)原発を稼働させれば、「使用済み廃棄物」が蓄積されていきます。この処分方法も決まらないまま、日本は次々と原発を稼働させてきました。「トイレなくマンション」と言われるゆえんです。私たちは子や孫の代以降までそのツケを残すことはできません。これ以上廃棄物を増やすことなく、現在の廃棄物をどう処分するのかを最優先に考えるべきです。 (3)日本は風力・地熱など再生可能エネルギーのポテンシャルが高いといわれています。いままで普及してこなかったのは、原発推進の国の政策と予算配分のあり方に問題があります。建設費用は当然かかりますが、これまで原発維持のために使ってきた予算を回せば可能だと思います。また、一度建設してしまえば、燃料代はかからないので長期的に見れば非常にローコストになります。ちなみに、在日米軍基地をすべて撤去し太陽光パネルを設置すると、原発2基分のエネルギーが生み出せるとの試算もあります。 原発をすべて停止することによって、一時的に火力発電の比重が高くなるかもしれませんが、Co2の問題は日本の産業や社会構造の在り方など総合的に考え、削減を図るべきです。たとえば、深夜営業のスーパー・コンビニや過剰なほど設置してある自動販売機。夜間も休みなく稼働させている工場。こうした部分への規制をかけること。また、車社会から公共交通機関への転換を図ること。これらのことによってもCo2の削減は可能だと考えます。 なお、つけくわえるならば、高速増殖炉「もんじゅ」は、膨大な予算を注ぎ込みながらトラブル続きでいまだ稼働の見通しがないにもかかわらず、2050年の稼働めざして維持費だけで1日5000万円近い税金を注ぎ込んでいます。このような無駄遣いはただちに中止すべきです。
31909	個人	自営業	30代	男性	原発ゼロシナリオを希望します。	戦後復興から目まぐるしいスピードで発展して来た国、日本。 その過程はあまりにも急速で色々な歪みを作って来たのも事実。 原発はそのひとつではないでしょうか？ 震災を機にその歪みを見直すべきタイミングに、今まで同様の経済第一主義での概念では新たな文化、文明、価値、哲学は生まれて来ないのではないでしょうか？ 脱原発をどのスピードで行なうのがいいかは判りませんが、まずは目標としてゼロシナリオを希望します。
31910	個人	学生	20代	女性	原発ゼロシナリオを支持します。脱原発までにどんな弊害があろうとも、目先の利便性・安定・発展に縋ることを止めなければ、被爆の危険は免れません。「次は大丈夫」という、今を守る姿勢を改める必要があります。	安全神話の下でこの度の原発事故を垂れ流した科学は、国家は、私たちとの対話をなさない。そして飽食の時代を生きる我々もまた、身の丈を過剰なまでに超える資源消費を見過ごしてきた。対話をなさない科学からの"恩恵"を、無自覚に享受してきた。それゆえ脱原発からの代替エネルギーへの転換において、果たしてそれが我々の生活を前に現実的か否かという問題が頻繁に提示される。しかし、「原発がなくては国民生活が成り立たない」と野田総理が述べる際の「国民生活」は、3.11からの原発事故を受け避難生活を余儀なくされた人々、あるいは避難生活をも送れない人々の存在を知ってもなお彼らの生を等閑視する「国民」の生活であり、そして被爆の危険にのうのうと命をくれてやる「国民」の生活である。現実の国民は省エネルギーに積極的であり、脱原発に向けた新しい生活を築き上げるよう地道にコツコツと努めている。だから問題ない、というほど簡単ではなくとも、原発事故の被害を受けられた方々を看過する「国民」よりも、被爆に命を売る「国民」よりもはるかに賢いのである。ゆえに生活を新しく作り直し得る可能性は、国家が述べるより見込めるのではないか。 加えて、原発に依存した自治体の財政問題を盾に原発維持が論じられるが、地域固有の産業の発展より先に、国家の経済発展・技術発展を推し進め、交付金浸りにさせた現状がある。この事態を、同様の交付金で賄いその場しのぎの解決を見込む手段には、対症療法の気こそ感じるが、抜本解決の糸口は全く窺えない。抜本解決には確かに、大きな構造転換が必要とされる。果たしてそれが可能なのか、誰もがそれを肯定できる確固たる自信を持っているわけではないであろう。しかし、かと言って被爆の危険に命を売るのか、被害者の生を後手に回すのか。「3.11は予想外の事態であったから、次は問題ない」という根拠薄弱な専門家・国家の供述をこれまで通り「何となく」信用し、だらだらと「今の生活」にしがみ付きながらいずれは尽きる甘い汁を吸っていては、狸が泥の船に乗ったが如く我々は沈没していく他ないのである。そんな危機的瞬間が、紛れもない今なのである。目先の心地よさだと気付いているのであれば、早々に手放さなくてはならない。しがみ付いていた我々は確かに、手放すことで一時の間、沈む経験をしなくてはならないとしても。 一時の「痛い思い」をすることも、身の丈を余りに超えた資源消費を曖昧なまま続けていた我々が、避けては通れない道なのである。今を生きる私たちはまた、声を発さない過去・未来の生を引き受けて生きているのだから。 社会のあれこれに全くの無関心であった友人がポツリと、「原発はよそうよ」とこぼした。生後2か月の我が子をその腕に抱きながら。中学時代からの付き合いである彼女はお嬢様校の名に相応しく、だから当時から不都合ひとつ感じることなく(あるいはそう窺えるように)キラキラと輝きながら生きてきた。その彼女が今、原発事故を垂れ流したこの国で生きざるを得ないことがどこか、圧倒的な輝きに翳りを見せていた。 私たちはもはや、手放しに楽観的に生きてゆくことは出来ない。ただ目の前の生活を嬉し楽しく生きてゆくことは、無防備に(あるいは無責任に)キラキラと輝いていることは不可能となった。3.11からの原発事故を受け、私たちは被爆から逃れられない覚悟を、翳りを、引き受けてしまった。 彼女は新しい命を預かり受け、私は逝った命の軌跡を預かった。知能、身体ともに障がいをもつ58歳の息子を残して祖母が逝った日から、間もなく1年が経とうとしている。祖母が戻るはずであった寝室に佇みながら、昨年の今頃をふと想起した。私はもっと身軽であった。今よりもはるかに無責任に、私という存在のみを生きていた。祖母の命は祖母が生きてくれる、叔父の命は彼の母である祖母が責任を持ってくれるのだ、と。祖母がこの世を去った今、彼女の孫としての自覚がじんわりじんわりと私の身体に広がっている。彼女の生き様も、声も、私への願いも、逝ったあの日にひとつ完結されてしまった。まるごとひとつのものとなって、生者の肩に託された。祖母としての彼女の命の軌跡は、孫である私の肩に託されたのである。私という一個人が確かに、先立った者たちの命の上にあるという繋がりの喜びを体感する一方で、魂の軌跡を背負わざるを得ない責任への緊張を引き受けた。 未婚の母として生後2か月の娘を育てる友人は、新しく誕生した生命への責任をまるごとひとつ、その肩に託された。女にも子どもにも優しくはないこの国で、被爆から逃れることのできないこの国で。「原発はよそうよ」というたった一言は、しかし責任を負う彼女の切なる願いだ。その腕に我が子を抱き、「たった一人で」か弱い命を庇護する女の、ひたぶる祈りの声である。 新しい命を預かり受けた者、逝った命の軌跡を負う者、私たちは共に声を発さない生命への責任を引き受けた個人である。その喜びと緊張と覚悟の下で、彼らの生を汚す現実には真っ向から立ち向かわねばならない。この国に生きる誰もが、過去の命の下に生まれ、新しい命を育み得る個々人である以上、新しい命に、亡くした命にだから責任を負っている。私たちの誰もが、今目の前で繰り広げられている現実に対峙しそして、声を発さない生を汚し得る兆し、現象には抗わなければならない。
31911	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発依存度は「ゼロシナリオ」しかありません	地震国日本では、近い将来相当大規模な地震が想定されています。その中で、原発の安全性を保つことは不可能でしょう。「ゼロシナリオ」の他に私たちの安全を確保する道はありません。
31912	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原発を再稼働せず0%とせよ。視点に、憲法25条に則り国民の健康権を守る事を加える。100%再生可能エネルギーへの転換と省エネ政策の強化、火力のLNGシフトで、2030年温室効果ガス25%削減をめざせ。	今回示された「選択肢」は3つあり、それぞれ2030年の発電電力量における原子力の割合を軸に選択にするものとなっています。 1.0%　2.15%　3.20～25% ゼロシナリオでは、2020年の温室効果ガス排出削減目標値は0%とされ、原発0を選べば、地球温暖化対策の放棄を選ぶことになうようになっています。しかし、地震多発国日本で、0以外に国民の命と健康を守り、経済を発展させ、雇用を増やすシナリオはありません。以下に私たちの意見に関わる論点を6点にわたり示します。 論点1.今後のエネルギー政策の基本に、国民の命と健康を守ることを明確に掲げるべきではないか。すなわち、視点の第1に憲法に基づき、国民の健康権を守ることを明示することを求める。 論点2.原発を再稼働せず0%にすることを求める。原発は、クリーンエネルギーではなく、CO2を大量に発生させる。(注1)原発は、常にフル稼働を求められ夜間でも発電を止められず、夜間電力活用の名の下に「24時間社会」や「オール電化」など、エネルギー多消費構造となっている。15と25シナリオは、今後いずれも新たな原発の建設に向かう計画であり、CO2の排出量を増加させる計画である。 (注1)ウランの核分裂自体はCO2は出さない。しかし、(1)ウラン鉱山から採掘し精錬して低濃縮ウランにする過程で大量の化石燃料を必要とする。また、使用済み核燃料を冷やしキャスクにつめて処理場に運ぶ過程で多量のCO2を出す。(2)さらに100万kwの原発は、300万kwの電力を生み、電気として利用できるのは100万kwで残りの200万kwは海に捨てている。毎秒70トンの海水を引き込んで、その温度を7度上げている。海水の温度を上げる時、海水に溶けている炭酸ガスを多量に排出する。 論点3.脱原発と地球温暖化対策は両立することを前提にした選択肢を立案せよ。脱原発と地球温暖化対策は両立できる。今後CO2:25%削減を視野に、(1)エネルギー多消費社会構造を改め、(2)発電ロス、産業、運輸、業務、家庭での全ての分野毎に省エネ目標を明示する事。(3)また、省エネ技術の開発の促進など省エネルギー政策の強化を行うべきである。 論点4.脱原発、かつ100%エネルギーを目指す選択肢を設け、その道筋を示すべきではないか。太陽光・風力・バイオマス、地熱、中小水力など再生可能エネルギーへの転換について、IEA加盟国の最近20年間の変化をみると再生可能エネルギー比率が後退し、かつその比率が3%と最も低いのが日本である。100%再生エネルギーに向けた大胆な政策転換が不可欠である。 論点5.電力の地域独占をやめ、はっきりと地域分散型の発電とすることを明示すべきではないか。また、「脱化石燃料」で100%再生可能エネルギーを目指していく過渡期の火力での調整に、当面CO2の排出をできるだけ減らす火力発電の強化と燃料については、石炭からCO2排出の少ない天然ガスへの燃料シフトを明示することが不可欠である。 論点6.以上の取り組みで雇用を増やし経済を発展させつつ、CO2:25%削減が可能となる政策とすること。
31913	個人	家事専業	70代	女性	(2030年までに原発をゼロにする)に　賛成。	地球上は生きていて、特に日本は地震と火山の国です。更に気象上では最近津波、竜巻が頻繁に起る。また、テロの標的にもなりうる。 など不安要因を抱えているのに、無数の原発をこの国土に設置している。と言うことからして、尋常ではなくおかしい。 経済の発展、国民生活の向上等、戦後またバブルを経て日本は成長を遂げた。科学の発達や石油製品の普及も顕著です。 しかし、人間も草も木も虫も獣も生き物です。命を終えると土になります。愚かにも人間が科学により、発見した原子力は、原発そのものを廃棄し、その有害物をいきものにとって無害にするのは、不可能に近い何万年にも及ぶのです。 科学を否定するのではありませんが、決して開けてはならない「箱」を開けてしまったのです。手塚治の漫画のテーマでもずーっと前からあるではありませんか？ 政治家が決断を下す時、まわりの経済団体やら諸々の圧力を考慮に入れざるを得ないことも理解は出来ます。しかし何よりも国民の命・未来のことを、まず、第一に考えてほしい。あなた方に期待し将来を託したのですから。勇気と決断を持って。福島を見て即、脱原発を決断したドイツの様に。我々の未来にとって一番重要なこと　とは何かを。 自動販売機、昼夜営業のコンビに、くだらないテレビ放送も短縮。国民も生活を見直しする。温暖化に影響ない熱エネルギーの早急の開発実行。 まず出来ることからやってみよう。そして都に出した嘆願書も官邸周りの静かなデモをも無視する、野田総理にそれでも届くよう是非とも願う。 国民は誰を信じたら良いのか？　野田総理の歴史的決断を信じてます。
31914	個人	自営業	30代	男性	"エネルギー環境に関する選択肢"に関する意見 ゼロシナリオを主張します	今日の私たちの生活にとって電気が必要なことは言うまでもありませんが、 その電気を作り出すことによって私たちの生活あるいは人生を壊してしまう事故が発生することはとても愚かです。非常に残念なことに福島での原発事故によって実際にそのような事が起きています。また福島に住んでいない私の生活の中でも原発のことが心配なのに、そのことを自由に話すことも出来ない空気というものが存在し人間関係にも影響を及ぼしています。 私は即刻全原発を停止するべきだと思いますが、私たちはまずは電気の使い方を今一度見直し、無駄な電気をより一層減らしそれと同時に原発に代わる新しい発電方法を国を挙げて研究開発すべきではないでしょうか。 それぞれに出来ることは異なりますが、安心して暮らせる日本を国民全員で再構築していきたいです。
31915	個人	会社員・公務員	30代	男性	今回は2030年時点での全発電に対する原発の割合を考えるということだが、大切なことは2030年時点での原発の割合なのではなく、何を目的地として2030年時点を迎えるかということだと考える。	今回は2030年時点での全発電に対する原発の割合を考えるということだが、大切なことは2030年時点での原発の割合なのではなく、何を目的地として2030年時点を迎えるかということだと考える。 私は、基本的に地震多発国であり、最終処分場のあり方についても決定されていない日本という国に原子力発電所は適当ではないと考えている。その意味で、なくて済むのなら原子力発電所は一基たりとも必要ないという思いが正直なところである。そのように考えると、2030年時点において原発ゼロシナリオが選択できるのならそれに越したことはないと考える。しかし、たかだか18年程度で日本の原発を全基廃業できるのかというと疑問が生じる。 その点で今回政府より提案されたシナリオそのものが適当ではなかったような気がする。なぜならば2030年時点での原発の割合だけをシナリオに反映しているからである。例えば仮に今から50年後に原発を全廃棄することを目指して2030年時点で15%なり25%なりの原発が残っているのか、もしくは15%とか25%とかいう数字は最終目標なのか、どこにも提示されていない。 私としては最終的に(30～70年くらいまでを目処に)原発ゼロを目的とするならば、2030年時点での原発の割合にはあまり拘泥しない。どちらにしても原発ゼロを目指す過程で、社会的・経済的にかかる負担ができるだけ少ないシナリオを模索するべきであると考える。少なくとも原発ゼロとすることで経済的にはともかく社会的には生命維持の危険性の低下という大きな恩恵をもたらす側面があるのであるから、まずはそこから始めるべきであろう。
31916	個人	会社員・公務員	30代	男性	クリーンエネルギー導入は賛成であるが、電力費アップにつながるようであれば電力多消費産業に対する負担軽減措置を、絶対に講じて頂きたい。	たとえば電炉業は極めて電力依存度が高く、現行案のままでは事業の継続や雇用の維持は困難である。何らかの負担軽減を強く望む。電炉業は夜間電力時間帯を中心に操業し、電力消費の平準化に寄与している。これは、需要の少ない夜間でも発電を止めることのできない風力・火力・原子力発電による電力を活用するものであり、CO2排出削減の観点からも有効である。現在の案では、こうした夜間中心の電炉業の貢献が適性に評価されておらず、受益者負担の原則からも逸脱しており、制度として問題ではないか。
31917	個人	自営業	20代	女性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見。「2030年に原発0」ではなく、「ただちに、原発0」を主張《政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべき》	このパブコメ募集の前提が「2030年までは原発が維持される」というもの。前提自体が国民を騙すトリックだ。再び事故が起これば、日本は再起不能になる。政府は即急に自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示し、ただちに原発を廃止すべき。もう国民を騙すのはやめて下さい！
31918	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発は即時廃止とする。	震災時には制御が困難となる原発は今後使用すべきではない。原発による電力供給が電力需要にとって不可欠とは言えなくなった現在、代替エネルギーの開発にこそ税金を投入すべきと考える。
31919	個人	その他	60代	男性	(1)ゼロです。自分の子供たちに負の遺産を残すことは出来ません。誰もが願うことです。	原子力の平和利用をうっかり信じてしまいました。核は核。人間が100%コントロールできるなんて、お調子者でした。深く反省し、一日も早く全世界から核を廃絶したいと願っています。日常の幸せをこれほど重要に思ったことはありません。電気は核ではなく、自然エネルギーを利用開発していきましょう。日本は、本当の意味で先進国にならねばいけません。
31920	個人	パート・アルバイト	50代	女性	ゼロシナリオに賛成です。原発に依存しない社会をつくるべきです。	今回の事故で日本にこんなに原発があったことに驚きました。もう一度同じような事故が起これば日本は生きていけないでしょう。また子孫に放射能ごみをのこすこともあってはならないと思う 日本だけでなく世界中で脱原発社会を実現させるべきです

31921	個人	無職	60代	男性	脱原発という方向をしっかり決め、政府、国民が一体となって、エネルギーの無駄づかいを止めたり、自然エネルギーを推進していく事が、国民が希望が持て、社会を良い方向へ進めて行く政策であると考えます。	3．11の大震災、福島第一原発の事故以来、大して原発や自分たちの暮らしについて疑問を持って来なかった自分ですが、ショックを受けて、関連の本を色々読みました。 これらの本を読むことによって、自分の中にあった不安やモヤモヤとしたものの原因が、はっきりとしてきた感じがします。 自分が読んで、真実が分かったという気持ちになったものは、以下のような本です。自分の脱原発への意見は、それらの本の内容の影響が大きいです。 ・市民科学者として生きる　高木仁三郎著　岩波新書 ・大地動乱の時代　　石橋克彦著　　岩波新書 ・共生の大地　　内橋克人著　　岩波新書 ・原発のウソ　　小出裕章著　　扶桑新書 ・原発はいらない　　小出裕章著　　幻冬社ルネサンス新書 ・原発を終わらせる　　石橋克彦編　　岩波新書 ・内部被爆の真実　　児玉龍彦　　幻冬舎新書 その他、NHKスペシャルなど、原発事故や大震災、地震、ドイツ、デンマークなど海外の脱原発、自然エネルギーや使用済み燃料の最終処分場、などを暑かった様々な番組。 そんなものを、見て、上記、自分の意見を持ちました。 全部借り物ではないか、と言われるかもしれませんが、特に原発や自然エネルギーについて知識も無かった私の判断は、それらの本や、番組、などに拠っています。 そして、それらの本の内容や番組の内容は、けっこう自分の心の深いところとも共鳴するものが多く、自分の今までの人生経験からも同感、納得するものでした。 政策を決定される方々も、ぜひこれらの本や、テレビ番組の内容を（もちろんすでに、ご覧になっているとは思いますが、）ふまえて、決定される事を切にお願い申し上げます。
31922	個人	法人等	60代	男性	原発は早急に廃止すべき。今後は国のエネルギー政策を脱原発に転換し、循環可能な自然エネルギー開発に智恵も金も人も積極的に投入して欲しい。また福島原発事故は人災だから責任を追及すべきだ。	国民（福島県民）の生命、財産、文化が一番大事であり、人間の制御不能な原発は早急に廃止すべきである。今後は国のエネルギー政策を脱原発に転換し、循環可能な光、風、水、火力等の自然エネルギー開発に智恵も金も人も積極的に投入して欲しい。 また、東電、原子力村、一部政治家や行政は原発事故という人災を引き起こしたのだから、その責任を追及し、明確にすることが重要。1億総懺悔でなく、被害者と加害者、不作為者は明瞭にしなければならない。
31923	個人	自営業	40代	男性	納得がいかない。	国民投票
31924	個人	会社員・公務員	20代	女性	原発は廃止してほしい。 原発のかわりに地熱発電等環境・人にやさしいエネルギーにかえてほしい。	ただでさえ不安の多い社会で将来、子供を産み育てるのに人災による被曝という心配までして暮らしたくないです。 どうして他の先進国で原発に代わる地熱発電など有効かつ環境にもやさしいものに移行しているのにもかかわらず、地震大国日本はまだ一部の人間だけが儲かる原発を人の命にかえてでも動かすに値するものだとは庶民には理解できません。なのでどうか一日も早く危険な電力で生活する日々からサヨナラして安心して国民が生きていける国にしてほしいです。
31925	個人	会社員・公務員	20代	男性	私は原発を維持するエネルギー政策には反対です。 エネルギー供給量が需給量に不足しても、原発は不要です。再稼動も反対です。 自然エネルギーにシフトしましょう。	私は原発を維持する エネルギー政策には反対です。 3.11福島原発事故を見て、地震の多い日本で原発を稼動させる難しさを実感しました。そして日本人もこのリスクをコントロールする能力を持ち合わせてはいないことが分かりました。 まず原発を廃止することを決め、さらに電力網を公共のインフラに取民し、その先に自然エネルギーにシフトしましょう。 私はたとえエネルギー供給量が需給量に不足しても、原発は不要です。そして再稼動も反対です。 私はJICA青年海外協力隊としてケニアのナイロビで2年間、活動していました。ナイロビの生活も首都とはいえ、他の途上国と同じく、停電が多い生活でした。 ただ病院や官公庁など電力が必須の施設にはガソリン稼動のジェネレーターが設置されており、停電の際にはすぐに代替電力として、稼動していました。 日本以外の国々は電力を有限のものとして利用しています。電力は貴重なもので変えがたいものですが、依存せず、生活に利用していくべきです。 東京電力はこれまでの体質を改めなければいけません。経産省も政府も同様です。そして私達、市井の一市民は意識を変えつつあります。 もう原発はよめましょう。
31926	個人	家事専業	30代	女性	自分たちのためではなく、子どもたち、子孫、地球のために原発をなくしましょう。⑴ゼロシナリオ支持します。	原発はウランの採掘から核廃棄物の問題までいろんな人の犠牲の上に成り立っています。今までそういった犠牲に対して多額の金銭を払ってまで臭いものに蓋をしてきて原発の安全神話を築いていったのだと思います。 福島の原発事故でその安全神話が覆され、真実が明らかになった今、即時廃炉するしかないと思います。なぜ原発に固執するのか理由がわかりません。
31927	個人	会社員・公務員	20代	男性	ゼロシナリオを支持します。	処理が安全に行える技術を備えてから、再稼働すれば良いと思います。
31928	個人	自営業	30代	男性	もちろん0%	もうこれ以上誰も住んではいけない場所を増やすのは馬鹿げてますよね。 0%でこれからのこどもたちにつなぐのが僕らの世代の使命です。 電力会社を自由化して下さい。自分たちの住んでいる所はどうにかします。
31929	個人	会社員・公務員	50代	男性	我が国のエネルギーにおける原発の占める割合はすぐに0%にすべきである。	その理由は福島第一原発事故による放射線の拡散は日本全体に広がり、未だ16万人の福島県民が故郷に帰れず避難生活を余儀なくさせられている。そして未来の日本を担う子供たちも放射線によって将来の健康不安に脅かされている。そして福島第一原発の賠償金額は誠実に賠償した場合、何十兆円と言われています。 　そして何より、日本は地震大国であり、こんな地震大国に原発を作ること事態がクレイジーです。 　不安視されているエネルギーの供給も今年5月に原発の稼働が0になっても電力不足は起きませんでした。これからドイツのようにエネルギーに占める自然エネルギーの割合を20%に高めていけばエネルギー不足は起きませんし、地球温暖化防止にも貢献できます。原発は原発の温排水により周辺の海の水温を7度も高くし、地球温暖化を推進しています。原発が止まった5月～7月まで水温は下がり原発によって海が温められて地球温暖化を加速していたことが明らかになりました。 　そしてなによりも原発から出る高レベル核廃棄物は一体どう処理するのでしょうか？何万年もこうした高レベル廃棄物を管理できるとは思いませんし、何より地震大国の日本にどうやって高レベル廃棄物を処分できるのでしょうか？ 　そしてコストについても原発の高レベル廃棄物の処理費用や事故を起こした時の賠償や経済的な損失を考えれば、原発が高いことは明らかです。 　未来の地球環境や未来の子供たちのことを考えれば原発は0にすべきです。
31930	個人	自営業	40代	男性	原子力発電依存度ゼロのシナリオを求めます。	物質依存の社会から脱し、エネルギーの消費を出来る限り抑え、不便でも心と心が触れ合う、思いやりの気持ちを持って日々を過ごすことが、本当の人間の暮らし方だと思います。 このままでは、いずれ世界中の国では資源を使い果たし、その結果自然を破壊して、人間も生きていことが困難な時代が必ず訪れます。 物質中心の社会は自己中心の社会ともなり、人間の心も、すさんだものにしていくと思います。 人への思いやりの中心の世の中になれば、現在問題となっている、統合失調症などの精神的な病や、学校や会社内での陰湿ないじめも減るのではないかと思います。 物に溢れた今の日本は、国民の皆さんは幸せを感じているとは思えません。 幸福は、物によって得られるものではなく、人から自分が必要とされたときに感じるものだと思います。 今のような時代になって、そのことを、多くの人々は気付いたと思います。 これからも原子力発電を推進する考えの方は、自分が使用する原発のそばに生活の拠点を移されることを強く希望します。 そのような状況になった時に、本当に原子力発電を推進することが出来るか否かということを、推進派の方には聞きたく思います。
31931	個人	家事専業	40代	女性	原発ゼロシナリオを望みます。	去年の福島の事故は日本を変えてしまいました。私たち国民が手に入れることができる情報が錯綜し、何が安全で何が危険であるのか、何が正しいのかまったくわからない状態が今も続いています。ただ、今わかっているのは、確実に事故前より国土が汚れてしまったこと、食べ物が汚されてしまったこと、私たちは不必要な被曝をしてしまったこと、です。そして、不思議なことに福島事故以前は危険だという認識であった放射能が、いつの間にか危険なものではないという認識を持たされつつあるような感じがすることです。一般国民として、原子力には何か不誠実なものがあるのではないかという気がしてなりません。日本はたくさんのプレートの上に国土があり、歴史的に見ても地震は避けることができません。今後同じような事故が起こる可能性も否めません。しかも、使用済み核燃料の始末さえ次代まかせになっています。遠やかに国は原子力から撤退し、安全な自然エネルギーの開発に力を注いで頂けるよう希望します。
31932	個人	会社員・公務員	30代	女性	人類が制御できていない、福島の片づけもできていない原発はすぐに手を引いて自然エネルギーに転換すべき。	未だ収束を見ない福島を始めとする第一原発事故の影響で被害を受けている人々を横目に再稼働もし、更に再稼働に向けた議論など、人として持っての他と思います。人々の犠牲の上でないと成り立たない経済の発展など要りません。私たちが後世に恥ずかしくない態度を取ることは今なら間に合います。この間国が行なった、原発に関わるいろんな事実隠し や情報操作は北朝鮮や中国を笑えないものだと思います。オスプレイの飛行ルートにも原発があります。日本はさらなる危険をわざわざ抱えているとはお笑いにもほどがあります。どうか、勇気ある決断をお願いします。
31933	個人	自営業	40代	女性	国内すべての原発再稼働反対します。 再稼働禁止を決定し廃炉へ。 新エネルギー開発への着手を急いでいただきたい。	国民の健康や命を脅かす原発を稼働させるのは反対です。 お金は健康、命を失うことよりも大事でしょうか？ 原発の稼働なしでも充分電力は供給出来るそうですね。 これ以上つらい思いをする人が増えるのはうんざりです！
31934	個人	その他	60代	男性	原発ゼロシナリオを選びます。 現在の人類の科学技術水準では、ゼロシナリオ以外に選択肢はない。 （手元に控えが残らなかったため再投稿します。）	エネルギー・環境会議のゼロシナリオの発電コストは15．1円／kwに対し15～25シナリオ では14．1円／kwとなっており、原発は発電コストが低いという前提に立っているのではないか。 原子力発電のコストには、廃炉費用のみでなく、半永久的な放射性廃棄物の維持管理費も含めるべきと思うが、現段階において原子炉の廃炉、処分技術も確立しておらず、どうして原発の単価を示すことができるのか。 さらに、福島原発事故の復旧費用や被害額も原発のコストに含めるべきである。 エネルギー・環境会議の「各電源の諸元一覧」では、一般水力の出力を1．2万kw、小水力は200kwとして、1kw当たりの建設費を高くしている。 そして水力発電の稼働年数について、「2004年コスト等検討小委員会の試算時条件」の稼働年数を40年とし、原子力や火力発電と同等にしている。 しかし、中部電力の2002年の資料では、水力発電設備は180箇所で521万3．120kwで、そのうち2000kw未満の小水力は80か所で6万7000kw、1ヵ所平均840kwである。それ以外の発電所は100か所で1ヵ所平均約5．1万kwである。 稼働年数については、営業運転開始年が明治時代の発電所が16か所（出力合計1万5250kw）、大正時代が66か所（出力合計19万8810kw）であり、これらを含め全体で180か所中140か所以上の発電所が65年以上稼働し続けているのが実態である。 またエネルギー・環境会議は人件費を、一般水力0．2億円／年、小水力700万円／年としているが、電力会社では水力発電所はすべて無人化されており、人件費はほとんど0ではないか。
31935	個人	その他	40代	男性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見」?? 2030年に原発0ではなく ?全ての原子力発電関連施設の即時利用の禁止、全ての原発の廃炉、廃炉後の安全確保を最優先として頂きたい。?	現在までの「原子力エネルギー政策」及び「電力会社の対応」には「日本の良心」を地に落とし入れた「不誠実さ」を感じざるを得えません。 ??行き過ぎた経済を優先する行為は、「国民の安全」よりも一部の人間の利益の確保の為であり、この様な行為を「政治」「公務」と呼ぶことはできません。? 今回の原発事故に発し、理解できたことは、日本という国家を導いている方々への「失望」以外の何物でもありませんでした。?? 「国民の安全と幸福」を基調とした良心ある対応を切に願います。?? 以上
31936	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	原発依存度15シナリオ 新たに設定された安全規制を確り守った上で、原発を運転して頂きたい。	国内の物価上昇、貨金上昇、為替レートの変動など、メーカー企業にとっては、非常に厳しい環境にある。 安価な製品の海外拠点への生産移管も、既に一部実施している状況の中で、我々国民の豊かで安全・安心な生活環境を維持するためにも、エネルギーコストの今以上の上昇は耐えられない。 しかし、安全を軽視して、原発を稼動させてきた結果が、福島第一原発の事故被害を拡大させたことを考えると、新たに定めた安全規制をしっかりと守ることが絶対条件であると考える。 その上で、国民の理解を得て、現在ある原発を可能な限り稼動させて頂きたい。
31937	個人	自営業	40代	男性	私は、「2030年に向けたエネルギー政策」の0シナリオを支持します。	原子力の安全性を一貫して言い続けていた、時の政治家や電力会社の主張は 偽りであったことが多くの犠牲のもと露見しています。 また、核のゴミの処理問題も棚上げされたままで、ツケを幾世代もの先の 子孫に委ねることも納得がいきません。 付け加えるならば、日本の科学技術と予算を的確に利用することによって、 再生可能エネルギーの比率はシナリオよりも大きくなるのではないかと思い ます。 日本は、世界各国に誇れる「再生可能エネルギー技術大国」になるべきだと 強く思います。 子供たちを自然の中で安心して遊ばせてあげられることができなくなったのは、私たち世代の起こした歴史的事実です。せめて同じ過ちを繰り返さない よう、新しい選択をしたいものです。
31938	個人	自営業	50代	男性	原発再稼働に反対します	実際、稼働した大飯発電所の電力も余っている なのに何故次々再稼働させなければいけないのか？ さらに負の遺産を作りすぎる　自分達で処理出来な い物を次の世代、その次の世代の人任せで良いのか？ 福島東電事故の後処理も出来ていないまま、何を 根拠に「安全だ」と言えるのかもわからない エネルギー政策全般に「隠し事」「ウソ」が多過ぎる
31939	個人	会社員・公務員	50代	男性	ゼロシナリオに賛成です。政府は直ちに原子力発電をやめ、自然エネルギーで私たちの日常の生活ができるような政策をたて、実現するべきです。	東日本大震災による、福島の原発事故後の福島の人たちの生活や気持ちを考えると、ゼロシナリオに賛成です。科学技術が発達して、安全な原子力発電が可能になるまでは、電気エネルギーを原発に頼るべきではないと思います。原子力政策にかけている莫大な費用を自然エネルギー政策に変えることで、十分やっていけると思います。

31940	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	3つのシナリオいずれにおいても化石燃料の寄与が大きく、CO_2排出削減には化石燃料のクリーン化が重要である。天然ガスシフトに、二酸化炭素回収・貯留（CCS）も加えたより幅広い政策を検討すべきである。	3つのシナリオのいずれにおいても、2030年時点における、化石燃料の依存度は50-65%であり、依然として大きな値を占めている。また、再生可能エネルギーは、エネルギーの安定供給、コスト、あるいは確保可能なエネルギー量の面から不安があるため、もしその普及・拡大が期待通りに進まない場合には、化石燃料への依存度はさらに増大することになる。このため、2030年という中期においては、化石燃料のクリーン化が非常に重要な技術となる。 「エネルギー・環境に関する選択肢」の表3のクリーンエネルギーの政策イメージには、化石燃料のクリーン化として、LNG比率の向上が、火力発電の効率向上、天然ガスコジェネ、家庭用燃料電池の導入促進とともに記載されているが、化石燃料のクリーン化の現実的な手段として、世界で注目されている二酸化炭素回収・貯留（CCS）についてはまったく言及されていない。 CCSは、IEAの『エネルギー技術見通し』やグローバルCCSインスティテュートの報告書に見るように、短・中期的に世界の化石燃料依存の減少が期待できない中、CO_2排出削減を行うための必須技術である。CCS技術は他のCO_2排出削減技術に比してコスト競争力を有し、IEAやRITEの分析によれば、CCSの導入によって、CO_2限界削減費用を大幅に低減できる。 このため、洞爺湖サミット以降、世界中で本技術の普及・促進を進めるため、G8が率先して大規模実証を進めていくことになっており、これを受けて、世界各国で大規模な実証プロジェクトが進められているところである。また、わが国においても、今年度から苫小牧沖での大規模実証試験が進められている。3つの選択肢の経済分析によれば、CO_2の限界削減費用は多くの分析において、1万円/t CO_2もしくは3万円/t CO_2以上の費用が推計されている。このように高い削減費用が見込まれるようなCO_2排出削減を目指す場合、とりわけCCSのコスト競争力は高い。 これらのことから、化石燃料のクリーン化にCCSも加えて、より幅広い政策を検討すべきである。CCSを加えることによる利点は、下記の通りである。 ・エネルギー安全保障の面からは、さまざまなエネルギーを異なる地域から入手すべきである。石炭は比較的、安価な化石燃料であり、将来的にも安定的に量の確保が可能な資源である。一方、石炭を使用するとCO_2排出量が多くなるという課題があるが、CCSと組み合わせれば、石炭もクリーンな燃料となり得る。したがって、エネルギー安全保障の観点から、CCSを加えて幅広い燃料ソースを使用可能にしておく必要がある。 ・シェールガスなどの技術進展により、天然ガスのコストが下がる可能性がでてきているが、一般的に天然ガスのコストは石炭に比べ高い。コスト低減の観点からは、石炭＋CCSが重要な選択肢のひとつとなる。 CCSは2030年時点より長期的な技術と受け取られている感があるが、それには技術面の対応（地中貯留に関わる作業の習熟、正確な貯留可能量の算定と貯留地点についてのデータ採取）や法制度の整備に時間がかかることによる。しかし、CCSの促進を図るため、データや手法の国際的な共有化や国際標準化の動き（ISO/TC265）が進みつつあり、この国際的な潮流に従えば2030年に相当量のCCSを行うことも不可能ではない。したがって、その早期導入によりCO_2の排出削減への経済的負担を軽減すべきであると考える。 今後、次の様な施策を進めることにより、CCSの導入促進が可能となる。 1. CCSに限ったことではないが、CO_2削減プロジェクトの事業化に対しては、その投資に見合うインセンティブが必要であるため、何らかのインセンティブ施策を取り入れる必要がある。 2. CCS技術開発を我が国が行うべき重要課題と位置づけ、特に、コスト削減や安全性評価等に集中的に効果的に予算を投じる必要がある。 3. わが国の周辺海域のCO_2の貯留ポテンシャルは1500億トンある。ただし、これは概算値であり、コストの安い地点からより詳細な調査を行うべく、候補地点を絞って、より詳細な調査を必要とする。 4. 国際的に連携を図り、CCS技術に関する不明な点を払拭し、かつ国際標準化を図る。 5. 同時にCCSの法基準の体系を整備し、本格的な実施を可能とする。 6. 上の国内展開と同時に、海外へのCCS技術の移転と、それによるクレジットの確保についても具体的な準備を行う。 7. ステークホルダーに対するCCSの理解促進活動を通じて、CCS社会受容性の向上を目指す。 以上
31941	個人	自営業	60代	男性	原発はゼロにすべき。自然エネルギーの導入促進、電力の発・送分離により、新規産業の参入の機会となり、経済活性化・雇用促進にもつながりなります。もんじゅなど、無駄な原発予算を新規事業の振興に使うべきです。	原発はゼロにすべきです。 これまでの政権政党（特に自民党）＋官僚＝政府は、原子力の平和利用、エネルギーのベストミックスという美名のもとに、原発を強力に推進。地震が多く国土の狭い日本に60もの原発を設置するという愚挙を行ってきました。 しかし3.13の大震災で、原発が一度壊れたら手がつけられないような事態となり、多くの人々が故郷を失い、平穏な日常生活が奪われという悲惨な事態になることがわかりました。 そのうえ、高レベルの核廃棄物（使用済燃料）の捨て場所、一時保管場所すらいまだに決まっていないという、危険極まりない無策ぶりです。 こうした事態の背景には、電力会社と官僚、政党が手を組み、安定供給を維持するという口実で電力の地域独占を守り、新規産業たる自然エネルギー等の開発を阻害してきたことがあります。 今こそ、福島の原発事故を踏まえて、諸悪の根源電力会社の地域独占をやめ、自由競争のもとで住民が電力会社を選択できるような、先進国並みの政策を進めていただきた。
31942	個人	自営業	30代	男性	「エネルギー・環境に関する選択肢」について、「原発ゼロシナリオ」の採択を希望する。 福島第一原発事故に見られるように、原発の持つリスクはあまりにも大きすぎるからである。	「エネルギー・環境に関する選択肢」について、「原発ゼロシナリオ」の採択を希望する。 以下、理由を述べる。 ・福島第一原発事故に見られるように、原発の持つリスクはあまりにも大きすぎる。 現状の電力需要を満たすなどのメリットの大きさと比べてはるかに大きい。 事故が発生した場合に、一企業もしくは国家が被害を補償できる規模ではない。 ・原発事故が起きると、人が住めない土地が発生する。これは国として国土を管理する上で、あってはならないことである。外国へも被害は及び、外交上の問題も大きい。 ・技術的に安全性を担保することは非常に困難で、特に電力会社／経済界／官僚／政治家の癒着構造がある以上、人的災害のリスクをゼロにできない。 ・これに比べ、新エネルギー開発および利用へ労力を振り向ける方が生産的であり、また高い技術力を持つ日本の産業界のイノベーション発生を促進し、国際競争力の糧となる可能性が高い。
31943	個人	無職	80代以上	男性	タクシン派が自然保護ですか～ 日本人を100万人虐殺してくれてありがとう。	東電に全責任を背負わせて 国は予算の執行もしない 国連組織に隠れ蓑で パンダが正義の味方ですか～ 中国の核兵器実験場の放射性物質の無視と 日本の放射性物質の無視も同じなんですか？www チベット侵攻は一切報道無しなのに お金を入れた所で立派な鉄道ができて ますますパンダの生息域が減るんですよね～ 日本人のスタッフなんて本当にWWFにいるんですか？ 情報はたくさんあるのに・・・ ああ！　確信犯の方々ですか～？www 放射線の影響をこれから日本は100万人単位で受けます。 御礼申し上げます
31944	個人	自営業	30代	女性	将来的なエネルギー環境を考えたとき、提案されている3つのシナリオのうち、ゼロ・シナリオを目指すことが大前提であるべきと思います。そうでなければ、今世界市民が抱えている未来への不安は拭えないと思います。	ゼロを目指す意味は、単純なエネルギー源のシフトでは無いと考えます。この度の福島原発事故で私たちが学んだことは、自然の計り知れない力、それに対する人間の無力さ、身勝手な歴史、そして美しい人の絆でありました。これまで、人間はこの世に存在しないものをたくさん作ってきました。でも、その中には夢も希望も存在していました。しかし、元素レベルで存在しないもの、それが原発にあります。これは自分たちの手にも負えないものになってしまいました。でも、最初からそれは明確で、あまりに未来の人間に対し、地球に対し無責任だったのです。その作られた物質は戦争に深く関係し、むしろ不可欠なものであります。それが大前提にあって、私たちの経済は動いています。未来の平和な暮らしを求めるのに、その経済観念が有る限り、誠の平和はありえません。そのためにやらなければいけないこと、それはまず日本がゼロを目指すことだと信じています。電気は必要です。暮らしを豊かにします。本当の豊かさを問いていけば、原発はゼロであるべきと思います。
31945	法人・団体等	法人等	法人等	法人等	限られた選択肢の中では、20－25シナリオを選択するが、どのシナリオにおいても電力コスト等の大幅な上昇となり、化学産業の成長性と国際競争力の低下、それに伴う産業空洞化が懸念される。	今回のシナリオは、2030年の原子力発電比率を如何にするかの選択肢が示されている。その3選択肢ともに2030年までの原子力発電比率を低下させ、再生エネルギーで補うシナリオである。その際、エネルギー選択を行うに当たっての重要となる4つの視点（原子力の安全確保と将来リスクの低減、エネルギー安全保障の強化、地球温暖化問題解決への貢献、コスト抑制・空洞化防止の視点）が挙げられている。この4つの視点をベースに、電力コスト、発電電気量、省エネ投資、温室化ガス排出量についても示されているが、いずれの選択肢もエネルギーの安定供給および成長戦略に必要なエネルギーの確保に不安があるのみならず、電力コスト、省エネ投資等の負担増が見込まれている。 今回のシナリオの経済成長率は、慎重ケース約1%前後で試算しており、2010年度の実績に対し、発電電気量、最終エネルギー消費量は、2030年ではそれぞれ1割、2割の削減となっており、成長戦略で掲げた2%の経済成長率と整合性がとれていないことによる必要なエネルギーの確保に不安がある。 国際競争に曝されている化学産業に電力コスト増負担に加え、省エネ投資等を負担することは、国際競争力の低下に繋がり、国内生産拠点の海外移転による産業空洞化の加速の懸念および地域での雇用喪失が進み地域経済を直撃する懸念がある。 その中で、限られた3選択肢において敢えて選択するのは、コスト増負担が小さく、エネルギーの多様性のある20－25%シナリオである。 今回、政府においてどの選択肢が選択されても、適切な時期に経済環境等の変化を見て、エネルギー・環境戦略の見直しを行ってもらいたい。
31946	個人	その他	30代	男性	「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」を主張 《政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべき》	このパブコメ募集の前提が「2030年までは原発が維持される」というもの。前提自体が国民を騙すトリックだ。再び事故が起これば、日本は再起不能になる。政府は自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民にしっかり示すべき。
31947	法人・団体等	会社員・公務員	50代	男性	日本国の電力事情の将来を決めるには、内容と方針があまりにもなさ過ぎます。この国の今後の姿が見えない限り、全てのパターンに反対します。	省資源国、日本はこれまで諸外国から安価な原料と資源を調達、これに日本固有の付加価値を与えそして輸出することにより、豊かな生活を手に入れてきた。省資源の実態を思えばこの構図は将来に渡り変わることはないと云える。 貿易立国の日本に課せられた条件として、安い原料および資源を駆使することが、最課題でありこれが崩れるようであれば企業は安く作れる場所に進出の選択を選ぶはず。このような事態を放置して日本の将来は真に危惧される。 若い人の働き場は外国に移り、高齢者ばかりのこの国の姿を想像すると、何とかしなければならないと思うのは当たり前のこと。 その中で、原発の安全神話が崩れかかっているがこれほど国や企業や国民を豊かにしてくれたものは他にない。もう一度原発の安全を再確認し是非再稼動と新設を望みます。化石燃料依存による電力コストの高騰などは死活問題であり到底容認できる内容ではありません。議論されてないですがCO_2の排出は目標値を大幅に超過すると予測されますし、風力発電や地熱利用など利権者が見え隠れしてますし発電能力からみても日本では有効なプラントではありません。 今回のエネルギー選択肢についても疑念が残ります。なぜ今なのか？ これだけ重要な案件をなぜ急いで決める必要があるのかです。 企業で働く者原発推進を大半が熱望しているのは間違いありません。マスコミや悪風評が先行し黙り込んでいるのです。 最後になりますが、日本の将来像を思うと原発ありきでなければ到底この国は滅びます。
31948	個人	その他	50代	男性	原発ゼロを選択します。福島の原発事故は、私たちに幸福のあり方を考えさせてくれました。放射線が遺伝子に与える影響を無くすことはできません。そのリスクに脅えながら原発を続ける理由がわかりません。	シナリオ2や3で原発を維持しようとする理由は、経済を考えてものです。つまり、原発を無くすと、経済的に大きな損失が出るという考えです。 そこには、経済的なことは幸せなこと、あるいは、経済的なことは幸せの前提であるという幸福観が存在します。言わば、経済が幸福を測る物差しになっています。しかし、もはやそれを無邪気に信じることはできません。なるほど、経済は幸福の要素の一つかも知れません。けれども、経済を最優先したり、基準にしたりすることが間違っていることを経験から学んできました。その最たるものが原発事故なのです。これは、私たちがこれまでも何となく疑ってきた幸福観が破綻したことを意味しています。 私たちは、ここで悟らなくてはなりません。幸福には、経済とは別の基準を見つけなくてはなりません。原発事故は私たちに新しい幸福観を考えるきっけけを与えてくれたのです。 私たちは、経済とどうつき合っていくかを含め、今こそ新しい幸福論に基づいた新たな社会構造を創りあげなければなりません。それこそが福島の犠牲に報いることであり、日本人として、全世界の人々の幸福に貢献する道でもあります。 原発ゼロ以外の選択肢はあり得ません。現在の経済的価値観に未練がましく固執するのは、既得権にこだわる利己主義者のすることです。
31949	個人	その他	40代	女性	食べること、育てること。日本の食生活と風土に合った暮らし方。	昨年起きた大震災とその後の人災による、放射能汚染による被害は日本に留まらず広く世界へ響いています。 このことをきっかけにエネルギーをどう作りどう蓄えどのように皆で分かち合い使うのか（シェア）、このことが本当に「share」の価値を本物にしました。 地球での財産ともいうべきエネルギーを考えるためには、まず毎日の生きること＝食べること＝健康でいることが私たちには第一義です。 草花を育てるために土に触れても、スーパーマーケットで野菜を買う時も子供たちの笑い声を聞く時も、テレビに映る海の向こうの貧困を知る時も、同じくらいに祈ります。平和をもたらしてください、お守り下さいと。 環境は違っても、国は人間が作った便宜でしかないことをもう一度解ればシェアの意味がよく解ります。 ですから悪いものを世界に垂れ流してはいけません。汚染もそうですが、汚染を起こしながら、また、唯一の被爆国でありながらその元凶と言える原子力の悪しき力をもうこれ以上何のために使うというのでしょう。 行動とともに大切なのは、オピニオン（opinion）と哲学だと思います。 我々にはまず生活があって、それを支えるためのエネルギーが必要です。 自分で作る事はできないと思っていたけれど、実は受動的なものではなかったのです。それを知って沢山考えて話すこと、日本に欠けてました。 そこで改めて、＜食べて、出す＞ことについて、この人間の排泄のシステムがあるからこそ、生きて寿命を全うすることができる。そこには本来有機的な力のみで続けられる、恐るべき壮大なシステムが宿っていることを、どうか、政治、医療、人間に関わるありとあらゆる分野の方々に体で実感して欲しい。 分野をまたがり、どんどん話して欲しい。 農家の方と友達になって色々学んで欲しい。 毎日近所で買い物をして欲しい。 そういうところにしか、なぜ今日本の国民の多くが、原子力を離れ自然エネルギーへ回帰することを望んでいるのか理由を知る場所はないと思うのです。 「回帰」は人間の心としての回帰であり、同時に、人間科学の本当の道への「回帰」だと考えます。 どうぞ、空に向かって大きな口を開け、この南北に長く華奢で美しい日本の、 本当に美味しい空気とお水とみんなの笑い声をお腹いっぱい吸い込める、そんな国にしましょう。そしてここから新しい、どこにもない（アメリカでも、中国でも、インドでも、アフリカでもない）小さな島の文化と智恵を思い切り発射してみて下さい、この国の代表とその周りの方々！ 本気でですよ。「私たちは核によって本当に世界へ人間も愚かさと悲しさとを知らしめた。この経験は私たちに怒れと言っている。もういやだ、二度とあんなことは。福島の人たちも故郷を失った。もうこれが最後のチャンスかもしれない、だからもうエネルギーを自然に頼るしか選択肢は残っていないかもしれない」と言って欲しいです。それがとても自然な、本来の姿なのだと思います。 早いだけ、が脳じゃないです。 沢山あればいいとも思いません。 日本の暮らしってきっとそういう方が合っています。 経済は、難しい問題ですが、私はそうしていると、少しのエネルギーに合った 人間、食べもの、乗り物、仕事が増え、賢く健康な人間が増えるので、お金も循環が良くなると思います。 どうぞよろしくお願い致します。
31950	個人	その他	50代	女性	故郷を強制移住させるようなリスクを抱えた原発は不要です。すでに2012年原発0%の実績もあり、ただちに原発ゼロを望みます。我が家も省エネ達成しています。従って3つから選ぶのであればゼロシナリオです。	原発に対して現在国民は7割以上が反対です。政府や国民の代表である議会は、国民の意見を反映させた政策を選択すべきです。 放射性物質を閉じ込める原発の5重の壁が自爆で役に立たなかったことを国民は決して忘れません。 放出された放射性物質が、狭い日本の国土を汚染し、多くの住民が故郷を失い、また汚染地帯に留まった人々の命を脅かし続けています。 エネルギーは国民生活に必要不可欠ですが、多くの命を脅かしながらの発電に頼るのは拒否します。 水を温めるのに、原爆とほぼ同じ仕組みの命を脅かす核分裂で沸かさなくとも、太陽の力で充分です。地震国日本の地下を1km掘れば、温泉が出てきます。すでに澄川発電所では、熱をとった温泉水をまた同じ温泉の水脈にもどし、数日後温泉水として再び発電に使用する温泉水のリサイクル技術で発電、八幡平、鹿角市の電力をまかなっています。 使用済み核燃料を無害化できる技術を人類は持っていません。放射性物質の半減期を短縮する方法があっても、大量の使用済み核燃料のすべてを処理することは不可能です。どこに処分場を建設するかを決めることができずにいる私たちは、エネルギー政策に関して現実的な選択をすべきです。 今後の日本は、いつまでも未来の技術を夢見るのでなく放射性物質はエネルギーの奪い合いをなくすためにも熱交換機と蓄電池の技術で勝負し、原発に頼らない生活を実現しましょう。

31951	個人	自営業	40代	女性	原発0シナリオを指示します。	いかに便利に電力を生み出そうとも、『核エネルギー』が人類の手に負えないことは明白です。 福島、その他の被災地・被災者の方々が被っている多くの事象は、人災に他なりません。 その支援も遅々として進まぬ中、これ以上の負の遺産は、国として断固回避すべきであると考えます。 『原爆と原発』 2度にわたる核被災国として、世界のモデルケースとなる姿勢こそ、未来を担う子どもたちが誇りに思い、世界各国の信頼と友好を獲得しうる国と言えるでしょう。
31952	個人	会社員・公務員	40代	男性	「20～25シナリオ」は、中長期的に一定程度原発を維持することで、エネルギー選択の多様性を確保する姿勢が鮮明である点について評価できます。	「20～25シナリオ」は、中長期的に一定程度原発を維持することで、エネルギー選択の多様性を確保する姿勢が鮮明である点については評価できます。その際、福島第一原発事故の原因究明と、対策技術の反映による安全性の向上と国民の信頼回復及び地元の理解が前提。
31953	個人	無職	70代	男性	日本政府は原発廃止方針を決定し、直ちに(2030年を待たずに)すべての原発を廃炉にする工事に着手すべきである。	1.原発の事故は国民の生命と安全を脅かし国を滅ぼしかねない大問題に繋がる。だから、日本国では原発事故の発生は絶対に許されないのだ。 2.原発の安全神話は既に崩壊した。事故は必ず起こるものと心得るべき。 3.日本国は固有の地震国である。しかも、活動期に入った危険状態にある。 4.日本国には危機管理体制が確立していない。それは、技術的観点のみならず、人的観点、組織的観点、制度的観点、文化的観点、何れにおいても言える事であり、容易に確立出来る問題ではない。 5.日本は未だ使用済核燃料の処理ができない状態にある。そんな状態で原発の稼働継続は不可能である。 6.国民の生命と経済性の問題を混同してはならない。 7.原発から再生可能エネルギーへ、政府は早急に方針転換すべきである。
31954	個人	パート・アルバイト	30代	女性	選択肢の中では「原発ゼロシナリオ」を希望しますが、即時全原発の廃炉を求めます。	地震大国の日本で活断層が活発化している中、即時全原発廃炉以外選択肢はあり得ません。 原発のコストの高さは既に立証されており(「原子力のコスト(岩波新書)」)、経済性や国際競争力の観点からも原発を推進することはできません。 ピーク時の電力などを高くするなどして仕組みを変えることで消費は下げられます。 初期費用は高くても、ランニングコスト含め総合的にみれば、省エネ、自然エネルギーの推進は経済負担の問題になりません。 多大なリスクはあっても原発に依存する必要性はまったくありません。 未来の孫子へ、残したいのは核廃棄物や放射線ではありません。いのちのバトンを繋げさせてください。平和で安全な社会を残してあげましょう。 即時廃炉を求めます。 どうか、どうか、お願いします。
31955	個人	会社員・公務員	30代	男性	宇宙船地球号の未来のために原発依存0%、段階的な卒原発を強く希望いたします。	原発を基本としたエネルギー政策は、廃棄物の処理の問題や地震のリスクに対し、あまりにも多くのコストがかかります。 これは、人類だけでなく、地球上の多くの生命を危険にさらす可能性があります。 広島、長崎、福島と3度の被爆を経験した日本が、いま再生可能エネルギーへ政策を転換し、それをきちんと表明すれば、関連産業の技術開発が急速に進むとともに、一般企業も自然エネルギー活用へと設備投資をはじめます。すなわち、雇用も創出することができます。 いまの原発は古いものから段階的に停止し、現状の原発立地市町村に、再生可能エネルギーの技術開発の拠点をつくり、雇用を守ります。(原発の後始末もできます。)
31956	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発は全面廃止にすべきだと思う	今回の福島原発の事故を受け、どれほど危険なものかを改めて知りました。これまで原発が壊れ、放射能が漏れてしまうことになったら、ということすら考えたことがありませんでした。そうしたことが現実となり、日本の美しい風土が汚染されて、そこで生きてきた人たちが避難せざるを得なくなりいまだに家に帰れない。安全に帰れる目途もはっきり示されないという状況を目の当たりにして、このような不幸を招くものはいらないと考えます。 安全対策を万全にすればいいという意見もありますが、震度9や震度10以上の大地震が、この先ずっとこないという確信はないですし、自然災害は時に人間の予想を大きく超えてしまいます。また人為的災害で事故が起きることも100%ないとはいえません。(チェルノブイリのように…)ということは、どれだけ知恵を絞っても"絶対に安全"といえる対策はつくれないです。絶対に安全と言えないのであれば、稼働するべきではありません。 電気が足りないと騒ぐ前に、家庭や企業(特に看板照明など、必要以上に電気を消費している店などはたくさんあります)が節電したり、他のエネルギー対策を進めるべきだと思います。
31957	個人	その他	50代	男性	ゼロシナリオしかありません	昨年の福島原発事故で明らかなように、「絶対安全」はありえませんし、地震国日本においては、原発に頼らない社会を築くことです。特に、原発から出る放射性廃棄物は、その処理方法も確率しておらず、長期にわたり厳重に管理しなくてはなりません。したがって、「ゼロシナリオ」しか選択肢はありません。
31958	個人	パート・アルバイト	50代	女性	◆2030年まで待たずしてできるだけ早くゼロにする「ゼロシナリオ」を選びます。	「ゼロシナリオ」を選ぶ理由 ◆原子力発電がなくても、夏のピーク時及び夏全体の需要を賄えるから◆ 再稼働に反対している市民の多くは、「原発の再稼働は需要を満たすためではなく、関西電力の経営破綻を避けるために行われた」ということを知っている。 ◆原発を稼働することのリスクは計り知れない◆ ・福島第1原発事故の被害者に対して東京電力が支払った賠償金や仮払金が、7月末時点で総額約1兆795億円になっており、今後必要となる賠償金が予想できない。そして信じ難いことだが、結局そのツケを国民に負わせるという暴挙を行おうとしている。「将来世代にツケを残さない」そんな立派な考えをお持ちの野田首相には、原発の問題でもその考えを貫いていただきたい。 ・既に原発サイトに貯蔵している使用済み燃料を地震や災害・テロからどのように守るのか？　使用済核燃料をどう処分していくのか？無策のまま安易に次の世代にその難題の解決を委ねようとしている。 ・事故により発生した放射性物質の人体への影響は未知の部分が多く、政府がよって立つところのICRPは究極的にはひとつの生命より経済を守る立場をとる立場にあるのだから、政府は国民の安全を保障することができないでいる。予防原則の観点からも原発は即廃止にするべきだ。 「世界最高水準の安全を目指す」といくら力説しても、その技術が未確立の現在、生命を脅かすリスクを伴う原発を運転することは国民の生活、命を捨てても経済を守る姿勢そのものだ。 この状況において、国民の生命と財産を守るべき日本政府が「原発ゼロ」以外のシナリオを選ぶ余地はないはずだ。
31959	個人	会社員・公務員	60代	男性	シナリオは原発か再生エネかの組合わせだが、原発はリスクが高く、再生エネはコスト高、不安定・低効率で、根幹システムになりえない。火力発電を根幹に据えるべき。CO_2温暖化説という間違いから脱却が必要だが。	原発比率による三つのシナリオが提示されているが、原発と再生エネ、CO_2削減の有機的関係が問われなければならない。 第一に地球温暖化問題。先般のクライメイトゲート事件によりIPCCの信頼が著しく揺らぎ、CO_2が温暖化の原因ではないことが明らかになりつつある。昨今太陽活動が気候変動を起こすという説が有力となり、今後は地球寒冷化が懸念されている。温暖化問題を科学として真実を追求し、その結果から今までの温暖化対策を反省すべきだ。CO_2が温暖化の原因でないなら、エネルギー選択は全く異なるものとなる。 次に原発。原発はコスト的に安価といわれるが、事故対策、事故後の費用、核燃料サイクル等全てを考慮にいれれば、はるかにコスト増の発電システムといえる。また、地震国日本では今後とも事故確率は高く、原発代替手段があればそもそもそんなリスクを取る必要はない。 原発の選択理由は、火力発電や再生エネ発電に勝ると考えられているからだ。原発は火力発電に勝るのか。それはCO_2との関連だ。温暖化問題が叫ばれてから、原発が急にクローズアップされ、特に鳩山前首相のCO_2、25%削減は原発の拡大を前提としていた。しかし、発電時にCO_2を出さないという言い方は全く子供じみた言い方で、言い換えれば発電しないときには原発建設、運用、維持等に大量の石油を消費しておりCO_2は大いに出している。だから「発電時に」CO_2を出さないという子供だましの言い方をしているのだ。これは、クレジットカードで品物を買えば現金は不要といっているのと同じ、お金は後払いになるだけ。原発はCO_2の有効な対策ではない。従って温暖化CO_2説が否定されれば、危険な原発でなく、安全な火力発電が有力な代替手段となる。 次に、原発代替として再生エネをどう見るか。原発重視派は再生エネに不安を覚え、脱原発派は再生エネを重視する。再生エネに関しては既に欧州で失敗しているといっていい。その事実をマスコミが報道しようとしない。まず、再生エネの本質と問題点を述べる。市井の研究者近藤邦明氏が書かれた解説を引用する。 「自然エネルギー発電の存在意義として、自然エネ発電は地下資源と違って枯渇することがない無限のエネルギー源という。いくら導入コストが高くても、石油、天然ガス等の節約になると大多数の大衆は信じて疑わない。しかしこの認識は本質的に誤っている。勿論自然エネルギーは無限と言ってよい。しかしこの自然エネルギーと今問題としている自然エネ発電とは全く別物だ。 　自然エネ発電とは、自然エネルギーを何らかの工業製品である発電装置によって捕捉して電気に変換する過程だ。自然エネルギー自体は無尽蔵にある自由財だから、自然エネルギー発電の本質とは発電装置の工業的な生産である。工業生産とは、何らかのエネルギーを使用して生産設備を駆動して製品を製造する過程である。生産設備自体も工業製品である。更に、原料費は原料の希少性と原料生産に投入されたエネルギー費用の二つの要素によって決まる。以上を考慮すると、工業製品価格は、原料資源の希少性と生産過程で投入されたエネルギー費用と人件費と利潤によって決まる。つまり工業製品価格の一定割合は投入されたエネルギー費用の対価なのである。 　さて、発電とは発電設備を使って電力という製品を製造する特殊な工業生産過程である。原料として投入するのは火力発電では燃料であり、自然エネ発電では風力や太陽光などである。投入したエネルギーを発電設備の運用によって電力という形に加工するのが発電である。つまり、エネルギーを投入してエネルギーを生産するのだ。その結果、発電技術の優劣はエネルギー産出比＝（産出エネルギー量／投入エネルギー量）によって絶対的に評価することが出来る。エネルギー産出比が大きい発電方式ほど工業的に優れた発電方式だ。 　石油火力発電のエネルギー産出比は0.35(計算式は省略)であり、太陽光発電の産出比は0.24＜0.35である。つまり同じ発電電力量を得るために太陽光発電は石油火力発電よりも多くの石油を消費する劣った発電方式なのだ。実際に太陽光を導入する場合にはこれ以外に電力安定化のための蓄電装置などの付帯設備が必要となり、それを含めたシステムで考えればエネルギー産出比は更に低下する。つまり、石油火力電力を太陽光で代替することにより石油消費量は飛躍的に大きくなるのだ。 自然エネの問題点をまとめると (1)自然エネルギーは空間的な密度の低い拡散したエネルギーなので、これを集約して工業的に意味のある有用なエネルギーにするためには例外なく単位発電電力量あたりの発電装置規模が飛躍的に増大 (2)自然エネルギーは予測不能な非定常な変動をするため、電力の安定供給のためにはバックアップ用の発電装置、蓄電装置、制御装置、揚水ダム、高圧送電線網の追加建設などの付帯設備が必要。 (3)自然エネ発電装置およびバックアップ用の発電装置、蓄電装置、高圧送電線網等を含めた"自然エネ発電システム"によって電力を供給するためには莫大な工業製品の製造と巨大施設建設が必要。 自然エネ発電は導入コストが高いことだけでなく、こうした巨大で不安定・低効率の発電装置を作り、運用するために石油などの工業的なエネルギーや鉱物資源を大量に必要とし、その結果として必然的に導入コストが高くなるのである。」 以上再生エネを主要なエネルギーに据えるということは、社会的な損失が途方もなく大きくなる。再生エネも原発の代替とはなりえない。しかし、CO_2温暖化説を捨て去れば火力をエネルギー戦略の根幹に置くことが最も合理的となる。 　火力発電の弱点として、資源枯渇問題があるが、原発のウランも85年しかないが、火力は石炭、石油、天然ガス、シェールオイル等多様性があり、資源量も今後とも問題はなく、輸入先も分散しているので途絶える確率は低い。結論として、早急に温暖化CO_2説から脱却し、将来100%火力発電とすれば問題は解決する。
31960	個人	会社員・公務員	40代	男性	原発ゼロを支持します。	福島の事故の全容の解明も出来ていない。有効な対策を確立できる迄は原発を稼動させてはいけないと思います。
31961	個人	パート・アルバイト	30代	男性	エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見 「2030年に原発0」ではなく、「即刻、原発0」をお願いします。 政府は本腰を入れて再生可能エネルギー開発に尽力すべき。	2030年までに、いつ大地震が来るとも限らないし、 原発を続ける限り、危険な核廃棄物を出し続けるので。
31962	個人	会社員・公務員	60代	女性	世界をめぐる太平洋と、地球を覆う大気が、今や日本の原発事故の影響を、世界中に垂れ流しています。 原子力は、人のコントロールをはるかに超えています。	広島、長崎の歴史を毎年を悼み続けてきた日本。地震大国日本で、福島の未曽有の災害と原子力発電所の爆発は、一国を壊滅するほどのものでした。首都東京はかろうじて免れましたが、そこに住む国民の状況は、今も決して安泰ではありません。 日本を護り、未来に伝えるとはどういうことかということを、もう一度考え直してください。 地球を見れば、日本は小さな、小さな島にすぎません。 地球は一体であり、人間が、生命や自然をコントロールすることはできません。日本の四季や自然の豊かさなしに、未来があるとは思えません。 国民はすでに決意して望んでいます。原子力発電をやめて、日本の知恵と技術を生かした、新しいエネルギー開発に向かってほしいです。
31963	個人	家事専業	50代	女性	ゼロシナリオを選択します。 できるだけ早い原発依存率 0%　をめざすべきです。	福島の原発事故の後、なんら安心できる改善策も講じられないまま、原発が再稼働されました。民意を反映しているとは思えません。すべての原発は一刻もはやく廃炉にすべきです。 代替エネルギーのことを心配する声もありますが、不便はしかたないと思います。2030年までには、技術も進み、0%を達成できると思います。 まずは、その方向で国をあげて取り組んでいくべきです。 核のゴミのことひとつ考えても、採算にあわないことは明確です。 子孫につけをまわすことは容認できません。 できるだけ早くゼロ%にする、ゼロシナリオを選択してください。
31964	個人	その他	50代	女性	「原発ゼロシナリオ」を選択 実施時期については「即時停止」	・事故リスクが大きすぎること ・福島第一原発事故の原因が究明されていないこと ・核のゴミを次世代に押し付けてはならないこと 上の3つの理由から原発の即時停止を求めます。
31965	個人	会社員・公務員	20代	男性	・今後福島のような事態を繰り返さない為にも、原子力発電を段階的に廃炉とし、代替エネルギー開発を国策として至急鋭意行うべきと考える。	放射性物質の危険性は様々な事故や記録で思い知らされてきました。 未だ福島原発周辺の住民の皆さんは古里を離れ何十万もの方が避難生活を送られています。 被爆国である我が国日本が原子力発電の技術において世界的に先進国でありながら福島原発事故が起きた以上、代替エネルギー開発や原発の廃炉を実行するべき。 国際的にも先進国のひとつドイツも廃炉を進めています。日本に廃炉がデメリットである理由はありませんし、将来の日本や子供たちのため、よろしくお願いします。
31966	個人	無職	70代	男性	原発は損害保険に入れない。事故時の被害額が巨大すぎて保険料が途方もなく高くなるからだ。最後は国家が出てきて税金で補填しているに過ぎないので、原発が安いというのは神話にすぎない。	福島第1原発の事故では原発が事故の時に制御不可能になり、1年経った今でも事故現場に人間が近づけない怖さを思い知らされました。2030年には事故原発の廃炉も終わらないでしょう。 　原発は民間の損害保険に入れない。事故の時の被害額が巨大すぎて、保険料が途方もなく高くなるからだ。最後は政府が税金で補償しているに過ぎません。損害保険料抜きに原子力による電力は安いというのは神話にすぎない。原発は資本主義の市場経済には乗らない代物だと思います。 　2030年の日本の人口は減少しているでしょうから、エネルギー消費を減らせる好機です。また2100年を見据えるとウランや石炭を含めエネルギー資源は枯渇に近づき高騰しているでしょうから、省エネルギーと再生可能エネルギーに頼らざるを得ません。エネルギーを大量に消費して必要性も小さいリニア新幹線などは中止して、日本の一次産業に労働力をシフトした方が国民の食糧確保と健康も守られます。

31967	個人	会社員・公務員	20代	女性	事故が起こる可能性、そして万が一事故が起こったときの対応　両面からみて、原発が稼動しているのは安全ではない。「0パーセント」を望みます。	事故が起こった以上安全性が100%でないとわかりました。原発は殺人を犯した(これからも内部被ばくにより犯していく)。 他に安全な発電方法(地熱ほか)があるのに利権のため行わないのは間違っています。 また事故後の被ばく者への保障はされていない。今後もされないのでしょう。かつての公害病よりも大規模・広範囲・長期的なものであるにも関わらず。そんなものが生かされているのは間違っています。国民の理解を得るには〇現在の放射性物質の状況、国民への保障〇今後の事故防止、事故が起こったときの保障内容を明確にする　のが先決です。 しかしそれは不可能でしょう。つまり原発は人の手に負えるものではないということです。
31968	個人	会社員・公務員	50代	男性	経済成長と省エネの双方を考慮に入れた必要電力量と、世代によって異なる原子炉の安全性と地下の活断層の有無から、安全に稼働できる原子力発電能力を算定し、その双方から初めて原子力発電の比率が求まるはず。	日本の国力を維持するための経済成長と技術論に立脚した省エネの双方を考慮に入れた必要電力量をまず求める。一方、世代によって異なる原子炉の安全性および原子炉の設置されている地下の活断層の有無等から、安全に稼働できる原子力発電能力を算定する。その双方から初めて原子力発電の比率が求まるはず。はじめに%ありきの議論ではないはずである。
31969	個人	無職	70代	男性	原発開発時に提起された放射能への警告は消去技術を持たない現在も正しい。正常運転時、事故時共に被爆よる遺伝子レベルの危険は許容出来ない。「ゼロシナリオ」を選択。代替自然エネルギー100%は可能と試算。	「エネルギー・環境に関する選択肢」(以下「選択肢」と略記)の「おわりに」に記載されている様に、3.11東北大震災と福島第一原発の被災による事故を契機に、私達は「原子力という選択の妥当性を根本から問い直す」ことの必要性に気づいた。今回のシナリオはそのきっかけの一つを考え、考察と共に意見を述べたい。 　震災前のエネルギー政策を考えると、国民はエネルギー政策に関与する機会はほとんどなく、原発の推進が国策とされ、地域毎の電力会社が国の支援の基に各種電力事業を独占的に運営してきたと云えよう。その為電力の消費者は安定受給と価格に関心はあるが、発電手段や供給については基本的に電力会社任せの状況が半世紀以上続き、見直しの機会はあっても改革はされなかった。 　しかしこの間、自然エネルギーの利用に関する技術の進歩はめざましく、太陽電池発電(PV)システム、風力発電、小中水力発電、又新型蓄電池などの実用化も進行中である。民間の活力と行政のインセンティブでこれらの技術は急速に普及が進む条件が整っている。しかし日本では原発推進の呪縛？の為か普及が予想外に進んでいない。 　自然エネルギーの潜在力は極めて大きく、例えばPVに関して、日本の国土の約2.6%(10,000km2)に太陽電池を分散設置し地産地消すれば日本の年間消費電力約1兆kWhが賄える。また日本に適した地熱発電や海流発電、波力発電、地上洋上風力発電、次世代バイオマスエネルギー、燃料電池と水素燃料、等は今後期待の出来る自然エネルギーで、重点的研究開発が期待される。これら「自然エネルギーのベストミックス」が今後の検討課題である。 　重要な視点の一つはエネルギー消費の高効率化による実質削減である。ここ数年の技術開発実用化は活発で、例えば高効率ヒートポンプ、内燃機関から電気モーターへの動力の転換、LED照明器具、外断熱住宅、等の普及が進行中である。一部地方自治体や国の普及支援も見られる。これら20%普及で現状消費エネルギーの25%以上の削減が見込まれる。 　一方、原子力発電所システムをどう扱うかが大きな課題である。「選択資料」の「はじめに」にある「・・・原発依存度低減に向けたエネルギー・環境構造への転換」は「原発への依存度を減らして存続させる」と解釈される。しかし前出の「・・・選択の妥当性を根本から問い直す」のであれば「原発を利用するのか、利用しないのか」について検討して方向性決める必要があろう。玉虫色で中途半端な政策や活動は無駄が多い。日本はこの様な無駄が可能な状況にあるとは思えない。 　根本から問い直す為には60年前の原発研究開発の歴史経過を辿る必要がある。原子力の平和利用として原発が進められた初期に、核分裂反応で生じる放射性物質の取り扱いについて核物理学者から慎重論が提起された。当時の為政者、関連産業人がこれを無視して強力に推進してきた歴史がある。「選択肢」の各所に見られる反省にもかかわらず、基本的には3.11後もこの傾向は変わっていない様に思われる。一方、放射能の消去技術は現在も開発されておらず、原発の稼働により原子炉の中では放射能が生産され続け、後処理やメンテナンスに関わる問題が数世代から数百世代後まで残る。原発作業員への被爆の問題は正常稼働時でも起こるし、事故時の悲惨さは言語に絶する。この様な危険作業には代償として高給が支払われる為、線量の不正申告や人権差別など、構造的に社会的モラル低下の温床になりやすい。放射線は微量でも生命の設計図である遺伝子DNAを傷付け、生命存続を否定する作用のあることには最も留意する必要がある。 　以上の論点から、私は「ゼロシナリオ」但し2030年に自然エネルギー100%を目指し、全原発は即時停止、を選ぶ。 その為に成熟技術になっているPVは企業、個人、国が協働して全国の空き地、遊休地、耕作放棄地等、国土面積の3%程度(前記理由による)を目標に設置を推進する。小中水力発電、風力発電の適地を全国で探索し、企業、個人、国で協働し設置を進める。また従来の送電インフラに加えて、地産地消に適した送配電インフラの整備を国等が主体になって行う。地熱発電、海流発電、洋上風力、次世代バイオマス等に関して各専門企業を育成し国が協働して開発、実用化を5年計画で強力に推進する。これらの開発技術は日本の強力な輸出産業となり、合わせて国際貢献にもなり、国際平和にも役立つ。 　自然エネルギー産業への構造転換施策により各研究開発分野人材の増強、同産業関連労働者の雇用機会を生み、同分野学生の増加を誘導し、元原発関連労働者等を吸収する。なお原子力発電は廃炉技術を中心に応用工学として存続が必要で、合わせて偏りの無い学際的専門知識を持つ学生、技術者の育成も重要である。科学としての核物理学、理論物理学分野の充実も忘れてはならない。 　前記の選択により、「選択肢」の1.(1)「・・・検証するに当たり踏まえるべき視点」の1)、2)、3)、4)等が考慮される。(2)「エネルギーの選択に当たって重要となる4つの視点」の1)は安全な廃炉プロセスの研究開発が中心となる。自然エネルギーの源泉は太陽エネルギーであり、エネルギー安全保障にとって最適な選択である。3)は満足。中長期の自然エネルギー関連の広範な新産業が4)を解決すると考えられるが、民・官の協働が鍵になろう。 「ゼロシナリオ」の場合、現存する原発の廃炉問題及び既に貯まった放射性廃棄物の処理を、災害時の対処法も含めて考える必要があり、今後の重要検討課題であるが、継続稼働させるよりは安全で、長期的に見て経済的でもある。
31970	個人	家事専業	60代	女性	原発を2030年まで待つことなく「ゼロ」にすべきです。	外部被曝、内部被曝とも心配しながらの生活はたまりません。 飲料水、野菜、お茶、魚などいつも注意して買い物しています。 3月11日の事故前は、新鮮な食料品はいつも身近で購入できましたし 、安く買うこともできました。 それが事故後は、大変な事になってしまいました。 誰の責任でしょうか、 政府・通産省・文部科学省・東京電力・原子力関連大企業(東芝・日立・ 三菱)・受け入れた地方自治体・原子力関係の大学教授・推進した政治家 ・そしてマスコミが今日の原発をここまで導いたのです。 いわゆる「原子力むら」が一体となって、むらの都合の良いことのみを国 民に知らせ、不都合な事柄は「安全神話」で片付けてきた結果ではない でしょうか。 国民を不幸にする原発は一刻も早く廃炉にする決定をしなければなりません。 次に事故が発生すれば日本に住むことが出来なくなってしまいます。 企業が利益のみを追求する事が本来のあり方でしょうか 、地域住民の生活の安全共存共栄こそが存在価値があるのです。 放射能に関しては詳しくはしりませんが、原発燃料の廃棄処理に多くの問 題を抱えて恐ろしく長い歳月が必要とされるとのことです。 将来の日本を担う子供達に原発は必要ないのです。全員で今以上に節電に 協力すれば、原発に依存しなくとも生活出来るのです。 何回も言います、原発はすぐにでもやめて下さい。
31971	個人	無職	60代	女性	(1)選択肢1. 今すぐ原発ゼロを選択する。 政府の誤ったエネルギー施策の結果「2010年時点で年間約17兆円の化石燃料を輸入した」(本文p.2)という結果を招いた。	意見と理由 「2010年時点で年間約17兆円の化石燃料を輸入した」(本文p.2)というが、これは偏に原発推進と核燃料サイクル維持のために、電気料金に上乗せさせた税金を使って、立地地域を交付金で自治体としての自立を奪い、宣伝に次ぐ宣伝で強引に原発と核燃料サイクル政策を推し進めた結果である。核燃料サイクルを核とした原子力政策から即刻撤退し、全ての原発を廃止すべきだ。原発と核燃料サイクルの廃止しは、17年間パブコメを通じて主張し続けてきた。
31972	個人	パート・アルバイト	50代	女性	ゼロシナリオを指示する。理由は、 核廃棄物の安全な処理方法が確率されていない。国民を危険にさらすようなことは、道徳的倫理的に許されることではない。自然と調和した暮しに戻り、世界に手本を示すべき。	ゼロシナリオを指示します。理由は、 1, 事故が起こらなくても、核廃棄物は出続ける。次世代に押しつけてはならない。 2, 自分達の利権のために、国民を危険にさらすようなことは、道徳的倫理的に許されることではない。 3, ガスの輸入の値段が高いから経済に問題が出ると言われるが、日本が長期的に契約をして高いだけであり、3～4年で値段は下がるので解決する。 4, 日本人は、歴史的に自然と調和した暮らしをしてきた。日本人の知恵・技術をもってその道に戻り、世界に手本を示すべき。
31973	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを選択する。国家、放射線影響研究所は残留放射線の人体への被害影響を恐れて研究を進めていない。リスクへの対応できない国家に管理が難しいリスクのある原子力をこれ以上使用させることはできない。	戦後に原爆傷害調査委員会が原爆に遭われた人々の体を用いた貴重な情報を集め、さらに放射線影響研究所がその情報を吸収し、さらに原爆被害者の追調査を行っている。現在、黒い雨などの残留放射線の調査実施内容については、放射線影響研究所の所長が「その当時の放射線量が不明であるため開示できない」と公開に応じていない。残留放射線の開示・研究を求めない国家、また、その当時、残留放射線が原爆の直接放射線の被害を超えないとして対応した国家、さらに、現在も被害者対応していない国家にこれ以上原子力の利用を任せることはできない。さらに、津波による原発事故のリスクがあるという意見を無視してリスクから外した体制を作り上げている国家には、今後の原子力を管理させることはできない。エネルギー対策の趣旨とはそれるが、早急に放射線影響研究所のデータの開示、共同での研究を進め、現在福島で起こっている被害、を最小限に食い止める政策をとるとともに、原爆症を患っている方々に対応していただきたい。 エネルギー対策を考えると、これまで生物が残した大いなる遺産＝化石燃料、また逆に、今後の世代に処理を回す、負の遺産＝原子力はなるべく小さくしなければならない。今後、未来永劫、人類が発展できるようにするため、皆で力を合わせて、過去の遺産＝化石燃料がある今の時代に、太陽光、地熱などの未来永劫人類が発展できるエネルギーの開発を行ってほしい。 一方、エネルギー政策には国家だけではなく、我々も取り組めるところがある。これまで浪費ばかりしてきた日本の節電は始まったばかりである。今後も節電・エネルギーの節約を行いながら発展していける日本にし、そのエネルギー対策を全世界に示し、輸出できるようにしたい。 私たち世代も今後の世代も同じく幸せに暮らせるよう、原発のゼロシナリオを選択する。
31974	個人	その他	60代	男性	[エネルギー・環境に関する選択肢」の[ゼロシナリオ]を指示する。	2030年まで18年もある。国がしっかり方針を明示すれば官民挙げて研究、技術開発に邁進するようになる。日本は唯一の原爆被爆国。それに今回の福島第一原発事故による原発被爆国にもなった。核廃棄物の最終処分も安全に行うことが出来ない人類にとって核廃棄物の増大は生存そのものをも脅かしかねない。 原発によって電気エネルギーが安く供給されるから必要だという意見は目先の利益を追い求めるエゴ的な考えといえる。 子供たちや孫たちの将来を考えれば目先の経済効率化に惑わされてはならないと考えます。 日本には人類が処理できない核によるエネルギーに代わるエネルギーの開発がきっとできると思う。それに注力することによって世界に新しいエネルギーに関する研究開発でリードしてゆくことが望まれる方向だと思う。 福島第一原発の破壊された建物が今後数年内に鉄筋などの劣化によって崩壊し多くの放射能が再度放出される可能性も懸念される。 万が一別のところの原発が同じようにメルトダウンするような事故になれば日本の国そのものが危機的状態になる、非現実的といわれるかもしれないが国民の多くは原発の安全神話が完全に崩壊した今は真剣にそのようなことを心配している。 今、被曝大国日本だからこそ世界に向かって脱原発を目指し、新しいエネルギー開発で世界をリードすることこそが求められていると思います。
31975	個人	学生	20代	男性	これからの日本の将来を考えたときに、未知数のリスクを持つ原発は必要ないと考えています。日本の経済成長には限界がきているため、大規模な原発ではなくコンパクトな再生可能エネルギーへの投資をすべきだ。	絶対的に安全とは言えない原発をこのまま作り続けるのはおかしいのではないだろうか。国民の生活を守る義務は決して経済をまわす事が最優先事項だとは思わない。国の財産である子供の将来を守る事が"大人"の義務であり、責任ではないだろうか。2008年以降人口の自然減が始まり、経済が成長し続ける事はあり得ない中での経済成長という言葉には虚しさすら感じる。私が生まれてからこの国が経済成長になって豊かさを感じた事は一度もない。そもそも、私は豊かさは経済による物ではないと強く感じている。仮に原発を動かし続ける事によって、経済が回るとしてもこれからの時代において豊かさを享受できる人がどれだけいるだろうか？私たちの考える豊かさはお金ではない。もちろんお金や電気の必要性は十分理解している。それらから、日本が本当にお金をかけなければならないのは大規模な原発の開発や運転ではなく、コンパクトでヒューマンスケールな再生可能エネルギーではないかと考えられるのではないか。森林バイオマス、地熱、太陽光、太陽熱、風力等どれも環境負荷、災害時のリスクに対して原発よりも大きなアドバンテージを持つ。技術的にはまだまだ改善すべき点があるが、国策として力を入れていく事で乗り越えていく事が出来るのではないか。まず、始める事が大切ではないか。机上の空論はもう十分。また、国民に意見を聞くことも重要ではないか。再生可能エネルギーにすることで苦労する部分が出てくるかもしれない。しかし、安全でコンパクトなエネルギーを使う事のメリットをきちんと国民に説明することで理解を得る事は可能だと、国会前の反原発のデモをみて感じた。日本は唯一の被爆国である。同じ過ちを二度と繰り返してはいけないと思う。
31976	個人	家事専業	30代	女性	1.ゼロシナリオを選択します。 今すぐにも再稼働した原発を止め、日本中の全ての原発を廃炉にすべきだと思います。	《地震大国日本に、原発は合わないと思います。》 いつ起きるともわからない大きな地震の可能性があるこの国で、原発を稼働させているというのは、自然を甘く見過ぎており、自信過剰です。今すぐに再び日本のどこかで大きな地震が起こってもおかしくないと散々言われているのに、何年先に原発ゼロなどと流暢なことは言っていられないと思います。今すぐ、再稼働した原発を止め、日本中のすべての原発を廃炉にすべきです。小さなことでも、再びなにかあれば、日本人は東日本大震災と福島第1原発事故からなにも学ばなかったと世界中からバッシングされ、万が一、3.11以上の大きな事故になったりでもしたら、間違いなく、日本は世界中の加害者となることでしょう。 《みな覚悟はできています》 　経済活動を優先し、より便利で物質的に豊かな国が先進国というのは、もう古い考え方だと思います。自然と共存するためのよりよい方法を模索し、自然とのバランスを取りながら経済活動を進めて行くのが、これからの、本当の先進国の考え方だと思います。 　電気が足りなくなるかもしれない、今の生活がどうなるのかわからないという不安に立ち向かい、今までよりも不便な生活や我慢をする覚悟は、すでにたくさんの日本人ができています。国の経済、国民の生活、などと言っているのは政府だけであり、国民の目はすでに自然、いのち、地球の未来に向かっています。 《ふくしまの皆さんを忘れないで》 　大飯原発の再稼働については、国は避難生活者の皆さんのことを軽視しています。いまだ我が家に帰れず、悲しい避難生活を強いられている福島のみなさんのことを忘れなければ、再稼働、原発の存続などという考えは浮かばないはずです。生活できるはずの家があるのに、帰れない。営みはそこにあるはずなのに、戻れない。こんな悲しいことはありません。二度とこんな思いをする人があってはなりません。原発が日本にある限り、こんなことが再び起きる可能性は残ります。 《国のプライドより国民と未来を》 　国の発展より国民の安全を、お金より人間・生物のいのちを、経済活動より人の心を、国のプライドより日本と世界中の子供たちの未来を、大事にしてほしいです。それが今、日本人と日本の政府が世界に示せる強さと誠意だと思います。どうかもっと謙虚に。
31977	個人	会社員・公務員	30代	男性	原発は0に 再生可能エネルギーに転換して地球と共生できる仕組みへ	これは電力の過不足の問題ではない。 そもそも電力は日本全国での需給で考えればカバーする事ができるはず。ただ電力のピークタイム対策を実施する必要はある。 原発は、事故の際の補償コストや対策コストまで含めてコストを計算すべきである。また、一度事故が起きた場合いくら除染しても住めない地域が出る。この場合、日本の狭い国土を考えたらその損失は莫大である。 そして政府はきちんと原発の危険性を周知すべきである、地震、津波、豪雨、竜巻、火山など日本の自然災害の多さと、それらが複合的に発生した場合に原発は全く耐え切れない事を正確に伝えるべき。 原発に関わる助成や補助の予算を再生可能エネルギーに転換すれば、大きな産業にもなるし各地域に分散して様々な発電所を設置すれば災害時のリスク分散にもなる。 再生可能エネルギーへの転換は地球規模の環境問題としても非常に重要な課題である。日本の技術をもってイニシアジブをとるべきである。そして原発から出される温排水は化石燃料を燃やして発生する二酸化炭素より環境影響が大きいことも周知すべき。 東京電力などメジャーな電力会社は"実質国有化"ではなくきちんと国有化して管理すべきである。 さらに東京電力は原発事故に関して全ての資料を塗りつぶしなく国民の前に開示すべきである。
31978	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電比率について	日本の電力単価は諸外国と比較し非常に高いと考える。安全面から見れば原子力発電を止めていく方がﾍﾞﾀｰであるが、他国との競争を余儀なくされる産業界にとっては死活問題である。再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰの負担も年々増加することが予想され、益々国内での生産は競争力がなくなる事が予想される。原子力発電の比率よりも、世界で一番高いLNGの購入努力、高発電設備の導入等を考えていき、原子力発電への補助金等、処理費を考えればもっと発電ｺｽﾄは下げれると考えます。原子力の比率の前にその事を考えるのが先決と考えます。

31979	個人	会社員・公務員	50代	男性	1. 再生可能エネルギー比率を非常に高い設定をしていることに反対する。 2. 福島の事故原因追求、事故防止対策、事故が起こった場合の対策をとること。 3. 地熱の有効活用を積極的に行うべきである。	エネルギー・環境に関する選択肢（H24/6/29　エネルギー・環境会議）資料を読んだが、以下の点に疑問を持たざるを得ない。 1. ゼロ、15,20～25シナリオは再生可能エネルギー比率を25～35%に非常に高い設定をしているが、この比率では原発比率にかかわらず、GDPは急悪化し、電気料金は高騰する。RITEのエネルギー・環境会議選択肢に替わる選択肢の提案（2012/8/2）も述べているように、CO2削減制約なし（電源構成の変化のみ）が国民生活にダメージを与えないやり方であると考える。 2. 福島の事故原因、事故を起こさない対策、事故が起こった場合の対策をしっかりとった後に、原発比率を議論することが必要であると考える。今回の事故で福島県民のほか、周辺県までも原発反対になった。原発を動かせても、北日本（青森県から北）と西日本（名古屋以西）でしかも太平洋岸以外（大地震の可能性が少ない）ではないか。 　これではゼロシナリオに近づかざるをえない。 3. ｴﾈﾙｷﾞｰ・環境に関する選択肢【経済影響分析結果一覧】の中で、2030年の再生可能エネルギー比率で太陽光が　0%　→　4%、風力が　0%　→　2%　に対し、地熱発電は　0%　→　1%　は低すぎる、もっとあげるべきだ、と思います。なぜ、太陽光や風力などの変動の大きい再生可能エネルギーに比べて、発電地熱発電が2~3%と低く設定しているのか。　地熱の現使用者である温泉や多くの地熱源である国立公園での自然への影響を考慮する必要はあるが、地熱の有効活用への研究・投資を積極的に行うべきである。
31980	個人	家事専業	40代	女性	原発を今すぐゼロにするべきだと思います。選択肢の「ゼロシナリオ」は、いつゼロにするのかが明確でないので、不十分です。	原発は、今すぐゼロにするべきです。一番大きな理由は、未だ人類は核廃棄物の無毒化の技術を開発できていないからです。これ以上、子孫たちへの負の遺産である核廃棄物の量を増やしてはなりません。また、東日本大震災の後、日本では各地で地震が頻発しています。地震国日本では、原発は特に危険だと思います。 原発をゼロにするために、具体的な方法として、以下を提案します。 （1)今ある「原発の町」は、原発が無いとやっていけなくなっています。原発に代わる産業を興すための補助を行い、国を挙げて助けていきます。 （2)再生可能エネルギー発電をシナリオより多く導入します。（環境NGOによると、電源構成における割合は、2030年には52～63%を想定しています。）そのためには、電力の自由化や、発送電分離が不可欠です。 （3)省エネを、シナリオより多く進めます。（1割は少なすぎます。）省エネの技術や、病院などが困らないよう、蓄電などの技術開発を、国が補助します。 （4)日本国民のエネルギーに対する意識を深めるため、もっとオープンな場での、十分な議論が必要です。原発是非の討論を、NHKなどでもっと本格的に行うべきです。 （5)原発の是非は、一部の政治家が決めるべきことではありません。原発是非の国民投票を行うことを提案します。
31981	個人	自営業	30代	男性	原発比率0%のゼロシナリオを支持します。不自由や経済負担の増加を伴ってでも、安全に暮らせる社会づくりを優先させてほしい。	経済成長・GDPの増加よりも、安全に暮らせる社会の実現を望みます。
31982	個人	無職	60代	女性	選択肢1．原発ゼロを選択する。 　概要「2010年時点で年間約17兆円の化石燃料を輸入した」（本文p.2）は政府の誤ったエネルギー政策の結果であり、日本は自然エネルギー大国である。	意見と理由 「2010年時点で年間約17兆円の化石燃料を輸入した」（本文p.2）という記述は、再生可能エネルギーの芽をつぶし続けてきた結果である。 日本は地熱発電の可能性、海洋風力、潮流、バイオマスなどの発電が自立できないように送電線の利用制限、地域でエネルギーをつくるための支援も放棄した。大企業が地域を買い取る形で風車を建てさせる。そうではなくて、地域が風車を建ててよい地域を自ら選び、そこから利益が得られるような支援が必要なのである。 このような施策が陸、海岸等で中山間地で長年取り組まれていれば、「年間約17兆円の化石燃料」はずいぶん減少し、地域で経済が廻る仕組みが見えてきた。 早急に再生可能エネルギー重視、原発ゼロに転換すべきだ。
31983	個人	無職	60代	男性	原発はゼロにし、量より質を重視して生活スタイルの全面的転換を図らねば人類に明日はない。子孫に核のゴミをつけにして残してはならない。	エネルギー政策の選択の問題は、現在我が国が直面している少子高齢化や年金・福祉政策、さらにはグローバルなレベルでの資源・環境問題と決して無縁ではありません。量的な経済成長路線は地球を破滅させるほかないことは今や明らかです。これからは量より質を重視して生活スタイルを全面的に転換するほかありません。当然、原発はゼロにしなければなりません。核のゴミを子孫につけで残すことは耐えられない苦痛です。 なお、経済界は原発ゼロに猛反対しているとのことです。産業立国といいますが、企業は国際競争の中でますます利潤追求にのみ汲々とし、社会的責任を果たさなくなってきています。産業（企業）功成って万骨枯る、となるのを許してはなりません。国の主人公は企業でなく国民です。企業あっての国民でなく、国民あっての企業であることを産業界は思い出してもらいたいものです。
31984	個人	会社員・公務員	40代	男性	2030年の電力量における原子発割合を0%にしてほしい	原子力エネルギーの使用後核燃料を制御できない現状で、数万年とも言われる期間、後生に核廃棄物を残していくことは、今後の人類最大の汚点で有り、原子力発電を即刻中止して欲しい。 そして、その大きな財源を再生可能エネルギーの予算として活用すべきであると考えます。 それが、世界唯一の被爆国である、日本の使命でもあると思います。
31985	個人	無職	60代	男性	再稼働なき0ベースで。原発は放射性物質発生を伴う特質から安心と云える技術開発は不可能である。経済性倫理性においても進めるべきではない。現状妥協の惰性で0ベースにするのではなく再稼働なき0ベースで行く。	【はじめに】 いろいろな立場の人々から意見を集めているとのことで手をあげました。 それは最近生まれた孫を見て低線被爆の影響に不安を持ちながらの子育てを強いられている息子夫婦と同世代の福島の人達を他人事にしてはならないと思ったからです。 私は今までは“寝た子を起こすな。寝ていてください。”の寝ていた側でした。 一からリセットを強いられた戦後に生まれ、両親の懸命な働きのおかげで学校を出て、一企業の機械技術者として海外展開などを通し高度成長を切り開いてきた世代の者です。家庭では3人の子供たちを世に送り出し今はそれぞれ所帯を持ち今の世を担う者達になっています。私は定年後の再雇用期間も終わり64才です。 今の世の中、情報公開はまだまだですがTVや新聞だけでなくネット上でも色々な情報が飛びかい接することが出来るようになりました。今回、自分の技術開発の経験を通し意見をまとめました。 【原子力発電所の安全性の考察】 　東京スカイツリーなどの巨大建築、車、新幹線、等々またスパコンによる各シミュレーションや宇宙ロケットの信頼性の向上など、傍目には目を見張るように見えますが携わっている人達たちは社運やプロジェクト存続の危機の中でトライ＆エラーの懸命な努力で積み上げてきたものです。 しかしながら原子力発電技術はそれらと同等な環境下ではない。 気の遠くなる半減期の放射性廃棄物が発生しそれを消し去ることは技術が見いだせないでいる。 放射性廃棄物の発生や巨大建造物が故にトライ＆エラーは限定されシュミレーションの精度も上がらない。あくまでもある仮定の中での域を出ることは出来ないし一般のプラント設備と異なるものです。一旦事故が発生した場合の影響を考慮するとなかなか限定や割り切りはできない。今回の事故、六カ所村の再処理工場やもんじゅの技術開発状況がそれを示している。 国主導の採算を度外視しているのにかかわらずである。ましてや経済性を考慮せざるを得ない企業の原発事業の設計は割り切りと限定のなかで進めざるを得ない。 放射性物で材料が脆くなり放射物に怯えながら取っ替え引っ替えしがそれもままなくなり、解体となっても簡単ではなく解体物のリサイクルも出来ない。その破棄場所もなくその場に封じ込めて置くしかない。そのため既存の原発設備はそのまま棺桶方式とせざるを得ないのではないか。そしてこれらの無用の長物は未来永劫まで維持管理がつきまとう。 この事一つとってもまた、保険対象外になっている原発を一企業が取り扱え代物ではない。 もうこれ以上無理やり国策で進めることは出来ない。 【原発の今後の対応策】 再稼働なき0ベースを実施する。 【理由】 地震国の日本には2度目の事故はかなりの確率で考えられる。ヒューマンエラーや想定外が発生することは過去の原発事故から示されている。事故の影響を考えると確率で割り切れるものではない。 現状の0ベースは元通り再稼働し耐用年数で順次廃炉にし30年後に0ベースになる。その後また見直しするとなっている。 これでは現状に妥協しこのまま惰性で行くことである。 技術イノベーションは不退転の状況にしなければ技術スルーは難しい。 各種の技術プロジェクトの成功はそれにつきる。それに現在は精神論では無くまだ日本は技術分野の底辺が広いので情報の共用と協力体制で行えます。 貧しいながら江戸時代庶民レベルの心豊かな文化を花咲かせた300年や原爆2箇所での戦後のリセット及び今回の3.11を通し日本人にはそれが可能です。かなりの不自由さは経験済みですし耐えれます。　チャレンジし決して諦めないで行きましょう。
31986	個人	自営業	50代	男性	選択肢の中では「2030年原発ゼロシナリオ」を選択しますが、即刻廃炉すべきです。地殻変動期に入ったといわれるほど地震が頻発している日本で次に、フクイチ事故を再現する事になれば国家存亡の危機です。	それればかりか人類全体に取り返しのつかない事態を招きかねません。もはや、原発震災事故は想定すべきこととなりました。福島第一原発事故のもたらした損失は未だ何の解決も見ぬほどに深刻で実際の損失は到底電力会社で購いきれるものではなく、国民全体を窮地に陥れています。 原子力発電を速やかに全廃し、地産地消型の新エネルギー利用に転換して新たな雇用を生み、エネルギー産業をシフトすべき時です。ドイツのように転換の成功例もあります。 原発再稼働のロシアンルーレットでは安定した将来のビジョンはありません。万一、暫く過酷事故に見舞われなかったとしても、（必ずいつかは起きますが）最終処分が不可能である核廃棄物を増やして未来に禍根を残すばかりです。 持続可能な社会を目指すとき、原発はあってはならない危険要因の最たるものです。 福島の現実に学ぶことを疎かにし、問題を先送りして今度は誰が責任を取るのでしょう？無責任な政策と一刻も早く決別し、子どもたちに明るい未来を残す事こそ、我々の取り組むべき事です。
31987	個人	会社員・公務員	50代	男性	どの案でも電力単価のUp（+6.5～+5.5円/kWh）となっている。この単価Upでは、生産コスト上昇を余儀なくされ、コスト競争力が更になくなる。その為、国内産業の空洞化が更に起きることが懸念される。	現在の円高は、変調の兆しが無く（円安になる可能性が低い）、輸入鋼材が格安で入ってきており、販売量や販価の低下を余儀なくされている。 また、中国では大規模な設備投資により粗鋼生産量が飛躍的に増えているが、それも中国内部での消費がある内は良いが、将来的には、輸出に振れてくることが予想されている。 その状況化で、今でも安くない電力単価の更なる上昇は、国際的価格競争力低下を招き、太刀打ちできなくなる。 その結果、国内での生産活動ができなくなる。 GDPが2割増加という大前提条件も狂いかねない。 シナリオ作成の4つの前提条件 ・原子力の安全確保 ・エネルギー安全保障の強化 ・地球温暖化問題解決への貢献 ・コストの抑制、空洞化防止 のうち、地球温暖化問題解決への貢献は、必須項目でなく、努力項目とし、電力コストの抑制、空洞化防止に重点を置いたシナリオの再検討を望む。
31988	個人	その他	50代	女性	日本社会存続のために、原発ゼロを求めます。	廃炉対策、廃棄物処理、炉心溶融時の収束方法など、どれをとっても原発は未完成の技術だと思います。火力発電所のように送電効率を考えて大消費地近くに建設しなかったことだけでも、既に安全神話は破綻しているのではないでしょうか。 国土の狭い地震大国日本で大事故を起こすと、破局的事態となり、経済発展や省エネどころではありません。テロ対策にも限界があります。放射能は国境を越え、未来世代にも負の遺産を残します。 目先の損得で政策を考えてはならないと思います。 再稼働で貯まり続ける使用済核燃料、下請け作業員の被曝問題、破局的事故のリスク･･･。 これらは現在進行形の問題です。 国民の一人として、今すぐ、政策転換を求めます。
31989	個人	無職	40代	男性	すべての選択肢を否定します。原子力依存度を即時0%にすべきと考えます。	すべての選択肢を否定します。原子力依存度を即時0%にすべきと考えます。 今すべきことは原発の再稼働ではなく、被災地住民、中でも子供たちの疎開であると考えます。 天然ガスの価格は低下を続けており、その可採埋蔵量は増え続けており、適正な交渉を行えば今よりも電気料金を安くすることも可能と考えます。経済への悪影響は、わざわざ作り出さない限りないものと考えます（そして現状はわざわざ高く買っているようですが）。 今後のことを考えれば埋蔵資源消費型のエネルギーから自然エネルギーへ転換を急ぐべきであり、すでに経済的にも欠点が明らかとなりつつある原発はできる限り早期に廃炉とし、安全を確保できるように核燃料を管理する体制を作るべきと考えます。 短期的にはLNG火力を増強し、今後はシェールガスの採掘を急ぎ、長期的には自然エネルギーへの転換を推し進めるべきと考えます。 そのためには電力の自由化を行い、独占体制を今すぐに解消すべきと考えます。
31990	個人	パート・アルバイト	30代	女性	ゼロシナリオしかありえません。ただし、原発ゼロにしつつ、さらに踏み込んだ省エネ、自然エネルギへの変換を。	原発依存度はゼロにすべきです。今の日本の技術をもって、自然エネルギーへの変換が不可能だとは考えられません。また、3.11を経験した今、ある程度の不便を受け入れる覚悟は国民にあるはず。 政府は、提示のゼロシナリオからさらに踏み込んで省エネ、環境維持を進めるために、さらに自然エネルギーの開発に力を注いで欲しいし、注ぐべきだと考えます。 あの震災の後に、まだ原発を動かそうとする、その感覚が理解できません。被爆国の一人として恥ずかしい思いです。経済的というより、核保有の放棄を恐れているとしか思えません。国民の生活を守るには、国民の命を守ることが必要だとは分かります。ですが、核をもってでしかできないことでしょうか。 どんな形であれ、とにかく原発はゼロに、というのが私の意見です。
31991	個人	自営業	40代	男性	もんじゅを速やかに 廃炉にして下さい。	維持費がかかり過ぎるのと トラブルが起きた時に プルトニウムは 危険過ぎる 日本と言う 国自体が 無くなりかね無い 危うさに 誰がどの様に どうやって 責任をとれるのか お答え願いたい。
31992	個人	家事専業	20代	女性	「エネルギー環境に関する選択肢」に対する意見。 2030年ではなく、即刻原発0を主張する。	いたる所の原発直下に活断層。日本の地震学者の多くの見解は「巨大地震サイクルに入った」。明日にも福島同様の惨事を招きかねない。政府は早急に自然エネルギー比率を増やすスケジュールを国民に示すべきである。
31993	個人	会社員・公務員	30代	男性	ゼロシナリオを支持します。	2030年までに（原発を稼働させることなく）廃炉にしてください。 事故に対する安全性という面が何より大きいですが、同時にそもそも我々に処理できる能力がない廃棄物を作り続け、増やし続けるという危うさ、無責任さに疑問が残ります。 これまで日本は国策として原発を推進して来ました。 そのお陰で今の高度に発達した経済社会が気づかれたのは明らかです、豊かに暮らせている現状には感謝をしなければなりません。 しかしながら、この先のことを考えてしまいます。 いつまでこのような目先のことだけを考え、臭いものには蓋をする、という自転車操業的なエネルギー政策を続けていくことができるのでしょうか？ もちろん事故への恐怖もあります。 福島の被災地が、今後何万年という間、人が住めない地域となるのと同じように、他の地域もそうなる可能性があります。 それは、ひょっとしたら自分の住む場所かもしれない。 自分の親類や愛する人が暮らす町かもしれない。 そんなリスクと背中合わせの暮らしをして行かなければならないのでしょうか？ 日本はそれほどまでに住みにくい国になってしまうのでしょうか？ 私は、私の次の世代、さらに先の世代への責任として、原発という不確かなものを残しておくことはできません。 彼らの世代にキタナイものを押し付ける。 そんな無責任な選択を、今したくはありません。 電力不足については、節電や計画停電でなんとかなるということは、これまでの実施状況から分かると思います。 [illegible]

						また、太陽光や風力、そしてなぜか遅々として進まない地熱発電といった、日本の資源を生かしたエネルギーを積極的に発掘していくことで、さらなる電力需要、及び脱化石燃料のためにもなると思います。 私は原発に反対です。 原子力に依らない、自然エネルギー大国・日本。 これが、これからの日本の進むべき道だと信じています。 どうか、ご検討のほど、宜しくお願い致します。
31994	個人	無職	60代	女性	選択肢1. 原発ゼロを選択する。 エネルギーは多様で、電気だけではない。 政府はエネルギーイコール電気と、誤っ判断をし、それを国民に刷り込んでいる。	意見と理由 エネルギーのつくりかたは多様で、電気だけではない。 北欧では電気、ガス、廃熱もエネルギーである。 しかし日本では政府が石油、石炭などの化石燃料が少ないことをもって、「資源の少ない我が国」と言い続け、国民を電気漬けにした。 オール電化その典型である。 ところがオール電化住宅は電磁波、停電問題をクリアできない。 電気が止まっても、ガスがあり、熱で冷暖房し、地域ごとの再生可能エネルギーがあれば地域で対応できる。
31995	個人	会社員・公務員	30代	女性	原発は一時間でも早く、全廃炉しかあり得ない。もし、アンケートで選択肢があるならば一番早く廃炉、割合も一番低く、だ。	原発は利権と危険だらけで一部の人が儲かり、一部の人が犠牲になるためのものでしかない。今回の東電や政府、都道府県市町村の対応のいい加減さをみて、次も同じ対応をするのかと思うと、怖くて仕方がない。 また、はっきり言って、電気は足りているし、経済もストップしない、原発なんて、ある意味がない。総括原価方式を廃止し、発送電の自由化をして、電力会社が今までどれだけ利益を得てきたか、公にするべきだ。
31996	個人	無職	70代	男性	日本全土のすべての原子力発電所を撤去することを切望します。	目の前の経済性の追求より、将来の子どもたちの命の方が重要な事は、だれにでも分かることです。いますぐ日本は脱原発に舵を切るべきです。そして、すぐにでも原爆を作ることのできるメリットに眼を向けている人々に、絶対、権力を与えてはなりません。
31997	個人	家事専業	50代	女性	(1)のゼロシナリオを選択する。	●「シナリオについて」 ゼロシナリオは「2030年」までに原発をゼロにする、であるが、あと17年以上も原発を稼働させるなど論外である。即刻ゼロにすべきだ。 選択を国民に問うてる政府は「脱原発依存」を公言しているのだから、シナリオの(2)と(3)を選択肢に入れるのはおかしい。(1)のみの議論が前提でなくてはならない。 ●原発について もう一度どこかの原発で過酷な事故が起きたら、もはや経済云々の問題ではない。 日本の存亡に関わる。 福島の原発事故の現状を見れば明らかなように、放射能を封じ込める手段もなく、汚染された大地、人々の健康被害、食品の問題、賠償の問題と被害は甚大である。 原発は高リスクの非人道的なエネルギーである。 もうじき発足するであろう原子力規制委員会の委員長候補は福島の事故を経験して尚「原子力は人間がコントロールできる」と言い放った。 このような規制をすべき人間の過信が事故を生んだのだ。 推進をしたいがために事故隠しや誤魔化しをしてきた電力会社、政府、官庁、原子力安全委員、学者、プラントメーカー、メディア等「原子カムラ」が現存している限り、日本における原発は信頼できない。 ●これからのエネルギー 今では国民、企業の節電意識も高まり、節電商品の開発も進んでいる。 まずは政府が「脱原発」を速やかに宣言することだ。 日本にはすでに優れた技術力がある。危機感を持つことにより技術は伸びていく。 将来は電気を少なく使っても効率を高められるようになる。 政府は速やかに電力会社からの発送電分離、地域に合った自然エネルギーの研究・普及、蓄電システムの開発等に取り組んで頂きたい。
31998	個人	会社員・公務員	30代	男性	原子力の電源を再生可能エネルギーにシフトしていくが、代替電源はすぐにできない。今後も原子力発電所の稼動が必要であるが、3つの選択肢しかなく、強いて選択するなら20～25シナリオ以外は考えられない。	産業活動を安定的に行うには、電力の安全・安定供給が不可欠であり、現状においては、原子力発電所の電源に対して、すぐに代替できる電源がない。よって、安全が確認された原子力発電所は、まず全て再稼動を行い、需給を安定させた上で再生可能エネルギーの順次導入を行い、代替電源として確立できることが確認できれば、原子力発電所を順次停止していくことが望ましいと考える。 今後再生可能エネルギーを順次導入していくが、原子力発電所の設備容量に足りる電源の設置が2030年までに可能なのか、具体的な施策も示されていない中で、実現性に乏しいと考える。 また、エネルギー政策を考えていく上で、CO2の排出をどうしていくのか、あわせて考える必要があり、目標を達成するためにも、20～25シナリオ以外は考えられない。
31999	個人	会社員・公務員	50代	男性	原子力発電には反対です。	大きなリスクを伴うので、 問題が起こるとそれを制御することができない。技術が確立されていない。 経済発展だけを優先した政策で、この国をいったいどうしようと言うのか。 安心して暮らせる国づくりを考えた政治、もっと将来のことを考えた 政治を行ってほしい。
32000	個人	自営業	60代	女性	原発の比率は、(1)0%。2030年段階といわず、全原発を即時停止。 ・あらゆる地球上の生命を脅かすリスクが高い。 ・廃棄物の最終処分地がない。 ・原発がなくてもエネルギーは不足していない。	福島での原発事故は、まだ終結していません。また、「もんじゅ」の現状を考えても、原子力を制御することは不可能と思えます。 地震多発地帯の日本に、いま以上のリスクはとうてい容認できません。 2030年段階といわず、全原発の即時停止を希求します。 核廃棄物の最終処分地もないのに、これ以上核廃棄物を増やす施策にはすべて反対します。いつか誰かが解決してくれることを期待するのは科学的ではありません。 再生可能エネルギーへの日本の高い技術力は、海外で実証されており、導入はほんの少しの時日で可能なはずです。 過渡的に国民生活に不便があっても、電気の使用を減らすことなど、強い意志があれば乗り切れます。 もちろん、発送電の分離や競争原理の導入など、電力会社の体質を変えるための施策は不可欠です。 さらに、例えば、一時的にであれ、家庭での電力使用量に一定の制限を付与することや、都心の新築マンションや事業所ビルに太陽光発電や燃料電池による発電を義務づけるなど、政治の主導があれば速やかなエネルギー改革が進展すると考えます。 国民には、一定期間の覚悟が求められますが、しっかりした青写真があれば、良識ある判断ができると確信しています。